Adobe® Dreamweaver® CC ヘルプ

一部のリンク先のコンテンツは英語のみで提供されます。

2014 年 6 月

新機能

新機能の概要

Dreamweaver CC バージョン 2014

新しい Dreamweaver CC 2014 リリースでは、ライブビューと CSS デザイナーの機能が強化され、Web コンテンツやモバイルコンテンツの作成および更新が容易になりました。新しいエレメントクイックビュー機能で HTML マークアップを簡単に表示、ナビゲート、編集できます。

この記事では、これらの新機能およびその他の様々な機能強化について説明し、詳細なヘルプと学習に役立つリソースへのリンクを示します。

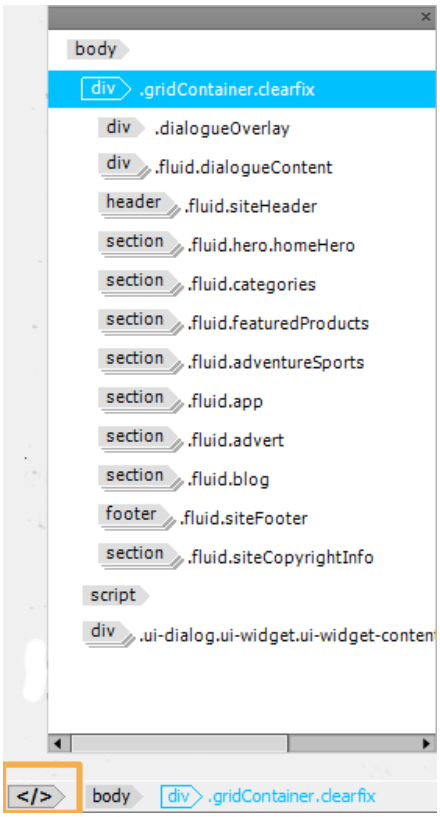
新機能および変更点

エレメントクイックビュー
ライブビューの新しい編集機能
ライブでの挿入
CSS デザイナーの機能強化
ID ファイルを使用した SFTP 接続のサポート
取り消しとやり直しの機能強化
Business Catalyst および PhoneGap Build のワークフローの変更点
Dreamweaver の拡張機能へのアクセスの変更点
同期設定の変更点
Dreamweaver からバグ/機能リクエストを直接送信
Help Center
ヘルプメニューの変更点

ページの先頭へ

エレメントクイックビュー

静的および動的コンテンツの両方のインタラクティブ HTML ツリーを表示する新しいエレメントクイックビューを使用して、ドキュメントのマークアップを確認します。HTML ツリー内の静的コンテンツの構造を適切に変更します。



エレメントクイックビュー

エレメントクイックビュー（表示／エレメントクイックビュー）は、開発プロセスの効率化を図るために導入されました。以前のバージョンの

Dreamweaver では、ライブビューで HTML エレメントを強調表示し、コードビューに切り替えて、エレメントを編集する必要がありました。編集後に変更をプレビューするには、ライブビューに再度切り替える必要がありました。現在は、エレメントクイックビューを使用して、読みやすい 1 つのビューでページのすべてのエレメントを表示し、静的コンテンツを編集できます。

詳しくは、「エレメントクイックビュー」を参照してください。

ページの先頭へ

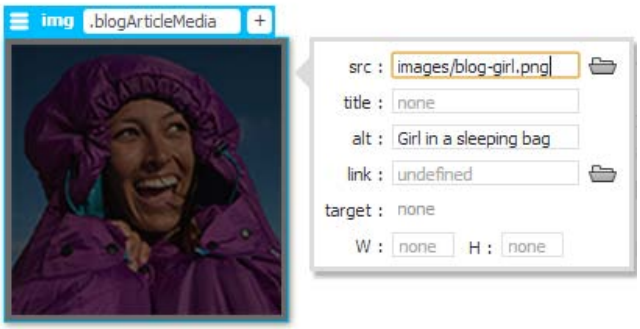
ライブビューの新しい編集機能

ライブビューで HTML エレメントのプロパティをインスペクトおよび正しく変更し、何も更新せずに、どのように表示されるかを確認できます。

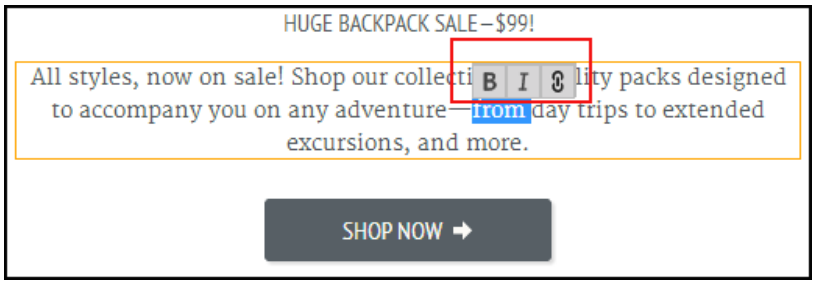
- クイックプロパティインスペクター
- エレメントディスプレイ
- テキストのライブ編集
- ライブビュープロパティインスペクター

クイックプロパティインスペクター

ライブビューで、ページの HTML エレメントのクイックプロパティインスペクターが表示されるようになりました。クイックプロパティインスペクターでは、選択した HTML エレメントに基づいて、属性またはテキストをライブビューで直接編集できます。



クイック *PI* でイメージ属性を編集

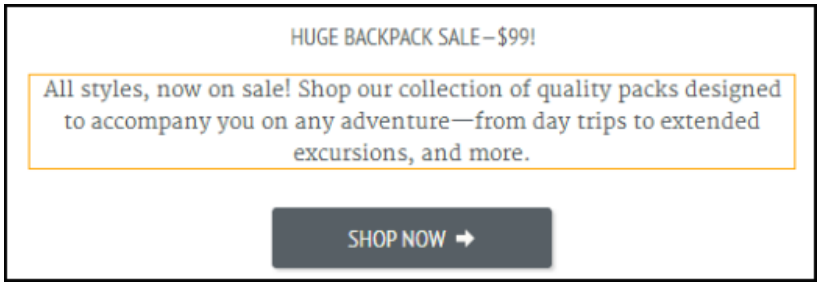


クイック *PI* でテキストを書式設定

詳しくは、「クイックビュープロパティインスペクター」を参照してください。

エレメントディスプレイ

新しいエレメントディスプレイでは、ライブビューで直接 HTML エレメントとクラスおよび ID を関連付けることができます。エレメントディスプレイに使用可能なクラスと ID が表示されるため、必要なオプションをすばやく表示および選択できます。



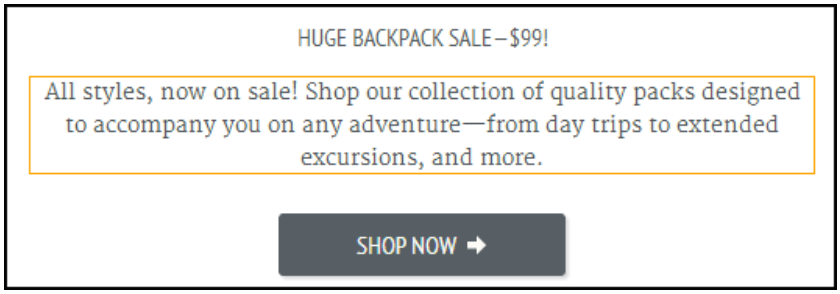
エレメントディスプレイでクラスと *ID* を編集

詳しくは、「HTML エレメントとクラス/ID の関連付け」を参照してください。

テキストのライブ編集

ライブビューでテキストを直接編集して、ビューを切り替えることなく変更をプレビューできるようになりました。

編集モードに切り替えるには、ライブビューのテキストエレメントをダブルクリックします。詳しくは、「ライブビューでテキストを直接編集する」を参照してください。

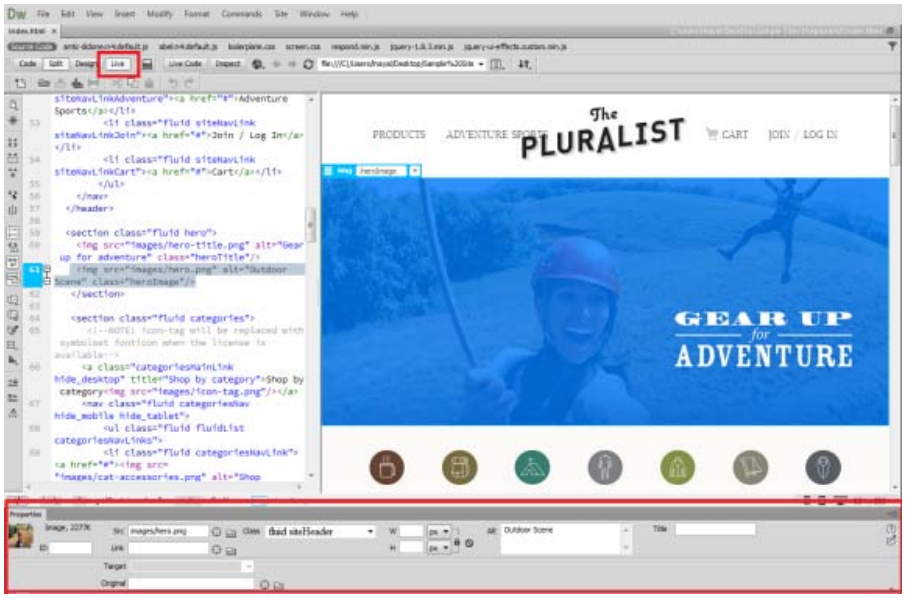


ライブビューでテキストを直接編集する

ライブビュープロパティインスペクター

ライブビューで利用可能になったプロパティインスペクターにより、デザインビューまたはコードビューに切り替えずにページを簡単に編集できるようになりました。

詳しくは、「ライブビュープロパティインスペクター」を参照してください。



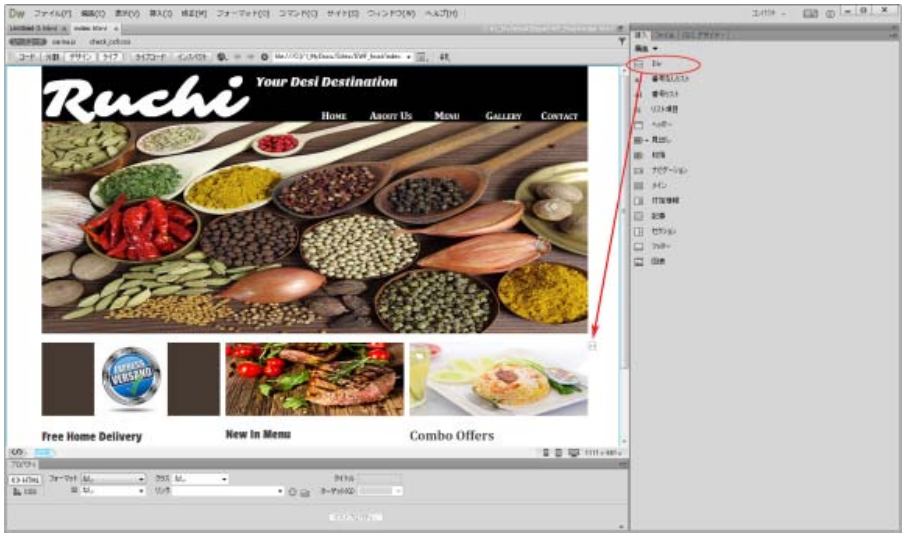
ライブビュープロパティインスペクター

ページの先頭へ

ライブでの挿入

このリリースでは、挿入パネルを使用して、ライブビューに HTML エレメントを直接挿入できます。エレメントは、モードを切り替える必要なくリアルタイムに挿入されます。変更をすばやくプレビューすることもできます。

詳しくは、「ライブビューにエレメントを直接挿入する」を参照してください。



挿入パネルからライブビューにドラッグ＆ドロップ

ページの先頭へ

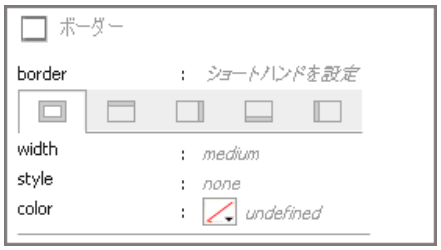
CSS デザイナーの機能強化

境界線コントロールのユーザーインターフェイスの強化

簡単で直観的な方法で 4 辺すべての境界線プロパティを設定できるタブ付きのコントロール。

- タブ付きのコントロールにより一度にすべての値を表示するのを避け、混乱を軽減。
- 初心者にわかりやすい直観的なアイコン。
- 設定解除または削除された状態と無効化された状態を示す 2 組のアイコン。
- すべての境界線プロパティを一括設定できる「すべての辺」タブ。
- インスペクトする際に、行の計算により最も適切なタブを表示。

Dreamweaver CC 2014 以前の境界線のコントロールプロパティ



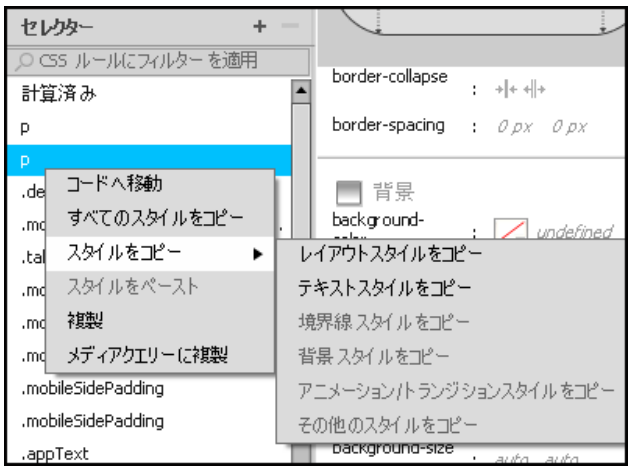
Dreamweaver CC 2014 の境界線のコントロールプロパティ

詳しくは、「境界線のプロパティを設定」を参照してください。

スタイルのコピー＆ペースト

1 つのセレクターから別のセレクターに、スタイルをコピーしてペーストできます。すべてのスタイルをコピーすることも、レイアウト、テキスト、境界線などの特定のスタイルのカテゴリーのみコピーすることもできます。

セレクターを右クリックし、使用可能なオプションから選択します。

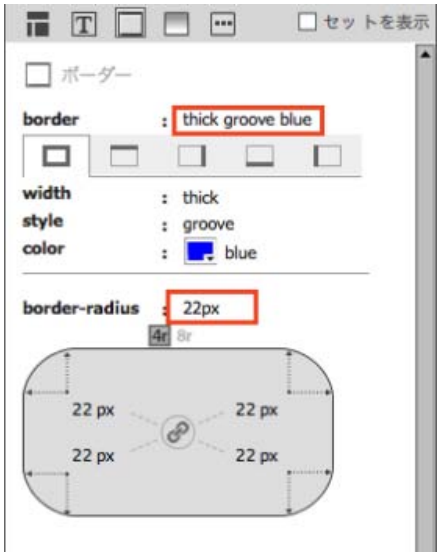


CSS デザイナーを使用したスタイルのコピー

- セレクターにスタイルが存在しない場合、「スタイルをコピー」および「すべてのスタイルをコピー」は無効になります。
- 編集できないリモートサイトでは、「スタイルをペースト」は無効ですが、「スタイルをコピー」および「すべてのスタイルをコピー」は使用できます。
- セレクターに既に部分的に存在するスタイル（オーバーラップ）はペーストできます。すべてのセレクターの Union はペーストされます。
- スタイルのコピー/ペーストは、異なるリンケージの CSS ファイル（読み込み、リンク、インラインスタイル）で使用できます。

クイック編集テキストボックス

Dreamweaver に、マージン、余白、境界線、境界線の半径などのプロパティのショートハンドコードを指定できるクイック編集テキストボックスが追加されました。この変更は、マウスまたはキーボードを使用するのではなく、コードを指定してプロパティを指定したいユーザーのために行われました。



カスタムプロパティのワークフローの機能強化

以前は、「その他」（またはカスタム）のプロパティを追加するには、CSS デザイナーのプロパティペインで「+」をクリックする必要がありました。現在は、プロパティリストの最後で、一連のテキストボックス（プロパティ名と値）がすぐに使用できるようになっています。これらのテキストボックスでは、「+」をクリックしないでプロパティ名と値を直接入力することができます。

さらにカスタムプロパティの行を追加するには、Tab キーを押します。

「その他」のプロパティグループの名前が「カスタム」に変更されます。

ショートカットキー

キーボードショートカットを使用して、CSS セレクターおよびプロパティを追加または削除できるようになりました。また、プロパティペインでプロパティグループ間を移動することもできます。

ショートカット	ワークフロー
CTRL + Alt + [Shift =] キー	セレクターを追加（コントロールがセレクターセクションにある場合）
CTRL + Alt + S キー	セレクターを追加（コントロールがアプリケーションの任意の場所にある場合）
CTRL + Alt + [Shift =] キー	プロパティを追加（コントロールがプロパティセクションにある場合）
CTRL + Alt + P キー	プロパティを追加（コントロールがアプリケーションの任意の場所にある場合）
Select + Delete キー	セレクターを削除（セレクターが選択されている場合）
CTRL + Alt + （PgUp または PgDn）キー	セクション間をジャンプ（コントロールがプロパティサブパネルにある場合）

セレクターの詳細化/省略化

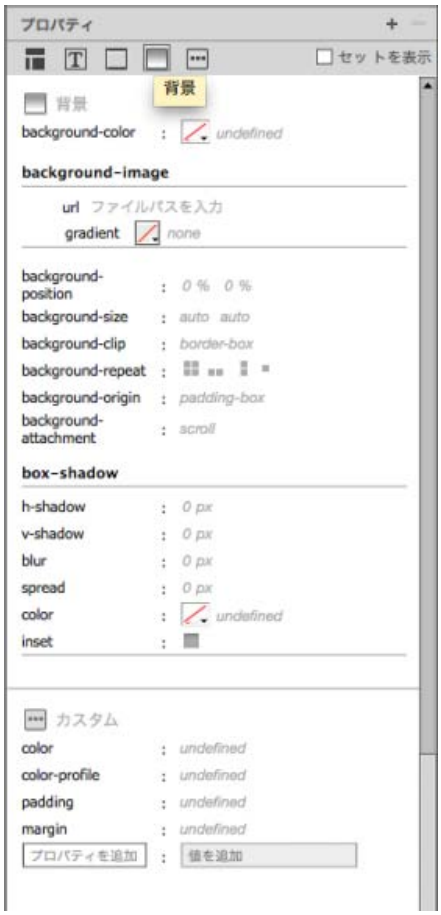
このリリースでは、Dreamweaver はセレクターを追加する際に最大 3 つのルールヒントを表示します。上向きまたは下向き矢印キーを使用してセレクターを詳細化または省略化できます。

セレクターの詳細化/省略化

カテゴリーにスクロール

以前は、CSS デザイナーのプロパティペイン上部にある「背景」または「その他」のカテゴリーをクリックすると、そのカテゴリーがペインに表示されるはずでしたが、実際には、カテゴリーはペイン上部には表示されませんでした。

現在は、「背景」および「その他」のカテゴリー（カスタムという名前に変更されています）をクリックすると、そのカテゴリーがペイン上部に表示されます。



ページの先頭へ

ID ファイルを使用した SFTP 接続のサポート

「ID キー」に基づいて SFTP サーバーへの接続を認証できるようになりました（パスフレーズを使用することも使用しないこともできます）。

注意： *Dreamweaver* は *OpenSSH* キーファイルのみをサポートします。

詳しくは、「SFTP 接続」を参照してください。

ページの先頭へ

取り消しとやり直しの機能強化

これまでは、CSS デザイナーパネルで実行した操作の取り消しまたはやり直しを実行するには、CSS ファイル（関連ファイル内）をクリックしてから操作の取り消しまたはやり直しをする必要がありました。

現在は、取り消しとやり直しの機能が強化され、操作の取り消しまたはやり直しをドキュメントのライブビューまたは CSS デザイナーパネルから直接実行できるようになりました。これらの変更は、関連付けられた CSS ファイルに自動的に反映されます。関連ファイルが変更されたことを知らせるために、影響を受けるファイルのタブがしばらくの間、強調表示されます（約 8 秒）。

- CSS デザイナーパネルからアクションの取り消しまたはやり直しを行うと、ライブビューは自動的に更新されます。
- ソースコードを使用してドキュメントを編集し、ライブビューからその変更を取り消すと、表示が分割ビューに変更され、関連するソースコードにフォーカスが置かれます。

取り消しとやり直しのアクションはすべて、HTML ファイルレベルで記録されます。そのため、CSS ファイルへの手動での変更は、関連するどのファイルからでも取り消すことができます。例えば、style1.css と style2.css が index.html に関連しているとします。style1.css で .h1 のスタイルを追加し、style2.css から取り消しを行うと、style1.css から .h1 スタイルが削除されます。

注意： *JavaScript* ファイルの変更の取り消しまたはやり直しを行うには、それぞれの *JS* ファイルに切り替えてから取り消しまたはやり直しを行う必要があります。

ページの先頭へ

Business Catalyst および PhoneGap Build のワークフローの変更点

Business Catalyst および PhoneGap Build を Dreamweaver のアドオンとして使用できるようになりました。まず Business Catalyst と PhoneGap Build を拡張機能としてインストールする必要があり、その後これらのサービスを従来どおりに使用できます。

Business Catalyst および PhoneGap Build の拡張機能をインストールするには、管理／アドオンを参照に移動し、拡張機能を検索して、インス

トールします。

参照項目：

- Dreamweaver と Business Catalyst のワークフロー
- モバイルデバイス用アプリケーションのパッケージ化

ページの先頭へ

Dreamweaver の拡張機能へのアクセスの変更点

Adobe Creative Cloud を使用して、Dreamweaver の拡張機能を表示およびインストールできるようになりました。拡張機能は「アドオン」と呼ばれます。

Adobe Creative Cloud のアドオンを参照するには、Dreamweaver のウィンドウ／アドオンを参照をクリックします。Adobe Creative Cloud アドオンページが表示されます。

Dreamweaver CC 13.0 のウィンドウ／拡張機能

Dreamweaver CC 2014 のウィンドウ／アドオンを参照

アドオンのインストールについて詳しくは、「アドオン」を参照してください。

ページの先頭へ

同期設定の変更点

Dreamweaver の同期設定機能により、コンピューターと Creative Cloud との間で Dreamweaver インスタンスの設定の同期を維持できます。以前のバージョンの Dreamweaver で同期設定を有効にし、Creative Cloud からこれらの設定を読み込めるようにしている場合、その設定が Dreamweaver CC 2014 で自動的に検出されます。

Dreamweaver CC 2014 をインストール後、最初に起動したときに、次のダイアログボックスが表示されます。

同期設定を読み込む

- Creative Cloud に保存した設定を読み込むには、「同期設定を読み込む」をクリックしてください。

  注意：このオプションは、後で選択することはできません。
- 現在の Dreamweaver インスタンスの設定を Creative Cloud と同期するには、「ローカルで同期」をクリックします。
- 以後、設定を自動的に同期するには、「常に設定を自動的に同期」を選択します。
- 高度な同期設定オプションを表示するには、「詳細設定」をクリックします。

関連記事：

- Dreamweaver 設定と Creative Cloud の同期

ページの先頭へ

Dreamweaver からバグ/機能リクエストを直接送信

Dreamweaver 内のほしい物リストフォームやバグレポートに直接アクセスできるようになりました（ヘルプ／不具合の報告/製品への要望）。

ヘルプメニューの「バグ/機能リクエストを送信」

ページの先頭へ

Help Center

新しくなったHelp Center で、新機能の使用方法や、Dreamweaver 内から一般的なタスクを実行する方法を学ぶことができます。

以前のリリースとは異なり、Dreamweaver を初めて起動したときに新機能や有効なワークフローが簡単にわかるようになりました。新機能のツアーをスキップしたり、アプリ内ヘルプメッセージをいつでも無効にすることができます。必要に応じて、再び有効にすることもできます。

- 新機能のウォークスルー
- アプリ内メッセージ
- 製品内メッセージ
- アプリ内および製品内メッセージの無効化またはリセット

新機能のウォークスルー

Dreamweaver の最新リリースには、新機能のミニツアーが追加されました。

このツアーでは、新機能の紹介のほか、新機能の動作を確認できるビデオギャラリーも用意されています。

Dreamweaver を起動するとすぐに新機能のウォークスルーやミニツアーのオプションが表示されます。ツアーをスキップし、「ようこそ」画面に移動して作業を進めることもできます。

注意：新機能のウォークスルーは、Dreamweaver をインストールまたは更新したとき、または環境設定を削除して Dreamweaver を再起動したときに表示されます。

新機能ツアー

新機能のウォークスルーでは、主に以下の内容が表示されます。

- 「ようこそ」メッセージ。また、操作性を適切にカスタマイズできるように、以前に Dreamweaver CC を使用したことがあるかどうかを指定するよう求められます。
- 各機能の紹介と簡単な説明（ツアーをスキップするオプション付き）。
- 新機能に関連するビデオを含むビデオギャラリー。

ビデオギャラリー

新機能のウォークスルーの最後に、新機能に関連するビデオを含むビデオギャラリーが表示されます。サムネールをマウスでポイントすると、そのビデオの簡単な説明が表示されます。

ビデオギャラリー

注意： 新機能のウォークスルーとビデオギャラリーには、*Dreamweaver* の使用中にいつでもアクセスできます。これを行うには、ヘルプメニューまたは「ようこそ」画面に移動し、必要なオプションをクリックします。

アプリ内メッセージ

Dreamweaver でプロジェクトの作業中に、生産性が向上するヒントが表示されるようになりました。現在実行中のタスクの効率化に役立つヒントです。

ヒントは特定の「トリガー」に基づいて表示されます。例えば、任意のビューでタグセレクターをクリックするか、エレメントを右クリックしてインスペクトすると、エレメントクイックビューのプロンプトが表示されます。エレメントクイックビューは、実行した他の方法（トリガー）より簡単に HTML マークアップを表示および編集できる全く新しい機能です。

表示された提案に従って作業すると、次に同じトリガーが発生してもアプリ内プロンプトは表示されません。ただし、他のトリガーが識別されると再びプロンプトが表示されます。

アプリ内メッセージは、環境設定によって表示を無効にすることができます。詳しくは、「アプリ内および製品内メッセージの無効化またはリセット」を参照してください。

アプリ内メッセージの例：

エレメントクイックビュー
トリガー：

- タグセレクター（すべてのビュー）がクリックされた
- ライブ + インスペクトまたはエレメントを右クリック + インスペクト

メッセージ：

クラスと **ID** のライブビュープロパティインスペクター
トリガー：

- デザインビューで PI を使用して ID を編集

メッセージ：

製品内メッセージ

Dreamweaver は、Creative Cloud 上の他の多くのアプリケーションとシームレスに統合します。
このような統合ワークフローについて、製品内メッセージで紹介します。これらのワークフローを
使用すれば、Adobe Creative Cloud とそのサービスをさらに有効活用できます。

製品内メッセージは、識別された「トリガー」に基づいて表示されます。例えば、CSS トランジションを使用しようとすると、製品内メッセージで「Edge Animate」のワークフローが推奨されます。

製品内メッセージには、特定のシナリオで使用できる代替の（より優れた）ワークフローの簡単な説明が含まれています。
ワークフローを説明するビデオのサムネールも含まれており、これをクリックするとビデオを閲覧できます。
「詳細」ボタンは、詳細が記載された記事やブログにリンクしています。

製品内メッセージは、識別されたトリガーが発生したときの 1 回のみ表示されます。

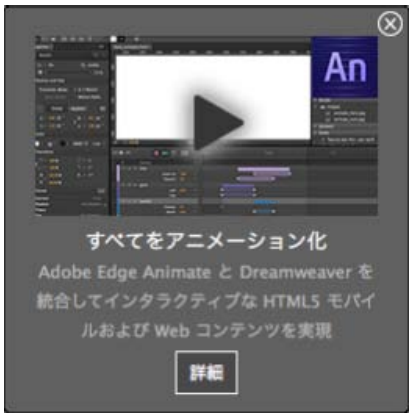
注意： メッセージを再び表示するには、環境設定でアプリ内ヘルプの設定をリセットします。
詳しくは、「アプリ内および製品内メッセージの無効化またはリセット」を参照してください。

製品内メッセージの例：

Edge Animate
トリガー：

- CSS トランジションをクリックして「+」をクリック

メッセージ：



Parfait
トリガー：

- イメージの挿入／イメージ設定の編集

メッセージ：

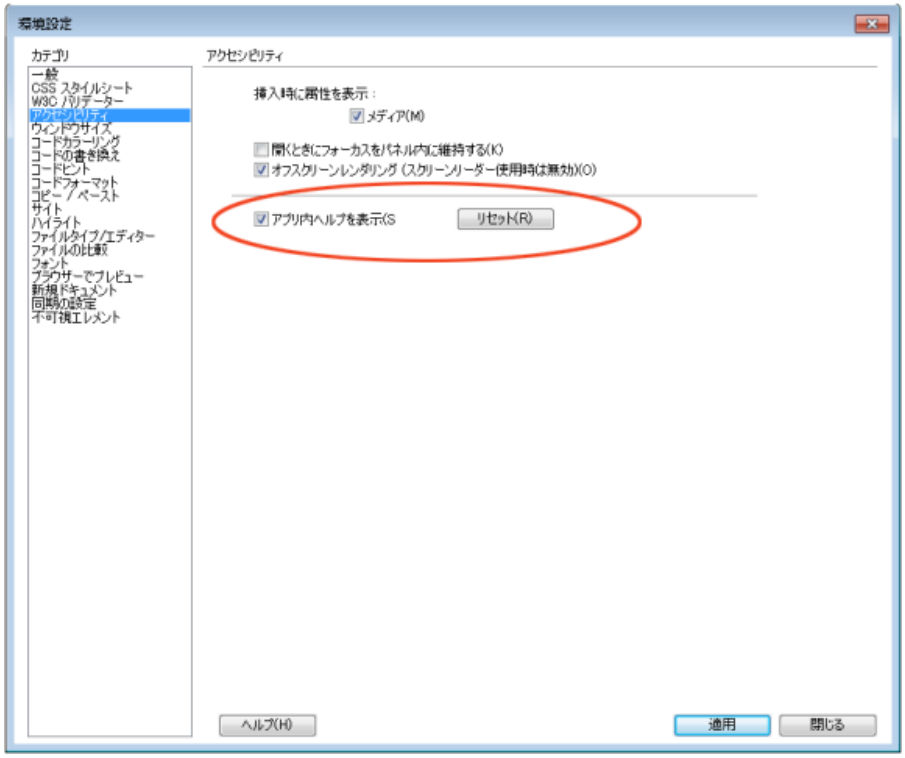
アプリ内および製品内メッセージの無効化またはリセット

環境設定／アクセシビリティダイアログボックスで、次の操作を行います。

- メッセージを無効にするには、「アプリ内ヘルプを表示」チェックボックスの選択を解除します。

  メッセージを再び有効にした場合、以前に表示されたメッセージは表示されません。
  以前に表示されたことのないメッセージのみ表示されます。

- 以前に表示されたメッセージを表示するには、「リセット」をクリックします。



環境設定でアプリ内ヘルプを無効化またはリセット

ページの先頭へ

ヘルプメニューの変更点

ヘルプメニューが再構成され、新機能のウォークスルー、ビデオギャラリー、ヘルプおよび学習リソース、バグ/機能リクエストの送信フォームにすぐにアクセスできるようになりました。

Dreamweaver CC 2014 以前のヘルプメニュー

Dreamweaver CC 2014 のヘルプメニュー

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ワークスペースとワークフロー

Dreamweaver ワークフローとワークスペース

Dreamweaver ワークフローの概要
ワークスペースのレイアウトの概要
ワークスペース要素の概要
ドキュメントウィンドウの概要
ドキュメントツールバーの概要
標準ツールバーの概要
ブラウザーナビゲーションツールバーの概要
コーディングツールバーの概要
ステータスバーの概要
プロパティインスペクターの概要
挿入パネルの概要
ファイルパネルの概要
CSS デザイナー
ビジュアルガイドの概要

ページの先頭へ

Dreamweaver ワークフローの概要

Web サイトの作成方法はいくつか考えられますが、ここで紹介するのはその 1 つです。

サイトの計画と設定

ファイルの配置を決定し、サイトの要件、サイトを訪れるユーザーの種類、およびサイトの目的を検討します。さらに、ログイン処理や、ブラウザー、プラグイン、およびダウンロードに関する制限など、技術的な要件についても考慮します。情報を整理し、構造を決定したら、実際にサイトの作成を開始します。（「Dreamweaver サイトについて」を参照してください。）

サイトに置くファイルの編成と管理

ファイルパネルでは、ファイルやフォルダーを追加、削除および名前変更することで、必要に応じてその編成を変更できます。また、ファイルパネルには様々なツールが用意されています。これらのツールを使用して、サイトの管理、リモートサーバーとの間でのファイルの転送、ファイルの上書きを防止するチェックインおよびチェックアウト処理の設定、ローカルサイトとリモートサイトのファイルの同期などを行います。アセットパネルを使用すると、サイトにあるアセットの整理編成が容易になります。ほとんどのアセットは、アセットパネルから直接、Dreamweaver ドキュメントにドラッグできます。Dreamweaver を使用して Adobe® Contribute® サイトを管理することもできます。（「ファイルとフォルダーの管理」および「アセットとライブラリの管理」を参照してください。）

Web ページのレイアウト

実用に適したレイアウト方法を選択するか、または Dreamweaver レイアウトオプションを組み合わせて使用して、サイトの外観を作成します。Dreamweaver 可変グリッドレイアウトまたは初期設定のテンプレートを使用して作業を開始できます。Dreamweaver テンプレートを基に新しいページを作成できます。テンプレートを変更すると、これらのページは自動的に更新されます。複数のエレメントをブラウザーで一度に表示する場合は、フレームを使用してドキュメントをレイアウトします。（「CSS を使用したページの作成」および「HTML を使用したページのレイアウト」を参照してください。）

ページへのコンテンツの追加

アセットとデザインエレメントを追加します。これには、テキスト、イメージ、ロールオーバーイメージ、イメージマップ、色、ムービー、サウンド、HTML リンク、ジャンプメニューなどがあります。タイトルや背景などのエレメントについては組み込みのページ作成機能を使用できます。また、ページへの直接入力や、他のドキュメントにあるコンテンツの読み込みも可能です。Dreamweaver に用意されている他のツールとしては、Web サイトのパフォーマンスを最大限に引き出すツールと、様々な Web ブラウザーで正常にページを表示できるかどうかをテストするツールがあります。（「ページへのコンテンツの追加」を参照してください。）

ハンドコーディングによるページの作成

Web ページのコードを手作業で記述してページを作成することもできます。Dreamweaver には、使いやすいグラフィカルな各種編集ツールが付属するほか、高度なコーディング環境も用意されています。いずれかの方法、または両方を使用してページの作成と編集が可能です。（「ページコードを使用した操作」を参照してください。）

動的コンテンツ用 **Web** アプリケーションの設定

多くの Web サイトでは、データベースに保存されている情報をビジターが参照できるようなダイナミックページが使用されています。また、一部のビジターには、参照だけでなく、データベースへの新しい情報の追加やデータベースにある情報の編集を認めることが普通です。このようなページを作成するには、まず Web サーバーとアプリケーションサーバーを設定し、Dreamweaver サイトを作成または修正した後、データベースに接続する必要があります。（「動的サイトを構築するための準備」を参照してください。）

ダイナミックページの作成

Dreamweaver では、動的コンテンツのソースとして、データベースから抽出されたレコードセット、フォームパラメーター、JavaBeans コンポーネントなど、様々なものを定義できます。ページに動的コンテンツを追加するには、そのコンテンツをページ上にドラッグします。

ページに 1 レコードずつ表示することも、複数レコードを一度に表示することもできます。複数のページでレコードを表示するように設定することもできます。あるページから次の（または前の）ページに移動するための特殊なリンクや、表示されているレコードを識別するためのレコードカウンターを追加することもできます。（「動的ページの作成」を参照してください。）

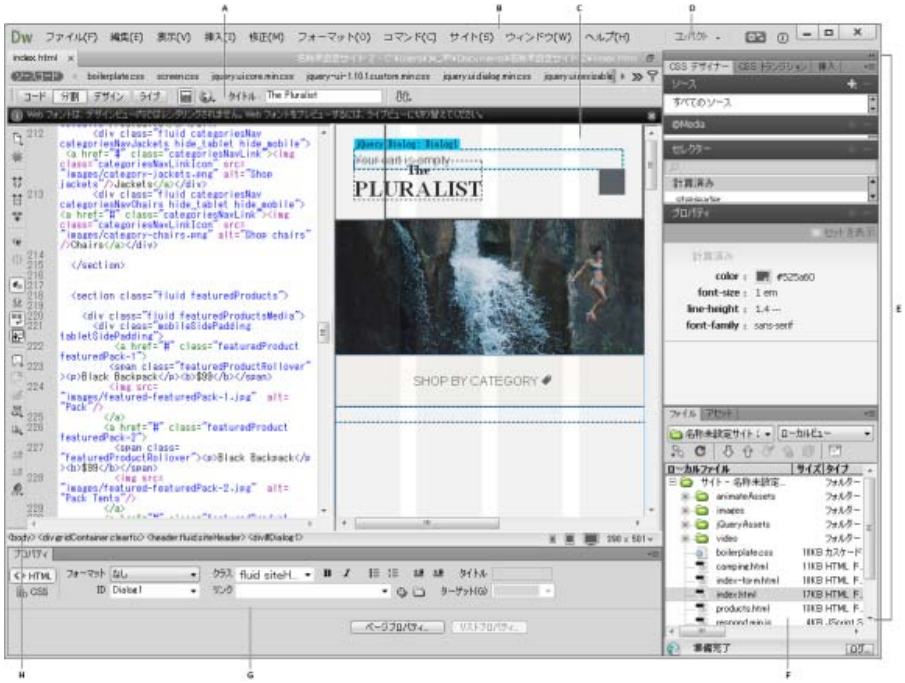
テストおよびパブリッシュ

ページのテストは、ページ開発のあらゆる段階で実施されるプロセスです。最後に、サーバー上でサイトを公開します。また、サイトが常に最新の状態で正しく機能するように、デベロッパーは定期的なメンテナンスを行います。（「サーバーからのファイルの取得とサーバーへのファイルの送信」を参照してください。）

ページの先頭へ

ワークスペースのレイアウトの概要

Dreamweaver のワークスペースには、ドキュメントと、オブジェクトのプロパティが表示されます。ワークスペースにはツールバーがあり、最も一般的な操作の多くを実行するためのボタンが配置されているため、ドキュメントを変更する作業をすばやく実行できます。



Dreamweaver ワークスペース
A. ドキュメントツールバー ***B.*** アプリケーションバー ***C.*** ドキュメントウィンドウ ***D.*** ワークスペース切り替えコントロール ***E.*** パネルグループ ***F.*** ファイルパネル ***G.*** プロパティインスペクター ***H.*** タグセレクター

ページの先頭へ

ワークスペース要素の概要

ワークスペースには、次のエレメントがあります。

注意： *Dreamweaver* には、他にも多くのパネル、インスペクター、およびウィンドウがあります。ウィンドウ、インスペクター、およびパネルを開くには、ウィンドウメニューを使用します。

「ようこそ」画面 最近使用したドキュメントを開いたり、新規ドキュメントを作成することができます。「ようこそ」画面から製品のクイックツアーや学習、ヘルプコンテンツを参照することによって、Dreamweaver についてさらに詳しく学ぶこともできます。

アプリケーションバー アプリケーションウィンドウの上部にあります。ワークスペース切り替えコントロール、メニュー（Windows のみ）、および他のアプリケーションコントロールが備わっています。

ドキュメントツールバー ドキュメントウィンドウのビュー（デザインビュー、コードビューなど）や表示オプションの選択、および一般的な操作（ブラウザーでのプレビューなど）を行うためのボタンがあります。

標準ツールバー 標準ツールバーを表示するには、表示／ツールバー／標準を選択します。ツールバーには、ファイルメニューと編集メニューに含まれる操作のうち、よく使用される「新規作成」、「開く」、「Bridge で参照」、「保存」、「すべて保存」、「コードの印刷」、「カット」、「コピー」、「ペースト」、「取り消し」、および「やり直し」のボタンがあります。

コーディングツールバー （コードビューでのみ表示）コードに関する標準的な操作の多くを実行できるボタンがあります。

ドキュメントウィンドウ 現在作成または編集しているドキュメントが表示されます。

プロパティインスペクター 選択したオブジェクトまたはテキストのプロパティを確認し、変更することができます。各オブジェクトにはそれぞれ違ったプロパティがあります。

タグセレクター ドキュメントウィンドウの下部のステータスバーにあります。現在の選択範囲を囲むタグの階層が表示されます。階層内の任意のタグをクリックして、そのタグを含むタグの内容をすべて選択します。

パネル 作業の監視や変更を行う場合に使用します。挿入パネル、CSS デザイナーパネル、ファイルパネルなどがあります。パネルを展開するには、そのタブをダブルクリックします。

挿入パネル イメージ、テーブル、メディアエレメントなどの様々な種類のオブジェクトをドキュメントに挿入するためのボタンがあります。各オブジェクトは 1 つの HTML コードで、挿入時に様々な属性を設定できます。例えば、挿入パネルの「テーブル」ボタンをクリックすると、テーブルを挿入できます。挿入パネルの代わりに挿入メニューを使用してオブジェクトを挿入することもできます。

ファイルパネル Dreamweaver サイトとリモートサーバーの両方のファイルとフォルダーを管理できます。また、ファイルパネルからは、ローカルディスクにあるすべてのファイルへのアクセスが可能です。

ページの先頭へ

ドキュメントウィンドウの概要

ドキュメントウィンドウに現在のドキュメントが表示されます。ドキュメントを切り替えるには、そのタブをクリックします。

以下のいずれかのビューを選択します。

デザインビュー （表示／デザイン）ページのレイアウトおよび編集を視覚的に行うことができる、迅速にアプリケーション開発を行うためのデザイン環境です。このビューでは、Dreamweaver で編集可能なドキュメントが、ブラウザーでページを表示したときのように視覚的に表示されます。

コードビュー （表示／コード）HTML、JavaScript、およびその他の種類のコードを作成および編集するためのハンドコーディング環境です。

分割コードビュー （表示／分割コード）コードビューを分割し、ドキュメントの異なるセクションにスクロールして同時に作業を行うことができます。

コードビューとデザインビュー （表示／コードとデザイン）同じドキュメントのコードビューとデザインビューの両方が単一のウィンドウ内に表示されます。

ライブビュー （表示／ライブビュー）ライブビューでは、デザインビューと同じように、ドキュメントをブラウザー上に表示した場合の実際の様子がより忠実に再現され、ドキュメントに対してブラウザー上と同じ操作ができます。ライブビュー内で HTML エレメントを直接編集し、同じビューで即座に変更をプレビューすることもできます。ライブビューの編集について詳しくは、「ライブビューで HTML エレメントを編集する」を参照してください。

ライブコードビュー （表示／ライブコード）ドキュメントをライブビューで表示している間だけ使用できます。ライブコードビューには、当該ページを実行するためにブラウザーで使用される実際のコードが表示されます。ライブビューでページを操作すると、それに応じてライブコードビューの表示内容が変化します。ライブコードビューは編集できません。

ドキュメントウィンドウを最大化（初期設定）すると、ドキュメントウィンドウの上部にタブが表示され、開いているすべてのドキュメントのファイル名が示されます。Dreamweaver では、変更が保存されていないファイル名の後にアスタリスク（*）が表示されます。

また、ドキュメントのタブの下（ドキュメントを複数の異なるウィンドウで表示している場合はドキュメントのタイトルバーの下）には関連ファイルツールバーが表示されます。関連ファイルとは、現在のファイルに関連付けられたドキュメント（CSS ファイル、JavaScript ファイルなど）です。いずれかの関連ファイルをドキュメント ウィンドウで開くには、関連ファイルツールバーで、目的のファイル名をクリックします。

ページの先頭へ

ドキュメントツールバーの概要

ドキュメントツールバーには、ドキュメントの各種ビューをすばやく切り替えるためのボタンがあります。ツールバーには、ドキュメントの表示やローカルサイトとリモートサイト間でのドキュメント転送に関連する共通のコマンドやオプションも表示されます。

ドキュメントツールバー
A. コードビューの表示 ***B.*** コードビューとデザインビューの表示 ***C.*** デザインビューの表示 ***D.*** ライブビュー ***E.*** ブラウザーでのプレビュー/デバッグ ***F.*** ドキュメントタイトル ***G.*** ファイル管理

可変グリッドレイアウトを使用したドキュメントのドキュメントツールバー

A. コードビューの表示 ***B.*** コードビューとデザインビューの表示 ***C.*** デザインビューの表示 ***D.*** ライブビュー ***E.*** ブラウザーでのプレビュー/デバッグ ***F.*** ドキュメントタイトル ***G.*** ファイル管理 ***H.*** 可変グリッドの表示/非表示

ドキュメントツールバーには、以下のオプションが表示されます。

コードビューの表示　ドキュメントウィンドウにコードビューのみを表示します。

コードビューおよびデザインビューの表示　コードビューとデザインビュー間でドキュメントウィンドウを分割します。このような組み合わせのビューを選択すると、表示オプションメニューのオプション「デザインビューを上に表示」が使用できるようになります。

デザインビューの表示　ドキュメントウィンドウにデザインビューのみを表示します。

注意：*XML*、*JavaScript*、*CSS* またはその他のコードベースのファイルタイプで作業している場合、デザインビューでファイルを表示することはできず、「デザイン」ボタンと「分割」ボタンは淡色表示になります。

ライブビュー　ブラウザーベースのインタラクティブなビューでドキュメントを表示します。ライブビューで HTML エレメントを編集することもできます。

ブラウザーでのプレビュー*/*デバッグ　ドキュメントをブラウザーでプレビューまたはデバッグできます。ポップアップメニューからブラウザーを選択します。

ファイル管理　ファイル管理ポップアップメニューを表示します。

ドキュメントタイトル　ブラウザーのタイトルバーに表示するドキュメントのタイトルを入力します。ドキュメントに既にタイトルがある場合は、このフィールドに表示されます。

ページの先頭へ

標準ツールバーの概要

標準ツールバーには、ファイルメニューと編集メニューに含まれる操作のうち、よく使用される「新規作成」、「開く」、「Bridge で参照」、「保存」、「すべて保存」、「コードの印刷」、「カット」、「コピー」、「ペースト」、「取り消し」、および「やり直し」のボタンがあります。これらのボタンは、対応するメニューコマンドを使用する場合とまったく同様に使用できます。

ページの先頭へ

ブラウザーナビゲーションツールバーの概要

ブラウザーナビゲーションツールバーはライブビューで有効になり、ドキュメントウィンドウで表示中のページのアドレスが示されます。ライブビューは標準のブラウザーのように動作するため、ローカルサイトの外部にあるサイト（例えば http://www.adobe.com/jp）の閲覧中でも、ドキュメントウィンドウにページが読み込まれます。

ブラウザーナビゲーションツールバー
A. ブラウザーコントロール ***B.*** アドレスボックス ***C.*** ライブビューのオプション

初期設定では、ライブビューのリンクはアクティブではありません。リンクがアクティブでないため、ドキュメントウィンドウでリンクテキストを選択またはクリックしたときに、他のページには移動しません。ライブビューでリンクをテストするには、アドレスボックスの右側の表示オプションメニューから「リンク先を表示」または「リンク先を連続表示」を選択して、1 回のクリックまたは連続したクリックを有効にできます。

ページの先頭へ

コーディングツールバーの概要

コーディングツールバーには、コード選択範囲の展開と折りたたみ、無効なコードのハイライト表示、コメントの適用と削除、コードのインデント、最近使用したコードスニペットの挿入など、コードに関する標準的な操作の多くを実行できるボタンがあります。コーディングツールバーは、コードビューが表示されているときに限り、ドキュメントウィンドウの左側に縦に表示されます。

コーディングツールバー（*CC*）

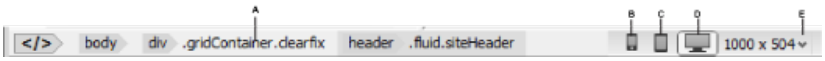
コーディングツールバーをドッキング解除または移動することはできませんが、非表示にすることはできます（表示／ツールバー／コーディング）。

コーディングツールバーを編集してさらに多くのボタン（「ワードラップ」、「非表示の文字」、「自動インデント」など）を表示したり、使用しないボタンを非表示にすることができます。ただし、そのためには、ツールバーを生成する XML ファイルを編集する必要があります。詳しくは、『*Dreamweaver MX* 拡張ガイド』を参照してください。

ページの先頭へ

ステータスバーの概要

ドキュメントウィンドウの下部にあるステータスバーには、作成中のドキュメントに関する追加の情報が表示されます。



ステータスバー
A. タグセレクター ***B.*** モバイルのサイズ ***C.*** タブレットのサイズ ***D.*** デスクトップのサイズ ***E.*** ウィンドウのサイズ

タグセレクター

現在の選択範囲を囲むタグの階層が表示されます。階層内の任意のタグをクリックして、そのタグを含むタグの内容をすべて選択します。ドキュメントのボディ全体を選択するには、<body> をクリックします。タグセレクターでタグの `class` または `id` 属性を設定するには、タグを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、いずれかのクラスまたは ID をコンテキストメニューから選択します。

モバイルのサイズ

ドキュメントのプレビューを初期設定でタブレットのサイズ（480 x 800）で表示します。初期設定のサイズを変更するには、ウィンドウサイズポップアップメニューの「サイズの編集」をクリックします。

タブレットのサイズ

ドキュメントのプレビューを初期設定でモバイルのサイズ（768 x 1024）で表示します。初期設定のサイズを変更するには、ウィンドウサイズポップアップメニューの「サイズの編集」をクリックします。

デスクトップのサイズ

ドキュメントのプレビューを初期設定でデスクトップのサイズ（幅 1000 ピクセル）で表示します。初期設定のサイズを変更するには、ウィンドウサイズポップアップメニューの「サイズの編集」をクリックします。

ウィンドウサイズポップアップメニュー

（コードビューでは使用できません）ドキュメントウィンドウを、あらかじめ定義されているサイズまたはカスタムサイズに変更できます。デザインビューまたはライブビューでページのビューサイズを変更すると、ビューサイズだけが変化します。ドキュメントサイズは変化しません。

表示される選択肢には、あらかじめ定義されたサイズとカスタムサイズの他に、メディアクエリーで指定されたサイズが含まれています。いずれかのメディアクエリーに対応したサイズを選択すると、該当するメディアクエリーが表示に使用されます。また、ページの方向を変更すると、持ち方に応じてページレイアウトが変化するモバイルデバイスでの表示をプレビューできます。

ページの先頭へ

プロパティインスペクターの概要

プロパティインスペクターでは、テキストや挿入されたオブジェクトなど、現在選択されているページエレメントの一般的なプロパティを確認および編集できます。プロパティインスペクターの内容は、選択したエレメントによって異なります。例えば、ページ上のイメージを選択すると、プロパティインスペクターにはそのイメージのプロパティ（イメージへのファイルパス、イメージの幅と高さ、イメージを囲むボーダーな

ど）が表示されます。

プロパティインスペクター

初期設定では、プロパティインスペクターはワークスペースの下端に表示されますが、ドッキングを解除してワークスペースのフローティングパネルにすることもできます。

ページの先頭へ

挿入パネルの概要

挿入パネルには、テーブル、イメージ、リンクなどのオブジェクトを作成し、挿入するためのボタンがあります。ボタンはカテゴリー別に分けられ、上部のドロップダウンリストから必要なカテゴリーを選択して切り替えることができます。

挿入パネル

一部のカテゴリーには、ポップアップメニューを表示するボタンが含まれています。ポップアップメニューからオプションを選択すると、そのオプションが当該ボタンのデフォルトのアクションになります。例えば、「イメージ」ボタンのポップアップメニューから「イメージプレースホルダー」を選択した場合は、次に「イメージ」ボタンをクリックすると Dreamweaver によってイメージプレースホルダーが挿入されます。ポップアップメニューから新しいオプションを選択すると、そのボタンのデフォルトのアクションをいつでも変更できます。

挿入パネルは、次のカテゴリーに分かれています。

一般 `div` タグ、イメージやテーブルといったオブジェクトなど、頻繁に使用されるエレメントを作成および挿入できます。

構造 `div` タグ、見出し、リスト、段落、ヘッダー、フッターなどの構造エレメントを挿入できます。

メディア Edge Animate コンポジション、HTML5 オーディオおよびビデオ、Flash オーディオおよびビデオなどのメディアエレメントを挿入できます。

フォーム フォームを作成するためのボタンと、検索、月、パスワードなどのフォームエレメントを挿入するためのボタンがあります。

jQuery Mobile jQuery Mobile を使用するサイトを作成するためのボタンがあります。

jQuery の UI アコーディオン、スライダー、ボタンなどの jQuery UI エレメントを挿入できます。

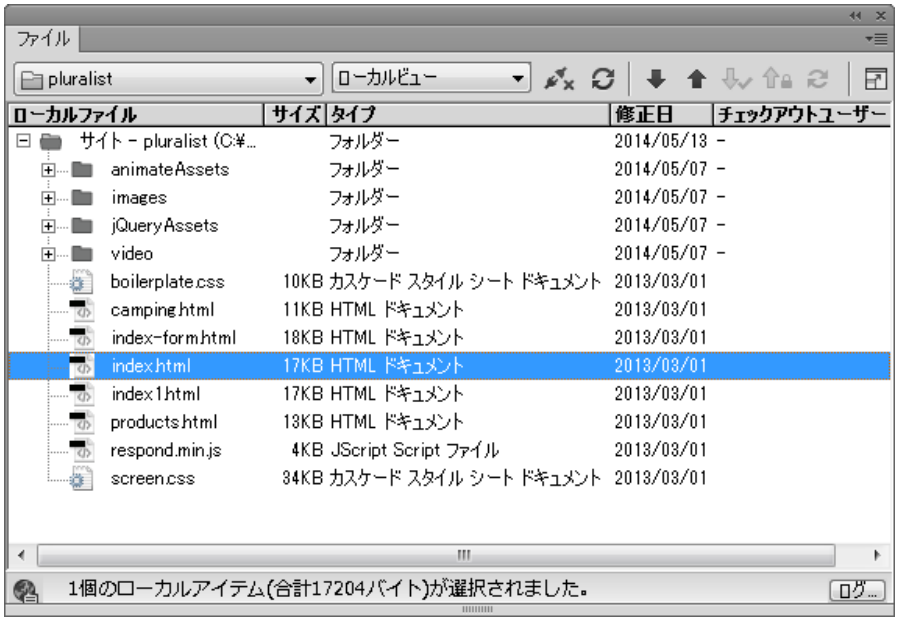
テンプレート ドキュメントをテンプレートとして保存し、特定の領域を編集可能領域、オプション領域、リピート領域、編集可能オプション領域としてマークできます。

お気に入り 挿入パネルの最もよく使用するボタンをグループ化して整理することができます。

ページの先頭へ

ファイルパネルの概要

ファイルパネルでは、作成している Dreamweaver サイトのファイルの表示と管理を行います。

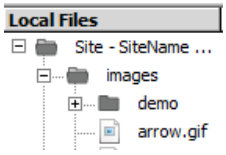


ファイルパネルでサイト、ファイル、またはフォルダーを表示するときに、表示領域のサイズを変更できます。また、ファイルパネルを展開または縮小することもできます。ファイルパネルの表示を縮小すると、ローカルサイト、リモートサイト、テストサーバー、または SVN リポジトリの内容がファイルの一覧として表示されます。表示を展開すると、ローカルサイトに加えて、リモートサイト、テストサーバー、または SVN リポジトリのいずれかが表示されます。

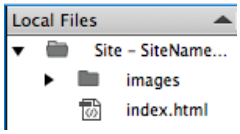
Dreamweaver サイトの場合、ファイルパネルは、初期設定で縮小パネルに表示されるローカルサイトまたはリモートサイトのビューを変更してカスタマイズします。

ファイルパネルのフォルダーはビュー（ローカル、リモート、またはテスト）ごとに異なる色で表示されます。

ローカルビュー

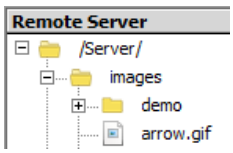


Windows

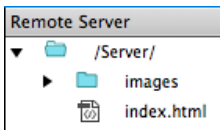


Mac

リモートサーバービュー

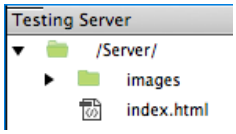


Windows

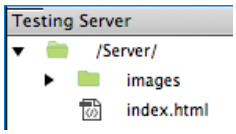


Mac

テストサーバービュー

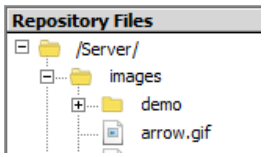


Windows

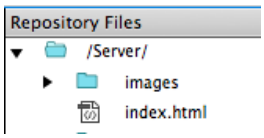


Mac

リポジトリビュー



Windows



Mac

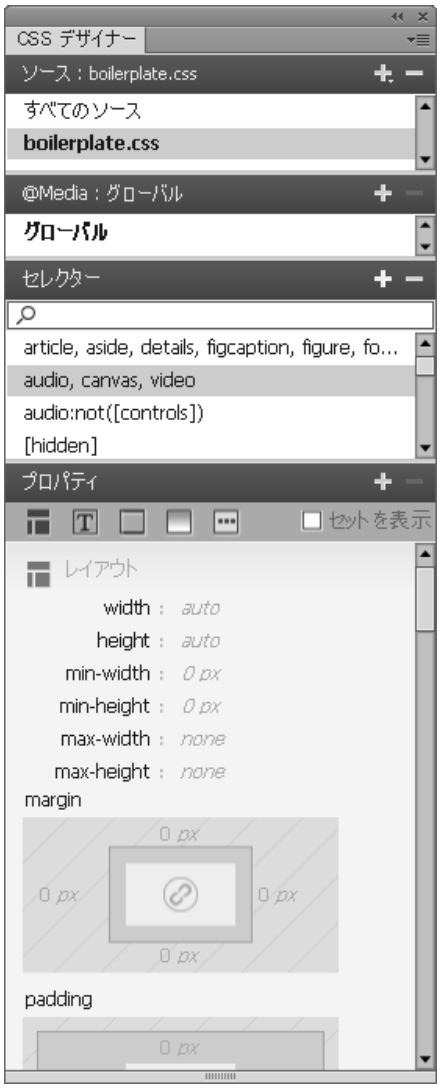
ファイルパネルは、一定の間隔でサーバーとやり取りし、コンテンツを自動更新します。この自動更新が実行されているときにファイルパネルで操作を行おうとするとエラーメッセージが表示されます。自動更新を無効にするには、ファイルパネルのオプションメニューを開いて、表示メニューで「自動更新」を選択解除します。

パネルのコンテンツを手動で更新するには、パネルの「更新」ボタンを使用します。ただし、ファイルの現在のチェックアウト状態は、自動更新が有効になっている場合にのみ更新されます。

ページの先頭へ

CSS デザイナー

CSS デザイナーパネル（Windows／CSS デザイナー）は、CSS スタイル、ファイル、設定済みプロパティ、メディアクエリーを「視覚的」に作成できる CSS プロパティインスペクターです。



CSS デザイナーパネル

CSS デザイナーパネルは、次のペインで構成されています。

ソース ドキュメントに関連付けられているすべての CSS スタイルシートが一覧表示されます。このペインを使用して、CSS を作成してドキュメントに添付したり、ドキュメント内でスタイルを定義したりできます。

@Media ソースペインで選択したソースのすべてのメディアクエリーが一覧表示されます。特定の CSS を選択しない場合は、ドキュメントに関連付けられているすべてのメディアクエリーが表示されます。

セレクター ソースペインで選択したソースのすべてのセレクターが一覧表示されます。メディアクエリーも選択した場合は、そのメディアクエリーのセレクターだけが一覧表示されます。CSS もメディアクエリーも選択しない場合は、ドキュメントのすべてのセレクターが表示されます。

@Media ペインで「グローバル」を選択すると、選択されたソースのメディアクエリーに含まれていないすべてのセレクターが表示されます。

プロパティ 指定したセレクターに設定できるプロパティが表示されます。詳しくは、「設定済みプロパティ」を参照してください。

CSS デザイナーは状況依存型です。つまり、特定のコンテキストまたは選択されているページエレメントについて、関連するセレクターとプロパティを表示できることを意味します。また、CSS デザイナーでセレクターを選択すると、関連するソースおよびメディアクエリーがそれぞれのペインで強調表示されます。

詳しくは、「CSS デザイナーパネル」を参照してください。

ページの先頭へ

ビジュアルガイドの概要

Dreamweaver は、ドキュメントをデザインするために、またドキュメントがブラウザーでどのように表示されるか予測するために使用可能な、数種類のビジュアルガイドを備えています。次の操作が可能です。

- ドキュメントウィンドウを必要なウィンドウサイズにすばやく吸着させ、エレメントがページにどのように収まるか確認します。
- トレーシングイメージをページの背景として使用すると、Adobe® Photoshop® や Adobe® Fireworks® などのイラストレーションまたはイメージの編集アプリケーションで作成されたデザインを簡単に複製できます。

- ルーラーとガイドを使用すると、ページエレメントの正確な配置とサイズ変更のための視覚的な手がかりが表示されます。
- グリッドを使用して、絶対位置のエレメント（AP エレメント）の配置とサイズ変更を正確に行います。

  ページ上にグリッドが表示されていると、AP エレメントを整列しやすくなります。また、吸着が有効の場合に AP エレメントを移動またはサイズ変更すると、AP エレメントが最も近いグリッドポイントに自動的に吸着します（イメージや段落など、その他のオブジェクトはグリッドに吸着しません）。吸着は、グリッドが表示されているかどうかにかかわらず機能します。

- ドキュメントウィンドウでの作業
- ライブビューについて
- Dreamweaver でのコーディングに関する一般情報
- ライブビュー内でのページのプレビュー
- コーディングの環境設定
- ヘッドコンテンツの表示と編集
- レイアウト用ビジュアルエイドの使用
- Dreamweaver 上でのページのプレビュー
- コーディングツールバーでのコードの挿入
- ウィンドウサイズと接続速度の設定
- ズームインとズームアウト
- ドキュメントウィンドウのサイズ変更
- ダウンロード時間とサイズの設定
- ウィンドウおよびパネルの管理
- プロパティインスペクターの使用
- 挿入パネルの使用
- ファイルパネルでのファイルの操作
- レイアウト用ビジュアルエイドの使用

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver ワークスペースのカスタマイズ

ウィンドウとパネルの管理
ワークスペースの保存と切り替え
タブ付きドキュメントの表示（Mac OS）
カラーアイコンの表示
Dreamweaver 「ようこそ」画面の非表示と表示
マルチユーザーシステムでの Dreamweaver のカスタマイズについて
Dreamweaver の一般環境設定の設定
Dreamweaver のドキュメントに対するフォント環境設定
Dreamweaver のハイライトカラーのカスタマイズ
初期設定の環境設定に戻す

トップへ戻る

ウィンドウとパネルの管理

ドキュメントウィンドウとパネルを移動および操作することによって、カスタムワークスペースを作成できます。複数のカスタムワークスペースを保存し、それらを切り替えて使用することもできます。Fireworks でカスタムワークスペースの名前を変更すると、予期しない動作が発生することがあります。

注意： 次の例は Photoshop の場合です。ワークスペースの動作は、すべての製品で同じです。

ドキュメントウィンドウの並べ替え、ドッキングまたはフローティング

複数のファイルを開くと、ドキュメントウィンドウはタブ付きで表示されます。

- タブ付きドキュメントウィンドウの順序を変更するには、ウィンドウのタブをグループ内の新しい位置にドラッグします。
- ドキュメントウィンドウをウィンドウのグループからドッキング解除（フローティングまたはタブ解除）するには、ウィンドウのタブをグループの外にドラッグします。

  注意： Photoshop では、ウィンドウ／アレンジ／ウィンドウを分離を選択して 1 つのドキュメントウィンドウをフローティング表示することも、ウィンドウ／アレンジ／すべてのウィンドウを分離を選択してすべてのドキュメントウィンドウを一度にフローティング表示することもできます。詳しくは、テクニカルノート kb405298 を参照してください。
  注意： Dreamweaver では、ドキュメントウィンドウのドッキングとドッキング解除はサポートされていません。ドキュメントウィンドウの最小化ボタンを使用してフローティングウィンドウを作成するか（Windows）、ウィンドウ／左右に並べて表示を選択して、ドキュメントウィンドウを並べて表示します。このトピックについて詳しくは、Dreamweaver ヘルプで「左右に並べて表示」を検索してください。Macintosh ユーザーの場合は、ワークフローが若干異なります。
- ドキュメントウィンドウを別のドキュメントウィンドウのグループにドッキングするには、ウィンドウをグループにドラッグします。
- 重ねて表示または並べて表示されたドキュメントのグループを作成するには、ウィンドウを別のウィンドウの上下左右にあるドロップゾーンのいずれかにウィンドウをドラッグします。アプリケーションバーのドキュメントレイアウトボタンを使用して、グループのレイアウトを選択することもできます。

  注意： 一部の製品では、この機能はサポートされていません。ただし、アプリケーションのウィンドウメニューに「重ねて表示」コマンドや「並べて表示」コマンドがある場合は、ドキュメントのレイアウトに利用できます。
- タブ付きグループ内で選択項目を別のドキュメントに移動する場合は、選択項目を移動先のドキュメントのタブ上にドラッグしたままにしておきます。しばらくすると、ドキュメントが切り替わります。

  注意： 一部の製品では、この機能はサポートされていません。

パネルのドッキングとドッキング解除

ドックとは、複数のパネルまたはパネルグループの集合で、通常は縦方向に並べて表示されます。パネルのドッキングとドッキング解除は、パネルをドックの外側や内側に移動することによって行います。

- パネルをドッキングするには、そのタブをドックの上部、下部または他のパネルの間にドラッグします。
- パネルグループをドッキングするには、そのタイトルバー（タブの上にある、何も記述されていない単一色のバー）をドックにドラッグします。
- パネルまたはパネルグループをドックから解除するには、そのタブまたはタイトルバーをドックの外にドラッグします。そのまま他のドックにドラッグできるほか、ドッキングせずにフローティング状態にしておくこともできます。

パネルの移動

パネルを移動すると、移動可能な位置に青色でハイライトされたドロップゾーンが表示されます。例えば、ドックの内部でパネルを上下に移動して他のパネルの上または下に表示される細い青色のドロップゾーンまでドラッグすることで、ドック内部でのパネル位置を変更できます。ドロップゾーンではない位置にドラッグすると、パネルはワークスペースの中でフローティング状態になります。
注意： ドロップゾーンを有効にするのは、パネルの位置ではなく、マウスの位置です。ドロップゾーンが表示されない場合は、ドロップゾーンが表示されるはずの場所にマウスをドラッグしてみてください。

- パネルを移動するには、そのタブをドラッグします。
- パネルグループを移動するには、タイトルバーをドラッグします。

青色の細いドロップゾーンは、カラーパネルが単独でレイヤーパネルグループの上にドッキングされることを示します。
A. タイトルバー **B.** タブ **C.** ドロップゾーン

移動中のパネルがドッキングされないようにするには、移動中に Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押します。操作を途中でキャンセルするには、Esc キーを押します。

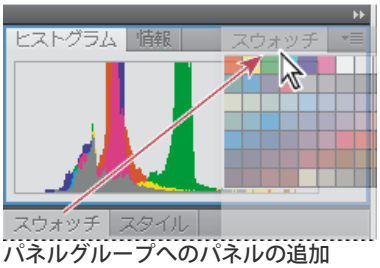
パネルの追加と削除

ドックにあるパネルをすべて削除すると、そのドックはなくなります。ドロップゾーンが表示されるまでパネルをワークスペースの右端に移動すると、ドックを作成できます。

- パネルを削除するには、パネルのタブを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して「閉じる」を選択するか、ウィンドウメニューでパネルの選択を解除します。
- パネルを追加するには、ウィンドウメニューでそのパネルを選択し、目的の場所にドッキングします。

パネルグループの操作

- パネルをグループに移動するには、グループ内のハイライトされたドロップゾーンにそのパネルのタブをドラッグします。

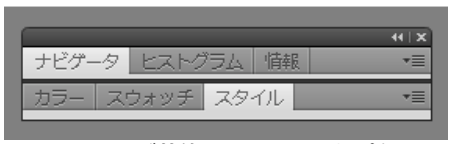


パネルグループへのパネルの追加

- グループの中でパネルを並べ替えるには、パネルのタブをグループ内の新しい場所までドラッグします。
- パネルをグループから解除してフローティング状態にするには、そのパネルのタブをグループ外部にドラッグします。
- グループを移動するには、タイトルバー（タブの上にある部分）をドラッグします。

フローティングパネルのスタック

ドック外部のドロップゾーン以外の場所にパネルをドラッグすると、そのパネルはフローティング状態になります。フローティングパネルはワークスペース内のどこにでも配置できます。フローティング状態のパネルまたはパネルグループをまとめてスタックすると、最前面のタイトルバーをドラッグしたときに全体を 1 つの単位として移動できます。



フローティング状態でスタックしたパネル

- フローティングパネルをスタックするには、そのタブを他のパネルの下端にあるドロップゾーンまでドラッグします。
- スタック順を変更するには、パネルのタブを前面方向または背面方向にドラッグします。

注意： このとき、タブを置く位置は、タイトルバーにある幅の広いドロップゾーンではなく、パネルとパネルの間にある幅の狭いドロップゾーンです。

- パネルまたはパネルグループをスタックから解除してフローティング状態にするには、そのタブまたはタブ領域（タブの横にある空の領域）あるいはタイトルバーをスタックの外にドラッグします。

パネルのサイズ変更

- パネル、パネルグループ、パネルのスタックを最小化または最大化するには、タブをダブルクリックするか、タブ領域（タブの横にある空の領域）をダブルクリックします。
- パネルのサイズを変更するには、パネルのいずれかの側をドラッグします。Photoshop のカラーパネルのように、ドラッグしてもサイズ変更できないパネルもあります。

パネルのアイコン化と展開

雑然としたワークスペースにならないように、パネルをアイコン化できます（あらかじめ用意されたワークスペースには、パネルが最初からアイコン化されているものもあります）。

アイコン化したパネル

アイコンから展開したパネル

- 列にあるすべてのパネルをアイコン化または展開するには、ドックの上端にある二重矢印をクリックします。
- 単独のパネルを展開するには、そのアイコンをクリックします。
- パネルアイコンのサイズを変更し、ラベルがないアイコンのみの表示にするには、テキストが表示されなくなるまでドックの幅を調整します。アイコンのテキストを再表示するには、ドックの幅を広くします。
- 展開したパネルを閉じるには、パネルのタブ、パネルのアイコンまたはパネルのタイトルバーにある二重矢印をクリックします。

  一部の製品では、インターフェイス環境設定またはユーザーインターフェイス環境設定で「自動的にアイコンパネル化」を選択している場合、展開したパネルの外側をクリックすると自動的にパネルが閉じられます。
- アイコンのドックにフローティングパネルまたはパネルグループを追加するには、そのパネルのタブまたはパネルグループのタイトルバーあるいはタブ領域をドックにドラッグします（アイコンで表示されているドックに追加したパネルは、自動的にアイコン化されます）。
- パネルアイコンまたはパネルアイコンのグループを移動するには、アイコンをドラッグします。パネルアイコンは、ドック内では上下にドラッグできます。他のドックへとドラッグして移動すると、ドラッグ先のドックのパネルスタイルで表示されるようになります。また、ドラッグしてドックの外に出すと、アイコンのままフローティング状態になります。

トップへ戻る

ワークスペースの保存と切り替え

現在のパネルのサイズと位置を名前の付いたワークスペースとして保存しておくと、パネルを移動したり閉じたりした後でも、そのワークスペースを呼び出すことができます。 保存したワークスペースの名前は、アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールに表示されます。

カスタムワークスペースの保存

1. 保存する設定のワークスペースで、以下のいずれかの手順に従います。
   - （Illustrator）ウィンドウ／ワークスペース／ワークスペースを保存を選択します。
   - （Photoshop、InDesign、InCopy）ウィンドウ／ワークスペース／新規ワークスペースを選択します。
   - （Dreamweaver）ウィンドウ／ワークスペースのレイアウト／新規ワークスペースを選択します。
   - （Flash）アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールから「新規ワークスペース」を選択します。
   - （Fireworks）アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールから「現在のレイアウトを保存」を選択します。
2. ワークスペースの名前を入力します。
3. （Photoshop、InDesign）「キャプチャ」で、以下のオプションを選択します（複数選択可）。

   パネルの位置 現在のパネルの位置を保存します（InDesign のみ）。

   ショートカットキー 現在のショートカットキーのセットを保存します（Photoshop のみ）。

   メニューまたはメニューのカスタマイズ 現在のメニューのセットを保存します。

ワークスペースの表示と切り替え

❖ アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールから、ワークスペースを選択します。

Photoshop では、各ワークスペースにショートカットキーを割り当てて、ワークスペースを容易に切り替えることができます。

カスタムワークスペースの削除

- アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールから「ワークスペースの管理」を選択し、ワークスペースを選択した後、削除あるいはワークスペースを削除アイコンをクリックします（このオプションは Fireworks では使用できません）。
- （Photoshop、InDesign、InCopy）ワークスペース切り替えコントロールから「ワークスペースを削除」を選択し、ワークスペースを選択した後、「削除」をクリックします。
- （Illustrator）ウィンドウ／ワークスペース／ワークスペースの管理を選択し、ワークスペースを選択した後、削除アイコンをクリックします。
- （Photoshop、InDesign）ウィンドウ／ワークスペース／ワークスペースを削除を選択し、ワークスペースを選択した後、「削除」をクリックします。

初期設定のワークスペースの復元

1. アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールから、「初期設定」または「標準」のワークスペースを選択します。Fireworks の場合は、http://www.adobe.com/devnet/fireworks/articles/workspace_manager_panel.html の記事を参照してください。

   注意： Dreamweaver では、初期設定のワークスペースは「デザイナー」です。
2. Fireworks（Windows）の場合は、次のフォルダーを削除します。
   Windows Vista ¥¥Users¥<username>¥AppData¥Roaming¥Adobe¥Fireworks CS4¥

   Windows XP ¥¥Documents and Settings¥<username>¥Application Data¥Adobe¥Fireworks CS4
3. （Photoshop、InDesign、InCopy）ウィンドウ／ワークスペース／[ワークスペース名] をリセットを選択します。

（Photoshop）保存されているワークスペースの構成の復元

Photoshop では、ワークスペースは自動的に前回の構成で表示されますが、保存されている最初のパネル構成を復元できます。

- 個々のワークスペースを復元するには、ウィンドウ／ワークスペース／ワークスペース名 をリセットを選択します。
- Photoshop でインストールされているすべてのワークスペースを復元するには、環境設定の「インターフェイス」で「初期設定のワークスペースに戻す」をクリックします。

アプリケーションバーのワークスペースの順序を変更するには、そのワークスペースをドラッグします。

トップへ戻る

タブ付きドキュメントの表示（Mac OS）

1 つのドキュメントウィンドウに複数のドキュメントを表示でき、各ドキュメントを示すタブが表示されます。フローティングワークスペースの一部として表示することもでき、このとき、ドキュメントはそれぞれ別のウィンドウに表示されます。

タブ付きドキュメントを別のウィンドウで開く

❖ Control キーを押しながらタブをクリックし、コンテキストメニューから「新規ウィンドウに移動」を選択します。

別々に表示されているドキュメントのタブ付きウィンドウへの統合

❖ ウィンドウ／タブとして統合を選択します。

タブ付きドキュメントの初期設定の変更

1. Dreamweaver／環境設定を選択し、「一般」カテゴリを選択します。
2. 「タブを使用してドキュメントを開く」をオンまたはオフにし、「OK」をクリックします。

   Dreamweaver では、環境設定を変更しても、現在開いているドキュメントの表示は変更されません。ただし、新しい環境設定を選択した後に開いたドキュメントは、選択した環境設定に従って表示されます。

トップへ戻る

カラーアイコンの表示

初期設定では、Dreamweaver CS4 以降のアイコンは白黒で表示され、マウスポインターを置くとカラーになります。カラーアイコンをオンにすると、マウスポインターを置かなくても常にアイコンがカラーで表示されるようになります。

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- 表示／カラーアイコンを選択します。
- 従来のワークスペースまたはコーダ—ワークスペースに切り替えます。

アイコンを白黒表示に戻すには、表示メニューで「カラーアイコン」をオフにするか、異なるワークスペースに切り替えます。

トップへ戻る

Dreamweaver 「ようこそ」画面の非表示と表示

Dreamweaver の起動時、および何もドキュメントが開いていないときは、「ようこそ」画面が表示されます。「ようこそ」画面を非表示にするように選択しておき、後で表示することも可能です。「ようこそ」画面を非表示にすると、開いているドキュメントがない場合にはドキュメントウィンドウは空白になります。

「ようこそ」画面の非表示

❖ 「ようこそ」画面で「次から表示しない」チェックボックスをオンにします。

「ようこそ」画面の表示

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 「一般」カテゴリで、「「ようこそ」画面を表示」オプションを選択します。

トップへ戻る

マルチユーザーシステムでの Dreamweaver のカスタマイズについて

Windows XP や Mac OS X などのマルチユーザーオペレーティングシステムであっても、ユーザーのニーズに合わせて Dreamweaver をカスタマイズすることができます。

Dreamweaver では、あるユーザーがカスタマイズした設定と、他のユーザーがカスタマイズした設定とが、互いに影響し合うことはありません。これは、マルチユーザーシステムで、ユーザーが初めて Dreamweaver を実行したときに、そのユーザー用の様々な設定ファイルのコピーが作成されるためです。これらのユーザー設定ファイルは、ユーザーのフォルダーに保存されます。

その場所は、例えば Windows XP では "C:¥Documents and Settings¥ユーザー名¥Application Data¥Adobe¥Dreamweaver¥ja_JP¥Configuration"（初期設定では隠しフォルダー）です。隠しファイルや隠しフォルダーが表示されるようにするには、Windows エクスプローラーでツール／フォルダーオプションを選択し、「表示」タブをクリックして、「すべてのファイルとフォルダーを表示する」オプションを選択します。

Windows Vista では、保存場所は "C:¥Users¥ユーザー名¥AppData¥Roaming¥Adobe¥Dreamweaver¥ja_JP¥Configuration"（初期設定では隠しフォルダー）です。隠しファイルや隠しフォルダーが表示されるようにするには、Windows エクスプローラーでツール／フォルダーオプションを選択し、「表示」タブをクリックして、「すべてのファイルとフォルダーを表示する」オプションを選択します。

Mac OS X では、保存場所はユーザーのホームフォルダー内、具体的には "Users/ユーザー名/Library/Application Support/Adobe/Dreamweaver/Configuration" です。

Dreamweaver を再インストールまたはアップグレードするときは、Dreamweaver によって既存のユーザー設定ファイルのバックアップコピーが自動的に作成されます。このため、手動でこれらのファイルをカスタマイズしていた場合でも、以前の変更内容を利用できます。

トップへ戻る

Dreamweaver の一般環境設定の設定

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 次のいずれかのオプションを設定します。
   タブを使用してドキュメントを開く ドキュメント間を切り替えることができるタブを使用して、単一のウィンドウ内ですべてのドキュメン

トを開きます（Mac OS のみ）。

「ようこそ」画面を表示 Dreamweaver「ようこそ」画面を表示します。Dreamweaver の起動時、または何もドキュメントが開いていないときに表示されます。

起動時にドキュメントを開く Dreamweaver の終了時に開いていたドキュメントが、次回の起動時に開きます。このオプションがオフの場合、Dreamweaver を起動すると、「「ようこそ」画面を表示」の設定に応じて、「ようこそ」画面と空白画面のいずれかが表示されます。

読み取り専用ファイルを開く際に警告する ロックされている読み取り専用ファイルを開いたときに、警告が表示されます。ファイルのロック解除およびチェックアウト、ファイルの表示、またはキャンセルから選択できます。

関連するファイルを有効にする 現在のドキュメントに関連するファイル（CSS ファイルや JavaScript ファイルなど）を表示できます。Dreamweaver では、ドキュメントの上部に関連するファイルごとのボタンが表示され、このボタンをクリックしてファイルを開くことができます。

動的関連ファイルの検索 動的関連ファイルを関連ファイルツールバーに自動的に表示するか、または手動操作の後で表示するかを選択できます。動的関連ファイルの検索を無効にすることもできます。

ファイルを移動するときにリンクを更新する サイト内でドキュメントの移動、名前の変更、または削除を行った場合の動作を決定します。この環境設定は、常にリンクを自動更新する、リンクを更新しない、および更新の実行を確認するのいずれかに設定できます （リンクの自動更新を参照してください）。

オブジェクト挿入中にダイアログを表示 挿入パネルまたは挿入メニューを使用してイメージ、テーブル、Shockwave ムービー、およびその他のオブジェクトを挿入するときに、Dreamweaver が追加情報の入力を求めるかどうかを決定します。このオプションをオフにするとダイアログボックスが表示されず、プロパティインスペクターを使用してイメージのソースファイル、テーブルの行数などを指定する必要があります。ロールオーバーイメージおよび Fireworks HTML の場合は、このオプションの設定にかかわらず、オブジェクトを挿入するときに必ずダイアログボックスが表示されます。この設定を一時的に無効にするには、オブジェクトの作成および挿入時に Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながらクリックします。

ダブルバイトのインライン入力可 日本語の文字など、ダブルバイトのテキストを使う開発環境や言語キットを使用している場合、ドキュメントウィンドウに直接ダブルバイトのテキストを入力できるようにします。このオプションを無効にすると、ダブルバイトテキストの入力と変換を行うテキストの入力ウィンドウが表示されます。テキストが確定されると、ドキュメントウィンドウに表示されます。

見出しの次の段落を標準スタイルに戻す デザインビューの見出し段落の終わりで Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押したときに、p タグが付いた新しい段落が作成されます（見出し段落とは、h1 や h2 などの見出しタグが付いている段落です）。オプションが無効になっている場合、見出し段落の終わりで Enter キーまたは Return キーを押すと、同じ見出しタグが付いている新しい段落が作成されます。続けて複数の見出しを入力し、戻って詳細を入力することもできます。

連続するスペースを入力可能にする デザインビュー内で 2 つ以上のスペースを入力すると、区切りなしスペースが作成され、ブラウザー内に複数のスペースとして表示されます （例えば、タイプライターのように、行間をダブルスペースにすることができます）。このオプションは、ワードプロセッサーでの入力に慣れている人向けに用意されています。このオプションが無効になっている場合、複数のスペースは単一のスペースとして扱われます。これは、ブラウザーでは複数のスペースが 1 つのスペースとして扱われるためです。

<b> と **<i>** の代わりに **** および **** を使用 Dreamweaver によって、strong タグが、通常は b タグが適用される操作を行ったときに適用されます。また、em タグも、通常は i タグが適用される操作を行ったときに適用されます。例えば、HTML モードのテキストのプロパティインスペクターで、ボールドやイタリックのボタンをクリックしたときや、フォーマット／スタイル／ボールドまたはフォーマット／スタイル／イタリックを選択したときなどに、この処理が行われます。b および i タグを使用する場合は、このオプションをオフにします。
注意： World Wide Web Consortium は、b および i タグの使用を推奨していません。これは、strong および em タグは、b および i よりも詳細な意味情報を提供するためです。

<p> または **<h1>** ～ **<h6>** タグ内に編集可能領域を配置する際に警告する 段落タグや見出しタグに編集可能領域がある Dreamweaver テンプレートを保存したときに、警告メッセージを表示するかどうかを指定します。このメッセージにより、その編集可能領域でそれ以上段落を作成できないことがわかります。初期設定では有効になっています。

中央揃え プロパティインスペクターの「中央揃え」ボタンをクリックしたとき、エレメントを中央に配置する方法として divalign="center" タグと center タグのいずれを使用するかを指定します。
注意： どちらの中央揃えの方法も HTML 4.01 仕様では公式に推奨されていません。テキストの中央揃えには CSS スタイルを使用する必要があります。どちらの方法も、XHTML 1.0 Transitional 仕様では技術的に有効ですが、XHTML 1.0 Strict 仕様では有効ではありません。

ヒストリステップの最大数 ヒストリパネルに表示されるステップ数を設定します。初期設定値は、ほとんどのユーザーに適した設定である必要があります。ヒストリパネルに設定されている数を超えると、最も古い手順から消去されます。

詳しくは、タスクの自動化を参照してください。

スペル辞書 使用可能なスペル辞書の一覧が表示されます。辞書に複数の方言やスペル規則（米語や英語など）がある場合は、スペル辞書ポップアップメニューに方言がそれぞれ表示されます。

トップへ戻る

Dreamweaver のドキュメントに対するフォント環境設定

ドキュメントのエンコードによって、ドキュメントがブラウザーにどのように表示されるかが決まります。Dreamweaver のフォントの環境設定を使用すると、指定したエンコード方法で特定のフォントおよびサイズを使用した場合の表示を確認できます。ただし、フォントの環境設定ダイアログボックスで選択したフォントは、Dreamweaver でのフォントの表示方法に影響するだけで、ユーザーのブラウザーでドキュメントを表示する

方法には影響しません。ブラウザーでのフォントの表示方法を変更するには、プロパティインスペクターを使用するか、CSS 規則を適用してテキストを変更する必要があります。

新規ドキュメントの初期設定のエンコードを指定する方法について詳しくは、ドキュメントを作成して開くを参照してください。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストで「フォント」を選択します。
3. フォント設定リストからエンコードの種類（「西ヨーロッパ言語」や「日本語」など）を選択します。
   注意： アジア言語を表示するには、ダブルバイトのフォントをサポートしているオペレーティングシステムを使用している必要があります。
4. 選択したエンコードの各カテゴリに使用するフォントとサイズを選択します。
   注意： コンピューターにインストールされていないフォントは、フォントポップアップメニューに表示されません。例えば、日本語のテキストを表示するには、日本語フォントがインストールされている必要があります。
   プロポーショナルフォント Dreamweaver が通常のテキスト（例えば、段落、見出し、およびテーブルのテキスト）の表示に使用するフォントです。初期設定は、システムにインストールされているフォントによって異なります。ほとんどの英語（U.S.）のシステムでは、Windows には「Times New Roman 12 pt （Medium）」、Mac OS には「Times 12 pt」が 初期設定されています。

   等幅フォント Dreamweaver が pre、code、および tt タグ内のテキストを表示するために使用するフォントです。初期設定は、システムにインストールされているフォントによって異なります。ほとんどの英語（U.S.）のシステムでは、Windows には「Courier New 10 pt （Small）」、Mac OS には「Monaco 12 pt」が 初期設定されています。日本語のシステムでは、Windows には「MS ゴシック 10pt（小）」、Mac OS には「Osaka-等幅 9pt（小）」が初期設定されています。

   コードビュー コードビューとコードインスペクターに表示されるすべてのテキストに使用されるフォントです。初期設定は、システムにインストールされているフォントによって異なります。

トップへ戻る

Dreamweaver のハイライトカラーのカスタマイズ

「ハイライト」環境設定では、テンプレートの領域、ライブラリ項目、サードパーティタグ、レイアウトエレメント、およびコードの識別用に Dreamweaver で使用されるカラーをカスタマイズできます。

ハイライトカラーの変更

1. 編集／環境設定を選択し、「ハイライト」カテゴリを選択します。
2. ハイライトカラーを変更するオブジェクトの横にあるカラーボックスをクリックし、カラーピッカーを使用して新しいカラーを選択するか、カラーの 16 進数値を入力します。

オブジェクトのハイライト表示の有効化または無効化

1. 編集／環境設定を選択し、「ハイライト」カテゴリを選択します。
2. ハイライトカラーを有効または無効にするオブジェクトの横にある「表示」オプションをオンまたはオフにします。

トップへ戻る

初期設定の環境設定に戻す

デフォルトの Dreamweaver 環境設定を復元する手順については、テクニカルノート 83912 を参照してください。

関連項目
ワークスペースのレイアウトの概要

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ドキュメントウィンドウでの作業

ドキュメントウィンドウでのビューの切り替え
ドキュメントウィンドウを並べて表示、または重ねて表示
ドキュメントウィンドウのサイズ変更
ウィンドウサイズと接続速度の設定
Dreamweaver のレポート

トップへ戻る

ドキュメントウィンドウでのビューの切り替え

ドキュメントウィンドウのドキュメントを表示するビューとしては、コードビュー、分割コードビュー、デザインビュー、コードビューとデザインビューの両方を表示する分割ビュー、およびライブビューがあります。分割コードビューや、コードおよびデザインの分割ビューを横または縦に表示することもできます。初期設定では、横に表示されます。

コードビューへの切り替え

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- 表示／コードを選択します。
- ドキュメントツールバーで、「コードビューの表示」ボタンをクリックします。

分割コードビューへの切り替え

分割コードビューは、ドキュメントを 2 つに分割し、それぞれのセクションに同時に作業ができるようにします。

❖ 表示／分割コードを選択します。

デザインビューへの切り替え

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- 表示／デザインを選択します。
- ドキュメントツールバーで、「デザインビューの表示」ボタンをクリックします。

コードビューおよびデザインビューの表示

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- 表示／コードとデザインを選択します。
- ドキュメントツールバーで、「コードビューとデザインビューの表示」ボタンをクリックします。

初期設定では、ドキュメントウィンドウの上部にコードビューが表示され、下部にデザインビューが表示されます。デザインビューを上に表示するには、ビュー／デザインビューを上に表示を選択します。

コードビューとデザインビューの切り替え

❖ Ctrl + バッククォートキー（`）を押します。

ドキュメントウィンドウに両方のビューが表示されている場合は、このキーボードショートカットを使用すると、キーボードのフォーカスがビュー間で移動します。

ビューを左右に分割

このオプションは、分割コードビューと、コードおよびデザインの分割ビューにのみ使用できます。コードビューとデザインビューに対しては無効になります。

1. 分割コードビュー（表示／分割コード）またはコードおよびデザインの分割ビュー（表示／コードとデザイン）であることを確認します。
2. 表示／左右に分割を選択します。

コードおよびデザインの分割ビューの場合は、デザインビューを左に表示するオプションを使用できます（表示／デザインビューを左に表示）。

トップへ戻る

ドキュメントウィンドウを並べて表示、または重ねて表示

一度にたくさんのドキュメントを開いている場合は、ドキュメントを重ねて表示、または並べて表示できます。

ドキュメントウィンドウを重ねて表示

❖ ウィンドウ／重ねて表示を選択します。

ドキュメントウィンドウを並べて表示

- （Windows）ウィンドウ／上下に並べて表示またはウィンドウ／左右に並べて表示を選択します。
- （Mac OS）ウィンドウ／並べて表示を選択します。

トップへ戻る

ドキュメントウィンドウのサイズ変更

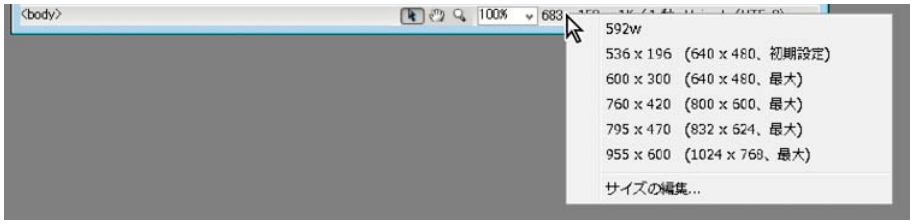
ステータスバーには、ドキュメントウィンドウの現在のサイズがピクセル単位で表示されます。特定のサイズで最適に表示されるページをデザインするには、ドキュメントウィンドウをあらかじめ設定されているサイズに合わせます。あらかじめ設定されているサイズを編集したり、サイズを作成することもできます。

デザインビューまたはライブビューでページのビューサイズを変更すると、ビューサイズだけが変化します。ドキュメントサイズは変化しません。

表示される選択肢には、あらかじめ定義されたサイズとカスタムサイズの他に、メディアクエリーで指定されたサイズが含まれています。いずれかのメディアクエリーに対応したサイズを選択すると、該当するメディアクエリーが表示に使用されます。また、ページの方向を変更すると、持ち方に応じてページレイアウトが変化するモバイルデバイスでの表示をプレビューできます。

あらかじめ設定されているサイズへのドキュメントウィンドウの調整

❖ ドキュメントウィンドウの下部にあるウィンドウサイズポップアップメニューからサイズを選択します。Dreamweaver CS5.5 以降では、以下で示すように、よく使用されるモバイルデバイスのサイズを含めサイズのリストが拡張されています。



表示されているウィンドウサイズは、枠線を含まないブラウザーウィンドウの内側のサイズを示します。モニターサイズまたはモバイルデバイスの一覧が左側に表示されます。

大まかにサイズを変更する場合は、ウィンドウの右下隅をドラッグするなど、オペレーティングシステムの標準の方法でウィンドウのサイズを変更します。

注意： （Windows のみ）ドキュメントウィンドウ内のドキュメントは初期設定で最大化表示されます。最大化されているドキュメントのサイズ変更はできません。最大化表示を解除するには、ドキュメントの右上隅にある最大化解除ボタン をクリックします。

ウィンドウサイズポップアップメニューに表示されている数値の変更

1. ウィンドウサイズポップアップメニューの「サイズの編集」を選択します。
2. ウィンドウサイズリストの幅または高さの値をクリックし、新しい値を入力します。

   ドキュメントウィンドウの高さは変えずに、幅のみを特定の値に調整するには、高さを選択して削除します。
3. 「詳細」ボックスをクリックし、サイズに関する説明を入力します。

ウィンドウサイズポップアップメニューへの新しいサイズの追加

1. ウィンドウサイズポップアップメニューの「サイズの編集」を選択します。
2. 「幅」列の最終値の下の空白をクリックします。
3. 「幅」と「高さ」の値を入力します。

   「幅」または「高さ」のいずれか一方を設定するには、一方のフィールドを空白にしておきます。
4. 「詳細」フィールドをクリックし、追加したサイズに関する説明を入力します。

   例えば、「SVGA」または「通常の PC」という説明を 800 x 600 ピクセルモニターのエントリの隣に入力し、「17 インチ Mac」という説明を 832 x 624 ピクセルモニターのエントリの隣に入力します。ほとんどのモニターは、ピクセル単位で調整することができます。

トップへ戻る

ウィンドウサイズと接続速度の設定

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「ステータスバー（CS5）」または「ウィンドウサイズ（CS5.5 以降）」を選択します。
3. 次のいずれかのオプションを設定します。
   ウィンドウサイズ ステータスバーのポップアップメニューに表示されるウィンドウサイズをカスタマイズできます。

   接続速度 ダウンロードサイズの計算に使用する接続速度（KB/秒）を決定します。ページのダウンロードサイズは、ステータスバーに表示されます。ドキュメントウィンドウでイメージを選択すると、そのイメージのダウンロードサイズがプロパティインスペクターに表示されます。
   注意： 接続スピードは、Dreamweaver CC 以降では削除されています。

トップへ戻る

Dreamweaver のレポート

Dreamweaver のレポートを実行して、コンテンツの検索、トラブルシューティング、またはコンテンツのテストを実行できます。次のタイプのレポートを作成できます。

「検索」 タグ、属性、およびタグ内の特定のテキストを検索できます。
リファレンス 作業の参考になるリファレンス情報を検索できます。
バリデーター コードまたはシンタックスのエラーをチェックできます。
ブラウザーの互換性 ドキュメント内の HTML をテストして、ターゲットブラウザーでサポートされていないタグや属性が使用されているかどうかをチェックします。
リンクチェック 破損リンク、外部リンク、および孤立リンクを検出して修正します。
サイトレポート サイトのワークフローの効率化と HTML 属性のテストを行います。ワークフローレポートには、チェックアウトユーザー、最近変更されたファイル、およびデザインノートのレポートがあり、HTML レポートには、結合可能なネストフォントタグ、アクセシビリティ、代替テキストなし、重複してネストされたタグ、削除可能な空のタグ、および無題ドキュメントのレポートがあります。
FTP ログ すべての FTP ファイル転送操作の内容を確認できます。
サーバーデバッグ Adobe® ColdFusion® アプリケーションをデバッグするための情報を表示できます。
注意： ColdFusion は、Dreamweaver CC 以降では削除されています。
関連項目
ドキュメントウィンドウの概要

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ツールバー、インスペクター、コンテキストメニューの使用

ツールバーの表示
プロパティインスペクターの使用
コンテキストメニューの使用

ツールバーの表示

トップへ戻る

ドキュメント関連操作および標準の編集操作を行うには、ドキュメントツールバーと標準ツールバーを使用します。コードをすばやく挿入するには、コーディングツールバーを使用します。別のメディアタイプでのページの外観を表示するには、スタイルレンダリングツールバーを使用します。必要に応じて、ツールバーの表示と非表示を切り替えることもできます。

- 表示／ツールバーを選択して、該当するツールバーを選択します。
- いずれかのツールバーを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、コンテキストメニューからツールバーを選択します。
  注意： コードインスペクター（ウィンドウ／コードインスペクター）でコーディングツールバーの表示と非表示を切り替えるには、インスペクターの上部にある 表示オプションポップアップメニューから「コーディングツールバー」を選択します。

プロパティインスペクターの使用

トップへ戻る

プロパティインスペクターでは、テキストや挿入されたオブジェクトなど、現在選択されているページエレメントの一般的なプロパティを確認および編集できます。プロパティインスペクターの内容は、選択したエレメントによって異なります。

特定のプロパティインスペクターに関するヘルプを参照するには、プロパティインスペクターの右上隅にあるヘルプボタンをクリックするか、プロパティインスペクターのオプションメニューから「ヘルプ」を選択します。

注意： 特定のタグのプロパティに関連するすべての属性を表示および編集するには、タグインスペクターを使用します。

プロパティインスペクターの表示または非表示

❖ ウィンドウ／プロパティを選択します。

プロパティインスペクターの展開または折りたたみ

❖ プロパティインスペクターの右下隅にある縮小の三角形をクリックします。

ページエレメントのプロパティの表示および変更

1. ドキュメントウィンドウ内のページエレメントを選択します。

   必要な場合は、プロパティインスペクターを展開して、選択したエレメントのすべてのプロパティを表示します。

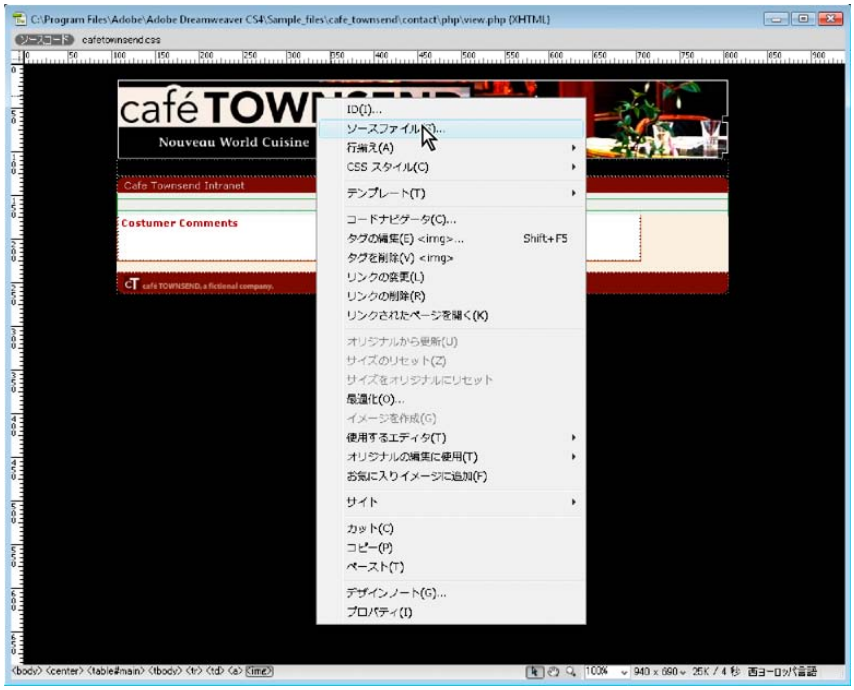
2. プロパティインスペクターで、目的のプロパティを変更します。
   注意： 特定のプロパティの情報については、ドキュメントウィンドウでエレメントを選択し、プロパティインスペクターの右上隅にあるヘルプアイコンをクリックします。
3. 変更がドキュメントウィンドウでただちに適用されない場合は、以下のいずれかの方法で変更を適用します。
   - プロパティを編集しているテキストフィールドの外側をクリックします。
   - Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。
   - Tab キーを押して別のプロパティに切り替えます。

コンテキストメニューの使用

トップへ戻る

コンテキストメニューを使用すると、現在の作業対象であるオブジェクトやウィンドウに関連する、有用なほとんどのコマンドとプロパティに容易にアクセスできます。コンテキストメニューには、現在の選択内容に関連するコマンドのみが表示されます。

1. オブジェクトまたはウィンドウを、右クリックするか（Windows）、Control キーを押しながらクリックします（Mac OS）。
2. コンテキストメニューからコマンドを選択します。



関連項目

[ドキュメントツールバーの概要]

[プロパティインスペクターでのテキストプロパティの設定]

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

挿入パネルの使用

挿入パネルには、テーブルおよびイメージなどのオブジェクトを作成し、挿入するためのボタンがあります。ボタンはいくつかのカテゴリーに編成されています。

挿入パネルの非表示と表示
特定カテゴリのボタンの表示
ボタンのポップアップメニューの表示
オブジェクトの挿入
オブジェクト挿入ダイアログボックスの非表示、および空のプレースホルダーオブジェクトの挿入
挿入パネルの環境設定の変更
挿入パネルの「お気に入り」カテゴリでの項目の追加、削除、または管理
「お気に入り」カテゴリのボタンを使用したオブジェクトの挿入
挿入パネルから水平「挿入」バー表示への変更
水平「挿入」バーからパネルグループ表示への変更
水平「挿入」バーのカテゴリのタブ表示
水平「挿入」バーのカテゴリのメニュー表示

注意： *Dreamweaver CC* 以降では、ユーザーインターフェイスが簡素化されています。そのため、この記事で説明されているオプションの一部が *Dreamweaver CC* 以降には存在しない場合があります。詳しくは、この記事を参照してください。

ページの先頭へ

挿入パネルの非表示と表示

- ウィンドウ／挿入を選択します。

  注意： *XML*、*JavaScript*、*Java*、*CSS* などの特定のタイプのファイルで作業している場合、挿入パネルとデザインビューのオプションは淡色表示になっています。これは、これらのコードファイルには項目を挿入できないためです。

ページの先頭へ

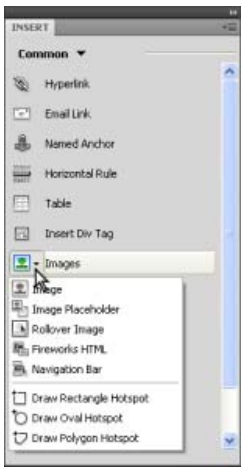
特定カテゴリのボタンの表示

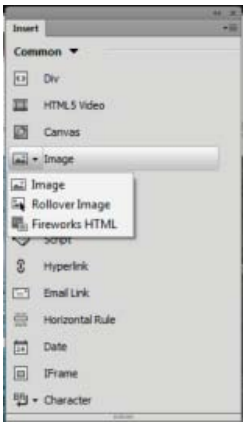
- カテゴリポップアップメニューからカテゴリ名を選択します。例えば、「レイアウト」カテゴリのボタンを表示するには「レイアウト」を選択します。

ページの先頭へ

ボタンのポップアップメニューの表示

- ボタンのアイコンの隣にある下向き矢印をクリックします。





Dreamweaver CC の挿入パネル

ページの先頭へ

オブジェクトの挿入

1. 挿入パネルのカテゴリポップアップメニューから、該当するカテゴリを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - オブジェクトボタンをクリックするか、ドキュメントウィンドウ（デザイン、ライブ、またはコードビュー）にボタンのアイコンをドラッグします。
   - ボタンの矢印をクリックし、メニューからオプションを選択します。

     オブジェクトによっては、対応するオブジェクト挿入ダイアログボックスが表示され、ファイルの参照、またはオブジェクトのパラメーターの指定を求めるメッセージが表示されます。あるいは、Dreamweaver によってコードがドキュメントに挿入されることや、コードの挿入前に情報を指定するようにタグエディターまたはパネルが表示されることもあります。

     オブジェクトによっては、デザインビューでオブジェクトを挿入した場合にダイアログボックスが表示されなくても、コードビューでオブジェクトを挿入した場合にはタグエディターが表示されることがあります。いくつかのオブジェクトでは、デザインビューにオブジェクトを挿入すると、オブジェクトを挿入する前に Dreamweaver がコードビューに切り替わります。

注意： 名前付きのアンカーなどの一部のオブジェクトは、ページをブラウザーウィンドウに表示しても表示されません。このような不可視オブジェクトの位置をマークするアイコンをデザインビューに表示することができます。

ページの先頭へ

オブジェクト挿入ダイアログボックスの非表示、および空のプレースホルダーオブジェクトの挿入

- オブジェクトのボタンを、Ctrl キーを押しながらクリックするか（Windows）、Option キーを押しながらクリックします（Mac OS）。

  例えば、イメージファイルを指定せずにイメージのプレースホルダーを挿入するには、Ctrl キーまたは Option キーを押しながら「イメージ」ボタンをクリックします。

  注意： この手順を使用しても、すべてのオブジェクト挿入ダイアログボックスが表示されなくなるわけではありません。*AP* エレメントやフレームセットなど多くのオブジェクトでは、プレースホルダーまたは初期設定値のオブジェクトは挿入されません。

ページの先頭へ

挿入パネルの環境設定の変更

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 環境設定ダイアログボックスの「一般」カテゴリで、イメージ、テーブル、スクリプト、およびヘッドエレメントなどのオブジェクトを挿入するときにダイアログボックスが表示されないようにするには、「オブジェクト挿入中にダイアログを表示」をオフにするか、または Ctrl キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押したままオブジェクトを作成します。

   このオプションをオフにしてオブジェクトを挿入すると、オブジェクトに初期設定の属性値が与えられます。オブジェクトの挿入後に、オブジェクトのプロパティを変更するには、プロパティインスペクターを使用します。

ページの先頭へ

挿入パネルの「お気に入り」カテゴリでの項目の追加、削除、または管理

1. 挿入パネル内の任意のカテゴリを選択します。
2. ボタンが表示される領域を右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「お気に入りのカスタマイズ」を選択します。
3. お気に入りオブジェクトのカスタマイズダイアログボックスで、必要に応じた変更を加え、「OK」をクリックします。
   - オブジェクトを追加するには、左側の使用可能なオブジェクトペインでオブジェクトを選択して 2 つのペイン間の矢印をクリックする

か、使用可能なオブジェクトペインのオブジェクトをダブルクリックします。

注意： *1* 回の操作で *1* つのオブジェクトを追加できます。「一般」などのカテゴリ名を選択して、カテゴリ全体をお気に入りリストに追加することはできません。

- オブジェクトまたは区切りを削除するには、右側のお気に入りオブジェクトペインでオブジェクトを選択し、ペインの上にある「お気に入りオブジェクトリストから選択したオブジェクトを削除します」ボタンをクリックします。
- オブジェクトを移動するには、右側のお気に入りオブジェクトペインのオブジェクトを選択し、ペインの上にある上矢印または下矢印ボタンをクリックします。
- オブジェクトの下に区切りを追加するには、右側のお気に入りオブジェクトペインのオブジェクトを選択し、ペインの下にある「区切りを追加」ボタンをクリックします。

4. 挿入パネルの現在のカテゴリが「お気に入り」ではない場合は、「お気に入り」カテゴリを選択して変更を確認します。

ページの先頭へ

「お気に入り」カテゴリのボタンを使用したオブジェクトの挿入

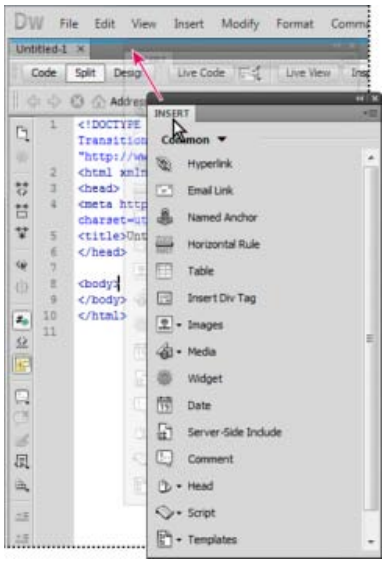
- 挿入パネルのカテゴリポップアップメニューから「お気に入り」カテゴリを選択し、追加したオブジェクトに対応するボタンをクリックします。

ページの先頭へ

挿入パネルから水平「挿入」バー表示への変更

Dreamweaver の他のパネルとは異なり、挿入パネルは初期設定のドッキング位置からドキュメントウィンドウ上部の水平位置ににドラッグ＆ドロップすることができます。この場合、挿入パネルはツールバーに変わります。ただし、他のツールバーと同じ方法で表示と非表示を切り替えることはできません。

1. 挿入パネルのタブをクリックし、ドキュメントウィンドウの上端にドラッグします。



2. ドキュメントウィンドウの上辺に青色の水平線が表示されたら、その場所に 挿入パネルをドロップします。

注意： 従来のワークスペースでは、水平「挿入」バーが初期設定で表示されます。従来のワークスペースに切り替えるには、アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールから「従来のワークスペース」を選択します。

ページの先頭へ

水平「挿入」バーからパネルグループ表示への変更

1. 水平「挿入」バーのつまみ（左端部分）をクリックし、パネルをドッキングする位置までバーをドラッグします。
2. 挿入パネルの位置を決めてドロップします。パネルのドロップ先の位置は、青色の線で示されます。

ページの先頭へ

水平「挿入」バーのカテゴリのタブ表示

- 水平「挿入」バーの左端にあるカテゴリ名の横の矢印をクリックし、「タブとして表示」を選択します。

ページの先頭へ

水平「挿入」バーのカテゴリのメニュー表示

- 水平「挿入」バーのカテゴリタブを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、「メニューとして表示」を選択します。

アドビは次の機能も推奨します。

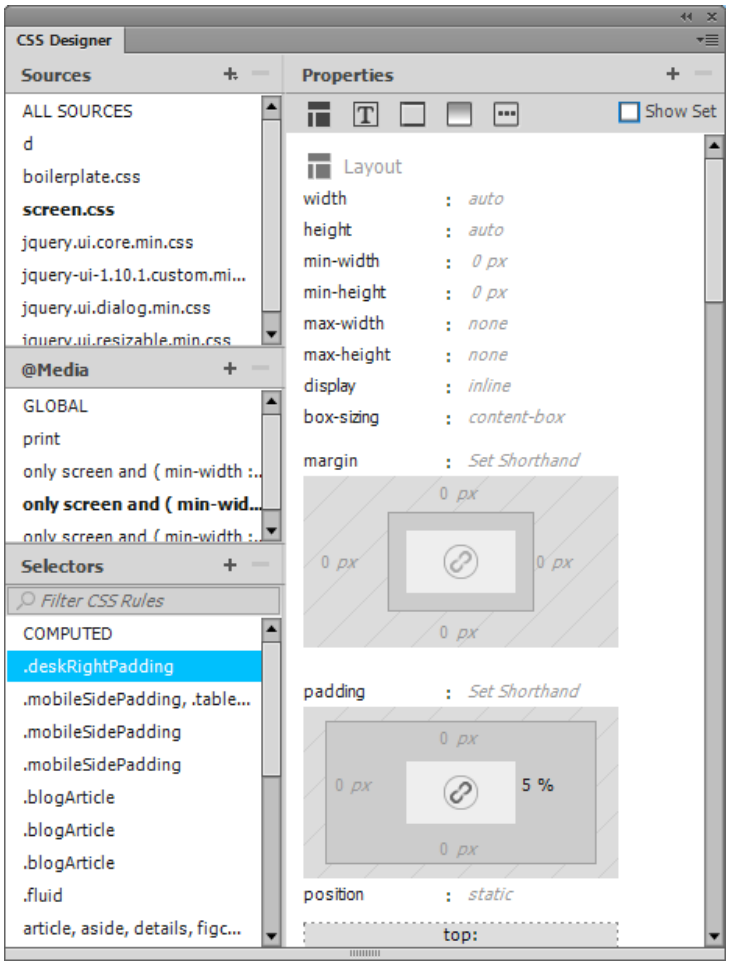
- 挿入パネルの概要

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS デザイナーパネル

CSS デザイナーパネル（Windows／CSS デザイナー）は、CSS スタイル、ファイル、設定済みプロパティ、メディアクエリーを「視覚的」に作成できる CSS プロパティインスペクターです。



CSS デザイナーパネル

注意： *CSS* デザイナーで実行するすべての操作は、取り消したり（*Ctrl/Command + Z*）、やり直す（*Ctrl/Command + Y*）ことができます。ライブビューの変更は自動的に反映され、関連する *CSS* ファイルも更新されます。関連ファイルが変更されたことを知らせるために、影響を受けるファイルのタブがしばらくの間、強調表示されます（約 *8* 秒）。

スタイルシートの作成と添付
メディアクエリーの定義
CSS セレクターの定義
  スタイルのコピー＆ペースト
CSS プロパティの設定
  マージン、余白、位置の設定
  境界線のプロパティを設定
  プロパティの無効化または削除
  ショートカットキー
CSS セレクターに関連付けられたページエレメントの特定（13.1）
  ライブハイライトを無効にする

参照項目

- CSS を使用したページのレイアウト
- CSS3 トランジション効果

CSS デザイナーパネルは、次のペインで構成されています。

ソース ドキュメントに関連付けられているすべての CSS スタイルシートが一覧表示されます。このペインを使用して、CSS を作成してドキュメントに添付したり、ドキュメント内でスタイルを定義したりできます。

@Media ソースペインで選択したソースのすべてのメディアクエリーが一覧表示されます。特定の CSS を選択しない場合は、ドキュメントに関連付けられているすべてのメディアクエリーが表示されます。

セレクター ソースペインで選択したソースのすべてのセレクターが一覧表示されます。メディアクエリーも選択した場合は、そのメディアクエリーのセレクターだけが一覧表示されます。CSS もメディアクエリーも選択しない場合は、ドキュメントのすべてのセレクターが表示されます。

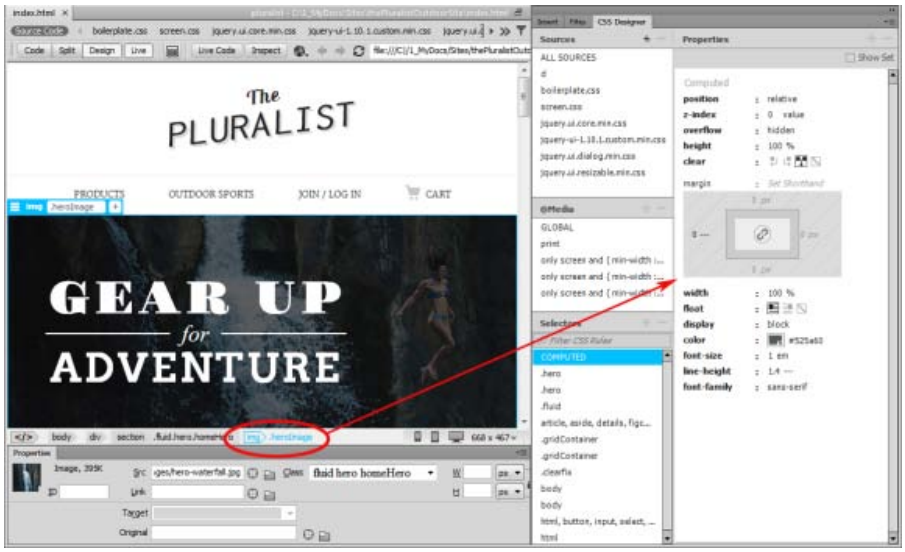
@Media ペインで「グローバル」を選択すると、選択されたソースのメディアクエリーに含まれていないすべてのセレクターが表示されます。

プロパティ 指定したセレクターに設定できるプロパティが表示されます。詳しくは、「設定済みプロパティ」を参照してください。

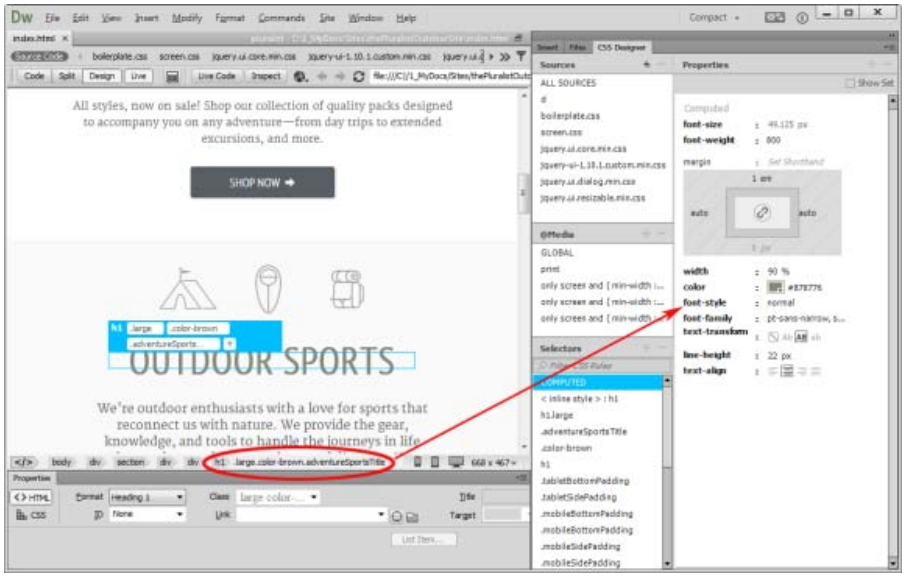
CSS デザイナーは状況依存型です。つまり、特定のコンテキストまたは選択されているページエレメントについて、関連するセレクターとプロパティを表示できることを意味します。また、CSS デザイナーでセレクターを選択すると、関連するソースおよびメディアクエリーがそれぞれのペインで強調表示されます。

ビデオチュートリアル

- CSS デザイナーパネルを使って Web ページにスタイルを追加



ライブビューで選択されたイメージのプロパティを表示する *CSS* デザイナー



ライブビューで選択された見出しのプロパティを表示する *CSS* デザイナー

注意： ページエレメントを選択すると、セレクターペインで「計算済み」が選択されます。セレクターをクリックすると、関連するソース、メディアクエリーまたはプロパティが表示されます。

すべてのセレクターを表示するには、ソースペインで「すべてのソース」を選択します。選択されたソースのどのメディアクエリーにも属さないセレクターを表示するには、@Media ペインの「グローバル」をクリックします。

ビデオチュートリアル

- CSS デザイナーパネルの使用

ページの先頭へ

スタイルシートの作成と添付

1. CSS デザイナーパネルのソースパネルで ＋ をクリックし、次のいずれかのオプションをクリックします。
   - 新規 CSS ファイルを作成：新規 CSS ファイルを作成し、ドキュメントに添付します。
   - 既存の CSS ファイルを添付：既存の CSS ファイルをドキュメントに添付します。
   - ページで定義：ドキュメント内で CSS を定義します。

   選択したオプションに応じて、新規 CSS ファイルを作成または既存の CSS ファイルを添付ダイアログボックスが表示されます。
2. 「参照」をクリックして、CSS ファイルの名前を指定し、CSS を作成する場合は新しいファイルの保存場所も指定します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 「リンク」をクリックして、Dreamweaver ドキュメントと CSS ファイルをリンクさせます。
   - 「読み込み」をクリックして、CSS ファイルをドキュメントに読み込みます。
4. （オプション）「条件付き使用」をクリックし、CSS ファイルに関連付けるメディアクエリーを指定します。

ページの先頭へ

メディアクエリーの定義

1. CSS デザイナーパネルのソースペインで CSS ソースをクリックします。
2. @Media ペインで ＋ をクリックして、新しいメディアクエリーを追加します。

   メディアクエリーの定義ダイアログボックスが表示され、Dreamweaver でサポートされているすべてのメディアクエリーの条件が一覧表示されます。
3. 必要に応じて「条件」を選択します。メディアクエリーについて詳しくは、この記事を参照してください。

   選択したすべての条件に有効な値を指定します。有効な値が指定されていないと、対応するメディアクエリーが正しく作成されません。

   注意： 現在複数の条件で「*And*」演算がサポートされています。

メディアクエリーの条件をコードで追加する場合、メディアクエリーの定義ダイアログボックスにはサポートされている条件だけが表示されます。ただし、ダイアログボックスの「コード」テキストボックスには、完全なコードが表示されます（サポートされていない条件も含む）。

デザイン／ライブビューのメディアクエリーをクリックすると、ビューポートが選択したメディアクエリーと一致するように切り替わります。ビューポート全体を表示するには、@Media ペインで「グローバル」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS セレクターの定義

1. CSS デザイナーのソースペインで CSS ソースを選択するか、@Media ペインでメディアクエリーを選択します。
2. セレクターペインで ＋ をクリックします。ドキュメントで選択したエレメントに応じて、関連するセレクター（最大 3 つのルール）がすみやかに特定され、CSS デザイナーに表示されます。

   次のうち、必要な操作を行うことができます。
   - 推奨されるセレクターを詳細化または省略化するには、上向き矢印キーまたは下向き矢印キーを使用します。
   - 推奨されるルールを削除するには、目的のセレクターを入力します。セレクターの名前とともにセレクタータイプの記号を入力します。例えば、ID を指定する場合、セレクターの名前の前に「#」を置きます。
   - 特定のセレクターを検索するには、ペインの上部にある検索ボックスを使用します。
   - セレクターの名前を変更するには、セレクターをクリックし、目的の名前を入力します。
   - セレクターの構成を変更するには、セレクターを目的の場所にドラッグします。
   - セレクターを別のソースに移動するには、セレクターをソースペインの目的のソースにドラッグします。
   - 選択したソースのセレクターを複製するには、セレクターを右クリックし、「複製」をクリックします。
   - セレクターを複製してメディアクエリーに追加するには、セレクターを右クリックし、「メディアクエリーに複製」上にマウスを移動し

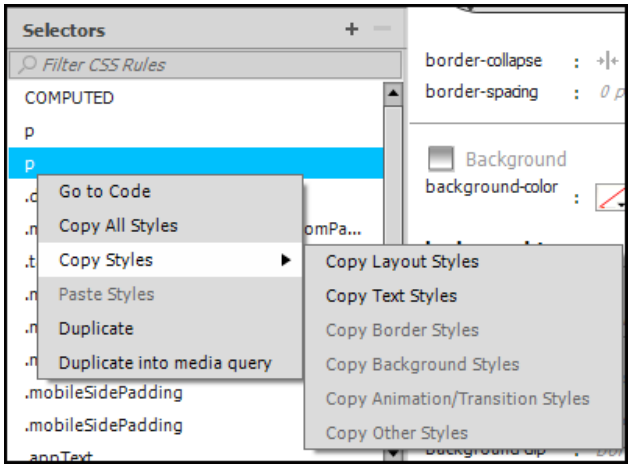
てから、メディアクエリーを選択します。

注意：「メディアクエリーに複製」オプションは、選択したセレクターのソースにメディアクエリーが含まれる場合にのみ使用できます。セレクターをあるソースから別のソースのメディアクエリーに複製することはできません。

スタイルのコピー＆ペースト

1 つのセレクターから別のセレクターに、スタイルをコピーしてペーストできます。すべてのスタイルをコピーすることも、レイアウト、テキスト、境界線などの特定のスタイルのカテゴリーのみコピーすることもできます。

セレクターを右クリックし、使用可能なオプションから選択します。



CSS デザイナーを使用したスタイルのコピー

- セレクターにスタイルが存在しない場合、「スタイルをコピー」および「すべてのスタイルをコピー」は無効になります。
- 編集できないリモートサイトでは、「スタイルをペースト」は無効ですが、「スタイルをコピー」および「すべてのスタイルをコピー」は使用できます。
- セレクターに既に部分的に存在するスタイル（オーバーラップ）はペーストできます。すべてのセレクターの Union はペーストされます。
- スタイルのコピー/ペーストは、異なるリンケージの CSS ファイル（読み込み、リンク、インラインスタイル）で使用できます。

ページの先頭へ

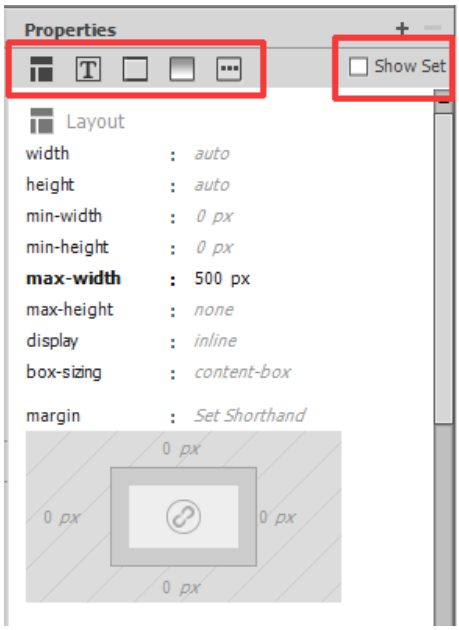
CSS プロパティの設定

プロパティは次のカテゴリーにグループ化され、プロパティペインの上部に異なるアイコンで表示されます。

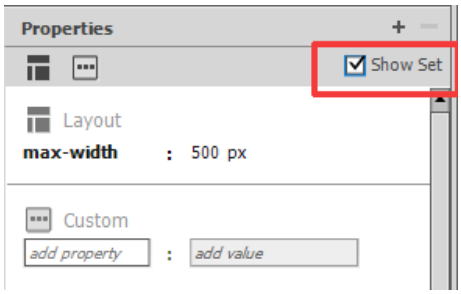
- レイアウト
- テキスト
- 境界線
- 背景
- その他（「テキストのみ」のプロパティの一覧など。視覚的なコントロールのあるプロパティは含まれません。）

注意： *CSS* セレクターのプロパティを編集する前に、リバースインスペクトを使用して *CSS* セレクターに関連付けられているエレメントを特定してください。これにより、リバースインスペクト中に強調表示されたすべてのエレメントに実際に変更が必要かどうかを判断できます。リバースインスペクトについて詳しくは、リンクを参照してください。

「セットを表示」チェックボックスを選択すると、設定済みプロパティだけが表示されます。セレクターに指定できるすべてのプロパティを表示するには、「セットを表示」チェックボックスの選択を解除します。



すべてのプロパティ



設定済みプロパティのみ

`width` や `border-collapse` などのプロパティを設定するには、プロパティペインでプロパティの横に表示されている必要なオプションをクリックします。グラデーションの背景またはボックスコントロール（マージン、余白、位置など）の設定については、以下のリンクを参照してください。

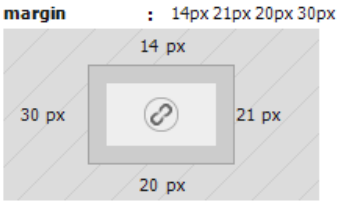
- マージン、余白および位置の設定
- 背景へのグラデーションの適用
- フレキシブルボックスレイアウトの使用

上書きされたプロパティは、取り消し線で示されます。

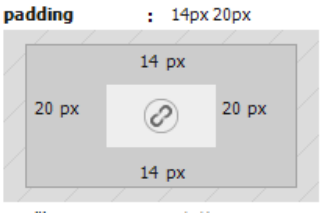
上書きされたプロパティの取り消し線

マージン、余白、位置の設定

CSS デザイナーのプロパティペインで、ボックスコントロールを使用してマージン、余白、および位置の各プロパティをすばやく設定できます。コードを使用する場合は、クイック編集ボックスでマージンや余白のショートハンドコードを指定できます。



'margin' プロパティ

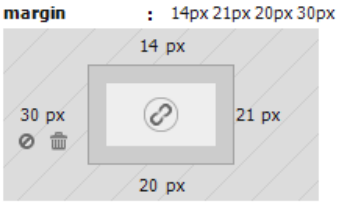


'padding' プロパティ

'position' プロパティ

値をクリックして必要な値を入力します。4 つの値をすべて同時に同じ値に変更する場合は、中央にあるリンクアイコン（）をクリックします。

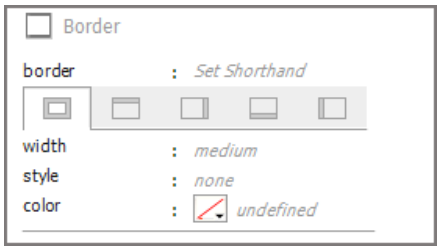
特定の値をいつでも無効化（）または削除（）できます。例えば、右と上下のマージンの値は維持したまま左マージンの値を無効化または削除できます。



マージンの無効化、削除、およびリンクアイコン

境界線のプロパティを設定

境界線のコントロールプロパティは、プロパティをすばやく表示または変更できるように、論理的なタブにまとめられています。

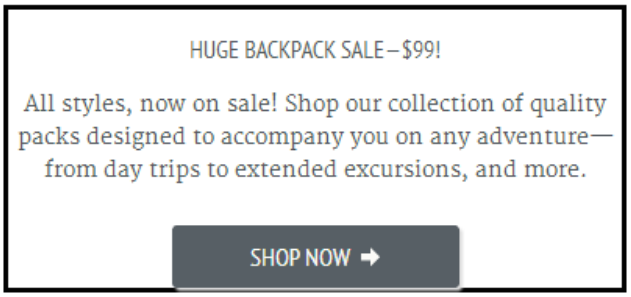


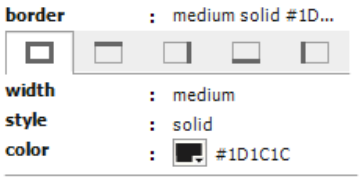
コードを使用する場合は、クイック編集テキストボックスで境界線や境界線の半径のショートハンドコードを指定できます。

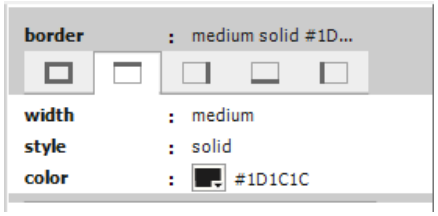
境界線のコントロールプロパティを指定するには、まず「すべての辺」タブでプロパティを設定します。他のタブが有効になり、個々の境界線に「すべての辺」タブで設定されたプロパティが反映されます。

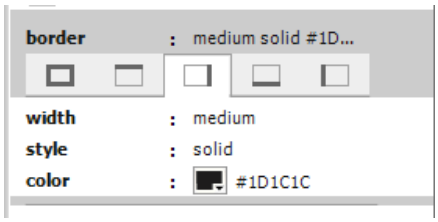
「個々の境界線」タブのプロパティを変更すると、「すべての辺」タブの対応するプロパティの値が「未定義」（初期設定値）に変わります。

次の例では、境界線の色が黒に設定されてから、上の境界線の色が赤に変更されています。

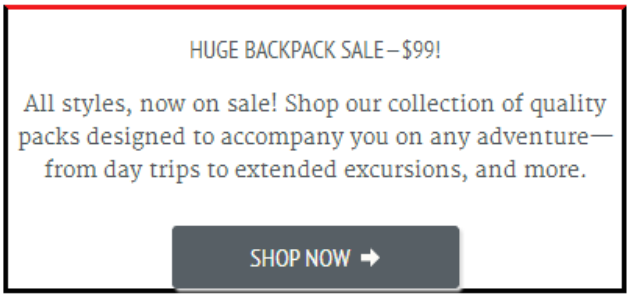


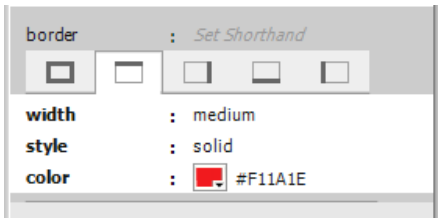


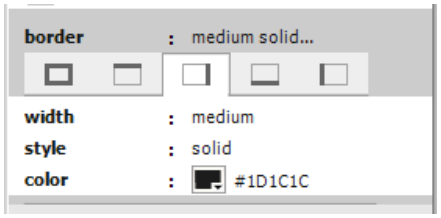




すべての辺の境界線の色を黒に設定

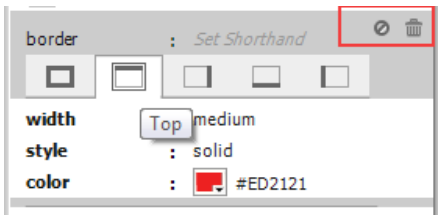


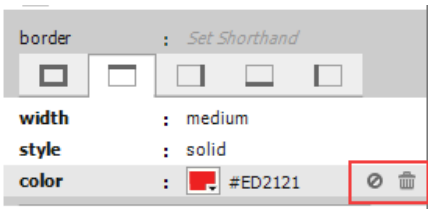




挿入されるコードは、ショートハンドまたは長い形式の環境設定値に基づいています。

Dreamweaver CC 2014 以前では個々のプロパティに対して削除コントールや無効化コントロールを使用できましたが、今回のバージョンでは、境界線コントロールグループレベルで削除コントールや無効化コントロールを使用して、これらのアクションをすべてのプロパティに適用できるようになりました。





インスペクト中は、タブは「設定」タブの優先度に基づいてフォーカスが置かれます。優先度は高い順に、「すべての辺」、「上」、「右」、「下」、「左」です。例えば、境界線に一番大きい値を設定すると「すべての辺」タブが設定されないため、計算モードで「上」タブにフォーカスが置かれ、「すべての辺」タブは無視されます。

プロパティの無効化または削除

CSS デザイナーパネルで、各プロパティを無効化または削除できます。次のスクリーンショットは、`width` プロパティの無効化（⊘）および削除（🗑）アイコンを示しています。プロパティにマウスカーソルを合わせると、これらのアイコンが表示されます。

プロパティの無効化／削除

ショートカットキー

キーボードショートカットを使用して、CSS セレクターおよびプロパティを追加または削除できます。また、プロパティペインでプロパティグループ間を移動することもできます。

ショートカット	ワークフロー
CTRL + Alt + [Shift =] キー	セレクターを追加（コントロールがセレクターセクションにある場合）
CTRL + Alt + S キー	セレクターを追加（コントロールがアプリケーションの任意の場所にある場合）
CTRL + Alt + [Shift =] キー	プロパティを追加（コントロールがプロパティセクションにある場合）
CTRL + Alt + P キー	プロパティを追加（コントロールがアプリケーションの任意の場所にある場合）
Select + Delete キー	セレクターを削除（セレクターが選択されている場合）
CTRL + Alt + （PgUp または PgDn）キー	コントロールがプロパティサブパネルにある場合のセクション間のジャンプ

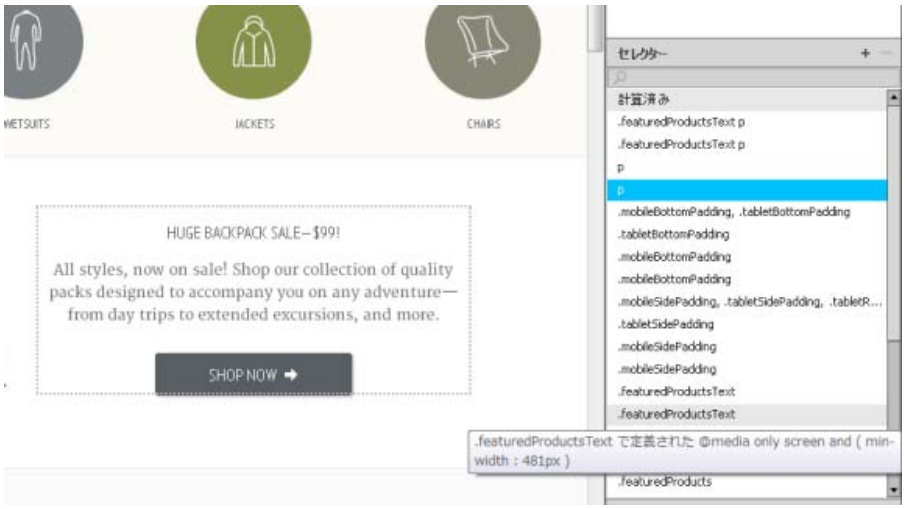
ページの先頭へ

CSS セレクターに関連付けられたページエレメントの特定（13.1）

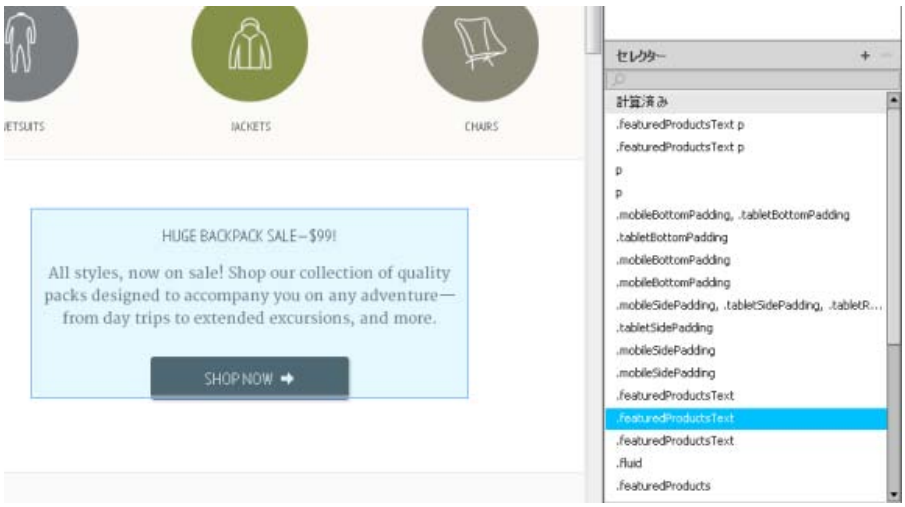
通常、単一の CSS セレクターは複数のページエレメントと関連付けられます。例えば、ページ、ヘッダー、フッターテキストのメインコンテンツのテキストはすべて、同一の CSS セレクターと関連付けることができます。CSS セレクターのプロパティを編集すると、セレクターに関連付けられたすべてのエレメントに反映されます。これには、変更する必要のないエレメントも含まれます。

ライブハイライトを使用すると、CSS セレクターに関連付けられているすべてのエレメントを識別できます。1 つのエレメントのみまたは複数のエレメントを変更する場合は、これらのエレメント用に新しい CSS セレクターを作成してから、プロパティを編集します。

CSS セレクターに関連付けられたページエレメントを特定するには、ライブビュー（ライブコードを「オフ」に設定）のセレクターの上にマウスポインターを置きます。関連付けられているエレメントが点線で強調表示されます。



エレメントの強調表示を確定するには、セレクターをクリックします。エレメントが青い枠線で強調表示されます。



エレメントの青い強調表示を削除するには、再度セレクターを選択します。

注意： 次の表は、ライブハイライトを使用できないシナリオを示します。

モード	ライブコード	ライブハイライトが表示されるか?
コード	該当しません	該当しません
デザイン	該当しません	該当しません
ライブ	オン （ボタンが押された状態）	いいえ

ライブハイライトを無効にする

ライブハイライトは初期設定で有効になっています。ライブハイライトを無効にするには、ドキュメントツールバーでライブビューオプションをクリックし、「ライブハイライトを無効にする」をクリックします。

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

コーディング環境の設定

コード指向のワークスペースの使用
コードの表示
キーボードショートカットのカスタマイズ
初期設定でファイルをコードビューで開く

コード指向のワークスペースの使用

トップへ戻る

Dreamweaver のコーディング環境は、自分の操作方法に合わせてカスタマイズすることができます。例えば、コードの表示方法を変更したり、異なるキーボードショートカットを設定したりできます。または、好みのタグライブラリを読み込んで使用することも可能です。

Dreamweaver には、効率的なコーディング作業のためにデザインされたいくつかのワークスペースレイアウトが用意されています。アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールで、開発者 1、開発者 2、コーダー、およびコーダー 2 のいずれかのワークスペースを選択できます。これらのワークスペースはいずれも、コードビューが表示され（ドキュメントウィンドウ全体に、またはコードおよびデザインの分割ビューとして）、画面の左側にパネルがドッキングされた状態が初期設定です。開発者 2 以外のワークスペースでは、初期設定のビューにプロパティインスペクターは表示されません。

デザイン済みワークスペースでは実際のニーズを十分に満たせない場合、パネルの表示やドッキングを変更して独自のワークスペースレイアウトを作成し、カスタムワークスペースとして保存できます。

コードの表示

トップへ戻る

現在のドキュメントのソースコードを表示するには、いくつかの方法があります。コードをドキュメントウィンドウに表示するには、コードビューを有効にします。ドキュメントウィンドウを分割すると、ページとそれに関連するコードの両方を表示できます。また、独立したコーディングウィンドウであるコードインスペクターを使用して編集することもできます。コードインスペクターは、コードビューと同じように機能するので、現在のドキュメントの分離可能なコードビューとして考えることができます。

ドキュメントウィンドウでのコードの表示

❖ 表示／コードを選択します。

ドキュメントウィンドウでのコーディングとページ編集の同時進行

1. 表示／コードとデザインを選択します。

   上のペインにコード、下のペインにページが表示されます。

2. ページを上部に表示するには、ドキュメントツールバーの表示オプション／デザインビューを上に表示を選択します。
3. ドキュメントウィンドウ内のペインのサイズを調整するには、分割バーを目的の位置までドラッグします。分割バーは、2 つのペインの間にあります。

   デザインビューで変更を加えると、コードビューが自動的に更新されます。ただし、コードビューで変更を加えた場合は、デザインビューのドキュメントを手動で更新する必要があります。デザインビューをクリックするか、F5 キーを押してください。

コードインスペクターによる別ウィンドウでのコードの表示

コードインスペクターを使用すると、コードビューで実行できるのと同じ作業を独立したコーディングウィンドウで行うことができます。

❖ ウィンドウ／コードインスペクターを選択します。ツールバーには、次のオプションが表示されます。
ファイル管理 ファイルを PUT または GET します。
ブラウザーでプレビュー/デバッグ ドキュメントをブラウザーでプレビューまたはデバッグできます。
デザインビューの更新 デザインビューでドキュメントを更新し、コードに対する変更内容を反映します。コードに対する変更内容は、ファイルの保存や、このボタンのクリックなどの操作を実行しない限り、デザインビューに自動的には反映されません。
リファレンス リファレンスパネルを開きます。詳しくは、言語リファレンス資料の使用を参照してください。
コードのナビゲーション コード内をすばやく移動できます。詳しくは、JavaScript または VBScript の関数へのジャンプを参照してください。
表示オプション コードの表示方法を指定できます。詳しくは、コードの表示方法の設定を参照してください。
ウィンドウの左端に沿ったコーディングツールバーの使用方法については、コーディングツールバーでのコードの挿入を参照してください。

キーボードショートカットのカスタマイズ

トップへ戻る

Dreamweaver では、好みのキーボードショートカットを使用できます。特定のキーボードショートカットによる操作（例えば、Shift + Enter で改行を挿入、Ctrl + G でコード内の特定の位置に移動）に慣れている場合は、キーボードショートカットエディターを使用してそのショートカットを Dreamweaver に追加することができます。

操作方法については、キーボードショートカットをカスタマイズするを参照してください。

トップへ戻る

初期設定でファイルをコードビューで開く

HTML が通常記述されていないタイプのファイル（JavaScript ファイルなど）を開くと、このファイルはデザインビューではなくコードビュー（またはコードインスペクター）に表示されます。コードビューでどのファイルタイプを開くかを指定することができます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「ファイルタイプ/エディター」を選択します。
3. 「コードビューで開く」ボックスに、自動的にコードビューで開くファイルタイプの拡張子を追加します。

   各拡張子の間にはスペースを入れます。入力できる拡張子の数に制限はありません。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

コーディングの環境設定

コーディングの環境設定について
コードの表示方法の設定
コードフォーマットの変更
コードの書き換えの環境設定
コードカラーリングの設定
外部エディターの使用

コーディングの環境設定について

トップへ戻る

特定のニーズに合わせて、コードフォーマットやコードカラーリングなど、コーディングに関する各種の環境設定を指定できます。

注意： 高度な環境設定を行うには、タグライブラリエディターを使用します（詳しくは、タグライブラリの管理を参照してください）。

コードの表示方法の設定

トップへ戻る

ワードラップの設定、コードの行番号の表示、無効なコードのハイライト表示、コードエレメントのシンタックスカラーリングの設定、インデントの設定、非表示の文字の表示は、表示／コードビューオプションメニューから行います。

1. コードビューまたはコードインスペクターでドキュメントを表示します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 表示／コードビューオプションを選択します。
   - コードビューまたはコードインスペクターの上部にあるツールバーで「表示オプション」ボタン をクリックします。
3. 必要に応じて以下のオプションを選択または選択解除します。
   ワードラップ コードがウィンドウ幅に合わせて折り返され、水平方向にスクロールすることなく参照できるようになります。これはコードを見やすくするための機能で、実際に改行が挿入されるわけではありません。

   行番号 コードの横に行番号を表示します。

   非表示の文字 ホワイトスペースの代わりに特殊文字を表示します。例えば、スペースはドットに置き換わり、タブは二重山カッコに置き換わり、改行は段落マーカーに置き換わります。
   注意： ワードラップ用に Dreamweaver で表示されるソフト改行は、段落マーカーと一緒には表示されません。

   無効なコードをハイライト表示 Dreamweaver により、無効な HTML コードをすべて黄色でハイライト表示します。無効なタグを選択すると、エラーの修正方法に関する情報がプロパティインスペクターに表示されます。

   シンタックスカラーリング コードの色付けを有効または無効にします。カラーリングスキームの変更方法については、コードカラーリングの設定を参照してください。

   自動インデント コードの入力中に Enter キーが押されたときに、コードを自動的にインデント表示します。コードの新しい行は、前の行と同じレベルにインデントされます。インデント幅の変更方法については、コードフォーマットの変更の「タブサイズ」オプションを参照してください。

コードフォーマットの変更

トップへ戻る

コードの表示を変更するには、フォーマット環境設定でインデント、行の長さ、タグ名と属性名の大文字と小文字の区別などを指定します。

「常に無視する」を除くすべてのコードフォーマットオプションは、新規ドキュメントか、または既存のドキュメントに対する新規追加分にのみ適用されます。

既存の HTML ドキュメントのフォーマットを変更するには、そのドキュメントを開いてコマンド／ソースフォーマットの適用を選択します。

1. 編集／環境設定を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「コードフォーマット」を選択します。
3. 次のいずれかのオプションを設定します。
   インデント Dreamweaver で生成されるコードを（コードフォーマット環境設定で指定したインデント規則に従って）インデントするかどうかを指定します。
   注意： このダイアログボックスのインデントオプションのほとんどは、Dreamweaver によって生成されるコードにのみ適用され、ユーザーが入力したコードには適用されません。ユーザーが入力した新しいコード行を前の行と同じレベルにインデントするには、表示／コードビューオプション／自動インデントを選択します。詳しくは、コードの表示方法の設定を参照してください。

使用 （テキストボックスおよびポップアップメニュー）Dreamweaver で生成されるコードのインデントに使用するスペースまたはタブの数を指定します。例えば、テキストボックスに「3」と入力し、ポップアップメニューで「タブ」を選択すると、Dreamweaver によって生成されるコードは各インデントレベルで 3 つのタブ文字を使用してインデントされます。

タブサイズ コードビューに表示する各タブの幅を文字数で指定します。例えば、「タブサイズ」を 4 に設定すると、コードビューに表示される各タブの幅は、4 つの空白文字分になります。このとき、「インデント」オプションで「タブ」および「3」に設定されていると、Dreamweaver によって生成されるコードは各インデントレベルで 3 つのタブ文字を使用してインデントされるので、コードビューでは 12 文字分の空白が表示されます。
注意： Dreamweaver では、スペースまたはタブを使用してインデントが設定されます。コードの挿入時に一連のスペースがタブに変換されることはありません。

改行タイプ リモートサイトのホストとして動作するリモートサーバーの種類（Windows、Mac OS、または UNIX）を指定します。正しい改行タイプを選択することにより、リモートサーバー上で HTML ソースコードが正しく表示されます。この改行設定は、特定の種類の改行文字しか認識しない外部テキストエディターで作業するときにも有用です。例えば、外部エディターとしてメモ帳（Windows）を使用する場合は CR LF を設定し、SimpleText（Mac OS）を使用する場合は CR を設定します。
注意： FTP を使用して接続する各サーバーでは、このオプションはバイナリ転送モードにのみ適用されます。Dreamweaver の ASCII 転送モードでは、このオプションは無視されます。ASCII モードでファイルをダウンロードする場合、Dreamweaver では、使用しているコンピューターのオペレーティングシステムに基づいて改行が設定されます。一方、ASCII モードでファイルをアップロードする場合は、すべての改行が CR LF に設定されます。

タグの大文字/小文字の初期設定、属性の大文字/小文字の初期設定 タグ名と属性名を大文字と小文字のどちらで表示するかを指定します。これらのオプションは、デザインビューで挿入および編集するタグと属性に適用されます。ただし、コードビューに直接入力するタグと属性には適用されません。また、「常に無視する」のオプションを選択していない場合は、ドキュメントを開いても、ドキュメント内のタグと属性には適用されません。
注意： これらの環境設定は、HTML ページにのみ適用されます。大文字タグおよび大文字属性は無効な XHTML 要素であるため、XHTML ページではこれらの環境設定は無視されます。

常に無視する：タグおよび属性 既存の HTML ドキュメントを開いたときなどに、指定した大文字と小文字のオプションを常に適用するかどうかを指定します。これらのオプションのいずれかを選択し、「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じると、現在のドキュメントに含まれるすべてのタグまたは属性が直ちに大文字または小文字に変換されます。このオプションはオフにしない限り常に有効であり、次に開く各ドキュメントでもすべてのタグまたは属性が変換されます。コードビューおよびクイックタグ編集で入力するタグや属性も、指定したとおりに大文字または小文字に変換されます。挿入パネルを使用して入力するタグや属性も、同様に変換されます。例えば、タグ名を常に小文字にする場合は、「タグの大文字/小文字の初期設定」で小文字を設定し、「常に無視する」の「タグの大文字・小文字」オプションをオンにします。このように設定すると、大文字のタグ名を含むドキュメントを開いたときに、Dreamweaver によりタグ名が自動的に小文字に変換されます。
注意： 古いバージョンの HTML ではタグおよび属性名に大文字または小文字のいずれかを使用できましたが、XHTML では、タグおよび属性名に小文字を使用する必要があります。Web は XHTML に移行しつつあるため、一般に、タグ名および属性名には小文字を使用することをお勧めします。

TD タグ：**TD** タグ内に改行を含めない <td> タグの直後または </td> タグの直前に空白文字または改行があるときに、一部の古いブラウザーで起こる表示上の問題に対処します。このオプションを選択すると、Dreamweaver では <td> タグの後または </td> タグの前に改行が必要なフォーマットがタグライブラリで設定されている場合でも、それらの位置に改行が挿入されなくなります。

高度なフォーマット カスケーディングスタイルシート（CSS）コードや個々のタグと属性のフォーマットオプションをタグライブラリエディターで設定できます。

空白文字 （日本語版のみ）HTML コード用に   または全角スペースのいずれかを選択できます。ここで選択した空白文字は、テーブルの作成時や、日本語エンコーディングのページで「連続するスペースを入力可能にする」オプションがオンになっている場合に、空のタグに使用されます。

トップへ戻る

コードの書き換えの環境設定

コードの書き換えの環境設定では、ドキュメントを開いたとき、フォームのエレメントをコピー＆ペーストしたとき、プロパティインスペクターなどの Dreamweaver ツールを使用して属性値や URL を入力したときに、コードを自動的に修正するかどうかと、その方法を指定します。この環境設定の内容は、コードビューでの HTML やスクリプトの編集には影響しません。

コードの書き換えのオプションを無効にすると、ドキュメントウィンドウ上の HTML に、本来であれば書き換えられる無効なマークアップアイテムが表示されます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「コードの書き換え」を選択します。
3. 次のいずれかのオプションを設定します。
   無効なネストや開始タグを修正する オーバーラップしているタグを書き換えます。例えば、text は、text に書き換えられます。 このオプションを選択すると、閉じ引用符や閉じカッコが抜けている場合、適宜挿入されます。

   ペーストするときにフォームアイテムの名前を変更 フォームオブジェクト名の重複を回避できます。このオプションは初期設定では有効になっています。
   注意： この環境設定ダイアログボックス内の他のオプションと異なり、このオプションは、ドキュメントを開いたときには適用されず、フォームエレメントをコピー＆ペーストしたときにのみ適用されます。

余分な終了タグを削除する 対応する開始タグがない終了タグを削除します。

タグの修正や削除の際に警告する 技術的に誤りがあり、Dreamweaver によって修正された HTML についての要約を表示します。この要約には、問題のある場所の行番号と桁位置が示されるため、修正された部分を参照して、適切に処理されているかどうかを確認できます。

コードの書き換え禁止：拡張子付きのファイル内 指定した拡張子のファイルについて、コードを書き換えないように Dreamweaver を設定できます。これは、サードパーティのタグがファイルに含まれている場合に役立ちます。

& を使用して属性値の <、>、&、" をエンコード プロパティインスペクターなどの Dreamweaver ツールを使用して入力または編集した属性値を、正当な文字だけで構成されるように自動修正します。このオプションは初期設定では有効になっています。
注意： このオプションおよび後続のオプションは、コードビューで入力した URL には適用されません。また、ファイル内の既存のコードは変更されません。

特殊文字をエンコードしない 正当な文字だけが使用されるように、Dreamweaver による URL の自動修正機能を無効にします。このオプションは初期設定では有効になっています。

&# を使用して **URL** の特殊文字をエンコード プロパティインスペクターなどの Dreamweaver ツールを使用して URL を入力または編集した場合、これらの URL が正当な文字だけで構成されるように自動修正します。

%を使用して **URL** の特殊文字をエンコード 1 つ前のオプションと同じ処理が行われますが、特殊文字のエンコード方法が異なります。このエンコード方法（パーセント記号を使用）の方が古いブラウザーとの互換性という点では優れていますが、一部の言語の文字を適切に処理できません。

トップへ戻る

コードカラーリングの設定

コードカラーリング環境設定では、フォーム関連のタグや JavaScript 識別子など、タグやコードエレメントの一般的なカテゴリに対してカラーを指定できます。特定のタグにカラーリングを設定するには、タグライブラリエディターでタグ定義を編集します。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「コードカラーリング」を選択します。
3. ドキュメントタイプリストでドキュメントのタイプを選択します。コードカラーリング環境設定を編集すると、このタイプのすべてのドキュメントに影響します。
4. 「カラーリングスキームの編集」ボタンをクリックします。
5. カラーリングスキームの編集ダイアログボックスで、スタイルリストからコードエレメントを選択し、テキストカラーと背景色を設定し、任意でスタイル（ボールド、イタリック、下線）を設定します。プレビューペインのサンプルコードが新しい色とスタイルに変わります。

   変更を保存してカラーリングスキームの編集ダイアログボックスを閉じるには、「OK」をクリックします。
6. コードカラーリング環境設定で必要な項目をすべて選択し、「OK」をクリックします。
   初期設定の背景 コードビューとコードインスペクターの初期設定の背景色を設定します。

   非表示の文字 非表示の文字の色を設定します。

   ライブコードの背景 ライブコードビューの背景色を設定します。デフォルトのカラーはイエローです。

   ライブコードの変更 ライブコードビューで変更されたコードをハイライト表示する色を設定します。デフォルトのカラーはピンクです。

   読み取り専用の背景 読み取り専用テキストの背景色を設定します。

トップへ戻る

外部エディターの使用

特定の拡張子のファイルを編集するときに使用する外部エディターを指定できます。例えば、Dreamweaver から BBEdit、メモ帳、TextEdit などのテキストエディターを起動して、JavaScript（JS）ファイルを編集できます。

様々なファイル拡張子に異なる外部エディターを割り当てることができます。

ファイルタイプに対する外部エディターの設定

1. 編集／環境設定を選択します。
2. 左側のカテゴリリストから「ファイルタイプ/エディター」を選択し、オプションを設定して「OK」をクリックします。
   コードビューで開く Dreamweaver のコードビューで自動的に開くファイルの拡張子を指定します。

   外部コードエディター 使用するテキストエディターを指定します。

   変更をリロード Dreamweaver で開かれているドキュメントが外部エディターで変更された場合に、Dreamweaver によって検出される動作を指定します。

   実行時に保存 Dreamweaver で編集中のドキュメントを、外部エディターを起動する前に必ず保存するか、ドキュメントを保存しないか、または外部エディターを起動するたびに保存の確認を行うかを指定します。

   Fireworks 様々なメディアファイルタイプ用のエディターを指定します。

外部コードエディターの起動

✥ 編集／エディターを指定して編集 外部エディターを選択します。

関連項目

コーディングツールバーの概要

Microsoft Word HTML ファイルのクリーンアップ

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

コードの折りたたみ

コードの折りたたみについて
コード部分の折りたたみと展開
折りたたまれたコード部分のペーストと移動

トップへ戻る

コードの折りたたみについて

コードの一部を折りたたむか展開表示することで、スクロールバーを使用せずにドキュメントの異なる部分を表示できます。例えば、ページの下部にある div タグに適用される head タグ内のすべての CSS ルールを表示する場合は、head タグと div タグに囲まれているすべてのコードを折りたたんで、両方のコード部分を一度に表示できます。コード部分はデザインビューとコードビューの両方で選択できますが、コードを折りたためるのはコードビューだけです。
注意： Dreamweaver のテンプレートから作成したファイルの場合、そのテンプレートファイル（.dwt）内でコードが折りたたまれていても、すべてのコードが完全に展開された状態で表示されます。

トップへ戻る

コード部分の折りたたみと展開

コードを選択すると、選択したコード範囲の横に一連の折りたたみボタン（Windows ではマイナス記号、Mac OS では縦方向の三角形が表示されます。これらのボタンをクリックして、選択範囲の折りたたみと展開を行います。コードが折りたたまれると、折りたたみボタンは展開ボタン（Windows ではプラス記号、Mac OS では横方向の三角形）に変わります。

実際に折りたたまれるコード部分が、選択した範囲とは異なる場合があります。Dreamweaver では、「スマート折りたたみ」という機能により、最も一般的な範囲や、コードが見やすくなるような範囲が折りたたまれます。例えば、インデントされたタグを選択するときに、タグの前にあるインデント用のスペースを含めて選択した場合でも、Dreamweaver によってこうしたスペースが折りたたまれることはありません。一般的に、このような場合はインデントが維持された方が望ましいためです。Dreamweaver でスマート折りたたみを無効にして、選択したとおりの範囲を折りたたむには、Ctrl キーを押しながらコードを折りたたみます。

また、折りたたまれたコード部分に、エラーまたは特定のブラウザーでサポートされていないコードが含まれている場合は、そのコード部分に警告アイコンが表示されます。

Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながら、いずれかの折りたたみボタン、またはコーディングツールバーの「選択範囲をたたむ」ボタンをクリックする方法でも、コードを折りたたむことができます。

1. 一部のコードを選択します。
2. 編集／コードをたたむを選択し、いずれかのオプションを選択します。

折りたたまれたコード部分の選択

❖ コードビューで、折りたたまれたコード部分をクリックします。
注意： 折りたたまれたコード部分の一部をデザインビューで選択すると、そのコード部分が自動的にコードビューで展開表示されます。デザインビューでコード部分全体を選択した場合は、そのコード部分はコードビューでたたまれたままになります。

折りたたまれたコード部分を展開せずに表示

❖ 折りたたまれたコード部分の上にマウスポインターを置きます。

キーボードショートカットによるコードの折りたたみと展開

❖ 以下のキーボードショートカットを使用することもできます。

コマンド	Windows	Mac OS
選択範囲をたたむ	Ctrl + Shift + C	Command + Shift + C
選択範囲以外をたたむ	Ctrl + Alt + C	Command + Alt + C
選択範囲を展開	Ctrl + Shift + E	Command + Shift + E
フルタグをたたむ	Ctrl + Shift + J	Command + Shift + J
選択範囲以外のフルタグをたたむ	Ctrl + Alt + J	Command + Alt + J
すべて展開	Ctrl + Alt + E	Command + Alt + E

折りたたまれたコード部分のペーストと移動

折りたたまれたコード部分をコピー＆ペーストすることや、ドラッグして移動することができます。

折りたたまれたコード部分のコピー＆ペースト

1. 折りたたまれたコード部分を選択します。
2. 編集／コピーを選択します。
3. コードをペーストする部分に挿入ポイントを置きます。
4. 編集／ペーストを選択します。
   注意： 他のアプリケーションにペーストすることはできますが、コード部分の折りたたまれた状態は維持されません。

折りたたまれたコード部分のドラッグ

1. 折りたたまれたコード部分を選択します。
2. 選択範囲を新しい場所にドラッグします。
   選択範囲のコピーをドラッグするには、Ctrl キー（Windows）または Alt キー（Mac OS）を押しながらドラッグします。

   注意： 他のドキュメントにドラッグすることはできません。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ファイル名またはコンテンツに基づいたファイルの検索 | Mac OS（CC）

この機能は、Mac OS でのみ利用できます。

ライブサーチを使用して、ファイル内のファイル名またはテキストを基にファイルを検索します。ファイルパネルで選択したサイトを使用して検索を行います。パネルでサイトが選択されていない場合、検索オプションは表示されません。

ライブサーチでは Mac OS の Spotlight API が使用されます。Spotlight の基本設定に適用したすべてのカスタマイズも、ライブサーチに使用されます。Spotlight では、検索クエリーに一致するコンピューター上のすべてのファイルが表示されます。ライブサーチでは、ファイルパネルで現在選択されているサイトのローカルルートフォルダー内のファイルを検索します。

1. 編集／ライブサーチを選択します。または、**command + SHIFT + F** を使用します。フォーカスはファイルパネルのライブサーチテキストボックスに設定されます。

2. テキストボックスに単語または句を入力します。テキストボックスにテキストを入力すると、結果が表示されます。

   ファイルで一致 検索条件に一致した最大 10 件のファイル名が表示されます。一致したファイルが10 個以上ある場合は、「10 件以上の結果が見つかりました」というメッセージが表示されます。表示されるオプションで目的のファイルが見つからない場合は、検索条件をさらに絞り込みます。

   次の場所のテキストで一致 入力した単語または句に一致するテキストを含むファイルを最大 10 個表示します。詳細なオプションを使用する場合は、「すべて検索」をクリックします。結果が検索パネルに表示されます。

3. マウスカーソルを検索結果の上に移動すると、ファイルのルート相対パスを示すツールヒントが表示されます。Enter キーを押すか、アイテムをクリックしてファイルを開きます。

   一致するテキストを含むファイルについては、テキストの最初のインスタンスがハイライトされます。他のインスタンスに移動するには、**command + G** を使用します。

   注意： ライブサーチの結果パネルを閉じるには、パネルの外をクリックするか、*Escape* または *Esc* キーを押します。

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ズームインとズームアウト

ページのズームインとズームアウト
ズーム後のページの編集
ズーム後のページの縮小
ドキュメントウィンドウへの選択範囲の拡大表示
ドキュメントウィンドウへのページ全体の拡大表示
ドキュメントウィンドウへのページ幅全体の拡大表示

Dreamweaver では、ドキュメントウィンドウで表示倍率（ズームイン）を拡大することにより、グラフィックのピクセルの正確さの確認、小さい項目のより簡単な選択、小さいテキストを使用したページのデザイン、大きいページのデザインなどを行うことができます。

注意： ズームツールは、デザインビューでのみ使用できます。

ページのズームインとズームアウト

トップへ戻る

1. ドキュメントウィンドウの右下隅にあるズームツール（虫眼鏡のアイコン）をクリックします。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 目的の倍率に拡大されるまで、ページ上の場所をクリックします。
   - ページ上でズームインする領域にボックスをドラッグして、マウスボタンを離します。
   - 表示比率のポップアップメニューから既存の倍率レベルを選択します。
   - 表示比率のテキストボックスに倍率レベルを入力します。

     ズームツールを使用せずにズームインするには、Ctrl+=（Windows）または Command+=（Mac OS）を押します。
3. ズームアウト（表示倍率の縮小）を行うには、ズームツールを選択して、Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながらページをクリックします。

   ズームツールを使用せずにズームアウトするには、Ctrl+-（Windows）または Command+-（Mac OS）を押します。

ズーム後のページの編集

トップへ戻る

❖ ドキュメントウィンドウの右下隅にある選択ツール（ポインターのアイコン）をクリックし、ページ内をクリックします。

ズーム後のページの縮小

トップへ戻る

1. ドキュメントウィンドウの右下隅にある手のひらツール（手の形のアイコン）をクリックします。
2. ページをドラッグします。

ドキュメントウィンドウへの選択範囲の拡大表示

トップへ戻る

1. ページ上のエレメントを選択します。
2. 表示／選択オブジェクトを選択します。

ドキュメントウィンドウへのページ全体の拡大表示

トップへ戻る

❖ 表示／ドキュメント全体を選択します。

ドキュメントウィンドウへのページ幅全体の拡大表示

トップへ戻る

❖ 表示／幅を合わせるを選択します。

関連項目

ステータスバーの概要

(cc) BY-NC-SA

ショートカットキー

現在のショートカットセットのリファレンスシートを作成する
キーボードショートカットをカスタマイズする
キーボードショートカットと非 US キーボードについて

現在のショートカットセットのリファレンスシートを作成する

トップへ戻る

リファレンスシートとは、現在のショートカットのセットを記録したものです。この情報は HTML テーブル形式で保管されます。リファレンスシートは Web ブラウザーで表示するか、または印刷することができます。

1. 編集／キーボードショートカット（Windows）または Dreamweaver／キーボードショートカット（Mac OS）を選択します。
2. ダイアログボックスの上部にある 4 つのボタンのうち、 3 つめの「セットを HTML として書き出す」ボタンをクリックします。
3. 表示される保存用ダイアログボックスにリファレンスシートの名前を入力し、ファイルの適切な保存先を選択します。

キーボードショートカットをカスタマイズする

トップへ戻る

キーボードショートカットエディターを使用すると、コードスニペット用のキーボードショートカットも含め、独自のショートカットキーを作成できます。ショートカットの削除、既存のショートカットの編集、およびあらかじめ定義されているショートカットのセットの選択も可能です。

キーボードショートカットの作成

独自のショートカットキーを作成するか、既存のショートカットを編集するか、あらかじめ設定されているショートカットのセットを選択します。

1. 編集／キーボードショートカット（Windows）またはDreamweaver／キーボードショートカット（Mac OS）を選択します。
2. 必要に応じて次のオプションを設定して、「OK」をクリックします。
   現在のセット Dreamweaver にあらかじめ定義されているショートカットキーのセットや、ユーザーが定義したカスタムセットを選択できます。あらかじめ設定されているセットがメニューの上部に表示されます。例えば、HomeSite や BBEdit にあるショートカットを使い慣れている場合は、対応するあらかじめ定義されているセットを選択してそれらのショートカットを使用できます。

   コマンド 編集するコマンドのカテゴリを選択します。例えば、「開く」コマンドなどのメニューコマンドや「カッコ内を選択」などのコード編集コマンドを編集できます。
   コードスニペット用のキーボードショートカットを追加または編集するには、コマンドポップアップメニューで「スニペット」を選択します。

   コマンドリスト コマンドポップアップメニューから選択したカテゴリに関連するコマンドと割り当てたショートカットキーが表示されます。「メニューコマンド」カテゴリには、このリストがメニューの構造と同様のツリービューとして表示されます。その他のカテゴリには、コマンドの名前（「アプリケーションの終了」など）の一覧が表示されます。

   ショートカット 選択したコマンドに割り当てたショートカットキーの一覧が表示されます。

   ショートカットの作成（+） 現在のコマンドに新しいショートカットを追加します。このボタンをクリックすると、新しい空白行が「ショートカット」に追加されます。新しいキーの組み合わせを入力し、「変更」をクリックすると、コマンドに新しいショートカットキーが追加されます。コマンドごとに 2 つの異なるキーボードショートカットを割り当てることができます。既に 2 つのショートカットがコマンドに割り当てられている場合、「項目の追加」ボタンをクリックしても何も実行されません。

   ショートカットの削除（-） 選択したショートカットをショートカット一覧から削除します。

   キー制御 ショートカットを追加または変更するときに、入力したキーの組み合わせが表示されます。

   onChange 「キー制御」に表示されるキーの組み合わせをショートカットのリストに追加したり、選択したショートカットを指定したキーの組み合わせに変更します。

   複製セット 現在のセットを複製します。新しいセットに名前を付けてください。初期設定の名前は、現在のセットの名前にコピーを付加したものです。

   セットの名前を変更 現在のセットの名前を変更します。

   HTML ファイルとして書き出す 現在のセットを、表示やプリントに便利な HTML テーブル形式で保存します。HTML ファイルをブラウザーで開き、ショートカットキーの一覧を印刷して参照することができます。

   セットの削除 セットを削除します。アクティブなセットは削除できません。

コマンドからショートカットを削除する

1. 編集／キーボードショートカット（Windows）またはDreamweaver／キーボードショートカット（Mac OS）を選択します。
2. コマンドポップアップメニューからコマンドカテゴリを選択します。
3. コマンドリストでコマンドを選択し、ショートカットを選択します。
4. 「項目の削除（-）」ボタンをクリックします。

コマンドにショートカットを追加する

1. 編集／キーボードショートカット（Windows）またはDreamweaver／キーボードショートカット（Mac OS）を選択します。
2. コマンドポップアップメニューからコマンドカテゴリを選択します。
3. コマンドリストでコマンドを選択します。
   コードスニペット用のキーボードショートカットを追加するには、コマンドポップアップメニューで「スニペット」を選択します。

   コマンドに割り当てられているショートカットが「ショートカット」に表示されます。
4. 以下のいずれかの操作を行って、ショートカットを追加するための準備をします。
   - コマンドに既に割り当てられているショートカットが 2 つよりも少ない場合、「項目の追加（+）」ボタンをクリックします。新しい空白行が「ショートカット」に表示され、挿入ポイントが「キー制御」に移動します。
   - コマンドに既に 2 つショートカットが割り当てられている場合には、いずれかを選択します（選択したものが新しいショートカットに置き換えられます）。選択したら「キー制御」内をクリックします。
5. キーの組み合わせを押します。キーの組み合わせが「キー制御」に表示されます。
   注意： キーの組み合わせに問題がある場合（キーの組み合わせが既に他のコマンドに割り当てられている場合など）は、「ショートカット」の下にメッセージが表示され、ショートカットの追加や編集ができない場合があります。
6. 「変更」をクリックします。新しいキーの組み合わせがコマンドに割り当てられます。

既存のショートカットを編集する

1. 編集／キーボードショートカット（Windows）またはDreamweaver／キーボードショートカット（Mac OS）を選択します。
2. コマンドポップアップメニューからコマンドカテゴリを選択します。
3. コマンドリストでコマンドを選択し、変更するショートカットを選択します。
4. 「キー制御」内をクリックし、新しいキーの組み合わせを入力します。
5. 「変更」ボタンをクリックし、ショートカットキーを変更します。
   注意： キーの組み合わせに問題がある場合（例えば、キーの組み合わせが既に他のコマンドに割り当てられている場合）は、「ショートカット」フィールドの下にメッセージが表示され、ショートカットの追加または編集ができない場合があります。

トップへ戻る

キーボードショートカットと非 US キーボードについて

Dreamweaver の初期設定のキーボードショートカットは、主に US 標準キーボードで機能します。他の国のキーボード（英国で製造されたものを含む）には、これらのショートカットを使用するために必要な機能が備えられていない場合があります。ご使用のキーボードが特定の Dreamweaver 対応ショートカットをサポートしていない場合、Dreamweaver のその機能は無効になります。

非 US 標準キーボードで機能するキーボードショートカットをカスタマイズするには、『Dreamweaver 拡張ガイド』の「キーボードショートカットのマッピングを変更する」を参照してください。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ビジュアル開発のためのワークスペースの最適化

Web アプリケーションの開発のパネルの表示
Dreamweaver でのデータベースの表示
ブラウザーでの動的ページのプレビュー
Dreamweaver で表示されるデータベース情報の制限
ColdFusion のストアードプロシージャおよび ASP コマンド用にプロパティインスペクターを設定
入力フィールドのオプション

トップへ戻る

Web アプリケーションの開発のパネルの表示

挿入パネルのカテゴリポップアップメニューから「データ」カテゴリを選択すると、ページに動的コンテンツとサーバービヘイビアーの追加を可能にするボタンのセットが表示されます。

表示されるボタンの数と種類は、ドキュメントウィンドウで開いているドキュメントの種類によって異なります。ボタンの上にマウスを移動すると、そのボタンの機能を説明するツールヒントが表示されます。

挿入パネルには、以下のアイテムをページに追加するボタンがあります。

- レコードセット
- 動的テキストまたは動的テーブル
- レコードナビゲーションバー

  コードビューに切り替える（表示／コード）と、挿入パネルのカテゴリに、ページにコードを挿入できる追加のパネルが表示されることがあります。例えば、コードビューで ColdFusion ページを表示すると、挿入パネルの「CFML」カテゴリで、CFML パネルが選択できる状態になります。

  以下のパネルから、動的ページを作成するための様々な機能にアクセスすることができます。

  - バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）：ページの動的コンテンツのソースを定義し、そのコンテンツをページに追加するときに使用します。
  - サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）：動的ページにサーバーサイドロジックを追加するときに使用します。
  - データベースパネル（ウィンドウ／データベース）： データベースの検証やデータベース接続の作成を行うときに使用します。
  - コンポーネントパネル（ウィンドウ／コンポーネント）：ColdFusion コンポーネントのコードを確認、追加、または修正するときに使用します。

  注意： コンポーネントパネルは ColdFusion ページを開いた場合にのみ有効になります。

  サーバービヘイビアーは、デザインタイムに動的ページに挿入され、ランタイムにサーバー上で実行される一連の命令です。

  開発ワークスペースの設定のチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0144_jp を参照してください。

トップへ戻る

Dreamweaver でのデータベースの表示

データベースに接続すると、Dreamweaver 内でその構造およびデータを表示できます。

1. ウィンドウ／データベースを選択して、データベースパネルを開きます。

   データベースパネルには、接続が作成されているすべてのデータベースが表示されます。ColdFusion サイトを開発している場合は、ColdFusion Administrator でデータソースが定義されているすべてのデータベースがパネルに表示されます。

   注意： Dreamweaver は、現在のサイトに対して定義した ColdFusion サーバーを確認します。

   パネルにデータベースが表示されない場合は、データベース接続を作成する必要があります。
2. データベース内のテーブル、ストアードプロシージャ、およびビューを表示するには、リスト内の接続の横にある「+」記号をクリックします。
3. テーブル内の列を表示するには、テーブル名をクリックします。

   列アイコンは、データタイプを反映し、テーブルのプライマリキーを示します。
4. テーブル内のデータを表示するには、リスト内のテーブル名を右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、ポップアップメニューから「データの表示」を選択します。

ブラウザーでの動的ページのプレビュー

トップへ戻る

Web アプリケーションのデベロッパーは通常、ページを Web ブラウザーで頻繁にチェックすることによって、デバッグを実行します。動的ページは、最初に手動でサーバーにアップロードすることなく、ブラウザーですばやく表示できます（F12 キーを押します）。

動的ページをプレビューするには、サイト定義ダイアログボックスの「テストサーバー」カテゴリにすべての情報を入力する必要があります。

Dreamweaver が元のファイルの代わりに一時ファイルを使用するように指定することができます。このオプションを使用すると、Dreamweaver によってページがブラウザーに表示される前に Web サーバー上でページの一時的なコピーが実行されます（この一時的なコピーは、ページがブラウザーに表示されたら、Dreamweaver によってサーバーから削除されます）。このオプションを設定するには、編集／環境設定／ブラウザーでプレビューを選択します。

「ブラウザーでプレビュー」オプションを使用しても、結果ページや詳細ページなどの関連ページ、イメージファイルなどの依存ファイル、およびサーバーサイドインクルードはアップロードされません。欠落しているファイルをアップロードするには、ウィンドウ／ファイルを選択してファイルパネルを開き、ローカルフォルダー内でファイルを選択します。次に、ツールバーの青色の上向き矢印をクリックして Web サーバーフォルダーにファイルをコピーします。

Dreamweaver で表示されるデータベース情報の制限

トップへ戻る

Oracle などの大規模なデータベースシステムを使用している場合は、Dreamweaver によってデザインタイムに取得および表示されるデータベース項目の数を制限する必要があります。Oracle データベースには、Dreamweaver がデザインタイムに処理できない項目が含まれている場合があります。Oracle でスキーマを作成し、デザインタイムに不必要なデータを除外するためにそのスキーマを Dreamweaver で使用できます。

注意： Microsoft Access では、スキーマやカタログは作成できません。

それ以外にも、Dreamweaver によってデザインタイムに取得される情報の量を制限することで作業の効率が向上する場合があります。データベースには、数十、数百のテーブルが含まれていることがあります。そのような場合、作業中に一部のテーブルだけを表示した方がよいこともあります。スキーマまたはカタログで、デザインタイムに取得されるデータベース項目の数を制限できます。

Dreamweaver でスキーマやカタログを適用するには、データベースシステム内で事前にスキーマまたはカタログを作成しておく必要があります。詳しくは、データベースシステムのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

注意： ColdFusion アプリケーションを開発している場合は、Dreamweaver または Microsoft Access を使用してスキーマまたはカタログを適用することはできません。

1. Dreamweaver で動的ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
   - データベース接続が存在する場合は、リスト内の接続を右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、ポップアップメニューから「接続の編集」を選択します。
   - 接続が存在しない場合は、パネルの上部にある「+」ボタンをクリックして作成します。
2. 接続のダイアログボックスで「詳細設定」をクリックします。
3. スキーマまたはカタログを指定し、「OK」をクリックします。

ColdFusion のストアードプロシージャおよび ASP コマンド用にプロパティインスペクターを設定

トップへ戻る

選択したストアードプロシージャを修正します。選択可能なオプションは、サーバーテクノロジによって異なります。

❖ オプションを編集します。プロパティインスペクターで新しいオプションを選択すると、Dreamweaver によってページが更新されます。

入力フィールドのオプション

トップへ戻る

このプロパティインスペクターは、Dreamweaver で認識できない入力タイプが検出されると表示されます。通常、これはタイプミスやその他のデータ入力エラーによって起こります。

例えば、プロパティインスペクターでスペルミスを修正するなどして、フィールドタイプを Dreamweaver で認識できる値に変更すると、プロパティインスペクターが更新され、該当するタイプのプロパティが表示されます。プロパティインスペクターで、以下のオプションを設定します。

入力フィールド フィールドに名前を割り当てます。このボックスへの入力は必須で、固有の名前が必要です。

タイプ フィールドの入力タイプを設定します。このボックスの内容には、現在 HTML ソースコードに表示されている入力タイプの値が反映されます。

値 フィールドの値を設定します。

パラメーター 選択すると、パラメーターダイアログボックスが開くので、フィールドの現在属性の表示、および属性の追加または削除が可能になります。

関連項目

開発ワークスペースのチュートリアル

テストサーバーの設定

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CEF との統合

Dreamweaver は、Google Chromium プロジェクトをベースにしたオープンソースフレームワーク Chromium Embedded Framework（CEF）と統合できるようになりました。この統合により、Dreamweaver でリソースの読み込み、ナビゲーション、コンテキストメニュー、印刷などを制御できるようになったほか、Google Chrome Web ブラウザーで利用できるパフォーマンスや HTML5 のテクノロジーを活用できます。

Dreamweaver が統合されている CEF3 バージョンはマルチプロセス実装であり、非同期メッセージングを使用して Dreamweaver と 1 つ以上のレンダリングプロセスとの間の通信を行います（Webkit + V8 エンジン）。CEF3 は Chromium の公式 Chromium content API を利用するため、Google Chrome と同等のパフォーマンスを提供します。

CEF について詳しくは、この記事を参照してください。

CEF 統合の影響を受ける Dreamweaver の機能は、次のとおりです。

- ユーザー操作の向上
  - レンダリングの強化
  - インスペクト
  - コーデック
  - ポップアップメニュー
  - エラーメッセージ
  - ズーム／スクロール
  - 可変グリッドページ
- アーキテクチャの変更
  - コードナビゲーター
  - ナビゲーション
  - SSL 証明書
  - ライブコード／コードビュー
  - 外部 CSS
  - 動的関連ファイル
  - ライブビューのオプション
  - ビューポート

ページの先頭へ

ユーザー操作の向上

レンダリングの強化

CEF との統合により、Dreamweaver でのオブジェクトや UI エレメントのレンダリング方法が多くの点で強化されました。

次の図は、境界線の半径とグラデーションの繰り返しを持つ Div が以前の Apollo Webkit と CEF 統合の後でどのようにレンダリングされるかを示しています。

以前の *Apollo Webkit* でレンダリングされた、境界線の半径を持つ *Div*。境界線の半径はサポートされていないので、適用されていません。

CEF 統合の後でライブビューにレンダリングされた、境界線の半径を持つ *Div*。境界線の半径が適用されています。

インスペクト

新しいインスペクトモードは Google Chrome のインスペクトと同じです。「マージン」は黄色、「余白」は紫色でマークされます。

エレメントにマウスカーソルを合わせると、縦方向と横方向の一連のルーラーが表示されます。ルーラーは、エレメントの位置に基づき、上下と左右に表示されます。ルーラーには、エレメントに適用されたマージン、余白、幅、境界線の各プロパティの値が示されます。

また、次の情報を示すツールヒントも表示されます。

- エレメントの名前（`div` など）
- CSS クラスまたは ID（定義されている場合）
- エレメントのサイズ。表示されている数字は、そのエレメントに適用されている幅、余白、境界線の合計です。

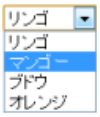
コーデック

ビデオ	オーディオ
Theora	mp3
h264	wav
ogg	Vorbis
ogv	pcm-u8
mp4	pcm_s16le
mov	pcm_s24le

ポップアップのサポート

CEF の統合により、Dreamweaver では月、日、時間などの HTML5 フォームエレメントをレンダリングできるようになりました。これらのコントロールをクリックすると、ポップアップメニューが表示され、必要なパラメーターを選択できます。

カレンダーのポップアップ



フォームエレメントリストの選択

可変グリッドページ

可変グリッドレイアウトガイドがオフになっている場合、ライブビューでは CEF Webkit がレンダリングに使用されます。可変グリッドレイアウトガイドがオンの場合、ライブビューの可変グリッドページでは引き続き以前の Apollo Webkit がレンダリングに使用されます。ナビゲーション（アドレスバー）、インスペクトモード、ライブコードなどのライブビュー機能は、CEF モードでのみ使用できます。

可変グリッドがオンの場合の可変グリッドページのドキュメントツールバー（*Apollo* ライブビュー）

可変グリッドがオフの場合の可変グリッドページのドキュメントツールバー（*CEF* ライブビュー）

エラー文字列
Dreamweaver に Google Chrome と同じ外観のエラー文字列が表示されるようになりました。

エラーメッセージ

ズーム／スクロール
ライブビューとデザインビューではスクロールバーの UI が異なります。

CEF の統合により、Dreamweaver のズームの動作が変わりました。以前のズームはタブごとに動作しましたが、現在の CEF ライブビューではズームはページごとに動作します。

シナリオ 1：ライブビューで、あるページを 300%にズームするとします。次に、同じページを別のタブから開きます（リンクをたどってこのページにアクセスします）。結果は、次のようになります。

- CEF では、ページのズームが 300%に保持されます。
- Apollo（以前のバージョン）では、ページはデフォルトの 100%ズームでレンダリングされます。

シナリオ 2：タブ内でページを 50%にズームするとします（ライブビュー）。次に、同じタブ内で別のページに移動します。結果は、次のようになります。

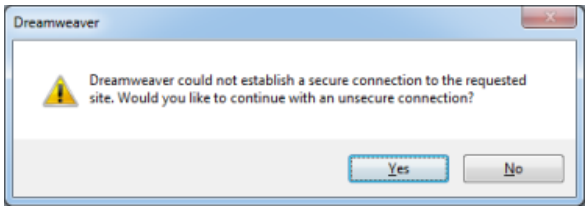
- CEF では、別のページがデフォルトの 100%ズームで開きます。
- Apollo では、このタブからアクセスしたすべてのページで 50%のズームが保持されます。

ページの先頭へ

アーキテクチャの変更

コードナビゲーター
コードナビゲーターによってドキュメントが解析され、呼び出し先のエレメントに適用可能なすべてのスタイルが一覧表示されます。ブラウザーコントロールを使用してコンテンツがレンダリングされます。いずれかのセレクターにマウスカーソルを合わせると、関連するすべての CSS プロパティがツールヒントに表示されます。セレクターをクリックすると、挿入ポイントが該当するコードに移動します。

SSL 証明書
安全な（https）サイトに移動しようとしたときに、サイトの証明書が認識されない場合は、SSL 証明書の確認ダイアログが表示されます。



安全な接続 - 確認ダイアログボックス

その他
次の機能は CEF 統合によって影響を受けます。

- 動的関連ファイル
- 外部 CSS
- ライブビューとライブコードの同期

- ナビゲーション
- ライブビューのオプション（「リンク先を表示」、「リンク先を連続表示」、「ドキュメントソースにテストサーバーを使用」、「JavaScript を無効にする」、「JavaScript の停止」）
- ビューポート
- リンクのターゲット属性
- コンテキストメニュー（「リンク先を表示」オプションと「プラグインを無効にする」オプションはリンクの右クリックメニューから削除されました）

注意：CEF との統合により、拡張機能の開発中の <mm:browsercontrol> の使用方法を変更する必要があります。詳しくは、この記事を参照してください。

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

サイトの管理

Dreamweaver サイトのテスト

サイトのテストに関するガイドライン
レポートを使用したサイトのテスト

サイトのテストに関するガイドライン

ページの先頭へ

サーバーにアップロードして他の人に公開する前に、ローカルの環境でサイトの動作を確認することをお勧めします。サイトの構築中に頻繁にテストとトラブルシューティングを行うことにより、問題を早期に発見し、その再発を防止することができます。

ターゲットのブラウザーでページが予想どおりに表示されて機能すること、リンクが破損していないこと、ページのダウンロードに時間がかかり過ぎないことを確認します。また、サイトレポートを実行して、サイト全体のテストおよびトラブルシューティングを行うこともできます。

以下のガイドラインは、サイトを訪問するビジターに快適に閲覧してもらうためのヒントです。

ページがターゲットブラウザーで正しく機能することを確認します。

スタイル、レイヤー、プラグイン、JavaScript をサポートしていないブラウザーでも、ページが見やすく、かつ機能することを確認します。古いバージョンのブラウザーで正しく表示されないページについては、「チェックブラウザー」ビヘイビアーを使って、ビジターを自動的に他のページに移動することもできます。

様々なブラウザーおよびプラットフォームでページをプレビューします。

これにより、ターゲットブラウザーチェックではわからないレイアウト、カラー、フォントサイズ、初期設定ブラウザーウィンドウサイズの違いを確認できます。

サイトをチェックして、破損リンクがあれば修正します。

他のサイトでもデザインの変更や再構成が行われている可能性があるため、リンク先のページが移動したり、削除されている可能性があります。リンクチェックレポートを実行してリンクをテストできます。

ページのファイルサイズおよびダウンロードに必要な時間を確認します。

大きなテーブルが含まれているページは、ブラウザーによっては、テーブル全体のダウンロードが終わるまで何も表示されません。こういった場合はテーブルを分割することをお勧めします。分割できない場合は、ページの上部、テーブルの外側に Welcome メッセージや広告バナーなどのサイズの小さいコンテンツを置いて、テーブルのダウンロード中でもこれらのマテリアルが表示されるようにします。

サイトレポートを数回実行し、サイト全体のテストおよびトラブルシューティングを行います。

これにより、サイト全体をチェックして、無題ドキュメント、空のタグ、重複してネストされたタグなどの問題を確認できます。

コードを検証し、タグやシンタックスエラーを見つけます。

パブリッシュ後のサイトを更新および維持します。

サイトのパブリッシュとは、サイトを第三者に広く利用してもらうことです。サイトのパブリッシュは継続的なプロセスであり、様々な方法で行うことができます。サイトのパブリッシュでは、Dreamweaver のツールや外部のバージョンコントロール用アプリケーションを使って、バージョンコントロールシステムを定義および実行するプロセスが重要です。

ディスカッションフォーラムを使用します。

Dreamweaver ディスカッショングループは、アドビ システムズ社の Web サイト（www.adobe.com/go/dreamweaver_newsgroup_jp）で開催されています。

ディスカッショングループは、他のブラウザーやプラットフォームなどの情報を得るのに最適なリソースです。他の Dreamweaver ユーザーと技術的な問題について話し合ったり、役に立つヒントを共有したりできます。

パブリッシュ問題のトラブルシューティングに関するチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0164_jp を参照してください。

レポートを使用したサイトのテスト

ページの先頭へ

ワークフローまたは HTML 属性についてのサイトレポートを実行できます。また、「レポート」コマンドを使用してサイト内のリンクをチェックできます。

ワークフローレポートを使用すると、Web チームのメンバーが共同で行う作業を効率化できます。誰がファイルをチェックアウトしたか、どのファイルがデザインノートと関連付けられているか、どのファイルが最近変更されたかを示すワークフローレポートを実行することができます。名前、値などのパラメーターを指定することで、デザインノートのレポートをより詳細にすることができます。

注意： ワークフローレポートを実行するように定義されたリモートサイトへの接続が必要です。

HTML レポートを使用して、様々な HTML 属性のレポートをコンパイルおよび生成できます。結合可能なネストフォントタグ、代替テキストの欠損、重複してネストされたタグ、削除可能な空のタグ、無題ドキュメントなどをチェックすることができます。

実行したレポートを XML ファイルとして保存し、テンプレートインスタンス、データベースまたはスプレッドシートに読み込んで、印刷したり Web サイトで表示することができます。

注意： *Adobe Dreamweaver Exchange Web* サイトを利用して、他のレポートタイプを *Dreamweaver* に追加することもできます。

レポートを使ったサイトのテスト

1. サイト／レポートを選択します。
2. レポート内容ポップアップメニューからレポートの対象を選択し、実行するレポートタイプ（ワークフローまたは HTML）を設定します。

   「サイト内の選択したファイルを検査」を選択してレポートを作成するには、先にファイルパネルでファイルを選択しておく必要があります。
3. ワークフローレポートを選択した場合は、「レポート設定」をクリックします。それ以外の場合は、この手順を省略します。

   注意： 複数のワークフローレポートを選択した場合は、各レポートごとに「レポート設定」ボタンをクリックします。レポートを *1* つ選択し、「レポート設定」をクリックして設定を入力します。別のワークフローレポートに対しても同じ処理を繰り返します。

   チェックアウトユーザー 特定のチームメンバーがチェックアウトしたすべてのドキュメントのリストを表示するレポートが作成されます。チームメンバーの名前を入力し、「OK」をクリックしてレポートダイアログボックスに戻ります。

   デザインノート 選択したドキュメントまたはサイトのすべてのデザインノートのリストを表示するレポートが作成されます。名前と値のペアを入力し、ポップアップメニューから対応する条件を選択します。「OK」をクリックして、レポートダイアログボックスに戻ります。

   最近修正したファイルを選択 指定した期間中に変更されたファイルのリストを表示するレポートが作成されます。表示するファイルの日付の範囲と場所を入力します。
4. HTML レポートを選択した場合、次のレポートから選択します。

   結合可能なネストフォントタグ コードのクリーンアップ時に結合可能なネストフォントタグのリストを表示するレポートが作成されます。

   例えば、`<font color="#FF0000"><font size="4">STOP!</font></font>` がレポートされます。

   代替テキストなし 代替テキストを持たない `img` タグのリストを表示するレポートが作成されます。

   代替テキストとは、イメージを含むページを、テキスト専用ブラウザーまたはイメージを手動でダウンロードするように設定されたブラウザーで表示したときに、イメージの代わりに表示されるテキストのことです。スクリーンリーダーは代替テキストを読み上げます。また、一部のブラウザーでは、ユーザーがイメージ上にマウスを置いたときに代替テキストが表示されます。

   重複してネストされたタグ クリーンアップ対象のネストタグについての詳細なレポートが作成されます。

   例えば、`<i> The rain <i> in</i> Spain stays mainly in the plain</i>` のような記述はレポート対象です。

   削除可能な空のタグ HTML コードのクリーンアップ時に削除可能なすべての空のタグについての詳細なレポートが作成されます。

   例えば、コードビューで様々なアイテムやイメージを削除した場合に、削除したアイテムに付属するタグがドキュメントに残ってしまうことがあります。

   無題ドキュメント 選択パラメーター内に含まれるすべての無題ドキュメントのリストを表示するレポートが作成されます。Dreamweaver により初期設定のタイトルが付いたドキュメント、title タグが複数あるドキュメント、または title タグのないドキュメントがすべてレポートされます。
5. 「実行」をクリックして、レポートを作成します。

   実行するレポートのタイプに応じて、ファイルの保存、サイトの定義、またはフォルダーの選択（選択していない場合）などの操作を行うよう要求されます。

   結果パネルグループのサイトレポートパネルに結果のリストが表示されます。

レポートの使用および保存

1. レポートを実行します（詳しくは、前の手順を参照してください）。
2. サイトレポートパネルで以下のいずれかの操作を行って、レポートを表示します。
   - 結果の並べ替えの基準にする列の見出しをクリックします。

     ファイル名、行番号、説明を基準に並べ替えることができます。複数の異なるレポートを作成し、それぞれのレポートを別々に表示させたままにすることもできます。
   - 問題の説明を表示するには、レポート内の任意の行を選択し、サイトレポートパネルの左の「詳細情報」ボタンをクリックします。

- レポート内の任意の行をダブルクリックすると、ドキュメントウィンドウ内に対応するコードが表示されます。

  注意： デザインビューで表示している場合は、*Dreamweaver* により表示が自動的に分割ビューに切り替えられ、報告される問題がコードで表示されます。

3. 「レポートの保存」をクリックして、レポートを保存します。

   レポートの保存時に、既存のテンプレートファイルにレポートを読み込むことができます。その後、データベースやスプレッドシートにそのテンプレートファイルを読み込んで印刷したり、Web で表示したりできます。

   HTML レポートを作成した後は、「*HTML* のクリーンアップ」コマンドを実行し、レポートに出力された *HTML* エラーを修正します。

アドビは次の機能も推奨します。

- パブリッシュ問題のトラブルシューティングのチュートリアル

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ファイル転送に関するサイト環境設定の設定

ファイルパネルでは、ファイル転送機能を制御する環境設定を選択できます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 環境設定ダイアログボックスで、左側のカテゴリリストから「サイト」を選択します。
3. オプションを設定して、「OK」をクリックします。
   常に表示 ローカルサイトとリモートサイトのいずれを常に表示するか、ファイルパネルの左右のいずれのペインにローカルサイトまたはリモートサイトを表示するかを指定します。

   初期設定では、常にローカルサイトが右側に表示されます。常に表示するように選択しなかったペイン（初期設定では左ペイン）には、もう一方のサイト（初期設定ではリモートサイト）のファイルを表示することができます。

   依存ファイル チェックイン / チェックアウトシステムを使用するには、事前にローカルサイトをリモートサーバーに関連付ける必要があります。初期設定では、「GET/チェックアウトでダイアログを表示」と「PUT/チェックインでダイアログを表示」の両方が選択されています。

   通常、新規ファイルをチェックアウトする場合は、依存ファイルも一緒にダウンロードすることをお勧めしますが、既に最新バージョンの依存ファイルがローカルディスクにある場合は、再びダウンロードする必要はありません。これはファイルのアップロードとチェックインの場合にも当てはまります。最新のコピーが宛先に既に存在している場合は、再びダウンロードする必要はありません。

   これらのオプションをオフにすると、依存ファイルは転送されません。したがって、これらのオプションが選択解除になっているときでも、依存ファイルダイアログボックスを表示させたい場合は、Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながら「GET」、「PUT」、「チェックイン」、「チェックアウト」コマンドを選択します。

   FTP 接続 交信がないまま指定の分数が経過した後に、リモートサイトへの接続を終了するかどうかを指定します。

   FTP タイムアウト Dreamweaver がリモートサーバーとの接続を試みる秒数を指定します。

   指定された時間内に応答がない場合は、Dreamweaver によりその旨を通知する警告ダイアログボックスが表示されます。

   FTP 転送オプション Dreamweaver では、ファイルの転送時に表示されたダイアログボックスに対してユーザーからの応答がない場合、指定された秒数後に初期設定オプションを採用するかどうかを指定します。

   プロキシホスト ファイヤーウォールの後から外部サーバーに接続する際のプロキシサーバーのアドレスを指定します。

   ファイヤーウォールの後にいない場合は、このスペースを空白にしておきます。ファイヤーウォールの後にいる場合は、サイトの定義ダイアログボックス（サーバー／既存のサーバーの編集（鉛筆のアイコン）／その他のオプション）で「プロキシを使用」オプションを選択します。

   プロキシポート リモートサーバーに接続する際のプロキシまたはファイヤーウォールのポートを指定します。 21（FTP 用の初期設定）以外のポートを通じて接続する場合は、ここに数値を入力します。

   PUT オプション：**PUT** する前にファイルを保存 選択した場合、リモートサイトに送信される前に、保存されていないファイルが自動的に保存されます。

   移動オプション：サーバー上のファイルの移動時にダイアログを表示 リモートサイト上のファイルを移動しようとすると、警告が表示されます。

   サイトの管理 既存のサイトの編集や、新規サイトの作成ができるサイトの管理ダイアログボックスを開きます。
   Dreamweaver/Configuration フォルダー内の FTPExtensionMap.txt（Mac OS では FTPExtensionMapMac.txt）をカスタマイズして、転送するファイルの種類を ASCII（テキスト）またはバイナリのいずれかに指定できます。詳しくは、『Dreamweaver 拡張ガイド』を参照してください。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Contribute サイトの管理

Contribute サイトの管理
Contribute サイトのサイト構造とページデザイン
Contribute サイトとのファイルのやり取り
サーバー上での Contribute ファイルおよびフォルダーの権限
Contribute の特殊ファイル
Contribute で使用するサイトの準備
Dreamweaver を使用した Contribute サイトの管理
Contribute サイトにおけるリモートファイルの削除、移動、名前の変更
ルートフォルダーにアクセスせずにテンプレートにアクセスする Contribute ユーザーの有効化
Contribute サイトのトラブルシューティング

Contribute サイトの管理

ページの先頭へ

Adobe® Contribute® CS4 は、Web ブラウザーと Web ページエディターの両方の機能を備えています。Contribute を使用すると、同僚やクライアントがサイト内のページを参照したり、権限があれば編集や更新を行うこともできます。Contribute ユーザーは、書式設定されたテキストやイメージ、テーブル、リンクなど、基本的な Web コンテンツを追加したり更新することができます。Contribute サイトの管理者は、管理者以外の一般ユーザーがサイト内で行える作業を制限できます。

注意： この項は、*Contribute* 管理者を対象としています。

サイトの管理者は、接続キーを作成して管理者以外のユーザーに送信することにより、そのユーザーにページを編集する権限を付与します。この方法について詳しくは、Contribute のヘルプを参照してください。また、Dreamweaver を使用して Contribute サイトへの接続を設定すると、管理者またはサイトデザイナーは、Contribute サイトに接続して Dreamweaver のすべての編集機能を使用することができます。

Contribute は、CPS（Contribute Publishing Server）を使用して、Web サイトに機能を追加します。CPS は、LDAP（Lightweight Directory Access Protocol）や Active Directory などのように、組織のユーザーディレクトリサービスに Contribute を統合できるパブリッシュアプリケーションおよびユーザー管理ツールです。Dreamweaver サイトを Contribute サイトとして有効にすると、リモートサイトに接続するたびに、Dreamweaver によって Contribute の管理設定が読み取られます。Dreamweaver によって CPS が有効になっていることが検出されると、ファイルのロールバックやイベントのログ記録など、一部の CPS 機能が継承されます。

Dreamweaver を使用すると、Contribute サイトのファイルに接続して修正できます。Dreamweaver のほとんどの機能は、Contribute サイトでも他の Web サイトと同じように機能します。ただし、Contribute サイトで Dreamweaver を使用した場合は、ドキュメントの変更履歴や特定のイベントの CPS コンソールへのログ記録など、特定のファイル管理操作が Dreamweaver によって自動的に実行されます。

詳しくは、Contribute のヘルプを参照してください。

Contribute サイトのサイト構造とページデザイン

ページの先頭へ

Contribute ユーザーが Web サイトを編集できるようにするには、以下の点に注意してサイトを構成してください。

- 単純なサイト構造にします。フォルダー構造が深くなりすぎないようにします。関連するアイテムは 1 つのフォルダーにまとめます。
- サーバー上のフォルダーに適切な読み取り／書き込み権限を設定します。
- フォルダー構造を作成するときにフォルダーにインデックスページを追加して、Contribute ユーザーが新しいページを正しいフォルダーに配置できるようにします。例えば、ミーティング議事録を含むページを Contribute ユーザーが作成する場合は、サイトルートフォルダーに meeting_minutes というフォルダーを作成し、そのフォルダーにインデックスページを作成します。次に、サイトのメインページからミーティング議事録のインデックスページにリンクを設定します。これで、Contribute ユーザーはそのインデックスページに移動して、そのページからリンクした、特定のミーティングに関する新しい議事録のページを作成できるようになります。
- 各フォルダーのインデックスページには、そのフォルダー内にある各コンテンツページとドキュメントへのリンクのリストを用意します。
- ページのデザインはできるだけシンプルにして、装飾は最小限に抑えます。
- HTML タグではなく CSS タグを使用して、CSS スタイルに分かりやすい名前を付けます。Contribute ユーザーが Microsoft Word の標準スタイルセットを使用している場合は、CSS スタイルにも同じ名前を付けます。そうすれば、ユーザーが Word ドキュメントから情報をコピーして Contribute ページにペーストするときに、スタイルがマッピングされます。
- CSS スタイルを Contribute ユーザーが利用できないようにするには、スタイル名の先頭に mmhide_を追加します。例えば、あるページで RightJustified という名前のスタイルを使用していて、Contribute ユーザーがそのスタイルを使用できないようにする場合は、スタイル名を mmhide_RightJustified に変更します。

注意： コードビューでスタイル名に *mmhide_* を追加します。*CSS* パネルでは追加できません。

- CSS スタイルの使用をできるだけ少なくして、単純さと明確さを維持します。
- ヘッダーやフッターなどの HTML ページエレメントにサーバーサイドインクルードを使用する場合は、リンクされていない HTML ページを作成し、インクルードファイルへのリンクを挿入します。これで、Contribute ユーザーはそのページにブックマークを設定し、それを使ってインクルードファイルに移動したり、インクルードファイルを編集できるようになります。

ページの先頭へ

Contribute サイトとのファイルのやり取り

Contribute は、Dreamweaver のチェックイン／チェックアウトと同様のシステムを使用して、指定の Web ページを同時に編集できるユーザーを 1 人のみに制限します。Dreamweaver で Contribute 互換性を有効にすると、Dreamweaver のチェックイン／チェックアウトシステムも自動的に有効になります。

Dreamweaver を使用して Contribute サイトとファイルをやり取りするには、必ず「チェックイン」コマンドおよび「チェックアウト」コマンドを使用します。「チェックイン」および「チェックアウト」コマンドの代わりに「PUT」および「GET」コマンドを使ってファイルを転送すると、Contribute ユーザーがファイルに最近加えた変更を上書きしてしまう可能性があります。

Contribute サイトにファイルをチェックインすると、Dreamweaver によって、以前チェックインしたファイルのバックアップコピーが _baks フォルダーに作成され、ユーザー名と日付がデザインノートファイルに追加されます。

ページの先頭へ

サーバー上での Contribute ファイルおよびフォルダーの権限

Contribute には、各ユーザーロールに設定したファイルおよびフォルダー権限を管理する方法が用意されています。ただし、Contribute には、サーバーによって割り当てられる、ファイルやフォルダーの読み取りおよび書き込み権限を管理する方法はありません。Dreamweaver では、これらの権限はサーバー上で直接管理できます。

Contribute ユーザーが、ページに表示されるイメージなどの依存ファイルに対するサーバー上の読み取りアクセス権を持っていなければ、依存ファイルの内容は Contribute ウィンドウに表示されません。例えば、ユーザーがイメージフォルダーに対する読み取りアクセス権を持っていなければ、そのフォルダー内のイメージは、Contribute では破損イメージのアイコンとして表示されます。同様に、Dreamweaver のテンプレートは、サイトのルートフォルダーにあるサブフォルダーに格納されます。したがって、ルートフォルダーに対する読み取りアクセス権を持っていない Contribute ユーザーは、テンプレートが適切なフォルダーにコピーされていない限り、そのサイトでテンプレートを使用できません。

Dreamweaver サイトを設定する際は、サーバーの /_mm フォルダー（ルートフォルダーの _mm サブフォルダー）、/Templates フォルダー、および使用するアセットが保存されているすべてのフォルダーに対する読み取りアクセス権をユーザーに付与する必要があります。

セキュリティ上の理由で、/Templates フォルダーへの読み取りアクセス権をユーザーに付与できない場合でも、Contribute ユーザーがテンプレートを使用できるようにすることは可能です。「ルートフォルダーにアクセスせずにテンプレートにアクセスする Contribute ユーザーの有効化」を参照してください。

Contribute の権限について詳しくは、Contribute のヘルプの「Contribute の使用と管理」を参照してください。

ページの先頭へ

Contribute の特殊ファイル

Contribute では、ビジターには表示されない、様々な特殊ファイルが使用されます。

- 共有設定ファイル。分かりにくいファイル名を持った拡張子が CSI のファイルで、サイトのルートフォルダー内にある _mm フォルダーに格納され、Contribute でサイトの管理に使用する情報が含まれています。
- 旧バージョンのファイル。_baks フォルダーに格納されています。
- 暫定バージョンのページ。これにより、ユーザーは変更内容をプレビューできます。
- 一時的なロックファイル。特定のページが編集中またはプレビュー中であることを示します。
- デザインノートファイル。サイトのページに関するメタデータが格納されています。

  一般に、このような Contribute 特殊ファイルの編集には Dreamweaver を使用しません。これらのファイルは、Dreamweaver によって自動的に管理されます。

  このような Contribute 特殊ファイルを、誰でもアクセスできるサーバー上に格納したくない場合は、Contribute ユーザーがページを編集できるステージングサーバーを設定します。ユーザーが編集した Web ページは、ステージングサーバーから Web 上にあるプロダクションサーバーに定期的にコピーします。ステージングサーバーを使用する場合は、Web ページのみをプロダクションサーバーにコピーし、上記の Contribute 特殊ファイルはコピーしないでください。特に、_mm および _baks フォルダーはプロダクションサーバーにコピーしないでください。

注意： アンダースコアで始まるフォルダー内のファイルをビジターに見られないようにサーバーを設定する方法については、*Contribute* のヘルプの「*Web* サイトセキュリティ」を参照してください。

ときには、Contribute 特殊ファイルを手動で削除する操作が必要になる場合があります。例えば、ユーザーがプレビューを終えても、Contribute で一時的なプレビューページを削除できない場合があります。このような場合は、それらの一時的なページを手動で削除する必要があります。一時的なプレビューページには、TMP で始まるファイル名が付いています。

同様に、以前に使用したロックファイルが誤ってサーバー上に放置されているような状況も考えられます。このような場合は、他のユーザーがページを編集できるように、ロックファイルを手動で削除する必要があります。

ページの先頭へ

Contribute で使用するサイトの準備

Contribute ユーザー用に既存の Dreamweaver サイトを準備する場合は、Contribute 互換性を明示的に有効にして Contribute に関連する機能を使用可能にする必要があります。この場合、互換性を有効にするように求めるメッセージが Dreamweaver によって表示されることはありません。ただし、管理者のいる Contribute サイトとして設定されているサイトに接続すると、Contribute 互換性を有効にするように求めるメッセージが Dreamweaver によって表示されます。

一部の接続タイプは Contribute 互換性をサポートしていません。接続タイプごとに次のような制限があります。

- リモートサイトへの接続に WebDAV を使用する場合は、Contribute 互換性を有効にすることはできません。これは、Dreamweaver が Contribute サイトに対して使用するデザインノートおよびチェックイン／チェックアウトシステムとの互換性が、これらのソースコントロールシステムにないためです。
- RDS を使用してリモートサイトへ接続する場合は、Contribute 互換性を有効にできますが、Contribute ユーザーとサイトを共有するには、接続をカスタマイズする必要があります。
- ローカルコンピューターを Web サーバーとして使用する場合は、Contribute ユーザーと接続を共有できるように、ローカルフォルダーパスだけでなく、そのコンピューターへの FTP またはネットワーク接続を使用してサイトを設定する必要があります。

Contribute 互換性を有効にすると、「デザインノートをアップロードして共有する」オプションを含め、Dreamweaver のデザインノートとチェックイン／チェックアウトシステムも自動的に有効になります。

接続しているリモートサイトで CPS（Contribute Publishing Server）が有効な場合、ファイルのチェックイン、ロールバック、パブリッシュなどのネットワーク操作をトリガーするたびに、Dreamweaver から CPS に通知されます。CPS はこれらのイベントをログに記録し、ユーザーは CPS 管理コンソールでログを参照できます。CPS を無効にすると、これらのイベントはログに記録されません。CPS を有効にするには Contribute を使用します。詳しくは、Adobe Contribute のヘルプを参照してください。

注意： 使用するコンピューターに *Contribute* をインストールしなくてもサイトを *Contribute* 互換にすることは可能ですが、*Dreamweaver* から *Contribute Administrator* を起動するには、*Dreamweaver* と同じコンピューターに *Contribute* をインストールすることと、*Contribute* 互換性を有効にする前にリモートサイトに接続しておくことが必要です。リモートサイトに接続しないと、*Dreamweaver* は *Contribute* の管理設定を読み取れないため、*CPS* またはロールバックが有効になっているかどうかを判断できません。

注意： *Contribute* でサイトを管理するために使用する共有設定ファイル（*CSI* ファイル）がリモートサーバー上に存在し、その内容に異常がないようにしておく必要があります。このファイルは、*Contribute Administrator* で管理を実行するたびに *Contribute* によって自動作成されます（古いバージョンは上書きされます）。共有設定ファイルがサーバー上にないか、内容が壊れている場合、ネットワーク操作（*PUT* など）を実行しようとするたびに *Dreamweaver* から *"Contribute* 互換性に必要なファイルがサーバーにありません*"* というエラーが返されます。正常なファイルが確実にサーバー上に存在するようにするには、*Dreamweaver* でサーバーへの接続を無効にし、*Contribute Administrator* を起動して管理上の変更操作を実行し、それから *Dreamweaver* でサーバーに接続し直します。詳しくは、*Adobe Contribute* のヘルプを参照してください。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトを選択して、「編集」ボタンをクリックします。
3. サイト設定ダイアログボックスで、「詳細設定」を展開し、「Contribute」カテゴリを選択して、「Contribute 互換性を有効化」を選択します。
4. デザインノートとチェックイン／チェックアウトを有効にする必要があることを示すダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。
5. チェックイン／チェックアウトの連絡先情報を入力していない場合は、ダイアログボックスに名前と電子メールアドレスを入力し、「OK」をクリックします。サイト定義ダイアログボックスに、ロールバックのステータス、CPS のステータス、「サイトルート URL」テキストボックス、および「Contribute でサイトを管理」ボタンが表示されます。

   Contribute でロールバックが有効になっている場合、Dreamweaver で変更する以前のバージョンにファイルをロールバックできます。
6. 「サイトルート URL」テキストボックスの URL を確認し、正しくない場合は修正します。Dreamweaver は、ユーザーが指定した他のサイト定義情報を基にしてサイトルート URL を作成しますが、URL が正しく作成されない場合もあります。
7. 「テスト」ボタンをクリックして、正しい URL が入力されたかどうかを確認します。

   注意： 接続キーを送信するか、*Contribute* サイトの管理タスクを実行する準備が整っている場合は、残りの手順を省略してください。
8. 管理上の変更操作を実行するには、「Contribute でサイトを管理」をクリックします。Dreamweaver から Contribute Administrator を開くには、同じコンピューターに Contribute をインストールしておく必要があることに注意してください。
9. 「保存」をクリックし、「終了」をクリックします。

Dreamweaver を使用した Contribute サイトの管理

ページの先頭へ

Contribute 互換性を有効にすると、Dreamweaver を使用して Contribute を起動し、サイトの管理タスクを実行できるようになります。

注意： *Contribute* は *Dreamweaver* と同じコンピューターにインストールしておく必要があります。

Contribute サイトの管理者は、次のタスクを実行できます。

- サイト全体の管理設定を変更する。

  Contribute の管理設定は、Web サイトのすべてのユーザーに適用される設定の集まりです。これらの設定により、Contribute を微調整して、使いやすくすることができます。

- Contribute でユーザーロールに割り当てられた権限を変更する。
- Contribute ユーザーを設定する。

  Contribute ユーザーがサイトに接続するには、サイトに関する特定の情報が必要です。このような情報はすべて、"接続キー" というファイルにパッケージ化して Contribute ユーザーに送信できます。

注意： 接続キーは、*Dreamweaver* で書き出されたサイトファイルとは異なります。

ページの編集に必要な接続情報を *Contribute* ユーザーに提供するには、*Dreamweaver* を使用してサイトの基本的なフォルダー階層を作成し、サイトに必要なテンプレートと *CSS* スタイルシートを作成する必要があります。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトを選択して、「編集」ボタンをクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「詳細設定」を展開し、「Contribute」カテゴリを選択します。
4. 「Contribute でサイトを管理」ボタンをクリックします。

   注意： *Contribute* 互換性を有効にしていない場合、このボタンは表示されません。

5. 管理者のパスワードを入力するよう求められた場合は、管理者のパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

   Web サイトの管理ダイアログボックスが表示されます。

   - 管理設定を変更するには、左側のリストからカテゴリを選択します。
   - ロール設定を変更するには、「ユーザーと役割」カテゴリで「役割の設定を編集」をクリックし、必要に応じて変更を行います。
   - ユーザーを設定するために接続キーを送信するには、「ユーザーと役割」カテゴリで「接続キーを送信」をクリックし、接続ウィザードを完了します。

6. 「閉じる」をクリックし、「OK」をクリックして、「終了」をクリックします。

管理設定、ユーザーロール、接続キーについて詳しくは、Contribute のヘルプを参照してください。

Contribute サイトにおけるリモートファイルの削除、移動、名前の変更

ページの先頭へ

Contribute サイトをホストしているリモートサーバーからのファイルの削除は、Dreamweaver サイトのサーバーからファイルを削除する操作とほぼ同じです。ただし、Contribute サイトからファイルを削除しようとすると、そのファイルの旧バージョンをすべて削除するかどうかの確認を Dreamweaver から求められます。旧バージョンを維持するように選択すると、Dreamweaver によって現在のバージョンのコピーが _baks フォルダーに保存されるので、後で復元できます。

Contribute サイトでのリモートファイルの名前の変更や、別のフォルダーへの移動は、Dreamweaver サイトでの操作と同じです。Contribute サイトでは、Dreamweaver によっても、_baks フォルダー内に保存されている以前のバージョンのファイル名の変更や他のフォルダーへの移動が行われます。

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）のリモートペインでファイルを選択し、BackSpace キー（Windows）または Delete キー（Mac OS）を押します。

   ファイルを削除することを確認するダイアログボックスが表示されます。

2. 確認のダイアログボックスで、次の操作を行います。
   - 現在のバージョンのファイルだけでなく以前のバージョンもすべて削除するには、「ロールバックバージョンの削除」オプションをオンにします。
   - 以前のバージョンをサーバー上に残すには、「ロールバックバージョンの削除」オプションをオフにします。
3. 「はい」をクリックして、ファイルを削除します。

ルートフォルダーにアクセスせずにテンプレートにアクセスする Contribute ユーザーの有効化

ページの先頭へ

Contribute サイトでは、基礎になるファイルおよびフォルダー権限をサーバー上で直接管理できます。セキュリティ上の理由で、/Templates フォ

ルダーへの読み取りアクセス権をユーザーに付与できない場合でも、ユーザーがテンプレートを使用できるようにすることは可能です。

1. Contribute サイトのルートフォルダーがユーザーにルートとして表示されるように設定します。
2. ファイルパネルを使用して、テンプレートフォルダーをメインサイトのルートフォルダーから Contribute サイトのルートフォルダーに手動でコピーします。
3. メインサイトのテンプレートを更新したら、必要に応じて、変更したテンプレートを適切なサブフォルダーに再コピーします。

   このような操作を行った場合は、サブフォルダーでサイトルート相対リンクを使用しないでください。サイトルート相対リンクは、Dreamweaver で定義したルートフォルダーではなく、サーバー上のメインルートフォルダーを基準とします。Contribute ユーザーはサイトルート相対リンクを作成できません。

   Contribute ページ内のリンクが破損しているように見える場合は、フォルダー権限に問題がある可能性があります。特に、Contribute ユーザーのルートフォルダー外のページにリンクしていると、問題が発生する可能性が高くなります。このような場合は、サーバー上にある各フォルダーの読み取り/書き込み権限を確認してください。

ページの先頭へ

Contribute サイトのトラブルシューティング

Contribute サイトのリモートファイルがチェックアウトされているように見えても、実際にはユーザーのコンピューター上にあるファイルはロックされていないことがあります。この場合、そのファイルのロックを解除すると、ユーザーはファイルを編集できるようになります。

Contribute サイトの管理タスクを行う各ボタンをクリックすると、リモートサイトに接続できるかどうか、サイトに設定したサイトルート URL が正しいかどうかが、Dreamweaver によって検証されます。Dreamweaver が接続できない場合、または URL が無効な場合は、エラーメッセージが表示されます。

管理ツールが適切に機能しない場合は、_mm フォルダーに問題がある可能性があります。

Contribute サイトのファイルのロック解除

注意： 以下の手順を実行する前に、ファイルが実際にチェックアウトされていないことを確認してください。*Contribute* ユーザーが編集中のファイルのロックを解除すると、複数のユーザーが同時にファイルを編集してしまう可能性があります。

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ドキュメントウィンドウでファイルを開き、サイト／チェックアウトの取り消しを選択します。
   - ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、「チェックアウトの取り消し」を選択します。

     ファイルをチェックアウトしたユーザーを示し、そのファイルのロックを解除するかどうかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。
2. ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックして確認します。

   サーバー上で、そのファイルのロックが解除されます。

Contribute サイトへの接続に関する問題のトラブルシューティング

1. サイト定義ダイアログボックスの「Contribute」カテゴリで「サイトルート URL」の URL を検証するには、ブラウザーでその URL を開き、正しいページが開くかどうかを確認します。
2. サイト定義ダイアログボックスの「リモート情報」カテゴリで「テスト」ボタンをクリックして、サイトに接続できるかどうかを確認します。
3. URL が正しいにもかかわらず、「テスト」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示される場合は、システム管理者にお問い合わせください。

Contribute 管理ツールのトラブルシューティング

1. サーバー上で、_mm フォルダーに対する読み取り/書き込み権限と実行権限（必要な場合）があることを確認します。
2. 拡張子が CSI の共有設定ファイルが _mm フォルダーにあることを確認します。
3. このフォルダーにない場合は、接続ウィザード（Windows）または接続アシスタント（Mac OS）を使用してサイトへの接続を作成し、サイトの管理者になります。管理者になると、共有設定ファイルが自動的に作成されます。既存の Contribute Web サイトの管理者になる方法について詳しくは、Contribute のヘルプの「*Contribute* の使用と管理」を参照してください。

アドビは次の機能も推奨します。

- Dreamweaver サイトの設定の読み込みおよび書き出し

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

サーバーからのファイルの取得とサーバーへのファイルの送信

ファイル転送および依存ファイル
バックグラウンドでのファイル転送について
リモートサーバーからのファイルの取得
リモートサーバーへのファイル送信
ファイル転送の管理

トップへ戻る

ファイル転送および依存ファイル

グループで作業している場合は、チェックイン / チェックアウトシステムを使ってローカルサイトとリモートサイト間でファイルを転送します。リモートサイトで単独で作業している場合は、チェックイン / チェックアウトシステムを使用せずに、「GET」および「PUT」コマンドを使用してファイルを転送できます。

ファイルパネルを使用してローカルフォルダーとリモートフォルダー間でドキュメントを転送するときに、ドキュメントの依存ファイルを転送するオプションがあります。依存ファイルとは、ドキュメントで参照され、ドキュメントのロード時にブラウザーがロードするイメージ、外部スタイルシート、およびその他のファイルのことです。

注意： 通常、新規ファイルをチェックアウトする場合は、依存ファイルも一緒にダウンロードすることをお勧めしますが、既に最新バージョンの依存ファイルがローカルディスクにある場合は、再びダウンロードする必要はありません。これはファイルのアップロードとチェックインの場合にも当てはまります。最新のコピーがリモートサイトに既に存在している場合は、再びダウンロードする必要はありません。
ライブラリ項目は依存ファイルとして処理されます。

サーバーの中には、ライブラリのアイテムを PUT するときにエラーを報告するものがあります。ただし、これらのファイルをクロークすると、転送されないようにできます。

トップへ戻る

バックグラウンドでのファイル転送について

ファイルの取得または送信中に、サーバーに関連しないその他の操作を実行できます。バックグラウンドのファイル転送は、Dreamweaver でサポートされるすべての転送プロトコル（FTP、SFTP、LAN、WebDAV、Subversion、および RDS）で機能します。

サーバーに関連しない操作には、入力、外部スタイルシートの編集、サイト全体のレポートの生成、新規サイトの作成などの一般的な操作があります。

ファイル転送中に Dreamweaver で実行できないサーバー関連操作は以下のとおりです。

- ファイルの PUT / GET / チェックイン / チェックアウト
- チェックアウトの取り消し
- データベース接続の作成
- 動的データのバインド
- ライブビューでのデータのプレビュー
- Web サービスの挿入
- リモートファイルまたはフォルダーの削除
- テストサーバーでのブラウザーでプレビュー
- リモートサーバーへのファイルの保存
- リモートサーバーからのイメージの挿入
- リモートサーバーからファイルを開く
- 保存時のファイルの自動 PUT
- リモートサイトへのファイルのドラッグ
- リモートサイトでのカット、コピー、またはペースト
- リモートビューの更新

初期設定では、ファイル転送中にバックグラウンドファイル操作ダイアログボックスが開いています。ダイアログボックスの右上にある最小化ボタンをクリックして、ダイアログボックスを最小化することができます。ファイル転送中にダイアログボックスを閉じると、操作がキャンセルされます。

トップへ戻る

リモートサーバーからのファイルの取得

ファイルをリモートサイトからローカルサイトにコピーするには、「GET」コマンドを使用します。ファイルを取得するには、ドキュメントウィンドウのファイルパネルを使用します。

Dreamweaver により、表示および保存できる転送中のファイル操作のログが作成されます。

注意： バックグラウンドでのファイル転送をオフにすることはできません。バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスで詳細ログを開いている場合、そのログを閉じるとパフォーマンスが向上します。
また、Dreamweaver ではすべての FTP ファイル転送操作も記録されます。FTP を使ってファイルを転送中にエラーが発生した場合、FTP サイトログを問題解決に利用できます。

ファイルパネルを使用したリモートサーバーからのファイルの取得

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、ダウンロードするファイルを選択します。

   通常、これらのファイルはリモートビューで選択しますが、対応するファイルをローカルビューで選択することもできます。「リモートビュー」がアクティブな場合、Dreamweaver により、選択したファイルがローカルサイトにコピーされます。ローカルビューがアクティブな場合は、Dreamweaver により、選択したローカルファイルのリモートバージョンがローカルサイトにコピーされます。

   注意： リモートのバージョンがローカルのバージョンより新しいファイルだけを取得するには、「同期」コマンドを使用します。
2. ファイルを取得するには以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイルパネルのツールバーの「GET」ボタンをクリックします。
   - ファイルパネルでファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューから「GET」を選択します。
3. 依存ファイルをダウンロードする場合は依存ファイルダイアログボックスで「はい」をクリックします。依存ファイルのローカルコピーが既にある場合は「いいえ」をクリックします。初期設定では、依存ファイルはダウンロードされません。このオプションは、編集／環境設定／サイトで設定できます。

   Dreamweaver により、選択したファイルが次のようにダウンロードされます。
   - チェックイン / チェックアウトシステムが有効な場合にファイルを取得すると、ファイルは読み取り専用でローカルサイトにコピーされます。他のユーザーはリモートサイトまたはテストサーバーでそのファイルをチェックアウトできます。
   - チェックイン / チェックアウトシステムを使用していない場合にファイルを取得すると、コピーされるファイルは「読み取りおよび書き込み」が可能になります。

     注意： グループで共同作業をしている場合、つまり他のユーザーが同じファイルで作業する場合は、「ファイルのチェックイン / チェックアウト」をオンにすることをお勧めします。他のユーザーがサイトでチェックイン / チェックアウトシステムを使っている場合は、同じシステムを使うことを推奨します。

     ファイル転送はいつでも停止できます。転送を停止するには、バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンをクリックします。

ドキュメントウィンドウを使用したリモートサーバーからのファイルの取得

1. ドキュメントウィンドウでドキュメントがアクティブになっていることを確認します。
2. ファイルを取得するには以下のいずれかの操作を行います。
   - サイト／GET を選択します。
   - ドキュメントウィンドウのツールバーのファイル管理アイコンをクリックし、メニューから「GET」を選択します。

     注意： 現在のファイルがファイルパネルの現在のサイトの一部ではない場合は、Dreamweaver により現在のファイルがどのローカルサイトに属しているかが調べられます。現在のファイルが 1 つのローカルサイトにのみ属している場合は、Dreamweaver がそのサイトを開き、GET 操作を実行します。

FTP のログの表示

1. ファイルパネルの右上にあるオプションメニューをクリックします。
2. 表示／FTP サイトログを選択します。

注意： 展開されたファイルパネルで、「FTP ログ」ボタンをクリックするとログが表示されます。

トップへ戻る

リモートサーバーへのファイル送信

ローカルサイトからリモートサイトにファイルを送信しても、通常、ファイルのチェックアウトに関するステータスは変更されません。

チェックイン機能ではなく、「PUT」コマンドを使う一般的な状況は 2 つあります。

- グループで作業していなくて、チェックイン / チェックアウトシステムを無効にしている場合。

- サーバー上にファイルの現在バージョンを送信するが、送信後も編集を続ける場合。

  注意： チェックイン / チェックアウトシステムが有効な状態で、リモートサイトになかったファイルを送信すると、ファイルはリモートサイトにコピーされてからチェックアウトされ、編集を続けられます。

  ファイルを PUT するには、ドキュメントウィンドウのファイルパネルを使用します。Dreamweaver により、表示および保存できる転送中のファイル操作のログが作成されます。

  注意： バックグラウンドでのファイル転送をオフにすることはできません。バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスで詳細ログを開いている場合、そのログを閉じるとパフォーマンスが向上します。

  また、Dreamweaver ではすべての FTP ファイル転送操作も記録されます。FTP を使ってファイルを転送中にエラーが発生した場合、FTP サイトログを問題解決に利用できます。

  リモートサーバーへのファイル送信に関するチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0163_jp を参照してください。

  パブリッシュ問題のトラブルシューティングに関するチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0164_jp を参照してください。

ファイルパネルを使用したリモートサーバーまたはテストサーバーへのファイルの送信

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、アップロードするファイルを選択します。

   通常、ローカルビューでアップロードするファイルを選択しますが、リモートビューで選択することもできます。

   注意： ローカルのバージョンがリモートのバージョンより新しいファイルのみを送信できます。
2. リモートサーバーにファイルを送信するには以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイルパネルのツールバーの「PUT」ボタンをクリックします。
   - ファイルパネルでファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューから「PUT」を選択します。
3. 送信するファイルが保存されていない場合は、リモートサーバーに送信する前にファイルを保存するかどうかを尋ねるダイアログボックスが表示されます（環境設定ダイアログボックスの「サイト」カテゴリのこの環境設定を設定した場合）。「はい」をクリックしてファイルを保存するか、「いいえ」をクリックして前回保存したバージョンをリモートサーバーに送信します。
   注意： 送信前にファイルを保存しないと、前回保存した後に行った変更は、リモートサーバーに送信されません。ファイルは開いたままなので、サーバーにファイルを送信した後で変更を保存することができます。
4. 「はい」をクリックすると、依存ファイルが選択したファイルと共にアップロードされます。「いいえ」をクリックすると、依存ファイルはアップロードされません。初期設定では、依存ファイルはアップロードされません。このオプションは、編集／環境設定／サイトで設定できます。
   注意： 通常、新規ファイルをチェックインする場合は、依存ファイルも一緒にアップロードすることをお勧めしますが、既に最新バージョンの依存ファイルがリモートサーバーにある場合は、再びアップロードする必要はありません。

   ファイル転送はいつでも停止できます。転送を停止するには、バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンをクリックします。

ドキュメントウィンドウを使用したリモートサーバーへのファイルの送信

1. ドキュメントウィンドウでドキュメントがアクティブになっていることを確認します。
2. ファイルを送信するには以下のいずれかの操作を行います。
   - サイト／PUT を選択します。
   - ドキュメントウィンドウのツールバーのファイル管理アイコンをクリックし、ポップアップメニューから「PUT」を選択します。

     注意： 現在のファイルがファイルパネルの現在のサイトの一部ではない場合は、Dreamweaver により現在のファイルがどのローカルサイトに属しているかが調べられます。現在のファイルが 1 つのローカルサイトだけに属している場合は、Dreamweaver がそのサイトを開き、PUT 操作を実行します。

FTP のログの表示

1. ファイルパネルの右上にあるオプションメニューをクリックします。
2. 表示／FTP サイトログを選択します。

注意： 展開されたファイルパネルで、「FTP ログ」ボタンをクリックするとログが表示されます。

トップへ戻る

ファイル転送の管理

ファイル転送操作のステータスと、転送されたファイルとその結果のリスト（転送の成功、スキップ、または失敗）を表示できます。また、ファイル操作のログを保存することもできます。

注意： Dreamweaver では、サーバーへのファイルの転送中またはサーバーからのファイルの転送中に、サーバーに関連しない他の操作を実行することができます。

ファイル転送のキャンセル

✤ バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されない場合は、ファイルパネルの下部にある「ファイル操作」ボタンをクリックします。

ファイル転送中でのバックグラウンドファイル操作ダイアログボックスの表示

✤ ファイルパネルの下部にある「ファイル操作」ボタンまたは「ログ」ボタンをクリックします。

注意： 「ログ」ボタンを非表示に設定または削除することはできません。「ログ」ボタンはパネルに常に表示されます。

最後のファイル転送の詳細の表示

1. ファイルパネルの下部にある「ログ」ボタンをクリックして、バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスを開きます。
2. 縮小の三角形をクリックします。

最後のファイル転送のログの保存

1. ファイルパネルの下部にある「ログ」ボタンをクリックして、バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスを開きます。
2. 「ログの保存」ボタンをクリックし、情報をテキストファイルとして保存します。

ファイル操作を確認するには、Dreamweaver またはテキストエディターでログファイルを開きます。

関連項目

ファイル送信のチュートリアル

パブリッシュ問題のトラブルシューティングのチュートリアル

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

動的サイトについて

動的 Web ページを構築する前に、Web アプリケーションサーバーの設定や、Coldfusion、ASP、PHP アプリケーションのデータベースへの接続など、いくつかの準備作業を行う必要があります。Adobe Dreamweaver でのデータベース接続の処理は、選択したサーバーテクノロジーによって異なります。

注意： *Dreamweaver CC* 以降では、ユーザーインターフェイスが簡素化されています。そのため、この記事で説明されているオプションの一部が *Dreamweaver CC* 以降には存在しない場合があります。詳しくは、この記事を参照してください。

BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver サイトについて

Dreamweaver の「サイト」について
ローカルフォルダーとリモートフォルダーの構造について

Adobe® Dreamweaver® サイトは、Web サイトのすべてのファイルとアセットの集まりです。コンピューターで Web ページを作成して Web サーバーにアップロードし、更新済みファイルを転送して保存することにより Web サイトを維持できます。また、Dreamweaver を使用しないで作成した Web サイトも編集および維持することができます。

トップへ戻る

Dreamweaver の「サイト」について

Dreamweaver における "サイト" という用語は、Web サイトのドキュメントを保存するためのローカルまたはリモートの場所を指します。Dreamweaver のサイトには、Web のすべてのドキュメントの整理と管理、Web サーバーへのサイトのアップロード、リンクの追跡と管理、ファイルの管理と共有を行う方法が用意されています。Dreamweaver の機能を完全に利用するには、サイトを定義する必要があります。

注意： Dreamweaver サイトの定義に必要な操作は、ローカルフォルダーの設定だけです。ただし、Web サーバーへのファイルの転送や Web アプリケーションの開発をする場合は、リモートサイトとテストサーバーの情報も追加する必要があります。

Dreamweaver サイトは、最大で 3 つの部分、つまり 3 つのフォルダーで構成されます。これは、開発環境と、作成する Web サイトのタイプによって異なります。

ローカルルートフォルダー 作業中のファイルが格納されます。Dreamweaver はこのフォルダーを "ローカルサイト" として表示します。通常、このフォルダーはローカルコンピューター上に配置しますが、ネットワークサーバー上に配置することもできます。

リモートフォルダー テスト用、実作業用、共同作業用などのファイルが格納されます。Dreamweaver は、このフォルダーを "リモートサイト" としてファイルパネルに表示します。通常、リモートフォルダーは Web サーバーが実行されているコンピューター上に配置します。リモートフォルダーには、ユーザーがインターネット上でアクセスするファイルが保持されます。

ローカルフォルダーとリモートフォルダーによって、ローカルハードディスクと Web サーバー間のファイルの転送が可能になり、Dreamweaver サイトでのファイルの管理が簡単になります。ローカルフォルダーのファイルに対して作業を行い、そのファイルを他の人々に公開する場合はリモートフォルダーにパブリッシュします。

テストサーバーフォルダー Dreamweaver によって動的ページが処理されるフォルダーです。

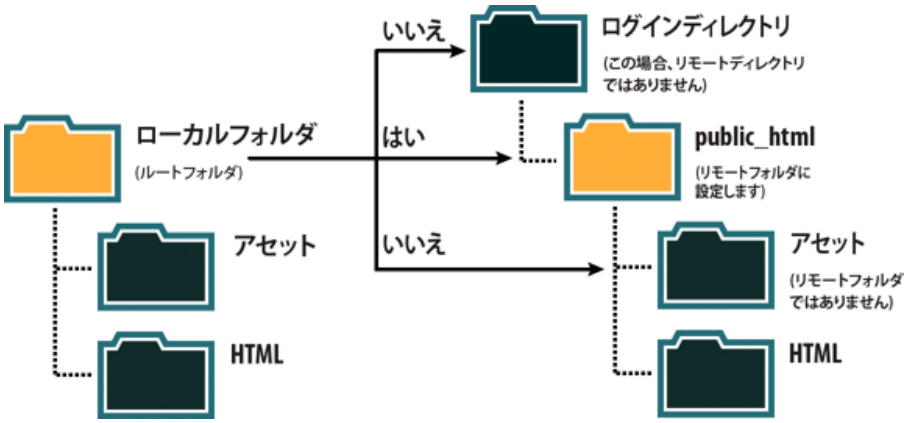
Dreamweaver サイトの定義方法に関するチュートリアルについては、www.adobe.com/go/learn_dw_comm08_jp を参照してください。

トップへ戻る

ローカルフォルダーとリモートフォルダーの構造について

Dreamweaver を使用してリモートフォルダーに接続する場合、サイト定義ダイアログボックスの「サーバー」カテゴリで接続するリモートフォルダーを指定する必要があります。指定したリモートフォルダー（"ホストディレクトリ" ともいいます）は、Dreamweaver サイトのローカルルートフォルダーと一致している必要があります （Dreamweaver サイトの最上位レベルにあるフォルダーが、ローカルルートフォルダーです）。ローカルフォルダーと同じようにリモートフォルダーにも任意の名前を付けることができますが、ISP（インターネットサービスプロバイダー）により、各ユーザーアカウントに対して public_html や pub_html などの名前が最上位レベルのリモートフォルダーに付けられるのが一般的です。自分のリモートサーバーを自分自身で管理し、リモートフォルダーに任意の名前を付けることができる環境の場合、ローカルルートフォルダーとリモートフォルダーに同じ名前を付けることをお勧めします。

以下の例は、左側にサンプルローカルルートフォルダーを、右側にサンプルリモートフォルダーを示しています。ローカルマシンのローカルルートフォルダーは、リモートフォルダーのサブフォルダーやディレクトリ構造内のリモートフォルダーの上位に位置するフォルダーにマップされるのではなく、Web サーバーのリモートフォルダーに直接マップされます。



注意： 上の例は、ローカルルートフォルダーと最上位レベルのリモートフォルダーが、ローカルマシンとリモート Web サーバー上にそれぞれ 1

つずつある場合を示したものです。ローカルマシン上で複数の Dreamweaver サイトを管理する場合、リモートサーバー上にも同じ数のリモートフォルダーが必要になります。この場合、上の例には当てはまらなくなるため、public_html フォルダー内に複数のリモートフォルダーを作成し、ローカルマシンの対応するローカルルートフォルダーにこれらのリモートフォルダーをマップする必要があります。

最初にリモート接続を行う場合、通常、Web サーバーのリモートフォルダーは空になっています。Dreamweaver を使用してローカルルートフォルダー内のファイルをすべてアップロードすると、リモートフォルダーにこれらの Web ファイルがすべて格納されます。リモートフォルダーとローカルルートフォルダーのディレクトリ構造は、常に同じにしておく必要があります （つまり、ローカルルートフォルダー内のファイルとフォルダーに対して、リモートフォルダー内のファイルとフォルダーを 1 対 1 で対応付けておく必要があります）。リモートフォルダーの構造がローカルルートフォルダーの構造と一致しない場合、Dreamweaver によって間違った場所にファイルがアップロードされるため、サイトのビジターがこれらのファイルを参照できないことがあります。また、フォルダーとファイルの構造が一致していない場合、イメージやリンクのパスが切断されやすくなります。

Dreamweaver をリモートルートフォルダーに接続するには、そのリモートルートフォルダーが存在している必要があります。Web サーバー上でリモートフォルダーとして機能するフォルダーが指定されていない場合、新しくフォルダーを作成するか、ISP のサーバー管理者にフォルダーの作成を依頼してください。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テストサーバーの設定

テストサーバーの設定
テストサーバーの Web URL について

動的ページを開発する場合、作業中に動的コンテンツの生成や表示を行うためのテストサーバーが Dreamweaver に対して必要になります。ローカルコンピューター、開発サーバー、ステージングサーバー、またはプロダクションサーバーのいずれかを、テストサーバーとすることができます。

テストサーバーの用途の概要について詳しくは、David Powers による Dreamweaver Developer Center の記事「Dreamweaver CS5 でのローカルテストサーバーのセットアップ」を参照してください。

テストサーバーの設定

ページの先頭へ

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「新規作成」をクリックして新しいサイトを設定するか、既存の Dreamweaver サイトを選択して編集アイコンをクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリーを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 「新規サーバーの追加」ボタンをクリックして、新しいサーバーを追加します。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。
4. 必要に応じて基本オプションを指定した後、「詳細設定」ボタンをクリックします。

   注意： テストサーバーを指定するときは、基本画面で *Web URL* を指定する必要があります。詳しくは、次の項を参照してください。
5. 「テストサーバー」で、Web アプリケーションに使用するサーバーモデルを選択します。

   注意： *Dreamweaver CS5* では、*ASP.NET*、*ASP JavaScript*、または *JSP* サーバービヘイビアーはインストールされなくなりました。必要に応じて、推奨されないサーバービヘイビアーを手動で再度有効にできますが、*Dreamweaver* ではこれらのビヘイビアーを正式にはサポートしていないことに注意してください。ただし、*Dreamweaver* では、*ASP.NET*、*ASP JavaScript* または *JSP* ページで作業されている場合でも、ライブビュー、コードのカラーリング、およびコードヒントについてはこれらのページでサポートされます。これらの機能は、サイト定義ダイアログボックスで *ASP.NET*、*ASP JavaScript* または *JSP* を選択しなくても動作します。
6. 「保存」をクリックして詳細画面を閉じます。次に、「サーバー」カテゴリーで、追加または編集したサーバーをテストサーバーとして指定します。

テストサーバーの Web URL について

ページの先頭へ

Dreamweaver でテストサーバーのサービスを使用して、作業中にデータの表示やデータベースへの接続ができるように、Web URL を指定する必要があります。Dreamweaver はこのデザイン時接続を使用して、データベース内のテーブルの名前やテーブル内の列の名前など、データベースに関する有用な情報を表示します。

テストサーバーの Web URL は、ドメイン名と、Web サイトのホームディレクトリにある任意のサブディレクトリまたは仮想ディレクトリで構成します。

注意： *Microsoft IIS* で使用される用語がサーバーの種類によって異なる場合がありますが、概念はほとんど同じです。

ホームディレクトリ サーバー上のフォルダーのうち、ユーザーのサイトのドメイン名に対応付けられたフォルダーを指します。動的ページの処理に使用するフォルダーが c:¥sites¥company¥ で、このフォルダーがホームディレクトリであるとします。つまり、このフォルダーが、www.mystartup.com などのサイトのドメイン名に対応付けられているとします。この場合、URL 接頭辞は http://www.mystartup.com/ になります。

動的ページの処理に使用するフォルダーが、ホームディレクトリのサブフォルダーである場合は、この URL にサブフォルダーを追加します。ホームディレクトリが c:¥sites¥company¥ で、サイトのドメイン名が www.mystartup.com、動的ページの処理に使用するフォルダーが c:¥sites¥company¥inventory であるとします。この場合は、Web URL を次のように入力します。

http://www.mystartup.com/inventory/

動的ページの処理に使用するフォルダーが、ホームディレクトリではなく、ホームディレクトリのサブディレクトリでもない場合は、仮想ディレクトリを作成する必要があります。

仮想ディレクトリ URL には表示されても、サーバーのホームディレクトリの中に物理的には存在しないフォルダーです。仮想ディレクトリを作成するには、URL の中にフォルダーのパスのエイリアスを指定します。例えば、ホームディレクトリが c:¥sites¥company、処理用のフォルダーが d:¥apps¥inventory のシステムで、warehouse というエイリアスをこのフォルダーに対して定義するとします。この場合は、Web URL を次のように入力します。

http://www.mystartup.com/warehouse/

Localhost クライアント（通常はブラウザーですが、この場合は Dreamweaver）と Web サーバーが同じシステム上で実行されているときに、URL 内でホームディレクトリを示す用語です。例えば、Dreamweaver が Web サーバーと同じ Windows システム上で実行されていて、ホームディレクトリが c:¥sites¥company の場合、動的ページの処理に使用するフォルダーを示す warehouse という仮想ディレクトリを定義したとします。選択した Web サーバーに対応して入力する Web URL を次に示します。

Web サーバー	Web URL
ColdFusion MX 7	http://localhost:8500/warehouse/
IIS	http://localhost/warehouse/
Apache（Windows）	http://localhost:80/warehouse/
Jakarta Tomcat（Windows）	http://localhost:8080/warehouse/

注意： 初期設定では、*ColdFusion MX 7* の *Web* サーバーはポート *8500*、*Apache* の *Web* サーバーはポート *80*、*Jakarta Tomcat* の *Web* サーバーはポート *8080* で実行されます。

Mac OS で Apache の Web サーバーを実行している場合、ユーザー個人のホームディレクトリは Users/MyUserName/Sites になります。ここで、MyUserName は、Mac OS ユーザー名です。Mac OS 10.1 以降をインストールすると、このフォルダーに対して ~MyUserName というエイリアスが自動的に定義されます。したがって、Dreamweaver における初期設定の Web URL は次のようになります。

http://localhost/~MyUserName/

動的ページの処理に使用するフォルダーが Users:MyUserName:Sites:inventory の場合、Web URL は次のようになります。

http://localhost/~MyUserName/inventory/

- アプリケーションサーバーの選択

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver サイトの設定の読み込みおよび書き出し

サイトの設定の書き出し
サイトの設定の読み込み

サイトの設定を XML ファイルとして書き出し、後から Dreamweaver に読み込むことができます。サイトの書き出しおよび読み込みでは、サイトの設定を他のコンピューターや製品バージョンに転送したり、他のユーザーとサイトの設定を共有したり、サイトの設定をバックアップすることができます。

読み込みと書き出しの機能では、サイトファイルの読み込みまたは書き出しは行われません。サイトの設定を読み込み/書き出して、Dreamweaver でサイトを再作成するための時間を節約するだけです。Dreamweaver での新しいサイトの作成について詳しくは、ローカルバージョンのサイトの設定を参照してください。

サイトの設定を定期的に書き出すことにより、サイトに問題が発生したときのためにバックアップコピーを備えておくことができます。

トップへ戻る

サイトの設定の書き出し

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 設定を書き出す 1 つまたは複数のサイトを選択し、「書き出し」（CS5 および CS5.5）または「書き出し」ボタン（CS6 およびそれ以降）をクリックします。
   - 複数のサイトを選択するには、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら各サイトをクリックします。
   - サイトの範囲を選択するには、Shift キーを押しながら、範囲の最初のサイトと最後のサイトをクリックします。
3. サイト設定を自分でバックアップする場合は、サイトの書き出しダイアログボックスで最初のオプションを選択し、「OK」をクリックします。Dreamweaver により、ユーザー名、パスワード、ローカルパス情報など、リモートサーバーのログイン情報が保存されます。
4. 他のユーザーと設定を共有する場合は、サイトの書き出しダイアログボックスで 2 番目のオプションを選択し、「OK」をクリックします（Dreamweaver は、リモートサーバーのログイン情報やローカルパスなど、他のユーザーが使用できない情報は保存しません）。
5. 設定を書き出すサイトごとにサイトファイルの保存先となる場所を参照し、「保存」をクリックします（Dreamweaver によって、サイトの設定が .ste ファイル拡張子の付いた XML ファイルとして保存されます）。
6. 「終了」をクリックします。

   注意： *.ste ファイルをサイトルートフォルダーに保存するか、見つけやすいようにデスクトップに保存します。保存した場所を思い出すことができない場合は、コンピューター上で *.ste 拡張子が付いたファイルの検索を実行し、目的のファイルを見つけます。

トップへ戻る

サイトの設定の読み込み

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「読み込み」（CS5 および CS5.5）または「サイトの読み込み」ボタン（CS6 およびそれ以降）をクリックします。
3. 拡張子 .ste のファイルに定義されている設定を読み込む、1 つまたは複数のサイトを参照して選択します。

   複数のサイトを選択するには、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら各 .ste ファイルをクリックします。サイトの範囲を選択するには、Shift キーを押しながら、範囲の最初のファイルと最後のファイルをクリックします。
4. 「開く」をクリックし、「終了」をクリックします。

   Dreamweaver によってサイトの設定が読み込まれ、サイト名がサイトの管理ダイアログボックスに表示されます。

- Dreamweaver サイトについて
- サイト定義のバックアップと復元

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

既存のリモート Web サイトの編集

Dreamweaver を使用して、既存のリモートサイトやリモートサイトの任意の分岐サイトをローカルディスクにコピーし、そのローカルディスク上で編集できます。Dreamweaver 以外で作成したサイトも編集できます。サイトを編集する前に、正しい接続情報を取得して、サイトのリモートサーバーに接続する必要があります。

1. 既存のサイトを格納するローカルフォルダーを作成し、そのサイトのローカルフォルダーとして設定します。ローカルバージョンのサイトの設定を参照してください。

   注意： 既存のリモートサイトの関連する分岐構造全体を、ローカルにコピーする必要があります。

2. 既存のサイトに関するリモートアクセス情報を使用して、リモートフォルダーを設定します。リモートサイトに接続してサイトのファイルをコンピューターにダウンロードしてから、そのファイルを編集する必要があります。リモートサーバーへの接続を参照してください。

   必ず、そのリモートサイト用の正しいルートフォルダーを選択してください。

3. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）のツールバーにある「リモートホストに接続」ボタン（FTP アクセスの場合）、または「更新」ボタン（ネットワークアクセスの場合）をクリックし、リモートサイトを表示します。
4. 次の方法でサイトを編集します。
   - サイト全体を処理する場合は、ファイルパネルでリモートサイトのルートフォルダーを選択し、ツールバーの「ファイルを GET する」をクリックしてサイト全体をローカルディスクにダウンロードします。
   - サイトのファイルまたはフォルダーを 1 つだけ処理する場合は、ファイルパネルのリモートビューで目的のファイルまたはフォルダーを選択し、ツールバーの「ファイルを GET する」をクリックしてそのファイルをローカルディスクにダウンロードします。

Dreamweaver によって、ダウンロードしたファイルをサイト階層の適切な部分に配置するために必要な、リモートサイトの構造が自動的にコピーされます。サイトの一部だけを編集する場合でも、通常はイメージファイルなどの依存ファイルも含めて選択します。

- Dreamweaver サイトについて
- 既存の Web サイトの編集（Dreamweaver ブログ）

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

リモートサーバーへの接続

リモートサーバー（Web サーバーと呼ばれる場合もあります）は、サイトファイルをオンラインで表示できるように、それらのサイトファイルをパブリッシュする場所です。リモートサーバーは、ファイルおよびフォルダーのコレクションのあるローカルコンピューターと同様、単なるもう 1 つのコンピューターです。例えば、FTP サーバーや WebDav サーバーなどが挙げられます。

ローカルコンピューター上でローカルサイトのフォルダーを指定する場合と同じように、リモート サーバー上でサイト用のフォルダーを指定します。Dreamweaver は、指定されたリモートフォルダーをリモートサイトとして参照します。

リモートフォルダーを設定する際に、Dreamweaver と Web サーバーの間でファイルをアップロードおよびダウンロードするときの接続方法を選択する必要があります。最も一般的な接続方法は FTP ですが、Dreamweaver では、ローカル/ネットワーク、FTPS、SFTP、WebDav、RDS の接続方法もサポートされています。使用する接続方法がわからない場合は、ISP またはサーバー管理者に問い合わせてください。

接続方法の指定
高度なサーバーオプションの設定
ネットワークアクセスを使用したリモートフォルダーの接続または切断
FTP アクセスを使用したリモートフォルダーの接続または切断
リモートフォルダー設定のトラブルシューティング

注意： *Dreamweaver* は、*IPv6* 対応サーバーへの接続もサポートしています。サポートされる接続タイプには、*FTP*、*SFTP*、*WebDav*、および *RDS* があります。詳しくは、*www.ipv6.org/* を参照してください。

テストサーバーの設定方法について詳しくは、「テストサーバーの設定」を参照してください。ビデオチュートリアルについては、ここをクリックしてください。

ページの先頭へ

接続方法の指定

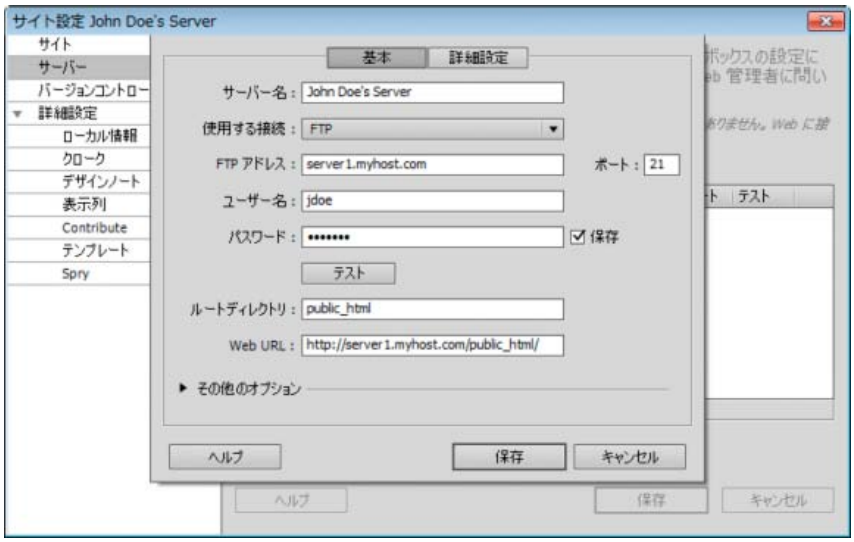
FTP 接続

FTP を使用して Web サーバーに接続する場合は、この設定を使用します。

注意：Business Catalyst では SFTP のみがサポートされています。Business Catalyst を使用する場合は、このページの SFTP 接続の節を参照してください。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「新規作成」をクリックして新しいサイトを設定するか、既存の Dreamweaver サイトを選択して編集アイコンをクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリーを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 新しいサーバーを追加するには、「新規サーバーの追加」ボタンをクリックします。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。

   次の図は、テキストフィールドに既に入力されている「サーバー」カテゴリーの基本画面です。



サイト設定ダイアログボックスの「サーバー」カテゴリーの基本画面

4. 「サーバー名」テキストボックスで、新しいサーバーの名前を指定します。名前は自由に付けられます。
5. 使用する接続ポップアップメニューから「FTP」を選択します。
6. 「FTP アドレス」テキストボックスに、Web サイトのファイルのアップロード先となる FTP サーバーのアドレスを入力します。

   FTP アドレスは、「ftp.mindspring.com」などのようにコンピューターシステムの完全なインターネット名にします。余分なテキストを付けずに完全なアドレスを入力してください。特に、アドレスの前にプロトコル名を追加しないでください。

   FTP アドレスが不明の場合は、Web ホスティング会社に問い合わせてください。

   注意： 受信 *FTP* 接続に対するデフォルトのポートはポート *21* です。右側のテキストボックスを編集して、デフォルトのポート番号を変更できます。結果として保存される設定は、*FTP* アドレスにコロンと新しいポート番号が付け加えられたものです（例：*ftp.mindspring.com:29*）。
7. 「ユーザー名」テキストボックスと「パスワード」テキストボックスに、FTP サーバーに接続するためのユーザー名とパスワードを入力します。
8. 「テスト」をクリックして、FTP アドレス、ユーザー名、およびパスワードをテストします。

   注意： *FTP* アドレス、ユーザー名、およびパスワードの情報は、サイトのホスティング会社のシステム管理者から取得する必要があります。これらの情報には、システム管理者のみがアクセスできます。システム管理者から提供されたとおりに情報を入力します。
9. 初期設定では、パスワードは Dreamweaver によって自動的に保存されます。「保存」オプションをオフにすると、リモートサーバーに接続するたびに、Dreamweaver によってパスワードの入力が求められます。
10. 「ルートディレクトリ」テキストボックスに、一般ユーザーに表示するドキュメントを格納するリモートサーバーのディレクトリ（フォルダー）を入力します。

    ルートディレクトリとして入力する項目がわからない場合は、サーバー管理者に問い合わせるか、テキストボックスを空白のままにしてください。サーバーの中には、ルートディレクトリが FTP を使って最初に接続するディレクトリと同じものがあります。これを調べるには、サーバーに接続します。public_html、www、またはユーザー名のような名前のフォルダーがファイルパネルのリモートファイルビューに表示される場合、その名前が「ルートディレクトリ」テキストボックスに入力するディレクトリである場合が考えられます。
11. 「Web URL」テキストボックスに、Web サイトの URL を入力します（例：http://www.mysite.com）。Dreamweaver はこの Web URL を使用して、サイトルート相対リンクを作成し、リンクチェックが使用されたときにリンクを検証します。

    このオプションの詳細な説明については、詳細設定に関する項目を参照してください。
12. その他のオプションを設定する必要がある場合は、「詳細オプション」セクションを展開します。
13. プロキシ設定でパッシブ FTP を使用する必要がある場合は、「FTP Passive モードを使用」をオンにします。

    パッシブ FTP を使用すると、リモートサーバーを必要とせずに、ローカルソフトウェアで FTP 接続ができます。パッシブ FTP が使用されているかどうかがわからない場合は、システム管理者に確認するか、「FTP Passive モードを使用」オプションをオンとオフの両方に切り替えてみます。

    詳しくは、アドビ システムズ社の Web サイトに掲載されている TechNote 15220（www.adobe.com/go/tn_15220_jp）を参照してください。
14. IPv6 対応 FTP サーバーを使用している場合は、「IPv6 転送モードを使用」をオンにします。

    Internet Protocol version 6（IPv6）が配置された環境では、FTP コマンドの PORT と PASV がそれぞれ EPRT と EPSV に置き換えられています。このため、IPv6 対応 FTP サーバーに接続する場合は、データ接続に拡張パッシブ（EPSV）コマンドと拡張アクティブ（EPRT）コマンドを使用する必要があります。

詳しくは、www.ipv6.org/ を参照してください。

15. プロキシホストまたはプロキシポートを指定する場合は、「プロキシを使用」を選択します。

    詳しくは、環境設定に移動するリンクをクリックし、環境設定ダイアログボックスの「サイト」カテゴリーにあるヘルプボタンをクリックします。

16. 「保存」をクリックして基本画面を閉じます。次に、「サーバー」カテゴリーで、追加または編集したサーバーが、リモートサーバー、テストサーバー、またはその両方のいずれであるかを指定します。

FTP 接続に関する問題の解決方法については、アドビ システムズ社の Web サイトに掲載されている TechNote kb405912（www.adobe.com/go/kb405912）を参照してください。

SFTP 接続

Secure FTP の使用が必要となるようにサーバーまたはファイヤーウォールが構成されている場合は、Secure FTP（SFTP）を使用します。SFTP では暗号化と ID キーを使用して、リモートまたはテストサーバーへの接続を保護します。

注意： このオプションを選択するには、テストサーバーで *SFTP* サービスを実行している必要があります。テストサーバーで *SFTP* が実行されているかどうかがわからない場合は、サーバー管理者に問い合わせてください。

「ID キー」に基づいて SFTP サーバーへの接続を認証できるようになりました（パスフレーズを使用することも使用しないこともできます）。

Dreamweaver は OpenSSH キーファイルのみをサポートします。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「新規作成」をクリックして新しいサイトを設定するか、既存の Dreamweaver サイトを選択して「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリーを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 新しいサーバーを追加するには、「新規サーバーの追加」ボタンをクリックします。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。
4. 「サーバー名」テキストボックスで、新しいサーバーの名前を指定します。名前は自由に選択できます。
5. 使用する接続ポップアップメニューから「SFTP」を選択します。
6. 該当する以下のいずれかのシナリオに基づいてダイアログボックスの他のオプションを指定します。
   - シナリオ 1：キーがないが、ユーザー名とパスワードがある場合
   - シナリオ 2：パスフレーズを必要としないキーがある場合
   - シナリオ 3：パスフレーズを必要とするキーがある場合

シナリオ 1

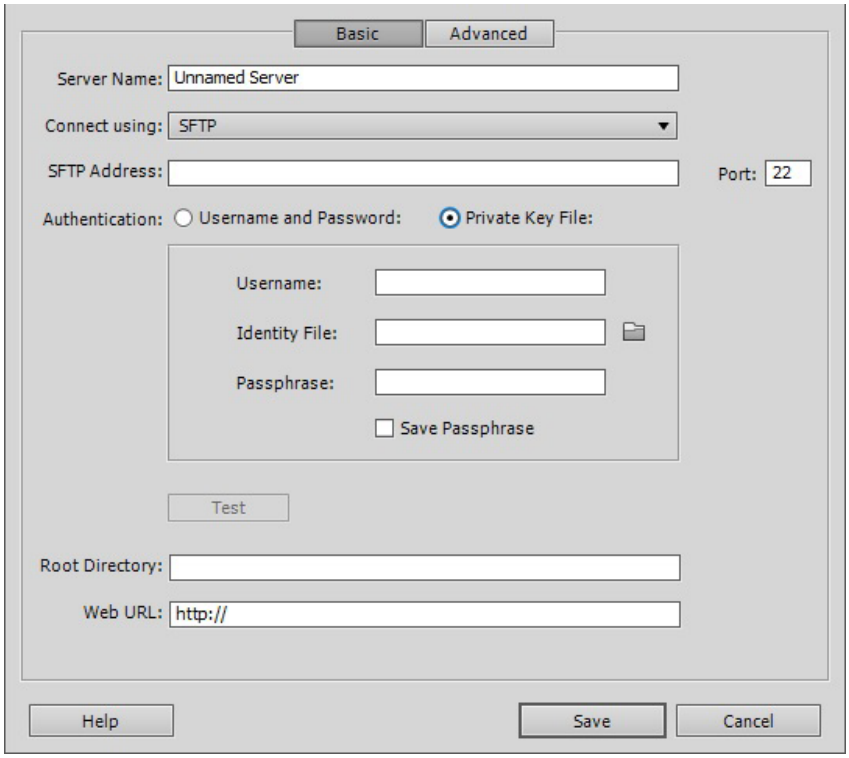
キーがない場合で、資格情報（ユーザー名とパスワード）のみを使用して SFTP 接続を確立する必要がある場合。この場合、「ユーザー名とパスワード」認証方法を使用します。

サイト設定と *SFTP* 接続 - ユーザー名とパスワード

1. サーバーのわかりやすい名前を入力します。
2. 接続リストから、SFTP をクリックし、有効な SFTP アドレスおよびポートを入力します。
3. 認証方法として、「ユーザー名とパスワード」をクリックして、ユーザー名とパスワードを入力します。

   接続を検証するには、「テスト」をクリックします。
4. 有効なルートディレクトリを入力します。
5. 有効な Web URL を入力します。
6. 「保存」をクリックします。

シナリオ **2**
パスフレーズを必要としないキーがあります。そして、そのキーのユーザー名、ID ファイル、パスフレーズを使用して SFTP 接続を確立する必要がある場合は、「プライベートキーファイル」認証方法を使用します。



サイト設定と *SFTP* 接続 - *ID* ファイル

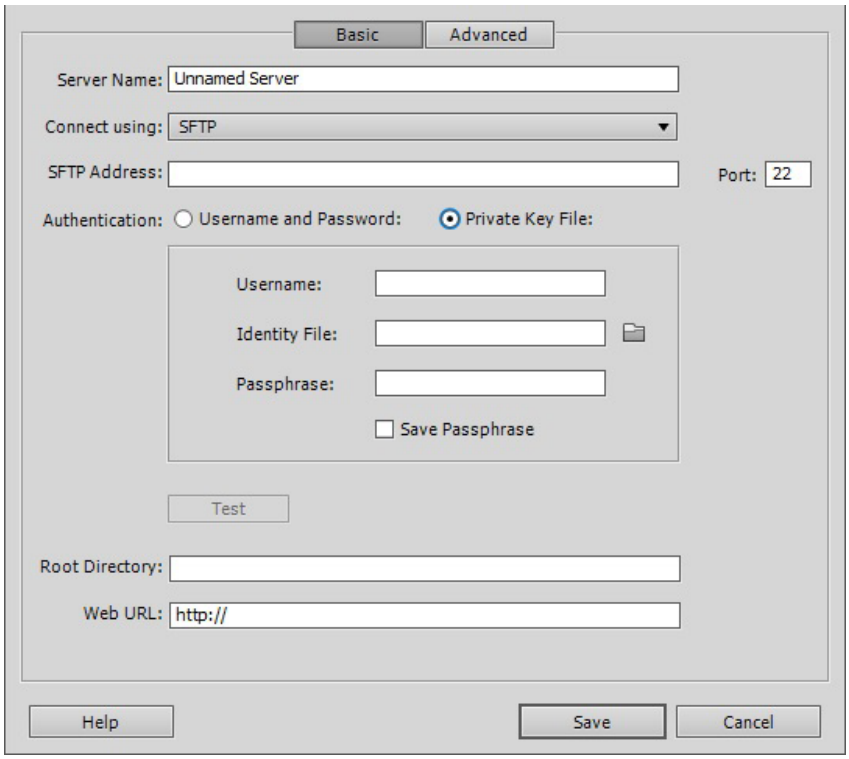
1. サーバーのわかりやすい名前を入力します。
2. 接続リストから、SFTP をクリックし、有効な SFTP アドレスおよびポートを入力します。
3. 認証方法として、「プライベートキーファイル」をクリックして、以下を入力します。
   - ユーザー名
   - 有効な ID ファイル
   - 「パスフレーズ」は空白のままにし、「パスフレーズを保存」を選択します。

   注意： *Dreamweaver* は *OpenSSH* キーファイルのみをサポートします。

   接続を検証するには、「テスト」をクリックします。
4. 有効なルートディレクトリを入力します。

5. 有効な Web URL を入力します。
6. 「保存」をクリックします。

シナリオ 3
パスフレーズを必要とするキーがあります。そして、そのキーのユーザー名、ID ファイル、パスフレーズを使用して SFTP 接続を確立する必要がある場合は、「プライベートキーファイル」認証方法を使用します。



サイト設定と *SFTP* 接続 - *ID*ファイルとパスフレーズ

1. サーバーのわかりやすい名前を入力します。
2. 接続リストから、SFTP をクリックし、有効な SFTP アドレスおよびポートを入力します。
3. 認証方法として、「プライベートキーファイル」をクリックして、以下を入力します。
   - ユーザー名
   - 有効な ID ファイル
   - ID ファイルのパスフレーズ

   注意： *Dreamweaver* は *OpenSSH* キーファイルのみをサポートします。

   接続を検証するには、「テスト」をクリックします。
4. 有効なルートディレクトリを入力します。
5. 有効な Web URL を入力します。
6. 「保存」をクリックします。

注意： 受信 *SFTP* 接続に対するデフォルトのポートはポート *22* です。

その他のオプションは、FTP 接続の場合のオプションと同じです。詳しくは、前の節を参照してください。

FTPS 接続

暗号化サポートのみの SFTP と違って、FTPS（FTP over SSL）では暗号化と認証の両方がサポートされています。

データ転送に FTPS を使用する場合は、資格情報とサーバーに伝送するデータのそれぞれについて、暗号化するかどうかを選択できます。また、サーバーの資格情報と接続を認証するかどうかについても選択できます。サーバーの資格情報の有効性確認は、現在 Dreamweaver データベースに登録されている信頼する CA サーバー証明書のセットに対して行われます。電子署名付きのサーバー証明書は、VeriSign や Thawte などの企業を

含む各種の認証機関（CA）から発行されます。

注意： この手順では、*FTPS* に特有のオプションについて説明します。通常の *FTP* オプションについては、前の項を参照してください。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「新規作成」をクリックして新しいサイトを設定するか、既存の Dreamweaver サイトを選択して「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリーを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 「+」（新規サーバーの追加）ボタンをクリックして、新しいサーバーを追加します。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。
4. 「サーバー名」で、新しいサーバーの名前を指定します。
5. 「使用する接続」で、必要に応じて次のいずれかを選択します。

   FTP over SSL/TLS（暗黙的な暗号化） セキュリティ要求が受信されない場合はサーバーが接続を切断します。

   FTP over SSL/TLS（明示的な暗号化） クライアントがセキュリティを要求しない場合、サーバーは、セキュリティなしでトランザクションを続行するか、接続を拒否または制限するかを選択できます。
6. 「認証」で、次のいずれかを選択します。

   なし サーバーの資格情報（署名付きまたは署名なし）が表示されます。その資格情報を受け入れると、Dreamweaver の証明書ストア `trustedSites.db` に証明書が追加されます。同じサーバーに次回接続する際は、Dreamweaver によってサーバーへの接続が直接実行されます。

   注意 : 自己署名証明書の資格情報がサーバー上で変更された場合は、新しい資格情報を受け入れるよう求めるプロンプトが表示されます。

   信頼するサーバー 提示された証明書の有効性確認が、現在 Dreamweaver データベースに登録されている信頼する CA サーバーのセットに対して行われます。信頼するサーバーのリストは、`cacerts.pem` ファイルに格納されています。

   注意：「信頼するサーバー」を選択した場合、自己署名証明書を使用するサーバーに接続するとエラーメッセージが表示されます。
7. その他のオプションを設定するには、「詳細オプション」セクションを展開します。

   コマンドチャンネルのみ暗号化 伝送するコマンドだけを暗号化する場合は、このオプションを選択します。伝送するデータがあらかじめ暗号化されている場合や、扱いに注意を要する情報が含まれていない場合に使用します。

   ユーザー名とパスワードのみ暗号化する ユーザー名とパスワードだけを暗号化する場合は、このオプションを選択します。
8. 「保存」をクリックして基本画面を閉じます。次に、「サーバー」カテゴリーで、追加または編集したサーバーが、リモートサーバーとテストサーバーのいずれであるか、またはその両方かを指定します。

FTP 接続に関する問題の解決方法については、アドビ システムズ社の Web サイトに掲載されている TechNote kb405912（www.adobe.com/go/kb405912）を参照してください。

ローカル接続またはネットワーク接続

ネットワークフォルダーに接続する場合、またはローカルコンピューター上にファイルを格納しているかローカルコンピューター上でテストサーバーを実行している場合に、この設定を使用します。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「新規作成」をクリックして新しいサイトを設定するか、既存の Dreamweaver サイトを選択して「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリーを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 新しいサーバーを追加するには、「新規サーバーの追加」ボタンをクリックします。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。
4. 「サーバー名」テキストボックスで、新しいサーバーの名前を指定します。名前は自由に選択できます。
5. 使用する接続ポップアップメニューから「ローカル/ネットワーク」を選択します。
6. 「サーバーフォルダー」テキストボックスの横にあるフォルダーアイコンをクリックして参照し、サイトファイルを保管するフォルダーを選択します。
7. 「Web URL」テキストボックスに、Web サイトの URL を入力します（例：http://www.mysite.com）。Dreamweaver はこの Web URL を使用して、サイトルート相対リンクを作成し、リンクチェックが使用されたときにリンクを検証します。

   このオプションの詳細な説明については、詳細設定に関する項目を参照してください。

8. 「保存」をクリックして基本画面を閉じます。次に、「サーバー」カテゴリーで、追加または編集したサーバーが、リモートサーバー、テストサーバー、またはその両方のいずれであるかを指定します。

WebDAV 接続

WebDAV（Web-based Distributed Authoring and Versioning）プロトコルを使用して Web サーバーに接続する場合は、この設定を使用します。

この接続方法では、Microsoft Internet Information Server（IIS）5.0 や適切に構成した Apache Web サーバーなど、このプロトコルをサポートするサーバーが必要です。

注意 : 接続方法として *WebDAV* を選択し、複数のユーザー環境で *Dreamweaver* を使用する場合、すべてのユーザーが接続方法として *WebDAV* を選択していることも確認する必要があります。*WebDAV* は独自のロックシステムを使用しているため、一部のユーザーのみが *WebDAV* を選択し、他のユーザーは *FTP* などの別の接続方法を選択している場合、*Dreamweaver* のチェックイン / チェックアウト機能が正常に動作しません。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「新規作成」をクリックして新しいサイトを設定するか、既存の Dreamweaver サイトを選択して「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリーを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 新しいサーバーを追加するには、「新規サーバーの追加」ボタンをクリックします。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。
4. 「サーバー名」テキストボックスで、新しいサーバーの名前を指定します。名前は自由に選択できます。
5. 使用する接続ポップアップメニューから「WebDAV」を選択します。
6. 「URL」に、接続する WebDAV サーバー上のディレクトリへの完全な URL を入力します。

   この URL には、プロトコル、ポート、およびルートディレクトリ以外のディレクトリがあります。例えば、「http://webdav.mydomain.net/mysite」と入力します。
7. ユーザー名とパスワードを入力します。

   この情報はサーバー認証に使用されるだけで、Dreamweaver の操作には関係ありません。ユーザー名とパスワードがわからない場合は、システム管理者または Web マスターに確認してください。
8. 「テスト」をクリックして、接続設定をテストします。
9. 新しいセッションを開始するたびに Dreamweaver によってパスワードが自動的に入力されるようにするには、「保存」オプションをオンにします。
10. 「Web URL」テキストボックスに、Web サイトの URL を入力します（例：http://www.mysite.com）。Dreamweaver はこの Web URL を使用して、サイトルート相対リンクを作成し、リンクチェックが使用されたときにリンクを検証します。

    このオプションの詳細な説明については、詳細設定に関する項目を参照してください。
11. 「保存」をクリックして基本画面を閉じます。次に、「サーバー」カテゴリーで、追加または編集したサーバーが、リモートサーバー、テストサーバー、またはその両方のいずれであるかを指定します。

RDS 接続

RDS（Remote Development Services）を使用して Web サーバーに接続する場合、この設定を選択します。この接続方法の場合、リモートサーバーがある場所は、Adobe® ColdFusion® を実行しているコンピューター上である必要があります。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「新規作成」をクリックして新しいサイトを設定するか、既存の Dreamweaver サイトを選択して「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリーを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 新しいサーバーを追加するには、「新規サーバーの追加」ボタンをクリックします。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。
4. 「サーバー名」テキストボックスで、新しいサーバーの名前を指定します。名前は自由に選択できます。
5. 使用する接続ポップアップメニューから「RDS」を選択します。
6. 「設定」ボタンをクリックし、RDS サーバーの設定ダイアログボックスに以下の情報を指定します。
   - Web サーバーがインストールされているホストコンピューターの名前を入力します。
   - ホスト名は、IP アドレスまたは URL の可能性があります。不明の場合は、管理者に問い合わせてください。
   - 接続先のポート番号を入力します。
   - ホストディレクトリとしてルートリモートフォルダーを入力します。
   - 例えば、「c:¥inetpub¥wwwroot¥myHostDir¥」と入力します。
   - RDS ユーザー名とパスワードを入力します。

   注意： *ColdFusion Administrator* のセキュリティ設定でユーザー名とパスワードを設定した場合は、これらのオプションが表示されないこともあります。

- Dreamweaver に設定を保存しておくには、「保存」オプションを選択します。

7. 「OK」をクリックして RDS サーバーの設定ダイアログボックスを閉じます。
8. 「Web URL」テキストボックスに、Web サイトの URL を入力します（例：http://www.mysite.com）。Dreamweaver はこの Web URL を使用して、サイトルート相対リンクを作成し、リンクチェックが使用されたときにリンクを検証します。

   このオプションの詳細な説明については、詳細設定に関する項目を参照してください。
9. 「保存」をクリックして基本画面を閉じます。次に、「サーバー」カテゴリーで、追加または編集したサーバーが、リモートサーバー、テストサーバー、またはその両方のいずれであるかを指定します。

Microsoft Visual SourceSafe 接続

Microsoft Visual SourceSafe のサポートは、Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

ページの先頭へ

高度なサーバーオプションの設定

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「新規作成」をクリックして新しいサイトを設定するか、既存の Dreamweaver サイトを選択して「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリーを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 新しいサーバーを追加するには、「新規サーバーの追加」ボタンをクリックします。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。
4. 必要に応じて基本オプションを指定した後、「詳細設定」ボタンをクリックします。
5. ローカルファイルとリモートファイルを自動的に同期する場合は、「同期情報の保持」をオンにします。このオプションは初期設定ではオンになっています。
6. ファイルを保存したときに Dreamweaver によってリモートサイトにファイルが自動的にアップロードされるようにする場合は、「保存時に自動的にファイルをアップロード」をオンにします。
7. チェックイン / チェックアウトシステムをアクティブにするには、「ファイルのチェックアウトを使用可能にする」をオンにします。
8. テストサーバーを使用している場合は、サーバーモデルポップアップメニューからサーバーのモデルを選択します。詳しくは、「テストサーバーの設定」を参照してください。

ページの先頭へ

ネットワークアクセスを使用したリモートフォルダーの接続または切断

- リモートフォルダーは常に接続されているため、接続操作を行う必要はありません。「更新」ボタンをクリックして、リモートファイルを表示します。

ページの先頭へ

FTP アクセスを使用したリモートフォルダーの接続または切断

- ファイルパネルで、次の操作を行います。
  - 接続するには、ツールバーの「リモートホストに接続」をクリックします。
  - 切断するには、ツールバーの「切断」をクリックします。

ページの先頭へ

リモートフォルダー設定のトラブルシューティング

以下に、リモートフォルダーの設定で発生する一般的な問題に関する情報と、その解決法を示します。

また、アドビ システムズ社の Web サイト（www.adobe.com/go/kb405912）にも、FTP のトラブルシューティング情報に関する詳細なテクニカルノートが用意されています。

- Dreamweaver の FTP 実装は、一部のプロキシサーバー、マルチレベルファイヤーウォール、およびその他の形式の間接的なサーバーアクセスでは、正しく作動しないことがあります。FTP アクセスで問題が発生した場合は、ローカルシステム管理者に相談してください。
- Dreamweaver の FTP 実装では、リモートシステムのルートフォルダーに接続する必要があります 必ずリモートシステムのルートフォルダーをホストディレクトリとして指定してください。単一のスラッシュ（"/"）を使用してホストディレクトリを指定している場合、接続先のディレクトリからリモートルートフォルダーへの相対パスの指定が必要になることがあります。例えば、リモートルートフォルダーが上位レベルのディレクトリである場合は、ホストディレクトリに "../../" と指定する必要があります。
- スペースの代わりにアンダーラインを使用して、できるだけファイル名やフォルダー名に特殊記号を使わないでください。ファイル名やフォルダー名にコロン、スラッシュ、ピリオド、アポストロフィー記号があると問題が発生することがあります。
- 長いファイル名で問題が発生した場合は、短い名前に変更します。Mac OS では、ファイル名は 31 文字以内にする必要があります。
- 多くのサーバーでは、シンボリックリンク（UNIX）、ショートカット（Windows）、エイリアス（Mac OS）を使用してサーバーディスク上のある場所にあるフォルダーを別の場所のフォルダーに接続させていることがよくあります。通常、このようなエイリアスが、適切なフォルダーやディレクトリへの接続に影響することはありません。しかし、サーバーのある部分には接続できて、ある部分には接続できない場合に

は、エイリアスに問題がある可能性があります。

- 「ファイルを put できません」のようなエラーメッセージが表示される場合、リモートフォルダーのディスク容量が不足している可能性があります。詳しくは、FTP ログを参照してください。

  注意 : 一般に、*FTP* 転送に問題がある場合は、ウィンドウ／結果（*Windows*）またはサイト／*FTP* ログ（*Mac OS*）を選択し、「*FTP* ログ」タグをクリックして、*FTP* ログを確認してください。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ローカルバージョンのサイトの設定

ローカルバージョンのサイトは、サイトのすべてのファイルを保存するローカルフォルダーを指定するだけで、設定できます。ローカルフォルダーは、ローカルコンピューター上に配置することも、ネットワークサーバー上に配置することもできます。Dreamweaver でサイトの管理ダイアログボックスを使用して、複数のサイトを設定してそれらを管理できます。

1. ローカルバージョンのサイトファイルを保存するコンピューターでフォルダーを指定または作成します（フォルダーはコンピューターの任意の場所に配置できます）。このフォルダーを Dreamweaver のローカルサイトとして指定します。

2. Dreamweaver で、サイト／新規サイトを選択します。

3. サイト定義ダイアログボックスで、「サイト」カテゴリが選択されていることを確認します。このオプションは初期設定で選択されています。

4. 「サイト名」テキストボックスに、サイトの名前を入力します。この名前はファイルパネルとサイトの管理ダイアログボックスに表示されますが、ブラウザーには表示されません。

5. 「ローカルサイトフォルダー」テキストボックスで、手順 1 で指定したフォルダー（ローカルバージョンのサイトファイルを保存するコンピューター上のフォルダー）を指定します。テキストボックスの右側にあるフォルダーアイコンをクリックしてフォルダーを参照します。

6. 「保存」をクリックしてサイト定義ダイアログボックスを閉じます。Dreamweaver でのローカルサイトファイルの操作を開始できるようになります。

準備ができたら、サイト定義ダイアログボックスの他のカテゴリを指定できます。例えば、「サーバー」カテゴリではリモートサーバー上のリモートフォルダーを指定できます。

新しい Dreamweaver サイトの設定方法に関するビデオチュートリアルについては、ここをクリックしてください。

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

バージョンコントロールと詳細設定

「バージョンコントロール」カテゴリ
「詳細設定」カテゴリ

サイト定義ダイアログボックスの「バージョンコントロール」カテゴリおよび「詳細設定」カテゴリにアクセスするには、サイト／サイトの管理を選択して、編集するサイトを選択し、「編集」をクリックします。

「バージョンコントロール」カテゴリ

トップへ戻る

Subversion を使用して、ファイルを取得およびチェックインできます。詳しくは、Subversion（SVN）によるファイルの取得とチェックインを参照してください。

「詳細設定」カテゴリ

トップへ戻る

ローカル情報

初期設定イメージフォルダー サイトのイメージを格納するフォルダーです。フォルダーのパスを入力するか、フォルダーアイコンをクリックして参照したフォルダーを選択します。ドキュメントにイメージを追加するときは、このフォルダーのパスが使用されます。

相対リンク サイトで他のアセットまたはページへのリンクを作成するときに Dreamweaver が作成するリンクの種類を指定します。Dreamweaver では、ドキュメント相対とサイトルート相対の 2 種類のリンクを作成できます。2 種類のリンクの違いについて詳しくは、絶対パス、ドキュメント相対パスおよびサイトルート相対パスを参照してください。

初期設定では、ドキュメント相対リンクが作成されます。初期設定を変更して「サイトルート」オプションを選択する場合は、「Web URL」テキストボックスにサイトの正しい Web URL を入力してください（以下を参照）。この設定を変更しても、既存のリンクのパスは変換されません。この設定は、Dreamweaver を使用して画面上で作成した、新しいリンクに対してのみ適用されます。

注意 : テストサーバーを指定するか、編集／環境設定／ブラウザーでプレビューで「一時ファイルを使用してプレビュー」オプションを選択していない限り、ローカルブラウザーでドキュメントをプレビューしても、サイトルート相対リンクを使ってリンクされたコンテンツは表示されません。これは、サーバーと違って、ブラウザーではサイトのルートを認識できないためです。

Web URL Web サイトの URL です。Dreamweaver はこの Web URL を使用して、サイトルート相対リンクを作成し、リンクチェックが使用されたときにリンクを検証します。

サイトルート相対リンクは、作業しているページが最終的に配置されるディレクトリ構造内の場所がわからない場合、またはリンクを含むファイルを後で再配置または再編成する可能性がある場合に便利です。サイトルート相対リンクは、他のサイトアセットへのパスが、ドキュメントではなくサイトルートを基準としているリンクであり、したがってドキュメントを移動した場合でも、アセットへのパスは正しいまま維持されます。

例えば、Web URL を http://www.mysite.com/mycoolsite（リモートサーバーのサイトルートディレクトリ）と指定し、リモートサーバーの mycoolsite ディレクトリ（http://www.mysite.com/mycoolsite/images）にイメージフォルダーがあるものとします。また、index.html ファイルは mycoolsite ディレクトリにあるものとします。

index.html ファイルから images ディレクトリ内のイメージへのサイトルート相対リンクを作成すると、リンクは次のようになります。

```
<img src="/mycoolsite/images/image1.jpg" />
```

ドキュメント相対リンクはこれとは異なり、次のように簡単に表すことができます。

```
<img src="images/image1.jpg" />
```

/mycoolsite/ をイメージソースに追加すると、ドキュメントではなくサイトルートを基準にしてイメージにリンクすることになります。イメージをイメージディレクトリから移動しないとすると、イメージへのファイルパス（/mycoolsite/images/image1.jpg）は、index.html ファイルを別のディレクトリに移動したとしても、常に正しいものになります。

詳しくは、絶対パス、ドキュメント相対パスおよびサイトルート相対パスを参照してください。

リンクの検証に関しては、Web URL はリンクがサイトの内部か外部かを判別するために必要です。例えば、Web URL が http://www.mysite.com/mycoolsite であり、リンクチェックがページで http://www.yoursite.com という URL のリンクを検出した場合、チェックはこのリンクを外部リンクと判断して、そのように報告します。同様に、リンクチェックは Web URL を使用して、リンクがサイトの内部にあるかどうかを判定し、内部リンクが壊れているかどうかを確認します。

大文字と小文字を区別するリンクチェック Dreamweaver でリンクをチェックするときに、リンクとファイル名の大文字と小文字が一致することを確認します。このオプションは、ファイル名の大文字と小文字が区別される UNIX システムの場合に役に立ちます。

キャッシュを使用可能にする リンクとサイト管理タスクの速度を上げるためにローカルキャッシュを作成するかどうかを指定します。このオプションをオフにしておくと、サイトを作成する前にキャッシュを作成するかどうかを選択するダイアログボックスが Dreamweaver によって表示さ

れます。ファイルパネルグループのアセットパネルはキャッシュが作成された場合にのみ動作するので、このオプションをオンにすることをお勧めします。

クロークおよびその他のカテゴリ

クローク、デザインノート、表示列、Contribute、テンプレート、または Spry の各カテゴリについて詳しくは、ダイアログボックスの「ヘルプ」ボタンをクリックしてください。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

サイトの管理ダイアログボックスオプション

サイトの管理ダイアログボックスオプション（CS6）
サイトの管理ダイアログボックスオプション（CS5 および CS5.5）

サイトの管理ダイアログボックスは、様々な Dreamweaver のサイト関数のゲートウェイとして機能します。このダイアログ ボックスから、新規サイトの作成、既存サイトの編集、サイトの複製、サイトの削除、サイトの設定の読み込みまたは書き出しの処理を開始できます。

注意： サイトの管理ダイアログボックスでは、リモートサーバーに接続、またはリモートサーバーにファイルをパブリッシュすることはできません。リモートサーバーへの接続の手順については、リモートサーバーへの接続を参照してください。既存の Web サイトに接続する場合は、既存のリモート Web サイトの編集を参照してください。

サイトの管理ダイアログボックスオプション（CS6）

トップへ戻る

1. サイト／サイトの管理を選択します。

   サイトリストが表示されます。サイトが作成されていない場合は、サイトリストは空になります。

2. 次のいずれかの操作を実行します。

   新規サイトを作成 「新規サイト」ボタンをクリックして、新しい Dreamweaver サイトを作成します。次に、サイト定義ダイアログボックスで、新しいサイトの名前や場所を指定します。詳しくは、ローカルバージョンのサイトの設定を参照してください。

   サイトの読み込み 「サイトの読み込み」ボタンをクリックして、サイトを読み込みます。詳しくは、サイトの設定の読み込みおよび書き出しを参照してください。

   メモ：読み込み機能は、以前に Dreamweaver から書き出されたサイトの設定の読み込みのみを行います。新しい Dreamweaver サイトの作成のためのサイトファイルの読み込みは行われません。Dreamweaver での新しいサイトの作成について詳しくは、ローカルバージョンのサイトの設定を参照してください。

   新規 Business Catalyst サイトを作成 「新規 Business Catalyst サイト」ボタンをクリックして、新しい Business Catalyst サイトを作成します。詳しくは、Business Catalyst の仮サイトを作成を参照してください。

   Business Catalyst サイトの読み込み 「Business Catalyst サイトの読み込み」ボタンをクリックして、既存の Business Catalyst サイトを読み込みます。詳しくは、Business Catalyst サイトの読み込みを参照してください。

3. 既存のサイトについて、以下の操作も実行できます。

   削除 Dreamweaver サイトのリストから選択したサイトとそのすべての設定情報を削除します。実際のサイトファイルは削除されません。コンピューターからサイトファイルを削除するには、手動でそれを行う必要があります。Dreamweaver からサイトを削除するには、サイトリストでサイトを選択し、「削除」ボタンをクリックします。この操作は取り消しできません。

   編集 既存の Dreamweaver サイトのユーザー名、パスワード、サーバー情報などの情報を編集します。サイトリストで既存のサイトを選択し、「編集」ボタンをクリックして、既存のサイトを編集します。選択したサイトの「編集」ボタンをクリックすると、サイト定義ダイアログボックスが開きます。既存のサイトオプションの編集について詳しくは、サイト定義ダイアログボックスの各画面で「ヘルプ」ボタンをクリックしてください。

   複製 既存のサイトのコピーを作成します。サイトを複製するには、サイトリストでサイトを選択し、「複製」ボタンをクリックします。複製されたサイトは、サイトの名前に「コピー」の文字が付加されてサイトリストに表示されます。複製されたサイトの名前を変更するには、サイトを選択したまま、「編集」ボタンをクリックします。

   書き出し 選択したサイトの設定を XML ファイル（*.ste）として書き出します。詳しくは、サイトの設定の読み込みおよび書き出しを参照してください。

サイトの管理ダイアログボックスオプション（CS5 および CS5.5）

トップへ戻る

1. サイト／サイトの管理を選択し、左側のリストからサイトを選択します。
2. ボタンをクリックし、以下のオプションのいずれかを選択して、必要な変更を行い、「終了」をクリックします。

   新規作成 新しいサイトを作成します。「新規」ボタンをクリックすると、サイト定義ダイアログボックスが開き、新しいサイトの名前や場

所を指定することができます。詳しくは、ローカルバージョンのサイトの設定を参照してください。

編集 既存の Dreamweaver サイトのユーザー名、パスワード、サーバー情報などの情報を編集します。左側のサイトリストで既存のサイトを選択し、「編集」ボタンをクリックして、既存のサイトを編集します。既存のサイトオプションについて詳しくは、リモートサーバーへの接続を参照してください。

複製 既存のサイトのコピーを作成します。サイトを複製するには、左側のサイトリストでサイトを選択し、複製ボタンをクリックします。複製されたサイトは、サイトの名前に「コピー」の文字が付加されてサイトリストに表示されます。複製されたサイトの名前を変更するには、サイトを選択したまま、「編集」ボタンをクリックします。

削除 Dreamweaver サイトのリストから選択したサイトとそのすべての設定情報を削除します。実際のサイトファイルは削除されません。コンピューターからサイトファイルを削除するには、手動でそれを行う必要があります。Dreamweaver からサイトを削除するには、サイトリストでサイトを選択し、「削除」ボタンをクリックします。この操作は取り消しできません。

書き出しと読み込み 選択したサイトの設定を XML ファイル（*.ste）として書き出すか、サイトの設定を読み込むことができます。詳しくは、サイトの設定の読み込みおよび書き出しを参照してください。

注意 : 読み込み機能は、以前に書き出されたサイトの設定の読み込みのみを行います。新しい Dreamweaver サイトの作成のためのサイトファイルの読み込みは行われません。Dreamweaver での新しいサイトの作成について詳しくは、ローカルバージョンのサイトの設定を参照してください。

- Dreamweaver サイトについて

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ファイル管理

Dreamweaver サイトのテスト

サイトのテストに関するガイドライン
レポートを使用したサイトのテスト

サイトのテストに関するガイドライン

ページの先頭へ

サーバーにアップロードして他の人に公開する前に、ローカルの環境でサイトの動作を確認することをお勧めします。サイトの構築中に頻繁にテストとトラブルシューティングを行うことにより、問題を早期に発見し、その再発を防止することができます。

ターゲットのブラウザーでページが予想どおりに表示されて機能すること、リンクが破損していないこと、ページのダウンロードに時間がかかり過ぎないことを確認します。また、サイトレポートを実行して、サイト全体のテストおよびトラブルシューティングを行うこともできます。

以下のガイドラインは、サイトを訪問するビジターに快適に閲覧してもらうためのヒントです。

ページがターゲットブラウザーで正しく機能することを確認します。

スタイル、レイヤー、プラグイン、JavaScript をサポートしていないブラウザーでも、ページが見やすく、かつ機能することを確認します。古いバージョンのブラウザーで正しく表示されないページについては、「チェックブラウザー」ビヘイビアーを使って、ビジターを自動的に他のページに移動することもできます。

様々なブラウザーおよびプラットフォームでページをプレビューします。

これにより、ターゲットブラウザーチェックではわからないレイアウト、カラー、フォントサイズ、初期設定ブラウザーウィンドウサイズの違いを確認できます。

サイトをチェックして、破損リンクがあれば修正します。

他のサイトでもデザインの変更や再構成が行われている可能性があるため、リンク先のページが移動したり、削除されている可能性があります。リンクチェックレポートを実行してリンクをテストできます。

ページのファイルサイズおよびダウンロードに必要な時間を確認します。

大きなテーブルが含まれているページは、ブラウザーによっては、テーブル全体のダウンロードが終わるまで何も表示されません。こういった場合はテーブルを分割することをお勧めします。分割できない場合は、ページの上部、テーブルの外側に Welcome メッセージや広告バナーなどのサイズの小さいコンテンツを置いて、テーブルのダウンロード中でもこれらのマテリアルが表示されるようにします。

サイトレポートを数回実行し、サイト全体のテストおよびトラブルシューティングを行います。

これにより、サイト全体をチェックして、無題ドキュメント、空のタグ、重複してネストされたタグなどの問題を確認できます。

コードを検証し、タグやシンタックスエラーを見つけます。

パブリッシュ後のサイトを更新および維持します。

サイトのパブリッシュとは、サイトを第三者に広く利用してもらうことです。サイトのパブリッシュは継続的なプロセスであり、様々な方法で行うことができます。サイトのパブリッシュでは、Dreamweaver のツールや外部のバージョンコントロール用アプリケーションを使って、バージョンコントロールシステムを定義および実行するプロセスが重要です。

ディスカッションフォーラムを使用します。

Dreamweaver ディスカッショングループは、アドビ システムズ社の Web サイト（www.adobe.com/go/dreamweaver_newsgroup_jp）で開催されています。

ディスカッショングループは、他のブラウザーやプラットフォームなどの情報を得るのに最適なリソースです。他の Dreamweaver ユーザーと技術的な問題について話し合ったり、役に立つヒントを共有したりできます。

パブリッシュ問題のトラブルシューティングに関するチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0164_jp を参照してください。

レポートを使用したサイトのテスト

ページの先頭へ

ワークフローまたは HTML 属性についてのサイトレポートを実行できます。また、「レポート」コマンドを使用してサイト内のリンクをチェックできます。

ワークフローレポートを使用すると、Web チームのメンバーが共同で行う作業を効率化できます。誰がファイルをチェックアウトしたか、どのファイルがデザインノートと関連付けられているか、どのファイルが最近変更されたかを示すワークフローレポートを実行することができます。名前、値などのパラメーターを指定することで、デザインノートのレポートをより詳細にすることができます。

注意： ワークフローレポートを実行するように定義されたリモートサイトへの接続が必要です。

HTML レポートを使用して、様々な HTML 属性のレポートをコンパイルおよび生成できます。結合可能なネストフォントタグ、代替テキストの欠損、重複してネストされたタグ、削除可能な空のタグ、無題ドキュメントなどをチェックすることができます。

実行したレポートを XML ファイルとして保存し、テンプレートインスタンス、データベースまたはスプレッドシートに読み込んで、印刷したり Web サイトで表示することができます。

注意： *Adobe Dreamweaver Exchange Web* サイトを利用して、他のレポートタイプを *Dreamweaver* に追加することもできます。

レポートを使ったサイトのテスト

1. サイト／レポートを選択します。
2. レポート内容ポップアップメニューからレポートの対象を選択し、実行するレポートタイプ（ワークフローまたは HTML）を設定します。

   「サイト内の選択したファイルを検査」を選択してレポートを作成するには、先にファイルパネルでファイルを選択しておく必要があります。
3. ワークフローレポートを選択した場合は、「レポート設定」をクリックします。それ以外の場合は、この手順を省略します。

   注意： 複数のワークフローレポートを選択した場合は、各レポートごとに「レポート設定」ボタンをクリックします。レポートを *1* つ選択し、「レポート設定」をクリックして設定を入力します。別のワークフローレポートに対しても同じ処理を繰り返します。

   チェックアウトユーザー 特定のチームメンバーがチェックアウトしたすべてのドキュメントのリストを表示するレポートが作成されます。チームメンバーの名前を入力し、「OK」をクリックしてレポートダイアログボックスに戻ります。

   デザインノート 選択したドキュメントまたはサイトのすべてのデザインノートのリストを表示するレポートが作成されます。名前と値のペアを入力し、ポップアップメニューから対応する条件を選択します。「OK」をクリックして、レポートダイアログボックスに戻ります。

   最近修正したファイルを選択 指定した期間中に変更されたファイルのリストを表示するレポートが作成されます。表示するファイルの日付の範囲と場所を入力します。
4. HTML レポートを選択した場合、次のレポートから選択します。

   結合可能なネストフォントタグ コードのクリーンアップ時に結合可能なネストフォントタグのリストを表示するレポートが作成されます。

   例えば、`<font color="#FF0000"><font size="4">STOP!</font></font>` がレポートされます。

   代替テキストなし 代替テキストを持たない `img` タグのリストを表示するレポートが作成されます。

   代替テキストとは、イメージを含むページを、テキスト専用ブラウザーまたはイメージを手動でダウンロードするように設定されたブラウザーで表示したときに、イメージの代わりに表示されるテキストのことです。スクリーンリーダーは代替テキストを読み上げます。また、一部のブラウザーでは、ユーザーがイメージ上にマウスを置いたときに代替テキストが表示されます。

   重複してネストされたタグ クリーンアップ対象のネストタグについての詳細なレポートが作成されます。

   例えば、`<i> The rain <i> in</i> Spain stays mainly in the plain</i>` のような記述はレポート対象です。

   削除可能な空のタグ HTML コードのクリーンアップ時に削除可能なすべての空のタグについての詳細なレポートが作成されます。

   例えば、コードビューで様々なアイテムやイメージを削除した場合に、削除したアイテムに付属するタグがドキュメントに残ってしまうことがあります。

   無題ドキュメント 選択パラメーター内に含まれるすべての無題ドキュメントのリストを表示するレポートが作成されます。Dreamweaver により初期設定のタイトルが付いたドキュメント、title タグが複数あるドキュメント、または title タグのないドキュメントがすべてレポートされます。
5. 「実行」をクリックして、レポートを作成します。

   実行するレポートのタイプに応じて、ファイルの保存、サイトの定義、またはフォルダーの選択（選択していない場合）などの操作を行うよう要求されます。

   結果パネルグループのサイトレポートパネルに結果のリストが表示されます。

レポートの使用および保存

1. レポートを実行します（詳しくは、前の手順を参照してください）。
2. サイトレポートパネルで以下のいずれかの操作を行って、レポートを表示します。
   - 結果の並べ替えの基準にする列の見出しをクリックします。

     ファイル名、行番号、説明を基準に並べ替えることができます。複数の異なるレポートを作成し、それぞれのレポートを別々に表示させたままにすることもできます。
   - 問題の説明を表示するには、レポート内の任意の行を選択し、サイトレポートパネルの左の「詳細情報」ボタンをクリックします。

- レポート内の任意の行をダブルクリックすると、ドキュメントウィンドウ内に対応するコードが表示されます。

注意： デザインビューで表示している場合は、*Dreamweaver* により表示が自動的に分割ビューに切り替えられ、報告される問題がコードで表示されます。

3. 「レポートの保存」をクリックして、レポートを保存します。

レポートの保存時に、既存のテンプレートファイルにレポートを読み込むことができます。その後、データベースやスプレッドシートにそのテンプレートファイルを読み込んで印刷したり、Web で表示したりできます。

HTML レポートを作成した後は、「*HTML* のクリーンアップ」コマンドを実行し、レポートに出力された *HTML* エラーを修正します。

アドビは次の機能も推奨します。

- パブリッシュ問題のトラブルシューティングのチュートリアル

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ファイルの同期

ローカルサイトとリモートサイトのファイルの同期

トップへ戻る

ローカルサイトとリモートサイトのファイルの同期

ローカルサイトとリモートサイトに作成したファイルは、2 つのサイト間で同期させることができます。

注意： リモートサイトが FTP サーバーの場合（ネットワークされたサーバーではなく）、ファイルの同期に FTP を使います。
サイトを同期する前に、送信、取得、削除、または無視するファイルを確認できます。また、Dreamweaver は、同期の完了後に、更新されたファイルを確認します。

ローカルサイトとリモートサイトのどちらのファイルがより新しいかを同期しないでチェックする

❖ ファイルパネルで、次のいずれかの操作を行います。

- 右上隅にあるオプションメニューをクリックし、編集／新しいローカルアイテムの選択または編集／新しいリモートアイテムの選択を選択します。

- ファイルパネルで、右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、選択／ローカルが最新または選択／リモートが最新を選択します。

特定のファイルの詳細な同期情報の表示

❖ ファイルパネルで、情報を表示するファイルを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「同期情報を表示」を選択します。
注意： この機能を使用するには、サイト定義ダイアログボックスの「リモート」のカテゴリで「同期情報の保持」オプションを選択していることが必要です。

ファイルの同期

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、現在のサイト、サーバー、またはドライブが表示されるポップアップメニューからサイトを選択します。
2. （オプション）特定のファイルまたはフォルダーを選択するか、次の手順に移動してサイト全体を同期します。
3. ファイルパネルの右上隅のオプションメニューをクリックし、サイト／同期を選択します。

   また、ファイルパネルの上部にある「同期」ボタンをクリックしてファイルを同期することもできます。
4. 同期メニューで、次のいずれかの操作を行います。
   - サイト全体を同期するには、サイト名サイト全体を選択します。
   - 選択したファイルだけを同期するには、「選択したローカルファイルのみ」（または最後に選択したのがファイルパネルの「リモートビュー」の場合は、「選択したリモートファイルのみ」）を選択します。
5. ファイルをコピーする方向を選択します。
   最新ファイルをリモートに **PUT** リモートサーバーに存在しないローカルファイルまたは前回のアップロード後に変更されたローカルファイルをすべてアップロードします。

   最新ファイルをリモートから **GET** ローカルに存在しないリモートファイルまたは前回のダウンロード後に変更されたリモートファイルをすべてダウンロードします。

   最新ファイルの **GET/PUT** リモートサイトおよびローカルサイトのファイルの中で最も新しいバージョンが取得または送信されます。
6. ファイルの送信元のサイトに同じファイルがない場合、ファイルの送信先のサイト上のファイルを削除するかどうかを選択します。ただし、これは方向メニューで GET および PUT を選択した場合は選択できません。

   「最新ファイルをリモートに PUT」を選択し、「削除」オプションを選択すると、該当するローカルファイルを持たないリモートサイト中のすべてのファイルが削除されます。「最新ファイルをリモートから GET」を選択すると、該当するリモートファイルを持たないローカルサイト中のすべてのファイルが削除されます。
7. 「プレビュー」をクリックします。
   注意： ファイルを同期する前に、このタスクを実行するために Dreamweaver が実行するアクションをプレビューする必要があります。

   選択した各ファイルの最新バージョンが既に両方のサイトにある場合、メッセージが表示され、同期を取る必要がないことを知らせます。そ

れ以外の場合は、同期ダイアログボックスが表示され、ここで同期の実行前にファイルのアクション（送信、取得、削除、および無視）を変更できます。

8. 各ファイルに実行するアクションを確認します。
9. 特定のファイルに対するアクションを変更するには、ファイルを選択し、プレビューウィンドウの下部にあるアクションアイコンの 1 つをクリックします。
   比較 「比較」アクションは、Dreamweaver でファイル比較ツールをインストールし指定した場合のみ動作します。アクションアイコンが灰色で表示されている場合は、そのアクションを実行できません。

   選択したファイルがすでに同期がとれているとしてマーク このオプションを使用すると、選択したファイルが既に同期済みであることを指定できます。
10. 「OK」をクリックしてファイルを同期します。同期の詳細は表示したり、ローカルファイルに保存したりできます。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

デザインノート内のファイル情報の格納

デザインノートについて
サイトのデザインノートの有効化と無効化
デザインノートとファイルの関連付け
デザインノートの操作

デザインノートについて

トップへ戻る

デザインノートとは、ファイル用に作成するノートのことです。デザインノートは、記述されるファイルと関連しますが、別のファイルに格納されます。展開されているファイルパネルで、どのファイルにデザインノートが関連付けられているかを確認できます。デザインノートのアイコンが「ノート」列に表示されます。

デザインノートを使用すると、イメージソースファイル名やファイル状態のコメントなどの、ドキュメントに関連付けられた付加ファイル情報を継続的に管理できます。例えば、あるサイトから他のサイトにドキュメントをコピーする場合、そのドキュメントにデザインノートを追加し、オリジナルのドキュメントが他のサイトフォルダーにあるとコメントできます。

デザインノートを使用して、セキュリティ上の理由でドキュメント内には含めることのできない機密情報の記録を保存することもできます。例えば、どのようにして特定の価格や構成が選択されたかについてのメモや、どのようなマーケティング事項がデザインの決定に影響したかについての情報を追加できます。

Adobe® Fireworks® または Flash でファイルを開き、それを他の形式に書き出す場合、Fireworks および Flash は自動的にデザインノートファイル内にオリジナルソースファイルの名前を保存します。例えば、Fireworks で myhouse.png を開き、それを myhouse.gif に書き出すと、Fireworks では自動的にオリジナルファイルの名前が入っている myhouse.gif.mno という名前のデザインノートファイルが作成されます。このデザインノートファイルには、オリジナルファイルの名前が絶対 file: URL として含まれています。したがって、myhouse.gif のデザインノートには以下のような行があります。

```
fw_source="file:///Mydisk/sites/assets/orig/myhouse.png"
```

同様に、Flash を使用して作成されたデザインノートには、以下のような行が含まれます。

```
fl_source="file:///Mydisk/sites/assets/orig/myhouse.fla"
```

注意： デザインノートを共有するには、ユーザー側で同じサイトルートパス（sites/assets/orig など）を定義する必要があります。
グラフィックを Dreamweaver に読み込むと、グラフィックと一緒にデザインノートファイルが自動的にサイトにコピーされます。Dreamweaver でイメージを選択し、Fireworks で開いて編集しようとすると、Fireworks は編集用にオリジナルファイルを開きます。

サイトのデザインノートの有効化と無効化

トップへ戻る

デザインノートはファイルと関連していますが、別のファイルに格納されます。デザインノートを使用して、イメージソースファイル名やファイル状態のコメントなど、ドキュメントに関連付けられた付加ファイル情報を継続的に管理できます。

サイト定義ダイアログボックスの「デザインノート」カテゴリで、選択したサイトに対してデザインノートを使用可能または使用不可に設定できます。デザインノートを使用可能にしている場合は、必要に応じて、他のユーザーとデザインノートを共有できるように選択することもできます。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトの管理ダイアログボックスで、サイトを選択し「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「詳細設定」を展開し、「デザインノート」カテゴリを選択します。
4. 「デザインノート保持」を選択してデザインノートを有効にします（無効にする場合は選択を解除します）。
5. サイトのすべてのローカルのデザインノートファイルを削除する場合には、「クリーンアップ」をクリックし、「はい」をクリックします（リモートのデザインノートファイルを削除する場合は、手動で削除する必要があります）。
   注意： デザインノートの 「クリーンアップ」コマンドは MNO（デザインノート）ファイルだけを削除します。_notes フォルダー内の _notes フォルダーまたは dwsync.xml ファイルは削除されません。Dreamweaver では、dwsync.xml ファイルを使用してサイトの同期に関する情報を維持します。
6. 「デザインノートをアップロードして共有可能にする」を選択して「OK」をクリックし、サイトに関連付けられているデザインノートを他のすべてのドキュメントと共にアップロードします。
   - このオプションを選択すると、他のユーザーとデザインノートを共有できます。Dreamweaver では、ファイルを送信、または取得すると、関連付けられているデザインノートファイルも自動的に送信、または取得されます。

このオプションを選択しない場合、Dreamweaver はデザインノートをローカルで保持しますが、ファイルと一緒にアップロードしません。サイト上で単独で作業している場合、このオプションをオフにするとパフォーマンスが向上します。デザインノートは、ファイルをチェックインまたは送信してもリモートサイトに転送されません。引き続き、サイトのデザインノートをローカルに追加および変更できます。

トップへ戻る

デザインノートとファイルの関連付け

サイト内のドキュメントやテンプレートのそれぞれに対してデザインノートを作成できます。アプレット、ActiveX コントロール、イメージ、Flash コンテンツ、Shockwave オブジェクト、ドキュメント内のイメージフィールド用にもデザインノートを作成できます。

注意： デザインノートが追加されたテンプレートを基にドキュメントを作成する場合、作成されるドキュメントはデザインノートを継承しません。

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ドキュメントウィンドウでファイルを開き、ファイル／デザインノートを選択します。
   - ファイルパネルで、ファイルを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「デザインノート」を選択します。

     注意： ファイルがリモートサイトにある場合は、先にファイルをチェックアウトまたは取得してから、そのファイルをローカルフォルダーで選択する必要があります。
2. 「基本情報」タブのステータスメニューからドキュメントのステータスを選択します。
3. 日付アイコン（「メモ」テキストボックスの上）をクリックし、ノートに現在の日付を挿入します。
4. 「メモ」テキストボックスにコメントを入力します。
5. ファイルを開くたびにデザインノートファイルを表示させるには、「ファイルが開いているときに表示」を選択します。
6. 「全情報」タブで、プラス「+」ボタンをクリックして、新規のキーと値のペアを追加します。ペアを選択してマイナス「-」ボタンをクリックすると、それを削除できます。

   例えば、キーに Author という名前を付け（「名前」ボックス）、値を Heidi に定義（「値」ボックス）できます。
7. 「OK」をクリックしてノートを保存します。

   Dreamweaver では、ノートは、現在のファイルと同じ場所にある _notes というフォルダーに保存されます。デザインノートのファイル名は、ドキュメントのファイル名に拡張子 .mno が付いたものです。例えば、ファイル名が index.html の場合、関連付けられているデザインノートは index.html.mno という名前になります。

トップへ戻る

デザインノートの操作

デザインノートをファイルと関連付けると、デザインノートを開いてステータスを変更したり、デザインノートを削除できるようになります。

ファイルに関連するデザインノートを開く

✤ 次のいずれかの操作を行って、デザインノートを開きます。

- ドキュメントウィンドウでファイルを開き、ファイル／デザインノートを選択します。
- ファイルパネルで、ファイルを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「デザインノート」を選択します。
- ファイルパネルの「ノート」列にある黄色いデザインノートアイコンをダブルクリックします。

  注意： 黄色いデザインノートアイコンを表示するには、サイト／サイトの管理／[サイト名]／編集／詳細設定／表示列を選択します。リストパネルで「ノート」を選択し、「表示」オプションを選択します。「ファイル」ツールバーの「展開 / 折りたたむ」ボタンをクリックして、ローカルサイトとリモートサイトの両方を表示すると、デザインノートを含むファイルの黄色いノートアイコンを表示する「ノート」列がローカルサイトに表示されます。

デザインノートのカスタムステータスの割り当て

1. ファイルまたはオブジェクトのデザインノートを開きます（前述の手順を参照してください）。
2. 「全情報」タブをクリックします
3. 「+」ボタンをクリックします。
4. 「名前」フィールドに、「status」という単語を入力します。
5. 「値」フィールドに、ステータスを入力します。

   ステータス値が既にある場合、新しい値で置き換わります。
6. 「基本情報」タブをクリックすると、ステータスポップアップメニューに新しいステータス値が表示されます。
   注意： 一度にステータスメニューに入力できるカスタム値は 1 つだけです。新しい値を入力すると、Dreamweaver により、先に入力されていたステータス値が新しい値に置き換えられます。

サイトからの関連しないデザインノートの削除

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトを選択して、「編集」ボタンをクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、左側のカテゴリリストから「デザインノート」を選択します。
4. 「クリーンアップ」ボタンをクリックします。

   Dreamweaver により、どのファイルにも関連していないサイト内のデザインノートを、すべて削除してもよいか確認するメッセージが表示されます。

   Dreamweaver では、関連付けられているデザインノートファイルのあるファイルを削除すると、Dreamweaver により同時にデザインノートファイルも削除されます。このため、デザインノートファイルが単独になるのは、通常、Dreamweaver 以外のアプリケーションを使用して、関連付けられたファイルを削除または名前変更した場合だけです。

   注意： 「デザインノート保持」をオフにした状態で「クリーンアップ」をクリックすると、Dreamweaver によりサイトにあるすべてのデザインノートが削除されます。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ファイルのロールバック（Contribute ユーザー）

ページの先頭へ

ファイルのロールバック（**Contribute** ユーザー）

Adobe Contribute 互換性を有効にすると、Dreamweaver では複数のバージョンのドキュメントが自動的に保存されます。

注意： *Contribute* は *Dreamweaver* と同じマシンにインストールされている必要があります。

ファイルのロールバックは、Contribute の管理設定でも有効にする必要があります。詳しくは、「*Contribute* の使用と管理」を参照してください。

1. ファイルパネルでファイルを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）します。
2. 「ページのロールバック」を選択します。

   ロールバックする、以前のバージョンのページがある場合は、ロールバックダイアログボックスが表示されます。
3. ロールバックするページのバージョンを選択し、「ロールバック」をクリックします。

アドビは次の機能も推奨します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

サーバーからのファイルの取得とサーバーへのファイルの送信

ファイル転送および依存ファイル
バックグラウンドでのファイル転送について
リモートサーバーからのファイルの取得
リモートサーバーへのファイル送信
ファイル転送の管理

トップへ戻る

ファイル転送および依存ファイル

グループで作業している場合は、チェックイン / チェックアウトシステムを使ってローカルサイトとリモートサイト間でファイルを転送します。リモートサイトで単独で作業している場合は、チェックイン / チェックアウトシステムを使用せずに、「GET」および「PUT」コマンドを使用してファイルを転送できます。

ファイルパネルを使用してローカルフォルダーとリモートフォルダー間でドキュメントを転送するときに、ドキュメントの依存ファイルを転送するオプションがあります。依存ファイルとは、ドキュメントで参照され、ドキュメントのロード時にブラウザーがロードするイメージ、外部スタイルシート、およびその他のファイルのことです。

注意： 通常、新規ファイルをチェックアウトする場合は、依存ファイルも一緒にダウンロードすることをお勧めしますが、既に最新バージョンの依存ファイルがローカルディスクにある場合は、再びダウンロードする必要はありません。これはファイルのアップロードとチェックインの場合にも当てはまります。最新のコピーがリモートサイトに既に存在している場合は、再びダウンロードする必要はありません。
ライブラリ項目は依存ファイルとして処理されます。

サーバーの中には、ライブラリのアイテムを PUT するときにエラーを報告するものがあります。ただし、これらのファイルをクロークすると、転送されないようにできます。

トップへ戻る

バックグラウンドでのファイル転送について

ファイルの取得または送信中に、サーバーに関連しないその他の操作を実行できます。バックグラウンドのファイル転送は、Dreamweaver でサポートされるすべての転送プロトコル（FTP、SFTP、LAN、WebDAV、Subversion、および RDS）で機能します。

サーバーに関連しない操作には、入力、外部スタイルシートの編集、サイト全体のレポートの生成、新規サイトの作成などの一般的な操作があります。

ファイル転送中に Dreamweaver で実行できないサーバー関連操作は以下のとおりです。

- ファイルの PUT / GET / チェックイン / チェックアウト
- チェックアウトの取り消し
- データベース接続の作成
- 動的データのバインド
- ライブビューでのデータのプレビュー
- Web サービスの挿入
- リモートファイルまたはフォルダーの削除
- テストサーバーでのブラウザーでプレビュー
- リモートサーバーへのファイルの保存
- リモートサーバーからのイメージの挿入
- リモートサーバーからファイルを開く
- 保存時のファイルの自動 PUT
- リモートサイトへのファイルのドラッグ
- リモートサイトでのカット、コピー、またはペースト
- リモートビューの更新

初期設定では、ファイル転送中にバックグラウンドファイル操作ダイアログボックスが開いています。ダイアログボックスの右上にある最小化ボタンをクリックして、ダイアログボックスを最小化することができます。ファイル転送中にダイアログボックスを閉じると、操作がキャンセルされます。

トップへ戻る

リモートサーバーからのファイルの取得

ファイルをリモートサイトからローカルサイトにコピーするには、「GET」コマンドを使用します。ファイルを取得するには、ドキュメントウィンドウのファイルパネルを使用します。

Dreamweaver により、表示および保存できる転送中のファイル操作のログが作成されます。

注意： バックグラウンドでのファイル転送をオフにすることはできません。バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスで詳細ログを開いている場合、そのログを閉じるとパフォーマンスが向上します。
また、Dreamweaver ではすべての FTP ファイル転送操作も記録されます。FTP を使ってファイルを転送中にエラーが発生した場合、FTP サイトログを問題解決に利用できます。

ファイルパネルを使用したリモートサーバーからのファイルの取得

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、ダウンロードするファイルを選択します。

   通常、これらのファイルはリモートビューで選択しますが、対応するファイルをローカルビューで選択することもできます。「リモートビュー」がアクティブな場合、Dreamweaver により、選択したファイルがローカルサイトにコピーされます。ローカルビューがアクティブな場合は、Dreamweaver により、選択したローカルファイルのリモートバージョンがローカルサイトにコピーされます。

   注意： リモートのバージョンがローカルのバージョンより新しいファイルだけを取得するには、「同期」コマンドを使用します。
2. ファイルを取得するには以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイルパネルのツールバーの「GET」ボタンをクリックします。
   - ファイルパネルでファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューから「GET」を選択します。
3. 依存ファイルをダウンロードする場合は依存ファイルダイアログボックスで「はい」をクリックします。依存ファイルのローカルコピーが既にある場合は「いいえ」をクリックします。初期設定では、依存ファイルはダウンロードされません。このオプションは、編集／環境設定／サイトで設定できます。

   Dreamweaver により、選択したファイルが次のようにダウンロードされます。
   - チェックイン / チェックアウトシステムが有効な場合にファイルを取得すると、ファイルは読み取り専用でローカルサイトにコピーされます。他のユーザーはリモートサイトまたはテストサーバーでそのファイルをチェックアウトできます。
   - チェックイン / チェックアウトシステムを使用していない場合にファイルを取得すると、コピーされるファイルは「読み取りおよび書き込み」が可能になります。

     注意： グループで共同作業をしている場合、つまり他のユーザーが同じファイルで作業する場合は、「ファイルのチェックイン / チェックアウト」をオンにすることをお勧めします。他のユーザーがサイトでチェックイン / チェックアウトシステムを使っている場合は、同じシステムを使うことを推奨します。

     ファイル転送はいつでも停止できます。転送を停止するには、バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンをクリックします。

ドキュメントウィンドウを使用したリモートサーバーからのファイルの取得

1. ドキュメントウィンドウでドキュメントがアクティブになっていることを確認します。
2. ファイルを取得するには以下のいずれかの操作を行います。
   - サイト／GET を選択します。
   - ドキュメントウィンドウのツールバーのファイル管理アイコンをクリックし、メニューから「GET」を選択します。

     注意： 現在のファイルがファイルパネルの現在のサイトの一部ではない場合は、Dreamweaver により現在のファイルがどのローカルサイトに属しているかが調べられます。現在のファイルが 1 つのローカルサイトにのみ属している場合は、Dreamweaver がそのサイトを開き、GET 操作を実行します。

FTP のログの表示

1. ファイルパネルの右上にあるオプションメニューをクリックします。
2. 表示／FTP サイトログを選択します。

注意： 展開されたファイルパネルで、「FTP ログ」ボタンをクリックするとログが表示されます。

トップへ戻る

リモートサーバーへのファイル送信

ローカルサイトからリモートサイトにファイルを送信しても、通常、ファイルのチェックアウトに関するステータスは変更されません。

チェックイン機能ではなく、「PUT」コマンドを使う一般的な状況は 2 つあります。

- グループで作業していなくて、チェックイン / チェックアウトシステムを無効にしている場合。

- サーバー上にファイルの現在バージョンを送信するが、送信後も編集を続ける場合。

  注意： チェックイン / チェックアウトシステムが有効な状態で、リモートサイトになかったファイルを送信すると、ファイルはリモートサイトにコピーされてからチェックアウトされ、編集を続けられます。

  ファイルを PUT するには、ドキュメントウィンドウのファイルパネルを使用します。Dreamweaver により、表示および保存できる転送中のファイル操作のログが作成されます。

  注意： バックグラウンドでのファイル転送をオフにすることはできません。バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスで詳細ログを開いている場合、そのログを閉じるとパフォーマンスが向上します。

  また、Dreamweaver ではすべての FTP ファイル転送操作も記録されます。FTP を使ってファイルを転送中にエラーが発生した場合、FTP サイトログを問題解決に利用できます。

  リモートサーバーへのファイル送信に関するチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0163_jp を参照してください。

  パブリッシュ問題のトラブルシューティングに関するチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0164_jp を参照してください。

ファイルパネルを使用したリモートサーバーまたはテストサーバーへのファイルの送信

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、アップロードするファイルを選択します。

   通常、ローカルビューでアップロードするファイルを選択しますが、リモートビューで選択することもできます。

   注意： ローカルのバージョンがリモートのバージョンより新しいファイルのみを送信できます。
2. リモートサーバーにファイルを送信するには以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイルパネルのツールバーの「PUT」ボタンをクリックします。
   - ファイルパネルでファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューから「PUT」を選択します。
3. 送信するファイルが保存されていない場合は、リモートサーバーに送信する前にファイルを保存するかどうかを尋ねるダイアログボックスが表示されます（環境設定ダイアログボックスの「サイト」カテゴリのこの環境設定を設定した場合）。「はい」をクリックしてファイルを保存するか、「いいえ」をクリックして前回保存したバージョンをリモートサーバーに送信します。
   注意： 送信前にファイルを保存しないと、前回保存した後に行った変更は、リモートサーバーに送信されません。ファイルは開いたままなので、サーバーにファイルを送信した後で変更を保存することができます。
4. 「はい」をクリックすると、依存ファイルが選択したファイルと共にアップロードされます。「いいえ」をクリックすると、依存ファイルはアップロードされません。初期設定では、依存ファイルはアップロードされません。このオプションは、編集／環境設定／サイトで設定できます。
   注意： 通常、新規ファイルをチェックインする場合は、依存ファイルも一緒にアップロードすることをお勧めしますが、既に最新バージョンの依存ファイルがリモートサーバーにある場合は、再びアップロードする必要はありません。

   ファイル転送はいつでも停止できます。転送を停止するには、バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンをクリックします。

ドキュメントウィンドウを使用したリモートサーバーへのファイルの送信

1. ドキュメントウィンドウでドキュメントがアクティブになっていることを確認します。
2. ファイルを送信するには以下のいずれかの操作を行います。
   - サイト／PUT を選択します。
   - ドキュメントウィンドウのツールバーのファイル管理アイコンをクリックし、ポップアップメニューから「PUT」を選択します。

     注意： 現在のファイルがファイルパネルの現在のサイトの一部ではない場合は、Dreamweaver により現在のファイルがどのローカルサイトに属しているかが調べられます。現在のファイルが 1 つのローカルサイトだけに属している場合は、Dreamweaver がそのサイトを開き、PUT 操作を実行します。

FTP のログの表示

1. ファイルパネルの右上にあるオプションメニューをクリックします。
2. 表示／FTP サイトログを選択します。

注意： 展開されたファイルパネルで、「FTP ログ」ボタンをクリックするとログが表示されます。

トップへ戻る

ファイル転送の管理

ファイル転送操作のステータスと、転送されたファイルとその結果のリスト（転送の成功、スキップ、または失敗）を表示できます。また、ファイル操作のログを保存することもできます。

注意： Dreamweaver では、サーバーへのファイルの転送中またはサーバーからのファイルの転送中に、サーバーに関連しない他の操作を実行することができます。

ファイル転送のキャンセル

✤ バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されない場合は、ファイルパネルの下部にある「ファイル操作」ボタンをクリックします。

ファイル転送中でのバックグラウンドファイル操作ダイアログボックスの表示

✤ ファイルパネルの下部にある「ファイル操作」ボタンまたは「ログ」ボタンをクリックします。

注意： 「ログ」ボタンを非表示に設定または削除することはできません。「ログ」ボタンはパネルに常に表示されます。

最後のファイル転送の詳細の表示

1. ファイルパネルの下部にある「ログ」ボタンをクリックして、バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスを開きます。
2. 縮小の三角形をクリックします。

最後のファイル転送のログの保存

1. ファイルパネルの下部にある「ログ」ボタンをクリックして、バックグラウンドファイル操作ダイアログボックスを開きます。
2. 「ログの保存」ボタンをクリックし、情報をテキストファイルとして保存します。

ファイル操作を確認するには、Dreamweaver またはテキストエディターでログファイルを開きます。

関連項目

ファイル送信のチュートリアル

パブリッシュ問題のトラブルシューティングのチュートリアル

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ファイルとフォルダーの管理

ファイルとフォルダーの管理について
ファイルパネルの使用
ファイルとフォルダーの表示
ファイルパネルでのファイルの操作
Dreamweaver サイト内でのファイルの検索
未使用ファイルの識別と削除
サイト、サーバー、およびローカルドライブへのアクセス
展開されているファイルパネルに表示されるファイルおよびフォルダーの詳細のカスタマイズ

トップへ戻る

ファイルとフォルダーの管理について

Dreamweaver には、ファイルの管理やリモートサーバーとのファイルのやり取りを行うためのファイルパネルが用意されています。ローカルサイトとリモートサイトでファイルを転送する場合、ファイルやフォルダーの構成が両サイト間で保持されます。サイト間でファイルを転送するときに、サイトに必要なフォルダーがない場合は、Dreamweaver が対応するフォルダーを作成します。Dreamweaver には、両サイトのディレクトリで必要なファイルをコピーし、不必要なファイルを削除することによって、ローカルサイトとリモートサイト間のファイルを同期させる機能もあります。

トップへ戻る

ファイルパネルの使用

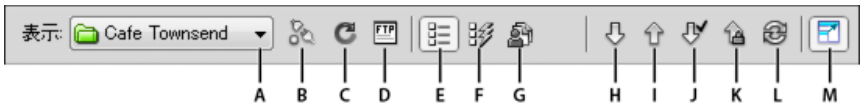
ファイルパネルでは、ファイルやフォルダーの表示、Dreamweaver サイトに関連しているかどうかの確認、ファイルを開く、移動するなどの一般的なファイル管理作業ができます。

注意： 以前のバージョンの Dreamweaver で、ファイルパネルはサイトパネルと呼ばれていました。
ファイルパネルは必要に応じて移動できます。また、パネルの環境設定を指定することもできます。

このパネルでは、以下のタスクを実行できます。

- サイト、サーバー、およびローカルドライブへのアクセス
- ファイルとフォルダーの表示
- ファイルパネルでのファイルおよびフォルダーの管理

Dreamweaver サイトの場合は、以下のオプションを使用してファイルを表示または転送します。



ファイルパネル（展開した状態）のオプション
A. サイトポップアップメニュー **B.** 接続 / 切断 **C.** 更新 **D.** FTP サイトログの表示 **E.** サイトファイルビュー **F.** テストサーバー **G.** リポジトリビュー **H.** ファイルを GET する **I.** ファイルを PUT する **J.** ファイルをチェックアウトする **K.** ファイルをチェックインする **L.** 同期 **M.** 展開 / 折りたたむ

注意： 「サイトファイル」ビュー、「テストサーバー」ビュー、および「同期」ボタンは、展開されたファイルパネルにのみ表示されます。
サイトポップアップメニュー Dreamweaver サイトを選択し、サイトのファイルを表示できます。また、サイトメニューからは、Windows エクスプローラー（Windows）や Finder（Mac OS）と同様に、ローカルディスクにあるすべてのファイルへのアクセスが可能です。
接続 / 切断 （FTP、RDS、および WebDAV プロトコルを使用して）リモートサイトへの接続と切断を行います。初期設定では、アイドル状態が 30 分を越えると Dreamweaver により接続が自動的に切断されます（FTP のみ）。設定時間を変更するには、編集／環境設定（Windows）またはDreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択し、左のカテゴリリストから「サイト」を選択します。
更新 ローカルおよびリモートのディレクトリリストを更新します。サイト定義ダイアログボックスの「ローカルファイルリストを自動的に更新」または「リモートファイルリストを自動的に更新」のいずれかをオフにしている場合は、このボタンを使って手動でディレクトリリストを更新できます。
サイトファイルのビュー ファイルパネル内の各ペインにリモートサイトとローカルサイトのファイル構成が表示されます（環境設定で、左のペインに表示するサイトと右のペインに表示するサイトを指定します）。サイトファイルビューは、ファイルパネルの初期設定の表示モードです。
テストサーバービュー テストサーバーとローカルサイトのディレクトリ構造が表示されます。
リポジトリビュー Subversion（SVN）リポジトリを表示します。
ファイルを **GET** する 選択したファイルをリモートサイトからローカルサイトにコピーします。ファイルのローカルコピーがある場合は、上書きされます。「ファイルのチェックイン / チェックアウト」がオンになっていると、ローカルのコピーは読み取り専用になります。リモートサイト上のファイルは、他のメンバーがチェックアウトできるよう、そのまま残ります。「ファイルのチェックイン / チェックアウト」がオフになっている

と、ファイルのコピーは読み取りおよび書き込みが可能なものになります。
注意： Dreamweaver でコピーの対象となるファイルは、ファイルパネルのアクティブなペインで選択されているファイルです。リモートペインがアクティブな場合は、選択したリモートファイルまたはテストサーバーファイルがローカルサイトにコピーされます。ローカルペインがアクティブな場合、Dreamweaver は選択したローカルファイルのリモートバージョンまたはテストサーバーバージョンをローカルサイトにコピーします。
ファイルを **PUT** する 選択したファイルをローカルサイトからリモートサイトにコピーします。
注意： Dreamweaver でコピーの対象となるファイルは、ファイルパネルのアクティブなペインで選択されているファイルです。ローカルペインがアクティブな場合は、選択したローカルファイルがリモートサイトまたはテストサーバーにコピーされます。リモートペインがアクティブな場合、Dreamweaver は選択したリモートサーバーファイルのローカルバージョンをリモートサイトにコピーします。
「ファイルのチェックイン / チェックアウト」がオンの状態で、リモートサイトにないファイルを新しく追加する場合、ファイルは「チェックアウト済み」としてリモートサイトにコピーされます。チェックインの状態でファイルを追加するには、チェックインボタンをクリックします。

ファイルをチェックアウトする ファイルのコピーをリモートサーバーからローカルサイトに転送して（ファイルのローカルコピーがあれば、それを上書きして）、ファイルがチェックアウトされているマークをサーバーに付けます。このオプションは、サイト定義ダイアログボックスで「ファイルのチェックイン / チェックアウト」が現在のサイトに対してオフに設定されている場合は使用できません。
ファイルをチェックインする ローカルファイルのコピーをリモートサーバーに転送し、他のユーザーがファイルを編集できるようにします。ローカルファイルは、読み取り専用になります。このオプションは、サイト定義ダイアログボックスの「ファイルのチェックイン / チェックアウト」オプションが現在のサイトに対してオフに設定されている場合は使用できません。
同期 ローカルフォルダーとリモートフォルダー間でファイルが同期されます。
展開 / 折りたたむボタン ファイルパネルを展開または折りたたんで、表示するペインを 1 つまたは 2 つにします。

トップへ戻る

ファイルとフォルダーの表示

ファイルパネルでは、ファイルやフォルダーを Dreamweaver サイトに関連している、関連していないにかかわらず、表示できます。ファイルパネルでサイト、ファイル、またはフォルダーを表示する場合、表示領域のサイズを変更できます。また Dreamweaver サイトに対しては、ファイルパネルを展開または縮小できます。

Dreamweaver サイトの場合、ファイルパネルは、初期設定で縮小パネルに表示されるローカルサイトまたはリモートサイトのビューを変更してカスタマイズします。または、展開されているファイルパネルのコンテンツビューを「常に表示」オプションで切り替えます。

ファイルパネルを開くまたは閉じる

❖ ウィンドウ／ファイルを選択します。

ファイルパネル内のファイルの検索（Mac OS、Creative Cloud ユーザーのみ）

ライブサーチを使用して、ファイル内のファイル名またはテキストに基づいてファイルを見つけます。ファイルパネルで選択したサイトを使用して検索を行います。パネルでサイトが選択されていない場合、検索オプションは表示されません。詳細については、「ファイル名またはコンテンツに基づいたファイルの検索」を参照してください。

ファイルパネルの表示の展開または縮小（Dreamweaver サイトのみ）

❖ ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、ツールバーの「展開 / 折りたたむ」ボタン をクリックします。
注意： ファイルパネルがドッキングされているときに「展開 / 折りたたむ」ボタンをクリックして表示を展開すると、パネルが最大化し、ドキュメントウィンドウ内で作業できなくなります。ドキュメントウィンドウに戻るには、「展開 / 折りたたむ」ボタンをクリックしてパネルを縮小してください。「展開 / 折りたたむ」ボタンをクリックし、ドッキングされていないパネルを展開した場合でも、ドキュメントウィンドウでの操作は可能です。パネルを再びドッキングする場合は、その前にパネルの表示を縮小してください。
ファイルパネルの表示を縮小すると、ローカルサイト、リモートサイト、またはテストサーバーの内容がファイルの一覧の形で表示されます。表示を展開すると、ローカルサイト、およびリモートサイトまたはテストサーバーのいずれかが表示されます。

展開されているファイルパネルの表示領域のサイズの変更

❖ 展開されているファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、以下のいずれかの操作を行います。

- パネルの左右の表示領域の幅を変更するには、2 つの表示領域の境界にあるバーをドラッグします。
- ビューのコンテンツをスクロールするには、ファイルパネルの下部にあるスクロールバーを使用します。

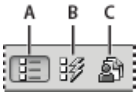
ファイルパネル内のサイトのビューの変更（Dreamweaver サイトのみ）

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- 縮小されている ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、サイトビューポップアップメニューから、「ローカルビュー」、「リモートビュー」、「テストサーバー」、または「リポジトリビュー」を選択します。

  注意： 初期設定ではサイトビューポップアップメニューに「ローカルビュー」が表示されます。

- 展開されている ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、「サイトファイル」ボタン（リモートサイト用）、「テストサーバー」ボタン、または「リポジトリファイル」ボタンをクリックします。



A. サイトファイル **B.** テストサーバー **C.** リポジトリファイル

注意： リモートサイト、テストサーバー、またはリポジトリを表示するには、事前にリモートサイト、テストサーバー、または SVN リポジトリを設定しておく必要があります。

Dreamweaver サイト外のファイルの表示

❖ Windows エクスプローラー（Windows）や Finder（Mac OS）と同じように、サイトポップアップメニューでコンピューターを操作します。

トップへ戻る

ファイルパネルでのファイルの操作

ファイルを開く、ファイル名を変更する、またはファイルの追加、移動、削除、あるいは変更後にファイルパネルの更新を行うことができます。

Dreamweaver サイトの場合、ローカルサイトとリモートサイトのどちらのファイルが、最終転送時以降に更新されて、新しくなったかを調べることができます。

ファイルを開く

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、現在のサイト、サーバー、またはドライブが表示されるポップアップメニューから、サイト、サーバー、またはドライブを選択します。
2. 開くファイルを選択します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ファイルのアイコンをダブルクリックします。
   - ファイルのアイコンを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「開く」を選択します。

     Dreamweaver により、ファイルがドキュメントウィンドウで開きます。

ファイルまたはフォルダーの作成

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、ファイルまたはフォルダーを選択します。

   Dreamweaver では、新規のファイルまたはフォルダーは、現在選択されているフォルダー内か、または現在選択されているファイルと同じフォルダー内に作成されます。
2. 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「新規ファイル」または「新規フォルダー」を選択します。
3. 新しいファイルまたはフォルダーの名前を入力します。
4. Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

ファイルまたはフォルダーの削除

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、削除するファイルまたはフォルダーを選択します。
2. 右クリックするか（Windows）、Control キーを押しながらクリックし（Mac OS）、編集／削除を選択します。

ファイルまたはフォルダーの名前の変更

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、名前を変更するファイルまたはフォルダーを選択します。
2. ファイルまたはフォルダーの名前をアクティブにして、変更できる状態にするには、以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイル名をクリックし、一瞬、間をおいて、もう一度クリックします。
   - ファイルのアイコンを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、編集／名前の変更を選択します。
3. 新しい名前を入力して既存の名前を上書きします。
4. Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

ファイルまたはフォルダーの移動

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、移動するファイルまたはフォルダーを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ファイルまたはフォルダーをコピーし、新しい場所に貼り付けます。
   - ファイルまたはフォルダーを新しい場所にドラッグします。
3. ファイルパネルを更新し、新しい場所に移動したファイルまたはフォルダーを表示します。

ファイルパネルの更新

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- ファイルを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「更新を選択します。
- （Dreamweaver サイトのみ）ファイルパネルのツールバーの「更新」ボタンをクリックします。このオプションによって両方のペインが更新されます。

  注意： Dreamweaver では、他のアプリケーションで変更を加えてから Dreamweaver に戻ると、ファイルパネルが自動的に更新されます。

トップへ戻る

Dreamweaver サイト内でのファイルの検索

Dreamweaver では、選択したファイル、開いているファイル、チェックアウトされているファイル、または最近変更したファイルをサイト内で簡単に検索できます。ローカルサイトまたはリモートサイト内の新しいファイルを検索することもできます。

開いているファイルのサイト内での検索

1. ファイルをドキュメントウィンドウで開きます。
2. サイト／サイトで表示を選択します。

   Dreamweaver によりファイルパネル内でファイルが選択されます。

   注意： ドキュメントウィンドウで開いているファイルがファイルパネル内の現在のサイトの一部ではない場合は、Dreamweaver によりこのファイルがどの Dreamweaver サイトに属しているかが調べられます。現在のファイルが 1 つのローカルサイトにのみ属している場合は、Dreamweaver によりファイルパネル内でそのサイトが開き、ファイルがハイライト表示されます。

チェックアウトされているファイルのサイト内での検索と選択

❖ 縮小されている ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、ファイルパネルの右上にあるオプションメニューをクリックし、編集／チェックアウトされたファイルの選択を選択します。

Dreamweaver によりファイルパネル内でファイルが選択されます。

選択したファイルのローカルサイトまたはリモートサイト内での検索

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）のローカルビューまたはリモートビューでファイルを選択します。
2. 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、ファイルを選択した場所に応じて「ローカルサイトで表示」または「リモートサイトで表示」を選択します。

   Dreamweaver によりファイルパネル内でファイルが選択されます。

リモートサイトよりも新しいファイルをローカルサイトから探して選択

❖ 縮小されているファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、ファイルパネルの右上隅にあるオプションメニューをクリックし、編集／新しいローカルアイテムの選択を選択します。

Dreamweaver によりファイルパネル内でファイルが選択されます。

ローカルサイトよりも新しいファイルをリモートサイトから探して選択

❖ 縮小されているファイルパネル（ウィンドウ]ファイル）で、ファイルパネルの右上隅にあるオプションメニューをクリックし、編集／新しいリモートアイテムの選択を選択します。

Dreamweaver によりファイルパネル内でファイルが選択されます。

最近変更されたファイルのサイト内での検索

1. 縮小されているファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、ファイルパネルの右上隅にあるオプションメニューをクリックし、編集／最近修正したファイルを選択を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行い、レポートの検索日を指定します。

- 最近数日間に変更されたファイルをすべてレポートするには、「最近作成・修正されたファイル」を選択し、日数をテキストボックスに入力します。
- 特定の期間に変更されたファイルをすべてレポートするには、「期間内に作成・修正されたファイル」ラジオボタンをクリックし、日付の範囲を指定します。

3. （オプション）「修正したユーザー」テキストボックスにユーザー名を入力すると、指定した日付範囲に特定のユーザーが変更したファイルのみが検索されます。
   注意： このオプションは、Contribute サイトに関するレポートに対してのみ使用できます。
4. レポートのリストに含まれているファイルを表示する場所を示すラジオボタンを必要に応じて以下から選択します。
   ローカルマシン サイトに静的なページが置かれている場合に選択します。

   テストサーバー サイトに動的なページが置かれている場合に選択します。
   注意： このオプションでは、サイト定義ダイアログボックスで「テストサーバー」が定義されていることを前提としています（XREF）。「テストサーバー」を定義していないにもかかわらずそのサーバーの URL 接頭辞を入力したか、複数のサイトのレポートを実行している場合は、このオプションを使用できません。

   他の場所 テキストボックスにパスを入力する場合に選択します。
5. 「OK」をクリックして設定を保存します。

   選択した時間帯に変更されたファイルが、Dreamweaver により、ファイルパネル内でハイライト表示されます。

トップへ戻る

未使用ファイルの識別と削除

サイトの他のファイルで使用されなくなったファイルを識別および削除できます。

1. サイト／サイト全体のリンクチェックを選択します。

   Dreamweaver によりサイトのすべてのリンクがチェックされ、結果パネルに破損したリンクが表示されます。
2. リンクチェックパネルでメニューから「単独ファイル」を選択します。

   リンクがないすべてのファイルが Dreamweaver に表示されます。これは、これらのファイルにリンクされているファイルがサイト内にないことを意味します。
3. 削除するファイルを選択し、「削除」をクリックします。
   重要： これらのファイルにリンクされている他のファイルはサイト内にありませんが、表示されているファイルの一部が他のファイルにリンクされていることがあります。ファイルを削除するときは注意してください。

トップへ戻る

サイト、サーバー、およびローカルドライブへのアクセス

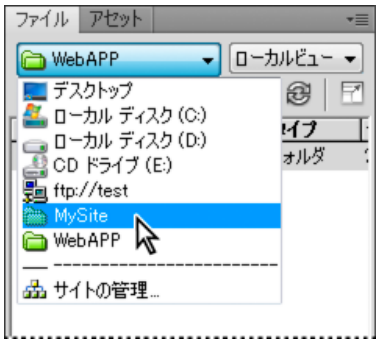
Dreamweaver サイト内のファイルやフォルダーに加えて、Dreamweaver サイトに置かれていないファイルやフォルダーもアクセス、変更、および保存できます。Dreamweaver サイトに加えて、サーバー、ローカルドライブ、またはデスクトップにもアクセスできます。

リモートサーバーにアクセスするには、そのサーバーで作業できるように Dreamweaver を設定する必要があります。

注意： ファイルの管理方法として最適なのは、Dreamweaver サイトを作成することです。

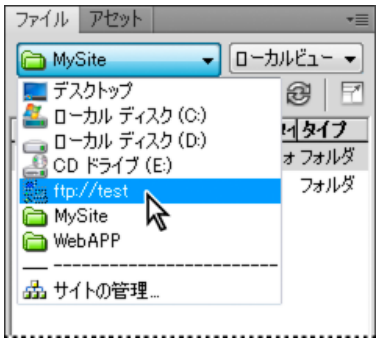
既存の Dreamweaver サイトを開く

❖ ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、現在のサイト、サーバー、またはドライブが表示されるメニューからサイトを選択します。



リモートの FTP サーバーまたは RDS サーバーのフォルダーを開く

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、現在のサイト、サーバー、またはドライブが表示されるメニューからサーバー名を選択します。



注意： Dreamweaver で使用するよう設定したサーバーの名前が表示されます。

2. 通常の方法でファイルに移動し、編集します。

ローカルドライブまたはデスクトップへのアクセス

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、現在のサイト、サーバー、またはドライブが表示されるメニューから、「デスクトップ」、「ローカルディスク」、または「CD ドライブ」を選択します。
2. ファイルを選択し、以下のいずれかの操作を行います。
   - Dreamweaver や別のアプリケーション内のファイルを開く
   - ファイル名の変更
   - ファイルのコピー
   - ファイルの削除
   - ファイルのドラッグ

     ある Dreamweaver サイトから別のサイトに、または Dreamweaver サイトの一部になっていないフォルダーにファイルをドラッグすると、Dreamweaver により ファイルがドロップ先の場所に「コピー」されます。ファイルをドラッグして同じ Dreamweaver サイト内にドロップすると、Dreamweaver によりそのファイルはドロップ先の場所に「移動」されます。Dreamweaver サイトの一部となっていないファイルを Dreamweaver サイトの一部となっていないフォルダーにドラッグすると、Dreamweaver によりそのファイルはドロップ先に移動されます。

     注意： 初期設定で Dreamweaver がコピーを実行するファイルを移動するには、Shift キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながらファイルをドラッグします。初期設定で Dreamweaver が移動を実行するファイルをコピーするには、Ctrl キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながらドラッグします。

トップへ戻る

展開されているファイルパネルに表示されるファイルおよびフォルダーの詳細のカスタマイズ

展開されているファイルパネルで Dreamweaver サイトを表示すると、ファイルとフォルダーに関する情報が各列に表示されます。例えば、ファイルタイプやファイルの変更日が表示されます。

列をカスタマイズするには、以下のいずれかを行います。一部の操作は、初期設定の列ではなく、追加した列に対してのみ実行できます。

- 列の並べ替えまたは再整列
- 新しい列の追加（最大 10 列まで）
- 列の非表示（ファイル名の列を除く）
- サイトに接続しているすべてのユーザーが共有する列の指定
- 列の削除（カスタム列のみ）
- 列の名前の変更（カスタム列のみ）
- 列とデザインノートの関連付け（カスタム列のみ）

列の順序の変更

❖ 列名を選択し、上向きまたは下向きのボタンを使って、選択した列の位置を変更します。
注意： 「名前」列以外のすべての列の順序を変更できます。「名前」列は常に 1 列目に表示されます。

詳細列の追加、削除、または変更

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトを選択して、「編集」ボタンをクリックします。
3. 「詳細設定」を展開し、「表示列」カテゴリを選択します。
4. 列を選択し、プラス「+」ボタンをクリックして列を追加するか、またはマイナス「-」ボタンをクリックして列を削除します。
   注意： 確認メッセージは表示されず、すぐに列が削除されるので、削除する列をよく確認してからマイナス「-」ボタンをクリックしてくだ

さい。

5. 「列名」テキストボックスに列の名前を入力します。
6. デザインノートに関連付けるメニューから値を選択するか、値を入力します。
   注意： 新しい列をデザインノートに関連付ける必要があります。そのため、ファイルパネルに表示するデータが用意されています。
7. 整列を選択して、列内のテキストをどのように揃えるかを指定します。
8. 列の表示 / 非表示を切り替えるには、「表示」のオンとオフを切り替えます。
9. リモートサイトに接続するすべてのユーザーが列を共有するには、「このサイトのすべてのユーザーと共有する」を選択します。

ファイルパネルのいずれかの詳細列での並べ替え

✤ 並べ替える列の見出しをクリックします。
   見出しをもう一度クリックすると、Dreamweaver での列の並べ替え順序（昇順または降順）が逆になります。

関連項目

[print]ファイルパネルの概要

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ファイルのチェックインとチェックアウト

チェックイン / チェックアウトシステムについて
チェックイン / チェックアウトシステムの設定
リモートフォルダーのファイルのチェックインとチェックアウト
WebDAV を使用したファイルのチェックインとチェックアウト
Subversion（SVN）によるファイルの取得とチェックアウト

トップへ戻る

チェックイン / チェックアウトシステムについて

グループで共同作業を行う環境では、ローカルサーバーおよびリモートサーバーからファイルをチェックインまたはチェックアウトします。リモートサーバーで単独で作業している場合は、ファイルをチェックインまたはチェックアウトせずに「PUT」および「GET」コマンドを使用できます。

注意： テストサーバーでは、GET 機能と PUT 機能を使用することはできますが、チェックイン / チェックアウト機能を使用することはできません。
ファイルをチェックアウトする操作は、「今このファイルを操作しているので触らないこと!」と宣言することと同じです。ファイルがチェックアウトされると、ファイルパネル内にチェックアウトした人の名前が表示され、赤色のチェックマーク（他のチームメンバーがファイルをチェックアウトした場合）または緑色のチェックマーク（本人がファイルをチェックアウトした場合）がそのファイルのアイコンの隣に表示されます。

ファイルをチェックインすると、他のユーザーがそのファイルをチェックアウトして編集することができるようになります。編集を終えたファイルをチェックインすると、その後、そのファイルのローカルバージョンは読み取り専用になり、ファイルパネル内でファイル名の隣にロック記号が表示されて、編集できなくなります。

Dreamweaver を使用してチェックアウトされたファイルは、リモートサーバー上で読み取り専用になりません。Dreamweaver 以外のアプリケーションでファイルを転送すると、チェックアウトされているファイルが上書きされる可能性があります。このような事故を防止するために、Dreamweaver 以外のアプリケーションでファイル階層を見ると、チェックアウトされたファイルの隣に LCK ファイルが表示されます。

トップへ戻る

チェックイン / チェックアウトシステムの設定

チェックイン / チェックアウトシステムを使用するには、事前にローカルサイトをリモートサーバーに関連付ける必要があります。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトを選択し、「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 新しいサーバーを追加するには、「新規サーバーの追加」ボタンをクリックします。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。
4. 必要に応じて基本オプションを指定した後、「詳細設定」ボタンをクリックします。
5. グループで共同作業している（または単独で数台の異なるコンピューターを使って作業している）場合は、「ファイルのチェックアウトを使用可能にする」をオンにします。Web サイトのファイルのチェックインとチェックアウトを無効にする場合は、このオプションをオフにします。

   このオプションは、ファイルを編集するためにチェックアウトしたことを他のユーザーに知らせたい場合や、他のマシンにより新しいバージョンのファイルがあることがわかるように設定したいときに便利です。

   「チェックイン / チェックアウト」オプションが表示されない場合は、リモートサーバーがセットアップされていません。
6. ファイルパネルでファイルをダブルクリックして開くときに、ファイルが自動的にチェックアウトされるように設定するには、「常にチェックアウトしてファイルを開く」オプションをオンにします。

   ファイル／開くを使ってファイルを開くと、このオプションがオンになっていてもファイルはチェックアウトされません。
7. その他のオプションを設定します。
   チェックアウト名 ファイルパネルには、チェックアウトされているファイルと並んでチェックアウト名が表示されるので、チームメンバーは、必要なファイルをチェックアウトしているユーザーに連絡することができます。
   注意： 数台のコンピューターを使って単独で作業をしている場合、各マシンで異なるチェックアウト名を使用してください（例えば AmyR-HomeMac と AmyR-OfficePC など）。これで、チェックインするのを忘れた場合に、ファイルの最新バージョンがどこにあるかがわかります。

   電子メールアドレス 電子メールアドレスを入力してファイルをチェックアウトすると、ファイルパネル内で、チェックアウトしたファイルの横に、名前が青いアンダーラインの付いたリンクとして表示されます。他のユーザーがこのリンクをクリックすると、標準として使用して

いる電子メールプログラムが起動し、ファイルをチェックアウトしたユーザーの電子メールアドレスを宛先に、ファイルとサイト名を件名にした新規メッセージが開きます。

トップへ戻る

リモートフォルダーのファイルのチェックインとチェックアウト

チェックイン / チェックアウトシステムを設定すると、ファイルパネルまたはドキュメントウィンドウで、リモートサーバー上のファイルをチェックインおよびチェックアウトできるようになります。

ファイルパネルを使用したファイルのチェックアウト

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、リモートサーバーからチェックアウトするファイルを選択します。
   注意： ファイルは、「テストサーバー」ビューではなく「ローカルビュー」または「リモートビュー」で選択できます。

   赤のチェックマークは、他のチームメンバーがファイルをチェックアウトしていることを示し、ロック記号は、ファイルが読み取り専用（Windows）であるか、またはロックされている（Mac OS）ことを示します。
2. ファイルをチェックアウトするには、以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイルパネルのツールバーの「チェックアウト」ボタンをクリックします。
   - 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューから「チェックアウト」を選択します。
3. 依存ファイルダイアログボックスで「はい」をクリックすると、選択したファイルと共に依存ファイルがダウンロードされます。「いいえ」をクリックすると、依存ファイルはダウンロードされません。初期設定では、依存ファイルはダウンロードされません。このオプションは、編集／環境設定／サイトで設定できます。
   注意： 通常、新規ファイルをチェックアウトする場合は、依存ファイルも一緒にダウンロードすることをお勧めしますが、既に最新バージョンの依存ファイルがローカルディスクにある場合は、再びダウンロードする必要はありません。

   ユーザーがファイルをチェックアウトしたことを示す、緑のチェックマークがローカルファイルのアイコンの隣に表示されます。

   重要： 現在アクティブなファイルをチェックアウトすると、現在開いているファイルのバージョンが、新しくチェックアウトされたバージョンで上書きされます。

ファイルパネルを使用したファイルのチェックイン

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、チェックアウトされているファイルまたは新しいファイルを選択します。
   注意： ファイルは、「テストサーバー」ビューではなく「ローカルビュー」または「リモートビュー」で選択できます。
2. ファイルをチェックインするには、以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイルパネルのツールバーの「チェックイン」ボタンをクリックします。
   - 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューから「チェックイン」を選択します。
3. 「はい」をクリックすると、依存ファイルが選択したファイルと共にアップロードされます。「いいえ」をクリックすると、依存ファイルはアップロードされません。初期設定では、依存ファイルはアップロードされません。このオプションは、編集／環境設定／サイトで設定できます。
   注意： 通常、新規ファイルをチェックインする場合は、依存ファイルも一緒にアップロードすることをお勧めしますが、既に最新バージョンの依存ファイルがリモートサーバーにある場合は、再びアップロードする必要はありません。

   現在読み取り専用であることを示すロック記号がローカルファイルのアイコンの隣に表示されます。

   重要： 現在アクティブなファイルをチェックインする場合に、ファイルを自動的に保存してからチェックインするように、環境設定のオプションを設定できます。

ドキュメントウィンドウでの開いているファイルのチェックイン

1. チェックインするファイルがドキュメントウィンドウで開いていることを確認します。
   注意： 一度にチェックインできるのは、開いている 1 ファイルのみです。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - サイト／チェックインを選択します。
   - ドキュメントウィンドウのツールバーのファイル管理アイコンをクリックし、ポップアップメニューから「チェックイン」を選択します。

     現在のファイルがファイルパネルのアクティブなサイトの一部ではない場合は、Dreamweaver により現在のファイルがどのローカルに定義されたどのサイトに属しているかが調べられます。現在のファイルがファイルパネルでアクティブなサイト以外のサイトに属する場合は、Dreamweaver がそのサイトを開き、チェックイン操作を実行します。

     重要： 現在アクティブなファイルをチェックインする場合に、ファイルを自動的に保存してからチェックインするように、環境設定のオプションを設定できます。

ファイルのチェックアウトの取り消し

ファイルをチェックアウトしても編集しない場合（または変更内容を破棄する場合）、チェックアウトの操作を取り消して、ファイルを元の状態に戻すことができます。

ファイルのチェックアウトを取り消すには、以下のいずれかの操作を行います。

- ドキュメントウィンドウでファイルを開き、サイト／チェックアウトの取り消しを選択します。
- ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、「チェックアウトの取り消し」を選択します。

  ファイルのローカルコピーが読み取り専用になり、行った変更がすべて失われます。

トップへ戻る

WebDAV を使用したファイルのチェックインとチェックアウト

Dreamweaver は、リモート Web サーバー上のファイルをユーザーが共同で編集および管理できるようにする HTTP プロトコルの拡張機能セットである、WebDAV（Web-based Distributed Authoring and Versioning）を使用しているサーバーに接続できます。詳しくは、www.webdav.org を参照してください。

1. 既に行っていない場合は、プロジェクトファイルの保存に使用するローカルフォルダーを指定する Dreamweaver サイトを定義します。
2. サイト／サイトの管理を選択し、リストでサイトをダブルクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「サーバー」カテゴリを選択して次のいずれかの操作を行います。
   - 新しいサーバーを追加するには、「新規サーバーの追加」ボタンをクリックします。
   - 既存のサーバーを選択して、「既存のサーバーの編集」ボタンをクリックします。
4. 基本画面で、使用する接続ポップアップメニューから「WebDAV」を選択し、必要に応じて基本画面の他のオプションを設定します。
5. 「詳細設定」ボタンをクリックします。
6. 「ファイルのチェックアウトを使用可能にする」オプションを選択し、次の情報を入力します。
   - 「チェックアウト名」ボックスに、他のチームメンバーに自分を示す名前を入力します。
   - 「電子メールアドレス」テキストボックスに電子メールアドレスを入力します。

     名前と電子メールアドレスは、WebDAV サーバーにおける所有権の識別に使用されます。この電子メールアドレスは、連絡に使用するためにファイルパネルに表示されます。
7. 「保存」をクリックします。

   Dreamweaver では、WebDAV アクセス用にサイトが構成されます。任意のサイトファイルで「チェックイン」または「チェックアウト」コマンドを使用すると、WebDAV を使用してファイルが転送されます。

   注意： HTTP GET では、PHP タグや SSI のような動的コンテンツを含むファイルはレンダリング後の状態でチェックアウトされるため、WebDAV ではこのようなファイルを正しくチェックアウトできないことがあります。

トップへ戻る

Subversion（SVN）によるファイルの取得とチェックアウト

Dreamweaver は Subversion（SVN）を使用したサーバーに接続できます。SVN はバージョン管理システムの一種であり、リモート Web サーバー上のファイルに対する編集や管理の共同作業を複数のユーザーで実行する場合に使用できます。Dreamweaver は SVN クライアントのすべての機能を備えてはいませんが、ファイルの最新バージョンを取得し、変更を加え、そのファイルをコミットすることができます。

重要： Dreamweaver CS5 は Subversion 1.6.6 クライアントライブラリを使用し、Dreamweaver CS5.5 は 1.6.9 クライアントライブラリを使用します。Subversion 1.4.5 より後のバージョンのクライアントライブラリは、下位互換性がありません。サードパーティのクライアントアプリケーション（TortoiseSVN など）を更新して Subversion の以降のバージョンで使用する場合、更新された Subversion アプリケーションによってローカル Subversion のメタデータが更新され、Dreamweaver は Subversion と通信できなくなります。この問題には、Subversion サーバーの更新は影響しません。サーバーの更新は下位互換性があります。Subversion 1.7 以降で動作するサードパーティのクライアントアプリケーションにアップグレードする場合は、Dreamweaver で再び Subversion を使用するには、先にアドビ システムズ社で更新を確認する必要があります。この問題について詳しくは、www.adobe.com/go/dw_svn_jp を参照してください。

SVN でバージョン管理されたファイルに対する作業では、サードパーティ製のファイル比較ツールの使用をお勧めします。ファイルを比較して差分を調べると、他のユーザーによってファイルに加えられた変更内容を正確に把握できます。ファイル比較ツールについて詳しくは、Google Search など Web の検索エンジンで「ファイル比較」や「差分」のツールを検索してください。Dreamweaver はほとんどのサードパーティ製ツールと共に使用できます。

SVN と Dreamweaver を使用した作業について説明する概要ビデオは、www.adobe.com/go/lrvid4049_dw_jp を参照してください。

SVN 接続の設定

Dreamweaver で Subversion（SVN）をバージョンコントロールシステムとして使用する前に、SVN サーバーへの接続を設定する必要があります。SVN サーバーへの接続は、サイト定義ダイアログボックスの「バージョンコントロール」カテゴリで設定します。

SVN サーバーはファイルのリポジトリで、ユーザーがファイルを取得およびコミットする場所です。Dreamweaver で通常使用するリモートサー

バーとは異なります。SVN を使用する場合、リモートサーバーは Web ページの「ライブ」サーバーとして残り、SVN サーバーはバージョンコントロールの対象となるファイルのリポジトリになります。一般的なワークフローとしては、SVN サーバーとの間でファイルの取得とコミットを行い、次に Dreamweaver からリモートサーバーにファイルをパブリッシュします。リモートサーバーの設定は、SVN の設定から完全に独立しています。

この設定を始める前に、SVN サーバーと SVN リポジトリへのアクセス権が必要です。SVN について詳しくは、Subversion の Web サイト（http://subversion.apache.org/）を参照してください。

SVN 接続を設定するには、以下の手順に従います。

1. サイト／サイトの管理を選択し、バージョンコントロールを設定するサイトを選択し、「編集」ボタンをクリックします。
   注意： Dreamweaver サイトのローカルフォルダーとリモートフォルダーをまだ設定していない場合は、最低でもローカルサイトを設定してから続行する必要があります。この段階ではリモートサイトの設定は必要ありませんが、最終的には Web にファイルをパブリッシュする前に設定する必要があります。詳しくは、Dreamweaver サイトの操作を参照してください。
2. サイト定義ダイアログボックスで、「バージョンコントロール」カテゴリを選択します。
3. アクセスポップアップメニューから「Subversion」を選択します。
4. アクセスオプションを以下のように設定します。
   - プロトコルポップアップメニューからプロトコルを選択します。使用可能なプロトコルは、HTTP、HTTPS、SVN、および SVN + SSH です。

     注意： SVN + SSH プロトコルを使用するには特別な構成が必要です。詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_svn_ssh_jp を参照してください。
   - 「サーバーアドレス」テキストボックスに、SVN サーバーのアドレスを入力します（通常は servername.domain.com の形式）。
   - 「リポジトリパス」テキストボックスに、SVN サーバー上のリポジトリを指定するパスを入力します（通常、これは /svn/your_root_directory のようなパスになります。SVN リポジトリのルートフォルダー名はサーバー管理者が決定します）。
   - （オプション）デフォルトのサーバーポート以外のサーバーポートを使用する場合は、「ポートを指定」を選択してポート番号をテキストボックスに入力します。
   - SVN サーバーのユーザー名とパスワードを入力します。
5. 「テスト」をクリックして接続をテストし、「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じます。次に、「終了」をクリックしてサイトの管理ダイアログボックスを閉じます。

サーバーとの接続が確立されたら、SVN リポジトリをファイルパネルで表示できるようになります。リポジトリを表示するには、ビューポップアップメニューから「リポジトリビュー」を選択し、展開されたファイルパネルで「リポジトリファイル」ボタン をクリックします。

最新バージョンのファイルの取得

SVN リポジトリから最新バージョンのファイルを取得すると、そのファイルの内容および対応するローカルコピーの内容がマージされます。つまり、最後にコミットした時点からファイルが更新されている場合は、その更新がコンピューターのローカルバージョンのファイルにマージされます。対応するファイルがローカルハードドライブにまだ存在しない場合は、ファイルが単に取得されます。

注意： リポジトリから初めてファイルを取得する際には、空のローカルディレクトリか、リポジトリ内のファイルと名前が重複するような既存ファイルを含まないローカルディレクトリを使用してください。Dreamweaver による最初の試行時、リモートリポジトリ内のファイルと合致する名前のファイルがローカルドライブに含まれていると、リポジトリファイルはローカルドライブにマウントされません。

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ビューポップアップメニューから「ローカルビュー」を選択して、ファイルパネルでローカルバージョンの SVN ファイルを表示します。展開されたファイルパネルを使用している場合は、ローカルビューが自動的に表示されます。次に、該当するファイルまたはフォルダーを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、バージョンコントロール／最新バージョンを取得を選択します。
   - ファイルパネルのビューポップアップメニューから「リポジトリビュー」を選択するか、展開されたファイルパネルで「リポジトリファイル」ボタンをクリックして、SVN リポジトリファイルを表示します。該当するファイルまたはフォルダーを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「最新バージョンを取得」を選択します。

注意： または、ファイルを右クリックしてコンテキストメニューの「チェックアウト」を選択するか、ファイルを選択して「チェックアウト」ボタンをクリックして最新バージョンを取得します。ただし、SVN ではチェックアウトワークフローがサポートされないため、このアクションによるファイルのチェックアウトは、従来の意味でのチェックアウトではありません。

ファイルのコミット

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ビューポップアップメニューから「ローカルビュー」を選択して、ファイルパネルでローカルバージョンの SVN ファイルを表示します。展開されたファイルパネルを使用している場合は、ローカルビューが自動的に表示されます。次に、コミットするファイルを選択

し、「チェックイン」ボタンをクリックします。

- ファイルパネルのビューポップアップメニューから「リポジトリビュー」を選択するか、展開されたファイルパネルで「リポジトリファイル」ボタンをクリックして、SVN リポジトリファイルを表示します。コミットするファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「チェックイン」を選択します。

3. コミットダイアログボックスでアクションを確認し、必要に応じた変更を加え、「OK」をクリックします。

   ファイルのアクションを変更するには、該当するファイルを選択し、コミットダイアログボックスの下部のボタンをクリックします。オプションとして、コミットと無視のいずれかを使用できます。

注意： ファイルパネルでファイルに緑のチェックマークが付いている場合は、変更後のファイルがまだリポジトリにコミットされていないことを示します。

リポジトリに格納されたファイルまたはフォルダーのステータス更新

SVN ステータスの更新は個別のファイルまたはフォルダーに対して実行できます。更新操作では表示全体は更新されません。

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. ファイルパネルのビューポップアップメニューから「リポジトリビュー」を選択するか、展開されたファイルパネルで「リポジトリファイル」ボタンをクリックして、SVN リポジトリファイルを表示します。
3. リポジトリのフォルダーまたはファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「ステータスの更新」を選択します。

ローカルファイルまたはフォルダーのステータス更新

SVN ステータスの更新は個別のファイルまたはフォルダーに対して実行できます。更新操作では表示全体は更新されません。

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. ビューポップアップメニューから「ローカルビュー」を選択して、ファイルパネルでローカルバージョンの SVN ファイルを表示します。展開されたファイルパネルを使用している場合は、ローカルビューが自動的に表示されます。
3. ファイルパネルのフォルダーまたはファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「ステータスの更新」を選択します。

ファイルのバージョンの表示

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ビューポップアップメニューから「ローカルビュー」を選択して、ファイルパネルでローカルバージョンの SVN ファイルを表示します。展開されたファイルパネルを使用している場合は、ローカルビューが自動的に表示されます。バージョンを表示するファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、バージョンコントロール／バージョンを表示を選択します。
   - ファイルパネルのビューポップアップメニューから「リポジトリビュー」を選択するか、展開されたファイルパネルで「リポジトリファイル」ボタンをクリックして、SVN リポジトリファイルを表示します。バージョンを表示するファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「バージョンを表示」を選択します。
3. 改訂履歴ダイアログボックスで、該当するバージョンを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
   - 「ローカルファイルと比較」をクリックし、選択したバージョンとファイルのローカルバージョンを比較します。

     注意： ファイルを比較するには、サードパーティのファイル比較ツールを事前にインストールしておく必要があります。ファイル比較ツールについて詳しくは、Google Search など Web の検索エンジンで「ファイル比較」や「差分」のツールを検索してください。Dreamweaver はほとんどのサードパーティ製ツールと共に使用できます。
   - 「比較」をクリックして 2 つの選択したバージョンを比較します。2 つのバージョンを同時に選択するには、Control キーを押しながら 2 つのバージョンを順にクリックします。
   - 「ビュー」をクリックし、選択したバージョンを表示します。このアクションによって、同じファイルの現在のローカルコピーが上書きされることはありません。選択したバージョンは、他のファイルと同じようにハードドライブに保存することができます。
   - 「最新バージョンへの更新」をクリックし、選択したバージョンをリポジトリの最新バージョンにします。

ファイルのロックとロック解除

SVN リポジトリ内のファイルをロックすると、作業中のファイルを他のユーザーに知らせることができます。他のユーザーは、ロックされたファイルをローカルで編集することはできますが、ロックしたユーザーによってロックが解除されるまでコミット操作はできません。リポジトリのファイルをロックすると、開いた鍵のアイコンが表示されます。他のユーザーに対しては、閉じた鍵のアイコンが表示されます。

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。

- ファイルパネルのビューポップアップメニューから「リポジトリビュー」を選択するか、展開されたファイルパネルで「リポジトリファイル」ボタンをクリックして、SVN リポジトリファイルを表示します。該当するファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「ロック」または「ロックの解除」を選択します。
- ビューポップアップメニューから「ローカルビュー」を選択して、ファイルパネルでローカルバージョンの SVN ファイルを表示します。展開されたファイルパネルを使用している場合は、ローカルビューが自動的に表示されます。該当するファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「ロック」または「ロックの解除」を選択します。

リポジトリへの新しいファイルの追加

ファイルパネルでファイルに青のチェックマークが付いている場合は、SVN リポジトリに存在しないファイルであることを示します。

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. ファイルパネルでリポジトリに追加するファイルを選択し、「チェックイン」ボタンをクリックします。
3. コミットダイアログボックスで、コミットするファイルが選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。

ファイルの移動、コピー、削除または復帰

- ファイルを移動するには、ローカルサイトの移動先フォルダーにファイルをドラッグします。

  ファイルを移動すると、新しい場所のファイルには「履歴と共に追加」の記号が付けられ、古い場所のファイルには「削除」の記号が付けられます。これらのファイルをコミットすると、古い場所のファイルの表示が消えます。

- ファイルをコピーするには、ファイルを選択してコピーし（編集／コピー）、新しい場所にファイルをペーストします（編集／ペースト）。

  ファイルをコピーしてペーストすると、新しい場所のファイルには「履歴と共に追加」の記号が付けられます。

- ファイルを削除するには、ファイルを選択し、「削除」を押します。

  Dreamweaver には、ローカルバージョンのファイルのみを削除するか、ローカルバージョンと SVN サーバーのバージョンの両方のファイルを削除するかを指定するオプションがあります。ローカルバージョンのみ削除することを選択した場合、SVN サーバーのファイルには影響しません。SVN サーバーのバージョンも削除することを選択した場合は、ローカルバージョンに「削除」の記号が付けられます。削除を実行するには、ファイルをコミットする必要があります。

- コピーまたは移動したファイルを元の場所に復帰するには、ファイルを右クリックし、バージョンコントロール／復帰を選択します。

競合するファイルの解決

作業対象のファイルとサーバー上にある別のファイルとの間に競合が発生した場合、ファイルを編集してから解決済みのマークを付けることができます。例えば、他のユーザーによる変更と競合するファイルをチェックインしようとしても、SVN ではコミットが許可されません。その場合はリポジトリから最新バージョンを取得し、作業用コピーに手動で変更を加え、さらに、ファイルを解決済みとしてマークすることによりコミットを可能にします。

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. ビューポップアップメニューから「ローカルビュー」を選択して、ファイルパネルでローカルバージョンの SVN ファイルを表示します。展開されたファイルパネルを使用している場合は、ローカルビューが自動的に表示されます。
3. 解決するファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、バージョンコントロール／解決済みとしてマークを選択します。

オフライン化

ファイルの転送中はオフラインにし、リポジトリへの他のアクセスを防ぐことができます。「最新バージョンを取得」や「コミット」など、接続を要する操作を行うと、SVN リポジトリに自動的に再接続されます。

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. ビューポップアップメニューから「ローカルビュー」を選択して、ファイルパネルでローカルバージョンの SVN ファイルを表示します。展開されたファイルパネルを使用している場合は、ローカルビューが自動的に表示されます。
3. ファイルパネルのファイルまたはフォルダーを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、バージョンコントロール／オフラインにするを選択します。

ローカル SVN サイトのクリーンアップ

このコマンドを使用すると、ファイルのロックを除去し、完了していない操作を続行できるようになります。「作業用コピーがロックされている」ことを示すエラーが発生する場合は、このコマンドで古いロックを除去します。

1. SVN 接続が正しく設定されていることを確認します。
2. ビューポップアップメニューから「ローカルビュー」を選択して、ファイルパネルでローカルバージョンの SVN ファイルを表示します。展開されたファイルパネルを使用している場合は、ローカルビューが自動的に表示されます。
3. クリーンアップするファイルを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、バージョンコントロー

ル／クリーンアップを選択します。

Subversion 制御下のサイトのファイルとフォルダーの移動について

Subversion 制御下のサイトにあるローカルバージョンのファイルやフォルダーを移動すると、SVN レポジトリと同期している他のユーザーに問題が生じる場合があります。例えば、ローカルバージョンのファイルを移動し、そのファイルを数時間後にリポジトリにコミットした場合、その間に他のユーザーがファイルの移動前の場所から最新バージョンを取得しようとする場合があります。このため、ローカルバージョンのファイルを移動した場合は、常に直後に SVN サーバーにファイルをコミットする必要があります。

ファイルやフォルダーは、手動で削除するまでは SVN サーバーに残ります。したがって、ファイルを別のローカルフォルダーに移動してコミットした場合でも、古いバージョンのファイルはサーバーの移動前の場所に残ります。混乱を避けるには、移動したファイルやフォルダーの古いコピーを削除してください。

ローカルバージョンのファイルを移動して SVN サーバーにコミットすると、ファイルの改訂履歴は失われます。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ファイルの違いの比較

ローカルファイルとリモートファイルの相違に関する比較
PUT 前のファイルの比較
同期時のファイルの比較

トップへ戻る

ローカルファイルとリモートファイルの相違に関する比較

Dreamweaver では、ファイルの比較ツール（差分ツール）を使用して、同じファイル、2 つの異なるリモートファイル、または 2 つの異なるローカルファイルのローカルバージョンとリモートバージョンのコードを比較できます。ファイルをローカルで操作していて、サーバー上のファイルが他のユーザーによって変更されていないかどうかを確認するときに、ローカルバージョンとリモートバージョンの比較が役立ちます。Dreamweaver で作業しながら、ファイルをサーバーに送信する前に、リモートバージョンの変更を確認してローカルバージョンにマージできます。

ファイルの以前のバージョンを名前を変更して維持している場合も、2 つのローカルファイルまたは 2 つのリモートファイルを比較すると便利です。以前のバージョン以降にファイルに対して行った変更を忘れてしまった場合は、簡単に比較を行って変更を確認できます。

比較を行う前に、サードパーティーのファイル比較ツールをシステムにインストールする必要があります。ファイル比較ツールについて詳しくは、Google Search など Web の検索エンジンで「ファイル比較」や「差分」のツールを検索してください。Dreamweaver はほとんどのサードパーティ製ツールと共に使用できます。

Dreamweaver での比較ツールの指定

1. Dreamweaver と同じシステムにファイル比較ツールをインストールします。
2. Dreamweaver で、編集／環境設定（Windows）またはDreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択して環境設定ダイアログボックスを開き、「ファイルの比較」カテゴリを選択します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - Windows の場合は、「参照」ボタンをクリックし、ファイルを比較するアプリケーションを選択します。
   - Mac OS の場合は、「参照」ボタンをクリックし、実際のファイル比較ツールそのものではなく、コマンドラインからファイル比較ツールを起動するツールまたはスクリプトを選択します。

   起動ツールまたはスクリプトは、通常、Mac OS の /usr/bin フォルダーにあります。例えば、FileMerge を使用する場合は、/usr/bin フォルダーを参照して、FileMerge を起動するツールである opendiff を選択します。

   次の表に、Mac OS 用の一般的なファイル比較ツールと、ハードディスク上のその起動ツールまたはスクリプトの場所を示します。

使用するツール	選択するファイル
FileMerge	/usr/bin/opendiff（または /Developer/usr/bin/opendiff）
BBEdit	/usr/bin/bbdiff
TextWrangler	/usr/bin/twdiff

注意： usr フォルダーは、通常は Finder 内で非表示になっています。ただし、Dreamweaver の「参照」ボタンを使用してアクセスできます。
注意： 実際に表示される結果は、使用する差分ツールによって異なります。結果の解釈については、ツールのユーザーマニュアルを参照してください。

2 つのローカルファイルの比較

コンピューターの任意の場所にある 2 つのファイルを比較できます。

1. ファイルパネルで、Ctrl キーを押しながらクリック（Windows）または Command キーを押しながらクリック（Mac OS）し、2 つのファイルを選択します。
   定義されたサイトの範囲外のファイルを選択するには、ファイルパネルの左のポップアップメニューからローカルディスクを選択し、ファイルを選択します。
2. 選択されたファイルの 1 つを右クリックし、コンテキストメニューから「ローカルファイルの比較」を選択します。
   注意： ボタンが 1 つのマウスの場合は、Control キーを押しながら、選択されたファイルの 1 つをクリックします。

   ファイル比較ツールが起動し、2 つのファイルが比較されます。

2 つのリモートファイルの比較

リモートサーバー上の 2 つのファイルを比較できます。このタスクを実行する前に、リモート設定を使用して Dreamweaver サイトを定義する必要があります。

1. ファイルパネルで、右のポップアップメニューから「リモートビュー」を選択し、リモートサーバー上のファイルを表示します。
2. Ctrl キーを押しながらクリック（Windows）または Command キーを押しながらクリック（Mac OS）し、2 つのファイルを選択します。
3. 選択されたファイルの 1 つを右クリックし、コンテキストメニューから「リモートファイルの比較」を選択します。
   注意： ボタンが 1 つのマウスの場合は、Control キーを押しながら、選択されたファイルの 1 つをクリックします。

   ファイル比較ツールが起動し、2 つのファイルが比較されます。

ローカルファイルとリモートファイルの比較

ローカルファイルとリモートサーバー上のファイルを比較することができます。そのためには、最初にリモート設定を使用して Dreamweaver サイトを定義する必要があります。

❖ ファイルパネルで、ローカルファイルを右クリックし、コンテキストメニューから「リモートとの比較」を選択します。
注意： ボタンが 1 つのマウスの場合は、Control キーを押しながらローカルファイルをクリックします。
ファイル比較ツールが起動し、2 つのファイルが比較されます。

リモートファイルとローカルファイルの比較

リモートファイルとローカルファイルを比較することができます。このタスクを実行する前に、リモート設定を使用して Dreamweaver サイトを定義する必要があります。

1. ファイルパネルで、右のポップアップメニューから「リモートビュー」を選択し、リモートサーバー上のファイルを表示します。
2. パネルでファイルの 1 つを右クリックし、コンテキストメニューから「ローカルとの比較」を選択します。
   注意： ボタンが 1 つのマウスの場合は、Control キーを押しながらファイルをクリックします。

開いているファイルとリモートファイルの比較

Dreamweaver で開いているファイルとリモートサーバー上のファイルを比較することができます。

❖ ドキュメントウィンドウで、ファイル／リモートとの比較を選択します。
ファイル比較ツールが起動し、2 つのファイルが比較されます。

ドキュメントウィンドウの上部にあるドキュメントタブを右クリックし、コンテキストメニューから「リモートとの比較」を選択することもできます。

トップへ戻る

PUT 前のファイルの比較

ファイルをローカルで編集し、リモートサーバーにアップロードを試みると、そのファイルのリモートバージョンが変更されていた場合は Dreamweaver により通知されます。このような場合、ファイルをアップロードしリモートバージョンを上書きする前に、2 つのファイルを比較するオプションがあります。

作業を開始する前に、システムにファイル比較ツールをインストールし、Dreamweaver でそのツールを指定する必要があります。

1. Dreamweaver サイトでファイルを編集後に、リモートサイトにファイルを送信します（サイト／PUT）。

   ファイルのリモートバージョンが変更されている場合は通知され、違いを表示するオプションが表示されます。

2. 違いを表示するには、「比較」ボタンをクリックします。

   ファイル比較ツールが起動し、2 つのファイルが比較されます。

   ファイル比較ツールを指定していない場合は、ツールを指定するように求めるメッセージが表示されます。

3. ツールで変更を確認またはマージしたら、PUT 操作に進むか操作をキャンセルできます。

トップへ戻る

同期時のファイルの比較

Dreamweaver でサイトファイルを同期するときは、ローカルバージョンのファイルとリモートバージョンのファイルを比較できます。

作業を開始する前に、システムにファイル比較ツールをインストールし、Dreamweaver でそのツールを指定する必要があります。

1. ファイルパネルの任意の場所を右クリックし、コンテキストメニューから「同期」を選択します。
2. ファイルの同期ダイアログボックスに情報を入力し、「プレビュー」をクリックします。

   「プレビュー」をクリックすると、同期中に取得される選択済みのファイルとアクションが表示されます。

3. リスト内で、比較する各ファイルを選択し、「比較」ボタン（小さい 2 ページのアイコン）をクリックします。
   注意： ファイルは、HTML や ColdFusion ファイルなどのテキストベースである必要があります。

   Dreamweaver により比較ツールが起動され、選択した各ファイルのローカルバージョンとリモートバージョンが比較されます。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver サイト内のファイルおよびフォルダーのクローク

サイトのクロークについて
サイトクロークの有効 / 無効の切り替え
サイトファイルおよびサイトフォルダーのクローク実行およびクローク解除
特定のファイルタイプに対するクローク実行およびクローク解除
すべてのファイルとフォルダーのクローク解除

サイトのクロークについて

トップへ戻る

サイトをクロークすると、ファイルやフォルダーのタイプを GET や PUT などの操作の対象から除外できます。また、特定のタイプのファイル（JPEG、FLV、XML など）をすべてサイト操作からクロークすることもできます。Dreamweaver では、各サイトについて設定のたびに選択しなくてすむように、各サイトの設定が記憶されています。

例えば、大規模なサイトを編集していて、毎日マルチメディアファイルをアップロードしたくない場合、サイトのクローク機能を使用して、マルチメディアフォルダーをクロークしておくことができます。Dreamweaver でクロークすると、サイト操作からそのフォルダー内のファイルを除外することができます。

リモートまたはローカルサイトのファイルやフォルダーをクロークできます。クロークされたファイルおよびフォルダーは以下の操作の対象から除外されます。

- PUT、GET、チェックイン、およびチェックアウト操作の実行
- レポートの生成
- 新しいローカルファイルおよび新しいリモートファイルの検索
- リンクのチェックや変更など、サイト全体に対しての操作の実行
- 同期
- アセットパネルコンテンツの操作
- テンプレートおよびライブラリの更新

  注意： クロークされた特定のフォルダーやファイルを操作するには、ファイルパネルでアイテムを選択して、操作を実行してください。ファイルまたはフォルダーを直接的に操作すれば、クロークされているフォルダーでも操作できます。
  注意： Dreamweaver では、クロークされたテンプレートおよびライブラリのアイテムが、取得操作と送信操作からのみ除外されます。つまり、Dreamweaver でこれらのアイテムをクロークしても、バッチ操作の対象からは除外されません。除外すると、これらのアイテムのインスタンスとの同期が取れなくなるからです。

サイトクロークの有効 / 無効の切り替え

トップへ戻る

サイトをクロークすると、フォルダー、ファイル、およびファイルタイプを GET や PUT などのサイト全体の操作の対象から除外できます。サイトのクロークは、初期設定で有効です。クロークされたファイルを含む、すべてのファイルに対し操作を実行するために、永久的または一時的にクローク使用不可にできます。サイトのクロークを使用不可にすると、クロークされたすべてのファイルのクロークが解除されます。サイトを再びクローク可能にすると、以前クロークされていたファイルは再びクロークされます。

注意： 「すべてをクローク解除」オプションを使用して、すべてのファイルのクロークを解除することもできますが、このオプションはクロークを使用不可にするわけではありません。また、このオプションでクロークを解除すると、再クロークする場合に、フォルダー、ファイル、またはファイルタイプを個々に選んで再度クロークしなければならなくなります。

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、ファイルまたはフォルダーを選択します。
2. 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、以下のいずれかの操作を行います。
   - 「クローク」をオンにします（オフにすると無効になります）。
   - クローク／設定を選択して、サイト定義ダイアログボックスの「クローク」カテゴリを開きます。「クロークを使用可能にする」をオンまたはオフにし、「次で終わるファイルをクロークする」をオンまたはオフにすることにより、特定のファイルタイプのクロークを有効または無効に設定します。クロークまたはクローク解除するファイル拡張子をテキストボックスに入力するか、または削除できます。

サイトファイルおよびサイトフォルダーのクローク実行およびクローク解除

トップへ戻る

特定のファイルやフォルダーをクロークすることはできますが、すべてのファイルやフォルダーまたはサイト全体をクロークすることはできません。特定のファイルやフォルダーをクロークする場合、複数のファイルやフォルダーを同時にクロークすることができます。

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、サイトのクロークが使用可能になっているサイトを選択します。
2. クロークするまたはクローク解除するファイルまたはフォルダーを選択します。
3. 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、コンテキストメニューからクローク／クローク実行またはクローク／クローク解除を選択します。

   フォルダーアイコンを貫く赤色の線が表示または非表示になることで、ファイルまたはフォルダーがクロークされているのか、それともクローク解除されているのかを示します。

   注意： クロークされた特定のファイルやフォルダーを操作するには、ファイルパネルでアイテムを選択して、操作を実行してください。ファイルまたはフォルダーを直接的に操作すれば、クロークされているフォルダーでも操作できます。

トップへ戻る

特定のファイルタイプに対するクローク実行およびクローク解除

ファイルタイプを指定すると、指定したパターンで終わるファイルだけを Dreamweaver でクロークできます。例えば、拡張子 .txt で終わるすべてのファイルをクロークすることができます。指定するファイルタイプは、ファイル拡張子である必要はありません。ファイル名の末尾のあらゆるパターンを指定できます。

サイト内の特定のファイルタイプのクローク

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、サイトのクロークが使用可能になっているサイトを選択します。
2. 右クリックするか（Windows）、Control キーを押しながらクリックし（Mac OS）、クローク／設定を選択します。
3. 「次で終わるファイルをクロークする」オプションを選択し、クロークするファイルタイプをテキストボックスに入力して「OK」をクリックします。

   例えば、サイト内にある、名前が .jpg で終わるすべてのファイルをクロークする場合は、「.jpg」と入力します。

   ファイルタイプが複数の場合は半角スペース 1 個で区切ります。カンマやセミコロンは使用しません。

   ファイルパネルで対象となるファイルに赤色の線が表示され、クロークされていることが示されます。

   .bak など、特定の拡張子で終わるバックアップファイルを作成するソフトウェアもあります。このようなファイルをクロークできます。

   注意： クロークされた特定のファイルやフォルダーを操作するには、ファイルパネルでアイテムを選択して、操作を実行してください。ファイルまたはフォルダーを直接的に操作すれば、クロークされているフォルダーでも操作できます。

サイト内の特定のファイルタイプのクローク解除

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、サイトのクロークが使用可能になっているサイトを選択します。
2. 右クリックするか（Windows）、Control キーを押しながらクリックし（Mac OS）、クローク／設定を選択します。
3. サイト定義ダイアログボックスの「詳細設定」タブで、次のいずれかの操作を行います。
   - 「次で終わるファイルをクロークする」オプションをオフにすると、テキストボックスに表示されているすべてのファイルタイプのクロークが解除されます。
   - クロークを解除するファイルタイプをテキストボックスから削除します。
4. 「OK」をクリックします。

   クロークの対象だったファイルの赤色の線が消え、クロークが解除されたことがわかります。

トップへ戻る

すべてのファイルとフォルダーのクローク解除

サイト内にあるすべてのファイルとフォルダーに設定されているクロークを一度に解除できます。この操作は、取り消すことができません。クロークを解除したアイテムをすべて再度クロークする方法はありません。その場合は、アイテムを個々に再クロークする必要があります。

一時的にすべてのフォルダーおよびファイルをクローク解除し、再クロークするには、サイトをクローク不可にします。

1. ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）で、サイトのクロークが使用可能になっているサイトを選択します。
2. サイト内の任意のファイルまたはフォルダーを選択します。
3. 右クリックするか（Windows）、Control キーを押しながらクリックし（Mac OS）、クローク／すべてをクローク解除を選択します。
   注意： この手順により、サイト定義ダイアログボックスの「クローク」カテゴリにある「次で終わるファイルをクロークする」オプションの選択が解除されます。

   フォルダーとファイルのアイコンに引かれていた赤色の線が消えて、サイト内のすべてのファイルおよびフォルダーのクロークが解除されたことがわかります。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

レイアウトとデザイン

Dreamweaver CS5 : CSS インスペクト
Geoff Blake (2010/04/23)
ビデオチュートリアル

CSS を使用したページのレイアウト

CSS ページのレイアウトについて
CSS ページのレイアウト構造について
CSS レイアウトを使用したページの作成

CSS ページのレイアウトについて

ページの先頭へ

CSS ページのレイアウトでは、従来の HTML のテーブルやフレームではなくカスケーディングスタイルシートフォーマットを使用して、Web ページ上のコンテンツが整理されます。CSS レイアウトの基本的な作成ブロックは Div タグです。Div タグは、テキストやイメージなどのページエレメントのコンテナとして機能することの多い HTML タグです。CSS レイアウトを作成する場合は、ページ上に Div タグを置き、それらのタグにコンテンツを追加し、さらにそれらを様々な場所に配置します。テーブルの行と列内にのみ存在するテーブルセルとは異なり、Div タグは Web ページ上のあらゆる場所に配置できます。Div タグは、絶対的に配置するか（x 座標と y 座標を指定）、相対的に配置（現在の位置を基準とした位置を指定）できます。フロート、余白およびマージンを指定して Div タグを配置することもできます。これは、現在の Web 標準で推奨される方法です。

CSS レイアウトを一から作成するのは、多数の方法があることから困難になりかねません。単純な 2 列の CSS レイアウトを作成する場合でも、フロート、マージン、余白などの CSS プロパティをほぼ無限に組み合わせて設定できます。また、異種ブラウザー間のレンダリングの問題があるために、一部の CSS レイアウトがブラウザーによって正しく表示されたり表示されなかったりします。Dreamweaver では、CSS レイアウトを使用するページを簡単に作成できるように、異なるブラウザー間で正しく動作する、事前にデザインされたレイアウトを 16 種類以上提供しています。

CSS レイアウトを使用するページを作成するには、Dreamweaver 付属の事前にデザインされた CSS レイアウトを使用する方法が最も簡単ですが、Dreamweaver の絶対位置のエレメント（AP エレメント）を使用して CSS レイアウトを作成することもできます。Dreamweaver の AP エレメントは、HTML ページエレメントです。具体的には、`div` タグまたは絶対位置が割り当てられた他のタグです。ただし、Dreamweaver の AP エレメントには、絶対的な位置が指定されることから、ブラウザーウィンドウのサイズに応じてページ上の位置を調整できないという制限があります。

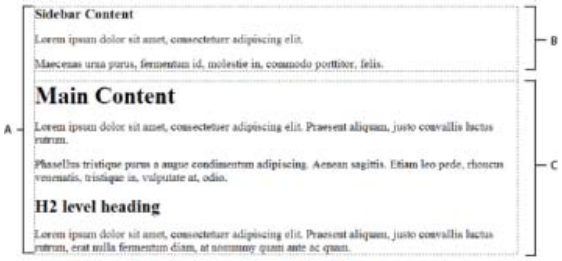
上級ユーザーであれば、`div` タグを手動で挿入し、それらのタグに CSS の位置スタイルを適用してページレイアウトを作成することもできます。

CSS ページのレイアウト構造について

ページの先頭へ

この項に進む前に、CSS の基本的な概念を理解しておく必要があります。

CSS レイアウトの基本的な作成ブロックは Div タグです。Div タグは、テキストやイメージなどのページエレメントのコンテナとして機能することの多い HTML タグです。次の例では、3 つの異なる Div タグを含んだ HTML ページを示します。1 つは大きな "コンテナ" タグで、残りの 2 つはコンテナタグに含まれているサイドバータグとメインコンテンツタグです。



A. コンテナ *Div* ***B.*** サイドバー *Div* ***C.*** メインコンテンツ *Div*

次に示すのは、HTML 内の 3 つの Div タグをすべて含んだコードです。

```
<!--container div tag-->
<div id="container">
<!--sidebar div tag-->
    <div id="sidebar">
    <h3>Sidebar Content</h3>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit.</p>
    <p>Maecenas urna purus, fermentum id, molestie in, commodo  porttitor, felis.</p>
      </div>
```

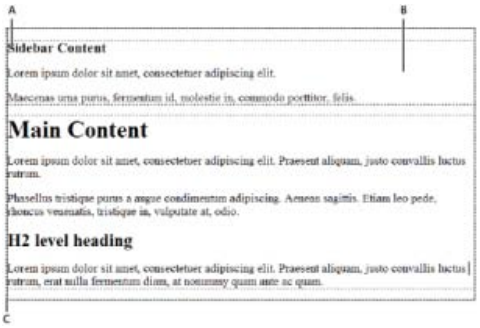
```
<!--mainContent div tag-->
    <div id="mainContent">
    <h1> Main Content </h1>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Praesent aliquam,  justo convallis luctus
rutrum.</p>
    <p>Phasellus tristique purus a augue condimentum adipiscing. Aenean  sagittis. Etiam leo pede, rhoncus
venenatis, tristique in, vulputate at, odio.</p>
    <h2>H2 level heading </h2>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Praesent aliquam,  justo convallis luctus
rutrum, erat nulla fermentum diam, at nonummy quam  ante ac quam.</p>
    </div>
</div>
```

上の例では、どの Div タグにも "スタイル" が関連付けられていません。CSS ルールが定義されていない状態では、各 Div タグとそのコンテンツがページ上の初期設定の位置に配置されます。ただし、各 Div タグには固有の ID が割り当てられており（上の例を参照）、この ID を使用して CSS ルールを作成し、これを適用することで、Div タグのスタイルと配置を変更できます。

次に示す CSS ルールは、ドキュメントのヘッドか外部 CSS ファイルに保存されており、ページ上の最初の（コンテナ）Div タグ用のスタイルルールを作成します。

```
#container {
    width: 780px;
    background: #FFFFFF;
    margin: 0 auto;
    border: 1px solid #000000;
    text-align: left;
}
```

この #container ルールでは、コンテナ Div タグのスタイルとして、780 ピクセルの幅、白い背景、余白なし（ページの左側）、1 ピクセルの黒い実線の境界線、および左揃えのテキストを設定しています。このルールがコンテナ Div タグに適用されたときの結果は次のとおりです。

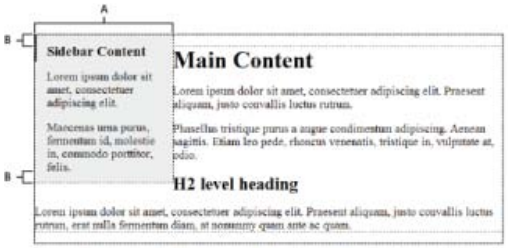


コンテナ *Div* タグ、*780* ピクセル、余白なし
A. 左揃えのテキスト ***B.*** 白い背景 ***C.*** *1* ピクセルの黒い実線の境界線

次の CSS ルールは、サイドバー Div タグ用のスタイルルールを作成します。

```
#sidebar {
    float: left;
    width: 200px;
    background: #EBEBEB;
    padding: 15px 10px 15px 20px;
}
```

この #sidebar ルールでは、サイドバー Div タグのスタイルとして、200 ピクセルの幅、グレーの背景、15 ピクセルの上余白と下余白、10 ピクセルの右余白、および 20 ピクセルの左余白を設定しています （余白の順序は、初期設定では top-right-bottom-left です）。さらにこのルールでは、"float: left" でサイドバー Div タグの位置を設定しています。これは、サイドバー Div タグをコンテナ Div タグの左側に配置するプロパティです。このルールがサイドバー Div タグに適用されたときの結果は次のとおりです。



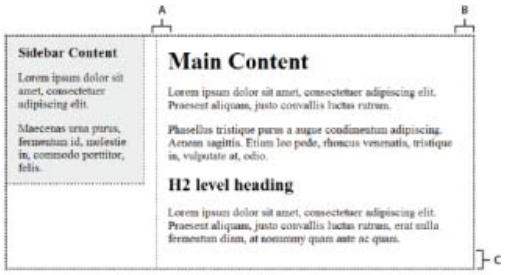
サイドバー *Div*、左フロート
A. *200* ピクセルの幅 ***B.*** 上余白と下余白、*15* ピクセル

最後に、メインコンテンツ Div タグ用の CSS ルールでレイアウトが完成します。

```
#mainContent {
    margin: 0 0 0 250px;
    padding: 0 20px 20px 20px;
}
```

この #mainContent ルールでは、メインコンテンツ Div タグのスタイルとして、250 ピクセルの左マージンを設定しています。これは、コンテナ Div の左側とメインコンテンツ Div の左側の間に 250 ピクセルのスペースを空けることを意味します。さらにこのルールでは、メインコンテンツ Div の右側、下側、左側それぞれに 20 ピクセルの空間を空けるよう設定しています。このルールがメインコンテンツ Div に適用されたときの結果は次のとおりです。

コード全体を次に示します。



メインコンテンツ *Div*、*250* ピクセルの左マージン
A. *20* ピクセルの左余白 ***B.*** *20* ピクセルの右余白 ***C.*** *20* ピクセルの下余白

```
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=iso-8859-1" />
<title>Untitled Document</title>
<style type="text/css">
#container {
    width: 780px;
    background: #FFFFFF;
    margin: 0 auto;
    border: 1px solid #000000;
    text-align: left;
}
#sidebar {
    float: left;
    width: 200px;
    background: #EBEBEB;
    padding: 15px 10px 15px 20px;
}
#mainContent {
    margin: 0 0 0 250px;
    padding: 0 20px 20px 20px;
}
</style>
</head>
<body>
<!--container div tag-->
<div id="container">
    <!--sidebar div tag-->
```

```
    <div id="sidebar">
    <h3>Sidebar Content</h3>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit.</p>
    <p>Maecenas urna purus, fermentum id, molestie in, commodo  porttitor, felis.</p>
      </div>
     <!--mainContent div tag-->
    <div id="mainContent">
    <h1> Main Content </h1>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Praesent aliquam,  justo convallis luctus
rutrum.</p>
    <p>Phasellus tristique purus a augue condimentum adipiscing. Aenean  sagittis. Etiam leo pede, rhoncus
venenatis, tristique in, vulputate at, odio.</p>
    <h2>H2 level heading </h2>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Praesent aliquam,  justo convallis luctus
rutrum, erat nulla fermentum diam, at nonummy quam  ante ac quam.</p>
    </div>
</div>
</body>
```

注意： 上の例のコードは、*Dreamweaver* 付属の事前にデザインされたレイアウトを使用して新しいドキュメントを作成するときに、*2* 列を固定に、左にサイドバーレイアウトを作成するコードを簡略化したものです。

ページの先頭へ

CSS レイアウトを使用したページの作成

Dreamweaver で新しいページを作成するときに、CSS レイアウトをあらかじめ含んでいるページを作成することができます。Dreamweaver では、16 種類の CSS レイアウトを選択できるようになっています。また、CSS レイアウトを独自に作成して設定フォルダーに追加すると、新規ドキュメントダイアログボックスにレイアウトの選択肢としてそれらが表示されるようになります。

Dreamweaver CSS のレイアウトが正しく表示されるブラウザーは、Firefox（Windows および Mac OS）1.0、1.5、2.0、3.6、Internet Explorer（Windows）5.5、6.0、7.0、8.0、Opera（Windows および Mac OS）8.0、9.0、10.0、Safari 2.0、3.0、4.0、Chrome 3.0 です。

CSS レイアウトを使用したページの作成

1. ファイル／新規を選択します。
2. 新規ドキュメントダイアログボックスで、「空白ページ」カテゴリーを選択します （初期設定ではこれが選択されます）。
3. 「ページタイプ」で、作成するページの種類を選択します。

   注意： レイアウトには *HTML* ページタイプを選択する必要があります。例えば、*HTML*、*ColdFusion*®、*PHP* などを選択できます。*CSS* レイアウトを使用して *ActionScript*™、*CSS*、ライブラリ項目、*JavaScript*、*XML*、*XSLT*、または *ColdFusion* コンポーネントのページを作成することはできません。新規ドキュメントダイアログボックスの「その他」カテゴリーのページタイプにも、*CSS* ページレイアウトを含めることはできません。

4. 「レイアウト」で、使用する CSS レイアウトを選択します。16 種類のレイアウトから選択できます。プレビューウィンドウにレイアウトが表示され、選択したレイアウトの簡単な説明が示されます。

   事前にデザインされた CSS レイアウトでは、次のタイプの列が提供されています。

   固定 列幅をピクセルで指定します。ブラウザーのサイズやサイトのビジターのテキスト設定に関係なく、列のサイズが固定されます。

   リキッド 列の幅をサイトのビジターのブラウザー幅に対する割合で指定します。サイトのビジターがブラウザーの幅を拡大縮小すると、デザインが適合されますが、サイトのビジターがテキスト設定を変更しても、デザインは適合されません。

5. ドキュメントタイプポップアップメニューでドキュメントタイプを選択します。
6. レイアウト CSS ポップアップメニューで、レイアウトの CSS の場所を選択します。

   ヘッドに追加 レイアウトの CSS を作成中のページのヘッドに追加します。

   新規ファイルを作成 レイアウトの CSS を新しい外部 CSS スタイルシートに追加し、この新しいスタイルシートを作成中のページに添付します。

   既存ファイルへリンク レイアウトに必要な CSS ルールをあらかじめ含んでいる既存の CSS ファイルを指定できます。このオプションは、複数のドキュメントで同じ CSS レイアウト（CSS ルールが単一のファイルに収められているレイアウト）を使用する場合に特に便利です。

7. 次のいずれかの操作を実行します。
   - レイアウト CSS ポップアップメニューで「ヘッドに追加」（初期設定オプション）を選択した場合は、「作成」をクリックします。
   - レイアウト CSS ポップアップメニューで「新規ファイルを作成」を選択した場合は、「作成」をクリックし、スタイルシートファイルの新規保存ダイアログボックスで新しい外部ファイルの名前を指定します。

- レイアウト CSS ポップアップメニューで「既存ファイルへリンク」を選択した場合は、スタイルシートを添付アイコンをクリックして「CSS ファイルを添付」テキストボックスに外部ファイルを追加することでスタイルシートファイルの新規保存ダイアログボックスに入力し、「OK」をクリックします。作業が完了したら、新規ドキュメントダイアログボックスで「作成」をクリックします。

注意： 「既存ファイルへリンク」オプションを選択する場合は、指定するファイルに *CSS* ファイルに対するルールがあらかじめ含まれている必要があります。

レイアウト CSS を新しいファイルに挿入するか、外部ファイルにリンクすると、Dreamweaver によって自動的にそのファイルが作成中の HTML ページにリンクされます。

注意： *Internet Explorer* の表示上の問題に対処するための *IE* 条件分岐コメント（*CC*）は、レイアウト *CSS* の場所として新規外部ファイルまたは既存の外部ファイルを選択した場合でも、新しい *CSS* レイアウトドキュメントのヘッドに埋め込まれたままとなります。

8. （オプション）CSS レイアウトとは無関係の新しいページを作成する際に、そのページに CSS スタイルシートを添付することもできます。そのためには、CSS ファイルを添付ペインの上にあるスタイルシートを添付アイコンをクリックし、CSS スタイルシートを選択します。

   このプロセスの詳しいウォークスルーについては、David Powers の記事（Automatically attaching a style sheet to new documents（英語））を参照してください。

カスタム CSS レイアウトの選択リストへの追加

1. 新規ドキュメントダイアログボックスの選択リストに追加したい CSS レイアウトを含んでいる HTML ページを作成します。レイアウトの CSS は、HTML ページのヘッドに含まれていなければなりません。

   カスタム *CSS* レイアウトを *Dreamweaver* 付属の他のレイアウトと一貫させるには、*.htm* 拡張子を指定して *HTML* ファイルを保存する必要があります。

2. HTML ページを Adobe Dreamweaver CS5¥Configuration¥BuiltIn¥Layouts フォルダーに追加します。
3. （オプション）レイアウトのプレビューイメージ（例えば .gif ファイルや .png ファイル）を Adobe Dreamweaver CS5¥Configuration¥BuiltIn¥Layouts フォルダーに追加します。Dreamweaver 付属の初期設定イメージは、幅が 227 ピクセル、高さが 193 ピクセルの PNG ファイルです。

   プレビューイメージファイルには、容易に追跡できるように、*HTML* ファイルと同じ名前を付けてください。例えば、*HTML* ファイルの名前が *myCustomLayout.htm* である場合は、プレビューイメージファイルの名前を *image myCustomLayout.png* にします。

4. （オプション）カスタムレイアウト用のノートファイルを作成します。このためには、Adobe Dreamweaver CS5¥Configuration¥BuiltIn¥Layouts¥_notes フォルダーを開き、同じフォルダー内にあるいずれかの既存ノートファイルをコピーしてペーストし、そのコピーファイルの名前をカスタムレイアウトに合わせて変更します。例えば、oneColElsCtr.htm.mno ファイルをコピーし、そのファイル名を myCustomLayout.htm.mno にすることができます。
5. （オプション）カスタムレイアウト用のノートファイルを作成したら、このファイルを開いて、レイアウト名、説明、およびプレビューイメージを指定できます。

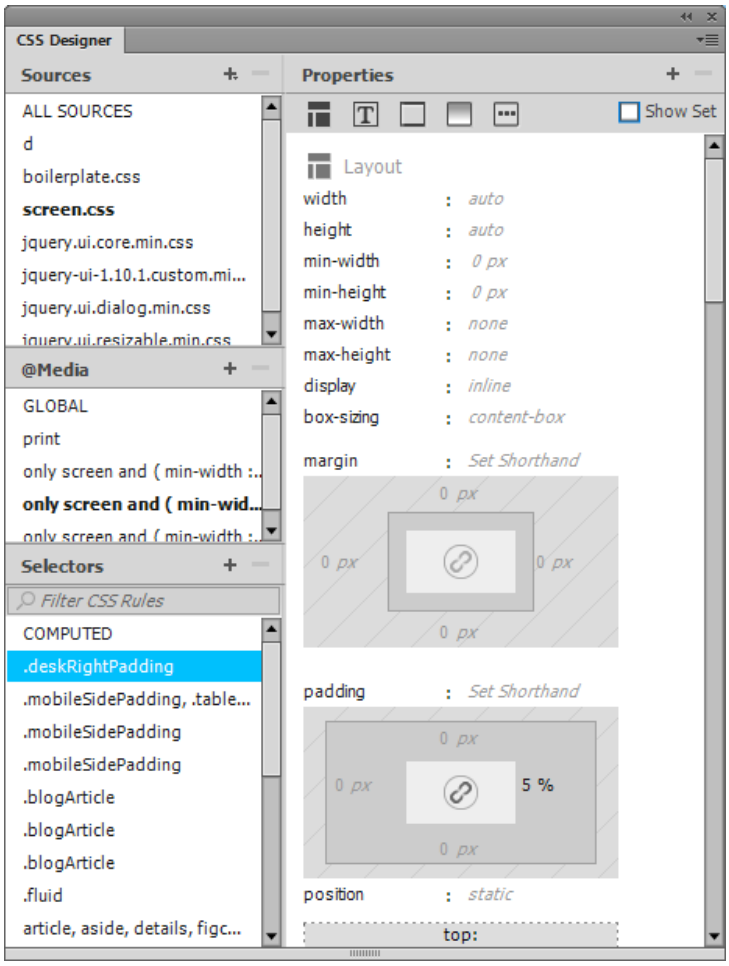
- 外部 CSS スタイルシートへのリンク

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS デザイナーパネル

CSS デザイナーパネル（Windows／CSS デザイナー）は、CSS スタイル、ファイル、設定済みプロパティ、メディアクエリーを「視覚的」に作成できる CSS プロパティインスペクターです。



CSS デザイナーパネル

注意： *CSS* デザイナーで実行するすべての操作は、取り消したり（*Ctrl/Command + Z*）、やり直す（*Ctrl/Command + Y*）ことができます。ライブビューの変更は自動的に反映され、関連する *CSS* ファイルも更新されます。関連ファイルが変更されたことを知らせるために、影響を受けるファイルのタブがしばらくの間、強調表示されます（約 *8* 秒）。

スタイルシートの作成と添付
メディアクエリーの定義
CSS セレクターの定義
  スタイルのコピー＆ペースト
CSS プロパティの設定
  マージン、余白、位置の設定
  境界線のプロパティを設定
  プロパティの無効化または削除
  ショートカットキー
CSS セレクターに関連付けられたページエレメントの特定（13.1）
  ライブハイライトを無効にする

参照項目

- CSS を使用したページのレイアウト
- CSS3 トランジション効果

CSS デザイナーパネルは、次のペインで構成されています。

ソース ドキュメントに関連付けられているすべての CSS スタイルシートが一覧表示されます。このペインを使用して、CSS を作成してドキュメントに添付したり、ドキュメント内でスタイルを定義したりできます。

@Media ソースペインで選択したソースのすべてのメディアクエリーが一覧表示されます。特定の CSS を選択しない場合は、ドキュメントに関連付けられているすべてのメディアクエリーが表示されます。

セレクター ソースペインで選択したソースのすべてのセレクターが一覧表示されます。メディアクエリーも選択した場合は、そのメディアクエリーのセレクターだけが一覧表示されます。CSS もメディアクエリーも選択しない場合は、ドキュメントのすべてのセレクターが表示されます。

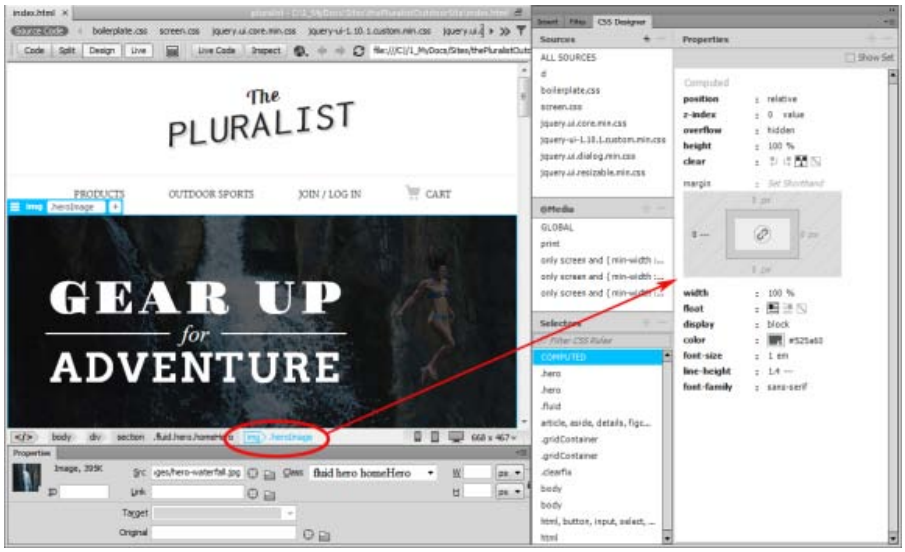
@Media ペインで「グローバル」を選択すると、選択されたソースのメディアクエリーに含まれていないすべてのセレクターが表示されます。

プロパティ 指定したセレクターに設定できるプロパティが表示されます。詳しくは、「設定済みプロパティ」を参照してください。

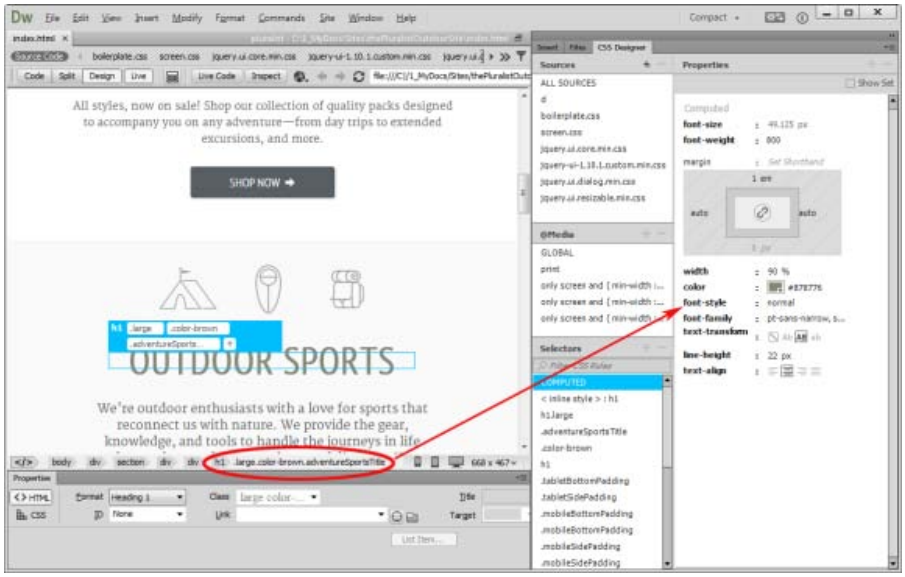
CSS デザイナーは状況依存型です。つまり、特定のコンテキストまたは選択されているページエレメントについて、関連するセレクターとプロパティを表示できることを意味します。また、CSS デザイナーでセレクターを選択すると、関連するソースおよびメディアクエリーがそれぞれのペインで強調表示されます。

ビデオチュートリアル

- CSS デザイナーパネルを使って Web ページにスタイルを追加



ライブビューで選択されたイメージのプロパティを表示する *CSS* デザイナー



ライブビューで選択された見出しのプロパティを表示する *CSS* デザイナー

注意： ページエレメントを選択すると、セレクターペインで「計算済み」が選択されます。セレクターをクリックすると、関連するソース、メディアクエリーまたはプロパティが表示されます。

すべてのセレクターを表示するには、ソースペインで「すべてのソース」を選択します。選択されたソースのどのメディアクエリーにも属さないセレクターを表示するには、@Media ペインの「グローバル」をクリックします。

ビデオチュートリアル

- CSS デザイナーパネルの使用

ページの先頭へ

スタイルシートの作成と添付

1. CSS デザイナーパネルのソースパネルで ＋ をクリックし、次のいずれかのオプションをクリックします。
   - 新規 CSS ファイルを作成：新規 CSS ファイルを作成し、ドキュメントに添付します。
   - 既存の CSS ファイルを添付：既存の CSS ファイルをドキュメントに添付します。
   - ページで定義：ドキュメント内で CSS を定義します。

   選択したオプションに応じて、新規 CSS ファイルを作成または既存の CSS ファイルを添付ダイアログボックスが表示されます。
2. 「参照」をクリックして、CSS ファイルの名前を指定し、CSS を作成する場合は新しいファイルの保存場所も指定します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 「リンク」をクリックして、Dreamweaver ドキュメントと CSS ファイルをリンクさせます。
   - 「読み込み」をクリックして、CSS ファイルをドキュメントに読み込みます。
4. （オプション）「条件付き使用」をクリックし、CSS ファイルに関連付けるメディアクエリーを指定します。

ページの先頭へ

メディアクエリーの定義

1. CSS デザイナーパネルのソースペインで CSS ソースをクリックします。
2. @Media ペインで ＋ をクリックして、新しいメディアクエリーを追加します。

   メディアクエリーの定義ダイアログボックスが表示され、Dreamweaver でサポートされているすべてのメディアクエリーの条件が一覧表示されます。
3. 必要に応じて「条件」を選択します。メディアクエリーについて詳しくは、この記事を参照してください。

   選択したすべての条件に有効な値を指定します。有効な値が指定されていないと、対応するメディアクエリーが正しく作成されません。

   注意： 現在複数の条件で「*And*」演算がサポートされています。

メディアクエリーの条件をコードで追加する場合、メディアクエリーの定義ダイアログボックスにはサポートされている条件だけが表示されます。ただし、ダイアログボックスの「コード」テキストボックスには、完全なコードが表示されます（サポートされていない条件も含む）。

デザイン／ライブビューのメディアクエリーをクリックすると、ビューポートが選択したメディアクエリーと一致するように切り替わります。ビューポート全体を表示するには、@Media ペインで「グローバル」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS セレクターの定義

1. CSS デザイナーのソースペインで CSS ソースを選択するか、@Media ペインでメディアクエリーを選択します。
2. セレクターペインで ＋ をクリックします。ドキュメントで選択したエレメントに応じて、関連するセレクター（最大 3 つのルール）がすみやかに特定され、CSS デザイナーに表示されます。

   次のうち、必要な操作を行うことができます。
   - 推奨されるセレクターを詳細化または省略化するには、上向き矢印キーまたは下向き矢印キーを使用します。
   - 推奨されるルールを削除するには、目的のセレクターを入力します。セレクターの名前とともにセレクタータイプの記号を入力します。例えば、ID を指定する場合、セレクターの名前の前に「#」を置きます。
   - 特定のセレクターを検索するには、ペインの上部にある検索ボックスを使用します。
   - セレクターの名前を変更するには、セレクターをクリックし、目的の名前を入力します。
   - セレクターの構成を変更するには、セレクターを目的の場所にドラッグします。
   - セレクターを別のソースに移動するには、セレクターをソースペインの目的のソースにドラッグします。
   - 選択したソースのセレクターを複製するには、セレクターを右クリックし、「複製」をクリックします。
   - セレクターを複製してメディアクエリーに追加するには、セレクターを右クリックし、「メディアクエリーに複製」上にマウスを移動し

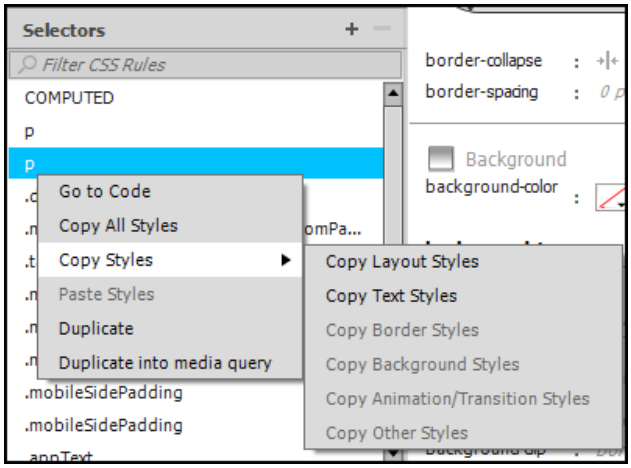
てから、メディアクエリーを選択します。

注意：「メディアクエリーに複製」オプションは、選択したセレクターのソースにメディアクエリーが含まれる場合にのみ使用できます。セレクターをあるソースから別のソースのメディアクエリーに複製することはできません。

スタイルのコピー＆ペースト

1 つのセレクターから別のセレクターに、スタイルをコピーしてペーストできます。すべてのスタイルをコピーすることも、レイアウト、テキスト、境界線などの特定のスタイルのカテゴリーのみコピーすることもできます。

セレクターを右クリックし、使用可能なオプションから選択します。



CSS デザイナーを使用したスタイルのコピー

- セレクターにスタイルが存在しない場合、「スタイルをコピー」および「すべてのスタイルをコピー」は無効になります。
- 編集できないリモートサイトでは、「スタイルをペースト」は無効ですが、「スタイルをコピー」および「すべてのスタイルをコピー」は使用できます。
- セレクターに既に部分的に存在するスタイル（オーバーラップ）はペーストできます。すべてのセレクターの Union はペーストされます。
- スタイルのコピー/ペーストは、異なるリンケージの CSS ファイル（読み込み、リンク、インラインスタイル）で使用できます。

ページの先頭へ

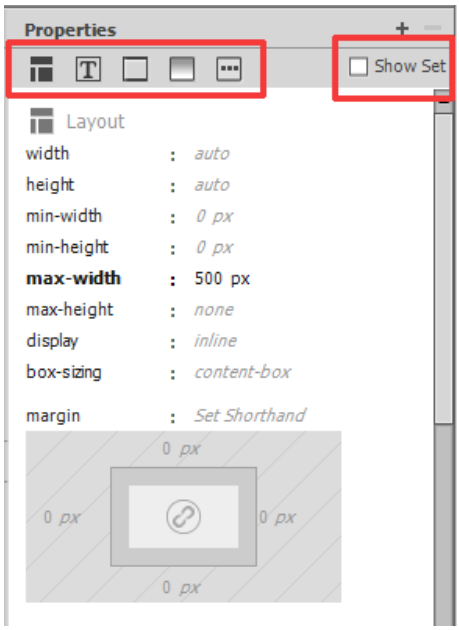
CSS プロパティの設定

プロパティは次のカテゴリーにグループ化され、プロパティペインの上部に異なるアイコンで表示されます。

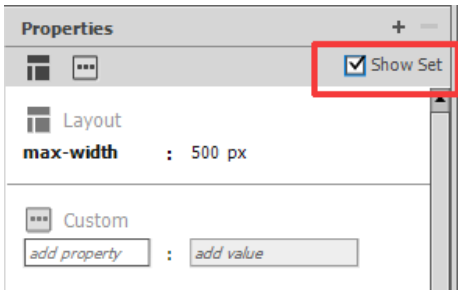
- レイアウト
- テキスト
- 境界線
- 背景
- その他（「テキストのみ」のプロパティの一覧など。視覚的なコントロールのあるプロパティは含まれません。）

注意： *CSS* セレクターのプロパティを編集する前に、リバースインスペクトを使用して *CSS* セレクターに関連付けられているエレメントを特定してください。これにより、リバースインスペクト中に強調表示されたすべてのエレメントに実際に変更が必要かどうかを判断できます。リバースインスペクトについて詳しくは、リンクを参照してください。

「セットを表示」チェックボックスを選択すると、設定済みプロパティだけが表示されます。セレクターに指定できるすべてのプロパティを表示するには、「セットを表示」チェックボックスの選択を解除します。



すべてのプロパティ



設定済みプロパティのみ

`width` や `border-collapse` などのプロパティを設定するには、プロパティペインでプロパティの横に表示されている必要なオプションをクリックします。グラデーションの背景またはボックスコントロール（マージン、余白、位置など）の設定については、以下のリンクを参照してください。

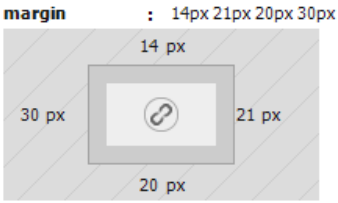
- マージン、余白および位置の設定
- 背景へのグラデーションの適用
- フレキシブルボックスレイアウトの使用

上書きされたプロパティは、取り消し線で示されます。

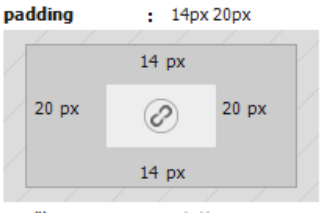
上書きされたプロパティの取り消し線

マージン、余白、位置の設定

CSS デザイナーのプロパティペインで、ボックスコントロールを使用してマージン、余白、および位置の各プロパティをすばやく設定できます。コードを使用する場合は、クイック編集ボックスでマージンや余白のショートハンドコードを指定できます。



'margin' プロパティ

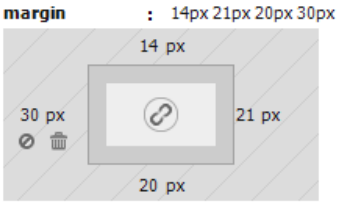


'padding' プロパティ

'position' プロパティ

値をクリックして必要な値を入力します。4 つの値をすべて同時に同じ値に変更する場合は、中央にあるリンクアイコン（）をクリックします。

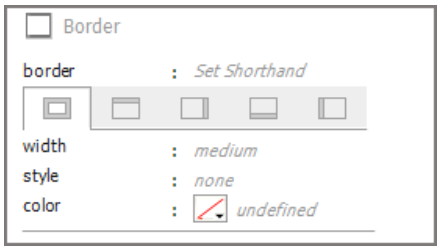
特定の値をいつでも無効化（）または削除（）できます。例えば、右と上下のマージンの値は維持したまま左マージンの値を無効化または削除できます。



マージンの無効化、削除、およびリンクアイコン

境界線のプロパティを設定

境界線のコントロールプロパティは、プロパティをすばやく表示または変更できるように、論理的なタブにまとめられています。

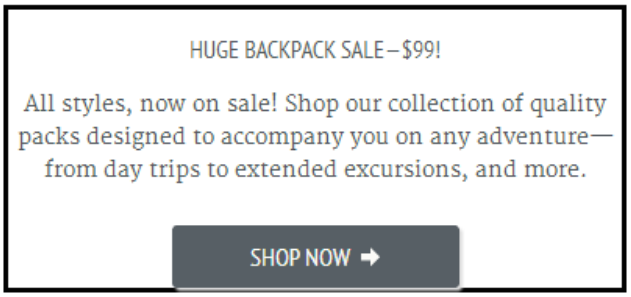


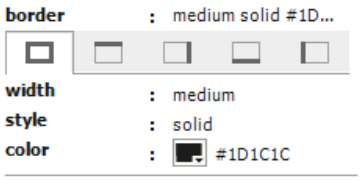
コードを使用する場合は、クイック編集テキストボックスで境界線や境界線の半径のショートハンドコードを指定できます。

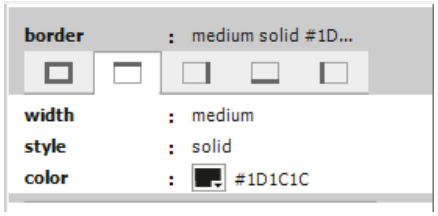
境界線のコントロールプロパティを指定するには、まず「すべての辺」タブでプロパティを設定します。他のタブが有効になり、個々の境界線に「すべての辺」タブで設定されたプロパティが反映されます。

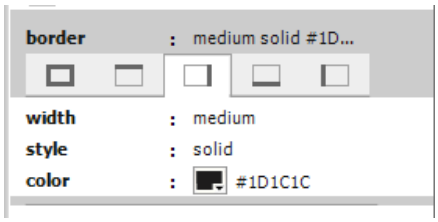
「個々の境界線」タブのプロパティを変更すると、「すべての辺」タブの対応するプロパティの値が「未定義」（初期設定値）に変わります。

次の例では、境界線の色が黒に設定されてから、上の境界線の色が赤に変更されています。

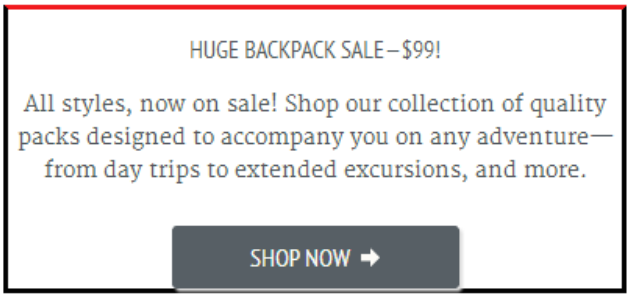


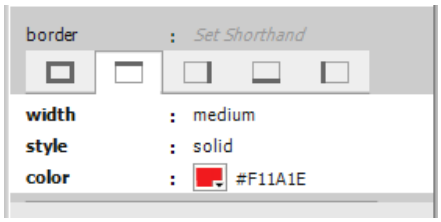


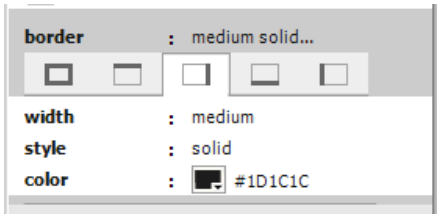




すべての辺の境界線の色を黒に設定

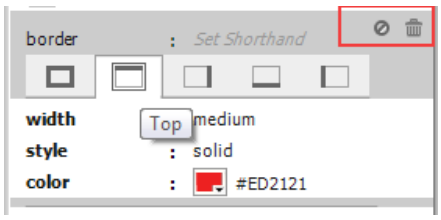


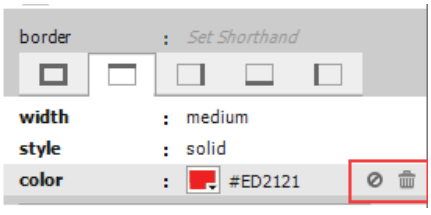




挿入されるコードは、ショートハンドまたは長い形式の環境設定値に基づいています。

Dreamweaver CC 2014 以前では個々のプロパティに対して削除コントールや無効化コントロールを使用できましたが、今回のバージョンでは、境界線コントロールグループレベルで削除コントールや無効化コントロールを使用して、これらのアクションをすべてのプロパティに適用できるようになりました。





インスペクト中は、タブは「設定」タブの優先度に基づいてフォーカスが置かれます。優先度は高い順に、「すべての辺」、「上」、「右」、「下」、「左」です。例えば、境界線に一番大きい値を設定すると「すべての辺」タブが設定されないため、計算モードで「上」タブにフォーカスが置かれ、「すべての辺」タブは無視されます。

プロパティの無効化または削除

CSS デザイナーパネルで、各プロパティを無効化または削除できます。次のスクリーンショットは、`width` プロパティの無効化（⊘）および削除（🗑）アイコンを示しています。プロパティにマウスカーソルを合わせると、これらのアイコンが表示されます。

プロパティの無効化／削除

ショートカットキー

キーボードショートカットを使用して、CSS セレクターおよびプロパティを追加または削除できます。また、プロパティペインでプロパティグループ間を移動することもできます。

ショートカット	ワークフロー
CTRL + Alt + [Shift =] キー	セレクターを追加（コントロールがセレクターセクションにある場合）
CTRL + Alt + S キー	セレクターを追加（コントロールがアプリケーションの任意の場所にある場合）
CTRL + Alt + [Shift =] キー	プロパティを追加（コントロールがプロパティセクションにある場合）
CTRL + Alt + P キー	プロパティを追加（コントロールがアプリケーションの任意の場所にある場合）
Select + Delete キー	セレクターを削除（セレクターが選択されている場合）
CTRL + Alt + （PgUp または PgDn）キー	コントロールがプロパティサブパネルにある場合のセクション間のジャンプ

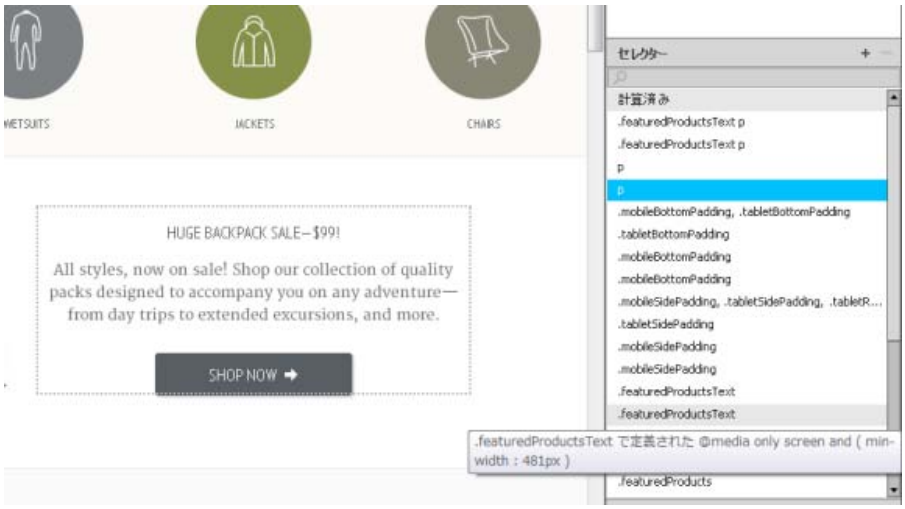
ページの先頭へ

CSS セレクターに関連付けられたページエレメントの特定（13.1）

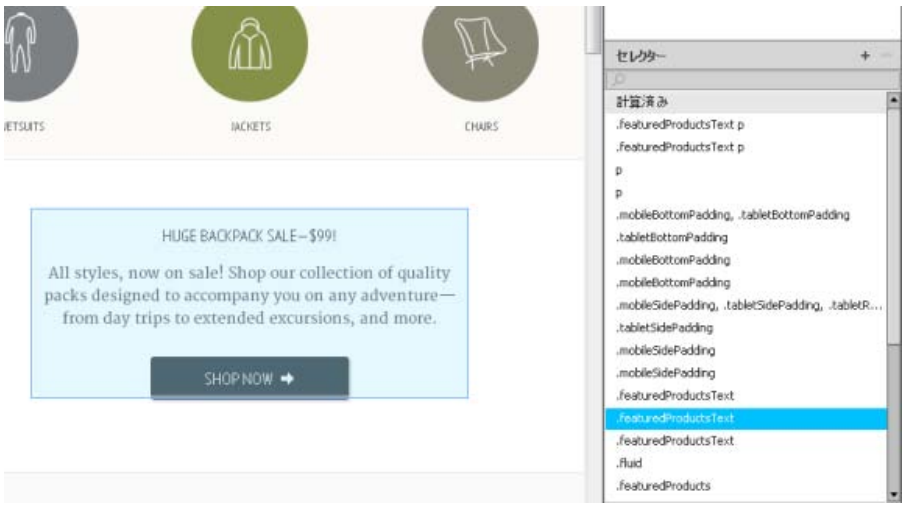
通常、単一の CSS セレクターは複数のページエレメントと関連付けられます。例えば、ページ、ヘッダー、フッターテキストのメインコンテンツのテキストはすべて、同一の CSS セレクターと関連付けることができます。CSS セレクターのプロパティを編集すると、セレクターに関連付けられたすべてのエレメントに反映されます。これには、変更する必要のないエレメントも含まれます。

ライブハイライトを使用すると、CSS セレクターに関連付けられているすべてのエレメントを識別できます。1 つのエレメントのみまたは複数のエレメントを変更する場合は、これらのエレメント用に新しい CSS セレクターを作成してから、プロパティを編集します。

CSS セレクターに関連付けられたページエレメントを特定するには、ライブビュー（ライブコードを「オフ」に設定）のセレクターの上にマウスポインターを置きます。関連付けられているエレメントが点線で強調表示されます。



エレメントの強調表示を確定するには、セレクターをクリックします。エレメントが青い枠線で強調表示されます。



エレメントの青い強調表示を削除するには、再度セレクターを選択します。

注意： 次の表は、ライブハイライトを使用できないシナリオを示します。

モード	ライブコード	ライブハイライトが表示されるか?
コード	該当しません	該当しません
デザイン	該当しません	該当しません
ライブ	オン （ボタンが押された状態）	いいえ

ライブハイライトを無効にする

ライブハイライトは初期設定で有効になっています。ライブハイライトを無効にするには、ドキュメントツールバーでライブビューオプションをクリックし、「ライブハイライトを無効にする」をクリックします。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

可変グリッドレイアウト（CC）

可変グリッドレイアウトの使用
可変グリッドレイアウトの作成
可変グリッドエレメントの挿入
エレメントのネスト

Web サイトのレイアウトは、表示するデバイスのサイズに対応している必要があります。可変グリッドレイアウトを使用すると、視覚的な方法で、Web サイトを表示するデバイスに応じたレイアウトを作成できます。

例えば、Web サイトをデスクトップ、タブレット、携帯電話で表示する場合、可変グリッドレイアウトを使用して、これらの各デバイスに適したレイアウトを指定することができます。Web サイトがデスクトップ、タブレット、携帯電話のどのデバイスで表示されるかに応じて、それに対応したレイアウトが、Web サイトの表示に使用されます。

詳細情報：アダプティブレイアウトとレスポンシブレイアウト

Dreamweaver 12.2 Creative Cloud リリースには、HTML5 構造エレメントのサポート、ネスト構造のエレメントの編集の簡易化など、可変グリッドレイアウトに関する多くの拡張機能が含まれています。拡張機能の完全な一覧については、ここをクリックしてください。

注意： 可変グリッドレイアウトのドキュメントのインスペクトモードは、*Dreamweaver 13.1* 以降では使用できません。

可変グリッドレイアウトの使用

ページの先頭へ

可変グリッドレイアウトの使用方法については、ビデオチュートリアル「可変グリッドレイアウトについて詳しく知る」をご覧ください。

可変グリッドレイアウトの作成

ページの先頭へ

1. ファイル／新しい可変グリッドレイアウトを選択します。
2. グリッドの列数のデフォルト値が、メデイアタイプの中央に表示されます。デバイスの列数は必要に応じて変更できます。
3. 画面サイズに合わせたページ幅を設定するには、値を%で指定します。
4. ふち取りの幅は別途変更できます。ふち取りとは 2 つの列の間のスペースです。
5. ページの CSS オプションを指定します。

   「作成」をクリックすると、CSS ファイルを指定するよう求められます。次のいずれかの操作を行います。

   - 新規 CSS ファイルを作成します。
   - 既存の CSS プロジェクトを開きます。
   - 可変グリッド CSS ファイルとして開く CSS ファイルを指定します。

   デフォルトでは、携帯電話用の可変グリッドが表示されます。また、可変グリッドの挿入パネルも表示されます。挿入パネルのオプションを使用してレイアウトを作成します。

   他のデバイスのレイアウト作成に切り替える場合は、デザインビューの下にあるオプションの目的のアイコンをクリックします。
6. ファイルを保存します。HTML ファイルを保存するとき、依存ファイル（boilerplate.css、respond.min.js など）をコンピューター内の場所に保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。場所を指定して、「コピー」をクリックします。

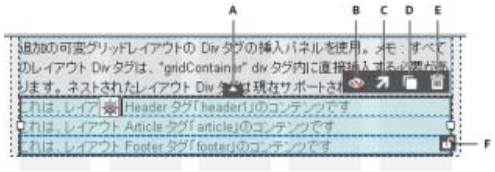
   boilerplate.css は、HTML5 ボイラープレートに基づいています。これは、複数のデバイス間で Web ページを一貫した方法でレンダリングするための CSS スタイルセットです。respond.min.js は、以前のバージョンのブラウザーでメディアクエリーをサポートする JavaScript ライブラリです。

可変グリッドエレメントの挿入

ページの先頭へ

挿入パネル（ウィンドウ／挿入）には、可変グリッドレイアウトで使用できるエレメントが一覧表示されます。エレメントの挿入中に、可変エレメントとして挿入することを選択できます。

1. 挿入パネルで、挿入するエレメントを選択します。
2. 表示されたダイアログでクラスを選択するか、ID の値を入力します。クラスメニューに、ページ作成時に指定した、CSS ファイルのクラスが表示されます。
3. 「可変エレメントとして挿入」チェックボックスを選択します。
4. 挿入したエレメントを選択すると、Div を非表示、複製、ロック、または削除するためのオプションが表示されます。積み重ねられた Div の場合は、Div を入れ替えるためのオプションが表示されます。



オプション	ラベル	説明
A	Div の入れ替え	現在選択されているエレメントを、上または下のエレメントと入れ替えます。
B	非表示	エレメントを非表示にします。. エレメントの非表示を解除するには、次のいずれかの操作を行います： ID セレクターの非表示を解除するには、CSS ファイル内の表示プロパティをブロックするように変更します。（`display:block`） クラスセレクターの非表示を解除するには、ソースコードで適用されているクラス（`hide_<MediaType>`）を削除します。
C	1 行上に移動	エレメントを 1 行上に移動します。
D	複製	現在選択されているエレメントを複製します。エレメントにリンクされた CSS も複製されます。
E	削除	ID セレクターの場合は、HTML と CSS を削除します。HTML のみを削除するには、Delete キーを押します。 クラスセレクターの場合は、HTML のみが削除されます。
F	ロック	エレメントを絶対位置指定されたエレメントに変換します。
G	行揃え	クラスセレクターの場合は、整列オプションは、ゼロマージンボタンとして機能します。 ID セレクターの場合は、整列ボタンをクリックすると、エレメントがグリッドに整列します。

ページ上の可変エレメントは、左矢印キーと右矢印キーを使用して周期的に動かすことができます。エレメントの境界を選択して、矢印キーを押します。

ページの先頭へ

エレメントのネスト

可変エレメントを他の可変エレメント内でネストするには、フォーカスを親エレメント内に置いてから、必要な子エレメントを挿入します。

ネスト構造の複製もサポートされています。ネスト構造の複製では、（選択したエレメントの）HTML を複製し、関連する可変 CSS を生成します。選択したエレメント内に含まれる絶対位置のエレメントが適切に配置されます。ネスト構造のエレメントは、複製ボタンを使用して複製することもできます。

親エレメントを削除すると、エレメントに対応する CSS、子エレメント、関連する HTML も削除されます。ネスト構造のエレメントは、削除ボタ

ン（キーボードショートカット：Ctrl + Delete）を使用して削除することもできます。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver での jQuery UI Widget の使用

Spry Widget は、Dreamweaver CC 以降では jQuery Widget に置き換えられています。既存の Spry Widget を変更できますが、新しい Spry Widget を追加することはできません。

Widget は、DHTML や JavaScript などの言語で記述され、Web ページに挿入して実行できる小規模な Web アプリケーションです。Widget の最大の利点は、Web ページでデスクトップの操作性を複製できることです。

アコーディオン、タブ、日付選択、スライダー、自動補完などの jQuery UI Widget を利用して、Web 上でデスクトップの操作性を実現できます。

例えば、タブ Widget を使用して、デスクトップ アプリケーションのダイアログボックスのタブ機能を複製できます。

ページの先頭へ

jQuery Widget の挿入

jQuery Widget を挿入すると、次のものが自動的にコードに追加されます。

- すべての依存ファイルへの参照
- Widget 用の jQuery API を含むスクリプト タグ追加 Widget は同じスクリプト タグに追加されます。

jQuery Widget について詳しくは、http://jqueryui.com/demos/ を参照してください。

注意： *jQuery* 効果の場合、*jquery-1.8.24.min.js* ファイルは効果を追加したときに自動的に含まれるため、このファイルへの外部参照は追加されません。

1. ページ上の Widget を挿入する位置にカーソルがあることを確認します。
2. 「挿入／jQuery UI」を選択し、挿入する Widget を選択します。

   挿入パネルを使用した場合、Widget は挿入パネルの「jQuery UI」セクションに表示されます。

jQuery Widget を選択すると、そのプロパティがプロパティパネルに表示されます。

ライブビューで、または jQuery Widget をサポートするブラウザで、jQuery Widget をプレビューできます。

ページの先頭へ

jQuery Widget の変更

1. 変更する Widget を選択します。
2. プロパティパネルで、プロパティを変更します。

   例えば、タブ Widget にタブを追加するには、Widget を選択し、プロパティパネルで「+」をクリックします。

ビデオチュートリアル

- Dreamweaver の Web ページで jQuery Widget を使用する

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver での jQuery 効果の使用

Dreamweaver CC では、Spry 効果が jQuery 効果に置き換えられます。ページにある既存の Spry 効果を変更することはできますが、新しい Spry 効果を追加することはできません。

jQuery 効果の追加
イベントベースの jQuery 効果
jQuery 効果の削除

jQuery 効果の追加

ページの先頭へ

1. Dreamweaver ドキュメントのデザインビューまたはコードビューで、jQuery 効果を適用するエレメントを選択します。
2. Windows／ビヘイビアーを選択してビヘイビアーパネルを開きます。
3. ＋ をクリックし、「効果」をクリックして、必要な効果をクリックします。

   選択した効果が設定されたカスタマイズパネルが表示されます。
4. 効果を適用するターゲットエレメントなどの設定および効果の期間を指定します。

   ターゲットエレメントは、最初に選択したエレメントにすることも、ページ上の別のエレメントにすることもできます。例えば、ユーザーがエレメント A をクリックするとエレメント B が非表示または表示されるようにする場合、ターゲットエレメントは B です。
5. 複数の jQuery 効果を追加するには、上記の手順を繰り返します。

   複数の効果を選択した場合、ビヘイビアーパネルに表示される順序で効果が適用されます。効果の順序を変更するには、パネルの上部にある矢印キーを使用します。

関連するコードがドキュメントに自動的に挿入されます。例えば、「フェード」効果を選択した場合、次のコードが挿入されます。

- jQuery 効果が機能するために必要な依存ファイルに対する外部ファイル参照：

```
<script src="jQueryAssets/jquery-1.7.2.min.js" type="text/javascript"></script><script
src="jQueryAssets/jquery-ui-effects.custom.min.js" type="text/javascript"></script>
```

- body タグのエレメントに次のコードが適用されます：

```
<li id="earthFrm" onclick="MM_DW_effectAppearFade($('#earthForms'),'show','fade',1000)"> Earth Forms</li>
```

- script タグとともに次のコードが追加されます。

```
<script type="text/javascript"> function MM_DW_effectAppearFade(obj,method,effect,speed) {
obj[method](effect, {}, speed); }</script>
```

イベントベースの jQuery 効果

ページの先頭へ

jQuery 効果を適用すると、初期設定では `onClick` イベントに割り当てられます。効果のトリガーイベントは、ビヘイビアーパネルで変更できます。

1. 必要なページエレメントを選択します。
2. Windows／ビヘイビアーを選択し、「イベント設定の表示」アイコンをクリックします。
3. 現在適用されている効果に対応する行をクリックします。最初の列が、選択できるイベントの一覧を含むドロップダウンリストに変化します。
4. 必要なイベントをクリックします。

jQuery 効果の削除

1. 必要なページエレメントを選択します。

   ビヘイビアーパネルに、選択したページエレメントに現在適用されているすべての効果が一覧表示されます。

2. 削除する効果をクリックし、 をクリックします。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

レイアウト用ビジュアルエイドの使用

ルーラーの設定
レイアウトガイドの設定
テンプレートでのガイドの使用
レイアウトグリッドの使用
トレーシングイメージの使用

ルーラーの設定

トップへ戻る

ルーラーは、レイアウトの測定、整理、および計画に役立ちます。ルーラーは、ページの左および上のボーダー上に、ピクセル、インチ、またはセンチ単位で表示できます。

- ルーラーのオンとオフを切り替えるには、表示／ルーラー／表示を選択します。
- 原点を変更するには、ドキュメントウィンドウのデザインビューの左上にあるルーラーの原点アイコン をページ上の任意の場所にドラッグします。
- ルーラーを初期設定の位置にリセットするには、表示／ルーラー／初期設定に戻すを選択します。
- 測定単位を変更するには、表示／ルーラーを選択し、次に「ピクセル」、「インチ」、または「センチ」を選択します。

レイアウトガイドの設定

トップへ戻る

ガイドは、ルーラーからドキュメントにドラッグする線です。ガイドは、オブジェクトをより正確に配置および整列するために役立ちます。ガイドを使用してページエレメントのサイズを測定したり、Web ブラウザーの折り（表示可能領域）をエミュレートしたりすることもできます。

エレメントを整列するために、エレメントをガイドに吸着、またはガイドをエレメントに吸着することができます。吸着機能が動作するためには、エレメントが順に絶対位置指定されている必要があります。ガイドをロックして、他のユーザーが誤って移動しないようにすることもできます。

縦または横のガイドの作成

1. 対応するルーラーからドラッグします。
2. ドキュメントウィンドウ内にガイドを配置し、マウスボタンを離します。ガイドを配置し直すには、ガイドを再度ドラッグします。
   注意： 初期設定では、ガイドはドキュメントの上部または左側からの絶対ピクセル単位で記録され、ルーラーの原点に対して相対的に表示されます。ガイドを割合で記録するには、Shift キーを押しながらガイドを作成または移動します。

ガイドの表示と非表示の切り替え

❖ 表示／ガイド／ガイドを表示を選択します。

エレメントをガイドに吸着

- エレメントをガイドに吸着するには、表示／ガイド／ガイドに吸着を選択します。
- ガイドをエレメントに吸着するには、表示／ガイド／ガイドをエレメントに吸着を選択します。
  注意： 絶対位置のエレメント（AP エレメント）、テーブル、イメージなどのエレメントのサイズを変更すると、サイズ変更されたエレメントはガイドに吸着します。

すべてのガイドをロックまたはロック解除

❖ 表示／ガイド／ガイドをロックを選択します。

ガイドの表示および特定の位置への移動

1. ガイド上にマウスポインターを置いて、ガイド位置を確認します。
2. ガイドをダブルクリックします。
3. ガイドの移動ダイアログボックスに新しい位置を入力し、「OK」をクリックします。

ガイド間の距離の表示

❖ Ctrl キー（Windows）、または Command キー（Mac OS）を押しながら、2 つのガイド間の任意の部分の上にマウスポインターを置きます。
注意： 測定単位は、ルーラーに使用されている測定単位と同じです。

Web ブラウザーの折り（表示可能領域）のエミュレート
❖ 表示／ガイドを選択し、メニューから既存のブラウザーサイズを選択します。

ガイドの削除
❖ ドキュメントから外にガイドをドラッグします。

ガイド設定の変更
❖ 表示／ガイド／ガイドの編集を選択し、以下のオプションを設定して「OK」をクリックします。
ガイドカラー ガイドラインのカラーを指定します。色見本をクリックして、カラーピッカーからカラーを選択するか、テキストボックスに 16 進数値を入力します。
距離線の色 ガイド間にマウスポインターを置いたときに、距離のインジケーターとして表示されるラインのカラーを指定します。色見本をクリックして、カラーピッカーからカラーを選択するか、テキストボックスに 16 進数値を入力します。
ガイドを表示 デザインビューにガイドが表示されます。
ガイドに吸着 ページの周囲でページエレメントを動かすときに、ページエレメントがガイドに吸着されます。
ガイドのロック ガイドが所定の位置にロックされます。
ガイドをエレメントに吸着 ガイドをドラッグするときに、ガイドがページ上のエレメントに吸着されます。
すべてクリア ページからすべてのガイドがクリアされます。

トップへ戻る

テンプレートでのガイドの使用

Dreamweaver テンプレートにガイドを追加すると、テンプレートのすべてのインスタンスはガイドを継承します。ただし、テンプレートインスタンス内のガイドは編集可能領域として扱われるので、ガイドは変更できます。テンプレートインスタンスの変更されたガイドは、マスターテンプレートを使用してインスタンスが更新されると、元の場所に復元されます。

独自のガイドをテンプレートのインスタンスに追加できます。この方法で追加されたガイドは、マスターテンプレートを使用してテンプレートインスタンスが更新されたときに上書きされません。

トップへ戻る

レイアウトグリッドの使用

ドキュメントウィンドウでは、グリッドに縦と横の線からなるシステムが表示されます。これは、正確にオブジェクト配置するために役立ちます。絶対位置指定されたページエレメントを移動するときに自動的にグリッドに吸着させることができます。グリッド設定を指定して、グリッドを変更したり、吸着の動作を制御したりすることもできます。吸着は、グリッドが表示されているかどうかには関係なく機能します。

グリッドの表示と非表示の切り替え
❖ 表示／グリッド／グリッドの表示を選択します。

吸着機能の有効と無効の切り替え
❖ 表示／グリッド／グリッドに吸着を選択します。

グリッド設定の変更
1. 表示／グリッド／グリッド設定を選択します。
2. 以下のオプションを選択し、「OK」をクリックして変更を適用します。
   カラー グリッドラインのカラーを指定します。色見本をクリックして、カラーピッカーからカラーを選択するか、テキストボックスに 16 進数値を入力します。

   グリッドを表示 デザインビューにグリッドが表示されます。

   グリッドに吸着 ページエレメントがグリッドのラインに吸着されます。

   間隔 グリッドラインの間隔を制御します。数値を入力し、メニューから「ピクセル」、「インチ」、または「センチ」を選択してください。

   表示 グリッドラインを実線または点線のどちらで表示するかを指定します。

   注意： 「グリッドの表示」を選択していなければ、ドキュメント内にグリッドが表示されず、変更結果も感じられません。

トップへ戻る

トレーシングイメージの使用

トレーシングイメージをガイドとして使用すると、Adobe Freehand や Fireworks などのグラフィックアプリケーションで作成されたページデザインを再現できます。

トレーシングイメージとは、ドキュメントウィンドウの背景に配置されている JPEG、GIF、または PNG イメージのことです。トレーシングイメージは、非表示、透明度の設定、および位置の変更が可能です。

トレーシングイメージは Dreamweaver 内にのみ表示されます。ページをブラウザーで表示するときに、トレーシングイメージが表示されることはありません。トレーシングイメージが表示されているときは、ページの実際の背景イメージと背景色はドキュメントウィンドウには表示されませ

ん。ページがブラウザーで表示される場合は、背景イメージと背景色も表示されます。

ドキュメントウィンドウにトレーシングイメージを配置

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 表示／トレーシングイメージ／ロードを選択します。
   - 修正／ページプロパティを選択し、「トレーシングイメージ」テキストボックスの横の「参照」をクリックします。
2. イメージソースの選択ダイアログボックスで、イメージを選択して「OK」をクリックします。
3. ページプロパティダイアログボックスで、イメージの透明度スライダーをドラッグしてイメージの透明度を指定し、「OK」をクリックします。

   別のトレーシングイメージに切り替える場合や、現在のトレーシングイメージの透明度を変更する場合は、修正／ページプロパティを選択します。

トレーシングイメージの表示と非表示の切り替え

❖ 表示／トレーシングイメージ／表示を選択します。

トレーシングイメージ位置の変更

❖ 表示／トレーシングイメージ／位置の調整を選択します。

- トレーシングイメージの位置を正確に指定するには、「X」テキストボックスと「Y」テキストボックスに、座標値を入力します。
- トレーシングイメージを 1 ピクセルずつ移動するには、矢印キーを使用します。
- トレーシングイメージを 5 ピクセルずつ移動するには、Shift キーと矢印キーを押します。

トレーシングイメージ位置のリセット

❖ 表示／トレーシングイメージ／位置のリセットを選択します。

トレーシングイメージが、ドキュメントウィンドウの左上隅（0,0）に戻ります。

トレーシングイメージを選択したエレメントに整列

1. ドキュメントウィンドウでエレメントを選択します。
2. 表示／トレーシングイメージ／選択範囲にイメージを整列を選択します。

   トレーシングイメージの左上隅が、選択したエレメントの左上隅に揃います。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

フレームの使用

フレームおよびフレームセットの仕組み
フレームを使用するかどうかの決定
ネストされたフレームセット
ドキュメントウィンドウでのフレームセットの操作
フレームおよびフレームセットの作成
フレームとフレームセットの選択
フレーム内にドキュメントを開く
フレームファイルとフレームセットファイルの保存
フレームのプロパティおよび属性の表示と設定
フレームセットプロパティの表示および設定
リンクを持つフレームコンテンツの制御
フレームをサポートしていないブラウザー向けコンテンツの提供
フレームでの JavaScript ビヘイビアーの使用

トップへ戻る

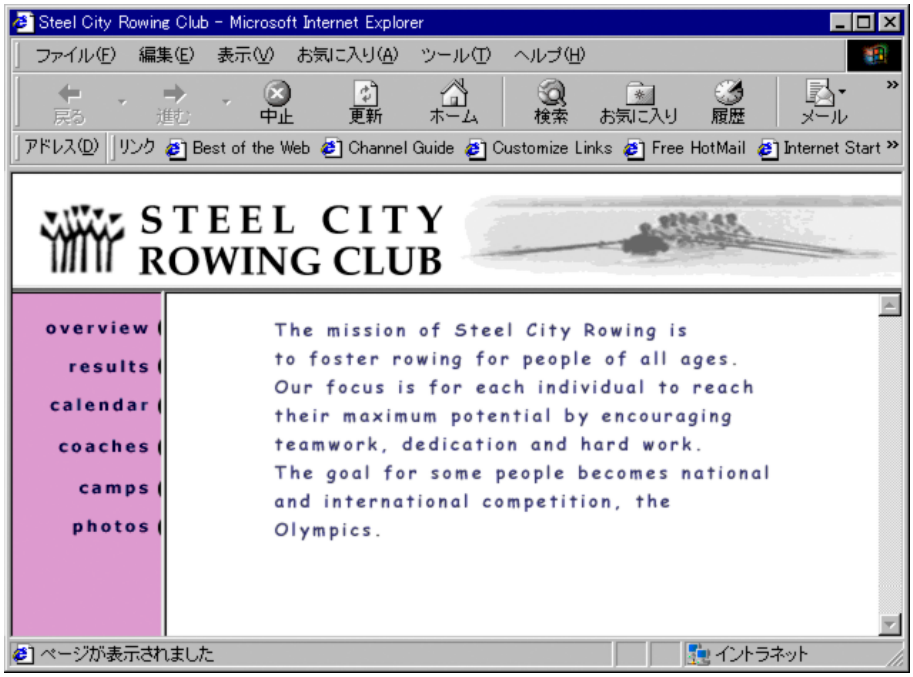
フレームおよびフレームセットの仕組み

フレーム はブラウザーウィンドウの一領域で、ブラウザーウィンドウの他の領域で表示されているものとは別の HTML ドキュメントが表示されます。フレームによって、ブラウザーウィンドウを複数の領域に分け、各領域に異なる HTML ドキュメントを表示することができます。1 つのフレームにナビゲーションコントロール用のドキュメントを表示し、別のフレームにドキュメントのコンテンツを表示するのが、フレームの最も一般的な使用方法です。

フレームセット は、複数のフレームのレイアウトとプロパティを一組のセットとして定義する HTML ファイルです。このファイルには、フレームの数、サイズ、配置、および各フレームに最初に表示するページの URL が含まれます。フレームセットファイル自体には、noframes セクション以外は、ブラウザーに表示される HTML コンテンツは含まれません。フレームセットファイルは、フレームセットの表示方法とフレームに表示されるドキュメントの情報をブラウザーに提供するだけです。

ブラウザーで一組のフレームを表示するには、フレームセットファイルの URL を入力します。すると、ブラウザーが該当するドキュメントをフレーム内に表示します。通常、サイトのフレームセットファイルは、ビジターがファイル名を指定しない場合にデフォルトで表示されるように、index.html という名前にします。

次の例は、3 つのフレームで構成されるフレームレイアウトを示したものです。ページの端にある縦長のフレームにはナビゲーションバーが、上端のフレームには Web サイトのロゴとタイトルが表示されます。そして、ページの残りの部分を占める大きなフレームにメインコンテンツが表示されます。これらのフレームには、それぞれ独立した HTML ドキュメントが表示されます。



この例では、最上部のフレームに表示されるドキュメントは、ビジターがサイトをナビゲートしても変わりません。端にあるフレームナビゲーションバーにはリンクがあります。その中のリンクを 1 つクリックすると、メインコンテンツフレームのコンテンツが変わり、端のフレームは変

わりません。右側にあるメインコンテンツフレームには、ビジターが左側でクリックしたリンクに該当するドキュメントが表示されます。

フレームはファイルではありません。フレームに現在表示されているドキュメントは、フレームの一部であって分離できないと考えられがちですが、実際にはドキュメントはフレームの一部ではありません。フレームはドキュメントを保持するコンテナです。

注意： 「ページ」という語は、1 つの HTML ドキュメントを指すこともあれば、一度に複数の HTML ドキュメントが表示されている場合も含む、ある時点のブラウザーウィンドウのコンテンツ全体を指すこともあります。「フレームを使用するページ」という場合、通常は、一組のフレームと各フレームに初期状態で表示されるドキュメントを指します。
3 つのフレームで構成される単一ページとしてブラウザーに表示されるサイトは、実際には少なくとも 4 つの独立した HTML ドキュメントで構成されています。つまり、フレームセットファイルに加えて、各フレームに初期状態で表示されるコンテンツを格納する 3 つのドキュメントが使われています。Dreamweaver でフレームセットを使用してページをデザインする場合、ブラウザー内でページを正しく表示するためには、これらの 4 つのファイルをそれぞれ保存する必要があります。

フレームに関する総合的な情報については、Thierry Koblentz の Web サイト（www.tjkdesign.com/articles/frames/）を参照してください。

トップへ戻る

フレームを使用するかどうかの決定

Web ページのレイアウト用途にフレームを使用することはお勧めしません。フレームを使用すると、次のような点をはじめ様々な不利が生じます。

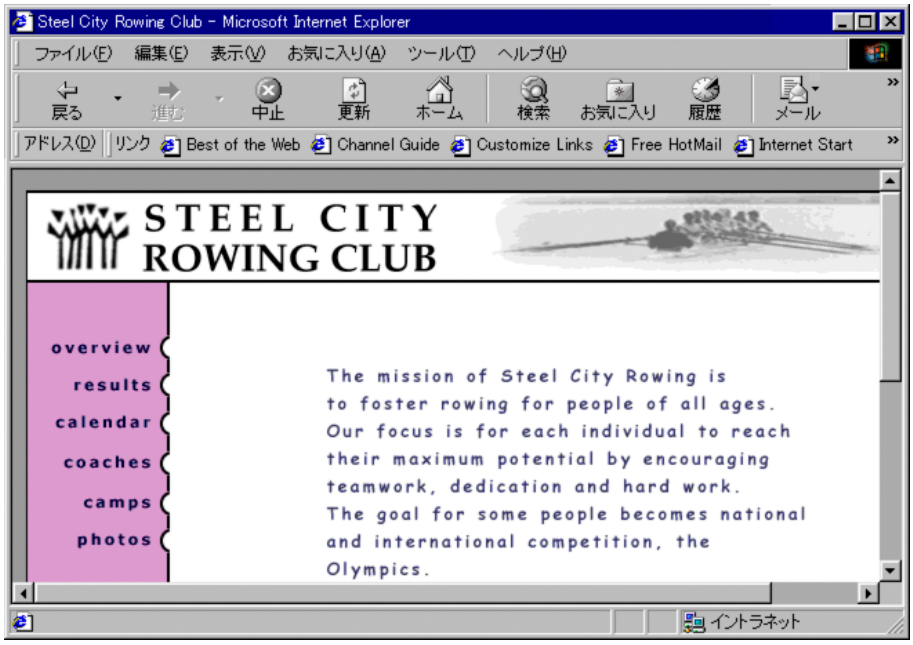
- フレーム間でグラフィック要素を正確に整列させるのが難しいことがあります。
- ナビゲーションのテストに時間がかかることがあります。
- フレーム内の個別のページの URL はブラウザーに表示されません。そのため、フレーム内に表示されている特定のページをロードするためのサーバーコードを提供しない限り、ビジターが特定のページをブックマークするのは困難です。

フレームの使用が望ましくない理由について詳しくは、Gary White による説明（http://apptools.com/rants/framesevil.php）を参照してください。

あえてフレームを使用する場合、その用途として最も一般的と考えられるのはナビゲーションです。一組のフレームには、通常、ナビゲーションバーを含む 1 つのフレームと、メインコンテンツページを表示する別のフレームが含まれます。この方法によるフレームの使用には、次の 2 つのメリットがあります。

- ビジターのブラウザーで、ナビゲーション関連のグラフィックをページごとに再ロードする必要がありません。
- コンテンツが大きすぎてウィンドウに収まりきらない場合、各フレームに各フレーム用のスクロールバーがあるので、その他のフレームに無関係にスクロールできます。例えば、1 つのフレームの長いコンテンツページを最下部までスクロールした場合、ナビゲーションバーが別のフレームにあれば、ナビゲーションバーを使用するために最上部までスクロールして戻る必要はありません。

多くの場合は、フレームを使用しなくても、フレームセットを使用する場合と同等の機能を持つ Web ページを作成できます。例えば、ページの左側にナビゲーションバーを配置するには、ページを一組のフレームに置き換えるか、サイト内のすべてのページにナビゲーションバーを配置します（Dreamweaver を使用すると、同じレイアウトを使用する複数のページを簡単に作成できます）。次の例は、フレームを使用せずにフレームに類似したレイアウトを実現しているページデザインを示したものです。



設計が適切でないサイトではフレームが不必要に使われており、例えば、ビジターがナビゲーションボタンをクリックするたびに、ナビゲーションフレームのコンテンツが再ロードされるようにフレームセットが設計されていることがあります。適切に使用すればフレームはサイトにとって非常に便利な存在で、例えば、あるフレーム内のナビゲーションコントロールを保持したまま、別のフレーム内のコンテンツだけを更新するといったことが可能になります。

ブラウザーによってはフレームを十分にサポートしておらず、また、障害を持つビジターにはフレーム操作が困難なこともあります。そのためフ

レームを使用する場合は、フレームセット内にフレームを見られないビジター向けの noframes セクションを用意する必要があります。サイトのフレームなしバージョンへの明示的なリンクを提供することも可能です。

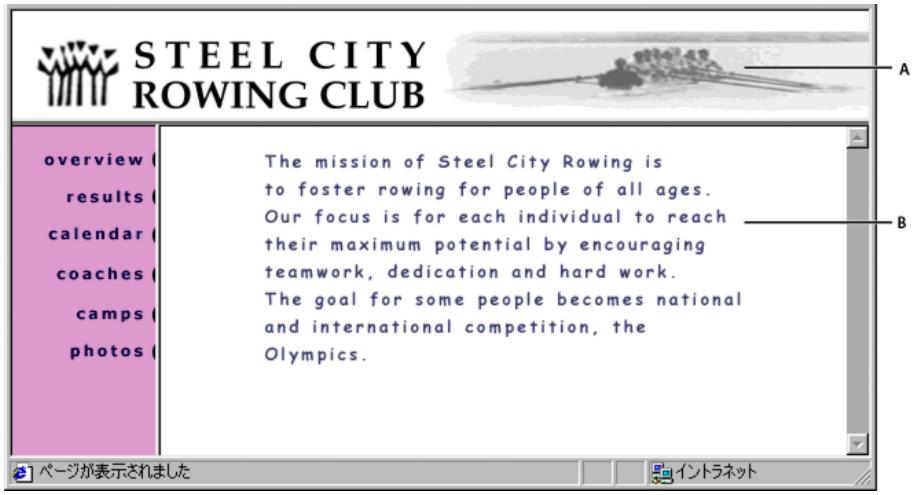
フレームに関する総合的な情報については、Thierry Koblentz の Web サイト（www.tjkdesign.com/articles/frames/）を参照してください。

トップへ戻る

ネストされたフレームセット

他のフレームセットの内側にあるフレームセットは、ネストされたフレームセットと呼ばれます。1 つのフレームセットファイルに、ネストされたフレームセットを複数含めることができます。実際、フレームを使用している Web ページのほとんどで、ネストされたフレームが使用されています。また、Dreamweaver の大部分の定義済みフレームセットでもネストが使用されています。行または列によってフレームの数が異なるフレームセットでは、フレームセットをネストさせる必要があります。

例えば、最も一般的なフレームセットでは、上部に（会社のロゴが表示される）フレームが 1 つあり、下部にはフレームが 2 つ（ナビゲーションフレームとコンテンツフレーム）あります。このレイアウトではネストされたフレームセットが必要になります。つまり、2 行で構成されるフレームセットに加えて、その 2 行目に 2 列で構成されるフレームセットをネストする必要があります。



A. メインフレームセット **B.** メニューフレームとコンテンツフレームがメインフレームセットの中にネストされています。

Dreamweaver では必要に応じてフレームセットをネスト処理します。そのため、Dreamweaver のフレーム分割ツールを使用する場合は、どのフレームがネストされ、どのフレームがネストされないかの詳細に気を配る必要はありません。

HTML でフレームセットをネストする方法は 2 通りあります。内側のフレームセットを外側のフレームセットと同じファイルで定義する方法と、それぞれを個別のファイルで定義する方法です。Dreamweaver の各定義済みフレームセットは、1 つのファイルでフレームセットすべてを定義しています。

いずれの方法でネストされていても表示結果は同じで、コードを調べない限り、どの方法でネストしているかは簡単には判別できません。Dreamweaver で外部フレームセットファイルが使用される可能性が最も高いのは、「フレーム内に開く」コマンドを使用してフレーム内にフレームセットファイルを開く場合です。これを実行すると、リンクのターゲットの設定に問題が発生することがあります。一般に、すべてのフレームセットを 1 つのファイルに定義する方法が最も簡単です。

トップへ戻る

ドキュメントウィンドウでのフレームセットの操作

Dreamweaver では、1 つのドキュメントウィンドウで、一組のフレームと関連付けられたすべてのドキュメントを表示および編集できます。これにより、編集しながらブラウザーにフレーム付きページがどのように表示されるか、だいたいわかります。ただし、この方法には、慣れるまではわかりにくい面もあります。特に、各フレーム内に個別の HTML ドキュメントが表示される点に注意してください。ドキュメントが空であっても、プレビューする前にドキュメントをすべて保存する必要があります（これは、フレームセットに、各フレームに表示するドキュメントの URL が含まれていないと、フレームセットを正確に表示できないためです）。

フレームセットがブラウザーに適切に表示されることを確認するには：

1. フレームセットを作成し、各フレームに表示されるドキュメントを指定します。
2. フレームに表示されるすべてのファイルを保存します。各フレームに表示される HTML ドキュメントはそれぞれ別のドキュメントなので、フレームセットファイルと共に各ドキュメントを保存する必要があります。
3. 各フレームおよびフレームセットのオプションを設定します（各フレームの名前、スクロールオプション、非スクロールオプションの設定など）。
4. すべてのリンクについてプロパティインスペクターの「ターゲット」プロパティを設定し、リンクされたコンテンツが適切な領域に表示されるようにします。

トップへ戻る

フレームおよびフレームセットの作成

Dreamweaver でフレームセットを作成する方法は 2 通りあります。複数の定義済みフレームセットの中から選択するか、または、ユーザー自身でフレームセットをデザインします。

定義済みフレームセットを選択すると、レイアウトの作成に必要なすべてのフレームセットとフレームが設定されます。これは、フレームを使用したレイアウトを素早く作成する最も簡単な方法です。定義済みのフレームセットは、ドキュメントウィンドウのデザインビューからのみ挿入できます。

ドキュメントウィンドウに「分割バー」を追加すれば、Dreamweaver 内でユーザー独自のフレームセットをデザインすることも可能です。

フレームセットを作成または操作する前に表示／ビジュアルエイド／フレームボーダーを選択して、ドキュメントウィンドウのデザインビューにフレームボーダーを表示してください。

定義済みフレームセットを作成してフレーム内に既存のドキュメントを表示

1. ドキュメント内に挿入ポイントを置き、次のいずれかの操作を行います。
   - 挿入／HTML／フレームを選択し、定義済みフレームセットを選択します。
   - 挿入パネルの「レイアウト」カテゴリで、「フレーム」ボタンの下向き矢印をクリックし、定義済みフレームセットを選択します。

     フレームセットアイコンは、現在のドキュメントに適用される各フレームセットを視覚的に表現しています。フレームセットのアイコンの青い領域は現在のドキュメント用のフレームで、白い領域は他のドキュメントを表示するフレームです。
2. フレームのアクセシビリティ属性を要求するよう Dreamweaver を設定してある場合は、ポップアップメニューからフレームを選択し、フレームの名前を入力して「OK」をクリックします。スクリーンリーダーを使用するビジターの場合は、ページでフレームが検出されると、スクリーンリーダーがこの名前を読み上げます。
   注意： 新しい名前を入力せずに「OK」をクリックすると、Dreamweaver により、フレームセット内の場所（左フレーム、右フレームなど）に対応した名前が自動的に設定されます。
   注意： 「キャンセル」を押すと、フレームセットはドキュメント内に表示されますが、Dreamweaver はアクセシビリティタグや属性をこのフレームセットに関連付けません。
   名前を付けるフレームのダイアグラムを表示するには、ウィンドウ／フレームを選択します。

空の定義済みフレームセットの作成

1. ファイル／新規を選択します。
2. 新規ドキュメントダイアログボックスで、「サンプルから作成」カテゴリを選択します。
3. 「サンプルフォルダー」列のフレームセットフォルダーを選択します。
4. 「サンプルページ」列からフレームセットを選択し、「作成」をクリックします。
5. 「環境設定」でフレームアクセシビリティ属性をアクティブにしている場合は、フレームタグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスが表示されます。各フレームについてこのダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックしてください。
   注意： 「キャンセル」を押すと、フレームセットはドキュメント内に表示されますが、Dreamweaver はアクセシビリティタグや属性をこのフレームセットに関連付けません。

フレームセットの作成

❖ 修正／フレームセットを選択し、サブメニューから分割用のアイテム（「フレームを左に分割」または「フレームを右に分割」 など）を選択します。

Dreamweaver により、ウィンドウが複数のフレームに分割されます。既に既存のドキュメントを開いている場合は、そのドキュメントがいずれかのフレーム内に表示されます。

フレームを小さいフレームに分割

❖ 挿入ポイントがあるフレームを分割するには、修正／フレームセットサブメニューを選択し、分割用のアイテムを選択します。

- 1 つのフレームまたは一組のフレームを縦または横に分割するには、デザインビューの端から中央に向けてフレームボーダーをドラッグします。
- デザインビューの端以外の位置にあるフレームボーダーを使用してフレームを分割するには、Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながら、フレームボーダーをドラッグします。
- 1 つのフレームを 4 つのフレームに分割するには、デザインビューの 1 つの角からフレームボーダーをフレームの中央までドラッグします。

  フレームを 3 つ作成するには、2 つフレームを作成してから、そのいずれかを分割します。隣接する 2 つのフレームをマージするには、フレームセットのコードを編集しなければならないことがあります。そのため、4 つのフレームを 3 つに変更するのは、2 つのフレームを 3 つに変更するよりも困難です。

フレームの削除

❖ フレームボーダーをドラッグしてページの外で放すか、親フレームのボーダーにドラッグします。

削除するフレーム内のドキュメントに保存されていないコンテンツがあると、Dreamweaver からドキュメントを保存するよう要求されます。

注意： フレームセットは、ボーダーのドラッグでは完全には削除できません。フレームセットを削除するには、それが表示されているドキュメントウィンドウを閉じます。フレームセットファイルが保存されている場合は、ファイルを削除します。

フレームのサイズ変更

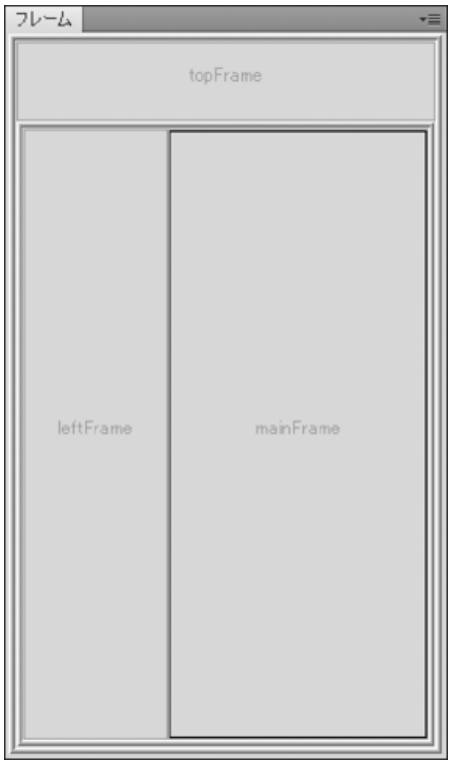
- フレームのおおよそのサイズを設定するには、ドキュメントウィンドウのデザインビューでフレームボーダーをドラッグします。
- プロパティインスペクターを使用すると正確なサイズを指定できるほか、ブラウザーウィンドウのサイズが小さいためにフレームが完全に表示できない場合にブラウザーがフレームの行または列に割り当てるスペースも指定できます。

トップへ戻る

フレームとフレームセットの選択

フレームまたはフレームセットのプロパティを変更するには、まず変更するフレームまたはフレームセットを選択します。フレームまたはフレームセットの選択は、ドキュメントウィンドウ内で行うか、フレームパネルを使用して行います。

フレームパネルは、フレームセット内のフレームを視覚的に表現したものです。フレームパネルには、フレームセット構造の階層が表示されます。ドキュメントウィンドウでは、この階層は明確に判別できないことがあります。フレームパネルでは、フレームセットは太いボーダーで囲まれています。また、フレームは細いグレーの線で囲まれており、それぞれのフレームはフレーム名で識別されます。



ドキュメントウィンドウのデザインビューでフレームを選択すると、そのボーダーが点線で表示されます。また、フレームセットを選択すると、そのフレームセットに含まれるすべてのフレームのボーダーが明るい点線で表示されます。

注意： フレームに表示されたドキュメントに挿入ポイントを配置することは、フレームを選択することとは異なります。フレームを選択するには、（フレームプロパティの設定など）様々な操作をする必要があります。

フレームパネル内でのフレームまたはフレームセットの選択

1. ウィンドウ／フレームを選択します。
2. フレームパネルで、次の操作を行います。
   - フレームを選択するには、目的のフレームをクリックします。フレームパネルとドキュメントウィンドウのデザインビューの両方で、フレームの周囲に選択アウトラインが表示されます。
   - フレームセットを選択するには、フレームセットを囲むボーダーをクリックします。

ドキュメントウィンドウ内でのフレームまたはフレームセットの選択

- フレームを選択するには、デザインビューで Alt キー（Windows）または Option + Shift（Mac OS）を押しながら、フレームの内側をクリックします。
- フレームセットを選択するには、デザインビューでフレームセット内のフレームボーダーの 1 つをクリックします。これを行うには、フレームボーダーが表示されている必要があります。非表示になっている場合は、表示／ビジュアルエイド／フレームボーダーを選択してフレームボーダーを表示してください。
  注意： 通常、フレームセットは、ドキュメントウィンドウよりもフレームパネルで選択する方が簡単です。詳しくは、前のトピックを参照してください。

別のフレームまたはフレームセットの選択

- 現在選択しているものと同じ階層レベルにある次または前のフレームまたはフレームセットを選択するには、Alt キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら、左矢印キーまたは右矢印キーを押します。これらのキーを使用すると、フレームセットファイルに定義された順序で、フレームおよびフレームセットを順番に切り替えることができます。
- 親フレームセット（現在選択されているものを含むフレームセット）を選択するには、Alt キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら上矢印キーを押します。
- 現在選択しているフレームセットの最初の子フレームまたはフレームセット（フレームセットファイルで一番最初に定義されているもの）を選択するには、Alt キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら下矢印キーを押します。

トップへ戻る

フレーム内にドキュメントを開く

フレームの最初のコンテンツを指定するには、フレーム内の空のドキュメントに新しいコンテンツを挿入するか、フレーム内で既存のドキュメントを開きます。

1. フレームに挿入ポイントを置きます。
2. ファイル／フレーム内に開くを選択します。
3. フレーム内に開くドキュメントを選択し、「OK」（Windows）または「選択」（Mac OS）をクリックします。
4. （オプション）そのドキュメントを、ブラウザーでフレームセットを開いたときにフレームに表示される初期設定のドキュメントにするには、フレームセットを保存します。

トップへ戻る

フレームファイルとフレームセットファイルの保存

ブラウザーでフレームセットをプレビューできるようにするには、フレームセットファイルとフレームに表示するすべてのドキュメントを保存する必要があります。フレームセットファイルとフレームに表示されるすべてのドキュメントは、それぞれ個別に保存することも一括して保存することもできます。

注意： Dreamweaver のビジュアルツールを使用してフレームのセットを作成する場合、フレームに表示される各新規ドキュメントには初期設定のファイル名が指定されます。例えば、最初のフレームセットファイルの名前は UntitledFrameset-1 に、フレーム内の最初のドキュメントの名前は UntitledFrame-1 になります。

フレームセットファイルの保存

❖ フレームパネルまたはドキュメントウィンドウで、フレームセットを選択します。

- フレームセットファイルを保存するには、ファイル／フレームセットの保存を選択します。
- フレームセットファイルを新しいファイルとして保存するには、ファイル／フレームセットの新規保存を選択します。

  注意： まだフレームセットファイルが保存されていない場合は、2 つのコマンドは同じです。

フレーム内に表示されるドキュメントの保存

❖ フレーム内をクリックし、ファイル／フレームの保存、またはファイル／フレームの新規保存を選択します。

一組のフレームと関連付けられたすべてのファイルの保存

❖ ファイル／すべてのフレームを保存を選択します。

この操作によって、フレームセットファイルおよびフレームに表示されるドキュメントすべてを含む、フレームセット内の開いているすべてのドキュメントが保存されます。フレームセットファイルがまだ保存されていない場合は、デザインビューでフレームセット（または保存されていないフレーム）の周りに太いボーダーが表示されて、ファイル名を選択できます。

注意： ファイル／フレーム内に開くを選択してフレーム内にドキュメントを開いた場合、フレームセットを保存するときにフレーム内に開いたドキュメントが、そのフレームで表示される初期設定のドキュメントになります。そのドキュメントを初期設定にしない場合は、フレームセットファイルを保存しないでください。

トップへ戻る

フレームのプロパティおよび属性の表示と設定

大部分のフレームプロパティの表示および設定には、プロパティインスペクターを使用できます（ボーダー、マージン、フレームにスクロールバーを表示するかどうかなど）。フレームのプロパティを設定すると、フレームセットでそのプロパティの設定が上書きされます。

title 属性（name 属性とは異なります）などのフレーム属性を設定して、アクセシビリティを向上させることもできます。フレームのアクセシビリティオーサリングオプションを有効にすると、フレーム作成時に属性が設定されます。また、フレームの挿入後に属性を設定することも可能です。フレームのアクセシビリティ属性を編集するには、タグインスペクターを使用して HTML コードを直接編集してください。

フレームのプロパティの表示または設定

1. 以下のいずれかの操作を行って、フレームを選択します。
   - ドキュメントウィンドウのデザインビューで、Alt キー（Windows）または Option + Shift キー（Mac OS）を押しながらフレームをクリックします。

- フレームパネル（ウィンドウ／フレーム）でフレームをクリックします。

2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の右下隅にある縮小の三角形をクリックして、すべてのフレームプロパティを表示します。
3. フレームのプロパティインスペクターオプションを設定します。
   フレーム名 リンクの target 属性またはフレームを参照するためにスクリプトで使用される名前を指定します。フレーム名は 1 語にします。アンダースコア（_）は使用できますが、ハイフン（–）、ピリオド（.）、およびスペースは使用できません。フレーム名は、数字ではなく文字で始まる必要があります。フレーム名では、大文字と小文字が区別されます。フレーム名には、top や navigator などの JavaScript の予約語は使用しないでください。
   リンクから別のフレームのコンテンツが変わるようにするには、ターゲットフレームに名前を付ける必要があります。後でフレーム間のリンクを作成しやすくするには、各フレームの作成時に名前を付けます。

   ソース フレームに表示するソースドキュメントを指定します。フォルダーアイコンをクリックし、ファイルを参照して選択します。

   スクロール フレームにスクロールバーを表示するかどうかを指定します。このオプションを「初期設定」に設定すると、対応する属性の値は設定されず、各ブラウザーの初期設定値が使用されます。多くのブラウザーでは初期設定に「自動」が設定されており、ブラウザーウィンドウの現在のフレームに全コンテンツを表示する領域がない場合のみ、スクロールバーが表示されます。

   サイズ変更なし 選択すると、ビジターがブラウザー内でフレームボーダーをドラッグしてフレームサイズを変更できません。
   注意： Dreamweaver では、いつでもフレームのサイズを変更できます。このオプションは、ブラウザーでフレームを表示しているビジターにのみ適用されます。

   ボーダー 現在のフレームのボーダーをブラウザーに表示するかどうかを指定します。フレームの「ボーダー」オプションを選択すると、フレームセットに定義されているボーダー設定が上書きされます。

   ボーダーのオプションには、「はい」（ボーダーを表示）、「いいえ」（ボーダーを非表示）、および「指定なし」があります。親フレームセットで「ボーダー」が「いいえ」に設定されていない限り、ほとんどのブラウザーでは初期設定でボーダーが表示されます。ボーダーが非表示になるのは、そのボーダーを共有するすべてのフレームで「ボーダー」が「いいえ」に設定されている場合、または、親フレームセットの「ボーダー」プロパティが「いいえ」に設定されており、かつボーダーを共有するフレームで「ボーダー」が「指定なし」に設定されている場合に限られます。

   ボーダーカラー フレームのすべてのボーダーのボーダーカラーを設定します。このカラーは、フレームに接するすべてのボーダーに適用され、フレームセットに指定されたボーダーカラーを上書きします。

   マージン幅 左右のマージン（フレームボーダーとコンテンツの間のスペース）の幅をピクセル単位で設定します。

   マージンの高さ では、上下のマージン（フレームボーダーとコンテンツの間のスペース）の高さをピクセル単位で設定します。
   注意： フレームのマージン幅と高さの設定は、修正／ページプロパティダイアログボックスを選択して設定したマージンとは異なります。
   フレームの背景色を変更するには、ページプロパティでフレームのドキュメントの背景色を設定します。

フレームのアクセシビリティ値の設定

1. フレームパネル（ウィンドウ／フレーム）で、いずれかのフレームに挿入ポイントを置いて、フレームを選択します。
2. 修正／タグを編集 <タグ名> を選択します。
3. 左のカテゴリリストで「スタイルシート/アクセシビリティ」を選択し、値を入力して「OK」をクリックします。

フレームのアクセシビリティ値の変更

1. 現在デザインビューが表示されている場合は、ドキュメントのコードビュー、またはコードビューとデザインビューの両方を表示します。
2. フレームパネル（ウィンドウ／フレーム）で、いずれかのフレームに挿入ポイントを置いて、フレームを選択します。Dreamweaver により、コード内のフレームタグがハイライト表示されます。
3. コードを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「タグの編集」を選択します。
4. タグエディターを使用して必要な変更を加え、「OK」 をクリックします。

フレーム内ドキュメントの背景色の変更

1. フレームに挿入ポイントを置きます。
2. 修正／ページプロパティを選択します。
3. ページプロパティダイアログボックスで背景色メニューをクリックし、背景色を選択します。

トップへ戻る

フレームセットプロパティの表示および設定

大部分のフレームセットプロパティの表示および設定には、プロパティインスペクターを使用できます（フレームセットのタイトル、ボーダー、フレームサイズなど）。

フレームセットドキュメントのタイトル設定

1. 以下のいずれかの操作を行って、フレームセットを選択します。

   - ドキュメントウィンドウのデザインビューで、フレームセット内の 2 つのフレーム間のボーダーをクリックします。

- フレームパネル（ウィンドウ／フレーム）で、フレームセットを囲むボーダーをクリックします。

2. ドキュメントウィンドウのツールバーの「タイトル」フィールドに、フレームセットドキュメントの名前を入力します。

   ビジターがブラウザー上にフレームセットを表示すると、ブラウザーのタイトルバーにそのタイトルが表示されます。

フレームセットプロパティの表示または設定

1. 以下のいずれかの操作を行って、フレームセットを選択します。
   - ドキュメントウィンドウのデザインビューで、フレームセット内の 2 つのフレーム間のボーダーをクリックします。
   - フレームパネル（ウィンドウ／フレーム）で、フレームセットを囲むボーダーをクリックします。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の右下隅にある縮小の三角形をクリックして、以下のフレームセットオプションを設定します。
   ボーダー ドキュメントをブラウザーで表示するときに、フレームの周りにボーダーを表示するかどうかを指定します。ボーダーを表示するには「はい」を選択します。ボーダーを非表示にするには「いいえ」を選択します。ボーダーを表示するかどうかの決定をブラウザーに任せるには「指定なし」を選択します。

   ボーダー幅 フレームセットに含まれるすべてのボーダーの幅を指定します。

   ボーダーカラー ボーダーのカラーを設定します。カラーピッカーを使用してカラーを選択するか、カラーの 16 進値を入力します。

   行列選択 選択したフレームセットの行と列のフレームサイズを設定します。「行列選択」領域の左側または上部にあるタブをクリックし、「値」テキストボックスに高さまたは幅を入力してください。

3. 各フレームに対して割り当てられるブラウザーのスペースを指定するには、単位メニューから次の選択肢を選択します。
   ピクセル 選択した列または行のサイズを絶対値で設定します。このオプションは、ナビゲーションバーなどの、サイズを固定する必要があるフレームに適しています。ピクセルでフレームのサイズを指定すると、パーセントまたは相対でサイズを指定するよりも前にスペースが割り当てられます。フレームサイズの最も一般的な設定方法では、左側のフレームは固定ピクセル幅、右側のフレームは相対幅に設定します。右側のフレームは、ピクセル幅が割り当てられた後の残りのスペース全体を占めるように拡張されて表示されます。
   注意： すべての幅をピクセル単位で指定した場合、ビジターがブラウザーでフレームセットを表示するときの幅が指定された幅よりも広すぎるか狭すぎると、使用可能なスペースと一致するようにすべてのフレームが同じ比率で拡張または縮小されます。これは、高さをピクセルで指定した場合も同じです。したがって、少なくとも 1 つの幅と高さを「相対」に設定することをお勧めします。

   % 選択した列または行を、そのフレームセットの合計の幅または高さに対する特定の割合に指定します。単位が「%」に設定されているフレームは、単位が「ピクセル」に設定されているフレームより後にスペースを割り当てられ、単位が「相対」に設定されているフレームより前にスペースを割り当てられます。

   相対 選択した列または行に、ピクセルおよびパーセントを指定したフレームにスペースが割り当てられた後の残りの使用可能スペースを割り当てます。残りのスペースは、サイズが「相対」に設定されたフレームの間で比例して分けられます。
   注意： 単位メニューで「相対」を選択すると、「値」フィールドに入力した数値は消去されます。数値を指定する場合は、再入力する必要があります。「相対」に設定された行または列が 1 つだけの場合は、数値を入力する必要はありません。その行または列に、他の行または列にスペースが割り当てられた後の残りのスペースがすべて割り当てられるからです。異なるブラウザー間での互換性を完全に確保するには、「値」フィールドに 1 を入力します。これは、何も値を入力しない場合と同じです。

トップへ戻る

リンクを持つフレームコンテンツの制御

あるフレーム内のリンクから別のフレームにドキュメントを開くには、リンクのターゲットを設定する必要があります。リンクされたコンテンツをどのフレームまたはウィンドウで開くかは、リンクの target 属性で指定します。

例えば、ナビゲーションバーが左側のフレームにあり、リンクされたコンテンツを右側のメインコンテンツフレームに表示したい場合、ナビゲーションバーのそれぞれのリンクのターゲットとして、メインコンテンツフレームの名前を指定します。ビジターがナビゲーションリンクをクリックすると、指定されたコンテンツがメインフレームに表示されます。

1. デザインビューで、テキストまたはオブジェクトを選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の「リンク」ボックスで、次のいずれかの操作を行います。
   - フォルダーアイコンをクリックし、リンク先のファイルを選択します。
   - ファイルの指定アイコンをファイルパネルにドラッグし、リンク先のファイルを選択します。
3. プロパティインスペクターのターゲットメニューで、リンクされたドキュメントを表示するフレームまたはウィンドウを選択します。
   - _blank は、リンクされたドキュメントを新しいブラウザーウィンドウに開き、現在のウィンドウをそのままの状態に保ちます。
   - _parent は、リンクされたドキュメントを、リンクが表示されるフレームの親フレームセット内で開き、フレームセット全体を置き換え

ます。

- _self は、現在のフレーム内でリンクを開き、そのフレームのコンテンツを置き換えます。
- _top は、リンクされたドキュメントを現在のブラウザーウィンドウ内で開き、すべてのフレームを置き換えます。

フレーム名はこのメニューにも表示されます。名前の付いたフレームを選択して、リンクされたドキュメントをそのフレーム内で開きます。

注意： フレーム名は、フレームセット内でドキュメントを編集しているときにのみ表示されます。ドキュメントをドキュメント自体のドキュメントウィンドウで編集している場合、フレーム名はターゲットポップアップメニューに表示されません。フレームセット外でドキュメントを編集している場合は、「ターゲット」テキストボックスにターゲットフレーム名を入力できます。

サイト外のページにリンクする場合、そのページがサイトの一部のように表示されないよう、必ず target="_top" または target="_blank" を使用してください。

トップへ戻る

フレームをサポートしていないブラウザー向けコンテンツの提供

Dreamweaver では、フレームをサポートしないテキストベースのブラウザーおよび古いグラフィカルブラウザーに表示するコンテンツを指定できます。このコンテンツは、noframes タグで囲まれ、フレームセットファイルに保存されます。フレームをサポートしていないブラウザー上にフレームセットファイルをロードすると、noframes タグで囲まれたコンテンツだけが表示されます。

注意： noframes 領域に表示するコンテンツは、「フレーム処理が可能なブラウザーにアップグレードする必要があります」だけでは不十分です。例えば、サイトビジターが使用しているシステムがフレームに対応していない可能性もあります。

1. 修正／フレームセット／NoFrames（ノーフレーム）の内容編集を選択します。

   Dreamweaver によってデザインビューがクリアされ、「（ノーフレーム）コンテンツ」とデザインビューの上部に表示されます。

2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ドキュメントウィンドウで、通常のドキュメントの場合と同じようにコンテンツを入力または挿入します。
   - ウィンドウ／コードインスペクターを選択し、挿入ポイントを noframes タグ内に表示される body タグの中に配置して、コンテンツの HTML コードを入力します。
3. 再度修正／フレームセット／NoFrames（ノーフレーム）の内容編集を選択し、フレームセットドキュメントの標準表示に戻ります。

トップへ戻る

フレームでの JavaScript ビヘイビアーの使用

特にフレームでの使用に適した JavaScript ビヘイビアーとナビゲーション関連のコマンドがいくつかあります。

フレームテキストを設定 フレームのコンテンツとフォーマットが、指定したコンテンツに置き換わります。コンテンツには、有効な HTML を含めることができます。このアクションを使用して、フレームに情報を動的に表示します。

URL に移動 現在のフレームまたは指定したフレーム内に新しいページが開きます。このアクションは、2 つ以上のフレームのコンテンツを 1 回クリックするだけで変更する場合に特に便利です。

ジャンプメニューの挿入 リンクのメニューリストを設定できます。このリストをクリックすると、ブラウザーウィンドウ内にファイルが開きます。また、ドキュメントが表示される特定のウィンドウまたはフレームをターゲットにすることもできます。

詳細は、JavaScript ビヘイビアーの追加を参照してください。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テーブルを使用したコンテンツの表示

テーブルについて
HTML でのテーブルフォーマットの優先順位
テーブルセルの分割とマージについて
テーブルの挿入とコンテンツの追加
テーブルデータの読み込みと書き出し
テーブルエレメントの選択
テーブルのプロパティの設定
セル、行、列のプロパティの設定
テーブルを簡単に編集するための拡張テーブルモードの使用
テーブルおよびセルのフォーマット
テーブル、列、および行のサイズ変更
テーブル、列、および行のサイズ変更
行と列の追加および削除
セルの分割およびマージ
セルのコピー、ペースト、および削除
テーブルのネスト
テーブルのソート

テーブルについて

トップへ戻る

テーブルは、表データを表示したり、HTML ページ上にテキストやグラフィックを配置するのに非常に便利です。テーブルは 1 つまたは複数の行で構成され、各行は 1 つまたは複数のセルで構成されます。通常 HTML コードでは列を明示的に指定しませんが、Dreamweaver では行やセルと同様に列を操作できます。

テーブルが選択されている場合または挿入ポイントがテーブル内にある場合は、Dreamweaver によりテーブルの幅と各テーブル列の列幅が表示されます。幅の横にテーブルヘッダーメニューと列ヘッダーメニューの矢印が表示されます。これらのメニューを使用すると、テーブル関連の使用頻度の高いコマンドに素早くアクセスできます。幅とメニューは表示と非表示を切り替えられます。

テーブルヘッダーメニューにテーブルまたは列の幅が表示されない場合、そのテーブルまたは列には HTML コードで指定された幅がありません。2 つの数字が表示される場合は、デザインビューに表示される表示幅と HTML コードに指定された幅が一致していません。これは、テーブルの右下隅をドラッグしてテーブルのサイズを変更するか、設定されている幅よりも大きいコンテンツをセルに追加した場合に発生します。

例えば、200 ピクセルの幅に設定された列に対して、幅を 250 ピクセルに拡張するコンテンツを追加すると、その列に対して 2 つの数字が表示されます。この例の場合であれば 200（コードに指定されている幅）とカッコで囲まれた「(250)」という数値（画面上に表示される列の表示幅）が示されます。

注意： さらに、CSS 位置指定を使用したページレイアウトも可能です。

HTML でのテーブルフォーマットの優先順位

トップへ戻る

デザインビューでテーブルをフォーマットしている場合は、テーブル全体、または選択した行、列、セルのそれぞれに対してプロパティを設定することができます。背景色や整列などのプロパティを、テーブル全体についてある値に設定し、個別のセルついては別の値に設定した場合、セルフォーマットは行フォーマットよりも優先され、行フォーマットはテーブルフォーマットより優先されます。

つまり、テーブルフォーマットの優先順位は次のようになります。

1. セル
2. 行
3. テーブル

例えば、1 つのセルの背景色を青色に設定し、テーブル全体の背景色を黄色に設定した場合は、セルフォーマットがテーブルフォーマットより優先されるので、青色のセルは黄色に変わりません。

注意： Dreamweaver では、列のプロパティを設定すると、設定内容に応じて列内の各セルに対応する td タグの属性が変更されます。

テーブルセルの分割とマージについて

トップへ戻る

一列に並んだセルまたは四角形の形に並んだセルであれば、任意の数の隣接するセルをマージして、複数の列と行にわたる単一セルを作成することができます。以前にマージされているかどうかにかかわらず、セルは任意の数の行または列に分割できます。Dreamweaver は、必要な colspan 属性または rowspan 属性を追加してテーブルを自動的に再構成することにより、指定された配置を作成します。

以下の例では、最初の 2 行の中央にあるセルが、2 行にまたがる単一セルとしてマージされています。

トップへ戻る

テーブルの挿入とコンテンツの追加

新規のテーブルを作成するには挿入パネルまたは挿入メニューを使用します。次に、テーブルセルにテキストおよびイメージを追加します。操作方法は、テーブルの外部にテキストやイメージを追加する場合と同じです。

注意： レイアウトモード機能を使用することは、Dreamweaver CS4 以降では推奨されません。これまでレイアウトモードではレイアウトテーブルを使用してページレイアウトを作成していましたが、今後は使用しないことをお勧めします。レイアウトモードとその非推奨の理由について詳しくは、Dreamweaver チームのブログを参照してください。

1. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、テーブルを表示する位置に挿入ポイントを置きます。
   注意： ドキュメントが空白の場合は、ドキュメントの先頭にしか挿入ポイントを配置できません。
   - 挿入／テーブルを選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリで、「テーブル」をクリックします。
2. テーブルダイアログボックスで以下の属性を設定し、「OK」をクリックしてテーブルを作成します。
   行 テーブルの行数を指定します。

   列 テーブルの列数を指定します。

   テーブルの幅 テーブル幅をピクセル値で指定するか、またはブラウザーウィンドウの幅に対する割合で指定します。

   ボーダーの太さ テーブルのボーダー幅をピクセル値で指定します。

   セル内間隔 隣接するテーブルセルの間隔をピクセル単位で指定します。
   ボーダーの太さやセルの余白と間隔を明示的に指定しなければ、一般的なブラウザーでは、ボーダーとセル内余白が 1、セル内間隔が 2 に設定されているものとしてテーブルが表示されます。テーブルのボーダー、余白、間隔を表示しないようにするには、「セル内余白」および「セル内間隔」を 0 に設定してください。

   セル内余白 セルのボーダーとコンテンツの間のピクセル数を指定します。

   なし テーブルの列見出しまたは行見出しが使用できなくなります。

   左 テーブルの最初の列が見出し列になり、テーブルの各行に対する見出しを入力できるようになります。

   上 テーブルの最初の行が見出し行になり、テーブルの各列に対する見出しを入力できるようになります。

   両方 テーブル内に列見出しと行見出しの両方を入力できます。
   Web サイトのビジターがスクリーンリーダーを使用する場合に備えて、ヘッダーを使用することをお勧めします。スクリーンリーダーがテーブルの見出しを読み上げることで、スクリーンリーダーのユーザーはテーブル情報を知ることができます。

   キャプション テーブル外に表示されるテーブルのタイトルを指定します。

   キャプションの整列 テーブルキャプションがテーブルに対してどの位置に表示されるかを指定します。

   サマリー テーブルの説明を指定します。スクリーンリーダーはサマリーテキストを読み上げますが、このテキストはユーザーのブラウザーには表示されません。

トップへ戻る

テーブルデータの読み込みと書き出し

他のアプリケーション（Microsoft Excel など）で作成され、区切り記号付きテキストフォーマット（項目がタブ、カンマ、コロン、またはセミコロンで区切られている形式）で保存された表形式のデータを Dreamweaver に読み込んで、テーブルとしてフォーマットできます。

さらに、テーブル内のデータを、Dreamweaver からテキストファイルに書き出すこともできます。このとき、隣接するセルのコンテンツは区切り記号で区切られます。使用できる区切り記号は、カンマ、コロン、セミコロン、スペースです。テーブルを書き出す場合、テーブル全体が書き出されます。テーブルの一部を選択して書き出すことはできません。

テーブルの中の一部のデータのみ（最初の 6 行や最初の 6 列など）が必要な場合は、そのデータを含むセルをコピーし、テーブルの外にペーストして新規テーブルを作成してから、その新規テーブルを書き出します。

テーブルデータの読み込み

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ファイル／読み込み／表データを選択します。
   - 挿入パネルの「データ」カテゴリで、表データの読み込みアイコン をクリックします。

- 挿入／テーブルオブジェクト／表データの読み込みを選択します。

2. 表データの以下のオプションを指定して「OK」をクリックします。
   データファイル 読み込むファイルの名前を指定します。「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択します。

   区切り 読み込むファイルで使われている区切り文字を指定します。

   「その他」を選択すると、テキストボックスがポップアップメニューの右側に表示されます。ここに、ファイルで使用する区切り文字を入力します。

   注意： データファイルの保存時に使用された区切り文字を指定してください。区切り文字を正確に指定しないと、ファイルが適切に読み込まれず、データがテーブル内で正しくフォーマットされません。

   テーブルの幅 テーブルの幅を指定します。

   - 列内で最も長いテキストストリングが収まる幅の列を作成するには、「データに適合」を選択します。
   - ピクセル単位またはブラウザーウィンドウの幅に対する割合でテーブル幅を固定値で指定するには、「設定」を選択します。

   ボーダー テーブルのボーダー幅をピクセル値で指定します。

   セル内余白 セルのコンテンツとボーダーの間隔をピクセル単位で指定します。

   セル内間隔 隣接するテーブルセルの間隔をピクセル単位で指定します。
   ボーダーの幅やセルの余白と間隔を明示的に指定しなければ、一般的なブラウザーでは、ボーダーとセル内余白が 1、セル内間隔が 2 に設定されているものとしてテーブルが表示されます。テーブルに余白と間隔を表示しないようにするには、「セル内余白」および「セル内間隔」を 0 に設定します。ボーダーを 0 に設定しているときにセルおよびテーブルの境界を見るには、表示／ビジュアルエイド／テーブルボーダーを選択してください。

   最上行のフォーマット 必要に応じて、テーブルの最上行に適用するフォーマットを指定できます。フォーマットなし、ボールド、イタリック、ボールドイタリックの 4 つのフォーマットオプションから選択します。

テーブルの書き出し

1. テーブル内の任意のセルに挿入ポイントを置きます。
2. ファイル／書き出し／テーブルを選択します。
3. 次のオプションを指定します。
   区切り 書き出すファイル内の項目間を区切るのに使用する区切り文字を指定します。

   改行 書き出したファイルを開くオペレーティングシステムを Windows、Mac OS、または UNIX から選択します。オペレーティングシステムが異なれば、テキストの行末を示す方法が異なるからです。
4. 「書き出し」をクリックします。
5. ファイル名を入力して「保存」をクリックします。

トップへ戻る

テーブルエレメントの選択

一度にテーブル全体、行、または列を選択できます。個別のセルを選択することもできます。

テーブル、行、列、またはセル上にポインターを置くと、Dreamweaver により選択範囲に含まれるすべてのセルがハイライト表示されるため、選択対象となるセルを確認できます。これは、ボーダーのないテーブル、複数の列や行にまたがったセル、またはネストされたテーブルを取り扱う場合に役に立ちます。ハイライトカラーは環境設定で変更できます。

ポインターをテーブルのボーダー上に置き、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押したままにすると、テーブルの構造全体、つまりテーブル内のすべてのセルがハイライト表示されます。これは、テーブルがネストされている場合に、その中の特定のテーブルの構造を表示するのに役立ちます。

テーブル全体の選択

✥ 次のいずれかの操作を実行します。

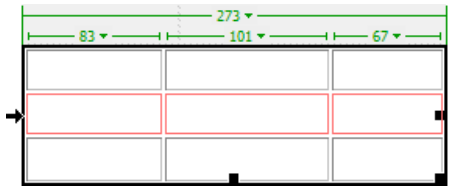
- テーブルの左上隅、テーブルの右端または下端、あるいは行または列のボーダーをクリックします。

  注意： テーブルを選択できるときは、ポインターがテーブルのグリッドアイコンに変わります（行または列のボーダーをクリックしない場合）。

- テーブルセル内でクリックし、ドキュメントウィンドウの左下隅にあるタグセレクターで <table> タグを選択します。
- テーブルセル内でクリックして、修正／テーブル／テーブル選択を選択します。
- テーブルセル内でクリックし、テーブルのヘッダーメニューをクリックし、「テーブル選択」を選択します。選択ハンドルが、選択したテーブルの下端および右端に表示されます。

個別あるいは複数の行または列の選択

1. ポインターを行の左端または列の上端部分に移動します。
2. ポインターが選択矢印に変わったら、クリックして行または列を選択するか、またはドラッグして複数の行または列を選択します。



1 つの列の選択

1. 列内をクリックします。
2. 列ヘッダーメニューをクリックし、「列を選択」を選択します。

1 つのセルの選択

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- テーブルセル内でクリックし、ドキュメントウィンドウの左下隅にあるタグセレクターで <td> タグを選択します。
- Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながらセル内をクリックします。
- セル内をクリックし、編集／すべて選択を選択します。

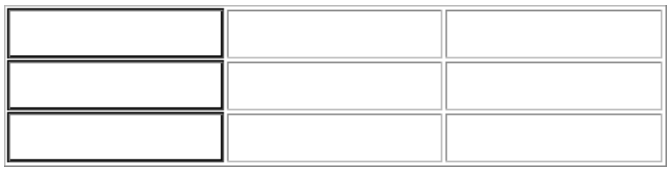
  テーブル全体を選択しようとして単一のセルが選択された場合は、もう一度編集／すべて選択を選択してください。

一列または四角形に並んだセルの選択

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- あるセルから別のセルまでドラッグします。
- セルを 1 つクリックし、そのセル内で Ctrl キーを押しながらクリック（Windows）または Command キーを押しながらクリック（Mac OS）して選択します。次に Shift キーを押しながら別のセルをクリックします。

選択した 2 つのセルで一列または長方形状にはさまれた範囲にあるすべてのセルが選択されます。



連続しない複数のセルの選択

❖ Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら、選択するセル、行、または列をクリックします。

まだ選択されていないセル、行、または列を Ctrl キーまたは Command キーを押しながらクリックすると、選択範囲に追加されます。既に選択されている場合は、選択が解除されます。

テーブルエレメントのハイライトカラーの変更

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストで「ハイライト」を選択し、以下のいずれかの変更を行って「OK」をクリックします。
   - テーブルエレメントのハイライトカラーを変更するには、「マウスオーバー」カラーボックスをクリックし、カラーピッカーを使用してハイライトカラーを選択します。または、テキストボックスにハイライトカラーの 16 進数値を入力します。
   - テーブルエレメントのハイライト表示のオン/オフを切り替えるには、「マウスオーバー」の「表示」オプションをオンまたはオフにします。

     注意： これらのオプションは、Dreamweaver でポインターを置くとハイライト表示される絶対位置のエレメント（AP エレメント）など、すべてのオブジェクトに適用されます。

テーブルのプロパティの設定

トップへ戻る

プロパティインスペクターを使用して、テーブルを編集することもできます。

1. テーブルを選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、必要に応じてプロパティを変更します。
テーブル **ID** テーブル ID を指定します。

「行」と「列」 テーブルの行数と列数を指定します。

W ピクセル単位のテーブル幅、またはブラウザーウィンドウの幅に対する割合です。
注意： 通常は、テーブルの高さを設定する必要はありません。

セル余白 セルのコンテンツとボーダーの間隔をピクセル単位で指定します。

セル間隔 隣接するテーブルセルの間隔をピクセル単位で指定します。

行揃え 同じ段落内にあるテキストやイメージなどのエレメントに対するテーブルの相対的な位置を指定します。

「左」を選択すると、テーブルは他のエレメントの左に配置されます（同じ段落内にあるテキストはテーブルの右側で折り返します）。「右」を指定すると、テーブルは他のエレメントの右に配置されます（テキストはテーブルの左で折り返します）。「中央」を指定すると、テーブルは中央に配置されます（テキストはテーブルの上または下、あるいはその両方に表示されます）。「指定なし」を選択すると、ブラウザーの初期設定の行揃えが適用されます。

> 行揃えが「指定なし」に設定されると、他のコンテンツはテーブルの隣に表示されません。テーブルが他のコンテンツの隣に並ぶように表示するには、「左」または「右」を選択してください。

ボーダー テーブルのボーダー幅をピクセル値で指定します。
ボーダーの幅やセルの余白と間隔を明示的に指定しなければ、一般的なブラウザーでは、ボーダーとセル内余白が 1、セル内間隔が 2 に設定されているものとしてテーブルが表示されます。テーブルに余白と間隔を表示しないようにするには、「ボーダー」、「セル内余白」、および「セル内間隔」を 0 に設定します。ボーダーを 0 に設定しているときにセルおよびテーブルの境界を見るには、表示／ビジュアルエイド／テーブルボーダーを選択してください。

クラス テーブルの CSS クラスを設定します。
注意： 必要な場合は、テーブルプロパティインスペクターを展開して、次のオプションを表示します。テーブルプロパティインスペクターを展開するには、右下隅にある縮小の三角形をクリックします。

「列幅をクリア」 および「行の高さをクリア」を選択すると、明示的に指定されたテーブルの列幅または行の高さがすべて削除されます。

「テーブル幅をピクセルに変換」 および「テーブルの高さをピクセルに変換」では、テーブル内の各列の幅または高さを、ピクセル単位で表した現在の幅または高さに設定します（また、テーブル全体の幅もピクセル単位で表した現在の幅に設定します）。

「幅を%に変換」 および「テーブルの高さを%に変換」では、テーブル内の各列の幅または高さを、ドキュメントウィンドウの幅に対する割合で表した現在の幅または高さに設定します。また、テーブル全体の幅もドキュメントウィンドウの幅に対する割合で表した現在の幅に設定します。

テキストボックスに値を入力したら、Tab キーまたは Enter キー（Windows）、Return キー（Mac OS）を押して値を適用します。

トップへ戻る

セル、行、列のプロパティの設定

プロパティインスペクターを使用すると、テーブル内のセルや行を編集できます。

1. 列または行を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、以下のオプションを設定します。
横 セル、行、または列のコンテンツの横方向の配置を指定します。セルのコンテンツをセルの左、右、中央のいずれかに配置されるように揃えたり、またはブラウザーの初期設定（通常のセルの場合は左配置、ヘッダーセルの場合は中央配置）を使用するように指定できます。

縦 セル、行、または列のコンテンツの縦方向の配置を指定します。コンテンツをセルの上、中央、下、ベースラインのいずれかに配置されるように揃えたり、またはブラウザーの初期設定（通常は中央配置）を使用するように指定することができます。

幅および高さ 選択したセルの幅と高さをピクセル単位、またはテーブル全体の幅または高さに対する割合で指定します。割合で指定するには、値の後にパーセント記号（%）を付けます。ブラウザーの自動調整機能を使って、コンテンツや他の列と行の幅と高さを基に、適切な幅や高さで選択したセルを表示するには、フィールドを空白のままにします（初期設定）。

初期設定では、ブラウザー側で、列内の最も幅の広いイメージまたは最も長い行が収まるように行の高さと列の幅が選択されます。コンテンツを追加した列が、テーブルの他の列よりもはるかに広くなることがあるのはこのためです。

注意： 高さは、テーブル全体の高さに対する割合で指定できますが、ブラウザーでは、指定した割合の高さで行が表示されない場合があります。

背景 カラーピッカーで選択したセル、列、または行の背景色です。

セルのマージ 選択したセル、行、列が 1 つのセルに結合されます。セルをマージできるのは、選択したセルが長方形または一列に並んでいる場合のみです。

セルの分割 セルが複数のセルに分割されます。セルは一度に 1 つしか分割できません。複数のセルを選択した場合、このボタンは使用不可になります。

折り返さない クリックすると、行の折り返しが禁止され、すべてのテキストが指定されたセル内に 1 行で保持されます。「折り返さない」が有効になっていると、入力したデータ、またはセルにペーストしたデータに応じてセルが拡張します。通常、セルは最も長い語または最も幅広のイメージが収まるように左右方向に拡張された後、他のコンテンツが収まるように必要に応じて上下方向にも拡張されます。

ヘッダー 選択したセルをテーブルヘッダーセルとしてフォーマットします。初期設定では、テーブルヘッダーセルのコンテンツはボールドで、中央に整列されます。

幅および高さの指定単位にはピクセルまたはパーセントを使用でき、ピクセルからパーセントへ、またはその逆に変換することができます。

注意： Dreamweaver では、列のプロパティを設定すると、設定内容に応じて列内の各セルに対応する td タグの属性が変更されます。ただし、行に設定するプロパティの種類によっては、Dreamweaver によって trタグの属性は変更されますが、行内の各 td タグの属性は変更されないことがあります。1 つの行に含まれるすべてのセルに同じフォーマットを適用する場合は、フォーマットを tr タグに適用するほうが、見やすく簡潔な HTML コードを作成できます。

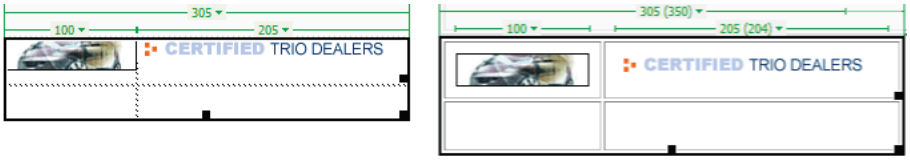
3. Tab キーか Enter キー（Windows）、または Return キー（Mac OS）を押して値を適用します。

トップへ戻る

テーブルを簡単に編集するための拡張テーブルモードの使用

拡張テーブルモードでは、ドキュメント内のすべてのテーブルに対して一時的にセル内の余白や間隔を追加し、テーブルのボーダーを広げることで、編集作業を簡単にします。このモードでは、テーブル内のアイテムを選択でき、挿入ポイントを正確に配置できます。

例えば、テーブルを拡張すると、イメージの右側または左側に挿入ポイントを配置するときに誤ってイメージやテーブルセルを選択することがありません。



A. 標準モードのテーブル **B.** 拡張テーブルモードのテーブル

注意： 選択、または挿入ポイントの配置が済んだら、デザインビューの標準モードに戻って編集を行います。サイズ変更などの視覚的な操作の場合、拡張テーブルモードでは意図したとおりの結果を得られないことがあります。

拡張テーブルモードへの切り替え

1. コードビューで作業をしている場合は、表示／デザイン、または表示／コードとデザインを選択します。コードビューでは、拡張テーブルモードに切り替えることはできません。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 表示／テーブルモード／拡張テーブルモードを選択します。
   - 挿入パネルの「レイアウト」カテゴリで、「拡張テーブルモード」をクリックします。

     拡張テーブルモードというバーがドキュメントウィンドウの上部に表示されます。Dreamweaver により、ページ上のすべてのテーブルのセルに余白や間隔が追加され、テーブルのボーダーが広げられます。

拡張テーブルモードの終了

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- ドキュメントウィンドウの上部にある拡張テーブルモードというバーで、「終了」をクリックします。
- 表示／テーブルモード／標準モードを選択します。
- 挿入パネルの「レイアウト」カテゴリで、「標準モード」をクリックします。

トップへ戻る

テーブルおよびセルのフォーマット

テーブルの表示を変更するには、テーブルやセルのプロパティを設定するか、または既存のテーブルデザインを適用します。テーブルおよびセルのプロパティを設定する際は、フォーマットの優先順位が、セル、行、テーブルの順番になる点に注意してください。

テーブルセル内のテキストをフォーマットするには、テーブルの外にあるテキストをフォーマットするときと同じ手順を使用します。

テーブル、行、セル、または列のフォーマット変更

1. テーブル、セル、行、または列を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の右下隅にある縮小の三角形をクリックし、必要に応じて以下のプロパティを変更します。
3. 必要に応じてプロパティを変更します。

オプションについて詳しくは、プロパティインスペクターのヘルプアイコンをクリックしてヘルプを参照してください。

注意： Dreamweaver では、列のプロパティを設定すると、設定内容に応じて列内の各セルに対応する td タグの属性が変更されます。これに対して、行のプロパティの一部を設定すると、Dreamweaver によって trタグの属性は変更されますが、行内の各 td タグの属性は変更されません。1 つの行のすべてのセルに同じフォーマットを適用する場合は、フォーマットを tr タグに適用すると、見やすく簡潔な HTML コードを作成できます。

コードビューでのテーブルのアクセシビリティ値の追加または編集

❖ コード内の該当する属性を編集します。

コード内のタグを素早く見つけるには、テーブル内でクリックし、ドキュメントウィンドウの下部にあるタグセレクターで <table> タグを選択します。

デザインビューでのテーブルのアクセシビリティ値の追加または編集

❖ テーブルのキャプションを編集するには、キャプションをハイライト表示し、新しいキャプションを入力します。

- キャプションの整列を編集するには、テーブルのキャプション内に挿入ポイントを配置し、右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「タグコードの編集」を選択します。
- テーブルのサマリーを編集するには、テーブルを選択し、右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「タグコードの編集」を選択します。

トップへ戻る

テーブル、列、および行のサイズ変更

テーブルのサイズ変更

テーブル全体、または個々の行や列のサイズを変更できます。テーブル全体のサイズを変更すると、テーブル内のセルはすべて、比例してサイズ変更されます。セルに対して幅または高さが明示的に指定されている場合に、そのセルを含むテーブルのサイズを変更すると、ドキュメントウィンドウに表示されるセルの画面上のサイズは変わりますが、セルの指定された幅と高さは変更されません。

テーブルのサイズを変更するには、テーブルのいずれかの選択ハンドルをドラッグします。テーブルが選択されている場合または挿入ポイントがテーブルにある場合は、Dreamweaver により、テーブルの上部または下部に、テーブルヘッダーメニューとともにテーブル幅が表示されます。

HTML コード内の列幅セットが画面上の表示幅と一致しないことがあります。この場合、幅を合わせることができます。Dreamweaver に表示されるテーブルと列の幅およびヘッダーメニューは、必要に応じて表示と非表示を切り替えることができるため、テーブルをレイアウトするのに便利です。

列および行のサイズ変更

列の幅または行の高さを変更するには、プロパティインスペクターを使用するか、列または行のボーダーをドラッグします。サイズ変更がうまくいかない場合は、列の幅または行の高さをクリアしてもう一度やり直してください。

注意： コードビューで HTML コードを直接変更して、セルの幅および高さを変更することもできます。

テーブルが選択されている場合または挿入ポイントがテーブル内にある場合は、Dreamweaver により、列の上部または下部に、列ヘッダーメニューとともに列幅が表示されます。列ヘッダーメニューは、必要に応じて表示と非表示を切り替えることができます。

トップへ戻る

テーブル、列、および行のサイズ変更

テーブルのサイズ変更

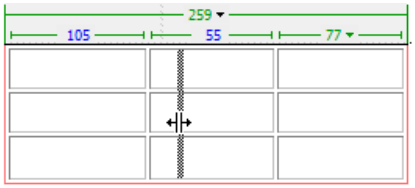
❖ テーブルを選択します。

- テーブルの横方向のサイズを変更するには、右端の選択ハンドルをドラッグします。
- テーブルの縦方向のサイズを変更するには、下端の選択ハンドルをドラッグします。
- テーブルの両方向でサイズを変更するには、右下隅の選択ハンドルをドラッグします。

テーブル全体の幅を保ったまま列幅を変更

❖ 変更する列の右側のボーダーをドラッグします。

隣接する列の幅も変化するため、実際には 2 つの列のサイズを変更することになります。列がどのように調節されるかが表示されます。テーブル全体の幅は変更されません。

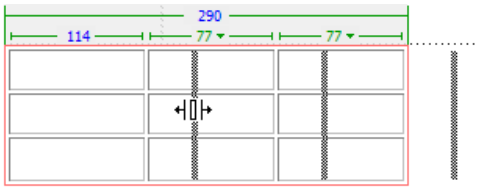


注意： 幅がピクセル数ではなくパーセントで指定されているテーブルでは、右端の列の右ボーダーをドラッグすると、テーブル全体の幅が変化し、すべての列がそれに比例して広くなったり狭くなったりします。

他の列のサイズを保ったまま列幅を変更

❖ Shift キーを押したまま、列のボーダーをドラッグします。

1 つの列の幅が変更されます。列がどのように調整されるかが表示されます。テーブル全体の幅は、サイズ変更する列に合わせて変化します。

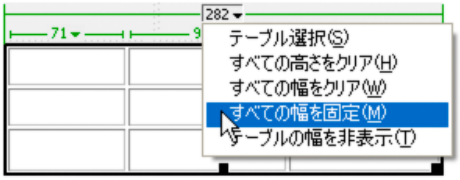


行の高さを画面上で変更

❖ 行の下ボーダーをドラッグします。

コードの列幅を表示幅に統一

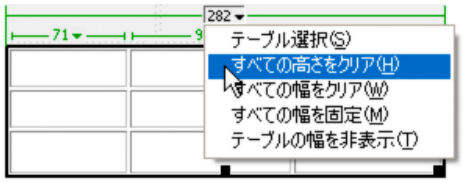
1. セル内をクリックします。
2. テーブルヘッダーメニューをクリックし、「すべての幅を固定」を選択します。



Dreamweaver により、コードに指定されている幅が表示幅に合わせて再設定されます。

テーブルに設定されている幅または高さをすべてクリア

1. テーブルを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 修正／テーブル／列幅のクリア、または修正／テーブル／行の高さをクリアを選択します。
   - プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、行の高さをクリアボタン または列幅をクリアボタン をクリックします。
   - テーブルヘッダーメニューをクリックし、「すべての高さをクリア」または「すべての幅をクリア」を選択します。



列に設定されている幅のクリア

❖ 列内をクリックし、列ヘッダーメニューをクリックして、「列幅をクリア」を選択します。

テーブルと列の幅およびメニューの表示と非表示の切り替え

1. 表示／ビジュアルエイド／テーブルの幅を選択します。
2. テーブル内を右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、テーブル／テーブルの幅を選択します。

トップへ戻る

行と列の追加および削除

行と列を追加および削除するには、修正／テーブルまたは列ヘッダーメニューを使用します。

テーブルの最後のセルで Tab キーを押すと、自動的にテーブルに行が 1 つ追加されます。

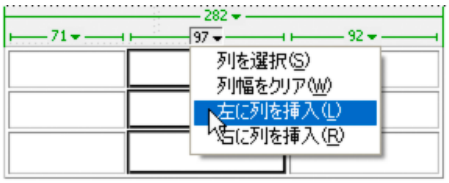
1 つの行または列の追加

❖ セル内をクリックし、次のいずれかの操作を行います。

- 修正／テーブル／行の挿入または修正／テーブル／列の挿入を選択します。

行の場合は挿入ポイントの上、列の場合は挿入ポイントの左側に表示されます。

- 列ヘッダーメニューをクリックし、「左に列を挿入」または「右に列を挿入」を選択します。



複数の行または列の追加

1. セル内をクリックします。
2. 修正／テーブル／行または列の挿入を選択し、表示されるダイアログボックスに情報を入力して「OK」をクリックします。
   挿入 行を挿入するか、列を挿入するかを指定します。

   「行数」または「列数」 挿入する行または列の数を指定します。

   このシンタックスでは 新しい行または列を、選択したセルが含まれる行または列の前と後のどちらに追加するかを指定します。

行または列の削除

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- 削除する行または列内のセルをクリックし、修正／テーブル／行の削除または修正／テーブル／列の削除を選択します。
- 行全体または列全体を選択し、編集／クリアを選択するか、Delete キーを押します。

プロパティインスペクターを使用して行または列を追加または削除

1. テーブルを選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、以下のいずれかの操作を行います。
   - 行を追加または削除するには、「行」の値を増減します。
   - 列を追加または削除するには、「列」の値を増減します。

     注意： Dreamweaver では、データが入力されている行や列を削除する場合でも、警告メッセージは表示されません。

トップへ戻る

セルの分割およびマージ

プロパティインスペクター、または 修正／テーブルサブメニューのコマンドを使用して、セルを分割またはマージします。

テーブル内の複数のセルをマージ

1. 互いに隣り合っていて四角形に並んでいるセルを選択します。

   次の図では、選択範囲が四角形なので、セルをマージできます。

Location Name	City	State or Country
Baltimore-Washington International	Baltimore	MD
Cairo International	Cairo	Egypt
Canberra	Canberra	Australia
Cairns	Cairns	Queensland
Cape Town Airport	Cape Town	South Africa

   次の図では、選択範囲が四角形ではないので、セルをマージできません。

Location Name	City	State or Country
Baltimore-Washington International	Baltimore	MD
Cairo International	Cairo	Egypt
Canberra	Canberra	Australia
Cairns	Cairns	Queensland
Cape Town Airport	Cape Town	South Africa

2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 修正／テーブル／セルのマージを選択します。

- 展開されている HTML プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、セルのマージ ボタンをクリックします。

  注意： ボタンが表示されない場合は、プロパティインスペクターの右下隅にある縮小の三角形をクリックすると、すべてのオプションが表示されます。

  個別のセルのコンテンツは、でき上がったマージしたセル内に配置されます。選択した最初のセルのプロパティが、マージしたセルに適用されます。

セルの分割

1. セル内をクリックし、次のいずれかの操作を行います。
   - 修正／テーブル／セルの分割を選択します。
   - 展開してある HTML プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、セルの分割 ボタンをクリックします。

     注意： ボタンが表示されない場合は、プロパティインスペクターの右下隅にある縮小の三角形をクリックすると、すべてのオプションが表示されます。
2. セルの分割ダイアログボックスで、セルの分割方法を指定します。
   セル分割 セルを行または列に分割するかどうかを指定します。

   行数 / 列数 セルを分割する行または列の数を指定します。

セルを構成する行または列の数の増減

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- 修正／テーブル／行の拡大または修正／テーブル／列の拡大を選択します。
- 修正／テーブル／行の縮小または修正／テーブル／列の縮小を選択します。

トップへ戻る

セルのコピー、ペースト、および削除

セルのフォーマットを保持しながら、単一のセル、または複数のセルを一度にコピー、ペースト、または削除できます。

セルをペーストする場合、挿入ポイントにペーストできます。また、既存のテーブルの選択範囲に置き換わる形でもペーストできます。複数のテーブルセルをペーストするには、クリップボードのコンテンツが、セルがペーストされるテーブルまたはテーブル内の選択範囲の構成と適合している必要があります。

テーブルセルのカットまたはコピー

1. 単一のセル、または互いに隣り合っていて四角形に並んでいる複数のセルを選択します。

   次の図では、選択範囲が四角形なので、セルをカットまたはコピーできます。

Location Name	City	State or Country
Baltimore-Washington International	Baltimore	MD
Cairo International	Cairo	Egypt
Canberra	Canberra	Australia
Cairns	Cairns	Queensland
Cape Town Airport	Cape Town	South Africa

   次の図では、選択範囲が四角形ではないので、セルをカットまたはコピーできません。

Location Name	City	State or Country
Baltimore-Washington International	Baltimore	MD
Cairo International	Cairo	Egypt
Canberra	Canberra	Australia
Cairns	Cairns	Queensland
Cape Town Airport	Cape Town	South Africa

2. 編集／カットまたは編集／コピーを選択します。
   注意： 行全体または列全体を選択して編集／カットを選択すると、セルのコンテンツだけでなく、その行または列全体がテーブルから切り取られます。

テーブルセルのペースト

1. セルをペーストする場所を選択します。

既存のセルをペーストするセルで上書きするには、ペースト先のセル範囲を選択するときに、クリップボード内のセルと同じレイアウトになるように選択します。例えば、3×2 ブロックのセルをコピーまたはカットした場合は、3×2 ブロックのセルを選択してペーストすると、上書きできます。

- 特定のセルの上に 1 つの行全体をペーストするには、そのセル内でクリックします。
- 特定のセルの左側に 1 つの列全体をペーストするには、そのセル内でクリックします。

  注意： クリップボード内のセルがペースト先の行全体または列全体のセル数に満たない場合に、テーブル内の 1 つのセルをクリックしてクリップボードにあるセルをペーストすると、クリックしたセルとそれに隣接したセルが（テーブル内の場所に応じて）ペーストしたセルで上書きされることがあります。
- ペーストするセルで新しいテーブルを作成するには、挿入ポイントをテーブルの外に置きます。

2. 編集／ペーストを選択します。

   行または列全体を既存のテーブルにペーストしている場合は、行または列がテーブルに追加されます。個別のセルをペーストしている場合は、選択されたセルのコンテンツが置き換えられます。テーブルの外側にペーストしているときは、該当の行、列、セルが新規テーブルの定義に使用されます。

セルを残したままセルのコンテンツだけを削除

1. セルを選択します。
   注意： 1 つの行全体または列全体を選択していないことを確認してください。
2. 編集／クリアを選択するか、または Delete キーを押します。
   注意： 行全体または列全体を選択して編集／クリアを選択するか Delete キーを押すと、セルのコンテンツだけでなく、選択した行または列全体がテーブルから削除されます。

マージされたセルを含む行または列の削除

1. 行または列を選択します。
2. 修正／テーブル／行の削除または修正／テーブル／列の削除を選択します。

テーブルのネスト

トップへ戻る

ネストされたテーブルとは、他のテーブルのセル内に挿入されたテーブルのことです。ネストされたテーブルは、他のテーブルの場合と同様にフォーマットできます。ただし、テーブルの幅は、テーブルが含まれるセルの幅に制約されます。

1. 既存のテーブルのセル内でクリックします。
2. 挿入／テーブルを選択し、「テーブルの挿入」オプションを設定して「OK」をクリックします。

テーブルのソート

トップへ戻る

1 つの列のコンテンツを基準にしてテーブルの行をソートできます。2 列のコンテンツに基づく、さらに複雑なテーブルのソートもできます。

colspan または rowspan 属性を含むテーブル（つまり、マージしたセルを含むテーブル）はソートできません。

1. テーブルを選択するか、任意のセルをクリックします。
2. コマンド／テーブルのソートを選択し、表示されるダイアログボックスで以下のオプションを設定して「OK」をクリックします。
   ソート条件 どの列の値を基準にしてテーブル行をソートするかを指定します。

   順序 列をアルファベット順と数値順のどちらでソートするか、また昇順（A ～ Z、低位の数値から高位の数値へ）と降順のどちらでソートするかを指定します。

   列のコンテンツが数値の場合、「番号順」を選択します。1 桁または 2 桁の数値のリストにアルファベット順ソートを適用すると、数値は数字の順序（例えば、1、2、3、10、20、30）ではなく、単語と見なした順序（例えば、1、10、2、20、3、30）でソートされます。

   第 **2** のソート条件および順序 第 2 のソート条件として使用する別の列を指定します。第 2 のソート条件ポップアップメニューで 2 番目のソート基準とする列を指定し、順序ポップアップメニューで第 2 のソート順序を指定してください。

   最初の行も含めてソートする オンにすると、テーブルの最初の行がソートに含まれます。先頭の行を見出しとして先頭の位置から動かしたくない場合は、このオプションをオフにします。

   ヘッダー行をソートする テーブルに thead セクションがある場合に、そこに含まれるすべての行を本体の行と同じ基準を使用してソートします。thead 行は thead セクションに残り、ソート後もそのままテーブルの最上段に表示されます。thead タグについて詳しくは、リファレンスパネル（ヘルプ／リファレンスを選択）を参照してください。

   フッター行をソートする テーブルに tfoot セクションがある場合に、そこに含まれるすべての行を本体の行と同じ基準を使用してソートします。tfoot 行は tfoot セクションに残り、ソート後もそのままテーブルの最下段に表示されます。tfoot タグについて詳しくは、リファレンスパネル（ヘルプ／リファレンスを選択）を参照してください。

   ソートの完了後もすべての行カラーを維持する オンにすると、コンテンツと関連付けられたテーブル行の属性（カラーなど）が、ソート後

もそれぞれの行に保持されます。テーブル行が 2 つの交互に並ぶカラーでフォーマットされている場合、ソートされたテーブルでも行が同じように交互に色分けされるようにするには、このオプションをオフにします。行の属性が各行のコンテンツに固有のものである場合は、このオプションをオンにして、ソート後のテーブルでも、行と属性との関連付けが保たれるようにします。

関連項目

[print]CSS を使用したページのレイアウト

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry でのデータの表示

Spry データセットについて
Spry データセットの作成
Spry 領域の作成
Spry リピート領域の作成
Spry リピートリスト領域の作成

注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

Spry データセットについて

Spry データセットは、基本的には JavaScript オブジェクトで、指定されたデータのコレクションを保持します。Dreamweaver では、このオブジェクトをすばやく作成し、XML ファイルや HTML ファイルなどのデータソースから、このオブジェクトにデータを読み込むことができます。データセットでは、行と列で構成される標準のテーブル形式でデータが配列されます。Dreamweaver で Spry データセットを作成するときに、Web ページにデータを表示する方法も指定できます。

データセットは、データを行と列に格納する仮想のコンテナと考えることができます。データセットとしての JavaScript オブジェクトに格納された情報は、Web ページでの表示方法を正確に指定した場合にのみ表示されます。このコンテナ内のすべてのデータを表示することも、選択した一部のみを表示することもできます。

Spry データセットの使い方について詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sdg_sprydataset_jp を参照してください。

Spry データセットの使い方について Dreamweaver エンジニアリングチームが説明する概要ビデオは、www.adobe.com/go/dw10datasets_jp を参照してください。

Spry データセットの使い方に関するビデオチュートリアルについては、www.adobe.com/go/lrvid4047_dw_jp を参照してください。

ページの先頭へ

Spry データセットの作成

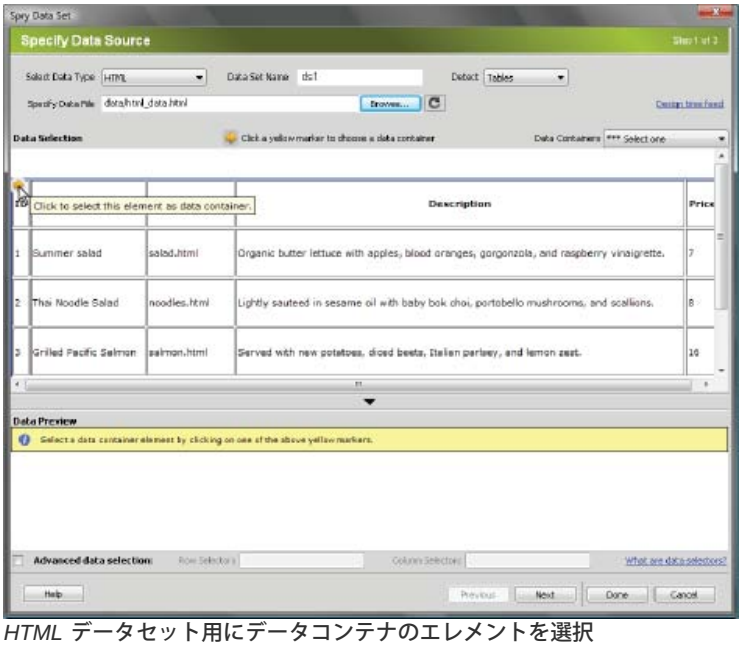
Spry HTML データセットの作成

1. データセットのみを作成する場合は、挿入ポイントについて心配する必要はありません。データセットを作成してレイアウトも挿入する場合は、ページにレイアウトを挿入する挿入ポイントを確認します。
2. 挿入／Spry／Spry データセットを選択します。
3. 「データソースの指定」画面で、次の操作を行います。

   - データタイプの選択ポップアップメニューから「HTML」を選択します。このオプションは初期設定で選択されています。
   - 新しいデータセットの名前を指定します。新規作成するデータセットの初期設定名は「ds1」になります。データセット名には、文字、数値、下線を使用できますが、先頭文字を数値にすることはできません。
   - Dreamweaver で検出するデータソース内の HTML エレメントを指定します。例えば、データを `div` タグ内で構成し、Dreamweaver でテーブルの代わりに `div` タグを検出する場合は、検出ポップアップメニューから「DIV」を選択します。「カスタム」オプションでは、検出する任意のタグ名を入力できます。
   - HTML データソースを含むファイルへのパスを指定します。パスは、サイトのローカルファイルへの相対パス（data/html_data.html など）とするか、HTTP または HTTPS を使用してライブ Web ページへの絶対 URL とすることができます。「参照」ボタンをクリックすると、ローカルファイルを探して選択できます。

     HTML データソースがデータ選択ウィンドウに表示され、データセットのコンテナとして適格なエレメントがビジュアルマーカーで示されます。使用するエレメントには、一意な ID が割り当てられている必要があります。ID が割り当てられていないと、エラーメッセージが表示されます。この場合は、データソースファイルに戻って一意な ID を割り当てる必要があります。また、データソースファイル内の適格なエレメントは Spry 領域内に含めることはできず、他のデータ参照を含むこともできません。

     データソースとして、デザインタイムフィードを指定することもできます。詳しくは、デザインタイムフィードの使用を参照してください。
   - データ選択ウィンドウに表示される黄色の矢印のいずれかをクリックするか、データコンテナポップアップメニューから ID を選択して、データコンテナのエレメントを選択します。



HTML データセット用にデータコンテナのエレメントを選択

長いファイルの場合は、データ選択ウィンドウの下部の「展開 / 折りたたむ」矢印をクリックして残りのデータを表示できます。

データセットのコンテナエレメントを選択すると、データプレビューウィンドウにデータセットのプレビューが表示されます。

- （オプション）データセットの CSS データセレクターを指定する場合は、「詳細データ選択」を選択します。例えば、「行セレクター」テキストボックスに **.product** を指定し、「列セレクター」テキストボックスに **.boximage** を指定すると、データセットには .product クラスが割り当てられた行と .boximage クラスが割り当てられた列のみが含まれます。

  テキストボックスに複数のセレクターを入力する場合は、セレクター間をコンマ（,）で区切ります。

  詳しくは、Spry データセレクターについてを参照してください。

- 「データソースの指定」画面での操作が終了したら、「終了」をクリックしてデータセットを作成するか、「次へ」をクリックして「データオプションの設定」画面に進みます。「終了」をクリックすると、データセットがバインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で使用可能になります。

4. 「データオプションの設定」画面では、次の操作を行います。

   - （オプション）列を選択し、タイプポップアップメニューから列タイプを選択して、データセットの列タイプを設定します。例えば、データセットの列に数字を含む場合は、その列を選択してタイプポップアップメニューから数字を選択します。このオプションは、その列でデータをソートできるようにする場合にのみ意味があります。

     データセットの列を選択するには、その列名をクリックするか、列名ポップアップメニューから列名を選択するか、画面の左上隅の左方向と右方向の矢印を使用して選択先の列名に移動します。

   - （オプション）列のソートポップアップメニューからソートする列を選択し、データをソートする方法を指定します。列を選択すると、ソート順として昇順または降順を指定できます。

   - （オプション、テーブルのみ）HTML データソースに指定した列名を使用せずに一般的な列名（column0、column1、column 2 など）を使用する場合は、「最初の行をヘッダーとして使用」を選択解除します。

   注意： データセットのコンテナエレメントとしてテーブル以外を選択した場合は、このオプションと次のオプションは使用できません。テーブル以外のデータセットには、列名として *column0*、*column1*、*column2* などが自動的に使用されます。

   - （オプション、テーブルのみ）データセットのデータの水平と垂直の向きを逆にするには、「列を行として使用」を選択します。このオプションを選択すると、列が行として使用されます。
   - （オプション）データセットから重複するデータ行を除外するには、「重複する行の除去」を選択します。
   - （オプション）データセットの最新データを常に利用するには、「データキャッシュを無効にする」を選択します。データを自動更新する場合は、「データの自動更新」を選択して更新間隔をミリ秒単位で指定します。
   - 「データオプションの設定」画面での操作が終了したら、「終了」をクリックしてデータセットを作成するか、「次へ」をクリックして「挿入オプションの選択」画面に進みます。「終了」をクリックすると、データセットがバインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で使用可能になります。

5. 「挿入オプションの選択」画面では、次の操作を行います。

   - 新しいデータセットのレイアウトを選択し、対応する設定オプションを指定します。詳しくは、データセットのレイアウトの選択を参照してください。

「HTML を挿入しない」を選択します。このオプションを選択すると、データセットは作成されますが、ページには HTML が追加されません。データセットがバインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で使用可能になり、データセットからページにデータを手動でドラッグすることができます。

6. 「終了」をクリックします。

データセットが作成されます。レイアウトオプションを選択した場合は、そのレイアウトとデータプレースホルダーがページに表示されます。コードビューを確認すると、SpryData.js ファイルと SpryHTMLDataSet.js ファイルへの参照がヘッダーに追加されています。これらのファイルは、ページと連動する重要な Spry アセットです。このコードをページから削除しないでください。削除すると、データセットは機能しません。ページをサーバーにアップロードする場合は、これらのファイルも依存ファイルとしてアップロードする必要があります。

Spry XML データセットの作成

1. データセットのみを作成する場合は、挿入ポイントについて心配する必要はありません。データセットを作成してレイアウトも挿入する場合は、ページにレイアウトを挿入する挿入ポイントを確認します。

2. 挿入／Spry／Spry データセットを選択します。

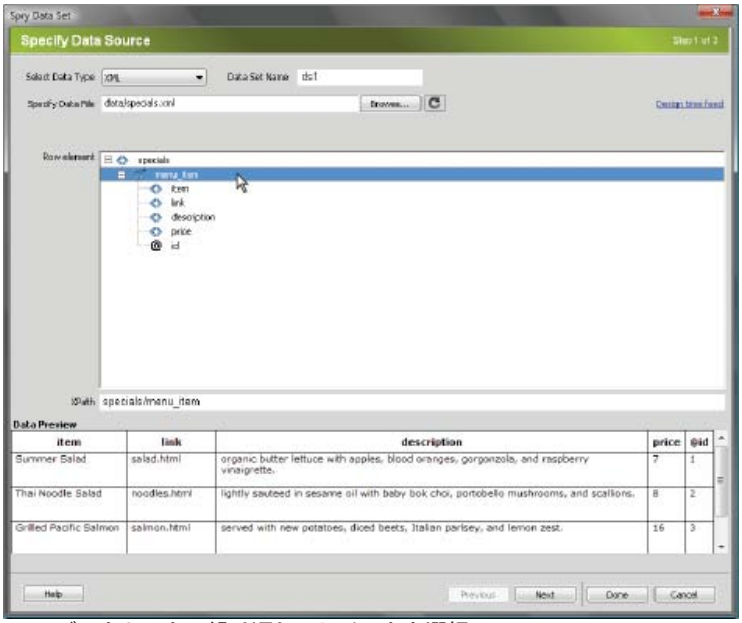
3. 「データソースの指定」画面で、次の操作を行います。

- データタイプの選択ポップアップメニューから「XML」を選択します。
- 新しいデータセットの名前を指定します。新規作成するデータセットの初期設定名は「ds1」になります。データセット名には、文字、数値、下線を使用できますが、先頭文字を数値にすることはできません。
- XML データソースを含むファイルへのパスを指定します。パスは、サイトのローカルファイルへの相対パス（datafiles/data.xml など）とするか、HTTP または HTTPS を使用して Web ページへの絶対 URL とすることができます。「参照」ボタンをクリックすると、ローカルファイルを探して選択できます。

  XML データソースが行エレメントウィンドウに表示され、選択可能なデータエレメントの XML ツリーが示されます。繰り返しエレメントにはプラス（+）記号が付き、子エレメントはインデントされます。

  データソースとして、デザインタイムフィードを指定することもできます。詳しくは、デザインタイムフィードの使用を参照してください。

- 表示するデータを含むエレメントを選択します。通常、このエレメントは <menu_item> などの繰り返しエレメントで、<item>、<link>、<description> などの複数の子エレメントを持ちます。



XML データセットの繰り返しエレメントを選択

データセットのコンテナエレメントを選択すると、データプレビューウィンドウにデータセットのプレビューが表示されます。「XPath」テキストボックスに、選択したノードに対応する XML ソースファイル内の位置を示す式が表示されます。

注意： *XPath*（*XML Path Language*）は、*XML* ドキュメントの一部に対応するシンタックスです。*SQL* 言語がデータベースのクエリーに使用されるように、ほとんどの場合、*XPath* は *XML* データのクエリー言語として使用されます。*XPath* について詳しくは、*W3C Web* サイト（*www.w3.org/TR/xpath*）の *XPath* 言語仕様を参照してください。

- 「データソースの指定」画面での操作が終了したら、「終了」をクリックしてデータセットを作成するか、「次へ」をクリックして「データオプションの設定」画面に進みます。「終了」をクリックすると、データセットがバインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で使用可能になります。

4. 「データオプションの設定」画面では、次の操作を行います。

   - （オプション）列を選択し、タイプポップアップメニューから列タイプを選択して、データセットの列タイプを設定します。例えば、データセットの列に数字を含む場合は、その列を選択してタイプポップアップメニューから数字を選択します。このオプションは、その列でデータをソートできるようにする場合にのみ意味があります。

     データセットの列を選択するには、その列名をクリックするか、列名ポップアップメニューから列名を選択するか、画面の左上隅の左方向と右方向の矢印を使用して選択先の列名に移動します。
   - （オプション）列のソートポップアップメニューからソートする列を選択し、データをソートする方法を指定します。列を選択すると、ソート順として昇順または降順を指定できます。
   - （オプション）データセットから重複するデータ行を除外するには、「重複する行の除去」を選択します。
   - （オプション）データセットの最新データを常に利用するには、「データキャッシュを無効にする」を選択します。データを自動更新する場合は、「データの自動更新」を選択して更新間隔をミリ秒単位で指定します。
   - 「データオプションの設定」画面での操作が終了したら、「終了」をクリックしてデータセットを作成するか、「次へ」をクリックして「挿入オプションの選択」画面に進みます。「終了」をクリックすると、データセットがバインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で使用可能になります。

5. 「挿入オプションの選択」画面では、次の操作を行います。

   - 新しいデータセットのレイアウトを選択し、対応する設定オプションを指定します。詳しくは、データセットのレイアウトの選択を参照してください。
   - 「HTML を挿入しない」を選択します。このオプションを選択すると、データセットは作成されますが、ページには HTML が追加されません。データセットがバインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で使用可能になり、データセットからページにデータを手動でドラッグすることができます。

6. 「終了」をクリックします。

   データセットが作成されます。レイアウトオプションを選択した場合は、そのレイアウトとデータプレースホルダーがページに表示されます。コードビューを確認すると、xpath.js ファイルと SpryData.js ファイルへの参照がヘッダーに追加されています。これらのファイルは、ページと連動する重要な Spry アセットです。このコードをページから削除しないでください。削除すると、データセットは機能しません。ページをサーバーにアップロードする場合は、これらのファイルも依存ファイルとしてアップロードする必要があります。

データセットのレイアウトの選択

「挿入オプションの選択」画面を使用すると、ページにデータセットの値を表示する方法を様々な表示オプションから選択できます。データの表示方法として、動的 Spry テーブル、マスター / 詳細レイアウト、スタックコンテナ（1 つの列）レイアウト、またはスポットライト領域付きスタックコンテナ（2 つの列）レイアウトを使用できます。「挿入オプションの選択」画面には、各レイアウトがサムネールとして表示されます。

動的テーブルレイアウト

データを動的 Spry テーブルに表示する場合は、このオプションを選択します。Spry テーブルでは、動的な列のソートなどのインタラクティブな動作が可能です。

このオプションを選択した場合は、「セットアップ」ボタンをクリックしてテーブルの挿入ダイアログボックスを表示し、以下の手順に従います。

1. 列パネルで次の操作を行い、テーブルの列を調整します。

   - 列名を選択し、マイナス（-）記号をクリックしてテーブルから列を削除します。プラス（+）記号をクリックし、列名を選択して新しい列をテーブルに追加します。
   - 列名を選択し、上向き矢印または下向き矢印をクリックして列を移動します。列を上に移動するとテーブル内でさらに左に表示され、上に移動するとテーブル内でさらに右に表示されます。

2. 列をソート可能にするには、列パネルで列を選択し、「ヘッダーがクリックされたときに列をソート」を選択します。初期設定では、すべての列がソート可能です。

   列をソートできないようにするには、列パネルで列を選択し、「ヘッダーがクリックされたときに列をソート」を選択解除します。

3. ページに CSS スタイルが、添付されたスタイルシートや HTML ページ内の個別スタイルのセットとして関連付けられている場合は、次のオプションで CSS クラスを適用できます。

   奇数行クラス 選択したクラススタイルに従って動的テーブルの奇数行の表示方法を変更します。

   偶数行クラス 選択したクラススタイルに従って動的テーブルの偶数行の表示方法を変更します。

   Hover クラス 選択したクラススタイルに従ってマウスをテーブル上に移動したときの表示方法を変更します。

選択クラス 選択したクラススタイルに従ってテーブル行をクリックしたときの表示方法を変更します。

注意： スタイルシート内の奇数行クラス、偶数行クラス、*Hover* クラス、および選択クラスの順序は重要です。上の順序（奇数行、偶数行、*Hover*、選択）を厳密に守る必要があります。スタイルシートで選択ルールの前に *Hover* ルールがあると、*Hover* エフェクトはユーザーがマウスを別の行に移動するまで表示されません。スタイルシートで偶数行ルールと奇数行ルールの上に *Hover* ルールと選択ルールがあると、偶数行と奇数行のエフェクトはまったく機能しません。*CSS* パネルでルールをドラッグして正しい順序にするか、*CSS* コードを直接操作することができます。

4. 作成するテーブルを動的 Spry マスターテーブルとする場合は、「行がクリックされたときに詳細領域を更新」を選択します。詳しくは、動的 Spry マスターテーブルと詳細領域の更新についてを参照してください。

5. 「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、「挿入オプションの選択」画面の「終了」をクリックします。

   デザインビューで作業をしている場合は、ヘッダーの行とデータ参照の行を持つテーブルが表示されます。データ参照はハイライト表示され、波カッコ（{}）で囲まれます。

マスター / 詳細レイアウト

マスター / 詳細レイアウトを使用してデータを表示する場合は、このオプションを選択します。マスター / 詳細レイアウトでは、マスター領域（左）のアイテムをクリックすると、詳細領域（右）の情報が更新されます。通常、マスター領域には製品名などの名前の一覧が表示されます。ユーザーが製品名のいずれかをクリックすると、選択した項目に関する詳細情報が詳細領域に表示されます。

このオプションを選択した場合は、「セットアップ」ボタンをクリックしてマスター / 詳細レイアウトの挿入ダイアログボックスを表示し、以下の手順に従います。

1. マスター列パネルで次の操作を行い、マスター領域の内容を調整します。

   - 列名を選択し、マイナス（-）記号をクリックしてマスター領域から列を削除します。プラス（+）記号をクリックし、列名を選択して新しい列をマスター領域に追加します。初期設定では、マスター領域にはデータセットの先頭列のデータが表示されます。
   - 列名を選択し、上向き矢印または下向き矢印をクリックして列を移動します。ページのマスター領域に表示するデータの順序は、マスター列パネルで列を上下に移動して設定します。

2. 上と同じ手順を詳細列パネルで繰り返します。初期設定では、詳細領域にはマスター領域に表示されるデータ以外のすべてのデータ（つまりデータセットの先頭列を除いたすべての列のデータ）が表示されます。

3. （オプション）詳細領域のデータ別のコンテナタイプを設定します。コンテナタイプを設定するには、詳細列の名前を選択し、そのコンテナをコンテナタイプポップアップメニューから選択します。コンテナタイプとして、`DIV` タグ、`P` タグ、`SPAN`タグ、または `H1-H6` タグを使用できます。

4. 「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、「挿入オプションの選択」画面の「終了」をクリックします。

   デザインビューで作業をしている場合は、選択したデータ参照が入力されたマスター / 詳細領域が表示されます。データ参照はハイライト表示され、波カッコ（{}）で囲まれます。

スタックコンテナレイアウト

ページで繰り返しコンテナ構造を使用してデータを表示する場合は、このオプションを選択します。例えば、データセットに `4` つのデータ列がある場合、各コンテナに `4` つすべての列を含めると、そのコンテナ構造はデータセットの行ごとに自動的に繰り返されます。

このオプションを選択した場合は、「セットアップ」ボタンをクリックしてスタックコンテナの挿入ダイアログボックスを表示し、以下の手順に従います。

1. 列パネルで次の操作を行い、スタックコンテナの内容を調整します。

   - 列名を選択し、マイナス（-）記号をクリックしてスタックコンテナから列を削除します。プラス（+）記号をクリックし、列名を選択して新しい列をコンテナに追加します。初期設定では、スタックコンテナにはデータセットの各列のデータが表示されます。
   - 列名を選択し、上向き矢印または下向き矢印をクリックして列を移動します。ページのスタックコンテナに表示されるデータの順序は、列パネルで列を上下に移動して設定します。

2. （オプション）スタックコンテナのデータ別のコンテナタイプを設定します。コンテナタイプを設定するには、データセットの列名を選択し、そのコンテナをコンテナタイプポップアップメニューから選択します。コンテナタイプとして、`DIV` タグ、`P` タグ、`SPAN`タグ、または `H1-H6` タグを使用できます。

3. 「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、「挿入オプションの選択」画面の「終了」をクリックします。

   デザインビューで作業をしている場合は、選択したデータ参照が入力されたコンテナが表示されます。データ参照はハイライト表示され、波カッコ（{}）で囲まれます。

スポットライト領域付きスタックコンテナレイアウト
ページでコンテナごとにスポットライト領域がある繰り返しコンテナ構造を使用してデータを表示する場合は、このオプションを選択します。通常、スポットライト領域にはピクチャが表示されます。スポットライト領域付きスタックコンテナレイアウトはスタックコンテナレイアウトに似ていますが、スポットライト領域付きスタックコンテナレイアウトではデータ表示が同じコンテナ内の 2 つの独立した列に分かれる点が異なります。

このオプションを選択した場合は、「セットアップ」ボタンをクリックしてスポットライト領域付きスタックコンテナの挿入ダイアログボックスを表示し、以下の手順に従います。

1. スポットライト列パネルで次の操作を行い、スポットライト領域の内容を調整します。

   - 列名を選択し、マイナス（-）記号をクリックしてスポットライト領域から列を削除します。プラス（+）記号をクリックし、列名を選択して新しい列をスポットライト領域に追加します。初期設定では、スポットライト領域にはデータセットの先頭列のデータが表示されます。
   - 列名を選択し、上向き矢印または下向き矢印をクリックして列を移動します。ページのスポットライト領域に表示されるデータの順序は、スポットライト列パネルで列を上下に移動して設定します。

2. （オプション）スポットライト領域のデータ別のコンテナタイプを設定します。コンテナタイプを設定するには、データセットの列名を選択し、そのコンテナをコンテナタイプポップアップメニューから選択します。コンテナタイプとして、DIV タグ、P タグ、SPANタグ、または H1-H6 タグを使用できます。

3. 上と同じ手順をスタック列パネルで繰り返します。初期設定では、スタック列にはスポットライト領域に表示されるデータ以外のすべてのデータ（つまりデータセットの先頭列を除いたすべての列のデータ）が表示されます。

4. 「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、「挿入オプションの選択」画面の「終了」をクリックします。

   デザインビューで作業をしている場合は、選択したデータ参照が入力されたスポットライト領域とスタックコンテナが表示されます。データ参照はハイライト表示され、波カッコ（{}）で囲まれます。

HTML を挿入しない
データセットを作成するが、データセットの HTML レイアウトを挿入しない場合は、このオプションを選択します。データセットはバインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で使用可能になり、データセットからページにデータを手動でドラッグすることができます。

レイアウトを挿入せずにデータセットを作成した場合でも、使用可能な HTML レイアウトのいずれかをいつでも挿入できます。レイアウトを挿入するには、バインディングパネルでデータセットの名前をダブルクリックし、「挿入オプションの選択」画面に進み、レイアウトを選択して「終了」をクリックします。

注意： データセットの名前をバインディングパネルからページの挿入ポイントにドラッグすることもできます。「挿入オプションの選択」画面が表示されます。レイアウトを選択して「終了」をクリックします。

データセットの編集
Spry データセットを作成した後では、それをいつでも編集できます。

- バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）でデータセットの名前をダブルクリックし、必要な編集を行います。

注意： データセットを編集して「挿入オプションの選択」画面で新しいレイアウトを選択すると、ページの既存のレイアウトは置き換えられずに、新しいレイアウトが挿入されます。

デザインタイムフィードの使用
まだ作成中のデータで作業する場合は、デザインタイムフィードが役立つことがあります。例えば、サーバーデベロッパーがデータベースをまだ仕上げており、XML データファイルの進行に追い付いていない場合、テストバージョンのファイルを使用することにより、データベースの作成から独立してページをデザインできます。

デザインタイムフィードを使用すると、そのフィードからのデータのみが作業環境に表示されます。ページコード内のデータソースへの参照は、実際に使用するデータソースへの参照として残ります。

1. Spry データセットの作成を開始します。その方法については、前の手順を参照してください。

2. 「データソースの指定」画面で、デザインタイムフィードのリンクをクリックします。

3. 「参照」ボタンをクリックしてデザインタイムフィードを見つけ、「OK」をクリックします。

Spry データセレクターについて
Dreamweaver を使用して Spry データセットを作成すると、初期設定では、選択されたコンテナにすべてのデータが格納されます。CSS データセレクターを使用すると、データの選択範囲を指定できます。CSS データセレクターを使用すると、CSS ルールを指定することにより、データソース内でそのルールに対応するデータ部分のみを格納できます。例えば、「データソースの指定」画面の「行セレクター」テキストボックスで

.product を指定すると、.product クラスが割り当てられた行のみのデータセットが作成されます。

データセレクターボックスを有効にするには、「データソースの指定」画面で「詳細データ選択」オプションを選択します。データセレクターを入力して、このオプションを選択解除すると、ボックスに入力した内容は保持されますが、その入力はデータセットのフィルターとしては使用されません。

動的 Spry マスターテーブルと詳細領域の更新について

Spry データの最も一般的な使用法の 1 つは、ユーザーの操作に反応して他のページデータを動的に更新する HTML テーブルを作成することです。例えば、ページを製品一覧の領域と製品別の詳細情報の領域に分け、ユーザーが製品一覧から別の製品を選択したときに、製品別の詳細情報を即座に更新することができます。Spry を使用すると、この更新を行うためにページ全体を更新する必要はありません。

ページ内の独立した領域は、マスター領域および詳細領域と呼ばれます。通常、ページの 1 つの領域（マスター領域）には分類項目の一覧（製品一覧など）が表示され、別の領域（詳細領域）には選択された項目に関する詳細情報が表示されます。

各データセットでは「現在の行」が機能し、初期設定では現在の行にデータセットの先頭行のデータが反映されます。ユーザーがマスター領域で選択項目を変更した場合（例えば、製品一覧で別の製品を選択した場合）、Spry で実際に変更されるのはデータセットの現在の行です。詳細領域はマスター領域に依存するため、マスター領域でのユーザー操作に伴う変更（別の製品の選択など）に応じて詳細領域でのデータが変更されます。

マスター / 詳細レイアウトは自動的に作成され、マスター領域と詳細領域は最初から関連付けられた状態で表示されます。ただし、動的なマスターテーブルを独自に作成する場合は、マスター領域と詳細領域を後で関連付けることができます。テーブルの挿入ダイアログボックスで「行がクリックされたときに詳細領域を更新」オプションを選択すると、動的テーブルの繰り返し行のタグ内に `spry:setrow` タグが挿入されます。この属性を使用して作成したテーブルは、ユーザーがテーブルを操作したときにデータセットの現在の行を再設定できるマスターテーブルになります。

マスター領域や詳細領域を手動で作成する方法について詳しくは、『Spry デベロッパーガイド』（www.adobe.com/go/learn_dw_sdg_masterdetail_jp）を参照してください。

ページの先頭へ

Spry 領域の作成

Spry フレームワークには 2 つのタイプの領域があります。1 つは、テーブルやリピートリストなどのデータオブジェクトを囲む Spry 領域です。もう 1 つは、Dreamweaver ページ上のデータの動的更新を可能にするマスターテーブルオブジェクトとともに使用される Spry 詳細領域です。

すべての Spry データオブジェクトは、Spry 領域に含まれる必要があります。ページに Spry 領域を追加する前に Spry データオブジェクトを追加しようとすると、Spry 領域を追加するように求めるメッセージが Dreamweaver によって表示されます。初期設定では、Spry 領域は HTML `div` コンテナ内に追加されます。Spry 領域は、テーブルを追加する前に追加することも、テーブルまたはリピートリストを挿入するときに自動で挿入することも、既存のテーブルまたはリピートリストオブジェクトを囲むように挿入することもできます。

詳細領域を追加する場合は、通常、最初にマスターテーブルオブジェクトを追加し、次に「詳細領域を更新」オプションを選択します（動的テーブルレイアウトを参照してください）。詳細領域に固有の値は、Spry 領域の挿入ダイアログボックスの「タイプ」オプションのみです。

1. 挿入／Spry／Spry 領域を選択します。

   挿入パネルの「*Spry*」カテゴリにある「*Spry* 領域」ボタンをクリックする方法もあります。

2. オブジェクトコンテナの場合は、 または オプションを選択します。初期設定では コンテナを使用します。
3. 次のようなオプションがあります。

   - Spry 領域を作成する場合は、挿入する領域のタイプとして「領域」（初期設定）を選択します。
   - Spry 詳細領域を作成する場合は、「詳細領域」を選択します。詳細領域を使用するのは、別の Spry 領域が変更されるのに合わせて更新される動的データをバインドする場合に限られます。

   注意： マスターテーブル領域から、別の * * に詳細領域を挿入する必要があります。コードビューを使用して、挿入ポイントを正確に置く必要がある場合があります。

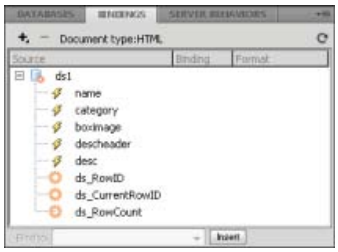
4. メニューから Spry データセットを選択します。
5. オブジェクトに定義された領域を作成または変更する場合は、オブジェクトを選択して次のいずれかを選択します。

   選択範囲を囲む オブジェクトの周囲に新しい領域を配置します。

   選択範囲を置き換え オブジェクトの既存の領域を置き換えます。

6. 「OK」をクリックするとページに領域プレースホルダーが挿入され、「ここに Spry 領域のコンテンツを挿入」というテキストが Dreamweaver によって表示されます。このプレースホルダーテキストは、テーブルやリピートリストなどの Spry データオブジェクトや、バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）にある動的データと置き換えることができます。

   注意： バインディングパネルには、組み込みの *Spry* エレメントである *ds_RowID*、*ds_CurrentRowID*、および *ds_RowCount* も表示されています。これらは、動的詳細領域の更新方法を定義するときにユーザーがクリックした行を定義するために使用されます。



バインディングパネルには、データセットから取得できるデータが表示されます。

7. プレースホルダーテキストを Spry データオブジェクト（Spry テーブルなど）に置き換えるには、挿入パネルの「Spry」カテゴリの対応する Spry データオブジェクトのボタンをクリックします。
8. プレースホルダーテキストを動的データと置き換えるには、次のいずれかの操作を行います。
   - バインディングパネルからエレメントを選択テキストの上部にドラッグします。
   - コードビューで、エレメントのコードを直接入力します。`{dataset-name::element-name}` のフォーマットを使用します。例えば、`{ds1::category}`. または `{dsProducts::desc}` のようにします。ファイル内で 1 つのデータセットのみを使用している場合、またはその領域に対して定義した同じデータセットからのデータエレメントを使用している場合は、データセット名を省略して単に `{category}` または `{desc}` と書くことができます。

   領域のコンテンツを定義するために使用する方法にかかわらず、HTML コードには次の行が追加されます。

```
<div spry:region="ds1">{name}{category}</div>
<div spry:region="ds2">{ds1::name}{ds1::descheader}</div>
```

ページの先頭へ

Spry リピート領域の作成

データを表示するためのリピート領域を追加できます。リピート領域とは、データ表示の必要に合わせてフォーマットを設定できる単純なデータ構造です。例えば、AP `div` エレメントなどのページレイアウトオブジェクト内に写真のサムネールを並べて表示する場合にリピート領域を使用できます。

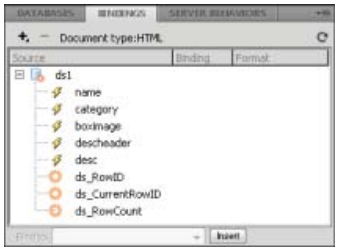
1. 挿入／Spry／Spry 繰り返しを選択します。

   挿入パネルの「*Spry*」カテゴリにある「*Spry* 繰り返し」ボタンをクリックする方法もあります。
2. オブジェクトコンテナの場合は、タグのタイプに応じて または オプションを選択します。初期設定では コンテナを使用します。
3. 「繰り返し」（初期設定）または「子の繰り返し」オプションを選択します。

   高度な柔軟性が必要な場合は、「子の繰り返し」オプションを使用するとよい場合があります。このオプションでは、データ検査が、子レベルで、リストの各行に対して行われます。例えば、*<ul>* リストがある場合、データが *<li>* レベルでチェックされます。「繰り返し」オプションを選択した場合は、データが *<ul>* レベルでチェックされます。「子の繰り返し」オプションが特に役立つのは、コードで条件式を使用する場合です。
4. メニューから Spry データセットを選択します。
5. テキストまたはエレメントがすでに選択されている場合は、これらを囲むか置き換えることができます。
6. 「OK」をクリックするとページにリピート領域が表示されます。

   注意： すべての *Spry* データオブジェクトは領域内に含める必要があるため、リピート領域を挿入する前にページに *Spry* 領域が作成されていることを確認してください。
7. 「OK」をクリックするとページに領域プレースホルダーが挿入され、「ここに Spry 領域のコンテンツを挿入」というテキストが Dreamweaver によって表示されます。このプレースホルダーテキストは、テーブルやリピートリストなどの Spry データオブジェクトや、バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）にある動的データと置き換えることができます。

   注意： バインディングパネルには、組み込みの *Spry* エレメントである *ds_RowID*、*ds_CurrentRowID*、および *ds_RowCount* も表示されています。これらは、動的詳細領域の更新方法を定義するときにユーザーがクリックした行を定義するために使用されます。



バインディングパネルには、データセットから取得できるデータが表示されます。

8. プレースホルダーテキストを Spry データオブジェクトに置き換えるには、挿入パネルの対応する Spry データオブジェクトのボタンをクリックします。
9. プレースホルダーテキストを動的データと置き換えるには、次のいずれかの操作を行います。
   - バインディングパネルからエレメントを選択テキストの上部にドラッグします。
   - コードビューで、エレメントのコードを直接入力します。`{dataset-name::element-name}` のフォーマットを使用します。例えば、`{ds1::category}`. または `{dsProducts::desc}` のようにします。ファイル内で 1 つのデータセットのみを使用している場合、またはその領域に対して定義した同じデータセットからのデータエレメントを使用している場合は、データセット名を省略して単に `{category}` または `{desc}` と書くことができます。

領域のコンテンツを定義するために使用する方法にかかわらず、HTML コードには次のコード行が追加されます。

```
<div spry:region="ds1">{name}{category}</div>
<div spry:region="ds2">{ds1::name}{ds1::descheader}</div>
```

ページの先頭へ

Spry リピートリスト領域の作成

リピートリストを追加して、データを番号リスト、リスト（ブレットリスト）、定義リスト、またはドロップリストとして表示できます。

1. 挿入／Spry／Spry リピートリストを選択します。

   挿入パネルの「*Spry*」カテゴリにある「*Spry* リピートリスト」ボタンをクリックする方法もあります。
2. 使用するコンテナタグ UL、OL、DL、または SELECT を選択します。以降のオプションは、選択するコンテナによって変わります。SELECT を選択した場合は、次のフィールドを定義する必要があります。
   - 表示列: ユーザーがブラウザーでページを表示したときにこれが表示されます。
   - 値列：これは、バックグラウンドサーバーに送信される実際の値です。

   例えば、州のリストを作成し、ユーザーには「アラバマ」および「アラスカ」と表示する一方、サーバーには「AL」または「AK」と送信することができます。SELECT をナビゲーションツールとして使用することもできます。ユーザーには「Adobe Dreamweaver」や「Adobe Acrobat」などの製品名を表示する一方、サーバーには「support/products/dreamweaver.html」や「support/products/acrobat.html」などの URL を送信することもできます。
3. メニューから Spry データセットを選択します。
4. 表示する列を選択します。
5. 「OK」をクリックするとページにリピートリスト領域が表示されます。コードビューでは、HTML 、<ol>、<dl> または FORM 選択タグがファイルに挿入されているのを確認できます。

注意： 領域を作成する前にリピートリスト領域を挿入しようとすると、テーブルを挿入する前にリピートリスト領域を追加するように求めるメッセージが *Dreamweaver* によって表示されます。すべての *Spry* データオブジェクトは、領域内に含まれている必要があります。

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

データベースのレコードの表示

データベースのレコードについて
サーバービヘイビアーとフォーマットエレメント
動的データへの印刷レイアウトエレメントとページレイアウトエレメントの適用
データベースレコードセットの結果の移動
レコードセットナビゲーションバーの作成
カスタムレコードセットナビゲーションバー
ナビゲーションバーのデザインタスク
レコードセットの結果に基づく領域の表示と非表示
複数のレコードセット結果の表示
動的テーブルの作成
レコードカウンターの作成
定義済みデータフォーマットの使用

データベースのレコードについて

トップへ戻る

データベースのレコードを表示するには、データベースまたは他のコンテンツのソースに格納されている情報を取り出して、その情報を Web ページに表示する必要があります。Dreamweaver には、動的コンテンツを表示する数多くの方法が用意されています。また、動的コンテンツの表示効果を高めると同時に、データベースから返された情報をユーザーが簡単に検索してナビゲートできるようにする、サーバービヘイビアーも多数組み込まれています。

データベースや動的コンテンツのその他のソースを利用すると、大規模な情報ストアの検索、ソート、表示で優れた性能と高い柔軟性を得ることができます。大量の情報を保存し、その情報を効果的な方法で取得および表示する必要がある場合は、データベースを使用して Web サイトのコンテンツを保存する方法が有効です。Dreamweaver には、データベースに保存されている情報を効果的に取得し、表示するために、ツールやあらかじめ作成済みのビヘイビアーが用意されています。

サーバービヘイビアーとフォーマットエレメント

トップへ戻る

Dreamweaver には、以下のサーバービヘイビアーとフォーマットエレメントがあります。これらを使用して、動的データの表示効果を高めることができます。

フォーマット 数値、金額、日時、割合（%）など異なる種類の値を動的テキストに適用できます。
例えば、Dreamweaver の「通貨 - 小数点第 2 位」フォーマットを選択すると、レコードセットでは 10.989 と表示される価格データをページでは "$10.99" と表示できます。このフォーマットは数値を小数点以下 2 桁で表示します。数値の小数点以下の桁数が 2 桁を超える場合、データフォーマットは最も近い数値に丸められます。数値に小数点以下の桁がない場合は、小数点と 2 個の 0 が付加されます。

リピート領域 サーバービヘイビアーでは、データベースクエリーから返された複数の項目を表示し、1 ページあたりに表示するレコード数を指定することができます。
レコードセットナビゲーション サーバービヘイビアーでは、ナビゲーションエレメントを挿入できます。このエレメントは、ユーザーが、レコードセットで返された次のレコードセットまたは前のレコードセットに移動できるようにします。例えば、「リピート領域」サーバーオブジェクトで 1 ページあたり 10 個のレコードを表示するように選択している場合に、レコードセットが 40 個のレコードを返したときに、レコードを一度に 10 個ずつナビゲートすることができます。
レコードセットナビゲーションステータス サーバービヘイビアーを使用すると、カウンターを作成して、返されたレコードの総数に対する現在のレコードセットの位置をユーザーに示すことができます。
領域の表示 サーバービヘイビアーでは、現在表示されているレコードの位置や条件に基づいてページに項目を表示するか、または非表示にするかを選択できます。例えば、ユーザーがレコードセット内の最終のレコードに移動した場合、"次のレコードへ移動" というリンクを非表示にし、"前のレコードへ移動" というレコードリンクのみを表示するようにできます。

動的データへの印刷レイアウトエレメントとページレイアウトエレメントの適用

トップへ戻る

Dreamweaver の強力な機能の 1 つに、動的データを構造化されたページに表示し、HTML および CSS を使用して印刷フォーマットを適用する機能があります。Dreamweaver でフォーマットを動的データに適用するには、Dreamweaver のフォーマットツールを使用して、動的データのテーブルおよびプレースホルダーをフォーマットします。データソースからデータを挿入すると、指定したフォント、段落、およびテーブルのフォーマットが自動的に適用されます。

データベースレコードセットの結果の移動

トップへ戻る

レコードセットナビゲーションリンクを使用すると、次のレコードまたはレコードセットへユーザーが移動できるようになります。例えば、一度に 5 件のレコードを表示するページをデザインした後、次の 5 件のレコードまたは前の 5 件のレコードを表示するための "次へ" または "前へ" などのリンクを追加することができます。

レコードセットを移動するための 4 種類のナビゲーションリンク、"先頭のレコードへ移動"、"前のレコードへ移動"、"次のレコードへ移動"、"最終のレコードへ移動" を作成することができます。同一のレコードセットに対して機能するリンクである限り、1 つのページに含めることのできるリンク数に制限はありません。別のレコードセットに対して機能する複数のリンクを同じページに追加することはできません。

レコードセットナビゲーションリンクには、次の動的エレメントが必要です。

- ナビゲート対象のレコードセット
- レコードを表示するためのページの動的コンテンツ
- クリックして操作するナビゲーションバーとして使用するページ上のテキストまたはイメージ
- レコードセット間を移動するためのサーバービヘイビアーの "移動先レコード" セット

  最後の 2 つのエレメントは、「レコードセットナビゲーションバー」サーバーオブジェクトを使用して追加することができます。または、デザインツールとサーバービヘイビアーパネルを使用して別々に追加することもできます。

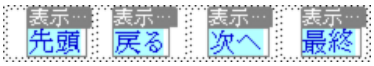
トップへ戻る

レコードセットナビゲーションバーの作成

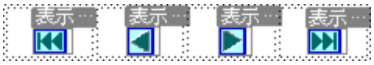
「レコードセットナビゲーションバー」サーバービヘイビアーを使用して、1 回の操作でレコードセットナビゲーションバーを作成することができます。このサーバーオブジェクトは、ページに以下の作成ブロックを追加します。

- テキストまたはイメージのリンクを含む HTML テーブル
- 「（移動先）に移動」サーバービヘイビアーのセット
- 「領域の表示」サーバービヘイビアーのセット

  テキストを使用したレコードセットナビゲーションバーは、次のようになります。

  イメージを使用したレコードセットナビゲーションバーは、次のようになります。

  ページにナビゲーションバーを配置する前に、このページに、ナビゲート対象のレコードセットおよびレコードを表示するページレイアウトが含まれていることを確認します。

  ページにナビゲーションバーを配置した後は、デザインツールを使用してバーを自由にカスタマイズできます。サーバービヘイビアーパネル内の「（移動先）に移動」サーバービヘイビアーおよび「領域の表示」サーバービヘイビアーをダブルクリックして、これらのサーバービヘイビアーを編集することもできます。

  Dreamweaver によってテキストリンクまたはイメージリンクを含むテーブルが作成されます。ユーザーはこのリンクをクリックして選択したレコードセット内をナビゲートできます。レコードセットの先頭のレコードが表示されると、先頭のレコードへ移動および前のレコードへ移動のリンクまたはイメージは非表示になります。レコードセットの最終のレコードが表示されると、次のレコードへ移動および最終のレコードへ移動のリンクまたはイメージは非表示になります。

  ナビゲーションバーのレイアウトは、デザインツールとサーバービヘイビアーパネルでカスタマイズできます。

1. デザインビューで、ページ内のナビゲーションバーを表示する場所に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／データオブジェクト／レコードセットページング／レコードセットナビゲーションバーを選択し、レコードセットナビゲーションバーダイアログボックスを表示します。
3. レコードセットポップアップメニューから、ナビゲート対象のレコードセットを選択します。
4. 「表示」セクションで、ページにナビゲーションリンクを表示するフォーマットを選択し、「OK」をクリックします。
   テキスト テキストリンクをページ上に配置します。

   イメージ グラフィックイメージをリンクとして含めます。Dreamweaver では、独自のイメージファイルが使用されます。バーをページに配置したら、それらのイメージを他のイメージファイルに置き換えることができます。

トップへ戻る

カスタムレコードセットナビゲーションバー

「レコードセットナビゲーションバー」サーバーオブジェクトで作成された単純なテーブルよりも複雑なレイアウトとフォーマットスタイルを使用する独自のレコードセットナビゲーションバーを作成できます。

ユーザー独自のレコードセットナビゲーションバーを作成するには：

- テキストまたはイメージにナビゲーションリンクを作成します。

- デザインビューのページ内にリンクを配置します。
- 個々のサーバービヘイビアーを各ナビゲーションリンクに割り当てます。

この項では、個々のサーバービヘイビアーをナビゲーションリンクに割り当てる方法を説明します。

サーバービヘイビアーの作成とナビゲーションリンクへの割り当て

1. デザインビューで、レコードナビゲーションリンクとして使用するページ上のテキストストリンクまたはイメージを選択します。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）を開いて、「+」ボタンをクリックします。
3. ポップアップメニューで「レコードセットページング」を選択し、表示されるサーバービヘイビアーから、そのリンクに適切なサーバービヘイビアーを選択します。

   レコードセットに大量のレコードが含まれている場合は、ユーザーがリンクをクリックしたときの「最終のレコードへ移動」サーバービヘイビアーの実行に時間がかかる可能性があります。
4. レコードセットポップアップメニューからレコードを含むレコードセットを選択して、「OK」をクリックします。

   サーバービヘイビアーがナビゲーションリンクに割り当てられます。

「（移動先）に移動」（サーバービヘイビアー）ダイアログボックスのオプションの設定

ユーザーがレコードセット内のレコードをナビゲートするためのリンクを追加することができます。

1. ページで何も選択していない場合は、ポップアップメニューでリンクを選択します。
2. ナビゲートするレコードを含むレコードセットを選択して、「OK」をクリックします。
   注意： レコードセットに大量のレコードが含まれている場合は、ユーザーがリンクをクリックしたときの「最終のレコードへ移動」サーバービヘイビアーの実行に時間がかかる可能性があります。

トップへ戻る

ナビゲーションバーのデザインタスク

カスタムナビゲーションバーを作成する場合は、まず Dreamweaver のページデザインツールを使用して外観から作成します。テキストストリングやイメージのリンクを作成する必要はありません。Dreamweaver によって自動的に作成されます。

ナビゲーションバーが作成されるページには、ナビゲート対象のレコードセットが含まれている必要があります。単純なレコードセットナビゲーションバーは次のような外観です。リンクボタンは、イメージまたは他のコンテンツエレメントから作成されます。

レコードセットをページに追加し、ナビゲーションバーを作成したら、個々のサーバービヘイビアーを各ナビゲーションエレメントに適用する必要があります。例えば、標準的なレコードセットナビゲーションバーには、該当するビヘイビアーに一致する以下のリンク表示が含まれます。

ナビゲーションリンク	サーバービヘイビアー
先頭のページに戻る	先頭のページへ移動
前のページに戻る	前のページへ移動
次のページに進む	次のページへ移動
最終のページに進む	最終のページへ移動

トップへ戻る

レコードセットの結果に基づく領域の表示と非表示

また、レコードセットが空であるかどうかに基づいて領域の表示/非表示を指定することもできます。レコードセットが空の場合（例えば、使用するクエリーに一致するレコードが見つからなかった場合）は、レコードが返されなかったことをユーザーに知らせるメッセージを表示することができます。これは、ユーザーがキーワードを入力してクエリーを実行する検索ページを作成するときに役立ちます。同様に、データベースとの接続に問題が生じた場合や、ユーザー名およびパスワードがサーバーによって認識されるユーザー名およびパスワードと一致しない場合に、エラーメッセージを表示することができます。

「領域の表示」サーバービヘイビアーは、以下のとおりです。

- レコードセットが空の場合に表示
- レコードセットが空でない場合に表示
- 先頭のページの場合に表示
- 先頭のページでない場合に表示
- 最終のページの場合に表示

- 最終のページでない場合に表示

1. デザインビューで、表示または非表示にするページの領域を選択します。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で、「+」ボタンをクリックします。
3. ポップアップメニューで「領域の表示」を選択し、表示されるサーバービヘイビアーのいずれかを選択して、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

複数のレコードセット結果の表示

「リピート領域」サーバービヘイビアーでは、ページ内のレコードセットの複数のレコードを表示できます。任意の動的データ選択範囲をリピート領域にすることができます。ただし、通常はテーブル、テーブル行、または複数のテーブル行などをリピート領域にします。

1. デザインビューで、動的コンテンツを含む領域を選択します。

   テーブル、テーブルの行、テキストの段落など、任意の領域を選択できます。

   ページの領域を正確に選択するには、ドキュメントウィンドウの左隅にあるタグセレクターを使用します。例えば、領域がテーブル行の場合は、ページで行の内側をクリックしてから、タグセレクターの一番右にある <tr> タグをクリックしてテーブル行を選択します。
2. ウィンドウ／サーバービヘイビアーを選択して、サーバービヘイビアーパネルを表示します。
3. 「+」ボタンをクリックして、「リピート領域」を選択します。
4. ポップアップメニューから、使用するレコードセットの名前を選択します。
5. 1 ページあたりに表示するレコード数を選択して、「OK」をクリックします。

   ドキュメントウィンドウでは、リピート領域は薄いグレーの枠線で囲まれます。

プロパティインスペクターでのリピート領域の修正

❖ 必要に応じて以下のオプションを変更して、選択したリピート領域を修正します。

- リピート領域の名前
- リピート領域のレコードを保持しているレコードセット。
- 表示するレコード数

  新しいオプションを選択すると、Dreamweaver によってページが更新されます。

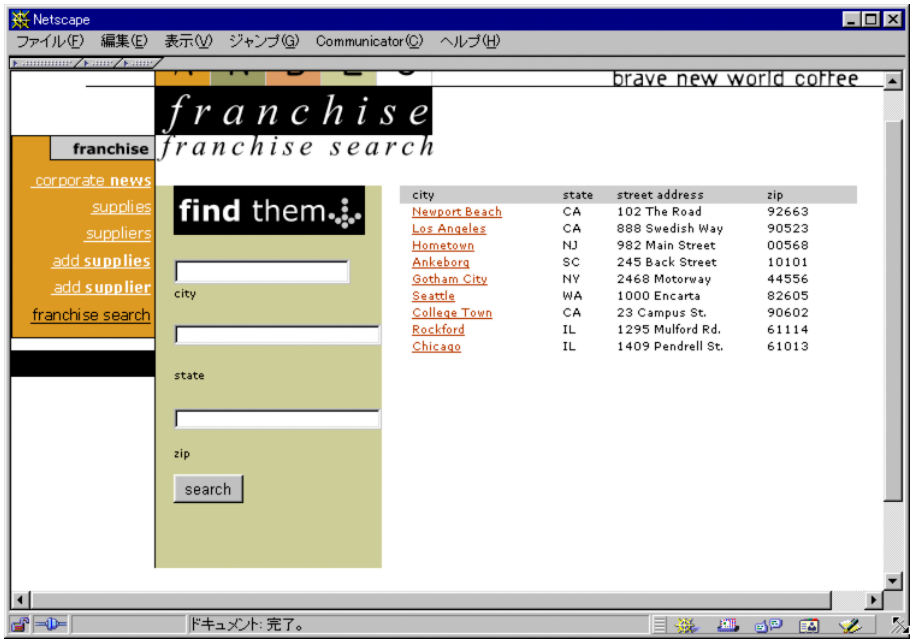
PHP レコードセットの再利用

PHP レコードセットの再利用のチュートリアルについては、David Powers のチュートリアル「How Do I Reuse a PHP Recordset in More Than One Repeat Region?」（英語）を参照してください。

トップへ戻る

動的テーブルの作成

以下の例は、「リピート領域」サーバービヘイビアーをテーブル行に適用する方法を説明しています。この例では、1 ページあたり 9 個のレコードを表示するように指定しています。行には、city、state、street、zip code の 4 つの異なるレコードが表示されます。



前の例のようなテーブルを作成するには、動的コンテンツを含むテーブルを作成し、「リピート領域」サーバービヘイビアーを動的コンテンツが含まれるテーブル行に適用する必要があります。ページがアプリケーションサーバーによって処理される場合、行が「リピート領域」サーバーオブジェクトで指定した回数だけ繰り返され、異なるレコードがそれぞれの新しい行に挿入されます。

1. 以下のいずれかの操作を行って、動的テーブルを挿入します。
   - 挿入／データオブジェクト／動的データ／動的テーブルを選択して、動的テーブルダイアログボックスを表示します。
   - 挿入パネルの「データ」カテゴリで「動的データ」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから動的テーブルアイコンを選択します。
2. レコードセットポップアップメニューからレコードセットを選択します。
3. 1 ページあたりに表示するレコード数を選択します。
4. （オプション）テーブルボーダー、セル内余白、セル内間隔の値を入力します。

   動的テーブルダイアログボックスでは、テーブルボーダー、セル内余白、およびセル内間隔について入力した値が保持されます。

   注意： 同じ外観の複数の動的テーブルを必要とするプロジェクトで作業している場合は、テーブルレイアウト値を入力することにより、より簡単にページを作成することができます。これらの値は、テーブルを挿入した後、テーブルのプロパティインスペクターを使用して調整できます。
5. 「OK」をクリックします。

   関連するレコードセット内で定義されている動的コンテンツのテーブルとプレースホルダーがページ内に挿入されます。

この例では、レコードセットに AUTHORID、FIRSTNAME、LASTNAME、および BIO の 4 つの列が含まれています。テーブルの見出し行に、それぞれの列の名前が入力されています。この見出しは、説明文を入れて編集したり、内容を表すイメージに置き換えたりできます。

トップへ戻る

レコードカウンターの作成

レコードカウンターは、ユーザーがレコードセットをナビゲートしているときに参照ポイントとして使用されます。通常、レコードカウンターには、返されたレコードの総数と、表示されている現在レコードの数が表示されます。例えば、レコードセットが 40 個の個別レコードを返し、1 ページあたり 8 個のレコードが表示される場合、最初のページのレコードカウンターには、"全 40 件中 1-8 のレコードを表示" のように表示されます。

レコードカウンターをページに作成する前に、そのページのレコードセット、動的コンテンツを含む適切なページレイアウト、およびレコードセットナビゲーションバーを作成する必要があります。

簡単なレコードカウンターの作成

レコードカウンターを使用すると、返されたレコードの総数に対する現在のレコードセットの位置をユーザーに示すことができます。したがって、Web ページを使用しやすくする上で、レコードカウンターは有効なビヘイビアーです。

「レコードセットナビゲーションステータス」サーバーオブジェクトを使用して、簡単なレコードカウンターを作成します。このサーバーオブジェクトは、ページにテキスト入力項目を作成し、現在のレコードステータスを表示します。レコードカウンターは、Dreamweaver のページデザインツールを使用してカスタマイズできます。

1. レコードカウンターを挿入する位置に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／データオブジェクト／レコードカウントの表示／レコードセットナビゲーションステータスを選択し、レコードセットポップアップメニューからレコードセットを選択して、「OK」をクリックします。

   「レコードセットナビゲーションステータス」サーバーオブジェクトは、次の例に示すようなテキストレコードカウンターを挿入します。

   {Employees_first} ～ {Employees_last} 件 / 全 {Employees_total} 件

   ライブビューでは、このカウンターは次の例のように表示されます。

   1 ～ 1 件 / 全 22 件

レコードカウンターの作成とページへの追加

❖ レコードセットナビゲーションステータスの挿入ダイアログボックスで、カウンターの対象とするレコードセットを選択し、「OK」をクリックします。

カスタムレコードカウンターの作成

個々のレコードカウントビヘイビアーを使用して、カスタムレコードカウンターを作成します。カスタムレコードカウンターの作成では、「レコードセットステータス」サーバーオブジェクトによって挿入される単純な 1 行のテーブルとは異なる、詳細なレコードカウンターを作成できます。様々な独創的な方法でデザインエレメントを配列し、適切なサーバービヘイビアーを各エレメントに適用します。

レコードカウントサーバービヘイビアーは、以下のとおりです。

- 開始レコード番号を表示
- 終了レコード番号を表示
- 合計レコード数を表示

カスタムレコードカウンターをページに作成する前に、まずそのページのレコードセット、動的コンテンツを含む適切なページレイアウト、およびレコードセットナビゲーションバーを作成する必要があります。

この例で作成するレコードカウンターは、「簡単なレコードカウンター」の例に似ています。この例では、sans-serif フォントを使用しているテキストは、ページに挿入されるレコードカウンターのプレースホルダーを表しています。この例のレコードカウンターは以下のように表示されます。

StartRow - EndRow のレコードを全 RecordSet.RecordCount 件中から表示。

1. デザインビューで、ページに表示するカウンターのテキストを入力します。次の例のように、任意のテキストを指定できます。

   ```
   Displaying records thru of .
   ```

2. 挿入ポイントを "全" と "件" の間に置きます。
3. ウィンドウ／サーバービヘイビアーを選択して、サーバービヘイビアーパネルを開きます。
4. 左上隅の「+」ボタンをクリックし、「レコードカウントの表示」をクリックします。このサブメニュー内で、「合計レコードを表示」を選択します。「合計レコードを表示」ビヘイビアーがページに挿入され、プレースホルダーが挿入ポイントを置いた場所に挿入されます。テキストストリングは、次のように表示されます。

   ```
   Displaying records thru of {Recordset1.RecordCount}.
   ```

5. 挿入ポイントを単語 records の後に置き、「サーバービヘイビアー」を選択して「+」ボタンをクリックし、表示されたレコードカウントの表示パネルで「開始レコード番号を表示」を選択します。テキストストリングは、次のように表示されます。

   ```
   Displaying records {StartRow_Recordset1} thru of {Recordset1.RecordCount}.
   ```

6. ここで、挿入ポイントを単語 thru と of の間に置き、「サーバービヘイビアー」を選択して「+」ボタンをクリックし、表示されたレコードカウントの表示パネルで「終了レコード番号を表示」を選択します。テキストストリングは、次のように表示されます。

   ```
   Displaying records {StartRow_Recordset1} thru {EndRow_Recordset1} of{Recordset1.RecordCount}.
   ```

7. ライブビューでページを表示して、カウンターが正常に機能していることを確認します。正常に機能するカウンターでは、以下のように表示されます。

   ```
   Displaying records 1 thru 8 of 40.
   ```

   結果ページに、次のレコードセットへ移動するためのナビゲーションリンクがある場合は、リンクをクリックするとレコードカウンターが更新され、次のように表示されます。

   ```
   Showing records 9 thru 16 of 40.
   ```

トップへ戻る

定義済みデータフォーマットの使用

Dreamweaver には、いくつかの定義済みデータフォーマットが付属しています。これらのフォーマットは、動的データエレメントに適用することができます。データフォーマットのスタイルには、日時、通貨、数値、および割合（%）のフォーマットがあります。

データフォーマットの動的コンテンツへの適用

1. ドキュメントウィンドウで、動的コンテンツのプレースホルダーを選択します。
2. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを表示します。
3. 「フォーマット」列の下向き矢印ボタンをクリックします。

   下向きの矢印が表示されていないときは、パネルを拡大してください。

4. フォーマットポップアップメニューから、使用するデータフォーマットカテゴリを選択します。

   データフォーマットが、データのタイプに適したフォーマットであることを確認します。例えば、動的データが数字でない場合、「通貨」フォーマットは機能しません。また、同一のデータに複数のフォーマットを適用することはできません。

5. ライブビューでページをプレビューして、フォーマットが正しく適用されたことを確認します。

データフォーマットのカスタマイズ

1. デザインビューで、動的データが含まれているページを開きます。
2. フォーマットをカスタマイズする動的データを選択します。

   選択された動的データを含むバインドデータ項目が、バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）でハイライト表示されます。このパネルには選択した項目の「バインディング」列および「フォーマット」列が表示されます。「フォーマット」列が表示されていないときは、バインディングパネルの幅を広げてください。
3. バインディングパネルで「フォーマット」列内の下向き矢印をクリックすると、使用可能なデータフォーマットのポップアップメニューが表示されます。

   下向きの矢印が表示されていないときは、バインディングパネルの幅を広げてください。
4. ポップアップメニューから、「フォーマットリストの編集」を選択します。
5. ダイアログボックスの入力を完了させ、「OK」をクリックします。
   a. リストからフォーマットを選択し、「編集」をクリックします。
   b. 必要に応じて、「通貨」、「数値」、または%ダイアログボックスで以下のパラメーターを変更し、「OK」をクリックします。
      - 小数点以下の表示桁数
      - 端数の場合に先頭にゼロを付けるかどうか
      - 負の値に対しカッコを使用するか、マイナス記号を使用するかどうか
      - 桁を区切るかどうか
   c. データフォーマットを削除するには、リスト内のフォーマットをクリックして、「-」ボタンをクリックします。

データフォーマットの作成（**ASP** のみ）

1. デザインビューで、動的データが含まれているページを開きます。
2. カスタムフォーマットを作成する動的データを選択します。
3. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを開き、「フォーマット」列の下向き矢印をクリックします。下向きの矢印が表示されていないときは、パネルを拡大してください。
4. ポップアップメニューから、「フォーマットリストの編集」を選択します。
5. 「+」ボタンをクリックし、フォーマットタイプを選択します。
6. フォーマットを定義し、「OK」をクリックします。
7. 新しいフォーマット名を「名前」列に入力し、「OK」をクリックします。
   注意： Dreamweaver では、ASP ページのデータフォーマットの作成がサポートされるだけですが、ColdFusion および PHP ユーザーは他の開発者が作成したフォーマットをダウンロードすることができます。または、サーバーフォーマットを作成して Dreamweaver Exchange に POST することができます。サーバーフォーマット API について詳しくは、『Dreamweaver 拡張ガイド』（ヘルプ／Dreamweaver 拡張ガイド ／サーバーフォーマット）を参照してください。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

メディアクエリーの作成

メディアクエリーを使用すると、報告されたデバイス特性に基づいて CSS ファイルを指定できます（レスポンシブデザイン）。メディアクエリーはデバイス上のブラウザーによってチェックされ、対応する CSS ファイルが Web ページの表示に使用されます。

例えば、次のメディアクエリーでは、幅が 300 〜 320 ピクセルのデバイスに対して **phone.css** ファイルが指定されています。

```
<link href="css/orig/phone.css" rel="stylesheet" type="text/css" media="all and (min-width: 300px) and (max-width: 320px)">
```

メディアクエリーについて詳しくは、アドビデベロッパーセンターの Don Booth の記事（www.adobe.com/go/learn_dw_medquery_don_jp）を参照してください。

W3C のメディアクエリーについて詳しくは、www.w3.org/TR/css3-mediaqueries/ を参照してください。

メディアクエリーの作成
既存のメディアクエリーファイルの使用
サイト全体のメディアクエリーファイルの切り替え
メディアクエリーに基づく Web ページの表示

参照項目：

- 可変グリッドレイアウトによるレスポンシブデザイン

ページの先頭へ

メディアクエリーの作成

Dreamweaver では、サイト全体のメディアクエリーファイルを作成することも、ドキュメント固有のメディアクエリーを作成することもできます。

サイト全体のメディアクエリーファイル

サイト内でこのファイルをインクルードしているすべてのページに適用される表示設定を指定します。

サイト全体のメディアクエリーファイルは、そのサイトのメディアクエリーすべてに関する中央リポジトリとして機能します。このファイルを作成した後は、表示のためにファイル内でメディアクエリーを使用することが必要なサイト内のページに、サイト全体のメディアクエリーファイルへのリンクを作成します。

ドキュメント固有のメディアクエリー

この種のメディアクエリーはドキュメント内に直接挿入します。ページの表示は、そのページに挿入したメディアクエリーに基づいて実行されます。

1. Web ページを作成します。
2. 修正／メディアクエリーを選択します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - サイト全体のメディアクエリーファイルを作成するには、「サイト全体のメディアクエリーファイル」を選択します。
   - ドキュメント固有のメディアクエリーを作成するには、「現在のドキュメント」を選択します。
4. サイト全体のメディアクエリーを作成する場合は、次の操作を実行します。
   a. 「指定」をクリックします。
   b. 「新規ファイルを作成」を選択します。
   c. ファイル名を指定して「OK」をクリックします。
5. デバイスによっては、報告してくる幅の情報が実際の幅と一致しない可能性があります。必ず実際どおりの幅を報告することをデバイスに対して強制するには、「実際の幅をレポートするようデバイスに強制する」オプションを有効にする必要があります。

   これを有効にすると、次のコードがファイルに挿入されます。

   ```
   <meta name="viewport" content="width=device-width">
   ```

6. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 「+」をクリックし、メディアクエリーファイルのプロパティを定義します。
   - 標準的なプリセットを基にして設定を開始する場合は、「デフォルトプリセット」をクリックします。
7. 表内の行を選択し、「プロパティ」でそれらの行のプロパティを編集します。

   説明 指定の CSS ファイルを使用するデバイスの説明です。例えば、携帯電話、テレビ、タブレットなどの説明を入力します。

   最小幅、最大幅 デバイスから報告された幅の値が指定の範囲内である場合に、この CSS ファイルを使用します。

   注意： デバイスに対して幅の範囲を明示的に指定しない場合は、「最小幅」と「最大幅」のいずれかを空白にしておきます。例えば、幅 *320px* 以下の携帯電話をターゲットにする場合は「最小幅」を指定しないことがよくあります。

   CSS ファイル 「既存のファイルを使用」を選択し、該当するデバイス用の CSS ファイルを選択します。

   使用する CSS ファイルをまだ作成していない場合は、「新規ファイルを作成」を選択します。CSS ファイルの名前を入力します。「OK」をクリックするとファイルが作成されます。
8. 「OK」をクリックします。
9. サイト全体のメディアクエリーに、新しいファイルが作成されます。ファイルを保存します。

サイト全体のメディアクエリー：既存のページについては、使用するメディアクエリーファイルを、すべてのページの <head> タグでインクルードする必要があります。

次の例は、www.adobe.com/jp サイト全体のメディアクエリーファイル mediaquery_adobedotcom.css に対するメディアクエリーリンクを示しています。

```
<link href="mediaquery_adobedotcom.css" rel="stylesheet" type="text/css">
```

ページの先頭へ

既存のメディアクエリーファイルの使用

1. 新しい Web ページを作成するか、既存のページを開きます。
2. 修正／メディアクエリーを選択します。
3. 「サイト全体のメディアクエリーファイル」を選択します。
4. 「指定」をクリックします。
5. メディアクエリーの CSS ファイルを作成済みの場合は、「既存のファイルを使用」を選択します。
6. 参照アイコンをクリックし、ファイルを選択して指定します。「OK」をクリックします。
7. 「サイト全体のメディアクエリーファイル」を選択します。
8. 必ず実際どおりの幅を報告することをデバイスに対して強制するには、「実際の幅をレポートするようデバイスに強制する」オプションを有効にする必要があります。これを有効にすると、次のコードがファイルに挿入されます。

   ```
   <meta name="viewport" content="width=device-width">
   ```
9. 「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

サイト全体のメディアクエリーファイルの切り替え

前にメディアクエリーダイアログボックスで指定したサイト全体のメディアクエリーファイルを別のファイルに切り替えるには、次の手順を実行します。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトの管理ダイアログボックスで、サイトを選択します。
3. 「編集」をクリックします。サイト定義ダイアログボックスが表示されます。

4. 左側のパネルで、「詳細設定」の「ローカル情報」を選択します。
5. 右側のパネルで、「サイト全体のメディアクエリーファイル」の「参照」をクリックし、メディアクエリー CSS ファイルを選択します。

   注意： サイト全体のメディアクエリーファイルを切り替えても、その他のメディアクエリーファイルや以前のサイト全体のメディアクエリーファイルにリンクしているドキュメントは影響を受けません。
6. 「保存」をクリックします。

ページの先頭へ

メディアクエリーに基づく Web ページの表示

メディアクエリーで指定されているサイズは、マルチスクリーンボタンのウィンドウサイズオプションに表示されます。メニューからサイズを選択すると、表示が次のように変化します。

- サイズの指定を反映して、ビューのサイズが変更されます。ドキュメントのフレームサイズは変更されません。
- メディアクエリーで指定されている CSS ファイルがページの表示に使用されます。

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

カラー

Web セーフカラー
カラーピッカーの使用

Web セーフカラー

トップへ戻る

HTML では、カラーは 16 進数値（#FF0000 など）またはカラーの名前（red）で表します。Web セーフカラーとは、256 色モードの Windows システムおよび Mac OS システムにおいて、Safari と Microsoft Internet Explorer のどちらでも同様に表示される色です。従来は、Web セーフカラーは 216 色あり、00、33、66、99、CC、または FF（RGB 値はそれぞれ 0、51、102、153、204、255）の対を組み合わせた 16 進数の値が Web セーフカラーを表すと考えられていました。

テストの結果、Web セーフカラーは 216 色ではなく、212 色しかないことがわかりました。Windows の Internet Explorer では、#0033FF（0、51、255）、#3300FF（51、0、255）、#00FF33（0、255、51）、および #33FF00（51、255、0）が正確に再現されないからです。

Web ブラウザーが初めて登場した当時、多くのコンピューターで表示できるカラーは 256 色（8 bpc（ビット/チャネル））までした。現在では、大多数のコンピューターは数千色から数百万色（16 bpc および 32 bpc）を表示できます。したがって、最近のコンピューターシステムを使用しているユーザー向けにサイトを開発するのであれば、ブラウザーセーフカラーパレットを使用する必要性がほとんどありません。

Web セーフカラーパレットを使用する理由の 1 つとして、PDA や携帯電話のディスプレイなど、コンピューター以外の Web デバイス向けに開発する場合が考えられます。こうしたデバイスの多くに装備されているディスプレイは、モノクロ（1 bpc）または 256 色（8 bpc）であるためです。

Dreamweaver のカラーキューブパレット（初期設定）および連続したトーンパレットでは、216 色の Web セーフパレットを使用します。これらのパレットからカラーを選択すると、カラーの 16 進数値が表示されます。

Web セーフ範囲外のカラーを選択するには、Dreamweaver カラーピッカーの右上隅にあるカラーホイールボタンをクリックして、システムカラーピッカーを開きます。システムカラーピッカーでは、Web セーフカラー以外のカラーも選択できます。

ブラウザーの UNIX 版では、Windows 版および Mac OS 版とは異なるカラーパレットを使用します。UNIX ブラウザー（または、24 bpc のモニターを使用する Windows または Mac OS のユーザーや、8 bpc のモニターを使用する UNIX ユーザー）のみを対象として設計している場合は、SunOS 向けの Web セーフカラーを生成する 00、40、80、BF、または FF の対を組み合わせた 16 進数値の使用を検討してください。

カラーピッカーの使用

トップへ戻る

Dreamweaver では、ほとんどのダイアログボックス、および多くのページエレメントに対応するプロパティインスペクターにカラーボックスがあり、クリックするとカラーピッカーが開きます。カラーピッカーを使用して、ページエレメントのカラーを選択します。また、ページエレメントの初期設定のテキストカラーを設定できます。

1. ダイアログボックスまたはプロパティインスペクターで、カラーボックスをクリックします。

   カラーピッカーが表示されます。

2. 次のいずれかの操作を実行します。

   - スポイトを使用して、パレットからカラー見本を選択します。カラーキューブパレット（初期設定）および連続したトーンパレットのカラーはすべて Web セーフですが、他のパレットは Web セーフではありません。
   - スポイトを使用して、画面上の任意の位置からカラーを選択します。Dreamweaver のウィンドウの外から選択することもできます。デスクトップや他のアプリケーションからカラーを選択するには、マウスボタンを押したままにします。これにより、スポイトは Dreamweaver の外でもフォーカスを失わず、カラーを選択できるようになります。デスクトップや他のアプリケーションをクリックすると、Dreamweaver により、クリックした場所のカラーが選択されます。ただし、他のアプリケーションに切り替えた場合は、Dreamweaver ウィンドウをクリックする必要があります。これにより、Dreamweaver で作業を続けることができます。
   - カラーの選択範囲を拡張するには、カラーピッカーの右上隅にあるポップアップメニューを使用します。「カラーキューブ」、「連続したトーン」、「Windows OS」、「Mac OS」、および「グレースケール」を選択できます。

     注意： カラーキューブパレットおよび連続したトーンパレットは Web セーフですが、「Windows OS」、「Mac OS」および「グレースケール」は Web セーフではありません。
   - 別のカラーを選択せずに現在のカラーをクリアするには、「カラーの指定なし」ボタン ⊘ をクリックします。
   - システムカラーピッカーを開くには、カラーホイールボタン ● をクリックします。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry フレームワークについて

注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

Spry フレームワークは、豊かなサイト体験が得られる Web ページの作成を可能にする JavaScript ライブラリです。Spry では、HTML、CSS、および最小限の JavaScript を使用して、XML データを HTML ドキュメントに組み込むことや、アコーディオンやメニューバーなどの Widget を作成することや、様々なページエレメントに多彩な効果を追加することができます。Spry フレームワークは、HTML、CSS、および JavaScript の基礎的な知識があれば容易にマークアップを使用できるように設計されています。

Spry フレームワークは、主にプロの Web デザイナーや上級のノンプロ Web デザイナーを対象としています。企業レベルの Web 開発で使用される完全装備型 Web アプリケーションフレームワークとしては設計されていません。ただし、他の企業レベルページと組み合わせて使用することはできます。

詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_spryframework_jp を参照してください。

アドビは次の機能も推奨します。

- Spry デベロッパーガイド

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS

Dreamweaver での CSS3 を使用したページのデザイン
Janine Warner (2011/02/24)
チュートリアル

Dreamweaver CS5 : CSS インスペクト
Geoff Blake (2010/04/23)
ビデオチュートリアル

Contribute サイトでの CSS スタイルシートの更新

注意： *Dreamweaver CC* 以降では、*CSS* スタイルパネルが *CSS* デザイナーに置き換えられています。詳しくは、*CSS* デザイナーを参照してください。

Adobe Contribute ユーザーは、CSS スタイルシートを変更できません。Contribute サイト用のスタイルシートを変更するには、Dreamweaver を使用します。

1. Dreamweaver のスタイルシート編集ツールを使用してスタイルシートを編集します。
2. サイト上で作業している Contribute ユーザー全員に、そのスタイルシートを使用しているページをパブリッシュし、それらのページを再度編集して新しいスタイルシートを表示するように指示します。

Contribute サイトのスタイルシートを更新する際には、以下の点に注意してください。

- スタイルシートを変更する際に、Contribute ユーザーがそのスタイルシートを使用しているページを編集中の場合、スタイルシートに加えた変更は、そのページをパブリッシュするまでユーザーに表示されません。
- スタイルシートからスタイルを削除しても、そのスタイルシートを使用しているページにあるスタイル名は削除されません。しかし、そのスタイルは既に存在しないため、そのページは Contribute ユーザーが意図したとおりには表示されません。したがって、特定のスタイルを適用しても、そのスタイルが反映されないとユーザーから報告があった場合は、そのスタイルがスタイルシートから削除されていることが原因の可能性があります。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS プロパティの設定

Dreamweaver CC 以降では、CSS スタイルパネルが CSS デザイナーに置き換えられています。詳しくは、「CSS デザイナー」を参照してください。

テキストのフォント、背景イメージと背景色、間隔とレイアウトプロパティ、リストのエレメントの外観など、CSS ルールのプロパティを定義することができます。最初に新しいルールを作成し、次に以下のいずれかのプロパティを設定します。

CSS タイププロパティの定義
CSS スタイルの背景プロパティの定義
CSS スタイルのブロックプロパティの定義
CSS スタイルのボックスプロパティの定義
CSS スタイルのボーダープロパティの定義
CSS スタイルのリストプロパティの定義
CSS スタイルの位置プロパティの定義
CSS スタイルの拡張プロパティの定義

ページの先頭へ

CSS タイププロパティの定義

CSS ルール定義ダイアログボックスの「タイプ」カテゴリを使用して、CSS スタイルの基本的なフォントおよびタイプの設定を定義します。

1. CSS スタイルパネルが開いていない場合は、Shift + F11 キーを押して開きます。
2. CSS スタイルパネルの上部ペインで既存のルールまたはプロパティをダブルクリックします。
3. CSS ルール定義ダイアログボックスで「タイプ」を選択し、スタイルプロパティを設定します。

   以下のプロパティは、このスタイルにおいて重要でない場合は空白にしておきます。

   Font-family スタイルのフォントファミリーを 1 つまたは複数設定します。ブラウザーのテキストに使用されるのは、リストにあるフォントのうち、ユーザーのシステムにインストールされている最初のフォントです。Internet Explorer でも表示できるようにするには、最初に Windows のフォントを指定してください。フォント属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   Font-size テキストのサイズを定義します。数値とサイズ単位を選択して特定のサイズを選択することも、相対的なサイズを選択することもできます。ピクセルを使用すると、ブラウザーでテキストが変形されなくなります。サイズ属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   Font-style フォントスタイルとして「normal」、「italic」、または「oblique」を指定します。初期設定は「normal」です。スタイル属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   Line-height テキストが配置される行の高さを設定します。この設定は一般に行間と呼ばれます。「normal」を選択すると、フォントサイズに適した高さが自動的に計算されます。または、正確な数値を入力し、使用する単位を選択します。ラインの高さ属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   Text-decoration テキストにアンダーライン、オーバーライン、または取り消し線を付けます。テキストを点滅させることもできます。標準テキストの初期設定は「none」です。リンクの初期設定は「underline」です。このオプションを「none」に設定すると、特別なクラスを定義することによって、リンクからアンダーラインを削除できます。飾り属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   Font-weight 特定または相対的な太さをフォントに適用します。「normal」は 400、「bold」は 700 に相当します。ウエイト属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   Font-variant テキストにスモールキャプスを設定します。Dreamweaver のドキュメントウィンドウでは、この属性は表示されません。バリアント属性は、Internet Explorer ではサポートされていますが、Netscape Navigator ではサポートされていません。

   Text-transform 選択範囲の各単語の最初の文字を大文字にするか、あるいはテキストのすべての文字を大文字または小文字にするかを設定します。大文字/小文字属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   Color テキストカラーを設定します。カラー属性は、両方のブラウザーでサポートされています。
4. オプションの設定が終了したら、パネルの左側で別の CSS カテゴリを選択してさらにスタイルプロパティを設定するか、「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS スタイルの背景プロパティの定義

CSS ルール定義ダイアログボックスの「背景」カテゴリを使用して、CSS スタイルの背景設定を定義します。背景プロパティは、Web ページの任意のエレメントに適用できます。例えば、テキスト、テーブル、ページなどのページエレメントの背後に背景色や背景イメージを追加するスタイルを作成できます。また、背景イメージの位置も設定できます。

1. CSS スタイルパネルが開いていない場合は、Shift + F11 キーを押して開きます。
2. CSS スタイルパネルの上部ペインで既存のルールまたはプロパティをダブルクリックします。
3. CSS ルール定義ダイアログボックスで「背景」を選択し、必要なスタイルプロパティを設定します。

   以下のプロパティは、このスタイルにおいて重要でない場合は空白にしておきます。

   背景色 エレメントの背景色を指定します。背景色属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   背景イメージ エレメントの背景イメージを指定します。背景イメージ属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   Background-repeat 背景イメージの繰り返しの有無と、繰り返しの方法を指定します。リピート属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   - 「no-repeat」を選択すると、イメージはエレメントの開始位置に 1 回表示されます。
   - 「repeat」を選択すると、エレメントの背後にイメージが水平および垂直方向にタイル状に表示されます。
   - 「repeat-x」または「repeat-y」を選択すると、イメージが水平または垂直方向に帯状に表示されます。イメージは、エレメントの境界内に収まるように切り抜かれます。

   注意 : 「*repeat*」プロパティを使用して *body* タグを再定義すると、繰り返しのない背景イメージを設定できます。

   背景の固定 背景イメージを元の場所に固定するか、コンテンツと共にスクロールするかを指定します。ブラウザーによっては、「fixed」オプションを指定しても「scroll」と同様に処理されることがあります。この属性は Internet Explorer ではサポートされていますが、Netscape Navigator ではサポートされていません。

   Background-position（X)、Background-position（Y) 背景イメージを最初に配置する位置を、エレメントを基準として指定します。このオプションを使用して、背景イメージをページの縦方向（Y）中央および横方向（X）中央に揃えることができます。添付プロパティが「fixed」の場合は、この位置はエレメントではなくドキュメントウィンドウが基準になります。
4. オプションの設定が終了したら、パネルの左側で別の CSS カテゴリを選択してさらにスタイルプロパティを設定するか、「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS スタイルのブロックプロパティの定義

CSS ルール定義ダイアログボックスの「ブロック」カテゴリを使用して、タグとプロパティの間隔および整列を定義します。

1. CSS スタイルパネルが開いていない場合は、Shift + F11 キーを押して開きます。
2. CSS スタイルパネルの上部ペインで既存のルールまたはプロパティをダブルクリックします。
3. CSS ルール定義ダイアログボックスで「ブロック」を選択し、以下のいずれかのスタイルプロパティを設定します。以下のプロパティは、このスタイルにおいて重要でない場合は空白にしておきます。

   Word-sapcing 単語間のスペースを設定します。特定の値を指定するには、ポップアップメニューから「（value）」を選択し、数値を入力します。2 つ目のポップアップメニューで、単位（ピクセル、ポイントなど）を選択します。

   注意 : 負の値を入力することもできますが、表示はブラウザーに依存します。*Dreamweaver* のドキュメントウィンドウでは、この属性は表示されません。

   Letter-spacing 文字間のスペースを拡張または縮小します。文字間のスペースを縮小するには、負の値（-4 など）を指定します。文字間隔の設定は、テキストの行揃え設定に優先します。文字間隔属性は、Internet Explorer 4 以降および Netscape Navigator 6 でサポートされています。

   Vertical-align このオプションを適用するエレメントの縦方向の整列を指定します。Dreamweaver では、この属性は `<img>` タグに適用された場合にのみ、ドキュメントウィンドウに表示されます。

   Text-align エレメント内のテキストの整列方法を指定します。テキストの行揃え属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   Text-indent テキストの最初の行をどれだけインデントするかを指定します。負の値を入力してインデントを解除することもできますが、表示はブラウザーに依存します。Dreamweaver では、この属性はタグがブロックレベルのエレメントに適用された場合にのみ、ドキュメントウィンドウに表示されます。テキストインデント属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   White-space エレメント内のホワイトスペースの処理方法を指定します。次の 3 つのオプションから選択します。「normal」を選択すると、ホワイトスペースは表示されません。「pre」を選択すると、テキストは `pre` タグに囲まれているものとして処理されます。したがって、スペース、タブ、リターンなどのすべてのホワイトスペースが残ります。「nowrap」を選択した場合は、`br` タグの位置でのみテキスト

が折り返されます。Dreamweaver のドキュメントウィンドウでは、この属性は表示されません。White-space 属性は、Netscape Navigator および Internet Explorer 5.5 でサポートされています。

Display エレメントの表示または非表示、およびエレメントの表示方法を指定します。「none」を選択すると、エレメントは非表示になります。

4. オプションの設定が終了したら、パネルの左側で別の CSS カテゴリを選択してさらにスタイルプロパティを設定するか、「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS スタイルのボックスプロパティの定義

CSS ルール定義ダイアログボックスの「ボックス」カテゴリを使用して、ページ上のエレメントの配置を制御するタグおよびプロパティの設定を定義します。

余白およびマージンを適用する場合は、エレメントの個々の辺に設定を適用できます。また、「すべて同一」を使用して、エレメントのすべての辺に同じ設定を適用することもできます。

1. CSS スタイルパネルが開いていない場合は、Shift + F11 キーを押して開きます。
2. CSS スタイルパネルの上部ペインで既存のルールまたはプロパティをダブルクリックします。
3. CSS ルール定義ダイアログボックスで「ボックス」を選択し、以下のいずれかのスタイルプロパティを設定します。以下のプロパティは、このスタイルにおいて重要でない場合は空白にしておきます。

   幅および高さ エレメントの幅と高さを設定します。

   フロート フローティングエレメントのどちら側に他のエレメントを配置するかを指定します。フローティングエレメントはフロート側に固定され、周囲の他のコンテンツはその反対側に配置されます。

   例えば、右にフローティングするイメージは右側に固定され、その後に追加したコンテンツはイメージの左側に配置されます。

   詳しくは、http://css-tricks.com/all-about-floats/ を参照してください。

   クリア エレメントのどちら側に他のフローティングエレメントを配置しないかを指定します。

   余白 エレメントの内容とそのボーダー（ボーダーがない場合はマージン）との間のスペースの量を指定します。「すべて同一」オプションをオフにすると、エレメントのそれぞれの辺の余白を設定できます。

   すべて同一 オンにすると、エレメントの上下左右に同じ余白プロパティが適用されます。

   マージン エレメントのボーダー（ボーダーがない場合は余白）と他のエレメントとの間のスペースの量を指定します。Dreamweaver では、この属性はブロックレベルのエレメント（段落、見出し、リストなど）に適用された場合にのみドキュメントウィンドウに表示されます。「すべて同一」オプションをオフにすると、エレメントのそれぞれの辺のマージンを設定できます。

   すべて同一 オンにすると、エレメントの上下左右に同じマージンプロパティが適用されます。

4. オプションの設定が終了したら、パネルの左側で別の CSS カテゴリを選択してさらにスタイルプロパティを設定するか、「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS スタイルのボーダープロパティの定義

CSS ルール定義ダイアログボックスの「ボーダー」カテゴリを使用して、エレメントを囲むボーダーの幅、カラー、スタイルなどの設定を定義します。

1. CSS スタイルパネルが開いていない場合は、Shift + F11 キーを押して開きます。
2. CSS スタイルパネルの上部ペインで既存のルールまたはプロパティをダブルクリックします。
3. CSS ルール定義ダイアログボックスで「ボーダー」を選択し、以下のいずれかのスタイルプロパティを設定します。以下のプロパティは、このスタイルにおいて重要でない場合は空白にしておきます。

   タイプ ボーダーのスタイルの表示方法を設定します。スタイルの表示方法は、ブラウザーに依存します。「すべて同一」オプションをオフにすると、エレメントのそれぞれの辺のボーダースタイルを設定できます。

   すべて同一 オンにすると、エレメントの上下左右に同じボーダーのスタイルプロパティが適用されます。

   幅 エレメントのボーダーの太さを設定します。幅属性は、両方のブラウザーでサポートされています。「すべて同一」オプションをオフにすると、エレメントのそれぞれの辺のボーダー幅を設定できます。

   すべて同一 オンにすると、エレメントの上下左右に同じボーダー幅が適用されます。

   カラー ボーダーのカラーを指定します。各辺のカラーを個別に設定できますが、表示はブラウザーに依存します。「すべて同一」オプショ

ンをオフにすると、エレメントのそれぞれの辺のボーダーカラーを設定できます。

すべて同一 オンにすると、エレメントの上下左右に同じボーダーカラーが適用されます。

4. オプションの設定が終了したら、パネルの左側で別の CSS カテゴリを選択してさらにスタイルプロパティを設定するか、「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS スタイルのリストプロパティの定義

CSS ルール定義ダイアログボックスの「リスト」カテゴリでは、リストタグのリスト設定（ブレットサイズやタイプなど）を定義します。

1. CSS スタイルパネルが開いていない場合は、Shift + F11 キーを押して開きます。
2. CSS スタイルパネルの上部ペインで既存のルールまたはプロパティをダブルクリックします。
3. CSS ルール定義ダイアログボックスで「リスト」を選択し、以下のいずれかのスタイルプロパティを設定します。以下のプロパティは、このスタイルにおいて重要でない場合は空白にしておきます。

   List-style-type ブレットまたは番号の表示方法を設定します。タイプ属性は、両方のブラウザーでサポートされています。

   List-style-image ブレットに使用するカスタムイメージを指定します。「参照」（Windows）または「選択」（Mac OS）をクリックしてイメージを参照するか、イメージのパスを入力します。

   List-style-position リスト項目のテキストを折り返してインデントを行うか（外側）、またはテキストを折り返して左マージンから表示するか（内側）を設定します。

4. オプションの設定が終了したら、パネルの左側で別の CSS カテゴリを選択してさらにスタイルプロパティを設定するか、「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS スタイルの位置プロパティの定義

位置スタイルプロパティは、選択した CSS スタイルに関連付けされたコンテンツをどのようにページに配置するかを指定します。

1. CSS スタイルパネルが開いていない場合は、Shift + F11 キーを押して開きます。
2. CSS スタイルパネルの上部ペインで既存のルールまたはプロパティをダブルクリックします。
3. CSS ルール定義ダイアログボックスで「位置」を選択し、必要なスタイルプロパティを設定します。

   以下のプロパティは、このスタイルにおいて重要でない場合は空白にしておきます。

   位置 ブラウザーでの選択したエレメントの配置方法を以下のように指定します。

   - 「*absolute*」では、最も近い絶対位置または相対位置に配置された祖先を基準にして、「Placement」の各ボックスに入力した座標値を使用してコンテンツを配置します。絶対位置または相対位置に配置された祖先が存在しない場合は、ページの左上隅を基準にします。
   - 「*relative*」 では、ドキュメントのテキストフローでのブロックの位置を基準として、「Placement」の各ボックスに入力した座標値を使用してコンテンツブロックを配置します。例えば、相対位置で 20px の上と左の座標をエレメントに指定すると、それぞれがエレメントをフローの標準位置から 20px 右および 20px 下に移動します。また、上、左、右、または下の各座標を指定し、または指定せずに、エレメントを相対位置に配置し、絶対位置の子のコンテキストを設定することができます
   - 「*fixed*」 では、ブラウザーの左上を基準として、「Placement」の各ボックスに入力した座標値を使用してコンテンツを配置します。ユーザーがページをスクロールする場合、コンテンツはこの位置に固定されたままになります。
   - 「*static*」 では、テキストフロー内の位置にコンテンツを配置します。これは、配置可能なすべての HTML エレメントの初期設定の位置です。

   Visibility コンテンツの初期表示を設定します。「Visibility」プロパティを指定しない場合、初期設定により、コンテンツは親タグの値を継承します。body タグの初期設定の可視性を表示できます。以下の可視性オプションのいずれかを選択します。

   - 「*inherit*」 では、コンテンツの親の表示/非表示プロパティが継承されます。
   - 「*visible*」では、親の値には関係なく、コンテンツが表示されます。
   - 「*hidden*」では、親の値には関係なく、コンテンツは非表示になります。

   Z-Index コンテンツの重ね順を指定します。Z-Index が大きいエレメントが、Z-Index が小さい（または、何も設定されてない）エレメントの上に表示されます。プラスとマイナスの両方の値を指定できます。コンテンツが絶対位置に配置されている場合は、AP エレメントパネルを使用して重ね順を簡単に変更できます。

   Overflow コンテナのコンテンツ（例えば、Div または P）がそのサイズを超過した場合に生じる動作を設定します。これらのプロパティは、コンテナのサイズを次のように制御します。

   - 「*visible*」 を選択すると、コンテンツがすべて表示されるように、コンテナのサイズが拡大します。コンテナは、右下方向に拡大します。

- 「*hidden*」 を選択すると、コンテナのサイズは変更されず、これより大きいコンテンツは切り捨てられます。スクロールバーは表示されません。
- 「*scroll*」 を選択すると、コンテンツがコンテナのサイズを超えているかどうかにかかわらず、コンテナにスクロールバーが表示されます。スクロールバーの表示を明示的に指定すると、動的な環境でスクロールバーが表示されたり非表示になったりすることによる混乱を回避できます。このオプションは、ドキュメントウィンドウでは表示されません。
- 「*auto*」 を選択すると、コンテナのコンテンツがボーダーに収まらない大きさになった場合にのみスクロールバーが表示されます。このオプションは、ドキュメントウィンドウでは表示されません。

Placement コンテンツブロックの位置とサイズを指定します。ブラウザーでの位置の解釈は、「Position」の設定により異なります。サイズの値は、コンテンツブロックのコンテンツが指定サイズを越えた場合は無視されます。

初期設定では、位置とサイズの単位はピクセルです。単位として、pc（パイカ）、pt（ポイント）、in（インチ）、mm（ミリメートル）、cm（センチメートル）、（ems）、（exs）、%（親の値に対する割合）を指定することもできます。単位は、値の後にスペースを入れず続けて入力します（例：`3mm`）。

Clip コンテンツのどの部分を表示するかを定義します。切り抜き領域を指定すれば、JavaScript のようなスクリプト言語でその領域にアクセスしてプロパティを操作し、ワイプなどの特殊効果を作成することができます。このようなワイプは、「プロパティの変更」ビヘイビアーを使用して設定できます。

4. オプションの設定が終了したら、パネルの左側で別の CSS カテゴリを選択してさらにスタイルプロパティを設定するか、「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS スタイルの拡張プロパティの定義

拡張スタイルプロパティには、Filter、改ページオプション、および Cursor オプションがあります。

注意： *Dreamweaver* にはこの他にも多数の拡張プロパティがありますが、それらのプロパティにアクセスするには *CSS* スタイルパネルを開く必要があります。利用可能な拡張プロパティのリストを表示するには、*CSS* スタイルパネル（ウィンドウ／*CSS* スタイル）を開き、このパネルの下部にある「カテゴリビューの表示」ボタンをクリックして「拡張」カテゴリを展開します。

1. CSS スタイルパネルが開いていない場合は、Shift + F11 キーを押して開きます。
2. CSS スタイルパネルの上部ペインで既存のルールまたはプロパティをダブルクリックします。
3. CSS ルール定義ダイアログボックスで「拡張」を選択し、以下のいずれかのスタイルプロパティを設定します。以下のプロパティは、このスタイルにおいて重要でない場合は空白にしておきます。

   Page-break-before 設定すると、印刷時に、このスタイルによって制御されているオブジェクトの前または後で強制的に改ページします。ポップアップメニューから、設定するオプションを選択します。このオプションは 4.0 ブラウザーではサポートされませんが、将来のバージョンでサポートされる可能性があります。

   Cursor このスタイルによって制御されているオブジェクト上にポインターが移動するとポインターイメージが変化するように設定します。ポップアップメニューから、設定するオプションを選択します。この属性は、Internet Explorer 4.0 以降および Netscape Navigator 6 でサポートされています。

   Filter このスタイルによって制御されているオブジェクトに、ぼかしや反転などの特殊効果を適用します。ポップアップメニューから効果を選びます。
4. オプションの設定が終了したら、パネルの左側で別の CSS カテゴリーを選択してさらにスタイルプロパティを設定するか、「OK」をクリックします。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ページ全体の CSS リンクプロパティの設定

注意： *Dreamweaver CC* 以降では、ユーザーインターフェイスが簡素化されています。そのため、この記事で説明されているオプションの一部が *Dreamweaver CC* 以降には存在しない場合があります。詳しくは、この記事を参照してください。

リンクのフォント、フォントサイズ、色、およびその他の項目を指定できます。デフォルトでは、Dreamweaver によってリンクの CSS ルールが作成され、ページで使用するすべてのリンクに適用されます。それらのルールは、ページの head セクションに埋め込まれます。

注意： ページの個々のリンクをカスタマイズするには、個々の *CSS* ルールを作成し、それらをリンクに個別に適用する必要があります。

1. 修正／ページプロパティを選択するか、テキストのプロパティインスペクターの「ページプロパティ」ボタンをクリックします。
2. 「リンク（CSS）」カテゴリを選択し、オプションを設定します。

   リンクのフォント リンクテキストで使用する初期設定のフォントファミリーを指定します。初期設定では、別のフォントが指定されていない限り、ページ全体に対して指定されたフォントファミリーが使用されます。

   サイズ リンクテキストで使用する初期設定のフォントサイズを指定します。

   リンクカラー リンクテキストに適用するカラーを指定します。

   訪問済みリンク 訪問済みリンクに適用するカラーを指定します。

   ロールオーバーリンク マウス（またはポインター）がリンクの上に置かれたときに適用するカラーを指定します。

   アクティブリンク マウス（またはポインター）でリンクをクリックしたときに適用するカラーを指定します。

   アンダーライン リンクに適用するアンダーラインを指定します。例えば、外部 CSS スタイルシートを通して、ページで既にアンダーラインのリンクスタイルが定義されている場合は、アンダーラインメニューは "変更しない" オプションに設定されます。このオプションにより、定義済みのリンクスタイルについて警告されます。ページプロパティダイアログボックスでアンダーラインのリンクスタイルを変更すると、前のリンク定義が変更されます。

BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS スタイルの環境設定

CSS スタイルの環境設定によって、 Dreamweaver が CSS スタイルを定義するコードの記述方法を制御します。ユーザーの好みに応じて、CSS スタイルをショートハンドフォームで記述することができます。ただし、古いバージョンのブラウザーでは、ショートハンドが正確に解釈されないこともあります。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択し、カテゴリリストから「CSS スタイル」を選択します。
2. 適用する CSS スタイルのオプションを設定します。
   CSS ルールの作成時：ショートハンドの使用 Dreamweaver がショートハンドで記述する CSS スタイルプロパティを選択します。

   CSS ルールの編集時：ショートハンドの使用 Dreamweaver が既存のスタイルをショートハンドで書き換えるかどうかを制御します。

   すべてのスタイルを変更せずにそのまま残す場合は、「オリジナルで使用している場合」を選択します。

   「ショートハンドの使用」で選択したプロパティのスタイルをショートハンドで書き換える場合は、「上記のチェックボックスに合わせる」を選択します。

   CSS パネルのダブルクリック時 CSS ルールを編集するツールを選択します。
3. 「OK」をクリックします。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ページ全体の CSS 見出しプロパティの設定

注意： *Dreamweaver CC* 以降では、ユーザーインターフェイスが簡素化されています。そのため、この記事で説明されているオプションの一部が *Dreamweaver CC* 以降には存在しない場合があります。詳しくは、この記事を参照してください。

ページの見出しのフォント、フォントサイズ、色を指定できます。デフォルトでは、Dreamweaver によって見出しの CSS ルールが作成され、ページで使用するすべての見出しに適用されます。それらのルールは、ページの head セクションに埋め込まれます。

見出しは HTML プロパティインスペクターで選択できます。

1. 修正／ページプロパティを選択するか、テキストのプロパティインスペクターの「ページプロパティ」ボタンをクリックします。
2. 「見出し（CSS）」カテゴリを選択し、オプションを設定します。

   見出しのフォント 見出しで使用する初期設定のフォントファミリーを指定します。Dreamweaver では、テキストエレメントに別のフォントが設定されていない限り、ここで指定したフォントファミリーが使用されます。

   「見出し **1**」から「見出し **6**」 6 レベルまでの見出しタグに使用するフォントのサイズとカラーを指定します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS ルールを移動または書き出し

CSS ルールを新しいスタイルシートに移動または書き出し
CSS ルールを既存のスタイルシートに移動または書き出し
ドラッグにより CSS ルールを再配置し、移動する
移動する前に複数のルールを選択する

Dreamweaver の CSS 管理機能を使用すると、CSS ルールを別の場所に簡単に移動または書き出しできます。ルールの移動は、ドキュメント間、ドキュメントの head から外部スタイルシートへ、外部 CSS ファイル間などで行うことができます。

注意： 移動しようとしているルールが、移動先のスタイルシートのルールと競合する場合、Dreamweaver は同じ名前のルールが存在ダイアログボックスを表示します。競合するルールを移動することを選択した場合、Dreamweaver によって、移動したルールが移動先スタイルシートの競合するルールと隣接する位置に配置されます。

トップへ戻る

CSS ルールを新しいスタイルシートに移動または書き出し

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - CSS スタイルパネルで、移動するルールを選択します。次に、選択項目を右クリックし、コンテキストメニューから「CSS ルールを移動」を選択します。複数のルールを選択するには、Ctrl キー（Windows）または Command キーを押しながらクリックしてルールを選択します。
   - コードビューで、移動するルールを選択します。次に、選択項目を右クリックし、コンテキストメニューから CSS スタイル／CSS ルールを移動を選択します。
   - 注意： ルールの一部を選択すると、ルール全体の位置が変更されます。
2. 外部スタイルシートへ移動ダイアログボックスで、新しいスタイルシートオプションを選択し、「OK」をクリックします。
3. スタイルシートファイルの新規保存ダイアログボックスで、新しいスタイルシートの名前を入力し、「保存」をクリックします。

「保存」をクリックすると、Dreamweaver によって、選択したルールを使用した新しいスタイルシートが保存され、現在のドキュメントに添付されます。

コーディングツールバーを使用して、ルールを移動することもできます。コーディングツールバーは、コードビューでのみ利用できます。

トップへ戻る

CSS ルールを既存のスタイルシートに移動または書き出し

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - CSS スタイルパネルで、移動するルールを選択します。次に、選択項目を右クリックし、コンテキストメニューから「CSS ルールを移動」を選択します。複数のルールを選択するには、Ctrl キー（Windows）または Command キーを押しながらクリックしてルールを選択します。
   - コードビューで、移動するルールを選択します。次に、選択項目を右クリックし、コンテキストメニューから CSS スタイル／CSS ルールを移動を選択します。
   - 注意： ルールの一部を選択すると、ルール全体の位置が変更されます。
2. 外部スタイルシートへ移動ダイアログボックスでポップアップメニューから既存のスタイルシートを選択するか、既存のスタイルシートを参照し、「OK」をクリックします。
   注意： ポップアップメニューには、現在のドキュメントにリンクされているすべてのスタイルシートが表示されます。
   コーディングツールバーを使用して、ルールを移動することもできます。コーディングツールバーは、コードビューでのみ利用できます。

トップへ戻る

ドラッグにより CSS ルールを再配置し、移動する

❖ CSS スタイルパネル（「すべて」モード）で、ルールを選択し、目的の場所にドラッグします。ルールを選択してドラッグすることで、スタイルシート内でのルールの順序を変更することができます。また、別のスタイルシートはドキュメントの head にルールを移動することもできます。
複数のルールを一度に移動するには、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら複数のルールをクリックして選択します。

トップへ戻る

移動する前に複数のルールを選択する

❖ CSS スタイルパネルで、Ctrl キーを押しながらクリック（Windows）または Command キーを押しながらクリック（Mac OS）し、複数のルールを選択します。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

外部 CSS スタイルシートへのリンク

外部 CSS スタイルシートを編集すると、その CSS スタイルシートにリンクされたすべてのドキュメントに編集内容が反映されます。ドキュメントの CSS スタイルを書き出して新しい CSS スタイルシートを作成し、外部スタイルシートに添付またはリンクすると、ドキュメント内の CSS スタイルを適用できます。

サイト内に存在するスタイルシートであれば、どれでもページに添付できます。また Dreamweaver には、自動的にサイトに移動してページに添付できる既にできあがったスタイルシートが付属しています。

1. 次のいずれかの操作を行って、CSS スタイルパネルを開きます。
   - ウィンドウ／CSS スタイルを選択します。
   - Shift+F11 キーを押します。
2. CSS スタイルパネルで、「外部スタイルシートを添付」ボタンをクリックします （ボタンは、パネルの右下隅にあります）。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 「参照」をクリックして、外部 CSS スタイルシートを参照します。
   - 「ファイル/URL」ボックスにスタイルシートのパスを入力します。
4. 「次の形式で追加」で、以下のオプションのいずれかを選択します。
   - 「リンクさせる」を選択すると、現在のドキュメントと外部スタイルシートとのリンクを作成できます。これにより、HTML コードに link href タグが作成され、パブリッシュされたスタイルシートの場所を示す URL が参照されます。この方法は、Microsoft Internet Explorer と Netscape Navigator の両方で使用できます。
   - link タグを使用して外部スタイルシートから別の外部スタイルシートへの参照を追加することはできません。スタイルシートをネストするには、読み込みディレクティブを使用する必要があります。多くのブラウザーでは、ページ内（スタイルシート内ではなく）の読み込みディレクティブが認識されます。ルールが重複する外部スタイルシートが読み込まれているのかリンクされているのかによって、競合するプロパティの解決方法は少々異なります。外部スタイルシートをリンクするのではなく読み込む場合は、「ファイルを読み込む」を選択します。
5. メディアポップアップメニューで、スタイルシートのターゲットメディアを指定します。

   メディア依存のスタイルシートについて詳しくは、World Wide Web Consortium の Web サイト（www.w3.org/TR/CSS21/media.html）を参照してください。
6. 「プレビュー」ボタンをクリックすると、スタイルシートによって目的のスタイルが現在のページに適用された状態を確認できます。

   スタイルを適用した結果が予想と異なる場合は「キャンセル」をクリックしてスタイルシートを削除します。ページの外観が、適用する前の状態に戻ります。
7. 「OK」をクリックします。

関連項目

Dreamweaver サンプルファイルに基づくページの作成

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ライブビューでの CSS のインスペクト

ライブビューでインスペクトモードを使用すると、HTML エレメントおよび関連付けられた CSS スタイルをすばやく識別できます。インスペクトモードがオンの場合、ページ上のエレメントにマウスを合わせると、ブロックレベルのエレメントの CSS ボックスモデル属性を表示できます。

注意： CSS ボックスモデルについて詳しくは、CSS 2.1 仕様を参照してください。

インスペクトモードでのボックスモデルの視覚的な表示に加えて、ドキュメントウィンドウ内のエレメントにマウスを置いて CSS スタイルパネルを使用することもできます。現在のモードで CSS スタイルパネルが開いているときにページ上のエレメントにマウスを合わせると、CSS スタイルパネルのルールとプロパティが自動的に更新され、そのエレメントのルールとプロパティが表示されます。さらに、マウスが置かれたエレメントに関連するすべてのビューまたはパネルも更新されます（例えば、コードビュー、タグセレクター、プロパティインスペクターなど）。

1. ドキュメントウィンドウでドキュメントを開き、インスペクトボタン（ドキュメントツールバーのライブビューボタンの横）をクリックします。

   注意： ライブビューがまだ有効でない場合は、インスペクトモードによって自動的に有効になります。

2. CSS ボックスモデルを表示するページ上のエレメントにマウスを合わせます。インスペクトモードによって、ボーダー、マージン、余白、コンテンツが異なる色でハイライト表示されます。
3. （オプション）コンピューターのキーボードの左矢印キーを押すと、現在ハイライト表示されているエレメントの親がハイライト表示されます。子エレメントのハイライト表示に戻るには、右矢印キーを押します。
4. （オプション）ハイライト表示された選択項目をロックするには、エレメントをクリックします。

   注意： エレメントをクリックしてハイライト表示の選択項目をロックすると、インスペクトモードがオフになります。

Adobe 推奨

共有するチュートリアル

Dreamweaver CS5 - CSS インスペクト
Dreamweaver のプロダクトマネージャー、Scott Fegette
CSS インスペクトについて説明するビデオチュートリアル

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

可変グリッドレイアウト（CC）

可変グリッドレイアウトの使用
可変グリッドレイアウトの作成
可変グリッドエレメントの挿入
エレメントのネスト

Web サイトのレイアウトは、表示するデバイスのサイズに対応している必要があります。可変グリッドレイアウトを使用すると、視覚的な方法で、Web サイトを表示するデバイスに応じたレイアウトを作成できます。

例えば、Web サイトをデスクトップ、タブレット、携帯電話で表示する場合、可変グリッドレイアウトを使用して、これらの各デバイスに適したレイアウトを指定することができます。Web サイトがデスクトップ、タブレット、携帯電話のどのデバイスで表示されるかに応じて、それに対応したレイアウトが、Web サイトの表示に使用されます。

詳細情報：アダプティブレイアウトとレスポンシブレイアウト

Dreamweaver 12.2 Creative Cloud リリースには、HTML5 構造エレメントのサポート、ネスト構造のエレメントの編集の簡易化など、可変グリッドレイアウトに関する多くの拡張機能が含まれています。拡張機能の完全な一覧については、ここをクリックしてください。

注意： 可変グリッドレイアウトのドキュメントのインスペクトモードは、*Dreamweaver 13.1* 以降では使用できません。

ページの先頭へ

可変グリッドレイアウトの使用

可変グリッドレイアウトの使用方法については、ビデオチュートリアル「可変グリッドレイアウトについて詳しく知る」をご覧ください。

ページの先頭へ

可変グリッドレイアウトの作成

1. ファイル／新しい可変グリッドレイアウトを選択します。
2. グリッドの列数のデフォルト値が、メデイアタイプの中央に表示されます。デバイスの列数は必要に応じて変更できます。
3. 画面サイズに合わせたページ幅を設定するには、値を%で指定します。
4. ふち取りの幅は別途変更できます。ふち取りとは 2 つの列の間のスペースです。
5. ページの CSS オプションを指定します。

   「作成」をクリックすると、CSS ファイルを指定するよう求められます。次のいずれかの操作を行います。

   - 新規 CSS ファイルを作成します。
   - 既存の CSS プロジェクトを開きます。
   - 可変グリッド CSS ファイルとして開く CSS ファイルを指定します。

   デフォルトでは、携帯電話用の可変グリッドが表示されます。また、可変グリッドの挿入パネルも表示されます。挿入パネルのオプションを使用してレイアウトを作成します。

   他のデバイスのレイアウト作成に切り替える場合は、デザインビューの下にあるオプションの目的のアイコンをクリックします。
6. ファイルを保存します。HTML ファイルを保存するとき、依存ファイル（boilerplate.css、respond.min.js など）をコンピューター内の場所に保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。場所を指定して、「コピー」をクリックします。

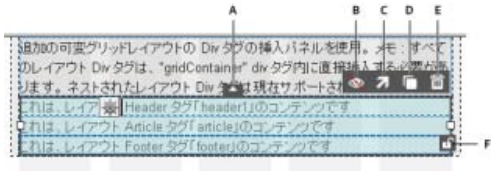
   boilerplate.css は、HTML5 ボイラープレートに基づいています。これは、複数のデバイス間で Web ページを一貫した方法でレンダリングするための CSS スタイルセットです。respond.min.js は、以前のバージョンのブラウザーでメディアクエリーをサポートする JavaScript ライブラリです。

ページの先頭へ

可変グリッドエレメントの挿入

挿入パネル（ウィンドウ／挿入）には、可変グリッドレイアウトで使用できるエレメントが一覧表示されます。エレメントの挿入中に、可変エレメントとして挿入することを選択できます。

1. 挿入パネルで、挿入するエレメントを選択します。
2. 表示されたダイアログでクラスを選択するか、ID の値を入力します。クラスメニューに、ページ作成時に指定した、CSS ファイルのクラスが表示されます。
3. 「可変エレメントとして挿入」チェックボックスを選択します。
4. 挿入したエレメントを選択すると、Div を非表示、複製、ロック、または削除するためのオプションが表示されます。積み重ねられた Div の場合は、Div を入れ替えるためのオプションが表示されます。



オプション	ラベル	説明
A	Div の入れ替え	現在選択されているエレメントを、上または下のエレメントと入れ替えます。
B	非表示	エレメントを非表示にします。. エレメントの非表示を解除するには、次のいずれかの操作を行います： ID セレクターの非表示を解除するには、CSS ファイル内の表示プロパティをブロックするように変更します。（`display:block`） クラスセレクターの非表示を解除するには、ソースコードで適用されているクラス（`hide_<MediaType>`）を削除します。
C	1 行上に移動	エレメントを 1 行上に移動します。
D	複製	現在選択されているエレメントを複製します。エレメントにリンクされた CSS も複製されます。
E	削除	ID セレクターの場合は、HTML と CSS を削除します。HTML のみを削除するには、Delete キーを押します。 クラスセレクターの場合は、HTML のみが削除されます。
F	ロック	エレメントを絶対位置指定されたエレメントに変換します。
G	行揃え	クラスセレクターの場合は、整列オプションは、ゼロマージンボタンとして機能します。 ID セレクターの場合は、整列ボタンをクリックすると、エレメントがグリッドに整列します。

ページ上の可変エレメントは、左矢印キーと右矢印キーを使用して周期的に動かすことができます。エレメントの境界を選択して、矢印キーを押します。

ページの先頭へ

エレメントのネスト

可変エレメントを他の可変エレメント内でネストするには、フォーカスを親エレメント内に置いてから、必要な子エレメントを挿入します。

ネスト構造の複製もサポートされています。ネスト構造の複製では、（選択したエレメントの）HTML を複製し、関連する可変 CSS を生成します。選択したエレメント内に含まれる絶対位置のエレメントが適切に配置されます。ネスト構造のエレメントは、複製ボタンを使用して複製することもできます。

親エレメントを削除すると、エレメントに対応する CSS、子エレメント、関連する HTML も削除されます。ネスト構造のエレメントは、削除ボタ

ン（キーボードショートカット：Ctrl + Delete）を使用して削除することもできます。

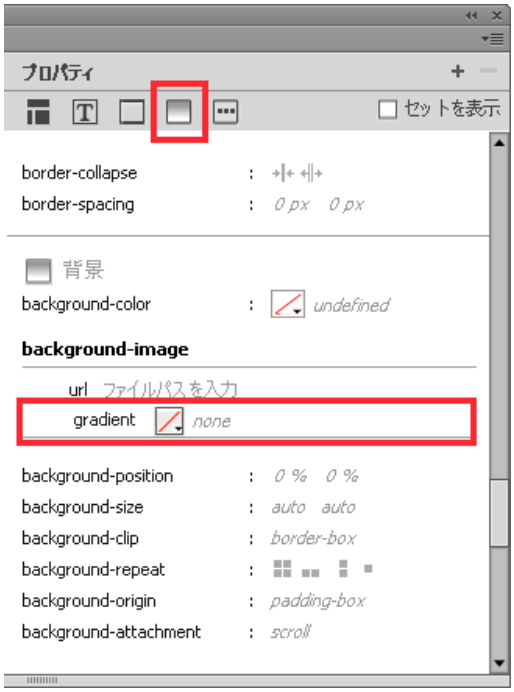
Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

背景へのグラデーションの適用

Web ブラウザーでのグラデーションのレンダリング
背景画像およびグラデーションの入れ替え

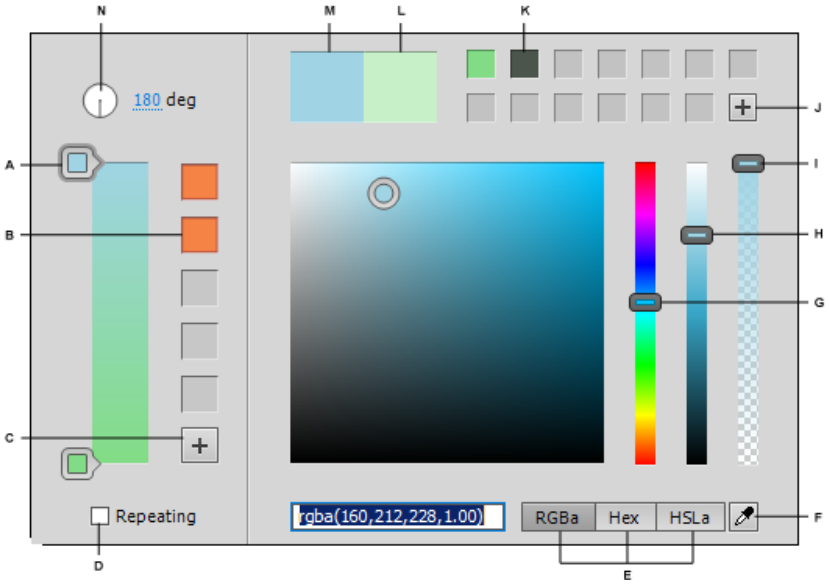
CSS デザイナーパネルを使用して、Web サイトの背景にグラデーションを適用できます。グラデーションプロパティは背景カテゴリから使用できます。



'gradient' プロパティ

グラデーションパネルを開くには、グラデーションプロパティの横にある をクリックします。グラデーションパネルでは、次の操作を実行できます。

- 様々なカラーモデル（RGBa、16 進数またはHSLa）からカラーを選択し、異なるカラーの組み合わせをカラースウォッチとして保存します。
  - 新しいカラーを元のカラーにリセットするには、元のカラー（K）をクリックします。
  - スウォッチの順序を変更するには、スウォッチを目的の位置にドラッグします。
  - カラースウォッチを削除するには、スウォッチをパネルの外にドラッグします。
- カラーストップを使用して複雑なグラデーションを作成します。カラーストップを作成するには、カラーストップの初期設定の間の任意の場所をクリックします。カラーストップを削除するには、カラーストップをパネルの外にドラッグします。
- 線形グラデーションの角度を指定します。
- パターンを繰り返すには、「繰り返し」を選択します。
- カスタムグラデーションをスウォッチとして保存します。



グラデーションダイアログボックス
A. カラーストップ ***B.*** グラデーションスウォッチ ***C.*** グラデーションスウォッチを追加 ***D.*** 線形の繰返し ***E.*** カラーモデル ***F.*** スポイト ***G.*** カラースライダー ***H.*** 明度スライダー ***I.*** 透明度スライダー ***J.*** 色見本を追加 ***K.*** 色見本 ***L.*** 元のカラー ***M.*** 選択した色 ***N.*** 線形グラデーションの角度

注意： スポイトツールは、*Dreamweaver 13.1* およびそれ以降で使用できます。

次のコードの意味を理解してください。

```
background-image: linear-gradient(57deg,rgba(255,255,255,1.00) 0%,rgba(21,8,8,1.00) 46.63%,rgba(255,0,0,1.00) 100%)
```

- `57deg`：線形グラデーションの角度
- `rgba(255, 255, 255, 1.00)`：最初のカラーストップのカラー
- `0%`：カラーストップ

注意： *Dreamweaver* では、カラーストップの「*%*」値のみをサポートします。他の *px* や *em* などの値を使用すると、*Dreamweaver* では「*nil*」として認識されます。また、*Dreamweaver* は *CSS* カラーをサポートしていないため、コード内で *CSS* カラーを指定すると、「*nil*」として認識されます。

ページの先頭へ

Web ブラウザーでのグラデーションのレンダリング

グラデーションを背景として使用する場合、異なる Web ブラウザーでグラデーションが適切にレンダリングされるように Dreamweaver を設定できます。Dreamweaver は適切なベンダー接頭辞をコードに追加し、Web ブラウザーでグラデーションが適切に表示されるようにします。

Dreamweaver では、次のベンダー接頭辞と w3c フォーマットを記述できます。

- Webkit
- Mozilla
- Opera
- Dreamweaver ライブビュー（旧 Webkit フォーマット）

初期設定では、Dreamweaver は Webkit および Dreamweaver ライブビューのベンダー接頭辞を書き込みます。環境設定ダイアログボックス（環境設定／CSS スタイル）で、必要に応じてその他のベンダーを選択できます。

注意： ボックスシャドウでは、*Webkit* と *w3c* の接頭辞は、環境設定で選択したかどうかに関係なく、常に生成されます。

グラデーションに加えられた変更は、ベンダー固有の構文にも反映されます。ベンダー固有の構文を含む既存のファイルを Dreamweaver CC で開く場合、必ず環境設定で必要なベンダー接頭辞を選択してください。これは、グラデーションを使用または変更したときに、Dreamweaver の初期設定では Webkit と Dreamweaver ライブビューに関連するコードのみが更新されるためです。したがって、コード内のその他のベンダー固有構文は更新されません。

ページの先頭へ

背景画像およびグラデーションの入れ替え

背景画像およびグラデーションの順序（コード内の表示順序）を 1 クリックで変更できます。

CSS デザイナーの url プロパティまたは gradient プロパティの横にある をクリックします。

背景の入れ替え

注意： *Dreamweaver CC* には、背景の入れ替え機能の基本実装が含まれています。複数の値または画像が存在する場合、入れ替えが想定どおりに機能しないことがあります。また、*1* つの画像と *2*つ目の画像、および 1 つのグラデーションを背景に適用すると仮定した場合、グラデーションの入れ替え結果は、グラデーション、*2* つ目の画像、最初の画像の順になります。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS コードのフォーマット

CSS コードフォーマットの環境設定
CSS スタイルシートでの CSS コードの手動によるフォーマット
埋め込み CSS コードの手動によるフォーマット

Dreamweaver のインターフェイスを使用して CSS ルールを作成または編集するときは、CSS コードのフォーマットを制御する環境設定を行うことができます。例えば、すべての CSS プロパティを個別の行に配置する環境設定や、CSS ルール間に空白行を挿入する環境設定を行うことができます。

CSS コードフォーマットの環境設定を行うと、選択した環境設定が、作成するすべての新しい CSS ルールに自動的に適用されます。ただし、これらの環境設定をドキュメントごとに個別に適用することもできます。この機能は、フォーマットする必要がある古い HTML または CSS ドキュメントがある場合に便利です。

注意： CSS コードフォーマットの環境設定は、外部スタイルシートおよび埋め込まれたスタイルシートのみに適用され、インラインスタイルには適用されません。

トップへ戻る

CSS コードフォーマットの環境設定

1. 編集／環境設定を選択します。
2. 環境設定ダイアログボックスで、「コードフォーマット」カテゴリを選択します。
3. 「高度なフォーマット」の横にある「CSS」ボタンをクリックします。
4. CSS ソースフォーマットオプションダイアログボックスで、CSS ソースコードに適用するオプションを選択します。選択したオプションに基づいた CSS の外観のプレビューが、下のプレビューウィンドウに表示されます。
   プロパティをインデント ルール内のプロパティのインデント値を設定します。タブまたはスペースを指定できます。

   行ごとにプロパティ ルール内の各プロパティを別個の行に記述します。

   行ごとに開始波カッコ ルールの開始波カッコをセレクターとは別の行に記述します。

   複数のプロパティのみ 単一プロパティのルールをセレクターと同じ行に記述します。

   同じ行のルールのすべてのセレクター ルールのすべてのセレクターを同じ行に記述します。

   ルール間に空白行 各ルール間に空白行を挿入します。
5. 「OK」をクリックします。

注意： CSS コードフォーマットは、環境設定ダイアログボックスの「コードフォーマット」カテゴリで設定した「改行タイプ」環境設定も継承します。

トップへ戻る

CSS スタイルシートでの CSS コードの手動によるフォーマット

1. CSS スタイルシートを開きます。
2. コマンド／ソースフォーマットの適用を選択します。

   CSS コードフォーマットの環境設定で設定したフォーマットオプションが、ドキュメント全体に適用されます。個別に範囲を選択してフォーマットすることはできません。

トップへ戻る

埋め込み CSS コードの手動によるフォーマット

1. ドキュメントのヘッドに埋め込まれた CSS を含んでいる HTML ページを開きます。
2. CSS コードの任意の部分を選択します。
3. コマンド／ソースフォーマットを選択範囲に適用を選択します。

   CSS コードフォーマットの環境設定で設定したフォーマットオプションは、ドキュメントのヘッド内のすべての CSS ルールのみに適用されます。

   注意： 指定したコードフォーマットの環境設定に従ってドキュメント全体をフォーマットする場合は、コマンド／ソースフォーマットの適用を選択します。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

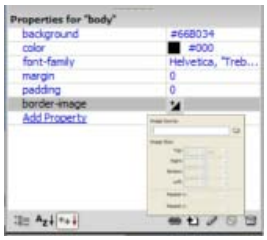
CSS スタイルパネルの CSS3 サポート強化（CS5.5）

ポップアップパネルによる CSS3 プロパティの適用
複数の値セットの指定
カテゴリビューにプロパティが表示される場所
各種ブラウザーに対する互換性の確保
ライブビューでのプレビュー表示の変化

CSS パネルには、次のプロパティに関するポップアップパネルが新設されています。

- text-shadow
- box-shadow
- border-radius
- border-image

ポップアップパネルに表示されるオプションにより、W3C シンタックスに慣れていない開発者でもプロパティを正しく適用できます。



CSS3 プロパティ border-image のオプションが表示されているポップアップパネル

ページの先頭へ

ポップアップパネルによる CSS3 プロパティの適用

- 指定するプロパティに対応する「+」アイコンをクリックします。ポップアップパネル上の各種オプションを使用してプロパティを適用します。

ページの先頭へ

複数の値セットの指定

text-shadow などの CSS3 プロパティでは、複数の値セットがサポートされています。例：`text-shadow: 3px 3px #000, -3px -3px #0f0;`

コードビューで複数の値セットを指定した後で、編集するためにポップアップパネルを開くと、最初の値セットだけが表示されます。この値セットをポップアップパネルで編集すると、コードの最初に記述された値セットだけが変更されます。残りの値セットは影響を受けず、コード内で指定されているとおりに適用されます。

ページの先頭へ

カテゴリビューにプロパティが表示される場所

`text-shadow` プロパティは、カテゴリビューでは「フォント」カテゴリに属しています。 `box-shadow`、`border-radius` および `border-image` プロパティは「ボーダー」カテゴリに属しています。

ページの先頭へ

各種ブラウザーに対する互換性の確保

また、Dreamweaver CS5.5 では、box-shadow、border-radius および border-image プロパティについて、ブラウザーの種類（webkit、Mozilla）に固有の実装がサポートされています。

これらのプロパティに関するブラウザー互換性を確認するには、カテゴリビューで、各ブラウザーカテゴリに属するオプションを設定します。例えば、border-image プロパティについて Mozilla に固有の実装に適合するには、「Mozilla」カテゴリの `-moz-border-image` を編集します。

ページの先頭へ

ライブビューでのプレビュー表示の変化

CSS プロパティに加えた変更は、デザインビューの表示には反映されません。ライブビューに切り替えると変化をプレビューできます。また、ライブビューで CSS3 プロパティに変更を加えると、ライブビュー上の表示にはすぐ反映されます。

ライブビューでサポートされている CSS3 プロパティは次のとおりです。

- text-shadow
- border-radius
- -webkit-box-shadow
- -webkit-border-image

DW CS5.5 での CSS3 のサポート強化

Text-shadow、Box-shadow、Border-radius、Border-image のサポート... 詳細

http://goo.gl/BpHhu

提供者 **Preran Kurnool**
http://blogs.adobe.com/pre...

専門知識を投稿：
Adobe Community Help

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS スタイルシートの編集

一般に、CSS スタイルシートには 1 つまたは複数のルールが含まれています。CSS スタイルシートの個々のルールを編集するには CSS スタイルパネルを使用します。または、必要に応じて、CSS スタイルシートで直接編集することもできます。

1. CSS スタイルパネル（ウィンドウ／CSS スタイル）で、「すべて」モードを選択します。
2. すべてのルールペインで、編集するスタイルシートの名前をダブルクリックします。
3. ドキュメントウィンドウで、必要に応じてスタイルシートを変更し、保存します。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS ルールの編集

CSS スタイルパネルでのルールの編集（「現在」モード）
CSS スタイルパネルでのルールの編集（「すべて」モード）
CSS セレクター名の変更

ドキュメントに適用したルールは、内部または外部ルールであるかを問わず、簡単に編集できます。

ドキュメント内のテキストを制御する CSS スタイルシートを編集すると、その CSS スタイルシートで制御されるすべてのテキストが瞬時に再フォーマットされます。外部スタイルシートでの編集は、そのスタイルシートにリンクしているすべてのドキュメントに反映されます。

スタイルシートの編集に使用する外部エディターを設定できます。

トップへ戻る

CSS スタイルパネルでのルールの編集（「現在」モード）

1. ウィンドウ／CSS スタイルを選択し、CSS スタイルパネルを表示します。
2. CSS スタイルパネルの上部にある「現在」ボタンをクリックします。
3. 現在のページからテキストエレメントを選択してそのプロパティを表示します。
4. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 選択範囲のサマリーペインでプロパティをダブルクリックして <プロパティ名> の CSS ルール定義ダイアログボックスを表示し、変更を行います。
   - 選択範囲のサマリーペインでプロパティを選択し、下のプロパティペインでそのプロパティを編集します。
   - ルールペインでルールを選択し、下のプロパティペインでルールのプロパティを編集します。

     注意： Dreamweaver の環境設定を変更すると、CSS 編集時のダブルクリックのビヘイビアーと他のビヘイビアーを変更できます。

トップへ戻る

CSS スタイルパネルでのルールの編集（「すべて」モード）

1. ウィンドウ／CSS スタイルを選択し、CSS スタイルパネルを表示します。
2. CSS スタイルパネルの上部にある「すべて」ボタンをクリックします。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - すべてのルールペインでルールをダブルクリックして CSS ルール定義ダイアログボックスを表示し、変更を行います。
   - すべてのルールペインでルールを選択し、下のプロパティペインでルールのプロパティを編集します。
   - すべてのルールペインでルールを選択し、CSS スタイルパネルの右下隅にある「スタイルの編集」ボタンをクリックします。

     注意： Dreamweaver の環境設定を変更すると、CSS 編集時のダブルクリックのビヘイビアーと他のビヘイビアーを変更できます。

トップへ戻る

CSS セレクター名の変更

1. CSS スタイルパネル（「すべて」モード）で、変更するセレクターを選択します。
2. セレクターをもう一度クリックし、名前を編集できるようにします。
3. 変更を行い、Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

関連項目
プロパティインスペクターでのテキストプロパティの設定

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver サンプルスタイルシートの使用

Dreamweaver にはサンプルスタイルシートが用意されています。これらのシートはそのままページに適用できる他、これらを基にして独自のスタイルを開発することもできます。

1. 次のいずれかの操作を行って、CSS スタイルパネルを開きます。
   - ウィンドウ／CSS スタイルを選択します。
   - Shift + F11 キーを押します。
2. CSS スタイルパネルで、「スタイルシートを添付」ボタンをクリックします （ボタンは、パネルの右下隅にあります）。
3. 外部スタイルシートのリンクダイアログボックスで「サンプルスタイルシート」をクリックします。
4. サンプルスタイルシートダイアログボックスで、リストボックスからスタイルシートを選択します。

   リストボックスでスタイルシートを選択すると、プレビューペインに、選択したスタイルシートのテキストとカラーのフォーマットが表示されます。
5. 「プレビュー」ボタンをクリックして、スタイルシートを適用し、現在のページに目的のスタイルが適用されたことを確認します。

   スタイルを適用した結果が予想と異なる場合はリストから別のスタイルシートを選択し、「プレビュー」をクリックしてそのスタイルを確認します。
6. Dreamweaver の初期設定では、ページに定義したサイトのルート直下にある CSS フォルダーにスタイルシートが保存されます。フォルダーが存在しない場合は、Dreamweaver によって自動的に作成されます。「参照」をクリックして別のフォルダーに移動することで、ファイルの保存場所を変更できます。
7. スタイルシートのフォーマットルールがデザイン条件を満たしていることを確認した後、「OK」をクリックします。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Div タグの操作

Div タグの挿入と編集
CSS レイアウトブロック
AP エレメントによる作業

（Creative Cloud ユーザーのみ）：新しい 7 つのセマンティックタグを、挿入／レイアウトから選択できます。新しいタグは、記事、付加情報、ヘッダーグループ、ナビゲーション、セクション、ヘッダー、およびフッターです。詳細については、「挿入パネルからの HTML 5 セマンティック要素の挿入」を参照してください。

トップへ戻る

Div タグの挿入と編集

div タグを手動で挿入し、それらのタグに CSS の位置スタイルを適用してページレイアウトを作成することができます。div タグは、Web ページのコンテンツ内の論理区域を定義するタグです。div タグを使用すると、コンテンツのブロックを中央に配置して列効果を作成し、異なるカラー領域を作成するなどの作業を行うことができます。

div タグとカスケーディングスタイルシート（CSS）を使用する Web ページの作成に不慣れな場合は、Dreamweaver に付属の事前にデザインされたいずれかのレイアウトに基づいて CSS レイアウトを作成することができます。CSS の操作には不安があるが、テーブルの使用に精通している場合は、テーブルを使用することもできます。

注意： Dreamweaver では、これらの Div タグを絶対位置の Div 描画ツールを使用して作成しなかった場合でも、すべての Div タグが AP エレメント（絶対位置のエレメント）として処理されます。

Div タグの挿入

div タグを使用すると、CSS レイアウトブロックを作成して、それをドキュメントに配置できます。これは、ドキュメントに関連付けられているスタイルが配置された既存の CSS スタイルシートがある場合に便利です。Dreamweaver により、Div タグをすばやく挿入して既存のスタイルを適用することができます。

1. ドキュメントウィンドウで、div タグを表示する場所に挿入ポイントを置きます。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／レイアウトオブジェクト／Div タグを選択します。
   - 挿入パネルの「レイアウト」カテゴリで、「Div タグを挿入」ボタン をクリックします。
3. 次のいずれかのオプションを設定します。
   挿入 div タグの位置を選択し、新規タグでない場合はタグ名を選択します。

   クラス 選択すると、現在タグに適用されているクラススタイルを表示できます。スタイルシートを添付した場合、そのスタイルシートに定義されているクラスがリストに表示されます。ポップアップメニューから、タグに適用するスタイルを選択します。

   ID div の識別に使用する名前を変更できます。スタイルシートを添付した場合、そのスタイルシートに定義されている ID がリストに表示されます。ドキュメント内にすでにあるブロックの ID は表示されません。
   注意： ドキュメント内の別のタグと同じ ID を入力すると、Dreamweaver により警告が表示されます。

   新規 **CSS** ルール 新規 CSS ルールダイアログボックスを表示します。
4. 「OK」をクリックします。

   div タグがボックスとしてプレースホルダーテキストと共にドキュメント内に表示されます。ボックスの端の上にポインターを移動すると、Dreamweaver により、ボックスの端はハイライト表示されます。

   div タグは、絶対位置に配置されている場合、AP エレメントになります （絶対位置に配置されていない div タグは編集できます）。

Div タグの編集

div タグを挿入すると、このタグを操作するか、このタグにコンテンツを追加することができます。

注意： 絶対位置に配置された Div タグは、AP エレメントになります。
div タグにボーダーを割り当てるか「CSS レイアウトのアウトライン」を選択すると、ボーダーが表示されます。「CSS レイアウトのアウトライン」は、表示／ビジュアルエイドメニューで、初期設定で選択されます。div タグの上にポインターを移動すると、Dreamweaver によってタグがハイライト表示されます。ハイライトカラーを変更し、またはハイライト表示を無効にすることができます。

div タグを選択すると、CSS スタイルパネルでルールを表示し、編集することができます。コンテンツを div タグに追加するには、div タグ内に挿入ポイントを配置し、コンテンツをページに追加するときと同じ要領でコンテンツを追加します。

Div タグに適用されているルールの表示および編集

1. 以下のいずれかの操作を行い、div タグを選択します。
   - div タグのボーダーをクリックします。

     ボーダーを見つけるには、ハイライト表示されている部分を探します。
   - div タグの内側をクリックし、Ctrl + A（Windows）または Command + A（Mac OS）を 2 回押します。
   - div タグの内側をクリックし、ドキュメントウィンドウの下部にあるタグセレクターから div タグを選択します。
2. CSS スタイルパネルが開いていない場合は、ウィンドウ／CSS スタイルを選択して開きます。

   div タグに適用されているルールがパネルに表示されます。
3. 必要に応じて編集します。

コンテンツを追加する **Div** タグへの挿入ポイントの配置
✥ タグのボーダーより内側の任意の場所をクリックします。

Div タグ内のプレースホルダーテキストの変更
✥ テキストを選択し、テキストを上書き入力するか、Delete キーを押します。
注意： ページにコンテンツを追加する場合と同じ要領で、div タグにコンテンツを追加します。

Div タグのハイライトカラーの変更

デザインビューで div タグの端にポインターを移動すると、Dreamweaver によりタグのボーダーがハイライト表示されます。必要に応じて 環境設定ダイアログボックスでハイライト表示を有効または無効にするか、ハイライトカラーを変更します。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストで「ハイライト」を選択します。
3. 次のいずれかの変更を加えて、「OK」をクリックします。
   - div タグのハイライトカラーを変更するには、「マウスオーバー」カラーボックスをクリックし、カラーピッカーを使用してハイライトカラーを選択します。または、テキストボックスにハイライトカラーの 16 進数値を入力します。
   - div タグのハイライト表示の有効または無効を切り替えるには、「マウスオーバー」の「表示」チェックボックスをオンまたはオフにします。

     注意： これらのオプションは、ポインターを移動したときに、Dreamweaver によってハイライト表示されるすべてのオブジェクト（テーブルなど）に影響します。

CSS レイアウトブロック

トップへ戻る

CSS レイアウトブロックの視覚化

デザインビューで作業をしながら、CSS レイアウトブロックを視覚化することができます。CSS レイアウトブロックは HTML ページエレメントであり、ページ上の任意の場所に配置できます。具体的に CSS レイアウトブロックとは、div タグ（display:inline なし）、あるいは display:block、position:absolute、または position:relative CSS 宣言を含む他のページエレメントのことです。以下に示すのは、Dreamweaver では CSS レイアウトブロックと見なされるエレメントの例です。

- div タグ
- 絶対位置または相対位置が割り当てられたイメージ
- a タグ（display:block スタイルが割り当てられているもの）
- 絶対位置または相対位置が割り当てられた段落

注意： 視覚的なレンダリングのため、CSS レイアウトブロックにはインラインエレメント（コードがテキストの行に含まれるエレメント）、または段落のような単純なブロックエレメントは含まれません。
Dreamweaver には、CSS レイアウトブロックを表示するためのビジュアルエイドが多数用意されています。例えば、デザイン中に CSS レイアウトブロックのアウトライン、背景、およびボックスモデルを有効にすることができます。また、レイアウトブロックの上にマウスポインターを移動したときに、選択した CSS レイアウトブロックのプロパティを表示するツールヒントを表示することもできます。

以下のリストに、Dreamweaver で表示される CSS レイアウトブロックのビジュアルエイドを示します。

CSS レイアウトのアウトライン ページ上にあるすべての CSS レイアウトブロックのアウトラインが表示されます。
CSS レイアウトの背景 個別の CSS レイアウトブロックに一時的に割り当てられた背景色が表示され、通常、ページ上に表示される他の背景色またはイメージは非表示になります。
CSS レイアウトブロックの背景を表示するためにビジュアルエイドを有効にすると、 Dreamweaver は、各 CSS レイアウトブロックに個別の背景色を自動的に割り当てます（Dreamweaver では、アルゴリズム的処理によって背景色が選択されるため、ユーザーが背景色を割り当てる方法はありません）。割り当てられたカラーは独特の視覚を持ち、CSS レイアウトブロックを区別できるようになっています。

CSS レイアウトのボックスモデル 選択した CSS レイアウトブロックのボックスモデル（余白とマージン）が表示されます。

CSS レイアウトブロックの表示

必要に応じて、CSS レイアウトブロックのビジュアルエイドの表示/非表示を切り替えることができます。

CSS レイアウトブロックのアウトラインの表示

❖ 表示／ビジュアルエイド／CSS レイアウトのアウトラインを選択します。

CSS レイアウトブロックの背景の表示

❖ 表示／ビジュアルエイド／CSS レイアウトの背景を選択します。

CSS レイアウトブロックのボックスモデルの表示

❖ 表示／ビジュアルエイド／CSS レイアウトのボックスモデルを選択します。

ドキュメントツールバーの「ビジュアルエイド」ボタンをクリックしても、CSS レイアウトブロックのビジュアルエイドオプションにアクセスすることができます。

CSS 以外のレイアウトブロックエレメントによるビジュアルエイドの使用

デザインタイムスタイルシートを使用すると、通常は CSS レイアウトブロックとは見なされないエレメントの背景、ボーダー、またはボックスモデルを表示することができます。そのためには、display:block 属性を適切なページエレメントに割り当てるデザインタイムスタイルシートを最初に作成する必要があります。

1. 外部 CSS スタイルシートを作成します。ファイル／新規を選択し、カテゴリリストから「基本ページ」を選択し、基本ページリストから「CSS」を選択して「作成」をクリックします。
2. 新しいスタイルシートで、CSS レイアウトブロックとして表示するページエレメントに display:block 属性を割り当てるルールを作成します。

   例えば、段落およびリスト項目に背景色を表示する場合は、次のルールを使ってスタイルシートを作成することができます。

   ```
   p{
   display:block;
   }
   li{
   display:block;
   }
   ```

3. ファイルを保存します。
4. デザインビューで、新しいスタイルを関連付けるページを開きます。
5. フォーマット／CSS スタイル／デザインタイムを選択します。
6. デザインタイムスタイルシートダイアログボックスで、「デザイン中のみ表示」テキストボックスの上にある「+」ボタンをクリックし、作成したスタイルシートを選択して「OK」をクリックします。
7. 「OK」をクリックしてデザインタイムスタイルシートダイアログボックスを閉じます。

   スタイルシートがドキュメントに関連付けられます。前述の例を使ってスタイルシートを作成した場合、すべての段落とリスト項目は display:block 属性によってフォーマットされ、段落およびリスト項目に対して CSS レイアウトブロックのビジュアルエイドを有効または無効にできるようになります。

トップへ戻る

AP エレメントによる作業

Dreamweaver での AP エレメントについて

AP エレメント（絶対位置のエレメント）は、HTML ページエレメントです。具体的には、div タグまたは絶対位置が割り当てられた他のタグです。AP エレメントには、テキストやイメージ、または HTML ドキュメントのボディに配置可能なその他のコンテンツを組み込むことができます。

Dreamweaver では、AP エレメントを使用してページをレイアウトできます。AP エレメントを別の AP エレメントの前や後に配置したり、一部の AP エレメントだけを非表示にしたり、AP エレメントを画面上で移動させることができます。また、AP エレメントに背景イメージを置き、その前面に、背景が透明のテキストを含む 2 つ目の AP エレメントを置くことができます。

AP エレメントは、通常絶対位置の Div タグです。これらは、Dreamweaver が初期設定で挿入する AP エレメントです。ただし、HTML エレメント（例えば、イメージ）に絶対位置を割り当てることによって、APエレメントとして分類できることに注意してください。すべての AP エレメント（絶対位置の Div タグだけではなく）は、AP エレメントパネルに表示されます。

絶対位置の Div エレメントの HTML コード

Dreamweaver では、div タグの使用により、AP エレメントが作成されます。Draw AP Div ツールを使用して AP エレメントを描画する場合、Dreamweaver では、div タグがドキュメントに挿入され、Div タグに ID 値が割り当てられます。初期設定では、描画する最初の Div には apDiv1、2 番目の Div には apDiv2 というように ID 値が割り当てられます。絶対位置の Div の名前は、後から AP エレメントパネルまたはプロパ

ティインスペクターを使って変更することができます。Dreamweaver では、絶対位置の Div を配置し、絶対位置の Div にその正確なサイズを割り当てるために、埋め込まれた CSS がドキュメントの先頭に使用されます。

以下に、絶対位置の Div に対応する HTML コードのサンプルを示します。

```
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=iso-8859-1" />
<title>Sample AP Div Page</title>
<style type="text/css">
<!--
    #apDiv1 {
        position:absolute;
        left:62px;
        top:67px;
        width:421px;
        height:188px;
        z-index:1;
    }
-->
</style>
</head>
<body>
    <div id="apDiv1">
    </div>
</body>
</html>
```

ページ上での絶対位置の Div（または、任意の AP エレメント）のプロパティ、例えば x 座標と y 座標、z インデックス（重ね順ともいいます）、表示/非表示などを設定することができます。

絶対位置の Div の挿入

Dreamweaver を使用すると、ページ上で絶対位置の Div を簡単に作成し、配置することができます。ネストした絶対位置の Div を作成することもできます。

絶対位置の Div を挿入すると、Dreamweaver により、初期設定では絶対位置の Div のアウトラインが表示され、ポインターをブロックの上に移動するとそのブロックがハイライト表示されます。表示／ビジュアルエイドメニューで「AP エレメントのアウトライン」と「CSS レイアウトのアウトライン」の両方を無効にすれば、絶対位置の Div（または、任意の AP エレメント）のアウトラインを表示するビジュアルエイドを無効にすることができます。デザイン時のビジュアルエイドとして、AP エレメントの背景およびボックスモデルを有効にすることができます。

絶対位置の Div を作成した後にコンテンツを絶対位置の Div に追加するには、挿入ポイントを絶対位置の Div 内に配置し、コンテンツをページに追加するときと同じ要領でコンテンツを追加します。

1 つの絶対位置の Div または複数の絶対位置の Div の連続的な描画

1. 挿入パネルの「レイアウト」カテゴリで、「AP Div を描画」ボタン をクリックします。
2. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、以下のいずれかの操作を行います。
   - ドラッグして 1 つの絶対位置の Div を描きます。
   - Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながらドラッグして、複数の絶対位置の Div を連続して描きます。

     Ctrl キーまたは Command キーを押している間は、新しい絶対位置の Div を続けて描くことができます。

絶対位置の Div のドキュメント内の特定の場所への挿入

❖ 挿入ポイントをドキュメントウィンドウに配置し、挿入／レイアウトオブジェクト／絶対位置の Div を選択します。

注意： この手順により、ドキュメントウィンドウでクリックした任意の位置に絶対位置の Div のタグが配置されます。このため、絶対位置の Div の視覚的なレンダリングは、その周囲にある他のページエレメント（テキストなど）に影響を与える可能性があります。

絶対位置の Div への挿入ポイントの配置

❖ 絶対位置の Div のボーダーより内側の任意の場所をクリックします。

絶対位置の Div のボーダーがハイライト表示され、選択ハンドルが表示されますが、絶対位置の Div 自体は選択されません。

絶対位置の Div のボーダーの表示

❖ 表示／ビジュアルエイドを選択し、「絶対位置の Div アウトライン」または「CSS レイアウトのアウトライン」を選択します。

注意： 両方のオプションを同時に選択しても、同じ結果になります。

絶対位置の Div のボーダーの非表示

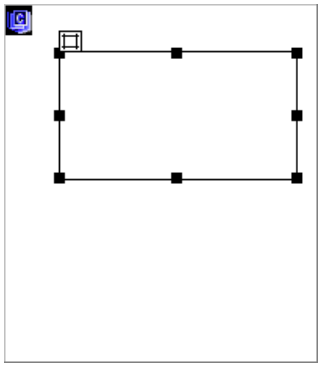
❖ 表示／ビジュアルエイドを選択し、「絶対位置の Div アウトライン」および「CSS レイアウトのアウトライン」の選択を解除します。

ネストされた絶対位置の Div の操作

ネストされた絶対位置の Div とは、コードが別の絶対位置の Div 内に含まれている絶対位置の Div のことです。例えば次のコードは、ネストされていない 2 つの絶対位置の Div とネストされた 2 つの絶対位置の Div を示しています。

```
<div id="apDiv1"></div>
<div id="apDiv2"></div>
<div id="apDiv3">
    <div id="apDiv4"></div>
</div>
```

絶対位置の Div の両方のセットのグラフィック描画は、次のように見えます。



Div タグの最初のセットでは、1 つの Div がページの一方の上部に配置されています。Div タグの 2 番目のセットでは、apDiv4 Div は実際に apDiv3 Div の内部に配置されています （AP エレメントパネルを使用して、絶対位置の Div の重ね順を変更できます）。

ネストは、絶対位置の Div のグループ化に使用できます。ネストされた絶対位置の Div は親の絶対位置の Div と共に移動し、親の絶対位置の Div の表示/非表示を継承するように設定できます。

「ネスト」オプションを有効にすると、別の絶対位置の Div 内から絶対位置の Div を描画したときに自動的にネストされるようになります。別の絶対位置の Div の内部または上に描画するには、「オーバーラップ防止」オプションをオフにする必要があります。

ネストされた絶対位置の **Div** の描画

1. AP エレメントパネル（ウィンドウ／AP エレメント）で、「オーバーラップ防止」の選択が解除されていることを確認します。
2. 挿入パネルの「レイアウト」カテゴリで、「AP Div を描画」ボタン をクリックします。
3. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、既存の絶対位置の Div 内をドラッグして絶対位置の Div を描画します。

   「AP エレメント」環境設定で「ネスト」が無効になっている場合は、Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながら、絶対位置の Div 内で絶対位置の Div をネストします。

   > ネストした絶対位置の Div がどのように表示されるかは、ブラウザーによって異なります。ネストした絶対位置の Div を作成する場合は、デザイン時に様々なブラウザーを使用して絶対位置の Div の表示を頻繁に確認するようにしてください。

ネストされた絶対位置の **Div** の挿入

1. 「オーバーラップ防止」オプションがオフになっていることを確認します。
2. 挿入ポイントをドキュメントウィンドウのデザインビューの既存の絶対位置の Div 内に配置し、挿入／レイアウトオブジェクト／AP Div を選択します。

別の絶対位置の **Div** に絶対位置の **Div** を描画して、絶対位置の **Div** を自動的にネストする

❖ 「AP エレメント」環境設定の「ネスト」オプションを選択します。

「**AP** エレメント」環境設定の表示または設定

環境設定ダイアログボックスの「AP エレメント」カテゴリを使って、新規作成する AP エレメントの初期設定を定義します。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストで「AP エレメント」を選択し、次の環境設定を指定して「OK」をクリックします。
   表示/非表示 初期設定で AP エレメントが表示されるかどうかを指定します。オプションには、「標準」、「継承」、「表示」、および「非表示」があります。

   幅および高さ 挿入／レイアウトオブジェクト／AP Div を使用して、AP エレメントの幅と高さの初期設定をピクセル単位で指定します。

   背景色 初期設定の背景色を指定します。カラーピッカーからカラーを選択します。

   背景イメージ 初期設定の背景イメージを指定します。「参照」をクリックして、コンピューター上でイメージファイルを検索します。

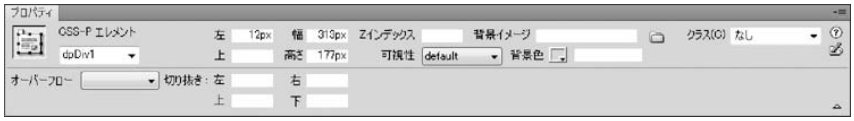
   ネスト：絶対位置の **Div** 内に作成する場合はネストする 既存の絶対位置の Div の境界内のポイントから開始して描画する絶対位置の Div

を、ネストされた絶対位置の Div とするかどうかを指定します。Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながら絶対位置の Div を描画すると、この設定を一時的に変更することができます。

単一の AP エレメントのプロパティの表示または設定

AP エレメントを選択すると、プロパティインスペクターに AP エレメントのプロパティが表示されます。

1. AP エレメントを選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の右下隅にある縮小の三角形をクリックして（まだ展開されていない場合）、すべてのプロパティを表示します。



3. 次のいずれかのオプションを設定します。

CSS-P エレメント 選択した AP エレメントの ID を指定します。ID は、AP エレメントパネルと JavaScript コード内の AP エレメントを識別します。

標準の英数字のみを使用します。スペース、ハイフン、スラッシュ、ピリオドなどの特殊文字は使用しないでください。AP エレメントには、固有の ID を付けてください。

注意： CSS-P プロパティインスペクターは、相対位置に配置されたエレメントと同じオプションを表示します。

左および上 ページまたは親の AP エレメント（ネストされている場合）の左上隅を基準として、AP エレメントの左上隅の位置を指定します。

幅および高さ AP エレメントの幅と高さを指定します。

注意： AP エレメントのコンテンツが指定したサイズを超える場合は、コンテンツをすべて表示できるように、AP エレメントの下端（Dreamweaver のデザインビューに表示されます）が延長されます。「オーバーフロー」プロパティが「表示」に設定されている場合を除き、AP エレメントがブラウザーに表示されるときに下端は延長されません。

「初期設定」では、位置とサイズの単位はピクセル（px）です。単位として、pc（パイカ）、pt（ポイント）、in（インチ）、mm（ミリメートル）、cm（センチメートル）、または%（親の AP エレメントに対応する値に対する割合）を指定することもできます。単位は、値の後にスペースを入れず続けて入力します（例えば、3 ミリメートルの場合は「3mm」と入力します）。

Z インデックス AP エレメントの Z インデックス、または重ね順を指定します。

ブラウザーでは、大きい番号の AP エレメントが小さい番号の AP エレメントよりも前に表示されます。プラスとマイナスの両方の値を指定できます。AP エレメントの重ね順を変更する場合は、特定の z インデックス値を入力するよりも、AP エレメントパネルを使用する方が簡単です。

可視性 AP エレメントが最初に表示されるかどうかを指定します。必要に応じて次のオプションを選択します。

- 初期設定では、表示/非表示のプロパティは指定されていません。このプロパティが指定されていない場合、ほとんどのブラウザーでは「継承」が初期設定になります。
- 「継承」では、AP エレメントの親の表示/非表示プロパティが使用されます。
- 「表示」では、親の値には関係なく、AP エレメントのコンテンツが表示されます。
- 「非表示」では、親の値には関係なく、AP エレメントのコンテンツが非表示になります。

スクリプト言語（JavaScript など）を使うと、表示/非表示プロパティを制御して、AP エレメントのコンテンツを動的に表示できます。

背景イメージ AP エレメントの背景イメージを指定します。

フォルダーアイコンをクリックし、イメージファイルを参照して選択します。

背景色 AP エレメントの背景色を指定します。

このオプションを空白のままにしておくと、透明な背景が指定されます。

クラス AP エレメントのスタイルを表すために使用する CSS クラスを指定します。

オーバーフロー AP エレメントの指定されたサイズを超えた場合に、ブラウザーで AP エレメントがどのように表示されるかを制御します。

「表示」を指定した場合は、指定のサイズを超えたコンテンツも AP エレメントに表示されます。実際には、コンテンツをすべて表示できるように AP エレメントが延長されます。「非表示」を指定した場合は、AP エレメントのサイズを超えたコンテンツはブラウザーに表示されません。「スクロール」を指定した場合は、スクロールバーが必要かどうかには関係なく、ブラウザー上で AP エレメントにスクロールバーが追加されます。「自動」を指定すると、スクロールバーが必要な場合（つまり、AP エレメントのコンテンツが AP エレメントの境界を越える場合）にのみ、ブラウザー上で AP エレメントのスクロールバーが表示されます。

注意： overflow オプションは、ブラウザーによってはサポートされていないことがあります。

切り抜き AP エレメントの表示部分を定義します。

左、上、右、下の各座標を指定して、AP エレメントの座標空間に四角形を定義します（AP エレメントの左上隅を基準とします）。AP エレメントは切り抜かれるため、指定した四角形の部分のみが表示されます。例えば、AP エレメントの左上隅に指定した幅 50 ピクセル、高さ 75 ピクセルの四角形の部分以外のコンテンツを非表示にするには、L = 0、T = 0、R = 50、B = 75 と設定します。

注意： CSS ではクリップに対して別の意味が指定されていますが、Dreamweaver でのクリップの解釈は、ほとんどのブラウザーと同じです。

4. テキストボックスに値を入力したら、Tab キーまたは Enter キー（Windows）、Return キー（Mac OS）を押して値を適用します。

複数の AP エレメントのプロパティの表示または設定

2 つ以上の AP エレメントを選択すると、AP エレメントのプロパティインスペクターにはテキストのプロパティと AP エレメントプロパティの一部が表示されます。これを使用すると、複数の AP エレメントを同時に変更することができます。

複数の AP エレメントの選択

❖ Shift キーを押しながら AP エレメントを選択します。

複数の AP エレメントのプロパティの表示と設定

1. 複数の AP エレメントを選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の右下隅にある縮小の三角形をクリックして（まだ展開されていない場合）、すべてのプロパティを表示します。

3. 複数の AP エレメントに対して、次のプロパティを設定します。
   左および上 ページまたは親の AP エレメント（ネストされている場合）の左上隅を基準として、AP エレメントの左上隅の位置を指定します。

   幅および高さ AP エレメントの幅と高さを指定します。
   注意： AP エレメントのコンテンツが指定したサイズを超える場合は、コンテンツをすべて表示できるように、AP エレメントの下端（Dreamweaver のデザインビューに表示されます）が延長されます。「オーバーフロー」プロパティが「表示」に設定されている場合を除き、AP エレメントがブラウザーに表示されるときに下端は延長されません。

   「初期設定」では、位置とサイズの単位はピクセル（px）です。単位として、pc（パイカ）、pt（ポイント）、in（インチ）、mm（ミリメートル）、cm（センチメートル）、または%（親の AP エレメントに対応する値に対する割合）を指定することもできます。単位は、値の後にスペースを入れず続けて入力します（例えば、3 ミリメートルの場合は「3mm」と入力します）。

   可視性 AP エレメントが最初に表示されるかどうかを指定します。必要に応じて次のオプションを選択します。

   - 初期設定では、表示/非表示のプロパティは指定されていません。このプロパティが指定されていない場合、ほとんどのブラウザーでは「継承」が初期設定になります。
   - 「継承」では、AP エレメントの親の表示/非表示プロパティが使用されます。
   - 「表示」では、親の値には関係なく、AP エレメントのコンテンツが表示されます。
   - 「非表示」では、親の値には関係なく、AP エレメントのコンテンツが非表示になります。

     スクリプト言語（JavaScript など）を使うと、表示/非表示プロパティを制御して、AP エレメントのコンテンツを動的に表示できます。

   タグ AP エレメントを定義するのに使用する HTML タグを指定します。

   背景イメージ AP エレメントの背景イメージを指定します。

   フォルダーアイコンをクリックし、イメージファイルを参照して選択します。

   背景色 AP エレメントの背景色を指定します。このオプションを空白のままにしておくと、透明な背景が指定されます。

4. テキストボックスに値を入力したら、Tab キーまたは Enter キー（Windows）、Return キー（Mac OS）を押して値を適用します。

AP エレメントパネルの概要

AP エレメントパネル（ウィンドウ／AP エレメント）を使用して、ドキュメントの APエレメントを管理します。AP エレメントパネルを使って、オーバーラップの防止、AP エレメントの表示/非表示の変更、AP エレメントのネストおよび重ね、AP エレメントの選択ができます。

注意： Dreamweaver の AP エレメントは、HTML ページエレメントです。具体的には、div タグまたは絶対位置が割り当てられた他のタグです。AP エレメントパネルは、相対位置に配置されたエレメントを表示しません。
AP エレメントは、名前のリストとして z インデックスの順に表示されます。初期設定では、最初に作成された AP エレメント（z インデックスが 1 となる）がリストの一番下に表示され、最後に作成された AP エレメントが一番上に表示されます。ただし、その場所を重ね順に変更して、AP エレメントの z インデックスを変更しても構いません。例えば、8 個の AP エレメントを作成し、4 番目の AP エレメントを一番上に移動する場合は、この AP エレメントに他の AP エレメントよりも大きい z インデックスを割り当てることができます。

AP エレメントの選択

AP エレメントを操作するときや、AP エレメントのプロパティを変更するときは、1 つまたは複数の AP エレメントを選択できます。

AP エレメントパネルで **AP** エレメントを選択します。
❖ AP エレメントパネル（ウィンドウ／AP エレメント）で、AP エレメントの名前をクリックします。

ドキュメントウィンドウで **AP** エレメントを選択します。
❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- AP エレメントの選択ハンドルをクリックします。

  選択ハンドルが表示されていない場合は、AP エレメントの内部をクリックするとハンドルが表示されます。
- AP エレメントのボーダーをクリックします。
- AP エレメントの内部を、Ctrl+Shift キーを押しながらクリックするか（Windows）、Command+Shift キーを押しながらクリックします（Mac OS）。
- AP エレメント内をクリックし、Ctrl+A（Windows）または Command+A（Mac OS）を押して、AP エレメントのコンテンツを選択します。再度 Ctrl+A（Windows）または Command+A（Mac OS）を押して AP エレメントを選択します。
- AP エレメント内をクリックして、タグセレクターでタグを選択します。

複数の **AP** エレメントの選択
❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- AP エレメントパネル（ウィンドウ／AP エレメント）で、複数の AP エレメントの名前を Shift キーを押しながらクリックします。
- ドキュメントウィンドウで、Shift キーを押しながら、2 つ以上の AP エレメントの内側またはボーダーをクリックします。

AP エレメントの重ね順の変更

AP エレメントの重ね順を変更するには、プロパティインスペクターまたは AP エレメントパネルを使用します。AP エレメントパネルのリストの先頭に表示される AP エレメントは、重ね順の一番上にあり、ほかの AP エレメントの前に表示されます。

HTML コードでは、AP エレメントの重ね順、つまり z インデックスによって、ブラウザーでの AP エレメントの描画順序を指定します。AP エレメントの重ね順は、AP エレメントの z インデックスを大きくするほど上になります。例えば、Z インデックスが 4 のエレメントは、Z インデックスが 3 のエレメントよりも前面に表示されます。重ね順の最小値は常に 1 です。AP エレメントパネルまたはプロパティインスペクターを使用すると、各 AP エレメントの z インデックスを変更できます。

AP エレメントパネルを使用して、**AP** エレメントの重ね順を変更する

1. ウィンドウ／AP エレメントを選択し、AP エレメントパネルを開きます。
2. Z インデックスを変更したい AP エレメントの横にある Z インデックス番号をダブルクリックします。
3. 番号を変更し、Return キーまたは Enter キーを押します。
   - AP エレメントを重ね順の上に移動するには、それより大きな数字を入力します。
   - AP エレメントを重ね順の下に移動するには、それより小さな数字を入力します。

プロパティインスペクターを使用した **AP** エレメントの重ね順の変更

1. ウィンドウ／AP エレメントを選択して AP エレメントパネルを開き、現在の重ね順を確認します。
2. AP エレメントパネルまたはドキュメントウィンドウで、Z インデックスを変更したい AP エレメントの横にある Z インデックス番号をダブルクリックします。
3. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の「Z インデックス」テキストボックスに数値を入力します。
   - AP エレメントを重ね順の上に移動するには、それより大きな数字を入力します。
   - AP エレメントを重ね順の下に移動するには、それより小さな数字を入力します。

AP エレメントの表示と非表示

ドキュメントを編集しているとき、AP エレメントパネルを使用して AP エレメントの表示と非表示を手動で切り替えて、異なる条件でページがどのように表示されるかを確認することができます。

注意： 現在選択されている AP エレメントは常に表示されており、選択されている間はほかの AP エレメントの前に表示されます。

AP エレメントの表示/非表示の変更

1. ウィンドウ／AP エレメントを選択し、AP エレメントパネルを開きます。
2. AP エレメントの表示と非表示を切り替えるには、その AP エレメントの目のアイコン列をクリックします。
   - 開いた目のアイコンは、AP エレメントが表示されていることを示します。
   - 閉じた目は非表示であることを示します。
   - 目のアイコンが表示されていない場合は、通常、AP エレメントが親から表示/非表示の設定を継承していることを表します （AP エレメ

ントがネストされていない場合は、常に表示されるドキュメントボディが親になります）。

また、表示/非表示が指定されていない場合も、目のアイコンは表示されません（この場合、プロパティインスペクターでは、可視性はデフォルトと表示されます）。

すべての **AP** エレメントの表示/非表示を一度に変更する

✤ AP エレメントパネル（ウィンドウ／AP エレメント）で、列の一番上の見出しにある目のアイコンをクリックします。

注意： この手順によって、すべての AP エレメントを表示または非表示に設定できますが、継承されることはありません。

AP エレメントのサイズ変更

1 つずつ AP エレメントのサイズを変更することも、複数の AP エレメントの幅と高さをまとめて同じサイズに変更することもできます。

「オーバーラップ防止」オプションがオンの場合は、別の AP エレメントと重なるように APエレメントのサイズを変更することはできません。

AP エレメントのサイズ変更

1. デザインビューで、AP エレメントを選択します。
2. AP エレメントのサイズを変更するには、以下のいずれかの操作を行います。
   - ドラッグしてサイズを変更するには、AP エレメントのサイズ変更ハンドルのいずれかをドラッグします。
   - 一度に 1 ピクセルずつサイズを変更するときは、Ctrl キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながら、矢印キーを押します。

     矢印キーを押すと、AP エレメントの右と下のボーダーが移動します。この方法で、上と左のボーダーを使ってサイズを変更することはできません。
   - 吸着グリッド単位でサイズを変更するときは、Shift+Ctrl キーを押しながら（Windows）、または Shift+Option キーを押しながら（Mac OS）、矢印キーを押します。
   - プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、幅（W）と高さ（H）の値を入力します。

     AP エレメントのサイズを変更すると、その幅と高さが変わります。表示される AP エレメントのコンテンツの大きさについては定義されません。AP エレメント内の可視領域は、環境設定で定義することができます。

複数の **AP** エレメントを一度にサイズ変更する

1. デザインビューで、2 つ以上の AP エレメントを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 修正／整列／幅の統一または修正／整列／高さの統一を選択します。

     最初に選択した AP エレメントのサイズが、最後に選択した AP エレメントの幅または高さに合わせて変更されます。
   - プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の「複数の CSS-P エレメント」で、幅と高さの値を入力します。

     この値が、選択した AP エレメントすべてに適用されます。

AP エレメントの移動

多くの基本的なグラフィックアプリケーションでオブジェクトを移動する場合とほとんど同じ方法で、デザインビューで AP エレメントを移動することができます。

「オーバーラップ防止」オプションがオンのとき、AP エレメントがほかの AP エレメントと重なるように移動することはできません。

1. デザインビューで、1 つまたは複数の AP エレメントを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ドラッグして移動するには、最後に選択した AP エレメント（黒でハイライト表示）の選択ハンドルをドラッグします。
   - 一度に 1 ピクセルずつ移動するには、矢印キーを使用します。

     Shift キーを押しながら矢印キーを押すと、現在の吸着グリッド単位分だけ AP エレメントを移動することができます。

AP エレメントの整列

AP エレメント整列コマンドを使って、1 つまたは複数の AP エレメントを最後に選択した APエレメントのボーダーに整列します。

AP エレメントを整列するとき、親の AP エレメントを選択して移動した場合は、選択されていない子の AP エレメントも移動することがあります。これを防ぐには、ネストした AP エレメントを使用しないようにしてください。

1. デザインビューで、AP エレメントを選択します。
2. 修正／整列を選択して、整列オプションを選択します。

   例えば、「上」を選ぶと、すべての AP エレメントが移動して、上のボーダーが最後に選択した AP エレメント（黒でハイライト表示）の上のボーダーと水平位置が同じになります。

AP エレメントをテーブルに変換

Web デザイナーによっては、レイアウトの作成方法としてテーブルよりも AP エレメントを好んで使用することがあります。Dreamweaver では、AP エレメントを使用してレイアウトを作成し、必要な場合はその後テーブルに変換することができます。例えば、バージョン 4.0 より前のブラウザーをサポートする必要がある場合は、AP エレメントをテーブルに変換する必要があります。ただし、AP エレメントをテーブルに変換することは、コードの膨張に加えてテーブル内に大量の空のセルが作成されるため、まったくお勧めできません。テーブルを使用するページレイアウトが必要な場合は、Dreamweaver で使用できる標準のテーブルレイアウトツールを使用してページレイアウトを作成することをお勧めします。

AP エレメントからテーブル、およびその逆の変換を繰り返しながらレイアウトを調整して、ページデザインを最適化することができます。ただし、テーブルを AP エレメントに再変換する場合、Dreamweaver では、テーブルへの変換前にページ上にあった AP エレメントの種類に関係なく、テーブルは絶対位置の Div に再変換されます。ページ上の特定のテーブルまたは AP エレメントを変換することはできません。ページ全体でAP エレメントをテーブルに変換、またはテーブルを絶対位置の Div に変換する必要があります。

注意： テンプレートドキュメント、またはテンプレートが適用されているドキュメントでは、AP エレメントからテーブルへの変換、またはテーブルから絶対位置の Div への変換はできません。代わりに、非テンプレート ドキュメントでレイアウトを作成し、変換した後で、テンプレートとして保存してください。

AP エレメントとテーブル間の変換

AP エレメントを使ってレイアウトを作成してから、AP エレメントをテーブルに変換すると、そのレイアウトを古いバージョンのブラウザーで表示できるようになります。

テーブルに変換する前に、AP エレメントがオーバーラップしていないことを確認してください。また、モードは標準モードになっていることを確認してください（表示／テーブルモード／標準モード）。

AP エレメントをテーブルに変換

1. 修正／変換／絶対位置の DIV をテーブルにを選択します。
2. 必要に応じて次のオプションを指定して、「OK」をクリックします。
   最も正確に AP エレメントごとにセルが作成され、さらに AP エレメント間の間隔を維持するためのセルが作成されます。

   最小：空のセルを表示しない 指定したピクセル数の中に AP エレメントを配置するときに、AP エレメントの縁が揃えられます。

   このオプションを選択すると、作成されるテーブルには空白の行と列が少なくなりますが、正確さに欠ける場合もあります。

   透明 **GIF** の使用 テーブルの最後の行が透明 GIF で埋められます。これにより、テーブルがすべてのブラウザーで同じ列幅で表示されることになります。

   このオプションがオンの場合は、作成されたテーブルの列をドラッグして編集することはできません。このオプションがオフの場合は、作成されるテーブルには透明 GIF は含まれませんが、列の幅はブラウザーによって異なります。

   ページ中央に揃える 作成されるテーブルがページの中央に配置されます。このオプションがオフの場合は、テーブルはページの左端から開始します。

テーブルを絶対位置の **Div** に変換

1. 修正／変換／テーブルを絶対位置の DIV にを選択します。
2. 必要に応じて次のオプションを指定して、「OK」をクリックします。
   AP エレメントのオーバーラップ防止 APエレメントを作成、移動、またはサイズ変更するとき、オーバーラップを防ぐために AP エレメントの位置が制限されます。

   AP エレメントパネルの表示 AP エレメントパネルが表示されます。

   グリッドの表示とグリッドに吸着 グリッドを利用して AP エレメントを簡単に配置することができます。

   テーブルは、絶対位置の Div に変換されます。空のセルは、背景色が指定されていなければ AP エレメントには変換されません。

   注意： テーブルの外にあるページエレメントも絶対位置の Div に配置されます。

AP エレメントのオーバーラップ防止

テーブルセルはオーバーラップできないため、Dreamweaver では、オーバーラップしている AP エレメントからテーブルを作成することはできません。ドキュメント内の AP エレメントをテーブルに変換する予定がある場合は、「オーバーラップ防止」オプションを使用して、AP エレメントがオーバーラップしないように AP エレメントの移動と配置を制限します。

このオプションがオンの場合は、既存の AP エレメントの上に AP エレメントを作成したり、既存の AP エレメントに重なるように AP エレメントを移動またはサイズを変更したり、既存の AP エレメント内にネストしたりすることはできません。AP エレメントのオーバーラップを作成後、このオプションを有効にする場合は、個々の APエレメントのオーバーラップをドラッグして、もう 1 つの AP エレメントから切り離します。Dreamweaver では、「AP エレメントのオーバーラップ防止」を有効にした場合、ページ内の既存の AP エレメントのオーバーラップが自動的に修正されません。

このオプションと吸着が使用可能のとき、AP エレメントの吸着によって 2 つの AP エレメントがオーバーラップしてしまう場合は、AP エレメントはグリッドには吸着しません。その代わりに、最も近くの AP エレメントの縁に吸着します。

注意： 「オーバーラップ防止」オプションがオンの場合でも、アクションによっては AP エレメントをオーバーラップできる場合があります。挿入メニューから AP エレメントを挿入するときや、プロパティインスペクターで数値を入力するとき、または HTML ソースコードを編集して AP

エレメントの位置を変更するときは、このオプションが選択されていても、AP エレメントをオーバーラップまたはネストすることができます。オーバーラップが発生した場合は、デザインビューでオーバーラップする AP エレメントをドラッグして引き離します。

- AP エレメントパネル（ウィンドウ／AP エレメント）で、「オーバーラップ防止」オプションを選択します。
- ドキュメントウィンドウで、修正／整列／AP エレメントのオーバーラップ防止を選択します。

関連項目

CSS レイアウトを使用したページの作成

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS の有効化と無効化

CSS プロパティを無効 / 有効にする機能を使用すると、コードを直接変更せずに、CSS スタイルパネルから CSS を部分的にコメントアウトできます。CSS を部分的にコメントアウトすることで、特定のプロパティと値がページにもたらす効果を確認できます。

CSS プロパティを無効にすると、CSS コメントタグと [disabled] ラベルが無効化された CSS プロパティに追加されます。その後、無効化された CSS プロパティを設定に応じて簡単に再有効化したり、削除できます。

CSS の有効化と無効化を使用した作業について Dreamweaver エンジニアリングチームが説明する概要ビデオは、www.adobe.com/go/dwcs5css_jp を参照してください。

1. CSS スタイルパネル（ウィンドウ／CSS スタイル）のプロパティペインで、無効にするプロパティを選択します。
2. プロパティペインの右下隅の CSS プロパティを無効 / 有効にするアイコンをクリックします。このアイコンは、プロパティ自身の左側にマウスを置いても表示されます。

   CSS プロパティを無効 / 有効にするアイコンをクリックすると、プロパティの左側に使用不可アイコンが表示されます。プロパティを再び有効化するには、使用不可アイコンをクリックするか、プロパティを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Macintosh OS）し、「有効化」を選択します。
3. （オプション）選択されたルール内で無効化されたすべてのプロパティを有効にするか、または削除するには、プロパティが無効にされている任意のルールまたはプロパティを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Macintosh OS）し、「選択されたルール内で無効化されたプロパティを有効にする」または「選択されたルール内で無効化されたプロパティをすべて削除する」を選択します。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

デザインタイムスタイルシートの使用

デザインタイムスタイルシートを使用すると、Dreamweaver のドキュメントを編集しているときに、CSS スタイルシートによって適用されているデザインの表示と非表示を切り替えることができます。例えば、このオプションを使用して、ページをデザインするときに Mac OS 固有または Windows 固有のスタイルシートの効果を追加または除外できます。

デザインタイムスタイルシートは、ドキュメントで作業している間のみ適用されます。ページがブラウザーウィンドウに表示されるときは、ドキュメントに実際に添付されているスタイルまたは埋め込まれているスタイルのみがブラウザーに表示されます。

注意： スタイルレンダリングツールバーを使用して、ページ全体のスタイルのオン/オフを切り替えることもできます。スタイルレンダリングツールバーを表示するには、表示／ツールバー／スタイルレンダリングを選択します。「CSS スタイル表示の切り替え」ボタン（一番右のボタン）は、ツールバーの他のメディアボタンとは独立して動作します。
デザインタイムスタイルシートを使用するには、以下の手順に従います。

1. 次のいずれかの操作を実行してデザインタイムスタイルシートダイアログボックスを開きます。
   - CSS スタイルパネル内を右クリックして、コンテキストメニューから「デザインタイム」を選択します。
   - フォーマット／CSS スタイル／デザインタイムを選択します。
2. ダイアログボックスで、選択したスタイルシートの表示と非表示を切り替えるオプションを設定します。
   - デザイン時に CSS スタイルシートを表示するには、「デザイン中のみ表示」の上にある「+」ボタンをクリックし、ファイルの選択ダイアログボックスで、表示する CSS スタイルシートを参照します。
   - デザイン時に CSS スタイルシートを非表示にするには、「デザイン中は非表示」の上にある「+」ボタンをクリックし、ファイルの選択ダイアログボックスで CSS スタイルシートを参照します。
   - リストからスタイルシートを削除するには、削除するスタイルシートをクリックして、「-」ボタンをクリックします。
3. 「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

   CSS スタイルパネルが更新され、選択したスタイルシートの名前と共にスタイルシートの状態を表す "非表示" または "デザイン" という文字列が表示されます。

関連項目
スタイルレンダリングツールバーの概要

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS スタイルパネル

「現在」モードでの CSS スタイルパネル
「すべて」モードでの CSS スタイルパネル
CSS スタイルパネルのボタンとビュー
CSS スタイルパネルを開く

CSS スタイルパネルでは、現在選択されているページエレメントに影響する CSS ルールとプロパティのトラッキング（「現在」モード）や、ドキュメントに使用できるすべてのルールとプロパティのトラッキング（「すべて」モード）が可能です。パネルの最上部にある切り替えボタンを使用して、2 つのモードを切り替えます。また、「すべて」と「現在」のどちらのモードも、CSS スタイルパネルで CSS プロパティを修正することが可能です。

トップへ戻る

「現在」モードでの CSS スタイルパネル

「現在」モードでは、CSS スタイルパネルは、パネルドキュメントの現在の選択範囲の CSS プロパティを表示する選択範囲のサマリーペイン、選択したプロパティ（選択範囲によっては、選択したタグのルールのカスケード）の場所を示すルールペイン、および選択範囲に適用されるルールの CSS プロパティを編集できるプロパティペインの 3 つのペインを表示します。

ペインのサイズを変更するには、ペイン間のボーダーをドラッグします。列のサイズを変更するには、分割線をドラッグします。

選択範囲のサマリーペインには、アクティブなドキュメントで現在選択されている項目の CSS プロパティの概要とそれらの値が表示されます。この概要には、選択範囲に直接適用されるすべてのルールのプロパティが表示されます。表示されるのは、設定済みプロパティのみです。

例えば、次のルールでは、クラススタイルとタグ（この場合は段落）スタイルを作成します。

```
.foo{
color: green;
font-family: 'Arial';
}
p{
font-family: 'serif';
font-size: 12px;
}
```

ドキュメントウィンドウで .foo のクラススタイルを持つ段落テキストを選択すると、選択範囲のサマリーペインには両方のルールの該当するプロパティが表示されます。これは、両方のルールが選択範囲に適用されるためです。この場合、選択範囲のサマリーペインには次のプロパティが表

示されます。

```
font-size: 12px
font-family: 'Arial'
color: green
```

選択範囲のサマリーペインでは、プロパティが詳細度に関して昇順に表示されます。前述の例では、タグスタイルがフォントサイズを定義し、クラススタイルがフォントファミリとカラーを定義します。クラススタイルによって定義されたフォントファミリが、タグスタイルによって定義されたフォントファミリに優先されますが、これはクラスセレクターの詳細度がタグセレクターよりも高いためです。CSS の仕様について詳しくは、www.w3.org/TR/CSS2/cascade.html を参照してください。

ルールペインには、選択範囲に応じて詳細ビューまたはルールビューという 2 つの異なるビューがあります。詳細ビュー（初期設定のビュー）には、選択した CSS プロパティを定義するルールの名前と、そのルールが含まれたファイルの名前が表示されます。ルールビューには、現在の選択範囲に直接的または間接的に適用されるすべてのルールのカスケード、または階層が表示されます （ルールが直接適用されるタグは右の列に表示されます）。ルールペインの右上隅にある「選択したプロパティに関する情報を表示」および「選択したタグのルールを重ねて表示」ボタンをクリックすると、2 つのビューを切り替えることができます。

選択範囲のサマリーペインでプロパティを選択すると、定義されたルールのすべてのプロパティがプロパティペインに表示されます （「ルール」ビューが選択されている場合は、定義されたルールがルールペインでも選択されます）。例えば、フォントファミリ、フォントサイズ、およびカラーを定義する .maintext というルールがある場合、選択範囲のサマリーペインでこれらの任意のプロパティを選択すると、.maintext ルールで定義されたすべてのプロパティがプロパティペインに表示され、選択した .maintext ルールがルールペインに表示されます。さらに、ルールペインで任意のルールを選択すると、そのルールのプロパティがプロパティペインに表示されます。次に、CSS が現在のドキュメントに埋め込まれているか、添付されたスタイルシートによりリンクされているかとは無関係に、プロパティペインを使用して CSS を素早く修正できます。初期設定では、プロパティペインには設定済みプロパティのみが表示され、それらがアルファベット順に並べ替えられます。

プロパティペインは 2 つの他のビューで表示することもできます。カテゴリビューには、フォント、背景、ブロック、ボーダーなどのカテゴリにプロパティがまとめて表示され、設定済みプロパティが各カテゴリの先頭に青のテキストで表示されます。リストビューには、使用可能なすべてのプロパティがアルファベット順に一覧表示され、同じように設定済みプロパティは先頭でソートされ、青のテキストで表示されます。ビューを切り替えるには、プロパティペインの左下隅にある「カテゴリビューの表示」、「リストビューの表示」、または「設定済みプロパティのみを表示」ボタンをクリックします。

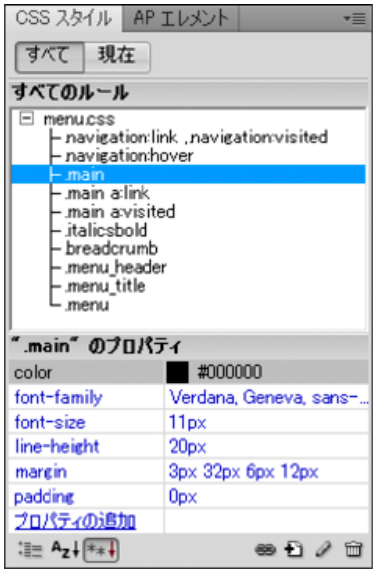
すべてのビューで、設定済みプロパティは青色で表示され、選択したエレメントと無関係なプロパティには赤い斜線が表示されます。無関係なルールの上にマウスを置くと、そのプロパティが無関係である理由を説明するメッセージが表示されます。通常、プロパティが無関係と判断されるのは、他に優先するプロパティが存在する場合や、そのプロパティが継承されたプロパティではない場合です。

プロパティペインで行う変更はすべてすぐに適用されるので、作業を進めながらプレビューすることができます。

トップへ戻る

「すべて」モードでの CSS スタイルパネル

「すべて」モードでは、CSS スタイルパネルにはすべてのルールペイン（上部）とプロパティペイン（下部）の 2 つのペインが表示されます。すべてのルールペインには、現在のドキュメントで定義されているルールのリストと、現在のドキュメントに添付されたスタイルシートに定義されているすべてのルールが表示されます。プロパティペインを使用すると、すべてのルールペインで選択されたルールの CSS プロパティを編集できます。



ペインのサイズを変更するには、ペイン間のボーダーをドラッグします。「プロパティ」の列のサイズを変更するには、分割線をドラッグします。

すべてのルールペインでルールを選択すると、そのルールで定義されたすべてのプロパティがプロパティペインの下に表示されます。次に、CSS が現在のドキュメントに埋め込まれているか、添付されたスタイルシートにリンクされているかとは無関係に、プロパティペインを使用して CSS

を素早く修正できます。初期設定では、プロパティペインには設定済みプロパティのみが表示され、それらがアルファベット順に並べ替えられます。

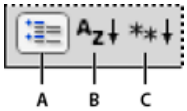
プロパティは 2 つの他のビューで表示することもできます。カテゴリビューには、フォント、背景、ブロック、ボーダーなどのカテゴリにプロパティがまとめて表示され、設定済みプロパティは各カテゴリの先頭に表示されます。リストビューには、使用可能なすべてのプロパティがアルファベット順に一覧表示され、同じように設定済みプロパティは先頭でソートされます。ビューを切り替えるには、プロパティペインの左下隅にある「カテゴリビューの表示」、「リストビューの表示」、または「設定済みプロパティのみを表示」ボタンをクリックします。すべてのビューで、設定済みプロパティは青で表示されます。

プロパティペインで行う変更はすべてすぐに適用されるので、作業を進めながらプレビューすることができます。

トップへ戻る

CSS スタイルパネルのボタンとビュー

「すべて」モードと「現在」モードの両方で、CSS スタイルパネルには、プロパティペイン（下のペイン）でビューを変更できる 3 つのボタンが含まれています。



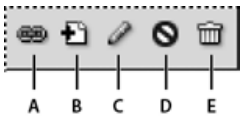
A. カテゴリビュー **B.** リストビュー **C.** プロパティビューの設定

カテゴリビュー Dreamweaver でサポートされる CSS プロパティが、フォント、背景、ブロック、ボーダー、ボックス、リスト、位置、拡張の 8 つのカテゴリに分類されます。各カテゴリのプロパティはリストに含まれます。このリストは、カテゴリ名の横にある「+」ボタンをクリックすることにより展開または縮小できます。設定されているプロパティがリストの上部に青色で表示されます。

リストビュー Dreamweaver でサポートされるすべての CSS プロパティがアルファベット順に表示されます。設定されているプロパティがリストの上部に青色で表示されます。

プロパティビューの設定 設定済みのプロパティだけが表示されます。設定済みのプロパティビューは初期設定のビューです。

「すべて」および「現在」モードの両方で、CSS スタイルパネルには以下のボタンが含まれます。



A. スタイルシートを添付 **B.** 新規 CSS ルール **C.** スタイルの編集 **D.** CSS プロパティを無効 / 有効にする **E.** CSS ルールの削除

スタイルシートを添付 外部スタイルシートのリンクダイアログボックスが表示されます。現在のドキュメントにリンクする、または読み込む外部スタイルシートを選択します。

新規 **CSS** ルール 作成するスタイルのタイプを選択できるダイアログボックスが表示されます。例えば、このダイアログボックスでは、クラススタイルを作成するのか、HTML タグを再定義するのか、または CSS セレクターを定義するのかを選択できます。

スタイルの編集 現在のドキュメントまたは外部スタイルシートに定義されているスタイルを編集できるダイアログボックスが表示されます。

CSS ルールの削除 選択したルールまたはプロパティが CSS スタイルパネルから削除され、そのスタイルが適用されていたすべてのエレメントからフォーマットが削除されます。ただし、そのスタイルで参照されるクラスまたは ID プロパティは削除されません。「CSS ルールの削除」ボタンは、添付された CSS スタイルシートを削除（または、"リンクを削除"）することもできます。

CSS スタイルパネルを右クリック（Windows）、または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）すると、CSS スタイルシートのコマンドを実行するためのオプションがコンテキストメニューに表示されます。

トップへ戻る

CSS スタイルパネルを開く

CSS スタイルパネルを使用すれば、CSS スタイルを表示、編集、削除できる他、外部スタイルシートをドキュメントに添付することもできます。

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- ウィンドウ／CSS スタイルを選択します。
- Shift + F11 キーを押します。
- プロパティインスペクターで「CSS」ボタンをクリックします。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS を使用したページのレイアウト

CSS ページのレイアウトについて
CSS ページのレイアウト構造について
CSS レイアウトを使用したページの作成

CSS ページのレイアウトについて

ページの先頭へ

CSS ページのレイアウトでは、従来の HTML のテーブルやフレームではなくカスケーディングスタイルシートフォーマットを使用して、Web ページ上のコンテンツが整理されます。CSS レイアウトの基本的な作成ブロックは Div タグです。Div タグは、テキストやイメージなどのページエレメントのコンテナとして機能することの多い HTML タグです。CSS レイアウトを作成する場合は、ページ上に Div タグを置き、それらのタグにコンテンツを追加し、さらにそれらを様々な場所に配置します。テーブルの行と列内にのみ存在するテーブルセルとは異なり、Div タグは Web ページ上のあらゆる場所に配置できます。Div タグは、絶対的に配置するか（x 座標と y 座標を指定）、相対的に配置（現在の位置を基準とした位置を指定）できます。フロート、余白およびマージンを指定して Div タグを配置することもできます。これは、現在の Web 標準で推奨される方法です。

CSS レイアウトを一から作成するのは、多数の方法があることから困難になりかねません。単純な 2 列の CSS レイアウトを作成する場合でも、フロート、マージン、余白などの CSS プロパティをほぼ無限に組み合わせて設定できます。また、異種ブラウザー間のレンダリングの問題があるために、一部の CSS レイアウトがブラウザーによって正しく表示されたり表示されなかったりします。Dreamweaver では、CSS レイアウトを使用するページを簡単に作成できるように、異なるブラウザー間で正しく動作する、事前にデザインされたレイアウトを 16 種類以上提供しています。

CSS レイアウトを使用するページを作成するには、Dreamweaver 付属の事前にデザインされた CSS レイアウトを使用する方法が最も簡単ですが、Dreamweaver の絶対位置のエレメント（AP エレメント）を使用して CSS レイアウトを作成することもできます。Dreamweaver の AP エレメントは、HTML ページエレメントです。具体的には、`div` タグまたは絶対位置が割り当てられた他のタグです。ただし、Dreamweaver の AP エレメントには、絶対的な位置が指定されることから、ブラウザーウィンドウのサイズに応じてページ上の位置を調整できないという制限があります。

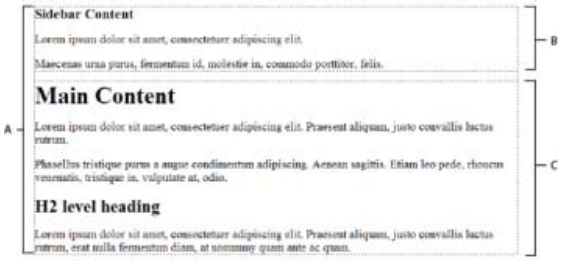
上級ユーザーであれば、`div` タグを手動で挿入し、それらのタグに CSS の位置スタイルを適用してページレイアウトを作成することもできます。

CSS ページのレイアウト構造について

ページの先頭へ

この項に進む前に、CSS の基本的な概念を理解しておく必要があります。

CSS レイアウトの基本的な作成ブロックは Div タグです。Div タグは、テキストやイメージなどのページエレメントのコンテナとして機能することの多い HTML タグです。次の例では、3 つの異なる Div タグを含んだ HTML ページを示します。1 つは大きな "コンテナ" タグで、残りの 2 つはコンテナタグに含まれているサイドバータグとメインコンテンツタグです。



A. コンテナ *Div* ***B.*** サイドバー *Div* ***C.*** メインコンテンツ *Div*

次に示すのは、HTML 内の 3 つの Div タグをすべて含んだコードです。

```
<!--container div tag-->
<div id="container">
<!--sidebar div tag-->
    <div id="sidebar">
    <h3>Sidebar Content</h3>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit.</p>
    <p>Maecenas urna purus, fermentum id, molestie in, commodo  porttitor, felis.</p>
      </div>
```

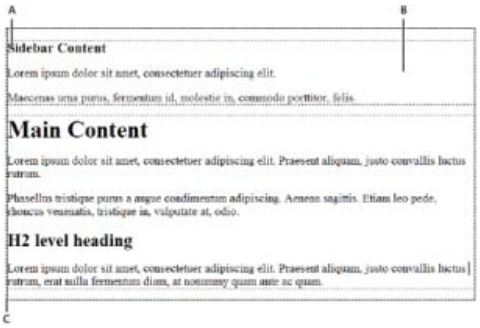
```
<!--mainContent div tag-->
    <div id="mainContent">
    <h1> Main Content </h1>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Praesent aliquam,  justo convallis luctus
rutrum.</p>
    <p>Phasellus tristique purus a augue condimentum adipiscing. Aenean  sagittis. Etiam leo pede, rhoncus
venenatis, tristique in, vulputate at, odio.</p>
    <h2>H2 level heading </h2>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Praesent aliquam,  justo convallis luctus
rutrum, erat nulla fermentum diam, at nonummy quam  ante ac quam.</p>
    </div>
</div>
```

上の例では、どの Div タグにも "スタイル" が関連付けられていません。CSS ルールが定義されていない状態では、各 Div タグとそのコンテンツがページ上の初期設定の位置に配置されます。ただし、各 Div タグには固有の ID が割り当てられており（上の例を参照）、この ID を使用して CSS ルールを作成し、これを適用することで、Div タグのスタイルと配置を変更できます。

次に示す CSS ルールは、ドキュメントのヘッドか外部 CSS ファイルに保存されており、ページ上の最初の（コンテナ）Div タグ用のスタイルルールを作成します。

```
#container {
    width: 780px;
    background: #FFFFFF;
    margin: 0 auto;
    border: 1px solid #000000;
    text-align: left;
}
```

この #container ルールでは、コンテナ Div タグのスタイルとして、780 ピクセルの幅、白い背景、余白なし（ページの左側）、1 ピクセルの黒い実線の境界線、および左揃えのテキストを設定しています。このルールがコンテナ Div タグに適用されたときの結果は次のとおりです。

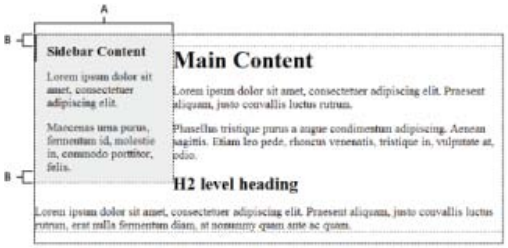


コンテナ *Div* タグ、*780* ピクセル、余白なし
A. 左揃えのテキスト ***B.*** 白い背景 ***C.*** *1* ピクセルの黒い実線の境界線

次の CSS ルールは、サイドバー Div タグ用のスタイルルールを作成します。

```
#sidebar {
    float: left;
    width: 200px;
    background: #EBEBEB;
    padding: 15px 10px 15px 20px;
}
```

この #sidebar ルールでは、サイドバー Div タグのスタイルとして、200 ピクセルの幅、グレーの背景、15 ピクセルの上余白と下余白、10 ピクセルの右余白、および 20 ピクセルの左余白を設定しています （余白の順序は、初期設定では top-right-bottom-left です）。さらにこのルールでは、"float: left" でサイドバー Div タグの位置を設定しています。これは、サイドバー Div タグをコンテナ Div タグの左側に配置するプロパティです。このルールがサイドバー Div タグに適用されたときの結果は次のとおりです。



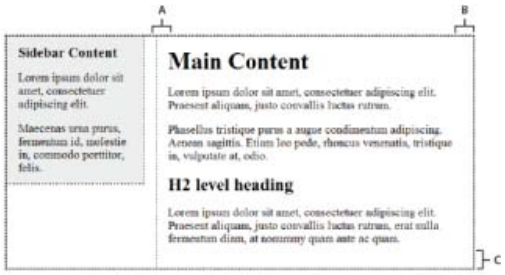
サイドバー *Div*、左フロート
A. *200* ピクセルの幅 ***B.*** 上余白と下余白、*15* ピクセル

最後に、メインコンテンツ Div タグ用の CSS ルールでレイアウトが完成します。

```
#mainContent {
    margin: 0 0 0 250px;
    padding: 0 20px 20px 20px;
}
```

この #mainContent ルールでは、メインコンテンツ Div タグのスタイルとして、250 ピクセルの左マージンを設定しています。これは、コンテナ Div の左側とメインコンテンツ Div の左側の間に 250 ピクセルのスペースを空けることを意味します。さらにこのルールでは、メインコンテンツ Div の右側、下側、左側それぞれに 20 ピクセルの空間を空けるよう設定しています。このルールがメインコンテンツ Div に適用されたときの結果は次のとおりです。

コード全体を次に示します。



メインコンテンツ *Div*、*250* ピクセルの左マージン
A. *20* ピクセルの左余白 ***B.*** *20* ピクセルの右余白 ***C.*** *20* ピクセルの下余白

```
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=iso-8859-1" />
<title>Untitled Document</title>
<style type="text/css">
#container {
    width: 780px;
    background: #FFFFFF;
    margin: 0 auto;
    border: 1px solid #000000;
    text-align: left;
}
#sidebar {
    float: left;
    width: 200px;
    background: #EBEBEB;
    padding: 15px 10px 15px 20px;
}
#mainContent {
    margin: 0 0 0 250px;
    padding: 0 20px 20px 20px;
}
</style>
</head>
<body>
<!--container div tag-->
<div id="container">
    <!--sidebar div tag-->
```

```
    <div id="sidebar">
    <h3>Sidebar Content</h3>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit.</p>
    <p>Maecenas urna purus, fermentum id, molestie in, commodo  porttitor, felis.</p>
      </div>
     <!--mainContent div tag-->
    <div id="mainContent">
    <h1> Main Content </h1>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Praesent aliquam,  justo convallis luctus
rutrum.</p>
    <p>Phasellus tristique purus a augue condimentum adipiscing. Aenean  sagittis. Etiam leo pede, rhoncus
venenatis, tristique in, vulputate at, odio.</p>
    <h2>H2 level heading </h2>
    <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Praesent aliquam,  justo convallis luctus
rutrum, erat nulla fermentum diam, at nonummy quam  ante ac quam.</p>
    </div>
</div>
</body>
```

注意： 上の例のコードは、*Dreamweaver* 付属の事前にデザインされたレイアウトを使用して新しいドキュメントを作成するときに、*2* 列を固定に、左にサイドバーレイアウトを作成するコードを簡略化したものです。

ページの先頭へ

CSS レイアウトを使用したページの作成

Dreamweaver で新しいページを作成するときに、CSS レイアウトをあらかじめ含んでいるページを作成することができます。Dreamweaver では、16 種類の CSS レイアウトを選択できるようになっています。また、CSS レイアウトを独自に作成して設定フォルダーに追加すると、新規ドキュメントダイアログボックスにレイアウトの選択肢としてそれらが表示されるようになります。

Dreamweaver CSS のレイアウトが正しく表示されるブラウザーは、Firefox（Windows および Mac OS）1.0、1.5、2.0、3.6、Internet Explorer（Windows）5.5、6.0、7.0、8.0、Opera（Windows および Mac OS）8.0、9.0、10.0、Safari 2.0、3.0、4.0、Chrome 3.0 です。

CSS レイアウトを使用したページの作成

1. ファイル／新規を選択します。
2. 新規ドキュメントダイアログボックスで、「空白ページ」カテゴリーを選択します （初期設定ではこれが選択されます）。
3. 「ページタイプ」で、作成するページの種類を選択します。

   注意： レイアウトには *HTML* ページタイプを選択する必要があります。例えば、*HTML*、*ColdFusion*®、*PHP* などを選択できます。*CSS* レイアウトを使用して *ActionScript*™、*CSS*、ライブラリ項目、*JavaScript*、*XML*、*XSLT*、または *ColdFusion* コンポーネントのページを作成することはできません。新規ドキュメントダイアログボックスの「その他」カテゴリーのページタイプにも、*CSS* ページレイアウトを含めることはできません。

4. 「レイアウト」で、使用する CSS レイアウトを選択します。16 種類のレイアウトから選択できます。プレビューウィンドウにレイアウトが表示され、選択したレイアウトの簡単な説明が示されます。

   事前にデザインされた CSS レイアウトでは、次のタイプの列が提供されています。

   固定 列幅をピクセルで指定します。ブラウザーのサイズやサイトのビジターのテキスト設定に関係なく、列のサイズが固定されます。

   リキッド 列の幅をサイトのビジターのブラウザー幅に対する割合で指定します。サイトのビジターがブラウザーの幅を拡大縮小すると、デザインが適合されますが、サイトのビジターがテキスト設定を変更しても、デザインは適合されません。

5. ドキュメントタイプポップアップメニューでドキュメントタイプを選択します。
6. レイアウト CSS ポップアップメニューで、レイアウトの CSS の場所を選択します。

   ヘッドに追加 レイアウトの CSS を作成中のページのヘッドに追加します。

   新規ファイルを作成 レイアウトの CSS を新しい外部 CSS スタイルシートに追加し、この新しいスタイルシートを作成中のページに添付します。

   既存ファイルへリンク レイアウトに必要な CSS ルールをあらかじめ含んでいる既存の CSS ファイルを指定できます。このオプションは、複数のドキュメントで同じ CSS レイアウト（CSS ルールが単一のファイルに収められているレイアウト）を使用する場合に特に便利です。

7. 次のいずれかの操作を実行します。
   - レイアウト CSS ポップアップメニューで「ヘッドに追加」（初期設定オプション）を選択した場合は、「作成」をクリックします。
   - レイアウト CSS ポップアップメニューで「新規ファイルを作成」を選択した場合は、「作成」をクリックし、スタイルシートファイルの新規保存ダイアログボックスで新しい外部ファイルの名前を指定します。

- レイアウト CSS ポップアップメニューで「既存ファイルへリンク」を選択した場合は、スタイルシートを添付アイコンをクリックして「CSS ファイルを添付」テキストボックスに外部ファイルを追加することでスタイルシートファイルの新規保存ダイアログボックスに入力し、「OK」をクリックします。作業が完了したら、新規ドキュメントダイアログボックスで「作成」をクリックします。

注意： 「既存ファイルへリンク」オプションを選択する場合は、指定するファイルに *CSS* ファイルに対するルールがあらかじめ含まれている必要があります。

レイアウト CSS を新しいファイルに挿入するか、外部ファイルにリンクすると、Dreamweaver によって自動的にそのファイルが作成中の HTML ページにリンクされます。

注意： *Internet Explorer* の表示上の問題に対処するための *IE* 条件分岐コメント（*CC*）は、レイアウト *CSS* の場所として新規外部ファイルまたは既存の外部ファイルを選択した場合でも、新しい *CSS* レイアウトドキュメントのヘッドに埋め込まれたままとなります。

8. （オプション）CSS レイアウトとは無関係の新しいページを作成する際に、そのページに CSS スタイルシートを添付することもできます。そのためには、CSS ファイルを添付ペインの上にあるスタイルシートを添付アイコンをクリックし、CSS スタイルシートを選択します。

   このプロセスの詳しいウォークスルーについては、David Powers の記事（Automatically attaching a style sheet to new documents（英語））を参照してください。

カスタム CSS レイアウトの選択リストへの追加

1. 新規ドキュメントダイアログボックスの選択リストに追加したい CSS レイアウトを含んでいる HTML ページを作成します。レイアウトの CSS は、HTML ページのヘッドに含まれていなければなりません。

   カスタム *CSS* レイアウトを *Dreamweaver* 付属の他のレイアウトと一貫させるには、*.htm* 拡張子を指定して *HTML* ファイルを保存する必要があります。

2. HTML ページを Adobe Dreamweaver CS5¥Configuration¥BuiltIn¥Layouts フォルダーに追加します。
3. （オプション）レイアウトのプレビューイメージ（例えば .gif ファイルや .png ファイル）を Adobe Dreamweaver CS5¥Configuration¥BuiltIn¥Layouts フォルダーに追加します。Dreamweaver 付属の初期設定イメージは、幅が 227 ピクセル、高さが 193 ピクセルの PNG ファイルです。

   プレビューイメージファイルには、容易に追跡できるように、*HTML* ファイルと同じ名前を付けてください。例えば、*HTML* ファイルの名前が *myCustomLayout.htm* である場合は、プレビューイメージファイルの名前を *image myCustomLayout.png* にします。

4. （オプション）カスタムレイアウト用のノートファイルを作成します。このためには、Adobe Dreamweaver CS5¥Configuration¥BuiltIn¥Layouts¥_notes フォルダーを開き、同じフォルダー内にあるいずれかの既存ノートファイルをコピーしてペーストし、そのコピーファイルの名前をカスタムレイアウトに合わせて変更します。例えば、oneColElsCtr.htm.mno ファイルをコピーし、そのファイル名を myCustomLayout.htm.mno にすることができます。
5. （オプション）カスタムレイアウト用のノートファイルを作成したら、このファイルを開いて、レイアウト名、説明、およびプレビューイメージを指定できます。

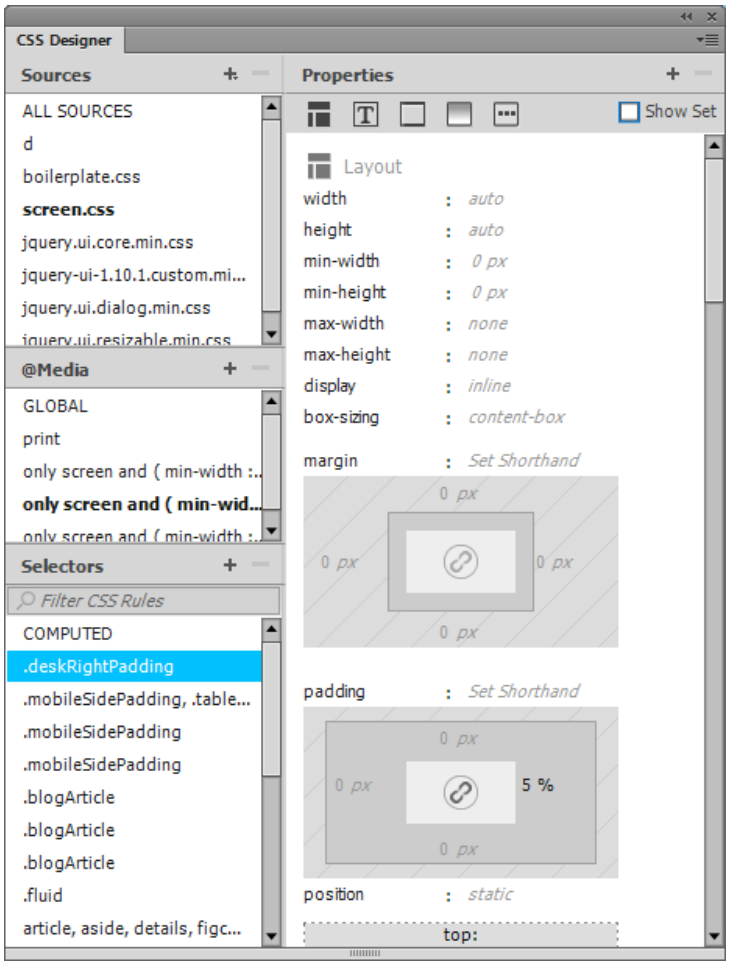
- 外部 CSS スタイルシートへのリンク

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS デザイナーパネル

CSS デザイナーパネル（Windows／CSS デザイナー）は、CSS スタイル、ファイル、設定済みプロパティ、メディアクエリーを「視覚的」に作成できる CSS プロパティインスペクターです。



CSS デザイナーパネル

注意： *CSS* デザイナーで実行するすべての操作は、取り消したり（*Ctrl/Command + Z*）、やり直す（*Ctrl/Command + Y*）ことができます。ライブビューの変更は自動的に反映され、関連する *CSS* ファイルも更新されます。関連ファイルが変更されたことを知らせるために、影響を受けるファイルのタブがしばらくの間、強調表示されます（約 *8* 秒）。

スタイルシートの作成と添付
メディアクエリーの定義
CSS セレクターの定義
  スタイルのコピー＆ペースト
CSS プロパティの設定
  マージン、余白、位置の設定
  境界線のプロパティを設定
  プロパティの無効化または削除
  ショートカットキー
CSS セレクターに関連付けられたページエレメントの特定（13.1）
  ライブハイライトを無効にする

参照項目

- CSS を使用したページのレイアウト
- CSS3 トランジション効果

CSS デザイナーパネルは、次のペインで構成されています。

ソース ドキュメントに関連付けられているすべての CSS スタイルシートが一覧表示されます。このペインを使用して、CSS を作成してドキュメントに添付したり、ドキュメント内でスタイルを定義したりできます。

@Media ソースペインで選択したソースのすべてのメディアクエリーが一覧表示されます。特定の CSS を選択しない場合は、ドキュメントに関連付けられているすべてのメディアクエリーが表示されます。

セレクター ソースペインで選択したソースのすべてのセレクターが一覧表示されます。メディアクエリーも選択した場合は、そのメディアクエリーのセレクターだけが一覧表示されます。CSS もメディアクエリーも選択しない場合は、ドキュメントのすべてのセレクターが表示されます。

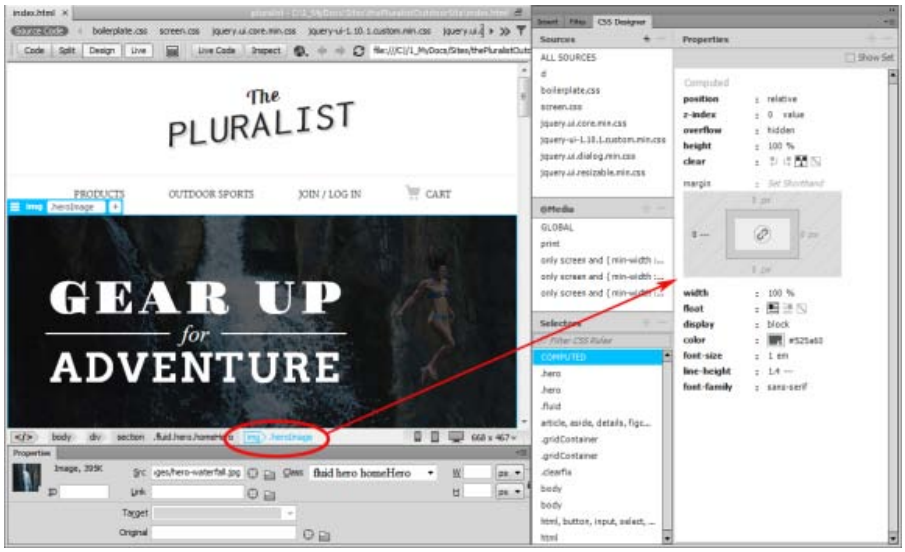
@Media ペインで「グローバル」を選択すると、選択されたソースのメディアクエリーに含まれていないすべてのセレクターが表示されます。

プロパティ 指定したセレクターに設定できるプロパティが表示されます。詳しくは、「設定済みプロパティ」を参照してください。

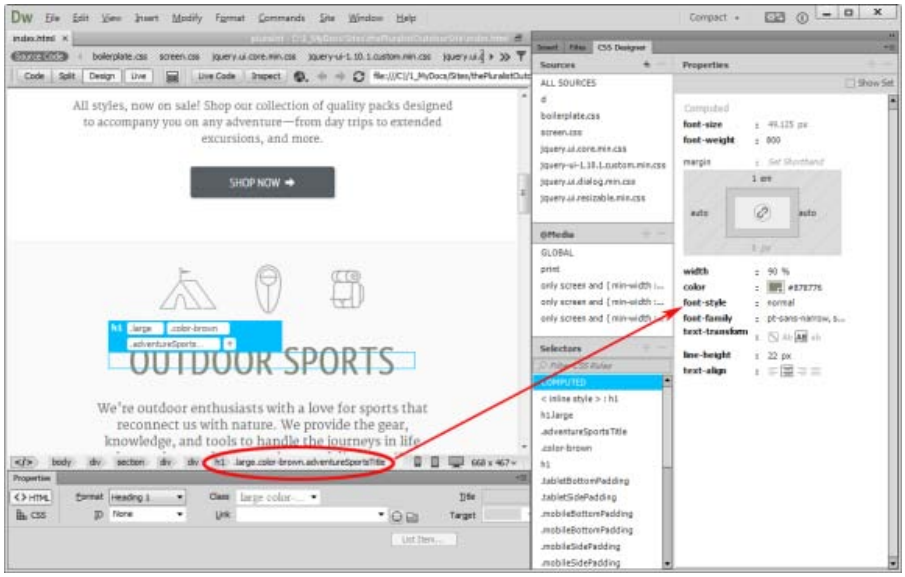
CSS デザイナーは状況依存型です。つまり、特定のコンテキストまたは選択されているページエレメントについて、関連するセレクターとプロパティを表示できることを意味します。また、CSS デザイナーでセレクターを選択すると、関連するソースおよびメディアクエリーがそれぞれのペインで強調表示されます。

ビデオチュートリアル

- CSS デザイナーパネルを使って Web ページにスタイルを追加



ライブビューで選択されたイメージのプロパティを表示する *CSS* デザイナー



ライブビューで選択された見出しのプロパティを表示する *CSS* デザイナー

注意： ページエレメントを選択すると、セレクターペインで「計算済み」が選択されます。セレクターをクリックすると、関連するソース、メディアクエリーまたはプロパティが表示されます。

すべてのセレクターを表示するには、ソースペインで「すべてのソース」を選択します。選択されたソースのどのメディアクエリーにも属さないセレクターを表示するには、@Media ペインの「グローバル」をクリックします。

ビデオチュートリアル

- CSS デザイナーパネルの使用

ページの先頭へ

スタイルシートの作成と添付

1. CSS デザイナーパネルのソースパネルで ＋ をクリックし、次のいずれかのオプションをクリックします。
   - 新規 CSS ファイルを作成：新規 CSS ファイルを作成し、ドキュメントに添付します。
   - 既存の CSS ファイルを添付：既存の CSS ファイルをドキュメントに添付します。
   - ページで定義：ドキュメント内で CSS を定義します。

   選択したオプションに応じて、新規 CSS ファイルを作成または既存の CSS ファイルを添付ダイアログボックスが表示されます。
2. 「参照」をクリックして、CSS ファイルの名前を指定し、CSS を作成する場合は新しいファイルの保存場所も指定します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 「リンク」をクリックして、Dreamweaver ドキュメントと CSS ファイルをリンクさせます。
   - 「読み込み」をクリックして、CSS ファイルをドキュメントに読み込みます。
4. （オプション）「条件付き使用」をクリックし、CSS ファイルに関連付けるメディアクエリーを指定します。

ページの先頭へ

メディアクエリーの定義

1. CSS デザイナーパネルのソースペインで CSS ソースをクリックします。
2. @Media ペインで ＋ をクリックして、新しいメディアクエリーを追加します。

   メディアクエリーの定義ダイアログボックスが表示され、Dreamweaver でサポートされているすべてのメディアクエリーの条件が一覧表示されます。
3. 必要に応じて「条件」を選択します。メディアクエリーについて詳しくは、この記事を参照してください。

   選択したすべての条件に有効な値を指定します。有効な値が指定されていないと、対応するメディアクエリーが正しく作成されません。

   注意： 現在複数の条件で「*And*」演算がサポートされています。

メディアクエリーの条件をコードで追加する場合、メディアクエリーの定義ダイアログボックスにはサポートされている条件だけが表示されます。ただし、ダイアログボックスの「コード」テキストボックスには、完全なコードが表示されます（サポートされていない条件も含む）。

デザイン／ライブビューのメディアクエリーをクリックすると、ビューポートが選択したメディアクエリーと一致するように切り替わります。ビューポート全体を表示するには、@Media ペインで「グローバル」をクリックします。

ページの先頭へ

CSS セレクターの定義

1. CSS デザイナーのソースペインで CSS ソースを選択するか、@Media ペインでメディアクエリーを選択します。
2. セレクターペインで ＋ をクリックします。ドキュメントで選択したエレメントに応じて、関連するセレクター（最大 3 つのルール）がすみやかに特定され、CSS デザイナーに表示されます。

   次のうち、必要な操作を行うことができます。
   - 推奨されるセレクターを詳細化または省略化するには、上向き矢印キーまたは下向き矢印キーを使用します。
   - 推奨されるルールを削除するには、目的のセレクターを入力します。セレクターの名前とともにセレクタータイプの記号を入力します。例えば、ID を指定する場合、セレクターの名前の前に「#」を置きます。
   - 特定のセレクターを検索するには、ペインの上部にある検索ボックスを使用します。
   - セレクターの名前を変更するには、セレクターをクリックし、目的の名前を入力します。
   - セレクターの構成を変更するには、セレクターを目的の場所にドラッグします。
   - セレクターを別のソースに移動するには、セレクターをソースペインの目的のソースにドラッグします。
   - 選択したソースのセレクターを複製するには、セレクターを右クリックし、「複製」をクリックします。
   - セレクターを複製してメディアクエリーに追加するには、セレクターを右クリックし、「メディアクエリーに複製」上にマウスを移動し

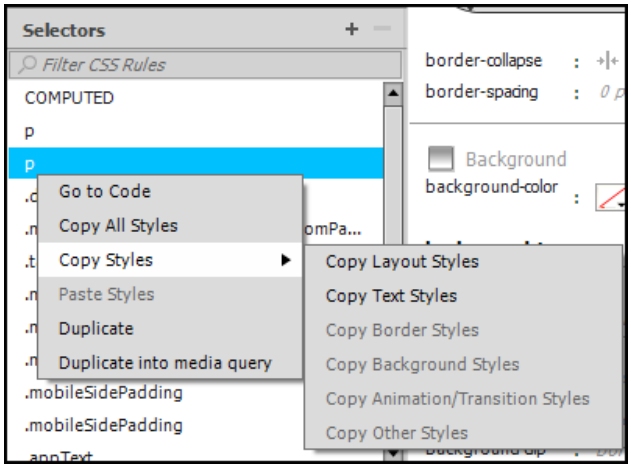
てから、メディアクエリーを選択します。

注意：「メディアクエリーに複製」オプションは、選択したセレクターのソースにメディアクエリーが含まれる場合にのみ使用できます。セレクターをあるソースから別のソースのメディアクエリーに複製することはできません。

スタイルのコピー＆ペースト

1 つのセレクターから別のセレクターに、スタイルをコピーしてペーストできます。すべてのスタイルをコピーすることも、レイアウト、テキスト、境界線などの特定のスタイルのカテゴリーのみコピーすることもできます。

セレクターを右クリックし、使用可能なオプションから選択します。



CSS デザイナーを使用したスタイルのコピー

- セレクターにスタイルが存在しない場合、「スタイルをコピー」および「すべてのスタイルをコピー」は無効になります。
- 編集できないリモートサイトでは、「スタイルをペースト」は無効ですが、「スタイルをコピー」および「すべてのスタイルをコピー」は使用できます。
- セレクターに既に部分的に存在するスタイル（オーバーラップ）はペーストできます。すべてのセレクターの Union はペーストされます。
- スタイルのコピー/ペーストは、異なるリンケージの CSS ファイル（読み込み、リンク、インラインスタイル）で使用できます。

ページの先頭へ

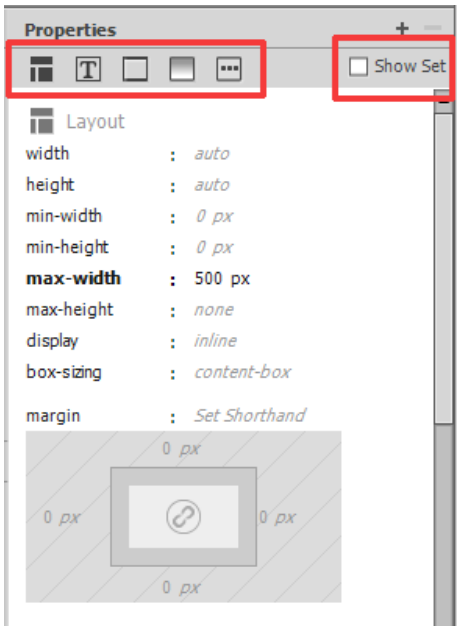
CSS プロパティの設定

プロパティは次のカテゴリーにグループ化され、プロパティペインの上部に異なるアイコンで表示されます。

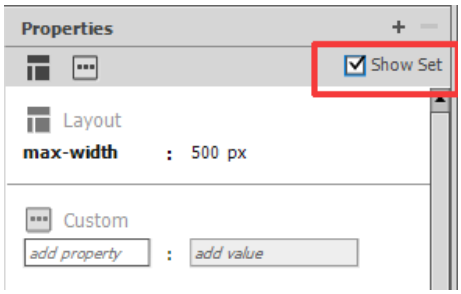
- レイアウト
- テキスト
- 境界線
- 背景
- その他（「テキストのみ」のプロパティの一覧など。視覚的なコントロールのあるプロパティは含まれません。）

注意： *CSS* セレクターのプロパティを編集する前に、リバースインスペクトを使用して *CSS* セレクターに関連付けられているエレメントを特定してください。これにより、リバースインスペクト中に強調表示されたすべてのエレメントに実際に変更が必要かどうかを判断できます。リバースインスペクトについて詳しくは、リンクを参照してください。

「セットを表示」チェックボックスを選択すると、設定済みプロパティだけが表示されます。セレクターに指定できるすべてのプロパティを表示するには、「セットを表示」チェックボックスの選択を解除します。



すべてのプロパティ



設定済みプロパティのみ

`width` や `border-collapse` などのプロパティを設定するには、プロパティペインでプロパティの横に表示されている必要なオプションをクリックします。グラデーションの背景またはボックスコントロール（マージン、余白、位置など）の設定については、以下のリンクを参照してください。

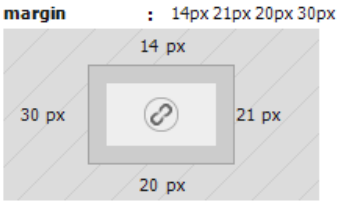
- マージン、余白および位置の設定
- 背景へのグラデーションの適用
- フレキシブルボックスレイアウトの使用

上書きされたプロパティは、取り消し線で示されます。

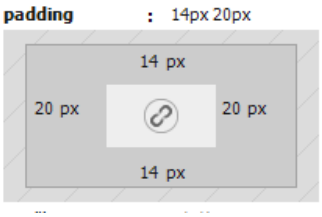
上書きされたプロパティの取り消し線

マージン、余白、位置の設定

CSS デザイナーのプロパティペインで、ボックスコントロールを使用してマージン、余白、および位置の各プロパティをすばやく設定できます。コードを使用する場合は、クイック編集ボックスでマージンや余白のショートハンドコードを指定できます。



'margin' プロパティ

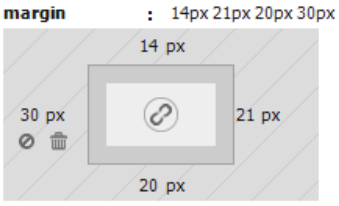


'padding' プロパティ

'position' プロパティ

値をクリックして必要な値を入力します。4 つの値をすべて同時に同じ値に変更する場合は、中央にあるリンクアイコン（）をクリックします。

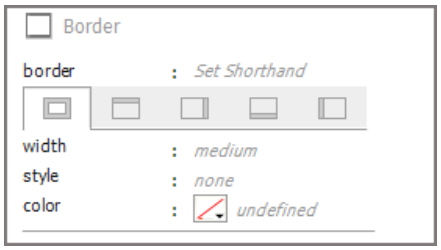
特定の値をいつでも無効化（）または削除（）できます。例えば、右と上下のマージンの値は維持したまま左マージンの値を無効化または削除できます。



マージンの無効化、削除、およびリンクアイコン

境界線のプロパティを設定

境界線のコントロールプロパティは、プロパティをすばやく表示または変更できるように、論理的なタブにまとめられています。

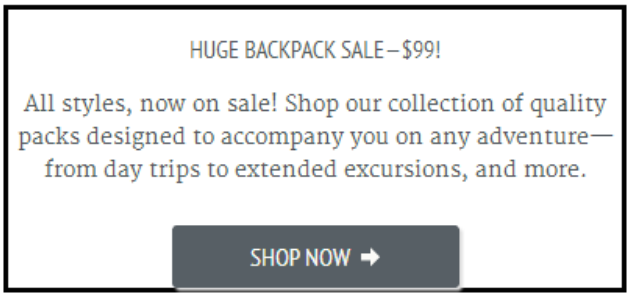


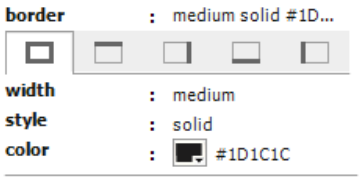
コードを使用する場合は、クイック編集テキストボックスで境界線や境界線の半径のショートハンドコードを指定できます。

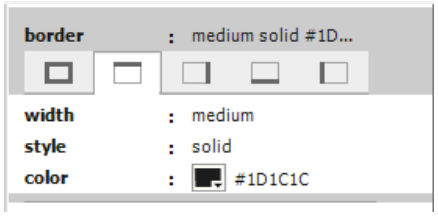
境界線のコントロールプロパティを指定するには、まず「すべての辺」タブでプロパティを設定します。他のタブが有効になり、個々の境界線に「すべての辺」タブで設定されたプロパティが反映されます。

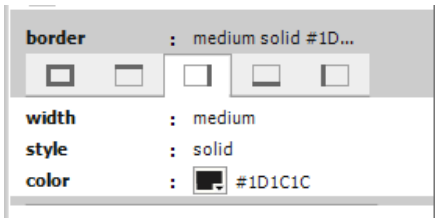
「個々の境界線」タブのプロパティを変更すると、「すべての辺」タブの対応するプロパティの値が「未定義」（初期設定値）に変わります。

次の例では、境界線の色が黒に設定されてから、上の境界線の色が赤に変更されています。

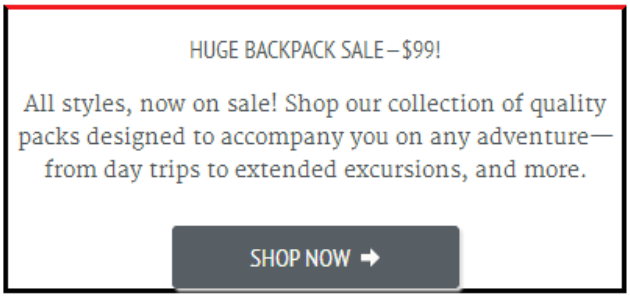


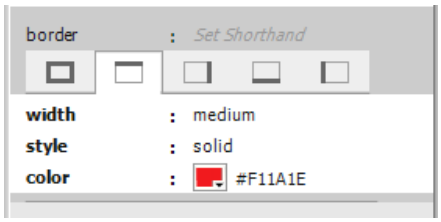


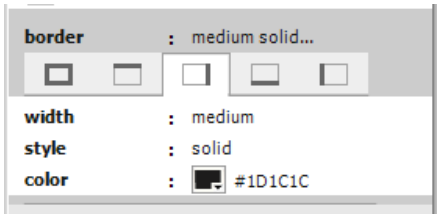




すべての辺の境界線の色を黒に設定

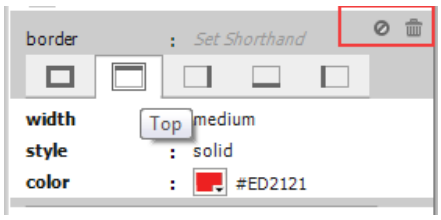


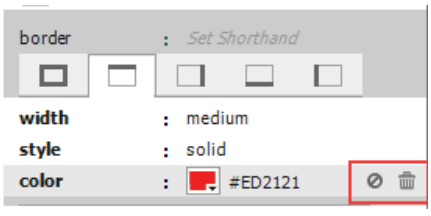




挿入されるコードは、ショートハンドまたは長い形式の環境設定値に基づいています。

Dreamweaver CC 2014 以前では個々のプロパティに対して削除コントールや無効化コントロールを使用できましたが、今回のバージョンでは、境界線コントロールグループレベルで削除コントールや無効化コントロールを使用して、これらのアクションをすべてのプロパティに適用できるようになりました。





インスペクト中は、タブは「設定」タブの優先度に基づいてフォーカスが置かれます。優先度は高い順に、「すべての辺」、「上」、「右」、「下」、「左」です。例えば、境界線に一番大きい値を設定すると「すべての辺」タブが設定されないため、計算モードで「上」タブにフォーカスが置かれ、「すべての辺」タブは無視されます。

プロパティの無効化または削除

CSS デザイナーパネルで、各プロパティを無効化または削除できます。次のスクリーンショットは、`width` プロパティの無効化（⊘）および削除（🗑）アイコンを示しています。プロパティにマウスカーソルを合わせると、これらのアイコンが表示されます。

プロパティの無効化／削除

ショートカットキー

キーボードショートカットを使用して、CSS セレクターおよびプロパティを追加または削除できます。また、プロパティペインでプロパティグループ間を移動することもできます。

ショートカット	ワークフロー
CTRL + Alt + [Shift =] キー	セレクターを追加（コントロールがセレクターセクションにある場合）
CTRL + Alt + S キー	セレクターを追加（コントロールがアプリケーションの任意の場所にある場合）
CTRL + Alt + [Shift =] キー	プロパティを追加（コントロールがプロパティセクションにある場合）
CTRL + Alt + P キー	プロパティを追加（コントロールがアプリケーションの任意の場所にある場合）
Select + Delete キー	セレクターを削除（セレクターが選択されている場合）
CTRL + Alt + （PgUp または PgDn）キー	コントロールがプロパティサブパネルにある場合のセクション間のジャンプ

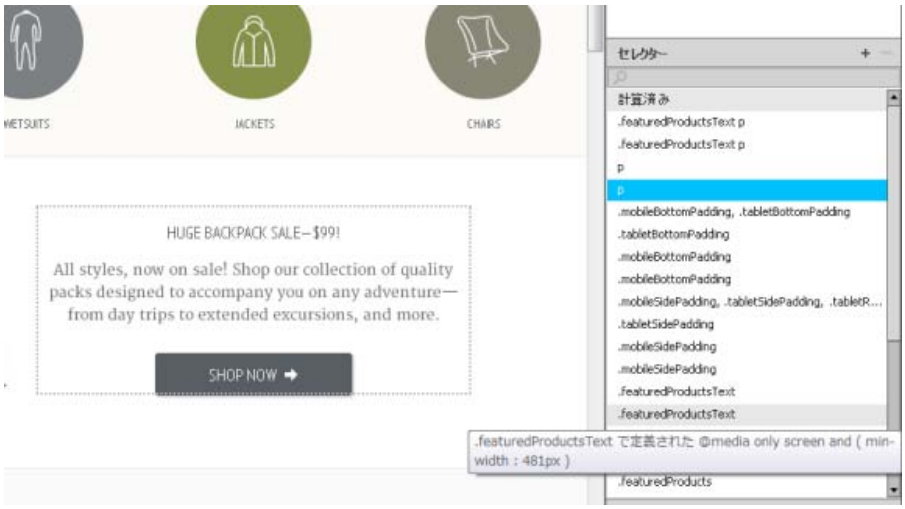
ページの先頭へ

CSS セレクターに関連付けられたページエレメントの特定（13.1）

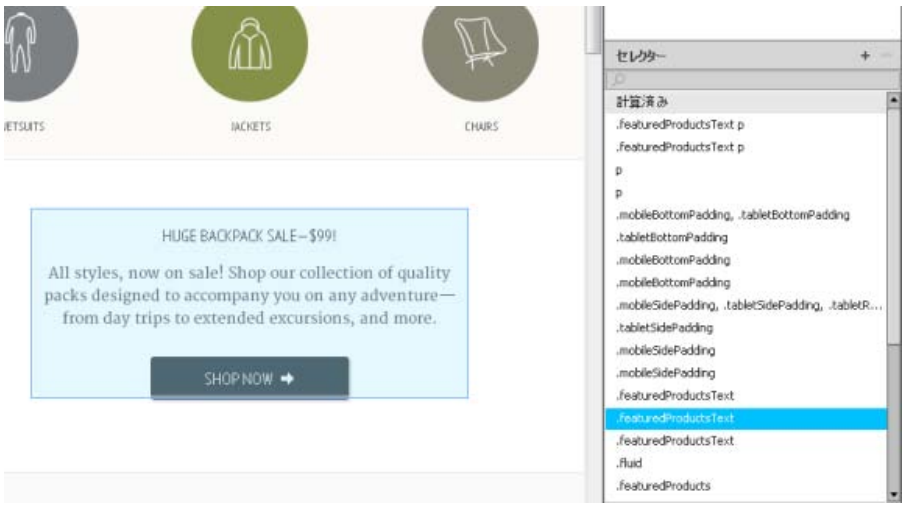
通常、単一の CSS セレクターは複数のページエレメントと関連付けられます。例えば、ページ、ヘッダー、フッターテキストのメインコンテンツのテキストはすべて、同一の CSS セレクターと関連付けることができます。CSS セレクターのプロパティを編集すると、セレクターに関連付けられたすべてのエレメントに反映されます。これには、変更する必要のないエレメントも含まれます。

ライブハイライトを使用すると、CSS セレクターに関連付けられているすべてのエレメントを識別できます。1 つのエレメントのみまたは複数のエレメントを変更する場合は、これらのエレメント用に新しい CSS セレクターを作成してから、プロパティを編集します。

CSS セレクターに関連付けられたページエレメントを特定するには、ライブビュー（ライブコードを「オフ」に設定）のセレクターの上にマウスポインターを置きます。関連付けられているエレメントが点線で強調表示されます。



エレメントの強調表示を確定するには、セレクターをクリックします。エレメントが青い枠線で強調表示されます。



エレメントの青い強調表示を削除するには、再度セレクターを選択します。

注意： 次の表は、ライブハイライトを使用できないシナリオを示します。

モード	ライブコード	ライブハイライトが表示されるか?
コード	該当しません	該当しません
デザイン	該当しません	該当しません
ライブ	オン （ボタンが押された状態）	いいえ

ライブハイライトを無効にする

ライブハイライトは初期設定で有効になっています。ライブハイライトを無効にするには、ドキュメントツールバーでライブビューオプションをクリックし、「ライブハイライトを無効にする」をクリックします。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS3 トランジション効果

CSS トランジションパネルを使用して、CSS3 トランジションを作成、変更、削除できます。

CSS3 トランジションを作成するには、エレメントのトランジションプロパティの値を指定して、トランジションクラスを作成します。エレメントを選択してからトランジションクラスを作成すると、トランジションクラスが選択したエレメントに自動的に適用されます。

生成された CSS コードを現在のドキュメントに追加するか、外部 CSS ファイルを指定するかを選択できます。

トップへ戻る

CSS3 トランジション効果の作成および適用

1. （オプション）トランジションを適用するエレメント（段落、見出しなど）を選択します。または、トランジションを作成して、後でエレメントに適用することもできます。
2. ウィンドウ／CSS トランジションを選択します。
3. ✚をクリックします。
4. 新規トランジションダイアログボックスのオプションを使用してトランジションクラスを作成します。

   ターゲットルール セレクターの名前を入力します。セレクターには、タグ、ルール、ID、複合セレクターなどの任意の CSS セレクターを使用できます。例えば、すべての <hr> タグにトランジション効果を追加するには、hr と入力します。

   トランジションの有効化 トランジションを適用する状態を選択します。例えば、マウスがエレメント上に移動したときにトランジションを適用する場合は、ホバーオプションを使用します。

   すべてのプロパティに同じトランジションを使用 トランジションするすべての CSS プロパティに同じ継続時間、遅延、タイミングを指定する場合は、このオプションを選択します。

   プロパティごとに異なるトランジションを使用 トランジションする各 CSS プロパティに異なる継続期間、遅延、タイミングを指定する場合は、このオプションを選択します。

   プロパティ ✚をクリックしてトランジションに CSS プロパティを追加します。

   デュレーション トランジション効果のデュレーションを秒またはミリ秒で入力します。

   遅延 トランジション効果が開始するまでの時間（秒またはミリ秒）です。

   タイミング機能 選択可能なオプションからトランジションスタイルを選択します。

   終了値 トランジション効果の終了値です。例えば、トランジション効果の最後にフォントサイズを 40 px に増やす場合は、フォントサイズのプロパティに 40 px を指定します。

   トランジションの作成場所を選択 現在のドキュメントにスタイルを埋め込むには、「現在のドキュメントのみ」を選択します。

   CSS3 コード用の外部スタイルシートを作成する場合は、「新規スタイルシートファイル」を選択します。「トランジションを作成」をクリックすると、新しい CSS ファイルの保存場所を指定するよう求められます。作成されたスタイルシートは、トランジションの作成場所を選択メニューに追加されます。

トップへ戻る

CSS3 トランジション効果の編集

1. CSS トランジションパネルで、編集するトランジション効果を選択します。
2. をクリックします。
3. トランジションを編集ダイアログを使用して、トランジションに以前に入力した値を変更します。

トランジションの CSS ショートハンドを無効にする

トップへ戻る

1. 編集／環境設定を選択します。
2. CSS スタイルを選択します。
3. 「ショートハンドを使用」で、「トランジション」の選択を解除します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS ルールの作成

Dreamweaver CC 以降では、CSS スタイルパネルが CSS デザイナーに置き換えられています。詳しくは、「CSS デザイナー」を参照してください。

CSS ルールを作成すると、`class` 属性や `ID` 属性を指定した HTML タグまたは特定の範囲のテキストのフォーマットを自動的に設定できます。

1. ドキュメントに挿入ポイントを置き、次のいずれかの操作を行って新規 CSS ルールダイアログボックスを表示します。

   - フォーマット／CSS スタイル／新規を選択します。
   - CSS スタイルパネル（ウィンドウ／CSS スタイル）の右下隅にある「新規 CSS ルール」（+）ボタンをクリックします。
   - ドキュメントウィンドウでテキストを選択してから、CSS プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）のターゲットのルールポップアップメニューで「新規 CSS ルール」を選択します。次に、「ルールの編集」ボタンをクリックするか、プロパティインスペクターで何らかのオプション（例えば「ボールド」ボタン）を選択し、新規ルールの作成を開始します。

2. 新規 CSS ルールダイアログボックスで、作成する CSS ルールのセレクタータイプを指定します。

   - 任意の HTML エレメントに `class` 属性として適用できるカスタムスタイルを作成するには、セレクタータイプポップアップメニューで「クラス」オプションを選択し、「セレクター名」テキストボックスにスタイルの名前を入力します。

   注意： クラス名の先頭にはピリオドを付ける必要がありますが、残りの部分には、任意の文字と数字を組み合わせて使用できます（例えば、.myhead1）。先頭のピリオドを省略しても、Dreamweaver によって自動的にピリオドが入力されます。

   - 特定の `ID` 属性を指定したタグに適用されるフォーマットを定義するには、セレクタータイプポップアップメニューで「ID」オプションを選択し、「セレクター名」テキストボックスに ID（例：containerDIV）を入力します。

   注意： ID の先頭にはシャープ記号（#）を付ける必要がありますが、残りの部分には、任意の文字と数字を組み合わせて使用できます（例：#myID1）。先頭のシャープ記号を省略した場合は、Dreamweaver によって自動的にシャープが入力されます。

   - 特定の HTML タグに設定されている初期設定のフォーマットを再定義するには、セレクタータイプポップアップメニューで「タグ」オプションを選択してから、「セレクター名」テキストボックスで、HTML タグを入力するかポップアップメニューから選択します。
   - 同時に複数のタグ、クラス、ID に影響を及ぼす複合ルールを定義するには、「複合」オプションを選択し、その複合ルールのセレクターを入力します。例えば、「div p」と入力すると、div タグ内にあるすべての p エレメントにそのルールが適用されます。セレクターを追加したり削除したりするのに従って、説明のテキスト領域に、そのルールが厳密にどのようなエレメントに対して適用されるかが表示されます。

3. ルールを定義する場所として次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

   - 既にドキュメントに関連付けられているスタイルシートにルールを配置するには、そのスタイルシートを選択します。
   - 外部スタイルシートを作成するには、「新規スタイルシートファイル」を選択します。
   - 現在のドキュメントにスタイルを埋め込むには、「現在のドキュメントのみ」を選択します。

4. CSS ルール定義ダイアログボックスで、新しい CSS ルールに設定するスタイルのオプションを選択します。詳しくは、次の項を参照してください。

5. スタイルプロパティの設定が完了したら、「OK」をクリックします。

   注意 : スタイルのオプションを設定せずに「OK」をクリックすると、空の新規ルールが作成されます。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ブラウザー間の CSS レンダリングの問題の確認

ブラウザー互換性チェックの実行
検出された問題によって影響を受けるエレメントを選択します。
コード内の次のエラーまたは前のエラーへのジャンプ
チェック対象となる Dreamweaver 用のブラウザーの選択
ブラウザー互換性チェックからの問題の除外
無視される問題のリストの編集
ブラウザー互換性チェックのレポートの保存
ブラウザー互換性チェックのレポートのブラウザーによる表示
Adobe CSS Advisor の Web サイトを開く

ブラウザー互換性チェック（BCC）機能は、一部のブラウザーで問題が生じる HTML と CSS の組み合わせを見つける際に役立ちます。開いているファイルで BCC を実行すると、Dreamweaver によってファイルがスキャンされ、発生の可能性がある CSS レンダリングの問題が結果パネルに報告されます。バグの発生する可能性が、4 分の 1、2 分の 1、4 分の 3、または完全に塗りつぶされた円で示されます（4 分の 1 が塗りつぶされた円は発生の可能性があることを表し、完全に塗りつぶされた円は発生の可能性がかなり高いことを表します）。Dreamweaver によって、検出された潜在的なバグごとに Adobe CSS Advisor 上のバグに関する文書への直接リンクが提供されます。Adobe CSS Advisor の Web サイトでは、一般に知られているブラウザーレンダリングバグが詳しく説明され、それらを修正するための解決策が提示されています。

初期設定では、BCC 機能によって次のブラウザーがチェックされます。Firefox 1.5、Internet Explorer（Windows）6.0 および 7.0、Internet Explorer（Mac OS）5.2、Netscape Navigator 8.0、Opera 8.0 および 9.0、Safari 2.0。

この機能は、以前のターゲットブラウザーチェック機能に取って代わるものですが、以前の機能の CSS に関する機能性を維持しています。つまり、新しい BCC 機能でも、ドキュメント内のコードがテストされて、対象のブラウザーでサポートされていない CSS のプロパティや値があるかどうかが確認されます。

潜在的なブラウザーサポートの問題には、次の 3 つのレベルがあります。

- エラーは、ページの一部分が表示されなくなるなど、特定のブラウザーで目に見える大きな問題を起こす可能性がある CSS コードを示します。エラーは、ブラウザーサポートの問題に対して既定で表示されるため、場合によっては影響が不明であるコードもエラーとしてマークされます。
- 警告は、表示上の大きな問題が発生することはないものの、特定のブラウザーでサポートされない CSS コードを示します。
- 情報メッセージに、特定のブラウザーではサポートされないものの表示上は影響がないコードが示されます。

ブラウザー互換性チェックによってドキュメントが変更されることはありません。

トップへ戻る

ブラウザー互換性チェックの実行

❖ ファイル／ページのチェック／ブラウザー互換性を選択します。

トップへ戻る

検出された問題によって影響を受けるエレメントを選択します。

❖ 結果パネルで当該問題をダブルクリックします。

トップへ戻る

コード内の次のエラーまたは前のエラーへのジャンプ

❖ ドキュメントツールバーのブラウザー互換性チェックメニューで、「次の問題」または「前の問題」を選択します。

トップへ戻る

チェック対象となる Dreamweaver 用のブラウザーの選択

1. 結果パネル（ウィンドウ／結果）で、「ブラウザー互換性チェック」タブを選択します。
2. 結果パネルの左上隅で緑の矢印をクリックし、「設定」を選択します。
3. チェックする各ブラウザーの横にあるチェックボックスをオンにします。
4. 選択したブラウザーごとに、対応するポップアップメニューでチェックする最低バージョンを選択します。

   例えば、CSS レンダリングバグが Internet Explorer 5.0 以降および Netscape Navigator 7.0 以降で出現する可能性を確認するには、これらのブラウザー名の横のチェックボックスをオンにし、Internet Explorer のポップアップメニューで「5.0」を、Netscape のポップアップメニューで「7.0」を選択します。

トップへ戻る

ブラウザー互換性チェックからの問題の除外

1. ブラウザー互換性チェックを実行します。
2. 結果パネルで、今後のチェックの対象から外す問題を右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）します。
3. コンテキストメニューで「問題を無視」を選択します。

トップへ戻る

無視される問題のリストの編集

1. 結果パネル（ウィンドウ／結果）で、「ブラウザー互換性チェック」タブを選択します。
2. 結果パネルの左上隅で緑の矢印をクリックし、「無視される問題のリストの編集」を選択します。
3. Exceptions.xml ファイルで、無視される問題のリストから削除する問題を探し、それを削除します。
4. Exceptions.xml ファイルを保存して閉じます。

トップへ戻る

ブラウザー互換性チェックのレポートの保存

1. ブラウザー互換性チェックを実行します。
2. 結果パネルの左側で「レポートの保存」ボタンをクリックします。
   結果パネルのボタン上にマウスポインターを置くと、ボタンのツールヒントが表示されます。

   注意： レポートは自動保存されません。レポートのコピーを残しておく場合は、上記の手順に従ってレポートを保存する必要があります。

トップへ戻る

ブラウザー互換性チェックのレポートのブラウザーによる表示

1. ブラウザー互換性チェックを実行します。
2. 結果パネルの左側で「レポートの参照」ボタンをクリックします。
   結果パネルのボタン上にマウスポインターを置くと、ボタンのツールヒントが表示されます。

トップへ戻る

Adobe CSS Advisor の Web サイトを開く

1. 結果パネル（ウィンドウ／結果）で、「ブラウザー互換性チェック」タブを選択します。
2. パネルの右下にあるリンクテキストをクリックします。

関連項目

CSS Advisor

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

インライン CSS の CSS ルールへの変換

インラインスタイルの使用はお勧めしません。CSS をわかりやすくするため、インラインスタイルを、ドキュメントの head 内または外部スタイルシート内で定義された CSS ルールに変換できます。

1. コードビュー（表示／コード）で、変換するインライン CSS が含まれているスタイル属性全体を選択します。
2. 右クリックし、CSS スタイル／インライン CSS をルールに変換を選択します。
3. インライン CSS の変換ダイアログボックスで、新しいルールのクラス名を入力し、次のいずれかの操作を行います。
   - 新しい CSS ルールの配置先のスタイルシートを選択し、「OK」をクリックします。
   - 新しい CSS ルールの配置先としてドキュメントの head を選択し、「OK」をクリックします。

     コーディングツールバーを使用して、ルールを変換することもできます。コーディングツールバーは、コードビューでのみ利用できます。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

カスケーディングスタイルシートについて

カスケーディングスタイルシートについて
CSS ルールについて
カスケーディングスタイルについて
テキストのフォーマットと CSS について
ショートハンド CSS プロパティについて

カスケーディングスタイルシートについて

トップへ戻る

CSS（Cascading Style Sheet：カスケーディングスタイルシート） は、Web ページでのコンテンツの外観を制御するフォーマットルールの集合です。CSS スタイルを使用してページのフォーマットを設定し、コンテンツとプレゼンテーションを分離します。ページのコンテンツ（HTML コード）は HTML ファイル自体に格納され、コードのプレゼンテーションを定義する CSS ルールは他のファイル（外部スタイルシート）または HTML ドキュメントの他の部分（通常は head セクション）に格納されます。コンテンツとプレゼンテーションを分離することにより、変更を加えたいときにすべてのページのすべてのプロパティを更新する必要がないので、共通の場所からのサイトの外観の維持が簡単に行えるようになります。また、コンテンツとプレゼンテーションを分離することにより、HTML コードをより単純で簡潔なものにし、その結果ブラウザーのロード時間を短縮し、スクリーンリーダーを使用するユーザーなどアクセシビリティに問題のあるユーザーのナビゲーションを簡素化することができます。

CSS により、ページの外観を正確かつ柔軟に制御できるようになります。CSS を使用することで、ボールド、イタリック、アンダーライン、およびテキストの影、テキストカラーおよび背景色、リンクカラーおよびリンクのアンダーラインの設定など、特定のフォントおよびフォントサイズを含む多くのテキストのプロパティを制御することができます。CSS を使用してフォントを制御することにより、ページのレイアウトや外観をどのブラウザーでも同じように処理することができます。

テキストのフォーマットの他に、CSS を使用して Web ページ内のブロックレベルのエレメントのフォーマットや位置も制御できます。ブロックレベルのエレメントは、通常 HTML の新しい行で区切られ、視覚的にブロックとしてフォーマットされるスタンドアロンのコンテンツの断片です。例えば、`h1` タグ、`p` タグ、`div` タグはすべて、Web ページにブロックレベルのエレメントを作成します。ブロックレベルのエレメントに対してマージンやボーダーを設定し、これらのエレメントを特定の場所に配置し、背景色を追加し、周囲をフロートテキストで囲むことなどができます。ブロックレベルのエレメントの操作は、CSS を使用してページをレイアウトする上での基本的な方法です。

CSS ルールについて

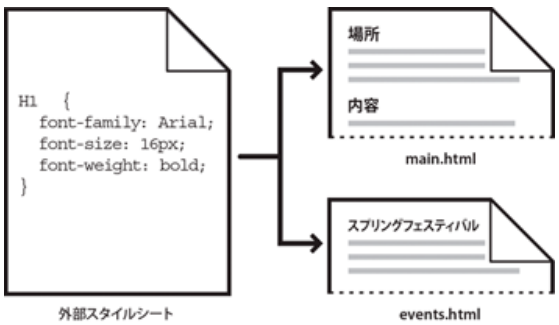
トップへ戻る

CSS 書式設定ルールは、セレクターと宣言の 2 つの部分（または、ほとんどの場合、宣言のブロック）で構成されます。セレクターとは、フォーマットされたエレメントを識別する用語（p、h1、クラス名、ID など）で、宣言ブロックは、スタイルプロパティが何であるかを定義するものです。以下の例では、`h1` はセレクターであり、山カッコ（{}）内のすべてのコードは宣言のブロックです。

```
h1 { font-size: 16 pixels; font-family: Helvetica; font-weight:bold; }
```

個々の宣言は、プロパティ（`font-family` など）と値（`Helvetica` など）の 2 つの部分で構成されます。上記の CSS ルールでは、`h1` タグに対して特定のスタイルが作成されています。このスタイルにリンクされたすべての `h1` タグのテキストは、サイズが 16 ピクセル、フォントが Helvetica で、ボールドです。

ルールまたはルールの集まりから取得されたスタイルは、通常は外部スタイルシート、または HTML ドキュメントの head セクションなど、実際のテキストのフォーマットとは別の場所に保存されます。したがって、`h1` タグのルールを多くのタグに一度に適用することができます（また、外部スタイルシートでは、多くの異なるページの多くのタグに一度に適用することができます）。このようにして、CSS は非常に簡単な更新機能を提供します。ある場所のルールを更新すると、定義済みのスタイルを使用するすべてのエレメントのフォーマットが新しいスタイルに自動的に更新されます。



Dreamweaver では、以下のタイプのスタイルを定義できます。

- クラススタイルを使用して、ページ上の任意のエレメントまたは複数のエレメントにスタイルプロパティを適用することができます。
- HTML タグスタイルは、h1 のような特定のタグのフォーマットを再定義します。h1 タグの CSS スタイルを作成または変更すると、h1 タグでフォーマットされたテキストは瞬時にすべて変更されます。
- 高度なスタイルはエレメントの特定の組み合わせ、または CSS で可能な他のセレクターフォームのフォーマットを再定義します。例えば、セレクター td h2 は、テーブルセル内に h2 ヘッダーがある場合に常に適用されます。高度なスタイルで、特定の id 属性を含むタグのフォーマットを再定義することもできます。例えば、#myStyle で定義されるスタイルは、id="myStyle" という属性と値のペアを含むすべてのタグに適用されます。

CSS ルールは次の場所に置くことができます。

外部 CSS スタイルシート 外部の CSS（.css）ファイル（HTML ファイルではありません）に保存されている CSS ルールの集まりです。このファイルは、ドキュメントの head セクションのリンクまたは @import ルールを使用して、Web サイト内のページにリンクされます。複数のページにリンクすることも可能です。

内部（または、埋め込み）CSS スタイルシート HTML ドキュメントの head 部分の style タグに記述される CSS ルールの集まりです。

インラインスタイル HTML ドキュメント内の特定のタグインスタンス内で定義されます （インラインスタイルの使用はお勧めしません）。

既存のドキュメントで定義されているスタイルが CSS スタイルガイドラインに準拠していれば、Dreamweaver はそのスタイルを認識します。また、Dreamweaver は、適用されるほとんどのスタイルを直接デザインビューに表示します（ただし、ページを最も正確かつ "鮮明に" レンダリングする方法は、ブラウザーウィンドウによるドキュメントのプレビューです）。CSS スタイルの中には、Microsoft Internet Explorer、Netscape、Opera、Apple Safari、または他のブラウザーで表示が異なるものや、現在はどのブラウザーでもサポートされていないものがあります。

> O'Reilly CSS リファレンスガイドを Dreamweaver で表示するには、ヘルプ／リファレンスを選択し、リファレンスパネルのポップアップメニューから「O'REILLY CSS Reference」を選択します。

トップへ戻る

カスケーディングスタイルについて

カスケーディングという用語は、ブラウザーが Web ページの特定のエレメントのスタイルを最終的に表示する方法を指すものです。Web ページで表示されるスタイルは、3 つの異なるソースによって決まります。ページの作成者が作成したスタイルシート、ユーザーがカスタマイズしたスタイルの選択（ある場合）、ブラウザー自体の初期設定のスタイルです。前のトピックでは、Web ページとそのページに関連付けられたスタイルシートの両方の作成者として、Web ページのスタイルを作成する方法について説明しています。ただし、ブラウザーにも Web ページの表示方法を指定するデフォルトのスタイルシートが用意されており、ユーザーはそれらのスタイルを選択して Web ページの表示を調整することで、ブラウザーをカスタマイズすることもできます。Web ページの最終的な外観は、最適な方法で Web ページを表示できるように、これらの 3 つのソースのルールをすべて組み合わせた（カスケーディング）結果です。

共通タグである段落タグや <p> タグは、この概念を示すものです。初期設定では、ブラウザーには段落テキスト（つまり、HTML コード内の <p> タグの間に挿入されるテキスト）のフォントおよびフォントサイズを定義するスタイルシートが用意されています。例えば Internet Explorer では、段落テキストを含むすべての本文テキストは、初期設定で Times New Roman（Medium）フォントで表示されます。

ただし、Web ページの作成者であるユーザーは、スタイルシートを作成して、ブラウザーの段落フォントおよびフォントサイズの初期設定を上書きすることができます。例えば、スタイルシートで以下のルールを作成できます。

```
p { font-family: Arial; font-size: small; }
```

ユーザーがページを読み込むと、作成者であるユーザーが設定した段落フォントおよびフォントサイズ設定によって、ブラウザーの初期設定の段落テキスト設定が上書されます。

ユーザーはスタイルを選択して、用途に合わせた最適なブラウザー表示をカスタマイズできます。例えば、Internet Explorer でフォントが小さすぎると感じた場合、表示／文字のサイズ／最大を選択して、ページのフォントを読みやすいサイズに拡大することができます。最終的には（少なくともこの場合には）、ユーザーの選択により、初期設定のブラウザーの段落フォントおよびフォントサイズと、Web ページの作成者によって作成された段落スタイルの両方が上書きされます。

カスケードのもう一つの重要な要素に、継承があります。Web ページのほとんどのエレメントのプロパティが継承されます。段落タグは body タグから特定のプロパティを継承し、span タグは段落タグから特定のプロパティを継承します。例えば、スタイルシートに以下のルールを作成したとします。

```
body { font-family: Arial; font-style: italic; }
```

この場合、段落タグが body タグからこれらのプロパティを継承するため、Web ページのすべての段落テキスト（および、段落タグのプロパティを継承するテキスト）は Arial のイタリックになります。ただし、ルールをより具体的に設定して、継承による標準形式を上書きするスタイルを作成することもできます。例えば、スタイルシートに以下のルールを作成したとします。

```
body { font-family: Arial; font-style: italic; } p { font-family: Courier; font-style: normal; }
```

この場合、すべての本文テキストは、Courier 標準（非イタリック）で表示される段落（および、それによって継承される）テキストを除いて

Arial の イタリックになります。 技術的に説明すると、段落タグは最初に body タグに設定されたプロパティを継承しますが、段落タグには独自に定義されたプロパティがあるため、継承したプロパティは無視されます。つまり、通常ページエレメントは前に記述されたプロパティを継承しますが、プロパティをタグに直接適用することにより、継承による標準形式が常に上書きされます。

上記のすべての要素の組み合わせと、CSS 仕様（特定の種類の CSS ルールに異なるウエイトを与えるシステム）などのその他の要素と CSS ルールの順序により、最終的に高い優先順位を持つ項目が低い優先順位のプロパティを上書きする複雑なカスケードが作成されます。カスケード、継承、仕様を規定するルールについて詳しくは、www.w3.org/TR/CSS2/cascade.html を参照してください。

トップへ戻る

テキストのフォーマットと CSS について

Dreamweaver の初期設定では、テキストのフォーマットには CSS が使用されます。プロパティインスペクターやメニューコマンドを使用してテキストにスタイルを適用すると、CSS ルールが作成され、現在のドキュメントのヘッドに埋め込まれます。

CSS スタイルパネルを使用すると、CSS ルールとプロパティを作成および編集できます。CSS スタイルパネルはプロパティインスペクターよりも格段に強固なエディターであり、ルールがドキュメントの先頭に埋め込まれているか、外部スタイルシートにあるかとは無関係に、現在のドキュメントで定義されているすべての CSS ルールが表示されます。Adobe では、CSS の作成と編集のプライマリツールとして、プロパティインスペクターの代わりに CSS スタイルパネルを使用することをお勧めします。それにより、コードが簡潔で維持しやすくなります。

独自に作成するスタイルやスタイルシートの他にも、Dreamweaver に付属するスタイルシートを使用して、ドキュメントにスタイルを適用することもできます。

CSS を使用してテキストをフォーマットする方法のチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0153_jp を参照してください。

トップへ戻る

ショートハンド CSS プロパティについて

CSS の仕様では、ショートハンド CSS と呼ばれる簡略シンタックスを使用してスタイルを作成することができます。ショートハンド CSS では、1 つの宣言を使用して複数のプロパティ値を指定できます。例えば、`font` プロパティを使用して、`font-style`、`font-variant`、`font-weight`、`font-size`、`line-height`、`font-family` の各プロパティを 1 行で設定できます。

ショートハンド CSS を使用する際に重要なのは、ショートハンド CSS プロパティで省略された値には初期設定値が割り当てられるという点です。したがって、同じタグに複数の CSS ルールが割り当てられている場合には、ページが正しく表示されないこともあります。

例えば、次の `h1` ルールでは、長い形式の CSS シンタックスを使用しています。`font-variant`、`font-stretch`、`font-size-adjust`、および `font-style` の各プロパティは、初期設定値が割り当てられています。

```
h1 { font-weight: bold; font-size: 16pt; line-height: 18pt; font-family: Arial; font-variant: normal; font-style: normal; font-stretch: normal; font-size-adjust: none }
```

ショートハンドプロパティで書き換えると、同じタグは次のようになることがあります。

```
h1 { font: bold 16pt/18pt Arial }
```

ショートハンド表記を使用して記述した場合、省略した値には自動的に初期設定値が割り当てられます。上の例のショートハンドでは、`font-variant`、`font-style`、`font-stretch`、`font-size-adjust` の各タグが省略されています。

長短の CSS シンタックス形式を使用して複数の場所でスタイルを定義した場合（例えば、HTML ページに埋め込んだスタイルと外部スタイルシートから読み込むスタイル）、ショートハンドルールで省略したプロパティが別のルールで明示的に指定したプロパティより優先される（カスケードされる）ことがあります。

こういった理由から、Dreamweaver では初期設定で長い形式の CSS 表記を使用しています。これにより、ショートハンドルールが長い形式のルールよりも優先されることによって生じる問題が回避されます。Dreamweaver で、ショートハンド CSS 表記を使用して記述した Web ページを開いても、Dreamweaver で作成する CSS ルールは長い形式になります。Dreamweaver で CSS ルールを作成および編集する方法を指定するには、編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択して環境設定ダイアログボックスを表示し、「CSS スタイル」カテゴリで CSS 編集環境設定を変更します。

注意： CSS スタイルパネルでは、長い形式の表記のみを使用してルールが作成されます。CSS スタイルパネルを使用してページや CSS スタイルシートを作成する際、ショートハンド CSS ルールでハンドコーディングすると、ショートハンドのプロパティが、長い形式のプロパティより優先されることがあります。これを避けるため、長い形式の CSS 表記を使用してスタイルを作成してください。

- CSS の利用チュートリアル
- クラススタイルの適用、削除、名前の変更
- テキストの追加とフォーマット
- CSS スタイルパネル
- CSS を利用したテキストスタイルの設定チュートリアル

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

CSS クラススタイルの適用、削除または名前変更

CSS クラススタイルの適用
選択範囲からのクラススタイルの削除
クラススタイル名の変更

クラススタイルは、テキストを制御するタグとは無関係に、ドキュメントの任意のテキストに適用できる唯一の CSS スタイルです。CSS スタイルパネルには、現在のドキュメントに関連付けられているすべてのクラススタイルが、クラススタイル名の前にピリオドが付加された形で表示されます。これらのクラススタイルは、テキストのプロパティインスペクターのスタイルポップアップメニューにも表示されます。

ほとんどのスタイルはすぐに更新されますが、ページをブラウザーでプレビュー表示して、スタイルが望みどおりに適用されたかどうかを確認してください。同じテキストに複数のスタイルを適用すると、スタイルが競合して予想外の結果が生じることがあります。

外部 CSS スタイルシートで定義されたスタイルをプレビューする場合は、ブラウザーでページをプレビューするときに変更が反映されるようにスタイルシートを保存します。

トップへ戻る

CSS クラススタイルの適用

1. ドキュメント内の、CSS スタイルを適用するテキストを選択します。

   挿入ポイントを段落内に置くと、段落全体にスタイルが適用されます。

   1 つの段落内で特定範囲のテキストを選択した場合は、CSS スタイルは選択範囲だけに適用されます。

   特定のタグだけに CSS スタイルを適用するには、ドキュメントウィンドウの左下にあるタグセレクターでタグを選択します。

2. クラススタイルを適用するには、以下のいずれかの操作を行います。
   - CSS スタイルパネル（ウィンドウ／CSS スタイル）で、「すべて」モードを選択し、適用するスタイルの名前を右クリックして、コンテキストメニューから「適用」を選択します。
   - HTML のプロパティインスペクターで、クラスポップアップメニューから適用するクラススタイルを選択します。
   - ドキュメントウィンドウで、選択したテキストを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）します。次に、コンテキストメニューから「CSS スタイル」を選択し、適用するスタイルを選択します。
   - フォーマット／CSS スタイルを選択し、適用するスタイルをサブメニューから選択します。

トップへ戻る

選択範囲からのクラススタイルの削除

1. スタイルを削除するオブジェクトまたはテキストを選択します。
2. HTML のプロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、クラスポップアップメニューから「なし」を選択します。

トップへ戻る

クラススタイル名の変更

1. CSS スタイルパネルで、名前を変更する CSS クラススタイルを右クリックし、「クラス名を変更」を選択します。
   CSS スタイルパネルのオプションメニューから「クラス名を変更」を選択して、クラス名を変更する方法もあります。
2. クラス名を変更ダイアログボックスで、名前を変更するクラスがクラス名を変更ポップアップメニューで選択されていることを確認します。
3. 「新しい名前」テキストボックスに新しいクラスの名前を入力し、「OK」をクリックします。

   名前を変更するクラスが現在のドキュメントの head の内部に記述されている場合、Dreamweaver はクラス名を変更するだけでなく、現在のドキュメントで使用されているそのクラスのすべてのインスタンスについてもクラス名を変更します。名前を変更するクラスが外部の CSS ファイルに記述されている場合、Dreamweaver はそのファイルを開き、クラス名を変更します。Dreamweaver によって、検索および置換ダイアログボックスも表示されます。これにより、古いクラス名のすべてのインスタンスをサイト内で検索できます。

関連項目
[print]カスケーディングスタイルシートについて

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

プロパティの CSS ルールへの追加

CSS スタイルパネルを使用して、ルールにプロパティを追加することができます。

1. CSS スタイルパネル（ウィンドウ／CSS）のすべてのルールペイン（「すべて」モード）でルールを選択するか、選択範囲のサマリーペイン（「現在」モード）でプロパティを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - プロパティペインで「設定済みプロパティのみを表示」が選択されている場合は、「プロパティの追加」リンクをクリックしてプロパティを追加します。
   - プロパティペインでカテゴリビューまたはリストビューが選択されている場合は、追加するプロパティの値を入力します。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ページコンテンツとアセット

挿入パネルの使用

挿入パネルには、テーブルおよびイメージなどのオブジェクトを作成し、挿入するためのボタンがあります。ボタンはいくつかのカテゴリーに編成されています。

挿入パネルの非表示と表示
特定カテゴリのボタンの表示
ボタンのポップアップメニューの表示
オブジェクトの挿入
オブジェクト挿入ダイアログボックスの非表示、および空のプレースホルダーオブジェクトの挿入
挿入パネルの環境設定の変更
挿入パネルの「お気に入り」カテゴリでの項目の追加、削除、または管理
「お気に入り」カテゴリのボタンを使用したオブジェクトの挿入
挿入パネルから水平「挿入」バー表示への変更
水平「挿入」バーからパネルグループ表示への変更
水平「挿入」バーのカテゴリのタブ表示
水平「挿入」バーのカテゴリのメニュー表示

注意： *Dreamweaver CC* 以降では、ユーザーインターフェイスが簡素化されています。そのため、この記事で説明されているオプションの一部が *Dreamweaver CC* 以降には存在しない場合があります。詳しくは、この記事を参照してください。

ページの先頭へ

挿入パネルの非表示と表示

- ウィンドウ／挿入を選択します。

  注意： *XML*、*JavaScript*、*Java*、*CSS* などの特定のタイプのファイルで作業している場合、挿入パネルとデザインビューのオプションは淡色表示になっています。これは、これらのコードファイルには項目を挿入できないためです。

ページの先頭へ

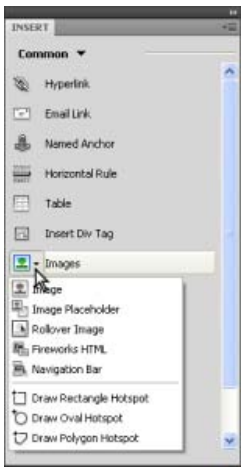
特定カテゴリのボタンの表示

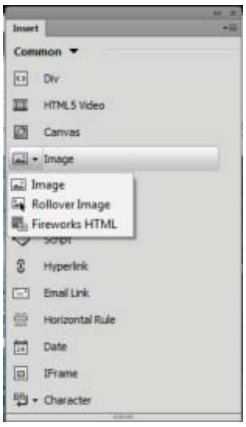
- カテゴリポップアップメニューからカテゴリ名を選択します。例えば、「レイアウト」カテゴリのボタンを表示するには「レイアウト」を選択します。

ページの先頭へ

ボタンのポップアップメニューの表示

- ボタンのアイコンの隣にある下向き矢印をクリックします。





Dreamweaver CC の挿入パネル

ページの先頭へ

オブジェクトの挿入

1. 挿入パネルのカテゴリポップアップメニューから、該当するカテゴリを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - オブジェクトボタンをクリックするか、ドキュメントウィンドウ（デザイン、ライブ、またはコードビュー）にボタンのアイコンをドラッグします。
   - ボタンの矢印をクリックし、メニューからオプションを選択します。

     オブジェクトによっては、対応するオブジェクト挿入ダイアログボックスが表示され、ファイルの参照、またはオブジェクトのパラメーターの指定を求めるメッセージが表示されます。あるいは、Dreamweaver によってコードがドキュメントに挿入されることや、コードの挿入前に情報を指定するようにタグエディターまたはパネルが表示されることもあります。

     オブジェクトによっては、デザインビューでオブジェクトを挿入した場合にダイアログボックスが表示されなくても、コードビューでオブジェクトを挿入した場合にはタグエディターが表示されることがあります。いくつかのオブジェクトでは、デザインビューにオブジェクトを挿入すると、オブジェクトを挿入する前に Dreamweaver がコードビューに切り替わります。

注意： 名前付きのアンカーなどの一部のオブジェクトは、ページをブラウザーウィンドウに表示しても表示されません。このような不可視オブジェクトの位置をマークするアイコンをデザインビューに表示することができます。

ページの先頭へ

オブジェクト挿入ダイアログボックスの非表示、および空のプレースホルダーオブジェクトの挿入

- オブジェクトのボタンを、Ctrl キーを押しながらクリックするか（Windows）、Option キーを押しながらクリックします（Mac OS）。

  例えば、イメージファイルを指定せずにイメージのプレースホルダーを挿入するには、Ctrl キーまたは Option キーを押しながら「イメージ」ボタンをクリックします。

  注意： この手順を使用しても、すべてのオブジェクト挿入ダイアログボックスが表示されなくなるわけではありません。*AP* エレメントやフレームセットなど多くのオブジェクトでは、プレースホルダーまたは初期設定値のオブジェクトは挿入されません。

ページの先頭へ

挿入パネルの環境設定の変更

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 環境設定ダイアログボックスの「一般」カテゴリで、イメージ、テーブル、スクリプト、およびヘッドエレメントなどのオブジェクトを挿入するときにダイアログボックスが表示されないようにするには、「オブジェクト挿入中にダイアログを表示」をオフにするか、または Ctrl キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押したままオブジェクトを作成します。

   このオプションをオフにしてオブジェクトを挿入すると、オブジェクトに初期設定の属性値が与えられます。オブジェクトの挿入後に、オブジェクトのプロパティを変更するには、プロパティインスペクターを使用します。

ページの先頭へ

挿入パネルの「お気に入り」カテゴリでの項目の追加、削除、または管理

1. 挿入パネル内の任意のカテゴリを選択します。
2. ボタンが表示される領域を右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「お気に入りのカスタマイズ」を選択します。
3. お気に入りオブジェクトのカスタマイズダイアログボックスで、必要に応じた変更を加え、「OK」をクリックします。
   - オブジェクトを追加するには、左側の使用可能なオブジェクトペインでオブジェクトを選択して 2 つのペイン間の矢印をクリックする

か、使用可能なオブジェクトペインのオブジェクトをダブルクリックします。

注意： *1* 回の操作で *1* つのオブジェクトを追加できます。「一般」などのカテゴリ名を選択して、カテゴリ全体をお気に入りリストに追加することはできません。

- オブジェクトまたは区切りを削除するには、右側のお気に入りオブジェクトペインでオブジェクトを選択し、ペインの上にある「お気に入りオブジェクトリストから選択したオブジェクトを削除します」ボタンをクリックします。
- オブジェクトを移動するには、右側のお気に入りオブジェクトペインのオブジェクトを選択し、ペインの上にある上矢印または下矢印ボタンをクリックします。
- オブジェクトの下に区切りを追加するには、右側のお気に入りオブジェクトペインのオブジェクトを選択し、ペインの下にある「区切りを追加」ボタンをクリックします。

4. 挿入パネルの現在のカテゴリが「お気に入り」ではない場合は、「お気に入り」カテゴリを選択して変更を確認します。

「お気に入り」カテゴリのボタンを使用したオブジェクトの挿入

ページの先頭へ

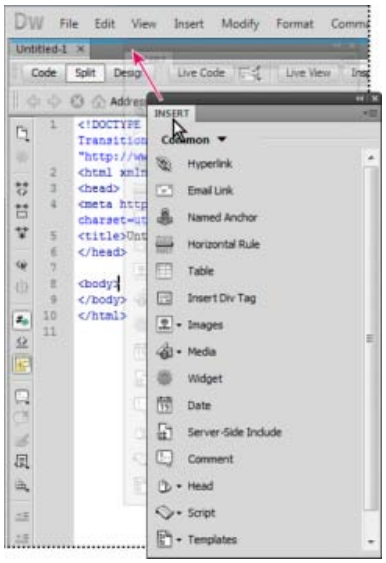
- 挿入パネルのカテゴリポップアップメニューから「お気に入り」カテゴリを選択し、追加したオブジェクトに対応するボタンをクリックします。

挿入パネルから水平「挿入」バー表示への変更

ページの先頭へ

Dreamweaver の他のパネルとは異なり、挿入パネルは初期設定のドッキング位置からドキュメントウィンドウ上部の水平位置ににドラッグ＆ドロップすることができます。この場合、挿入パネルはツールバーに変わります。ただし、他のツールバーと同じ方法で表示と非表示を切り替えることはできません。

1. 挿入パネルのタブをクリックし、ドキュメントウィンドウの上端にドラッグします。



2. ドキュメントウィンドウの上辺に青色の水平線が表示されたら、その場所に 挿入パネルをドロップします。

注意： 従来のワークスペースでは、水平「挿入」バーが初期設定で表示されます。従来のワークスペースに切り替えるには、アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールから「従来のワークスペース」を選択します。

水平「挿入」バーからパネルグループ表示への変更

ページの先頭へ

1. 水平「挿入」バーのつまみ（左端部分）をクリックし、パネルをドッキングする位置までバーをドラッグします。
2. 挿入パネルの位置を決めてドロップします。パネルのドロップ先の位置は、青色の線で示されます。

水平「挿入」バーのカテゴリのタブ表示

ページの先頭へ

- 水平「挿入」バーの左端にあるカテゴリ名の横の矢印をクリックし、「タブとして表示」を選択します。

水平「挿入」バーのカテゴリのメニュー表示

ページの先頭へ

- 水平「挿入」バーのカテゴリタブを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、「メニューとして表示」を選択します。

アドビは次の機能も推奨します。

- 挿入パネルの概要

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

フォントリストへの Edge フォントと Web フォントの追加

Dreamweaver のフォントリストに Adobe Edge フォントと Web フォントの両方を追加できます。フォントリストでは、Dreamweaver でサポートされているフォントスタックが Web フォントや Edge Web Fonts よりも先に表示されます。

フォントリストへの **Adobe Edge Web Fonts** の追加
ローカル **Web** フォントのフォントリストへの追加
カスタムフォントスタックの作成
挿入したフォントのプレビュー
複数ファイルにわたる **Web** フォントのスクリプトタグの更新
ページ上の **Web** フォントのスクリプトタグの更新

フォントリストへの Adobe Edge Web Fonts の追加

ページの先頭へ

Adobe Edge フォントを Web ページで使用できるようになりました。Edge フォントをページで使用する場合、JavaScript ファイルを参照する追加のスクリプトタグが追加されます。このファイルにより、Creative Cloud サーバーからブラウザーのキャッシュにフォントが直接ダウンロードされます。

ユーザーのコンピューターでフォントが使用可能であっても、ページの表示時には Creative Cloud サーバーからフォントがダウンロードされます。

例えば、フォント「Abel」だけを使用するスクリプトタグの形式は、次のようになります。

```
<!--次のスクリプトタグは、Web ページ内で使用するフォントを Adobe Edge Web Fonts サーバーからダウンロードします。これを変更しないことをお勧めします。-->

<script>var adobewebfontsappname ="dreamweaver"</script>

<script src="http://use.edgefonts.net/abel:n4:default.js" type="text/javascript"></script>
```

1. 修正／フォントを管理を選択します。
2. フォントリストに追加できるすべての Adobe Edge フォントが「Adobe Edge フォント」タブに表示されます。
3. このリストからフォントを検索し、フォントリストに追加するには、以下の手順を実行します。
   - フォントリストに追加するフォントをクリックします。
   - 選択を解除するには、フォントをもう一度クリックします。
   - フィルターを使用して、優先するフォントを絞り込みます。例えば、セリフタイプのフォントに絞り込むには、M をクリックします。
   - フィルターは複数使用できます。例えば、段落に使用できるセリフタイプのフォントに絞り込むには、M と ☰ をクリックします。
   - フォントの名前で検索するには、検索ボックスに名前を入力します。
4. 選択したフォントを抽出するには、☑ をクリックします。
5. 「終了」をクリックします。
6. 任意の場所でフォントリストを開きます。例えば、プロパティパネルの「CSS」セクションでフォントリストを使用できます。

   フォントリストでは、Dreamweaver のフォントスタックが Web フォントよりも先に表示されます。リストを下にスクロールして、選択したフォントを探します。

ローカル Web フォントのフォントリストへの追加

ページの先頭へ

コンピューター内の Web フォントを Dreamweaver のフォントリストに追加できます。追加したフォントは Dreamweaver のすべてのフォントメニューに表示されます。EOT、WOFF、TTF、SVG タイプのフォントがサポートされています。

1. 修正／フォントを管理を選択します。
2. 表示されるダイアログで、「ローカル Web フォント」タブをクリックします。
3. 追加するフォントタイプに対応する「参照」ボタンをクリックします。例えば、EOT 形式のフォントの場合は、EOT フォントに対応する「参照」ボタンをクリックします。

4. コンピューター内のフォントの格納場所に移動します。ファイルを選択して開きます。この場所にフォントの他の形式がある場合は、それらも自動的にダイアログに追加されます。フォント名もフォントの名前から自動的に取得されます。

5. Web サイトでの使用のためにフォントのライセンスが供与されていることの確認を求めるオプションを選択します。

6. 「終了」をクリックします。現在のローカルフォントのリストに、フォントのリストが表示されます。

   フォントリストから *Web* フォントを削除するには、現在のローカルフォントのリストでフォントを選択し、「削除」をクリックします。

ページの先頭へ

カスタムフォントスタックの作成

フォントスタックとは、CSS font-family 宣言内のフォントのリストです。フォントを管理ダイアログの「カスタムフォントスタック」タブでは、以下の操作を実行できます。

- 「+」ボタンを使用して新しいフォントスタックを追加します。
- 既存のフォントスタックを編集するには、フォントリストからフォントスタックを選択します。「>>」および「<<」ボタンを使用して、選択されたフォントのリストを更新します。
- 「-」ボタンを使用して既存のフォントスタックを削除します。
- 矢印ボタンを使用してスタックを並べ替えます。

ページの先頭へ

挿入したフォントのプレビュー

Edge フォントと Web フォントはデザインビューでプレビューできません。プレビューするには、ライブビューに切り替えるか、ブラウザーでページをプレビューします。

ページの先頭へ

複数ファイルにわたる Web フォントのスクリプトタグの更新

複数の HTML ファイルにリンクしている CSS ファイルでフォントを更新すると、関連する HTML ファイル内のスクリプトタグを更新するように求められます。「更新」をクリックすると、関連するすべての HTML ファイル内のスクリプトタグが更新されます。

ページの先頭へ

ページ上の Web フォントのスクリプトタグの更新

スクリプトタグに反映されない Web ページ上の Web フォントを更新するには、コマンド／Web フォントのスクリプトタグのクリーンアップ（現在のページ）を選択します。

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry テキストフィールド検証 Widget の操作

テキストフィールド検証 **Widget** について
テキストフィールド検証 **Widget** の挿入と編集
テキストフィールド検証 **Widget** のカスタマイズ

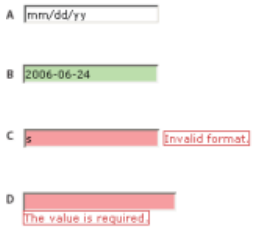
注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

テキストフィールド検証 Widget について

Spry テキストフィールド検証 Widget は、ユーザーがテキストを入力したときに有効か無効かを表示するテキストフィールドです。テキストフィールド検証 Widget は、例えばユーザーが電子メールアドレスを入力するフォームに追加します。ユーザーが電子メールアドレスの「@」記号やピリオドを入力し忘れると、入力された情報が無効であることを示すメッセージが返されます。

次にテキストフィールド検証 Widget の例を示します。この例では有効状態を示しています。



A. テキストフィールド *Widget*、ヒントのアクティブ化 ***B.*** テキストフィールド *Widget*、有効状態 ***C.*** テキストフィールド *Widget*、無効状態 ***D.*** テキストフィールド *Widget*、必須状態

テキストフィールド検証 Widget には、有効、無効、必須などのいくつかの状態が含まれます。これらの状態のプロパティは、使用する検証結果に応じて、プロパティインスペクターで変更できます。検証が実行されるタイミングは、例えばユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、入力したとき、フォームを送信しようとしたときなど、様々に設定できます。

イニシャル状態　ページがブラウザーに読み込まれたとき、またはユーザーがフォームをリセットしたときの Widget の状態。

フォーカス状態　ユーザーが挿入ポイントを置いたときの Widget の状態。

有効状態　ユーザーが情報を正しく入力し、フォームを送信できる状態になったときの Widget の状態。

無効状態　ユーザーが無効な形式のテキストを入力したときの Widget の状態。例えば年のフィールドに「2006」ではなく「06」と入力したときの状態です。

必須状態　ユーザーがテキストフィールドに必須テキストを入力しなかったときの Widget の状態。

最小文字数状態　ユーザーが入力した文字数がテキストフィールドの最小文字数に満たなかったときの Widget の状態。

最大文字数状態　ユーザーが入力した文字数がテキストフィールドの最大文字数を超えていたときの Widget の状態。

最小値状態　ユーザーが入力した値がテキストフィールドの最小値に満たなかったときの Widget の状態。整数、実数、およびデータタイプの検証に適用されます。

最大値状態　ユーザーが入力した値がテキストフィールドの最大値を超えていたときの Widget の状態。整数、実数、およびデータタイプの検証に適用されます。

ユーザーとのインタラクションの中で、テキストフィールド検証 Widget によってこれらのいずれかの状態が入力されると、実行時に Spry フレームワークロジックにより、この Widget の HTML コンテナに特定の CSS クラスが適用されます。例えば、ユーザーがフォームを送信しようとしたときに必須テキストフィールドにテキストが入力されていない場合は、「値を指定する必要があります。」というエラーメッセージを表示するクラスが Widget に適用されます。エラーメッセージのスタイルと表示状態を制御するルールは、この Widget に対応する SpryValidationTextField.css という CSS ファイルに存在します。

テキストフィールド検証 Widget の初期設定 HTML は、通常はフォームの内部に配置され、テキストフィールドの <input> タグを囲むコンテナ タグで構成されます。テキストフィールド検証 Widget の HTML には、ドキュメントの head 内とこの Widget の HTML マークアップの後の script タグも含まれます。

テキストフィールド検証 Widget の動作およびコードについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprytextfield_jp を参照してください。

ページの先頭へ

テキストフィールド検証 Widget の挿入と編集

テキストフィールド検証 Widget の挿入

1. 挿入／Spry／Spry テキストフィールド検証を選択します。
2. Input タグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用してテキストフィールド検証 *Widget* を挿入することもできます。

検証の種類とフォーマットの指定

テキストフィールド検証 Widget では、様々な種類の検証を指定できます。例えば、クレジットカード番号を入力するテキストフィールドにはクレジットカード検証を指定できます。

1. ドキュメントウィンドウでテキストフィールド検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、タイプメニューから検証の種類を選択します。
3. 該当する場合は、フォーマットポップアップメニューでフォーマットを選択します。

ほとんどの検証では、検証が行われるために標準のフォーマットが必要になります。例えばテキストフィールドに整数検証を適用した場合は、テキストフィールドに数字が入力されない限り検証は行われません。ただし検証の種類によっては、テキストフィールドに入力できるフォーマットの種類を選択できます。次の表は、プロパティインスペクターで利用できる検証の種類とフォーマットのリストです。

検証の種類	フォーマット
なし	特別なフォーマットは不要です。
整数	数字のみを入力できます。
電子メールアドレス	@ およびピリオド（.）を含み、ピリオドの前後に 1 文字以上の文字がある 電子メールアドレスのみを入力できます。
日付	フォーマットは様々です。プロパティインスペクターのフォーマットポップアップメニューで選択します。
時刻	フォーマットは様々です。プロパティインスペクターのフォーマットポップアップメニューで選択します。「tt」は am/pm フォーマットを表し、「t」は a/p フォーマットを表します。
クレジットカード	フォーマットは様々です。プロパティインスペクターのフォーマットポップアップメニューで選択します。あらゆる種類のクレジットカードを使用できるようにしたり、特定のクレジットカード（MasterCard、Visa など）を指定することもできます。4321 3456 4567 4567 のように、クレジットカード番号にスペースを入力することはできません。
ZIP コード	フォーマットは様々です。プロパティインスペクターのフォーマットポップアップメニューで選択します。
電話番号	米国またはカナダの (000) 000-0000 フォーマット、またはカスタムフォーマットで入力できます。オプションでカスタムフォーマットを選択する場合は、「パターン」テキストボックスに 000.00(00) のようにフォーマットを入力します。
社会保障番号	社会保障番号を 000-00-0000 のフォーマットで入力できます。別のフォーマットを使用するには、検証のタイプとして「カスタム」を選択し、パターンを指定します。このパターン検証メカニズムで使用できる文字は ASCII 文字のみです。
通貨	1,000,000.00 または 1.000.000,00 のフォーマットで金額を入力できます。
実数/科学的記数法	整数（1 など）、浮動値（12.123 など）、科学的記数法による浮動値（e を 10 の累乗数としたときの 1.212e+12、1.221e-12 など）など、様々な種類の数字を検証します。
IP アドレス	フォーマットは様々です。プロパティインスペクターのフォーマットポップアップメニューで選択します。
URL	http://xxx.xxx.xxx または ftp://xxx.xxx.xxx のフォーマットで URL

	を入力できます
カスタム	カスタム検証の種類とフォーマットを指定できます。プロパティインスペクターにフォーマットのパターン（および、必要に応じてヒント）を入力します。このパターン検証メカニズムで使用できる文字は ASCII 文字のみです。

検証を実行するタイミングの指定

検証がどの時点で実行されるかを指定できます。指定できるのは、サイトビジターが Widget の外側をクリックしたとき、ビジターが入力すると同時、またはビジターがフォームの送信を試みたときのいずれかです。

1. ドキュメントウィンドウでテキストフィールド検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、検証をどの時点で行うかを指定するオプションを選択します。すべてのオプションを選択することも、「送信」のみを選択することもできます。

   onBlur ユーザーがテキストフィールドの外側をクリックしたときに常に検証します。

   onChange ユーザーがテキストフィールド内でテキストを変更したときに検証します。

   onSubmit ユーザーがフォームの送信を試みたときに検証します。送信オプションは初期設定で選択され、選択解除することはできません。

最小および最大文字数の指定

このオプションは、なし、整数、電子メールアドレス、および URL の検証についてのみ選択可能になります。

1. ドキュメントウィンドウでテキストフィールド検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「最小文字数」または「最大文字数」ボックスに数字を入力します。例えば、「最小文字数」ボックスに「3」と入力すると、ユーザーが 3 文字以上入力した場合にのみ入力が受け入れられます。

最小値および最大値の指定

このオプションは、整数、時刻、通貨、および実数/科学的記数法の検証についてのみ選択可能になります。

1. ドキュメントウィンドウでテキストフィールド検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「最小値」または「最大値」ボックスに数字を入力します。例えば、「最小値」ボックスに「3」入力すると、ユーザーが 3 以上の値（4、5、6 など）を入力した場合にのみ入力が受け入れられます。

デザインビューでの **Widget** の状態の表示

1. ドキュメントウィンドウでテキストフィールド検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、プレビューの状態ポップアップメニューから表示する状態を選択します。例えば、有効状態でこの Widget を表示する場合は「有効」を選択します。

テキストフィールドの必須状態の変更

初期設定では、Dreamweaver で挿入したテキストフィールド検証 Widget を Web ページでパブリッシュすると、ユーザー入力が必須になります。ただし、テキストフィールドの入力をオプションにすることもできます。

1. ドキュメントウィンドウでテキストフィールド検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「必須」チェックボックスを必要に応じてオンまたはオフにします。

テキストフィールドのヒントの作成

テキストフィールドのフォーマットは種類が非常に多いので、入力フォーマットをヒントで知らせるとユーザーに便利です。例えば、電話番号検証が設定されたテキストフィールドでは、(000) 000-0000 の形式の電話番号のみが受け入れられます。ユーザーがブラウザーでページを読み込んだときにテキストフィールドに正しいフォーマットが表示されるように、このサンプル電話番号をヒントとして入力することができます。

1. ドキュメントウィンドウでテキストフィールド検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「ヒント」テキストボックスにヒントを入力します。

無効な文字のブロック

テキストフィールド検証 Widget にユーザーが無効な文字を入力するのを防止できます。例えば、整数検証が設定された Widget にこのオプションを選択すると、ユーザーがこのテキストフィールドに文字を入力しようとしても何も表示されません。

1. ドキュメントウィンドウでテキストフィールド検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「パターンを適用」オプションを選択します。

テキストフィールド検証 Widget のカスタマイズ

プロパティインスペクターでは、テキストフィールド検証 Widget の簡単な編集は可能ですが、カスタマイズされたスタイル設定タスクはサポートされません。テキストフィールド検証 Widget の CSS を変更すると、自由にスタイル設定した Widget を作成できます。高度なスタイル設定タスクについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprytextfield_custom_jp を参照してください。

次のトピックに登場する CSS ルールは、すべて SpryValidationTextField.css ファイルに格納された初期設定ルールです。Spry テキストフィールド検証 Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryValidationTextField.css ファイルが保存されます。このファイルには、その Widget に適用される様々なスタイルに関するコメント付き情報も格納されています。このため、このファイルを参照すると役に立ちます。

テキストフィールド検証 *Widget* に関するルールは、対応する *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用して *Widget* の *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっています。特に「現在」モードがこの点に優れています。

テキストフィールド検証 Widget のエラーメッセージのテキストのスタイル設定

テキストフィールド検証 Widget のエラーメッセージは、初期設定では、1 ピクセルのボーダーで囲まれた赤いテキストで表示されます。

- テキストフィールド検証 Widget のエラーメッセージのテキストスタイルを変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定プロパティを変更するか、または独自のテキストスタイルプロパティおよび値を追加します。

変更するテキスト	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
エラーメッセージのテキスト	`.textfieldRequiredState .textfieldRequiredMsg、.textfieldInvalidFormatState .textfieldInvalidFormatMsg、.textfieldMinValueState .textfieldMinValueMsg、.textfieldMaxValueState .textfieldMaxValueMsg、.textfieldMinCharsState .textfieldMinCharsMsg、.textfieldMaxCharsState .textfieldMaxCharsMsg`	color: #CC3333; border: 1px solid #CC3333;

テキストフィールド検証 Widget の背景色の変更

- 様々な状態のテキストフィールド検証 Widget の背景色を変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定の背景色値を変更します。

変更する色	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
有効状態の Widget の背景色	`.textfieldValidState input、input.textfieldValidState`	background-color: #B8F5B1;
無効状態の Widget の背景色	`input.textfieldRequiredState、.textfieldRequiredState input、input.textfieldInvalidFormatState、.textfieldInvalidFormatState input、input.textfieldMinValueState、.textfieldMinValueState input、input.textfieldMaxValueState、.textfieldMaxValueState input、input.textfieldMinCharsState、.textfieldMinCharsState input、input.textfieldMaxCharsState、.textfieldMaxCharsState input`	background-color: #FF9F9F;
フォーカスがある Widget の背景色	`.textfieldFocusState input、input.textfieldFocusState`	background-color: #FFFFCC;

アドビは次の機能も推奨します。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry テキストエリア検証 Widget の操作

テキストエリア検証 **Widget** について
テキストエリア検証 **Widget** の挿入と編集
テキストエリア検証 **Widget** のカスタマイズ

注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

テキストエリア検証 Widget について

Spry テキストエリア検証 Widget は、ユーザーが文をいくつか入力したときに有効か無効かを表示するテキストエリアです。必須フィールドであるテキストエリアにユーザーが何もテキストを入力していない場合は、値が必須であることを示すメッセージが返されます。

次にテキストエリア検証 Widget の例を示します。この例では有効状態を示しています。

A. 入力可能な残り文字数カウンター ***B.*** フォーカスがあるときのテキストエリア *Widget*、最大文字数状態 ***C.*** フォーカスがあるときのテキストエリア *Widget*、有効状態 ***D.*** テキストエリア *Widget*、必須状態 ***E.*** 入力文字数カウンター

テキストエリア検証 Widget には、有効、無効、必須などのいくつかの状態が含まれます。これらの状態のプロパティは、使用する検証結果に応じて、プロパティインスペクターで変更できます。検証が実行されるタイミングは、例えばユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、入力したとき、フォームを送信しようとしたときなど様々に設定できます。

イニシャル状態　ページがブラウザーに読み込まれたとき、またはユーザーがフォームをリセットしたときの Widget の状態。

フォーカス状態　ユーザーが挿入ポイントを置いたときの Widget の状態。

有効状態　ユーザーが情報を正しく入力し、フォームを送信できる状態になったときの Widget の状態。

必須状態　ユーザーがテキストを入力していないときの Widget の状態。

最小文字数状態　ユーザーが入力した文字数がテキストエリアの最小文字数に満たなかったときの Widget の状態。

最大文字数状態　ユーザーが入力した文字数がテキストエリアの最大文字数を超えていたときの Widget の状態。

ユーザーとのインタラクションの中で、テキストエリア検証 Widget によってこれらのいずれかの状態が入力されると、実行時に Spry フレームワークロジックにより、この Widget の HTML コンテナに特定の CSS クラスが適用されます。例えば、ユーザーがフォームを送信しようとしたときにテキストエリアにテキストが入力されていない場合は、「値を指定する必要があります。」というエラーメッセージを表示するクラスが Widget に適用されます。エラーメッセージのスタイルと表示状態を制御するルールは、この Widget に対応する SpryValidationTextArea.css という CSS ファイルに存在します。

テキストエリア検証 Widget の初期設定 HTML は、通常はフォームの内部に配置され、テキストエリアの <textarea> タグを囲むコンテナ タグで構成されます。テキストエリア検証 Widget の HTML には、ドキュメントの head 内とこの Widget の HTML マークアップの後の script タグも含まれます。

テキストエリア検証 Widget の動作およびコードについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprytextarea_jp を参照してください。

ページの先頭へ

テキストエリア検証 Widget の挿入と編集

テキストエリア検証 Widget の挿入

1. 挿入／Spry／Spry テキストエリア検証を選択します。
2. Input タグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用してテキストエリア検証 *Widget* を挿入することもできます。

検証を実行するタイミングの指定

検証がどの時点で実行されるかを指定できます。指定できるのは、ユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、ユーザーが入力すると同時、またはユーザーがフォームの送信を試みたときのいずれかです。

1. ドキュメントウィンドウでテキストエリア検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、検証をどの時点で行うかを指定する「検査日」オプションを選択します。すべてのオプションを選択することも、「送信」のみを選択することもできます。

   onBlur ユーザーがテキストフィールドの外側をクリックしたときに常に検証します。

   onChange ユーザーがテキストフィールド内でテキストを変更したときに検証します。

   onSubmit ユーザーがフォームの送信を試みたときに検証します。送信オプションは初期設定で選択され、選択解除することはできません。

最小および最大文字数の指定

1. ドキュメントウィンドウでテキストエリア検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「最小文字数」または「最大文字数」ボックスに数字を入力します。例えば、「最小文字数」ボックスに「20」と入力すると、ユーザーがそのテキストエリアに 20 文字以上入力した場合にのみ入力が受け入れられます。

文字カウンターの追加

ユーザーが何文字入力したかを知ることができる文字カウンター、またはそのテキストエリアの入力文字数が残り何文字かを知ることができる文字カウンターを追加できます。初期設定では、文字カウンターを追加すると、Widget の右下隅にカウンターが表示されます。

1. ドキュメントウィンドウでテキストエリア検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「文字数カウント」または「残りの文字数」オプションを選択します。

   注意： 「残りの文字数」オプションは、最大文字数を設定してある場合にのみ選択可能になります。

デザインビューでの Widget の状態の表示

1. ドキュメントウィンドウでテキストエリア検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、プレビューの状態ポップアップメニューから表示する状態を選択します。例えば、有効状態でこの Widget を表示する場合は「有効」を選択します。

テキストエリアの必須状態の変更

初期設定では、Dreamweaver で挿入したテキストエリア検証 Widget を Web ページ上にパブリッシュすると、ユーザー入力が必須になります。ただし、テキストエリアの検証をオプションにすることもできます。

1. ドキュメントウィンドウでテキストエリア検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「必須」チェックボックスを必要に応じてオンまたはオフにします。

テキストエリアのヒントの作成

入力する情報の種類をユーザーに知らせるため、テキストエリアに「ここに説明を入力します」などのヒントを追加できます。ユーザーがブラウザーでページを読み込むと、テキストエリアにこのヒントが表示されます。

1. ドキュメントウィンドウでテキストエリア検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「ヒント」テキストボックスにヒントを入力します。

余分な文字のブロック

ユーザーが、テキストエリア検証 Widget の最大文字数を超える文字を入力するのを防止できます。例えば、最大文字数が 20 文字に設定された Widget にこのオプションを選択すると、ユーザーはこのテキストエリアに 20 字を超えて入力できなくなります。

1. ドキュメントウィンドウでテキストエリア検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「余分な文字をブロック」オプションを選択します。

テキストエリア検証 Widget のカスタマイズ

ページの先頭へ

プロパティインスペクターでは、テキストエリア検証 Widget の簡単な編集は可能ですが、カスタマイズされたスタイル設定タスクはサポートされません。テキストエリア検証 Widget の CSS を変更すると、自由にスタイル設定した Widget を作成できます。高度なスタイル設定タスクについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprytextarea_custom_jp を参照してください。

次のトピックに登場する CSS ルールは、すべて SpryValidationTextArea.css ファイルに格納された初期設定ルールです。Spry テキストエリア検証 Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryValidationTextArea.css ファイルが保存されます。このファイルには、その Widget に適用される様々なスタイルに関するコメント付き情報も格納されています。このため、このファイルを参照すると役に立ちます。

テキストエリア検証 *Widget* に関するルールは、対応する *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用して *Widget* の *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっています。特に「現在」モードがこの点に優れています。

テキストエリア検証 Widget のエラーメッセージのテキストのスタイル設定

テキストエリア検証 Widget のエラーメッセージは、初期設定では、1 ピクセルのボーダーで囲まれた赤いテキストで表示されます。

- テキストエリア検証 Widget のエラーメッセージのテキストスタイルを変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定プロパティを変更するか、独自のテキストスタイルプロパティと値を追加します。

変更するテキスト	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
エラーメッセージのテキスト	`.textareaRequiredState .textareaRequiredMsg、.textareaMinCharsState .textareaMinCharsMsg、.textareaMaxCharsState .textareaMaxCharsMsg`	color: #CC3333; border: 1px solid #CC3333;

テキストエリア検証 Widget の背景色の変更

- 様々な状態のテキストエリア検証 Widget の背景色を変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定の背景色値を変更します。

変更する背景色	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
有効状態の Widget の背景色	`.textareaValidState textarea、textarea.textareaValidState`	background-color: #B8F5B1;
無効状態の Widget の背景色	`textarea.textareaRequiredState、.textareaRequiredState textarea、textarea.textareaMinCharsState、.textareaMinCharsState textarea、textarea.textareaMaxCharsState、.textareaMaxCharsState textarea`	background-color: #FF9F9F;
フォーカスがある Widget の背景色	`.textareaFocusState textarea、textarea.textareaFocusState`	background-color: #FFFFCC;

アドビは次の機能も推奨します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry 再入力検証 Widget の操作

再入力検証 **Widget** について
再入力検証 **Widget** の挿入と編集
再入力 **Widget** のカスタマイズ

注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

再入力検証 Widget について

再入力検証 Widget は、ユーザーが入力した値が同じフォーム内の同種フィールドの値と一致するか（有効）しないか（無効）を検証するテキストフィールドまたはパスワードフォームフィールドです。例えば、直前のフィールドに入力したパスワードを再入力するように要求するフォームなどで使用できます。ユーザーが入力したパスワードが前の入力内容と正確に一致していない場合は、値が一致しないことを示すエラーメッセージが表示されます。

再入力検証 Widget とテキストフィールド検証 Widget を併用して電子メールアドレスを検証することもできます。

注意： 再入力検証 *Widget* は、*Spry* 検証 *Widget* の扱いに習熟してから使用することをお勧めします。まだ慣れていない場合は、*Spry* テキストフィールド検証 *Widget* の操作、または他の検証 *Widget* の概要を読んでから使用を開始してください。この概要では、検証 *Widget* に関する基本概念をすべて説明することはしません。

一般的な設定による再入力検証 Widget の例を次の図に示します。

A. パスワードフィールドまたは *Spry* パスワード認証 *Widget* ***B.*** 再入力 *Widget*

再入力検証 Widget には、有効、無効、必須などいくつかの状態があります。これらの状態のプロパティは、対応する CSS ファイル（SpryValidationConfirm.css）を編集することにより、目的の検証結果に応じて変更できます。検査が実行されるタイミングは、例えばユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、入力したとき、フォームを送信しようとしたときなど、様々に設定できます。

イニシャル状態　ページがブラウザーに読み込まれたとき、またはユーザーがフォームをリセットしたときの状態。

フォーカス状態　ユーザーが Widget 内に挿入ポイントを置いたときの状態。

有効状態　ユーザーが正しい情報を入力し、フォームを送信できる状態になったときの状態。

無効状態　ユーザーが入力したテキストが前のテキストフィールド（テキストフィールド検証 Widget または パスワード検証 Widget）の入力内容と一致しないときの状態。

必須状態　ユーザーがテキストフィールドに必須テキストを入力していないときの状態。

再入力検証 Widget の動作および Widget 構造について詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_spryconfirm_jp を参照してください。

ページの先頭へ

再入力検証 Widget の挿入と編集

再入力検証 Widget の挿入

1. 挿入／Spry／Spry 再入力検証を選択します。
2. Input タグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用して再入力検証 *Widget* を挿入することもできます。

再入力検証 Widget の必須状態の変更

初期設定では、Dreamweaver で挿入した再入力検証 Widget を Web ページ上にパブリッシュすると、ユーザー入力が必須になります。ただし、再入力テキストフィールドの入力をオプションにすることもできます。

1. ドキュメントウィンドウで、再入力検証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「必須」チェックボックスを必要に応じてオンまたはオフにします。

検証対象テキストフィールドの指定

1. ドキュメントウィンドウで、再入力検証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、検証対象ポップアップメニューから、検証の対象とするテキストフィールドを選択します。このポップアップメニューには、固有の ID を割り当てたすべてのテキストフィールドが表示されます。

デザインビューでの Widget の状態の表示

1. ドキュメントウィンドウで、再入力検証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、プレビューの状態ポップアップメニューから表示する状態を選択します。例えば、有効状態でこの Widget を表示する場合は「有効」を選択します。

検証を実行するタイミングの指定

検証がどの時点で実行されるかを指定できます。指定できるのは、サイトビジターが Widget の外側をクリックしたとき、ユーザーが入力すると同時、またはユーザーがフォームの送信を試みたときのいずれかです。

1. ドキュメントウィンドウで、再入力検証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、検証をどの時点で行うかを指定するオプションを選択します。すべてのオプションを選択することも、「送信」のみを選択することもできます。

   onBlur ユーザーが再入力テキストフィールドの外側をクリックしたときに常に検証します。

   onChange ユーザーが再入力テキストフィールド内でテキストを変更したときに検証します。

   onSubmit ユーザーがフォームの送信を試みたときに検証します。送信オプションは初期設定で選択され、選択解除することはできません。

ページの先頭へ

再入力 Widget のカスタマイズ

プロパティインスペクターでは、再入力検証 Widget の簡単な編集は可能ですが、カスタマイズされたスタイル設定タスクはサポートされません。再入力検証 Widget の CSS ルールを変更すると、自由にスタイル設定した Widget を作成できます。高度なスタイル設定タスクについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_spryconfirm_custom_jp を参照してください。

次のトピックに登場する CSS ルールは、すべて SpryValidationConfirm.css ファイルに格納された初期設定ルールです。Spry 再入力検証 Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryValidationConfirm.css ファイルが保存されます。このファイルには、その Widget に適用される様々なスタイルに関するコメント付き情報も格納されています。このため、このファイルを参照すると役に立ちます。

再入力検証 *Widget* に関するルールは、対応する *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用して *Widget* の *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっています。特に「現在」モードがこの点に優れています。

再入力検証 Widget のスタイル設定（概要説明）

1. SpryValidationConfirm.css ファイルを開きます。
2. Widget に変更を加える部分に関する CSS ルールを見つけます。例えば、再入力 Widget の必須状態を示す背景色を変更するには、SpryValidationConfirm.css ファイルの `input.confirmRequiredState` を編集します。
3. CSS に必要に応じた変更を加え、ファイルを保存します。

SpryValidationConfirm.css ファイルには、コードや特定のルールの用途について説明する充実したコメントが含まれています。詳しくは、ファイル内のコメントを参照してください。

再入力検証 Widget のエラーメッセージのテキストスタイル設定

再入力検証 Widget のエラーメッセージは、初期設定では、1 ピクセルの実線ボーダーで囲まれた赤いテキストで表示されます。

- 再入力検証 Widget のエラーメッセージのテキストスタイルを変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定プロパティを変更するか、または独自のテキストスタイルプロパティおよび値を追加します。

変更するテキスト	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
エラーメッセージのテキスト	`.confirmRequiredState .confirmRequiredMsg`、`.confirmInvalidState .confirmInvalidMsg`	color: #CC3333; border: 1px solid #CC3333;

再入力検証 Widget の背景色の変更

- 様々な状態の再入力検証 Widget の背景色を変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定の背景色値を変更します。

変更する色	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
有効状態の Widget の背景色	`.confirmValidState input、input.confirmValidState`	background-color: #B8F5B1;
無効状態の Widget の背景色	`input.confirmRequiredState、.confirmRequiredState input、input.confirmInvalidState、.confirmInvalidState input`	background-color: #FF9F9F;
フォーカスがある Widget の背景色	`.confirmFocusState input、input.confirmFocusState`	background-color: #FFFFCC;

アドビは次の機能も推奨します。

- 再入力検証 Widget のサンプル

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry パスワード認証 Widget の操作

パスワード認証 **Widget** について
パスワード認証 **Widget** の挿入と編集
パスワード認証 **Widget** のカスタマイズ

注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

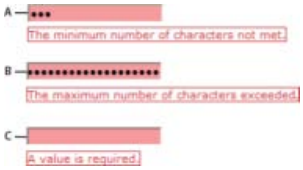
ページの先頭へ

パスワード認証 Widget について

Spry パスワード認証 Widget は、パスワードのルール（文字数や文字種など）を適用する場合に使用できるパスワード用テキストフィールドです。ユーザーの入力に応じて警告またはエラーメッセージが表示されます。

注意： パスワード *Widget* は、*Spry* 検証 *Widget* の扱いに習熟してから使用することをお勧めします。まだ慣れていない場合は、*Spry* テキストフィールド検証 *Widget* の操作、または他の検証 *Widget* の概要を読んでから使用を開始してください。この概要では、検証 *Widget* に関する基本概念をすべて説明することはしません。

いろいろな状態のパスワード認証 Widget の例を次に示します。



A. パスワード *Widget*、最小文字数状態 ***B.*** パスワード *Widget*、最大文字数状態 ***C.*** パスワード *Widget*、必須状態

パスワード認証 Widget には、有効、必須、最小文字数などいくつかの状態があります。これらの状態のプロパティは、対応する CSS ファイル（SpryValidationPassword.css）を編集することにより、目的の検証結果に応じて変更できます。検査が実行されるタイミングは、例えばユーザーがテキストフィールドの外側をクリックしたとき、入力したとき、フォームを送信しようとしたときなど、様々に設定できます。

イニシャル状態 ページがブラウザーに読み込まれたとき、またはユーザーがフォームをリセットしたときの状態。

フォーカス状態 ユーザーが Widget 内に挿入ポイントを置いたときの状態。

有効状態 ユーザーが正しい情報を入力し、フォームを送信できる状態になったときの状態。

無効な強さ状態 ユーザーの入力したテキストが、当該パスワードテキストフィールドにおける強さの条件を満たしていないときの状態 （例えば、パスワードに少なくとも 2 字の英大文字を含めることを必須に指定してあるのに、ユーザーの入力したパスワードが 0 または 1 字しか英大文字を含んでいない場合）。

必須状態 ユーザーがテキストフィールドに必須テキストを入力していないときの状態。

最小文字数状態 ユーザーの入力したテキストが、当該パスワードテキストフィールドにおいて必要な最小文字数を満たしていないときの状態。

最大文字数状態 ユーザーの入力したテキストが、当該パスワードテキストフィールドにおいて認められる最大文字数を超えているときの状態。

パスワード認証 Widget の動作および Widget 構造について詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprypassword_jp を参照してください。

ページの先頭へ

パスワード認証 Widget の挿入と編集

パスワード認証 Widget の挿入

1. 挿入／Spry／Spry パスワード認証を選択します。
2. Input タグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用してパスワード認証 *Widget* を挿入することもできます。

パスワード認証 Widget の必須状態の変更

初期設定では、Dreamweaver で挿入したパスワード認証 Widget を Web ページ上にパブリッシュすると、ユーザー入力が必須になります。ただし、パスワードテキストフィールドの入力をオプションにすることもできます。

1. ドキュメントウィンドウで、パスワード認証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「必須」チェックボックスを必要に応じてオンまたはオフにします。

デザインビューでの Widget の状態の表示

1. ドキュメントウィンドウで、パスワード認証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、プレビューの状態ポップアップメニューから表示する状態を選択します。例えば、有効状態でこの Widget を表示する場合は「有効」を選択します。

検証を実行するタイミングの指定

検証がどの時点で実行されるかを指定できます。指定できるのは、サイトビジターが Widget の外側をクリックしたとき、ビジターが入力すると同時、またはビジターがフォームの送信を試みたときのいずれかです。

1. ドキュメントウィンドウで、パスワード認証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、検証をどの時点で行うかを指定するオプションを選択します。すべてのオプションを選択することも、「送信」のみを選択することもできます。

   onBlur ユーザーがパスワードテキストフィールドの外側をクリックしたときに常に検証します。

   onChange ユーザーがパスワードテキストフィールド内でテキストを変更したときに検証します。

   onSubmit ユーザーがフォームの送信を試みたときに検証します。送信オプションは初期設定で選択され、選択解除することはできません。

パスワードの強さの設定

パスワードの強さとは、ある文字の組み合わせがパスワードテキストフィールドにおける要件に一致する度合いを表します。例えば、ユーザーにパスワードを指定させるためのフォームを作成する際、所定の数の英大文字や記号などをパスワードに含めるよう要求することが必要な場合があります。

注意： パスワード *Widget* の初期設定では、指定可能なオプションはすべてオフになっています。

最小文字数/最大文字数

パスワードとして有効な文字列であるための最小文字数および最大文字数を指定します。

最小文字数/最大文字数

パスワードとして有効な文字列に含まれる英字（a、b、c など）の最小数および最大数を指定します。

最小数/最大数

パスワードとして有効な文字列に含まれる数字（1、2、3 など）の最小数および最大数を指定します。

最小大文字数/最大大文字数

パスワードとして有効な文字列に含まれる英大文字（A、B、C など）の最小数および最大数を指定します。

最小特殊文字数/最大特殊文字数

パスワードとして有効な文字列に含まれる特殊記号（!、@、# など）の最小数および最大数を指定します。

以上のオプションを空にすると、その条件に対する検証は実行されません。例えば、「最小数 / 最大数」オプションを空にすると、パスワードの文字列内の数値は検証されません。

1. パスワード認証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、必要に応じてオプションを設定します。各オプションのフィールドに入力する数値が、その Widget で検証に合格するために必要な数となります。例えば、「最小文字数」ボックスに「8」と入力すると、ユーザーがパスワードテキストフィールドに少なくとも 8 文字を入力しないと検証に合格しません。

パスワード認証 Widget のカスタマイズ

ページの先頭へ

プロパティインスペクターでは、パスワード認証 Widget の簡単な編集は可能ですが、カスタマイズされたスタイル設定タスクはサポートされません。パスワード認証 Widget の CSS を変更すると、自由にスタイル設定した Widget を作成できます。高度なスタイル設定タスクについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprypassword_custom_jp を参照してください。

次のトピックに登場する CSS ルールは、すべて SpryValidationPassword.css ファイルに格納された初期設定ルールです。Spry パスワード認証 Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryValidationPassword.css ファイルが保存されます。このファイルには、その Widget に適用される様々なスタイルに関するコメント付き情報も格納されています。このため、このファイルを参照すると役に立ちます。

パスワード認証 *Widget* に関するルールは、対応する *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用して *Widget* の *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっていま

す。特に「現在」モードがこの点に優れています。

パスワード認証 Widget のスタイル設定（概要説明）

1. SpryValidationPassword.css ファイルを開きます。
2. Widget に変更を加える部分に関する CSS ルールを見つけます。例えば、パスワード Widget の必須状態を示す背景色を変更するには、SpryValidationPassword.css ファイルの `input.passwordRequiredState` を編集します。
3. CSS に必要に応じた変更を加え、ファイルを保存します。

SpryValidationPassword.css ファイルには、コードや特定のルールの用途について説明する充実したコメントが含まれています。詳しくは、ファイル内のコメントを参照してください。

パスワード認証 Widget のエラーメッセージのテキストスタイル設定

パスワード認証 Widget のエラーメッセージは、初期設定では、1 ピクセルの実線ボーダーで囲まれた赤いテキストで表示されます。

- パスワード認証 Widget のエラーメッセージのテキストスタイルを変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定プロパティを変更するか、または独自のテキストスタイルプロパティおよび値を追加します。

変更するテキスト	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
エラーメッセージのテキスト	`.passwordRequiredState .passwordRequiredMsg、.passwordMinCharsState .passwordMinCharsMsg、.passwordMaxCharsState .passwordMaxCharsMsg、.passwordInvalidStrengthState .passwordInvalidStrengthMsg、.passwordCustomState .passwordCustomMsg`	color: #CC3333; border: 1px solid #CC3333;

パスワード認証 Widget の背景色の変更

- 様々な状態のパスワード認証 Widget の背景色を変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定の背景色値を変更します。

変更する色	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
有効状態の Widget の背景色	`.passwordValidState input、input.passwordValidState`	background-color: #B8F5B1;
無効状態の Widget の背景色	`input.passwordRequiredState、.passwordRequiredState input、input.passwordInvalidStrengthState、.passwordInvalidStrengthState input、input.passwordMinCharsState、.passwordMinCharsState input、input.passwordCustomState、.passwordCustomState input、input.passwordMaxCharsState、.passwordMaxCharsState input`	background-color: #FF9F9F;
フォーカスがある Widget の背景色	`.passwordFocusState input、input.passwordFocusState`	background-color: #FFFFCC;

アドビは次の機能も推奨します。

- パスワード認証 Widget のサンプル

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry ラジオグループ検証 Widget の操作

ラジオグループ検証 **Widget** について
ラジオグループ検証 **Widget** の挿入と編集
ラジオグループ **Widget** のカスタマイズ

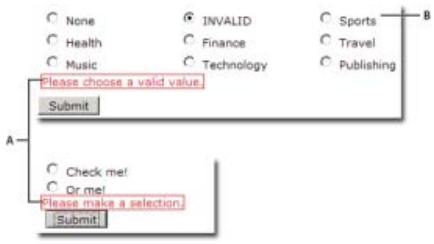
注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ラジオグループ検証 Widget について

ページの先頭へ

"ラジオグループ検証 *Widget*" は、選択項目の検証サポート機能を備えたラジオボタングループです。この Widget では、グループ内のラジオボタンが必ず 1 つ選択されるように検証が行われます。

いろいろな状態のラジオグループ検証 Widget の例を次に示します。



A. ラジオグループ検証 *Widget* のエラーメッセージ ***B.*** ラジオグループ検証 *Widget* のグループ

ラジオグループ検証 Widget には、初期（イニシャル）状態の他に、有効、無効、必須の 3 つの状態があります。これらの状態のプロパティは、対応する CSS ファイル（SpryValidationRadio.css）を編集することにより、目的の検証結果に応じて変更できます。検証が実行されるタイミングとしては、ユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、選択操作を実行したとき、またはフォームを送信しようとしたときを指定できます。

イニシャル状態　ページがブラウザーに読み込まれたとき、またはユーザーがフォームをリセットしたときの状態。

有効状態　ユーザーが有効な項目を選択し、フォームを送信できる状態になったときの状態。

必須状態　ユーザーが必要な選択操作をしていないときの状態。

無効状態　受け入れられない値を持つラジオボタンをユーザーが選択したときの状態。

実行時、ユーザーの操作によってラジオグループ検証 Widget がこれらいずれかの状態に変化すると、Spry フレームワークロジックにより、この Widget の HTML コンテナに特定の CSS クラスが適用されます。例えば、ユーザーがオプションを選択せずにフォームを送信しようとした場合、「項目を選択してください」というエラーメッセージを表示するクラスが Widget に適用されます。エラーメッセージのスタイルと表示状態を制御するルールは、この Widget に対応する SpryValidationRadio.css というファイル内にあります。

ラジオグループ検証 Widget の初期設定 HTML コードは、通常はフォームの内部に配置され、コンテナ `span` タグで構成されます。このタグは、ラジオグループの `input type="radio"` タグを囲みます。ラジオグループ検証 Widget の HTML コードには、ドキュメントの head 内とこの Widget の HTML コードの後に配置される `script` タグも含まれます。

ラジオグループ検証 Widget の動作およびコードについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_spryradio_jp を参照してください。

ラジオグループ検証 Widget の挿入と編集

ページの先頭へ

ラジオグループ検証 Widget の挿入

1. 挿入／Spry／Spry ラジオグループ検証を選択します。
2. 「名前」テキストボックスに、ラジオグループの名前を入力します。
3. プラス（+）ボタンをクリックしてグループのラジオボタンを追加、または、マイナス（-）ボタンをクリックして減らします。
4. 「ラベル」列で、各ラジオボタンの名前をクリックしてフィールドを編集可能な状態にし、ラジオボタンごとに固有の名前を付けます。
5. 「値」列で、それぞれの値をクリックしてフィールドを編集可能な状態にし、ラジオボタンごとに固有の値を割り当てます。
6. （オプション）ラジオボタンまたはその値をクリックして特定の行を選択し、上向き矢印と下向き矢印をクリックして行を上下に移動します。

7. ラジオグループのレイアウトのタイプを選択します。

   改行 各ラジオボタンを、改行（br タグ）を使用して別々の行に配置します。

   テーブル 各ラジオボタンを、テーブル行（tr タグ）を使用して行別に配置します。

8. 「OK」をクリックします。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用してラジオグループ検証 *Widget* を挿入することもできます。

検証を実行するタイミングの指定

検証がどの時点で実行されるかを指定できます。指定できるのは、ユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、ユーザーが選択すると同時、またはユーザーがフォームの送信を試みたときのいずれかです。

1. ドキュメントウィンドウで、ラジオグループ検証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、検証をどの時点で行うかを指定するオプションを選択します。すべてのオプションを選択することも、「送信」のみを選択することもできます。

   onBlur ユーザーがそのラジオグループの外側をクリックしたときに常に検証します。

   onChange ユーザーが選択したときに検証します。

   onSubmit ユーザーがフォームの送信を試みたときに検証します。送信オプションは初期設定で選択され、選択解除することはできません。

デザインビューでの **Widget** の状態の表示

1. ドキュメントウィンドウで、ラジオグループ検証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、プレビューの状態ポップアップメニューから表示する状態を選択します。例えば、初期状態の Widget を表示する場合は「イニシャル」を選択します。

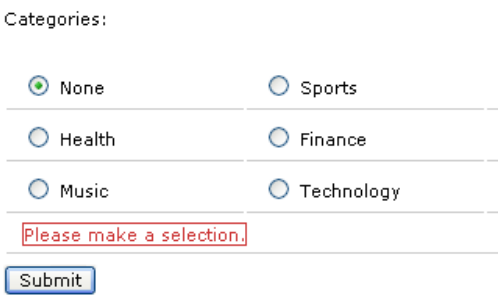
ラジオボタンの必須状態の変更

ラジオグループ検証 Widget の初期設定では、フォームを送信する前に項目を選択することが必須です。ただし、ユーザーの選択操作をオプションにすることもできます。

1. ドキュメントウィンドウで、ラジオグループ検証 Widget の青いタブをクリックして選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「必須」オプションをオフにします。

空または無効な値の指定

ユーザーが選択するラジオボタンに空または無効と見なされる値を指定できます。空の値を持つラジオボタンをユーザーが選択すると、ブラウザーに「項目を選択してください」というエラーメッセージが表示されます。無効な値を持つラジオボタンをユーザーが選択すると、ブラウザーに「有効な値を選択してください」というエラーメッセージが表示されます。



空の値を持つラジオボタンを含んだラジオグループ *Widget*。

1. 空の値または無効な値を持つラジオボタンを作成するラジオグループ Widget 内で、該当するラジオボタンを選択します。ラジオグループ Widget で空または無効と見なされる値を指定する前に、それらの値をラジオボタンに割り当てておく必要があります。
2. ラジオボタンのプロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、該当するラジオボタンにチェック済み値を割り当てます。空の値を持つラジオボタンを作成するには、「チェック済み値」テキストボックスに「**none**」と入力します。無効な値を持つラジオボタンを作成するには、「チェック済み値」テキストボックスに「**invalid**」と入力します。
3. ラジオグループ検証 Widget の青いタブをクリックして Widget 全体を選択します。
4. プロパティインスペクターで、空の値または無効な値を指定します。空の値に対して「項目を選択してください」というエラーメッセージを表示する Widget を作成するには、「空の値」テキストボックスに「**none**」と入力します。無効な値に対して「有効な値を選択してください」というエラーメッセージを表示する Widget を作成するには、「無効な値」テキストボックスに「**invalid**」と入力します。

エラーメッセージを正常に表示するには、ラジオボタン自体とラジオグループ Widget の両方に none または invalid の値を割り当てる必要があります。

ページの先頭へ

ラジオグループ Widget のカスタマイズ

プロパティインスペクターでは、ラジオグループ検証 Widget の簡単な編集は可能ですが、カスタマイズされたスタイル設定タスクはサポートされません。ラジオグループ検証 Widget の CSS を変更すると、自由にスタイル設定した Widget を作成できます。高度なスタイル設定タスクについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_spryradio_custom_jp を参照してください。

次のトピックに登場する CSS ルールは、すべて SpryValidationRadio.css ファイルに格納された初期設定ルールです。Spry ラジオグループ検証 Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryValidationRadio.css ファイルが保存されます。このファイルには、その Widget に適用される様々なスタイルに関するコメント付き情報も格納されています。このため、このファイルを参照すると役に立ちます。

ラジオグループ検証 *Widget* に関するルールは、対応する *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用して *Widget* の *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっています。特に「現在」モードがこの点に優れています。

ラジオグループ検証 Widget のスタイル設定（概要説明）

1. SpryValidationRadio.css ファイルを開きます。
2. Widget に変更を加える部分に関する CSS ルールを見つけます。例えば、ラジオグループ Widget の必須状態を示す背景色を変更するには、SpryValidationRadio.css ファイルの `radioRequiredState` を編集します。
3. CSS ルールに必要に応じた変更を加え、ファイルを保存します。

SpryValidationRadio.css ファイルには、コードや特定のルールの用途について説明する充実したコメントが含まれています。詳しくは、ファイル内のコメントを参照してください。

ラジオグループ検証 Widget のエラーメッセージのテキストスタイル設定

ラジオグループ検証 Widget のエラーメッセージは、初期設定では、1 ピクセルの実線ボーダーで囲まれた赤いテキストで表示されます。

- ラジオグループ検証 Widget のエラーメッセージのテキストスタイルを変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定プロパティを変更するか、または独自のテキストスタイルプロパティおよび値を追加します。

スタイルを設定するテキスト	関連する **CSS** ルール	変更する関連プロパティ
エラーメッセージのテキスト	`.radioRequiredState .radioRequiredMsg`、`.radioInvalidState .radioInvalidMsg`	color: #CC3333; border: 1px solid #CC3333;

アドビは次の機能も推奨します。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry セレクト検証 Widget の操作

セレクト検証 **Widget** について
セレクト検証 **Widget** の挿入と編集
セレクト検証 **Widget** のカスタマイズ

注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

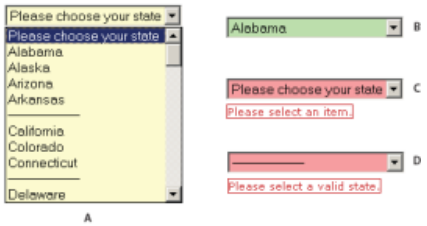
既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

セレクト検証 Widget について

Spry セレクト検証 Widget は、ユーザーが選択すると有効状態または無効状態が表示されるドロップダウンメニューです。例えば、あるセレクト検証 Widget に含まれるリストが、横線で区切ってグループ化されているとします。このときユーザーが誤って区切りの横線を選択すると、その選択が無効であることを示すメッセージが返されます。

次に、展開されたセレクト検証 Widget の例と、様々な状態の折りたたまれたセレクト検証 Widget の例を示します。



A. フォーカスがあるときのセレクト検証 *Widget* ***B.*** セレクト *Widget*、有効状態 ***C.*** セレクト *Widget*、必須状態 ***D.*** セレクト *Widget*、無効状態

セレクト検証 Widget には、有効、無効、必須などのいくつかの状態が含まれます。これらの状態のプロパティは、使用する検証結果に応じて、プロパティインスペクターで変更できます。検証が実行されるタイミングは、例えばユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、選択したとき、フォームを送信しようとしたときなど、様々に設定できます。

イニシャル状態　ページがブラウザーに読み込まれたとき、またはユーザーがフォームをリセットしたときの Widget の状態。

フォーカス状態　ユーザーがクリックしたときの Widget の状態。

有効状態　ユーザーが有効な項目を選択し、フォームを送信できる状態になったときの Widget の状態。

無効状態　ユーザーが無効な項目を選択したときの Widget の状態。

必須状態　ユーザーが有効な項目を選択し忘れたときの Widget の状態。

ユーザーとのインタラクションの中で、セレクト検証 Widget によってこれらのいずれかの状態が入力されると、実行時に Spry フレームワークロジックにより、この Widget の HTML コンテナに特定の CSS クラスが適用されます。例えば、ユーザーがフォームを送信しようとしてメニューから項目が選択されていなかった場合に、「項目を選択してください。」というエラーメッセージが表示されるように Widget にクラスが適用されます。エラーメッセージのスタイルと表示状態を制御するルールは、この Widget に対応する SpryValidationSelect.css という CSS ファイルに存在します。

セレクト検証 Widget の初期設定 HTML は、通常はフォームの内部に配置され、テキストエリアの <select> タグを囲むコンテナ タグで構成されます。セレクト検証 Widget の HTML には、ドキュメントの head 内とこの Widget の HTML マークアップの後の script タグも含まれます。

セレクト検証 Widget の動作およびコードについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_spryselect_jp を参照してください。

ページの先頭へ

セレクト検証 Widget の挿入と編集

セレクト検証 Widget の挿入

1. 挿入／Spry／Spry セレクト検証を選択します。
2. Input タグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。
3. コードビューで、メニュー項目と値を含むオプションタグを追加します。Dreamweaver ではこれは自動的には行われません。詳しくは、前のトピックを参照してください。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用してセレクト検証 *Widget* を挿入することもできます。

検証を実行するタイミングの指定

検証がどの時点で実行されるかを指定できます。指定できるのは、ユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、ユーザーが入力すると同時、またはユーザーがフォームの送信を試みたときのいずれかです。

1. ドキュメントウィンドウで、セレクト検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、検証をどの時点で行うかを指定するオプションを選択します。すべてのオプションを選択することも、「送信」のみを選択することもできます。

   onBlur ユーザーが Widget の外側をクリックしたときに常に検証します。

   onChange ユーザーが選択したときに検証します。

   onSubmit ユーザーがフォームの送信を試みたときに検証します。送信オプションは初期設定で選択され、選択解除することはできません。

デザインビューでの **Widget** の状態の表示

1. ドキュメントウィンドウで、セレクト検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、プレビューの状態ポップアップメニューから表示する状態を選択します。例えば、有効状態でこの Widget を表示する場合は「有効」を選択します。

空白値の禁止または許可

初期設定では、Dreamweaver で挿入したセレクト検証 Widget を Web ページでパブリッシュすると、値を関連付けられたメニュー項目の選択が必須になります。ただし、このオプションを無効にすることもできます。

1. ドキュメントウィンドウで、セレクト検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「禁止」の「空白の値」チェックボックスを必要に応じてオンまたはオフにします。

無効な値の指定

関連付けられたメニュー項目をユーザーが選択すると無効とされる値を指定できます。例えば、無効な値として -1 を指定し、その値をオプションタグに割り当てると、ユーザーがメニュー項目を選択したときに Widget はエラーメッセージを返します。

```
<option value="-1"> -------------------- </option>
```

1. ドキュメントウィンドウで、セレクト検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「無効な値」ボックスに数値を入力します。

ページの先頭へ

セレクト検証 **Widget** のカスタマイズ

プロパティインスペクターでは、セレクト検証 Widget の簡単な編集は可能ですが、カスタマイズされたスタイル設定タスクはサポートされません。セレクト検証 Widget の CSS を変更すると、自由にスタイル設定した Widget を作成できます。

次のトピックに登場する CSS ルールは、すべて SpryValidationSelect.css ファイルに格納された初期設定ルールです。Spry セレクト検証 Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryValidationSelect.css ファイルが保存されます。このファイルには、その Widget に適用される様々なスタイルに関するコメント付き情報も格納されています。このため、このファイルを参照すると役に立ちます。

> セレクト検証 *Widget* に関するルールは、対応する *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用して *Widget* の *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっています。特に「現在」モードがこの点に優れています。

セレクト検証 **Widget** のエラーメッセージのテキストのスタイル設定

セレクト検証 Widget のエラーメッセージは、初期設定では、1 ピクセルのボーダーで囲まれた赤いテキストで表示されます。

- セレクト検証 Widget のエラーメッセージのテキストスタイルを変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定プロパティを変更するか、または独自のテキストスタイルプロパティおよび値を追加します。

スタイルを設定するテキスト	関連する **CSS** ルール	変更する関連プロパティ
エラーメッセージのテキスト	`.selectRequiredState .selectRequiredMsg`、`.selectInvalidState .selectInvalidMsg`	color: #CC3333; border: 1px solid #CC3333;

セレクト検証 Widget の背景色の変更

- 様々な状態のセレクト検証 Widget の背景色を変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定の背景色値を変更します。

変更する背景色	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
有効状態の Widget の背景色	`.selectValidState select、select.selectValidState`	background-color: #B8F5B1;
無効状態の Widget の背景色	`select.selectRequiredState、.selectRequiredState select、select.selectInvalidState、.selectInvalidState select`	background-color: #FF9F9F;
フォーカスがある Widget の背景色	`.selectFocusState select、select.selectFocusState`	background-color: #FFFFCC;

アドビは次の機能も推奨します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry アコーディオン Widget の操作

アコーディオン **Widget** について
アコーディオン **Widget** の挿入と編集
アコーディオン **Widget** のカスタマイズ

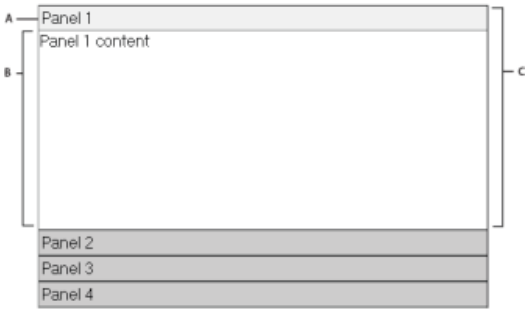
注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

アコーディオン Widget について

アコーディオン Widget は、縮小可能なパネルのセットです。アコーディオン Widget を使用すると、わずかなスペースに多くのコンテンツを格納できます。ユーザーがパネルのタブをクリックすると、アコーディオンに格納されたコンテンツの表示/非表示が切り替わります。アコーディオンの各パネルは、ユーザーがクリックしたタブに応じて拡張および縮小されます。各アコーディオンでは、一度に 1 つのコンテンツパネルのみが開いて表示されます。次にアコーディオン Widget の例を示します。この例では 1 番目のパネルが展開されています。



A. アコーディオンパネルタブ ***B.*** アコーディオンパネルコンテンツ ***C.*** 展開されたアコーディオンパネル

アコーディオン Widget の初期設定 HTML は、すべてのパネルが含まれる外側の `div` タグ、各パネルの `div` タグ、各パネルのタグ内のヘッダー `div` およびコンテンツ `div` で構成されます。アコーディオン Widget には任意の数のパネルを含めることができます。アコーディオン Widget の HTML には、ドキュメントの head 内とアコーディオンの HTML マークアップの後に `script` タグも含まれます。

アコーディオン Widget の動作およびコードについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_spryaccordion_jp を参照してください。

アコーディオン Widget の操作に関するチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0167_jp を参照してください。

ページの先頭へ

アコーディオン Widget の挿入と編集

アコーディオン Widget の挿入

- 挿入／Spry／Spry アコーディオンを選択します。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用してアコーディオン *Widget* を挿入することもできます。

アコーディオン Widget へのパネルの追加

1. ドキュメントウィンドウでアコーディオン Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）のパネル追加「+」ボタンをクリックします。
3. （オプション）パネルの名前を変更する場合は、デザインビューでパネルのテキストを選択し、テキストを変更します。

アコーディオン Widget からのパネルの削除

1. ドキュメントウィンドウでアコーディオン Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）のパネルメニューで削除するパネルの名前を選択し、マイナス「-」ボタンをクリックします。

パネルを開いて編集

- 次のいずれかの操作を実行します。

- デザインビューで開くパネルのタブの上にマウスポインターを置き、タブの右に表示される目のアイコンをクリックします。
- ドキュメントウィンドウでアコーディオン Widget を選択し、プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）のパネルメニューで編集するパネルの名前をクリックします。

パネルの順序の変更

1. ドキュメントウィンドウでアコーディオン Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、移動するアコーディオンパネルの名前を選択します。
3. 上向き矢印または下向き矢印をクリックしてパネルを上または下に移動します。

ページの先頭へ

アコーディオン Widget のカスタマイズ

プロパティインスペクターでは、アコーディオン Widget の簡単な編集は可能ですが、カスタマイズされたスタイル設定タスクはサポートされません。アコーディオン Widget に関する CSS ルールを変更すると、自由にスタイル設定したアコーディオンを作成できます。

アコーディオン Widget のカラーの変更についてのクイックリファレンスは、David Powers の Quick guide to styling Spry tabbed panels, accordions, and collapsible panels（英語）を参照してください。

高度なスタイル設定タスクについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_spryaccordion_custom_jp を参照してください。

次のトピックに登場する CSS ルールは、すべて SpryAccordion.css ファイルに格納された初期設定ルールです。Spry アコーディオン Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryAccordion.css ファイルが保存されます。このファイルには、その Widget に適用される様々なスタイルに関するコメント付き情報も格納されます。このため、このファイルを参照すると役に立つ場合があります。

> アコーディオン *Widget* に関するルールは *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用してアコーディオンの *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっています。特に「現在」モードがこの点に優れています。

アコーディオン Widget のテキストのスタイル設定

アコーディオン Widget のテキストのスタイルを設定するには、アコーディオン Widget コンテナ全体のプロパティを設定するか、Widget の各コンポーネントのプロパティを個別に設定します。

- アコーディオン Widget のテキストスタイルを変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、独自のテキストスタイルプロパティおよび値を追加します。

変更するテキスト	関連する **CSS** ルール	追加するプロパティおよび値の例
アコーディオン全体（タブとコンテンツパネルの両方を含む）のテキスト	`.Accordion` または `.AccordionPanel`	font: Arial; font-size:medium;
アコーディオンパネルタブのテキストのみ	`.AccordionPanelTab`	font: Arial; font-size:medium;
アコーディオンコンテンツパネルのテキストのみ	`.AccordionPanelContent`	font: Arial; font-size:medium;

アコーディオン Widget の背景色の変更

- アコーディオン Widget の様々な部分の背景色を変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、背景色プロパティおよび値を追加または変更します。

変更する **Widget** の部分	関連する **CSS** ルール	追加または変更するプロパティおよび値の例
アコーディオンパネルタブの背景色	`.AccordionPanelTab`	background-color: #CCCCCC;（これが初期設定値です）
アコーディオンコンテンツパネルの背景色	`.AccordionPanelContent`	background-color: #CCCCCC;
開いたアコーディオンパネルの背景色	`.AccordionPanelOpen` `.AccordionPanelTab`	background-color: #EEEEEE;（これが初期設定値です）

マウスポインターがあるときのパネルタブの背景色	`.AccordionPanelTabHover`	color: #555555;（これが初期設定値です）
マウスポインターがあるときの開いたパネルタブの背景色	`.AccordionPanelOpen .AccordionPanelTabHover`	color: #555555;（これが初期設定値です）

アコーディオンの幅の固定

初期設定では、アコーディオン Widget は使用可能なスペースいっぱいに拡張されます。ただし、アコーディオンコンテナの幅プロパティを設定すると、アコーディオン Widget の幅を制限できます。

1. SpryAccordion.css ファイルを開くことによって .Accordion CSS ルールを見つけます。これは、アコーディオン Widget のメインコンテナエレメントのプロパティを定義するルールです。

   アコーディオン *Widget* を選択して *CSS* スタイルパネル（ウィンドウ／*CSS* スタイル）を調べることによってルールを探すこともできます。パネルが「現在」モードに設定されていることを確認します。

2. このルールに、`width: 300px;` のように幅プロパティと値を追加します。

アドビは次の機能も推奨します。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry 縮小可能パネル Widget の操作

縮小可能パネル **Widget** について
縮小可能パネル **Widget** の挿入と編集
縮小可能パネル **Widget** のカスタマイズ

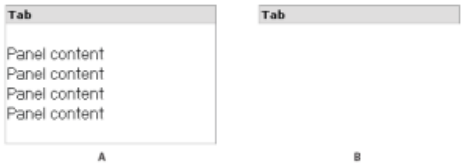
注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

縮小可能パネル Widget について

縮小可能パネル Widget は、わずかなスペースにコンテンツを格納できるパネルです。縮小可能パネルに格納されたコンテンツは、ユーザーが Widget のタブをクリックすると表示/非表示が切り替わります。次に示すのは、縮小可能パネル Widget が展開された例と縮小された例です。



A. 展開 ***B.*** 縮小

縮小可能パネル Widget の HTML は、外側の `div` タグと、このタグに含まれるコンテンツ `div` タグおよびコンテナ `div` タグで構成されます。縮小可能パネル Widget の HTML には、ドキュメントの head 内と縮小可能パネルの HTML マークアップの後の script タグも含まれます。

縮小可能パネル Widget の動作およびコードについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprycollapsiblepanel_jp を参照してください。

ページの先頭へ

縮小可能パネル Widget の挿入と編集

縮小可能パネル Widget の挿入

- 挿入／Spry／Spry 縮小可能パネルを選択します。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用して縮小可能パネル *Widget* を挿入することもできます。

デザインビューで縮小可能パネルを開くまたは閉じる

- 次のいずれかの操作を実行します。
  - デザインビューでパネルのタブの上にマウスポインターを置き、タブの右に表示される目のアイコンをクリックします。
  - ドキュメントウィンドウで縮小可能パネル Widget を選択し、プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の表示ポップアップメニューから「開く」または「閉じた状態」を選択します。

縮小可能パネル Widget の初期設定状態の設定

Web ページがブラウザーに読み込まれたときの、縮小可能パネル Widget の初期設定の状態（開いた状態または閉じた状態）を設定できます。

1. ドキュメントウィンドウで、縮小可能パネル Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、初期設定の状態ポップアップメニューから「開く」または「閉じた状態」を選択します。

縮小可能パネル Widget のアニメーションの有効と無効の切り替え

初期設定では、縮小可能パネル Widget のアニメーションを有効にすると、ユーザーがパネルのタブをクリックしたときにパネルが滑らかに開閉します。アニメーションを無効にすると、縮小可能パネル Widget が瞬間的に開閉します。

1. ドキュメントウィンドウで、縮小可能パネル Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「アニメーションを有効にする」チェックボックスをオンまたはオフにします。

ページの先頭へ

縮小可能パネル Widget のカスタマイズ

プロパティインスペクターでは、縮小可能パネル Widget の簡単な編集は可能ですが、カスタマイズされたスタイル設定タスクはサポートされません。縮小可能パネル Widget に関する CSS を変更すると、自由にスタイル設定した縮小可能パネルを作成できます。

縮小可能パネル Widget のカラーの変更についてのクイックリファレンスは、David Powers の Quick guide to styling Spry tabbed panels, accordions, and collapsible panels（英語）を参照してください。

高度なスタイル設定タスクについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprycollapsiblepanel_custom_jp を参照してください。

次のトピックに登場する CSS ルールは、すべて SpryCollapsiblePanel.css ファイルに格納された初期設定ルールです。Spry 縮小可能パネル Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryCollapsiblePanel.css ファイルが保存されます。このファイルには、Widget に適用される様々なスタイルに関する、役に立つコメント付き情報も含まれています。

> 縮小可能パネル *Widget* に関するルールは、対応する *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用して縮小可能パネルの *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっています。特に「現在」モードがこの点に優れています。

縮小可能パネル Widget のテキストのスタイル設定

縮小可能パネル Widget のテキストのスタイルを設定するには、縮小可能パネル Widget コンテナ全体のプロパティを設定するか、Widget の各コンポーネントのプロパティを個別に設定します。

- 縮小可能パネル Widget のテキストフォーマットを変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、独自のテキストスタイルプロパティおよび値を追加します。

変更するスタイル	関連する CSS ルール	追加または変更するプロパティおよび値の例
縮小可能パネル全体のテキスト	`.CollapsiblePanel`	font: Arial; font-size:medium;
パネルタブのみのテキスト	`.CollapsiblePanelTab`	font: bold 0.7em sans-serif;（これが初期設定値です）
コンテンツパネルのみのテキスト	`.CollapsiblePanelContent`	font: Arial; font-size:medium;

縮小可能パネル Widget の背景色の変更

- 縮小可能パネル Widget の様々な部分の背景色を変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、背景色プロパティおよび値を必要に応じて追加または変更します。

変更する色	関連する CSS ルール	追加または変更するプロパティおよび値の例
パネルタブの背景色	`.CollapsiblePanelTab`	background-color: #DDD;（これが初期設定値です）
コンテンツパネルの背景色	`.CollapsiblePanelContent`	background-color: #DDD;
パネルが開いているときのタブの背景色	`.CollapsiblePanelOpen .CollapsiblePanelTab`	background-color: #EEE;（これが初期設定値です）
マウスポインターが上にあるときの、開いたパネルタブの背景色	`.CollapsiblePanelTabHover`、`.CollapsiblePanelOpen .CollapsiblePanelTabHover`	background-color: #CCC;（これが初期設定値です）

縮小可能パネルの幅の固定

初期設定では、縮小可能パネル Widget は使用可能なスペースいっぱいに拡張されます。ただし、縮小可能パネルのコンテナの幅プロパティを設定すると、縮小可能パネル Widget の幅を制限できます。

1. SpryCollapsible Panel.css ファイルを開き、.CollapsiblePanel CSS ルールを見つけます。このルールは、縮小可能パネル Widget のメインコンテナエレメントのプロパティを定義します。

   > 縮小可能パネル *Widget* を選択して *CSS* スタイルパネル（ウィンドウ／*CSS* スタイル）を調べることによってルールを探すこともできます。パネルが「現在」モードに設定されていることを確認します。

2. このルールに、`width: 300px;` のように幅プロパティと値を追加します。

アドビは次の機能も推奨します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry チェックボックス検証 Widget の操作

チェックボックス検証 **Widget** について
チェックボックス検証 **Widget** の挿入と編集
チェックボックス検証 **Widget** のエラーメッセージのカスタマイズ

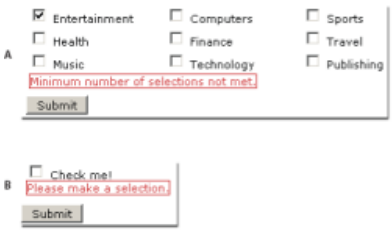
注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

チェックボックス検証 Widget について

Spry チェックボックス検証 Widget は、ユーザーが HTML フォーム内のあるチェックボックスを選択したとき、または選択しなかったときに、有効状態または無効状態を表示する（単独またはグループの）チェックボックスです。例えば、ユーザーが 3 つのオプションを選択する必要があるフォームにチェックボックス検証 Widget を追加します。ユーザーが 3 つのオプションを選択していない場合は、最小選択数が満たされていないことを示すメッセージが返されます。

次にチェックボックス検証 Widget の例を示します。この例では有効状態を示しています。



A. チェックボックス検証 *Widget* グループ、最小選択数状態 ***B.*** チェックボックス検証 *Widget*、必須状態

チェックボックス検証 Widget には、有効、無効、必須などのいくつかの状態が含まれます。これらの状態のプロパティは、使用する検証結果に応じて、プロパティインスペクターで変更できます。検証が実行されるタイミングは、例えばユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、選択したとき、フォームを送信しようとしたときなど、様々に設定できます。

イニシャル状態　ページがブラウザーに読み込まれたとき、またはユーザーがフォームをリセットしたときの Widget の状態。

有効状態　ユーザーが適切な数のオプションを選択し、フォームを送信できるようになったときの Widget の状態。

必須状態　ユーザーが必要な数のオプションを選択し忘れたときの Widget の状態。

最小選択数状態　ユーザーが選択したチェックボックスの数が必要最小数に満たないときの Widget の状態。

最大選択数状態　ユーザーが選択したチェックボックスの数が許容最大数を超えているときの Widget の状態。

ユーザーとのインタラクションの中で、チェックボックス検証 Widget によってこれらのいずれかの状態が入力されると、実行時に Spry フレームワークロジックにより、この Widget の HTML コンテナに特定の CSS クラスが適用されます。例えば、ユーザーがフォームをオプションを選択せずに送信しようとすると、「項目を選択してください。」というエラーメッセージを表示するクラスが Widget に適用されます。エラーメッセージのスタイルと表示状態を制御するルールは、この Widget に対応する SpryValidationCheckbox.css という CSS ファイルに存在します。

チェックボックス検証 Widget の初期設定 HTML は、通常はフォームの内部に配置され、チェックボックスの <input type="checkbox"> タグを囲むコンテナ タグで構成されます。チェックボックス検証 Widget の HTML には、ドキュメントの head 内とこの Widget の HTML マークアップの後の script タグも含まれます。

チェックボックス検証 Widget の動作およびコードについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprycheckbox_jp を参照してください。

ページの先頭へ

チェックボックス検証 Widget の挿入と編集

チェックボックス検証 Widget の挿入

1. 挿入／Spry／Spry チェックボックス検証を選択します。
2. Input タグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用してチェックボックス検証 *Widget* を挿入することもできます。

検証を実行するタイミングの指定

検証がどの時点で実行されるかを指定できます。指定できるのは、ユーザーが Widget の外側をクリックしたとき、ユーザーが選択すると同時、またはユーザーがフォームの送信を試みたときのいずれかです。

1. ドキュメントウィンドウで、チェックボックス検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、検証をどの時点で行うかを指定するオプションを選択します。すべてのオプションを選択することも、「送信」のみを選択することもできます。

   onBlur ユーザーがチェックボックスの外側をクリックしたときに常に検証します。

   onChange ユーザーが選択したときに検証します。

   onSubmit ユーザーがフォームの送信を試みたときに検証します。送信オプションは初期設定で選択され、選択解除することはできません。

選択オプション数の範囲の指定

初期設定では、チェックボックス検証 Widget が初期設定で必須になるように設定されます。ただし、ページに複数のチェックボックスを挿入する場合は、選択オプション数の範囲を指定できます。例えば、1 つのチェックボックス検証 Widget の タグ内に 6 つのチェックボックスがあり、ユーザーに 3 つ以上のチェックボックスを選択させたい場合は、Widget 全体にそのような環境設定を指定できます。

1. ドキュメントウィンドウで、チェックボックス検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「範囲を適用」オプションを選択します。
3. ユーザーに選択させたい最小または最大チェックボックス数（またはその両方）を入力します。

デザインビューでの Widget の状態の表示

1. ドキュメントウィンドウで、チェックボックス検証 Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、プレビューの状態ポップアップメニューから表示する状態を選択します。例えば、初期状態の Widget を表示する場合は「イニシャル」を選択します。

ページの先頭へ

チェックボックス検証 Widget のエラーメッセージのカスタマイズ

チェックボックス検証 Widget のエラーメッセージは、初期設定では、1 ピクセルのボーダーで囲まれた赤いテキストで表示されます。チェックボックス検証 Widget の CSS を変更すると、自由にスタイル設定した Widget を作成できます。高度なスタイル設定タスクについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprycheckbox_custom_jp を参照してください。

1. SpryValidationCheckbox.css ファイルを開きます。

   Spry チェックボックス検証 Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryValidationCheckbox.css ファイルが保存されます。このファイルには、その Widget に適用される様々なスタイルに関するコメント付き情報も格納されています。このため、このファイルを参照すると役に立ちます。

2. 次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、初期設定プロパティを変更するか、または独自のテキストスタイルプロパティおよび値を追加します。

スタイルを設定するテキスト	関連する CSS ルール	変更する関連プロパティ
エラーメッセージのテキスト	`.checkboxRequiredState .checkboxRequiredMsg、.checkboxMinSelectionsState .checkboxMinSelectionsMsg、.checkboxMaxSelectionsState .checkboxMaxSelectionsMsg`	color: #CC3333; border: 1px solid #CC3333;

チェックボックス検証 *Widget* に関するルールは、対応する *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用して *Widget* の *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっています。特に「現在」モードがこの点に優れています。

アドビは次の機能も推奨します。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ページのタイトルおよびエンコードプロパティの設定

「タイトル / エンコーディング」ページプロパティオプションでは、Web ページのオーサリングに使用する言語に特有のドキュメントエンコードタイプと、そのエンコードタイプで使用する Unicode 正規化形式を指定できます。

1. 修正／ページプロパティを選択するか、テキストのプロパティインスペクターの「ページプロパティ」ボタンをクリックします。
2. 「タイトル/エンコーディング」カテゴリを選択し、オプションを設定します。
   タイトル ドキュメントウィンドウおよびほとんどのブラウザーウィンドウのタイトルバーに表示されるページタイトルを指定します。

   ドキュメントタイプ（**DTD**） ドキュメントタイプ定義を指定します。例えば、ポップアップメニューから「XHTML 1.0 Transitional」または「XHTML 1.0 Strict」を選択すると、HTML ドキュメントを XHTML 準拠にできます。

   エンコーディング ドキュメント内の文字に使用されるエンコードを指定します。

   ドキュメントエンコーディングとして Unicode（UTF-8）を選択した場合、UTF-8 ではすべての文字を適切に表すことができるため、エンティティエンコーディングは必要ありません。他のドキュメントエンコーディングを選択した場合は、一部の文字を表すためにエンティティエンコーディングが必要になることがあります。文字エンティティについて詳しくは、www.w3.org/TR/REC-html40/sgml/entities.html を参照してください。

   再読み込み 既存のドキュメントを変換するか、新しいエンコードを使用して再度開きます。

   Unicode 正規化形式**[Unicode** せいきかけいしき**]** ドキュメントのエンコードとして UTF-8 を選択する場合のみ有効になります。Unicode 正規化形式には 4 種類があります。最も重要なものは正規化形式 C です。これは、World Wide Web の文字モデルとして最もよく使用される形式であるためです。Adobe では、完全を期すために他の 3 種類の Unicode 正規化形式も用意しています。

   Unicode では、視覚的には似ていても、異なる方法でドキュメント内に保存できるいくつかの文字があります。例えば、「ë」（e ウムラウト）は「e ウムラウト」として 1 つの文字で表すか、「通常のラテン文字 e」+「結合ウムラウト」として 2 つの文字で表すことができます。Unicode 結合文字は前の文字とともに使用されるので、ウムラウトは「ラテン文字 e」の上に表示されます。どちらの形式も視覚的には同じ文字体裁になりますが、ファイルに保存される方法は各形式で異なります。

   正規化は、異なる形式で保存できるすべての文字が、すべて同じ形式を使って保存されるようにする処理です。つまり、ドキュメントにあるすべての「ë」文字は 1 つの「e ウムラウト」または「e」+「結合ウムラウト」として保存され、1 つのドキュメントに両方の形式で保存されることはありません。

   Unicode 正規化と、使用できる具体的な形式については、Unicode Web サイト（www.unicode.org/reports/tr15）を参照してください。

   Unicode Signature（**BOM**）を含める ドキュメントにバイトオーダーマーク（BOM）を含めます。BOM は、ファイルを Unicode として識別する、テキストファイルの先頭にある 2 ～ 4 バイトです。ファイルが Unicode である場合は、後続のバイトのバイトオーダーを指定します。UTF-8 にはバイトオーダーがないため、UTF-8 BOM の追加はオプションです。UTF-16 および UTF-32 の場合、BOM の追加は必須です。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ページ全体の CSS リンクプロパティの設定

注意： *Dreamweaver CC* 以降では、ユーザーインターフェイスが簡素化されています。そのため、この記事で説明されているオプションの一部が *Dreamweaver CC* 以降には存在しない場合があります。詳しくは、この記事を参照してください。

リンクのフォント、フォントサイズ、色、およびその他の項目を指定できます。デフォルトでは、Dreamweaver によってリンクの CSS ルールが作成され、ページで使用するすべてのリンクに適用されます。それらのルールは、ページの head セクションに埋め込まれます。

注意： ページの個々のリンクをカスタマイズするには、個々の *CSS* ルールを作成し、それらをリンクに個別に適用する必要があります。

1. 修正／ページプロパティを選択するか、テキストのプロパティインスペクターの「ページプロパティ」ボタンをクリックします。
2. 「リンク（CSS）」カテゴリを選択し、オプションを設定します。

   リンクのフォント リンクテキストで使用する初期設定のフォントファミリーを指定します。初期設定では、別のフォントが指定されていない限り、ページ全体に対して指定されたフォントファミリーが使用されます。

   サイズ リンクテキストで使用する初期設定のフォントサイズを指定します。

   リンクカラー リンクテキストに適用するカラーを指定します。

   訪問済みリンク 訪問済みリンクに適用するカラーを指定します。

   ロールオーバーリンク マウス（またはポインター）がリンクの上に置かれたときに適用するカラーを指定します。

   アクティブリンク マウス（またはポインター）でリンクをクリックしたときに適用するカラーを指定します。

   アンダーライン リンクに適用するアンダーラインを指定します。例えば、外部 CSS スタイルシートを通して、ページで既にアンダーラインのリンクスタイルが定義されている場合は、アンダーラインメニューは "変更しない" オプションに設定されます。このオプションにより、定義済みのリンクスタイルについて警告されます。ページプロパティダイアログボックスでアンダーラインのリンクスタイルを変更すると、前のリンク定義が変更されます。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ページ全体の CSS 見出しプロパティの設定

注意： *Dreamweaver CC* 以降では、ユーザーインターフェイスが簡素化されています。そのため、この記事で説明されているオプションの一部が *Dreamweaver CC* 以降には存在しない場合があります。詳しくは、この記事を参照してください。

ページの見出しのフォント、フォントサイズ、色を指定できます。デフォルトでは、Dreamweaver によって見出しの CSS ルールが作成され、ページで使用するすべての見出しに適用されます。それらのルールは、ページの head セクションに埋め込まれます。

見出しは HTML プロパティインスペクターで選択できます。

1. 修正／ページプロパティを選択するか、テキストのプロパティインスペクターの「ページプロパティ」ボタンをクリックします。
2. 「見出し（CSS）」カテゴリを選択し、オプションを設定します。

   見出しのフォント 見出しで使用する初期設定のフォントファミリーを指定します。Dreamweaver では、テキストエレメントに別のフォントが設定されていない限り、ここで指定したフォントファミリーが使用されます。

   「見出し **1**」から「見出し **6**」 6 レベルまでの見出しタグに使用するフォントのサイズとカラーを指定します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ドキュメントウィンドウでのエレメントの選択および表示

エレメントの選択
選択したテキストまたはオブジェクトに関連付けられている HTML コードの確認
不可視エレメントのマーカーアイコンの表示/非表示の切り替え
不可視エレメントの環境設定の設定

ドキュメントウィンドウのデザインビューでエレメントを選択するには、そのエレメントをクリックします。エレメントが不可視になっている場合は、そのエレメントを表示しないと選択できません。

HTML コードの一部には、ブラウザーで表示されないものがあります。例えば、comment タグは、ブラウザーには表示されません。ただし、ページの作成時にこれらの不可視エレメントを選択、編集、移動、および削除できるようにしておくと便利です。

Dreamweaver では、ドキュメントウィンドウのデザインビューで、不可視エレメントの位置を示すアイコンを表示するかどうかを指定できます。「不可視エレメント」の環境設定でオプションを設定することにより、表示するエレメントのマーカーを指定できます。例えば、アンカーポイントを表示し、改行を非表示にするよう指定できます。

一部の不可視エレメント（コメントやアンカーポイントなど）は、挿入パネルの「一般」カテゴリのボタンを使用して作成できます。作成したエレメントは、プロパティインスペクターを使用して変更できます。

エレメントの選択

トップへ戻る

- ドキュメントウィンドウで表示エレメントを選択するには、エレメントをクリックするか、エレメント上をドラッグします。
- 不可視エレメントを選択するには、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択してから（このメニュー項目がまだ選択されていない場合）、ドキュメントウィンドウでエレメントのマーカーをクリックします。

  オブジェクトによっては、ページ上で対応するコードが挿入されている位置とは別のところに表示される場合があります。例えば、デザインビューでは絶対位置のエレメント（AP エレメント）はページの任意の位置に配置できますが、コードビューでは AP エレメントを定義するコードは固定位置に配置されます。不可視エレメントを表示している場合、Dreamweaver では、不可視エレメントのコードの位置を示すマーカーがドキュメントウィンドウに表示されます。マーカーを選択すると、エレメント全体が選択されます。例えば、AP エレメントのマーカーを選択すると、その AP エレメント全体が選択されます。
- 完全なタグを、その内容と共に選択するには、ドキュメントウィンドウの左下にあるタグセレクターでタグをクリックします。タグセレクターは、デザインビューおよびコードビューの両方に表示されます。タグセレクターには常に、現在の選択範囲または挿入ポイントを含むタグが表示されます。左端のタグは、現在の選択範囲または挿入ポイントを含む一番外側のタグです。次のタグは、一番外側のタグのすぐ内側にあり、次に表示されるのは前のタグのすぐ内側のタグです。右端のタグは、現在の選択範囲または挿入ポイントを含む一番内側のタグです。

  次の例では、挿入ポイントが段落タグ <p> の中にあります。目的の段落を含むテーブルを選択するには、<table> タグ（<p> タグの左にあります）を選択します。

選択したテキストまたはオブジェクトに関連付けられている HTML コードの確認

トップへ戻る

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- ドキュメントツールバーで、「コードビューの表示」ボタンをクリックします。
- 表示／コードを選択します。
- ドキュメントツールバーで、「コードビューとデザインビューの表示」ボタンをクリックします。
- 表示／コードとデザインを選択します。
- ウィンドウ／コードインスペクターを選択します。

  コードエディター（コードビューまたはコードインスペクター）で選択したものは、通常、ドキュメントウィンドウでも選択されています。2 つのビューを同期させないと、選択したものが表示されないことがあります。

不可視エレメントのマーカーアイコンの表示/非表示の切り替え

トップへ戻る

❖ 表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択します。
注意： 不可視エレメントを表示すると、他のエレメントが数ピクセル分移動するので、ページのレイアウトがわずかに変化する場合があります。

レイアウトを正確に表示するには、不可視エレメントを非表示にしてください。

トップへ戻る

不可視エレメントの環境設定の設定

「不可視エレメント」環境設定を使用して、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択したときに表示されるエレメントの種類を指定します。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択して、「不可視エレメント」をクリックします。
2. 表示する必要のあるエレメントを選択し、「OK」をクリックします。
   注意： ダイアログボックスでエレメント名の横に表示されるチェックマークは、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択すると、そのエレメントが表示されることを表します。
   アンカーポイント ドキュメント内の各アンカーポイント（a name = ""）の位置を示すアイコンが表示されます。

   スクリプト ドキュメント本文で JavaScript コードまたは VBScript コードの位置を示すアイコンが表示されます。このアイコンを選択すると、プロパティインスペクターでスクリプトを編集することも、外部スクリプトファイルにリンクすることもできます。

   コメント HTML コメントの位置を示すアイコンが表示されます。このアイコンを選択すると、プロパティインスペクターにコメントが表示されます。

   改行 各改行（BR）の位置を示すアイコンが表示されます。このオプションはデフォルトではオフになっています。

   クライアント側のイメージマップ ドキュメント内の各クライアントサイドイメージマップの位置を示すアイコンが表示されます。

   埋め込みスタイル ドキュメントのボディセクションに埋め込まれた CSS スタイルの位置を示すアイコンが表示されます。ドキュメントのヘッドセクションに配置されている CSS スタイルは、ドキュメントウィンドウには表示されません。

   非表示フォームフィールド type 属性が "hidden" に設定されているフォームフィールドの位置を示すアイコンが表示されます。

   フォーム区切り フォームの周りの境界線が表示されるので、フォームエレメントを挿入する位置を確認できます。この境界線は、form タグの範囲を表すので、この境界線内のフォームエレメントはすべて、form タグに適切に囲まれています。

   AP エレメントのアンカーポイント AP エレメントを定義するコードの位置を示すアイコンが表示されます。AP エレメント自体は、ページの任意の位置に配置できます。AP エレメントは不可視エレメントではありません。AP エレメントを定義するコードだけが不可視です。このアイコンを選択して AP エレメントを選択すると、AP エレメントが非表示に指定されていても、その AP エレメントの内容が表示されます。

   整列のアンカーポイント align 属性を指定可能なエレメントの HTML コードの位置を示すアイコンが表示されます。このようなエレメントには、イメージ、テーブル、ActiveX オブジェクト、プラグイン、アプレットなどがあります。エレメントの HTML コードが、表示オブジェクトから分離されている場合もあります。

   ビジュアルサーバーマークアップタグ 内容をドキュメントウィンドウに表示できないサーバーマークアップタグ（Active Server Pages タグや ColdFusion タグなど）の位置が表示されます。通常、これらのタグはサーバーで処理される際に HTML タグに変換されます。例えば、<CFGRAPH> タグが ColdFusion サーバーで処理されると HTML テーブルが生成されます。Dreamweaver では、ページの動的な出力結果が最終的にどうなるかを知ることはできないため、このタグは ColdFusion の不可視エレメントとして表されます。

   非ビジュアルサーバーマークアップタグ 内容をドキュメントウィンドウに表示できないサーバーマークアップタグ（Active Server Pages タグや ColdFusion タグなど）の位置が表示されます。これには、普通、HTML タグを生成しないセットアップタグ、処理タグ、論理タグ（<CFSET>、<CFWDDX>、<CFXML> など）が該当します。

   CSS 表示：なし リンクされた、または埋め込まれたスタイルシートの display:none プロパティによって非表示にされているコンテンツの位置を示すアイコンが表示されます。

   動的テキストの表示方法 {Recordset:Field} の形式を使用して、初期設定でページに動的テキストを表示します。これらの値の長さが十分にあり、ページのフォーマットを変形できる場合、表示を {} に変更できます。

   サーバーサイドインクルード 各サーバーサイドインクルードファイルの実際のコンテンツを表示します。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Microsoft Office ドキュメントの読み込み（Windows のみ）

Microsoft Word や Excel ドキュメントの完全な内容を新規または既存の Web ページに挿入できます。Word または Excel ドキュメントを読み込むと、Dreamweaver は変換された HTML を受け取って Web ページに挿入します。HTML に変換されたファイルは、Dreamweaver が受け取った後のサイズが 300KB 未満になることが必要です。

ファイル全体の内容を読み込む代わりに、Word ドキュメントの一部をペーストし、フォーマットを保持することもできます。

注意： Microsoft Office 97 を使用している場合は、Word や Excel のドキュメントの内容を読み込むことはできません。代わりに、ドキュメントへのリンクを挿入します。

1. Word または Excel ドキュメントの内容を挿入する Web ページを開きます。
2. デザインビューでファイルを選択するには以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイルを現在の位置から、その内容を表示するページにドラッグします。
   - ファイル／読み込み／Word ドキュメントまたはファイル／読み込み／Excel ドキュメントを選択します。
3. ドキュメントの挿入ダイアログボックスで追加するファイルを検索し、ダイアログボックスの下部にあるフォーマットポップアップメニューからいずれかのフォーマットオプションを選択して「開く」をクリックします。
   テキストのみ 書式設定されていないテキストを挿入します。元のテキストがフォーマットされている場合、すべてのフォーマットが削除されます。

   構造（段落、リスト、テーブル）付きテキスト 構造を維持しているが、基本的なフォーマットを維持していないテキストを挿入します。例えば、テキストをペーストして、段落、リスト、およびテーブルの構造を維持し、ボールド、イタリック、およびその他のフォーマットを維持しないようにできます。

   構造と基本書式（ボールド、イタリック）付きテキスト 構造化された HTML フォーマットテキストと単純な HTML フォーマットテキストの両方（段落やテーブルの他に、b、i、u、strong、em、hr、abbr、acronym の各タグで書式設定されたテキストなど）を挿入します。

   構造と完全な書式（ボールド、イタリック、スタイル）付きテキスト すべての構造、HTML フォーマット、および CSS スタイルを維持したテキストを挿入します。

   Word の段落スペースのクリーンアップ 「構造（段落、リスト、テーブル）付きテキスト」または「構造と基本書式（ボールド、イタリック）付きテキスト」を選択し、テキストをペーストするときに段落間の余分なスペースを削除します。

   Word または Excel ドキュメントの内容がページに表示されます。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Word または Excel ドキュメントへのリンクの作成

既存のページに Microsoft Word または Excel ドキュメントへのリンクを挿入できます。

1. リンクを表示するページを開きます。
2. ファイルを現在の位置から Dreamweaver ページにドラッグし、好きな場所にリンクを置きます。
3. 「リンクを作成」を選択して「OK」をクリックします。
4. リンクするドキュメントがサイトのルートフォルダー外にある場合、Dreamweaver からドキュメントをサイトのルートフォルダーにコピーするよう要求されます。

   ドキュメントをサイトのルートフォルダーにコピーすれば、Web サイトをパブリッシュしたときに、そのドキュメントに確実にアクセスできるようになります。
5. Web サーバーにページをアップロードする場合は、Word または Excel ファイルもアップロードしてください。

   ページに Word または Excel ドキュメントへのリンクが含まれるようになります。リンクテキストは、リンクしたファイルの名前です。リンクテキストは必要に応じてドキュメントウィンドウから変更できます。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

お気に入りアセットリストの作成と管理

お気に入りアセットの管理
お気に入りアセットの追加または削除
お気に入りアセットのニックネームの作成
お気に入りフォルダーのアセットのグループ化

お気に入りアセットの管理

トップへ戻る

サイトが大規模な場合、認識されているアセットがすべてリストに一覧表示されていると扱いにくいことがあります。頻繁に使用するアセットをお気に入りリストに追加し、関連するアセットをグループにまとめ、目的に合わせてニックネームを付けて、アセットパネル内で簡単に見つけられるようにすることができます。

注意： お気に入りのアセットは、個別ファイルとしてディスクに保存されるわけではありません。これらはサイトリスト内のアセットへの参照です。お気に入りリストに表示するサイトリストのアセットは、Dreamweaver によって記録されます。

アセットパネルのお気に入りリストの操作は、ほとんどがサイトリストの操作と同じです。ただし、お気に入りリストだけで実行できるタスクがいくつかあります。

お気に入りアセットの追加または削除

トップへ戻る

アセットパネル内のサイトのお気に入りリストにアセットを追加する方法は、いくつかあります。

お気に入りリストにカラーまたは URL を追加するには、追加手順を実行する必要があります。新しいカラーおよび URL はサイトリストには追加できません。サイトリストには、既にサイトで使用されているアセットしか表示されません。

注意： テンプレートとライブラリ項目のお気に入りリストはありません。

お気に入りリストへのアセットの追加

次のいずれかの操作を実行します。

- アセットパネルのサイトリストでアセットを選択し、お気に入りに追加ボタン をクリックします。
- アセットパネルのサイトリスト内でアセットを選択し、右クリック（Windows）するか、または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、「お気に入りに追加」を選択します。
- ファイルパネルでファイルを選択し、右クリック（Windows）するか、または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、「お気に入りに追加」を選択します。Dreamweaver により、アセットパネル内のカテゴリに対応していないファイルは無視されます。
- ドキュメントウィンドウのデザインビューでエレメントを右クリック（Windows）するか、または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）します。次に、コンテキストメニューのコマンドを選択して、「お気に入り」のカテゴリにエレメントを追加します。

  テキストのコンテキストメニューには、そのテキストにリンクが関連付けられているかどうかによって、「お気に入りカラーに追加」または「お気に入り URL に追加」のいずれかが表示されます。アセットパネルで追加できるのは、このいずれかのカテゴリに該当するエレメントだけです。

お気に入りリストへの新しいカラーまたは URL の追加

1. アセットパネルで、「カラー」カテゴリまたは「URL」カテゴリを選択します。
2. パネルの上部にある「お気に入り」オプションを選択します。
3. 「新規カラー」または「新規 URL」ボタン をクリックします。
4. 次のいずれかの操作を実行します。
   - カラーピッカーを使用してカラーを選択し、必要に応じてカラーにニックネームを付けます。

     カラーを選択せずにカラーピッカーを終了するには、Esc キーを押すか、またはカラーピッカーの上部にあるグレーのバーをクリックします。
   - URL の追加ダイアログボックスで URL およびニックネームを入力して、「OK」をクリックします。

お気に入りリストからのアセットの削除

1. アセットパネルで、パネルの上部にある「お気に入り」オプションを選択します。
2. お気に入りリスト内でアセット（またはフォルダー）を選択します。
   -

3. 「お気に入りから削除」ボタン　をクリックします。

   アセットはお気に入りリストから削除されますが、サイトリストからは削除されません。お気に入りフォルダーを削除すると、このフォルダーとそのすべての内容が削除されます。

トップへ戻る

お気に入りアセットのニックネームの作成

アセットにニックネーム（#999900 ではなく PageBackgroundColor など）を指定できるのは、お気に入りリストでだけです。サイトリストでは、アセットは常に実際のファイル名（カラーや URL の場合は値）で表示されます。

1. アセットパネル（ウィンドウ／アセット）で、アセットが含まれているカテゴリを選択します。
2. パネルの上部にある「お気に入り」オプションを選択します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - アセットパネルで、アセットの名前またはアイコンを右クリック（Windows）するか、または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、「ニックネームの編集」を選択します。
   - アセットの名前を一度クリックし、間を置いてもう一度クリックします。ダブルクリックしないでください。ダブルクリックすると、編集できるようにアセットが開いてしまいます。
4. アセットのニックネームを入力し、Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

トップへ戻る

お気に入りフォルダーのアセットのグループ化

お気に入りフォルダーにアセットを入れても、ディスク上でのアセットのファイルの位置は変わりません。

1. アセットパネルで、パネルの上部にある「お気に入り」オプションを選択します。
2. 「新規お気に入りフォルダー」ボタン をクリックします。
3. フォルダー名を入力し、Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。
4. アセットをフォルダー内にドラッグします。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

プロパティインスペクターでのテキストプロパティの設定

テキストのフォーマットについて（CSS と HTML）
プロパティインスペクターでの CSS ルールの編集
プロパティインスペクターでの HTML フォーマットの設定
HTML プロパティインスペクターでのクラス名の変更

テキストのプロパティインスペクターを使用して、HTML フォーマットまたは CSS フォーマットを適用することができます。HTML フォーマットを適用すると、ページ本文の HTML コードにプロパティが追加されます。CSS フォーマットを適用すると、ドキュメントのページヘッド内、または別のスタイルシート内にプロパティが書き込まれます。

注意： *CSS* インラインスタイルを作成すると、ページ本文にスタイル属性コードが直接追加されます。

テキストのフォーマットについて（CSS と HTML）

ページの先頭へ

Dreamweaver では、標準的なワードプロセッサーと同様の操作でテキストを書式設定できます。テキストブロックには初期設定のフォーマットスタイル（段落、見出し 1、見出し 2、など）を設定できます。また、選択したテキストのフォント、サイズ、色、整列の変更や、ボールド、イタリック、コード（monospace）、アンダーラインなどのテキストスタイルの適用も可能です。

Dreamweaver には、CSS プロパティインスペクターおよび HTML プロパティインスペクターという 2 種類のプロパティインスペクターがあり、これらは 1 つに統合されています。CSS プロパティインスペクターを使用する場合、Dreamweaver ではテキストのフォーマットに CSS（カスケーディングスタイルシート）が使用されます。CSS を使用すると、Web デザイナーや開発者が Web ページのデザインをより詳細に管理できるのに加え、アクセシビリティ機能を向上し、ファイルサイズを縮小できます。CSS プロパティインスペクターでは、既存のスタイルにアクセスすることも、新規にスタイルを作成することもできます。

CSS を使用することで、ドキュメントの構造を崩さずに Web ページのスタイルを管理することができます。CSS では、Web ページの視覚的なデザインエレメント（フォント、色、マージンなど）と構造ロジックを分離できるので、Web デザイナーはコンテンツの整合性を犠牲にせずに、表示面と印刷面で Web ページを管理することができます。また、印刷時のデザインやページレイアウトを単独のコードブロックで定義でき、イメージマップ、`font` タグ、テーブル、スペーサー GIF などに頼る必要がないため、ダウンロードの高速化、サイトメンテナンスの効率化、および複数の Web ページにわたるデザイン属性の集中管理が可能です。

CSS で作成したスタイルは、ドキュメント内に直接格納することも、外部スタイルシートに格納していっそう強力な機能と柔軟性を実現することもできます。1 つの外部スタイルシートを複数の Web ページに添付した場合、そのスタイルシートに変更を加えると、該当するすべてのページに自動的に反映されます。ページのすべての CSS ルールにアクセスするには、CSS スタイルパネルを使用します（ウィンドウ／CSS スタイル）。現在の選択範囲の適用されるルールにアクセスするには、CSS スタイルパネル（「現在」モード）を使用するか、CSS プロパティインスペクターのターゲットのルールポップアップメニューを使用します。

必要に応じて、Web ページのテキストのフォーマットに HTML マークアップタグを使用することもできます。CSS ではなく HTML タグを使用するには、HTML プロパティインスペクターを使用してテキストをフォーマットする必要があります。

注意： *1* つのページ内で *CSS* と *HTML 3.2* フォーマットを組み合わせて使用できます。これらのフォーマットは次のように優先順位を付けて適用されます。*HTML 3.2* フォーマットは、外部 *CSS* スタイルシートによって適用されるフォーマットより優先されます。また、ドキュメントに埋め込まれた *CSS* は、外部 *CSS* より優先されます。

プロパティインスペクターでの CSS ルールの編集

ページの先頭へ

1. プロパティインスペクターが開いていない場合は、ウィンドウ／プロパティを選択して開き、「CSS」ボタンをクリックします。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 変更対象のルールを使用して既にフォーマットされているテキストブロック内に挿入ポイントを置きます。目的のルールがターゲットのルールポップアップメニューに表示されます。
   - ターゲットのルールポップアップメニューからルールを選択します。
3. CSS プロパティインスペクターで、各種のオプションを使用してルールに変更を加えます。

   ターゲットのルール　CSS プロパティインスペクターでの編集対象となるルールを示します。テキストに何らかの既存スタイルを適用している場合、ページ上で目的のテキスト内をクリックすると、そのフォーマットに影響を及ぼしているルールが表示されます。また、ターゲットのルールポップアップメニューでは、新規 CSS ルールの作成、新規インラインスタイルの作成、および、選択したテキストに対する既存クラスの適用もできます。新規ルールを作成する場合は、新規 CSS ルールダイアログボックスで必要な事項を入力します。詳しくは、このトピックの末尾に示すリンクを参照してください。

   ルールの編集　ターゲットのルールに対する CSS ルール定義ダイアログボックスを開きます。ただし、ターゲットのルールポップアップメニューから「新規 CSS ルール」を選択して「ルールの編集」ボタンをクリックした場合は、新規の CSS ルール定義ダイアログボックスが

表示されます。

CSS パネル CSS スタイルパネルを開き、ターゲットのルールに関するプロパティを現在のビューに表示します。

フォント ターゲットのルールで使用するフォントを変更します。

サイズ ターゲットのルールで使用するフォントサイズを設定します。

テキストカラー ターゲットのルールで使用するフォントカラーを指定します。カラーボックスをクリックして Web セーフカラーを選択するか、その横のテキストフィールドに #FF0000 などの 16 進数値を入力します。

ボールド ターゲットのルールにボールドのプロパティを追加します。

イタリック ターゲットのルールにイタリックのプロパティを追加します。

左揃え、中央揃え、右揃え ターゲットのルールにそれぞれの整列プロパティを追加します。

注意 : 「フォント」、「サイズ」、「テキストカラー」、「ボールド」、「イタリック」、「行揃え」の各プロパティには、ドキュメントウィンドウで現在選択されている範囲に適用されるルールのプロパティが常に表示されます。プロパティに変更を加えると、ターゲットのルールに変更を加えることになります。

ページの先頭へ

プロパティインスペクターでの HTML フォーマットの設定

1. プロパティインスペクターが開いていない場合は、ウィンドウ／プロパティを選択して開き、「HTML」ボタンをクリックします。
2. フォーマットしたいテキストを選択します。
3. 選択したテキストに適用するオプションを設定します。

フォーマット 選択したテキストの段落スタイルを設定します。例えば、「段落」を選択すると <p> タグの初期設定のフォーマットが適用され、「見出し 1」を選択すると H1 タグが追加されます。

ID 選択範囲に ID を割り当てます。ID ポップアップメニュー（該当する場合）には、そのドキュメントについて宣言されている未使用の ID が一覧表示されます。

クラス 選択したテキストに現在適用されているクラススタイルを表示します。選択範囲にスタイルがまったく適用されていない場合は、ポップアップメニューに「CSS スタイルなし」と表示されます。選択範囲に複数のスタイルが適用されている場合は、メニューに何も表示されません。

スタイルメニューを使用して、以下のいずれかの操作を行います。

- 選択範囲に適用するスタイルを選択します。
- 「なし」を選択すると、現在選択しているスタイルが削除されます。
- 「名前の変更」を選択すると、スタイルの名前を変更できます。
- 「スタイルシートを添付」を選択すると、ページに外部スタイルシートを関連付けるダイアログボックスが開きます。

ボールド 環境設定ダイアログボックスの「一般」カテゴリのスタイルの環境設定に従って、選択したテキストに <b> または が適用されます。

イタリック 環境設定ダイアログボックスの「一般」カテゴリのスタイルの環境設定に従って、選択したテキストに <i> または が適用されます。

リスト 選択したテキストのブレットリストを作成します。テキストが選択されていない場合は、新しいブレットリストが開始します。

番号リスト 選択したテキストの番号リストを作成します。テキストが選択されていない場合は、新しい番号リストが開始します。

ブロック引用、ブロック引用を削除 blockquote タグが適用または削除され、選択したテキストのインデントが設定または解除されます。リストにインデントを設定するとネストしたリストが作成され、インデントを解除するとリストのネストが解除されます。

リンク 選択したテキストのハイパーテキストリンクを作成します。フォルダーアイコンをクリックしてサイト内のファイルを参照するか、URL を入力します。または、ファイルの指定アイコンをファイルパネル内のファイルにドラッグするか、ファイルパネル内のファイルをボックスにドラッグします。

タイトル ハイパーテキストリンクに対するツールヒントのテキストを指定します。

ターゲット リンクされたドキュメントをロードするフレームまたはウィンドウを指定します。

- _blank は、リンクされたファイルを新規のブラウザーウィンドウにロードします。

- `_parent` を選択すると、リンクされたファイルは、リンクが含まれているフレームの親フレームセットまたはウィンドウにロードされます。リンクを含むフレームがネストされていない場合は、リンクされているファイルは、ブラウザーウィンドウ全体にロードします。
- `_self` は、リンクされたファイルを、リンクと同じフレームまたはウィンドウにロードします。このターゲットはあらかじめ指定されているので、通常は指定する必要がありません。
- `_top` は、リンクされたファイルをブラウザーウィンドウ全体にロードして、すべてのフレームを削除します。

ページの先頭へ

HTML プロパティインスペクターでのクラス名の変更

HTML プロパティインスペクターのクラスメニューには、ページに適用できるすべてのクラスが表示されます。クラススタイルリストの最後にある「名前の変更」オプションを選択すると、このリスト内のスタイルの名前を変更できます。

1. テキストのプロパティインスペクターにあるスタイルポップアップメニューから「名前の変更」を選択します。
2. スタイル名の変更ポップアップメニューから名前を変更するスタイルを選択します。
3. 「変更後のスタイル名」テキストフィールドに新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。

- CSS スタイルパネルを開く

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Photoshop と Dreamweaver の使用

Photoshop の統合について
スマートオブジェクトおよび **Photoshop** と **Dreamweaver** 間の連携ワークフローについて
スマートオブジェクトの作成
スマートオブジェクトの更新
複数のスマートオブジェクトの更新
スマートオブジェクトのサイズ変更
スマートオブジェクトの元の **Photoshop** ファイルの編集
スマートオブジェクトの状態
Photoshop から選択範囲をコピー＆ペースト
ペーストしたイメージの編集
イメージの最適化ダイアログボックスオプションの設定

ページの先頭へ

Photoshop の統合について

Photoshop イメージファイル（PSD 形式）は、Dreamweaver の Web ページに挿入し、Dreamweaver で Web 対応のイメージファイル（GIF、JPEG、および PNG 形式）として最適化できます。この場合、Dreamweaver ではイメージがスマートオブジェクトとして挿入され、元の PSD ファイルへのライブ接続が保持されます。

マルチレイヤーまたはマルチスライス Photoshop イメージの全体またはその一部を、Dreamweaver の Web ページにペーストすることもできます。ただし、Photoshop からコピー＆ペーストする場合は、元のファイルへのライブ接続は保持されません。イメージを更新するには、Photoshop で変更を行って再度コピー＆ペーストする必要があります。

注意： この統合機能をよく使用する場合は、*Photoshop* ファイルを *Dreamweaver* サイトに格納すると、簡単にアクセスできるようになります。*Dreamweaver* サイトに格納する場合は、*Photoshop* ファイルをクロークして元のアセットが公開されないようにすると共に、ローカルサイトとリモートサーバーの間に不要な転送が発生しないようにします。

Dreamweaver と Photoshop の統合に関するチュートリアルについては、「Dreamweaver と Photoshop の統合」を参照してください。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトおよび Photoshop と Dreamweaver 間の連携ワークフローについて

Photoshop ファイルを Dreamweaver で扱う方法は、主にコピー＆ペーストワークフローとスマートオブジェクトワークフローの 2 種類があります。

コピー＆ペーストワークフロー

Photoshop ファイルのスライスまたはレイヤーを選択してコピーし、Dreamweaver にペーストするとそれらを Web 対応の画像として挿入できます。ただし、画像を更新したい場合は、元の Photoshop ファイルを開いて編集し、再度スライスまたはレイヤーをクリップボードにコピーしてから、Dreamweaver にペーストする必要があります。このワークフローは、Photoshop ファイルの一部だけ（例えば、デザインカンプの 1 セクション）を 1 つの画像として Web ページに掲載したい場合にのみ、お勧めします。

スマートオブジェクトワークフロー

Photoshop ファイルの一部ではなく全体を扱う場合は、スマートオブジェクトワークフローが適しています。Dreamweaver に挿入されたスマートオブジェクトは、Web ページに配置される画像アセットとして扱われ、元の Photoshop（PSD）ファイルにリンクしています。Dreamweaver のデザインビューでは、スマートオブジェクトは画像の左上部にアイコンが表示されます。

スマートオブジェクト

Web 画像（つまり Dreamweaver ページ上にある画像）が元の Photoshop ファイルと一致していない場合、Dreamweaver によって元のファイルの更新が検知されると、スマートオブジェクトのアイコンの矢の部分が赤になります。デザインビューで Web 画像を選択して、プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンをクリックすると画像が自動的に更新され、元の Phothoshop 画像に加えられた変更が反映されます。

スマートオブジェクトワークフローを使用すると、Web 画像の更新のために Photoshop を開く必要がありません。 さらに、Dreamweaver 上でスマートオブジェクトに加えた更新内容も失われません。 つまり、元の Photoshop 画像をそのままに保ったまま、Web バージョンの画像に変更を加えることができます。

また、デザインビューで画像を選択しなくてもスマートオブジェクトを更新することもできます。アセットパネルを使用して、選択できない画像（例えば、CSS の背景画像）を含めたすべてのスマートオブジェクトを更新できます。

イメージの最適化設定

コピー＆ペーストワークフローおよびスマートオブジェクトワークフローのどちらの場合でも、イメージの最適化ダイアログボックスでイメージの最適化設定を指定できます。このダイアログボックスでは、ファイル形式や画質を指定できます。スライスまたはレイヤーを Dreamweaver に最初にコピーしたとき、または Photoshop ファイルをスマートオブジェクトとして最初に挿入したときに、このダイアログボックスが表示されるので、Web イメージの作成が簡単に行えます。

特定のスライスまたはレイヤーの更新をコピー＆ペーストした場合、Dreamweaver によって以前の設定が記憶されているので、その設定を使用して Web 画像が再作成されます。同様に、プロパティインスペクターを使用してスマートオブジェクトを更新したときにも、最初に画像を挿入した際と同じ設定が使用されます。デザインビューで Web イメージを選択してプロパティインスペクターの「イメージ設定の編集」ボタンをクリックするといつでも画像の設定を変更できます。

Photoshop ファイルの保存

Web 画像を挿入し、元の Photoshop 画像を Dreamweaver サイトに保存しなかった場合、Dreamweaver は元ファイルがあるパスを絶対参照のローカルパスとして認識します （コピー＆ペーストワークフローおよびスマートオブジェクトワークフローどちらの場合も同じです）。例えば、Dreamweaver サイトのパスが「C:¥Sites¥mySite」で、Photoshop ファイルの保存されている場所が「C:¥Images¥Photoshop」だった場合、Dreamweaver では元のアセットが「mySite」という名前のサイトの一部とはみなされません。Dreamweaver は特定のローカルのハードドライブ上にあるファイルしか認識しないために、Photoshop ファイルを他のチームメンバーと共有するときなどに問題となることがあります。

Photoshop ファイルをサイト内に保存しておくと、Dreamweaver ではサイトと相対的なパスを確立します。サイトにアクセスできるユーザーなら、ファイルへの正しいパスを確立することができ、 それらの元ファイルをダウンロードすることもできるようになります。

Photoshop を使用したラウンドトリップ編集に関するビデオチュートリアルについては、「Photoshop によるラウンドトリップ編集」を参照してください。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトの作成

Photoshop イメージ（PSD ファイル）をページに挿入すると、スマートオブジェクトが作成されます。スマートオブジェクトは、元の Photoshop イメージとのライブ接続を保持する Web 対応イメージです。Photoshop で元のイメージを更新するたびに、ボタンのクリックによって Dreamweaver のイメージを更新するかどうかを選択できます。

1. Dreamweaver（デザインビューまたはコードビュー）で、イメージを挿入するページ上の場所に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／イメージを選択します。

   Photoshop ファイルを *Web* サイトに格納する場合は、ファイルパネルからページに *PSD* ファイルをドラッグすることもできます。その場合は、次の手順をスキップしてください。

3. 「参照」ボタンをクリックしてイメージソースの選択ダイアログボックスで Photoshop PSD イメージファイルを参照し、そのファイルに移動します。

4. 表示されるイメージの最適化ダイアログボックスで、必要に応じて最適化設定を調整して「OK」をクリックします。
5. Web 対応イメージファイルを、Web サイトのルートフォルダー内に保存します。

Dreamweaver では、選択された最適化設定に基づいてスマートオブジェクトが作成され、Web 対応バージョンのイメージがページ上に挿入されます。スマートオブジェクトは、元のイメージへのライブ接続を保持し、両方のイメージが同期していない場合には通知を行います。

注意： ページに配置されたイメージの最適化設定を後で変更する場合は、イメージを選択し、プロパティインスペクターの「イメージ設定の編集」ボタンをクリックして、イメージの最適化ダイアログボックスで変更を行います。イメージの最適化ダイアログボックスで行った変更は、非破壊的に適用されます。*Dreamweaver* では、元の *Photoshop* ファイルが変更されず、常に元のデータに基づく *Web* イメージが再作成されます。

Photoshop を使用したラウンドトリップ編集に関するビデオチュートリアルについては、「Photoshop によるラウンドトリップ編集」を参照してください。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトの更新

スマートオブジェクトがリンクされている Photoshop ファイルを変更すると、Web 対応イメージが元のイメージと同期していないことが通知されます。Dreamweaver では、スマートオブジェクトはイメージの左上隅のアイコンで示されます。Dreamweaver の Web 対応イメージが元の Photoshop ファイルと同期している場合は、アイコンの両方の矢印が緑色で表示されます。Web 対応イメージが元の Photoshop ファイルと同期しなくなると、アイコンの一方の矢印が赤になります。

- スマートオブジェクトを更新して元の Photoshop ファイルの最新の内容を反映するには、ドキュメントウィンドウでスマートオブジェクトを選択し、プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンをクリックします。

注意： *Photoshop* がインストールされていなくても *Dreamweaver* から更新を行うことができます。

ページの先頭へ

複数のスマートオブジェクトの更新

アセットパネルを使用して、複数のスマートオブジェクトを一括して更新できます。アセットパネルでは、ドキュメントウィンドウでは選択できないスマートオブジェクト（CSS 背景イメージなど）を表示することもできます。

1. ファイルパネルで、「アセット」タブをクリックしてサイトのアセットを表示します。
2. イメージビューが選択されていることを確認します。イメージビューが選択されていない場合は、「イメージ」ボタンをクリックします。
3. アセットパネルで各イメージアセットを選択します。スマートオブジェクトを選択すると、イメージの左上隅にスマートオブジェクトアイコンが表示されます。このアイコンは、通常のイメージには表示されません。
4. 更新するスマートオブジェクトごとに、ファイル名を右クリックして「オリジナルから更新」を選択します。Ctrl キーを押しながら複数のファイル名をクリックして選択することにより、複数のスマートオブジェクトを一括して更新することもできます。

注意： *Photoshop* がインストールされていなくても *Dreamweaver* から更新を行うことができます。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトのサイズ変更

他のイメージと同じように、ドキュメントウィンドウでスマートオブジェクトのサイズを変更できます。

1. ドキュメントウィンドウでスマートオブジェクトを選択し、サイズ変更ハンドルをドラッグしてイメージのサイズを変更します。Shift キーを押しながらドラッグすると、縦横比を維持してサイズを変更できます。
2. プロパティインスペクターで「オリジナルから更新」ボタンをクリックします。

   スマートオブジェクトを更新すると、元のファイルの最新の内容と元の最適化設定に基づいて、Web イメージが新しいサイズで非破壊的に再描画されます。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトの元の Photoshop ファイルの編集

スマートオブジェクトを Dreamweaver ページに作成した後で、元の PSD ファイルを Photoshop で編集することができます。Photoshop で変更を行った後で、Dreamweaver で簡単に Web イメージを更新できます。

注意： *Photoshop* がプライマリ外部エディターとして設定されていることを確認します。

1. ドキュメントウィンドウでスマートオブジェクトを選択します。
2. プロパティインスペクターの、「編集」ボタンをクリックします。
3. Photoshop で変更を行い、新しい PSD ファイルとして保存します。
4. Dreamweaver で、再度スマートオブジェクトを選択し、「オリジナルから更新」ボタンをクリックします。

注意： *Photoshop* でイメージのサイズを変更した場合は、*Dreamweaver* で *Web* イメージのサイズを再設定する必要があります。*Dreamweaver*

では、元の *Photoshop* ファイルの内容（サイズではなく）に基づいてスマートオブジェクトが更新されます。*Web* イメージのサイズと元の *Photoshop* ファイルのサイズを同期させるには、イメージを右クリックして「サイズをオリジナルにリセット」を選択します。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトの状態

次の表は、スマートオブジェクトの様々な状態の一覧です。

スマートオブジェクトの状態	説明	推奨される操作
イメージが同期されている	Web イメージが元の Photoshop ファイルの最新の内容と同期しています。HTML コードの幅と高さは Web イメージのサイズと一致します。	なし
元のアセットが変更された	Dreamweaver での Web イメージの作成後に、元の Photoshop ファイルが変更されています。	2 つのイメージを同期させるには、プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンを使用します。
Web イメージのサイズが、選択された HTML の幅および高さと異なる	HTML コードの幅と高さが、Dreamweaver で作成して挿入した時点の Web イメージの幅と高さと異なります。Web イメージのサイズ、選択された HTML の幅と高さの値より小さい場合は、Web イメージがピクセレートされた画像になる場合があります。	プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンを使用して、元の Photoshop ファイルから Web イメージを再作成します。Dreamweaver では、現在指定されている HTML の幅と高さを使用してイメージが再作成されます。
元のアセットのサイズが選択された HTML の幅と高さに比べて小さすぎる	HTML コードの幅と高さが、元の Photoshop ファイルの幅と高さの寸法より大きくなっています。Web イメージがピクセレートされた画像になります。	作成する Web イメージのサイズは、元の Photoshop ファイルのサイズを超えないようにします。
元のアセットが見つからない	プロパティインスペクターの「オリジナル」テキストボックスに指定された元の Photoshop ファイルが見つかりません。	プロパティインスペクターの「オリジナル」テキストボックスのファイルパスを修正するか、現在指定されている場所に Photoshop ファイルを移動します。

ページの先頭へ

Photoshop から選択範囲をコピー＆ペースト

Photoshop イメージ全体またはその一部をコピーし、Web 対応イメージとして Dreamweaver ページにペーストできます。イメージの選択された領域の単一のレイヤーまたはレイヤーのセットをコピーできます。または、イメージのスライスをコピーできます。ただし、コピーした場合はスマートオブジェクトが作成されません。

注意： ペーストしたイメージに対しては「オリジナルから更新」機能を使用できませんが、ペーストしたイメージを選択してプロパティインスペクターの「編集」ボタンをクリックすると、元の *Photoshop* ファイルを開いて編集することができます。

1. Photoshop で、次のいずれかの操作を行います。
   - 単一レイヤーの全体または一部をコピーするには、選択ツールでコピーする部分を選択し、編集／コピーを選択します。この方法では、選択した領域のアクティブなレイヤーのみがクリップボードにコピーされます。レイヤーベースの効果を使用している場合、それらの効果はコピーされません。
   - 複数のレイヤーをコピーして結合するには、選択ツールでコピーする部分を選択し、編集／結合部分をコピーを選択します。この方法では、選択した領域にあるすべてのアクティブなレイヤーと下位のレイヤーが結合され、クリップボードにコピーされます。これらのレイヤーのいずれかに関連付けられたレイヤーベースの効果を使用している場合、それらの効果もコピーされます。
   - スライスをコピーするには、スライス選択ツールでスライスを選択し、編集／コピーを選択します。この方法では、スライスのすべてのアクティブな下位レイヤーが結合され、クリップボードにコピーされます。

     選択／すべてを選択すると、すべてのイメージをすばやく選択してコピーできます。
2. Dreamweaver（デザインビューまたはコードビュー）で、イメージを挿入するページ上の場所に挿入ポイントを置きます。
3. 編集／ペーストを選択します。
4. イメージの最適化ダイアログボックスで、必要に応じて最適化設定を調整し、「OK」をクリックします。
5. Web 対応イメージファイルを、Web サイトのルートフォルダー内に保存します。

Dreamweaver では、最適化設定に従ってイメージが定義され、Web 対応イメージがページに配置されます。元の PSD ソースファイルの格納場所などのイメージに関する情報は、デザインノートがサイトに対して有効になっているかどうかに関係なく、デザインノートに保存されます。デザ

インノートを使用すると、Dreamweaver から元の Photoshop ファイルに戻ってファイルを編集できます。

ペーストしたイメージの編集

ページの先頭へ

Photoshop イメージを Dreamweaver ページにペーストした後で、元の PSD ファイルを Photoshop で編集することができます。コピー＆ペーストを使用する場合は、Web 対応イメージではなく元の PSD ファイルを常に編集して再ペーストすることにより、ソースを一元化することをお勧めします。

注意： 編集するファイルタイプのプライマリ外部エディターとして *Photoshop* が設定されていることを確認してください。

1. Dreamweaver で、Photoshop で作成された Web 対応イメージを選択し、次のいずれかの操作を行います。
   - イメージのプロパティインスペクターで「編集」ボタンをクリックします。
   - Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら、ファイルをダブルクリックします。
   - 目的のイメージを右クリックするか（Windows）または Control キーを押しながらクリックし（Mac OS）、コンテキストメニューの「オリジナルの編集に使用」を選択し、「Photoshop」を選択します。

   注意： この操作を実行するには、*Photoshop* を *PSD* イメージファイル用のプライマリ外部イメージエディターとして設定する必要があります。また、*Photoshop* を *JPEG*、*GIF*、および *PNG* の各ファイルタイプ用の初期設定のエディターとして設定することもできます。
2. Photoshop でファイルを編集します。
3. Dreamweaver に戻り、更新されたイメージまたは選択範囲をページ内にペーストします。

必要に応じてイメージを再最適化する場合は、イメージを選択し、プロパティインスペクターの「イメージ設定の編集」ボタンをクリックします。

イメージの最適化ダイアログボックスオプションの設定

ページの先頭へ

スマートオブジェクトを作成する場合や Photoshop から選択範囲をペーストする場合は、Dreamweaver にイメージの最適化ダイアログボックスが表示されます。他の種類のイメージを選択してプロパティインスペクターの「イメージ設定の編集の編集」ボタンをクリックした場合にも、このダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、適切な色、圧縮率、画質の組み合わせを使用して Web 対応イメージの設定を定義してプレビューすることができます。

Web 対応イメージは、最新のすべての Web ブラウザーでの表示が可能で、ユーザーが使用するどのシステムやブラウザーでも同じように表示されます。通常、画質を上げるとファイルサイズが大きくなり、画質を下げるとファイルサイズが小さくなります。

注意： 選択した設定はいずれも、読み込むイメージファイルにのみ影響します。元の *Photoshop PSD* または *Fireworks PNG* ファイルは一切変更されません。

プリセット 要件に最適なプリセットを選択します。イメージのファイルサイズは、選択したプリセットに基づいて変わります。設定が適用されたイメージの概略が背景で表示されます。

例えば、高い明瞭度で表示する必要のあるイメージの場合は、「PNG24 - 写真用 (シャープな詳細)」を選択します。ページの背景として機能するパターンを挿入する場合は、「GIF - 背景画像用 (パターン)」を選択します。

プリセットを選択すると、プリセットに構成できるオプションが表示されます。最適化設定を詳しくカスタマイズするときは、これらのオプションの値を変更します。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

HTML5 ビデオの挿入（CC）

この機能は、Creative Cloud メンバーおよび単体製品の購読者のみが利用できます。Adobe Creative Cloud に参加するには、「Adobe Creative Cloud」を参照してください。

Dreamweaver を使用して、Web ページに HTML5 ビデオを挿入することができます。

HTML5 video 要素は、Web ページにムービーまたはビデオを埋め込むための標準的な方法を提供します。

HTML video 要素について詳しくは、W3schools.com の「HTML5 Video（HTML5 ビデオ）」を参照してください。

HTML5 ビデオの挿入
ブラウザーでのビデオのプレビュー

ビデオチュートリアル

- Dreamweaver での HTML5 ビデオの追加

ページの先頭へ

HTML5 ビデオの挿入

1. ビデオを挿入する位置にカーソルがあることを確認します。
2. 挿入／メディア／HTML5 ビデオを選択します。HTML5 video 要素が指定した場所に挿入されます。
3. プロパティパネルで、様々なオプションの値を指定できます。
   - ソース / 代替ソース 1 / 代替ソース 2：「ソース」にビデオファイルの場所を入力します。または、フォルダーアイコンをクリックして、ローカルファイルシステムからビデオファイルを選択します。サポートされるビデオ形式は、ブラウザーによって異なります。「ソース」のビデオ形式がブラウザーでサポートされていない場合、「代替ソース 1」または「代替ソース 2」で指定したビデオ形式が使用されます。ブラウザーは最初に認識した形式を選択して、ビデオを表示します。

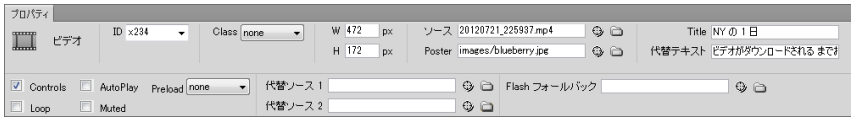
     複数選択を使用して、ビデオを *3* つのフィールドに簡単に追加できます。同じビデオに対してフォルダーから *3* つのビデオフォーマットを選択すると、リストの最初のフォーマットが「ソース」に使用されます。リストの次のフォーマットは「代替ソース *1*」および「代替ソース *2*」の自動入力に使用されます。

ブラウザーとサポートされているビデオ形式について詳しくは、以下の表を参照してください。最新の情報については、「HTML5 - ブラウザーサポート」を参照してください。

ブラウザー	MP4	WebM	Ogg
Internet Explorer 9	はい	いいえ	いいえ
Firefox 4.0	いいえ	はい	はい
Google Chrome 6	はい	はい	はい
Apple Safari 5	はい	いいえ	いいえ
Opera 10.6	いいえ	はい	はい

- タイトル：ビデオのタイトルを指定します。
- 幅（W）：ビデオの幅をピクセルで入力します。
- 高さ（H）：ビデオの高さをピクセルで入力します。
- コントロール：HTML ページで再生、一時停止、ミュートなどのビデオコントロールを表示する場合に選択します。
- 自動再生：Web ページにビデオが読み込まれたらすぐに再生を開始する場合に選択します。
- ポスター：ビデオのダウンロードが完了するか、ユーザーが「再生」をクリックするまでの間表示する画像の場所を入力します。イメージを挿入すると、「幅」と「高さ」の値が自動的に設定されます。
- ループ：ユーザーがムービーの再生を停止するまで、続けてビデオを再生する場合にこのオプションを選択します。
- ミュート：ビデオのオーディオ部分をミュートする場合にこのオプションを選択します。
- Flash Video：HTML 5 ビデオをサポートしていないブラウザー用の SWF ファイルを選択します。
- 代替テキスト：ブラウザーが HTML5 をサポートしていない場合に表示するテキストを指定します。
- プリロード：ページのロード時にビデオをどのようにロードするかについてオーサリング環境の設定を指定します。「自動」を選択する

と、ページのダウンロード時にビデオ全体がロードされます。「メタデータ」を選択すると、ページのダウンロードが完了してから、メタデータのみがダウンロードされます。



HTML5 ビデオプロパティパネル

ページの先頭へ

ブラウザーでのビデオのプレビュー

1. Web ページを保存します。
2. ファイル／ブラウザーでプレビューを選択します。ビデオをプレビューするブラウザーを選択します。

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ドキュメントを作成して開く

Dreamweaver CC 以降では、ユーザーインターフェイスが簡素化されました。そのため、この記事で説明されているオプションの一部が Dreamweaver CC 以降には存在しない場合があります。詳しくは、この記事を参照してください。

Dreamweaver ドキュメントの作成について
Dreamweaver のファイルタイプ
空白ページを使用したレイアウトの作成
空のテンプレートの作成
既存のテンプレートに基づくページの作成
Dreamweaver サンプルファイルに基づくページの作成
その他の種類のページの作成
ドキュメントの保存と復帰
初期設定のドキュメントタイプおよびエンコーディングの設定
HTML5 の古いドキュメントタイプへの変換
新しい **HTML** ドキュメントの初期設定のファイル拡張子の設定
既存のドキュメントを開いて編集
関連ファイルを開く
動的関連ファイルを開く
Microsoft Word HTML ファイルのクリーンアップ

ページの先頭へ

Dreamweaver ドキュメントの作成について

Dreamweaver には、各種 Web ドキュメントの操作に適した柔軟な環境が用意されています。HTML ドキュメントだけでなく、CFML（ColdFusion Markup Language）、ASP、JavaScript、CSS（Cascading Style Sheets）など、テキストベースの各種ドキュメントを作成および起動できます。Visual Basic、.NET、C#、Java などのソースコードファイルにも対応しています。

Dreamweaver には、新規ドキュメントを作成するためのいくつかのオプションがあります。次のいずれかのドキュメントを作成することができます。

- 新しい空白のドキュメントまたはテンプレート
- 30 種類を超える CSS ベースのページレイアウトなど、Dreamweaver に付属の定義済みページレイアウトに基づくドキュメント
- 既存のテンプレートに基づくドキュメント

  ドキュメントの環境設定を指定することもできます。例えば、頻繁に使用するドキュメントタイプが決まっている場合は、新しいページを作成するときの初期設定として、そのドキュメントタイプを設定することができます。

  メタタグ、ドキュメントタイトル、背景色などのドキュメントプロパティ、およびその他の様々なページプロパティをデザインビューまたはコードビューで簡単に定義できます。

ページの先頭へ

Dreamweaver のファイルタイプ

Dreamweaver では、様々なタイプのファイルを扱うことができます。主に扱うファイルの種類は、HTML ファイルです。HTML（HyperText Markup Language）ファイルは、Web ページをブラウザーで表示するためのタグベースの言語で記載されています。HTML ファイルを保存するときは、拡張子 .html または .htm を付けます。Dreamweaver の初期設定では、ファイルを保存するときに拡張子 .html が使用されます。

Dreamweaver では、HTML5 ベースの Web ページを作成および編集できます。また、新規の HTML5 ページを作成する場合に使用できるスターターレイアウトも用意されています。

この他に Dreamweaver でよく使用されるファイルタイプを次に示します。

CSS CSS（Cascading Style Sheet）ファイルの拡張子は .css です。HTML コンテンツをフォーマットし、様々なページエレメントの配置を制御するために使用されます。

GIF GIF（Graphics Interchange Format）ファイルの拡張子は .gif です。GIF フォーマットは、漫画、ロゴ、透明部分を含むグラフィック、およびアニメーションによく用いられている Web グラフィックフォーマットです。GIF では、最大 256 色の画像を保存できます。

JPEG JPEG（Joint Photographic Experts Group）ファイル（このフォーマットを作成した組織にちなんで命名されました）の拡張子は .jpg です。一般に、写真やハイカラーのイメージに使用されます。JPEG フォーマットが最も適しているのは、デジタル写真やスキャンされた写真、テクスチャを使用するイメージ、カラーグラデーションのあるイメージ、および 256 を超える色数を必要とするイメージです。

XML XML（eXtensible Markup Language）ファイルの拡張子は .xml です。このファイルに記録されているデータは、そのままでは表示されませんが、XSL（eXtensible Stylesheet Language）を使用してフォーマットできます。

XSL XSL（eXtensible Stylesheet Language）ファイルの拡張子は .xsl または .xslt です。Web ページ上に表示する XML データのスタイルを設定するために使用します。

ページの先頭へ

空白ページを使用したレイアウトの作成

定義済みの CSS レイアウトが含まれたページを作成することも、空白のままのページを作成し、独自のレイアウトを作成することもできます。

1. ファイル／新規を選択します。
2. 新規ドキュメントダイアログボックスの「空白ページ」カテゴリにあるページタイプ列で作成するページの種類を選択します。例えば、プレーン HTML ページを作成する場合は HTML を選択します。
3. 新しいページに CSS レイアウトを使用する場合は、レイアウト列から定義済みの CSS レイアウトを選択します。CSS レイアウトを使用しない場合は、「なし」を指定します。選択に基づき、ダイアログボックスの右側に選択レイアウトのプレビューと説明が表示されます。

   事前にデザインされた CSS レイアウトでは、次のタイプの列が提供されています。

   固定 列幅をピクセルで指定します。ブラウザーのサイズやサイトのビジターのテキスト設定に関係なく、列のサイズが固定されます。

   リキッド 列の幅をサイトのビジターのブラウザー幅に対する割合で指定します。サイトのビジターがブラウザーの幅を拡大縮小すると、デザインが適合されますが、サイトのビジターがテキスト設定を変更しても、デザインは適合されません。

   また、Dreamweaver には 2 列固定および 3 列固定の 2 種類の HTML5 CSS レイアウトが用意されています。

   注意： *Dreamweaver CC* 以降で使用できるのは *HTML5 CSS* レイアウトのみです。
4. ドキュメントタイプポップアップメニューでドキュメントのタイプを選択します。たいていの場合は、初期設定の選択、XHTML 1.0 Transitional または HTML5（Dreamweaver CC）を使用できます。

   ドキュメントタイプ（DTD）メニューで XHTML のドキュメントタイプを選択すると、XHTML に対応するページにできます。例えば、メニューから「XHTML 1.0 Transitional」または「XHTML 1.0 Strict」を選択すると、HTML ドキュメントを XHTML 互換にできます。XHTML（Extensible Hypertext Markup Language）は、HTML を XML に適合するように再定義したものです。一般的には、XHTML を使用すると、Web ドキュメントの下位互換性および将来的な互換性を保ちながら、XML の利点も活用できます。

   注意： *XHTML* について詳しくは、*World Wide Web Consortium*（*W3C*）の *Web* サイトを参照してください。このサイトには、*XHTML 1.1 - Module-Based XHTML*（*www.w3.org/TR/xhtml11/*）および *XHTML 1.0*（*www.w3c.org/TR/xhtml1/*）の仕様があります。また、*XHTML* バリデーターサイトには、*Web* ベースのファイル（*http://validator.w3.org/*）とローカルファイル（*http://validator.w3.org/file-upload.html*）があります。
5. レイアウト列で CSS レイアウトを選択した場合は、CSS のレイアウトポップアップメニューでレイアウトの CSS の場所を選択します。

   ヘッドに追加 レイアウトの CSS を作成中のページのヘッドに追加します。

   新規ファイルを作成 レイアウトの CSS を新しい外部 CSS ファイルに追加し、新しいスタイルシートを作成中のページに関連付けます。

   既存ファイルへリンク レイアウトに必要な CSS ルールをあらかじめ含んでいる既存の CSS ファイルを指定できます。この場合は、CSS ファイルの関連付けペインの上にあるスタイルシートを添付アイコンをクリックし、既存の CSS スタイルシートを選択します。このオプションは、複数のドキュメントで同じ CSS レイアウト（CSS ルールが単一のファイルに収められているレイアウト）を使用する場合に特に便利です。
6. （オプション）CSS レイアウトとは無関係の新しいページを作成する際に、そのページに CSS スタイルシートを添付することもできます。この場合は、CSS ファイルの関連付けペインの上にあるスタイルシートを添付アイコン をクリックし、CSS スタイルシートを選択します。

   このプロセスの詳しいウォークスルーについては、David Powers の記事「Automatically attaching a style sheet to new documents（英語）」を参照してください。
7. 保存後すぐに InContext Editing が有効になるページを作成するには、「InContext Editing を有効にする」を選択します。

   InContext Editing が有効なページには、編集可能領域として指定できる `div` タグが少なくとも 1 つ含まれている必要があります。例えば、HTML ページタイプを選択した場合は、新しいページ用に CSS レイアウトのうちの 1 つを選択する必要があります。これらのレイアウトには、事前に定義された `div` タグが既に含まれているためです。InContext Editing 編集可能領域は *content* ID と共に `div` タグに自動的に配置されます。後から必要に応じて、編集可能領域をページに追加できます。

   注意： *InContext Editing* は、*Dreamweaver CC* 以降では削除されています。

8. ドキュメントタイプ、エンコード、ファイル拡張子などの初期設定のドキュメント環境設定を設定するには、「環境設定」オプションをクリックします。

9. 様々なページデザインコンテンツをダウンロードできる Dreamweaver Exchange を起動するには、「コンテンツの追加」リンクをクリックします。

10. 「作成」ボタンをクリックします。

11. 新しいドキュメントを保存します（ファイル／保存）。

12. 表示されたダイアログボックスで、ファイルを保存するフォルダーに移動します。

    Dreamweaver サイトにファイルを保存することをお勧めします。

13. 「ファイル名」テキストボックスに、ファイル名を入力します。

    ドキュメントを保存するときは、ファイル名やフォルダー名にスペースや特殊記号を使用しないでください。また、数字で始まるファイル名も使用しないでください。特に、特殊文字（é、ç、¥ など）やコロン、スラッシュ、ピリオドなどは、リモートサーバーに送信するファイルの名前には使用しないでください。多くのサーバーで、これらの記号はアップロード時に変換されるため、ファイルへのリンクが失われてしまいます。

ページの先頭へ

空のテンプレートの作成

新規ドキュメントダイアログボックスでは、Dreamweaver テンプレートを作成できます。初期設定では、テンプレートはサイトの Templates フォルダーに保存されます。

1. ファイル／新規を選択します。

2. 新規ドキュメントダイアログボックスで、「空白のテンプレート」カテゴリを選択します。

3. 「テンプレートタイプ」列で、作成するページの種類を選択します。例えば、プレーン HTML テンプレートを作成する場合は HTML テンプレートを、ColdFusion テンプレートを作成する場合は ColdFusion テンプレートを選択します。

4. 新しいページに CSS レイアウトを使用する場合は、レイアウト列から定義済みの CSS レイアウトを選択します。CSS レイアウトを使用しない場合は、「なし」を指定します。選択に基づき、ダイアログボックスの右側に選択レイアウトのプレビューと説明が表示されます。

   事前にデザインされた CSS レイアウトでは、次のタイプの列が提供されています。

   固定 列幅をピクセルで指定します。ブラウザーのサイズやサイトのビジターのテキスト設定に関係なく、列のサイズが固定されます。

   リキッド 列の幅をサイトのビジターのブラウザー幅に対する割合で指定します。サイトのビジターがブラウザーの幅を拡大縮小すると、デザインが適合されますが、サイトのビジターがテキスト設定を変更しても、デザインは適合されません。

5. ドキュメントタイプポップアップメニューでドキュメントのタイプを選択します。たいていの場合は、初期設定の選択（XHTML 1.0 Transitional）のままにすることになります。

   ドキュメントタイプ（DTD）メニューで XHTML のドキュメントタイプを選択すると、XHTML に対応するページにできます。例えば、メニューから「XHTML 1.0 Transitional」または「XHTML 1.0 Strict」を選択すると、HTML ドキュメントを XHTML 互換にできます。XHTML（Extensible Hypertext Markup Language）は、HTML を XML に適合するように再定義したものです。一般的には、XHTML を使用すると、Web ドキュメントの下位互換性および将来的な互換性を保ちながら、XML の利点も活用できます。

   注意： *XHTML* について詳しくは、*World Wide Web Consortium*（*W3C*）の *Web* サイトを参照してください。このサイトには、*XHTML 1.1 - Module-Based XHTML*（*www.w3.org/TR/xhtml11/*）および *XHTML 1.0*（*www.w3c.org/TR/xhtml1/*）の仕様があります。また、*XHTML* バリデーターサイトには、*Web* ベースのファイル（*http://validator.w3.org/*）とローカルファイル（*http://validator.w3.org/file-upload.html*）があります。

6. レイアウト列で CSS レイアウトを選択した場合は、CSS のレイアウトポップアップメニューでレイアウトの CSS の場所を選択します。

   ヘッドに追加 レイアウトの CSS を作成中のページのヘッドに追加します。

   新規ファイルを作成 レイアウトの CSS を新しい外部 CSS スタイルシートに追加し、新しいスタイルシートを作成中のページに関連付けます。

   既存ファイルへリンク レイアウトに必要な CSS ルールをあらかじめ含んでいる既存の CSS ファイルを指定できます。この場合は、CSS ファイルの関連付けペインの上にある スタイルシートを添付アイコン をクリックし、既存の CSS スタイルシートを選択します。このオプションは、複数のドキュメントで同じ CSS レイアウト（CSS ルールが単一のファイルに収められているレイアウト）を使用する場合に特に便利です。

7. （オプション）CSS レイアウトとは無関係の新しいページを作成する際に、そのページに CSS スタイルシートを添付することもできます。この場合は、CSS ファイルの関連付けペインの上にあるスタイルシートを添付アイコン をクリックし、CSS スタイルシートを選択します。

8. 保存後すぐに InContext Editing が有効になるページを作成するには、「InContext Editing を有効にする」を選択します。

   InContext Editing が有効なページには、編集可能領域として指定できる `div` タグが少なくとも 1 つ含まれている必要があります。例えば、HTML ページタイプを選択した場合は、新しいページ用に CSS レイアウトのうちの 1 つを選択する必要があります。これらのレイアウトには、事前に定義された `div` タグが既に含まれているためです。InContext Editing 編集可能領域は *content* ID と共に `div` タグに自動的に配置されます。後から必要に応じて、編集可能領域をページに追加できます。

9. ドキュメントタイプ、エンコード、ファイル拡張子などの初期設定のドキュメント環境設定を設定するには、「環境設定」オプションをクリックします。

10. 様々なページデザインコンテンツをダウンロードできる Dreamweaver Exchange を起動するには、「コンテンツの追加」リンクをクリックします。

11. 「作成」ボタンをクリックします。

12. 新しいドキュメントを保存します（ファイル／保存）。テンプレートに編集可能な領域をまだ追加していない場合は、ドキュメントに編集可能な領域がないことを通知するダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

13. 別名で保存ダイアログボックスで、テンプレートを保存するサイトを選択します。

14. 「ファイル名」テキストボックスに、新しいテンプレートの名前を入力します。テンプレート名にファイルの拡張子を付ける必要はありません。「保存」をクリックすると、新しいテンプレートに拡張子 .dwt が追加され、サイトの Templates フォルダーに保存されます。

    ドキュメントを保存するときは、ファイル名やフォルダー名にスペースや特殊記号を使用しないでください。また、数字で始まるファイル名も使用しないでください。特に、特殊文字（é、ç、¥ など）やコロン、スラッシュ、ピリオドなどは、リモートサーバーに送信するファイルの名前には使用しないでください。多くのサーバーで、これらの記号はアップロード時に変換されるため、ファイルへのリンクが失われてしまいます。

ページの先頭へ

既存のテンプレートに基づくページの作成

既存のテンプレートを選択、プレビューし、新規ドキュメントを作成することができます。Dreamweaver で定義した任意のサイトから新規ドキュメントダイアログボックスを使用してテンプレートを選択するか、既存のテンプレートからアセットパネルを使用して新規ドキュメントを作成できます。

テンプレートに基づくドキュメントの作成

1. ファイル／新規を選択します。

2. 新規ドキュメントダイアログボックスで、「テンプレートから作成」カテゴリを選択します。

3. サイト列で、使用するテンプレートが含まれている Dreamweaver サイトを選択し、右側のリストからテンプレートを選択します。

4. このページの基となったテンプレートを変更したときに、このページが更新されないようにするには、「テンプレートの修正時にページを更新」をオフにします。

5. ドキュメントタイプ、エンコード、ファイル拡張子などの初期設定のドキュメント環境設定を設定するには、「環境設定」オプションをクリックします。

6. 様々なページデザインコンテンツをダウンロードできる Dreamweaver Exchange を起動するには、「コンテンツの追加」リンクをクリックします。

7. 「作成」をクリックし、ドキュメントを保存します（ファイル／保存）。

アセットパネルでのテンプレートからのドキュメント作成

1. アセットパネルが表示されていない場合は、ウィンドウ／アセットを選択して開きます。

2. アセットパネルの左側のテンプレートアイコン をクリックして、現在のサイトに含まれているテンプレートのリストを表示します。

   適用するテンプレートを作成したばかりの場合は、「更新」ボタンをクリックしないと表示されない場合があります。

3. 適用するテンプレートを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、次に「テンプレートから新規

作成」を選択します。

ドキュメントがドキュメントウィンドウに表示されます。

4. 文書を保存します。

ページの先頭へ

Dreamweaver サンプルファイルに基づくページの作成

Dreamweaver には、プロ仕様の CSS デザインファイルとモバイルアプリケーション用スターターページが多数付属しています。サンプルファイルを基に、サイト内のページをデザインすることができます。サンプルファイルに基づいてドキュメントを作成する場合は、Dreamweaver によりファイルのコピーが作成されます。

サンプルファイルをプレビューして、新規ドキュメントダイアログボックスでドキュメントのデザイン要素の簡単な説明を確認できます。CSS スタイルシートを選択すると、定義済みのスタイルシートをコピーして、ドキュメントに適用できます。

1. ファイル／新規を選択します。
2. 新規ドキュメントダイアログボックスで、「サンプルから作成」カテゴリを選択します。

   Dreamweaver CC で、「スターターテンプレート」カテゴリを選択します。
3. サンプルフォルダー列で CSS スタイルシートまたはモバイルスターターを選択してから、右側のリストでサンプルファイルを選択します。

   注意： 「*CSS スタイルシート*」オプションは、*Dreamweaver CC* 以降では削除されています。
4. 「作成」ボタンをクリックします。

   新規ドキュメントがドキュメントウィンドウ（コードおよびデザインの分割ビュー）に表示されます。CSS スタイルシートを選択した場合は、コードビューに CSS スタイルシートが表示されます。
5. ドキュメントを保存します（ファイル／保存）。
6. 依存ファイルのコピーダイアログボックスが表示された場合は、オプションを設定し、「コピー」をクリックして選択したフォルダーにアセットをコピーします。

   依存ファイルの保存場所には、任意の場所を選択することも、Dreamweaver でサンプルファイルのソース名に基づき生成される初期設定のフォルダーを使用することもできます。

参照項目

ページの先頭へ

その他の種類のページの作成

新規ドキュメントダイアログボックスの「その他」カテゴリでは、C#、VBScript、テキスト表示のページなど、Dreamweaver で使用する各種ページを作成できます。

1. ファイル／新規を選択します。
2. 新規ドキュメントダイアログボックスの「その他」カテゴリを選択します。

   注意： その他カテゴリは、*Dreamweaver CC* 以降では削除されています。
3. ページタイプ列で、作成するページの種類を選択し、「作成」ボタンをクリックします。
4. ドキュメントを保存します（ファイル／保存）。

ページの先頭へ

ドキュメントの保存と復帰

現在の名前と場所でドキュメントを保存することも、新しい名前で別の場所にドキュメントのコピーを保存することもできます。

ファイルに名前を付けるときは、ファイル名やフォルダー名にスペースおよび特殊記号を使用しないでください。特に、特殊文字（é、ç、¥ など）やコロン、スラッシュ、ピリオドなどは、リモートサーバーに送信するファイルの名前には使用しないでください。多くのサーバーで、これらの記号はアップロード時に変換されるため、ファイルへのリンクが失われてしまいます。また、数字で始まるファイル名も使用しないでください。

ドキュメントの保存

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ディスク上の現在のバージョンを上書きし、変更内容すべてを保存するには、ファイル／保存を選択します。

- 別のフォルダーにファイルを保存するには、または別の名前を使用してファイルを保存するには、ファイル／別名で保存を選択します。

2. 表示された別名で保存ダイアログボックスで、ファイルを保存するフォルダーに移動します。
3. 「ファイル名」テキストボックスに、ファイルの名前を入力します。
4. 「保存」をクリックして、ファイルを保存します。

開いているすべてのドキュメントの保存

1. ファイル／すべて保存を選択します。
2. 未保存のドキュメントが開かれている場合は、未保存のドキュメントごとに別名で保存ダイアログボックスが表示されます。

   表示されたダイアログボックスで、ファイルを保存するフォルダーに移動します。
3. 「ファイル名」ボックスに、ファイルの名前を入力し、「保存」をクリックします。

ドキュメントの保存済み最新バージョンへの復帰

1. ファイル／復帰を選択します。

   ダイアログボックスが表示され、行った変更を破棄して保存済み最新バージョンに復帰するかどうかを尋ねられます。
2. 「はい」をクリックして最新バージョンに復帰します。変更を保存する場合は、「いいえ」をクリックします。

   注意： ドキュメントを保存してから *Dreamweaver* を終了した場合は、*Dreamweaver* を再起動して、ドキュメントの最新バージョンに戻すことはできません。

ページの先頭へ

初期設定のドキュメントタイプおよびエンコーディングの設定

サイトの初期設定のドキュメントとして使用するドキュメントのタイプを定義できます。

例えば、サイトのほとんどのページが特定のファイルタイプ（Cold Fusion、HTML、ASP ドキュメントなど）である場合は、指定したファイルタイプで新しいドキュメントが自動的に作成されるようにドキュメント環境設定を設定します。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。

   新規ドキュメントの作成時に新規ドキュメントダイアログボックスの「環境設定」ボタンをクリックして、新規ドキュメントの環境設定を行うこともできます。
2. 左のカテゴリリストで「新規ドキュメント」をクリックします。
3. 必要に応じて、環境設定を設定または変更し、「OK」をクリックして保存します。

   初期設定のドキュメント 作成するページで使用するドキュメントタイプを選択します。

   デフォルトの拡張子 作成する新しい HTML ページで使用するファイル拡張子（.htm または .html）を指定します。

   注意 : このオプションは、他のファイルタイプに対しては無効になっています。

   初期設定ドキュメントタイプ（**DDT**） 新しいページを XHTML 互換にするために、いずれかの XHTML ドキュメントタイプ定義（DTD）を選択します。例えば、メニューから「XHTML 1.0 Transitional」または「XHTML 1.0 Strict」を選択すると、HTML ドキュメントを XHTML 互換にできます。

   エンコーディング初期設定 ページを新規作成したとき、およびエンコードが指定されていないドキュメントを開いたときに使用されるエンコードを指定します。

   ドキュメントエンコーディングとして Unicode（UTF-8） を選択した場合、UTF-8 ではすべての文字を適切に表すことができるため、エンティティエンコーディングは必要ありません。他のドキュメントエンコーディングを選択した場合は、一部の文字を表すためにエンティティエンコーディングが必要になることがあります。文字エンティティについて詳しくは、www.w3.org/TR/REC-html40/sgml/entities.html を参照してください。

   初期設定のエンコーディングとして Unicode（UTF-8） を選択した場合は、「Unicode Signature（BOM）を含める」オプションをオンにしてバイトオーダーマーク（BOM）をドキュメントに挿入することができます。

   BOM は、ファイルを Unicode として識別し、後続のバイトのバイトオーダーを指定する、テキストファイルの先頭にある 2 ～ 4 バイトです。UTF-8 にはバイトオーダーがないため、UTF-8 BOM の追加はオプションです。UTF-16 および UTF-32 の場合、BOM の追加は必須です。

Unicode 正規化形式[Unicode せいきかけいしき] 初期設定のエンコーディングとして Unicode（UTF-8）を選択した場合は、これらのオプションの 1 つを選択します。

Unicode 正規化形式には 4 種類があります。最も重要なものは正規化形式 C です。これは、World Wide Web の文字モデルとして最もよく使用される形式であるためです。Adobe では、完全を期すために他の 3 種類の Unicode 正規化形式も用意しています。

Ctrl + N で新規ドキュメントダイアログボックスを表示 キーコマンドの使用時に初期設定のドキュメントタイプのドキュメントを自動的に作成する場合は、このオプションをオフにします（Mac OS の場合は Command + N）。

Unicode では、視覚的には似ていても、異なる方法でドキュメント内に保存できる文字があります。例えば、「ë」（e ウムラウト）は「e ウムラウト」として 1 つの文字で表すか、「通常のラテン文字 e」+「結合ウムラウト」として 2 つの文字で表すことができます。Unicode 結合文字は前の文字とともに使用されるので、ウムラウトは「ラテン文字 e」の上に表示されます。どちらの形式も視覚的には同じ文字体裁になりますが、ファイルに保存される方法は各形式で異なります。

正規化は、異なる形式で保存できるすべての文字が、すべて同じ形式を使って保存されるようにする処理です。つまり、ドキュメントにあるすべての「ë」文字は 1 つの「e ウムラウト」または「e」+「結合ウムラウト」として保存され、1 つのドキュメントに両方の形式で保存されることはありません。

Unicode 正規化と、使用できる具体的な形式については、Unicode Web サイト（www.unicode.org/reports/tr15）を参照してください。

ページの先頭へ

HTML5 の古いドキュメントタイプへの変換

ファイル／変換を使用して HTML5 を古い DOCTYPE に切り替えても、HTML5 の要素または属性は削除されません。DOCTYPE の変更と（XHTML の）終わりのスラッシュのみが挿入されます。

`<header>` および `<article>` などの意味タグ、`required`、`placeholder`、`type="number"` などの属性は影響を受けません。

注意： 「変換」オプションは、*Dreamweaver CC* 以降では削除されています。

ページの先頭へ

新しい HTML ドキュメントの初期設定のファイル拡張子の設定

Dreamweaver で作成する HTML ドキュメントの初期設定のファイル拡張子を定義することができます。例えば、すべての新しい HTML ドキュメントに .htm または .html の拡張子を使用するように指定できます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。

   新規ドキュメントの作成時に新規ドキュメントダイアログボックスの「環境設定」ボタンをクリックして、新規ドキュメントの環境設定を行うこともできます。

2. 左のカテゴリリストで「新規ドキュメント」をクリックします。
3. 初期設定ドキュメントポップアップメニューで「HTML」が選択されていることを確認します。
4. 「デフォルトの拡張子」テキストボックスで、Dreamweaver で作成する新しい HTML ドキュメントのファイル拡張子を指定します。

   Windows の場合は、.html、.htm、.shtml、.shtm、.stm、.tpl、.lasso、.xhtml の拡張子を指定できます。

   Mac OS の場合は、.html、.htm、.shtml、.shtm、.tpl、.lasso、.xhtml、.ssi の拡張子を指定できます。

ページの先頭へ

既存のドキュメントを開いて編集

Dreamweaver で作成されたかどうかにかかわらず、既存の Web ページまたはテキストベースのドキュメントを開き、デザインビューやコードビューで編集できます。

開くドキュメントが、HTML ドキュメントとして保存された Microsoft Word ファイルである場合は、「`Word HTML` のクリーンアップ」コマンドを使用して、Word によって HTML ファイルに挿入された外部マークアップタグを削除できます。

Microsoft Word で生成されたものではない HTML または XHTML をクリーンアップするには、「HTML のクリーンアップ」コマンドを使用します。

JavaScript ファイル、XML ファイル、CSS スタイルシート、ワードプロセッサーやテキストエディターによって保存されたテキストファイルなど、HTML 以外のテキストファイルも開くことができます。

1. ファイル／開くを選択します。

   ファイルパネルでファイルを開くこともできます。

2. ファイルを参照して、選択します。

   注意： ファイルを *Dreamweaver* サイト以外の場所から開いている場合は、サイト内にまとめ、そこから開いて編集することをお勧めしま

す。

3. 「開く」をクリックします。

   ドキュメントがドキュメントウィンドウに表示されます。初期設定では、JavaScript、テキスト、および CSS スタイルシートはコードビューで開きます。Dreamweaver で作業しながらドキュメントを更新し、変更内容をファイルに保存できます。

ページの先頭へ

関連ファイルを開く

Dreamweaver では、メインドキュメントを作業の中心に据えた状態を崩すことなく、メインドキュメントに関連したファイルを表示できます。例えば、CSS ファイルや JavaScript ファイルがメインドキュメントに添付されている場合、メインドキュメントを表示したまま、それら関連ファイルの表示および編集ができます。

注意： 動的関連ファイル（コンテンツ管理システムでの *PHP* ファイルなど）については、次のヘルプセクションで説明します。

初期設定では、メインドキュメントのタイトルの下にある関連ファイルツールバーには、メインドキュメントに関連するファイルの名前がすべて表示されます。このツールバーに表示されるボタンの順序は、関連ファイルへのリンクがメインドキュメント内に出現する順序に基づいて決まります。

注意： 見つからない関連ファイルがある場合も、関連ファイルツールバーには当該ファイルに対応するボタンが表示されます。ただし、そのようなボタンをクリックしても表示されるものはありません。

Dreamweaver でサポートしている関連ファイルの種類は次のとおりです。

- クライアントサイドスクリプトファイル
- サーバーサイドインクルード
- Spry データセットソース（XML および HTML）
- 外部 CSS スタイルシート（ネストされたスタイルシートも含む）

関連ファイルツールバーから関連ファイルを開く

次のいずれかの操作を実行します。

- ドキュメント上部の関連ファイルツールバーで、開きたい関連ファイルのファイル名をクリックします。
- 関連ファイルツールバーで、開きたい関連ファイルのファイル名を右クリックし、コンテキストメニューから「別のファイルとして開く」を選択します。この方法で関連ファイルを開くと、メインドキュメントは同時に表示されたままにはなりません。

コードナビゲーターから関連ファイルを開く

1. 関連ファイルの影響を受けることがわかっている行または領域の中に挿入ポイントを置きます。
2. コードナビゲーターインジケーターが表示されるのを待ち、インジケーターをクリックして、コードナビゲーターを開きます。
3. コードナビゲーター上の項目をマウスでポイントすると、当該項目の詳細な情報が表示されます。例えば、特定の CSS カラープロパティを変更する必要があるのに、そのプロパティがいずれのルールに含まれているかわからない場合は、コードナビゲーターに表示されたルールをマウスでポイントしてプロパティを探すことができます。
4. 目的の項目をクリックして、それに対応する関連ファイルを開きます。

メインドキュメントのソースコードに戻る

- 関連ファイルツールバーの「ソースコード」ボタンをクリックします。

関連ファイルの表示形式を変更する

関連ファイルは次のような形式で表示できます。

- デザインビューから、またはコードおよびデザインの分割ビューから関連ファイルを開くと、メインドキュメントのデザインビューの上に分割ビューで関連ファイルが表示されます。

  表示／デザインビューを上に表示を選択すれば、関連ファイルの表示位置をドキュメントウィンドウの下部にすることもできます。
- コードおよびデザインの縦分割ビュー（表示／左右に分割）から関連ファイルを開くと、デザインビューのメインドキュメントの横に分割ビューで関連ファイルが表示されます。

  デザインビューの表示位置は、「デザインビューを左に表示」オプション（表示／デザインビューを左に表示）のオンとオフを切り替えることで変更できます。

- 分割コードビューまたは縦分割コードビュー（表示／分割コードまたは表示／左右に分割）から関連ファイルを開くと、選択されているオプションに応じて、メインドキュメントのソースコードの下、上、または横に分割ビューで関連ファイルが表示されます。

  表示オプションにおいて、「コードビュー」とはメインドキュメントのソースコードを意味します。例えば、表示／コードビューを上に表示を選択すると、メインドキュメントのソースコードがドキュメントウィンドウの上半分に表示され、表示／コードビューを左に表示を選択すると、メインドキュメントのソースコードがドキュメントウィンドウの左半分に表示されます。
- 標準のコードビューでは、関連ドキュメントとメインドキュメントのソースコードを同時に表示しておくことはできません。

関連ファイルを無効化する

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 「一般」カテゴリで、「関連ファイルを有効にする」をオフにします。

ページの先頭へ

動的関連ファイルを開く

動的関連ファイル機能は、動的ページの関連ファイルを関連ファイルツールバーに表示することで、関連ファイル機能を拡張します。具体的には、動的関連ファイル機能を使用すると、WordPress、Drupal、Joomla! などのよく使われるオープンソースの PHP コンテンツ管理システム（CMS）フレームワーク用のランタイムコードを生成するために必要な様々な動的インクルードを表示できます。

動的関連ファイル機能を使用するには、WordPress、Drupal または Joomla! を実行しているローカルまたはリモート PHP アプリケーションサーバーにアクセスできる必要があります。ページをテストする一般的な方法の 1 つは、localhost の PHP アプリケーションサーバーを設定し、ページをローカルでテストします。

ページをテストする前に、以下の手順を実行する必要があります。

- Dreamweaver サイトを設定し、サイト設定ダイアログボックスの「Web URL」テキストボックスが入力されていることを確認します。
- PHP アプリケーションサーバーを設定します。

  注意 *: Dreamweaver* で動的関連ファイルを使用するには、先にサーバーを実行している必要があります。
- WordPress、Drupal または Joomla! をアプリケーションサーバーにインストールします。詳しくは、以下を参照してください。
  - WordPress のインストール
  - Drupal のインストール
  - Joomla のインストール
- Dreamweaver で、CMS ファイルをダウンロードして編集するローカルフォルダーを定義します。
- インストールした WordPress、Drupal または Joomla! のファイルの場所を、リモートおよびテストフォルダーとして定義します。
- CMS ファイルをリモートフォルダーからダウンロード（取得）します。

動的関連ファイルの環境設定

動的関連ファイルと関連付けられたページを開くときは、Dreamweaver で自動的にファイルを検索することも、ファイルを手動で検索することもできます（ページの上部にある情報バーのリンクをクリックして行います）。デフォルトの設定は手動検索です。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 「一般」カテゴリで、「関連ファイルを有効にする」オプションが選択されていることを確認します。
3. 動的関連ファイルポップアップメニューから、「手動」または「自動」を選択します。「無効」を選択することで、検索自体を無効にすることもできます。

動的関連ファイルの検索

1. 動的関連ファイルが関連付けられているページを開きます（例えば、WordPress、Drupal または Joomla! サイトのサイトルートの index.php ページ）。
2. 動的関連ファイルの検索が手動（デフォルト）に設定されている場合は、ドキュメントウィンドウでページの上部に表示される情報バーの検索リンクをクリックします。

   動的関連ファイルの検索が自動的に有効になっている場合は、動的関連ファイルのリストが関連ファイルツールバーに表示されます。

関連ファイルツールバーでの関連ファイルおよび動的関連ファイルの順序は次のとおりです。

- 静的関連ファイル（どのような種類の動的処理も必要ない関連ファイル）
- 動的パスサーバーインクルードファイルに関連付けられている外部関連ファイル（.css、.js ファイル）

- 動的パスサーバーインクルードファイル（.php、.inc、.module ファイル）

関連ファイルのフィルター処理

関連ファイルおよび動的関連ファイルは数が多くなる場合がよくあるので、関連ファイルをフィルター処理して使用するファイルを正確に指定できます。

1. 関連ファイルが関連付けられているページを開きます。
2. 必要に応じて動的関連ファイルを検索します。
3. 関連ファイルツールバーの右側にある「関連ファイルのフィルター」アイコンをクリックします。
4. 関連ファイルツールバーで表示するファイルの種類を選択します。デフォルトでは、すべての関連ファイルが選択されます。
5. カスタムフィルターを作成するには、「関連ファイルのフィルター」アイコンをクリックして「カスタムフィルター」を選択します。

   カスタムフィルターダイアログでは、正確なファイル名（style.css）、ファイル拡張子（.php）、アスタリスクを使用するワイルドカード式（*menu*）のみをフィルター処理できます。セミコロンで区切ることで、複数のワイルドカード式をフィルターで使用できます（style.css;*.js;*tpl.php など）。

注意： フィルターの設定は、ファイルを閉じた後は保存されません。

ページの先頭へ

Microsoft Word HTML ファイルのクリーンアップ

Microsoft Word で HTML ファイルとして保存されたドキュメントを開くことができます。この場合、「Word HTML のクリーンアップ」コマンドを使用すると、Word によって生成された Word 特有の HTML コードを削除できます。「Word HTML のクリーンアップ」コマンドは、Word 97 以降で HTML ファイルとして保存されたドキュメントに対して使用できます。

Dreamweaver によって削除されるコードは、主に Word 上でドキュメントをフォーマットおよび表示するために Word が使用するコードで、HTML ファイルを表示するために必要なものではありません。「Word HTML のクリーンアップ」コマンドを適用すると、この HTML ドキュメントを再び Word で開くことができなくなる可能性があります。このため、.doc 拡張子の付いた元の Word ファイルをバックアップコピーとして残しておいてください。

Microsoft Word で生成されたものではない HTML または XHTML をクリーンアップするには、「HTML のクリーンアップ」コマンドを使用します。

1. HTML ファイルとして Microsoft Word ドキュメントを保存します。

   注意： *Windows* の場合は、共有違反を避けるために *Word* でファイルを閉じてください。

2. Dreamweaver で HTML ファイルを開きます。

   Word で生成された HTML コードを表示するには、コードビューに切り替えます（表示／コード）。

3. コマンド／Word HTML のクリーンアップを選択します。

   注意： ファイルの保存で使用された *Word* のバージョンが *Dreamweaver* で識別できない場合は、ポップアップメニューで正しいバージョンを選択します。

4. クリーンアップのオプションを選択します（または、選択を解除します）。入力した環境設定は、初期設定のクリーンアップ設定として保存されます。

   Dreamweaver によりクリーンアップの設定が HTML ドキュメントに適用され、変更のログが表示されます（ダイアログボックスでそのオプションをオフにしていない場合）。

   Word 特有のマークアップをすべて削除 HTML タグからの XML、ドキュメントのヘッドにある Word のカスタムメタデータとリンクタグ、Word XML マークアップ、条件タグとそのコンテンツ、およびスタイルの空の段落と余白など、Microsoft Word 特有の HTML がすべて削除されます。これらのオプションは、「詳細」タブで個別に選択することができます。

   CSS のクリーンアップ 親スタイルで同じスタイルプロパティが定義されているインライン CSS スタイル、「mso」で始まるスタイル属性、CSS 以外のスタイル宣言、テーブルの CSS スタイル属性、ヘッドのすべての未使用スタイル定義など、Word 特有の CSS がすべて削除されます。「詳細」タブで、このオプションを詳しくカスタマイズできます。

   <font> タグのクリーンアップ HTML タグが削除され、初期設定の本文テキストはサイズ 2 の HTML テキストに変換されます。

   ネストされた無効なタグを修正する Word によって段落タグおよびブロックレベルの見出しタグの外側に挿入されたフォントマークアップタグが削除されます。

   ソースフォーマットの適用 ソースフォーマット環境設定および SourceFormat.txt ファイルで指定したソースのフォーマットオプションがドキュメントに適用されます。

完了時にログを表示 クリーンアップ終了後、ドキュメントの変更点の詳細を直ちにアラートボックスに表示します。

5. 「OK」をクリックします。また、「Word 特有のマークアップをすべて削除」オプションと「CSS のクリーンアップ」オプションを詳しくカスタマイズするときは、「詳細」タブをクリックし、「OK」をクリックします。

- XHTML コード
- Business Catalyst InContext Editing
- フレームファイルとフレームセットファイルの保存
- ドキュメントのエンコードについて
- コードのクリーンアップ
- メディアファイルに使用する外部エディターの起動
- ファイルパネルでのファイルの操作
- ドキュメントウィンドウでのビューの切り替え
- 関連コードへのナビゲーション
- Dreamweaver 上でのページのプレビュー

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

HTML5 オーディオの挿入（CC）

この機能は、Creative Cloud メンバーおよび単体製品の購読者のみが利用できます。Adobe Creative Cloud に参加するには、「Adobe Creative Cloud」を参照してください。

Dreamweaver を使用して、Web ページに HTML5 オーディオを挿入したり、HTML5 オーディオをプレビューしたりすることができます。HTML5 audio 要素は、オーディオコンテンツを Web ページに埋め込む標準的な方法を提供します。

HTML audio 要素について詳しくは、W3schools.com の「HTML5 audio（HTML5 オーディオ）」を参照してください。

HTML5 オーディオの挿入
ブラウザーでのオーディオのプレビュー

HTML5 オーディオの挿入

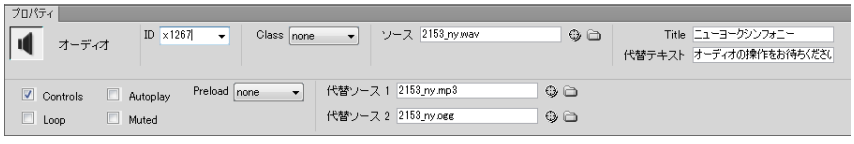
ページの先頭へ

1. オーディオを挿入する位置にカーソルがあることを確認します。
2. 挿入／メディア／HTML5 オーディオを選択します。オーディオファイルが指定した位置に挿入されます。
3. プロパティパネルで、次の情報を入力します。
   - ソース / 代替ソース 1 / 代替ソース 2：「ソース」にオーディオファイルの場所を入力します。または、フォルダーアイコンをクリックして、コンピューターからオーディオファイルを選択します。サポートされるオーディオ形式は、ブラウザーによって異なります。「ソース」のオーディオ形式がサポートされていない場合、「代替ソース 1」または「代替ソース 2」で指定した形式が使用されます。ブラウザーは最初に認識した形式を選択して、オーディオを表示します。

     複数選択を使用して、ビデオを *3* つのフィールドに簡単に追加できます。同じビデオに対してフォルダーから *3* つのビデオフォーマットを選択すると、リストの最初のフォーマットが「ソース」に使用されます。リストの次のフォーマットは「代替ソース *1*」および「代替ソース *2*」の自動入力に使用されます。

ブラウザー	MP3	Wav	Ogg
Internet Explorer 9	はい	いいえ	いいえ
Firefox 4.0	いいえ	はい	はい
Google Chrome 6	はい	はい	はい
Apple Safari 5	はい	はい	いいえ
Opera 10.6	いいえ	はい	はい

   - タイトル：オーディオファイルのタイトルを入力します。
   - 代替テキスト：HTML5 をサポートしていないブラウザーで表示するテキストを入力します。
   - コントロール：HTML ページで再生、一時停止、ミュートなどのオーディオコントロールを表示する場合に選択します。
   - 自動再生：Web ページにオーディオが読み込まれたらすぐに再生を開始する場合に選択します。
   - オーディオをループ：ユーザーが再生を停止するまで、続けてオーディオを再生する場合にこのオプションを選択します。
   - ミュート：ダウンロード後に、オーディオをミュートする場合にこのオプションを選択します。
   - プリロード：「自動」を選択すると、ページのダウンロード時にオーディオファイル全体がロードされます。「メタデータ」を選択すると、ページのダウンロードが完了してから、メタデータのみがダウンロードされます。



HTML5 オーディオのプロパティパネル

ブラウザーでのオーディオのプレビュー

ページの先頭へ

1. Web ページを保存します。
2. ファイル／ブラウザーでプレビューを選択します。オーディオをプレビューするブラウザーを選択します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ズームインとズームアウト

ページのズームインとズームアウト
ズーム後のページの編集
ズーム後のページの縮小
ドキュメントウィンドウへの選択範囲の拡大表示
ドキュメントウィンドウへのページ全体の拡大表示
ドキュメントウィンドウへのページ幅全体の拡大表示

Dreamweaver では、ドキュメントウィンドウで表示倍率（ズームイン）を拡大することにより、グラフィックのピクセルの正確さの確認、小さい項目のより簡単な選択、小さいテキストを使用したページのデザイン、大きいページのデザインなどを行うことができます。

注意： ズームツールは、デザインビューでのみ使用できます。

ページのズームインとズームアウト

トップへ戻る

1. ドキュメントウィンドウの右下隅にあるズームツール（虫眼鏡のアイコン）をクリックします。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 目的の倍率に拡大されるまで、ページ上の場所をクリックします。
   - ページ上でズームインする領域にボックスをドラッグして、マウスボタンを離します。
   - 表示比率のポップアップメニューから既存の倍率レベルを選択します。
   - 表示比率のテキストボックスに倍率レベルを入力します。

     ズームツールを使用せずにズームインするには、Ctrl+=（Windows）または Command+=（Mac OS）を押します。
3. ズームアウト（表示倍率の縮小）を行うには、ズームツールを選択して、Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながらページをクリックします。

   ズームツールを使用せずにズームアウトするには、Ctrl+-（Windows）または Command+-（Mac OS）を押します。

ズーム後のページの編集

トップへ戻る

❖ ドキュメントウィンドウの右下隅にある選択ツール（ポインターのアイコン）をクリックし、ページ内をクリックします。

ズーム後のページの縮小

トップへ戻る

1. ドキュメントウィンドウの右下隅にある手のひらツール（手の形のアイコン）をクリックします。
2. ページをドラッグします。

ドキュメントウィンドウへの選択範囲の拡大表示

トップへ戻る

1. ページ上のエレメントを選択します。
2. 表示／選択オブジェクトを選択します。

ドキュメントウィンドウへのページ全体の拡大表示

トップへ戻る

❖ 表示／ドキュメント全体を選択します。

ドキュメントウィンドウへのページ幅全体の拡大表示

トップへ戻る

❖ 表示／幅を合わせるを選択します。

関連項目

ステータスバーの概要

(cc) BY-NC-SA

Spry Widget の操作（概要説明）

Spry Widget について
Spry Widget のリソースおよびチュートリアル
Spry Widget の挿入
Spry Widget の選択
Spry Widget の編集
Spry Widget のスタイル設定
追加の Widget の取得
デフォルトの Spry アセットフォルダーの変更

注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

Spry Widget について

Spry Widget は、ユーザーインタラクションを可能にすることにより豊かな体験を提供するページエレメントです。Spry Widget は次の部分で構成されます。

Widget 構造　Widget の構成を定義する HTML コードブロック。

Widget ビヘイビアー　ユーザーが開始したイベントに対する Widget の反応をコントロールする JavaScript。

Widget スタイル　Widget の外観を指定する CSS。

Spry フレームワークは、標準 HTML、CSS、および JavaScript で書かれた再利用可能な一連の Widget をサポートします。これらの Widget は、最も単純なものは HTML と CSS のコードであり、容易に挿入し修正して使用できます。フレームワークのビヘイビアーには、ユーザーが様々な操作をできるようにする機能が含まれます。これには例えば、ページコンテンツの表示と非表示を切り替える、ページの色などの外観を変える、メニュー項目をインタラクティブに使用するなどの機能があります。

Spry フレームワークの各 Widget は、それぞれ固有の CSS および JavaScript に関連付けられています。CSS ファイルには、Widget のスタイル設定に必要なすべての設定が含まれています。JavaScript ファイルは、Widget の機能を提供します。Dreamweaver インターフェイスを使用して Widget を挿入すると、Widget が機能とスタイルを持つように、Dreamweaver によってこれらのファイルがページに自動的にリンクされます。

ある Widget に関連付けられた CSS および JavaScript ファイルは、その Widget にちなんだ名前が付けられています。このため、どのファイルがどの Widget に対応するかを容易に見分けられます。例えば、アコーディオン Widget に関連付けられたファイルの名前は SpryAccordion.css および SpryAccordion.js です。保存されているページに Widget を挿入すると、Dreamweaver によってサイトに SpryAssets ディレクトリが作成され、対応する JavaScript および CSS ファイルがその場所に保存されます。

ページの先頭へ

Spry Widget のリソースおよびチュートリアル

次のオンラインリソースでは、Spry Widget のカスタマイズについて詳しく説明しています。

Spry Widget のサンプル

Customizing Spry Menu Bars in Dreamweaver（英語）

Spry 検証 Widget（ビデオチュートリアル）

ページの先頭へ

Spry Widget の挿入

- 挿入／Spry を選択し、挿入する Widget を選択します。

Widget を挿入すると、ページを保存したときに、Dreamweaver によって必要な Spry JavaScript および CSS ファイルが自動的にサイトに含められます。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用して *Spry Widget* を挿入することもできます。

ページの先頭へ

Spry Widget の選択

1. Widget の上にマウスポインターを置きます。タブグループ化された青いアウトラインが表示されます。
2. Widget の左上隅にある Widget のタブをクリックします。

Spry Widget の編集

ページの先頭へ

- 編集する Widget を選択し、プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で必要な変更を加えます。

特定の Widget に変更を加える方法について詳しくは、各 Widget に関する適切な項を参照してください。

Spry Widget のスタイル設定

ページの先頭へ

- Widget に適した CSS ファイルをサイトの SpryAssets フォルダーから見つけ、必要に応じてその CSS ファイルを編集します。

特定の Widget のスタイルを設定する方法について詳しくは、各 Widget に関する適切なカスタマイズの項を参照してください。

Spry Widget のフォーマットは、他のページエレメントのスタイルと同様に、*CSS* パネルでスタイルを編集して設定することもできます。

追加の Widget の取得

ページの先頭へ

Dreamweaver では Spry Widget だけでなく他の Web Widget もインストールできます。Adobe Exchange には、他のクリエイティブなプロフェッショナルによって開発された Web Widget があります。

- アプリケーションバーの Dreamweaver の拡張メニューから「Web Widget を参照」を選択します。

Web Widget を使用した作業について Dreamweaver エンジニアリングチームが説明する概要ビデオは、www.adobe.com/go/dw10widgets_jp を参照してください。

デフォルトの Spry アセットフォルダーの変更

ページの先頭へ

保存されているページに Spry Widget、データセット、または効果を挿入すると、Dreamweaver によってサイトに SpryAssets ディレクトリが作成され、対応する JavaScript および CSS ファイルがその場所に保存されます。Dreamweaver が Spry アセットを保存する初期設定の場所を変更して、別の場所に保存することもできます。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトの管理ダイアログボックスでサイトを選択して、「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「詳細設定」を展開し、「Spry」カテゴリを選択します。
4. Spry アセットを使用するフォルダーへのパスを入力して、「OK」をクリックします。フォルダーアイコンをクリックして、場所を参照することもできます。

アドビは次の機能も推奨します。

- カスケーディングスタイルシートについて

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

トレーシングイメージを使用したページのデザイン

ページのデザインでガイドとして使用するイメージファイルを挿入できます。イメージは背景画像として表示され、ページをレイアウトする際にそのイメージの上からデザインできます。

1. 修正／ページプロパティを選択するか、テキストのプロパティインスペクターの「ページプロパティ」ボタンをクリックします。
2. 「トレーシングイメージ」カテゴリを選択し、オプションを設定します。
   トレーシングイメージ デザインをコピーするガイドとして使用するイメージを指定します。このイメージは、リファレンス専用です。また、ドキュメントがブラウザーに表示されるときには表示されません。

   透明度 トレーシングイメージの透明度を、完全に透明から完全に不透明の間で指定します。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テキストの操作

テキストのドキュメントへの追加
特殊文字の挿入
文字間のスペースの追加
段落スペースの追加
ブレットリストおよび番号リストの作成
テキストの検索と置換
省略形と頭字語の定義
コピー＆ペーストの環境設定

トップへ戻る

テキストのドキュメントへの追加

ドキュメントウィンドウでテキストを直接入力するかカット＆ペーストすれば、そのテキストを Dreamweaver ドキュメントに追加することができます。また、テキストを別のドキュメントから読み込むこともできます。

Dreamweaver ドキュメントにテキストをペーストする場合は、「ペースト」または「ペーストスペシャル」コマンドを使用できます。「ペーストスペシャル」コマンドを使用すると、ペーストされるテキストのフォーマットを指定できます。例えば、フォーマットされた Microsoft Word ドキュメントから Dreamweaver ドキュメントにテキストをペーストするときに、すべてのフォーマットを削除し、ペーストしたテキストに独自の CSS スタイルシートを適用するとします。この場合は Word でテキストを選択し、クリップボードにコピーし、「ペーストスペシャル」コマンドを使用して、テキストのみをペーストするオプションを選択します。

「ペーストスペシャル」コマンドを使用して他のアプリケーションからテキストをペーストする場合は、ペーストの環境設定を初期設定のオプションとして指定できます。

注意： コードビューでは、Ctrl+V（Windows）または Command+V（Mac OS）を押すと、常にテキストのみ（フォーマットなし）がペーストされます。

✥ 以下のいずれかの操作を行って、ドキュメントにテキストを追加します。

- ドキュメントウィンドウにテキストを直接入力します。
- 他のアプリケーションからテキストをコピーし、Dreamweaver に切り替えてドキュメントウィンドウのデザインビューに挿入ポイントを置き、編集／ペーストまたは編集／ペーストスペシャルを選択します。

  編集／ペーストスペシャルを選択することにより、いくつかのペーストオプションフォーマットを選択できます。

  以下のキーボードショートカットを使用してペーストすることもできます。

ペーストオプション	ショートカットキー
ペースト	Ctrl+V（Windows） Command+V（Mac OS）
ペーストスペシャル	Ctrl+Shift+V（Windows） Command+Shift+V（Mac OS）

トップへ戻る

特殊文字の挿入

HTML では、一部の特殊文字を名前または数字で表し、これを entity と呼びます。HTML には、著作権記号（©）、アンバサンド（&）、登録商標記号（®）などの文字のエンティティ名があります。各エンティティには、— などの名前と、それに対応する — などの数値があります。

HTML では、コードに山形カッコ <> が使用されるため、より大きい またはより小さい を表す特殊文字が Dreamweaver にコードと解釈されないよう配慮する必要があります。その場合、より大きい（>）には > を使用し、より小さい（<）には < を使用します。

多くの古いブラウザーは、大半の名前付きエンティティを正しく表示できません。

1. ドキュメントウィンドウで、特殊文字を挿入する位置に挿入ポイントを置きます。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／HTML／特殊文字サブメニューから、文字の名前を選択します。

- 挿入パネルの「テキスト」カテゴリで「文字」ボタンを選択し、サブメニューから文字を選択します。

  他にも多数の特殊文字を利用できます。目的の特殊文字を選択するには、挿入／HTML／特殊文字／その他を選択するか、または、挿入パネルの「テキスト」カテゴリで「文字」ボタンをクリックし、「その他の文字」オプションを選択します。その他の文字を挿入ダイアログボックスから文字を選択し、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

文字間のスペースの追加

HTML では、文字と文字の間に使用できるスペースは 1 個だけです。スペースを 2 個以上ドキュメントに追加するには、区切りなしスペースを挿入します。区切りなしスペースが自動的にドキュメントに追加されるように環境設定を行うことができます。

区切りなしスペースの挿入

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- 挿入／HTML／特殊文字／区切りなしスペースを選択します。
- Ctrl+Shift キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながらスペースキーを押します。
- 挿入パネルの「テキスト」カテゴリで「文字」ボタンをクリックし、区切りなしスペースアイコンを選択します。

環境設定による区切りなしスペースの追加

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 「一般」カテゴリで「複数の連続したスペースを許可」がオンになっていることを確認します。

トップへ戻る

段落スペースの追加

Dreamweaver の操作は、多くのワードプロセッサーアプリケーションの操作に似ています。新規の段落を作成するには Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。Web ブラウザーでは、段落間に空白のスペース行が自動的に挿入されます。段落間にスペース行を追加するには、改行を挿入します。

段落区切りの追加

❖ Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

改行の追加

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- Shift+Enter キー（Windows）または Shift+Return キー（Mac OS）を押します。
- 挿入／HTML／特殊文字／改行を選択します。
- 挿入パネルの「テキスト」カテゴリで「文字」ボタンを選択し、次に改行アイコンをクリックします。

トップへ戻る

ブレットリストおよび番号リストの作成

番号リスト、ブレットリスト、および定義リストは、既存のテキストから、またはドキュメントウィンドウで新たにテキストを入力しながら作成することができます。

定義リストは、ブレットポイントや番号など項目リストの先頭に付ける文字を使用しないもので、用語集や説明に使用されます。リストはネストすることもできます。ネストしたリストとは、リストの中に別のリストが含まれているリストのことです。例えば、番号リストまたはブレットリストを別の番号リストの中にネストすることができます。

リストプロパティダイアログボックスを使用して、リスト全体または個々のリスト項目の外観を設定します。個々のリスト項目またはリスト全体に対して、番号スタイルの設定、番号のリセット、ブレットスタイルオプションの設定を行うことができます。

新しいリストの作成

1. Dreamweaver ドキュメントで、リストを追加する位置に挿入ポイントを置き、以下のいずれかの操作を行います。
   - HTML プロパティインスペクターで、「ブレットリスト」ボタンまたは「番号リスト」ボタンをクリックします。
   - フォーマット／リストを選択し、「リスト」（ブレットリスト）、「番号リスト」、「定義リスト」から目的のリストタイプを選択します。

     指定したリスト項目の先頭に付く文字が、ドキュメントウィンドウに表示されます。
2. リスト項目のテキストを入力します。Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押すと、次のリスト項目が作成されます。
3. リストの作成を終了するには、Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を 2 回押します。

既存のテキストからのリストの作成

1. リストに変換する一連の段落を選択します。
2. HTML プロパティインスペクターで「ブレットリスト」ボタンまたは「番号リスト」ボタンをクリックするか、フォーマット／リストを選択して、「リスト」、「番号リスト」、「定義リスト」から目的のリストタイプを選択します。

ネストしたリストの作成

1. ネストするリスト項目を選択します。
2. HTML プロパティインスペクターで「ブロック引用」ボタンをクリックするか、フォーマット／インデントを選択します。

   テキストがインデントされ、元のリストの HTML 属性を使用して別のリストが作成されます。
3. 上記と同様の手順で、インデントされたテキストに新しいリストのタイプまたはスタイルを適用します。

リスト全体に対するリストプロパティの設定

1. ドキュメントウィンドウで、少なくとも 1 つのリスト項目を作成します。リスト項目を追加すると、新しいスタイルが自動的に適用されます。
2. リスト項目のテキストに挿入ポイントを置いてフォーマット／リスト／リストのプロパティを選択し、リストプロパティダイアログボックスを開きます。
3. リストを定義するオプションを設定します。
   リストタイプ リストのプロパティを指定します。これに対して、「リスト項目」ではリスト内の個々の項目を指定します。ポップアップメニューから、「ブレットリスト」、「番号リスト」、「ディレクトリリスト」、または「メニューリスト」を選択します。「リストタイプ」の設定に従って、異なるオプションがダイアログボックスに表示されます。

   スタイル 番号リストまたはブレットリストに使用する数字またはブレットのスタイルを設定します。リスト内の項目に対して別のスタイルを指定した場合を除き、リストの全項目にこのスタイルが適用されます。

   カウントの開始 番号リストの最初の項目の値を設定します。
4. 「OK」をクリックし、選択結果を設定します。

リスト項目のリストプロパティの設定

1. ドキュメントウィンドウで、設定を反映するリスト項目のテキストに挿入ポイントを置きます。
2. フォーマット／リスト／リストのプロパティを選択します。
3. 「リスト項目」で、定義するオプションを設定します。
   新規スタイル 選択したリスト項目のスタイルを指定します。新規スタイルメニューに表示されるスタイルは、リストタイプメニューに表示されるリストのタイプに関連付けられています。例えば、リストタイプメニューに「ブレットリスト」が表示されている場合は、新規スタイルメニューで選択できるのはブレットのオプションのみです。

   カウントをリセット 番号リストの最初の項目の番号を設定します。
4. 「OK」をクリックし、オプションを設定します。

トップへ戻る

テキストの検索と置換

「検索および置換」コマンドを使用すると、ドキュメント内のテキスト、HTML タグ、および HTML 属性を検索できます。複数のドキュメントを検索することもできます。結果パネルグループにある検索パネルには、「すべて検索」を使用した検索の結果が表示されます。

注意： サイト内のファイルを検索するには、「ローカルサイトで表示」または「リモートサイトで表示」を使用します。

テキストの検索と置換

1. 検索対象とするドキュメントを開きます。複数のドキュメントまたは 1 つのフォルダーを検索する場合は、ファイルパネルで選択します。
2. 編集／検索および置換を選択します。
3. 以下のいずれかの「検索場所」オプションを使用して、検索するファイルを指定します。
   選択したテキスト アクティブなドキュメントで現在選択されているテキストだけが検索対象となります。

   現在のドキュメント アクティブなドキュメントだけが検索対象となります。

   現在開いているドキュメント 現在開かれているすべてのドキュメントが検索対象となります。

   フォルダー 特定のフォルダーだけが検索対象となります。「フォルダー」を選択した後にフォルダーのアイコンをクリックし、検索するフォルダーを参照して選択します。

   サイト内の選択したファイル ファイルパネルで現在選択されているファイルとフォルダーだけが検索対象となります。

   現在のローカルサイト全体 検索範囲が拡張され、現在のサイトのすべての HTML ドキュメント、ライブラリファイル、テキストドキュメントが対象となります。
4. 検索ポップアップメニューで検索の種類を指定します。

ソースコード HTML ソースコード内の特定のテキスト文字列を検索します。このオプションを使用して特定のタグを検索することもできますが、「特定のタグ」検索を使用すると、より柔軟なタグ検索が可能です。

テキスト ドキュメント内の特定のテキスト文字列を検索します。テキスト検索では、文字列の途中にある HTML はすべて無視されます。例えば、"the black dog" という文字列を検索すると、"the black dog" と "the black dog" の両方が見つかります。

テキスト（高度） タグの内側または外側にある特定のテキスト文字列を検索します。例えば、以下の HTML が記載されたドキュメントで tries を検索する場合で「タグ内部以外」と i タグを指定したときは、2 つ目の tries という単語だけが検索されます。John tries to get his work done on time, but he doesn't always succeed. He tries very hard.

特定のタグ すべての td タグ（valign が top に設定されている）など、特定のタグ、属性、属性値を検索します。
注意： Windows では Ctrl+Enter または Shift+Enter、Mac OS では Control+Return、Shift+Return、または Command+Return を押すとテキスト検索フィールドに改行が追加されるので、改行文字を検索することができます。正規表現を使用せずに改行文字を検索する場合は、「ホワイトスペースの違いを無視」をオフにします。この検索では、単なる改行ではなく、改行文字が検索されます。例えば、
 タグや <p> タグは検索されません。デザインビューでは、改行文字は改行ではなくスペースとして表示されます。

5. 検索範囲を拡張または限定するには、以下のオプションを使用します。
   大文字と小文字を区別 大文字と小文字の区別が一致するテキストだけが検索されます。例えば、「the brown derby」を検索した場合、「The Brown Derby」は検索されません。

   ホワイトスペースを無視 すべてのホワイトスペースが 1 個のスペースと見なされて検索が実行されます。例えば、このオプションを選択し、「this text」と指定すると、「this text」や「this　text」は検索されますが、「thistext」は検索されません。このオプションは、「正規表現を使用」が選択されているときは使用できません。この場合、ホワイトスペースの違いを無視するように正規表現を明確に記述する必要があります。<p> タグおよび
 タグは、ホワイトスペースとして認識されません。

   単語単位で検索 単語として一致するテキストだけが検索されます。
   注意： このオプションを使用した場合の検索結果は、検索文字列の先頭と末尾に語境界を表す正規表現 \b を付けて正規表現検索を行った場合の検索結果と同じになります。

   正規表現を使用 検索文字列内の特定の文字および短い文字列（?、*、\w、\b など）が正規表現演算子として解釈されます。例えば、「the b\w*\b dog」を検索すると、「the black dog」と「the barking dog」の両方が見つかります。
   注意： コードビューを使用してドキュメントを変更しているときに、ソースコード以外のものを検索または置換しようとすると、Dreamweaver が 2 つのビューを同期させていることを通知するダイアログボックスが、検索が実行される前に表示されます。

6. 検索した語を置換しないで検索を続けるには、「次を検索」または「すべて検索」をクリックします。
   次を検索 現在のドキュメントに存在する次の検索テキストや検索タグが選択されます。Dreamweaver では、複数のドキュメントを検索している場合、現在のドキュメントに検索文字列が見つからなくなると、次のドキュメントに移動します。

   すべて検索 結果パネルグループにある検索パネルが開きます。単一のドキュメントを検索対象としている場合、「すべて検索」を使用すると、検索条件に一致するテキストやタグすべてが、その周辺のコンテキストと共に表示されます。ディレクトリやサイト内を検索している場合は、「すべて検索」を使用すると、そのタグを含むドキュメントが一覧表示されます。

7. 検索したテキストやタグを置換するには、「置換」または「すべて置換」をクリックします。
8. 作業が終了したら、「閉じる」をクリックします。

検索および置換ダイアログボックスを表示せずに再度検索

❖ F3（Windows）または Command+G（Mac OS）を押します。

特定の検索結果のコンテキスト内での表示

1. ウィンドウ／結果を選択して検索パネルを表示します。
2. 検索パネルで行をダブルクリックします。

   現在のファイルを検索している場合は、目的の検索結果を含む行がドキュメントウィンドウに表示されます。

   複数のファイルを検索している場合は、目的の検索結果を含むファイルが開きます。

同じ検索の再実行

❖ 「検索および置換」ボタンをクリックします。

実行中の検索の中止

❖ 「停止」ボタンをクリックします。

特定のタグの検索

ドキュメント内のテキストやタグを検索したり、検索した内容を別のテキストやタグで置換するには、検索および置換ダイアログボックスを使用します。

1. 編集／検索および置換を選択します。
2. 検索ポップアップメニューから「特定のタグ」を選択します。
3. 検索ポップアップメニューの横にあるポップアップメニューから、特定のタグまたは 「任意」 を選択します。または、テキストボックスにタグ名を入力します。

4. （オプション）以下のいずれかのタグモディファイヤーを使用して、検索を限定します。
   属性あり タグ内に含まれる属性を、一致条件として指定します。この属性に特定の値を指定するか、または「任意」を選択します。

   属性なし タグ内にあってはならない属性を、一致条件として指定します。例えば、すべての img タグ（alt 属性なし）を検索する場合に、このオプションを選択します。

   含んでいる 元のタグ内に必要なテキストまたはタグを、一致条件として指定します。例えば、heading 1 というコードでは、font タグが b タグの内側にあります。

   含んでいない 元のタグ内にあってはならないテキストまたはタグを、一致条件として指定します。

   タグ内部 ターゲットタグ内に必要なタグを、一致条件として指定します。

   タグ内部以外 ターゲットタグ内にあってはならないタグを、一致条件として指定します。
5. （オプション）検索をさらに制限するには、「+」ボタンを押して手順 3 を繰り返します。
6. 手順 3 と 4 でタグモディファイヤーを 1 つも適用しなかった場合は、「-」ボタンをクリックしてタグモディファイヤーのポップアップメニューを閉じます。
7. タグの検出時にアクション（タグの削除や置換など）を実行する場合は、アクションポップアップメニューからアクションを選択し、必要に応じて、アクションを実行するために必要な追加情報を指定します。

特定のテキストの検索（高度）

ドキュメント内のテキストやタグを検索したり、検索した内容を別のテキストやタグで置換するには、検索および置換ダイアログボックスを使用します。

1. 編集／検索および置換を選択します。
2. 検索ポップアップメニューから「テキスト（高度）」を選択します。
3. 検索ポップアップメニューの横にあるテキストフィールドに検索するテキストを入力します。

   例えば、Untitled という語句を入力します。
4. 「タグ内部」または「タグ内部以外」を選択した後、隣にあるポップアップメニューでタグを選びます。

   例えば、「タグ内部」を選択してから、title を選びます。
5. （オプション）「+」ボタンをクリックし、以下のいずれかのタグモディファイヤーを使用して検索範囲を限定します。
   属性あり タグ内に含まれる属性を、一致条件として指定します。この属性に特定の値を指定するか、または「任意」を選択します。

   属性なし タグ内にあってはならない属性を、一致条件として指定します。例えば、すべての img タグ（alt 属性なし）を検索する場合に、このオプションを選択します。

   含んでいる 元のタグ内に必要なテキストまたはタグを、一致条件として指定します。例えば、heading 1 というコードでは、font タグが b タグの内側にあります。

   含んでいない 元のタグ内にあってはならないテキストまたはタグを、一致条件として指定します。

   タグ内部 ターゲットタグ内に必要なタグを、一致条件として指定します。

   タグ内部以外 ターゲットタグ内にあってはならないタグを、一致条件として指定します。
6. （オプション）検索をさらに制限するには、手順 4 を繰り返します。

トップへ戻る

省略形と頭字語の定義

HTML には、ページで検索エンジン、スペルチェッカー、言語翻訳プログラム、スピーチシンセサイザに使用する省略形と頭字語を定義できるタグが用意されています。例えば、ページの省略形 ME（mechanical engineer）は機械エンジニアを表し、頭字語 WHO（World Health Organization）は世界保健機関を表すように指定できます。

1. ページのテキストで省略形または頭字語を選択します。
2. 挿入／HTML／テキストオブジェクト／省略、または挿入／HTML／テキストオブジェクト／頭字語を選択します。
3. 頭字語または省略形の全文を入力します。
4. 英語、ドイツ語、イタリア語など、言語を入力します。

トップへ戻る

コピー＆ペーストの環境設定

編集／ペースト を使用して他のアプリケーションからテキストをペーストするときは、「ペーストスペシャル」の環境設定を初期設定のオプションとして設定することができます。例えば、常にテキストをテキストのみとしてペーストする場合や、基本的なフォーマットが適用されたテキストとしてペーストする場合は、環境設定ダイアログボックスの「コピー/ペースト」で初期設定オプションを設定できます。

注意： Dreamweaver ドキュメントにテキストをペーストする場合は、「ペースト」または「ペーストスペシャル」コマンドを使用できます。「ペーストスペシャル」コマンドを使用すると、ペーストされるテキストのフォーマットを指定できます。例えば、フォーマットされた Microsoft Word ドキュメントから Dreamweaver ドキュメントにテキストをペーストするときに、すべてのフォーマットを削除し、ペーストしたテキストに

独自の CSS スタイルシートを適用するとします。この場合は Word でテキストを選択し、クリップボードにコピーし、「ペーストスペシャル」コマンドを使用して、テキストのみをペーストするオプションを選択します。
注意： 環境設定ダイアログボックスの「コピー/ペースト」で設定された環境設定は、デザインビューでペーストされる内容のみに適用されます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 「コピー/ペースト」カテゴリをクリックします。
3. 次のオプションを設定して、「OK」をクリックします。
   テキストのみ 書式設定されていないテキストをペーストできます。元のテキストがフォーマットされている場合、改行と段落を含むすべてのフォーマットが削除されます。

   構造（段落、リスト、テーブル）付きテキスト 構造を維持しているが、基本的なフォーマットを維持していないテキストをペーストできます。例えば、テキストをペーストして、段落、リスト、およびテーブルの構造を維持し、ボールド、イタリック、およびその他のフォーマットを維持しないようにできます。

   構造と基本書式（ボールド、イタリック）付きテキスト 構造化された HTML フォーマットテキストと単純な HTML フォーマットテキストの両方（段落やテーブルの他に、b、i、u、strong、em、hr、abbr、acronym の各タグで書式設定されたテキストなど）をペーストできます。

   構造と完全な書式（ボールド、イタリック、スタイル）付きテキスト すべての構造、HTML フォーマット、および CSS スタイルを維持したテキストをペーストできます。
   注意： 「構造と完全な書式（ボールド、イタリック、スタイル）付きテキスト」オプションでは、外部スタイルシートの CSS スタイルは維持されません。また、スタイルのペースト元となるアプリケーションでクリップボードへのペースト時にスタイルが維持されない場合も、CSS スタイルは維持されません。

   改行を維持 ペーストするテキストで改行を維持します。「テキストのみ」を選択した場合、このオプションは無効になります。

   Word の段落スペースのクリーンアップ 「構造と基本書式（ボールド、イタリック）付きテキスト」を選択し、テキストをペーストするときに段落間の余分なスペースを削除する場合は、このオプションを選択します。

関連項目
CSS プロパティの設定

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry ツールヒント Widget の操作

ツールヒント **Widget** について
ツールヒント **Widget** の挿入
ツールヒント **Widget** オプションの編集

注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

ページの先頭へ

ツールヒント Widget について

Spry ツールヒント Widget は、Web ページ上にある特定のエレメントにユーザーがマウスポインターを合わせたときに補足情報を表示するためのものです。この補足情報は、ユーザーがポインターを再び動かすと表示されなくなります。また、表示がより長く持続するようにツールヒントを設定すれば、ツールヒントコンテンツに対するユーザーの操作を可能にすることもできます。

ツールヒント Widget は、次の 3 つのエレメントから構成されます。

- ツールヒントコンテナ。ユーザーの操作によってツールヒントがアクティブになったときに表示する、コンテンツやメッセージを含んでいるエレメントです。
- ページエレメント。ツールヒントをアクティブにするエレメントです。
- コンストラクタースクリプト。ツールヒントの機能を作成するよう Spry に指示する JavaScript です。

ツールヒント Widget を挿入すると、`div` タグを使用してツールヒントコンテナが作成され、`span` タグで囲んだ "トリガー" エレメント（そのツールヒントをアクティブにするページエレメント）が配置されます。これらのタグは初期設定で使用されますが、ページのボディ内ではツールヒントやトリガーエレメントとして任意のタグを使用できます。

ツールヒント Widget を使用する際は、次の点に留意してください。

- 開いたツールヒントは、別のツールヒントが開かれる前に閉じられます。
- ツールヒントは、トリガー領域にユーザーがマウスポインターを置いている間は表示され続けます。
- トリガーおよびツールヒントコンテンツに使用するタグの種類に制限はありません （ただし、ブラウザーの互換性によるレンダリングの問題を避けるため、常にブロックレベルのエレメントを使用することをお勧めします）。
- ツールヒントの表示位置は、初期設定ではカーソルから右と下に 20 ピクセル離れた位置です。表示位置を独自に設定するには、プロパティインスペクターの「水平方向のオフセット」および「垂直方向のオフセット」オプションを使用します。
- 現在のところ、ブラウザー上にページが表示される時点でツールヒントを開いておくようにする方法はありません。

ツールヒント Widget に必要な CSS はごくわずかです。Spry では、JavaScript を使用してツールヒントを表示し、閉じ、配置します。ツールヒントのスタイルは、標準的な CSS のテクニックを使用し、作成するページの必要に応じた任意の方法で指定できます。初期設定 CSS ファイルに含まれている唯一のルールは、Internet Explorer 6 の問題を回避し、フォームエレメントや Flash オブジェクトの上にツールヒントが表示されるようにするものです。

Spry ツールヒント Widget の動作およびコードについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprytooltip_jp を参照してください。

Spry ツールヒント Widget の操作に関するビデオチュートリアルについては、www.adobe.com/go/lrvid4046_dw_jp を参照してください。

ページの先頭へ

ツールヒント Widget の挿入

- 挿入／Spry／Spry ツールヒントを選択します。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用してツールヒント *Widget* を挿入することもできます。

この操作により、新しいツールヒント Widget、ツールヒントコンテンツのコンテナ、および、そのツールヒントのトリガーとして機能するプレースホルダーテキストが挿入されます。

また、既にページ上にあるエレメント（イメージなど）を選択してからツールヒントを挿入することもできます。その場合は、選択したエレメントが新しいツールヒントのトリガーになります。トリガーのエレメントには Dreamweaver によって自動的に ID が割り当てられる（まだ ID がない場合）ため、選択する対象はフルタグのエレメント（`img` タグや `p` タグなど）である必要があります。

ページの先頭へ

ツールヒント Widget オプションの編集

オプションを設定して、ツールヒント Widget の動作をカスタマイズできます。

名前

ツールヒントコンテナの名前です。このコンテナにツールヒントのコンテンツが格納されます。Dreamweaver の初期設定では、`div` タグがコンテナとして使用されます。

トリガー

ページ上の、ツールヒントをアクティブにするエレメントです。Dreamweaver の初期設定では、`span` タグで囲んだプレースホルダーテキストがトリガーとして挿入されますが、固有の ID を持つものであればページ上の任意のエレメントをトリガーとして選択できます。

マウスに追従

このオプションをオンにすると、トリガーエレメントの上に置かれたマウスの動きにツールヒントが追従します。

マウスアウトで非表示

このオプションをオンにすると、マウスがツールヒントに重なっている間は（たとえトリガーエレメントから出ても）ツールヒントが表示され続けます。ツールヒント内にリンクなどのインタラクティブなエレメントがある場合は、ツールヒントを開いた状態にすると便利です。オフにすると、ツールヒントはマウスがトリガー領域から出た時点で閉じられます。

水平方向のオフセット

ツールヒントの水平位置をマウスとの相対位置で指定します。オフセット値はピクセル単位で、初期設定は 20 ピクセルです。

垂直方向のオフセット

ツールヒントの垂直位置をマウスとの相対位置で指定します。オフセット値はピクセル単位で、初期設定は 20 ピクセルです。

表示時の遅延

マウスがトリガーエレメントの領域に入ってからツールヒントが表示されるまでの遅延時間をミリ秒で指定します。初期設定値は 0 です。

非表示の遅延

マウスがトリガーエレメントの領域から出てからツールヒントが表示されなくなるまでの遅延時間をミリ秒で指定します。初期設定値は 0 です。

効果

ツールヒントを表示する際に使用する効果のタイプです。「ブラインド」では、ツールヒントが窓のブラインドのように上下に動いて現れたり隠れたりします。「フェード」では、ツールヒントがフェードインおよびフェードアウトします。初期設定値は「なし」です。

1. ページ上のツールヒントコンテンツに、マウスポインターまたは挿入ポイントを合わせます。
2. ツールヒント Widget の青いタブをクリックして選択します。
3. ツールヒント Widget のプロパティインスペクターで、必要に応じてオプションを設定します。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry タブ付きパネル Widget の操作

タブ付きパネル **Widget** について
タブ付きパネル **Widget** の挿入と編集
タブ付きパネル **Widget** のカスタマイズ

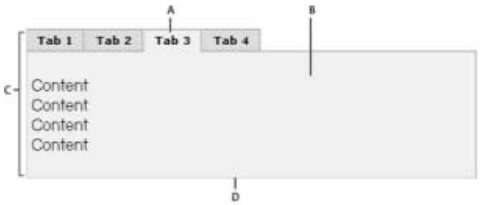
注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

タブ付きパネル Widget について

ページの先頭へ

タブ付きパネル Widget は、わずかなスペースにコンテンツを格納できるパネルのセットです。ユーザーがアクセスしたいパネルのタブをクリックすると、タブ付きパネルに格納されたコンテンツの表示/非表示が切り替わります。ユーザーが別のタブをクリックすると、それに従って Widget のパネルが開きます。タブ付きパネル Widget では、一度に 1 つのコンテンツパネルのみが開きます。次にタブ付きパネル Widget の例を示します。この例では、3 番目のパネルが開いています。



A. タブ ***B.*** コンテンツ ***C.*** タブ付きパネル *Widget* ***D.*** タブ付きパネル

タブ付きパネル Widget の HTML コードは、外側の `div` タグと、このタグに含まれるすべてのパネル、タブのリスト、コンテンツパネルを含めるための `div`、および各コンテンツパネルの `div` で構成されます。タブ付きパネル Widget の HTML には、ドキュメントの head 内とタブ付きパネル Widget の HTML マークアップの後の script タグも含まれます。

タブ付きパネル Widget の動作およびコードについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprytabbedpanels_jp を参照してください。

タブ付きパネル Widget の挿入と編集

ページの先頭へ

タブ付きパネル Widget の挿入

- 挿入／Spry／Spry タブ付きパネルを選択します。

注意： 挿入パネルの「*Spry*」カテゴリを使用してタブ付きパネル *Widget* を挿入することもできます。

タブ付きパネル Widget へのパネルの追加

1. ドキュメントウィンドウで、タブ付きパネル Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）のパネル追加「+」ボタンをクリックします。
3. （オプション）タブ名を変更する場合は、デザインビューでタブのテキストを選択して変更します。

タブ付きパネル Widget からのパネルの削除

1. ドキュメントウィンドウで、タブ付きパネル Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）のパネルメニューで削除するパネルの名前を選択し、マイナス「-」ボタンをクリックします。

パネルを開いて編集

- 次のいずれかの操作を実行します。
  - デザインビューで開くパネルのタブの上にマウスポインターを置き、タブの右に表示される目のアイコンをクリックします。
  - ドキュメントウィンドウでタブ付きパネル Widget を選択し、プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）のパネルメニューで編集するパネルの名前をクリックします。

パネルの順序の変更

1. ドキュメントウィンドウで、タブ付きパネル Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）のパネルメニューで、移動するパネルの名前を選択します。
3. 上向き矢印または下向き矢印をクリックしてパネルを上または下に移動します。

最初に開くパネルの設定

ブラウザーでページが開かれたとき、最初に開くタブ付きパネル Widget を設定できます。

1. ドキュメントウィンドウで、タブ付きパネル Widget を選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、最初に開くパネルを初期設定のパネルポップアップメニューから選択します。

ページの先頭へ

タブ付きパネル Widget のカスタマイズ

プロパティインスペクターでは、タブ付きパネル Widget の簡単な編集は可能ですが、カスタマイズされたスタイル設定タスクはサポートされません。タブ付きパネル Widget に関する CSS ルールを変更すると、自由にスタイル設定した Widget を作成できます。

タブ付きパネル Widget のカラーの変更についてのクイックリファレンスは、David Powers の Quick guide to styling Spry tabbed panels, accordions, and collapsible panels（英語）を参照してください。

高度なスタイル設定タスクについて詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sprytabbedpanels_custom_jp を参照してください。

次のトピックに登場する CSS ルールは、すべて SpryTabbedPanels.css ファイルに格納された初期設定ルールです。Spry タブ付きパネル Widget を作成すると、Dreamweaver によってサイトの SpryAssets フォルダーに SpryTabbedPanels.css ファイルが保存されます。このファイルには、Widget に適用される様々なスタイルに関する、役に立つコメント付き情報も含まれています。

> タブ付きパネル *Widget* に関するルールは、対応する *CSS* ファイルで直接編集することもできますが、*CSS* スタイルパネルを使用して *Widget* の *CSS* を編集することもできます。*CSS* スタイルパネルでは、*Widget* の様々な部分に割り当てられた *CSS* クラスを見つけやすくなっています。特に「現在」モードがこの点に優れています。

タブ付きパネル Widget のテキストのスタイル設定

タブ付きパネル Widget のテキストのスタイルを設定するには、タブ付きパネル Widget コンテナ全体のプロパティを設定するか、Widget の各コンポーネントのプロパティを個別に設定します。

- タブ付きパネル Widget のテキストスタイルを変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、独自のテキストスタイルプロパティおよび値を追加します。

変更するテキスト	関連する CSS ルール	追加するプロパティおよび値の例
Widget 全体のテキスト	`.TabbedPanels`	font: Arial; font-size:medium;
パネルタブのみのテキスト	`.TabbedPanelsTabGroup` または `.TabbedPanelsTab`	font: Arial; font-size:medium;
コンテンツパネルのみのテキスト	`.TabbedPanelsContentGroup` または `.TabbedPanelsContent`	font: Arial; font-size:medium;

タブ付きパネル Widget の背景色の変更

- タブ付きパネル Widget の様々な部分の背景色を変更するには、次の表を使用して適切な CSS ルールを見つけ、背景色プロパティおよび値を必要に応じて追加または変更します。

変更する色	関連する CSS ルール	追加または変更するプロパティおよび値の例
パネルタブの背景色	`.TabbedPanelsTabGroup` または `.TabbedPanelsTab`	background-color: #DDD;（これが初期設定値です）
コンテンツパネルの背景色	`.Tabbed PanelsContentGroup` または `.TabbedPanelsContent`	background-color: #EEE;（これが初期設定値です）
選択されたタブの背景色	`.TabbedPanelsTabSelected`	background-color: #EEE;（これが初期設定値です）
マウスポインターが上にあるときのパネ	`.TabbedPanelsTabHover`	background-color: #CCC;（これが初期

ルタブの背景色		設定値です）

タブ付きパネルの幅の固定

初期設定では、タブ付きパネル Widget は使用可能なスペースいっぱいに拡張されます。ただし、アコーディオンコンテナの幅プロパティを設定すると、タブ付きパネル Widget の幅を制限できます。

1. SpryTabbedPanels.css ファイルを開き、.TabbedPanels CSS ルールを見つけます。このルールは、タブ付きパネル Widget のメインコンテナエレメントのプロパティを定義します。

   タブ付きパネル *Widget* を選択して *CSS* スタイルパネル（ウィンドウ／*CSS* スタイル）を調べることによってルールを探すこともできます。パネルが「現在」モードに設定されていることを確認します。

2. このルールに、`width: 300px;` のように幅プロパティと値を追加します。

アドビは次の機能も推奨します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Spry フレームワークについて

注意： *Spry Widget* は、*Dreamweaver CC* 以降では *jQuery Widget* に置き換えられています。

既存の *Spry Widget* を変更できますが、新しい *Spry Widget* を追加することはできません。

Spry フレームワークは、豊かなサイト体験が得られる Web ページの作成を可能にする JavaScript ライブラリです。Spry では、HTML、CSS、および最小限の JavaScript を使用して、XML データを HTML ドキュメントに組み込むことや、アコーディオンやメニューバーなどの Widget を作成することや、様々なページエレメントに多彩な効果を追加することができます。Spry フレームワークは、HTML、CSS、および JavaScript の基礎的な知識があれば容易にマークアップを使用できるように設計されています。

Spry フレームワークは、主にプロの Web デザイナーや上級のノンプロ Web デザイナーを対象としています。企業レベルの Web 開発で使用される完全装備型 Web アプリケーションフレームワークとしては設計されていません。ただし、他の企業レベルページと組み合わせて使用することはできます。

詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_spryframework_jp を参照してください。

アドビは次の機能も推奨します。

- Spry デベロッパーガイド

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレート

テンプレートでのオプション領域の使用

テンプレートオプション領域について
オプション領域の挿入
オプション領域の値の設定

テンプレートオプション領域について

トップへ戻る

オプション領域は、テンプレートから作成されたドキュメントで、ユーザーが表示または非表示を設定できるテンプレート内の領域です。ドキュメントにコンテンツを表示するための条件を設定する場合、オプション領域を使用します。

オプション領域を挿入する際には、テンプレートパラメーターに特定の値を設定するか、テンプレート領域に "If...else" の条件ステートメントを定義できます。ここでは、簡単な true/false 演算を使用するか、複雑な条件ステートメントや式を定義します。オプション領域は、必要に応じて後で修正できます。定義した条件に基づいて、テンプレートユーザーは、テンプレートから作成されたドキュメント内のパラメーターを編集し、そのオプション領域を表示するかどうかを制御することができます。

複数のオプション領域を 1 つの指定パラメーターにリンクさせることができます。テンプレートから作成されたドキュメントでは、両領域は一単位として表示または非表示になります。例えば、"閉店大売出し" のイメージと販売価格テキスト領域を 1 つの販売商品として表示することができます。

オプション領域の挿入

トップへ戻る

オプション領域を使用して、テンプレートから作成したドキュメントにコンテンツを表示するかどうかを制御することができます。オプション領域には、次の 2 つのタイプがあります。

- 編集不能オプション領域では、テンプレートユーザーは特別にマークされた領域を表示または非表示にすることができます。ただし、コンテンツを編集することはできません。

  オプション領域のテンプレートタブは、ifの後ろに続きます。テンプレートの条件セットに基づいて、テンプレートユーザーは各自が作成するページにその領域を表示するかどうかを定義します。

- 編集可能オプション領域では、テンプレートユーザーはその領域を表示または非表示に設定でき、さらに領域内のコンテンツも編集できます。

  例えば、オプション領域にイメージまたはテキストが含まれる場合、ユーザーはそれを表示するかどうかを設定できるだけでなく、必要に応じてそれを編集することができます。編集可能領域は、条件ステートメントで制御されます。

編集不能オプション領域の挿入

1. ドキュメントウィンドウで、オプション領域として設定するエレメントを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／テンプレートオブジェクト／オプション領域を選択します。
   - コンテンツを選択して右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、テンプレート／新規オプション領域を選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリで、「テンプレート」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「オプション領域」を選択します。
3. オプション領域の名前を入力します。オプション領域の値を設定する場合は「詳細設定」タブをクリックします。次に、「OK」をクリックします。

編集可能オプション領域の挿入

1. ドキュメントウィンドウで、オプション領域を挿入する位置に挿入ポイントを置きます。
   編集可能なオプション領域は、範囲を選択することによっては作成できません。領域を挿入した後で、その領域にコンテンツを挿入します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／テンプレートオブジェクト／編集可能オプション領域を選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリで、「テンプレート」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「編集可能オプション領域」を選択します。

3. オプション領域の名前を入力します。オプション領域の値を設定する場合は「詳細設定」タブをクリックします。次に、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

オプション領域の値の設定

オプション領域をテンプレートに挿入した後に、領域の設定を編集することができます。例えば、コンテンツの表示/非表示を決定する初期設定の変更、既存のオプション領域へのパラメーターのリンク、テンプレート式の修正などを行うことができます。

テンプレートパラメーターを作成し、テンプレート領域の If...else 条件ステートメントを定義します。ここでは、簡単な true/false 演算を使用したり、複雑な条件ステートメントや式を定義することができます。

「詳細設定」タブでは、複数のオプション領域を 1 つの指定パラメーターにリンクさせることができます。テンプレートから作成されたドキュメントでは、両領域は一単位として表示または非表示になります。例えば、"閉店大売出し" のイメージと販売価格テキスト領域を 1 つの販売商品として表示することができます。

また、「詳細設定」タブを使用して、オプション領域の値を評価するテンプレート式を記述し、その値に基づいてオプション領域の表示/非表示を切り替えることもできます。

1. ドキュメントウィンドウで、次のいずれかの操作を行います。
   - デザインビューで、修正するオプション領域のテンプレートタブをクリックします。
   - デザインビューのテンプレート領域に挿入ポイントを置き、ドキュメントウィンドウの下部にあるタグセレクターで <mmtemplate:if> というテンプレートタグを選択します。
   - コードビューで、修正するテンプレート領域のコメントタブをクリックします。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の「編集」をクリックします。
3. 「基本」タブで、「名前」ボックスにパラメーターの名前を入力します。
4. 「初期設定では表示」を選択し、選択した領域がドキュメントで表示されるように設定します。この選択を解除すると、初期設定値が false に設定されます。
   注意： パラメーターに別の値を設定するには、コードビューでドキュメントの選択したセクションからそのパラメーターを検索し値を編集します。
5. （オプション）「詳細設定」タブをクリックし、以下のオプションを設定します。
   - オプション領域のパラメーターをリンクする場合は、「詳細設定」タブをクリックして「パラメーターの使用」を選択し、ポップアップメニューから、選択したコンテンツのリンク先となる既存のパラメーターを選択します。
   - テンプレート式を記述してオプション領域の表示を制御する場合は、「詳細設定」タブをクリックして「式を入力」を選択し、ボックスに式を入力します。

     注意： 入力したテキストの周囲に二重引用符が挿入されます。
6. 「OK」をクリックします。
   「オプション領域」テンプレートオブジェクトを使用すると、テンプレートのコメントがコードに自動的に挿入されます。テンプレートパラメーターは、head セクションで以下の例のように定義されます。

```
<!-- TemplateParam name="departmentImage" type="boolean" value="true" -->
```

   オプション領域が挿入される位置に、以下のようなコードが表示されます。

```
<!-- TemplateBeginIf cond="departmentImage" -->
<p><img src="/images/airfare_on.gif" width="85" height="22"> </p>
<!-- TemplateEndIf -->
```

   これにより、テンプレートから作成されたドキュメントでテンプレートパラメーターを編集できるようになります。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレートのシンタックス

一般的なシンタックスルール
テンプレートタグ
インスタンスタグ
テンプレートのシンタックスのチェック

一般的なシンタックスルール

トップへ戻る

Dreamweaver では、HTML コメントタグを使用して、テンプレートとテンプレートから作成されたドキュメントの領域を定義します。このため、テンプレートから作成されたドキュメントも有効な HTML ファイルになります。テンプレートオブジェクトを挿入すると、テンプレートタグがコードに挿入されます。

一般的なシンタックスルールを以下に示します。

- スペースがある位置には、いずれも任意の数のスペース、タブ、改行などのホワイトスペースを代入できます。ホワイトスペースはコメントの先頭と末尾を除き必須です。
- 属性は任意の順序で指定できます。例えば、TemplateParam では、名前の前にタイプを指定することができます。
- コメントおよび属性名は、大文字と小文字が区別されます。
- 属性はすべて引用符で囲む必要があります。一重または二重引用符を使用できます。

テンプレートタグ

トップへ戻る

Dreamweaver では、以下のテンプレートタグが使用されます。

```
<!-- TemplateBeginEditable name="..." -->
<!-- TemplateEndEditable -->
<!-- TemplateParam name="..." type="..." value="..." -->
<!-- TemplateBeginRepeat name="..." -->
<!-- TemplateEndRepeat -->
<!-- TemplateBeginIf cond="..." -->
<!-- TemplateEndIf -->
<!-- TemplateBeginPassthroughIf cond="..." -->
<!-- TemplateEndPassthroughIf -->
<!-- TemplateBeginMultipleIf -->
<!-- TemplateEndMultipleIf -->
<!-- TemplateBeginPassthroughMultipleIf -->
<!-- TemplateEndPassthroughMultipleIf -->
<!-- TemplateBeginIfClause cond="..." -->
<!-- TemplateEndIfClause -->
<!-- TemplateBeginPassthroughIfClause cond="..." -->
<!-- TemplateEndPassthroughIfClause -->
<!-- TemplateExpr expr="..." --> (equivalent to @@...@@)
<!-- TemplatePassthroughExpr expr="..." -->
<!-- TemplateInfo codeOutsideHTMLIsLocked="..." -->
```

インスタンスタグ

トップへ戻る

Dreamweaver では、以下のインスタンスタグが使用されます。

```
<!-- InstanceBegin template="..." codeOutsideHTMLIsLocked="..." -->
<!-- InstanceEnd -->
<!-- InstanceBeginEditable name="..." -->
<!-- InstanceEndEditable -->
<!-- InstanceParam name="..." type="..." value="..." passthrough="..." -->
<!-- InstanceBeginRepeat name="..." -->
<!-- InstanceEndRepeat -->
```

```
<!-- InstanceBeginRepeatEntry -->
<!-- InstanceEndRepeatEntry -->
```

トップへ戻る

テンプレートのシンタックスのチェック

Dreamweaver では、テンプレートを保存するときにテンプレートのシンタックスがチェックされますが、テンプレートを保存する前にテンプレートのシンタックスを手動でチェックすることもできます。例えば、コードビューでテンプレートパラメーターやテンプレート式を追加する場合などに、コードのシンタックスが正しいか確認できます。

1. ドキュメントウィンドウでチェックするドキュメントを開きます。
2. 修正／テンプレート／テンプレートシンタックスのチェックを選択します。

   シンタックスの書式が不適切な場合は、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージには、エラーの他、エラーがあるコード行が示されます。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレートのオーサリング環境の設定

テンプレートのコードカラーリング環境設定のカスタマイズ
テンプレート領域のハイライト表示の環境設定

テンプレートのコードカラーリング環境設定のカスタマイズ

トップへ戻る

コードカラーリング環境設定は、コードビューに表示されるテキストの色、背景色、およびスタイル属性を制御します。独自のカラースキームを設定すると、コードビューにドキュメントを表示したときに、テンプレート領域を見分けやすくなります。

1. 編集／環境設定（Windows）またはDreamweaver環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「コードカラーリング」を選択します。
3. ドキュメントタイプリストから「HTML」を選択し、「カラーリングスキームの編集」ボタンをクリックします。
4. スタイルリストで「テンプレートタグ」を選択します。
5. 以下の操作を行って、コードビューのテキストの色、背景色、およびスタイル属性を設定します。
   - 選択したテキストの色を変更する場合は、適用する色を「テキストカラー」ボックスに 16 進数値で入力するか、またはカラーピッカーから選択します。選択したテキストの既存の背景色に色を追加、または色を変更する場合は、「背景色」フィールドで同じ操作を行います。
   - 選択したコードにスタイル属性を追加する場合は、「B」（ボールド）、「I」（イタリック）、または「U」（アンダーライン）ボタンをクリックして、目的のフォーマットを設定します。
6. 「OK」をクリックします。
   注意： 環境設定全体を変更する場合は、環境設定が格納されているソースファイルを編集します。このファイルは Windows XP では、C:¥Documents and Settings¥%username%¥Application Data¥Adobe¥Dreamweaver 9¥Configuration¥CodeColoring¥Colors.xml にあります。Windows Vista では、C:¥Users¥%username%¥Application Data¥Adobe¥Dreamweaver 9¥Configuration¥CodeColoring¥Colors.xml にあります。

テンプレート領域のハイライト表示の環境設定

トップへ戻る

Dreamweaver のハイライト表示の環境設定では、デザインビューに表示されるテンプレートの編集可能領域やロックされている領域のアウトラインに使用するハイライトカラーをカスタマイズできます。編集可能領域の色は、テンプレートだけでなく、そのテンプレートから作成されるドキュメントにも表示されます。

テンプレートのハイライトカラーの変更

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストで「ハイライト」を選択します。
3. 「編集可能領域」、「ネストされた編集可能領域」、または「ロックされた領域」カラーボックスをクリックし、カラーピッカーを使用してハイライトカラーを選択します。または、ボックスにハイライトカラーの 16 進数値を入力します。

   カラーピッカーについて詳しくは、カラーピッカーの使用を参照してください。
4. （オプション）必要に応じて、その他のテンプレート領域のタイプに対してもこの手順を繰り返します。
5. 「表示」オプションをクリックして、ドキュメントウィンドウでのこれらのカラーの表示/非表示を切り替えます。
   注意： 「ネストされた編集可能領域」には「表示」オプションはありません。この領域の表示は、「編集可能領域」オプションで制御します。
6. 「OK」をクリックします。

ドキュメントウィンドウでのハイライトカラーの表示

✤ 表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択します。

表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントが有効になっており、「ハイライト」環境設定で適切なオプションが選択されている場合にのみ、ハイライトカラーがドキュメントウィンドウに表示されます。

注意： 不可視エレメントが表示されているにもかかわらずハイライトカラーが表示されていない場合は、編集／環境設定（Windows）またはDreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択し、「ハイライト」カテゴリを選択します。該当するハイライトカラーの横にある「表示」オプションが選択されていることを確認します。さらに、ページの背景色に対して、目的の色が見分けられることを確認します。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレートおよびテンプレートから作成されたドキュメントの認識

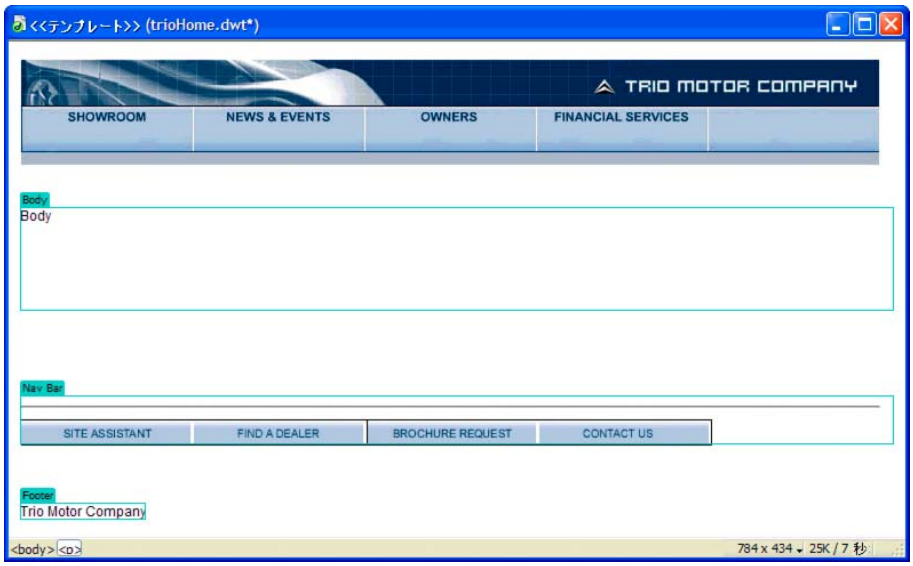
デザインビューのテンプレートの認識
コードビューのテンプレートの認識
デザインビューでのテンプレートから作成されたドキュメントの認識
コードビューでのテンプレートから作成されたドキュメントの認識

トップへ戻る

デザインビューのテンプレートの認識

デザインビューでは、編集可能領域は、既定のハイライトカラーを使用した四角いアウトラインに囲まれてドキュメントウィンドウに表示されます。各編集可能領域の左上隅には、小さいタブが表示され、定義済みの領域の名前を示します。

ドキュメントウィンドウのタイトルバーを確認することで、テンプレートファイルを識別することができます。テンプレートファイルのタイトルバーには、"<<テンプレート>>" という語が表示されます。ファイルの拡張子は .dwt です。



トップへ戻る

コードビューのテンプレートの認識

コードビューでは、編集可能なコンテンツ領域は以下のコメントで HTML にマークされます。

<!-- TemplateBeginEditable> および <!-- TemplateEndEditable -->

> コードカラーリング環境設定を使用して独自のカラースキームを設定しておくことにより、コードビューでドキュメントを表示したときに、テンプレート領域を見分けやすくできます。

これらのコメントの間に記述されているものはすべて、テンプレートから作成されたドキュメントで編集することができます。編集可能領域の HTML ソースコードは、以下のようになります。

```
<table width="75%"  border="1"  cellspacing="0" cellpadding="0">
  <tr bgcolor="#333366">
    <td>Name</td>
    <td><font color="#FFFFFF">Address</font></td>
    <td><font color="#FFFFFF">Telephone Number</font></td>
  </tr>
  <!-- TemplateBeginEditable name="LocationList" -->
  <tr>
    <td>Enter name</td>
    <td>Enter Address</td>
    <td>Enter Telephone</td>
  </tr>
```

```
  <!-- TemplateEndEditable -->
</table>
```

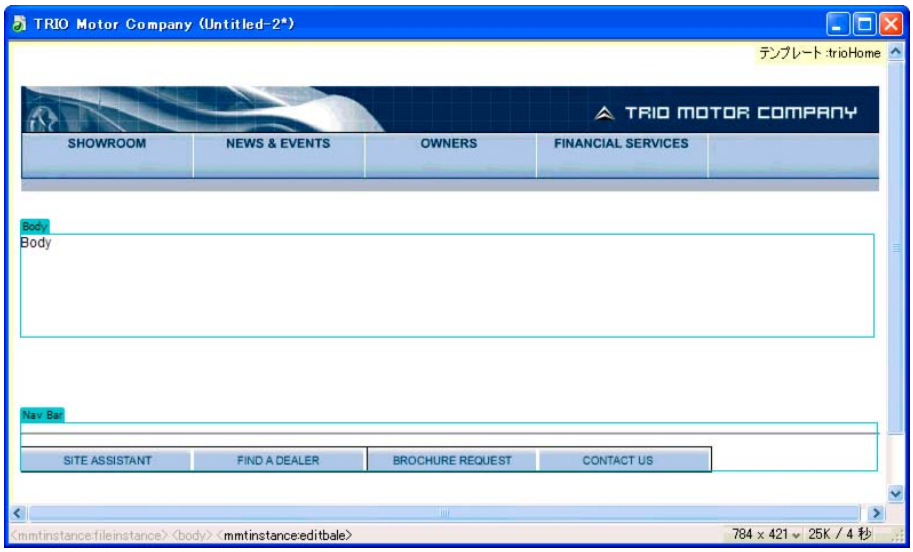
注意： コードビューでテンプレートコードを編集する際には、Dreamweaver が依存しているテンプレートに関連するコメントタグを変更しないようにしてください。

トップへ戻る

デザインビューでのテンプレートから作成されたドキュメントの認識

テンプレートから作成したドキュメントの編集可能領域は、デザインビューでは、既定のハイライトカラーを使用した四角いアウトラインに囲まれてドキュメントウィンドウに表示されます。各編集可能領域の左上隅には、小さいタブが表示され、定義済みの領域の名前を示します。

編集可能領域がアウトラインで囲まれるだけでなく、ページ全体も別の色のアウトラインで囲まれ、右上隅のタブにドキュメントの基となったテンプレートの名前が示されます。このハイライト表示されている四角形のアウトラインは、ドキュメントがテンプレートから作成されていること、また編集可能領域の外側にあるコンテンツが変更不可能であることを示します。



トップへ戻る

コードビューでのテンプレートから作成されたドキュメントの認識

コードビューでは、テンプレートから作成されたドキュメントの編集可能領域は、編集不可能な領域のコードとは異なるカラーで表示されます。変更できるのは、編集可能領域内のコードまたは編集可能パラメーターだけです。Dreamweaver では、ロックされた領域に入力することはできません。

編集可能なコンテンツは、HTML では以下の Dreamweaver コメントでマークされます。

<!-- InstanceBeginEditable> および <!-- InstanceEndEditable -->

これらのコメントの間に記述されているものはすべて、テンプレートから作成されたドキュメントで編集することができます。編集可能領域の HTML ソースコードは、以下のようになります。

```
<body bgcolor="#FFFFFF" leftmargin="0">
<table width="75%"  border="1"  cellspacing="0" cellpadding="0">
  <tr bgcolor="#333366">
    <td>Name</td>
    <td><font color="#FFFFFF">Address</font></td>
    <td><font color="#FFFFFF">Telephone Number</font></td>
  </tr>
  <!-- InstanceBeginEditable name="LocationList" -->
  <tr>
    <td>Enter name</td>
    <td>Enter Address</td>
    <td>Enter Telephone</td>
  </tr>
  <!-- InstanceEndEditable -->
</table>
</body>
```

編集不可能なテキストの初期設定のカラーはグレーですが、編集可能な領域も編集不可能な領域も、環境設定ダイアログボックスで別の色を選択することができます。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレートのコンテンツの書き出しと読み込み

テンプレート XML コンテンツについて
ドキュメントの編集可能領域の XML としての書き出し
XML コンテンツの読み込み
テンプレートマークアップを省略したサイトの書き出し

トップへ戻る

テンプレート XML コンテンツについて

テンプレートから作成されたドキュメントには、名前と値のペアで表されるデータが含まれます。各ペアは編集可能領域の名前、および領域のコンテンツで構成されています。

これらの名前と値のペアを XML ファイルに書き出すことができるので、Dreamweaver 以外の、例えば XML エディター、テキストエディター、データベースアプリケーションなどでデータを操作することができます。逆に、適切な構成の XML ドキュメントがある場合は、そのデータを Dreamweaver のテンプレートから作成されたドキュメントに読み込むことができます。

トップへ戻る

ドキュメントの編集可能領域の XML としての書き出し

1. 編集可能領域を含む、テンプレートから作成されたドキュメントを開きます。
2. ファイル／書き出し／テンプレートデータを XML として書き出しを選択します。
3. 「表記法」オプションの次のいずれかを選択します。
   - テンプレートにリピート領域またはテンプレートパラメーターが含まれる場合は、「標準 Dreamweaver XML タグを使用」を選択します。
   - テンプレートにリピート領域またはテンプレートパラメーターが含まれない場合は、「編集可能領域名を XML タグとして使用」を選択します。
4. 「OK」をクリックします。
5. 表示されるダイアログボックスで、フォルダーを選択し、XML ファイルの名前を入力して「保存」をクリックします。

   ドキュメントのパラメーターと編集可能領域から取得されたマテリアルが含まれる XML ファイルが生成されます。これには、リピート領域またはオプション領域内の編集可能領域も含まれます。XML ファイルには、元のテンプレートの名前の他、それぞれのテンプレート領域の名前とコンテンツも含まれます。

   注意： 編集不能な領域のコンテンツは、XML ファイルに書き出されません。

トップへ戻る

XML コンテンツの読み込み

1. ファイル／読み込み／XML をテンプレートに読み込みを選択します。
2. XML ファイルを選択して、「開く」をクリックします。

   Dreamweaver が、XML ファイルに指定されているテンプレートに基づいて新しいドキュメントを作成します。XML ファイルのデータから、それぞれの編集可能領域のコンテンツがドキュメントに入力されます。生成されたドキュメントが新しいドキュメントウィンドウに表示されます。

   > XML ファイルが Dreamweaver に対応するように正確に設定されていない場合は、データを読み込めないことがあります。この問題を解決する 1 つの方法として、正しい構成の XML ファイルを得るため、Dreamweaver からダミーの XML ファイルを書き出すという方法があります。次に、書き出された XML ファイルに元の XML ファイルのデータをコピーします。これによって、読み込むことのできる適切なデータが含まれた、正しい構成の XML ファイルが生成されます。

トップへ戻る

テンプレートマークアップを省略したサイトの書き出し

テンプレートマークアップを省略して、サイト内のテンプレートから作成されたドキュメントを別のサイトに書き出すことができます。

1. 修正／テンプレート／マークアップを省略して書き出しを選択します。
2. 「フォルダー」ボックスで、ファイルの書き出し先となるフォルダーのファイルパスを入力するか、または「参照」をクリックしてフォルダーを選択します。
   注意： 現在のサイト外のフォルダーを選択する必要があります。
3. 書き出したテンプレートから作成されたドキュメントを XML として保存する場合は、「テンプレートデータファイルを保持」を選択しま

す。

4. 既に書き出したファイルに行った変更を更新する場合は、「変更したファイルのみを抽出」を選択し、「OK」をクリックします。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレートから作成されたドキュメントのコンテンツの編集

テンプレートから作成されたドキュメントのコンテンツの編集について
テンプレートプロパティの修正
リピート領域エントリの追加、削除、および順序の変更

テンプレートから作成されたドキュメントのコンテンツの編集について

トップへ戻る

Dreamweaver テンプレートは、テンプレートから作成されたドキュメントに対して、編集不能なロックされた領域と編集可能な領域を指定します。

テンプレートから作成されたページ内で、テンプレートユーザーが編集できるのは、編集可能領域内にあるコンテンツのみです。編集可能領域を簡単に識別し、選択してコンテンツを編集することができます。テンプレートユーザーは、ロックされている領域を編集できません。

注意： ハイライト表示されていないときに、テンプレートから作成されたドキュメントのロックされている領域を編集しようとすると、マウスポインターが変化して、ロックされている領域をクリックできないことを示します。
テンプレートユーザーは、テンプレートから作成されたドキュメントで、プロパティの修正およびリピート領域の編集を行うこともできます。

テンプレートプロパティの修正

トップへ戻る

テンプレートの作成者がテンプレートにパラメーターを作成すると、そのテンプレートから作成されたドキュメントに、パラメーターとその初期値が自動的に継承されます。テンプレートユーザーは、編集可能なタグ属性や、オプション領域設定などのテンプレートパラメーターを更新することができます。

編集可能なタグ属性の修正

1. テンプレートから作成されたドキュメントを開きます。
2. 修正／テンプレートプロパティを選択します。

   テンプレートプロパティダイアログボックスが開き、使用できるプロパティのリストが表示されます。このダイアログボックスには、オプション領域および編集可能タグ属性が表示されます。
3. 名前リストでプロパティを選択します。

   ダイアログボックスの下部の領域が更新され、選択したプロパティのラベルと割り当てられている値が表示されます。
4. プロパティラベルの右側のフィールドで値を編集し、ドキュメントのプロパティを修正します。
   注意： フィールド名と更新可能な値は、テンプレートに定義されています。名前リストに表示されない属性は、テンプレートから作成したドキュメント上で編集可能になりません。
5. ネストされたテンプレートから作成されたドキュメントに編集可能なプロパティを継承する場合は、「ネストされたテンプレートによる制御を許可」をオンにします。

オプション領域のテンプレートパラメーターの修正

1. テンプレートから作成されたドキュメントを開きます。
2. 修正／テンプレートプロパティを選択します。

   テンプレートプロパティダイアログボックスが開き、使用できるプロパティのリストが表示されます。このダイアログボックスには、オプション領域および編集可能タグ属性が表示されます。
3. 名前リストでプロパティを選択します。

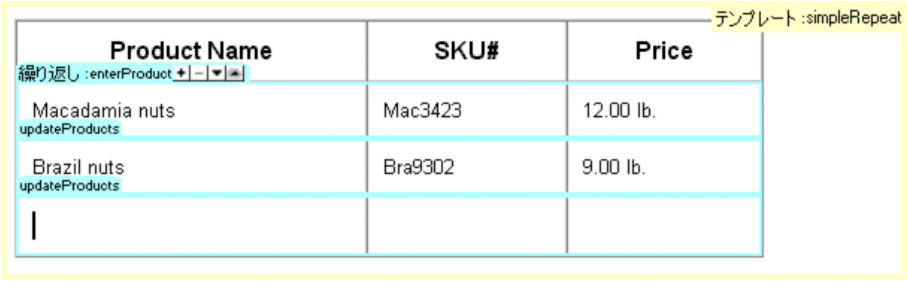
   ダイアログボックスが更新され、選択したプロパティのラベルと割り当てられている値が表示されます。
4. 「表示」をオンにしてドキュメントにオプション領域を表示するか、またはオフにしてオプション領域を非表示にします。
   注意： このフィールド名と初期設定は、テンプレートで定義されています。
5. ネストされたテンプレートから作成されたドキュメントに編集可能なプロパティを継承する場合は、「ネストされたテンプレートによる制御を許可」をオンにします。

リピート領域エントリの追加、削除、および順序の変更

トップへ戻る

リピート領域のコントロールを使用して、テンプレートから作成されたドキュメントでのエントリの追加、削除、または順序の変更を行います。

リピート領域のエントリを追加すると、リピート領域全体のコピーが追加されます。リピート領域のコンテンツを更新するには、元のテンプレートのリピート領域に編集可能領域が挿入されている必要があります。



リピート領域の追加、削除、または順序の変更

1. テンプレートから作成されたドキュメントを開きます。
2. リピート領域に挿入ポイントを置いて選択します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 「+」ボタンをクリックして、現在選択しているリピート領域エントリの下にエントリを追加します。
   - 「-」ボタンをクリックして、選択したリピート領域エントリを削除します。
   - 下矢印ボタンをクリックして、選択したエントリを 1 つ下の位置に移動します。
   - 上矢印ボタンをクリックして、選択したエントリを 1 つ上の位置に移動します。

     注意： または、修正／テンプレートを選択し、コンテキストメニューの下部付近にあるリピートエントリオプションのいずれかを選択することもできます。このメニューは、新しいリピートエントリの追加や、選択したエントリの位置の移動にも使用できます。

エントリのカット、コピー、および削除

1. テンプレートから作成されたドキュメントを開きます。
2. リピート領域に挿入ポイントを置いて選択します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - リピートエントリをカットするには、編集／リピートエントリ／リピートエントリのカットを選択します。
   - リピートエントリをコピーするには、編集／リピートエントリ／リピートエントリのコピーを選択します。
   - リピートエントリを削除するには、編集／リピートエントリ／リピートエントリの削除を選択します。
   - リピートエントリをペーストするには、編集／ペーストを選択します。

     注意： ペーストすると、新しいエントリが挿入されます。既存のエントリが置き換えられることはありません。

関連項目

既存のテンプレートに基づくページの作成

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレートの編集、更新、および削除

テンプレートの編集と更新について
テンプレートを開いて編集
テンプレート名の変更
テンプレートの説明の変更
テンプレートから作成されたドキュメントの手動更新
Contribute サイトでのテンプレートの更新
テンプレートファイルの削除

テンプレートの編集と更新について

トップへ戻る

テンプレートを変更して保存すると、テンプレートから作成されたすべてのドキュメントが更新されます。必要に応じて、テンプレートから作成されたドキュメントまたはサイト全体を手動で更新することもできます。

注意： Contribute サイトのテンプレートを編集するには、Dreamweaver を使用する必要があります。Contribute サイトではテンプレートは編集できません。
テンプレートファイルの名前の変更やテンプレートファイルの削除など、既存のテンプレートの管理を行うには、アセットパネルの「テンプレート」カテゴリを使用します。

アセットパネルでは、次のテンプレート管理タスクを実行できます。

- テンプレートの作成
- テンプレートの編集と更新
- 既存のドキュメントでのテンプレートの適用または削除

Dreamweaver では、テンプレートを保存するときにテンプレートのシンタックスがチェックされますが、テンプレートを編集している間にテンプレートのシンタックスを手動でチェックすることをお勧めします。

テンプレートを開いて編集

トップへ戻る

テンプレートを直接開いて編集したり、テンプレートから作成されたドキュメントを開いてから、そのドキュメントに添付されたテンプレートを開いて編集することができます。

テンプレートを変更すると、そのテンプレートから作成されたドキュメントを更新するよう要求されます。

注意： 必要に応じて、テンプレートの変更に合わせてドキュメントを手動で更新することもできます。

テンプレートファイルを開いて編集

1. アセットパネル（ウィンドウ／アセット）で、パネルの左側にある「テンプレート」カテゴリ を選択します。

   アセットパネルには、サイトで使用できるすべてのテンプレートが一覧表示され、選択したテンプレートのプレビューが表示されます。
2. 使用できるテンプレートのリストで、以下のいずれかの操作を行います。
   - 編集するテンプレートの名前をダブルクリックします。
   - 編集するテンプレートを選択し、アセットパネルの下部にある「編集」ボタン をクリックします。
3. テンプレートのコンテンツを修正します。
   テンプレートのページプロパティを修正するには、修正／ページプロパティを選択します。テンプレートから作成されたドキュメントには、テンプレートのページプロパティが継承されます。
4. テンプレートを保存します。テンプレートから作成されたページを更新するよう要求されます。
5. 変更したテンプレートから作成されたドキュメントすべてを更新するには「更新」をクリックします。変更したテンプレートから作成されたドキュメントを更新しない場合は、「更新しない」をクリックします。

   Dreamweaver によって、更新されたファイルを示すログが表示されます。

現在のドキュメントに添付されているテンプレートを開いて修正

1. テンプレートから作成されたドキュメントをドキュメントウィンドウで開きます。
2. 次のいずれかの操作を実行します。

修正／テンプレート／添付テンプレートを開くを選択します。

- 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、テンプレート／添付テンプレートを開くを選択します。

3. テンプレートのコンテンツを修正します。
   テンプレートのページプロパティを修正するには、修正／ページプロパティを選択します。テンプレートから作成されたドキュメントには、テンプレートのページプロパティが継承されます。
4. テンプレートを保存します。テンプレートから作成されたページを更新するよう要求されます。
5. 変更したテンプレートから作成されたドキュメントすべてを更新するには「更新」をクリックします。変更したテンプレートから作成されたドキュメントを更新しない場合は、「更新しない」をクリックします。

   Dreamweaver によって、更新されたファイルを示すログが表示されます。

トップへ戻る

テンプレート名の変更

1. アセットパネル（ウィンドウ／アセット）で、パネルの左側にある「テンプレート」カテゴリ を選択します。
2. テンプレートの名前をクリックして選択します。
3. 名前をもう一度クリックすると、テキストが編集可能になり、新しい名前を入力できます。

   この名前の変更方法は、Windows のエクスプローラーまたは Mac OS の Finder でファイルの名前を変更する操作と同じです。Windows のエクスプローラーおよび Mac OS の Finder の場合と同様に、必ず間をおいてクリックしてください。ダブルクリックはしないようにしてください。名前をダブルクリックすると、編集用にテンプレートが開いてしまいます。
4. アセットパネルの別の領域をクリックするか、Enter（Windows）または Return（Mac OS）キーを押して、変更を反映させます。

   このテンプレートを基に作成されたドキュメントを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
5. サイト内にある、このテンプレートを基に作成されたすべてのドキュメントを更新するには、「更新」をクリックします。このテンプレートを基に作成されたドキュメントを更新しない場合は、「更新しない」をクリックします。

トップへ戻る

テンプレートの説明の変更

既存のテンプレートからページを作成した場合、テンプレートの説明は新規ドキュメントダイアログボックスに表示されます。

1. 修正／テンプレート／説明を選択します。
2. テンプレートの説明ダイアログボックスで、説明を編集し「OK」をクリックします。

トップへ戻る

テンプレートから作成されたドキュメントの手動更新

テンプレートを変更すると、そのテンプレートから作成されたドキュメントを更新するよう要求されますが、必要に応じて、現在のドキュメントまたはサイト全体を手動で更新することもできます。テンプレートから作成されたドキュメントの手動更新は、テンプレートを再度適用することと同じです。

テンプレートから作成された現在のドキュメントへのテンプレート変更の適用

1. ドキュメントをドキュメントウィンドウで開きます。
2. 修正／テンプレート／現在のページを更新を選択します。

   Dreamweaver によって、テンプレートの変更に合わせてドキュメントが更新されます。

指定したテンプレートが使用されているサイト全体またはすべてのドキュメントの更新

サイトのすべてのページを更新、または特定のテンプレートのページだけを更新することもできます。

1. 修正／テンプレート／サイト全体を更新を選択します。
2. 更新場所メニューで、以下のいずれかの操作を行います。
   - 選択したサイトのすべてのファイルを対応するテンプレートの内容に更新するには、「サイト全体」を選択し、隣接するポップアップメニューからサイト名を選択します。
   - 特定のテンプレートのファイルを更新するには、「次を含むファイル」を選択し、隣接するポップアップメニューからテンプレート名を選択します。
3. 「更新」オプションで「テンプレート」が選択されていることを確認します。
4. Dreamweaver で更新されたファイルのログを参照しない場合は、「ログを表示」オプションをオフにします。参照する場合は、オプションをオンのままにします。
5. 「開始」をクリックし、指定のファイルを更新します。「ログを表示」オプションを選択した場合は、正常に更新されたかどうかなど、更新対象ファイルに関する情報が表示されます。

6. 「閉じる」をクリックします。

トップへ戻る

Contribute サイトでのテンプレートの更新

Contribute ユーザーは、Dreamweaver のテンプレートを変更できません。ただし、Dreamweaver を使用して、Contribute サイトのテンプレートを変更することはできます。

Contribute サイトでテンプレートを更新する際には、以下のことに注意してください。

- Contribute は、Contribute の起動時、および Contribute ユーザーによって接続情報が変更されたときにのみ、サイトから新しいテンプレートと変更されたテンプレートを取得します。テンプレートを変更する際に Contribute ユーザーがそのテンプレートをベースにしたファイルを編集中の場合、テンプレートに加えた変更は、Contribute を再起動するまでユーザーに表示されません。
- テンプレートから編集可能な領域を削除すると、そのテンプレートをベースにしたページを編集している Contribute ユーザーは、削除された領域にあったコンテンツをどう処理したらよいか混乱してしまう可能性があります。

Contribute サイトでテンプレートを更新するには、次の手順を実行します。

1. Dreamweaver で Contribute テンプレートを開き、編集してから保存します。手順については、テンプレートを開いて編集を参照してください。
2. サイト上で作業している Contribute ユーザー全員に、Contribute を終了して再起動するように指示します。

トップへ戻る

テンプレートファイルの削除

1. アセットパネル（ウィンドウ／アセット）で、パネルの左側にある「テンプレート」カテゴリ を選択します。
2. テンプレートの名前をクリックして選択します。
3. パネルの下部にある「削除」ボタン 🗑 をクリックし、そのテンプレートを削除することを確認します。
   重要： テンプレートファイルを削除すると、再び取得することはできなくなります。テンプレートファイルがサイトから削除されます。

   削除したテンプレートで作成されたドキュメントはテンプレートから切り離されないため、テンプレートファイルを削除する前の構造および編集可能領域がそのまま保持されます。このドキュメントは、編集可能領域やロックされている領域のない HTML ファイルに変換することができます。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレートでの編集可能なタグ属性の定義

テンプレートでの編集可能タグ属性の指定
編集可能なタグ属性を編集不能にする

テンプレートでの編集可能タグ属性の指定

トップへ戻る

テンプレートから作成されたドキュメントで、指定したタグの属性をテンプレートユーザーが編集できるようにできます。

例えば、テンプレートドキュメントの背景色はテンプレートの作成者が設定し、テンプレートユーザーが作成するページの背景色については、ユーザーが別の色を設定できるようにすることができます。ユーザーが更新できるのは、テンプレートの作成者が編集可能に指定した属性だけです。

また、ページに複数の編集可能な属性を設定して、テンプレートユーザーがテンプレートから作成されたドキュメントで属性を修正できるようにすることもできます。サポートされているデータタイプは、テキスト、Boolean（true/false）、色、および URL です。

編集可能なタグ属性を作成すると、コードにテンプレートパラメーターが挿入されます。テンプレートドキュメントには属性の初期値が設定され、テンプレートからドキュメントが作成されるとパラメーターを継承します。これにより、ユーザーはテンプレートから作成されたドキュメント内のパラメーターを編集できるようになります。

注意： スタイルシートへのリンクを編集可能属性にすると、テンプレートファイルのスタイルシートの属性を表示および編集できなくなります。

1. ドキュメントウィンドウで、編集可能なタグ属性を設定するアイテムを選択します。
2. 修正／テンプレート／属性を編集可能にするを選択します。
3. 「編集可能なタグ属性」ボックスで次のいずれかの操作をして、「属性」テキストボックスに属性の名前を入力するか属性を選択します。
   - 編集可能にする属性が属性ポップアップメニューにある場合は、それを選択します。
   - 編集可能にする属性が属性ポップアップメニューにない場合は、「追加」をクリックします。表示されるダイアログボックスで、追加する属性の名前を入力し、「OK」をクリックします。
4. 「属性を編集可能にする」オプションが選択されていることを確認します。
5. 「ラベル」ボックスに、属性の一意の名前を入力します。
   編集可能なタグ属性を後から簡単に識別できるようにするには、エレメントと属性を識別するラベルを使用します。例えば、ソースを編集できるイメージには、logoSrc というラベルを付けたり、body タグ内の編集可能な背景色には bodyBgcolor というラベルを付けたりします。
6. タイプメニューで、以下のいずれかのオプションを設定し、この属性に許可する値のタイプを選択します。
   - この属性にテキスト値を入力できるようにするには、「テキスト」を選択します。例えば、align 属性にテキストを使用すると、ユーザーはこの属性の値を、「左」、「右」、または「中央」に設定することができます。
   - イメージのファイルパスなど、エレメントにリンクを挿入するには、「URL」を選択します。このオプションを使用すると、リンクに使用されているパスが自動的に更新されます。ユーザーがイメージを新しいフォルダーに移動すると、リンクの更新ダイアログボックスが表示されます。
   - 値を選択する際にカラーピッカーを使用できるようにするには、「カラー」を選択します。
   - ページ上で真/偽の値の選択肢をユーザーに提供するには、「真/偽」を選択します。
   - イメージの高さや幅を変更する場合など、ユーザーが数値を入力して属性を更新できるようにするには、「数字」を選択します。
7. 「初期設定値」ボックスに、選択したテンプレートのタグ属性値が表示されます。このボックスに新しい値を入力し、テンプレートから作成されたドキュメント内のパラメーターに別の初期値を設定します。
8. （オプション）選択したタグの別の属性を変更するには、属性を選択し、その属性のオプションを設定します。
9. 「OK」をクリックします。

編集可能なタグ属性を編集不能にする

トップへ戻る

編集可能として指定されていたタグを、編集不能にマークすることができます。

1. テンプレートドキュメントで、編集可能な属性に対応するエレメントをクリックするか、タグセレクターを使用してタグを選択します。
2. 修正／テンプレート／属性を編集可能にするを選択します。
3. 属性ポップアップメニューで、変更する属性を選択します。
4. 「属性を編集可能にする」をオフにし、「OK」をクリックします。

5. テンプレートから作成されたドキュメントを更新します。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ネストされたテンプレートの作成

ネストされたテンプレートについて
ネストされたテンプレートの作成
ネストされたテンプレートへの編集可能領域継承の防止

トップへ戻る

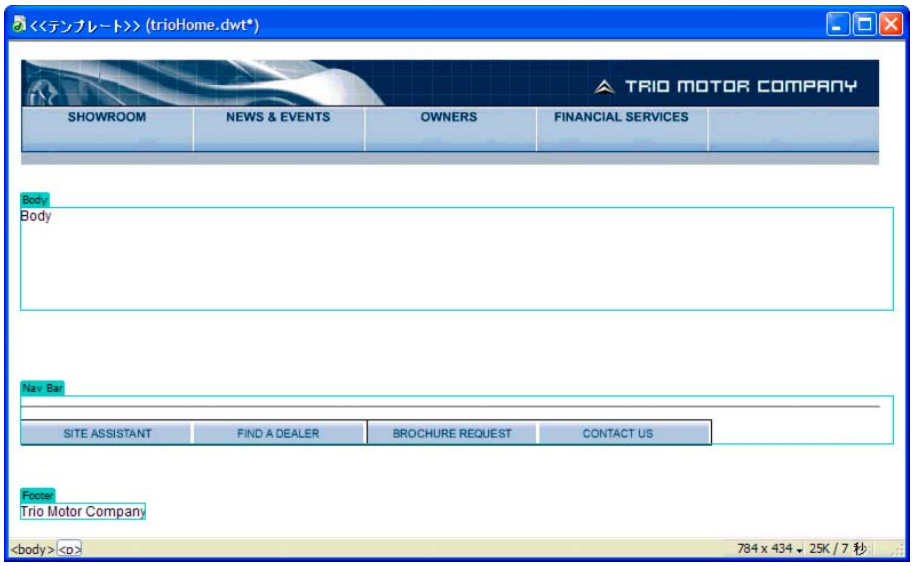
ネストされたテンプレートについて

ネストされたテンプレートは、デザインおよび編集可能領域が別のテンプレートを基に作成されているテンプレートです。ネストされたテンプレートは、サイト内の複数ページで多数のデザインエレメントが共有されているがページ間の違いが少ない場合に、コンテンツを制御するために便利です。例えば、基本テンプレートでは、デザイン領域を広く定義し、サイトにコンテンツを提供する多数の製作者が利用できるようにします。一方、ネストされたテンプレートでは、サイト内の特定の部分用に編集可能領域をさらに定義します。

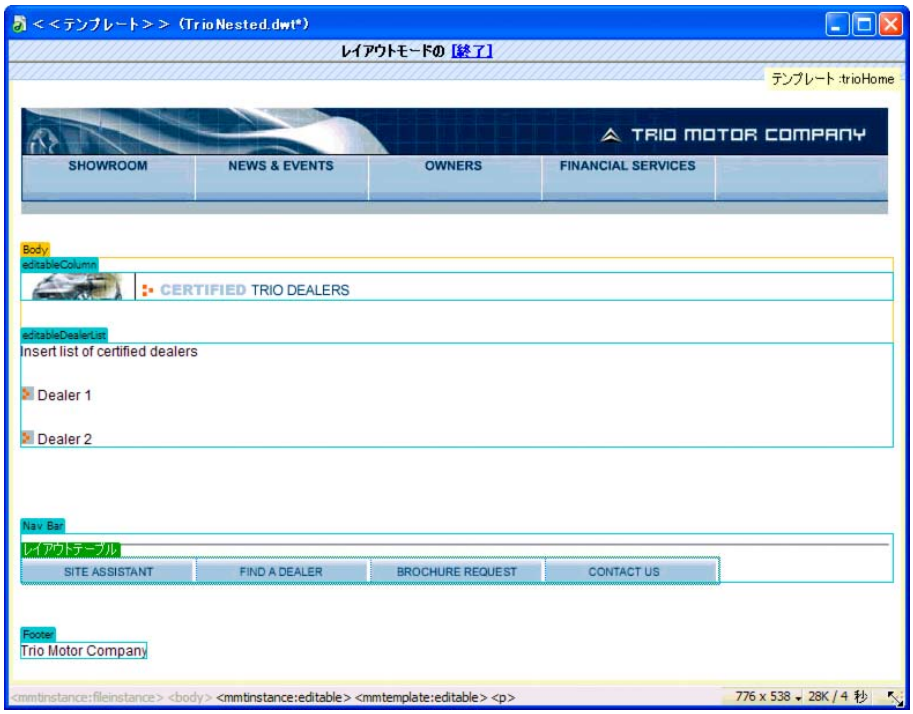
基本テンプレート内の編集可能領域はネストされたテンプレートに継承されます。それらの領域に新しいテンプレート領域が挿入されない限り、ネストされたテンプレートから作成されるページでも、編集可能なまま保持されます。

基本テンプレートに変更を加えると、基本テンプレートから作成されたテンプレートに自動的に反映されます。さらに、基本テンプレートとネストされたテンプレートから作成されたすべてのドキュメントに自動的に反映されます。

以下の例では、テンプレート trioHome に 3 つの編集可能領域があり、それぞれに Body、NavBar、Footer という名前が付けられています。



ネストされたテンプレートを作成するために、テンプレートを基に新規ドキュメントを作成します。それをテンプレートとして保存して、「TrioNested」という名前を付けました。 ネストされたテンプレートの Body と名付けられた編集可能領域には、2 つの編集可能領域を追加しました。



ネストされたテンプレートに継承された編集可能領域に新しい編集可能領域を追加すると、編集可能領域のハイライト表示がオレンジ色に変わります。editableColumn のグラフィックなど、編集可能領域の外側に追加したコンテンツは、ネストされたテンプレートから作成されたドキュメントでは編集できなくなります。青でハイライト表示されている編集可能領域は、ネストされたテンプレートで追加された場合も、基本テンプレートから継承された場合も、ネストされたテンプレートから作成されたドキュメントで編集可能なまま維持されます。編集可能領域を挿入しなかったテンプレート領域は、テンプレートベースのドキュメントに編集可能領域として継承されます。

トップへ戻る

ネストされたテンプレートの作成

ネストされたテンプレートは、基本テンプレートのバリエーションです。複数のテンプレートをネストすれば、次々と特定のレイアウトを定義することができます。

初期設定では、基本テンプレートの編集可能なテンプレート領域はすべてネストされたテンプレートに継承され、さらにネストされたテンプレートを基に作成されるドキュメントに継承されます。つまり、基本テンプレートに編集可能領域を作成し、その後でネストされたテンプレートを作成すると、ネストされたテンプレートの編集可能領域に新しいテンプレート領域を挿入しない限り、その編集可能領域はネストされたテンプレートから作成されるドキュメントに表示されます。

注意： 編集可能領域内にテンプレートマークアップを挿入し、ネストされたテンプレートから作成されるドキュメントに編集可能領域として継承されないようにすることができます。このような領域は、青のボーダーの代わりにオレンジ色のボーダーで表示されます。

1. 以下のいずれかの操作を行って、ネストされたテンプレートの基となるテンプレートからドキュメントを作成します。
   - アセットパネルの「テンプレート」カテゴリで、ドキュメントの基となるテンプレートを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューから「テンプレートから新規作成」を選択します。
   - ファイル／新規を選択します。新規ドキュメントダイアログボックスで、「テンプレートから作成」 カテゴリを選択し、使用するテンプレートが設定されているサイトを選択します。テンプレートリストでそのテンプレートをダブルクリックして、新規ドキュメントを作成します。
2. ファイル／テンプレートとして保存を選択して、新規ドキュメントをネストされたテンプレートとして保存します。
3. 「保存先」ボックスに名前を入力し、「保存」をクリックします。

トップへ戻る

ネストされたテンプレートへの編集可能領域継承の防止

ネストされたテンプレートでは、継承される編集可能領域は、青のボーダーで表示されます。編集可能領域内にテンプレートマークアップを挿入し、ネストされたテンプレートから作成されるドキュメントに編集可能領域として継承されないようにすることができます。このような領域は、青のボーダーの代わりにオレンジ色のボーダーで表示されます。

1. コードビューで、継承しない編集可能領域を選択します。

   編集可能領域は、テンプレートコメントタグで定義されています。

2. 編集可能領域に次のコードを追加します。

```
@@("")@@
```

このテンプレートコードは、編集可能領域で囲まれたタグ <!-- InstanceBeginEditable --><!-- InstanceEndEditable --> の中であれば、どこにでも配置することができます。以下に例を挙げます。

```
<!-- InstanceBeginEditable name="EditRegion1" -->
<p>@@("")@@ Editable 1 </p>
<!-- InstanceEndEditable -->
```

関連項目

ネストされたテンプレート

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレートでのリピート領域の作成

テンプレートリピート領域について
テンプレートでのリピート領域の作成
リピートテーブルの挿入
リピートテーブルの代替背景色の設定

テンプレートリピート領域について

トップへ戻る

リピート領域は、テンプレートの一部分で、テンプレートから作成されたページ内で何度でも複製することができます。一般にリピート領域はテーブルに使用されますが、その他のページエレメントにも定義することができます。

リピート領域を使用すると、カタログ項目や説明レイアウト、または項目リストなどのデータ行など、特定の項目を繰り返すことで、ページレイアウトを制御することができます。

使用できるリピート領域のテンプレートオブジェクトには、リピート領域とリピートテーブルの 2 つがあります。

テンプレートでのリピート領域の作成

トップへ戻る

リピート領域を使用すると、テンプレートユーザーが、テンプレート内に指定された領域を何度でも複製することができます。リピート領域は必ずしも編集可能領域ではありません。

テンプレートから作成されたドキュメントのテーブルのセルにテキストを入力できるようにするなど、リピート領域のコンテンツを編集可能にするには、リピート領域に編集可能領域を挿入する必要があります。

1. ドキュメントウィンドウで、次のいずれかの操作を行います。
   - リピート領域として設定するテキストまたはコンテンツを選択します。
   - リピート領域を挿入するドキュメント内の位置に挿入ポイントを置きます。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／テンプレートオブジェクト／リピート領域を選択します。
   - 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、テンプレート／新規リピート領域を選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリで、「テンプレート」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「リピート領域」を選択します。
3. 「名前」ボックスに、テンプレート領域の一意の名前を入力します （1 つのテンプレート内の複数のリピート領域に同じ名前を使用することはできません）。
   注意： 領域に名前を付けるときは、特殊文字を使用しないでください。
4. 「OK」をクリックします。

リピートテーブルの挿入

トップへ戻る

リピートテーブルを使用すると、リピート行のある編集可能領域をテーブル形式で作成することができます。テーブルの属性を定義し、テーブルのどのセルを編集できるようにするかを設定できます。

1. ドキュメントウィンドウで、リピートテーブルを挿入するドキュメント内の位置に挿入ポイントを置きます。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／テンプレートオブジェクト／リピートテーブルを選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリで、「テンプレート」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「リピートテーブル」を選択します。
3. 次のオプションを指定して、「OK」をクリックします。
   行 テーブルの行数を指定します。

   列 テーブルの列数を指定します。

   セル内余白 セルのコンテンツと境界線の間のピクセル数を指定します。

   セル内間隔 隣接するテーブルセルの間隔をピクセル単位で指定します。
   セル内余白やセル内間隔を明示的に指定しなければ、一般的なブラウザーでは、セル内余白が 1、セル内間隔が 2 に設定されているものとしてテーブルが表示されます。テーブルに余白と間隔を表示しないようにするには、「セル内余白」および「セル内間隔」を 0 に設定

します。

幅 テーブル幅をピクセル値で指定するか、またはブラウザーウィンドウの幅に対する割合で指定します。

ボーダー テーブルのボーダー幅をピクセル値で指定します。
ボーダーの値を明示的に指定しなければ、一般的なブラウザーでは、ボーダーが 1 に設定されているものとしてテーブルが表示されます。ボーダーなしのテーブルをブラウザーに確実に表示するには、「ボーダー」を 0 に設定してください。ボーダーを 0 に設定しているときにセルおよびテーブルの境界を見るには、表示／ビジュアルエイド／テーブルボーダーを選択してください。

テーブルのリピート行 リピート領域に含めるテーブルの行を指定します。

開始行 リピート領域に最初の行として挿入する行の番号を設定します。

終了行 リピート領域に最後の行として挿入する行の番号を設定します。

領域名 リピート領域の一意の名前を設定します。

トップへ戻る

リピートテーブルの代替背景色の設定

リピートテーブルをテンプレートに挿入した後、テーブル行の背景色を交互に色分けして、リピートテーブルをカスタマイズできます。

1. ドキュメントウィンドウで、リピートテーブルの行を選択します。
2. ドキュメントツールバーの「コードビューの表示」または「コードビューおよびデザインビューの表示」ボタンをクリックすると、選択したテーブル行のコードを表示できます。
3. コードビューで <tr> タグを編集して、以下のコードを挿入します。

```
<tr bgcolor="@@( _index & 1 ? '#FFFFFF' : '#CCCCCC' )@@">
```

   16 進数の #FFFFFF と #CCCCCC は、他の色と置き換えることができます。

4. テンプレートを保存します。

   以下は、テーブル行の代替背景色が設定されたテーブルのコード例です。

```
<table width="75%"  border="1"  cellspacing="0" cellpadding="0">
<tr><th>Name</th><th>Phone Number</th><th>Email Address</th></tr>
<!-- TemplateBeginRepeat name="contacts" -->
<tr bgcolor="@@(_index & 1 ? '#FFFFFF' : '#CCCCCC')@@">
<td> <!-- TemplateBeginEditable name="name" --> name <!-- TemplateEndEditable -->
</td>
<td> <!-- TemplateBeginEditable name="phone" --> phone <!-- TemplateEndEditable -->
</td>
<td> <!-- TemplateBeginEditable name="email" --> email <!-- TemplateEndEditable -->
</td>
</tr>
  <!-- TemplateEndRepeat -->
</table>
```

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

テンプレートでの可能領域の作成

編集可能領域の挿入
編集可能領域の選択
編集可能領域の削除
編集可能領域の名前の変更

編集可能領域の挿入

トップへ戻る

編集可能なテンプレート領域は、テンプレートから作成されたページで、ユーザーが編集できる領域を制御します。編集可能領域を挿入する前に、操作しているドキュメントをテンプレートとして保存する必要があります。

注意： テンプレートファイルではなく、ドキュメントに編集可能領域を挿入すると、ドキュメントがテンプレートとして自動的に保存されるという警告が表示されます。
編集可能領域はページの任意の位置に配置することができますが、テーブルや絶対位置のエレメント（AP エレメント）を編集可能にする場合には、以下の点に注意してください。

- テーブル全体または個別のテーブルセルは編集可能としてマークできますが、複数のテーブルセルを 1 つの編集可能領域としてマークすることはできません。<td> タグが選択されている場合、編集可能領域にはセルの周囲の領域も含まれます。選択されていない場合は、セルの内部のコンテンツだけが編集可能領域となります。
- AP エレメントと AP エレメントのコンテンツは、それぞれ別のエレメントとして扱われます。AP エレメントを編集可能にすると、AP エレメントの位置および AP エレメントのコンテンツを変更することができますが、AP エレメントのコンテンツを編集可能にした場合は、AP エレメントのコンテンツだけを変更でき、AP エレメントの位置は変更できません。

1. ドキュメントウィンドウで、以下のいずれかの操作を行って、領域を選択します。
   - 編集可能領域として設定するテキストまたはコンテンツを選択します。
   - 編集可能領域を挿入する位置に挿入ポイントを置きます。
2. 以下のいずれかの操作を行って、編集可能領域を挿入します。
   - 挿入／テンプレートオブジェクト／編集可能領域を選択します。
   - 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、テンプレート／新規の編集可能領域を選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリで、「テンプレート」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「編集可能領域」を選択します。
3. 「名前」ボックスに、領域の一意の名前を入力します。特定のテンプレートでは、複数の編集可能領域に同一の名前を使用することはできません。
   注意： 「名前」ボックスには特殊文字は使用しないでください。
4. 「OK」をクリックします。テンプレートでは、編集可能領域はハイライト表示された四角形のアウトラインで囲まれます。このハイライトカラーは、環境設定で設定されています。領域の左上隅にあるタブに、領域の名前が表示されます。ドキュメントに空の編集可能領域を挿入する場合は、領域内にも領域名が表示されます。

編集可能領域の選択

トップへ戻る

テンプレート領域は、テンプレートドキュメント内でも、テンプレートから作成したドキュメント内でも、簡単に識別および選択できます。

ドキュメントウィンドウでの編集可能領域の選択

❖ 編集可能領域の左上隅にあるタブをクリックします。

ドキュメントでの編集可能領域の検索と選択

❖ 修正／テンプレートを選択し、サブメニューの下部の一覧から領域名を選択します。
注意： このメニューには、リピート領域内の編集可能領域は表示されません。リピート領域内の編集可能領域は、ドキュメントウィンドウでタブ付きのボーダーによって識別できます。
ドキュメント内の編集可能領域が選択されます。

編集可能領域の削除

トップへ戻る

テンプレートファイルで編集可能と指定した領域を再度ロックしてテンプレートから作成されたドキュメントで編集できないようにする場合は、

「テンプレートマークアップの削除」コマンドを使用します。

1. 編集可能領域の左上隅にあるタブをクリックし、選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 修正／テンプレート／テンプレートマークアップの削除を選択します。
   - 右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、テンプレート／テンプレートマークアップの削除を選択します。

     領域を編集できなくなります。

トップへ戻る

編集可能領域の名前の変更

編集可能領域を挿入した後、その名前を変更することができます。

1. 編集可能領域の左上隅にあるタブをクリックし、選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で新しい名前を入力します。
3. Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver テンプレートの作成

Dreamweaver テンプレートの作成について
既存のドキュメントからのテンプレートの作成
アセットパネルを使用した新しいテンプレートの作成
Contribute サイト用のテンプレートの作成について
Contribute サイト用のテンプレートの作成

Dreamweaver テンプレートの作成について

トップへ戻る

テンプレートは、既存のドキュメント（HTML、Adobe ColdFusion、Microsoft Active Server Pages ドキュメントなど）または新規のドキュメントから作成できます。

注意： ColdFusion および ASP は、Dreamweaver CC 以降では削除されています。
テンプレートを作成したら、テンプレート領域を挿入して、テンプレートのコードカラーとテンプレート領域のハイライトカラーの環境設定を設定できます。

作成者や前回の編集日時、レイアウトの決定理由など、テンプレートの追加情報をそのテンプレートのデザインノートファイルに格納することもできます。テンプレートから作成されたドキュメントには、テンプレートのデザインノートは継承されません。

注意： Adobe Dreamweaver のテンプレートは、Dreamweaver テンプレートのページセクションが初期設定で固定または編集不能になっている、他の Adobe Creative Suite 製品のテンプレートと異なります。
テンプレートの作成方法のチュートリアルは、www.adobe.com/go/vid0157_jpを参照してください。

テンプレートの使用方法のチュートリアルは、www.adobe.com/go/vid0158_jp を参照してください。

既存のドキュメントからのテンプレートの作成

トップへ戻る

既存のドキュメントからテンプレートを作成できます。

1. テンプレートとして保存するドキュメントを開きます。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - ファイル／テンプレートとして保存を選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリで、「テンプレート」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「テンプレートの作成」を選択します。

     注意： 以前、「次からこの警告を表示しない」を選択していない限り、保存するドキュメントに編集可能領域が定義されていないことを通知する警告が表示されます。「OK」をクリックしてドキュメントをテンプレートとして保存するか、または「キャンセル」をクリックしてテンプレートを作成せずにダイアログボックスを閉じます。
3. サイトポップアップメニューからテンプレートを保存するサイトを選択し、「保存先」ボックスにテンプレートの一意の名前を入力します。
4. 「保存」をクリックします。Dreamweaver では、テンプレートファイルは、ファイル拡張子 .dwt を付けて、サイトのローカルルートフォルダーにあるサイトの Templates フォルダーに保存されます。サイトに Templates フォルダーがない場合は、新しいテンプレートを保存するときに自動的に作成されます。
   注意： Templates フォルダーからテンプレートを移動したり、Templates フォルダーにテンプレート以外のファイルを置くことはできません。また、Templates フォルダーは、ローカルルートフォルダーから移動しないでください。移動すると、テンプレートのパスにエラーが発生します。

アセットパネルを使用した新しいテンプレートの作成

トップへ戻る

1. アセットパネル（ウィンドウ／アセット）で、パネルの左側にある「テンプレート」カテゴリ を選択します。
2. アセットパネルの下部にある「新規テンプレート」ボタン をクリックします。

   名前の付いていない、新しいテンプレートがアセットパネルのテンプレート一覧に追加されます。
3. テンプレートを選択したまま、テンプレートの名前を入力し、Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

   Dreamweaver により、アセットパネルおよび Templates フォルダーに空白のテンプレートが作成されます。

Contribute サイト用のテンプレートの作成について

トップへ戻る

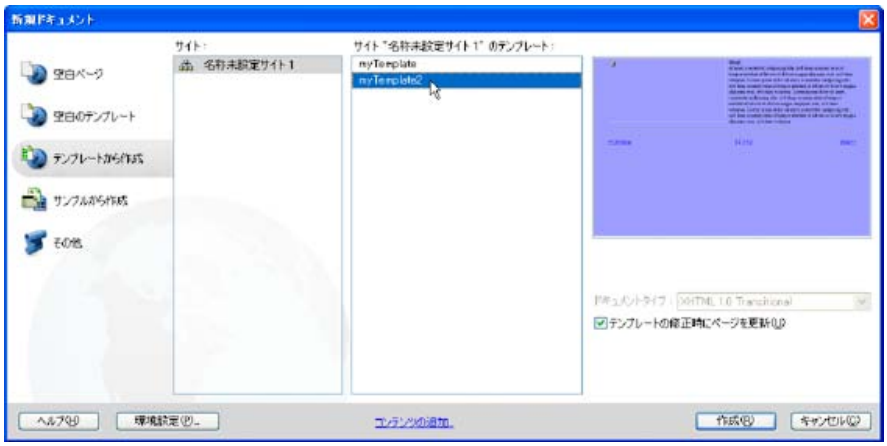
Dreamweaver を使用して、Adobe® Contribute® ユーザーが新しいページを作成する際に役立つテンプレートを作成することができます。テンプレートを使用することで、サイトの外観と印象に統一感を与えたり、多数のページのレイアウトを一度に更新することができます。

テンプレートを作成してサーバーにアップロードすると、サイトに接続したすべての Contribute ユーザーが利用できます。ただし、一部の Contribute のロールでテンプレートの使用を制限している場合を除きます。テンプレートの使用を制限している場合は、新しいテンプレートを作成するたびに、Contribute ユーザー用のテンプレートリストにそのテンプレートを追加する必要があります（詳しくは、『Contribute の使用と管理』を参照してください）。

注意： 各 Contribute ユーザーのサイト定義に設定されたサイトルートフォルダーが、Dreamweaver のサイト定義に設定されたサイトルートフォルダーと同じであることを確認します。ユーザーのサイトルートフォルダーが Dreamweaver の設定と一致しない場合は、そのユーザーはテンプレートを使用できません。

Dreamweaver テンプレートに加えて、Contribute の管理ツールを使用して "Dreamweaver 以外のテンプレート" を作成することもできます。Dreamweaver 以外のテンプレートは、Contribute ユーザーが新しいページを作成するのに使用できる既存のページです。Dreamweaver テンプレートと似ていますが、テンプレートを変更してもそれをベースにしたページが更新されない点で異なります。また、Dreamweaver 以外のテンプレートには、編集可能、ロック、繰り返し、およびオプション領域など、Dreamweaver テンプレートのエレメントを含めることができません。

Contribute ユーザーが Dreamweaver テンプレートの含まれているサイト内で新しいドキュメントを作成するときには、Contribute の新規ページダイアログボックスに、利用可能なテンプレート（Dreamweaver テンプレートと Dreamweaver 以外のテンプレートの両方）が一覧表示されます。



Latin-1 以外のエンコードを使用するページをサイトに追加するには、テンプレート（Dreamweaver テンプレートまたは Dreamweaver 以外のテンプレート）を作成する必要があります。Contribute ユーザーは、どのようなエンコード形式のページでも編集できますが、Contribute ユーザーが新しいブランクページを作成すると、そのページでは Latin-1 エンコードが使用されます（日本語版の Contribute では、Shift-JIS エンコードになります）。異なるエンコードを使用するページを作成するには、Contribute ユーザーは、他のエンコード形式の既存ページのコピーを作成するか、他のエンコード形式のテンプレートを使用します。ただし、他のエンコード形式のページやテンプレートがサイトにない場合は、まず Dreamweaver でそのエンコード形式のページやテンプレートを作成する必要があります。

トップへ戻る

Contribute サイト用のテンプレートの作成

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトを選択し、「編集」をクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで「Contribute」カテゴリを選択します。
4. まだ Contribute の互換性を有効にしていない場合は、有効にします。

   「Contribute 互換性を有効化」を選択し、サイトルートの URL を入力します。
5. 「Contribute でサイトを管理」をクリックします。
6. 管理者のパスワードを入力するよう求められた場合は、管理者のパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
7. 「ユーザーと役割」カテゴリで、ロールを選択して「役割の設定を編集」ボタンをクリックします。
8. 「新規ページ」カテゴリを選択し、「このリストからページをコピーして新規ページを作成」の下にあるリストに既存のページを追加します。

   詳しくは、『Contribute の使用と管理』を参照してください。
9. 「OK」を 2 回クリックしてダイアログボックスを閉じます。

関連項目

テンプレート作成方法のチュートリアル

テンプレート使用方法のチュートリアル

空のテンプレートの作成

(cc) BY-NC-SA

既存のドキュメントでのテンプレートの適用または削除

既存のドキュメントへのテンプレートの適用
テンプレートからのドキュメントの切り離し

トップへ戻る

既存のドキュメントへのテンプレートの適用

既にコンテンツがあるドキュメントにテンプレートを適用する場合、Dreamweaver は既存のコンテンツとテンプレートの領域を可能な限り一致させます。既存のテンプレートを修正したものを適用する場合、通常は名前が一致します。

テンプレートが適用されていないドキュメントにテンプレートを適用すると、比較する編集可能領域がないため、不一致が発生します。Dreamweaver では、これらの不一致を記録しているため、現在のページにあるコンテンツの移動先となる領域の選択や、一致しないコンテンツの削除が行えます。

アセットパネルまたはドキュメントウィンドウを使用して、テンプレートを既存のドキュメントに適用できます。テンプレートの適用は、必要に応じて元に戻すこともできます。

重要： 既存のドキュメントにテンプレートを適用すると、そのドキュメントのコンテンツがテンプレートのひな形のコンテンツに置き換えられます。必ずページのコンテンツをバックアップしてから、ドキュメントにテンプレートを適用してください。

アセットパネルを使用した既存ドキュメントへのテンプレートの適用

1. テンプレートを適用するドキュメントを開きます。
2. アセットパネル（ウィンドウ／アセット）で、パネルの左側にある「テンプレート」カテゴリ を選択します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 適用するテンプレートをアセットパネルからドキュメントウィンドウにドラッグします。
   - 適用するテンプレートを選択し、アセットパネルの下部にある「適用」ボタンをクリックします。

     テンプレート領域に自動的に割り当てることができないコンテンツがドキュメントにある場合、領域名の不一致ダイアログボックスが表示されます。
4. コンテンツを新しい領域に移動メニューを使用してコンテンツの移動先を選択し、以下のいずれかを選択します。
   - 既存のコンテンツの移動先となる新規テンプレート内の領域を選択します。
   - 「なし」を選択して、ドキュメントからコンテンツを削除します。
5. 選択した領域に未解決のコンテンツをすべて移動するには、「すべてに使用」をクリックします。
6. 「OK」をクリックしてテンプレートを適用するか、または「キャンセル」をクリックしてテンプレートのドキュメントへの適用をキャンセルします。
   重要： 既存のドキュメントにテンプレートを適用すると、そのドキュメントのコンテンツがテンプレートのひな形のコンテンツに置き換えられます。必ずページのコンテンツをバックアップしてから、ドキュメントにテンプレートを適用してください。

ドキュメントウィンドウから既存のドキュメントへのテンプレートの適用

1. テンプレートを適用するドキュメントを開きます。
2. 修正／テンプレート／テンプレートをページに適用を選択します。

   テンプレートの選択ダイアログボックスが表示されます。
3. リストからテンプレートを選択し、「選択」をクリックします。

   テンプレート領域に自動的に割り当てることができないコンテンツがドキュメントにある場合、領域名の不一致ダイアログボックスが表示されます。
4. コンテンツを新しい領域に移動メニューを使用してコンテンツの移動先を選択し、以下のいずれかを選択します。
   - 既存のコンテンツの移動先となる新規テンプレート内の領域を選択します。
   - 「なし」を選択して、ドキュメントからコンテンツを削除します。
5. 選択した領域に未解決のコンテンツをすべて移動するには、「すべてに使用」をクリックします。
6. 「OK」をクリックしてテンプレートを適用するか、または「キャンセル」をクリックしてテンプレートのドキュメントへの適用をキャンセルします。
   重要： 既存のドキュメントにテンプレートを適用すると、そのドキュメントのコンテンツがテンプレートのひな形のコンテンツに置き換えられます。必ずページのコンテンツをバックアップしてから、ドキュメントにテンプレートを適用してください。

テンプレートの変更の取り消し

❖ 編集／取り消し テンプレートの適用を選択します。

これにより、テンプレートを適用する前の状態にドキュメントを戻すことができます。

トップへ戻る

テンプレートからのドキュメントの切り離し

テンプレートから作成されたドキュメントのロックされている領域を変更するには、テンプレートからドキュメントを切り離す必要があります。ドキュメントを切り離すと、ドキュメント全体が編集可能になります。

注意： 単にテンプレートファイル（.dwt）を HTML（.html）ファイル形式で保存し直すだけでは、テンプレートファイルを通常のファイルに変換することはできません。その方法では、テンプレートコードがドキュメント内に含まれたままになります。テンプレートファイルから通常のファイルへの変換を行う目的で通常の HTML ファイルとしてドキュメントを保存してもかまいませんが、その場合、コードビューでテンプレートコードをすべて削除する必要があります。

1. 切り離すテンプレートから作成されたドキュメントを開きます。
2. 修正／テンプレート／テンプレートから切り離すを選択します。

   ドキュメントがテンプレートから切り離され、すべてのテンプレートコードが削除されます。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver テンプレートについて

Dreamweaver テンプレートの概要
テンプレート領域のタイプ
テンプレート内のリンク
テンプレートのサーバースクリプトおよびテンプレートから作成されたドキュメント
テンプレートパラメーター
テンプレート式
テンプレート式の言語
テンプレートコードの複数の If 条件

Dreamweaver テンプレートの概要

トップへ戻る

テンプレートは、"固定" ページレイアウトをデザインするために使用する特殊なドキュメントです。そのページレイアウトを継承したテンプレートに基づいて、ドキュメントを作成することができます。テンプレートをデザインする際、そのテンプレートに基づいて、ドキュメント内でユーザーが編集できるコンテンツを "編集可能" として指定します。テンプレートにより、ライターやグラフィックアーティスト、Web デベロッパーなどのテンプレートユーザーが編集できるページエレメントをテンプレートの作成者が制御できます。テンプレートの作成者がドキュメントに設定できるテンプレート領域には数種類あります。

注意： テンプレートを使用することにより、広範囲のデザイン領域を制御し、レイアウト全体を再利用することができます。サイトの著作権情報やロゴなど、個別のデザインエレメントを再利用する場合は、ライブラリ項目を作成します。
テンプレートを使用すると、複数のページを同時に更新することができます。テンプレートを使用して作成されたドキュメントは、後からテンプレートを切り離さない限り、そのテンプレートに関連付けられたまま維持されます。テンプレートを変更すると、そのテンプレートから作成されたすべてのドキュメントのデザインを、瞬時に更新することができます。

注意： Dreamweaver のテンプレートは、Dreamweaver テンプレートのページセクションが初期設定で固定または編集不能になっている、他の Adobe Creative Suite ソフトウェアのテンプレートと異なります。

テンプレート領域のタイプ

トップへ戻る

ドキュメントをテンプレートとして保存すると、ドキュメントのほとんどの領域がロックされます。テンプレートの作成者は、テンプレートから作成されたドキュメントのどの領域を編集できるようにするかを、テンプレートに編集可能領域または編集可能パラメーターを挿入することによって指定します。

編集可能領域およびロックされている領域は、テンプレートを作成しながら変更することができます。ただし、テンプレートから作成されたドキュメントでは、テンプレートユーザーが編集できる領域は、編集可能領域に制限されます。つまり、ロックされている領域を変更することはできません。

テンプレート領域には、次の 4 つのタイプがあります。

編集可能領域 テンプレートから作成されたドキュメント内のロックされていない領域、つまりテンプレートユーザーが編集できる部分です。テンプレートの作成者は、テンプレートの任意の領域を編集可能領域として指定できます。テンプレートを有効にするには、最低 1 つの編集可能領域を定義する必要があります。そうでないと、テンプレートから作成されたページを編集することができません。
リピート領域 テンプレートから作成されたドキュメントに設定されたドキュメントレイアウトの 1 つのセクションです。テンプレートユーザーは、必要に応じてこのリピート領域のコピーを追加または削除できます。例えば、テーブルの行を繰り返すように設定できます。リピート領域は編集可能で、テンプレートユーザーは繰り返しエレメント内のコンテンツを編集できます。デザイン自体はテンプレートの作成者によって制御されます。
テンプレートに挿入できるリピート領域には、リピート領域とリピートテーブルの 2 つのタイプがあります。

オプション領域 ドキュメントに表示または非表示にするテキストまたはイメージなどのコンテンツが保持された、テンプレートの一部分です。テンプレートから作成されたページにコンテンツを表示するかどうかは、通常、テンプレートユーザーが制御します。
編集可能なタグ属性 テンプレート内のタグ属性のロックを解除して、テンプレートから作成されたページで属性を編集できます。例えば、テンプレートの作成者がドキュメントに表示するイメージを "ロック" して、イメージを左、右、中央のいずれに表示するかは、テンプレートユーザーが設定できるようにすることができます。

テンプレート内のリンク

トップへ戻る

既存のページをテンプレートとして保存する方法でテンプレートファイルを作成すると、Templates フォルダー内に保存される新しいテンプレートとファイル内のすべてのリンクが、正しいドキュメント相対パスに更新されます。そのテンプレートを使用してドキュメントを作成し保存すると、ドキュメント相対リンクがすべて更新され、正しいファイルへのリンクが維持されます。

新しいドキュメント相対リンクをテンプレートファイルに追加する場合、プロパティインスペクターの「リンク」テキストボックスにパスを入力

すると、誤ったパス名を入力してしまうことがあります。テンプレートファイルの正しいパスは、Templates フォルダーから、リンクするドキュメントへのパスです。テンプレートから作成されたドキュメントのフォルダーから、リンクするドキュメントへのパスではありません。テンプレートにリンクを作成する場合は、プロパティインスペクターのフォルダーアイコンまたはファイルの指定アイコンを使用して、リンクの正しいパスを設定します。

Dreamweaver 8.01 のリンク更新の環境設定

Dreamweaver 8 より前の、Dreamweaver MX 2004 以前のバージョンでは、Dreamweaver は、 Templates フォルダー内に配置されているファイルへのリンクを更新しません。例えば、Templates フォルダー内に main.css という名前のファイルがあり、テンプレートファイルに href="main.css" と記述されたリンクがある場合、テンプレートからページを作成するときに Dreamweaver はこのリンクを更新しません。

一部のユーザーは、Templates フォルダー内にあるファイルへのリンクの一貫性が確保されない Dreamweaver のこの処理方法を利用して、テンプレートからページを作成するときに更新しないリンクを意図的に作成していました。例えば、Dreamweaver MX 2004 を使用している環境に、Dreamweaver、Flash、Photoshop などの異なるアプリケーションの様々なフォルダーを使用するサイトがあるとします。それぞれの製品フォルダーにテンプレートで作成した index.html ページがあり、同じレベルに main.css ファイルの固有のバージョンもあります。例えば、href="hmain.css" というドキュメント相対リンク（Templates フォルダー内にある main.css ファイルへのリンク）がテンプレートファイルにあるとき、このリンク記述をテンプレートから作成される index.html ページにもそのまま含めたい場合、テンプレートから index.html ページを作成する際にそれらのリンクが Dreamweaver によって変更される可能性を考慮する必要はありません。Dreamweaver MX 2004 でテンプレートから index.html ページを作成すると、その中の href="main.css" リンクは（変更されていないため）Dreamweaver、Flash、Photoshop の各フォルダーにある main.css ファイルを参照します。Templates フォルダーにある main.css ファイルを参照するようになることはありません。

一方、Dreamweaver 8 ではこの動作が変更されたため、テンプレートからページを作成すると、リンク先ファイルの場所に関係なくすべてのドキュメント相対リンクが更新されます。この場合、Dreamweaver はテンプレートファイル内のリンク href="main.css" を調べ、テンプレートから作成されたページにある新しいドキュメントの場所への相対的なリンクを作成します。例えば、Templates フォルダーの 1 つ上のレベルにテンプレートからドキュメントを作成する場合、新しいドキュメントへの href="Templates/main.css" というリンクが作成されます。このため、Templates フォルダー内にあるファイルへのリンクは更新されないという、Dreamweaver の以前の動作を利用してデザイナーが作成したページのリンクが更新されます。

Dreamweaver 8.01 には、相対的なリンクを更新する動作のオンとオフを切り替える環境設定が追加されています。この特殊な環境設定は、Templates フォルダー内のファイルへのリンクにのみ適用され、一般のリンクには適用されません。初期設定の動作では、Dreamweaver MX 2004 およびそれ以前のバージョンと同じように、これらのリンクは更新されません。テンプレートからページを作成するときにこれらの種類のリンクを更新する場合は、この環境設定を解除することができます。これを解除すると、例えば Templates フォルダーにカスケーディングスタイルシート（CSS）ページ main.css がある場合に、テンプレートから作成したドキュメントにリンク href="Templates/main.css" が含まれるようにできます。そのような場合に限り解除してください。ただし、Templates フォルダー内に Dreamweaver テンプレート（DWT）ファイル以外を置くことは望ましくないため、この使用方法はお勧めできません。

Templates フォルダー内にあるテンプレート以外のファイルへのドキュメント相対パスを更新するには、サイト定義ダイアログボックスの「詳細設定」にある「テンプレート」カテゴリを選択し、「ドキュメントの相対パスを再書き込みしない」オプションをオフにします。

詳しくは、アドビ システムズ社の Web サイトで Dreamweaver テクニカルノート（www.adobe.com/go/f55d8739_jp）を参照してください。

トップへ戻る

テンプレートのサーバースクリプトおよびテンプレートから作成されたドキュメント

サーバースクリプトの中には、ドキュメントの最先端または最後尾（<html> タグの前、または </html> タグの後）に挿入されるものがあります。このようなスクリプトは、テンプレートおよびテンプレートから作成したドキュメントにおいて、特別な扱いが必要です。通常、テンプレートの <html> タグの前、または </html> タグの後にあるスクリプトコードを変更しても、テンプレートから作成するドキュメントに変更はコピーされません。そのため、テンプレートの本体に含まれる他のサーバースクリプトが、コピーされなかったスクリプトに依存している場合、サーバーにエラーが生じる可能性があります。テンプレートの <html> タグの前、または </html> タグの後にあるスクリプトを変更すると、警告が表示されます。

この問題を避けるには、テンプレートの head セクションに、以下のコードを挿入します。

```
<!-- TemplateInfo codeOutsideHTMLIsLocked="true" -->
```

このコードがテンプレートに挿入されると、<html> タグの前または </html> タグの後のスクリプトへの変更は、テンプレートから作成されたドキュメントにコピーされます。ただし、ドキュメント側でこれらのスクリプトを編集することはできなくなります。つまり、これらのスクリプトの編集は、テンプレート、またはテンプレートから作成したドキュメントのいずれかで行います。両方では編集できません。

トップへ戻る

テンプレートパラメーター

テンプレートパラメーターは、テンプレートから作成されたドキュメント内のコンテンツを制御するための値を示します。テンプレートパラメーターは、オプション領域や編集可能タグ属性に使用するだけでなく、添付先のドキュメントに継承する値の設定に使用できます。それぞれのパラメーターには、名前、データタイプ、および初期設定値を選択します。パラメーター名は、大文字と小文字が区別され一意の名前でなければなりません。パラメーターには、テキスト、Boolean、カラー、URL、数値の 5 つの許可されたデータタイプのいずれかを使用する必要があります。

テンプレートパラメーターは、インスタンスパラメーターとしてドキュメントに渡されます。テンプレートユーザーは、通常、パラメーターの初期設定値を編集して、テンプレートから作成されたドキュメントに表示するコンテンツをカスタマイズできます。また、テンプレート作成者は、テンプレート式の値に基づいて、ドキュメントに表示するコンテンツを決定することできます。

トップへ戻る

テンプレート式

テンプレート式は、値を計算または評価するステートメントです。

式を使用して値を保存し、その値をドキュメントに表示することができます。例えば、@@(Param)@@ などのようにパラメーターの値と同じくらいシンプルな式、または @@((_index & 1) ? red : blue)@@ などのように、テーブル行の背景色を変換するための値を計算する複雑な式を作成することができます。

単独の if 条件または複数の if 条件を表す式を定義することもできます。条件ステートメントで使用される式は、Dreamweaver では true（真）または false（偽）として評価されます。条件が true の場合、テンプレートから作成されたドキュメントにオプション領域が表示され、条件が false の場合は表示されません。

テンプレート式は、オプション領域を挿入するときにコードビューまたはオプション領域ダイアログボックスで定義できます。

コードビューでテンプレート式を定義するには、コメントで <!<!-- TemplateExpr expr="式" --> と記述する方法と、@@(式)@@ と記述する方法の 2 つがあります。テンプレートコードにテンプレート式を挿入すると、デザインビューに式のマーカーが表示されます。そのテンプレートを適用すると、Dreamweaver によって式が評価され、テンプレートから作成されたドキュメントに値が表示されます。

トップへ戻る

テンプレート式の言語

テンプレート式の言語は JavaScript の少数のサブセットであり、JavaScript のシンタックスと優先ルールが使用されています。例えば以下のように JavaScript の演算子を使用して、式を記述します。

```
@@(firstName+lastName)@@
```

サポートされている機能および演算子は以下のとおりです。

- 数字リテラル、ストリングリテラル（二重引用符のシンタックスのみ）、ブールリテラル（true または false）
- 変数リファレンス（この項の後半に示された定義済みの変数のリストを参照）
- フィールドリファレンス（"dot" 演算子）
- 単項演算子： +, -, ~, !
- バイナリ演算子： +, -, *, /, %, &, |, ^, &&, ||, <, <=, >, >=, ==, !=, <<, >>
- 条件演算子： ?:
- カッコ：()

  データタイプには、ブール、IEEE 64 bpc 浮動小数点、ストリング、およびオブジェクトが使用されます。Dreamweaver のテンプレートでは、JavaScript の "null" タイプおよび "undefined" タイプはサポートされていません。また、オブジェクトに暗黙的に変換されるスカラータイプも使用できません。したがって、"abc".length という式はエラーを引き起こし、3 という値を求めることはできません。

  式オブジェクトモデルで定義されているオブジェクトのみ使用できます。定義されている変数は、以下のとおりです。

  _document ドキュメント内のパラメーターごとに 1 つずつフィールドがあり、ドキュメントレベルのテンプレートデータを保持します。

  _repeat リピート領域内に表示される式に対してのみ定義されます。領域に関する組み込み情報を指定します。

  _index 現在のエントリの数字インデックス（0 から）。

  _numRows このリピート領域に含まれるエントリの合計数。

  _isFirst 現在のエントリがリピート領域の最初のエントリの場合は true。

  _isLast 現在のエントリがリピート領域の最後のエントリの場合は true。

  _prevRecord _repeat オブジェクト。領域の最初のエントリに対してこのプロパティを使用するとエラーになります。

  _nextRecord _repeat オブジェクト。領域の最後のエントリに対してこのプロパティを使用するとエラーになります。

  _parent ネストされたリピート領域で、外側のリピート領域の "_repeat" オブジェクトを指定します。ネストされたリピート領域以外にこのプロパティを使用するとエラーになります。

  式の評価では、_document オブジェクトおよび _repeat オブジェクトのすべてのフィールドが暗黙的に使用可能になります。例えば、_document.title の代わりに title を入力して、ドキュメントのタイトルパラメーターを表示することができます。

  フィールドの衝突が生じた場合は、_repeat オブジェクトのフィールドが _document オブジェクトのフィールドに優先します。したがって、_document または _repeat を明示的に参照する必要はありません。ただし、リピート領域のパラメーターによって非表示にされているドキュメントパラメーターを参照するために、リピート領域の内側に _document が必要な場合を除きます。

  ネストされたリピート領域が使用されている場合は、最も内側にあるリピート領域のフィールドのみが暗黙的に使用可能になります。外側の領域は、_parent を使用して明示的に参照する必要があります。

トップへ戻る

テンプレートコードの複数の If 条件

単独の if 条件または複数の if 条件を表すテンプレート式を定義できます。以下の例は、"Dept" というパラメーターを定義して、初期値を設定した後、表示するロゴを確定する複数の If 条件を定義しています。

以下は、テンプレートの head セクションに入力するコード例です。

```
<!-- TemplateParam name="Dept" type="number" value="1" -->
```

次の条件ステートメントは、Dept パラメーターに割り当てられた値をチェックします。条件が true、つまり一致する場合は、適切なイメージが表示されます。

```
<!-- TemplateBeginMultipleIf -->
<!-- checks value of Dept and shows appropriate image-->
<!-- TemplateBeginIfClause cond="Dept == 1" --> <img src=".../sales.gif"> <!-- TemplateEndIfClause -->
<!-- TemplateBeginIfClause cond="Dept == 2" --> <img src=".../support.gif"> <!-- TemplateEndIfClause-->
<!-- TemplateBeginIfClause cond="Dept == 3" --> <img src=".../hr.gif"> <!-- TemplateEndIfClause -->
<!-- TemplateBeginIfClause cond="Dept != 3" --> <img src=".../spacer.gif"> <!-- TemplateEndIfClause -->
<!-- TemplateEndMultipleIf -->
```

テンプレートからドキュメントを作成すると、テンプレートパラメーターが自動的にそのドキュメントに渡されます。テンプレートユーザーは表示するイメージを決定します。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

XML

XML および XSLT について

Web ページで XML と XSL を使用する
サーバーサイド XSL 変換
クライアントサイド XSL 変換
XML データと繰り返しエレメント
XML データをプレビューする

トップへ戻る

Web ページで XML と XSL を使用する

XML（Extensible Markup Language）は、情報を構造化するための言語です。HTML と同様に、XML ではタグを使用して情報を構造化することができますが、XML タグは、HTML タグとは異なり、事前に定義されていません。その代わりに、XML では、自分のデータ構造（スキーマ）に適したタグを作成できます。タグの中にタグをネストして、親タグと子タグのスキーマを作成します。大半の HTML タグと同様に、XML スキーマのすべてのタグには開始タグと終了タグがあります。

次の例では、XML ファイルの基本構造を示します。

```
<?xml version="1.0">
<mybooks>
    <book bookid="1">
        <pubdate>03/01/2004</pubdate>
        <title>Displaying XML Data with Adobe Dreamweaver</title>
        <author>Charles Brown</author>
    </book>
    <book bookid="2">
        <pubdate>04/08/2004</pubdate>
        <title>Understanding XML</title>
        <author>John Thompson</author>
    </book>
</mybooks>
```

この例では、それぞれの親 <book> タグに 3 つの子タグ（<pubdate>、<title> および <author>）が含まれています。同時に、各 <book> タグは、スキーマの 1 レベル上位にある <mybooks> タグの子タグでもあります。XML タグは、タグのネストが適切であり、開始タグと終了タグが対応している限り、自由に名前を付けて構造化することができます。

XML ドキュメントには書式は含まれません。構造化された情報が含まれるだけです。XML スキーマを作成した後は、XSL（Extensible Stylesheet Language）を使用して情報を表示することができます。CSS（カスケーディングスタイルシート）で HTML をフォーマットするように、XSL で XML データをフォーマットします。XSL ファイルでスタイル、ページエレメント、レイアウトなどを定義して、それを XML ファイルに適用すると、ユーザーが XML データをブラウザーに表示するときに、XSL ファイルで定義した内容に基づいてデータがフォーマットされるようになります。コンテンツ（XML データ）とプレゼンテーション（XSL ファイルで定義したもの）は完全に分離されており、Web ページに情報を表示する際に自由な表現が可能になります。本質的に XSL は、HTML ページが基本的な出力である XML のプレゼンテーションテクノロジです。

XSLT（Extensible Stylesheet Language Transformations）は XSL のサブセット言語であり、XML データを実際に Web ページに表示し、XSL スタイルを使用して読みやすく整えられた HTML 形式に「変換」します。Dreamweaver を使用すると、アプリケーションサーバーやブラウザーを使用した XSL の変換が実行できる XSLT ページを作成できます。サーバーサイド XSL 変換では、サーバーで XML と XSL の変換が実行され、ページに表示されます。クライアントサイド変換では、ブラウザー（Internet Explorer など）で処理されます。

最終的に使用する方法（サーバーサイド変換またはクライアントサイド変換）は、最終的に求めている結果、利用可能なテクノロジ、XML ソースファイルへのアクセスレベルなどの要因によって決まります。いずれの方法にも、それぞれの利点と限界があります。例えば、サーバーサイド変換はすべてのブラウザーで機能しますが、クライアントサイド変換が機能するのは最近のブラウザー（Internet Explorer 6、Netscape 8、Mozilla 1.8、および Firefox 1.0.2）だけです。サーバーサイド変換では、自分のサーバーや Web 上の他の場所にある XML データを動的に表示することができますが、クライアントサイド変換では、自分の Web サーバーにあるローカルの XML データを使用する必要があります。最後に、サーバーサイド変換では、設定済みのアプリケーションサーバーにページを配置する必要がありますが、クライアントサイド変換で必要なのは Web サーバーへのアクセスだけです。

XML に関するチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0165_jp を参照してください。

トップへ戻る

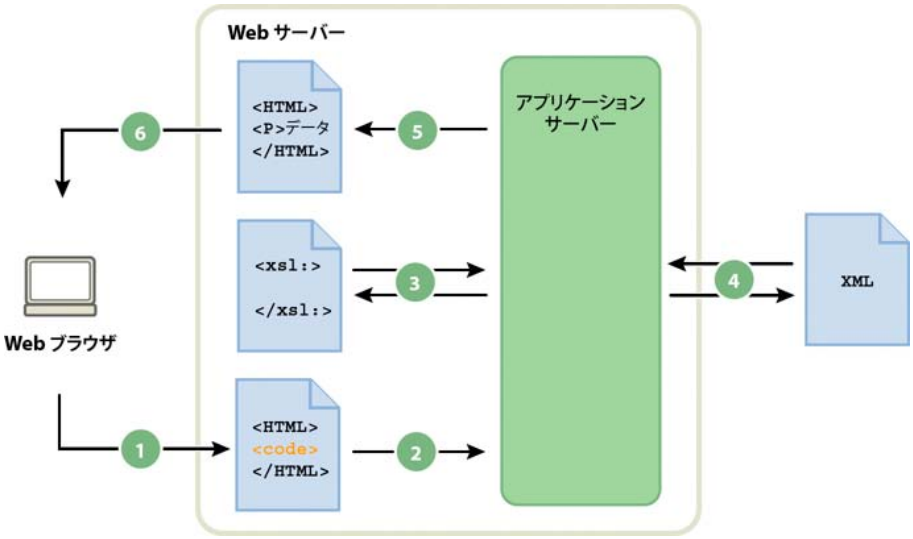
サーバーサイド XSL 変換

Dreamweaver では、サーバーサイド XSL 変換が実行できる XSLT ページを作成できます。アプリケーションサーバーが XSL 変換を実行する場合、XML データを含むファイルは、ユーザー独自のサーバーまたは Web 上の任意の場所に配置できます。さらに、変換されたデータは任意のブ

ラウザーで表示できます。ただし、サーバーサイド変換でのページの配置はやや複雑であり、アプリケーションサーバーにアクセスできることが条件になります。

サーバーサイド XSL 変換を使用すると、Dreamweaver を使用して完全な HTML ドキュメント（XSLT ページ全体）を生成する XSLT ページ、または HTML ドキュメントの一部を生成する XSLT フラグメントを作成できます。XSLT ページ全体は一般の HTML ページと似ています。<body> タグと <head> タグがあり、HTML データと XML データを組み合わせてページに表示できます。XSLT フラグメントは、XML データをフォーマットして表示するためのコードの集まりで、別のドキュメントによって使用されます。これは、完全な XSLT ページとは異なる独立したファイルで、<body> タグや <head> タグは含まれません。XML データを独自のページに表示する場合は、XSLT ページ全体を作成して、そのページに XML データをバインドします。一方、XML データを既存の動的ページの特定のセクションに表示する場合（例えば、スポーツ用品店の動的ページの左側に RSS フィードからのスポーツ競技の得点を表示する場合）は、XSLT フラグメントを作成して、そのフラグメントへの参照を動的ページに挿入します。XSLT フラグメントを作成し、他の動的ページと共にそのフラグメントを使用することは、より一般的な手順です。

こうした種類のページを作成する最初の手順は、XSLT フラグメントを作成することです。これは、動的ページで最終的に表示する XML データのレイアウトやフォーマットなどが含まれた別個のファイルです。XSLT フラグメントを作成したら、そのフラグメントへの参照を動的ページ（PHP ページや ColdFusion ページなど）に挿入します。挿入したフラグメントへの参照は、サーバーサイドインクルード（SSI）と同じような機能を持ちます。フォーマットされた XML データ（フラグメント）は別のファイルに存在し、デザインビューでは、フラグメントのプレースホルダーが動的ページに表示されます。フラグメントへの参照のある動的ページがブラウザーで要求されると、サーバーで命令が実行され、プレースホルダーの代わりに、フラグメントのフォーマットされたコンテンツが表示される新しいドキュメントが作成されます。



1. ブラウザーが動的ページを要求する **2.** Web サーバーがページを検索してアプリケーションサーバーに渡す **3.** アプリケーションサーバーがページをスキャンして命令を探し、XSLT フラグメントを取得する **4.** アプリケーションサーバーが変換を実行する（XSLT フラグメントを読み取り、XML データを取得してフォーマットする） **5.** アプリケーションサーバーがフラグメントの変換結果をページに挿入し、そのページを Web サーバーに渡す **6.** Web サーバーが完成したページをブラウザーに送信する

XSLT フラグメントへの参照を動的ページに挿入するには、XSL 変換サーバービヘイビアーを使用します。参照を挿入すると、Dreamweaver により、ランタイムライブラリファイルが格納された includes/MM_XSLTransform/ フォルダーが、サイトのルートフォルダーに生成されます。アプリケーションサーバーは、指定された XML データを変換するときに、このファイルに定義されている関数を使用します。このファイルは、XML データと XSLT フラグメントを取得し、XSL 変換を実行して、結果を Web ページに出力します。

ページを正しく表示するには、XSLT フラグメントを含むファイル、データを含む XML ファイル、および生成されたランタイムライブラリファイルは、すべてサーバー上にある必要があります。データソースとしてリモート XML ファイル（RSS フィードのファイルなど）を選択した場合、そのファイルはインターネット上の他の場所にある必要があります。

Dreamweaver により、サーバーサイド変換で使用する XSLT ページ全体を作成することもできます。XSLT ページ全体が XSLT フラグメントとまったく同じように動作するのは、XSL 変換サーバービヘイビアーを使って XSLT ページ全体への参照を挿入し、HTML ページの完全なコンテンツを挿入するときだけです。そのため、動的ページ（コンテナページとして動作する .cfm、.php、または .asp ページ）では、参照を挿入する前にすべての HTML をクリアしておく必要があります。

Dreamweaver は、ColdFusion、ASP、PHP の各ページの XSL 変換をサポートしています。

注意： サーバーは、サーバーサイド変換を実行するように正しく設定しておく必要があります。詳しくは、サーバー管理者にご連絡ください。

トップへ戻る

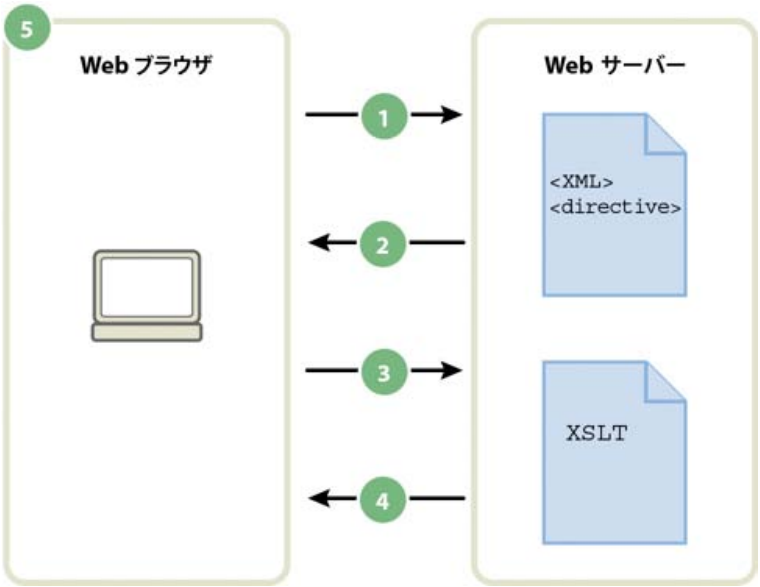
クライアントサイド XSL 変換

アプリケーションサーバーを使用せずに、クライアントで XSL 変換を実行することができます。Dreamweaver を使用して、XSL 変換を実行する XSLT ページ全体を作成できますが、クライアントサイド変換では、表示データが含まれる XML ファイルを操作する必要があります。さらに、クライアントサイド変換は、最新のブラウザー（Internet Explorer 6、Netscape 8、Mozilla 1.8、および Firefox 1.0.2）のみで動作します。XSL 変換をサポートするブラウザーとサポートしないブラウザーについて詳しくは、www.w3schools.com/xsl/xsl_browsers.asp を参照してください。

まず、XSLT ページ全体を作成して XML データソースを適用します （新規ページを作成する際に、Dreamweaverによってデータソースの適用が要求されます）。最初から XSLT ページを作成するか、既存の HTML ページを XSLT ページに変換することができます。既存の HTML ページを XSLT ページに変換するときは、バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）を使用して、XML データを適用する必要があります。

XSLT ページを作成したら、XSLT ページへの参照を XML ファイルに挿入し、XML データを含む XML ファイルに XSLT ページをリンクする必要があります。これは、HTML ページの <head> セクションに外部 CSS スタイルシートへの参照を挿入するのと同様です。サイトのビジターは、ブラウザーで、XSLT ページではなく XML ファイルを表示する必要があります。サイトのビジターがページを表示すると、ブラウザーで XSL 変換が実行され、リンクされた XSLT ページによってフォーマットされた XML データが表示されます。

リンクされた XSLT ページと XML ページの関係は、外部 CSS/HTML ページモデルと似ていますが、実際には異なります。テキストなどのコンテンツを含む HTML ページがある場合は、外部スタイルシートを使ってコンテンツをフォーマットします。HTML ページによってコンテンツが決まり、ユーザーには表示されない外部 CSS コードによって表示が決まります。XSLT および XML の場合、状況は逆になります。ユーザーにはそのままの形式で表示されない XML ファイルによってコンテンツが決まり、XSLT ページによって表示が決まります。XSLT ページには、通常は標準の HTML に含まれる、テーブル、レイアウト、グラフィックなどが含まれます。ユーザーがブラウザーで XML ファイルを表示すると、XSLT ページによってコンテンツがフォーマットされます。



1. ブラウザーが XML ファイルを要求する **2.** サーバーがブラウザーへの応答として XML ファイルを送信する **3.** ブラウザーが XML ディレクティブを読み取り、XSLT ファイルを呼び出す **4.** サーバーが XSLT ファイルをブラウザーに送信する **5.** ブラウザーが XML データを変換して表示する

Dreamweaver を使用して XSLT ページを XML ページにリンクすると、Dreamweaver により XML ページの先頭に適切なコードが挿入されます。リンク先の XML ページを自分が所有している場合（つまり XML ファイルが自分の Web サーバー上に排他的に存在する場合）、Dreamweaver を使用して、2 つのページをリンクする適切なコードを挿入するだけで済みます。XML ファイルを所有している場合、クライアントによって実行される XSL 変換は完全に動的になります。つまり、XML ファイルでデータを更新するたびに、リンクされた XSLT ページを使用する HTML 出力は、新しい情報で自動的に更新されます。

注意： クライアントサイド変換に使用する XML ファイルと XSL ファイルは、同じディレクトリにある必要があります。同じディレクトリにない場合、ブラウザーは XML ファイルを読み取り、変換する XSLT ページを見つけますが、XSLT ページに相対リンクで定義されているアセット（スタイルシートやイメージなど）を見つけることができません。

リンク先の XML ページを自分が所有していない場合（例えば、Web 上の RSS フィードからの XML データを使用する場合）、ワークフローは少し複雑になります。外部ソースからの XML データを使ってクライアントサイド変換を実行する場合は、最初に、XSLT ページが存在するディレクトリに XML ソースファイルをダウンロードする必要があります。XML ページをローカルサイトにダウンロードしたら、Dreamweaver を使用して、そのページを XSLT ページにリンクする適切なコードを追加し、両方のページ（ダウンロードした XML ファイルおよびリンク先の XSLT ページ）を Web サーバーにポストできます。ユーザーがブラウザーで XML ページを表示すると、XSLT ページによって前述のようにコンテンツがフォーマットされます。

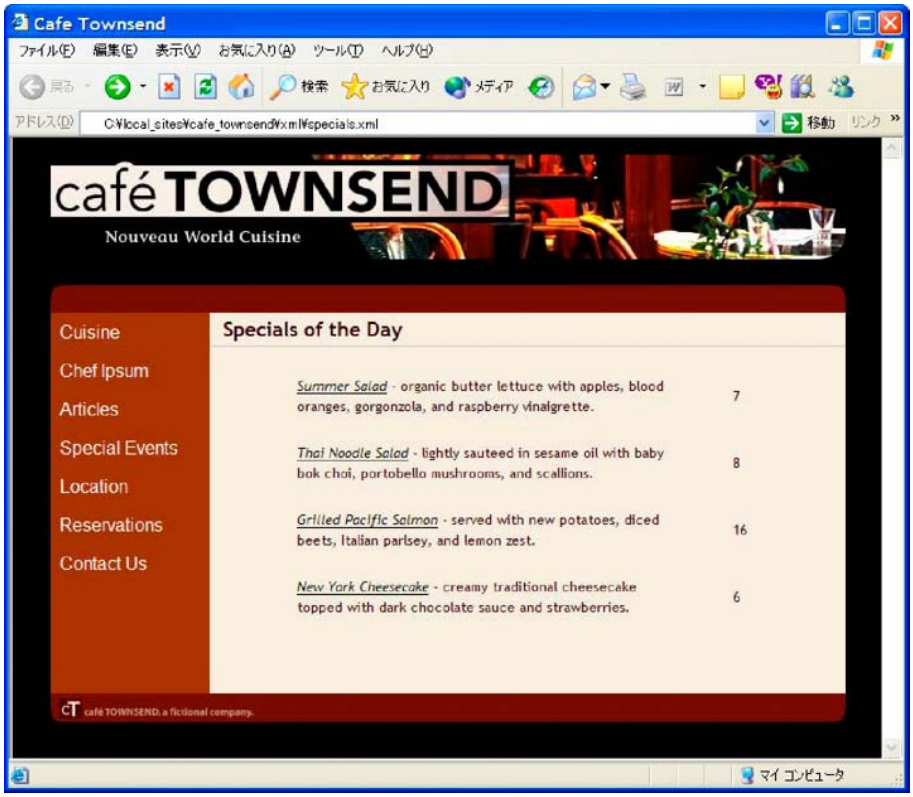
外部ソースからの XML データでクライアントサイド XSL 変換を実行する上での短所は、XML データが部分的にしか「動的」にならないということです。ダウンロードして変更する XML ファイルは、Web 上の他の場所にあるファイルの「スナップショット」にすぎません。Web 上にある元の XML ファイルが変更された場合は、ファイルを再度ダウンロードし、そのファイルを XSLT ページにリンクして、Web サーバーにファイルを再ポストする必要があります。ブラウザーは、元の XML ソースファイルに含まれたデータではなく、Web サーバー上の XML ファイルから受信したデータを表示するのみです。

トップへ戻る

XML データと繰り返しエレメント

リピート領域 XSLT オブジェクトを使用すると、XML ファイルの繰り返しエレメントをページ内に表示できます。XML データプレースホルダーが含まれる領域は、リピート領域に変換することができます。ただし、通常はテーブル、テーブル行、または複数のテーブル行などをリピート領域にします。

次の例では、レストランのメニューを表示するテーブル行にリピート領域 XSLT オブジェクトを適用する方法を示します。最初の行は、XML スキーマの 3 つの異なるエレメントであるアイテム、説明、価格を表示します。リピート領域 XSLT オブジェクトがテーブル行に適用され、ページがアプリケーションサーバーまたはブラウザーで処理されると、新しい各テーブルに一意のデータが挿入されてテーブル行が繰り返されます。



リピート領域 XSLT オブジェクトをドキュメントウィンドウでエレメントに適用すると、リピート領域は薄いグレーの枠線で囲まれます。上記の図のように、ブラウザーでプレビューすると（ファイル／ブラウザーでプレビュー）、グレーの枠線が消え、選択範囲が拡張されて、XML ファイルにある指定した繰り返しエレメントが表示されます。

リピート領域 XSLT オブジェクトをページに追加すると、ドキュメントウィンドウの XML データプレースホルダーの長さが切り捨てられます。これは、繰り返しエレメントのパスを基準にした相対パスになるように、Dreamweaver では XMLデータプレースホルダーの XPath（XML Path Language）式が更新されるためです。

例えば、次のコードは、テーブルにリピート領域 XSLT オブジェクトを適用せずに、2 つの動的プレースホルダーを含むテーブルを対象にしています。

```
<table width="500" border="1">
    <tr>
        <td><xsl:value-of select="rss/channel/item/title"/></td>
    </tr>
    <tr>
        <td><xsl:value-of select="rss/channel/item/description"/></td>
    </tr>
</table>
```

次のコードは、リピート領域 XSLT オブジェクトを適用した同じテーブルを対象としています。

```
<xsl:for-each select="rss/channel/item">
    <table width="500" border="1">
        <tr>
            <td><xsl:value-of select="title"/></td>
        </tr>
        <tr>
            <td><xsl:value-of select="description"/></td>
        </tr>
    </table>
</xsl:for-each>
```

前述の例では、Dreamweaver により、完全なドキュメントではなく、<xsl:for-each> タグ間の XPath に対して相対的なリピート領域（title および description）内にある項目の XPath が更新されました。

その他の状況でも、Dreamweaver によってコンテキスト相対 XPath 式が生成されます。例えば、既にリピート領域 XSLT オブジェクトが適用されたテーブルに XML データプレースホルダーをドラッグすると、Dreamweaver により、<xsl:for-each> タグ内にある既存の XPath に対して相対的な XPath が自動的に表示されます。

XML データをプレビューする

「ブラウザーでプレビュー」（ファイル／ブラウザーでプレビュー）を使用して、XSLT フラグメントまたは XSLT ページ全体に挿入した XML データをプレビューする際に、XSL 変換を実行するエンジンは状況によって異なります。XSLT フラグメントを含む動的ページに対しては、アプリケーションサーバーが常に変換を実行します。Dreamweaver またはブラウザーによって変換が実行される場合もあります。

次の表では、「ブラウザーでプレビュー」を使用する状況と、変換を実行するエンジンを示します。

ブラウザーでプレビューするページのタイプ	データ変換を実行するエンジン
XSLT フラグメントを含む動的ページ	アプリケーションサーバー
XSLT フラグメントまたは XSLT ページ全体	Dreamweaver
XSLT ページ全体へのリンクが設定された XML ファイル	ブラウザー

以下のトピックでは、ニーズに応じて適切なプレビュー方法を判断するためのガイドラインを示します。

サーバーサイド変換のためのページのプレビュー
サーバーサイド変換の場合、最終的にサイトのビジターに表示されるコンテンツは、アプリケーションサーバーによって変換されます。サーバーサイド変換で使用する XSLT および動的ページを作成するときは、XSLT フラグメントそのものではなく、XSLT フラグメントを含む動的ページをプレビューすることを常にお勧めします。前の例では、ビジターに表示されるページとプレビューとの一貫性を保つために、アプリケーションサーバーを使用しました。後の例では、Dreamweaver によって変換を実行しましたが、結果に若干の不整合が生ずる可能性がありました。Dreamweaver により、作成中に XSLT フラグメントをプレビューできますが、XSLT フラグメントを挿入した後にアプリケーションサーバーを使用して動的ページをプレビューすると、データ表示の最も正確な結果を取得できます。

クライアントサイド変換のためのページのプレビュー
クライアントサイド変換の場合、最終的にサイトのビジターに表示されるコンテンツは、ブラウザーによって変換されます。このためには、XML ファイルから XSLT ページにリンクを追加します。Dreamweaver で XML ファイルを開き、ブラウザーでプレビューすると、ブラウザーで強制的に XML ファイルが読み込まれ、変換されます。これにより、サイトのビジターと同じ体験をすることができます。

ただし、この方法を使用すると、ブラウザーにより XML が変換され、HTML が内部的に生成されるため、ページのデバッグが困難になります。ブラウザーのソースを表示するオプションを選択して、生成された HTML をデバッグする場合、ページを表示する完全な HTML（タグ、スタイルなど）ではなく、ブラウザーが受け取った元の XML のみが表示されます。ソースコードを表示するときに完全な HTML を表示するには、代わりにブラウザーで XSLT ページをプレビューする必要があります。

XSLT ページ全体と **XSLT** フラグメントのプレビュー
XSLT ページ全体と XSLT フラグメントを作成するときは、作業をプレビューして、データが正しく表示されるかどうか確認することをお勧めします。「ブラウザーでプレビュー」を使用して XSLT ページ全体または XSLT フラグメントを表示する場合、Dreamweaver では組み込み変換エンジンを使って変換が実行されます。この方法により、素早く結果を得て、ページの作成とデバッグを徐々に行うのが簡単になります。また、ブラウザーでソースを表示するオプションを選択することで、完全な HTML（タグ、スタイルなど）を表示する方法が得られます。

注意： このプレビュー方法は、クライアントとサーバーのどちらを使用してデータを変換するかに関係なく、XSLT ページの作成を開始するときに一般的に使用されます。
関連項目
XML チュートリアル

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

サーバーでの XSL 変換の実行

サーバーサイド XSL 変換を実行するためのワークフロー
XSLT ページを作成する
HTML ページを XSLT ページに変換する
XML データソースを適用する
XSLT ページで XML データを表示する
繰り返し XML エレメントを表示する
動的ページに XSLT フラグメントを挿入する
動的ページで XSLT フラグメントを削除する
XSL 変換サーバービヘイビアーを編集する
動的リンクの作成
XSLT フラグメントへのスタイルの適用
XSL 変換でパラメーターを使用する
条件 XSLT 領域を作成および編集する
XSL コメントを挿入する
XPATH 式ビルダーを使用して XML データの式を追加する

トップへ戻る

サーバーサイド XSL 変換を実行するためのワークフロー

サーバーサイド XSL 変換はサーバーで実行できます。XML データを表示するページを作成する前に、サーバーサイドおよびクライアントサイド XSL 変換と、Web ページでの XML および XSL の使用を確認してください。

注意： サーバーは、サーバーサイド変換を実行するように正しく設定しておく必要があります。詳しくは、サーバー管理者にご連絡ください。
サーバーサイド XSL 変換を実行する一般的なワークフローは、次のとおりです。各手順については別のトピックで説明します。

1. Dreamweaver サイトを設定します。

2. サーバーテクノロジを選択し、アプリケーションサーバーを設定します。

3. アプリケーションサーバーをテストします。
例えば、処理が必要なページを作成し、そのページがアプリケーションサーバーによって処理されることを確認します。

4. XSLT フラグメントまたはページを作成するか、**HTML** ページを **XSLT** ページに変換します。

- Dreamweaver サイトに、XSLT フラグメントまたは XSLT ページ全体を作成します。
- 既存の HTML ページを XSLT ページ全体に変換します。

5. XML データソースをページに適用します。

6. データを **XSLT** フラグメントまたは **XSLT** ページ全体にバインドすることで、**XML** データを表示します。

7. 必要に応じて、**XML** データプレースホルダーを含むテーブルまたはテーブル行にリピート領域 **XSLT** オブジェクトを追加します。

8. 参照を挿入します。

- XSLT フラグメントへの参照を動的ページに挿入するには、XSL 変換サーバービヘイビアーを使用します。
- XSLT ページ全体への参照を動的ページに挿入するには、動的ページからすべての HTML コードを削除してから、XSL 変換サーバービヘイビアーを使用します。

9. ページとフラグメントをポストします。
動的ページと XSLT フラグメント（または XSLT ページ全体）の両方をアプリケーションサーバーにポストします。ローカルの XML ファイルを使用している場合は、そのファイルもポストする必要があります。

10. 動的ページをブラウザーに表示します。
動的ページをブラウザーに表示すると、アプリケーションサーバーによって XML データが変換され、動的ページに挿入されて、ブラウザーに表示されます。

トップへ戻る

XSLT ページを作成する

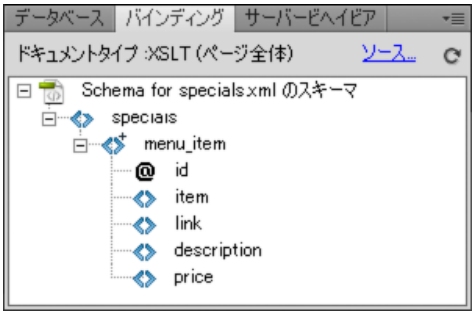
XML データを Web ページに表示するための XSLT ページを作成できます。<body> タグと <head> タグが含まれる完全な XSLT ページを作成するか、XSLT フラグメントを作成します。XSLT フラグメントを作成すると、body タグや head タグのない、後で動的ページに挿入されるコードの集まりから成る独立したファイルが作成されます。

注意： 既存の XSLT ページを使用して作成する場合、XML データソースをページに適用する必要があります。

1. ファイル／新規を選択します。
2. 新規ドキュメントダイアログボックスの「空白ページ」カテゴリにあるページタイプ列から、次のいずれかを選択します。
   - XSLT ページ全体を作成する場合、「XSLT（ページ全体）」を選択します。
   - XSLT フラグメントを作成する場合、「XSLT（フラグメント）」を選択します。
3. 「作成」をクリックし、XML ソースの指定ダイアログボックスで次のいずれかの操作を実行します。
   - 「コンピューターまたはローカルエリアネットワークにローカルファイルを添付」を選択し、「参照」ボタンをクリックしてコンピューター上にあるローカル XML ファイルを参照し、「OK」をクリックします。
   - 「インターネット上のリモートファイルを添付」を選択し、インターネット上にある XML ファイル（RSS フィードのファイルなど）の URL を入力して「OK」をクリックします。

   注意： 「キャンセル」ボタンをクリックすると、XML データソースが関連付けられていない、新しい XSLT ページが生成されます。

   バインディングパネルに、XML データソースのスキーマの値が取り込まれます。



次の表では、スキーマで表示される可能性のある様々なエレメントについて説明します。

エレメント	表す内容	詳細
<>	必須の非繰り返し XML エレメント	親ノード内に 1 回のみ表示されるエレメント
<>+	繰り返し XML エレメント	親ノード内に 1 回以上表示されるエレメント
<>+	オプションの XML エレメント	親ノード内で 0 回以上表示されるエレメント
太字のエレメントノード	現在のコンテキストエレメント	挿入ポイントがリピート領域内にある場合、通常は繰り返しエレメント
@	XML 属性	

4. 新しいページを .xsl または .xslt（デフォルトは .xsl）という拡張子で保存します（ファイル／保存）。

トップへ戻る

HTML ページを XSLT ページに変換する

既存の HTML ページを XSLT ページに変換することができます。例えば、XML データを追加したい、あらかじめデザインされた静的ページがある場合、XSLT ページを作成し、最初からページを再デザインする代わりに、そのページを XSLT ページに変換できます。

1. 変換する HTML ページを開きます。
2. ファイル／変換／XSLT 1.0 を選択します。

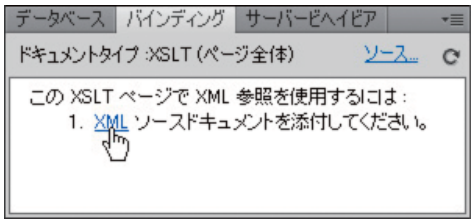
   ページのコピーがドキュメントウィンドウで開きます。この新しいページは XSL スタイルシートであり、.xsl 拡張子を付けて保存されます。

トップへ戻る

XML データソースを適用する

既存の XSLT ページから開始する場合や、Dreamweaver を使用して新しい XSLT ページを作成する際に XML データソースを適用しない場合は、バインディングパネルを使用して XML データソースを適用する必要があります。

1. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で「XML」リンクをクリックします。



   注意： バインディングパネルの右上隅にある「ソース」リンクをクリックして、XML データソースを追加することもできます。

2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 「コンピューターまたはローカルエリアネットワークにローカルファイルを添付」を選択し、「参照」ボタンをクリックしてコンピューター上にあるローカル XML ファイルを参照し、「OK」をクリックします。
   - 「インターネット上のリモートファイルを添付」を選択し、インターネット上にある XML ファイル（RSS フィードのファイルなど）の URL を入力します。
3. 「OK」をクリックして XML ソースの指定ダイアログボックスを閉じます。

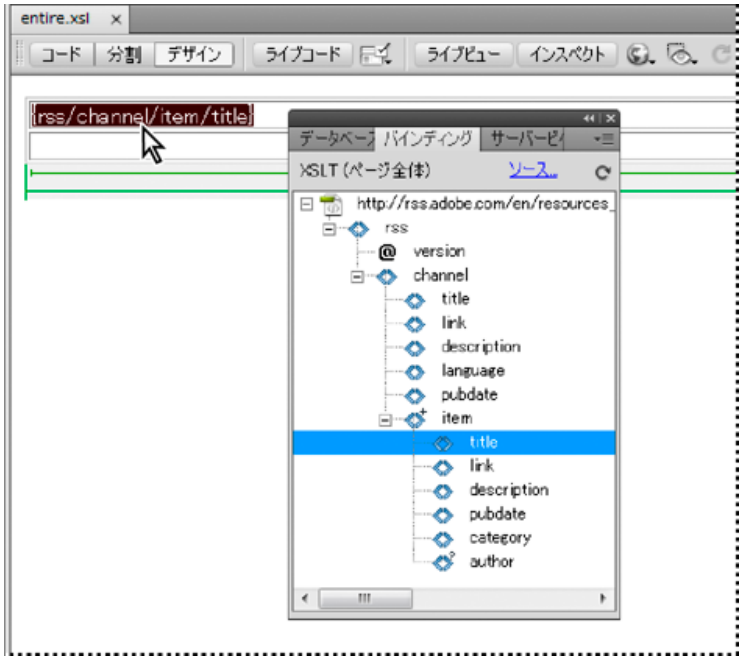
   バインディングパネルに、XML データソースのスキーマの値が取り込まれます。

トップへ戻る

XSLT ページで XML データを表示する

XSLT ページを作成し、XML データソースを適用したら、データをページにバインドできます。そのためには、ページに XML データプレースホルダーを追加し、XPATH 式ビルダーまたはプロパティインスペクターを使用して、ページに表示される選択したデータをフォーマットします。

1. 適用した XML データソースと共に XSLT ページを開きます。
2. （オプション）挿入／テーブルを選択し、テーブルをページに追加します。テーブルを使用して XML データを整理します。
   注意： 一般的には、リピート領域 XSLT オブジェクトを使用して、繰り返し XML エレメントを 1 ページに表示します。その場合は、列が 1 列以上ある 1 行のテーブルを作成するか、テーブルヘッダーを含める場合は 2 行のテーブルを作成します。
3. バインディングパネルで XML エレメントを選択し、ページのデータ挿入位置までドラッグします。



   XML データプレースホルダーがページに表示されます。プレースホルダーがハイライト表示され、波カッコで囲まれます。ここでは、XML スキーマの階層構造を表すために、XPath（XML Path Language）のシンタックスが使用されます。例えば、子エレメント title をページにドラッグし、そのエレメントに親エレメント rss、 channel、item がある場合、動的コンテンツプレースホルダーのシンタックスは {rss/channel/item/title} となります。

   ページで XML データプレースホルダーをダブルクリックし、XPATH 式ビルダーを開きます。XPATH 式ビルダーを使用すると、選択したデータをフォーマットするか、XML スキーマから他のアイテムを選択できます。

4. （オプション）XML データプレースホルダーを選択し、プロパティインスペクターや CSS スタイルパネルを使用して他のコンテンツと同じようにスタイルを追加すると、XML データにスタイルを適用できます。また、デザインタイムスタイルシートを使用して XSLT フラグメントにスタイルを追加することもできます。これらの方法には、いずれも利点と制限事項があります。
5. 作業結果をブラウザーでプレビューします（ファイル／ブラウザーでプレビュー）。
   注意： 「ブラウザーでプレビュー」でプレビューすると、Dreamweaver ではアプリケーションサーバーを使用することなく、内部 XSL 変換が実行されます。

トップへ戻る

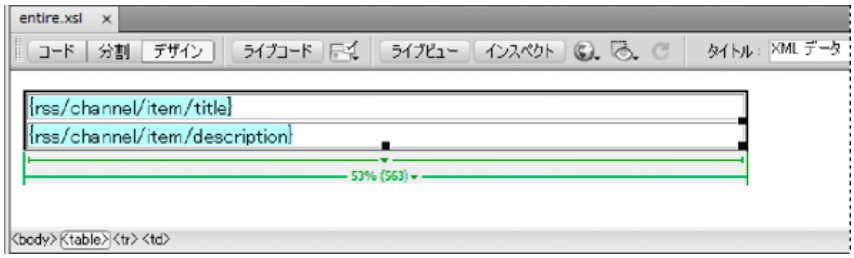
繰り返し XML エレメントを表示する

リピート領域 XSLT オブジェクトを使用すると、XML データソースの繰り返しエレメントを Web ページに表示できます。例えば、ニュースフィードにある記事のタイトルと説明を表示する場合で、そのニュースフィードに 10 ～ 20 の記事があるときは、多くの場合、XML ファイル内の各タイトルと記事内容は繰り返しエレメントの子エレメントです。

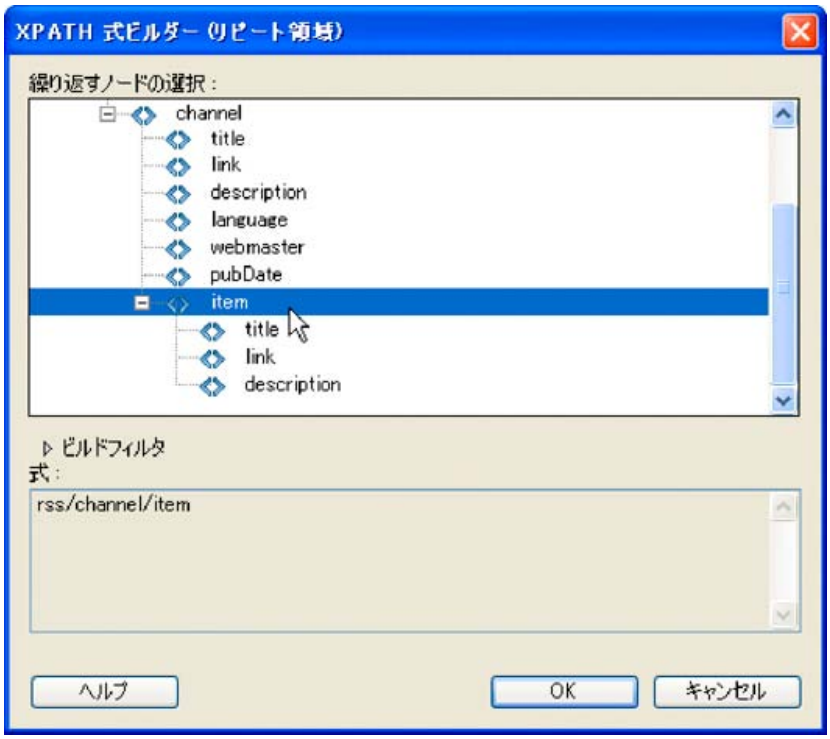
XML データプレースホルダーが含まれるデザインビューの領域は、リピート領域に変更することができます。ただし、通常はテーブル、テーブル行、または複数のテーブル行などをリピート領域にします。

1. デザインビューで、XML データプレースホルダーが含まれる領域を選択します。

   テーブル、テーブルの行、テキストの段落など、任意の領域を選択できます。



   ページの領域を正確に選択するには、ドキュメントウィンドウの左下隅にあるタグセレクターを使用します。例えば、領域がテーブルである場合は、ページにあるテーブルの内側をクリックし、タグセレクターでタグをクリックします。
2. 以下のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／XSLT オブジェクト／リピート領域を選択します。
   - 挿入パネルの「XSLT」カテゴリで、「リピート領域」ボタンをクリックします。
3. XPATH 式ビルダーで、小さいプラス「+」記号で表されている繰り返しエレメントを選択します。



4. 「OK」をクリックします。

   ドキュメントウィンドウでは、リピート領域は薄いグレーの枠線で囲まれます。ブラウザーでプレビューすると（ファイル／ブラウザーでプレビュー）、グレーの枠線が消え、選択範囲が拡張されて、XML ファイルにある指定した繰り返しエレメントが表示されます。

   リピート領域 XSLT オブジェクトをページに追加すると、ドキュメントウィンドウの XML データプレースホルダーが切り捨てられます。こ

れは、繰り返しエレメントのパスを基準にした相対パスになるように、Dreamweaver では XML データプレースホルダーの XPath が切り捨てられるためです。

リピート領域（XSL）プロパティを設定する

プロパティインスペクターで別の XML ノードを選択し、リピート領域を作成することができます。

- 「選択」ボックスに新しいノードを入力して稲妻アイコンをクリックし、表示される XML スキーマツリーからノードを選択します。

リピート領域 XSLT オブジェクトを編集する

リピート領域 XSLT オブジェクトを領域に追加した後は、プロパティインスペクターを使用して編集できます。

1. リピート領域を囲むグレーのタブをクリックしてオブジェクトを選択します。
2. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、「選択」テキストフィールドの横にある動的アイコンをクリックします。
3. XPATH 式ビルダーで変更を行い、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

動的ページに XSLT フラグメントを挿入する

XSLT フラグメントを作成した後は、XSL 変換サーバービヘイビアーを使用して動的 Web ページに挿入できます。サーバービヘイビアーをページに追加してブラウザーでページを表示すると、選択した XSLT フラグメントの XML データを表示するための変換がアプリケーションサーバーで実行されます。Dreamweaver は、ColdFusion、ASP、PHP の各ページの XSL 変換をサポートしています。

注意： XSLT ページ全体のコンテンツを動的ページに挿入する場合の手順はまったく同じです。XSL 変換サーバービヘイビアーを使用して XSLT ページ全体を挿入する前に、動的ページからすべての HTML コードを削除します。

1. 既存の ColdFusion、ASP、または PHP ページを開きます。
2. デザインビューで、XSLT フラグメントを挿入する位置に挿入ポイントを置きます。
   注意： XSLT フラグメントを挿入する際は、ページに挿入ポイントを置いたら必ず「コードビューおよびデザインビューの表示」をクリックして、挿入ポイントが正しい位置にあることを確認します。正しい位置にない場合は、コードビューの他の場所をクリックして挿入ポイントを目的の位置に合わせます。
3. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で、「+」ボタンをクリックし、「XSL 変換」を選択します。

4. XSL 変換ダイアログボックスで「参照」ボタンをクリックし、XSLT フラグメントまたは XSLT ページ全体を参照します。

   Dreamweaver により次のテキストフィールドに、指定したフラグメントに適用されている XML ファイルのファイルパスと URL が入力されます。これを変更するには、「参照」ボタンをクリックして別のファイルを参照します。

5. （省略可能）「+」ボタンをクリックして、XSLT パラメーターを追加します。
6. 「OK」をクリックして、XSLT フラグメントへの参照をページに挿入します。このフラグメントは編集できません。フラグメントを編集するには、フラグメントをダブルクリックしてフラグメントのソースファイルを開きます。

   ランタイムライブラリファイルを含むサイトのルートフォルダーに、includes¥MM_XSLTransform¥ フォルダーも作成されます。アプリケーションサーバーは、このファイルに定義された関数を使用して変換を実行します。

7. 動的ページをサーバーにアップロード（サイト／PUT）し、「はい」をクリックして依存ファイルを含めます。ページを正しく表示するには、XSLT フラグメントを含むファイル、データを含む XML ファイル、および生成されたランタイムライブラリファイルは、すべてサー

バー上にある必要があります。データソースとしてリモート XML ファイルを選択した場合、そのファイルはインターネット上の他の場所にある必要があります。

トップへ戻る

動的ページで XSLT フラグメントを削除する

ページから XSLT フラグメントを削除するには、フラグメントを挿入するのに使用した XSL 変換サーバービヘイビアーを削除します。サーバービヘイビアーを削除しても、XSLT フラグメントだけが削除され、関連付けられている XML ファイル、XSLT ファイル、またはランタイムライブラリファイルは削除されません。

1. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で、削除する XSL 変換サーバービヘイビアーを選択します。
2. 「-」ボタンをクリックします。
   注意： 必ずこの方法を使用してサーバービヘイビアーを削除する必要があります。生成されたコードを手動で削除すると、サーバービヘイビアーパネルにサーバービヘイビアーが表示されない場合でも、サーバービヘイビアーの一部は削除されずに残ったままになります。

トップへ戻る

XSL 変換サーバービヘイビアーを編集する

XSLT フラグメントを動的 Web ページに追加した後は、XSL 変換サーバービヘイビアーを随時編集することができます。

1. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で、編集する XSL 変換サーバービヘイビアーをダブルクリックします。
2. 変更を加え、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

動的リンクの作成

XSLT ページには、ユーザーが XML データ内の指定された単語または語句をクリックすると特定の URL にリンクする動的リンクを作成できます。具体的な手順については、www.adobe.com/go/dw_documentation_jp で Dreamweaver の正誤表を参照してください。

トップへ戻る

XSLT フラグメントへのスタイルの適用

完全な XSLT ページ（<body> タグと <head> タグを含む XSLT ページ）を作成する場合は、XML データをページに表示し、プロパティインスペクターまたは CSS スタイルパネルを使用して、他のコンテンツと同じようにデータをフォーマットできます。ただし、動的ページに挿入する XSLT フラグメント（例えば、SP、PHP、Cold Fusion ページに挿入するフラグメント）を作成する場合は、フラグメントのスタイルと動的ページのスタイルの表示が複雑になります。動的ページとは個別に XSLT フラグメントを操作できますが、フラグメントが動的ページ内で使用されること、および XSLT フラグメントの出力は最終的には動的ページの <body> タグ内に置かれるということに注意してください。このワークフローでは、<head> エレメント（スタイル定義や外部スタイルシートのリンクなど）が XSLT フラグメントに含まれていないことを確認してください。これらのエレメントが含まれていると、アプリケーションサーバーによってエレメントがダイナミックページの <body> に配置され、無効なマークアップが生成されます。

例えば、動的ページに挿入する XSLT フラグメントを作成し、動的ページと同じ外部スタイルシートを使用してフラグメントをフォーマットするとします。このスタイルシートをフラグメントに関連付ける場合、結果の HTML ページには、スタイルシートへの重複したリンク（動的ページの <head> セクションに 1 つと、XSLT フラグメントのコンテンツが表示されるページの <body> セクションに 1 つ）が設定されます。この方法の代わりに、デザインタイムスタイルシートを使用して外部スタイルシートを参照します。

XSLT フラグメントのコンテンツをフォーマットするには、次のワークフローを使用します。

- まず、動的ページに外部スタイルシートを適用します。これは、どのような Web ページのコンテンツにスタイルを割り当てる場合でも最適な方法です。
- 次に、同じ外部スタイルシートを XSLT フラグメントにデザインタイムスタイルシートとして適用します。名前が表すとおり、デザインタイムスタイルシートは Dreamweaver のデザインビューでのみ機能します。

  前の 2 つの手順を完了した後は、動的ページに適用したのと同じスタイルシートを使用して、XSLT フラグメントで新しいスタイルを作成できます。スタイルシートへの参照は Dreamweaver での作業中に限り有効なため、HTML 出力はより簡潔なものになり、フラグメントによってデザインビューに適切なスタイルが表示されます。さらに、すべてのスタイルは、デザインビューで動的ページを表示するか、ブラウザーで動的ページをプレビューするときに、フラグメントと動的ページの両方に適用されます。

  注意： XSLT フラグメントをブラウザーでプレビューしても、ブラウザーではスタイルは表示されません。動的ページをブラウザーでプレビューして、動的ページのコンテキスト内で XSLT フラグメントを表示してください。

トップへ戻る

XSL 変換でパラメーターを使用する

XSL 変換サーバービヘイビアーを Web ページに追加するとき、XSL 変換のパラメーターを定義できます。パラメーターにより、XML データの処理方法と表示方法が決まります。例えば、ニュースフィードの特定の記事を指定して一覧表示するパラメーターを使用することができます。ページがブラウザーに読み込まれると、パラメーターで指定した記事だけが表示されます。

XSLT パラメーターを XSL 変換に追加する

1. XSL 変換ダイアログボックスを開きます。そのためには、サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で XSL 変換サーバービヘイビアーをダブルクリックするか、新規の XSL 変換サーバービヘイビアーを追加します。
2. XSL 変換ダイアログボックスで、XSLT パラメーターの横にある「+」ボタンをクリックします。

3. パラメーターの追加ダイアログボックスの「名前」ボックスに、パラメーターの名前を入力します。名前にはアルファベットだけが使用できます。スペースは使用できません。
4. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 静的な値を使用するには、「値」ボックスに入力します。
   - 動的な値を使用する場合は、「値」ボックスの横にある動的アイコンをクリックし、動的データダイアログボックスに入力して「OK」をクリックします。詳しくは、動的データダイアログボックスの「ヘルプ」ボタンをクリックしてください。
5. 「初期設定値」ボックスから、ページでランタイム値が受信されない場合に使用するパラメーターの値を入力して「OK」をクリックします。

XSLT パラメーターを編集する

1. XSL 変換ダイアログボックスを開きます。そのためには、サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で XSL 変換サーバービヘイビアーをダブルクリックするか、新規の XSL 変換サーバービヘイビアーを追加します。
2. XSLT パラメーターリストからパラメーターを選択します。
3. 「編集」ボタンをクリックします。
4. 変更を加え、「OK」をクリックします。

XSLT パラメーターを削除する

1. XSL 変換ダイアログボックスを開きます。そのためには、サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で XSL 変換サーバービヘイビアーをダブルクリックするか、新規の XSL 変換サーバービヘイビアーを追加します。
2. XSLT パラメーターリストからパラメーターを選択します。
3. 「-」ボタンをクリックします。

トップへ戻る

条件 XSLT 領域を作成および編集する

XSLT ページに簡単な条件領域または複数の条件領域を作成することができます。デザインビューでエレメントを選択して選択範囲に条件領域を適用するか、ドキュメントで挿入ポイントのある任意の場所に条件領域を挿入できます。

例えば、アイテムが入手できない場合に、そのアイテムの価格の横に「ご利用できません」と表示するときは、ページで「ご利用できません」と入力し、そのテキストを選択して、選択したテキストに条件領域を適用します。Dreamweaver によって選択範囲が <xsl:if> タグで囲まれ、データが条件式の条件に一致する場合のみ、このテキストがページに表示されます。

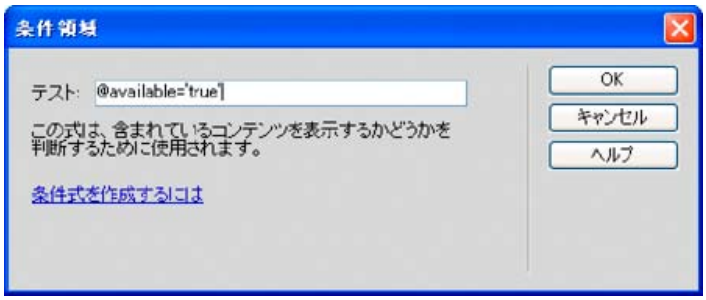
条件 XSLT 領域を適用する

XSLT ページに挿入する単純な条件式を作成できます。条件領域ダイアログボックスを開いたときにコンテンツが選択されている場合、そのコンテンツは <xsl:if> ブロックによって囲まれます。コンテンツが選択されていない場合は、ページの挿入ポイントに <xsl:if> ブロックが追加されます。最初にこのダイアログボックスを使って式を作成し、次にコードビューで式をカスタマイズすることをお勧めします。

<xsl:if> エレメントは、他の言語の if ステートメントに似ています。このエレメントにより、条件をテストし、その結果に基づいて操作を実行することができます。<xsl:if> エレメントを使用すると、単一の true または false 値の式をテストできます。

1. 挿入／XSLT オブジェクト／条件領域を選択するか、挿入パネルの XLST カテゴリにある条件領域アイコンをクリックします。
2. 条件領域ダイアログボックスに、領域に使用する条件式を入力します。

   次の例では、コンテキストノードの @available 属性が true であるかどうかをテストします。



3. 「OK」をクリックします。

   次のコードが XSLT ページに挿入されます。

```
<xsl:if test="@available=&apos;true&apos;">
    Content goes here
</xsl:if>
```

   注意： true などのストリング値は、二重引用符で囲む必要があります。Dreamweaver によって二重引用符がエンコードされ（'）、有効な XHTML として入力されます。

   値についてノードをテストすることに加えて、任意の条件ステートメントで、サポートされている任意の XSLT 関数を使用できます。XML ファイル内で、現在のノードについて条件がテストされます。次の例では、結果セットの最後のノードについてテストします。

   条件式の記述の詳細と例については、リファレンスパネルの「<xsl:if>」セクションを参照してください（ヘルプ／リファレンス）。

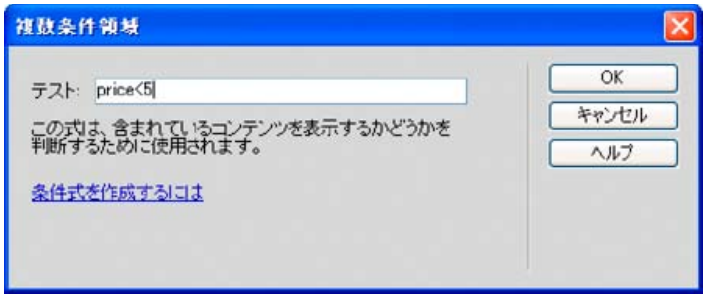
複数の条件 XSLT 領域を適用する

XSLT ページに挿入する単純な条件式を作成できます。条件領域ダイアログボックスを開いたときにコンテンツが選択されている場合、そのコンテンツは <xsl:choose> ブロックによって囲まれます。コンテンツが選択されていない場合は、ページの挿入ポイントに <xsl:choose> ブロックが追加されます。最初にこのダイアログボックスを使って式を作成し、次にコードビューで式をカスタマイズすることをお勧めします。

<xsl:choose> エレメントは、他の言語の case ステートメントに似ています。このエレメントにより、条件をテストし、その結果に基づいて操作を実行することができます。<xsl:choose> エレメントを使用すると、複数の条件についてテストできます。

1. 挿入／XSLT オブジェクト／複数条件領域を選択するか、挿入パネルの XLST カテゴリにある複数条件領域アイコンをクリックします。
2. 複数条件領域ダイアログボックスに最初の条件を入力します。

   次の例では、コンテキストノードの price サブエレメントが 5 より小さいかどうかをテストします。



3. 「OK」をクリックします。

   この例では、次のコードが XSLT ページに挿入されます。

```
<xsl:choose>
    <xsl:when test="price&lt;5">
        Content goes here
    </xsl:when>
```

```
    <xsl:otherwise>
        Content goes here
    </xsl:otherwise>
</xsl:choose>
```

4. 他の条件を挿入するには、コードビューで <xsl:when> タグペアの間、または <xsl:otherwise> タグの直前に挿入ポイントを置き、条件領域を挿入します（挿入／XSLT オブジェクト／複数条件領域）。

   条件を指定して「OK」をクリックすると、別の <xsl:when> タグが <xsl:choose> ブロックに挿入されます。

   条件式の記述の詳細と例については、リファレンスパネルの「<xsl:choose>」セクションを参照してください（ヘルプ／リファレンス）。

条件領域（If）プロパティを設定する

この条件領域設定のプロパティインスペクターでは、XSL ページの条件領域で使用される条件を変更します。条件領域は条件をテストし、その結果に基づいて操作を実行します。

❖ 「テスト」ボックスに新しい条件を入力し、Enter キーを押します。

条件（When）プロパティの設定

この条件領域設定のプロパティインスペクターでは、XSL ページの複数の条件領域で使用される条件を変更します。複数の条件領域で条件がテストされ、その結果に基づいて操作が実行されます。

❖ 「テスト」ボックスに新しい条件を入力し、Enter キーを押します。

トップへ戻る

XSL コメントを挿入する

ドキュメントに XSL コメントタグを追加するか、選択範囲を XSL コメントタグで囲むことができます。

ドキュメントに XSL コメントタグを追加する

❖ 次のいずれかの操作を実行します。

- デザインビューで挿入／XSLT オブジェクト／XSL コメントを選択し、コメントの内容を入力して（またはテキストボックスを空白のままにして）「OK」をクリックします。
- コードビューで挿入／XSLT オブジェクト／XSL コメントを選択します。

  挿入パネルの XSLT カテゴリにあるXSL コメントアイコンをクリックすることもできます。

選択範囲を XSL コメントタグで囲む

1. コードビューに切り替えます（表示／コード）。
2. コメントするコードを選択します。
3. コーディングツールバーで、「コメントの適用」ボタンをクリックし、「<xsl:comment></xsl:comment> コメントの適用」を選択します。

トップへ戻る

XPATH 式ビルダーを使用して XML データの式を追加する

XPath（XML Path Language）は、XML ドキュメントの一部に対応する非 XML シンタックスです。SQL 言語がデータベースのクエリーに使用されるように、ほとんどの場合、XPath は XML データのクエリー言語として使用されます。XPath について詳しくは、W3C Web サイト（www.w3.org/TR/xpath）の XPath 言語仕様を参照してください。

XPATH 式ビルダーは、データの特定のノードを識別し、領域を繰り返すための単純な XPath 式を作成できる Dreamweaver の機能です。XML スキーマツリーから値をドラッグする代わりにこの方法を使用する利点は、表示される値をフォーマットできることにあります。現在のコンテキストは、XPATH 式ビルダーダイアログボックスが開いたときの XSL ファイルの挿入ポイントの位置に基づいて識別されます。現在のコンテキストは、XML スキーマツリーで太字で表示されます。このダイアログボックス内で選択すると、現在のコンテキストに対して相対的な、正しい XPath ステートメントが生成されます。これにより、初級ユーザーおよび上級ユーザーにとって、正しい XPath 式を記述する処理が簡単になります。

注意： この機能は、特定のノードを識別する、またはリピート領域のための単純な XPath 式を作成できるように設計されています。手動で式を編集することはできません。複雑な式を作成する必要があるときは、最初に XPATH 式ビルダーを使って式を作成し、次にコードビュー内、またはプロパティインスペクターを使って式をカスタマイズします。

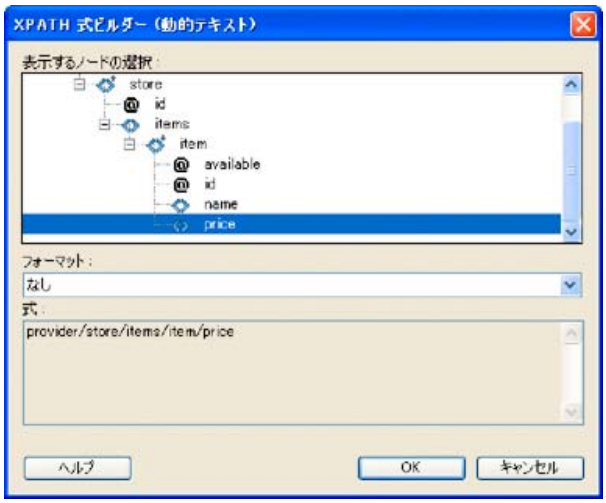
特定のノードを識別する XPath 式を作成する

1. ページで XML データプレースホルダーをダブルクリックし、XPATH 式ビルダーを開きます。
2. XPATH 式ビルダー（動的テキスト）ダイアログボックスで、XML スキーマツリーの任意のノードを選択します。

   「式」ボックスで、ノードを識別するための正しい XPath 式が作成されます。

   注意： XML スキーマツリーで別のノードを選択すると、その選択を反映して式が変更されます。

   次の例では、price サブエレメント（item ノード）を表示します。



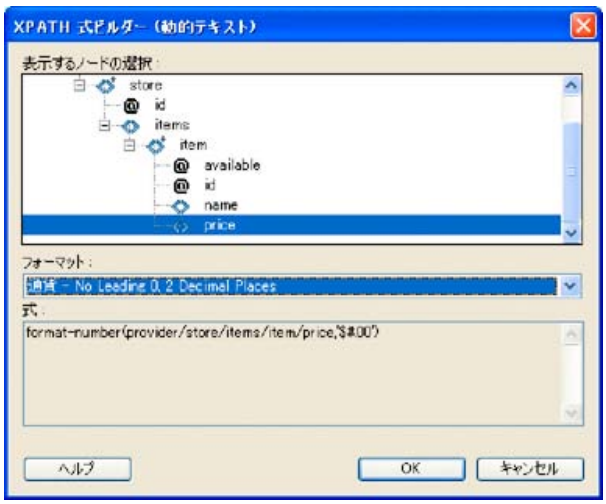
この選択により、XSLT ページに次のコードが挿入されます。

```
<xsl:value-of select="price"/>
```

3. （オプション）フォーマットポップアップメニューからフォーマットオプションを選択します。

   ノードの値が数値を返す場合に、選択範囲のフォーマットが役立ちます。Dreamweaver には事前に定義されているフォーマット関数のリストが表示されます。使用できるフォーマット関数と例の詳細なリストについては、リファレンスパネルを参照してください。

   次の例では、price サブエレメントを小数点以下 2 桁の通貨としてフォーマットします。



このオプションでは、次のコードを XSLT ページに挿入します。

```
<xsl:value-of select="format-number(provider/store/items/item/price,'$#.00')"/>
```

4. 「OK」をクリックします。
5. XML ファイルで各ノードの値を表示するには、動的テキスト（HTML テーブル行や段落など）を含むエレメントにリピート領域を適用します。

   ノードの選択と戻り値の詳細と例については、リファレンスパネルの「<xsl:value-of/>」セクションを参照してください。

繰り返すノードを選択する

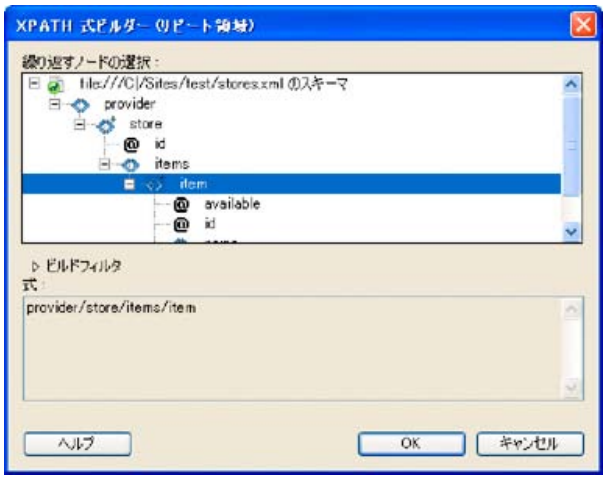
繰り返すノードを選択し、必要に応じて結果をフィルター処理できます。XPATH 式ビルダーダイアログボックス内では、選択したコンテンツが <xsl:for-each> ブロックによって囲まれます。コンテンツを選択していない場合、挿入ポイントに <xsl:for-each> ブロックが挿入されます。

1. ページで XML データプレースホルダーをダブルクリックし、XPATH 式ビルダーを開きます。
2. XPATH 式ビルダー（リピート領域）ダイアログボックスから、XML スキーマツリーで繰り返すアイテムを選択します。

   「式」ボックスで、ノードを識別するための正しい XPath 式が作成されます。

   注意： 繰り返しアイテムは、XML スキーマツリーで「+」記号で表されます。

   次の例では、XML ファイル内で各 item ノードを繰り返します。



「OK」をクリックすると、次のコードが XSLT ページに挿入されます。

```
<xsl:for-each select="provider/store/items/item">
 Content goes here
</xsl:for-each>
```

場合によっては、繰り返しノードのサブセットを操作することがあります。例えば、属性に特定の値があるアイテムだけを操作するなどです。この場合は、フィルターを作成する必要があります。

繰り返すデータをフィルター処理する

特定の属性値を持つ繰り返しノードを識別するには、フィルターを使用します。

1. XML スキーマツリーで、繰り返すノードを選択します。
2. 「ビルドフィルター」ボタンをクリックします。
3. 「+」ボタンをクリックして空のフィルターを作成します。
4. 次のフィールドにフィルター条件を入力します。
   フィルター条件 フィルター処理に使用するデータを含む繰り返しノードを指定します。ポップアップメニューには、XML スキーマツリーで選択したノードに対して相対的な祖先ノードのリストが表示されます。

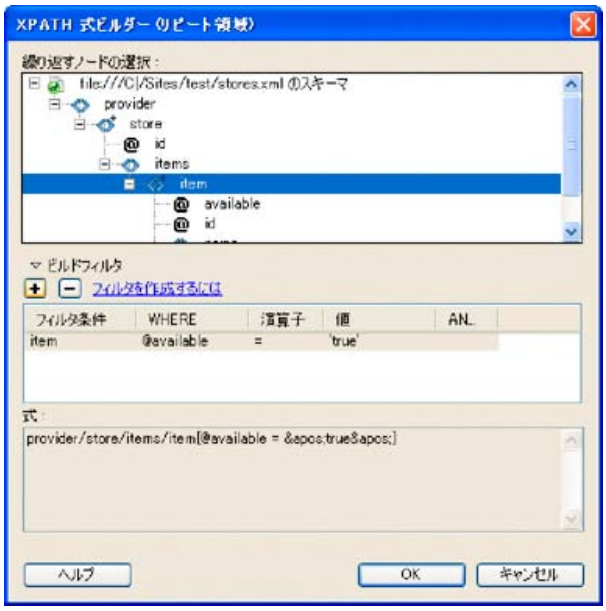
   WHERE 結果を絞り込むために使用する「フィルター条件」ノードの属性またはサブエレメントを指定します。このポップアップメニューから属性またはサブエレメントを選択するか、このフィールドに独自の XPath 式を入力して、スキーマツリーのより深い場所に存在する子を識別することができます。

   演算子 フィルター式で使用する比較演算子を指定します。

   値 「フィルター条件」ノードで確認する値を指定します。値を入力します。XSLT ページに対して動的パラメーターが指定されている場合は、ポップアップメニューからパラメーターを選択できます。
5. 別のフィルターを指定するには、もう一度「+」ボタンをクリックします。

   値を入力するか、ポップアップメニューで選択する場合、「式」ボックスの XPath 式が変更されます。

   次の例では、結果セットを item ノード（@available 属性の値が true となるもの）に制限します。

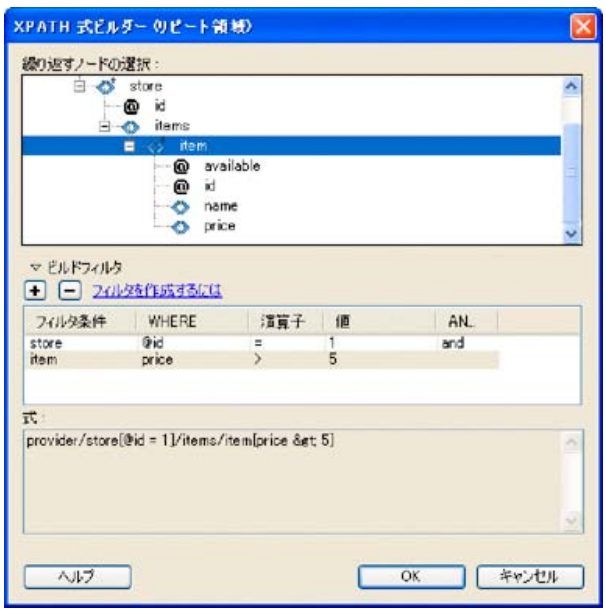


「OK」をクリックすると、次のコードが XSLT ページに挿入されます。

```
<xsl:for-each select="provider/store/items/item[@available = &apos;true&apos;]">
      Content goes here
</xsl:for-each>
```

注意： true などのストリング値は二重引用符で囲む必要があります。Dreamweaver によって二重引用符がエンコードされ（'）、有効な XHTML として入力されます。

親ノードをフィルター条件の一部として指定できる、より複雑なフィルターを作成することができます。次の例では、結果セットを item ノード（store の @id 属性が 1 で、item の price ノードが 5 より大きいもの）に制限します。



「OK」をクリックすると、次のコードが XSLT ページに挿入されます。

```
<xsl:for-each select="provider/store[@id = 1]/items/item[price &gt; 5]">
    Content goes here
</xsl:for-each>
```

リピート領域の詳細と例については、リファレンスパネルの「<xsl:for-each>」セクションを参照してください。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

クライアントでの XSL 変換の実行

クライアントサイド XSL 変換を実行するためのワークフロー
XSLT ページ全体を作成してデータを表示する
XSLT ページを XML ページにリンクする

クライアントサイド XSL 変換を実行するためのワークフロー

トップへ戻る

クライアントサイド XSL 変換を実行できます。XML データを表示するページを作成する前に、サーバーサイドおよびクライアントサイド XSL 変換と、Web ページでの XML および XSL の使用を確認してください。

クライアントサイド XSL 変換を実行する一般的なワークフローは、次のとおりです。各手順については別のトピックで説明します。

1. Dreamweaver サイトを設定します。

2. XSLT ページを作成するか、**HTML** ページを **XSLT** に変換します。

- Dreamweaver サイトで、XSLT ページ全体を作成します。
- 既存の HTML ページを XSLT ページ全体に変換します。

3. XML データソースをページにまだ適用していない場合、適用します。
適用する XML ファイルは、XSLT ページと同じディレクトリにある必要があります。

4. XSLT ページに **XML** データをバインドします。

5. データを **XSLT** ページ全体にバインドすることで、**XML** データを表示します。

6. 必要に応じて、**XML** データプレースホルダーを含むテーブルまたはテーブル行にリピート領域 **XSLT** オブジェクトを追加します。

7. XML ページに **XSLT** ページを適用します。

8. XML ページおよびリンクされた **XSLT** ページの両方を **Web** サーバーにポストします。

9. ブラウザーで **XML** ページを表示します。
このときに、ブラウザーは XML データを変換し、XSLT ページを使ってフォーマットして、スタイルが設定されたページをブラウザー内で表示します。

XSLT ページ全体を作成してデータを表示する

トップへ戻る

クライアントサイド変換には完全な XSLT ページを使用する必要があります （このタイプの変換の場合、XSLT フラグメントは機能しません）。クライアント変換用に XML データの作成とバインド、XSLT ページのフォーマットを行う場合、次に示す一般的な手順に従ってください。

1. XSLT ページを作成します。

2. XSLT ページにデータを表示します。

3. XSLT ページに繰り返しエレメントを表示します。

XSLT ページを XML ページにリンクする

トップへ戻る

XML データの動的コンテンツプレースホルダーを持つ XSLT ページ全体を作成したら、XSLT ページへの参照を XML にページに挿入する必要があります。

注意： クライアントサイド変換に使用する XML ファイルと XSL ファイルは、同じディレクトリにある必要があります。同じディレクトリにない場合、ブラウザーは XML ファイルを読み取り、変換する XSLT ページを見つけますが、XSLT ページに相対リンクで定義されているアセット（スタイルシートやイメージなど）を見つけることができません。

1. XSLT ページにリンクする XML ファイルを開きます。
2. コマンド／XSLT スタイルシートの適用を選択します。

3. そのダイアログボックスで「参照」ボタンをクリックし、リンク先となる XSLT ページを参照し、そのページを選択して「OK」をクリックします。
4. 「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、XML ドキュメントの上部に XSLT ページへの参照を挿入します。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

XSLT の存在しない文字エンティティ

存在していない文字エンティティを指定する

トップへ戻る

存在していない文字エンティティを指定する

XSLT では、特定の状況で一部の文字を使用することができません。例えば、タグ内のテキストまたは属性値では、より小さい（<）およびアンパサンド（&）を使用できません。これらの文字が間違って使用されている場合は、XSLT 変換エンジンでエラーが発生します。この問題を解決するには、文字エンティティを指定して特殊文字を置き換えます。

文字エンティティは、他の文字を表す文字のストリングです。文字エンティティには名前または番号が付けられます。名前エンティティはアンパサンド（&）で始まり、名前または文字が続き、セミコロン（;）で終わります。例えば < は、より小さい（<）を表します。番号エンティティも同じ方法で始まって終わりますが、シャープ記号（#）と数字によって文字を指定することが異なります。

XSLT には、事前に定義された次の 5 つのエンティティが用意されています。

文字	エンティティコード
<（より小さい）	<
&（アンパサンド）	&
>（より大きい）	>
"（二重引用符）	"
‘（アポストロフィー）	'

XSL ファイルで他の文字エンティティを使用する場合は、XSL ファイルの DTD セクションで文字エンティティを定義する必要があります。Dreamweaver には、Dreamweaver で作成された XSL ファイルの最上部に表示される、デフォルトのエンティティ定義がいくつか用意されています。このデフォルトエンティティには、頻繁に使用される文字が含まれています。

XSL ファイルをブラウザーでプレビューすると、Dreamweaver によって XSL ファイル内に未定義のエンティティがないかが確認され、未定義のエンティティが見つかった場合は通知されます。

XSLT ファイルに適用された XML ファイルをプレビューするか、XSLT 変換を持つサーバーサイドページをプレビューすると、Dreamweaver ではなくサーバーまたはブラウザーによって、定義されていないエンティティに関するメッセージが通知されます。次の例では、XSL ファイルによって変換された XML ファイルを要求し、エンティティ定義が存在しない場合に Internet Explorer で表示されることのあるメッセージを示します。

```
Reference to undefined entity 'auml'. Error processing resource 'http://localhost/testthis/list.xsl'. Line
28, Position 20
<p class=''test''>&auml;</p>
--------------------^
```

ページのエラーを修正するには、ページにエンティティ定義を手動で追加する必要があります。

存在していないエンティティ定義を指定する

1. W3C Web サイトの文字エンティティ参照ページ（www.w3.org/TR/REC-html40/sgml/entities.html）で、存在していない文字を検索します。

   この Web ページには、HTML 4 および XHTML 1.0 で使用できる 252 個のエンティティが記載されています。

   例えば、文字エンティティ Egrave が存在していない場合は、W3C Web ページで「Egrave」を検索します。次のエントリが見つかります。

   ```
   <!ENTITY Egrave CDATA "&#200;" -- latin capital letter E with grave, U+00C8 ISOlat1 -->
   ```

2. エントリのエンティティ名とエンティティコードをメモします。

   この例では、Egrave がエンティティ名で &#200 がエンティティコードになります。

3. この情報を使用して、コードビューに切り替え、XSL ファイルの先頭の、Doctype 宣言の後に、他のエンティティタグと共に、次のエンティティタグを入力します。

```
<!ENTITY entityname "entitycode;">
```

この例では、次のエンティティタグを入力します。

```
<!ENTITY Egrave "&#200;">
```

4. ファイルを保存します。

   同じ文字エンティティを繰り返して使用する場合、ファイル／新規作成を選択した際に Dreamweaver によってデフォルトで作成される XSL ファイルに対して、こうした文字エンティティの定義を永続的に追加することができます。

Dreamweaver で初期設定で作成される XSL ファイルにエンティティ定義を追加する

1. Dreamweaver アプリケーションフォルダーで次の設定ファイルを探し、任意のテキストエディターで開きます。

   Configuration/DocumentTypes/MMDocumentTypeDeclarations.xml

2. mm_xslt_1: という宣言を見つけます。

```
<documenttypedeclaration id="mm_xslt_1">
```

3. 次のように、エンティティタグのリストに新しいエンティティタグを入力します。

```
<!ENTITY entityname "entitycode;">
```

4. ファイルを保存して Dreamweaver を再起動します。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

jQuery

Dreamweaver での jQuery UI Widget の使用

Spry Widget は、Dreamweaver CC 以降では jQuery Widget に置き換えられています。既存の Spry Widget を変更できますが、新しい Spry Widget を追加することはできません。

Widget は、DHTML や JavaScript などの言語で記述され、Web ページに挿入して実行できる小規模な Web アプリケーションです。Widget の最大の利点は、Web ページでデスクトップの操作性を複製できることです。

アコーディオン、タブ、日付選択、スライダー、自動補完などの jQuery UI Widget を利用して、Web 上でデスクトップの操作性を実現できます。

例えば、タブ Widget を使用して、デスクトップ アプリケーションのダイアログボックスのタブ機能を複製できます。

ページの先頭へ

jQuery Widget の挿入

jQuery Widget を挿入すると、次のものが自動的にコードに追加されます。

- すべての依存ファイルへの参照
- Widget 用の jQuery API を含むスクリプト タグ追加 Widget は同じスクリプト タグに追加されます。

jQuery Widget について詳しくは、http://jqueryui.com/demos/ を参照してください。

注意： *jQuery* 効果の場合、*jquery-1.8.24.min.js* ファイルは効果を追加したときに自動的に含まれるため、このファイルへの外部参照は追加されません。

1. ページ上の Widget を挿入する位置にカーソルがあることを確認します。
2. 「挿入／jQuery UI」を選択し、挿入する Widget を選択します。

   挿入パネルを使用した場合、Widget は挿入パネルの「jQuery UI」セクションに表示されます。

jQuery Widget を選択すると、そのプロパティがプロパティパネルに表示されます。

ライブビューで、または jQuery Widget をサポートするブラウザで、jQuery Widget をプレビューできます。

ページの先頭へ

jQuery Widget の変更

1. 変更する Widget を選択します。
2. プロパティパネルで、プロパティを変更します。

   例えば、タブ Widget にタブを追加するには、Widget を選択し、プロパティパネルで「+」をクリックします。

ビデオチュートリアル

- Dreamweaver の Web ページで jQuery Widget を使用する

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver での jQuery 効果の使用

Dreamweaver CC では、Spry 効果が jQuery 効果に置き換えられます。ページにある既存の Spry 効果を変更することはできますが、新しい Spry 効果を追加することはできません。

jQuery 効果の追加
イベントベースの jQuery 効果
jQuery 効果の削除

jQuery 効果の追加

ページの先頭へ

1. Dreamweaver ドキュメントのデザインビューまたはコードビューで、jQuery 効果を適用するエレメントを選択します。
2. Windows／ビヘイビアーを選択してビヘイビアーパネルを開きます。
3. ＋ をクリックし、「効果」をクリックして、必要な効果をクリックします。

   選択した効果が設定されたカスタマイズパネルが表示されます。
4. 効果を適用するターゲットエレメントなどの設定および効果の期間を指定します。

   ターゲットエレメントは、最初に選択したエレメントにすることも、ページ上の別のエレメントにすることもできます。例えば、ユーザーがエレメント A をクリックするとエレメント B が非表示または表示されるようにする場合、ターゲットエレメントは B です。
5. 複数の jQuery 効果を追加するには、上記の手順を繰り返します。

   複数の効果を選択した場合、ビヘイビアーパネルに表示される順序で効果が適用されます。効果の順序を変更するには、パネルの上部にある矢印キーを使用します。

関連するコードがドキュメントに自動的に挿入されます。例えば、「フェード」効果を選択した場合、次のコードが挿入されます。

- jQuery 効果が機能するために必要な依存ファイルに対する外部ファイル参照：

```
<script src="jQueryAssets/jquery-1.7.2.min.js" type="text/javascript"></script><script
src="jQueryAssets/jquery-ui-effects.custom.min.js" type="text/javascript"></script>
```

- body タグのエレメントに次のコードが適用されます：

```
<li id="earthFrm" onclick="MM_DW_effectAppearFade($('#earthForms'),'show','fade',1000)"> Earth Forms</li>
```

- script タグとともに次のコードが追加されます。

```
<script type="text/javascript"> function MM_DW_effectAppearFade(obj,method,effect,speed) {
obj[method](effect, {}, speed); }</script>
```

イベントベースの jQuery 効果

ページの先頭へ

jQuery 効果を適用すると、初期設定では `onClick` イベントに割り当てられます。効果のトリガーイベントは、ビヘイビアーパネルで変更できます。

1. 必要なページエレメントを選択します。
2. Windows／ビヘイビアーを選択し、「イベント設定の表示」アイコンをクリックします。
3. 現在適用されている効果に対応する行をクリックします。最初の列が、選択できるイベントの一覧を含むドロップダウンリストに変化します。
4. 必要なイベントをクリックします。

jQuery 効果の削除

1. 必要なページエレメントを選択します。

   ビヘイビアーパネルに、選択したページエレメントに現在適用されているすべての効果が一覧表示されます。

2. 削除する効果をクリックし、 をクリックします。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

リンクおよびナビゲーション

リンクのトラブルシューティング

破損リンク、外部リンク、および孤立リンクの検索
破損リンクの修正

破損リンク、外部リンク、および孤立リンクの検索

トップへ戻る

破損リンクおよび単独ファイル（サイトには存在していても、サイト内の他のファイルにリンクされていないファイル）を検索するには、「リンクのチェック」機能を使用します。この検索は、開いているファイル、ローカルサイトの一部、またはローカルサイト全体に対してできます。

Dreamweaver では、サイト内のドキュメントに対するリンクだけを確認します。Dreamweaver では、選択されたドキュメントの外部リンクについてはリストを作成しますが、確認はしません。

また、サイトの他のファイルで使用されなくなったファイルを識別および削除することもできます。

現在のドキュメントのリンクのチェック

1. ファイルを Dreamweaver のローカルサイト内の場所に保存します。
2. ファイル／ページのチェック／リンクを選択します。

   結果パネルグループのリンクチェックパネルに「破損リンク」レポートが表示されます。
3. リンクチェックパネルで、表示ポップアップメニューから「外部リンク」を選択し、別のレポートを表示します。

   結果パネルグループのリンクチェックパネルに「外部リンク」レポートが表示されます。

   サイト全体のリンクをチェックする場合には、孤立したファイルをチェックできます。
4. レポートを保存するには、リンクチェックパネルの「レポートの保存」ボタンをクリックします。レポートは一時ファイルなので、保存しないとその内容は失われます。

ローカルサイトの一部にあるリンクのチェック

1. ファイルパネルで、現在のサイトポップアップメニューからサイトを選択します。
2. ローカルビューで、チェックするフォルダーまたはファイルを選択します。
3. チェックを開始するには、次のいずれかの操作を行います。
   - 選択したファイルの 1 つを右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）して、コンテキストメニューからリンクのチェック／選択したファイル/フォルダーを選択します。
   - ファイル／ページのチェック／リンクを選択します。

     結果パネルグループのリンクチェックパネルに「破損リンク」レポートが表示されます。
4. リンクチェックパネルで、表示ポップアップメニューから「外部リンク」を選択し、別のレポートを表示します。

   結果パネルグループのリンクチェックパネルに「外部リンク」レポートが表示されます。

   サイト全体のリンクをチェックする場合には、孤立したファイルをチェックできます。
5. レポートを保存するには、リンクチェックパネルの「レポートの保存」ボタンをクリックします。

サイト全体のリンクのチェック

1. ファイルパネルで、現在のサイトポップアップメニューからサイトを選択します。
2. サイト／サイト全体のリンクチェックを選択します。

   結果パネルグループのリンクチェックパネルに「破損リンク」レポートが表示されます。
3. リンクチェックパネルで、表示ポップアップメニューから「外部リンク」または「単独ファイル」を選択し、別のレポートを表示します。

   リンクチェックパネルに、指定したレポートタイプに一致するファイルのリストが表示されます。

   注意： 「単独ファイル」のレポートを作成した場合、リストから単独ファイルを選択して Delete キーを押すと、リンクチェックパネルからそのファイルを直接削除することができます。
4. レポートを保存するには、リンクチェックパネルの「レポートの保存」ボタンをクリックします。

破損リンクの修正

トップへ戻る

リンクのレポートを実行後、破損リンクとイメージ参照は、リンクチェックパネルで直接修正することができます。また、リストからファイルを開いて、プロパティインスペクターでリンクを修正することもできます。

リンクチェックパネルでのリンクの修正

1. リンクチェックレポートを実行します。
2. 結果パネルグループのリンクチェックパネルの「破損リンク」列（「ファイル」列ではなく）から破損リンクを選択します。

   破損リンクの横にフォルダーアイコンが表示されます。
3. 破損リンクの横にあるフォルダーアイコン をクリックし、適切なファイルを参照して選択するか、適切なパスとファイル名を入力します。
4. Tab キーか Enter キー（Windows）を押すか、または Return キー（Mac OS）を押します。

   同じファイルにほかにも破損参照がある場合は、他のファイルにある参照も修正するように求められます。「はい」をクリックすると、Dreamweaver では、このファイルを参照するリストにあるすべてのドキュメントが更新されます。「いいえ」をクリックすると、Dreamweaver では現在の参照だけが更新されます。

   注意： サイトで「ファイルのチェックイン/チェックアウト」が有効になっている場合は、Dreamweaver は変更する必要のあるファイルのチェックアウトを試みます。ファイルのチェックアウトができない場合、Dreamweaver は警告ダイアログボックスを表示し、破損参照の変更は行いません。

プロパティインスペクターでのリンクの修正

1. リンクチェックレポートを実行します。
2. 結果パネルグループのリンクチェックパネルで、「ファイル」列のエントリをダブルクリックします。

   Dreamweaver では、ドキュメントを開き、問題のあるイメージまたはリンクを選択し、プロパティインスペクター内でパスとファイル名をハイライト表示します。プロパティインスペクターが表示されていない場合は、ウィンドウ／プロパティを選択してインスペクターを開きます。
3. プロパティインスペクターで新規パスおよびファイル名を設定するには、フォルダーアイコン をクリックして参照し、適切なファイルを選択するか、ハイライト表示されているテキストの上に入力します。

   イメージ参照を更新している間に、新しいイメージが不適切なサイズで表示された場合は、プロパティインスペクターの「幅」および「高」ラベルをクリックするか、「更新」ボタンをクリックして、幅と高さの値をリセットします。
4. ファイルを保存します。

   修正したリンクは、リンクチェックリストから削除されます。「リンクチェック」に新しいパスとファイル名を入力したり、プロパティインスペクターで変更を保存しても、まだ破損リンクとして表示されている場合があります。これは、Dreamweaver が新しいファイルを認識していないために、リンクがまだ破損していると見なしているからです。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーについて

トップへ戻る

ナビゲーションバーについて

ナビゲーションバー機能は、Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

ナビゲーションバーを作成する場合は、Spry メニューバー Widget を使用することをお勧めします。

関連項目

Spry メニューバー Widget の操作

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

リンク

ファイルとドキュメントのリンク
リンクへの JavaScript ビヘイビアーの割り当て
プロパティインスペクターによるドキュメントへのリンク
ファイルの指定アイコンによるドキュメントのリンク
「ハイパーリンク」コマンドによるリンクの追加
新規リンクの相対パスの設定
ドキュメント内の特定の場所へのリンク
電子メールリンクの作成
Null（ヌル）およびスクリプトリンクの作成
リンクの自動更新
サイト全体のリンクの変更
Dreamweaver でのリンクのテスト

ファイルとドキュメントのリンク

トップへ戻る

リンクを作成する前に、絶対パス、ドキュメント相対パス、サイトルート相対パスについて理解しておいてください。ドキュメント中でいくつかの種類のリンクが作成できます。

- グラフィック、ムービー、PDF、またはサウンドファイルのような、他のドキュメントまたはファイルへのリンク。
- ドキュメント内の特定の場所にジャンプするアンカーポイントリンク。
- 受信者のアドレスが既に入力されている、新しい空の電子メールメッセージを作成する電子メールリンク。
- オブジェクトにビヘイビアーを割り付けたり、JavaScript コードを実行するリンクを作成することができるヌルリンクまたはスクリプトリンク。

プロパティインスペクターやファイルの指定アイコンを使用して、イメージ、オブジェクト、またはテキストから他のドキュメントやファイルへのリンクを作成できます。

Dreamweaver では、ドキュメント相対パスを使用してサイトの他のページへのリンクが作成されます。Dreamweaver では、サイトルート相対パスを使用して新しいリンクを作成することもできます。

重要： ドキュメント相対パスは始点を定義しないと有効にならないので、必ずドキュメント相対パスを作成する前に新規ファイルを保存してください。ファイルを保存しないでドキュメント相対パスを作成すると、Dreamweaver ではファイルが保存されるまで "file://" で始まる絶対パスが一時的に使用されます。ファイルを保存すると、Dreamweaver では "file://" パスが相対パスに変換されます。
リンクの作成のチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0149_jp を参照してください。

リンクへの JavaScript ビヘイビアーの割り当て

トップへ戻る

ドキュメント内のすべてのリンクに、ビヘイビアーを割り当てることができます。リンクされたエレメントをドキュメントに挿入する場合、次のビヘイビアーを使用できます。

ステータスバーテキストを設定 メッセージのテキストを指定し、ブラウザーウィンドウの左下のステータスバーに表示することができます。例えば、このビヘイビアーを使用すると、リンクに関連付けられている URL を表示する代わりに、ステータスバーにリンク先を記述できます。
ブラウザーウィンドウを開く 新規ウィンドウで URL を開きます。名前、サイズ、属性（サイズ変更可能かどうか、メニューバーがあるかなど）など、新規ウィンドウのプロパティを指定できます。
ジャンプメニュー ジャンプメニューを編集します。メニューリストの変更、他のリンクされたファイルの指定、またはリンクされたドキュメントを開くブラウザー位置の変更が可能です。

プロパティインスペクターによるドキュメントへのリンク

トップへ戻る

プロパティインスペクターのフォルダーアイコンや「リンク」ボックスを使用して、イメージ、オブジェクト、またはテキストから他のドキュメントやファイルにリンクを作成できます。

1. ドキュメントウィンドウのデザインビューでテキストまたはイメージを選択します。
2. プロパティインスペクターを開き（ウィンドウ／プロパティ）、次のいずれかの操作を行います。
   - 「リンク」ボックスの右のフォルダーアイコン をクリックし、ファイルを参照して選択します。

     リンクされたドキュメントへのパスが、「URL」ボックスに表示されます。HTML ファイルの選択ダイアログボックスの相対位置ポップ

アップメニューを使用して、ドキュメント相対パスとルート相対パスのいずれにするかを指定し、「選択」をクリックします。選択するパスの種類は、現在のリンクのみに適用されます。サイトの「相対位置」ボックスの初期設定は変更できます。

- 「リンク」ボックスにドキュメントへのパスおよびファイル名を入力します。

  ローカルサイトのドキュメントにリンクする場合、ドキュメント相対パスまたはサイトルート相対パスを入力します。サイトの外のドキュメントにリンクする場合、"http://" のようなプロトコルの種類を含む絶対パスを入力します。この方法を使用すると、まだ作成されていないファイルへのリンクを入力できます。

3. ターゲットポップアップメニューから、ドキュメントを開く場所を選択します。
   - _blank は、リンクされたドキュメントを新規のブラウザーウィンドウにロードします。
   - _parent は、リンクされたドキュメントを、リンクが含まれている親フレームセットまたはフレームの親ウィンドウにロードします。リンクを含むフレームがネストされていない場合は、リンクされているドキュメントは、ブラウザーウィンドウ全体にロードされます。
   - _self は、リンクされたドキュメントをリンクと同じフレームまたはウィンドウにロードします。このターゲットは初期設定であるため、通常は指定する必要はありません。
   - _top は、リンクされたドキュメントをブラウザーウィンドウ全体にロードして、すべてのフレームを削除します。

     ページ内のすべてのリンクのターゲットが同じである場合は、挿入／HTML／ヘッドタグ／ベースを選択してターゲット情報を指定し、ターゲットを一度に選択できます。ターゲットフレームについて詳しくは、リンクを持つフレームコンテンツの制御を参照してください。

トップへ戻る

ファイルの指定アイコンによるドキュメントのリンク

1. ドキュメントウィンドウのデザインビューでテキストまたはイメージを選択します。
2. 次のいずれかの方法でリンクを作成します。
   - プロパティインスペクターの「リンク」ボックスの右側にある、ファイルの指定アイコン（ターゲットアイコン）をドラッグして、現在のドキュメント上に表示されたアンカー、開いている別のドキュメント上に表示されたアンカー、固有の ID が割り当てられているエレメント、または、ファイルパネル上のドキュメントをポイントします。
   - Shift キーを押しながら選択範囲をドラッグして、現在のドキュメント上に表示されたアンカー、開いている別のドキュメント上に表示されたアンカー、固有の ID が割り当てられているエレメント、または、ファイルパネル上のドキュメントをポイントします。

     注意： 開いている別のドキュメントにリンクできるのは、ドキュメントがドキュメントウィンドウで最大化されていない場合のみです。ドキュメントを並べて表示するには、ウィンドウ／重ねて表示またはウィンドウ／並べて表示を選択します。選択しているときに、開いているドキュメントをポイントすると、そのドキュメントは画面の前面に移動します。

トップへ戻る

「ハイパーリンク」コマンドによるリンクの追加

「ハイパーリンク」コマンドを使用すると、イメージ、オブジェクト、または別のドキュメントやファイルにテキストリンクを作成できます。

1. ドキュメント内のリンクを表示する箇所に挿入ポイントを置きます。
2. 以下のいずれかの操作を実行し、ハイパーリンクの挿入ダイアログボックスを表示します。
   - 挿入／ハイパーリンクを選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリを選択し、「ハイパーリンク」ボタンをクリックします。
3. リンクのテキストを入力し、「リンク」テキストボックスに、リンク先のファイル名を入力します（またはフォルダーアイコン をクリックして、ファイルを指定します）。
4. ターゲットポップアップメニューから、ファイルを開くウィンドウを選択するか、またはこのウィンドウ名を入力します。

   現在のドキュメントで指定したすべてのフレームの名前がポップアップリストに表示されます。存在しないフレームを指定した場合、リンクされたページは、指定した名前の新規ウィンドウで開きます。以下のターゲット名を選ぶこともできます。

   - _blank は、リンクされたファイルを新規のブラウザーウィンドウにロードします。
   - _parent は、リンクされたファイルを、リンクが含まれている親フレームセットまたはフレームのウィンドウにロードします。リンクを含むフレームがネストされていない場合は、リンクされているファイルは、ブラウザーウィンドウ全体にロードします。
   - _self は、リンクされたファイルを、リンクと同じフレームまたはウィンドウにロードします。このターゲットは初期設定なので、通常は指定する必要はありません。
   - _top は、リンクされたファイルをブラウザーウィンドウ全体にロードして、すべてのフレームを削除します。
5. 「タブインデックス」ボックスに、タブ順序の番号を入力します。
6. 「タイトル」ボックスに、リンクのタイトルを入力します。
7. 「アクセスキー」ボックスに、ブラウザーでリンクを選択する操作を行うキー（1 文字）を割り当てます。
8. 「OK」をクリックします。

トップへ戻る

新規リンクの相対パスの設定

初期設定では、Dreamweaver はドキュメント相対パスを使用して、サイトの他のページへのリンクを作成します。サイトルート相対パスを使用するには、サーバー上のドキュメントルートと同じ機能を持つローカルルートフォルダーを選択して、Dreamweaver でローカルフォルダーを定義します。Dreamweaver はこのフォルダーを使って、ファイルへのサイトルート相対パスを決定します。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトの管理ダイアログボックスで、リストにあるサイトをダブルクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「詳細設定」を展開し、「ローカル情報」カテゴリを選択します。
4. 「ドキュメント」または「サイトルート」オプションを選択して、新しいリンクの相対パスを設定します。

   この設定を変更しても、「OK」をクリックした後に既存のリンクのパスは変換されません。この設定は、Dreamweaver で作成した新規リンクにだけ適用されます。

   注意： テストサーバーを指定するか、編集／環境設定／ブラウザーでプレビューで「一時ファイルを使用してプレビュー」オプションを選択していない限り、ローカルブラウザーでドキュメントをプレビューしても、サイトのルート相対パスを使ってリンクされたコンテンツは表示されません。これは、サーバーと違って、ブラウザーではサイトのルートを認識できないためです。サイトルート相対パスでリンクされているコンテンツをすぐにプレビューする場合は、リモートサーバーにファイルを置き、ファイル／ブラウザーでプレビューを選択します。
5. 「保存」をクリックします。

   新しいパス設定は現在のサイトのみに適用されます。

トップへ戻る

ドキュメント内の特定の場所へのリンク

プロパティインスペクターを使用して、最初にアンカーポイントを作成し、ドキュメント内の特定のセクションにリンクできます。アンカーポイントを使用してドキュメント内のマーカーを設定できます。アンカーポイントは、特定のトピック、またはドキュメントの先頭に置かれる場合がほとんどです。これらのアンカーポイントへのリンクを作成すると、ビジターは特定の位置に素早く移動できます。

アンカーポイントを作成するには、2 つの処理が必要です。つまり、まずアンカーポイントを作成し、その後そのアンカーポイントにリンクを作成します。

注意： アンカーポイントを絶対位置のエレメント（AP エレメント）に配置することはできません。

アンカーポイントの作成

1. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、アンカーポイントを表示する場所に挿入ポイントを置きます。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／アンカーポイントを選択します。
   - Ctrl + Alt + A キー（Windows）または Command + Option + A キー（Mac OS）を押します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリを選択し、「アンカーポイント」ボタンをクリックします。
3. 「アンカーポイント」ボックスに、アンカーの名前を入力し、「OK」をクリックします。アンカーポイントの名前にはスペースを使用できません。

   挿入ポイントにアンカーマーカーが表示されます。

   注意： アンカーマーカーが表示されない場合は、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択します。

アンカーポイントへのリンク

1. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、リンク元にするテキストまたはイメージを選択します。
2. プロパティインスペクターの「リンク」ボックスで、シャープ記号（#）とアンカーの名前を入力します。例えば、現在のドキュメント内のアンカーポイント "top" にリンクするには、「#top.」と入力します。同じフォルダー内の別のドキュメントにあるアンカーポイント "top" にリンクするには、「filename.html#top」と入力します。
   注意： アンカーポイントの名前では、大文字と小文字は区別されます。

「ファイルの指定」によるアンカーポイントへのリンク

1. アンカーポイントを含むドキュメントを開きます。
   注意： アンカーが表示されない場合は、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択してアンカーを表示します。
2. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、リンク元にするテキストまたはイメージを選択します。他の開いているドキュメントを使用する場合は、そのドキュメントに切り替える必要があります。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - プロパティインスペクターの「リンク」ボックスの右にあるファイルの指定アイコン（ターゲットアイコン）をクリックして、リンク先にする、同じドキュメント内のアンカーポイントまたは別の開いているドキュメント内のアンカーポイントにドラッグします。
   - ドキュメントウィンドウで、Shift キーを押しながら選択したテキストまたはイメージを、リンク先にするアンカーポイント（同じドキュ

メント内のアンカーポイントまたは開いている別のドキュメント内のアンカーポイント）にドラッグします。

トップへ戻る

電子メールリンクの作成

電子メールリンクをクリックすると、ユーザーのブラウザーに関連付けられたメールプログラムを使用して、空の新規メッセージウィンドウが開きます。電子メールメッセージウィンドウの「宛先」ボックスには、電子メールリンクで指定されたアドレスが自動的に入力されます。

「電子メールの挿入」コマンドによる電子メールリンクの作成

1. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、電子メールリンクを表示する場所に挿入ポイントを置くか、電子メールリンクとして表示するテキストまたはイメージを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行い、リンクを挿入します。
   - 挿入／電子メールリンクを選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリを選択し、「電子メールリンク」ボタンをクリックします。
3. テキストボックスで、電子メールの本文を入力または編集します。
4. 「電子メール」テキストボックスに電子メールアドレスを入力し、「OK」をクリックします。

プロパティインスペクターによる電子メールリンクの作成

1. ドキュメントウィンドウのデザインビューでテキストまたはイメージを選択します。
2. プロパティインスペクターの「リンク」ボックスに「mailto: 」と入力し、その後に続けて電子メールアドレスを入力します。

   コロンと電子メールアドレスの間には、スペースを入力しないでください。

電子メールの件名の自動挿入

1. 上記で説明したように、プロパティインスペクターを使用して電子メールリンクを作成します。
2. プロパティインスペクターの「リンク」ボックスで、電子メールの後に **?subject=** を追加し、等号記号の後に件名を入力します。疑問符と電子メールアドレスの最後の文字の間にはスペースを入力しないでください。

   入力が完了すると次のようになります。

   mailto:someone@yoursite.com?subject=サイトからのメール

トップへ戻る

Null（ヌル）およびスクリプトリンクの作成

ヌルリンクとは、指定されていないリンクのことです。ヌルリンクを使って、ページ上のオブジェクトまたはテキストにビヘイビアーを添付します。例えば、ヌルリンクにビヘイビアーを関連付けると、リンクにポインターを置いたときに、イメージの切り替えまたは絶対位置のエレメント（AP エレメント）の表示が行われます。

スクリプトリンクは、JavaScript コードを実行するか、JavaScript 関数を呼び出します。現在の Web ページから離れずに、ユーザーに項目の詳細情報を提供するのに役立ちます。スクリプトリンクは、ユーザーが特定の項目をクリックしたときに、計算、フォームの確認、その他の処理タスクを実行するためにも使用できます。

ヌルリンクの作成

1. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、テキスト、イメージ、またはオブジェクトを選択します。
2. プロパティインスペクターの「リンク」ボックスに、「javascript:;」と入力します（「javascript」の後にコロン、セミコロンの順）。

スクリプトリンクの作成

1. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、テキスト、イメージ、またはオブジェクトを選択します。
2. プロパティインスペクターの「リンク」ボックスに「javascript:」と入力し、その後に続けて JavaScript コードまたは関数呼び出しを入力します。コロンと JavaScript コードまたは関数呼び出しとの間には、スペースを入力しないでください。

トップへ戻る

リンクの自動更新

Dreamweaver では、ローカルサイト内でドキュメントを移動する、または名前を変更するときに、ドキュメントのリンクを更新することができます。この機能は、サイト全体（またはサイトのうちの自己完結しているセクション全体）がローカルディスクに保存されている場合に最も効果的です。Dreamweaver では、リモートフォルダー内のファイルは、リモートサーバーにローカルファイルを送信するかチェックインするまで更新されません。

更新処理の速度を高めるには、Dreamweaver で、ローカルフォルダーのすべてのリンク情報を保存するキャッシュファイルを作成します。キャッシュファイルは、ローカルサイトにあるファイルへのリンクを追加、変更、削除するたびに自動的に更新されます。

リンクの自動更新の有効化

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 環境設定ダイアログボックスで、左側のカテゴリリストから「一般」を選択します。
3. 「一般」の「ドキュメントオプション」セクションで、ファイルを移動するときにリンクを更新するポップアップメニューから、次のいずれかのオプションを選択します。
   常に許可 選択したドキュメントの移動や名前変更を行ったときに、そのドキュメントに対するすべてのリンクが自動的に更新されます。

   調整しない 選択したドキュメントの移動や名前変更を行っても、そのドキュメントに対するリンクの自動更新は実行されません。

   警告を表示 更新の対象になるすべてのファイルが一覧表示されたダイアログボックスが表示されます。これらのファイルのリンクを更新するには「更新」をクリックします。ファイルを変更しない場合は「更新しない」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。

サイトのキャッシュファイルの作成

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトを選択して、「編集」ボタンをクリックします。
3. サイト定義ダイアログボックスで、「詳細設定」を展開し、「ローカル情報」カテゴリを選択します。
4. 「ローカル情報」カテゴリで、「キャッシュを使用可能にする」を選択します。

   Dreamweaver を起動してから、初めてローカルフォルダーのファイルへのリンクを変更または削除するときに、Dreamweaver には、キャッシュをロードするように促すメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、Dreamweaver ではキャッシュがロードされ、変更を行ったファイルへのリンクがすべて更新されます。「いいえ」をクリックすると、Dreamweaver では変更はキャッシュに記録されますが、キャッシュはロードされず、リンクは更新されません。

   大きいサイトの場合は、キャッシュのロードに数分かかることがあります。Dreamweaver では、ローカルサイト上のファイルのタイムスタンプとキャッシュに記録されたタイムスタンプを比較して、キャッシュが最新のものかどうかを確認する必要があるからです。Dreamweaver の外でファイルを変更していない場合は、「停止」ボタンをクリックしてかまいません。

キャッシュの再作成

❖ ファイルパネルで、サイト／詳細／サイトキャッシュの再作成を選択します。

トップへ戻る

サイト全体のリンクの変更

ファイルを移動したり名前を変更したときに、Dreamweaver によって自動的にリンクが更新されるようにするだけでなく、電子メール、FTP、ヌル、スクリプトリンクを含むすべてのリンクを手動で他の場所に設定することができます。

この方法は、他のファイルのリンク先になっているファイルを削除する場合に便利ですが、それ以外の目的にも利用できます。例えば、サイト全体で "今月の映画" という語句を /movies/july.html にリンクするとします。8 月 1 日になれば、このリンクを変更して/movies/august.html を指すようにすることになります。

1. ファイルパネルのローカルビューで、ファイルを選択します。
   注意： 電子メール、FTP、ヌル、またはスクリプトリンクを変更する場合、ファイルを選択する必要はありません。
2. サイト／サイト全体のリンクの変更を選択します。
3. サイト全体のリンクの変更ダイアログボックスで、次のオプションを入力します。
   変更するリンク先 フォルダーアイコン をクリックし、リンクを解除するファイルを参照して選択します。電子メール、FTP、ヌル、またはスクリプトリンクを変更する場合、変更するリンクのテキスト全部を入力します。

   変更後のリンク先 フォルダーアイコン をクリックし、リンク先にする新しいファイルを参照して選択します。電子メール、FTP、ヌル、またはスクリプトリンクを変更する場合、置換するリンクのテキスト全部を入力します。
4. 「OK」をクリックします。

   Dreamweaver では、選択したファイルにリンクしているすべてのドキュメントについて、それぞれのドキュメントで使用されていたパス形式を使用して、リンク先が新しいファイルに指定されるように更新します。例えば、今までドキュメント相対パスが使用されている場合は、新しいリンク先へのパスもドキュメント相対パスが使用されます。

   リンクをサイト全体で変更した後、選択ファイルは単独ファイル（リンク元のファイルがローカルディスク上に存在しないファイル）になります。このファイルを削除しても、Dreamweaver のローカルサイトのリンクは破損しません。

   重要： これらの変更はローカルで行われているので、リモートフォルダーの対応する単独ファイルを手動で削除して、リンクを変更したすべてのファイルを配置またはチェックインする必要があります。この処理をしないと、変更内容がサイトに反映されません。

トップへ戻る

Dreamweaver でのリンクのテスト

Dreamweaver 内ではリンクはアクティブにならないので、ドキュメントウィンドウ内でリンクをクリックしても、リンク先のドキュメントを開くことはできません。

❖

次のいずれかの操作を実行します。

- リンクを選択して、修正／リンクページを開くを選択します。
- Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら、リンクをダブルクリックします。

注意： リンクされたドキュメントは、ローカルディスクにある必要があります。

関連項目

リンクの作成のチュートリアル

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ジャンプメニュー

ジャンプメニューについて
ジャンプメニューの挿入
ジャンプメニュー項目の編集
ジャンプメニューのトラブルシューティング

ジャンプメニューについて

トップへ戻る

ジャンプメニューとは、ドキュメント内に表示されるポップアップメニューで、サイトのビジターが参照でき、ドキュメントまたはファイルへのリンクが一覧表示されます。Web サイト内のドキュメントへのリンク、他の Web サイト上のドキュメントへのリンク、電子メールリンク、グラフィックへのリンク、さらに、ブラウザーで開くことが可能なあらゆる種類のファイルへのリンクを作成することができます。

ジャンプメニューの各オプションは、URL に関連付けられます。オプションを選択したユーザーは、関連付けられた URL にリダイレクト（"移動"）されます。ジャンプメニューは「ジャンプメニュー」フォームオブジェクトの中に挿入されます。

ジャンプメニューには、次の 3 つのコンポーネントを含めることができます。

- （オプション）メニュー項目のカテゴリの説明、または「選択してください：」などの指示を表示するメニュー選択プロンプト。
- （必須）リンクされたメニュー項目のリスト。オプションが選択されると、リンクされたドキュメントまたはファイルが開きます。
- （オプション）「移動」ボタン。

ジャンプメニューの挿入

トップへ戻る

1. ドキュメントを開き、ドキュメントウィンドウに挿入ポイントを配置します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／フォーム／ジャンプメニューを選択します。
   - 挿入パネルの「フォーム」カテゴリを選択し、「ジャンプメニュー」ボタンをクリックします。
3. ジャンプメニューの挿入ダイアログボックスで入力を完了したら、「OK」をクリックします。これらのオプションは、次のとおりです。
   「+」ボタンと「-」ボタン メニュー項目を挿入するには「+」ボタンをクリックし、さらにメニュー項目を追加するには「+」ボタンをもう一度クリックします。メニュー項目を削除するには、メニュー項目を選択して「-」ボタンをクリックします。

   矢印ボタン メニュー項目を選択し、上または下の矢印ボタンをクリックして上または下に移動します。

   Text メニュー項目の名前を入力します。メニューに選択プロンプト（"選択してください" など）を含める場合は、1 番目のメニュー項目としてここに入力してください。この場合、下部にある「URL の変更後、最初の項目を選択」オプションも選択する必要があります。

   選択時に **URL** に移動 目的のファイルを参照するか、このファイルのパスを入力します。

   URL を開く場所 同じウィンドウまたはフレームのいずれでファイルを開くかを指定します。目的のフレームがメニューに表示されない場合、ジャンプメニューの挿入ダイアログボックスを閉じて、フレームに名前を付けます。

   メニューの後に移動ボタンを挿入 メニュー選択プロンプトの代わりに移動ボタンを挿入する場合に選択します。

   URL の変更後、最初の項目を選択 1 番目のメニュー項目としてメニュー選択プロンプト（"選択してください"）を挿入する場合に選択します。

ジャンプメニュー項目の編集

トップへ戻る

メニュー項目の順序の変更や、メニュー項目のリンク先ファイルの変更、さらにメニュー項目の追加、削除、名前変更が可能です。

リンクされたファイルを開く場所を変更したり、メニュー選択プロンプトを追加または変更するには、ビヘイビアーパネルの「ジャンプメニュー」ビヘイビアーを適用する必要があります。

1. プロパティインスペクターが開いていない場合は、ウィンドウ／プロパティを選択して開きます。
2. ドキュメントウィンドウのデザインビューで、ジャンプメニューオブジェクトをクリックして選択します。
3. プロパティインスペクターで「リスト値」ボタンをクリックします。
4. リスト値ダイアログボックスで、メニュー項目を変更し、「OK」をクリックします。

ジャンプメニューのトラブルシューティング

ジャンプメニュー項目を選択した後は、そのページに戻っても、または「URL を開く場所」ボックスでフレームを指定しても、同じ項目を選択し直すことはできません。この問題に対処する方法は、2 とおりあります。

- カテゴリまたは「選択してください」などの指示を表示するメニュー選択プロンプトを使用します。メニュー選択プロンプトは、メニュー選択ごとに自動的に再選択されます。
- ユーザーが現在選択しているリンクに再度アクセスできる「移動」ボタンを使います。ジャンプメニューで「移動」ボタンを使用する場合、メニューの選択内容に関連付けられた URL にユーザーをジャンプさせるメカニズムは、「移動」ボタンだけになります。ジャンプメニューでメニュー項目を選択しても、ユーザーが別のページまたはフレームに自動的にリダイレクトされることはなくなります。

  注意： ジャンプメニューの挿入ダイアログボックスで 1 つのジャンプメニューごとに、どちらか 1 つのオプションを選択してください。これは、これらのオプションがジャンプメニュー全体に適用されるためです。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

イメージマップ

イメージマップについて
クライアントサイドのイメージマップの挿入
イメージマップのホットスポットの修正

イメージマップについて

トップへ戻る

イメージマップとは、ホットスポットと呼ばれる領域に分割されたイメージのことです。ホットスポットをクリックすると、新しいファイルが開くなどのアクションが実行されます。

クライアントサイドのイメージマップでは、ハイパーテキストリンク情報は HTML ドキュメントに保存されます。これは、ハイパーテキストリンク情報が別個のマップファイルに保存されるサーバーサイドのイメージマップの場合とは異なります。サイトビジターがイメージのホットスポットをクリックすると、関連付けられた URL が直接サーバーに送られます。クライアントサイドのイメージマップは、サーバーがクリック箇所を解釈しなくてもすむので、サーバーサイドのイメージマップよりも高速に処理されます。クライアントサイドのイメージマップは、Netscape Navigator 2.0 以降、NCSA Mosaic 2.1 および 3.0、Microsoft Internet Explorer のすべてのバージョンでサポートされています。

Dreamweaver では、既存のドキュメント内のサーバーサイドのイメージマップへの参照は変更されません。したがって、同じドキュメント内で、クライアントサイドのイメージマップとサーバーサイドのイメージマップの両方を使用することができます。両タイプのイメージマップをサポートするブラウザーでは、クライアントサイドのイメージマップが優先的に使用されます。サーバーサイドのイメージマップをドキュメントに組み込むには、適切な HTML コードを記述する必要があります。

クライアントサイドのイメージマップの挿入

トップへ戻る

クライアントサイドのイメージマップを挿入するときは、ホットスポット領域を作成してから、ホットスポット領域をクリックしたときに開くリンクを定義します。

注意： ホットスポット領域は複数作成できますが、それらは同じイメージマップの一部です。

1. ドキュメントウィンドウで、イメージを選択します。
2. プロパティインスペクターの右下隅にある縮小の三角形をクリックして、すべてのプロパティを表示します。
3. 「マップ」ボックスに、イメージマップの一意な名前を入力します。1 つのドキュメント内で複数のイメージマップを使っている場合、それぞれのマップに異なる名前を付けてください。
4. イメージマップ領域を定義するには、以下のいずれかの操作を行います。
   - 円形ツール を選択し、ポインターをイメージ上にドラッグして、円形のホットスポットを作成します。
   - 長方形ツール を選択し、ポインターをイメージ上にドラッグして、長方形のホットスポットを作成します。
   - 多角形ツール を選択し、頂点を 1 回ずつクリックして、不規則な形状のホットスポットを定義します。矢印ツールをクリックし、形状を確定します。

     ホットスポットを作成すると、ホットスポットのプロパティインスペクターが表示されます。
5. ホットスポットのプロパティインスペクターの「リンク」ボックスで、フォルダーのアイコン をクリックし、ホットスポットがクリックされたときに開くファイルを選択するか、またはそのパスを入力します。
6. ターゲットポップアップメニューから、ファイルを開くウィンドウを選択するか、またはこのウィンドウ名を入力します。

   現在のドキュメントで指定したすべてのフレームの名前がポップアップリストに表示されます。存在しないフレームを指定した場合、リンクされたページは、指定した名前の新規ウィンドウにロードされます。以下のターゲット名を選ぶこともできます。
   - _blank は、リンクされたファイルを新規のブラウザーウィンドウにロードします。
   - _parent は、リンクされたファイルを、リンクが含まれている親フレームセットまたはフレームのウィンドウにロードします。リンクを含むフレームがネストされていない場合は、リンクされているファイルは、ブラウザーウィンドウ全体にロードします。
   - _self は、リンクされたファイルを、リンクと同じフレームまたはウィンドウにロードします。このターゲットは初期設定なので、通常は指定する必要はありません。
   - _top は、リンクされたファイルをブラウザーウィンドウ全体にロードして、すべてのフレームを削除します。

     注意： このターゲットオプションは、選択したホットスポットにリンクが含まれていない場合は使用できません。
7. 「代替」ボックスに、テキスト専用ブラウザー、またはイメージを手動でダウンロードするよう設定されたブラウザーに表示する代替テキストを入力します。ブラウザーによっては、ユーザーがマウスポインターをホットスポット上に置いたときに、このテキストがツールヒントとして表示されます。

8. イメージマップに追加のホットスポットを定義するには、手順 4 ～ 7 を繰り返します。
9. イメージのマッピングを終了したら、ドキュメントの空白の領域をクリックし、プロパティインスペクターの表示内容を切り替えます。

トップへ戻る

イメージマップのホットスポットの修正

イメージマップ内に作成したホットスポットは簡単に編集できます。ホットスポット領域の移動、ホットスポットのサイズ変更や絶対位置のエレメント（AP エレメント）の前面/背面への移動などを行うことができます。

ホットスポットを含むイメージを他のドキュメントにコピーしたり、あるイメージから別のイメージにホットスポット（複数可）をコピー＆ペーストしたりできます。イメージに関連付けられたホットスポットを、新規ドキュメントにコピーすることもできます。

イメージマップでの複数のホットスポットの選択

1. ポインターホットスポットツールを使用してホットスポットを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 目的のホットスポットを Shift キーを押しながらクリックします。
   - すべてのホットスポットを選択するには、Ctrl + A キー（Windows）または Command + A キー（Mac OS）を押します。

ホットスポットの移動

1. ポインターホットスポットツールを使用してホットスポットを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 新しい位置にホットスポットをドラッグして移動します。
   - Ctrl + 矢印キーを押すと、目的の方向へ 10 ピクセルずつホットスポットを移動できます。
   - 矢印キーを押すと、目的の方向へ 1 ピクセルずつホットスポットを移動することができます。

ホットスポットのサイズ変更

1. ポインターホットスポットツールを使用してホットスポットを選択します。
2. ホットスポット選択ハンドルをドラッグし、ホットスポットのサイズまたは形状を変更します。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

リンクおよびナビゲーションについて

リンクについて
絶対パス、ドキュメント相対パスおよびサイトルート相対パス

リンクについて

トップへ戻る

Web サイトのドキュメントを保存する Dreamweaver サイトを設定し、HTML ページを作成すると、自分のドキュメントから他のドキュメントにリンクできるようになります。

Dreamweaver では、ドキュメント、イメージ、マルチメディアファイル、またはダウンロード可能なプログラムへのリンクを様々な方法で作成できます。見出し、リスト、テーブル、絶対位置のエレメント（AP エレメント）、またはフレームなど、ドキュメント内のどこにでも、テキストやイメージのリンクを確立できます。

リンクの作成および管理は、様々な方法で行うことができます。最初にすべてのファイルとページを作成してからリンクを追加する方法もあれば、実際にはまだ作成されていないページやファイルを想定してリンクを作成する方法もあります。リンクを管理するもう 1 つの方法としては、プレースホルダーページを作成します。プレースホルダーページでは、すべてのサイトページを完成させる前に、リンクの追加およびリンクのテストができます。

絶対パス、ドキュメント相対パスおよびサイトルート相対パス

トップへ戻る

リンクを作成する場合は、リンク元のドキュメントとリンク先のドキュメントまたはアセット間のファイルパスを把握している必要があります。

各 Web ページには、URL（Universal Resource Locator：ユニバーサルリソースロケーター）と呼ばれる固有のアドレスがあります。ただし、ローカルリンク（同じサイト内のドキュメント間で作成されるリンク）を作成する場合は、リンクを作成するドキュメントの URL のすべてを指定する必要はありません。代わりに、現在のドキュメントまたはサイトのルートフォルダーからの相対パスを指定します。

リンクパスには、次の 3 種類があります。

- 絶対パス（http://www.adobe.com/support/dreamweaver/contents.html など）。
- ドキュメント相対パス（dreamweaver/contents.html など）。
- サイトルート相対パス（/support/dreamweaver/contents.html など）。

  Dreamweaver を使用すると、リンクを作成するためのドキュメントパスの種類を簡単に選択できます。

  注意： 使用するリンクの種類は、好みに応じて選択できます。サイトルート相対パスでもドキュメント相対パスでも、使用しやすいパスで指定することができます。リンクを表示する場合は、パスの入力とは対照的に常に正確なパスを入力する必要があります。

絶対パス

絶対パスは、使用するプロトコル（Web を表す http://）をはじめとして、http://www.adobe.com/support/dreamweaver/contents.html のように、リンクされたドキュメントの完全な URL を表します。イメージアセットの場合、完全な URL は、http://www.adobe.com/support/dreamweaver/images/image1.jpg のようになります。

他のサーバー上のドキュメントまたはアセットにリンクする際は、絶対パスを使用します。また、ローカルリンク（同じサイト内のドキュメント間のリンク）でも絶対パスを使用できます。ただし、絶対パスで指定した場合、他のドメイン内にサイトを移動するとローカルの絶対パスによるリンクはすべて機能しなくなります。それに対して、ローカルリンクで相対パスを使用すると、サイト内でファイルを移動した場合でも柔軟に対応できます。

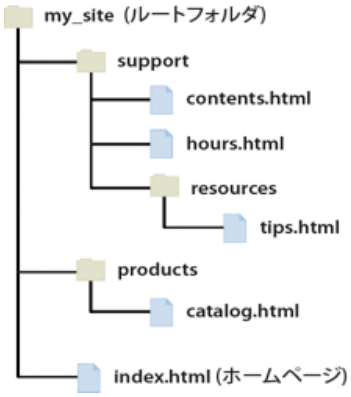
注意： リンクではなくイメージを挿入すると、リモートサーバーにあるイメージ（ローカルハードドライブにはないイメージ）の絶対パスを使用できます。

ドキュメント相対パス

ドキュメント相対パスは、ほとんどの Web サイトのローカルリンクに最も適しています。現在のドキュメントとリンク対象のドキュメントまたはアセットが同じフォルダー内にあり、共にそのまま配置しておく場合は特に便利です。ドキュメント相対パスを使うと、現在のドキュメントからリンクされたドキュメントまでのパスをフォルダー階層を通して指定して、他のフォルダーのドキュメントまたはアセットにリンクできます。

ドキュメント相対パスを指定する場合は、現在のドキュメントとリンク対象のドキュメントまたはアセットのパスで異なる部分だけを指定します。両方に共通する絶対パスの部分は省略します。

例えば、次の構造のサイトがあるとします。



- "contents.html" から "hours.html"（いずれも同じフォルダー内）にリンクするには、相対パス "hours.html" を使用します。
- "contents.html" から "tips.html"（resources サブフォルダー内）にリンクするには、相対パス "resources/tips.html" を使用します。スラッシュ（/）は、フォルダー階層で 1 レベル下に移動することを意味します。
- "contents.html" から "index.html"（親フォルダー内で、"contents.html" の 1 レベル上にある）にリンクするには、相対パス "../index.html" を使います。ドット 2 つとスラッシュ（../）は、フォルダー階層で 1 レベル上に移動することを意味します。
- "contents.html" から "catalog.html"（親フォルダーの、別のサブフォルダーにある）にリンクするには、相対パス "../products/catalog.html" を使います。"../" は、親フォルダーに向かって上に移動することを意味し、"products/" は、products サブフォルダーに向かって下に移動することを意味します。

  いくつかのまとまったファイルをグループとして移動する場合、例えばフォルダー全体を移動するような場合は、フォルダー内のすべてのファイル間で相対パスが維持されるため、ファイル間のドキュメント相対リンクを更新する必要はありません。ただし、ドキュメント相対リンクを含む個別のファイルを移動する場合、またはドキュメント相対リンクでリンクされた個別のファイルを移動する場合は、リンクを更新する必要があります。ファイルパネルでファイルを移動または名前変更すると、Dreamweaver によってすべての相対リンクが自動的に更新されます。

サイトルート相対パス

サイトルート相対パスは、サイトのルートフォルダーからドキュメントまでのパスを指定します。複数のサーバーを使用する、または複数のサイトを持つサーバーを使用する大規模な Web サイトを構築している場合には、サイトルート相対パスが適しています。ただし、このようなパスの使い方を十分に理解していない場合は、ドキュメント相対パスを使用することもできます。

サイトルート相対パスは、サイトのルートフォルダーを意味するスラッシュから始まります。例えば、/support/tips.html はサイトのルートフォルダーの support サブフォルダーにある tips.html ファイルへのサイトルート相対パスです。

通常、サイトルート相対パスは、Web サイト上のあるフォルダーから他のフォルダーに HTML ファイルを頻繁に移動する必要がある場合のリンクの指定に適しています。ルート相対リンクを含むドキュメントを移動する場合、リンクを変更する必要はありません。リンクは、ドキュメント自体ではなく、サイトルートに対して相対的であるためです。例えば、HTML ファイルで依存ファイル（イメージなど）に対してサイトルート相対リンクを使用している場合、HTML ファイルを移動しても、依存ファイルのリンクは有効のままです。

ただし、サイトルート相対リンクでリンクされたドキュメントを移動または名前変更する場合は、そのリンクを更新する必要があります。ドキュメント間の相対パスが変わっていない場合でも、リンクの更新が必要です。例えば、フォルダーを移動すると、そのフォルダー内のファイルへのすべてのサイトルート相対リンクを更新する必要があります。ファイルパネルでファイルを移動または名前変更すると、Dreamweaver によってすべての相対リンクが自動的に更新されます。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

コーディング

コードの記述と編集

コードヒント
サイト固有のコードヒント
コーディングツールバーでのコードの挿入
挿入パネルでのコードの挿入
タグ選択ダイアログボックスでのタグの挿入
HTML コメントの挿入
コードのコピーとペースト
タグエディターでのタグの編集
コーディングコンテキストメニューを使用したコード編集
プロパティインスペクターによるサーバー言語タグの編集
コードブロックのインデント
関連コードへのナビゲーション
JavaScript または VBScript の関数へのジャンプ
JavaScript の抽出
コードスニペットの操作
コード内のタグ、属性、またはテキストの検索
検索パターンの保存と再利用
言語リファレンス資料の使用
コードの印刷

トップへ戻る

コードヒント

コードヒント機能を使用すると、コードを迅速に間違いなく挿入および編集することができます。コードビューに文字を入力していくと、その入力内容を自動補完する候補のリストが表示されます。例えば、タグ、属性または CSS プロパティ名の先頭の部分を入力すると、その入力対象に応じた選択肢が一覧表示されます。この機能により、コードを挿入したり編集したりする作業が簡単になります。また、タグに対して使用可能な属性、関数に対して使用可能なパラメーター、オブジェクトに対して使用可能なメソッドを調べることもできます。

コードヒントは、様々な種類のコードで使用できます。コードの文字入力を開始すると、該当するコードの種類に応じた適切な候補が一覧表示されます。例えば、HTML タグ名に関するコードヒントのリストを表示するには、開始山形カッコ（<）を入力します。同じように、JavaScript のコードヒントを表示するには、オブジェクトの後にピリオド（ドット演算子）を入力します。

> 最良の結果を得るには（特に、関数とオブジェクトのコードヒントを使用する場合）、コードヒント環境設定ダイアログボックスの「遅延」オプションを 0 秒に設定します。

コードヒント機能では、言語に組み込まれていないカスタムの JavaScript クラスも認識します。カスタムクラスは独自に作成したものでも、Prototype などのサードパーティ製ライブラリによって追加したものでもかまいません。

コードヒントのリストを閉じるには、BackSpace キー（Windows）または Del キー（Mac OS）を押します。

コードヒントのビデオチュートリアルについては、www.adobe.com/go/lrvid4048_dw_jp を参照してください。

Dreamweaver の JavaScript サポートについて Dreamweaver エンジニアリングチームが説明する概要ビデオは、www.adobe.com/go/dw10javascript_jp を参照してください。

サポートされる言語およびテクノロジ

Dreamweaver では、次の言語およびテクノロジに関するコードヒントがサポートされています。

- Adobe ColdFusion
- Ajax
- ASP JavaScript
- ASP.NET C#
- ASP.NET VB
- ASP VBScript
- CSS2 および CSS3
- DOM（ドキュメントオブジェクトモデル）
- HTML4 および HTML5

- jQuery（CS5.5 以降）
- JavaScript（カスタムクラスのヒントを含む）
- JSP
- PHP MySQL
- Spry

コードヒントメニューの表示

コードヒントメニューは、コードビューに文字を入力すると自動的に表示されますが、文字を入力せずに手動で表示することもできます。

1. コードビュー（ウィンドウ／コード）で、挿入ポイントをタグ内に配置します。
2. Ctrl + スペースキーを押します。

コードヒントによるコードビューでのコードの挿入

1. コードの断片の先頭を入力します。例えば、タグを挿入する場合は、開始山形カッコ（<）を入力します。属性を挿入する場合は、タグ名の直後に挿入ポイントを置き、スペースキーを押します。

   項目のリスト（タグ名や属性名など）が表示されます。

   リストを閉じるには、Esc キーを押します。
2. リストをスクロールするには、スクロールバーまたは上向き矢印キーと下向き矢印キーを使用します。
3. リストから項目を挿入するには、項目をダブルクリックするか、項目を選択して Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

   最近作成した CSS スタイルが CSS スタイルのコードヒントリストに表示されない場合は、コードヒントリストから「スタイルリストの更新」を選択してください。デザインビューが表示されている場合、「スタイルリストの更新」を選択した後、デザインビュー上に無効なコードが一時的に表示されることがあります。この無効なコードをデザインビューから消すには、スタイルを挿入した後に F5 キーを押して表示内容を更新します。
4. 終了タグを挿入するには、「</（スラッシュ）」を入力します。
   注意： 初期設定では、終了タグが必要かどうかは Dreamweaver によって自動的に判定され、必要であれば自動的に挿入されます。この初期設定を変更すると、開始タグの最後の山形カッコ（>）を入力した後に Dreamweaver によって終了タグが挿入されるようにできます。また、終了タグをまったく挿入しないように初期設定を変更することもできます。編集／環境設定／コードヒントを選択し、「終了タグ」オプションのいずれかを選択します。

コードヒントによるタグの編集

- ある属性を別の属性に置換するには、まず属性とその値を削除してから、前の説明に従って新しい属性とその値を追加します。
- 値を変更するには、まず値を削除してから、前の説明に従って新しい値を追加します。

JavaScript コードヒントの更新

JavaScript に対して表示されるコードヒントリストの内容は、JavaScript ファイルに対して行った操作に応じて自動的に更新されます。例えば、プライマリ HTML ファイルに対する作業の途中で、JavaScript ファイルに切り替えて変更を加えたとします。それから プライマリ HTML ファイルに戻ると、JavaScript ファイルに加えた変更はコードヒントに反映されています。ただし、自動更新が機能するのは JavaScript ファイルを Dreamweaver 上で編集した場合のみです。

Dreamweaver 以外で JavaScript ファイルを編集した後は、Ctrl + ピリオドを押すことで JavaScript のコードヒントを更新できます。

コードヒントとシンタックスエラー

Dreamweaver がコード内のシンタックスエラーを検出した場合、コードヒントが正常に機能しないことがあります。シンタックスエラーの情報は、ページの最上部にあるバーに表示されます。Dreamweaver がエラーを発見したコードの先頭行が「情報バーのシンタックスエラー警告」に表示されます。エラーを修正した後、それ以降に発生したエラーがあれば、それらが Dreamweaver 上に引き続き表示されます。

さらに、シンタックスエラーの発生した場所がわかりやすいよう、該当する行の行番号が赤くハイライト表示されます。このハイライトは、エラーがあるファイルのコードビューに表示されます。

Dreamweaver には、現在のページに関するシンタックスエラーだけでなく、関連するページのシンタックスエラーも表示されます。例えば、作業対象の HTML ファイルで JavaScript ファイルをインクルードして使用する場合、インクルードする JavaScript ファイルにエラーがあると、そのファイルに関する警告も表示されます。エラーを含んだ関連ファイルは、ドキュメントの最上部に表示された名前をクリックして簡単に開くことができます。

「情報バーのシンタックスエラー警告」は、コーディングツールバーの「情報バーのシンタックスエラー警告」ボタンをクリックすることで無効にできます。

コードヒントの環境設定

コードヒントに関する環境設定の初期値は変更できます。例えば、CSS プロパティ名や Spry コードヒントが表示されないようにするには、それ

らをコードヒントの環境設定でオフにします。また、コードヒント表示の遅延時間および終了タグに関する環境設定も指定できます。

コードヒントがオフの場合でも、Ctrl + スペースキーを押すと、コードビューにポップアップヒントが表示されます。

1. 編集／環境設定を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「コードヒント」を選択します。
3. 次のいずれかのオプションを設定します。
   終了タグ Dreamweaver による終了タグの挿入方法を指定します。初期設定では、Dreamweaver により </ 文字を入力した後に自動的に終了タグが挿入されます。この初期設定を変更して、開始タグの最後の山形カッコ（>）を入力した後に終了タグが挿入されるようにすることや、終了タグがまったく挿入されないようにすることもできます。

   コードヒントを使用可能にする コードビューでのコード入力時にヒントを表示します。遅延スライダをドラッグして、該当するヒントが表示されるまでの時間（秒）を設定します。

   ツールヒントを有効にする 選択したコードヒントに詳細な説明がある場合はそれを表示します。

   メニュー 入力時に表示するコードヒントの種類を設定します。メニューに表示されるものをすべて使用することも、一部だけを使用することもできます。

トップへ戻る

サイト固有のコードヒント

Dreamweaver CS5 では、Joomla、Drupal、Wordpress または他のフレームワークを使用して、コードビューで作成しながら PHP のコードヒントを表示できます。コードヒントを表示するには、サイト固有のコードヒントダイアログボックスを使用して先に設定ファイルを作成する必要があります。設定では、サイト固有のコードヒントを検索する場所を Dreamweaver に指示します。

サイト固有のコードヒントの使用方法に関するビデオチュートリアルについては、www.adobe.com/go/learn_dw_comm13_jp を参照してください。

設定ファイルの作成

Dreamweaver でコードヒントを表示するために必要な設定ファイルを作成するには、サイト固有のコードヒントダイアログボックスを使用します。

デフォルトでは、Dreamweaver は設定ファイルを Adobe Dreamweaver CS5¥configuration¥Shared¥Dinamico¥Presets ディレクトリに保存します。

注意： 作成するコードヒントは、Dreamweaver のファイルパネルで選択されているサイト固有になります。コードヒントを表示するには、作業中のページが現在選択されているサイトに存在している必要があります。

1. サイト／サイト固有のコードヒントを選択します。

   デフォルトでは、サイト固有のコードヒント機能はサイトをスキャンして、使用されているコンテンツ管理システム（CMS）を判別します。Dreamweaver は、Drupal、Joomla、Wordpress の 3 種類のフレームワークをデフォルトでサポートします。

   構造ポップアップメニューの右側にある 4 つのボタンを使用して、フレームワークの構造をインポート、保存、名前変更、または削除できます。

   注意： 既存のデフォルトのフレームワーク構造については、削除または名前を変更することはできません。

2. 「サブルート」テキストボックスで、フレームワークのファイルを保存するサブルートフォルダーを指定します。テキストボックスの横にあるフォルダーアイコンをクリックして、フレームワークファイルの場所を参照できます。

   フレームワークファイルが含まれるフォルダーのファイルツリー構造が表示されます。スキャンするフォルダーやファイルがすべて表示されている場合は、「OK」をクリックしてスキャンを実行します。スキャンをカスタマイズする場合は、次の手順に進みます。

3. ファイルウィンドウの上にあるプラス（+）ボタンをクリックして、スキャンに追加するファイルまたはフォルダーを選択します。ファイル/フォルダーを追加ダイアログボックスでは、含める特定のファイル拡張子を指定できます。

   注意： 特定のファイル拡張子を指定すると、スキャン処理の時間が短くなります。

4. スキャンからファイルを削除するには、スキャンしないファイルを選択し、ファイルウィンドウの上にあるマイナス（-）ボタンをクリックします。

   注意： Drupal または Joomla がフレームワークとして選択されている場合は、Dreamweaver 設定フォルダー内のファイルに対する追加のパスがサイト固有のコードヒントダイアログボックスに表示されます。このパスはこれらのフレームワークを使用するときに必要なので、削除しないでください。

5. サイト固有のコードヒント機能による特定のファイルまたはフォルダーの処理方法をカスタマイズするには、リストから選択し、次のいずれかを行います。
   - 選択したフォルダーをスキャンに含めるには、「このフォルダーをスキャン」を選択します。
   - 選択したディレクトリ内のすべてのファイルおよびフォルダーを含めるには、「再帰的」を選択します。
   - 「拡張子」ボタンをクリックして拡張子を検索ダイアログボックスを開き、特定のファイルまたはフォルダーのスキャンに含めるファイル拡張子を指定できます。

サイト構造の保存

サイト固有のコードヒントダイアログボックスで作成したカスタマイズ済みのサイト構造を保存できます。

1. 必要に応じてファイルやフォルダーを追加および削除し、対象とするファイルとフォルダーの構造を作成します。
2. ダイアログボックスの右上隅にある「構造を保存」ボタンをクリックします。
3. サイト構造の名前を指定して、「保存」をクリックします。

注意： 指定した名前が既に使用されている場合は、別の名前を入力するか、または同じ名前の構造の上書きを確認するかのいずれかを求められます。デフォルトのフレームワーク構造を上書きすることはできません。

サイト構造の名前の変更

サイト構造の名前を変更するときは、3 つのデフォルトのサイトフレームワーク構造の名前または「custom」という単語は使用できないことに注意してください。

1. 名前を変更する構造を表示します。
2. ダイアログボックスの右上隅にある「構造の名前を変更」アイコンボタンをクリックします。
3. 構造の新しい名前を指定して、「名前の変更」をクリックします。

注意： 指定した名前が既に使用されている場合は、別の名前を入力するか、または同じ名前の構造の上書きを確認するかのいずれかを求められます。デフォルトのフレームワーク構造を上書きすることはできません。

サイト構造へのファイルまたはフォルダーの追加

フレームワークに関連付けられている任意のファイルまたはフォルダーを追加できます。その後で、スキャンするファイルのファイル拡張子を指定できます（次の節を参照）。

1. ファイルウィンドウの上部にあるプラス（+）ボタンをクリックして、ファイル / フォルダーを追加ダイアログボックスを開きます。
2. 「ファイル / フォルダーを追加」テキストボックスに、追加するファイルまたはフォルダーのパスを入力します。テキストボックスの横にあるフォルダーアイコンをクリックして、ファイルまたはフォルダーを参照することもできます。
3. 拡張子ウィンドウの上部にあるプラス（+）ボタンをクリックして、スキャンするファイルのファイル拡張子を指定します。

   注意： 特定のファイル拡張子を指定すると、スキャン処理の時間が短くなります。
4. 「追加」をクリックします。

サイトでのファイル拡張子のスキャン

サイト構造に含まれるファイル拡張子を表示および編集するには、拡張子を検索ダイアログボックスを使用します。

1. サイト固有のコードヒントダイアログボックスで、「拡張子」ボタンをクリックします。

   拡張子を検索ダイアログボックスに、現在スキャン可能になっている拡張子が一覧表示されます。
2. リストに別の拡張子を追加するには、拡張子ウィンドウの上部にあるプラス（+）ボタンをクリックします。
3. リストから拡張子を削除するには、マイナス（-）ボタンをクリックします。

トップへ戻る

コーディングツールバーでのコードの挿入

1. 現在、コードビューであることを確認します（表示／コード）。
2. コード内に挿入ポイントを置くか、コードブロックを選択します。
3. コーディングツールバー内のボタンをクリックするか、ツールバーのポップアップメニューからメニュー項目を選択します。

   各ボタンの機能については、ボタンの上にポインターを移動すると、ツールヒントが表示されます。コーディングツールバーには、初期設定では以下のボタンが表示されます。

   現在開いているドキュメント 現在開いているドキュメントが表示されます。1 つを選択すると、そのドキュメントがドキュメントウィンドウに表示されます。

   コードナビゲーターの表示 コードナビゲーターを表示します。詳しくは、関連コードへのナビゲーションを参照してください。

   フルタグをたたむ 1 組の開始タグと終了タグで囲まれているコード部分（<table> と </table> の間のコード部分など）を折りたたみます。タグを折りたたむには、開始タグまたは終了タグのどちらかに挿入ポイントを置いてから、「フルタグをたたむ」ボタンをクリックする必要があります。

   開始タグまたは終了タグの内側に挿入ポイントを置き、Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながら「フルタグをたたむ」ボタンをクリックすると、フルタグの外側のコードも折りたたむことができます。さらに、Ctrl キーを押しながらこのボタンをクリックすると、スマート折りたたみ機能が無効になり、Dreamweaver は、フルタグの外側で折りたたむコード部分を調整しなくなります。詳しくは、コードの折りたたみについてを参照してください。

   選択範囲をたたむ 選択されているコード範囲を折りたたみます。

Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながら「選択範囲をたたむ」ボタンをクリックしても、選択範囲の外側のコードを折りたたむことができます。さらに、Ctrl キーを押しながらこのボタンをクリックすると、スマート折りたたみ機能が無効になり、Dreamweaver から操作することなく、選択範囲をすべて折りたたむことができます。詳しくは、コードの折りたたみについてを参照してください。

すべて展開 折りたたまれているコードをすべて展開表示します。

親タグを選択 挿入ポイントを置いた行のコード部分と、それを囲む開始タグおよび終了タグを選択します。このボタンを繰り返しクリックし、開始タグと終了タグが正しく対応している場合は、最終的に Dreamweaver により、最も外側の html タグと /html タグが選択されます。

カッコ内を選択 挿入ポイントを置いた行のコード部分と、それを囲むカッコ、波カッコ、または角カッコが選択されます。このボタンを繰り返しクリックし、開始と終了のカッコが正しく対応している場合は、ドキュメントの最も外側のカッコ、波カッコ、または角カッコが、最終的に Dreamweaver によって選択されます。

行番号 コードの各行の先頭に表示する行番号の表示/非表示を切り替えることができます。

無効なコードをハイライト表示 無効なコードを黄色でハイライト表示します。

情報バーのシンタックスエラー警告 ページ最上部にシンタックスエラー警告を表示する情報バーを有効または無効にします。Dreamweaver でシンタックスエラーが検出されると、エラーが発生した場所のコードが「情報バーのシンタックスエラー警告」に表示されます。また、コードビュー上では、エラー発生行の左側に付けられた行番号がハイライト表示されます。情報バーは初期設定で有効になっていますが、Dreamweaver がページ内にシンタックスエラーを検出した場合にのみ表示されます。

コメントの適用 選択したコードの両側にコメントタグを挿入するか、新しいコメントタグを開きます。

- 「HTML コメントの適用」を選択すると、選択したコードが <!-- と --> で囲まれるか、コードが選択されていない場合は新しいコメントタグを表示します。
- 「// コメントの適用」を選択すると、選択した CSS または JavaScript コードの各行の先頭に // タグが挿入されます。コードが選択されていない場合は、// タグが 1 つだけ挿入されます。
- 「/* */ コメントの適用」を選択すると、選択した CSS または JavaScript コードが /* と */ で囲まれます。
- 「' コメントの適用」は Visual Basic コード向けのものです。これを選択すると、Visual Basic スクリプトの各行の先頭に一重引用符が挿入されます。コードが選択されていない場合は、挿入ポイントの場所に一重引用符が挿入されます。
- ASP、ASP.NET、JSP、PHP、または ColdFusion ファイルを操作している状態で「サーバーコメントの適用」オプションを選択すると、Dreamweaver により正しいコメントタグが自動的に検出され、選択範囲に対して適用されます。

コメントの削除 選択されているコードからコメントタグを削除します。ネストされたコメントを含む選択範囲の場合、外側のコメントタグのみが削除されます。

折り返しタグ 選択したコードを、クイックタグ編集で選択したタグで囲みます。

最近使用したスニペット 最近使用したコードスニペットをスニペットパネルから挿入できます。詳しくは、コードスニペットの操作を参照してください。

CSS を移動または変換 CSS を別の場所に移動するか、インライン CSS を CSS ルールに変換できます。詳しくは、CSS ルールを移動または書き出しおよびインライン CSS の CSS ルールへの変換を参照してください。

コードのインデント 選択範囲を右に移動します。

コードのインデント解除 選択範囲を左に移動します。

ソースコードのフォーマット 以前に指定したコードフォーマットが選択したコードに適用されます。コードが選択されていない場合は、ページ全体に適用されます。「ソースコードのフォーマット」ボタンから「コードフォーマット設定」を選択して、コードフォーマットをすばやく設定することも、「タグライブラリの編集」を選択してタグライブラリを編集することもできます。

コーディングツールバーで使用できるボタンの数は、ドキュメントウィンドウのコードビューのサイズによって異なります。使用できるボタンをすべて表示するには、コードビューウィンドウのサイズを変更するか、コーディングツールバーの下部にある縮小の三角形をクリックします。

コーディングツールバーを編集してさらに多くのボタン（「ワードラップ」、「非表示の文字」、「自動インデント」 など）を表示したり、使用しないボタンを非表示にすることもできます。ただし、そのためには、ツールバーを生成する XML ファイルを編集する必要があります。詳しくは、『Dreamweaver 拡張ガイド』を参照してください。

注意： 非表示の文字を表示するオプションは、表示メニューから使用できます（表示／コードビューオプション／非表示の文字）。このオプションは、コーディングツールバーの初期設定のボタンではありません。

トップへ戻る

挿入パネルでのコードの挿入

1. コード内に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入パネルで適切なカテゴリを選択します。
3. 挿入パネル内のボタンをクリックするか、挿入パネル内のポップアップメニューからアイテムを選択します。

アイコンをクリックすると、直ちにコードがページに表示されるか、コードを完成するためにさらに情報を求めるダイアログボックスが表示されます。

各ボタンの機能については、ボタンの上にポインターを移動すると、ツールヒントが表示されます。挿入パネルで使用できるボタンの数と種類は、現在のドキュメントタイプによって異なります。また、コードビューとデザインビューのどちらを使用しているかによっても異なります。

挿入パネルには使用頻度の高いタグが表示されます。すべてのタグが表示されるわけではありません。より多くの中からタグを選択するには、タグ選択ダイアログボックスを使用してください。

トップへ戻る

タグ選択ダイアログボックスでのタグの挿入

タグ選択ダイアログボックスを使用すると、Dreamweaver タグライブラリ内の任意のタグをページに挿入できます。ColdFusion および ASP.NET のタグライブラリのタグも挿入できます。

1. コード内に挿入ポイントを置き、右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「タグの挿入」を選択します。

   タグ選択ダイアログボックスが表示されます。左側のペインには、サポートされているタグのライブラリのリストが表示され、右側のペインには、選択したタグライブラリフォルダー内の個別のタグが表示されます。
2. タグライブラリからタグのカテゴリを選択するか、カテゴリを展開してサブカテゴリを選択します。
3. 右側のペインからタグを選択します。
4. タグ選択ダイアログボックス内でタグのシンタックスおよび使い方を表示するには、「タグ情報」ボタンをクリックします。タグに関する情報がある場合は、表示されます。
5. リファレンスパネルで同じタグ情報を表示するには、?アイコンをクリックします。タグに関する情報がある場合は、表示されます。
6. 選択したタグをコードに挿入するには、「挿入」をクリックします。

   タグが山形カッコで囲まれて右側のペインに表示される場合（<title></title> など）、そのタグには追加情報が不要なため、タグはすぐにドキュメントの挿入ポイントに挿入されます。

   タグに追加情報が必要な場合は、タグエディターが表示されます。
7. タグエディターが表示されたら、情報を追加して「OK」をクリックします。
8. 「閉じる」ボタンをクリックします。

トップへ戻る

HTML コメントの挿入

コメントとは、コードの説明や関連情報などを記述するために HTML コード内に挿入する説明テキストのことです。コメントのテキストはコードビューでのみ表示され、ブラウザーには表示されません。

挿入ポイントへのコメントの挿入

✤ 挿入／コメントを選択します。

コードビューにコメントタグが挿入され、そのタグの中央に挿入ポイントが配置されます。コメントを入力します。

デザインビューでは、コメントダイアログボックスが表示されます。コメントを入力し、「OK」をクリックします。

デザインビューでのコメントマーカーの表示

✤ 表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択します。

環境設定の「不可視エレメント」で「コメント」オプションを選択しておいてください。このオプションが選択されていない場合は、コメントマーカーは表示されません。

既存のコメントの編集

- コードビューで、コメントを検索してそのテキストを編集します。
- デザインビューで、コメントマーカーを選択し、プロパティインスペクターで該当コメントのテキストを編集してから、ドキュメントウィンドウ内をクリックします。

トップへ戻る

コードのコピーとペースト

1. コードビューまたは他のアプリケーションからコードをコピーします。
2. コードビュー内に挿入ポイントを置き、編集／ペーストを選択します。

トップへ戻る

タグエディターでのタグの編集

タグエディターを使用して、タグの属性を表示、指定、および編集します。

1. コードビュー内のタグまたはデザインビュー内のオブジェクトを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、ポップアップメニューから「タグの編集」を選択します。このダイアログボックスの内容は、選択したタグによって異なります。
2. タグの属性を指定または編集して、「OK」をクリックします。
   タグエディター内でタグに関する詳細を表示するには、「タグ情報」をクリックします。

トップへ戻る

コーディングコンテキストメニューを使用したコード編集

1. コードビューでコードを選択し、右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）します。
2. 選択サブメニューを選択し、必要に応じて以下のオプションを選択します。
   選択範囲をたたむ 選択されているコード範囲を折りたたみます。

   選択範囲以外をたたむ 選択されているコード範囲の外側部分を折りたたみます。

   選択範囲を展開 選択されているコード範囲を展開表示します。

   フルタグをたたむ 1 組の開始タグと終了タグで囲まれているコード部分（<table> と </table> の間のコード部分など）を折りたたみます。

   選択範囲以外のフルタグをたたむ 1 組の開始タグと終了タグの外側のコード部分（<table> と </table> の外側のコード部分など）を折りたたみます。

   すべて展開 折りたたまれているコードをすべて展開表示します。

   HTML コメントの適用　選択したコードが <!-- と --> で囲まれるか、コードが選択されていない場合は新しいコメントタグを表示します。

   /* */ コメントの適用　選択した CSS または JavaScript コードが /* および */ で囲まれます。

   // コメントの適用　選択した CSS または JavaScript コードの各行の先頭に // タグが挿入されます。コードが選択されていない場合は、// タグが 1 つだけ挿入されます。

   ' コメントの適用　Visual Basic スクリプトの各行の先頭に一重引用符が挿入されます。コードが選択されていない場合は、挿入ポイントの場所に一重引用符が挿入されます。

   サーバーコメントの適用 選択されているコードを囲みます。ASP、ASP.NET、JSP、PHP、または ColdFusion ファイルを操作している状態で「サーバーコメントの適用」オプションを選択すると、Dreamweaver により正しいコメントタグが自動的に検出され、選択範囲に対して適用されます。

   バックスラッシュコメントハックの適用 選択されている CSS コードをコメントタグで囲み、そのコードが Internet Explorer 5 for Mac OS で無視されるようにします。

   Caio Hack の適用　選択されている CSS コードをコメントタグで囲み、そのコードが Netscape Navigator 4 で無視されるようにします。

   コメントの削除 選択されているコードからコメントタグを削除します。ネストされたコメントを含む選択範囲の場合、外側のコメントタグのみが削除されます。

   バックスラッシュコメントハックの削除 選択されている CSS コードからコメントタグを削除します。ネストされたコメントを含む選択範囲の場合、外側のコメントタグのみが削除されます。

   Caio Hack の削除 選択されている CSS コードからコメントタグを削除します。ネストされたコメントを含む選択範囲の場合、外側のコメントタグのみが削除されます。

   タブをスペースに変換 選択範囲内の各タブを、「コードフォーマット」環境設定の「タブサイズ」で設定されている数のスペースに変換します。詳しくは、コードフォーマットの変更を参照してください。

   スペースをタブに変換 選択範囲内の一連のスペースをタブに変換します。タブサイズと等しい数のスペースの並びが 1 つのタブに変換されます。

   インデント 選択範囲を右にインデントします。詳しくは、コードブロックのインデントを参照してください。

   インデント解除 選択範囲を左に移動します。

   すべてのタグを削除 選択範囲内のすべてのタグを削除します。

   選択箇所をテーブルに変換 属性のない table タグで選択範囲を囲みます。

   改行を追加 選択範囲の各行の末尾に br タグを追加します。

   大文字に変換 選択範囲内のすべての文字（タグ、属性名、属性値を含む）を大文字に変換します。

   小文字に変換 選択範囲内のすべての文字（タグ、属性名、属性値を含む）を小文字に変換します。

   タグを大文字に変換 選択範囲内のすべてのタグ、属性名、属性値を大文字に変換します。

   タグを小文字に変換 選択範囲内のすべてのタグ、属性名、属性値を小文字に変換します。

トップへ戻る

プロパティインスペクターによるサーバー言語タグの編集

コードのプロパティインスペクターを使用すると、コードビューを開かずにサーバー言語タグ（ASP タグなど）内のコードを編集できます。

1. デザインビューで、サーバー言語タグのアイコンを選択します。
2. プロパティインスペクターの、「編集」ボタンをクリックします。
3. タグのコードを適宜変更して「OK」をクリックします。

トップへ戻る

コードブロックのインデント

コードビューまたはコードインスペクター内でコードを記述および編集する際には、選択したコードブロックまたはコード行のインデントレベルを、1 タブずつ右または左へ移動することによって変更できます。

選択したコードブロックのインデント

- Tab キーを押します。
- 編集／コードのインデントを選択します。

選択したコードブロックのインデントの解除

- Shift + Tab キーを押します。
- 編集／コードのインデント解除を選択します。

トップへ戻る

関連コードへのナビゲーション

コードナビゲーターには、ページ上で選択した特定範囲に関連するコードソースのリストが表示されます。ここから、例えば内部および外部 CSS ルール、サーバーサイドインクルード、外部 JavaScript ファイル、親テンプレートファイル、ライブラリファイル、iframe ソースファイルなど、関連するコードソースへと移動できます。コードナビゲーター上のリンクをクリックすると、該当するコードを含んだファイルが Dreamweaver で開かれます。関連ファイル領域が有効になっている場合、このファイルは関連ファイル領域に表示されます。関連ファイル領域が有効になっていない場合、このファイルは別個のドキュメントとして Dreamweaver のドキュメントウィンドウ上に開かれます。

コードナビゲーターで CSS ルールをクリックすると、そのルールへと直接移動できます。ルールが現在のファイルの内部にある場合は、Dreamweaver の分割ビューにルールが表示されます。外部 CSS ファイルに含まれているルールの場合は、Dreamweaver でそのファイルが開かれ、メインドキュメントの上部にある関連ファイル領域にルールが表示されます。

コードナビゲーターには、デザインビュー、コードビュー、分割ビューおよびコードインスペクターからアクセスできます。

コードナビゲーターの使い方について Dreamweaver エンジニアリングチームが説明する概要ビデオは、www.adobe.com/go/dw10codenav_jp を参照してください。

ライブビュー、関連ファイル、およびコードナビゲーターの操作に関するビデオチュートリアルについては、www.adobe.com/go/lrvid4044_dw_jp を参照してください。

コードナビゲーターを開く

✥ ページ内の任意の場所を、Alt キーを押しながらクリック（Windows）または Command + Option を押しながらクリック（Mac OS）します。クリックした領域に影響を及ぼすコードへのリンクが、コードナビゲーターに表示されます。

コードナビゲーター以外の場所をクリックして、コードナビゲーターを閉じます。

注意： コードナビゲーターは、コードナビゲーターインジケーター をクリックして開くこともできます。このインジケーターは、マウスを 2 秒間操作しないでおくと挿入ポイントの近くに表示されます。

コードナビゲーターによるコードへのナビゲーション

1. ページ内の調べる対象の領域から、コードナビゲーターを開きます。
2. ナビゲーション先のコードをクリックします。

コードナビゲーターでは、関連するコードソースがファイル別にグループ化され、アルファベット順に一覧表示されます。例えば、3 つの外部ファイルに含まれる CSS ルールがドキュメントの選択範囲に影響する場合、コードナビゲーターには、それら 3 つのファイルに加え、選択範囲に適用される CSS ルールも一覧表示されます。選択範囲に関連した CSS に対しては、コードナビゲーターは「現在」モードの CSS スタイルパネルに似た機能を提供します。

コードナビゲーター上で CSS ルールへのリンクをマウスでポイントすると、そのルールのプロパティがツールヒントで表示されます。このツールヒントは、同じ名前を持つルールが多数ある場合、それらを区別するのに役立ちます。

コードナビゲーターインジケーターの無効化

1. コードナビゲーターを開きます。

2. 右下隅の「インジケーターを無効にする」をオンにします。
3. コードナビゲーター以外の場所をクリックして、コードナビゲーターを閉じます。

コードナビゲーターインジケーターをもう一度有効にするには、Alt キーを押しながらクリック（Windows）または Command + Option キーを押しながらクリック（Mac OS）してコードナビゲーターを開き、「インジケーターを無効にする」をオフにします。

トップへ戻る

JavaScript または VBScript の関数へのジャンプ

コードビューでもコードインスペクターでも、コードに含まれる JavaScript または VBScript のすべての関数のリストを表示し、任意の関数にジャンプすることができます。

1. コードビュー（表示／コード）またはコードインスペクター（ウィンドウ／コードインスペクター）でドキュメントを表示します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - コードビュー内の任意の位置で右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューから関数サブメニューを選択します。

     デザインビューでは、この関数のサブメニューが表示されません。

     コード内で使用されているすべての JavaScript 関数または VBScript 関数がサブメニューに表示されます。

     関数をアルファベット順に表示するには、コードビュー内で Ctrl キーを押しながら右クリック（Windows）または Option + Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、関数サブメニューを選択します。
   - コードインスペクターでは、ツールバーの「コードのナビゲーション」ボタン（{ }）をクリックします。
3. 関数名を選択し、コード内のその関数にジャンプします。

トップへ戻る

JavaScript の抽出

JavaScript エクストラクタ（JSE）を使用すると、Dreamweaver ドキュメントから JavaScript をすべて（またはほとんど）取り除いて外部ファイルに書き出し、その外部ファイルとドキュメントをリンクさせることができます。また、onclick や onmouseover などのイベントハンドラーをコードから取り除き、それらのハンドラーに関連付けられた JavaScript を完全分離してドキュメントに添付することもできます。

JavaScript エクストラクタの使用にあたっては、次の制限事項に注意してください。

- ドキュメント本文内のスクリプトタグは（Spry Widget を除き）JSE では抽出されません。これは、本文内のスクリプトを外部化すると予期しない結果を生じる場合があるためです。Dreamweaver の初期設定では、そうしたスクリプトはJavaScript を外部化するダイアログボックスに一覧表示されますが抽出対象として選択されません （必要に応じて手動で選択することはできます）。
- .dwt（Dreamweaver テンプレート）ファイルの編集可能領域、テンプレートインスタンスの編集不可能領域、および Dreamweaver ライブラリ項目に含まれる JavaScript は、JSE では抽出されません。
- 「JavaScript を外部化し、unobtrusive に添付（完全分離）」オプションを使用して JavaScript を抽出すると、以後は ビヘイビアーパネルで Dreamweaver ビヘイビアーを編集できなくなります。完全分離して添付されたビヘイビアーを Dreamweaver で調べてビヘイビアーパネルに表示することはできません。
- ページを閉じた後に変更内容を取り消すことはできません。ただし、変更の取り消しは同じ編集セッションが継続している間は可能です。操作を取り消すには、編集／取り消し JavaScript を外部化するを選択します。
- 非常に複雑なページに対しては正常に機能しないことがあります。本文およびグローバル変数内で document.write() を使用しているページから JavaScript を抽出する場合は注意が必要です。

Dreamweaver の JavaScript サポートについて Dreamweaver エンジニアリングチームが説明する概要ビデオは、www.adobe.com/go/dw10javascript_jp を参照してください。

JavaScript エクストラクタは次のようにして使用します。

1. JavaScript を含んだページ（例えば Spry ページ）を開きます。
2. コマンド／JavaScript を外部化を選択します。
3. JavaScript を外部化するダイアログボックスで、選択の初期状態を必要に応じて変更します。
   - 「JavaScript の外部化のみ」を選択すると、JavaScript が外部ファイルに移動し、現在のファイルからその外部ファイルへの参照が作成されます。このオプションでは、onclick や onload などのイベントハンドラーがドキュメント内に残り、ビヘイビアーがビヘイビアーパネルに表示されたままになります。
   - 「JavaScript を外部化し、unobtrusive に添付（完全分離）」を選択すると、1）JavaScript が外部ファイルに移動し、現在のファイルからその外部ファイルへの参照が作成され、さらに、2）HTML からイベントハンドラーが取り除かれます。イベントハンドラーは JavaScript によって実行時に挿入されるようになります。このオプションを使用した後、ビヘイビアーパネルでビヘイビアーを編集することはできなくなります。
   - 「編集」列で、編集対象から除外する項目があればオフにし、初期状態で選択されなかった項目を編集対象とする場合はそれらをオンにします。

初期状態では、次の編集内容は一覧に表示されますが選択されません。

- ドキュメントヘッド内の、document.write() または document.writeln() の呼び出しを含んだスクリプトブロック
- ドキュメントヘッド内の、EOLAS 処理コードに関連する関数シグネチャを含んだスクリプトブロック（EOLAS 処理のコードでは document.write() が使用されます）
- ドキュメント本文内のスクリプトブロック（Spry Widget または Spry データセットコンストラクターだけを含んだブロックを除く）

- ID が付けられていないエレメントに対しては、Dreamweaver により自動的に ID が割り当てられます。別の ID を使用する場合は「ID」テキストボックスで変更できます。

4. 「OK」をクリックします。

   抽出操作の概要を示すダイアログボックスが表示されます。処理内容を確認し、「OK」をクリックします。

5. ページを保存します。

SpryDOMUtils.js ファイルと、抽出された JavaScript を含んだファイルが作成されます。SpryDOMUtils.js ファイルはサイトの SpryAssets フォルダーに格納され、もう 1 つのファイルは、JavaScript 抽出元のページと同じレベルに格納されます。元のページを Web サーバーにアップロードする際は、これらの依存ファイルも合わせてアップロードする必要があります。

トップへ戻る

コードスニペットの操作

コードスニペットを使用すると、今後すぐに再使用するためにコンテンツを保存できます。HTML、JavaScript、CFML、ASP、PHP などのスニペットを作成、挿入、編集、または削除できます。作成したコードスニペットの管理や、チームメンバーとの共有も可能です。スニペットの作成時にひな型として使用できる定義済みのスニペットもいくつか用意されています。

<font> タグおよびその他の非推奨のエレメントや属性を含むスニペットは、スニペットパネルのレガシーフォルダーに表示されます。

コードスニペットの挿入

1. スニペットを挿入する位置に挿入ポイントを置くか、スニペットを囲むコードを選択します。
2. スニペットパネル（ウィンドウ／スニペット）で、スニペットをダブルクリックします。

   スニペットを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、ポップアップメニューから「挿入」を選択することもできます。

コードスニペットの作成

1. スニペットパネルで、パネルの下部にある新規スニペットアイコンをクリックします。
2. スニペットの名前を入力します。
   注意： スニペット名には、スラッシュ（/ または \）、特殊文字、二重引用符（"）など、ファイル名に含めることのできない文字は使用できません。
3. （オプション）スニペットの説明テキストを入力します。これにより、他のチームメンバーにもスニペットが使いやすくなります。
4. 「スニペットの種類」で、「選択範囲を囲む」または「ブロックの挿入」を選択します。
   a. 「選択範囲を囲む」を選択した場合は、次のオプション用のコードを追加します。
      前に挿入 現在の選択範囲の前に挿入するコードを入力するかペーストします。

      後に挿入 現在の選択範囲の後に挿入するコードを入力するかペーストします。

      ブロックに初期設定の間隔を設定するには、改行を使用します。テキストボックス内で Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

      注意： 開始ブロックおよび終了ブロックとしてスニペットを作成できるため、それらを使用して他のタグおよびコンテンツを囲むことがでます。これは、特別なフォーマット、リンク、ナビゲーションエレメント、およびスクリプトブロックを挿入する場合に便利です。囲むコンテンツをハイライト表示して、スニペットを挿入します。

   b. 「ブロックの挿入」を選択した場合は、挿入するコードを入力またはペーストします。
5. （オプション）「プレビュータイプ」で「コード」または「デザイン」を選択します。
   デザイン コードを生成し、スニペットパネルのプレビューペインに表示します。

   コード コードをプレビューペインに表示します。
6. 「OK」をクリックします。

コードスニペットの編集または削除

❖ スニペットパネルでスニペットを選択し、パネルの下部にある「スニペットの編集」ボタンまたは「削除」ボタンをクリックします。

コードスニペットフォルダーの作成とコードスニペットの管理

1. スニペットパネルで、パネルの下部にある「新規スニペットフォルダー」ボタンをクリックします。
2. 必要に応じて、スニペットを新規フォルダーまたは他のフォルダーにドラッグします。

スニペットのキーボードショートカットの追加または編集

1. スニペットパネルで、右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「キーボードショートカットの編集」を選択します。

   キーボードショートカットエディターが表示されます。

2. コマンドポップアップメニューで「スニペット」を選択します。

   スニペットのリストが表示されます。

3. スニペットを選択し、キーボードショートカットを割り当てます。

   詳しくは、キーボードショートカットをカスタマイズするを参照してください。

チームの他のメンバーとのスニペットの共有

1. Dreamweaver アプリケーションフォルダーの Configuration¥Snippets フォルダーで、共有するスニペットに対応するファイルを探します。
2. スニペットファイルを自身のコンピューターまたはネットワークコンピューター上の共有フォルダーにコピーします。
3. チームの他のメンバーに、スニペットファイルをそれぞれの Configuration¥Snippets フォルダーにコピーするように依頼します。

トップへ戻る

コード内のタグ、属性、またはテキストの検索

特定のタグ、属性、属性値を検索できます。例えば、alt 属性がないすべての img タグを検索することができます。

また、一連のコンテナタグの内側または外側にある特定のテキスト文字列を検索することもできます。例えば、title タグに含まれている無題という語句を検索すると、サイト上にあるすべての無題ページを検索できます。

1. 検索対象とするドキュメントを開きます。複数のドキュメントまたは 1 つのフォルダーを検索する場合は、ファイルパネルで選択します。
2. 編集／検索および置換を選択します。
3. 検索対象のファイルを指定してから、検索の種類と検索するテキストまたはタグを指定します。置換するテキストを指定することもできます。次に、「検索」ボタンまたは「置換」ボタンをクリックします。
4. 「閉じる」ボタンをクリックします。
5. 検索および置換ダイアログボックスを表示せずに再検索するには、F3 キー（Windows）を押すか、Command + G キー（Mac OS）を押します。

トップへ戻る

検索パターンの保存と再利用

検索パターンを保存して後から再利用できます。

検索パターンの保存

1. 検索および置換ダイアログボックス（編集／検索および置換）で、検索のパラメーターを設定します。
2. クエリーの保存ボタン（ディスクアイコン）をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで、クエリーを保存するフォルダーに移動します。次に、クエリーを識別するためのファイル名を入力して、「保存」をクリックします。

   例えば、alt 属性のない img タグの検索が検索パターンに含まれている場合は、クエリーに img_no_alt.dwr などの名前を付けることができます。

   注意： 保存したクエリーのファイル名には、拡張子 .dwr が付けられます。古いバージョンの Dreamweaver で保存したクエリーの場合は、拡張子 .dwq が付いていることもあります。

検索パターンの再利用

1. 編集／検索および置換を選択します。
2. クエリーのロードボタン（フォルダーアイコン）をクリックします。
3. クエリーが保存されているフォルダーに移動します。クエリーファイルを選択して、「開く」をクリックします。
4. 次を検索、すべて検索、置換、すべて置換のいずれかをクリックして、検索を始めます。

トップへ戻る

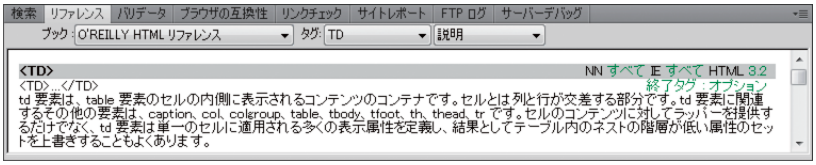
言語リファレンス資料の使用

リファレンスパネルには、マークアップ言語、プログラミング言語、CSS スタイルに関するクイックリファレンスツールが用意されています。このツールは、コードビュー（またはコードインスペクター）で作業中の特定のタグ、オブジェクト、スタイルに関する情報を提供します。リファレンスパネルには、ドキュメントにペーストできるコード例も示されます。

リファレンスパネルを開く

1. コードビューで、以下のいずれかの操作を行います。
   - タグ、属性、またはキーワードを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューから「リファレンス」を選択します。
   - タグ、属性、またはキーボードに挿入ポイントを置き、Shift + F1 キーを押します。

     リファレンスパネルが開き、クリックしたタグ、属性、またはキーワードに関する情報が表示されます。



2. リファレンスパネルに表示されるテキストのサイズを変更するには、パネルの右上にある小さな矢印で示されたオプションメニューから、フォント大、フォント中、またはフォント小を選択してください。

コード例のドキュメントへのペースト

1. リファレンスコンテンツ内のコード例をクリックします。

   コード例全体がハイライト表示されます。

2. 編集／コピーを選択し、コードビューでドキュメントにコード例をペーストします。

リファレンスパネルでのリファレンスコンテンツの参照

1. 他の書籍を参照して、タグ、オブジェクト、スタイルに関する情報を表示するには、ブックポップアップメニューから該当する書籍を選択します。
2. 特定の項目に関する情報を表示するには、タグ、オブジェクト、スタイル、または CFML ポップアップメニュー（選択した書籍によって異なります）から該当項目を選択します。
3. 選択した項目の属性情報を表示するには、タグ、オブジェクト、スタイル、または CFML ポップアップメニューの横にあるポップアップメニューから属性を選択します。

   このメニューには、選択した項目の属性のリストが含まれています。初期設定では、選択した項目の説明が表示されるように、「説明」が選択されます。

トップへ戻る

コードの印刷

コードを印刷して、オフラインで編集、アーカイブ、配布できます。

1. コードビューでページを開きます。
2. ファイル／コードの印刷を選択します。
3. 印刷のオプションを指定し、「OK」（Windows）または「プリント」（Mac OS）をクリックします。

関連項目

W3C ドキュメントオブジェクトモデル

コードヒントのチュートリアル

コーディングツールバーの概要

関連ファイルを開く

コードナビゲーターのチュートリアル

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

サーバーサイドインクルードの使用

サーバーサイドインクルードについて
サーバーサイドインクルードの挿入
サーバーサイドインクルードの内容の編集

トップへ戻る

サーバーサイドインクルードについて

Dreamweaver では、ページへのサーバーサイドインクルードの挿入、インクルードの編集、またはインクルードが含まれているページのプレビューを行うことができます。

サーバーサイドインクルードは、ブラウザーでサーバーからのドキュメントが要求されたときに、サーバーによってドキュメントに組み込まれるファイルです。

インクルード指示が組み込まれたドキュメントがビジターのブラウザーから要求されると、サーバーはインクルード指示を処理して、その指示をインクルードファイルの内容に置換した新規ドキュメントを作成します。その後、サーバーはこの新規ドキュメントをビジターのブラウザーに送信します。しかし、ブラウザーでローカルドキュメントを直接開いた場合、そのドキュメントのインクルード指示がサーバーで処理されないため、指示が未処理のままドキュメントが開かれ、組み込まれることになっていたファイルはブラウザーに表示されません。このように、Dreamweaver を使用しないと、ファイルをローカルで開いて作業する際に、サーバーにアップロードした後の該当ファイルがビジターのブラウザーにどのように表示されるかを確認しづらくなることがあります。

Dreamweaver を使用することにより、サーバーにアップロードした後のドキュメントがどのように表示されるかを「ブラウザーでプレビュー」機能を使用すると、デザインビューとブラウザーの両方でプレビューすることができます。ただし、これを行うには、一時ファイルとして含まれるファイルをプレビューしている必要があります（編集／環境設定を選択し、「ブラウザーでプレビュー」カテゴリで「一時ファイルを使用してプレビュー」オプションがオンになっていることを確認してください）。

注意： Apache や Microsoft IIS などのテストサーバーを使用して、ローカルドライブでファイルをプレビューする場合には、サーバーにより処理されるため、一時ファイルとしてファイルをプレビューする必要はありません。

サーバーサイドインクルードをドキュメントに含めると、外部ファイルへの参照が挿入されます。指定したファイルの内容がドキュメントに実際に挿入されるわけではありません。指定したファイルには、インクルードしたい内容だけを含めてください。つまり、インクルードファイルには、head タグ、body タグ、または html タグを含めないでください（p タグ、div タグなどの <html> タグフォーマットの HTML タグは問題ありません）。これらのタグが含まれている場合は、元のドキュメントのタグとインクルードファイル内のタグが競合し、Dreamweaver で正しくページが表示されなくなります。

インクルードファイルをドキュメント内で直接編集することはできません。サーバーサイドインクルードの内容を編集するには、組み込まれる側のファイルを直接編集する必要があります。外部ファイルを変更した場合は、その外部ファイルが組み込まれるすべてのドキュメントで自動的に変更が反映されます。

サーバーサイドインクルードには 2 つの種類があります。仮想およびファイルです。Dreamweaver では、初期設定で含められるファイルの種類を挿入しますが、プロパティインスペクターを使用すれば Web サーバーの種類に適したファイルを選択することができます。

- Apache Web サーバーを使用している場合は、「仮想」を選択します。Apache では、あらゆる状況で「仮想」が使用できますが、「ファイル」が使用できる場合は限られています。
- Microsoft IIS サーバーを使用している場合は、「ファイル」を選択します。「仮想」が IIS サーバーで使用できるのは、特定の環境に限られます。

  注意： IIS サーバーでは、特別なソフトウェアをインストールしないと、フォルダー階層で現在のフォルダーの上位にあるフォルダーのファイルをインクルードすることができません。IIS サーバーのフォルダー階層で上位のフォルダーのファイルをインクルードする必要がある場合は、必要なソフトウェアがインストールされているかどうかをシステム管理者に確認してください。
- その他のサーバーを使用している場合、または使用しているサーバーの種類が不明な場合は、どちらのオプションを使用すべきかシステム管理者に確認してください。

  設定に応じて、サーバーサイドインクルードが指定されているかどうかをすべてのファイルについて調べるサーバーや、.shtml、.shtm、.inc など、特定の拡張子の付いたファイルだけを調べるサーバーがあります。サーバーサイドインクルードが機能しない場合は、インクルード指示を指定するファイルの名前に特別な拡張子を付ける必要があるかどうかをシステム管理者に確認してください。例えば、ファイルの名前が canoe.html である場合、canoe.shtml に変更しなければならないことがあります。ファイル名に .html または .htm の拡張子を付けておく場合は、サーバー側で特定の拡張子が付いたファイルだけでなく、すべてのファイルについてサーバーサイドインクルードの有無が確認されるような設定を行うようにシステム管理者に依頼します。ファイルにサーバーサイドインクルードが指定されているかどうかの解析には時間がかかるため、解析対象となるページは、他のページよりも表示処理が遅くなります。このため、システム管理者によっては、すべてのファイルを解析する設定を行わない場合もあります。

トップへ戻る

サーバーサイドインクルードの挿入

Dreamweaver を使用すると、サーバーサイドインクルードをページに挿入することができます。

サーバーサイドインクルードの挿入

1. 挿入／サーバーサイドインクルードを選択します。
2. 表示されるダイアログボックスで、ファイルを参照して選択します。

   初期設定では、「ファイル」タイプのインクルードが挿入されます。
3. インクルードのタイプを変更するには、ドキュメントウィンドウでサーバーサイドインクルードを選択し、プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で次のようにタイプを変更します。
   - Apache Web サーバーを使用している場合は、「仮想」を選択します。Apache では、あらゆる状況で「仮想」が使用できますが、「ファイル」が使用できる場合は限られています。
   - Microsoft IIS サーバーを使用している場合は、「ファイル」を選択します。「仮想」が IIS サーバーで使用できるのは、特定の環境に限られます。

     注意： IIS サーバーでは、特別なソフトウェアをインストールしないと、フォルダー階層で現在のフォルダーの上位にあるフォルダーのファイルをインクルードすることができません。IIS サーバーのフォルダー階層で上位のフォルダーのファイルをインクルードする必要がある場合は、必要なソフトウェアがインストールされているかどうかをシステム管理者に確認してください。
   - その他のサーバーを使用している場合、または使用しているサーバーの種類が不明な場合は、どちらのオプションを使用すべきかシステム管理者に確認してください。

インクルード対象ファイルの変更

1. ドキュメントウィンドウでサーバーサイドインクルードを選択します。
2. ウィンドウ／プロパティを選択し、プロパティインスペクターを開きます。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - フォルダーアイコンをクリックし、インクルード対象の新しいファイルを参照して選択します。
   - テキストボックスに、インクルード対象の新しいファイルのパスとファイル名を入力します。

トップへ戻る

サーバーサイドインクルードの内容の編集

Dreamweaver を使用すると、サーバーサイドインクルードを編集することができます。インクルードファイルに関連付けられている内容を編集するには、そのファイルを開く必要があります。

1. デザインビューまたはコードビューでサーバーサイドインクルードを選択し、プロパティインスペクターで「編集」をクリックします。

   インクルードファイルが新しいドキュメントウィンドウで開きます。
2. ファイルを編集して保存します。

   変更は、すぐに現在のドキュメントと、ファイルが含まれている次に開くドキュメントに反映されます。
3. 必要に応じて、インクルードファイルをリモートサイトにアップロードします。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ページのヘッドコンテンツの操作

ヘッドコンテンツの表示と編集
ページのメタプロパティの設定
ページタイトルの設定
ページのキーワードの指定
ページの詳細の指定
ページの更新プロパティの設定
ページのベース URL プロパティの設定
ページのリンクプロパティの設定

ページには、そのページに関する情報を記述するエレメントがあり、この情報が検索ブラウザーで使用されます。head エレメントのプロパティを設定すると、ページの識別方法を制御できます。

トップへ戻る

ヘッドコンテンツの表示と編集

ドキュメントの head セクションのエレメントは、表示メニュー、ドキュメントウィンドウのコードビュー、コードインスペクターのいずれかを使用して表示することができます。

ドキュメントの head セクションのエレメントの表示

✥ 表示／ヘッドコンテンツを選択します。ドキュメントウィンドウのデザインビューの最上部に、head コンテンツの各エレメントのマーカーが表示されます。
注意： ドキュメントウィンドウがコードビューだけを表示するように設定されている場合は、表示／ヘッドコンテンツはグレー表示され、選択できません。

ドキュメントの head セクションへのエレメントの挿入

1. 挿入／HTML／ヘッドサブメニューから、項目を選択します。
2. 表示されるダイアログボックスまたはプロパティインスペクターで、エレメントのオプションを入力します。

ドキュメントの head セクションのエレメントの編集

1. 表示／ヘッドコンテンツを選択します。
2. head セクションのいずれかのアイコンをクリックして選択します。
3. プロパティインスペクターで、エレメントのプロパティを設定または変更します。

トップへ戻る

ページのメタプロパティの設定

meta タグは head エレメントで、文字のエンコード、作成者、著作権、キーワードなど、現在のページに関する情報を記録します。また、これらのタグは、ページの有効期限、更新間隔、POWDER レーティングなどの情報をサーバーに渡すために使用されます（POWDER（Protocol for Web Description Resources）とは、映画の年齢制限と同じようなアクセス制限（レーティング）をWeb ページに適用するしくみです）。

meta タグの追加

1. 挿入／HTML／ヘッド／メタを選択します。
2. 表示されるダイアログボックスでプロパティを指定します。

既存の meta タグの編集

1. 表示／ヘッドコンテンツを選択します。
2. ドキュメントウィンドウの上部に表示される「メタ」マーカーを選択します。
3. プロパティインスペクターでプロパティを指定します。

meta タグのプロパティ

✥ meta タグのプロパティを次のように設定します。
属性 meta タグの内容が、ページの説明（name）または HTTP ヘッダー情報（http-equiv）のどちらであるかを指定します。
値 このタグに記述する情報のタイプを指定します。description、keywords、refresh など、一部の値は既に適切に定義されており、それぞれに対応するプロパティインスペクターが Dreamweaver に存在しますが、実用上は任意の値を指定できます

（例：creationdate、documentID、level）。
コンテンツ 実際の情報を指定します。例えば、「値」に level を指定した場合、「コンテンツ」には beginner、intermediate、advanced のいずれかを指定します。

トップへ戻る

ページタイトルの設定

タイトルプロパティは、ページタイトル 1 つだけです。タイトルは、Dreamweaver のドキュメントウィンドウのタイトルバーに表示されますが、ページをブラウザーで表示した場合も、ほとんどのブラウザーでタイトルバーに表示されます。タイトルは、ドキュメントウィンドウのツールバーにも表示されます。

ドキュメントウィンドウのタイトルの指定

✤ ドキュメントウィンドウのツールバーの「タイトル」テキストボックスに、タイトルを入力します。

ヘッドコンテンツのタイトルの指定

1. 表示／ヘッドコンテンツを選択します。
2. ドキュメントウィンドウの上部に表示される「タイトル」マーカーを選択します。
3. プロパティインスペクターでページタイトルを指定します。

トップへ戻る

ページのキーワードの指定

サーチエンジンロボット（Web を自動参照して、サーチエンジンがインデックスを付ける情報を収集するプログラム）の多くは、キーワード meta タグの内容を読み取り、その情報を使用して Web ページのインデックスをデータベース内に作成します。一部のサーチエンジンでは、インデックスを付けるキーワード数または文字数が制限されていたり、制限を超えるとすべてのキーワードが無視される場合があります。このため、厳選した少数のキーワードだけを使用することをお勧めします。

キーワード meta タグの追加

1. 挿入／HTML／ヘッド／キーワードを選択します。
2. 表示されるダイアログボックスで、キーワードをコンマ区切りで指定します。

キーワード meta タグの編集

1. 表示／ヘッドコンテンツを選択します。
2. ドキュメントウィンドウの上部に表示される「キーワード」マーカーを選択します。
3. プロパティインスペクターで、キーワードを表示、変更、または削除します。コンマで区切られたキーワードを追加することもできます。

トップへ戻る

ページの詳細の指定

サーチエンジンロボット（Web を自動参照して、サーチエンジンがインデックスを付ける情報を収集するプログラム）の多くは、詳細 meta タグの内容を読み取ります。サーチエンジンロボットには、この情報を使用して Web ページのインデックスをデータベース内に作成するものや、検索結果のページ上にドキュメントの最初の数行を表示する代わりに、この情報を表示するものがあります。サーチエンジンによってはインデックスに格納できる文字数に制限があるので、ページの説明は数語程度にすることをお勧めします（例：「ジョージア州アルバニーの宅配ポークバーベキュー」、「手ごろな価格の Web デザイン、世界中のお客様に対応します」）。

詳細 meta タグの追加

1. 挿入／HTML／ヘッド／詳細を選択します。
2. 表示されるダイアログボックスに説明文を入力します。

詳細 meta タグの編集

1. 表示／ヘッドコンテンツを選択します。
2. ドキュメントウィンドウの上部に表示される「詳細」マーカーを選択します。
3. プロパティインスペクターで、説明文を表示、変更、または削除します。

トップへ戻る

ページの更新プロパティの設定

更新エレメントを使用して、一定の時間が経過したらページが自動的に更新されるように（現在のページを再ロードまたは別のページを表示）指定します。このエレメントは、通常、URL が変更されたというテキストメッセージの表示後に、別の URL にリダイレクトするときに使用します。

更新 meta タグの追加

1. 挿入／HTML／ヘッド／更新を選択します。
2. 表示されるダイアログボックスで、更新 meta タグのプロパティを設定します。

更新 meta タグの編集

1. 表示／ヘッドコンテンツを選択します。
2. ドキュメントウィンドウの上部に表示される「更新」マーカーを選択します。
3. プロパティインスペクターで、更新 meta タグのプロパティを設定します。

更新 meta タグのプロパティの設定

❖ 更新 meta タグのプロパティを次のように指定します。
遅延 ブラウザーがページを更新するまでの待ち時間（秒）です。ブラウザーのロード終了後すぐにページを更新するには、このボックスに「0」を入力します。
「**URL**」または「アクション」 指定した遅延時間の経過後に、ブラウザーで別の URL に移動するか、現在のページを更新するかを指定します。現在のページを更新するのではなく、別の URL を開く場合は、「参照」ボタンをクリックしてロードするページを参照し、選択します。

トップへ戻る

ページのベース URL プロパティの設定

ベースエレメントを使用して、ページ内のすべてのドキュメント相対パスの基準と見なされるベース URL を設定します。

ベース meta タグの追加

1. 挿入／HTML／ヘッド／ベースを選択します。
2. 表示されるダイアログボックスで、ベース meta タグのプロパティを指定します。

ベース meta タグの編集

1. 表示／ヘッドコンテンツを選択します。
2. ドキュメントウィンドウの上部に表示される「ベース」マーカーを選択します。
3. プロパティインスペクターで、ベース meta タグのプロパティを指定します。

ベース meta タグのプロパティの指定

❖ ベース meta タグのプロパティを次のように指定します。
Href ベースの URL です。「参照」ボタンをクリックしてファイルを参照および選択するか、ボックスにパスを入力します。
ターゲット リンク先のすべてのドキュメントを開くフレームまたはウィンドウを指定します。現在のフレームセットからフレームを 1 つ選択するか、次の予約名のいずれかを選択します。

- _blank：リンクされたドキュメントを、名前のない新規のブラウザーウィンドウにロードします。
- _parent：リンクされたドキュメントを、リンクが含まれている親フレームセットまたはフレームのウィンドウにロードします。リンクを含むフレームがネストされていない場合は、_top を選択した場合と同じことになり、リンクされたドキュメントはブラウザーウィンドウ全体にロードされます。
- _self：リンクされたドキュメントを、リンクと同じフレームまたはウィンドウにロードします。このターゲットは初期設定なので、通常は指定する必要はありません。
- _top：リンクされたドキュメントをブラウザーウィンドウ全体にロードして、すべてのフレームを削除します。

トップへ戻る

ページのリンクプロパティの設定

link タグを使用して、現在のドキュメントと別のファイルとのリレーションシップを定義します。

注意： link タグが head セクション内にある場合、body セクション内にあるドキュメント間の HTML リンクと同じものではありません。

リンク meta タグの追加

1. 挿入／HTML／ヘッド／リンクを選択します。
2. 表示されるダイアログボックスで、リンク meta タグのプロパティを指定します。

リンク meta タグの編集

1. 表示／ヘッドコンテンツを選択します。
2. ドキュメントウィンドウの上部に表示される「リンク」マーカーを選択します。
3. プロパティインスペクターで、リンク meta タグのプロパティを指定します。

リンク meta タグのプロパティの指定

✤ リンク meta タグのプロパティを次のように設定します。

Href リレーションシップを定義する対象ファイルの URL です。「参照」ボタンをクリックしてファイルを参照および選択するか、ボックスにパスを入力します。この属性は、通常の HTML という意味でリンク先のファイルを示すものではありません。リンクエレメントで指定するリレーションシップはそれよりも複雑です。

ID リンクに固有の識別子を指定します。

タイトル リレーションシップの説明を入力します。この属性は、リンク先のスタイルシートと特別な関連があります。詳しくは、World Wide Web Consortium の Web サイト（www.w3.org/TR/REC-html40/present/styles.html#style-external）で、HTML 4.0 仕様の「External Style Sheets」の項を参照してください。

Rel 現在のドキュメントと、「Href」ボックスで指定したドキュメントとのリレーションシップを指定します。指定可能な値には、Alternate、Stylesheet、Start、Next、Prev、Contents、Index、Glossary、Copyright、Chapter、Section、Subsection、Appendix、Help、Bookmark などがあります。複数のリレーションシップを指定する場合は、値をスペースで区切ります。

Rev 現在のドキュメントと、「Href」ボックスで指定したドキュメントとのリレーションシップの逆（「Rel」の逆）を指定します。指定可能な値は、「Rel」と同じです。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

コーディング環境の設定

コード指向のワークスペースの使用
コードの表示
キーボードショートカットのカスタマイズ
初期設定でファイルをコードビューで開く

コード指向のワークスペースの使用

トップへ戻る

Dreamweaver のコーディング環境は、自分の操作方法に合わせてカスタマイズすることができます。例えば、コードの表示方法を変更したり、異なるキーボードショートカットを設定したりできます。または、好みのタグライブラリを読み込んで使用することも可能です。

Dreamweaver には、効率的なコーディング作業のためにデザインされたいくつかのワークスペースレイアウトが用意されています。アプリケーションバーのワークスペース切り替えコントロールで、開発者 1、開発者 2、コーダー、およびコーダー 2 のいずれかのワークスペースを選択できます。これらのワークスペースはいずれも、コードビューが表示され（ドキュメントウィンドウ全体に、またはコードおよびデザインの分割ビューとして）、画面の左側にパネルがドッキングされた状態が初期設定です。開発者 2 以外のワークスペースでは、初期設定のビューにプロパティインスペクターは表示されません。

デザイン済みワークスペースでは実際のニーズを十分に満たせない場合、パネルの表示やドッキングを変更して独自のワークスペースレイアウトを作成し、カスタムワークスペースとして保存できます。

コードの表示

トップへ戻る

現在のドキュメントのソースコードを表示するには、いくつかの方法があります。コードをドキュメントウィンドウに表示するには、コードビューを有効にします。ドキュメントウィンドウを分割すると、ページとそれに関連するコードの両方を表示できます。また、独立したコーディングウィンドウであるコードインスペクターを使用して編集することもできます。コードインスペクターは、コードビューと同じように機能するので、現在のドキュメントの分離可能なコードビューとして考えることができます。

ドキュメントウィンドウでのコードの表示

❖ 表示／コードを選択します。

ドキュメントウィンドウでのコーディングとページ編集の同時進行

1. 表示／コードとデザインを選択します。

   上のペインにコード、下のペインにページが表示されます。

2. ページを上部に表示するには、ドキュメントツールバーの表示オプション／デザインビューを上に表示を選択します。
3. ドキュメントウィンドウ内のペインのサイズを調整するには、分割バーを目的の位置までドラッグします。分割バーは、2 つのペインの間にあります。

   デザインビューで変更を加えると、コードビューが自動的に更新されます。ただし、コードビューで変更を加えた場合は、デザインビューのドキュメントを手動で更新する必要があります。デザインビューをクリックするか、F5 キーを押してください。

コードインスペクターによる別ウィンドウでのコードの表示

コードインスペクターを使用すると、コードビューで実行できるのと同じ作業を独立したコーディングウィンドウで行うことができます。

❖ ウィンドウ／コードインスペクターを選択します。ツールバーには、次のオプションが表示されます。
ファイル管理 ファイルを PUT または GET します。
ブラウザーでプレビュー/デバッグ ドキュメントをブラウザーでプレビューまたはデバッグできます。
デザインビューの更新 デザインビューでドキュメントを更新し、コードに対する変更内容を反映します。コードに対する変更内容は、ファイルの保存や、このボタンのクリックなどの操作を実行しない限り、デザインビューに自動的には反映されません。
リファレンス リファレンスパネルを開きます。詳しくは、言語リファレンス資料の使用を参照してください。
コードのナビゲーション コード内をすばやく移動できます。詳しくは、JavaScript または VBScript の関数へのジャンプを参照してください。
表示オプション コードの表示方法を指定できます。詳しくは、コードの表示方法の設定を参照してください。
ウィンドウの左端に沿ったコーディングツールバーの使用方法については、コーディングツールバーでのコードの挿入を参照してください。

キーボードショートカットのカスタマイズ

トップへ戻る

Dreamweaver では、好みのキーボードショートカットを使用できます。特定のキーボードショートカットによる操作（例えば、Shift + Enter で改行を挿入、Ctrl + G でコード内の特定の位置に移動）に慣れている場合は、キーボードショートカットエディターを使用してそのショートカットを Dreamweaver に追加することができます。

操作方法については、キーボードショートカットをカスタマイズするを参照してください。

トップへ戻る

初期設定でファイルをコードビューで開く

HTML が通常記述されていないタイプのファイル（JavaScript ファイルなど）を開くと、このファイルはデザインビューではなくコードビュー（またはコードインスペクター）に表示されます。コードビューでどのファイルタイプを開くかを指定することができます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「ファイルタイプ/エディター」を選択します。
3. 「コードビューで開く」ボックスに、自動的にコードビューで開くファイルタイプの拡張子を追加します。

   各拡張子の間にはスペースを入れます。入力できる拡張子の数に制限はありません。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

コーディングの環境設定

コーディングの環境設定について
コードの表示方法の設定
コードフォーマットの変更
コードの書き換えの環境設定
コードカラーリングの設定
外部エディターの使用

コーディングの環境設定について

トップへ戻る

特定のニーズに合わせて、コードフォーマットやコードカラーリングなど、コーディングに関する各種の環境設定を指定できます。

注意： 高度な環境設定を行うには、タグライブラリエディターを使用します（詳しくは、タグライブラリの管理を参照してください）。

コードの表示方法の設定

トップへ戻る

ワードラップの設定、コードの行番号の表示、無効なコードのハイライト表示、コードエレメントのシンタックスカラーリングの設定、インデントの設定、非表示の文字の表示は、表示／コードビューオプションメニューから行います。

1. コードビューまたはコードインスペクターでドキュメントを表示します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 表示／コードビューオプションを選択します。
   - コードビューまたはコードインスペクターの上部にあるツールバーで「表示オプション」ボタン をクリックします。
3. 必要に応じて以下のオプションを選択または選択解除します。
   ワードラップ コードがウィンドウ幅に合わせて折り返され、水平方向にスクロールすることなく参照できるようになります。これはコードを見やすくするための機能で、実際に改行が挿入されるわけではありません。

   行番号 コードの横に行番号を表示します。

   非表示の文字 ホワイトスペースの代わりに特殊文字を表示します。例えば、スペースはドットに置き換わり、タブは二重山カッコに置き換わり、改行は段落マーカーに置き換わります。
   注意： ワードラップ用に Dreamweaver で表示されるソフト改行は、段落マーカーと一緒には表示されません。

   無効なコードをハイライト表示 Dreamweaver により、無効な HTML コードをすべて黄色でハイライト表示します。無効なタグを選択すると、エラーの修正方法に関する情報がプロパティインスペクターに表示されます。

   シンタックスカラーリング コードの色付けを有効または無効にします。カラーリングスキームの変更方法については、コードカラーリングの設定を参照してください。

   自動インデント コードの入力中に Enter キーが押されたときに、コードを自動的にインデント表示します。コードの新しい行は、前の行と同じレベルにインデントされます。インデント幅の変更方法については、コードフォーマットの変更の「タブサイズ」オプションを参照してください。

コードフォーマットの変更

トップへ戻る

コードの表示を変更するには、フォーマット環境設定でインデント、行の長さ、タグ名と属性名の大文字と小文字の区別などを指定します。

「常に無視する」を除くすべてのコードフォーマットオプションは、新規ドキュメントか、または既存のドキュメントに対する新規追加分にのみ適用されます。

既存の HTML ドキュメントのフォーマットを変更するには、そのドキュメントを開いてコマンド／ソースフォーマットの適用を選択します。

1. 編集／環境設定を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「コードフォーマット」を選択します。
3. 次のいずれかのオプションを設定します。
   インデント Dreamweaver で生成されるコードを（コードフォーマット環境設定で指定したインデント規則に従って）インデントするかどうかを指定します。
   注意： このダイアログボックスのインデントオプションのほとんどは、Dreamweaver によって生成されるコードにのみ適用され、ユーザーが入力したコードには適用されません。ユーザーが入力した新しいコード行を前の行と同じレベルにインデントするには、表示／コードビューオプション／自動インデントを選択します。詳しくは、コードの表示方法の設定を参照してください。

使用 （テキストボックスおよびポップアップメニュー）Dreamweaver で生成されるコードのインデントに使用するスペースまたはタブの数を指定します。例えば、テキストボックスに「3」と入力し、ポップアップメニューで「タブ」を選択すると、Dreamweaver によって生成されるコードは各インデントレベルで 3 つのタブ文字を使用してインデントされます。

タブサイズ コードビューに表示する各タブの幅を文字数で指定します。例えば、「タブサイズ」を 4 に設定すると、コードビューに表示される各タブの幅は、4 つの空白文字分になります。このとき、「インデント」オプションで「タブ」および「3」に設定されていると、Dreamweaver によって生成されるコードは各インデントレベルで 3 つのタブ文字を使用してインデントされるので、コードビューでは 12 文字分の空白が表示されます。
注意： Dreamweaver では、スペースまたはタブを使用してインデントが設定されます。コードの挿入時に一連のスペースがタブに変換されることはありません。

改行タイプ リモートサイトのホストとして動作するリモートサーバーの種類（Windows、Mac OS、または UNIX）を指定します。正しい改行タイプを選択することにより、リモートサーバー上で HTML ソースコードが正しく表示されます。この改行設定は、特定の種類の改行文字しか認識しない外部テキストエディターで作業するときにも有用です。例えば、外部エディターとしてメモ帳（Windows）を使用する場合は CR LF を設定し、SimpleText（Mac OS）を使用する場合は CR を設定します。
注意： FTP を使用して接続する各サーバーでは、このオプションはバイナリ転送モードにのみ適用されます。Dreamweaver の ASCII 転送モードでは、このオプションは無視されます。ASCII モードでファイルをダウンロードする場合、Dreamweaver では、使用しているコンピューターのオペレーティングシステムに基づいて改行が設定されます。一方、ASCII モードでファイルをアップロードする場合は、すべての改行が CR LF に設定されます。

タグの大文字/小文字の初期設定、属性の大文字/小文字の初期設定 タグ名と属性名を大文字と小文字のどちらで表示するかを指定します。これらのオプションは、デザインビューで挿入および編集するタグと属性に適用されます。ただし、コードビューに直接入力するタグと属性には適用されません。また、「常に無視する」のオプションを選択していない場合は、ドキュメントを開いても、ドキュメント内のタグと属性には適用されません。
注意： これらの環境設定は、HTML ページにのみ適用されます。大文字タグおよび大文字属性は無効な XHTML 要素であるため、XHTML ページではこれらの環境設定は無視されます。

常に無視する：タグおよび属性 既存の HTML ドキュメントを開いたときなどに、指定した大文字と小文字のオプションを常に適用するかどうかを指定します。これらのオプションのいずれかを選択し、「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じると、現在のドキュメントに含まれるすべてのタグまたは属性が直ちに大文字または小文字に変換されます。このオプションはオフにしない限り常に有効であり、次に開く各ドキュメントでもすべてのタグまたは属性が変換されます。コードビューおよびクイックタグ編集で入力するタグや属性も、指定したとおりに大文字または小文字に変換されます。挿入パネルを使用して入力するタグや属性も、同様に変換されます。例えば、タグ名を常に小文字にする場合は、「タグの大文字/小文字の初期設定」で小文字を設定し、「常に無視する」の「タグの大文字・小文字」オプションをオンにします。このように設定すると、大文字のタグ名を含むドキュメントを開いたときに、Dreamweaver によりタグ名が自動的に小文字に変換されます。
注意： 古いバージョンの HTML ではタグおよび属性名に大文字または小文字のいずれかを使用できましたが、XHTML では、タグおよび属性名に小文字を使用する必要があります。Web は XHTML に移行しつつあるため、一般に、タグ名および属性名には小文字を使用することをお勧めします。

TD タグ：**TD** タグ内に改行を含めない <td> タグの直後または </td> タグの直前に空白文字または改行があるときに、一部の古いブラウザーで起こる表示上の問題に対処します。このオプションを選択すると、Dreamweaver では <td> タグの後または </td> タグの前に改行が必要なフォーマットがタグライブラリで設定されている場合でも、それらの位置に改行が挿入されなくなります。

高度なフォーマット カスケーディングスタイルシート（CSS）コードや個々のタグと属性のフォーマットオプションをタグライブラリエディターで設定できます。

空白文字 （日本語版のみ）HTML コード用に   または全角スペースのいずれかを選択できます。ここで選択した空白文字は、テーブルの作成時や、日本語エンコーディングのページで「連続するスペースを入力可能にする」オプションがオンになっている場合に、空のタグに使用されます。

トップへ戻る

コードの書き換えの環境設定

コードの書き換えの環境設定では、ドキュメントを開いたとき、フォームのエレメントをコピー＆ペーストしたとき、プロパティインスペクターなどの Dreamweaver ツールを使用して属性値や URL を入力したときに、コードを自動的に修正するかどうかと、その方法を指定します。この環境設定の内容は、コードビューでの HTML やスクリプトの編集には影響しません。

コードの書き換えのオプションを無効にすると、ドキュメントウィンドウ上の HTML に、本来であれば書き換えられる無効なマークアップアイテムが表示されます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「コードの書き換え」を選択します。
3. 次のいずれかのオプションを設定します。
   無効なネストや開始タグを修正する オーバーラップしているタグを書き換えます。例えば、text は、text に書き換えられます。 このオプションを選択すると、閉じ引用符や閉じカッコが抜けている場合、適宜挿入されます。

   ペーストするときにフォームアイテムの名前を変更 フォームオブジェクト名の重複を回避できます。このオプションは初期設定では有効になっています。
   注意： この環境設定ダイアログボックス内の他のオプションと異なり、このオプションは、ドキュメントを開いたときには適用されず、フォームエレメントをコピー＆ペーストしたときにのみ適用されます。

余分な終了タグを削除する 対応する開始タグがない終了タグを削除します。

タグの修正や削除の際に警告する 技術的に誤りがあり、Dreamweaver によって修正された HTML についての要約を表示します。この要約には、問題のある場所の行番号と桁位置が示されるため、修正された部分を参照して、適切に処理されているかどうかを確認できます。

コードの書き換え禁止：拡張子付きのファイル内 指定した拡張子のファイルについて、コードを書き換えないように Dreamweaver を設定できます。これは、サードパーティのタグがファイルに含まれている場合に役立ちます。

& を使用して属性値の <、>、&、" をエンコード プロパティインスペクターなどの Dreamweaver ツールを使用して入力または編集した属性値を、正当な文字だけで構成されるように自動修正します。このオプションは初期設定では有効になっています。
注意： このオプションおよび後続のオプションは、コードビューで入力した URL には適用されません。また、ファイル内の既存のコードは変更されません。

特殊文字をエンコードしない 正当な文字だけが使用されるように、Dreamweaver による URL の自動修正機能を無効にします。このオプションは初期設定では有効になっています。

&# を使用して **URL** の特殊文字をエンコード プロパティインスペクターなどの Dreamweaver ツールを使用して URL を入力または編集した場合、これらの URL が正当な文字だけで構成されるように自動修正します。

%を使用して **URL** の特殊文字をエンコード 1 つ前のオプションと同じ処理が行われますが、特殊文字のエンコード方法が異なります。このエンコード方法（パーセント記号を使用）の方が古いブラウザーとの互換性という点では優れていますが、一部の言語の文字を適切に処理できません。

トップへ戻る

コードカラーリングの設定

コードカラーリング環境設定では、フォーム関連のタグや JavaScript 識別子など、タグやコードエレメントの一般的なカテゴリに対してカラーを指定できます。特定のタグにカラーリングを設定するには、タグライブラリエディターでタグ定義を編集します。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストから「コードカラーリング」を選択します。
3. ドキュメントタイプリストでドキュメントのタイプを選択します。コードカラーリング環境設定を編集すると、このタイプのすべてのドキュメントに影響します。
4. 「カラーリングスキームの編集」ボタンをクリックします。
5. カラーリングスキームの編集ダイアログボックスで、スタイルリストからコードエレメントを選択し、テキストカラーと背景色を設定し、任意でスタイル（ボールド、イタリック、下線）を設定します。プレビューペインのサンプルコードが新しい色とスタイルに変わります。

   変更を保存してカラーリングスキームの編集ダイアログボックスを閉じるには、「OK」をクリックします。
6. コードカラーリング環境設定で必要な項目をすべて選択し、「OK」をクリックします。
   初期設定の背景 コードビューとコードインスペクターの初期設定の背景色を設定します。

   非表示の文字 非表示の文字の色を設定します。

   ライブコードの背景 ライブコードビューの背景色を設定します。デフォルトのカラーはイエローです。

   ライブコードの変更 ライブコードビューで変更されたコードをハイライト表示する色を設定します。デフォルトのカラーはピンクです。

   読み取り専用の背景 読み取り専用テキストの背景色を設定します。

トップへ戻る

外部エディターの使用

特定の拡張子のファイルを編集するときに使用する外部エディターを指定できます。例えば、Dreamweaver から BBEdit、メモ帳、TextEdit などのテキストエディターを起動して、JavaScript（JS）ファイルを編集できます。

様々なファイル拡張子に異なる外部エディターを割り当てることができます。

ファイルタイプに対する外部エディターの設定

1. 編集／環境設定を選択します。
2. 左側のカテゴリリストから「ファイルタイプ/エディター」を選択し、オプションを設定して「OK」をクリックします。
   コードビューで開く Dreamweaver のコードビューで自動的に開くファイルの拡張子を指定します。

   外部コードエディター 使用するテキストエディターを指定します。

   変更をリロード Dreamweaver で開かれているドキュメントが外部エディターで変更された場合に、Dreamweaver によって検出される動作を指定します。

   実行時に保存 Dreamweaver で編集中のドキュメントを、外部エディターを起動する前に必ず保存するか、ドキュメントを保存しないか、または外部エディターを起動するたびに保存の確認を行うかを指定します。

   Fireworks 様々なメディアファイルタイプ用のエディターを指定します。

外部コードエディターの起動
✤ 編集／エディターを指定して編集 外部エディターを選択します。
関連項目
コーディングツールバーの概要
Microsoft Word HTML ファイルのクリーンアップ

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

コードの最適化およびデバッグ

コードのクリーンアップ
タグおよびカッコの対応の検証
ブラウザーの互換性のチェック
XML ドキュメントの検証
W3C バリデーターによるドキュメント検証（CS5.5）
バリデーターの環境設定
XHTML 準拠ページの作成
ColdFusion デバッガーの使用（Windows のみ）

コードのクリーンアップ

トップへ戻る

空のタグの削除、ネストされた font タグの結合、煩雑で読みにくい HTML コードや XHTML コードの改良を自動的に実行できます。

Microsoft Word 文書から生成された HTML をクリーンアップする方法については、既存のドキュメントを開いて編集を参照してください。

1. ドキュメントを開きます。
   - ドキュメントが HTML の場合は、コマンド／HTML のクリーンアップを選択します。
   - ドキュメントが XHTML の場合は、コマンド／XHTML のクリーンアップを選択します。

     XHTML ドキュメントに対して「XHTML のクリーンアップ」コマンドを使用すると、XHTML シンタックスエラーを修正したり、タグ属性を小文字にすることができます。また、タグに必要な属性が欠けている場合は、それを追加したり、レポートすることもできます。さらに、HTML クリーンアップ操作を実行できます。
2. 表示されたダイアログボックスで、任意のオプションを選択して「OK」をクリックします。
   注意： ドキュメントのサイズ、および選択したオプションの数により、クリーンアップが終了するまでに数秒かかる場合があります。
   削除：空のタグ 間にコンテンツを挟んでいないタグをすべて削除します。例えば、 および は空のタグと見なされて削除されますが、some text の タグは削除されません。

   削除：重複してネストされたタグ 無駄に重複しているタグをすべて削除します。例えば、This is what I really wanted to say というコードでは、really という語を囲む b タグは重複しているため削除されます。

   削除：**Dreamweaver** 以外の **HTML** コメント Dreamweaver によって挿入された以外のコメントをすべて削除します。例えば、<!--begin body text--> は削除されますが、 <!-- TemplateBeginEditable name="doctitle" --> は、テンプレートの編集可能領域の先頭を示す Dreamweaver のコメントであるため削除されません。

   削除：**Dreamweaver** の特殊マークアップ テンプレートとライブラリ項目の更新時にドキュメントを自動更新するため、Dreamweaver によってコードに追加されたコメントを削除します。テンプレートベースのドキュメントでコードをクリーンアップする際にこのオプションをオンにすると、ドキュメントがテンプレートから切り離されます。詳しくは、テンプレートからのドキュメントの切り離しを参照してください。

   削除：特定のタグ このオプションの横にあるテキストボックスに指定したタグを削除します。外部のビジュアルエディターで挿入したカスタムタグや、Web サイト上に表示しない blink などのタグを削除する場合は、このオプションを使用します。複数のタグを入力するときは、font,blink のように、それぞれのタグをコンマ（,）で区切ってください。

   可能な場合ネストされた **** タグを結合 同じ範囲のテキストが複数の font タグによって制御されている場合、これらのタグを結合します。例えば、big red は big red に変更されます。

   完了時にログを表示 クリーンアップ終了後、ドキュメントの変更点の詳細を直ちにアラートボックスに表示します。

タグおよびカッコの対応の検証

トップへ戻る

ページ内のタグ、カッコ（( )）、波カッコ（{ }）、角カッコ（[ ]）が正しく対応しているかどうかを検証できます。つまり、すべての開始タグおよび開始カッコに対して、対応する終了タグや閉じカッコがあるかどうか、逆に、開始タグのない終了タグがないかを検証できます。

タグの対応の確認

1. コードビューでドキュメントを開きます。
2. チェック対象のネストされたコード内に挿入ポイントを置きます。
3. 編集／親タグを選択を選択します。

コード内の対応するタグ（およびその内容）が選択されます。Dreamweaver では、タグが正しく対応している場合、編集／親タグを選択の選択を続けると、最終的に最も外側の html タグと /html タグが選択されます。

カッコ、波カッコ、または角カッコの対応の確認

1. コードビューでドキュメントを開きます。
2. チェック対象のコード内に挿入ポイントを置きます。
3. 編集／カッコ内を選択を選択します。

   対応しているカッコ、波カッコ、または角カッコで囲まれるコードがすべて選択されます。編集／カッコ内を選択をもう一度選択すると、新規選択範囲を囲むカッコ、波カッコ、または角カッコ内のコードがすべて選択されます。

トップへ戻る

ブラウザーの互換性のチェック

ブラウザー互換性チェック（BCC）機能は、ブラウザー表示上のバグを発生させる可能性がある HTML と CSS の組み合わせを見つける場合に役立ちます。この機能により、ターゲットブラウザーではサポートされていない CSS のプロパティや値がドキュメント内のコードにあるかどうかもテストできます。

注意： この機能は、以前のターゲットブラウザーチェック機能に取って代わるものですが、以前の機能の CSS に関する機能性を維持しています。

トップへ戻る

XML ドキュメントの検証

バリデーターの環境設定や、検証対象とする特定の問題、およびバリデーターが報告するエラーのタイプを指定できます。

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - XML または XHTML ファイルの場合は、ファイル／バリデート／XML 形式を選択します。
   - 結果パネルの「バリデーター」タブに、エラーや警告がないことを示すメッセージが表示されます。シンタックスエラーが見つかった場合は、それらのエラーが一覧表示されます。
2. エラーメッセージをダブルクリックすると、ドキュメントのエラーがハイライト表示されます。
3. レポートを XML ファイルとして保存するには、「レポートの保存」ボタンをクリックします。
4. プライマリブラウザー（レポートを印刷できる）にレポートを表示するには、「レポートの参照」ボタンをクリックします。

トップへ戻る

W3C バリデーターによるドキュメント検証（CS5.5）

Dreamweaver CS5.5 およびそれ以降には W3C バリデーターをサポートする機能が組み込まれており、標準仕様に準拠した Web ページの作成に役立ちます。W3C バリデーターでは、HTML ドキュメントが HTML または XHTML の標準仕様を満たしているかどうかを検証できます。検証対象としては、開いているドキュメントを指定することも、ライブサーバー上に置かれたファイルを指定することもできます。

検証を実行すると、ファイルのエラー修正作業に使用できるレポートが生成されます。

注意： W3C バリデーターの機能は、Dreamweaver CS5.5 およびそれ以降のみで使用できます。Dreamweaver CS4 で使用できる以前のバージョンの機能は、Dreamweaver CS5 では使用されなくなりました。以前のバージョンの機能について詳しくは、Dreamweaver CS4 ドキュメントを参照してください。

開いているドキュメントの検証

1. ウィンドウ／結果／W3C 検証を選択します。
2. ファイル／バリデート／現在のドキュメントをバリデート（W3C）を選択します。

ライブドキュメントの検証

Dreamweaver でライブドキュメントの検証を実行すると、ブラウザーによって受信されるコードが検証の対象となります。これは、ブラウザーを右クリックし、ページソースの表示オプションを選択した場合に表示されるコードです。ライブドキュメントの検証機能は、PHP や JSP などを使用する動的なページを検証するとき非常に便利です。

「ライブドキュメントをバリデート」オプションは、検証対象ページ URL の先頭が http の場合にのみ有効となります。

1. ウィンドウ／結果／W3C 検証を選択します。
2. 「ライブビュー」をクリックします。
3. ファイル／バリデート／ライブドキュメントをバリデート（W3C）を選択します。

ライブドキュメントの場合、W3C 検証パネルに表示されたエラーをダブルクリックすると別のウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、ブラウザーで生成されたコードが表示され、エラーに該当する行がハイライトされています。

検証設定のカスタマイズ

1. ウィンドウ／結果／W3C 検証を選択します。
2. W3C 検証パネルで、W3C 検証 (Play) アイコンをクリックします。「設定」を選択します。
3. そのドキュメントに対して DOCTYPE が明示的に指定されていない場合は、検証する DOCTYPE を選択します。
4. エラーや警告を表示しないようにする場合は、該当するオプションを解除します。
5. W3C 検証パネルで非表示にした警告やエラーを削除する場合は、「管理」をクリックします。削除した警告やエラーは、W3C 検証パネルで「すべて表示」を選択した場合にも表示されません。
6. 検証の開始時に W3C バリデーター通知ダイアログが表示されないようにするには、「W3C バリデーター通知ダイアログを表示しない」を選択します。

検証レポートを使用した作業

検証が終了すると、W3C 検証パネルに検証レポートが表示されます。

- エラーまたは警告の詳細情報を表示するには、W3C 検証パネルで目的のエラーや警告を選択し、「詳細情報」をクリックします。
- レポートを XML ファイルとして保存するには、「レポートの保存」をクリックします。
- レポート全体を HTML 形式で表示するには、「レポートの参照」をクリックします。HTML レポートには、すべてのエラーと警告が要約情報と共に記載されています。
- エラーに該当するコード内の位置にジャンプするには、W3C 検証パネルで目的のエラーを選択し、「オプション」ボタンをクリックして、「行へ移動」を選択します。
- エラーまたは警告を非表示にするには、そのエラーまたは警告を選択し、「オプション」ボタンをクリックして、「エラーを表示しない」を選択します。
- エラーと警告を、非表示にしたものを含めすべて表示するには、「オプション」ボタンをクリックし、「すべて表示」を選択します。環境設定ダイアログボックスで削除したエラーや警告については表示されません。
- W3C 検証パネルに表示された結果をすべてクリアするには、「オプション」ボタンをクリックし、「結果の消去」を選択します。

トップへ戻る

バリデーターの環境設定

タグの検証機能は、Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。ただし、Dreamweaver では拡張機能としてインストールされている外部コードバリデーターは引き続きサポートされます。外部バリデーター拡張機能をインストールすると、環境設定ダイアログボックスの「バリデーター」カテゴリに環境設定が一覧表示されます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左の カテゴリリストから「バリデーター」を選択します。
3. バリデートの基準とするタグライブラリを選択します。

   同じタグライブラリ（言語）の複数のバージョンを選択することはできません。例えば、HTML 4.0 を選択した場合は、HTML 3.2 や HTML 2.0 を同時に選択することはできません。バリデートの基準とする最も古いバージョンを選択してください。例えば、ドキュメントに有効な HTML 2.0 コードが含まれている場合は、それは HTML 4.0 コードとしても有効です。
4. 「オプション」をクリックし、選択したライブラリのオプションを設定します。
5. バリデーターが報告するエラーと警告のタイプについて「表示」オプションを選択します。
6. バリデーターでチェックする項目を選択します。
   テキスト内の引用符 ドキュメントのテキスト内で引用符が使用されるたびに、HTML ドキュメントのテキスト内では引用符ではなく " エンティティを使用する必要があるという警告が、Dreamweaver によって表示されます。

   テキスト内のエンティティ Dreamweaver により、特定の文字（アンパサンド（&）、小なり記号（<）、および大なり記号（>））を、これらに対応する HTML エンティティに変更するよう推奨するメッセージが表示されます。
7. 「OK」をクリックしてバリデーターオプションダイアログボックスを閉じ、もう一度「OK」をクリックして環境設定を確定します。

トップへ戻る

XHTML 準拠ページの作成

新しいページを作成する際に、そのページを XHTML 準拠にすることができます。また、既存の HTML ドキュメントを XHTML 準拠にすることもできます。

XHTML 準拠のドキュメントの作成

1. ファイル／新規を選択します。
2. 作成するページのカテゴリとタイプを選択します。
3. ダイアログボックスの右端にあるドキュメントタイプポップアップメニューから、いずれかの XHTML ドキュメントタイプ定義（DTD）を選

択して「作成」をクリックします。

例えば、ポップアップメニューから「XHTML 1.0 Transitional」または「XHTML 1.0 Strict」を選択すると、HTML ドキュメントを XHTML 準拠にできます。

注意： すべてのタイプのドキュメントを XHTML 準拠にできるわけではありません。

初期設定による XHTML 準拠ドキュメントの作成

1. 編集／環境設定またはDreamweaver／環境設定（Mac OS X）を選択し、「新規ドキュメント」カテゴリを選択します。
2. 初期設定ドキュメントを選択し、初期設定ドキュメントタイプ（DTD）ポップアップメニューからいずれかの XHTML ドキュメントタイプ定義を選択して「OK」をクリックします。

   例えば、ポップアップメニューから「XHTML 1.0 Transitional」または「XHTML 1.0 Strict」を選択すると、HTML ドキュメントを XHTML 準拠にできます。

既存の HTML ドキュメントの XHTML 対応化

1. ドキュメントを開き、次のいずれかの操作を行います。
   - フレームのないドキュメントの場合は、ファイル／変換を選択し、いずれかの XHTML ドキュメントタイプ定義を選択します。

     例えば、ポップアップメニューから「XHTML 1.0 Transitional」または「XHTML 1.0 Strict」を選択すると、HTML ドキュメントを XHTML 準拠にできます。
   - フレームのあるドキュメントの場合は、フレームを選択してからファイル／変換を選択し、いずれかの XHTML ドキュメントタイプ定義を選択します。
2. ドキュメント全体を変換する場合は、この手順をすべてのフレームおよびフレームセットドキュメントに対して行います。

注意： テンプレートから作成したドキュメントは、そのテンプレートと同じ言語で維持する必要があるため変換できません。例えば、XHTML テンプレートに基づくドキュメントは XHTML のまま維持する必要があります。同様に、XHTML に準拠しない HTML テンプレートに基づくドキュメントは HTML で維持する必要があり、XHTML などの他の言語に変換することはできません。

トップへ戻る

ColdFusion デバッガーの使用（Windows のみ）

Dreamweaver のテストサーバーとして ColdFusion を使用して ColdFusion ページを開発する場合は、Dreamweaver 内から ColdFusion のデバッグ情報を参照できます。

注意： この機能は、Mac OS ではサポートされていません。Mac OS で開発する場合は、「ブラウザーでプレビュー」（F12）を使用して別のブラウザーで ColdFusion ページを開くことができます。ページにエラーがある場合は、ページの下部にエラーの考えられる原因についての情報が表示されます。

ColdFusion MX 6.1 以前を実行している場合は、デバッグを開始する前に、ColdFusion Administrator でデバッグ設定が有効になっていることを確認してください。ColdFusion MX 7 以降を実行している場合は、Dreamweaver によりこの設定は自動的に有効になります。

また、Dreamweaver テストサーバーで ColdFusion が実行されているかも確認する必要があります。詳しくは、テストサーバーの設定を参照してください。

内部ブラウザーにページが表示されるたびに、デバッグ情報が更新されるようにするには、ファイルが要求されるたびに、Internet Explorer がファイルの新しいバージョンをチェックするようにします。Internet Explorer で、ツール／インターネットオプションを選択し、「全般」タブを選択して「インターネット一時ファイル」の「設定」ボタンをクリックします。設定ダイアログボックスで、「ページを表示するごとに確認する」オプションを選択します。

1. Dreamweaver で ColdFusion ページを開きます。
2. ドキュメントツールバーのサーバーのデバッグアイコン をクリックします。

   Dreamweaver は、ColdFusion サーバーにページを要求し、取得したページを内部の Internet Explorer ブラウザーウィンドウに表示します。ページにエラーがある場合は、ページの下部に、考えられるエラーの原因が表示されます。

   同時に、サーバーデバッグパネルが開きます。パネルには、ページを表示するためにサーバーが処理したすべてのページ、ページで実行されたすべての SQL クエリー、およびすべてのサーバー変数とその値など、有用な情報が多く表示されます。また、実行回数の概要も示されます。
3. 「例外」カテゴリがサーバーデバッグパネルに表示された場合は、+アイコンをクリックしカテゴリを展開します。

   問題が起こった場合、またはページに問題があった場合は、「例外」カテゴリが表示されます。カテゴリを展開し、問題の詳細を確認します。
4. コードビュー（表示／コード）またはデザインビュー（表示／デザイン）に切り替えて戻り、エラーを修正します。
5. ファイルを保存して、サーバーデバッグアイコンをクリックします。

   Dreamweaver により、ページが内部ブラウザーに再表示され、サーバーデバッグパネルが更新されます。ページに問題がなくなると、「例外」カテゴリはパネルに表示されなくなります。
6. デバッグモードを終了するには、コードビュー（表示／コード）またはデザインビュー（表示／デザイン）に切り替えます。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

タグライブラリの管理

Dreamweaver のタグライブラリについて
タグライブラリエディターを開く、または閉じる
ライブラリ、タグ、および属性の追加
ライブラリ、タグ、および属性の編集
ライブラリ、タグ、および属性の削除

Dreamweaver のタグライブラリについて

トップへ戻る

タグライブラリとは、Dreamweaver における特定のタイプのタグを集めたものであり、Dreamweaver によるそれらのタグのフォーマット方法に関する情報も合わせて格納されています。タグライブラリは、Dreamweaver がコードヒント、ターゲットブラウザーチェック、タグ選択、およびその他のコーディング機能に使用するタグについての情報を提供します。タグライブラリエディターでは、タグライブラリ、タグ、属性、および属性値を追加または削除できます。また、タグライブラリのプロパティの設定（コードの内容を簡単に識別できるようにフォーマットを指定するなど）や、タグおよび属性の編集も実行できます。

タグライブラリエディターを開く、または閉じる

トップへ戻る

1. 編集／タグライブラリを選択して、タグライブラリエディターを開きます。

   タグライブラリエディターダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスのオプションは、選択したタグによって異なります。

2. 次のいずれかの方法でタグライブラリエディターを閉じます。
   - 変更内容を保存するには、「OK」をクリックします。
   - 変更内容を保存せずにエディターを閉じるには、「キャンセル」をクリックします。

     注意： 「キャンセル」をクリックすると、タグライブラリエディターで行った変更がすべて消去されます。タグまたはタグライブラリを削除した場合は、復元されます。

ライブラリ、タグ、および属性の追加

トップへ戻る

タグライブラリエディターを使用すると、タグライブラリ、タグ、属性を Dreamweaver のタグライブラリに追加できます。

タグライブラリの追加

1. タグライブラリエディター（編集／タグライブラリ）で、「+」ボタンをクリックして、「新しいタグライブラリ」を選択します。
2. 「ライブラリ名」ボックスに名前を入力し（例えばMiscellaneous Tags）、「OK」をクリックします。

タグライブラリへのタグの追加

1. タグライブラリエディター（編集／タグライブラリ）で、「+」ボタンをクリックして、「新しいタグ」を選択します。
2. タグライブラリポップアップメニューでタグライブラリを選択します。
3. 新しいタグの名前を入力します。複数のタグを追加するには、タグの名前をコンマとスペースで区切ります（例えば cfgraph, cfgraphdata）。
4. 新しいタグに対応する終了タグ（</...>）がある場合は、「一致する終了タグがあります」を選択します。
5. 「OK」をクリックします。

タグへの属性の追加

1. タグライブラリエディター（編集／タグライブラリ）で、「+」ボタンをクリックして、「新しい属性」を選択します。
2. タグライブラリポップアップメニューでタグライブラリを選択します。
3. タグポップアップメニューでタグを選択します。
4. 新しい属性の名前を入力します。複数の属性を追加するには、属性の名前をコンマとスペースで区切ります（例えば width, height）。
5. 「OK」をクリックします。

トップへ戻る

ライブラリ、タグ、および属性の編集

タグライブラリエディターを使用して、タグライブラリのプロパティを設定し、ライブラリ内のタグや属性を編集できます。

タグライブラリのプロパティの設定

1. タグライブラリエディター（編集／タグライブラリ）のタグリストで、タグライブラリ（タグではなく）を選択します。
   注意： タグライブラリのプロパティは、タグライブラリが選択されている場合のみ表示されます。 タグライブラリは、タグリストの最上位フォルダーに表されます。例えば、HTML タグフォルダーはタグライブラリを表し、HTML タグフォルダー内の abbr フォルダーはタグを表します。
2. 使用する場所リストで、このタグライブラリを使用するドキュメントタイプをすべて選択します。

   ここで選択したドキュメントタイプによって、タグライブラリのコードヒントを提供するドキュメントタイプが決まります。例えば、あるタグライブラリに対して HTML オプションを選択しない場合、そのタグライブラリのコードヒントは HTML ファイルでは表示されません。
3. （オプション）「タグ接頭辞」ボックスに、タグの接頭辞を入力します。
   注意： 接頭辞を使用して、コード内のタグを特定のタグライブラリの一部として識別します。接頭辞を使用しないタグライブラリもあります。
4. 「OK」をクリックします。

タグライブラリ内のタグの編集

1. タグライブラリエディター（編集／タグライブラリ）のタグリストで、タグライブラリを展開し、タグを選択します。
2. 「タグフォーマット」の以下のオプションを設定します。
   改行 Dreamweaver でタグの改行を挿入する位置を指定します。

   コンテンツ Dreamweaver でタグの内容を挿入する方法を指定します。つまり、改行、フォーマット、およびインデントの規則をタグの内容に適用するかどうかを指定します。

   大文字/小文字 特定のタグに対する大文字と小文字の区別を指定します。指定なし、小文字、大文字、または大文字/小文字混在を選択します。「大文字/小文字混在」を選択すると、タグ名に大文字と小文字が混在ダイアログボックスが表示されます。Dreamweaver がタグを挿入する際に使用する文字種（大文字または小文字）でタグを入力し（「getProperty」など）、「OK」をクリックします。

   初期設定 すべてのタグに適用される初期設定の大文字または小文字の区別を設定します。表示されるタグの大文字/小文字の初期設定ダイアログボックスで、「<大文字>」または「<小文字>」を選択して「OK」をクリックします。
   XML および XHTML 標準に合わせる場合などに、初期設定を小文字にします。

タグの属性の編集

1. タグライブラリエディター（編集／タグライブラリ）のタグリストで、タグライブラリを展開し、タグを展開してタグ属性を選択します。
2. 属性の大文字/小文字ポップアップメニューで、指定なし、小文字、大文字、または大文字/小文字混在を選択します。

   「大文字/小文字混在」を選択すると、属性名に大文字と小文字が混在ダイアログボックスが表示されます。Dreamweaver が属性を挿入する際に使用する文字種（大文字または小文字）で属性を入力し（「onClick」など）、「OK」をクリックします。

   「初期設定」リンクをクリックすると、すべての属性名に対する大文字と小文字の区別の初期設定を指定できます。
3. 属性タイプポップアップメニューで、属性のタイプを選択します。

   「列挙」を選択した場合は、その属性に指定可能なすべての値を「値」ボックスに入力します。値は、スペースではなくコンマで区切ります。例えば、cfchart タグの showborder 属性の値を列挙する場合は、「yes,no」のように入力します。

トップへ戻る

ライブラリ、タグ、および属性の削除

1. タグライブラリエディター（編集／タグライブラリ）のタグリストで、タグライブラリ、タグ、または属性を選択します。
2. 「-」ボタンをクリックします。
3. 「OK」をクリックして、選択したアイテムを削除します。

   タグリストからアイテムが削除されます。
4. 「OK」をクリックしてタグライブラリエディターを閉じ、削除を完了します。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver へのカスタムタグの読み込み

Dreamweaver へのカスタムタグの読み込みについて
XML ファイルからのタグの読み込み
カスタム ASP.NET タグの読み込み
ファイルまたはサーバーからの JSP タグの読み込み（web.xml）
JRun タグの読み込み

Dreamweaver へのカスタムタグの読み込みについて

トップへ戻る

Dreamweaver にカスタムタグを読み込み、オーサリング環境の一部として使用することができます。例えば、読み込まれたカスタムタグをコードビューに入力し始めると、コードヒントメニューにタグの属性の一覧が表示され、属性を選択することができます。

XML ファイルからのタグの読み込み

トップへ戻る

XML DTD（Document Type Definition）ファイルまたはスキーマから、タグを読み込むことができます。

1. タグライブラリエディターを開きます（編集／タグライブラリ）。
2. 「+」ボタンをクリックし、DTDSchema／XML DTD またはスキーマファイルの読み込みを選択します。
3. DTD またはスキーマファイルのファイル名または URL を入力します。
4. タグで使用する接頭辞を入力します。
   注意： 接頭辞を使用して、コード内のタグを特定のタグライブラリの一部として識別します。接頭辞を使用しないタグライブラリもあります。
5. 「OK」をクリックします。

カスタム ASP.NET タグの読み込み

トップへ戻る

カスタム ASP.NET タグを Dreamweaver に読み込むことができます。

作業を始める前に、サイト定義ダイアログボックスで定義されているテストサーバーにカスタムタグがインストールされていることを確認してください（詳しくは、テストサーバーの設定を参照してください）。コンパイル済みタグ（DLL ファイル）は、サイトルートの/binフォルダーに配置する必要があります。コンパイルされていないタグ（ASCX ファイル）は、サーバー上の任意の仮想ディレクトリまたはサブディレクトリに配置できます。詳しくは、Microsoft ASP.NET のマニュアルを参照してください。

1. Dreamweaver で ASP.NET ページを開きます。
2. タグライブラリエディターを開きます（編集／タグライブラリ）。
3. 「+」ボタンをクリックし、必要に応じて以下のオプションを選択して「OK」をクリックします。
   - アプリケーションサーバーからすべての ASP.NET カスタムタグを読み込むには、ASP.NET／すべての ASPNet カスタムタグの読み込みを選択します。
   - アプリケーションサーバーから特定のカスタムタグのみを読み込むには、ASP.NET／選択した ASP.NET カスタムタグの読み込みを選択します。Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら、リストに表示されているタグをクリックします。

ファイルまたはサーバーからの JSP タグの読み込み（web.xml）

トップへ戻る

各種のファイルや JSP サーバーから、Dreamweaver に JSP タグライブラリを読み込むことができます。

1. Dreamweaver で JSP ページを開きます。
2. タグライブラリエディターを開きます（編集／タグライブラリ）。
3. 「+」ボタンをクリックし、JSP／ファイル（*.tld、*.jar、*.zip）からの読み込みまたはJSP／サーバー（web.xml）からの読み込みを選択します。
4. 「参照」ボタンをクリックするかファイル名を入力して、タグライブラリが保存されているファイルを指定します。
5. タグライブラリを識別する URI を入力します。

   多くの場合、URI（Uniform Resource Identifier）にはタグライブラリをメンテナンスする組織の URL が使用されています。この URL は、該当組織の Web サイトを表示するためのものではなく、タグライブラリを一意に識別するために使用されます。
6. （オプション）タグで使用する接頭辞を入力します。一部のタグライブラリは、接頭辞情報に基づいて、コード内のタグを特定のタグライブ

ラリの一部として認識します。

7. 「OK」をクリックします。

トップへ戻る

JRun タグの読み込み

Adobe® JRun™ を使用する場合は、JRun タグを Dreamweaver に読み込むことができます。

1. Dreamweaver で JSP ページを開きます。
2. タグライブラリエディターを開きます（編集／タグライブラリ）。
3. 「+」ボタンをクリックし、JSP／JRun サーバータグをフォルダーから読み込みを選択します。
4. JRun タグが保存されているフォルダーの名前を入力します。
5. タグライブラリを識別する URI を入力します。

   多くの場合、URI（Uniform Resource Identifier）にはタグライブラリをメンテナンスする組織の URL が使用されています。この URL は、該当組織の Web サイトを表示するためのものではなく、タグライブラリを一意に識別するために使用されます。

6. （オプション）タグで使用する接頭辞を入力します。一部のタグライブラリは、接頭辞情報に基づいて、コード内のタグを特定のタグライブラリの一部として認識します。
7. 「OK」をクリックします。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver でのコーディングに関する一般情報

サポートされる言語
無効なマークアップ
自動コード修正
XHTML コード
正規表現
サーバビヘイビアーコード

サポートされる言語

トップへ戻る

Adobe® Dreamweaver® には、テキストの編集機能だけでなく、コードヒントなど、次の言語でのコーディングを支援する各種の機能が備わっています。

- HTML
- XHTML
- CSS
- JavaScript
- CFML（ColdFusion Markup Language）
- VBScript（ASP 用）
- C# および Visual Basic（ASP.NET 用）
- JSP
- PHP

上記以外の言語（Perl など）は、Dreamweaver の言語固有のコーディング機能ではサポートされていません。例えば、Perl ファイルを作成して編集することは可能ですが、Perl のコードヒントは使用できません。

無効なマークアップ

トップへ戻る

ドキュメントに無効なコードが含まれている場合は、Dreamweaver のデザインビューにそのコードが表示されます。必要に応じて、そのコードをコードビューでハイライト表示することもできます。いずれかのビューでコードを選択すると、そのコードが無効である理由と、その修正方法が、プロパティインスペクターに表示されます。

注意： コードビューで無効なコードをハイライト表示するオプションは、初期設定でオフになっています。このオプションをオンにするには、コードビューに切り替えてから（表示／コード）、表示／コードビューオプション／無効なコードをハイライト表示を選択します。
また、ドキュメントを開いたときに各種の無効なコードが自動的に書き換えられるように設定することができます。

自動コード修正

トップへ戻る

指定した基準に従って手入力のコードを自動的にクリーンアップするためのオプションを Dreamweaver で設定できます。ただし、コード書き換えオプションを有効にするか、コードを変更するアクションを実行しない限り、コードが書き換えられることはありません。例えば、「ソースフォーマットの適用」コマンドを使用しない限り、Dreamweaver は、ユーザーが記述した空白や属性の大文字小文字を変更しません。

これらのコード書き換えオプションの一部は初期設定で有効になっています。

Dreamweaver の Roundtrip HTML 機能により、オリジナルの HTML ソースコードのコンテンツと構造を維持したまま、テキストベースの HTML エディターと Dreamweaver を交互に切り替えて、両アプリケーションで同じドキュメントを編集できます。これらの機能は、以下のとおりです。

- では、サードパーティ製のテキストエディターを起動して、現在のドキュメントを編集します。
- 初期設定では、無効なコードであっても、別の HTML エディターで作成または編集したコードが Dreamweaver で変更されることはありません。ただし、コード書き換えオプションを有効にしている場合はこの限りではありません。
- Dreamweaver で認識されないタグ（XML タグなど）は、それらのタグを検証する基準がないため、修正されません。認識されないタグが別のタグの上にオーバーラップした場合（例えば、<MyNewTag>text</MyNewTag>)）、Dreamweaver はそのタグをエラーとしてマークしますが、コードは書き換えられません。
- コードビューで無効なコードを黄色でハイライト表示するように Dreamweaver を設定することもできます。ハイライト表示されたセクショ

ンを選択すると、プロパティインスペクターにエラーの修正方法が表示されます。

トップへ戻る

XHTML コード

Dreamweaver では、大半の XHTML 要件を満たすように、新しい XHTML コードの生成や既存の XHTML コードのクリーンアップが行われます。また、その他の XHTML 要件に対応するために必要なツールも用意されています。

注意： 一部の要件は、HTML の各種バージョンの要件と同じです。
以下の表に、Dreamweaver で自動的に満たされる XHTML 要件を示します。

XHTML 要件	Dreamweaver で行われる処理
ドキュメントには、ルートエレメントの前に DOCTYPE 宣言が必要です。この宣言は、XHTML 用の 3 つの DTD（Document Type Definition）ファイル（Strict、Transitional、または Frameset）のいずれかを参照する必要があります。	XHTML DOCTYPE を XHTML ドキュメントに追加します。 <!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd"> または、XHTML ドキュメントにフレームセットがある場合は次のようになります。 <!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Frameset//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-frameset.dtd">
ドキュメントのルートエレメントは html にしてください。また、html エレメントは XHTML 名前空間を明示する必要があります。	namespace 属性を html エレメントに追加します。 <html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
標準ドキュメントには、head、title、および body 構造エレメントが必要です。フレームセットドキュメントには、head、title、および frameset 構造エレメントが必要です。	標準ドキュメントには、head、title、および body エレメントが含まれています。フレームセットドキュメントには、head、title、および frameset エレメントが含まれています。
ドキュメントのすべてのエレメントは、適切にネストされる必要があります。 This is a bad example. This is a good example.	正しくネストされたコードを生成します。また、XHTML をクリーンアップするときに、Dreamweaver によって生成されていないコードのネストを訂正します。
すべてのエレメントおよび属性名は、小文字にする必要があります。	生成される XHTML コードの HTML エレメントおよび属性名を小文字にします。また、タグおよび属性の大文字/小文字の設定にかかわらず、クリーンアップ時に小文字にします。
DTD で EMPTY と宣言されているエレメントを除き、すべてのエレメントには終了タグが必要です。	生成するコードに終了タグを挿入します。また XHTML クリーンアップ時に終了タグを挿入します。
空のエレメントには終了タグを付けるか、開始タグの末尾を /> にする必要があります。例えば、 は無効です。正しい形式は、 </br> または です。空のエレメントは以下のとおりです。area、base、basefont、br、col、frame、hr、img、input、is index、link、meta、および param。 XML をサポートしていないブラウザーとの下位互換性のためには、/> の前にスペースが必要です。例えば、 とする必要があり、 ではありません。	生成するコードの空のタグに、終了スラッシュの前にスペースを入れて空のエレメントを挿入します。また、XHTML クリーンアップ時にも同様の操作を行います。
属性を省略して短くすることはできません。例えば、<td nowrap> は無効です。正しい形式は、<td nowrap="nowrap"> になります。 この要件は次の属性に適用されます。checked、compact、declare、defer、disabled、ismap、multiple、noresize、noshade、nowrap、readonly、および selected。	生成するコードに、完全な属性値のペアを挿入します。また XHTML クリーンアップ時に同様の処理を行います。 注意：HTML ブラウザーが HTML 4 をサポートしていない場合は、完全なフォームで記述されていても、これらのブール値の属性が認識されないことがあります。
すべての属性値は、引用符で囲む必要があります。	生成するコードの属性値を引用符で囲みます。また、XHTML クリーンアップ時に同様の処理を行います。
以下のエレメントには、id 属性と name 属性が必要です。a、applet、form、frame、iframe、img、および map。例えば、Introduction は無効です。正しい形式は、 Introduction または <a id="section1"	name 属性および id 属性を同じ値に設定する必要があるのは、name 属性がプロパティインスペクターで設定されたとき、Dreamweaver によってコードが生成されたとき、および XHTML をクリーンアップするときです。

name="intro"> Introduction です。	
列挙型の値を持つ属性の場合、この値は小文字にする必要があります。 列挙型の値は、指定された使用可能な値のリストから得られる値です。例えば、align 属性には、center、justify、left、および right の値を使用できます。	生成するコードの列挙型の値を小文字にします。また、XHTML クリーンアップ時に同様の処理を行います。
すべての script および style エレメントには、type 属性が必要です。 HTML 4 以降は type 属性が script エレメントに必須の属性です（HTML 4 以降、language 属性は推奨されなくなりました）。	type 属性および language 属性を、生成するコードの script エレメントに設定します。また、type 属性を style エレメントに設定します。XHTML クリーンアップ時にも同様の処理を行います。
すべての img エレメントおよび area エレメントに alt 属性が必要です。	生成するコードのこれらの属性を設定します。また、XHTML クリーンアップ時に同様の処理を行い、alt 属性のないものをレポートします。

トップへ戻る

正規表現

正規表現とは、テキスト内の文字の組み合わせを表すパターンのことです。コードの検索に正規表現を使用すると、例えば「var」で始まる行や、数値を含んだ属性値など、概念的な検索対象を指定できます。

以下の表は、正規表現の特殊文字、その意味、および使用例を示しています。この表のいずれかの特殊文字を含むテキストを検索するには、その特殊文字の前にバックスラッシュを付けてエスケープします。例えば、some conditions apply* というフレーズからアスタリスク（*）を検索する場合の検索パターンは、apply* のようになります。アスタリスクをエスケープしないと、「apply」にアスタリスクが 1 つ付いているパターンではなく、「apply」の出現箇所（および「appl」、「applyy」、「applyyy」などの出現箇所）がすべて検索されてしまいます。

文字	意味	例
^	入力または行の始め	^T は、「This good earth」の「T」を検索しますが、「Uncle Tom's Cabin」の「T」は無視します。
$	入力または行の終わり	h$ は、「teach」の「h」を検索しますが、「teacher」の「h」は無視します。
*	直前の文字の 0 回以上の繰り返し	um* は、「rum」の「um」、「yummy」の「umm」、および「huge」の「u」を検索します。
+	直前の文字の 1 回以上の繰り返し	um+ は、「rum」の「um」および「yummy」の「umm」を検索しますが、「huge」の場合は無視します。
?	直前の文字を 0 回または 1 回（直前の文字がオプションであることを示す）	st?on は、「Johnson」の「son」、「Johnston」の「ston」を検索しますが、「Appleton」や「tension」の場合は無視します。
.	新行（改行）以外のすべての単一文字	.an は、「bran muffins can be tasty」の「ran」および「can」を検索します。
x|y	x または y	FF0000|0000FF は、bgcolor="#FF0000" の「FF0000」および font color="#0000FF" の「0000FF」を検索します。
{n}	直前の文字の n 回繰り返し	o{2} は、「loom」の「oo」および「mooooo」の最初の 2 つの「o」を検索しますが、「money」の場合は無視します。
{n,m}	直前の文字の最低 n 回、最高 m 回の繰り返し	F{2,4} は、「#FF0000」の「FF」および「#FFFFFF」の最初の 4 つの「F」を検索します。
[abc]	カッコ内に含まれる文字 1 つ。ハイフンを	[e-g] は、「bed」の「e」、「folly」の

	使って、特定範囲の文字を指定（[a-f] と [abcdef] は同じ）	「f」、「guard」の「g」を検索します。
[^abc]	カッコ内に含まれない文字 1 つ。ハイフンを使って、特定範囲の文字を指定（[^a-f] と [^abcdef] は同じ）	[^aeiou] は、「orange」の「r」、「book」の「b」、「eek!」の「k」を最初に検索します。
\b	語境界（スペース、改行など）	\bb は、「book」の「b」を検索しますが、「goober」や「snob」の「b」は無視します。
\B	語境界以外のすべて	\Bb は、「goober」の「b」を検索しますが、「book」の「b」は無視します。
\d	数字 1 文字（[0-9] と同じ）	\d は、「C3PO」の「3」および「apartment 2G」の「2」を検索します。
\D	非数字 1 文字（[^0-9] と同じ）	\D は、「900S」の「S」および「Q45」の「Q」を検索します。
\f	用紙送り	
\n	改行	
\r	キャリッジリターン	
\s	スペース、タブ、用紙送り、改行を含むホワイトスペース 1 つ	\sbook は、「blue book」の「book」を検索しますが、「notebook」の場合は無視します。
\S	非ホワイトスペース 1 つ	\Sbook は、「notebook」の「book」を検索しますが、「blue book」の場合は無視します。
\t	タブ 1 つ	
\w	下線を含む、英数字 1 つ（[A-Za-z0-9_] と同じ）	b\w* は、「the barking dog」の「barking」および「the big black dog」の「big」と「black」を検索します。
\W	非英数字の 1 つ（[^A-Za-z0-9_] と同じ）	\W は、「Jake＆Mattie」の「＆」および「100％」の「％」を検索します。
Ctrl + Enter または Shift + Enter（Windows）、Control + Return、Shift + Return、または Command + Return（Mac OS）	改行文字。正規表現を使用しない場合に改行文字を検索するときは、「ホワイトスペースの違いを無視」をオフにしてください。この検索では、一般の意味の改行ではない特定の文字が検索されます。例えば、 タグや <p> タグは無視されます。デザインビューでは、改行文字は改行ではなくスペースとして表示されます。	

カッコで正規表現内をグループ分けし、後で参照できるように区別します。その後で、「置換」フィールドで $1、$2、$3 などを使用して、1 番目、2 番目、3 番目、およびそれ以降のカッコのグループを参照します。

注意： 「検索」ボックスでは、$1、$2、$3 ではなく \1、\2、\3 を使用して、正規表現内のカッコのグループを参照します。

例えば、(\d+)\/(\d+)\/(\d+) を検索し、それを $2/$1/$3 で置換すると、スラッシュで区切られた日付の日、月が入れ替わるので、アメリカ式とヨーロッパ式の日付を変換することができます。

トップへ戻る

サーバビヘイビアーコード

Dreamweaver では、動的ページの開発時にサーバービヘイビアーパネルからサーバービヘイビアーを選択すると、適切なコードブロックがページに挿入され、そのサーバービヘイビアーが機能するようになります。

このコードブロック内のコードを手動で変更すると、該当するサーバービヘイビアーをバインディングやサーバービヘイビアーなどのパネルを使用して編集することはできなくなります。Dreamweaver は、ページコード内の特定のパターンに基づいてサーバービヘイビアーを検出し、サーバービヘイビアーパネルに表示します。コードブロック内のコードがなんらかの形で変更されると、Dreamweaver ではサーバービヘイビアーを検出できなくなり、したがってサーバービヘイビアーパネルに表示できなくなります。しかしその場合でも、サーバービヘイビアーはページ内に残り、Dreamweaver のコーディング環境で編集できます。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

デザインビューでのコードの編集

デザインビューでのコードの編集について
デザインビューでの子タグの選択
プロパティインスペクターでのコードの編集
プロパティインスペクターでの CFML の編集
タグインスペクターでの属性の変更
クイックタグ編集の概要
クイックタグ編集でのコードの編集
クイックタグ編集でのヒントメニューの使用
タグセレクターでのコードの編集
デザインビューでのスクリプトの記述と編集
プロパティインスペクターによるページ上のスクリプトの編集
JavaScript ビヘイビアーの使用

デザインビューでのコードの編集について

トップへ戻る

Dreamweaver では、基になるソースコードを記述しなくても、Web ページを視覚的に作成して編集することができます。ただし、作成した Web ページの細かな調整やトラブルシューティングを行うために、コードを直接編集する必要が生じる場合もあります。Dreamweaver では、デザインビューで作業しながら一部のコードを編集することができます。

このセクションは、主にデザインビューで作業しながら、コードもすばやく確認したいというユーザーを対象にしています。

デザインビューでの子タグの選択

トップへ戻る

デザインビューで子タグを含むオブジェクト（例えば HTML テーブル）を選択した状態で編集／子タグを選択すると、そのオブジェクトの最初の子タグをすばやく選択できます。

注意： このコマンドは、デザインビューのみで有効になります。
例えば、<table> タグには、通常 <tr> という子タグがあります。タグセレクターで <table> タグを選択する場合、編集／子タグを選択すると、テーブルの最初の行を選択できます。Dreamweaver によって、タグセレクターで最初の <tr> タグが選択されます。<tr> タグには子タグ（<td> タグ）があるので、再度編集／子タグを選択すると、テーブルの最初の子セルが選択されます。

プロパティインスペクターでのコードの編集

トップへ戻る

プロパティインスペクターを使用して、ページ上のテキストやオブジェクトの属性を調べたり、編集することができます。一般に、プロパティインスペクターに表示されるプロパティはタグの属性と対応しています。プロパティインスペクターでプロパティを変更すると、通常、それに対応する属性をコードビューで変更した場合と同じ結果が得られます。

注意： タグインスペクターおよびプロパティインスペクターのどちらでも、タグの属性を表示および編集できます。タグインスペクターでは、タグに関連付けられたすべての属性を表示および編集できます。プロパティインスペクターには一部の最も一般的な属性しか表示されませんが、属性値の変更機能がタグインスペクターよりも充実しており、特定のタグに対応していない特定のオブジェクト（テーブル列など）を編集することができます。

1. ページ上でテキストをクリックするか、オブジェクトを選択します。

   ドキュメントウィンドウの下に、テキストまたはオブジェクトのプロパティインスペクターが表示されます。プロパティインスペクターが表示されない場合は、ウィンドウ／プロパティを選択します。

2. プロパティインスペクターで、属性を変更します。

プロパティインスペクターでの CFML の編集

トップへ戻る

プロパティインスペクターを使用して、デザインビューで ColdFusion マークアップを調べたり、修正したりすることができます。

1. プロパティインスペクターで「属性」ボタンをクリックして、タグの属性を編集するか、または新しい属性を追加します。
2. 開始タグと終了タグの間にコンテンツが含まれている場合は、「コンテンツ」ボタンをクリックして、そのコンテンツを編集します。

   「コンテンツ」ボタンは、選択されたタグが空のタグでない場合（つまり、開始タグと終了タグが両方ともある場合）のみ表示されます。

3. タグに条件式が含まれている場合は、「式」ボックスでその条件式を変更してください。

トップへ戻る

タグインスペクターでの属性の変更

タグインスペクターを使用して、属性や属性値を編集または追加します。タグインスペクターでは、他の IDE（Integrated Development Environment：統合開発環境）と同じようなプロパティシートを使用してタグとオブジェクトを編集できます。

1. ドキュメントウィンドウで、以下のいずれかの操作を行います。
   - コードビュー（またはコードインスペクター）で、タグの名前またはそのコンテンツをクリックします。
   - デザインビューで、オブジェクトを選択するか、タグセレクター内のタグを選択します。
2. タグインスペクターを開き（ウィンドウ／タグインスペクター）、「属性」タブを選択します。

   選択したタグの属性とその現在の値がタグインスペクターに表示されます。
3. タグインスペクターで、以下のいずれかの操作を行います。
   - カテゴリ別に編成された属性を表示するには、「カテゴリビューの表示」ボタン をクリックします。
   - アルファベット順のリストで属性を表示するには、「リストビューの表示」ボタン をクリックします。
   - 属性値を変更するには、目的の値を選択して編集します。
   - 値が指定されていない属性に値を追加するには、その属性の右側にある属性値列をクリックしてから値を入力します。
   - 定義済みの値を属性に使用する場合は、属性値列の右側に表示されるポップアップメニュー（カラーピッカー）から値を選択します。
   - URL 値を属性に使用する場合は、「参照」ボタンのクリックまたはファイルの指定アイコンによりファイルを選択するか、テキストボックスに URL を入力します。
   - 動的コンテンツのソース（データベースなど）の値を属性に使用する場合は、属性値列の右側にある「動的データ」ボタンをクリックします。次に、ソースを選択します。
   - 属性値を削除するには、目的の値を選択して BackSpace キー（Windows）または Delete キー（Mac OS）を押します。
   - 属性の名前を変更するには、属性名を選択して編集します。

     注意： 標準属性の名前を変更してからその属性に値を追加すると、その属性と新しい値は該当するカテゴリに移動されます。
   - まだリストにない新しい属性を追加するには、リストの最後にある属性名の下の空きスペースをクリックし、新しい属性名を入力します。
4. Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押すか、タグインスペクター内の別の場所をクリックして、ドキュメント内のタグを更新します。

トップへ戻る

クイックタグ編集の概要

クイックタグ編集を使用すると、HTML タグの確認、挿入、編集をデザインビューを離れずに簡単に行うことができます。

クイックタグ編集で無効な HTML を入力すると、Dreamweaver によって閉じ引用符や山形閉じカッコが必要な箇所に挿入され、自動的に修正されます。

クイックタグ編集のオプションを設定するには、Ctrl + T（Windows）または Command + T（Mac OS）を押してクイックタグ編集を開きます。

クイックタグ編集には以下の 3 つのモードがあります。

- HTML の挿入モードでは、新しい HTML コードを挿入できます。
- タグの編集モードでは、既存のタグを編集できます。
- 折り返しタグモードでは、現在の選択範囲を新しいタグで囲むことができます。

  注意： クイックタグ編集で使用されるモードは、デザインビューで現在選択している内容に応じて決まります。

  いずれのモードでも、クイックタグ編集を使用する際の基本手順は同じです。つまり、エディターを開き、タグと属性を入力または編集して、エディターを閉じます。

  クイックタグ編集をアクティブにして、Ctrl + T（Windows）または Command + T（Mac OS）を押すと、各モードに順番に切り替えることができます。

トップへ戻る

クイックタグ編集でのコードの編集

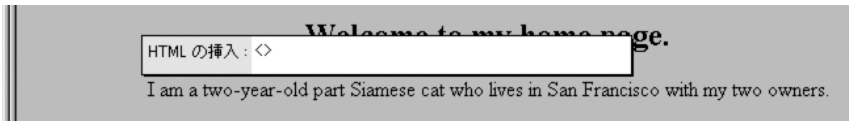
クイックタグ編集を使用すると、デザインビューを離れずに、HTML タグを簡単に挿入し、編集できます。

HTML タグの挿入

1. デザインビューで、コードを挿入するページ内の場所をクリックして、挿入ポイントを置きます。

2. Ctrl + T（Windows）または Command + T（Mac OS）を押します。

   HTML の挿入モードで、クイックタグ編集が開きます。



3. HTML タグを入力して Enter キーを押します。

   タグがコードに挿入され、対応する終了タグがある場合はそれも挿入されます。

4. 変更しないで終了する場合は、Esc キーを押します。

HTML タグの編集

1. デザインビューでオブジェクトを選択します。

   ドキュメントウィンドウの最下段にあるタグセレクターから、編集するタグを選択することもできます。詳しくは、タグセレクターでのコードの編集を参照してください。

2. Ctrl + T（Windows）または Command + T（Mac OS）を押します。

   タグの編集モードで、クイックタグ編集が開きます。

3. 新しい属性を入力するか、既存の属性を編集します。またはタグ名を変更します。
4. 次の属性に進むには Tab キーを押します。前の属性に戻るには Shift + Tab を押します。
   注意： 初期設定では、Tab キーまたは Shift + Tab を押すと、変更がドキュメントに適用されます。
5. すべての変更を適用してクイックタグ編集を閉じるには、Enter キーを押します。
6. これ以上変更しないで終了するには、Esc キーを押します。

選択範囲を HTML タグで囲む

1. デザインビューで、書式設定されていないテキストまたはオブジェクトを選択します。
   注意： 開始 HTML タグまたは終了 HTML タグを含むテキストやオブジェクトを選択した場合、クイックタグ編集は、折り返しタグモードではなくタグの編集モードで開きます。
2. Ctrl + T（Windows）または Command + T（Mac OS）を押すか、またはプロパティインスペクターの「クイックタグ編集」ボタンをクリックします。

   折り返しタグモードで、クイックタグ編集が開きます。

3. strong などの単一の開始タグを入力し、Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。

   現在の選択部分の始めに開始タグが挿入され、終わりに終了タグが挿入されます。

4. これ以上変更しないで終了するには、Esc キーを押します。

トップへ戻る

クイックタグ編集でのヒントメニューの使用

クイックタグ編集には、編集中または挿入中のタグに指定可能な属性を一覧表示する属性ヒントメニューがあります。

クイックタグ編集では、ヒントメニューを使用不可にしたり、メニューが表示されるまでの待ち時間を調節することもできます。

タグに指定できる属性をヒントメニューに一覧表示するには、クイックタグ編集で属性名の編集中に数秒間作業を停止します。ヒントメニューが表示され、編集中のタグで使用できるすべての属性が一覧表示されます。

同様に、有効なタグ名をヒントメニューで表示するには、クイックタグ編集でタグ名の入力中または編集中に数秒間作業を停止します。

注意： クイックタグ編集のコードヒントの環境設定は、通常のコードヒントの環境設定によって制御されます。詳しくは、コードヒントの環境設定を参照してください。

ヒントメニューの使用

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - タグ名または属性名の入力を開始します。コードヒントメニューで選択すると、入力した文字で始まる最初の項目にジャンプします。
   - 上向き矢印キーや下向き矢印キーを使用して項目を選択してください。
   - 項目を探すには、スクロールバーを使用します。
2. 選択した項目を挿入するには、Enter キーを押すか、項目をダブルクリックします。
3. 項目を挿入しないでヒントメニューを閉じるには、Esc キーを押すか、入力を続けます。

ヒントメニューの無効化または表示待ち時間の調整

1. 編集／環境設定（Windows）またはDreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択し、「コードヒント」を選択します。

   「コードヒント」環境設定ダイアログボックスが表示されます。
2. ヒントメニューを使用不可にするには、「コードヒントを使用可能にする」オプションをオフにします。
3. メニューが表示されるまでの待ち時間を変更するには、遅延スライダを調整して「OK」をクリックします。

トップへ戻る

タグセレクターでのコードの編集

タグセレクターを使用すると、デザインビューを離れずに、タグを選択、編集、または削除することができます。タグセレクターはドキュメントウィンドウの最下部のステータスバーに表示され、以下のように、一連のタグで構成されています。

タグの編集または削除

1. ドキュメント内をクリックします。

   挿入ポイントに適用できるタグが、タグセレクターに表示されます。
2. タグセレクターのタグを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）します。
3. タグを編集するには、メニューから「タグの編集」を選択します。クイックタグ編集で適宜変更を行います。詳しくは、クイックタグ編集でのコードの編集を参照してください。
4. タグを削除するには、メニューから「タグを削除」を選択します。

タグに対応するオブジェクトの選択

1. ドキュメント内をクリックします。

   挿入ポイントに適用できるタグが、タグセレクターに表示されます。
2. タグセレクターのタグをクリックします。

   タグで表示されるオブジェクトが、ページ上で選択されます。

   この方法を使用して、テーブルの行（tr タグ）またはセル（td タグ）をそれぞれ選択します。

トップへ戻る

デザインビューでのスクリプトの記述と編集

クライアントサイドの JavaScript と VBScript は、次の方法でコードビューでもデザインビューでも記述できます。

- デザインビューを離れずに、作成しているページの JavaScript または VBScript を記述します。
- デザインビューを離れずに、外部スクリプトファイルへのリンクをドキュメント内に作成します。
- デザインビューを離れずに、スクリプトを編集します。

  作業を開始する前に、スクリプトマーカーがページに表示されるように、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択しておいてください。

クライアントサイドスクリプトの記述

1. スクリプトを挿入する場所に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／HTML／スクリプトオブジェクト／スクリプトを選択します。
3. 言語ポップアップメニューからスクリプト言語を選択します。

   JavaScript を使用していてバージョンが不明な場合には、JavaScript1.1 や JavaScript1.2 ではなく JavaScript を選択してください。
4. 「コンテンツ」ボックスに、スクリプトコードを入力またはペーストします。

   開始および終了の script タグを含める必要はありません。
5. 「スクリプトなし」ボックスに、HTML コードを入力またはペーストします。選択したスクリプト言語をサポートしていないブラウザーでは、スクリプトは実行されず、ここに入力したコードが表示されます。
6. 「OK」をクリックします。

外部スクリプトファイルへのリンク

1. スクリプトを挿入する場所に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／HTML／スクリプトオブジェクト／スクリプトを選択します。
3. 「コンテンツ」ボックスには何も入力しないで、「OK」をクリックします。
4. ドキュメントウィンドウのデザインビューでスクリプトマーカーを選択します。

5. プロパティインスペクターで、フォルダーアイコンをクリックし、表示されるファイルから外部スクリプトファイルを選択します。または、「ソース」ボックスにファイル名を入力します。

スクリプトの編集

1. スクリプトマーカーを選択します。
2. プロパティインスペクターの、「編集」ボタンをクリックします。

   スクリプトプロパティダイアログボックスにスクリプトが表示されます。

   外部スクリプトファイルとリンクしている場合は、コードビューでファイルが開き、そこで編集することができます。

   注意： スクリプトタグの間にコードがある場合は、外部スクリプトファイルとリンクされていても、スクリプトプロパティダイアログボックスが開きます。
3. 「言語」ボックスで、JavaScript または VBScript のいずれかをスクリプトの言語として指定します。
4. タイプポップアップメニューで、スクリプトのタイプとしてクライアントサイドまたはサーバーサイドのいずれかを指定します。
5. （オプション）「ソース」ボックスで、外部にリンクされたスクリプトファイルを指定します。

   フォルダーアイコン または「参照」ボタンをクリックして、ファイルを選択するか、またはパスを入力します。
6. スクリプトを編集し、「OK」をクリックします。

デザインビューでの ASP サーバーサイドスクリプトの編集

ASP スクリプトのプロパティインスペクターを使用して、デザインビューで ASP サーバーサイドスクリプトを調べたり、修正したりすることができます。

1. デザインビューで、サーバー言語タグのアイコンを選択します。
2. ASP スクリプトのプロパティインスペクターで「編集」ボタンをクリックします。
3. ASP サーバーサイドスクリプトを編集して「OK」をクリックします。

トップへ戻る

プロパティインスペクターによるページ上のスクリプトの編集

1. プロパティインスペクターで、言語ポップアップメニューからスクリプト言語を選択するか、「言語」ボックスに言語名を入力します。
   注意： JavaScript を使用していてバージョンが不明な場合には、JavaScript1.1 や JavaScript1.2 ではなく JavaScript を選択してください。
2. タイプポップアップメニューで、スクリプトのタイプとしてクライアントサイドまたはサーバーサイドのいずれかを指定します。
3. （オプション）「ソース」ボックスで、外部にリンクされたスクリプトファイルを指定します。フォルダーアイコン をクリックしてファイルを選択するか、またはパスを入力します。
4. 「編集」をクリックして、スクリプトを編集します。

トップへ戻る

JavaScript ビヘイビアーの使用

タグインスペクターの「ビヘイビアー」タブを使用して、JavaScript（クライアントサイド）ビヘイビアーをページエレメントに簡単に関連付けることができます。詳しくは、JavaScript に組み込まれているビヘイビアーの適用を参照してください。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

コードの折りたたみ

コードの折りたたみについて
コード部分の折りたたみと展開
折りたたまれたコード部分のペーストと移動

トップへ戻る

コードの折りたたみについて

コードの一部を折りたたむか展開表示することで、スクロールバーを使用せずにドキュメントの異なる部分を表示できます。例えば、ページの下部にある div タグに適用される head タグ内のすべての CSS ルールを表示する場合は、head タグと div タグに囲まれているすべてのコードを折りたたんで、両方のコード部分を一度に表示できます。コード部分はデザインビューとコードビューの両方で選択できますが、コードを折りたためるのはコードビューだけです。
注意： Dreamweaver のテンプレートから作成したファイルの場合、そのテンプレートファイル（.dwt）内でコードが折りたたまれていても、すべてのコードが完全に展開された状態で表示されます。

トップへ戻る

コード部分の折りたたみと展開

コードを選択すると、選択したコード範囲の横に一連の折りたたみボタン（Windows ではマイナス記号、Mac OS では縦方向の三角形が表示されます。これらのボタンをクリックして、選択範囲の折りたたみと展開を行います。コードが折りたたまれると、折りたたみボタンは展開ボタン（Windows ではプラス記号、Mac OS では横方向の三角形）に変わります。

実際に折りたたまれるコード部分が、選択した範囲とは異なる場合があります。Dreamweaver では、「スマート折りたたみ」という機能により、最も一般的な範囲や、コードが見やすくなるような範囲が折りたたまれます。例えば、インデントされたタグを選択するときに、タグの前にあるインデント用のスペースを含めて選択した場合でも、Dreamweaver によってこうしたスペースが折りたたまれることはありません。一般的に、このような場合はインデントが維持された方が望ましいためです。Dreamweaver でスマート折りたたみを無効にして、選択したとおりの範囲を折りたたむには、Ctrl キーを押しながらコードを折りたたみます。

また、折りたたまれたコード部分に、エラーまたは特定のブラウザーでサポートされていないコードが含まれている場合は、そのコード部分に警告アイコンが表示されます。

Alt キー（Windows）または Option キー（Mac OS）を押しながら、いずれかの折りたたみボタン、またはコーディングツールバーの「選択範囲をたたむ」ボタンをクリックする方法でも、コードを折りたたむことができます。

1. 一部のコードを選択します。
2. 編集／コードをたたむを選択し、いずれかのオプションを選択します。

折りたたまれたコード部分の選択

❖ コードビューで、折りたたまれたコード部分をクリックします。
注意： 折りたたまれたコード部分の一部をデザインビューで選択すると、そのコード部分が自動的にコードビューで展開表示されます。デザインビューでコード部分全体を選択した場合は、そのコード部分はコードビューでたたまれたままになります。

折りたたまれたコード部分を展開せずに表示

❖ 折りたたまれたコード部分の上にマウスポインターを置きます。

キーボードショートカットによるコードの折りたたみと展開

❖ 以下のキーボードショートカットを使用することもできます。

コマンド	Windows	Mac OS
選択範囲をたたむ	Ctrl + Shift + C	Command + Shift + C
選択範囲以外をたたむ	Ctrl + Alt + C	Command + Alt + C
選択範囲を展開	Ctrl + Shift + E	Command + Shift + E
フルタグをたたむ	Ctrl + Shift + J	Command + Shift + J
選択範囲以外のフルタグをたたむ	Ctrl + Alt + J	Command + Alt + J
すべて展開	Ctrl + Alt + E	Command + Alt + E

トップへ戻る

折りたたまれたコード部分のペーストと移動

折りたたまれたコード部分をコピー＆ペーストすることや、ドラッグして移動することができます。

折りたたまれたコード部分のコピー＆ペースト

1. 折りたたまれたコード部分を選択します。
2. 編集／コピーを選択します。
3. コードをペーストする部分に挿入ポイントを置きます。
4. 編集／ペーストを選択します。
   注意： 他のアプリケーションにペーストすることはできますが、コード部分の折りたたまれた状態は維持されません。

折りたたまれたコード部分のドラッグ

1. 折りたたまれたコード部分を選択します。
2. 選択範囲を新しい場所にドラッグします。
   選択範囲のコピーをドラッグするには、Ctrl キー（Windows）または Alt キー（Mac OS）を押しながらドラッグします。

   注意： 他のドキュメントにドラッグすることはできません。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

モバイルとマルチスクリーン

Dreamweaver CS5.5 を使用したモバイルページの作成
David Karlins (2011/08/03)
チュートリアル
「Adobe Creative Suite 5 Web Premium の操作方法：100 の重要な手法」の著者である David Karlins が、jQuery JavaScript に基づいたモバイルフレンドリな Web ページを作成するための Dreamweaver の手法について手順を追って説明します。

PhoneGap Build を使用した Web アプリケーションのネイティブモバイルアプリケーションとしてのパッケージ化

PhoneGap Build と Dreamweaver について
PhoneGap Build サービスアカウントの作成
開発環境の設定
PhoneGap Build アドオンのインストール
PhoneGap Build を使用したモバイルアプリケーションのパッケージ化

ページの先頭へ

PhoneGap Build と Dreamweaver について

PhoneGap Build は、Web アプリケーションをネイティブモバイルアプリケーションとしてパッケージ化できるクラウドベースのサービスです。Dreamweaver との連携機能を使用すると、Dreamweaver サイトで作成し、保存したアプリケーションをクラウド内の PhoneGap Build サービスにアップロードしてパッケージ化することができます。

PhoneGap Build は、次のモバイルデバイス向けオペレーティングシステムでネイティブアプリケーションのパッケージ化をサポートしています。

- iOS
- Android
- BlackBerry
- webOS
- Symbian
- Windows 8

PhoneGap Build サービスについて詳しくは、PhoneGap の Web サイトを参照してください。

PhoneGap Build サービスの使用方法については、PhoneGap Build のドキュメントを参照してください。

ページの先頭へ

PhoneGap Build サービスアカウントの作成

PhoneGap Build と Dreamweaver を使用するには、PhoneGap Build サービスアカウントが必要です。アカウントは無料で、設定も簡単です。サービスアカウントを作成するには、PhoneGap Build の Web サイトを参照してください。

アカウントをアクティブにするには、確認電子メールでアカウントを確認する必要があります。

ページの先頭へ

開発環境の設定

パッケージ化するアプリケーションとテストに使用するデバイスの種類に応じて、アプリケーションをパッケージ化する前に各種の設定作業を行う必要があります。必要に応じて、次のオプションの一部またはすべてを設定します。いずれのオプションも設定しないことも可能です。

Android SDK ローカルコンピューターで Android エミュレーターを使用して Android アプリケーションをテストする場合、Android SDK をダウンロードしてインストールする必要があります。手順については、Android のドキュメントを参照してください。

Android SDK のインストールが完了したら、Android SDK と AVD マネージャーを起動し、コンピューター上でローカルに操作する Android ツールを選択する必要があります。Dreamweaver は、この初期設定時に選択された情報を使用して Android エミュレーターの設定を PhoneGap Build サービスパネルに表示します。設定内容について詳しくは、Android のドキュメントを参照してください。

重要： *Android* エミュレーターを使用して *Android* アプリケーションをローカルにテストする場合、エミュレーターが *Dreamweaver* とは独立して目的の動作をするように設定してからテストする必要があります。

webOS SDK/PDK ローカルコンピューターで webOS エミュレーターを使用して webOS アプリケーションをテストする場合、webOS SDK/PDK をダウンロードしてインストールする必要があります。手順については、webOS のドキュメントを参照してください。

QR（クイックレスポンス）コードリーダー パッケージ化されたアプリケーションを簡易な方法でデバイスに転送するには、QR コードリーダーが必要です（Dreamweaver でアプリケーションをパッケージ化すると、パッケージ化の完了後にアプリケーションの QR コードが受信され、PhoneGap Build パネルに表示されます）。各種のマーケットプレイスから様々なコードリーダーが無料で提供されています。詳しくは、google で「QR コードリーダー」を検索してください。

ページの先頭へ

PhoneGap Build アドオンのインストール

Dreamweaver で PhoneGap Build サービスを使用する前に、PhoneGap Build アドオンをインストールする必要があります。

アドオンをインストールするには、ウィンドウ／アドオンを参照に移動します。Adobe Creative Cloud アドオンページが表示されます。PhoneGap Build アドオンを検索し、画面の指示に従ってアドオンをインストールします。

重要：アドオンをインストールする前に、*Adobe Creative Cloud* アカウントのファイル同期を有効にしたことを確認します。詳しくは、「*Adobe Creative Cloud のファイル同期を使用可能にする*」を参照してください。

PhoneGap Build を使用したモバイルアプリケーションのパッケージ化

ページの先頭へ

1. Dreamweaver サイトに index.html ページ（通常はアプリケーションの開始ページ）が作成されていることを確認してください。

   注意： *PhoneGap Build* がサポートするファイル形式は *HTML*、*CSS*、*JavaScipt* ファイルのみです。サイトに *PHP* や *CFM* などのサーバーベースのサーバーページを含めることはできません。

2. サイト／PhoneGap Build サービス／PhoneGap Build サービスを選択します。

3. ログイン情報を入力して PhoneGap Build にログインします。PhoneGap Build アカウントをまだ作成していない場合は、「PhoneGap Build サービスアカウントの作成」を参照してください。

4. 「新規プロジェクトとして作成」が選択された状態で「続行」をクリックします。

5. （Dreamweaver 12.0.3 アップデート）対象のオペレーティングシステムに応じて、キーおよびパスワードを入力します。署名キーの情報は、Android、iOS、Blackberry でのみ必要です。

   複数のアプリケーションを作成できない場合は、PhoneGap サービスをサブスクライブしていない可能性があります。

   注意： 間違った情報を入力すると、入力したキーまたはパスワードが間違っていることを示すエラーメッセージが表示されビルドに失敗します。何も入力しないと、*iOS* ビルドは署名キーの不足エラーで失敗します。*Android* アプリと *Blackberry* アプリは、デバッグ証明書を使用してビルドされます。

6. Dreamweaver によってサイトのルートに ProjectSettings ファイルが追加されていることに注意してください（このファイルが表示されない場合は、ファイルパネルを更新してください）。このファイルは、PhoneGap Build サービスがアプリケーションの追跡に使用するため重要です。

   config.xml ファイルもサイトのルートに追加されています。この簡単な XML ファイルをダブルクリックして開きます。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<widget xmlns = "http://www.w3.org/ns/widgets"
    xmlns:gap = "http://phonegap.com/ns/1.0"
    id        = "com.phonegap.example"
    version   = "1.0.0">

<name>PhoneGap Build Application</name>

<description>
A simple PhoneGap Build application.
</description>

<author href="https://example.com" email="you@example.com">
Your Name
</author>

</widget>
```

このファイルの内容を編集してアプリケーションの ID をカスタマイズします。カスタマイズしなければ、アプリケーションのデフォルトの名前がすべてのアプリケーションで同じになります。

config.xml ファイルの操作について詳しくは、PhoneGap Build のドキュメントを参照してください。

7. 編集した config.xml ファイルを保存して閉じ、PhoneGap サービスパネルで「再構築」をクリックします。PhoneGap で各プラットフォームのアプリケーションのパッケージ化が完了すると、構築が完了したことを示すメッセージが表示されます。

構築が完了すると、様々な操作が可能になります。コンピューターにアプリケーションファイルをダウンロードしたり、ビルドの QR コードをスキャンしてデバイスにアプリケーションを転送したり、エミュレーターを使用してアプリケーションをエミュレート（Adroid および webOS のみ）することができます。

アプリケーションファイルのダウンロード

PhoneGap Build からアプリケーションをダウンロードするには、PhoneGap Build サービスパネルの「アプリケーションのダウンロード」ボタン（下向きの矢印）をクリックします。

注意：*iOS* アプリケーションのダウンロードには署名キーが必要です。詳しくは、PhoneGap Build のドキュメントを参照してください。

ダウンロードされるアプリケーションファイルの名前は次のとおりです。

- iOS - app.ipa
- Android - app.apk
- BlackBerry - app.jad
- webOS - app.ipk
- Symbian- app.wgz

アプリケーションをデバイスに転送するための QR コードのスキャン

操作を開始するには、デバイスに QR コードリーダーが必要です。詳しくは、「開発環境の設定」を参照してください。

注意：*iOS* アプリケーションの場合、*QR* コードを使用するには署名キーが必要です。詳しくは、PhoneGap Build のドキュメントを参照してください。

注意： *iOS* アプリケーションの場合、*QR* コードを使用するには署名キーが必要です。

1. PhoneGap Build サービスパネルで、ダウンロードするアプリケーションの QR コードをクリックします。

2. モバイルデバイスで QR コードリーダーを起動し、QR コードをスキャンします。
3. アプリケーションのダウンロードが完了したら、デバイスで直接アプリケーションを起動できます。
4. 「ビルドパネルに戻る」ボタンをクリックしてビルド一覧に戻ります。

アプリケーションのエミュレート（**Android** および **webOS** のみ）

重要：開始する前に、Android SDK または webOS SDK/PDK、もしくはその両方がインストールされている必要があります。また、SDK アプリケーションからローカルに使用する SDK/AVD 情報を指定しておく必要があります。詳しくは、「開発環境の設定」を参照してください。

注意：エミュレーターは相当に時間がかかることがあります。エミュレーターが起動し、アプリケーションがロードされるまでには時間がかかる場合があります。

1. サイト／PhoneGap Build サービス／PhoneGap Build の設定を選択して、「PhoneGap Build の設定」を開きます。
2. Android または webOS SDK、もしくはその両方の場所を指定して「保存」ボタンをクリックします。ここで指定した場所が Dreamweaver に通知され、エミュレーターにアプリケーションを送信するために必要な情報が検出されます。
3. PhoneGap Build サービスパネル（サイト／PhoneGap Build サービス／PhoneGap Build サービス）で、エミュレートするアプリケーションの「エミュレート」（横向きの矢印）ボタンをクリックします。
4. 以前に SDK アプリケーションで SDK/AVD 情報を指定している場合、事前に設定された情報がウィンドウに表示されます。
5. エミュレートに使用する SDK/AVD を選択して、「起動」をクリックします。

キーワード： what's new, dreamweaver, HTML5, CSS, transitions, web application, web package, effects, CSS3, fluid grid layout, Phonegap, new features, jquery, business catalyst, web fonts, ftp improvements, PSD optimization, dreamweaver cs6

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Web アプリケーションのパッケージ化

Web アプリケーションのネイティブモバイルアプリケーションとしてのパッケージ化（CS5.5）

Web アプリケーションのネイティブモバイルアプリケーションとしてのパッケージ化（CS5.5）

トップへ戻る

Dreamweaver の jQuery Mobile および PhoneGap 連携機能を使用すると、Android™ および iOS ベースのデバイスでデプロイするための Web アプリケーションを作成およびパッケージ化できます。Dreamweaver では、パッケージの作成に PhoneGap SDK を使用します（Android/ の場合は .apk ファイル、iPhone/iPad の場合は .xcodeproj）。

Dreamweaver でパッケージ化されたモバイルアプリケーションは、デバイスエミュレーターで表示したり、自身のデバイスに展開することができます。

重要： Dreamweaver でパッケージ化したモバイルアプリケーションは、デバッグの目的でのみ使用されるアプリケーションです。アプリケーションは Android や iOS エミュレーターで実行されるか、転送する場合は個人のモバイルデバイスで実行されますが、デバッグモバイルアプリケーションを Apple ストアや Android ストアにアップロードすることはできません。iOS または Android のアプリケーションをアップロードするには、Dreamweaver 以外でそれらのアプリケーションを使用する追加の手順が必要です。Apple および Android ストアへのアプリケーションのアップロードについて詳しくは、Android のドキュメントまたは Apple iOS プロビジョニングポータルの『プログラムユーザーガイド』を参照してください（Apple iOS プロビジョニングポータルにアクセスするには、Apple デベロッパープログラム（無料）に登録するか、iOS デベロッパープログラム（年会費あり）に登録する必要があります）。

スターターページを使用した Web アプリケーションの作成

どのスターターページを使用しても、Web アプリケーションを作成できますが、モバイルアプリケーションとしてデプロイされた Web アプリケーションが、モバイルデバイスにネイティブな機能にアクセスする場合は、jQuery Mobile（PhoneGap）ページを使用します。

jQuery Mobile（PhoneGap）スターターページには、他の jQuery Mobile ファイルに加えて phonegap.js ファイルも含まれています。phonegap.js ファイルには、GPS、加速度センサー、カメラなどネイティブモバイル機能の動作に必要な API が含まれています。

1. ファイル／新規を選択します。
2. サンプルから作成／モバイルスターター／jQuery Mobile（PhoneGap）を選択します。
3. 「作成」をクリックします。
4. 挿入パネル（ウィンドウ／挿入）で jQuery Mobile を選択します。Web アプリケーションに追加できるコンポーネントが表示されます。
5. デザインビューで、コンポーネントを挿入する位置にカーソルを置いて、挿入パネルでコンポーネントをクリックします。表示されたダイアログボックスで、オプションを使用してコンポーネントをカスタマイズします。
   注意： PhoneGap.js ファイルを編集するには、アプリケーションフレームワークおよびアプリケーションの設定を行います。詳しくは、アプリケーションパッケージの作成に関するトピックを参照してください。

ライブビューでページをプレビューします。ライブビューでのみ適用される CSS クラスもあります。

アプリケーションのパッケージ化のシステム要件

アプリケーションをパッケージ化するには、次のシステム要件を満たしている必要があります。

MAC OS - iOS

- Mac OS X Snow Leopard バージョン 10.6.x またはそれ以降
- Xcode 3.2.x with the iOS SDK（インストール手順が以下に用意されています。）

MAC OS - Android

- Mac OS X 10.5.8 またはそれ以降（x86 のみ）
- Android SDK（インストール手順が以下に用意されています。）

Windows - iOS

- iOS は Apple コンピューターのユーザーのみ利用できます。

Windows - Android

- Windows XP（32 ビット）、Vista（32 ビットまたは 64 ビット）、または Windows 7（32 ビットまたは 64 ビット）
- Android SDK（インストール手順が以下に用意されています。）

アプリケーションパッケージの作成（**Windows**）

サンプルファイルを含む Web アプリケーションの作成について詳しくは、Dreamweaver デベロッパーセンターのこのチュートリアルを参照してください。

1. モバイルアプリケーションに変換する Web アプリケーションを開きます。Web アプリケーションが Dreamweaver でサイトとして設定されており、サイトのサイズが 25 MB より小さいことを確認します。

   注意： アプリケーションに HTML5、CSS、JavaScript の各ファイルのみが含まれていることを確認してください。

2. サイト／モバイルアプリケーション／アプリケーションフレームワークの設定を選択します。
3. 「簡易インストール」をクリックして、Android SDK をインストールします。

   注意： 簡易インストールに失敗した場合は、テクニカル ノート 90408 を参照してください。

4. SDK ファイルをインストールする場所を選択して、「選択」をクリックします。インストールが完了したら、「保存」をクリックします。
5. サイト／モバイルアプリケーション／アプリケーション設定を選択します。
6. バンドル ID には、ダイアログボックスの情報を使用して、パッケージの名前を入力します。
7. アプリケーションの名前、およびアプリケーションを設計したユーザーの名前を入力します。
8. 必要に応じて、以下を指定します。
   a. アプリケーションのアイコン PNG で、アプリケーションのアイコンとして使用する PNG ファイルを指定します。アイコンのサイズを変更していない場合は、標準のサイズに自動調整されます。
   b. パッケージのターゲットパスを指定します。
   c. Google から最新の SDK コンポーネントをダウンロードしてインストールするには、「AVD の管理」をクリックします。「Android SDK and AVD Manager」を使用して、Android SDK を更新します。Manager の使用について詳しくは、http://developer.android.com/sdk/adding-components.html を参照してください。

      注意： 「保存」をクリックすると、phonegap.js ファイルがサイトルートにコピーされます。

9. 次のいずれかの操作を実行します。
   - アプリケーションをデバイスに直接デプロイしている場合は、サイト／モバイルアプリケーション／ビルドを選択します。ビルドのプラットフォーム/デバイスを選択します。
   - ビルドする前に、ビルドがエミュレーターでどのように見えるかを確認するには、サイト／モバイルアプリケーション／ビルドおよびエミュレートを選択します。

アプリケーションパッケージの作成（**Mac OS**）

サンプルファイルを含む Web アプリケーションの作成のチュートリアルについては、Dreamweaver デベロッパーセンターのこの記事を参照してください。

1. モバイルアプリケーションに変換する Web アプリケーションを開きます。Web アプリケーションが Dreamweaver でサイトとして設定されており、サイトのサイズが 25 MB より小さいことを確認します。

   注意： アプリケーションに HTML5、CSS、JavaScript の各ファイルのみが含まれていることを確認してください。

2. サイト／モバイルアプリケーション／アプリケーションフレームワークの設定を選択します。
3. 必要に応じて iOS または Android の SDK をインストールします。
   - 「Apple iOS Dev Center」リンクをクリックして、xcode および iOS SDK をダウンロードおよびインストールします。アプリケーションは、初期設定では OS <バージョン番号>/デベロッパーディレクトリにインストールされます。

     Apple ID を使用してデベロッパーセンターにログインします。登録は無料です。登録ユーザーでない場合は、アカウントを作成します。

     注意： Apple のデベロッパーセンターからテストに使用する SDK パッケージをダウンロードして使用できますが、Apple Store にアプリケーションをアップロードするには、必要な料金を払って、Apple デベロッパーとしてユーザー登録する必要があります。

   - 「簡易インストール」をクリックして、Android SDK をインストールします。

     注意： 簡易インストールに失敗した場合は、テクニカル ノート 90408 を参照してください。

4. 「保存」をクリックします。
5. サイト／モバイルアプリケーション／アプリケーション設定を選択します。
6. バンドル ID には、ダイアログボックスの情報を使用して、パッケージの名前を入力します。
7. アプリケーションの名前、およびアプリケーションを設計したユーザーの名前を入力します。
8. 必要に応じて、次の操作を行います。
   - （Android の場合）アプリケーションのアイコン PNG で、Android アプリケーションのアイコンとして使用する PNG ファイルを指定します。アイコンのサイズを変更していない場合は、標準のサイズに自動調整されます。

- （Mac® OS 10.6.x の場合）スタートアップスクリーン PNG で、iOS アプリケーションのアイコンとして使用する PNG ファイルを指定します。アイコンのサイズを変更していない場合は、標準のサイズに自動調整されます。
- （Mac OS 10.6.x の場合）パッケージを作成する iPhone/iPod Touch/iPad のバージョンを選択します。
- パッケージの別のターゲットパスを定義します。

  注意： 「保存」をクリックすると、phonegap.js ファイルがサイトルートにコピーされます。

9. 次のいずれかの操作を実行します。
   - アプリケーションをデバイスに直接デプロイしている場合は、サイト／モバイルアプリケーション／ビルドを選択します。ビルドのプラットフォーム/デバイスを選択します。
   - ビルドする前に、ビルドがエミュレーターでどのように見えるかを確認するには、サイト／モバイルアプリケーション／ビルドおよびエミュレートを選択します。

Adobe 推奨

共有するチュートリアル

Dreamweaver CS5.5 を使用したモバイルアプリケーションとしての Web アプリケーションのパッケージ化
Jon Michael Varese
Web アプリケーションのパッケージ化に関する詳細手順のチュートリアル

関連項目

http://www.phonegap.com/about

http://jquerymobile.com/demos/1.0a2/

http://docs.phonegap.com/

Web アプリケーションのパッケージ化のチュートリアル

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

モバイルデバイス向けの Web アプリケーションの作成（CS5.5）

関連項目

http://jquerymobile.com/demos/1.0a3/

http://docs.jquery.com/Downloading_jQuery#CDN_Hosted_jQuery

http://en.wikipedia.org/wiki/Content_delivery_network

http://docs.jquery.com/Downloading_jQuery

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

メディアクエリーの作成

メディアクエリーを使用すると、報告されたデバイス特性に基づいて CSS ファイルを指定できます（レスポンシブデザイン）。メディアクエリーはデバイス上のブラウザーによってチェックされ、対応する CSS ファイルが Web ページの表示に使用されます。

例えば、次のメディアクエリーでは、幅が 300 ～ 320 ピクセルのデバイスに対して **phone.css** ファイルが指定されています。

```
<link href="css/orig/phone.css" rel="stylesheet" type="text/css" media="all and (min-width: 300px) and (max-width: 320px)">
```

メディアクエリーについて詳しくは、アドビデベロッパーセンターの Don Booth の記事（www.adobe.com/go/learn_dw_medquery_don_jp）を参照してください。

W3C のメディアクエリーについて詳しくは、www.w3.org/TR/css3-mediaqueries/ を参照してください。

メディアクエリーの作成
既存のメディアクエリーファイルの使用
サイト全体のメディアクエリーファイルの切り替え
メディアクエリーに基づく Web ページの表示

参照項目：

- 可変グリッドレイアウトによるレスポンシブデザイン

ページの先頭へ

メディアクエリーの作成

Dreamweaver では、サイト全体のメディアクエリーファイルを作成することも、ドキュメント固有のメディアクエリーを作成することもできます。

サイト全体のメディアクエリーファイル

サイト内でこのファイルをインクルードしているすべてのページに適用される表示設定を指定します。

サイト全体のメディアクエリーファイルは、そのサイトのメディアクエリーすべてに関する中央リポジトリとして機能します。このファイルを作成した後は、表示のためにファイル内でメディアクエリーを使用することが必要なサイト内のページに、サイト全体のメディアクエリーファイルへのリンクを作成します。

ドキュメント固有のメディアクエリー

この種のメディアクエリーはドキュメント内に直接挿入します。ページの表示は、そのページに挿入したメディアクエリーに基づいて実行されます。

1. Web ページを作成します。
2. 修正／メディアクエリーを選択します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   - サイト全体のメディアクエリーファイルを作成するには、「サイト全体のメディアクエリーファイル」を選択します。
   - ドキュメント固有のメディアクエリーを作成するには、「現在のドキュメント」を選択します。
4. サイト全体のメディアクエリーを作成する場合は、次の操作を実行します。
   a. 「指定」をクリックします。
   b. 「新規ファイルを作成」を選択します。
   c. ファイル名を指定して「OK」をクリックします。
5. デバイスによっては、報告してくる幅の情報が実際の幅と一致しない可能性があります。必ず実際どおりの幅を報告することをデバイスに対して強制するには、「実際の幅をレポートするようデバイスに強制する」オプションを有効にする必要があります。

   これを有効にすると、次のコードがファイルに挿入されます。

   ```
   <meta name="viewport" content="width=device-width">
   ```

6. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 「+」をクリックし、メディアクエリーファイルのプロパティを定義します。
   - 標準的なプリセットを基にして設定を開始する場合は、「デフォルトプリセット」をクリックします。
7. 表内の行を選択し、「プロパティ」でそれらの行のプロパティを編集します。

   説明 指定の CSS ファイルを使用するデバイスの説明です。例えば、携帯電話、テレビ、タブレットなどの説明を入力します。

   最小幅、最大幅 デバイスから報告された幅の値が指定の範囲内である場合に、この CSS ファイルを使用します。

   注意： デバイスに対して幅の範囲を明示的に指定しない場合は、「最小幅」と「最大幅」のいずれかを空白にしておきます。例えば、幅 *320px* 以下の携帯電話をターゲットにする場合は「最小幅」を指定しないことがよくあります。

   CSS ファイル 「既存のファイルを使用」を選択し、該当するデバイス用の CSS ファイルを選択します。

   使用する CSS ファイルをまだ作成していない場合は、「新規ファイルを作成」を選択します。CSS ファイルの名前を入力します。「OK」をクリックするとファイルが作成されます。
8. 「OK」をクリックします。
9. サイト全体のメディアクエリーに、新しいファイルが作成されます。ファイルを保存します。

サイト全体のメディアクエリー：既存のページについては、使用するメディアクエリーファイルを、すべてのページの <head> タグでインクルードする必要があります。

次の例は、www.adobe.com/jp サイト全体のメディアクエリーファイル mediaquery_adobedotcom.css に対するメディアクエリーリンクを示しています。

```
<link href="mediaquery_adobedotcom.css" rel="stylesheet" type="text/css">
```

ページの先頭へ

既存のメディアクエリーファイルの使用

1. 新しい Web ページを作成するか、既存のページを開きます。
2. 修正／メディアクエリーを選択します。
3. 「サイト全体のメディアクエリーファイル」を選択します。
4. 「指定」をクリックします。
5. メディアクエリーの CSS ファイルを作成済みの場合は、「既存のファイルを使用」を選択します。
6. 参照アイコンをクリックし、ファイルを選択して指定します。「OK」をクリックします。
7. 「サイト全体のメディアクエリーファイル」を選択します。
8. 必ず実際どおりの幅を報告することをデバイスに対して強制するには、「実際の幅をレポートするようデバイスに強制する」オプションを有効にする必要があります。これを有効にすると、次のコードがファイルに挿入されます。

   ```
   <meta name="viewport" content="width=device-width">
   ```
9. 「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

サイト全体のメディアクエリーファイルの切り替え

前にメディアクエリーダイアログボックスで指定したサイト全体のメディアクエリーファイルを別のファイルに切り替えるには、次の手順を実行します。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. サイトの管理ダイアログボックスで、サイトを選択します。
3. 「編集」をクリックします。サイト定義ダイアログボックスが表示されます。

4. 左側のパネルで、「詳細設定」の「ローカル情報」を選択します。
5. 右側のパネルで、「サイト全体のメディアクエリーファイル」の「参照」をクリックし、メディアクエリー CSS ファイルを選択します。

   注意： サイト全体のメディアクエリーファイルを切り替えても、その他のメディアクエリーファイルや以前のサイト全体のメディアクエリーファイルにリンクしているドキュメントは影響を受けません。
6. 「保存」をクリックします。

ページの先頭へ

メディアクエリーに基づく Web ページの表示

メディアクエリーで指定されているサイズは、マルチスクリーンボタンのウィンドウサイズオプションに表示されます。メニューからサイズを選択すると、表示が次のように変化します。

- サイズの指定を反映して、ビューのサイズが変更されます。ドキュメントのフレームサイズは変更されません。
- メディアクエリーで指定されている CSS ファイルがページの表示に使用されます。

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

モバイルデバイス向けのページ方向の変更（CS5.5 およびそれ以降）

高度な機能を備えたモバイルデバイスでは、持ち方が変わるとそれに応じてページの方向が変化します。端末が縦置きで使用されている間は縦置きレイアウトが表示され、デバイスの持ち方が横長に変化すると、ページレイアウトが横置き用に再調整されます。

Dreamweaver では、ライブビューでもデザインビューでも、ページの縦置き表示と横置き表示を切り替えることができます。これにより、作成しているページがデバイスの持ち方によってどのように表示されるかをテストし、ページ表示に使用される CSS ファイルに必要に応じた変更を加えて、各方向のレイアウトが意図したとおり表示されるようにすることができます。

❖ 表示／ウィンドウサイズから、「横方向」または「縦方向」を選択します。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

モバイルデバイス向けの Web アプリケーションの作成（CS5.5、CS6）

jQuery Mobile を使用した Web アプリケーションの作成について
スターターページを使用したモバイルデバイス用アプリケーションの作成
新しいページからのモバイルデバイス用の Web アプリケーションの作成

Dreamweaver の jQuery Mobile 提携機能を使用すると、デバイスのサイズに合わせて自動的に変化して、ほとんどのモバイルデバイスで動作する Web アプリケーションを手早くデザインできます。

トップへ戻る

jQuery Mobile を使用した Web アプリケーションの作成について

jQuery Mobile のスターターページを開く、または HTML5 ページの作成

Dreamweaver の jQuery Mobile スターターページを使用して、アプリケーションを作成します。または、新しい HTML5 ページを使用して Web アプリケーションの作成を開始できます。

jQuery Mobile スターターページに含まれている HTML、CSS、JavaScript およびイメージファイルによって、アプリケーションのデザインを開始することができます。CDN、自分のサーバー、Dreamweaver と共にインストールされたファイルでホスト管理される CSS ファイルや JavaScript ファイルを使用することができます。

注意： リンクされたファイルの場所を識別するには、コードビューで `<link>` および `<script src>` タグを確認します。

挿入パネルから jQuery Mobile コンポーネントを挿入します。

挿入パネルから、HTML ページに jQuery Mobile コンポーネントを挿入します。jQuery Mobile の CSS および JavaScript ファイルは、コンポーネントのスタイルと動作を定義します。

CDN および ローカルの jQuery Mobile ファイルについて

CDN
CDN（コンテンツ配信ネットワーク）は、ネットワークの様々な場所に配置されたデータのコピーを格納するコンピューターネットワークです。CDN の URL を使用して Web アプリケーションを作成する場合、URL で指定されている CSS ファイルや JavaScript ファイルがアプリケーションで使用されます。Dreamweaver の初期設定では、jQuery Mobile CDN が使用されます。

または、Microsoft や Google など他のサイトの CDN の URL を使用することもできます。コードビューで、`<link>` タグおよび `<script src>` タグで指定された CSS ファイルおよび JavaScript ファイルのサーバーの場所を編集します。

CDN からダウンロードしたファイルは読み取り専用です。

ローカルの jQuery Mobile ファイル
Dreamweaver をインストールすると、jQuery Mobile ファイルが使用しているコンピューターにコピーされます。jQuery Mobile（ローカル）スターターページを選択すると開く HTML ページは、ローカルの CSS、JavaScript およびイメージ ファイルにリンクされています。

jQuery Mobile のスターターページ

Dreamweaver の次のスターターページを使用して、Web アプリケーションを作成します。

jQuery Mobile（CDN）（CS5.5 およびそれ以降）

CDN で jQuery Mobile ライブラリをホストする場合は、このスターターページを使用します。

jQuery Mobile（ローカル）（CS5.5 およびそれ以降）

アセットを自分でホストする場合、またはアプリケーションがインターネット接続に依存していない場合は、このスターターページを使用します。

jQuery Mobile（PhoneGap）（CS5.5 およびそれ以降）

モバイルアプリケーションとしてデプロイされている Web アプリケーションが、モバイルデバイスにネイティブな機能にアクセスする場合は、このスターターページを使用します。詳しくは、ネイティブモバイルアプリケーションとしての Web アプリケーションのデプロイ（CS 5.5）を参照してください。

トップへ戻る

スターターページを使用したモバイルデバイス用アプリケーションの作成

1. ファイル／新規を選択します。
2. 必要に応じて次のいずれかを選択します。
   - サンプルから作成／モバイルスターター／jQuery Mobile（CDN）。
   - サンプルから作成／モバイルスターター／jQuery Mobile（ローカル）。
   - サンプルから作成／モバイルスターター／テーマのある jQuery Mobile（ローカル）。
3. 「作成」をクリックします。

   表示されるページで、リンク先を連続表示（表示／ライブビューオプション）を有効にして、ライブビューに切り替えます。ナビゲーションコンポーネントを使用して、アプリケーションの動作をテストします。

   マルチスクリーンメニューのオプションを使用して、様々なサイズのデバイスでデザインがどのように見えるかを確認します。ライブビューを無効にして、デザインビューに戻ります。
4. 挿入パネル（ウィンドウ／挿入）で jQuery Mobile を選択します。Web アプリケーションに追加できるコンポーネントが表示されます。
5. デザインビューで、コンポーネントを挿入する位置にカーソルを置いて、挿入パネルでコンポーネントをクリックします。表示されたダイアログボックスで、オプションを使用してコンポーネントをカスタマイズします。
6. （jQuery Mobile（ローカル）、テーマのある jQuery Mobile（ローカル））HTML ファイルを保存すると、イメージファイルを含む jQuery Mobile ファイルが HTML ファイルの場所のフォルダーにコピーされます。

ライブビューでページをプレビューします。ライブビューでのみ適用される CSS クラスもあります。

トップへ戻る

新しいページからのモバイルデバイス用の Web アプリケーションの作成

ページコンポーネントは、他のすべての jQuery Mobile コンポーネントのコンテナの役割を果たします。他のコンポーネントを挿入する場合は、挿入する前にページコンポーネントを追加してください。

1. ファイル／新規を選択します。
2. 空白ページ／HTML を選択します。

   一部の jQuery Mobile コンポーネントは、HTML5 固有の属性を使用します。検証中に HTML5 互換性を確認するには、DocType に HTML5 が選択されていることを確認してください。
3. 挿入パネル（ウィンドウ／挿入）で、メニューから jQuery Mobile を選択します。jQuery Mobile コンポーネントがパネルに表示されます。
4. 挿入パネルからページコンポーネントをデザインビューにドラッグします。
5. jQuery Mobile ファイルダイアログで、次のいずれかの操作を行います。

   リモート（CDN） jQuery Mobile ファイルをホストするリモート CDN サーバーに接続する場合に使用します。jQuery Mobile ファイルを含むサイトが設定されていない場合は、jQuery サイトのデフォルトのオプションを使用します。また、他の CDN サーバーを使用することも選択できます。

   ローカル Dreamweaver で使用できるファイルが表示されます。別のフォルダーを指定するには、「参照」をクリックして、jQuery Mobile ファイルを含むフォルダーを参照します。

   CSS ファイルおよび JavaScript ファイルは、コンピューターに HTML ファイルを保存しない限り、ローカルの一時ディレクトリにコピーされます。HTML ファイルを保存すると、関連するすべての jQuery Mobile ファイルとイメージファイルがサイトのルートフォルダー内のフォルダーにコピーされます。
6. ページコンポーネントのプロパティの入力
7. デザインビューで、コンポーネントを挿入する位置にカーソルを置いて、挿入パネルでコンポーネントをクリックします。表示されたダイアログボックスで、オプションを使用してコンポーネントをカスタマイズします。

ライブビューでページをプレビューします。ライブビューでのみ適用される CSS クラスもあります。

カスタムファイルとカスタムフォルダーの使用
アプリケーション用にカスタムの CSS ファイルおよび JS ファイルを作成することを選択できます。ファイル名が jquery.mobile.js、jquery.mobile.css および jquery.js であることを確認してください。

カスタムフォルダーを使用する場合は、次の操作を行います。

1. http://docs.jquery.com/Downloading_jQuery#Download_jQuery から jQuery 1.5 コア ライブラリの非圧縮版をダウンロードします。
2. ファイルをその他のリソースを含むコアフォルダーに保存します。

- http://jquerymobile.com/demos/1.0a3/
- http://docs.jquery.com/Downloading_jQuery#CDN_Hosted_jQuery
- http://en.wikipedia.org/wiki/Content_delivery_network
- http://docs.jquery.com/Downloading_jQuery

(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

プレビュー

ページのプレビュー

Dreamweaver 上でのページのプレビュー
ブラウザーでページをプレビュー

注意： *Dreamweaver CC* 以降では、ユーザーインターフェイスが簡素化されています。そのため、この記事で説明されているオプションの一部が *Dreamweaver CC* 以降には存在しない場合があります。詳しくは、この記事を参照してください。

デザインビューでは、ページが Web でどのように表示されるかプレビューできます。ただし、ブラウザーとまったく同じように表示することはできません。ライブビューでは実際の表示がより忠実に再現され、コードビューでの変更がデザインに反映される様子を確認しながら作業を進めることができます。「ブラウザーでプレビュー」機能を使用すると、特定のブラウザーにおけるページ表示を確認できます。

ページの先頭へ

Dreamweaver 上でのページのプレビュー

ライブビューについて

ライブビューが従来の Dreamweaver デザインビューと異なる点は、実際のブラウザー上にページが表示される様子を、より正確にレンダリングできることです。また、これを編集することも可能です。ライブビューは「ブラウザーでプレビュー」コマンドの代わりではなく、ブラウザー上で実際に表示される際の「ライブ」状態を Dreamweaver ワークスペースの外に出ることなく確認するための、もう 1 つの表示方法です。

デザインビューを使用しているときは、いつでもライブビューに切り替えることができます。ただし、Dreamweaver における従来からのビュー切り替え（コード / 分割 / デザイン）と、ライブビューへの切り替えは意味が異なります。デザインビューからライブビューに切り替えることは、単にデザインビューを編集可能な状態から「ライブ」状態に切り替えることです。

ライブビューを使用している間、デザインビューの動作は停止しますが、コードビューでの編集操作は引き続き可能です。このため、コードに変更を加えてライブビューの表示を更新すれば変更の結果を確認できます。ライブビューの使用中は、ライブコードを確認するための追加オプションが有効になります。これはライブコードビューと呼ばれ、当該ページをレンダリングするためにブラウザーで実行される実際のコードが表示されます。ライブビューと同じく、ライブコードビューも編集不可能なビューです。

ライブビューのもう 1 つのメリットは、JavaScript の実行を停止する機能を備えていることです。例えば、ユーザーの操作に反応して行のカラーが変化するよう Spry ベースのテーブルを設定している場合、ライブビューにおいて行をマウスでポイントするなどの操作を実行するとテーブルが反応します。その時点で JavaScript の実行を停止すると、ライブビュー上のページは現在の状態のまま動かなくなります。これにより、停止した状態で CSS や JavaScript に変更を加え、ページの表示を更新して変更結果を確認することが可能になります。ライブビューの JavaScript 停止機能は、従来のデザインビューでは表示できない、ポップアップメニューなどインタラクティブなエレメントの状態が変化したときのプロパティについて、確認や変更の作業が必要な場合に便利です。

参照項目：

- ライブビューでの編集

ライブビュー内でのページのプレビュー

1. 現在のビューが、デザインビュー（表示／デザイン）またはコードおよびデザインの分割ビュー（表示／コードとデザイン）のいずれかになっていることを確認します。
2. 「ライブビュー」ボタンをクリックします。

3. （オプション）コードビュー、CSS スタイルパネル、外部 CSS スタイルシート、その他の関連ファイルなどに対して変更を加えます。

   ライブビューは編集不可能ですが、他の領域（例えば、コードビューの CSS スタイルパネルなど）で編集操作を実行してからライブビュー内をクリックすると、変更の結果が表示に反映されます。

   関連ファイル（*CSS* スタイルシートなど）をドキュメント上部の関連ファイルツールバーから開くと、ライブビューからフォーカスを外すことなく関連ファイルに対する作業ができます。

4. コードビューまたは関連ファイルに対して変更を加えた場合は、ドキュメントツールバーの「更新」ボタンをクリックするか F5 キーを押して、ライブビューの表示を更新します。
5. 編集可能なデザインビューに戻るには、ライブビューボタンをもう一度クリックします。

ライブコードのプレビュー

ライブコードビューに表示されるコードは、ブラウザーでページソースの表示を実行した場合に表示されるコードに近い内容です。ただし、ブラウザーのページソース表示は現在表示しているページのソースを見るだけの静的なものであるのに対し、ライブコードビューの表示は動的であり、ライブビューでページを操作するとそれに応じてコードが変化します。

1. 現在のビューがライブビューになっていることを確認します。
2. 「ライブコード」ボタンをクリックします。

   当該ページを実行する際にブラウザーで使用されると考えられる実際のコードが表示されます。このコードは黄色でハイライト表示され、編集はできません。

   ページ上のインタラクティブなエレメントを操作する場合は、ライブコードによってコード内の動的な変更が強調表示されます。

3. ライブコードビューでの変更の強調表示をオフにするには、表示／ライブビューオプション／ライブコードで変更を強調表示を選択します。
4. 編集可能なコードビューに戻るには、「ライブコード」ボタンをもう一度クリックします。

ライブコードの環境設定を変更するには、編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Macintosh OS）を選択し、コードカラーリングカテゴリーを選択します。

JavaScript の停止

次のいずれかの操作を実行します。

- F6 キーを押します。
- ライブビューボタンのポップアップメニューから、「JavaScript の停止」を選択します。

ドキュメント上部の情報バーに、JavaScript が停止されていることが表示されます。情報バーを閉じるには、閉じるリンクをクリックします。

ライブビューのオプション

ライブビューボタンのポップアップメニュー、または表示／ライブビューオプションメニュー項目には、JavaScript の停止のほかにもいくつかのオプションがあります。

JavaScript の停止　JavaScript の影響を受けるエレメントを現在の状態のまま停止します。

JavaScript を無効にする　JavaScript を無効にしてページを再描画し、ブラウザーの設定で JavaScript が有効になっていない場合と同様の表示にします。

プラグインを無効にする　プラグインを無効にしてページを再描画し、ブラウザーの設定でプラグインが有効になっていない場合と同様の表示にします。

ライブコードで変更をハイライト表示　ライブコードでの変更のハイライト表示をオンまたはオフに切り替えます。

新規タブでライブビューページを編集　ブラウザーナビゲーションツールバーまたはリンク先を表示機能を使用して参照しているサイトドキュメント用の新しいタブを開きます。新しいタブを作成するには、最初にドキュメントを参照してから「新規タブでライブビューページを編集」を選択する必要があります。

リンク先を表示　ライブビューで次にクリックするリンクをアクティブにします。または、Control キーを押しながらライブビューのリンクをクリックして、リンクをアクティブにすることもできます。

リンク先を連続表示　ライブビューのリンクを無効に戻すか、ページを閉じるまで、連続してリンクをアクティブにします。

自動でリモートファイルを同期　ブラウザーナビゲーションツールバーの更新アイコンをクリックしたときに、ローカルファイルとリモートファイルを自動的に同期します。両方のファイルが同期するように、更新の前に Dreamweaver によってファイルがサーバーに配置されます。

ドキュメントソースにテストサーバーを使用　動的ページ（ColdFusion ページなど）で主に使用されるオプションであり、動的ページに対しては初期設定でオンになっています。このオプションがオンの場合は、ライブビュー表示のソースファイルとして、サイトのテストサーバー上にあるバージョンが使用されます。

ドキュメントのリンクにローカルファイルを使用　動的でないサイトに対しては初期設定でオンになっています。テストサーバーを使用する動的サイトに対してこのオプションをオンにすると、ドキュメントにリンクされているファイル（CSS ファイル、JavaScript ファイルなど）について、テストサーバー上ではなくローカルにあるバージョンが使用されます。これにより、関連ファイルに対する変更をローカルで実行し、テストサーバー上にアップロードする前に変更結果を確認できます。このオプションがオフの場合、関連ファイルはテストサーバー上にあるバージョンが使用されます。

HTTP リクエストの設定　ライブデータ表示の値を入力する詳細設定用のダイアログボックスを開きます。詳しくは、ダイアログボックスの「ヘル

プ」ボタンをクリックしてください。

ブラウザーでページをプレビュー

ページの先頭へ

ブラウザーでのプレビュー

任意の時点でページをブラウザーでプレビューできます。事前にページを Web サーバーにアップロードしておく必要はありません。必要なプラグインや ActiveX コントロールがブラウザーにインストールされている状態でページをプレビューすると、JavaScript ビヘイビアー、ドキュメント相対リンクと絶対リンク、ActiveX® コントロール、Netscape Navigator プラグインなど、すべてのブラウザー関連の機能が動作します。

ドキュメントをプレビューする場合、プレビューする前に保存します。保存しないと、最新の変更がブラウザーに表示されません。

1. ページをプレビューするには以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイル／ブラウザーでプレビューを選択し、リストからブラウザーを 1 つ選択します。

   注意： リストにブラウザーが表示されない場合は、編集／環境設定または *Dreamweaver*／環境設定（*Mac OS*）を選択し、左側にある「ブラウザーでプレビュー」カテゴリーを選択して、ブラウザーを選択します。

   - F12 キー（Windows）か Option + F12（Mac OS）を押してプライマリブラウザーで現在のドキュメントを表示します。
   - Ctrl + F12（Windows）か Command + F12（Mac OS）を押してセカンダリブラウザーで現在のドキュメントを表示します。
2. リンクをクリックし、ページのコンテンツをテストします。

   注意： テストサーバーを指定するか、編集／環境設定／ブラウザーでプレビューで「一時ファイルを使用してプレビュー」オプションを選択していない限り、ローカルブラウザーでドキュメントをプレビューしても、サイトのルート相対パスを使ってリンクされたコンテンツは表示されません。これは、サーバーと違って、ブラウザーではサイトのルートを認識できないためです。

   ルート相対パスでリンクされているコンテンツをプレビューする場合は、リモートサーバー上にファイルを置き、ファイル／ブラウザーでプレビューを選択します。
3. テストが終了したら、ブラウザー内のページを閉じます。

ブラウザーでのプレビューの環境設定

サイトのプレビュー時にブラウザーを使用する場合の環境設定と、初期設定のプライマリブラウザーおよびセカンダリブラウザーを定義できます。

1. ファイル／ブラウザーでプレビュー／ブラウザーリストの編集を選択します。
2. リストにブラウザーを追加するには、「+」ボタンをクリックし、ブラウザーの追加ダイアログボックスに情報を入力して、「OK」をクリックします。
3. リストからブラウザーを削除するには、ブラウザーを選択してから「-」ボタンをクリックします。
4. 選択したブラウザーの設定を変更するには、「編集」ボタンをクリックし、ブラウザーの編集ダイアログボックスで設定を変更して、「OK」をクリックします。
5. 「プライマリブラウザー」または「セカンダリブラウザー」オプションを選択し、選択したブラウザーがプライマリブラウザーかセカンダリブラウザーのどちらであるかを指定します。

   F12 キー（Windows）または Option + F12 キー（Mac OS）を押すと、プライマリブラウザーが開きます。Ctrl + F12 キー（Windows）または Command + F12 キー（Mac OS）を押すと、セカンダリブラウザーが開きます。
6. 「一時ファイルを使用してプレビュー」を選択し、プレビューおよびサーバーのデバッグ用に一時的なコピーを作成します。ドキュメントを直接更新する場合は、このオプションをオフにします。

アドビは次の機能も推奨します。

- ブラウザーナビゲーションツールバーの概要
- 関連ファイルを開く
- ライブビューのビデオチュートリアル

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Web アプリケーションとフォーム

ライブデータの表示

ライブビューでのライブデータを含むページの指定
ライブビューでのライブデータのトラブルシューティング

ライブデータ表示機能は、Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。代わりに、さらに効率的なライブビュー機能が追加されています。

ライブビューでライブデータを表示するには、以下を実行してください。

- 動的ページを処理するフォルダーを定義します（例えば、使用しているコンピューターまたはリモートコンピューターの ColdFusion サーバーのルートフォルダー）。

  ライブビューに切り替えるとページにエラーメッセージが表示される場合は、サイト定義ダイアログボックスの「Web URL」が正しく指定されているか確認してください。
- 関連するファイルがある場合は、それをフォルダーにコピーします。
- ページに、通常ユーザーが入力するパラメーターを指定します。

トップへ戻る

ライブビューでのライブデータを含むページの指定

1. ライブビュー設定ダイアログボックス（表示／ライブビューオプション／HTTP リクエストの設定）を開きます。
2. 「URL 要求」領域で、「+」ボタンをクリックし、ページが待機するパラメーターを入力します。
3. パラメーターごとに、名前とテスト値を指定してください。
4. メソッドポップアップメニューで、ページが待機する HTML フォームのメソッド（POST または GET）を選択します。
5. 現在のページに対する設定を保存するには、「このドキュメントの設定を保存」を選択して、「OK」をクリックします。

   注意： 設定を保存するには、デザインノート（ファイル／デザインノート）を有効にする必要があります。

トップへ戻る

ライブビューでのライブデータのトラブルシューティング

ライブビューでライブデータを表示する際の問題の多くは、サイト定義ダイアログボックス（サイト／サイトの編集）の値の一部が入力されていないか、適切でないために発生します。

テスト用サーバーとして指定したサーバーの設定をチェックします。サイト定義ダイアログボックスで、サーバーフォルダーまたはルートディレクトリを設定する場所には、動的ページの処理が可能なフォルダーを指定する必要があります。以下は、ハードディスクで IIS または PWS を稼動している場合の適切なサーバーフォルダーの例です。

C:\Inetpub\wwwroot\myapp\

「Web URL」に、サーバーフォルダーに対応する（マップされた）URL が指定されていることを確認します。例えば、PWS または IIS をローカルコンピューター上で実行している場合、リモートフォルダーと Web URL の関係は次のようになります。

リモートフォルダー	**Web URL**
C:¥Inetpub¥wwwroot¥	http://localhost/
C:¥Inetpub¥wwwroot¥myapp¥	http://localhost/myapp/
C:¥Inetpub¥wwwroot¥fs¥planes	http://localhost/fs/planes

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Web アプリケーションについて

Web アプリケーションについて
Web アプリケーションの一般的な用途
Web アプリケーションの例
Web アプリケーションのしくみ
静的 Web ページの処理
動的ページの処理
データベースへのアクセス
動的ページのオーサリング
Web アプリケーションの用語

Web アプリケーションについて

トップへ戻る

Web アプリケーションとは、コンテンツが部分的または全体的に未決定の状態のページを含む Web サイトのことです。ページの最終的なコンテンツは、ビジターが Web サーバーに対してページを要求したときに決定されます。ページの最終的なコンテンツは、ビジターから要求されるアクションによって変わります。このため、この種のページは動的ページと呼ばれます。

Web アプリケーションを構築すると、様々な課題や問題に対応することができます。この項では、Web アプリケーションの一般的な用途とその例を示します。

Web アプリケーションの一般的な用途

トップへ戻る

サイトビジターもデベロッパーも様々な目的で Web アプリケーションを構築できます。例えば、次のような目的で Web サイトを構築できます。

- 大量のコンテンツを含む Web サイトで情報をすばやくかつ簡単に検索する

  この種の Web アプリケーションでは、目的に適した方法でコンテンツを検索、整理およびナビゲートできます。この例には、企業のイントラネット、Microsoft MSDN（www.msdn.microsoft.com）および Amazon.com（www.amazon.com）があります。

- サイトビジターから提供されるデータを収集、保存、および分析する

  従来、HTML フォームに入力されたデータは、電子メールメッセージで社員や CGI アプリケーションに送られ、処理されていました。Web アプリケーションでは、フォームのデータを直接データベースに保存できる他、分析用にそれを抽出して、Web ベースのレポートを作成できます。この例には、オンラインバンキングのページ、オンラインショップの支払いのページ、調査用のページ、およびユーザーフィードバックのフォームなどがあります。

- 頻繁に変更されるコンテンツを含む Web サイトを更新する

  Web アプリケーションを使用すると、Web デザイナーはサイトの HTML を定期的に更新する作業から解放されます。例えば、ニュースエディターなどのコンテンツプロバイダーから Web アプリケーションにコンテンツが提供されると、サイトは Web アプリケーション側で自動的に更新されます。この例には、Economist（www.economist.com）および CNN（www.cnn.com）があります。

Web アプリケーションの例

トップへ戻る

Janet は、社員 1000 人の中規模企業のイントラネットおよびインターネットサイトの管理を担当するプロの Web デザイナーで、長く Dreamweaver を使用しています。ある日、人事部の Chris が Janet のもとに来て問題があると切り出しました。人事部では、社員のフィットネスプログラムを管理しており、ウォーキング、ランニング、または自転車での走行マイルごとに、社員にポイントを与えています。各社員は、総走行マイル数を電子メールで Chris に毎月報告することになっています。Chris は月末にすべての電子メールをまとめ、ポイント合計数に応じた少額の賞金を社員に渡します。

Chris にとって問題なのは、フィットネスプログラムがうまく行きすぎているということです。あまりに多くの社員が参加するようになったため、毎月月末になると電子メールが Chris のもとへ殺到するようになりました。Chris は、Janet に Web ベースのソリューションがないか尋ねました。

Janet はイントラネットベースの Web アプリケーションを提案します。このアプリケーションでは、次の処理が行われます。

- 社員に自分の走行マイル数を簡単な HTML フォームを使用した Web ページに入力してもらう
- 社員の走行マイル数をデータベースに格納する
- 走行マイルのデータに基づいたフィットネスポイントを計算する
- 毎月の進捗を従業員にトラッキングさせる

- 1 回のクリックで Chris が毎月末、ポイント合計数を確認できるようにする

  Janet は Dreamweaver を使用して、昼食前にアプリケーションを完成させます。Dreamweaver では、このようなアプリケーションをすばやくかつ簡単に構築できます。

トップへ戻る

Web アプリケーションのしくみ

Web アプリケーションは、静的 Web ページと動的 Web ページで構成されます。静的 Web ページは、サイトビジターから要求があっても変化しません。Web サーバーは、ページを変更せずに要求元 Web ブラウザーに送信します。一方、動的 Web ページは、サーバー側で変更されてから要求元ブラウザーに返されます。このようにページが変化するため、「動的」と呼ばれます。

例えば、フィットネスの結果を表示するページを設計し、社員名や結果などの特定の情報は、特定の社員からページが要求されたときに決定すべき情報として残しておくことができます。

次の各項では、Web アプリケーションのしくみについて詳しく説明します。

トップへ戻る

静的 Web ページの処理

静的 Web サイトは、相互に関連付けられた HTML ページとファイルのセットで構成されており、Web サーバーを実行するコンピューターでホスト管理されています。

Web サーバーは、Web ブラウザーからの要求に応答して Web ページを処理するソフトウェアです。ビジターが Web ページ上のリンクをクリックする、ブラウザーに登録されたブックマークを選択する、ブラウザーの「アドレス」テキストボックスに URL を入力する、のいずれかを行うと、ページ要求が発生します。

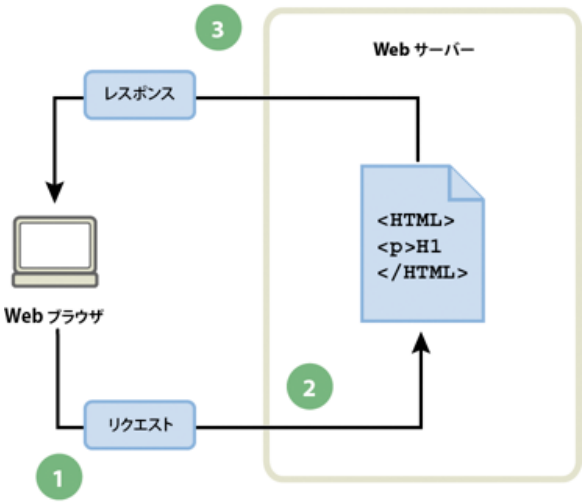
静的 Web ページの最終的なコンテンツは、ページデザイナーが決定し、ページの要求時には変更されません。次に、その例を示します。

```
<html>
    <head>
        <title>Trio Motors Information Page</title>
    </head>
    <body>
        <h1>About Trio Motors</h1>
        <p>Trio Motors is a leading automobile manufacturer.</p>
    </body>
</html>
```

Web ページの HTML コードの各行は、ページがサーバーに配置される前にデザイナーによってすべて記述されます。HTML はサーバーに一旦配置されると変更されないため、静的ページと呼ばれます。

注意： 厳密に言うと、静的ページは必ずしも常に「静的」なわけではありません。例えば、ロールオーバーイメージや Flash コンテンツ（SWF ファイル）を使用すると、静的なページに動きを与えることができます。ただし、本マニュアルでは、変更されずにブラウザーに送信されるページを「静的ページ」と呼びます。

Web サーバーが静的ページの要求を受信すると、まずサーバーがその要求を読み込み、ページを検索して、結果を要求元ブラウザーに返します。以下はこの流れを示す例です。



1. Web ブラウザーが静的ページを要求します。 **2.** Web サーバーがページを検索します。 **3.** Web サーバーが要求元ブラウザーにページを返します。

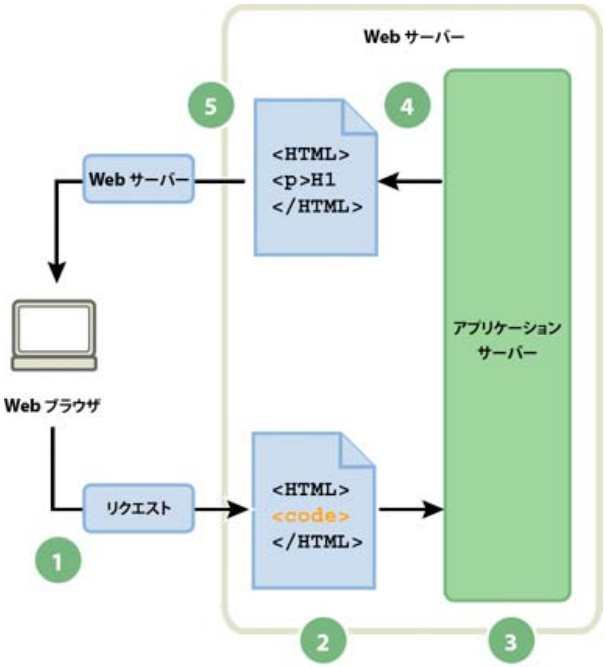
Web アプリケーションでは、ビジターがページを要求した時点では、数行のコードが未決定になっています。これらの行は、ページをブラウザーに送信する前に何らかのメカニズムで決定する必要があります。このメカニズムについては、次の項で説明します。

トップへ戻る

動的ページの処理

Web サーバーに対して静的 Web ページが要求されると、要求元のブラウザーにページが直接返されます。しかし、動的ページが要求された場合は、異なった処理が実行されます。この場合、Web サーバーは、ページを完成させるため、特別なソフトウェアにページを渡します。この特別なソフトウェアをアプリケーションサーバーと呼びます。

アプリケーションサーバーは、ページ内のコードを読み込み、そのコードに記述されている命令に従ってページを完成させ、コードをページから削除します。その結果、アプリケーションサーバーは Web サーバーに静的ページを返し、Web サーバーはそのページの要求元ブラウザーにページを返します。ページの受信時にブラウザーが受け取るのは、純粋な HTML だけです。以下は、処理の図です。



1. Web ブラウザーが動的ページを要求します。 **2.** Web サーバーがページを検索してアプリケーションサーバーに渡します。 **3.** アプリケーションサーバーは、ページから命令をスキャンしてページを完成させます。 **4.** アプリケーションサーバーが完成したページを Web サーバーに返します。 **5.** Web サーバーが完成したページを要求元ブラウザーに返します。

トップへ戻る

データベースへのアクセス

アプリケーションサーバーを使用すると、データベースなどのサーバーサイドのリソースを扱うことになります。例えば、データベースからデータを抽出し、HTML に挿入するよう動的ページからアプリケーションサーバーに命令が送られる場合があります。詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_dbguide_jp を参照してください。

データベースを使用してコンテンツを保存すると、サイトのユーザーに対して表示するコンテンツと Web サイトのデザインとを切り離すことができます。ページごとに別の HTML ファイルを作成する代わりに、1 つのページ、すなわちテンプレートを作成するだけで、様々な種類の情報を表示することができます。また、データベースにコンテンツをアップロードすると、Web サイトでは、ユーザーの要求に応じてコンテンツを取得することができます。また、1 つのソースで情報を更新するだけで、各ページを手動で編集することなく Web サイト全体に変更を反映することができます。Adobe® Dreamweaver® を使用すると、データベースのデータの挿入、更新、または削除を行う Web フォームをデザインできます。

データベースからデータを抽出する命令は、データベースクエリーと呼ばれます。クエリーは、SQL（Structured Query Language）というデータベース言語で表された検索条件で構成されています。SQL クエリーは、ページのサーバーサイドのスクリプトまたはタグに書き込まれます。

アプリケーションサーバーは、データベース固有のデータ形式を解釈できないため、データベースと直接通信できません。これは、Microsoft Word 文書をメモ帳または BBEdit で開いても内容を判読できないのと同じです。アプリケーションサーバーは、データベースドライバーを介さないとデータベースと通信できません。データベースドライバーは、アプリケーションサーバーとデータベースの間でインタープリターのような働きをするソフトウェアです。

ドライバーが通信を確立すると、データベースに対してクエリーが実行され、レコードセットが作成されます。レコードセットとは、データベース内のいくつかのテーブルから抽出されたデータのセットです。レコードセットはアプリケーションサーバーに返され、そのデータが使用されてページが完成します。

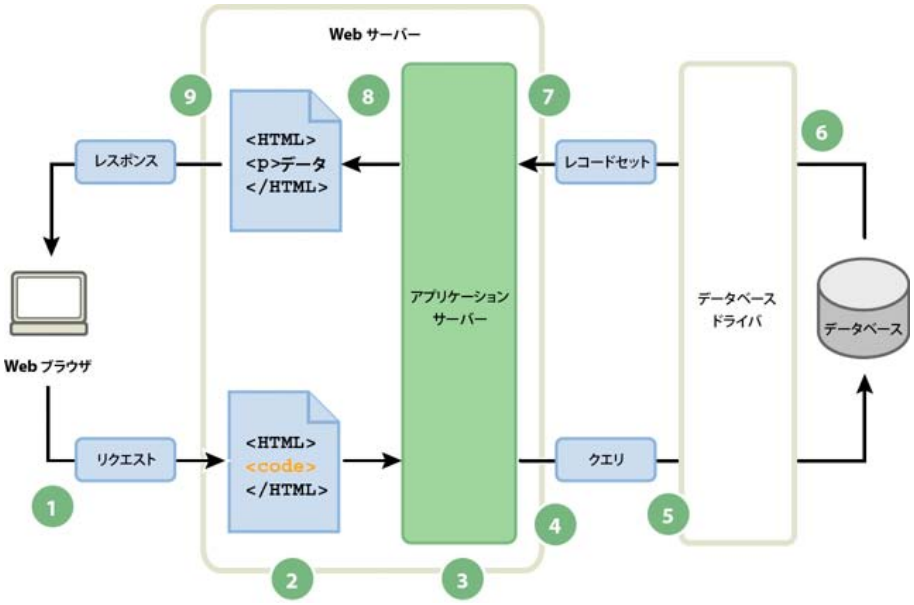
以下は、SQL で記述された簡単なデータベースクエリーです。

```
SELECT lastname, firstname, fitpoints
FROM employees
```

このステートメントによって、3 列構成のレコードセットが作成され、データベースの全社員の姓、名、フィットネスポイントが各行に挿入されま

す。詳しくは、www.adobe.com/go/learn_dw_sqlprimer_jpを参照してください。

以下はデータベースのクエリを実行し、ブラウザーにデータを返す処理を示す例です。



1. Web ブラウザーが動的ページを要求します。 **2.** Web サーバーがページを検索してアプリケーションサーバーに渡します。 **3.** アプリケーションサーバーがページをスキャンして命令を検索します。 **4.** アプリケーションサーバーがクエリーをデータベースドライバーに送信します。 **5.** ドライバーがデータベースに対するクエリーを実行します。 **6.** レコードセットがドライバーに返されます。 **7.** ドライバーがレコードセットをアプリケーションサーバーに渡します。 **8.** アプリケーションサーバーがデータをページに挿入し、そのページを Web サーバーに渡します。 **9.** Web サーバーが完成したページを要求元ブラウザーに返します。

適切なデータベースドライバーがサーバーにインストールされていれば、ほとんどのデータベースを Web アプリケーションで使用できます。

小規模な低コストアプリケーションを作成する場合は、Microsoft Access で作成したファイルベースのデータベースを使用できます。ビジネス上、重要性が高く堅牢なアプリケーションを作成する場合には、Microsoft SQL Server、Oracle 9i、MySQL などで作成したサーバーベースのデータベースを使用できます。

データベースが Web サーバー以外のシステムにある場合は、Web アプリケーションが迅速かつ効率的に動作するように、2 つのシステム間に高速接続を用意してください。

トップへ戻る

動的ページのオーサリング

動的ページをオーサリングするには、HTML を記述し、サーバーサイドのスクリプトまたはタグを HTML に追加して、ページを動的にします。完成したコードを表示すると、ページの HTML の中に言語が埋め込まれています。したがって、これらの言語は HTML 埋め込み型のプログラミング言語と呼ばれます。次の基本的な例では、CFML（ColdFusion Markup Language）を使用しています。
注意： Dreamweaver CC 以降で、CFML が使用できなくなりました。

```
<html>
    <head>
        <title>Trio Motors Information Page</title>
    </head>
    <body>
        <h1>About Trio Motors</h1>
        <p>Trio Motors is a leading automobile manufacturer.</p>
        <!--- embedded instructions start here --->
        <cfset department="Sales">
        <cfoutput>
        <p>Be sure to visit our #department# page.</p>
        </cfoutput>
        <!--- embedded instructions end here --->
    </body>
</html>
```

このページに埋め込まれた命令は、次のアクションを実行します。

1. 変数 department を作成し、文字列 "Sales" を割り当てます。
2. 変数の値である "Sales" を HTML コードに挿入します。

アプリケーションサーバーは次のページを Web サーバーに返します。

```
<html>
    <head>
        <title>Trio Motors Information Page</title>
    </head>
    <body>
        <h1>About Trio Motors</h1>
        <p>Trio Motors is a leading automobile manufacturer.</p>
        <p>Be sure to visit our Sales page.</p>
    </body>
</html>
```

Web サーバーが要求元ブラウザーにページを返すと、次のように表示されます。

About Trio Motors

Trio Motors is a leading automobile manufacturer.

Be sure to visit our Sales page.

サーバーで使用できるサーバーテクノロジに応じて、使用するスクリプトまたはタグ言語を選択します。次に、Dreamweaver でサポートされるサーバーテクノロジについて最もよく使用される言語を示します。

サーバーテクノロジ	言語
ColdFusion	CFML（ColdFusion Markup Language）
ASP（Active Server Pages）	VBScript[VBScript] JavaScript
PHP	PHP

ページの動作に必要なサーバーサイドのスクリプトまたはタグは、Dreamweaver に記述させることも、ユーザーが Dreamweaver のコーディング環境内で手動で記述することもできます。

トップへ戻る

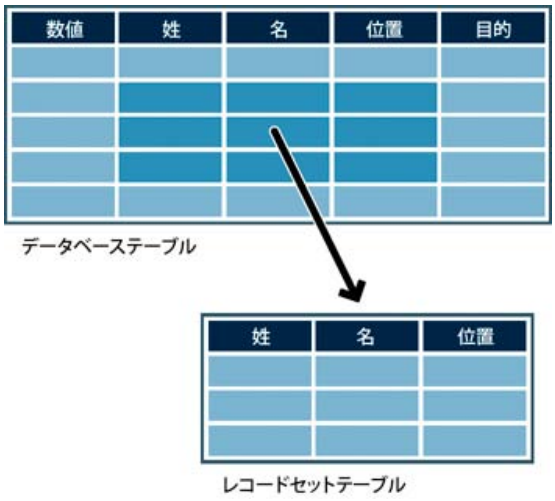
Web アプリケーションの用語

この項では、Web アプリケーションに関してよく使用される用語について説明します。

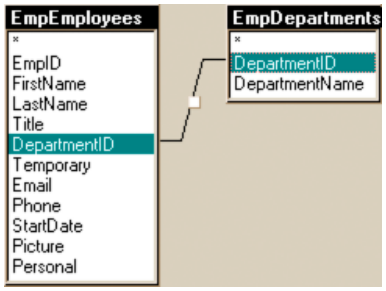
アプリケーションサーバー サーバーサイドのスクリプトまたはタグを含む Web ページを処理する Web サーバーを支援するソフトウェア。このようなページが要求されると、ページがブラウザーに返される前に、Web サーバーはページをアプリケーションサーバーに渡して処理します。詳しくは、Web アプリケーションのしくみを参照してください。
一般的なアプリケーションサーバーとして ColdFusion や PHP などがあります。

データベース テーブルに格納されたデータの集合体。テーブルの各行は単一のレコードを、各列は次の例のようにレコード内の単一のフィールドを構成します。

データベースドライバー Web アプリケーションとデータベースとの間でインタープリターのような働きをするソフトウェア。データベース内のデータは、独自の形式で格納されます。データベースドライバーは、そのままでは解読不能なデータを Web アプリケーションが読み取って処理できるようにします。
データベース管理システム （DBMS またはデータベースシステム）データベースを作成し操作するためのソフトウェア。一般的に使用されるデータベースシステムには、Microsoft Access、Oracle 9i、および MySQL があります。
データベースクエリー データベースからレコードセットを抽出する操作。クエリーは、SQL というデータベース言語で表された検索条件で構成されています。例えば、クエリーでは、特定の列だけ、または特定のレコードだけをレコードセットに含めるように指定できます。
動的ページ アプリケーションサーバーによってカスタマイズされてから、ブラウザーに送信される Web ページ。
レコードセット データベース内のいくつかのテーブルから抽出されたデータのセット。次はその例です。



リレーショナルデータベース データを共有する複数のテーブルを格納したデータベース。次のデータベースは、2 つのテーブルが DepartmentID 列を共有しているため、リレーショナルです。



サーバーテクノロジ アプリケーションサーバーが実行時に動的ページを変更するためのテクノロジ。
Dreamweaver の開発環境は、次のサーバーテクノロジをサポートしています。

- Adobe® ColdFusion®
- Microsoft Active Server Pages（ASP）
- PHP：Hypertext Preprocessor（PHP）

  Dreamweaver のコーディング環境では、上記以外のサーバーテクノロジを使用してもページを作成できます。

静的ページ アプリケーションサーバーによって変更されずにブラウザーに返される Web ページ。詳しくは、静的 Web ページの処理を参照してください。
Web アプリケーション コンテンツが部分的または全体的に未決定の状態のページを含む Web サイト。ページの最終的なコンテンツは、ユーザーが Web サーバーに対してページを要求したときに決定されます。ページの最終的なコンテンツは、ビジターから要求されるアクションによって変わります。このため、この種のページは動的ページと呼ばれます。
Web サーバー Web ブラウザーからの要求に応答して Web ページを送信するソフトウェア。ビジターが、ブラウザーに表示されている Web ページのリンクをクリックする、ブラウザーのブックマークを選択する、ブラウザーの「アドレス」テキストボックスに URL を入力する、のいずれかを行うと、ページ要求が発生します。
一般的な Web サーバーには、IIS（Microsoft Internet Information Server）、Apache HTTP Server などがあります。

関連項目
データベース初級ガイド

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

フォームを使用したユーザーからの情報の収集

ユーザーからの情報収集について
HTML フォームパラメーター
URL パラメーター
HTML リンクを使用した URL パラメーターの作成

ユーザーからの情報収集について

トップへ戻る

Web フォームまたはハイパーテキストリンクを使用してユーザーから収集した情報をサーバーのメモリに保存し、その情報を使用して、ユーザーの入力に基づいた動的な応答を作成することができます。情報を収集するための最も一般的なツールには、HTML フォームとハイパーテキストリンクがあります。

HTML フォーム ユーザーから情報を収集してサーバーのメモリに格納することができます。HTML フォームは、情報をフォームパラメーターまたは URL パラメーターとして送信できます。
ハイパーテキストリンク ユーザーから情報を収集してサーバーのメモリに格納することができます。ユーザーがリンクをクリックしたときに送信される値（例えば環境設定）を指定するには、アンカータグで指定されている URL にその値を付加します。ユーザーがリンクをクリックすると、URL および付加された値がブラウザーによってサーバーに送信されます。

HTML フォームパラメーター

トップへ戻る

フォームパラメーターは、POST メソッドまたは GET メソッドのいずれかを使用して HTML フォームでサーバーに送信されます。

POST メソッドを使用する場合、パラメーターはドキュメントのヘッダーの一部として Web サーバーに送信され、標準の方法を使用してページを参照しているユーザーは表示またはアクセスできません。POST メソッドは、データベースの内容に影響する値（レコードの挿入、更新または削除など）や、電子メールによって送信される値に対して使用してください。

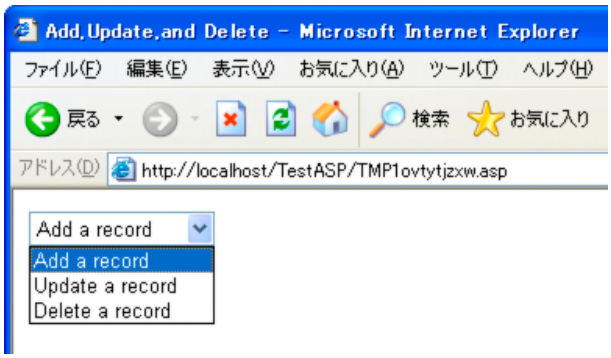
GET メソッドでは、パラメーターは要求された URL に付加されます。そのため、ページを参照しているすべてのユーザーがパラメーターを表示できます。GET メソッドを検索フォームに使用しないでください。

Dreamweaver を使用すると、サーバーにフォームパラメーターを送信する HTML フォームを簡単にデザインできます。ブラウザーからサーバーに情報を送信するためのメソッドの使用に注意してください。

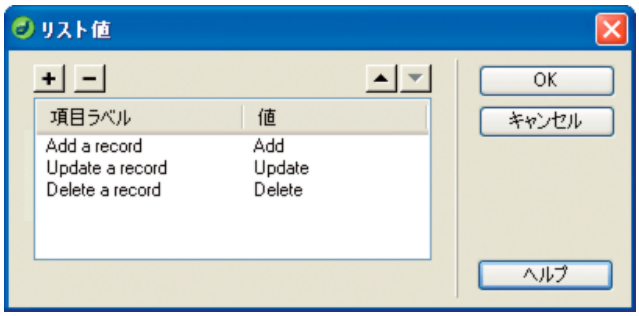
フォームパラメーターの名前は、対応するフォームオブジェクトの名前です。例えば、フォームに txtLastName というテキストフィールドがある場合、ユーザーが「送信」 ボタンをクリックすると以下のフォームパラメーターがサーバーに送信されます。

```
txtLastName=enteredvalue
```

Web アプリケーションに正確なパラメーター値を渡さなければならない場合（いくつかのオプションの 1 つに基づいてアクションを実行する場合など）は、ラジオボタン、チェックボックス、またはリストおよびメニューフォームオブジェクトを使用して、ユーザーが送信できる値を制御します。これにより、ユーザーが情報を間違って入力することや、アプリケーションエラーを引き起こすことを防止できます。次の例は、3 つの項目から選択できるポップアップメニューフォームです。



メニューの各選択項目はハードコーディングされた値に対応しており、その値がサーバーにフォームパラメーターとして送信されます。次の例に示すリスト値ダイアログボックスでは、各リスト項目に対応する値（追加、更新、削除）が指定されています。



フォームパラメーターを作成すると、Dreamweaver でその値を取得し、Web アプリケーションの中で使用することができます。Dreamweaver でフォームパラメーターを定義した後で、ページ内にその値を挿入できます。

トップへ戻る

URL パラメーター

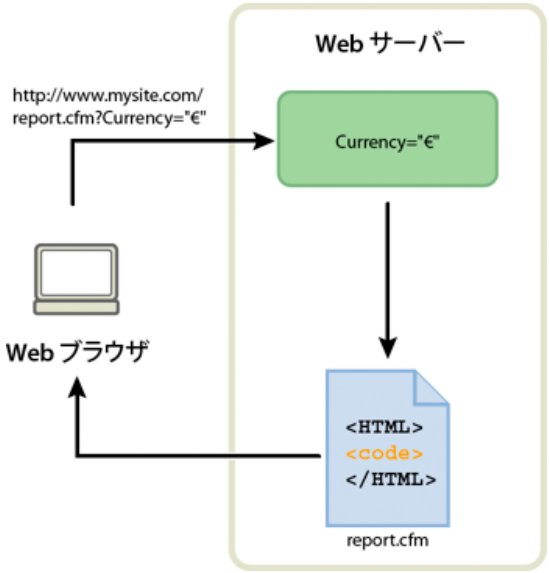
URL パラメーターを使用すると、ユーザーが入力した情報をブラウザーからサーバーに渡すことができます。サーバーが要求を受信したとき、要求の URL にパラメーターが付加されている場合は、サーバーは、要求されたページにそのパラメーターへのアクセスを許可してから、そのページをブラウザーに送信します。

URL パラメーターは、URL に付加される名前と値のペアです。このパラメーターは、疑問符（?）で始まり、 name=value という形式で表されます。複数の URL パラメーターが存在する場合、各パラメーターをアンパサンド（&）で区切ります。次の例は、2 つの名前/値のペアがある URL パラメーターです。

```
http://server/path/document?name1=value1&name2=value2
```

このワークフロー例では、Web ベースのショッピングサイトのアプリケーションを想定しています。できるだけ広範囲のユーザーがアクセスできるようにするため、サイトは外国通貨にも対応するように設計されています。ユーザーは、サイトにログインするときに、購入可能な商品の価格をどの通貨で表示するかを選択できます。

1. ブラウザーは、サーバーの report.cfm ページを要求します。この要求には、URL パラメーター Currency="euro" が含まれています。Currency="euro" という変数は、取得された金額をすべて EU のユーロで表示することを指定します。
2. サーバーでは、この URL パラメーターが一時的にメモリに格納されます。
3. report.cfm ページでは、このパラメーターによりユーロ建ての商品価格を取得されます。取得された金額は、各種通貨のデータベーステーブルに保存しておくことも、各商品に関連付けられた単一の通貨からアプリケーションでサポートされている通貨に換算することもできます。
4. サーバーは、report.cfm ページをブラウザーに送信し、要求された通貨で商品価格を表示します。このユーザーがセッションを終了すると、サーバーは URL パラメーターの値を破棄し、新しいユーザー要求を保持できるようにサーバーメモリを解放します。



URL パラメーターは、HTTP の GET メソッドを HTML フォームと共に使用したときにも作成されます。GET は、フォーム送信時にパラメーター値を URL 要求に付加することを指定します。

URL パラメーターを利用する例には、ユーザーの好みに応じた Web サイトのパーソナライズがあります。例えば、ユーザー名およびパスワードで構成された URL パラメーターを使用してユーザーの認証を行い、そのユーザーが利用している情報のみを表示します。この方法は、ユーザーが事前に選択した株式市場シンボルに基づいて個々の株価を表示する金融 Web サイトなどで利用されています。Web アプリケーションでは、一般に URL パラメーターを使用してアプリケーション内の変数に値を渡します。例えば、検索条件を Web アプリケー

ションの SQL 変数に渡し、検索結果を生成します。

トップへ戻る

HTML リンクを使用した URL パラメーターの作成

HTML リンクの中に URL パラメーターを作成するには、HTML のアンカータグの href 属性を使用します。URL パラメーターは、コードビュー（表示／コード）で属性に直接入力することも、プロパティインスペクターの「リンク」ボックスで、リンクする URL の最後に付加することもできます。

次の例では、3 つのリンクで同じ URL パラメーター（action）を作成しています。このパラメーターが取り得る値は 3 つ（Add、Update、および Delete）あります。ユーザーがリンクをクリックすると、パラメーター値がサーバーに送信され、要求されたアクションが実行されます。

```
<a href="http://www.mysite.com/index.cfm?action=Add">Add a record</a>
<a href="http://www.mysite.com/index.cfm?action=Update">Update a record</a>
<a href="http://www.mysite.com/index.cfm?action=Delete">Delete a record</a>
```

プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）を使用して、同じ URL パラメーターを作成することができます。その場合は、リンクを選択し、「リンク」ボックスでリンクする URL の最後に URL パラメーターを付加します。

URL パラメーターを作成すると、Dreamweaver でその値を取得し、Web アプリケーションの中で使用することができます。Dreamweaver で URL パラメーターを定義した後で、ページ内にその値を挿入できます。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ColdFusion コンポーネントの使用

ColdFusion コンポーネントについて
コンポーネントパネルの概要（ColdFusion）
Dreamweaver での CFC の作成または削除
Dreamweaver での CFC の表示
Dreamweaver での CFC の編集
CFC を使用する Web ページの作成
CFC のレコードセットの定義
CFC レコードセットを動的コンテンツのソースとして使用
CFC による動的コンテンツの定義

注意： ColdFusion は、Dreamweaver CC 以降では削除されています。

トップへ戻る

ColdFusion コンポーネントについて

ColdFusion コンポーネント（CFC）を使用すると、アプリケーションおよびビジネスロジックを自己完結型の再利用可能なユニットにカプセル化できます。また CFC を使用すると、Web サービスを迅速かつ簡単に作成することができます。

CFC は ColdFusion マークアップ言語（CFML）で記述された再利用可能なソフトウェアユニットで、コードの再利用とメンテナンスを効率化します。

Dreamweaver では CFC を操作できます。CFC のタグおよびシンタックスについて詳しくは、Dreamweaver から ColdFusion のヘルプ（ヘルプ／ColdFusion の使用）を参照してください。

注意： CFC は、ColdFusion MX 以降でのみ使用できます。CFC は、ColdFusion 5 ではサポートされていません。
CFC を使用すると、デベロッパーは、Web サイトのエレメントを単純かつ強力な方法でカプセル化できます。コンポーネントは一般的に、アプリケーションまたはビジネスロジックに対して使用します。一方、カスタムタグは、カスタマイズしたあいさつメッセージや動的メニューなど、プレゼンテーションエレメントに対して使用します。

他の多くの構成と同様に、動的サイトには、置き換え可能な要素という利点があります。例えば、動的サイトでは、同じクエリーを繰り返し実行したり、ショッピングカートページの合計金額を計算し、商品が追加されるたびに再計算することが可能です。これらのタスクは、コンポーネントによって処理されます。コンポーネントは、アプリケーションの他の部分への影響を最小限に抑えつつ、修正、改良、拡張したり、他のコンポーネントと置き換えることができます。

例えば、あるオンラインストアで、注文価格に基づいて送料を計算する場合を考えます。$20 未満の注文の送料は $4、$20 ～ $40 の範囲の注文の送料は $6、などとなります。ショッピングカートページと精算ページの両方に送料を計算するロジックを挿入できますが、HTML プレゼンテーションコードおよび CFML ロジックコードが混合することになり、ほとんどの場合はコードのメンテナンスおよび再利用が困難になります。

そこで、特に ShippingCharge という関数を備えた Pricing という名前の ColdFusion コンポーネントを作成することに決めます。この関数は、価格をパラメーターとして取り、送料を返します。例えば、パラメーターの値が 32.80 であれば、この関数は 6 を返します。

ショッピングカートページと精算ページの両方に、ShippingCharge 関数を呼び出す特別なタグを挿入します。ページが要求されると、この関数が呼び出され、送料がページに返されます。

後で、オンラインストアから、$100 を超える注文についてはすべて送料を無料にするというキャンペーンの通知がありました。この場合、1 か所（Pricing コンポーネントの ShippingCharge 関数）で送料に変更を加えると、この関数を使用するすべてのページで正確な送料が自動的に取得されます。

トップへ戻る

コンポーネントパネルの概要（ColdFusion）

コンポーネントパネル（ウィンドウ／コンポーネント）では、ColdFusion コンポーネントを表示および編集することや、CFM ページが要求されたときに関数を呼び出すコードをそのページに追加することができます。

注意： コンポーネントパネルは、Dreamweaver で ColdFusion ページを表示している場合にのみ使用できます。

トップへ戻る

Dreamweaver での CFC の作成または削除

Dreamweaver では、CFC やその関数を視覚的に定義できます。Dreamweaver によって、.cfc ファイルが作成され、必要な CFML タグが自動的に挿入されます。
注意： コンポーネントによっては、一部のコードを手動で入力する必要があります。

1. Dreamweaver で ColdFusion ページを開きます。
2. コンポーネントパネル（ウィンドウ／コンポーネント）のポップアップメニューから「CF コンポーネント」を選択します。

3. 「+」ボタンをクリックし、コンポーネントの作成ダイアログボックスで必要な設定を行い、「OK」をクリックします。
   a. 「コンポーネント」セクションに、コンポーネントの詳細を入力します。主なオプションは、次のとおりです。
      名前 コンポーネントのファイル名を指定します。名前に使用できるのは、英数字とアンダースコア（_）だけです。名前を入力するときに .cfc ファイル拡張子を付けないでください。

      コンポーネントディレクトリ コンポーネントの保存場所を指定します。Web アプリケーションのルートフォルダー（¥Inetpub¥wwwroot¥myapp¥ など）またはそのサブフォルダーを選択します。

   b. コンポーネントに対して関数を定義する場合は、セクションリストから「関数」を選択して「+」ボタンをクリックし、新しい関数の詳細を入力します。

      「返されるタイプ」オプションには、関数が返す値のタイプを指定します。

      アクセスメニューから「リモート」を選択した場合、関数は Web サービスとして利用できるようになります。

   c. 関数に対して引数を定義する場合は、セクションリストから「引数」を選択し、ポップアップメニューから関数を選択して「+」ボタンをクリックし、新しい引数の詳細をその右に入力します。
4. リモート開発サーバーを使用している場合は、CFC ファイルとその依存ファイル（関数を実装するために使用するファイルやインクルードファイルなど）をリモートサーバーにアップロードします。

   ファイルをアップロードすると、「ライブビュー」や「ブラウザーでプレビュー」などの Dreamweaver の機能が正常に動作するようになります。

   Dreamweaver によって、CFC ファイルが作成され、指定したフォルダーに保存されます。また、「更新」をクリックすると、新しいコンポーネントもコンポーネントパネルに表示されます。
5. コンポーネントを削除するには、サーバーから手動で CFC ファイルを削除する必要があります。

トップへ戻る

Dreamweaver での CFC の表示

Dreamweaver では、サイトフォルダーまたはサーバーにある ColdFusion コンポーネント（CFC）を視覚的な方法で確認することができます。Dreamweaver では、CFC ファイルを読み込み、それらのファイルに関する情報をコンポーネントパネル内のツリービューに表示します。このツリービューは、簡単に操作することができます。

Dreamweaver では、テストサーバー上のコンポーネントが検索されます。詳しくは、Dreamweaver からのデータベースへの接続 を参照してください。CFC を新規作成する場合または既存の CFC を変更する場合は、CFC ファイルをテストサーバーにアップロードして、コンポーネントパネルに正確に反映されるようにします。

他のサーバーに置かれているコンポーネントを表示するには、テストサーバーの設定を変更してください。

CF コンポーネントについて表示できる情報は次のとおりです。

- サイトに定義されているすべての ColdFusion コンポーネントのリストを表示します。
- ColdFusion MX 7 以降を実行している場合は、リストをフィルターしてサイトフォルダーにある CFC だけを表示します。
- 各コンポーネントの関数と引数を確認します。
- Web サービスとして機能する関数のプロパティを確認します。

Web サイトのルートにあるサイトファイルを管理しながら、一方で Dreamweaver を使用して別のサーバーのルートにある CFC を調べるために、2 つの Dreamweaver サイトを定義できます。1 番目のサイトがサーバーのルートを指すように設定し、2 番目のサイトが Web サイトのルートを指すように設定します。ファイルパネルのサイトポップアップメニューを使用して、2 つのサイトを素早く切り替えます。

Dreamweaver で CFC を表示するには、以下の手順に従います。

1. Dreamweaver で 任意の ColdFusion ページを開きます。
2. コンポーネントパネル（ウィンドウ／コンポーネント）のポップアップメニューから「CF コンポーネント」 を選択します。
3. パネルの「更新」ボタンをクリックして、コンポーネントを取得します。

   サーバー上のコンポーネントパッケージが表示されます。コンポーネントパッケージは、CFC ファイルが格納されているフォルダーです。

   既存のコンポーネントパッケージが表示されない場合は、パネルのツールバーにある「更新」ボタンをクリックします。
4. サイトフォルダーにある CFC だけを表示する場合は、コンポーネントパネルツールバーの「現在のサイトの CFC のみを表示」ボタンをクリックします。
   注意： この機能は、ColdFusion MX 6 以降を実行するコンピューターを Dreamweaver のテストサーバーとして定義している場合にのみ使用できます。
   注意： 現在のリストがリモートサーバーの仮想フォルダーに表示される場合は、フィルタリングがうまく機能していません。
5. パッケージ名の隣の「+」ボタンをクリックして、パッケージに格納されているコンポーネントを表示します。
   - コンポーネントの関数のリストを表示するには、コンポーネント名の隣の「+」ボタンをクリックします。
   - 関数が取る引数、引数のタイプ、それらの引数が必須またはオプションであるかを確認するには、ツリービューの関数のブランチを開きます。

     引数を取らない関数は、その隣に「+」ボタンが表示されません。

- 引数、関数、コンポーネント、またはパッケージの詳細を素早く表示するには、ツリービュー内で項目を選択して、パネルのツールバー上の「詳細を取得します」ボタンをクリックします。

  または、項目を右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、ポップアップメニューから「詳細を取得します」を選択します。

  選択した項目に関する詳細情報がメッセージボックスに表示されます。

トップへ戻る

Dreamweaver での CFC の編集

Dreamweaver では、サイトに対して定義された ColdFusion コンポーネントのコードを効率的に編集することができます。例えば、Dreamweaver を終了せずに、コンポーネント関数を追加、変更、または削除できます。

この機能を使用するには、開発環境を以下のように設定する必要があります。

- ColdFusion をローカルで実行します。
- Dreamweaver の詳細設定のサイト定義ダイアログボックスの「テストサーバー」カテゴリで、「ローカル/ネットワーク」のアクセスタイプを指定します。
- 詳細設定のサイト定義ダイアログボックスで、ローカルルートフォルダーのパスに、テストサーバーフォルダーのパスと同じものを指定します（例えば、c:¥Inetpub¥wwwroot¥cf_projects¥myNewApp¥）。パスを確認して変更する場合は、サイト／サイトの編集を選択します。
- コンポーネントは、ローカルサイトフォルダー、またはご使用のハードディスクの任意のサブフォルダーに格納します。

Dreamweaver で任意の ColdFusion ページを開き、コンポーネントパネルにコンポーネントを表示します。コンポーネントを表示するには、コンポーネントパネル（ウィンドウ／コンポーネント）を開き、パネルのポップアップメニューから「CF コンポーネント」を選択し、パネル上の「更新」ボタンをクリックします。

ColdFusion をローカルで実行しているため、Dreamweaver には、ご使用のハードディスク上のコンポーネントパッケージが表示されます。

次の手順でコンポーネントを編集します。

1. Dreamweaver で任意の ColdFusion ページを開き、コンポーネントパネル（ウィンドウ／コンポーネント）にコンポーネントを表示します。
2. パネルのポップアップメニューから「CF コンポーネント」を選択し、パネル上の「更新」ボタンをクリックします。

   ColdFusion をローカルで実行しているため、Dreamweaver には、ご使用のハードディスク上のコンポーネントパッケージが表示されます。

   注意： CFC レコードセットを視覚的に編集するには、バインディングパネルでレコードセットをダブルクリックします。
3. コンポーネントファイルを編集するには、パッケージを開き、ツリービュー内のコンポーネント名をダブルクリックします。

   コンポーネントのファイルがコードビューで開きます。
4. 特定の関数、パラメーター、またはプロパティを編集するには、ツリービュー内の項目をダブルクリックします。
5. コードビュー内で変更を手作業で行います。
6. ファイルを保存します（ファイル／保存）。
7. コンポーネントパネルで新しい関数を確認するには、パネルのツールバーにある「更新」ボタンをクリックして表示を更新します。

トップへ戻る

CFC を使用する Web ページの作成

Web ページでコンポーネント関数を使用する方法の 1 つに、ページが要求されたときに関数を呼び出すコードをページに書き込む方法があります。Dreamweaver は、このコードの作成を支援します。
注意： コンポーネントを使用する他の方法については、Dreamweaver から ColdFusion のヘルプ（ヘルプ／ColdFusion の使用）を参照してください。

1. Dreamweaver で、コンポーネント関数を使用する ColdFusion ページを開きます。
2. コードビューに切り替えます（表示／コード）。
3. コンポーネントパネル（ウィンドウ／コンポーネント）を開き、パネルのポップアップメニューから「CF コンポーネント」を選択します。
4. 必要なコンポーネントを見つけ出し、以下の方法のいずれかで挿入します。
   - 関数をツリービューからページにドラッグします。関数を呼び出すコードがページに挿入されます。
   - パネル内の関数を選択し、パネルのツールバー上の「挿入」ボタン（右の 2 番目のボタン）をクリックします。ページの挿入ポイントにコードが挿入されます。
5. パラメーターのある関数を挿入する場合は、手作業でパラメーターコードを完成させます。

   詳しくは、Dreamweaver から ColdFusion のヘルプ（ヘルプ／ColdFusion の使用）を参照してください。
6. ページを保存します（ファイル／保存）。

トップへ戻る

CFC のレコードセットの定義

Dreamweaver では、ColdFusion コンポーネント（CFC）にレコードセット（ColdFusion クエリー）を定義できます。CFC にレコードセットを定義しておくことで、レコードセットを使用するページごとにレコードセットを定義する必要がなくなります。CFC にレコードセットを一度定義し、異なるページでその CFC を使用します。
注意： この機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行するコンピューターにアクセスできる場合にだけ使用できます。詳しくは、ColdFusion 拡張機能の有効化を参照してください。

1. Dreamweaver で CFC ファイルを作成するか、既存の CFC ファイルを開きます。
2. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「レコードセット（クエリー）」を選択します。

   レコードセットダイアログボックスが表示されます。基本設定または詳細設定のレコードセットダイアログボックスを使用することができます。
3. CFC の既存の関数を使用する場合は、関数ポップアップメニューから関数を選択し、手順 5 に進みます。

   レコードセットは関数内で定義します。
4. CFC の新規関数を定義する場合は、「新しい関数」ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスに関数名を入力して、「OK」をクリックします。

   名前に使用できるのは、英数字とアンダースコア（_）だけです。
5. 関数のレコードセットを定義するには、レコードセットダイアログボックスのオプションを適宜設定します。

   新しい関数が、そのレコードセットが定義されている CFC ファイルに挿入されます。

トップへ戻る

CFC レコードセットを動的コンテンツのソースとして使用

ColdFusion コンポーネント（CFC）にレコードセットを定義する関数がある場合は、コンポーネントをページの動的コンテンツのソースとして使用できます。
注意： この機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行するコンピューターにアクセスできる場合にだけ使用できます。詳しくは、「ColdFusion 拡張機能の有効化」を参照してください。

1. Dreamweaver で ColdFusion ページを開きます。
2. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「レコードセット（クエリー）」を選択します。

   レコードセットダイアログボックスが表示されます。基本設定または詳細設定のレコードセットダイアログボックスを使用することができます。
3. 「CFC クエリー」ボタンをクリックします。
4. CFC クエリーダイアログボックスで適宜設定を行い、「OK」をクリックします。もう一度「OK」をクリックして、CFC レコードセットをバインディングパネルの使用可能なコンテンツソースのリストに追加します。
5. バインディングパネルを使用して、各種ページエレメントにレコードセットをバインドします。

   詳しくは、ページへの動的コンテンツの追加を参照してください。

トップへ戻る

CFC による動的コンテンツの定義

Dreamweaver では、レコードセット定義を含む CFC を使用して、レコードセットを動的コンテンツのソースとして定義できます。

1. 「名前」ボックスに、CFC レコードセットの名前を入力します。

   一般的には、接頭辞「rs」をレコードセット名に付けることで、レコードセット名をコード内の他のオブジェクト名と区別します（例：rsPressRelease）。

   レコードセット名に使用できるのは、英数字とアンダースコア（_）だけです。特殊文字またはスペースは使用できません。
2. サーバーで既に定義されているパッケージから選択します。

   パッケージがポップアップメニューに表示されない場合は、ポップアップメニューの近くにある「更新」ボタンをクリックしてパッケージリストを更新します。

   最初に CFC をテストサーバーにアップロードしていることを確認します。テストサーバーの CFC だけが表示されます。
3. 現在選択しているパッケージで定義されているコンポーネントを選択します。

   コンポーネントポップアップメニューにコンポーネントが 1 つも表示されない場合、または以前に作成したコンポーネントがメニューに表示されない場合は、CFC ファイルをテストサーバーにアップロードする必要があります。
4. （オプション）コンポーネントを作成するには、「新規コンポーネントの作成」ボタンをクリックします。
   a. 「名前」ボックスに、新規 CFC の名前を入力します。名前に使用できるのは、英数字とアンダースコア（_）だけです。
   b. 「コンポーネントディレクトリ」ボックスに、CFC の保存場所のパスを入力するか、「参照」ボタンを使用してフォルダーを指定しま

す。
注意： フォルダーは、サイトのルートフォルダーの相対パスである必要があります。

5. 関数ポップアップメニューから、レコードセット定義が含まれる関数を選択します。

   関数ポップアップメニューには、現在選択しているコンポーネントで定義される関数だけが表示されます。ポップアップメニューに関数が 1 つも表示されない場合、または現在表示されている関数リストに最後に行った変更が反映されていない場合は、最後に行った変更が保存されておりサーバーにアップロードされていることを確認します。

   注意： 「接続」ボックスと「SQL」ボックスは読み取り専用です。

6. 「編集」ボタンをクリックして、関数のパラメーターとして渡す必要のある各パラメーター（タイプ、値、デフォルト値）を編集します。
   a. 現在のパラメーターの値を入力するには、値ポップアップメニューから値タイプを選択し、右側のボックスに値を入力します。

      値タイプは URL パラメーター、フォーム変数、Cookie、セッション変数、アプリケーション変数、または入力値のいずれかです。

   b. 「初期設定値」ボックスにパラメーターの初期設定値を入力します。

      ランタイム値が返されない場合は、パラメーターの初期設定値が使用されます。

   c. 「OK」をクリックします。

   レコードセットのデータベース接続と SQL クエリーは修正できません。これらのフィールドは、常に無効になっています。接続と SQL は参照用に表示されています。

7. 「テスト」をクリックしてデータベースに接続し、レコードセットのインスタンスを作成します。

   SQL ステートメントにページパラメーターが含まれる場合は、「テスト」をクリックする前に、「パラメーター」ボックスの「初期設定値」列に有効なテスト値が入力されていることを確認してください。

   クエリーの実行に成功した場合は、テーブルにレコードセットが表示されます。各行にはレコードが含まれており、各列はレコードのフィールドを表しています。

   「OK」をクリックして CFC クエリーをクリアします。

8. 「OK」をクリックします。

関連項目
テストサーバーの設定

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

データベース接続のトラブルシューティング

権限に関するトラブルシューティング
Microsoft エラーメッセージのトラブルシューティング
MySQL エラーメッセージのトラブルシューティング

権限に関するトラブルシューティング

トップへ戻る

適切なフォルダー権限やファイル権限がないことが原因で問題が発生することがあります。データベースが Windows 2000 または Windows XP コンピューターに置かれており、Web ブラウザーで動的ページを表示したり、ライブビューのときに動的ページを表示しようとするとエラーメッセージが表示される場合は、権限に問題があると考えられます。

データベースにアクセスしようとしている Windows アカウントに、適切な権限がありません。認証済みアクセスに対しページにセキュリティが設定されている場合、そのアカウントは、匿名 Windows アカウント（初期設定では、IUSR_コンピューター名）または特定のユーザーアカウントのいずれかであることが考えられます。

権限を変更して、Web サーバーでデータベースファイルにアクセスできるように、IUSR_コンピューター名 アカウントに正しい権限を割り当てる必要があります。さらに、データベースファイルが置かれているフォルダーにも、そのデータベースに書き込むための権限がいくつか設定されているはずです。

ページへの匿名アクセスを許可する場合は、以下の手順で説明するように、IUSR_コンピューター名 アカウントにフォルダーおよびデータベースファイルに対するフル制御の権限を付与します。

さらに、データベースのパスが UNC を使用して参照されている場合（\\Server\Share）、共有のアクセス権限に、IUSR_コンピューター名 アカウントのフルアクセスを割り当てます。共有がローカル Web サーバー上である場合も、この手順で解決できます。

データベースを他の場所からコピーすると、コピー先フォルダーの権限が継承されない場合があります。その場合は、データベースに対する権限を変更する必要があります。

データベースファイルの権限の確認または変更（**Windows XP**）

1. そのコンピューターに対する管理者権限を持っていることを確認します。
2. Windows エクスプローラーで、データベースファイルまたはデータベースが格納されているフォルダーを見つけて、そのファイルまたはフォルダーを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
3. 「セキュリティ」タブを選択します。
   注意： この手順は、NTFS ファイルシステムを使用している場合のみ実行してください。FAT ファイルシステムを使用している場合は、ダイアログボックスに「セキュリティ」タブが表示されません。
4. IUSR_コンピューター名 アカウントがグループ名またはユーザー名リストに表示されていない場合は、「追加」ボタンをクリックして追加してください。
5. ユーザー、コンピューター、またはグループの選択ダイアログボックスで、「詳細設定」をクリックします。

   ダイアログボックスに詳細オプションが表示されます。
6. 「場所」をクリックし、コンピューター名を選択します。
7. 「今すぐ検索」をクリックすると、コンピューターと関連するアカウント名の一覧が表示されます。
8. IUSR_コンピューター名 アカウントを選択してから、「OK」を 2 回クリックして、ダイアログボックスを閉じます。
9. IUSR アカウントにすべての権限を割り当てるには、「フル コントロール」を選択してから「OK」をクリックします。

データベースファイルの権限の確認または変更（**Windows 2000**）

1. そのコンピューターに対する管理者権限を持っていることを確認します。
2. Windows エクスプローラーで、データベースファイルまたはデータベースが格納されているフォルダーを見つけて、そのファイルまたはフォルダーを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
3. 「セキュリティ」タブを選択します。
   注意： この手順は、NTFS ファイルシステムを使用している場合のみ実行してください。FAT ファイルシステムを使用している場合は、ダイアログボックスに「セキュリティ」タブが表示されません。
4. Windows アカウントとして IUSR_コンピューター名 アカウントがアクセス許可ダイアログボックス内に表示されていない場合は、「追加」ボタンをクリックして追加してください。
5. ユーザー、コンピューター、またはグループの選択ダイアログボックスの場所メニューからコンピューター名を選択すると、コンピューターと関連するアカウント名の一覧が表示されます。
6. IUSR_コンピューター名 アカウントを選択して、「追加」をクリックします。

7. IUSR アカウントにすべての権限を割り当てるには、アクセス許可メニューから「フル コントロール」を選択し、「OK」をクリックします。

   セキュリティを強化するには、データベースが格納されている Web フォルダーの読み取り権限をオフにします。この設定によって、フォルダーの参照は許可されなくなりますが、Web ページがデータベースにアクセスすることはできます。

   IUSR アカウントと Web サーバー権限について詳しくは、Adobe サポートセンターの以下のテクニカルノートを参照してください。

   - Understanding anonymous authentication and the IUSR account（www.adobe.com/go/authentication_jp）（英語のみ）
   - Setting IIS Web server permissions（www.adobe.com/go/server_permissions_jp）（英語のみ）

トップへ戻る

Microsoft エラーメッセージのトラブルシューティング

これらの Microsoft エラーメッセージは、IIS（Internet Information Server）を Access や SQL Server などの Microsoft データベースシステムで使用する場合に動的ページを要求すると表示されることがあります。

注意： Adobe では、Microsoft Windows および IIS などのサードパーティ製ソフトウェアに関するテクニカルサポートは提供していません。この情報を参照しても問題が解決しない場合には、Microsoft テクニカルサポートに問い合わせるか、Microsoft サポート Web サイト（http://support.microsoft.com/）を参照してください。

80004005 番のエラーについて詳しくは、Microsoft Web サイトの記事「Active Server Pages および Microsoft Data Access Components におけるエラー 80004005 のトラブルシューティング ガイド（Q306518）」（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;Q306518）を参照してください。

「参照」80004005—データソース名が見つかりません。デフォルトドライバーが指定されていません

このエラーは、動的ページを Web ブラウザーやライブビューで表示しようとすると発生します。エラーメッセージは、使用しているデータベースおよび Web サーバーによって異なります。エラーメッセージのバリエーションには、他に次のようなものがあります。

- 80004005—ドライバーの SQLSetConnectAttr は失敗しました
- 80004005—一般的なエラー。レジストリキー 'DriverId' を開けません

  考えられるいくつかの原因と解決策を次に示します。

- ページから DSN を検索できません。Web サーバーとローカルマシンの両方で DSN が作成済みであることを確認してください。
- DSN が、システム DSN としてではなくユーザー DSNとして設定されている可能性があります。ユーザー DSN を削除して、システム DSN を作成し、置き換えてください。

  注意： ユーザー DSN を削除しないと、重複する DSN 名により新たに ODBC エラーが発生します。

Microsoft Access を使用している場合、データベースファイル（.mdb）がロックされていることも考えられます。異なる DSN 名からデータベースにアクセスすると、ロックされることがあります。Windows エクスプローラーで、データベースファイル（.mdb）が保存されているフォルダー内にロックファイル（.ldb）がないか調べ、ある場合はその .ldb ファイルを削除してください。他の DSN が同じデータベースファイルをポイントしている場合、今後エラーが発生しないようにするため、その DSN を削除します。必要な変更を加えたら、コンピューターを再起動します。

[参照]80004005—'（不明）' を使用できません。ファイルは既に使用されています

このエラーは、Microsoft Access データベースを使用中に、動的ページを Web ブラウザーやライブビューで表示しようとすると発生します。このエラーメッセージには、他に「80004005—Microsoft Jet データベースエンジンはファイル '（不明）' を開けません」があります。

原因として、権限の問題が考えられます。いくつかの具体的な原因と解決策を以下に示します。

- Internet Information Server のアカウント（通常 IUSR）に、ファイルベースのデータベースまたはそのファイルを含むフォルダーに対する正しい Windows の権限がないことが考えられます。ユーザーマネージャーで IIS アカウント（IUSR）に対する権限を確認してください。
- 一時ファイルを作成または破壊する権限がない可能性もあります。ファイルおよびフォルダーに対する権限を確認してください。一時ファイルを作成または破壊する権限があることを確認します。一時ファイルは通常、データベースと同じフォルダーに作成されますが、さらに ¥Winnt などの別のフォルダー内に作成されることもあります。
- Windows 2000 では、Access データベース DSN に対し、タイムアウト値の変更が必要になる場合があります。タイムアウト値を変更するには、スタート／設定／コントロール パネル／管理ツール／データソース（ODBC）を選択します。「システム DSN」タブをクリックし、正しい DSN をハイライトにし、「構成」ボタンをクリックします。「オプション」ボタンをクリックしてページのタイムアウト値を 5000 に変更します。

  それでも問題が解決されない場合は、以下の Microsoft Knowledge Base の記事を参照してください。

- PRB: 80004005 「'（不明）' は既に使用されているので、使用できませんでした」（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;Q174943）
- PRB:Microsoft Access Database Connectivity Fails in Active Server Pages（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;Q253604）
- PRB: "Error Cannot Open File Unknown" Using Access（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;Q166029）

[参照]80004005—ログインに失敗しました()

このエラーは、Microsoft SQL Server の使用中に、動的ページを Web ブラウザーやライブビューで表示しようとすると発生します。

このエラーは、送信されてきたログオンアカウントまたはパスワードを SQL Server が受け付けないか、認識しない場合（標準セキュリティ使用時）、または Windows アカウントが SQL アカウントに対応付けられていない場合（統合セキュリティ使用時）に SQL Server で発生します。

原因と解決策を以下に示します。

- 標準セキュリティ使用時には、アカウント名およびパスワードが間違っている可能性があります。接続ストリングで定義されている必要のある、システム管理者のアカウントとパスワード（UID=sa、パスワードなし）を試してください（DSN では、ユーザー名とパスワードは保存されません）。
- 統合セキュリティ使用時には、そのページを呼び出している Windows アカウントを調べ、対応付けられている SQL アカウント（ある場合）を調べてください。
- SQL Server では SQL アカウント名の中にアンダースコアを使用できません。Windows の IUSR_machinename アカウントを、手動で同名の SQL アカウントに対応付けると、失敗します。アンダースコアを使用しているアカウントを、 アンダースコアを使用していない SQL のアカウント名に対応付けてください。

「参照」80004005—更新可能なクエリを使用してください

このエラーは、イベントによりレコードセットが更新されたり、データがレコードセットに挿入されると発生します。

考えられるいくつかの原因と解決策を次に示します。

- データベースを格納するフォルダーに設定された権限に対する制限が多すぎます。IUSR 権限を読み書き可能に設定する必要があります
- データベースファイル自体の権限で、完全に読み書きが有効になっていません。
- データベースが Inetpub/wwwroot ディレクトリ以外に置かれている可能性があります。データベースが wwwroot ディレクトリに置かれていないと、データの表示および検索はできても更新できません。
- レコードセットが更新不可能なクエリーに基づいています。更新不可能なクエリーの良い例は、データベース内の結合です。クエリーを再構成して、更新可能にします。

  このエラーについて詳しくは、Microsoft Knowledge Base の記事「PRB: ASP Error "The Query Is Not Updateable" When You Update Table Record」（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;Q174640）を参照してください。

「参照」80040e07—条件式のデータタイプが一致しません

このエラーは、サーバーが「レコードの挿入」または「レコードの更新」サーバービヘイビアーを含むページを処理しようとし、サーバービヘイビアーで Microsoft Access データベース内の日付/時刻列の値を空文字列（""）に設定しようとすると発生します。

Microsoft Access は、強力なデータタイプ付けを特徴としており、指定された列の値に対し厳格な規則があります。SQL クエリー内の空文字列値は、Access の日付/時刻列に格納できません。現時点の回避策としては、Access の日付/時刻列に空文字列（""）を挿入または更新しない、あるいは使用するデータタイプに対し指定された値の範囲に対応しない他の値を挿入または更新しないようにする方法しかありません。

「参照」80040e10—パラメーターが少なすぎます

このエラーは、SQL クエリーで指定した列がデータベーステーブル内に存在しない場合に発生します。SQL クエリーとデータベーステーブル内の列名を確認してください。このエラーは多くの場合、入力の際に文字を間違えることが原因です。

「参照」80040e10—COUNT フィールドが不正です

このエラーは、Web ブラウザーで「レコードの挿入」サーバービヘイビアーを含むページをプレビューし、これを使用して Microsoft Access データベースにレコードを挿入しようとすると発生します。

フィールド名に疑問符（?）が含まれるデータベースフィールドにレコードを挿入しようとしている 可能性があります。疑問符は、Microsoft Access などの一部のデータベースエンジンでは特殊文字として扱われます。したがって、データベースのテーブル名やフィールド名に使用すべきではありません。

データベースシステムを開き、フィールド名から疑問符（?）を削除し、このフィールドを参照しているページのサーバービヘイビアーを更新します。

「参照」80040e14—INSERT INTO ステートメントのシンタックスエラー

このエラーは、サーバーが「レコードの挿入」サーバービヘイビアーを含むページを処理しようとすると発生します。

このエラーは通常、データベース内のフィールド、オブジェクト、または変数の名前に関する以下の問題の 1 つ以上が原因で発生します。

- 予約語を名前として使用している。大半のデータベースには予約語がいくつかあります。例えば、「date」は予約語であり、データベース内の列名に使用することはできません。
- 名前の中で特殊文字を使用している。例えば、以下の特殊文字があります。

  . / * : ! # & - ?
- 名前の中でスペースを使用している。

このエラーは、データベース内のオブジェクトに対して定義した入力マスクに、挿入されたデータが適合しない場合にも発生します。

この問題を解決するには、データベース内で列名を指定するときに、「date」、「name」、「select」、「where」、「level」などの予約語を使用しないようにします。さらに、スペースと特殊文字は削除してください。

一般的なデータベースシステムの予約語は、以下の Web ページを参照してください。

- Microsoft Access（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;Q209187）
- Microsoft SQL Server（http://msdn.microsoft.com/library/default.asp?url=/library/ja-jp/tsqlref/ts_ra-rz_9oj7.asp）
- MySQL（http://dev.mysql.com/doc/mysql/en/reserved-words.html）

「参照」80040e21—Insert または Update の ODBC エラー

このエラーは、サーバーが「レコードの更新」または「レコードの挿入」サーバービヘイビアーを含むページを処理しようとすると発生します。データベースでは、サーバービヘイビアーが実行しようとする更新または挿入操作を処理できません。

考えられるいくつかの原因と解決策を次に示します。

- サーバービヘイビアーが、データベーステーブルのオートナンバーフィールドを更新するか、またはレコードをオートナンバーフィールドに挿入しようとしています。オートナンバーフィールドはデータベースシステムによって自動的に値が埋め込まれるため、外部的に値を埋め込もうとしても失敗します。
- サーバービヘイビアーで更新または挿入しているデータが、そのデータベースフィールドに合わない間違った型です。例えば、データをブール（yes/no）型フィールドに挿入する、文字列を数値型フィールドに挿入する、表示書式が間違っている文字列を日付/時刻型フィールドに挿入するなどです。

「参照」800a0bcd—BOF または EOF が true です

このエラーは、動的ページを Web ブラウザーやライブビューで表示しようとすると発生します。

この問題は、空のレコードセットから抽出したデータをページに表示しようとすると発生します。この問題を解決するには、次のように「領域の表示」サーバービヘイビアーを、ページに表示する動的コンテンツに適用します。

1. ページ上の動的コンテンツをハイライト表示します。
2. サーバービヘイビアーパネルでプラス「+」ボタンをクリックし、領域の表示／レコードセットが空でない場合は領域を表示を選択します。
3. 動的コンテンツの提供元のレコードセットを選択し、「OK」をクリックします。
4. ページ上の動的コンテンツの各エレメントに対し、手順 1 〜 3 を繰り返します。

トップへ戻る

MySQL エラーメッセージのトラブルシューティング

MySQL 4.1 への PHP データベース接続をテストすると、「Client does not support authentication protocol requested. Consider upgrading MySQL client」というエラーメッセージが表示されることがよくあります。

以前のバージョンの MySQL に戻すか、PHP 5 をインストールしていくつかの DLL（ダイナミックリンクライブラリ）をコピーする必要があります。詳細な手順については、PHP 開発環境の設定を参照してください。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

アプリケーション開発のためのコンピューター設定

Web アプリケーションの構築に必要なソフトウェア
Web サーバーの基本事項
Web サーバーの選択
アプリケーションサーバーの選択
データベースの選択
ColdFusion 開発環境の設定
PHP 開発環境の設定
ASP 開発環境の設定
アプリケーションのルートフォルダーの作成
Dreamweaver サイトの定義について

トップへ戻る

Web アプリケーションの構築に必要なソフトウェア

Adobe® Dreamweaver® で Web アプリケーションを構築するには、以下のソフトウェアが必要です。

- Web サーバー
- Web サーバーと共に動作するアプリケーションサーバー

  注意： Web アプリケーションに関しては、Web サーバーとアプリケーションサーバーという用語は、ハードウェアではなくソフトウェアを意味します。

  アプリケーションと共にデータベースを使用する場合は、以下のソフトウェアも必要です。

- データベースシステム
- データベースをサポートするデータベースドライバー

  Web ホスティング会社では、Web アプリケーションをテストおよび配置するためのソフトウェアを貸し出すサービスを提供しています。Dreamweaver がインストールされているコンピューターに、必要なソフトウェアをインストールして開発できる場合もあります。また、ソフトウェアをネットワークコンピューター（通常 Windows 2000 または Windows XP コンピューター）にインストールし、チームの他のデベロッパーがプロジェクトに参加できるようにすることもできます。

  Web アプリケーションと共にデータベースを使用する場合は、まずデータベースに接続する必要があります。

トップへ戻る

Web サーバーの基本事項

動的な Web ページを開発してテストするには、正常に動作する Web サーバーが必要です。Web サーバーは、Web ブラウザーからの要求に応答して Web ページを処理するソフトウェアです。Web サーバーは、HTTP サーバーとも呼ばれます。Web サーバーは、ローカルコンピューターにインストールして使用することができます。

Mac OS を使用している場合は、Mac OS に既にインストールされている Apache Web サーバーを使用できます。

注意： Adobe では、IIS（Microsoft Internet Information Server）などのサードパーティ製ソフトウェアに対するテクニカルサポートは提供していません。サポートが必要な場合は、Microsoft のテクニカルサポートに連絡してください。
IIS（Internet Information Server）を使用して Web アプリケーションを開発する場合、Web サーバーの初期設定の名前は、使用しているコンピューターの名前になります。サーバー名を変更するには、コンピューターの名前を変更します。コンピューターに名前が付いていない場合は、localhost という名前が使用されます。

サーバー名は、サーバーのルートフォルダーに対応していて、Windows コンピューターでは多くの場合 C:¥Inetpub¥wwwroot になります。コンピューター上で実行しているブラウザーに、次の URL を入力すると、ルートフォルダーに格納されている Web ページを開くことができます。

http://サーバー名/ファイル名

例えば、mer_noire という名前のサーバーの C:¥Inetpub¥wwwroot¥ に soleil.html という Web ページが格納されている場合は、ローカルコンピューターで実行するブラウザーに次の URL を入力するとページが開きます。

http://mer_noire/soleil.html

注意： URL では、バックスラッシュではなくスラッシュを使用してください。
また、ルートフォルダーの任意のサブフォルダーを URL に指定すると、サブフォルダーに格納されている Web ページを開くことができます。例えば、次のように soleil.html ファイルがサブフォルダー gamelan に格納されているとします。

C:¥Inetpub¥wwwroot¥gamelan¥soleil.html

コンピューターで実行するブラウザーに次の URL を入力すると、このページが開きます。

http://mer_noire/gamelan/soleil.html

使用しているコンピューター上で Web サーバーが実行されている場合は、サーバー名を localhost に置き換えて使用できます。例えば、次の 2 つの URL は、どちらも同じページをブラウザーに表示します。

http://mer_noire/gamelan/soleil.html

http://localhost/gamelan/soleil.html

注意： サーバー名と localhost の他に、127.0.0.1（例えば、http://127.0.0.1/gamelan/soleil.html）も使用できます。

トップへ戻る

Web サーバーの選択

Web アプリケーションを開発およびテストする場合、IIS（Microsoft Internet Information Server）や Apache HTTP Server などの一般的な Web サーバーから選択できます。

Web ホスティングサービスを使用しない場合は、選択した Web サーバーをローカルコンピューターにインストールして開発を行います。Windows および Mac OS で ColdFusion Web アプリケーションを開発する場合は、ColdFusion 8 アプリケーションサーバーのデベロッパー版に付属している Web サーバーを使用できます。この Web サーバーは、無償でインストールして使用できます。

それ以外で Windows を使用している場合は、IIS をインストールして、ローカルコンピューターで Web サーバーを実行することができます。この Web サーバーは、既にシステムにインストールされている可能性もあります。フォルダー構造を調べて、C:¥Inetpub フォルダーまたは D:¥Inetpub フォルダーがあるかどうかを確認してください。IIS がインストールされていれば、インストール時にこのフォルダーが作成されています。

Mac OS ユーザーは、オペレーティングシステムに付属しているローカル Apache Web サーバーを使用できます。

その他の Web サーバーのインストールと設定については、サーバーのベンダーのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

トップへ戻る

アプリケーションサーバーの選択

アプリケーションサーバーは、Web サーバーによる動的ページの処理を支援するソフトウェアです。アプリケーションサーバーは、予算、使用するサーバーテクノロジ（ColdFusion、ASP、または PHP）、使用する Web サーバーの種類などを考慮して選択します。

予算 ハイエンドアプリケーションサーバーの中には、高価なうえに管理に手間がかかるものもあります。一方、管理が簡単でコストが低いソリューション（ColdFusion など）を提供するベンダーもあります。アプリケーションサーバーの中には、Web サーバーに組み込まれているもの（Microsoft IIS など）や、インターネットから無償でダウンロードできるもの（PHP など）があります。
サーバーテクノロジ アプリケーションサーバーは、様々なテクノロジを使用します。Dreamweaver は、3 つのサーバーテクノロジ（ColdFusion、ASP、および PHP）をサポートしています。次の表は、Dreamweaver でサポートされているサーバーテクノロジで使用できる一般的なアプリケーションサーバーの一覧です。

サーバーテクノロジ	アプリケーションサーバー
ColdFusion	Adobe ColdFusion 8
ASP	Microsoft IIS
PHP	PHP サーバー

ColdFusion について詳しくは、ヘルプメニューの「ColdFusion ヘルプ」を選択してください。

ASP について詳しくは、Microsoft Web サイト（http://msdn.microsoft.com/library/default.asp?url=/library/ja-jp/dnanchor/html/activeservpages.asp）を参照してください。

PHP について詳しくは、PHP Web サイト（www.php.net/）を参照してください。

トップへ戻る

データベースの選択

データベースは、保存するデータの量と複雑さに応じて様々な形式をとります。データベースを選択する場合は、予算、データベースへの予想アクセス数など、いくつかの要因を考慮する必要があります。

予算 ハイエンドアプリケーションデータベースサーバーの中には、高価なうえに管理に手間がかかるものもあります。より操作が容易で低コストのソリューションとしては、Microsoft Access やオープンソースデータベースの MySQL などがあります。
ユーザー 多数のユーザーがサイトにアクセスすることを想定している場合は、想定されるユーザー数に対応できるデータベースを選択します。データモデリングにおける高い柔軟性と、同時に多数のユーザーをサポートする能力が必要な Web サイトの場合は、Microsoft SQL Server や Oracle などのサーバーベースのリレーショナルデータベース（一般に RDBMS と呼ばれます）を使用します。

トップへ戻る

ColdFusion 開発環境の設定

Windows または Mac OS コンピューターで Dreamweaver 用の ColdFusion 開発環境を設定する方法について詳しくは、アドビ システムズ社の Web サイト（www.adobe.com/devnet/dreamweaver/articles/setup_cf.html）を参照してください。

Windows および Mac OS ユーザーは、フル機能を備えた ColdFusion アプリケーションサーバーのデベロッパー版をアドビ システムズ社の Web サイト（www.adobe.com/go/coldfusion_jp）から無償でダウンロードしてインストールできます。

注意： デベロッパー版は、Web アプリケーションを開発およびテストするために、非営利目的で使用してください。これには、配布のライセンスは与えられていません。デベロッパー版は、ローカルホストからの要求と 2 つのリモート IP アドレスからの要求をサポートしています。デベロッパー版には有効期限がないので、必要なだけ Web アプリケーションの開発とテストを行うことができます。詳細については ColdFusion ヘルプ（ヘルプ／ColdFusion ヘルプ）を参照してください。

インストール時に ColdFusion を設定し、ColdFusion に組み込まれている Web サーバーを使用するか、またはシステムにインストールされている別の Web サーバーを使用するかを選択できます。一般に、開発環境と本稼動環境は同じ条件にするのが好ましいとされています。そのため、開発用のコンピューターに Microsoft IIS などの既存の Web サーバーがある場合は、必要に応じて、ColdFusion に組み込まれている Web サーバーではなく、既存の Web サーバーを使用してください。

トップへ戻る

PHP 開発環境の設定

Windows または Mac OS コンピューターで Dreamweaver 用の PHP 開発環境を設定する方法について詳しくは、アドビ システムズ社の Web サイト（www.adobe.com/jp/devnet/dreamweaver/articles/setup_php.html）を参照してください。

PHP アプリケーションサーバーには、Windows、Linux、UNIX、HP-UX、Solaris、および Mac OS X システム用のものがあります。アプリケーションサーバーについて詳しくは、PHP のマニュアルを参照してください。マニュアルも PHP の Web サイト（www.php.net/download-docs.php）からダウンロードできます。

トップへ戻る

ASP 開発環境の設定

Windows または Mac OS コンピューターで Dreamweaver 用の PHP 開発環境を設定する方法について詳しくは、アドビ システムズ社の Web サイト（www.adobe.com/jp/devnet/dreamweaver/articles/setup_php.html）を参照してください。

ASP ページを実行するには、Microsoft IIS（Internet Information Services）など、Microsoft Active Server Pages 2.0 をサポートするアプリケーションサーバーが必要です。Microsoft IIS は、Windows 2000 および Windows XP Professional に同梱されています。Windows XP Professional を使用している場合は、ローカルコンピューターに IIS をインストールして実行できます。Mac OS を使用している場合は、ASP サービスを提供する Web ホスティングサービスを使用するか、リモートコンピューターに IIS をインストールできます。

トップへ戻る

アプリケーションのルートフォルダーの作成

Web ホスティング業者にサインアップするか、またはサーバーソフトウェアを自身で設定した後、Web サーバーを実行しているコンピューターに Web アプリケーションのルートフォルダーを作成します。Web サーバーを実行している場所によって、ルートフォルダーはローカルまたはリモートになります。

Web サーバーは、Web ブラウザーからの HTTP 要求に対して、このフォルダーまたはそのサブフォルダー内にあるファイルを返します。例えば、ColdFusion 8 を実行しているコンピューターで、¥ColdFusion8¥wwwroot フォルダーおよびそのサブフォルダー内にあるすべてのファイルを Web ブラウザーで開けるようにします。

次の表では、選択した Web サーバーのデフォルトルートフォルダーを示します。

Web サーバー	デフォルトルートフォルダー
ColdFusion 8	¥ColdFusion8¥wwwroot
IIS	¥Inetpub¥wwwroot
Apache（Windows）	¥apache¥htdocs
Apache（Mac OS）	Users:MyUserName:Sites

Web サーバーをテストするには、テスト用の HTML ページをデフォルトルートフォルダーに置き、ブラウザーでそのページの URL を入力して開いてみます。URL は、www.example.com/testpage.htm のように、ドメイン名と HTML ページのファイル名で構成されます。

Web サーバーをローカルコンピューターで実行している場合、ドメイン名の代わりに localhost を使用できます。使用している Web サーバーに応じて、以下の localhost URL のいずれかを入力します。

Web サーバー	**Localhost URL**
ColdFusion 8	http://localhost:8500/testpage.htm

IIS	http://localhost/testpage.htm
Apache（Windows）	http://localhost:80/testpage.htm
Apache（Mac OS）	http://localhost/~MyUserName/testpage.htm（ここで、MyUserName は、Mac OS ユーザー名です）

注意： 初期設定では、ColdFusion の Web サーバーはポート 8500 で実行され、Windows 版の Apache の Web サーバーはポート 80 で実行されます。
ページが期待どおりに開かない場合は、次のようなエラーが考えられます。

- Web サーバーが起動していない。起動手順については、Web サーバーのマニュアルを参照してください。
- ファイルの拡張子が .htm または .html ではない。
- ブラウザーの「アドレス」テキストボックスに、ページの URL（http://localhost:8500/testpage.htm など）ではなく、ページのファイルパス（c:¥ColdFusion8¥wwwroot¥testpage.htm など）が入力されている。
- URL が正しく入力されていない。入力ミスがないことを確認し、http://localhost:8080/testpage.htm/ のようにファイル名の後にスラッシュが付いていないかチェックします。

アプリケーション用のルートフォルダーを作成したら、ファイルを管理するための Dreamweaver サイトを定義します。

トップへ戻る

Dreamweaver サイトの定義について

Web アプリケーションを開発するためにシステムを設定したら、ファイルを管理するための Dreamweaver サイトを定義します。

定義するには、以下の要件を満たしておく必要があります。

- Web サーバーにアクセスできる。Web サーバーは、ローカルコンピューター、開発サーバーなどのリモートコンピューター、または Web ホスティング業者によって管理されているサーバーで実行できます。
- アプリケーションサーバーが Web サーバーを実行しているシステムにインストールされ、実行されている。
- Web サーバーを実行しているシステムに Web アプリケーションのルートフォルダーが作成されている。

Web アプリケーション用の Dreamweaver サイトを定義するには、次の手順に従います。

1. ローカルフォルダーの定義
ローカルフォルダーとは、ハードディスクにあるサイトファイルの作業用コピーを保存するフォルダーです。作成した新しい Web アプリケーションごとにローカルフォルダーを定義できます。ローカルフォルダーを定義すると、ファイルの管理や Web サーバーとのファイル転送を簡単に行うことができます。

2. リモートフォルダーの定義
Web サーバーを実行しているコンピューターにある 1 つのフォルダーを、Dreamweaver リモートフォルダーとして定義します。リモートフォルダーとは、Web サーバーに Web アプリケーション用に作成したフォルダーです。

3. テストフォルダーの定義
Dreamweaver では、作業中に動的コンテンツを生成および表示し、データベースに接続するためにこのフォルダーが使用されます。ローカルコンピューター、開発サーバー、ステージングサーバー、またはプロダクションサーバーのいずれかを、テストサーバーとすることができます。開発する動的ページを処理することができれば、どのサーバーを選択してもかまいません。

Dreamweaver サイトを定義したら、Web アプリケーションの構築を開始できます。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

アプリケーションのフォルダーの保護（ColdFusion）

サーバー上のフォルダーまたはサイトの保護（ColdFusion）

注意： ColdFusion は、Dreamweaver CC 以降では削除されています。

サーバー上のフォルダーまたはサイトの保護（ColdFusion）

トップへ戻る

Dreamweaver では、ColdFusion アプリケーションのルートフォルダーなど、特定のフォルダーをパスワードで保護することができます。サイトにアクセスするビジターが、保護されたフォルダー内のページを要求すると、ユーザー名とパスワードを入力するための画面が表示されます。ColdFusion ではユーザー名とパスワードをセッション変数に保存するので、セッション中であれば、ビジターはユーザー名とパスワードを再入力する必要がありません。

注意： この機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行するコンピューターにアクセスできる場合にだけ使用できます。

1. Dreamweaver で ColdFusion ドキュメントを開き、コマンド／ColdFusion ログインウィザードを選択します。
2. ColdFusion ログインウィザードを完了します。
   a. 保護するフォルダーのフルパスを指定して、「次へ」をクリックします。
   b. 次の画面で、以下に示す認証タイプの中から 1 つを選択します。
      簡易認証 全ユーザーに対して、1 つのユーザー名とパスワードを使用してアプリケーションを保護します。

      Windows NT 認証 NT ユーザー名とパスワードを使用してアプリケーションを保護します。

      LDAP 認証 LDAP サーバーに保存されているユーザー名とパスワードを使用してアプリケーションを保護します。
   c. ユーザーがログインする際に、ColdFusion ログインページまたはポップアップメニューのどちらを使用するかを指定します。
   d. 次の画面で、以下に示す設定を指定します。
      - 「簡易認証」を選択した場合は、ユーザーが入力する必要のあるユーザー名とパスワードを指定します。
      - 「Windows NT 認証」を選択した場合は、検証対象の NT ドメインを指定します。
      - 「LDAP 認証」を選択した場合は、検証対象の LDAP サーバーを指定します。
3. 新規ファイルをリモートサイトにアップロードします。ファイルはローカルのサイトフォルダーにあります。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

接続スクリプトの削除

「接続スクリプトを削除」コマンドの使用

トップへ戻る

「接続スクリプトを削除」コマンドの使用

「接続スクリプトを削除」コマンドを使用して、データベースにアクセスするために Dreamweaver でリモートフォルダーに配置されたスクリプトを削除することができます。これらのスクリプトは、Dreamweaver でデザイン時のオーサリングだけに必要なものです。

データベース接続ダイアログボックスの「テストサーバー上のドライバーを使用」オプションまたは「テストサーバーの DSN を使用」オプションを選択すると、Dreamweaver により、MMHTTPDB スクリプトファイルがテストサーバーに自動的にアップロードされます。これで、Dreamweaver で HTTP プロトコルを使用してリモートデータベースドライバーを操作することができます。これにより、Dreamweaver でサイトの作成に必要なデータベース情報を取得できます。ただし、このファイルを使用して、システムで定義されるデータソース名（DSN）を見ることができます。DSN とデータベースがパスワードで保護されていない場合は、データベースに対して SQL コマンドを発行するスクリプトによる攻撃を受ける可能性があります。

MMHTTPDB スクリプトファイルは、Web サイトのルートにある _mmServerScripts フォルダー内にあります。

注意： Dreamweaver のファイルブラウザー（ファイルパネル）では、_mmServerScripts フォルダーは非表示です。サードパーティ製の FTP クライアントまたはファイルブラウザーを使用している場合は、_mmServerScripts フォルダーは表示されます。
構成によっては、これらのスクリプトがまったく必要ない場合もあります。Web サイトにアクセスするユーザーに対する Web ページのサービスではスクリプトは関係しないので、プロダクションサーバーには配置しないようにします。

MMHTTPDB スクリプトファイルをプロダクションサーバーにアップロードしている場合は、MMHTTPDB スクリプトファイルを削除してください。「接続スクリプトを削除」コマンドでは、スクリプトファイルが自動的に削除されます。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ビジュアル開発のためのワークスペースの最適化

Web アプリケーションの開発のパネルの表示
Dreamweaver でのデータベースの表示
ブラウザーでの動的ページのプレビュー
Dreamweaver で表示されるデータベース情報の制限
ColdFusion のストアードプロシージャおよび ASP コマンド用にプロパティインスペクターを設定
入力フィールドのオプション

トップへ戻る

Web アプリケーションの開発のパネルの表示

挿入パネルのカテゴリポップアップメニューから「データ」カテゴリを選択すると、ページに動的コンテンツとサーバービヘイビアーの追加を可能にするボタンのセットが表示されます。

表示されるボタンの数と種類は、ドキュメントウィンドウで開いているドキュメントの種類によって異なります。ボタンの上にマウスを移動すると、そのボタンの機能を説明するツールヒントが表示されます。

挿入パネルには、以下のアイテムをページに追加するボタンがあります。

- レコードセット
- 動的テキストまたは動的テーブル
- レコードナビゲーションバー

  コードビューに切り替える（表示／コード）と、挿入パネルのカテゴリに、ページにコードを挿入できる追加のパネルが表示されることがあります。例えば、コードビューで ColdFusion ページを表示すると、挿入パネルの「CFML」カテゴリで、CFML パネルが選択できる状態になります。

  以下のパネルから、動的ページを作成するための様々な機能にアクセスすることができます。

  - バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）：ページの動的コンテンツのソースを定義し、そのコンテンツをページに追加するときに使用します。
  - サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）：動的ページにサーバーサイドロジックを追加するときに使用します。
  - データベースパネル（ウィンドウ／データベース）： データベースの検証やデータベース接続の作成を行うときに使用します。
  - コンポーネントパネル（ウィンドウ／コンポーネント）：ColdFusion コンポーネントのコードを確認、追加、または修正するときに使用します。

  注意： コンポーネントパネルは ColdFusion ページを開いた場合にのみ有効になります。

  サーバービヘイビアーは、デザインタイムに動的ページに挿入され、ランタイムにサーバー上で実行される一連の命令です。

  開発ワークスペースの設定のチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0144_jp を参照してください。

トップへ戻る

Dreamweaver でのデータベースの表示

データベースに接続すると、Dreamweaver 内でその構造およびデータを表示できます。

1. ウィンドウ／データベースを選択して、データベースパネルを開きます。

   データベースパネルには、接続が作成されているすべてのデータベースが表示されます。ColdFusion サイトを開発している場合は、ColdFusion Administrator でデータソースが定義されているすべてのデータベースがパネルに表示されます。

   注意： Dreamweaver は、現在のサイトに対して定義した ColdFusion サーバーを確認します。

   パネルにデータベースが表示されない場合は、データベース接続を作成する必要があります。
2. データベース内のテーブル、ストアードプロシージャ、およびビューを表示するには、リスト内の接続の横にある「+」記号をクリックします。
3. テーブル内の列を表示するには、テーブル名をクリックします。

   列アイコンは、データタイプを反映し、テーブルのプライマリキーを示します。
4. テーブル内のデータを表示するには、リスト内のテーブル名を右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、ポップアップメニューから「データの表示」を選択します。

ブラウザーでの動的ページのプレビュー

トップへ戻る

Web アプリケーションのデベロッパーは通常、ページを Web ブラウザーで頻繁にチェックすることによって、デバッグを実行します。動的ページは、最初に手動でサーバーにアップロードすることなく、ブラウザーですばやく表示できます（F12 キーを押します）。

動的ページをプレビューするには、サイト定義ダイアログボックスの「テストサーバー」カテゴリにすべての情報を入力する必要があります。

Dreamweaver が元のファイルの代わりに一時ファイルを使用するように指定することができます。このオプションを使用すると、Dreamweaver によってページがブラウザーに表示される前に Web サーバー上でページの一時的なコピーが実行されます（この一時的なコピーは、ページがブラウザーに表示されたら、Dreamweaver によってサーバーから削除されます）。このオプションを設定するには、編集／環境設定／ブラウザーでプレビューを選択します。

「ブラウザーでプレビュー」オプションを使用しても、結果ページや詳細ページなどの関連ページ、イメージファイルなどの依存ファイル、およびサーバーサイドインクルードはアップロードされません。欠落しているファイルをアップロードするには、ウィンドウ／ファイルを選択してファイルパネルを開き、ローカルフォルダー内でファイルを選択します。次に、ツールバーの青色の上向き矢印をクリックして Web サーバーフォルダーにファイルをコピーします。

Dreamweaver で表示されるデータベース情報の制限

トップへ戻る

Oracle などの大規模なデータベースシステムを使用している場合は、Dreamweaver によってデザインタイムに取得および表示されるデータベース項目の数を制限する必要があります。Oracle データベースには、Dreamweaver がデザインタイムに処理できない項目が含まれている場合があります。Oracle でスキーマを作成し、デザインタイムに不必要なデータを除外するためにそのスキーマを Dreamweaver で使用できます。

注意： Microsoft Access では、スキーマやカタログは作成できません。

それ以外にも、Dreamweaver によってデザインタイムに取得される情報の量を制限することで作業の効率が向上する場合があります。データベースには、数十、数百のテーブルが含まれていることがあります。そのような場合、作業中に一部のテーブルだけを表示した方がよいこともあります。スキーマまたはカタログで、デザインタイムに取得されるデータベース項目の数を制限できます。

Dreamweaver でスキーマやカタログを適用するには、データベースシステム内で事前にスキーマまたはカタログを作成しておく必要があります。詳しくは、データベースシステムのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

注意： ColdFusion アプリケーションを開発している場合は、Dreamweaver または Microsoft Access を使用してスキーマまたはカタログを適用することはできません。

1. Dreamweaver で動的ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
   - データベース接続が存在する場合は、リスト内の接続を右クリック（Windows）するか、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、ポップアップメニューから「接続の編集」を選択します。
   - 接続が存在しない場合は、パネルの上部にある「+」ボタンをクリックして作成します。
2. 接続のダイアログボックスで「詳細設定」をクリックします。
3. スキーマまたはカタログを指定し、「OK」をクリックします。

ColdFusion のストアードプロシージャおよび ASP コマンド用にプロパティインスペクターを設定

トップへ戻る

選択したストアードプロシージャを修正します。選択可能なオプションは、サーバーテクノロジによって異なります。

❖ オプションを編集します。プロパティインスペクターで新しいオプションを選択すると、Dreamweaver によってページが更新されます。

入力フィールドのオプション

トップへ戻る

このプロパティインスペクターは、Dreamweaver で認識できない入力タイプが検出されると表示されます。通常、これはタイプミスやその他のデータ入力エラーによって起こります。

例えば、プロパティインスペクターでスペルミスを修正するなどして、フィールドタイプを Dreamweaver で認識できる値に変更すると、プロパティインスペクターが更新され、該当するタイプのプロパティが表示されます。プロパティインスペクターで、以下のオプションを設定します。

入力フィールド フィールドに名前を割り当てます。このボックスへの入力は必須で、固有の名前が必要です。

タイプ フィールドの入力タイプを設定します。このボックスの内容には、現在 HTML ソースコードに表示されている入力タイプの値が反映されます。

値 フィールドの値を設定します。

パラメーター 選択すると、パラメーターダイアログボックスが開くので、フィールドの現在属性の表示、および属性の追加または削除が可能になります。

関連項目

開発ワークスペースのチュートリアル

テストサーバーの設定

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

動的コンテンツソースの概要

動的コンテンツのソースについて
レコードセットについて
URL パラメーターとフォームパラメーターについて
セッション変数について
ASP と ColdFusion のアプリケーション変数
ASP サーバー変数
ColdFusion サーバー変数

動的コンテンツのソースについて

トップへ戻る

動的コンテンツソースは、Web ページで使用する動的コンテンツの取得元および表示元となる情報の保存場所です。動的コンテンツのソースには、データベースに保存された情報だけでなく、HTML フォームを使用して送信された値、サーバーオブジェクトに含まれる値、およびその他のコンテンツソースを定義できます。

Dreamweaver では、簡単にデータベースに接続でき、動的コンテンツの抽出元になるレコードセットを作成できます。レコードセットは、データベースクエリーの結果です。クエリーによって、要求する特定の情報が抽出され、指定したページ内に表示されます。レコードセットは、データベースに含まれる情報と表示するコンテンツに基づいて定義されます。

レコードセットは、テクノロジベンダーによって違う名前で呼ばれています。ASP と ColdFusion では、レコードセットは「クエリー」と定義されています。ユーザー入力やサーバー変数など、他のデータソースを使用している場合、Dreamweaver で定義されるデータソースの名前は、そのデータソースの名前と同じです。

動的 Web サイトには、動的コンテンツを取得および表示する元となるデータソースが必要です。Dreamweaver では、データベース、リクエスト変数、URL 変数、サーバー変数、フォーム変数、ストアードプロシージャ、およびその他の動的コンテンツのソースを使用できます。データソースに応じて、要求を満たす新しいコンテンツを取得するか、またはユーザーの要求を満たすようにページの内容を変更することができます。

Dreamweaver で定義したコンテンツソースはすべて、バインディングパネル内のコンテンツソースのリストに追加されます。これで、現在選択しているページにコンテンツソースを挿入できます。

レコードセットについて

トップへ戻る

Web ページからデータベースに保存されているデータに直接アクセスすることはできません。その代わりに、レコードセットを使用してデータを操作します。レコードセットとは、データベースクエリーを使用してデータベースから抽出した情報（レコード）のサブセットです。クエリーは、データベースから特定の情報を検索して抽出するための検索ステートメントです。

動的 Web ページのコンテンツソースとしてデータベースを使用する場合は、まず、取得したデータを格納するレコードセットを作成します。レコードセットは、コンテンツを格納するデータベースと動的 Web ページを生成するアプリケーションサーバーの間を媒介します。レコードセットは、一時的にアプリケーションサーバーのメモリに格納され、データ検索を高速化します。不要になったレコードセットは、サーバーによって破棄されます。

クエリーを使用すると、特定の列やレコードのみ、または列とレコードの両方を含むレコードセットを作成できます。データベーステーブルのすべてのレコードと列が含まれるレコードセットを作成することもできます。ただし、アプリケーションでデータベース内の全データを使用することはほとんどないので、レコードセットはできる限り小さくしてください。Web サーバーではレコードセットが一時的にメモリに保存されるため、レコードセットが小さいほど使用されるメモリ量が少なくなり、サーバーパフォーマンスの向上につながります。

データベースクエリーは、SQL（Structured Query Language）で記述します。SQL は簡単な言語で、データベースへのデータの追加、データベースからのデータの取得や削除を行うことができます。Dreamweaver に組み込まれた SQL ビルダーを使用すると、SQL の知識がなくても簡単なクエリーを作成できます。ただし、複雑な SQL クエリーを作成する場合は、SQL の基本的な知識があると、より高度なクエリーを作成して柔軟性の高い動的ページをデザインできます。

Dreamweaver で使用するレコードセットを定義する前に、データベースへの接続を作成する必要があります。データが存在しない場合は、データベースにデータを入力します。サイトのデータベース接続をまだ定義していない場合は、開発するサーバーテクノロジのデータベース接続に関する章を参照し、データベース接続の作成に関する手順に従ってください。

URL パラメーターとフォームパラメーターについて

トップへ戻る

URL パラメーターには、ユーザーによって入力された取得情報が格納されます。URL パラメーターを定義するには、データを送信するために GET メソッドを使用するフォームまたはハイパーテキストリンクを作成します。この情報は、要求したページの URL に追加され、サーバーに送信されます。URL 変数を使用する場合、クエリーストリングには、フォームフィールドに関連する 1 つまたは複数の名前と値のペアが含まれます。これらの名前と値のペアは URL に追加されます。

フォームパラメーターには、Web ページの HTTP 要求に含まれる取得情報が格納されます。POST メソッドを使用するフォームを作成した場合、フォームによって送信されたデータはサーバーに渡されます。作業を始める前に、フォームパラメーターがサーバーに送信されたことを確認してください。

トップへ戻る

セッション変数について

セッション変数を使用すると、ユーザーのアクセス（セッション）中に保持される情報を格納および表示することができます。サーバーは、各ユーザーに対して個別にセッションオブジェクトを作成し、指定期間中またはオブジェクトが明示的に終了されるまでこれを保持します。

セッション変数は、ユーザーのセッション期間全体にわたって持続し、ユーザーが Web サイト内のページを移動しても保持されるため、ユーザーの設定を格納するには最適です。また、セッション変数を使用すると、ページの HTML コードへの値の挿入、ローカル変数への値の割り当て、または条件式を評価するための値の提供が可能です。

ページのセッション変数を定義する前に、これらをソースコードで定義する必要があります。Web アプリケーションのソースコードでセッション変数を定義すると、Dreamweaver からセッション変数の値を取得し、Web ページで使用することができます。

セッション変数のしくみ

ユーザーが訪問している間は、セッション変数に情報（通常はユーザーから送信されたフォームパラメーターまたは URL パラメーター）を格納しておき、その情報を Web アプリケーションのすべてのページで使用できるようにします。例えば、電子メール、株価、天気予報、およびニュースを利用できる Web ポータルにユーザーがログオンすると、Web アプリケーションはログイン情報をセッション変数に格納し、サイトのページ全体でこの変数を使用してユーザーを識別します。これにより、ユーザーがサイト内を移動する間、ユーザーが選択した種類のコンテンツのみが表示されるようにすることができます。セッション変数は、安全機構として利用することもできます。つまり、アカウントで何も動作が行われない時間が一定の長さに達した場合は、そのユーザーのセッションを終了します。これにより、ユーザーが Web サイトからのログオフを忘れた場合も、サーバーメモリと処理リソースが解放されます。

セッション変数に情報が格納されているのは、ユーザーのセッションが終了するまでです。セッションは、ユーザーがアプリケーション内でページを開いたときに開始されます。セッションが終了するのは、一定の時間が経過してもユーザーが別のページを開かなかったとき、またはユーザーが明示的にセッションを終了したとき（通常は "ログオフ" リンクをクリック）です。セッションが存在している間は、セッションはユーザーに固有のもので、各ユーザーがそれぞれ別のセッションを持ちます。

セッション変数を使用して、Web アプリケーションのすべてのページでアクセスできる情報を格納します。格納する情報は、ユーザーの名前、初期設定のフォントサイズ、ユーザーのログインが正常に実行されたかどうかを示すフラグなど様々です。セッション変数のもう 1 つの一般的な用途は、ユーザーがオンラインクイズでこれまでに正解した問題数や、オンラインカタログでこれまでに選択した商品など、現在の記録を保持することです。

セッション変数が機能するのは、ユーザーのブラウザーが Cookie を受け入れるように設定されている場合のみです。セッションの開始直後に、サーバーはユーザーを一意に識別するセッション ID 番号を作成し、この ID 番号が含まれている Cookie をユーザーのブラウザーに送信します。ユーザーがサーバー上の別のページを要求した場合、サーバーはブラウザー内の Cookie を読み取ってユーザーを識別し、サーバーのメモリに格納されているユーザーのセッション変数を取得します。

セッション変数の情報の収集、保存、取得

セッション変数を作成する前に、格納する情報を取得し、サーバーに送信して保存する必要があります。URL パラメーターを含む HTML フォームまたはハイパーテキストリンクを使用すると、情報を収集し、サーバーに送信することができます。また、ユーザーのコンピューターに保存されている Cookie、ページ要求と共にユーザーのブラウザーから送信された HTTP ヘッダー、またはデータベースから情報を取得することもできます。

セッション変数に URL パラメーターを保存する一般的な例は、ハードコーディングされた URL パラメーターを使用しているある商品カタログです。このパラメーターはリンクを使用して作成され、このパラメーターによってサーバーに送信された商品情報がセッション変数に格納されます。ユーザーが買い物を続けている間、ユーザーが "Add to shopping cart" リンクをクリックすると、商品番号がセッション変数に格納されます。ユーザーが精算のページに進むと、セッション変数に格納されている商品番号が取得されます。

フォームベースの調査は、フォームパラメーターをセッション変数に格納するページの一般的な例です。フォームによって選択された情報は、サーバーに送信されます。サーバーでは、アプリケーションのページによって、調査が記録され、回答がセッション変数に格納されます。セッション変数は、調査から収集した回答を集計するアプリケーションに送られます。または、後の使用に備えてデータベースに情報が格納されます。

サーバーに情報が送信された後でセッション変数に情報を格納するには、URL パラメーターまたはフォームパラメーターによって指定されたページに、サーバーモデルに応じたコードを追加します。このページは、「宛先」ページと呼ばれ、HTML フォームの action 属性または開始ページのハイパーテキストリンクの href 属性で指定します。

セッション変数に値を格納した後に、Dreamweaver を使用してセッション変数から値を取得し、Web アプリケーションで使用することができます。Dreamweaver でセッション変数を定義した後で、ページ内にその値を挿入できます。

それぞれの HTML のシンタックスは以下のとおりです。

```
<form action="destination.html" method="get" name="myform"> </form>
<param name="href"value="destination.html">
```

使用するサーバーテクノロジと、情報を取得するために使用するメソッドの両方により、セッション変数へ情報を格納するためのコードが決まり

ます。各サーバーテクノロジの基本的なシンタックスは以下のとおりです。

ColdFusion

```
<CFSET session.variable_name = value>
```

ASP

```
<% Session("variable_name") = value %>
```

value 式は、Request.Form("lastname") などのサーバー式です。例えば、product という URL パラメーター（または HTML フォームと GET メソッドおよび product というテキストフィールド）を使用して情報を収集する場合は、以下のステートメントによって prodID というセッション変数に情報を格納します。

ColdFusion

```
<CFSET session.prodID = url.product>
```

ASP

```
<% Session("prodID") = Request.QueryString("product") %>
```

HTML フォームと post メソッドおよび txtProduct というテキストフィールドを使用して情報を収集する場合、以下のステートメントによってセッション変数に情報を格納します。

ColdFusion

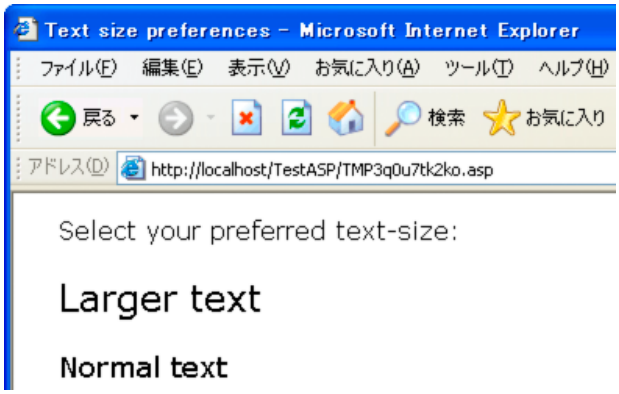
```
<CFSET session.prodID = form.txtProduct>
```

ASP

```
<% Session("prodID") = Request.Form("txtProduct") %>
```

セッション変数に格納する情報の例

多くの高齢者がアクセスするサイトをデザインしているとします。ユーザーがサイトのテキストサイズをカスタマイズできるように、Dreamweaver で「ようこそ」画面に 2 つのリンクを追加します。リンクの 1 つをクリックすると大きくて読みやすいテキストが表示され、もう 1 つをクリックすると通常サイズのテキストが表示されます。



各リンクには fontsize という URL パラメーターが含まれており、このパラメーターによってユーザーが設定したテキストサイズがサーバーに送信されます。次に示すのは Adobe ColdFusion® の例です。

```
<a href="resort.cfm?fontsize=large">Larger Text</a><br>
<a href="resort.cfm?fontsize=small">Normal Text</a>
```

テキストに関するユーザーの環境設定をセッション変数に格納し、この変数を使用してユーザーが要求する各ページのフォントサイズを設定します。

宛先ページの先頭付近に以下のコードを入力し、ユーザーのフォントサイズの環境設定を格納する font_pref というセッションを作成します。

ColdFusion

```
<CFSET session.font_pref = url.fontsize>
```

ASP

```
<% Session("font_pref") = Request.QueryString("fontsize") %>
```

ユーザーがハイパーテキストリンクをクリックすると、テキストに関するユーザーの環境設定が、URL パラメーターによってそのページから宛先ページに送信されます。宛先ページのコードは、この URL パラメーターを font_pref セッション変数に格納します。ユーザーのセッション中は、アプリケーションのすべてのページがこの値を取得し、選択されたフォントサイズで表示します。

トップへ戻る

ASP と ColdFusion のアプリケーション変数

ASP および ColdFusion では、アプリケーション変数を使用して、アプリケーションの存続期間中にわたり保持される全ユーザー共通の情報を格納および表示できます。アプリケーションの存続期間とは、最初のユーザーがアプリケーションのページを要求してから Web サーバーが停止するまでの期間です。アプリケーションは、仮想ディレクトリおよびその従属ディレクトリ内のすべてのファイルとして定義されています。

アプリケーション変数はアプリケーションの存続期間にわたって持続し、全ユーザーに共通なので、現在の時刻や日付など全ユーザーに提示する必要がある情報を格納するには最適です。アプリケーション変数の値は、アプリケーションのコードで定義します。

トップへ戻る

ASP サーバー変数

動的コンテンツのソースとして Request.Cookie、Request.QueryString、Request.Form、Request.ServerVariables、および Request.ClientCertificates の ASP サーバー変数を定義することができます。

トップへ戻る

ColdFusion サーバー変数

ColdFusion では、以下のサーバー変数を定義できます。

クライアント変数 特定のクライアントにデータを関連付けます。クライアント変数は、ユーザーがアプリケーション内の各ページおよびセッションを移動するときに、アプリケーションの状態を維持します。"状態の維持" とは、ページ間またはセッション間で情報を保持することです。これによって、ユーザーおよびユーザーの以前の選択や設定をアプリケーションに記憶します。

Cookie 変数 ブラウザーによってサーバーに渡された Cookie にアクセスします。

CGI 変数 ColdFusion を実行しているサーバーに関する情報、ページを要求しているブラウザーに関する情報、およびその他の処理環境に関する情報を提供します。

サーバー変数 すべてのクライアントとサーバー上のすべてのアプリケーションからアクセスできます。サーバー変数は、サーバーが停止するまで保持されます。

ローカル変数 ColdFusion ページ内で CFSET タグまたは CFPARAM タグで作成されます。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

動的コンテンツのパネル

バインディングパネル
サーバービヘイビアーパネル
データベースパネル
コンポーネントパネル[こんぽーねんとぱねる]

バインディングパネル

トップへ戻る

バインディングパネルは、動的コンテンツのソースの定義および編集、ページへの動的コンテンツの追加、および動的テキストへのデータフォーマットの適用を行うときに使用します。

次のタスクをこのパネルで実行できます。

- 動的コンテンツのソースの定義
- ページへの動的コンテンツの追加
- コンテンツソースの変更または削除
- 定義済みデータフォーマットの使用
- XML データソースを適用する
- XSLT ページで XML データを表示する
- URL パラメーター
- セッション変数の定義
- ASP と ColdFusion のアプリケーション変数の定義
- サーバー変数の定義
- コンテンツソースのキャッシュ
- 別のページへのレコードセットのコピー
- HTML 属性を動的にする

サーバービヘイビアーパネル

トップへ戻る

サーバービヘイビアーパネルは、ページへの Dreamweaver サーバービヘイビアーの追加、サーバービヘイビアーの編集、およびサーバービヘイビアーの作成を行うときに使用します。

次のタスクをこのパネルで実行できます。

- データベースのレコードの表示
- 動的コンテンツのソースの定義
- 1 回の操作によるマスターページと詳細ページの作成
- 検索ページと結果ページの作成
- レコード挿入ページの作成（CS6）
- レコードの更新ページの作成（CS6）
- レコードの削除ページの作成
- 許可されたビジターのみがアクセスできるページの作成
- 登録ページの作成
- ログインページの作成
- 許可されたビジターのみがアクセスできるページの作成
- ストアードプロシージャの追加（ColdFusion）（CS6）
- 動的コンテンツの削除

データベースパネル

トップへ戻る

データベースパネルは、データベース接続の作成、データベースの確認、およびページへのデータベース関連コードの挿入を行うときに使用します。

このパネルを使用して、データベースの表示とデータベースへの接続を実行できます。

- Dreamweaver でのデータベースの表示
- ColdFusion デベロッパーのためのデータベース接続（CS6）
- ASP デベロッパーのためのデータベース接続（CS6）
- PHP デベロッパーのためのデータベース接続

コンポーネントパネル[こんぽーねんとぱねる]

トップへ戻る

コンポーネントパネルは、コンポーネントの作成と確認、およびページへのコンポーネントコードの挿入を行うときに使用します。

注意： このパネルは、デザインビューでは機能しません。
次のタスクをこのパネルで実行できます。

✤ ColdFusion コンポーネントの使用

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

データベースのレコードの表示

データベースのレコードについて
サーバービヘイビアーとフォーマットエレメント
動的データへの印刷レイアウトエレメントとページレイアウトエレメントの適用
データベースレコードセットの結果の移動
レコードセットナビゲーションバーの作成
カスタムレコードセットナビゲーションバー
ナビゲーションバーのデザインタスク
レコードセットの結果に基づく領域の表示と非表示
複数のレコードセット結果の表示
動的テーブルの作成
レコードカウンターの作成
定義済みデータフォーマットの使用

データベースのレコードについて

トップへ戻る

データベースのレコードを表示するには、データベースまたは他のコンテンツのソースに格納されている情報を取り出して、その情報を Web ページに表示する必要があります。Dreamweaver には、動的コンテンツを表示する数多くの方法が用意されています。また、動的コンテンツの表示効果を高めると同時に、データベースから返された情報をユーザーが簡単に検索してナビゲートできるようにする、サーバービヘイビアーも多数組み込まれています。

データベースや動的コンテンツのその他のソースを利用すると、大規模な情報ストアの検索、ソート、表示で優れた性能と高い柔軟性を得ることができます。大量の情報を保存し、その情報を効果的な方法で取得および表示する必要がある場合は、データベースを使用して Web サイトのコンテンツを保存する方法が有効です。Dreamweaver には、データベースに保存されている情報を効果的に取得し、表示するために、ツールやあらかじめ作成済みのビヘイビアーが用意されています。

サーバービヘイビアーとフォーマットエレメント

トップへ戻る

Dreamweaver には、以下のサーバービヘイビアーとフォーマットエレメントがあります。これらを使用して、動的データの表示効果を高めることができます。

フォーマット 数値、金額、日時、割合（%）など異なる種類の値を動的テキストに適用できます。
例えば、Dreamweaver の「通貨 - 小数点第 2 位」フォーマットを選択すると、レコードセットでは 10.989 と表示される価格データをページでは "$10.99" と表示できます。このフォーマットは数値を小数点以下 2 桁で表示します。数値の小数点以下の桁数が 2 桁を超える場合、データフォーマットは最も近い数値に丸められます。数値に小数点以下の桁がない場合は、小数点と 2 個の 0 が付加されます。

リピート領域 サーバービヘイビアーでは、データベースクエリーから返された複数の項目を表示し、1 ページあたりに表示するレコード数を指定することができます。
レコードセットナビゲーション サーバービヘイビアーでは、ナビゲーションエレメントを挿入できます。このエレメントは、ユーザーが、レコードセットで返された次のレコードセットまたは前のレコードセットに移動できるようにします。例えば、「リピート領域」サーバーオブジェクトで 1 ページあたり 10 個のレコードを表示するように選択している場合に、レコードセットが 40 個のレコードを返したときに、レコードを一度に 10 個ずつナビゲートすることができます。
レコードセットナビゲーションステータス サーバービヘイビアーを使用すると、カウンターを作成して、返されたレコードの総数に対する現在のレコードセットの位置をユーザーに示すことができます。
領域の表示 サーバービヘイビアーでは、現在表示されているレコードの位置や条件に基づいてページに項目を表示するか、または非表示にするかを選択できます。例えば、ユーザーがレコードセット内の最終のレコードに移動した場合、"次のレコードへ移動" というリンクを非表示にし、"前のレコードへ移動" というレコードリンクのみを表示するようにできます。

動的データへの印刷レイアウトエレメントとページレイアウトエレメントの適用

トップへ戻る

Dreamweaver の強力な機能の 1 つに、動的データを構造化されたページに表示し、HTML および CSS を使用して印刷フォーマットを適用する機能があります。Dreamweaver でフォーマットを動的データに適用するには、Dreamweaver のフォーマットツールを使用して、動的データのテーブルおよびプレースホルダーをフォーマットします。データソースからデータを挿入すると、指定したフォント、段落、およびテーブルのフォーマットが自動的に適用されます。

データベースレコードセットの結果の移動

トップへ戻る

レコードセットナビゲーションリンクを使用すると、次のレコードまたはレコードセットへユーザーが移動できるようになります。例えば、一度に 5 件のレコードを表示するページをデザインした後、次の 5 件のレコードまたは前の 5 件のレコードを表示するための "次へ" または "前へ" などのリンクを追加することができます。

レコードセットを移動するための 4 種類のナビゲーションリンク、"先頭のレコードへ移動"、"前のレコードへ移動"、"次のレコードへ移動"、"最終のレコードへ移動" を作成することができます。同一のレコードセットに対して機能するリンクである限り、1 つのページに含めることのできるリンク数に制限はありません。別のレコードセットに対して機能する複数のリンクを同じページに追加することはできません。

レコードセットナビゲーションリンクには、次の動的エレメントが必要です。

- ナビゲート対象のレコードセット
- レコードを表示するためのページの動的コンテンツ
- クリックして操作するナビゲーションバーとして使用するページ上のテキストまたはイメージ
- レコードセット間を移動するためのサーバービヘイビアーの "移動先レコード" セット

  最後の 2 つのエレメントは、「レコードセットナビゲーションバー」サーバーオブジェクトを使用して追加することができます。または、デザインツールとサーバービヘイビアーパネルを使用して別々に追加することもできます。

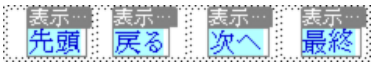
トップへ戻る

レコードセットナビゲーションバーの作成

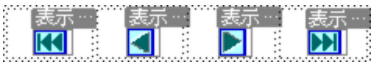
「レコードセットナビゲーションバー」サーバービヘイビアーを使用して、1 回の操作でレコードセットナビゲーションバーを作成することができます。このサーバーオブジェクトは、ページに以下の作成ブロックを追加します。

- テキストまたはイメージのリンクを含む HTML テーブル
- 「（移動先）に移動」サーバービヘイビアーのセット
- 「領域の表示」サーバービヘイビアーのセット

  テキストを使用したレコードセットナビゲーションバーは、次のようになります。



  イメージを使用したレコードセットナビゲーションバーは、次のようになります。



  ページにナビゲーションバーを配置する前に、このページに、ナビゲート対象のレコードセットおよびレコードを表示するページレイアウトが含まれていることを確認します。

  ページにナビゲーションバーを配置した後は、デザインツールを使用してバーを自由にカスタマイズできます。サーバービヘイビアーパネル内の「（移動先）に移動」サーバービヘイビアーおよび「領域の表示」サーバービヘイビアーをダブルクリックして、これらのサーバービヘイビアーを編集することもできます。

  Dreamweaver によってテキストリンクまたはイメージリンクを含むテーブルが作成されます。ユーザーはこのリンクをクリックして選択したレコードセット内をナビゲートできます。レコードセットの先頭のレコードが表示されると、先頭のレコードへ移動および前のレコードへ移動のリンクまたはイメージは非表示になります。レコードセットの最終のレコードが表示されると、次のレコードへ移動および最終のレコードへ移動のリンクまたはイメージは非表示になります。

  ナビゲーションバーのレイアウトは、デザインツールとサーバービヘイビアーパネルでカスタマイズできます。

1. デザインビューで、ページ内のナビゲーションバーを表示する場所に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／データオブジェクト／レコードセットページング／レコードセットナビゲーションバーを選択し、レコードセットナビゲーションバーダイアログボックスを表示します。
3. レコードセットポップアップメニューから、ナビゲート対象のレコードセットを選択します。
4. 「表示」セクションで、ページにナビゲーションリンクを表示するフォーマットを選択し、「OK」をクリックします。
   テキスト テキストリンクをページ上に配置します。

   イメージ グラフィックイメージをリンクとして含めます。Dreamweaver では、独自のイメージファイルが使用されます。バーをページに配置したら、それらのイメージを他のイメージファイルに置き換えることができます。

トップへ戻る

カスタムレコードセットナビゲーションバー

「レコードセットナビゲーションバー」サーバーオブジェクトで作成された単純なテーブルよりも複雑なレイアウトとフォーマットスタイルを使用する独自のレコードセットナビゲーションバーを作成できます。

ユーザー独自のレコードセットナビゲーションバーを作成するには：

- テキストまたはイメージにナビゲーションリンクを作成します。

- デザインビューのページ内にリンクを配置します。
- 個々のサーバービヘイビアーを各ナビゲーションリンクに割り当てます。

この項では、個々のサーバービヘイビアーをナビゲーションリンクに割り当てる方法を説明します。

サーバービヘイビアーの作成とナビゲーションリンクへの割り当て

1. デザインビューで、レコードナビゲーションリンクとして使用するページ上のテキストストリンクまたはイメージを選択します。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）を開いて、「+」ボタンをクリックします。
3. ポップアップメニューで「レコードセットページング」を選択し、表示されるサーバービヘイビアーから、そのリンクに適切なサーバービヘイビアーを選択します。

   レコードセットに大量のレコードが含まれている場合は、ユーザーがリンクをクリックしたときの「最終のレコードへ移動」サーバービヘイビアーの実行に時間がかかる可能性があります。
4. レコードセットポップアップメニューからレコードを含むレコードセットを選択して、「OK」をクリックします。

   サーバービヘイビアーがナビゲーションリンクに割り当てられます。

「（移動先）に移動」（サーバービヘイビアー）ダイアログボックスのオプションの設定

ユーザーがレコードセット内のレコードをナビゲートするためのリンクを追加することができます。

1. ページで何も選択していない場合は、ポップアップメニューでリンクを選択します。
2. ナビゲートするレコードを含むレコードセットを選択して、「OK」をクリックします。
   注意： レコードセットに大量のレコードが含まれている場合は、ユーザーがリンクをクリックしたときの「最終のレコードへ移動」サーバービヘイビアーの実行に時間がかかる可能性があります。

トップへ戻る

ナビゲーションバーのデザインタスク

カスタムナビゲーションバーを作成する場合は、まず Dreamweaver のページデザインツールを使用して外観から作成します。テキストストリングやイメージのリンクを作成する必要はありません。Dreamweaver によって自動的に作成されます。

ナビゲーションバーが作成されるページには、ナビゲート対象のレコードセットが含まれている必要があります。単純なレコードセットナビゲーションバーは次のような外観です。リンクボタンは、イメージまたは他のコンテンツエレメントから作成されます。

レコードセットをページに追加し、ナビゲーションバーを作成したら、個々のサーバービヘイビアーを各ナビゲーションエレメントに適用する必要があります。例えば、標準的なレコードセットナビゲーションバーには、該当するビヘイビアーに一致する以下のリンク表示が含まれます。

ナビゲーションリンク	サーバービヘイビアー
先頭のページに戻る	先頭のページへ移動
前のページに戻る	前のページへ移動
次のページに進む	次のページへ移動
最終のページに進む	最終のページへ移動

トップへ戻る

レコードセットの結果に基づく領域の表示と非表示

また、レコードセットが空であるかどうかに基づいて領域の表示/非表示を指定することもできます。レコードセットが空の場合（例えば、使用するクエリーに一致するレコードが見つからなかった場合）は、レコードが返されなかったことをユーザーに知らせるメッセージを表示することができます。これは、ユーザーがキーワードを入力してクエリーを実行する検索ページを作成するときに役立ちます。同様に、データベースとの接続に問題が生じた場合や、ユーザー名およびパスワードがサーバーによって認識されるユーザー名およびパスワードと一致しない場合に、エラーメッセージを表示することができます。

「領域の表示」サーバービヘイビアーは、以下のとおりです。

- レコードセットが空の場合に表示
- レコードセットが空でない場合に表示
- 先頭のページの場合に表示
- 先頭のページでない場合に表示
- 最終のページの場合に表示

- 最終のページでない場合に表示

1. デザインビューで、表示または非表示にするページの領域を選択します。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で、「+」ボタンをクリックします。
3. ポップアップメニューで「領域の表示」を選択し、表示されるサーバービヘイビアーのいずれかを選択して、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

複数のレコードセット結果の表示

「リピート領域」サーバービヘイビアーでは、ページ内のレコードセットの複数のレコードを表示できます。任意の動的データ選択範囲をリピート領域にすることができます。ただし、通常はテーブル、テーブル行、または複数のテーブル行などをリピート領域にします。

1. デザインビューで、動的コンテンツを含む領域を選択します。

   テーブル、テーブルの行、テキストの段落など、任意の領域を選択できます。

   ページの領域を正確に選択するには、ドキュメントウィンドウの左隅にあるタグセレクターを使用します。例えば、領域がテーブル行の場合は、ページで行の内側をクリックしてから、タグセレクターの一番右にある <tr> タグをクリックしてテーブル行を選択します。
2. ウィンドウ／サーバービヘイビアーを選択して、サーバービヘイビアーパネルを表示します。
3. 「+」ボタンをクリックして、「リピート領域」を選択します。
4. ポップアップメニューから、使用するレコードセットの名前を選択します。
5. 1 ページあたりに表示するレコード数を選択して、「OK」をクリックします。

   ドキュメントウィンドウでは、リピート領域は薄いグレーの枠線で囲まれます。

プロパティインスペクターでのリピート領域の修正

❖ 必要に応じて以下のオプションを変更して、選択したリピート領域を修正します。

- リピート領域の名前
- リピート領域のレコードを保持しているレコードセット。
- 表示するレコード数

  新しいオプションを選択すると、Dreamweaver によってページが更新されます。

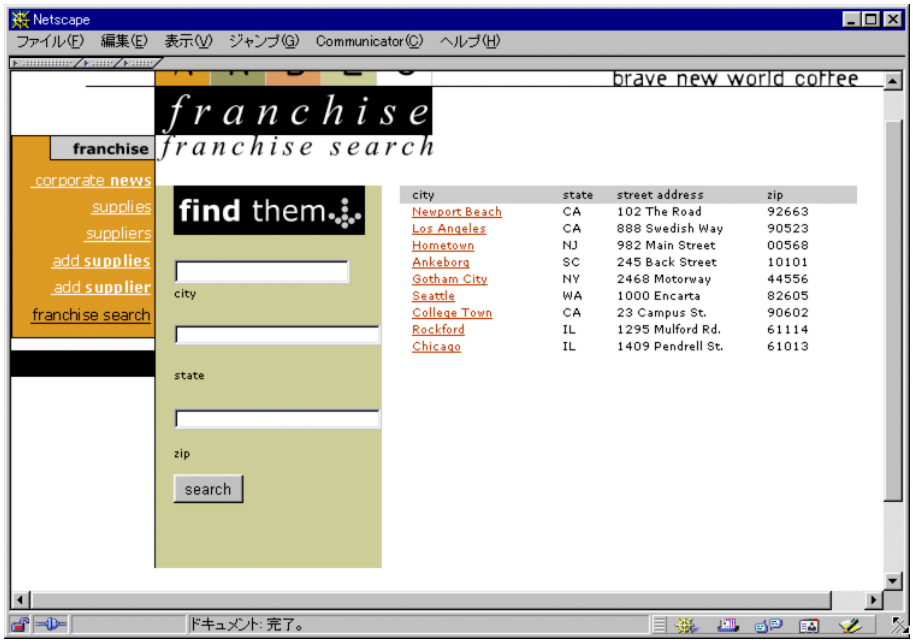
PHP レコードセットの再利用

PHP レコードセットの再利用のチュートリアルについては、David Powers のチュートリアル「How Do I Reuse a PHP Recordset in More Than One Repeat Region?」（英語）を参照してください。

トップへ戻る

動的テーブルの作成

以下の例は、「リピート領域」サーバービヘイビアーをテーブル行に適用する方法を説明しています。この例では、1 ページあたり 9 個のレコードを表示するように指定しています。行には、city、state、street、zip code の 4 つの異なるレコードが表示されます。



前の例のようなテーブルを作成するには、動的コンテンツを含むテーブルを作成し、「リピート領域」サーバービヘイビアーを動的コンテンツが含まれるテーブル行に適用する必要があります。ページがアプリケーションサーバーによって処理される場合、行が「リピート領域」サーバーオブジェクトで指定した回数だけ繰り返され、異なるレコードがそれぞれの新しい行に挿入されます。

1. 以下のいずれかの操作を行って、動的テーブルを挿入します。
   - 挿入／データオブジェクト／動的データ／動的テーブルを選択して、動的テーブルダイアログボックスを表示します。
   - 挿入パネルの「データ」カテゴリで「動的データ」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから動的テーブルアイコンを選択します。
2. レコードセットポップアップメニューからレコードセットを選択します。
3. 1 ページあたりに表示するレコード数を選択します。
4. （オプション）テーブルボーダー、セル内余白、セル内間隔の値を入力します。

   動的テーブルダイアログボックスでは、テーブルボーダー、セル内余白、およびセル内間隔について入力した値が保持されます。

   注意： 同じ外観の複数の動的テーブルを必要とするプロジェクトで作業している場合は、テーブルレイアウト値を入力することにより、より簡単にページを作成することができます。これらの値は、テーブルを挿入した後、テーブルのプロパティインスペクターを使用して調整できます。
5. 「OK」をクリックします。

   関連するレコードセット内で定義されている動的コンテンツのテーブルとプレースホルダーがページ内に挿入されます。

この例では、レコードセットに AUTHORID、FIRSTNAME、LASTNAME、および BIO の 4 つの列が含まれています。テーブルの見出し行に、それぞれの列の名前が入力されています。この見出しは、説明文を入れて編集したり、内容を表すイメージに置き換えたりできます。

トップへ戻る

レコードカウンターの作成

レコードカウンターは、ユーザーがレコードセットをナビゲートしているときに参照ポイントとして使用されます。通常、レコードカウンターには、返されたレコードの総数と、表示されている現在レコードの数が表示されます。例えば、レコードセットが 40 個の個別レコードを返し、1 ページあたり 8 個のレコードが表示される場合、最初のページのレコードカウンターには、"全 40 件中 1-8 のレコードを表示" のように表示されます。

レコードカウンターをページに作成する前に、そのページのレコードセット、動的コンテンツを含む適切なページレイアウト、およびレコードセットナビゲーションバーを作成する必要があります。

簡単なレコードカウンターの作成

レコードカウンターを使用すると、返されたレコードの総数に対する現在のレコードセットの位置をユーザーに示すことができます。したがって、Web ページを使用しやすくする上で、レコードカウンターは有効なビヘイビアーです。

「レコードセットナビゲーションステータス」サーバーオブジェクトを使用して、簡単なレコードカウンターを作成します。このサーバーオブジェクトは、ページにテキスト入力項目を作成し、現在のレコードステータスを表示します。レコードカウンターは、Dreamweaver のページデザインツールを使用してカスタマイズできます。

1. レコードカウンターを挿入する位置に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／データオブジェクト／レコードカウントの表示／レコードセットナビゲーションステータスを選択し、レコードセットポップアップメニューからレコードセットを選択して、「OK」をクリックします。

   「レコードセットナビゲーションステータス」サーバーオブジェクトは、次の例に示すようなテキストレコードカウンターを挿入します。

   {Employees_first} ～ {Employees_last} 件 / 全 {Employees_total} 件

   ライブビューでは、このカウンターは次の例のように表示されます。

   1 ～ 1 件 / 全 22 件

レコードカウンターの作成とページへの追加

❖ レコードセットナビゲーションステータスの挿入ダイアログボックスで、カウンターの対象とするレコードセットを選択し、「OK」をクリックします。

カスタムレコードカウンターの作成

個々のレコードカウントビヘイビアーを使用して、カスタムレコードカウンターを作成します。カスタムレコードカウンターの作成では、「レコードセットステータス」サーバーオブジェクトによって挿入される単純な 1 行のテーブルとは異なる、詳細なレコードカウンターを作成できます。様々な独創的な方法でデザインエレメントを配列し、適切なサーバービヘイビアーを各エレメントに適用します。

レコードカウントサーバービヘイビアーは、以下のとおりです。

- 開始レコード番号を表示
- 終了レコード番号を表示
- 合計レコード数を表示

カスタムレコードカウンターをページに作成する前に、まずそのページのレコードセット、動的コンテンツを含む適切なページレイアウト、およびレコードセットナビゲーションバーを作成する必要があります。

この例で作成するレコードカウンターは、「簡単なレコードカウンター」の例に似ています。この例では、sans-serif フォントを使用しているテキストは、ページに挿入されるレコードカウンターのプレースホルダーを表しています。この例のレコードカウンターは以下のように表示されます。

StartRow - EndRow のレコードを全 RecordSet.RecordCount 件中から表示。

1. デザインビューで、ページに表示するカウンターのテキストを入力します。次の例のように、任意のテキストを指定できます。

   ```
   Displaying records thru of .
   ```

2. 挿入ポイントを "全" と "件" の間に置きます。
3. ウィンドウ／サーバービヘイビアーを選択して、サーバービヘイビアーパネルを開きます。
4. 左上隅の「+」ボタンをクリックし、「レコードカウントの表示」をクリックします。このサブメニュー内で、「合計レコードを表示」を選択します。「合計レコードを表示」ビヘイビアーがページに挿入され、プレースホルダーが挿入ポイントを置いた場所に挿入されます。テキストストリングは、次のように表示されます。

   ```
   Displaying records thru of {Recordset1.RecordCount}.
   ```

5. 挿入ポイントを単語 records の後に置き、「サーバービヘイビアー」を選択して「+」ボタンをクリックし、表示されたレコードカウントの表示パネルで「開始レコード番号を表示」を選択します。テキストストリングは、次のように表示されます。

   ```
   Displaying records {StartRow_Recordset1} thru of {Recordset1.RecordCount}.
   ```

6. ここで、挿入ポイントを単語 thru と of の間に置き、「サーバービヘイビアー」を選択して「+」ボタンをクリックし、表示されたレコードカウントの表示パネルで「終了レコード番号を表示」を選択します。テキストストリングは、次のように表示されます。

   ```
   Displaying records {StartRow_Recordset1} thru {EndRow_Recordset1} of{Recordset1.RecordCount}.
   ```

7. ライブビューでページを表示して、カウンターが正常に機能していることを確認します。正常に機能するカウンターでは、以下のように表示されます。

   ```
   Displaying records 1 thru 8 of 40.
   ```

   結果ページに、次のレコードセットへ移動するためのナビゲーションリンクがある場合は、リンクをクリックするとレコードカウンターが更新され、次のように表示されます。

   ```
   Showing records 9 thru 16 of 40.
   ```

トップへ戻る

定義済みデータフォーマットの使用

Dreamweaver には、いくつかの定義済みデータフォーマットが付属しています。これらのフォーマットは、動的データエレメントに適用することができます。データフォーマットのスタイルには、日時、通貨、数値、および割合（%）のフォーマットがあります。

データフォーマットの動的コンテンツへの適用

1. ドキュメントウィンドウで、動的コンテンツのプレースホルダーを選択します。
2. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを表示します。
3. 「フォーマット」列の下向き矢印ボタンをクリックします。

   下向きの矢印が表示されていないときは、パネルを拡大してください。

4. フォーマットポップアップメニューから、使用するデータフォーマットカテゴリを選択します。

   データフォーマットが、データのタイプに適したフォーマットであることを確認します。例えば、動的データが数字でない場合、「通貨」フォーマットは機能しません。また、同一のデータに複数のフォーマットを適用することはできません。

5. ライブビューでページをプレビューして、フォーマットが正しく適用されたことを確認します。

データフォーマットのカスタマイズ

1. デザインビューで、動的データが含まれているページを開きます。
2. フォーマットをカスタマイズする動的データを選択します。

   選択された動的データを含むバインドデータ項目が、バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）でハイライト表示されます。このパネルには選択した項目の「バインディング」列および「フォーマット」列が表示されます。「フォーマット」列が表示されていないときは、バインディングパネルの幅を広げてください。
3. バインディングパネルで「フォーマット」列内の下向き矢印をクリックすると、使用可能なデータフォーマットのポップアップメニューが表示されます。

   下向きの矢印が表示されていないときは、バインディングパネルの幅を広げてください。
4. ポップアップメニューから、「フォーマットリストの編集」を選択します。
5. ダイアログボックスの入力を完了させ、「OK」をクリックします。
   a. リストからフォーマットを選択し、「編集」をクリックします。
   b. 必要に応じて、「通貨」、「数値」、または%ダイアログボックスで以下のパラメーターを変更し、「OK」をクリックします。
      - 小数点以下の表示桁数
      - 端数の場合に先頭にゼロを付けるかどうか
      - 負の値に対しカッコを使用するか、マイナス記号を使用するかどうか
      - 桁を区切るかどうか
   c. データフォーマットを削除するには、リスト内のフォーマットをクリックして、「-」ボタンをクリックします。

データフォーマットの作成（**ASP** のみ）

1. デザインビューで、動的データが含まれているページを開きます。
2. カスタムフォーマットを作成する動的データを選択します。
3. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを開き、「フォーマット」列の下向き矢印をクリックします。下向きの矢印が表示されていないときは、パネルを拡大してください。
4. ポップアップメニューから、「フォーマットリストの編集」を選択します。
5. 「+」ボタンをクリックし、フォーマットタイプを選択します。
6. フォーマットを定義し、「OK」をクリックします。
7. 新しいフォーマット名を「名前」列に入力し、「OK」をクリックします。
   注意： Dreamweaver では、ASP ページのデータフォーマットの作成がサポートされるだけですが、ColdFusion および PHP ユーザーは他の開発者が作成したフォーマットをダウンロードすることができます。または、サーバーフォーマットを作成して Dreamweaver Exchange に POST することができます。サーバーフォーマット API について詳しくは、『Dreamweaver 拡張ガイド』（ヘルプ／Dreamweaver 拡張ガイド ／サーバーフォーマット）を参照してください。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

動的ページのデザイン

Dreamweaver と動的ページのデザイン

トップへ戻る

Dreamweaver と動的ページのデザイン

以下の手順に従って、動的 Web サイトをデザインおよび作成します。

1. ページのデザイン

   Web サイトのデザインにおいて重要な手順は、動的なサイトの場合も静的なサイトの場合も、そのページの視覚的なデザインの設計手順です。動的エレメントを Web ページに追加する場合、その操作性にはページのデザインが大きく影響します。ユーザーが個別ページおよび Web サイト全体をどのように使用するかをよく考えてください。

   動的コンテンツを Web ページに組み込むには、コンテンツを表示するためのテーブルを作成してから、動的コンテンツをテーブルのセルに読み込む方法が一般的に用いられます。この方法を使用すると、構造化されたフォーマットで様々な種類の情報を表示できるようになります。

2. 動的コンテンツのソースの作成

   動的 Web サイトにはコンテンツソースが必要で、データはそのコンテンツソースから抽出された後に Web ページ上に表示されます。Web ページでコンテンツソースを使用するには、事前に次の操作を実行する必要があります。

   - データベースなどの動的コンテンツソースへの接続と、ページを処理するアプリケーションサーバーへの接続を作成します。バインディングパネルを使用してデータソースを作成します。これにより、ページでデータソースを選択および挿入できるようになります。
   - レコードセットを作成して、データベースのどの情報を表示するか、またページにどの変数を含めるかを指定します。レコードセットダイアログボックスからクエリーをテストし、必要な調整を行ってから、そのクエリーをバインディングパネルに追加することもできます。
   - 動的コンテンツエレメントを選択し、選択したページに挿入します。

3. Web ページに動的コンテンツを追加します。

   レコードセットやその他のデータソースを定義し、バインディングパネルに追加すると、レコードセットが表す動的コンテンツをページに挿入できるようになります。Dreamweaver のメニュー方式のインターフェイスでは、バインディングパネルから動的コンテンツを選択し、現在のページ内の適切なテキスト、イメージ、またはフォームオブジェクトに挿入するだけで、簡単に動的コンテンツエレメントを追加できます。

   動的コンテンツエレメントまたはその他のサーバービヘイビアーをページに挿入すると、Dreamweaver によってサーバーサイドスクリプトがページのソースコードに挿入されます。スクリプトは、定義されたデータソースからデータを取得し、その結果を Web ページ内に描画するようにサーバーに指示します。Web ページに動的コンテンツを配置するには、以下のいずれかの操作を行います。

   - コードビューまたはデザインビューから、挿入ポイントに動的コンテンツを配置します。
   - テキスト文字列またはその他のプレースホルダーを置き換えます。

     動的コンテンツを HTML 属性内に挿入します。例えば、動的コンテンツで、イメージの src 属性やフォームフィールドの value 属性を定義できます。

4. ページにサーバービヘイビアーを追加します。

   動的コンテンツを追加するだけでなく、サーバービヘイビアーを使用して複雑なアプリケーションロジックを Web ページに組み込むことができます。サーバービヘイビアーとは、アプリケーションロジックを Web ページに追加する定義済みのサーバーサイドコードで、これによって相互作用と機能性が向上します。

   Dreamweaver サーバービヘイビアーによって、自分でコードを記述しなくてもアプリケーションロジックを Web サイトに追加できます。Dreamweaver で提供されるサーバービヘイビアーは、ColdFusion、ASP、および PHP ドキュメントタイプをサポートします。サーバービヘイビアーは、高速、安全、および堅牢なものになるように、作成およびテストされています。組み込みのサーバービヘイビアーは、異なるプラットフォーム上ですべてのブラウザー用の Web ページをサポートするよう設計されています。

   Dreamweaver のポイント＆クリックインターフェイスでは、テキストおよびデザインエレメントを挿入するときと同じように、動的コンテンツと複雑なビヘイビアーを簡単にページに適用できます。使用できるサーバービヘイビアーは、次のとおりです。

   - 既存のデータベースからのレコードセットを定義します。定義したレコードセットは、バインディングパネルに保存されます。
   - 1 つのページに複数のレコードを表示します。テーブル全体を選択するか動的コンテンツを含む個別のセルまたは行を選択して、各ページビューに表示するレコードの数を指定します。
   - 動的テーブルを作成してページに挿入し、テーブルをレコードセットと関連付けます。プロパティインスペクターを使用してテーブルの

外観を、また「リピート領域」サーバービヘイビアーを使用してリピート領域を、それぞれ後から修正できます。

- 動的テキストオブジェクトをページに挿入します。挿入するテキストオブジェクトは、定義済みレコードセットのアイテムで、どのデータフォーマットも適用できます。
- レコードナビゲーションおよびステータスコントロール、マスター/詳細ページ、およびデータベースの情報を更新するためのフォームを作成します。
- データベースレコードでレコードを複数表示します。
- ユーザーが、データベースレコードの前後のレコードを表示できるようにする、レコードセットナビゲーションリンクを作成します。
- 返されたレコード数およびどこに結果が返されたかがわかるように、レコードカウンターを追加します。

Dreamweaver サーバービヘイビアーは、独自のサーバービヘイビアーを作成するか、サードパーティ製サーバービヘイビアーをインストールすることによって拡張できます。

5. ページをテストおよびデバッグします。

   動的ページまたは Web サイト全体を Web に公開する前に、その機能をテストすることをお勧めします。また、アプリケーションの機能が、障害のある人にどのような影響を与えるかを考慮する必要があります。

関連項目

イメージの追加と変更

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

動的コンテンツのソースの定義

SQL を使用しないレコードセットの定義
SQL を使用した高度なレコードセットの定義
「データベース項目」のツリーを使用した SQL クエリーの作成
URL パラメーターの定義
フォームパラメーターの定義
セッション変数の定義
ASP と ColdFusion のアプリケーション変数の定義
ColdFusion レコードセットのデータソースとしての変数の使用
サーバー変数の定義
コンテンツソースのキャッシュ
コンテンツソースの変更または削除
別のページへのレコードセットのコピー

トップへ戻る

SQL を使用しないレコードセットの定義

SQL ステートメントを手作業で入力することなくレコードセットを作成することができます。

1. ドキュメントウィンドウに、レコードセットを使用するページを開きます。
2. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを表示します。
3. バインディングパネルで「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューで「レコードセット（クエリー）」を選択します。

   基本のレコードセットダイアログボックスが表示されます。ColdFusion のサイトを開発している場合、レコードセットダイアログボックスの内容は多少異なります。詳細設定のレコードセットダイアログボックスが表示された場合は、「基本設定」をクリックして、基本設定のレコードセットダイアログボックスに切り替えてください。
4. ドキュメントタイプに対応するレコードセットダイアログボックスに情報を入力します。

   手順については、以下のトピックを参照してください。
5. 「テスト」ボタンをクリックしてクエリーを実行し、要求する情報が取得されたことを確認します。

   ユーザーによって入力されたパラメーターを使用するフィルターを定義した場合は、「テスト値」ボックスに値を入力して、「OK」をクリックします。レコードセットのインスタンスが正常に作成されると、レコードセットから抽出されたデータを表示するテーブルが表示されます。
6. 「OK」をクリックして、バインディングパネルの使用可能なコンテンツソースのリストにレコードセットを追加します。

基本設定のレコードセットダイアログボックスのオプション（PHP、ASP）

1. 「名前」ボックスに、レコードセットの名前を入力します。

   一般的には、接頭辞「rs」をレコードセット名に付けることで、レコードセット名をコード内の他のオブジェクト名と区別します（例：rsPressReleases）。

   レコードセット名には、文字、数字、およびアンダースコア（_）のみを使用できます。特殊文字またはスペースは使用できません。
2. 接続ポップアップメニューから接続を選択します。

   リストに接続が表示されない場合は、「定義」をクリックして接続を設定します。
3. テーブルポップアップメニューで、レコードセットにデータを提供するデータベーステーブルを選択します。

   ポップアップメニューには、指定したデータベース内のすべてのテーブルが表示されます。
4. テーブルの一部の列だけをレコードセットに含めるには、「選択」をクリックし、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながらリスト内の目的の列をクリックします。
5. テーブルから返されたレコードをさらに限定するには、「フィルター」領域に値を入力します。
   - 1 つ目のポップアップメニューで、定義したテスト値と比較するための列をデータベーステーブルから 1 列選択します。
   - 2 つ目のポップアップメニューで、各レコードの選択された値をテスト値と比較するための条件式を選択します。
   - 3 つ目のポップアップメニューで「入力値」を選択します。
   - ボックスにテスト値を入力します。

レコード内の指定した値がフィルター条件に一致すると、そのレコードはレコードセットに含まれます。

6. （オプション）レコードを並べ替えるには、並べ替えの対象とする列を選択し、レコードを昇順（1、2、3... や A、B、C...）または降順のどちらで並べ替えるかを指定します。
7. 「テスト」をクリックしてデータベースに接続し、データソースのインスタンスを作成します。「OK」をクリックして、データソースを閉じます。

   返されたデータを含むテーブルが表示されます。各行にはレコードが含まれており、各列はレコードのフィールドを表しています。
8. 「OK」をクリックします。バインディングパネルに、新しく定義したレコードセットが表示されます。

基本設定のレコードセットダイアログボックスのオプション（ColdFusion）

SQL ステートメントを手作業で記述せずに、動的コンテンツのソースとして ColdFusion ドキュメントタイプのレコードセットを定義することができます。

1. 「名前」ボックスに、レコードセットの名前を入力します。

   一般的には、接頭辞「rs」をレコードセット名に付けることで、レコードセット名をコード内の他のオブジェクト名と区別します。
   例：rsPressReleases

   レコードセット名には、文字、数字、およびアンダースコア（_）のみを使用できます。特殊文字またはスペースは使用できません。
2. ColdFusion コンポーネントのレコードセットを定義している場合（CFC ファイルが現在 Dreamweaver で開いている場合）は、関数ポップアップメニューから既存の CFC 関数を選択するか、「新しい関数」をクリックして関数を新規作成します。

   注意： 関数ポップアップメニューは、CFC ファイルが現在のドキュメントであり、ColdFusion MX 7 以降を実行するコンピューターにアクセスできる場合にだけ使用できます。

   レコードセットは関数内で定義します。
3. データソースポップアップメニューでデータソースを選択します。

   データソースがポップアップメニューに表示されない場合は、ColdFusion データソースを作成する必要があります。
4. 必要に応じて、「ユーザー名」と「パスワード」ボックスに、ColdFusion アプリケーションサーバーのユーザー名とパスワードを入力します。

   ColdFusion のデータソースにアクセスするために、ユーザー名とパスワードが必要な場合があります。ColdFusion のデータソースにアクセスするためのユーザー名とパスワードを持っていない場合は、所属する組織の ColdFusion の管理者に連絡してください。
5. テーブルポップアップメニューで、レコードセットにデータを提供するデータベーステーブルを選択します。

   テーブルポップアップメニューには、指定したデータベース内のすべてのテーブルが表示されます。
6. テーブルの一部の列だけをレコードセットに含めるには、「選択」をクリックし、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながらリスト内の目的の列をクリックします。
7. テーブルから返されたレコードをさらに限定するには、「フィルター」領域に値を入力します。
   - 1 つ目のポップアップメニューで、定義したテスト値と比較するための列をデータベーステーブルから 1 列選択します。
   - 2 つ目のポップアップメニューで、各レコードの選択された値をテスト値と比較するための条件式を選択します。
   - 3 つ目のポップアップメニューで「入力値」を選択します。
   - ボックスにテスト値を入力します。

     レコード内の指定した値がフィルター条件に一致すると、そのレコードはレコードセットに含まれます。
8. （オプション）レコードを並べ替えるには、並べ替えの対象とする列を選択し、レコードを昇順（1、2、3... や A、B、C...）または降順のどちらで並べ替えるかを指定します。
9. 「テスト」をクリックしてデータベースに接続し、データソースのインスタンスを作成します。

   返されたデータを含むテーブルが表示されます。各行にはレコードが含まれており、各列はレコードのフィールドを表しています。「OK」をクリックしてテストレコードセットを閉じます。
10. 「OK」をクリックします。バインディングパネルに、新しく定義した ColdFusion レコードセットが表示されます。

トップへ戻る

SQL を使用した高度なレコードセットの定義

詳細設定のレコードセットダイアログボックスでは、独自の SQL ステートメントを記述したり、グラフィカルな「データベース項目」のツリーを使用して SQL ステートメントを作成したりできます。

1. ドキュメントウィンドウに、レコードセットを使用するページを開きます。
2. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを表示します。
3. バインディングパネルで「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューで「レコードセット（クエリー）」を選択します。

詳細設定のレコードセットダイアログボックスが表示されます。ColdFusion のサイトを開発している場合、レコードセットダイアログボックスの内容は多少異なります。基本設定のレコードセットダイアログボックスが表示された場合は、「詳細設定」ボタンをクリックして、詳細設定のレコードセットダイアログボックスに切り替えてください。

4. 詳細設定のレコードセットダイアログボックスに情報を入力します。

   手順については、以下のトピックを参照してください。

5. 「テスト」ボタンをクリックしてクエリーを実行し、要求する情報が取得されたことを確認します。

   ユーザーによって入力されたパラメーターを使用するフィルターを定義した場合、「テスト」ボタンをクリックするとテスト値ダイアログボックスが表示されます。「テスト値」ボックスに値を入力して、「OK」をクリックします。レコードセットのインスタンスが正常に作成されると、レコードセットのデータを表示するテーブルが表示されます。

6. 「OK」をクリックして、バインディングパネルの使用可能なコンテンツソースのリストにレコードセットを追加します。

詳細レコードセットダイアログボックスのオプション（**PHP, ASP**）

カスタム SQL ステートメントを記述するか、またはグラフィカルな「データベース項目」のツリーを使用して SQL ステートメントを作成することにより、動的コンテンツのソースとしてレコードセットを定義することができます。

1. 「名前」ボックスに、レコードセットの名前を入力します。

   一般的には、接頭辞「rs」をレコードセット名に付けることで、レコードセット名をコード内の他のオブジェクト名と区別します。
   例：rsPressRelease

   レコードセット名には、文字、数字、およびアンダースコア（_）のみを使用できます。特殊文字またはスペースは使用できません。

2. 接続ポップアップメニューから接続を選択します。
3. SQL テキスト領域に SQL ステートメントを入力するか、またはダイアログボックスの下部にあるグラフィカルな「データベース項目」のツリーを使用して、選択したレコードセットから SQL ステートメントを作成します。

   データベース項目のツリーを使用して SQL ステートメントを作成するには、次の操作を行います。

   - SQL テキスト領域が空白であることを確認します。
   - 必要なデータベースオブジェクトが表示されるまでツリーのブランチを展開します。このオブジェクトとしては、テーブルの列やデータベース内にあるストアードプロシージャなどがあります。
   - データベースオブジェクトを選択し、ツリーの右側にあるいずれかのボタンをクリックします。

     例えば、テーブル列を選択した場合は、「SELECT」ボタン、「WHERE」ボタン、および「ORDER BY」ボタンを利用できます。いずれかのボタンをクリックして、関連する句を SQL ステートメントに追加します。

     また、「データベース項目」のツリーからストアードプロシージャを選択し、「プロシージャ」ボタンをクリックすることにより、ストアードプロシージャ内の定義済み SQL ステートメントを使用することもできます。この場合、Dreamweaver によって「SQL」領域と「変数」領域に値が入力されます。

4. SQL ステートメントに変数が含まれる場合は、「変数」領域で「+」ボタンをクリックし、変数名、変数の種類（整数、テキスト、日付または浮動小数点値）、初期設定値（ランタイム値が返されなかった場合に変数で使用する値）、およびランタイム値を入力して、これらの変数の値を定義します。
   注意： PHP で SQL ステートメントに変数を使用する場合、Dreamweaver によって変数名の先頭にドル記号が自動的に追加されるため、ドル記号は省略してください（例えば、$colname ではなく colname）。

   SQL ステートメントに変数が含まれる場合は、「変数」ボックスの「初期設定値」列に有効なテスト値が入力されていることを確認してください。

   ランタイム値は、通常、ユーザーが HTML フォームフィールドに入力した URL パラメーターまたはフォームパラメーターです。

   「ランタイム値」列の URL パラメーター：

サーバーモデル	**URL** パラメーターに使用するランタイム値
ASP	Request.QueryString("formFieldName")
PHP	$_GET['formFieldName']

「ランタイム値」列のフォームパラメーター：

サーバーモデル	フォームパラメーターに使用するランタイム値
ASP	Request.Form("formFieldName")

PHP	$_POST['formFieldName']

5. 「テスト」をクリックしてデータベースに接続し、レコードセットのインスタンスを作成します。

   SQL ステートメントに変数が含まれる場合は、「テスト」をクリックする前に、「変数」ボックスの「初期設定値」列に有効なテスト値が入力されていることを確認してください。

   特に問題がなければ、テーブルが表示され、レコードセットのデータが表示されます。各行にはレコードが含まれており、各列はレコードのフィールドを表しています。「OK」をクリックしてレコードセットをクリアします。

6. 作業が終わったら 「OK」をクリックします。

詳細設定のレコードセットダイアログボックスのオプション（**ColdFusion**）

詳細設定のレコードセットダイアログボックスでは、カスタム SQL クエリーを記述したり、「データベース項目]」のツリーを使用してポイント＆クリックインターフェイスで SQL ステートメントを作成したりできます。

1. 「名前」ボックスに、レコードセットの名前を入力します。

   一般的には、接頭辞「rs」をレコードセット名に付けることで、レコードセット名をコード内の他のオブジェクト名と区別します。
   例：rsPressReleases

   レコードセット名には、文字、数字、およびアンダースコア（_）のみを使用できます。特殊文字またはスペースは使用できません。

   ColdFusion コンポーネントのレコードセットを定義している場合（CFC ファイルが現在 Dreamweaver で開いている場合）は、関数ポップアップメニューから既存の CFC 関数を選択するか、「新しい関数」をクリックして関数を新規作成します。

   注意： 関数ポップアップメニューは、CFC ファイルが現在のドキュメントであり、ColdFusion MX 7 以降を実行するコンピューターにアクセスできる場合にだけ使用できます。

   レコードセットは関数内で定義します。

2. データソースポップアップメニューでデータソースを選択します。

   データソースがポップアップメニューリストに表示されない場合は、最初に ColdFusion データソースを作成する必要があります。

3. 必要に応じて、「ユーザー名」と「パスワード」ボックスに、ColdFusion アプリケーションサーバーのユーザー名とパスワードを入力します。

   ColdFusion のデータソースにアクセスするために、ユーザー名とパスワードが必要な場合があります。ColdFusion のデータソースにアクセスするためのユーザー名とパスワードを持っていない場合は、所属する組織の ColdFusion の管理者に連絡してください。

4. SQL テキスト領域に SQL ステートメントを入力するか、またはダイアログボックスの下部にあるグラフィカルな「データベース項目」のツリーを使用して、選択したレコードセットから SQL ステートメントを作成します。

5. （オプション）「データベース項目」のツリーを使用して SQL ステートメントを作成するには、次の操作を行います。

   - SQL テキスト領域が空白であることを確認します。
   - 必要なデータベースオブジェクトが表示されるまでツリーのブランチを展開します。このオブジェクトとしては、テーブルの列などがあります。
   - データベースオブジェクトを選択し、ツリーの右側にあるいずれかのボタンをクリックします。

   例えば、テーブル列を選択した場合は、「SELECT」ボタン、「WHERE」ボタン、および「ORDER BY」ボタンを利用できます。いずれかのボタンをクリックして、関連する句を SQL ステートメントに追加します。

   SQL ステートメントにパラメーターが含まれる場合は、「パラメーター」領域で「+」ボタンをクリックし、パラメーター名と初期設定値（ランタイム値が返されなかった場合にパラメーターで使用する値）を入力して、これらのパラメーターの値を定義します。

   SQL ステートメントにパラメーターが含まれる場合は、「パラメーター」ボックスの「初期設定値」列に有効なテスト値が入力されていることを確認してください。

   「ページパラメーター」では、記述する SQL のランタイム値を参照するための初期設定値を指定できます。例えば、以下の SQL ステートメントでは、社員 ID の値に基づいて社員レコードが選択されます。このパラメーターには、ランタイム値が必ず返されるように、初期設定値を割り当てることができます。この例では、FormFieldName は、ユーザーが社員 ID を入力したフォームフィールドを参照します。

```
SELECT * FROM Employees WHERE EmpID = + (Request.Form(#FormFieldName#))
```

   ページパラメーターダイアログボックスには、以下のような名前と値の組み合わせが表示されます。

名前	デフォルト値
FormFieldName	`0001`

ランタイム値は、通常、ユーザーが HTML フォームフィールドに入力した URL パラメーターまたはフォームパラメーターです。

6. 「テスト」をクリックしてデータベースに接続し、レコードセットのインスタンスを作成します。

   SQL ステートメントにランタイム参照が含まれる場合は、「テスト」をクリックする前に、「ページパラメーター」フィールドの「初期設定値」列に有効なテスト値を指定してください。

   特に問題がなければ、テーブルが表示され、レコードセットのデータが表示されます。各行にはレコードが含まれており、各列はレコードのフィールドを表しています。「OK」をクリックしてレコードセットをクリアします。

7. 作業が終わったら 「OK」をクリックします。

SQL ステートメントでのパラメーターの定義（ColdFusion）

SQL ステートメントに含まれるパラメーターを定義することができます。初期設定値は、ランタイム値が返されなかった場合にパラメーターに使用する値です。

1. 名前ポップアップメニューからパラメーター名を選択します。
2. 「初期設定値」ボックスに初期設定値を入力して、「OK」をクリックします。

SQL ステートメントでのパラメーターの定義（PHP）

SQL ステートメントに含まれるパラメーターを定義することができます。初期設定値は、ランタイム値が返されなかった場合にパラメーターに使用する値です。

1. 「名前」ボックスにパラメーター名を入力します。
2. 「初期設定値」ボックスに初期設定値を入力します。
3. 「ランタイム値」ボックスにパラメーターのランタイム値を入力して、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

「データベース項目」のツリーを使用した SQL クエリーの作成

SQL ステートメントを SQL ボックスに手作業で入力する代わりに、「データベース項目」のポイント＆クリックインターフェイスを使用して、複雑な SQL クエリーを作成することができます。「データベース項目」のツリーを使用すると、データベースオブジェクトを選択し、SQL の SELECT、WHERE、および ORDER BY 句を使用してこれらのデータベースオブジェクトをリンクできます。SQL クエリーを作成してから、ダイアログボックスの「変数」領域を使用して任意の変数を定義できます。

以下の 2 つの例では、2 つの SQL ステートメントと、これらを詳細なレコードセットダイアログボックスの「データベース項目」ツリーを使用して作成する手順について説明します。

例：テーブルの選択

この例では、「Employees」テーブルの内容すべてを選択します。このクエリーを定義する SQL ステートメントは以下のとおりです。

```
SELECT * FROM Employees
```

このクエリーを作成するには、以下の手順に従います。

1. 「テーブル」ブランチを展開し、選択したデータベース内のすべてのテーブルを表示します。
2. 「Employees」テーブルを選択します。
3. 「SELECT」ボタンをクリックします。
4. 「OK」をクリックして、バインディングパネルにレコードセットを追加します。

例：テーブルからの特定の行の選択、および結果の並べ替え

次の例では、「Employees」テーブルから 2 つの行を選択し、変数（定義必要）を使用して職種を選択します。次に、結果を社員名で並べ替えます。

```
SELECT emplNo, emplName
FROM Employees
WHERE emplJob = 'varJob'
ORDER BY emplName
```

1. 「テーブル」ブランチを展開し、選択したデータベース内のすべてのテーブルを表示します。次に、「Employees」 テーブルを展開し、個々のテーブル行を表示します。
2. 次の手順に従って SQL ステートメントを作成します。
   - 「emplNo」 を選択して、「SELECT」ボタンをクリックします。
   - 「emplName」 を選択して、「SELECT」ボタンをクリックします。
   - 「emplJob」 を選択して、「WHERE」ボタンをクリックします。

- 「emplName」 を選択して、「ORDER BY」ボタンをクリックします。

3. 挿入ポイントを SQL テキスト領域の WHERE emplJob の後に置き、「='varJob'」と入力します。等号記号も含めます。
4. 変数 'varJob' を定義します。これを行うには、「変数」領域で「+」ボタンをクリックし、「名前」、「初期設定値」、および「ランタイム値」列にそれぞれ「varJob」、「CLERK」、「Request("job")」と入力します。
5. 「OK」をクリックして、バインディングパネルにレコードセットを追加します。

トップへ戻る

URL パラメーターの定義

URL パラメーターには、ユーザーによって入力された取得情報が格納されます。作業を始める前に、フォームパラメーターまたは URL パラメーターがサーバーに渡されたことを確認してください。URL 変数を定義すると、その値を現在選択しているページで使用できます。

1. ドキュメントウィンドウに、変数を使用するページを開きます。
2. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを表示します。
3. バインディングパネルで「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから次の項目のいずれかを選択します。

ドキュメントタイプ	URL 変数に関するバインディングパネルのメニュー項目
ASP	リクエスト変数 > Request.QueryString
ColdFusion	URL 変数
PHP	URL 変数

4. URL 変数ダイアログボックスで、ボックスに URL 変数の名前を入力して、「OK」をクリックします。

   URL 変数名は、通常、HTML フォームフィールドの名前、またはその値を取得するために使用されたオブジェクトの名前です。
5. URL 変数がバインディングパネルに表示されます。

トップへ戻る

フォームパラメーターの定義

フォームパラメーターには、Web ページの HTTP 要求に含まれる取得情報が格納されます。POST メソッドを使用するフォームを作成した場合、フォームによって送信されたデータはサーバーに渡されます。作業を始める前に、フォームパラメーターがサーバーに送信されたことを確認してください。フォームパラメーターをコンテンツソースとして定義すると、その値をページで使用できます。

1. ドキュメントウィンドウに、変数を使用するページを開きます。
2. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを表示します。
3. バインディングパネルで「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから次の項目のいずれかを選択します。

ドキュメントタイプ	フォーム変数に関するバインディングパネルのメニュー項目
ASP	リクエスト変数 > Request.Form
ColdFusion	フォーム変数
PHP	フォーム変数

4. フォーム変数ダイアログボックスで、フォーム変数の名前を入力して、「OK」をクリックします。フォームパラメーター名は、通常、HTML フォームフィールドの名前、またはその値を取得するために使用されたオブジェクトの名前です。

   フォームパラメーターがバインディングパネルに表示されます。

セッション変数の定義

トップへ戻る

セッション変数を使用すると、ユーザーのアクセス（セッション）中に保持される情報を格納および表示することができます。サーバーは、各ユーザーに対して個別にセッションオブジェクトを作成し、指定期間中またはオブジェクトが明示的に終了されるまでこれを保持します。

ページのセッション変数を定義する前に、これらをソースコードで定義する必要があります。Web アプリケーションのソースコードでセッション変数を定義すると、Dreamweaver からセッション変数の値を取得し、Web ページで使用することができます。

1. ソースコードでセッション変数を作成し、そのセッション変数に値を割り当てます。

   例えば、以下の ColdFusion の例では、username という名前のセッションがインスタンス化され、これに値 Cornelius が割り当てられています。

   ```
   <CFSET session.username = Cornelius>
   ```

2. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを表示します。
3. 「+」ボタンをクリックして、ポップアップメニューから「セッション変数」を選択します。
4. アプリケーションのソースコードで定義した変数の名前を入力して、「OK」をクリックします。

ASP と ColdFusion のアプリケーション変数の定義

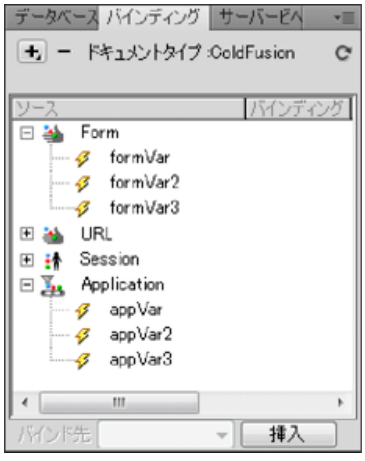
トップへ戻る

ASP および ColdFusion では、アプリケーション変数を使用して、アプリケーションの存続期間中にわたり保持される全ユーザー共通の情報を格納および表示できます。アプリケーション変数を定義すると、その値をページで使用できます。

注意： PHP にはアプリケーション変数オブジェクトは存在しません。

1. ドキュメントウィンドウに、動的ドキュメントタイプを開きます。
2. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを表示します。
3. 「+」ボタンをクリックして、ポップアップメニューから「アプリケーション変数」を選択します。
4. アプリケーションのソースコードで定義した変数の名前を入力して、「OK」をクリックします。

   アプリケーション変数がアプリケーションアイコンの下のバインディングパネルに表示されます。



ColdFusion レコードセットのデータソースとしての変数の使用

トップへ戻る

ページのレコードセットをバインディングパネルで定義すると、Dreamweaver ではそのページの cfquery タグに ColdFusion データソースの名前が入力されます。より柔軟な操作性を実現するために、データソース名を変数に格納し、その変数を cfquery タグ内で使用することもできま

す。Dreamweaver では、視覚的な方法でこのような変数をレコードセット内に指定することができます。

1. ドキュメントウィンドウで、ColdFusion ページがアクティブであることを確認します。
2. バインディングパネルで「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューで「データソース名変数」を選択します。

   データソース名変数ダイアログボックスが表示されます。
3. 変数を定義し、「OK」をクリックします。
4. レコードセットを定義するときに、この変数をレコードセットの "データソース" として選択します。

   レコードセットダイアログボックスでは、サーバー上の ColdFusion データソースと共にデータソースポップアップメニュー内に変数が表示されます。
5. レコードセットダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。
6. 変数を初期化します。

   Dreamweaver では変数が自動的に初期化されることはないので、変数を初期化する方法や場所は必要に応じて選択できます。変数は、セッション変数やアプリケーション変数としてページのコード内（cfquery タグの前）やインクルードファイル内で初期化できる他、その他のファイル内でも初期化することができます。

トップへ戻る

サーバー変数の定義

Web アプリケーション内で使用する動的コンテンツのソースとしてサーバー変数を定義します。サーバー変数は、ドキュメントタイプに応じて異なり、フォーム変数、URL 変数、セッション変数、およびアプリケーション変数があります。

サーバー変数は、サーバーにアクセスしているすべてのクライアント、およびサーバー上で実行されているすべてのアプリケーションからアクセスできます。サーバー変数は、サーバーが停止するまで保持されます。

ColdFusion サーバー変数の定義

1. ウィンドウ／バインディングを選択し、バインディングパネルを開きます。サーバー変数ダイアログボックスで、サーバー変数の名前を入力して、「OK」をクリックします。
2. 「+」ボタンをクリックして、ポップアップメニューから「サーバー変数」を選択します。
3. 変数の名前を入力し、「OK」をクリックします。ColdFusion サーバー変数がバインディングパネルに表示されます。

以下の表に、組み込み ColdFusion サーバー変数のリストを示します。

変数	説明
Server.ColdFusion.ProductName	ColdFusion の製品名。
Server.ColdFusion.ProductVersion	ColdFusion のバージョン番号。
Server.ColdFusion.ProductLevel	ColdFusion の種類（Enterprise、Professional）。
Server.ColdFusion.SerialNumber	現在インストールされている ColdFusion のシリアル番号。
Server.OS.Name	サーバーで実行されているオペレーティングシステムの名前（Windows XP、Windows 2000、Linux など）。
Server.OS.AdditionalInformation	インストールされているオペレーティングシステムに関する補足情報（サービスパック、アップデートなど）。
Server.OS.Version	インストールされているオペレーティングシステムのバージョン。
Server.OS.BuildNumber	インストールされているオペレーティングシステムのビルド番号。

ColdFusion ローカル変数の定義

ローカル変数は、ColdFusion ページ内で CFSET タグまたは CFPARAM タグを使用することによって作成されます。定義済のローカル変数がバインディングパネルに表示されます。

❖ ローカル変数ダイアログボックスで、ローカル変数の名前を入力して、「OK」をクリックします。

ASP サーバー変数の定義

動的コンテンツのソースとして Request.Cookie、Request.QueryString、Request.Form、Request.ServerVariables、および Request.ClientCertificates の ASP サーバー変数を定義することができます。

1. ウィンドウ／バインディングを選択し、バインディングパネルを開きます。
2. 「+」ボタンをクリックして、ポップアップメニューから「リクエスト変数」を選択します。
3. リクエスト変数ダイアログボックスで、タイプポップアップメニューから以下のいずれかのリクエストコレクションを選択します。
   QueryString コレクション GET メソッドを使用する HTML フォームがページに含まれる場合など、送信元ページの URL に追加された情報を取得します。クエリーストリングは、例えば、last=Smith、first=Winston のように、名前と値の組み合わせで構成されます。組み合わせは複数でもかまいません。このストリングは URL の後に疑問符（?）と共に追加されます。 クエリー文字列に複数の名前と値の組み合わせが含まれている場合、各組み合わせはアンパサンド（&）を使用して結合されます。

   Form コレクション POST メソッドを使用する HTML フォームの HTTP 要求の本文に含まれるフォーム情報を取得します。

   ServerVariables コレクション 定義済みの環境変数の値を取得します。このコレクションには、多くの値のリストが含まれます。CONTENT_LENGTH（フォームが空かどうかを確認するために使用する、HTTP 要求で送信されたコンテンツの長さ）や HTTP_USER_AGENT（ユーザーのブラウザーに関する情報を提供）などです。

   例えば、Request.ServerVariables("HTTP_USER_AGENT") には送信元のブラウザーに関する情報が含まれます。Mozilla/4.07 [en]（WinNT; I) の場合は、Netscape Navigator 4.07 ブラウザーを示しています。

   ASP サーバーの環境変数の詳細なリストについては、インストールした PWS（Microsoft Personal Web Server）または IIS（Internet Information Server）に用意されているオンラインマニュアルを参照してください。

   Cookies コレクション HTTP 要求で送信される Cookie の値を取得します。例えば、ページで、ユーザーシステム上にある "readMe" という Cookie を読み込むとします。サーバーで、Cookie の値は、変数 Request.Cookies("readMe") に格納されます。

   ClientCertificate コレクション ブラウザーから送信される HTTP 要求の証明書フィールドを取得します。証明書フィールドは、X.509 標準で指定されています。
4. アクセスするコレクションの変数名を指定して、「OK」をクリックします。

   例えば、変数 Request.ServerVariables("HTTP_USER_AGENT") の情報にアクセスする場合は、引数 HTTP_USER_AGENT を入力します。変数 Request.Form("lastname") の情報にアクセスする場合は、引数 lastname を入力します。

   リクエスト変数がバインディングパネルに表示されます。

PHP サーバー変数の定義

PHP ページの動的コンテンツのソースとしてサーバー変数を定義することができます。PHP サーバー変数がバインディングパネルに表示されます。

1. ウィンドウ／バインディングを選択し、バインディングパネルを開きます。
2. 「+」 ボタンをクリックして、ポップアップメニューから変数を選択します。
3. リクエスト変数ダイアログボックスで、変数の名前を入力して（例えば、REQUEST_METHOD）、「OK」をクリックします。

   詳しくは、PHP のマニュアルで $_SERVER キーワードを検索してください。

ColdFusion クライアント変数の定義

ページの動的コンテンツのソースとして ColdFusion クライアント変数を定義することができます。バインディングパネルに、新しく定義した ColdFusion クライアント変数が表示されます。

❖ クライアント変数ダイアログボックスで、変数の名前を入力して、「OK」をクリックします。
例えば、ColdFusion 変数 Client.LastVisit の情報にアクセスする場合は、「LastVisit」と入力します。

クライアント変数は、特定のクライアントにデータを関連付けるためにコードで作成される変数です。クライアント変数は、ユーザーがアプリケーション内の各ページおよびセッションを移動するときに、アプリケーションの状態を維持します。

クライアント変数は、ユーザー定義変数または組み込み変数です。以下の表に、組み込み ColdFusion クライアント変数のリストを示します。

変数	説明
Client.CFID	サーバーに接続する各クライアントのインクリメンタル ID。
Client.CFTOKEN	特定のクライアントを一意に識別するために使用する無作為に生成される番号。
Client.URLToken	Cookie が使用されていない場合に、テンプレート間で渡される CFID と CFTOKEN の組み合わせ。
Client.LastVisit	クライアントが最後に訪問したときのタイムスタンプ。
Client.HitCount	1 つのクライアントに関連付けられたページ要求の数（CFID と CFTOKEN を使用して追跡されます）。
Client.TimeCreated	特定のクライアントに対して CFID と CFTOKEN が最初に作成されたときのタイムスタンプ。

ColdFusion Cookie 変数の定義

Cookie 変数がコードに作成され、ブラウザーからサーバーに渡された Cookie に含まれる情報にアクセスします。定義済みの Cookie 変数がバインディングパネルに表示されます。

❖ Cookie 変数ダイアログボックスで、Cookie 変数の名前を入力して、「OK」をクリックします。

ColdFusion CGI 変数の定義

定義済みの CGI 変数がバインディングパネルに表示されます。

❖ CGI 変数ダイアログボックスで、変数の名前を入力して、「OK」をクリックします。
例えば、変数 CGI.HTTP_REFERER の情報にアクセスする場合は、「HTTP_REFERER」と入力します。

以下の表に、サーバーで作成される最も一般的な ColdFusion CGI 変数のリストを示します。

変数	説明
SERVER_SOFTWARE	要求に応答する（およびゲートウェイを実行する）情報サーバーソフトウェアの名前とバージョン。形式は name/version です。
SERVER_NAME	自己参照 URL に表示される、サーバーのホスト名、DNS エイリアス、または IP アドレス。
GATEWAY_INTERFACE	このサーバーが準拠する CGI 仕様のリビジョン。形式は CGI/revision です。
SERVER_PROTOCOL	要求によって使用された情報プロトコルの名前とバージョン。形式は protocol/revision です。
SERVER_PORT	要求の送信先のポート番号。
REQUEST_METHOD	要求の処理に使用されたメソッド。HTTP の場合は、Get、Head、Post などです。
PATH_INFO	クライアントによって指定された追加パス情報。仮想パス名の最後に追加情報を加えることによって、スクリプトにアクセスできます。追加情報は、PATH_INFO として送信されます。
PATH_TRANSLATED	サーバーによって提供される、変換したバージョンの PATH_INFO。この変数はパスを取得し、任意の仮想パスと物理パスの間のマッピングを実行します。
SCRIPT_NAME	実行されるスクリプトへの仮想パス。自己参照 URL に使用されます。
QUERY_STRING	このスクリプトを参照した URL の中で、疑問符（?）の後に続くクエリー情報。
REMOTE_HOST	要求を行うホスト名。サーバーにこの情報がない場合、サーバーは、REMOTE_HOST の代わりに REMOTE_ADDR を設定します。
REMOTE_ADDR	要求を行うリモートホストの IP アドレス。
AUTH_TYPE	サーバーがユーザー認証をサポートし、スクリプトが保護されている場合に、ユーザーの検証に使用されるプロトコル固有の認証方法。
REMOTE_USER AUTH_USER	サーバーがユーザー認証をサポートし、スクリプトが保護されている場合に、サーバーで認証されたユーザー名。AUTH_USER としても使用できます。
REMOTE_IDENT	HTTP サーバーが RFC 931 による識別をサポートしている場合に、サーバーから取得したリモートユーザーに設定される。この変数は、ログ記録にのみ使用します。
CONTENT_TYPE	HTTP POST や PUT のように、情報が添付されたクエリーの場合の、データのコンテンツタイプ。

CONTENT_LENGTH	クライアントによって指定されたコンテンツの長さ。

以下の表に、ブラウザーで作成され、サーバーに渡される最も一般的な CGI 変数のリストを示します。

変数	説明
HTTP_REFERER	参照ドキュメント。リンク先のドキュメント、または送信されたフォームデータです。
HTTP_USER_AGENT	要求を送信するためにクライアントが現在使用しているブラウザー。形式は software/version library/version です。
HTTP_IF_MODIFIED_SINCE	ページが最後に修正された日時。この変数は、通常、LAST_MODIFIED HTTP ヘッダーを送信したサーバーに対する応答で、ブラウザーの判断により送信されます。この変数を使用すると、ブラウザー側のキャッシュ機能を利用できます。

トップへ戻る

コンテンツソースのキャッシュ

動的コンテンツのソースは、デザインノートにキャッシュ、つまり保存することができます。これにより、動的コンテンツのソースを保存しているデータベースやアプリケーションサーバーにアクセスしていない場合でも、サイトで作業することができます。キャッシュを行うことにより、ネットワーク経由でデータベースやアプリケーションサーバーに繰り返しアクセスする必要がなくなるため、開発時間を短縮することができます。

❖ バインディングパネルの右上隅にある矢印ボタンをクリックして、ポップアップメニューの「キャッシュ」をオンに切り替えます。
コンテンツソースを変更した場合は、バインディングパネルの右上隅にある「更新」ボタン（丸い矢印のアイコン）をクリックして、キャッシュを更新できます。ボタンが表示されていない場合は、パネルを拡張してください。

トップへ戻る

コンテンツソースの変更または削除

動的コンテンツの既存のソース（バインディングパネルに表示されているコンテンツソース）は、変更または削除できます。

バインディングパネルのコンテンツソースを変更または削除しても、ページのコンテンツのインスタンスが変更または削除されることはありません。ページに使用可能なコンテンツのソースとして変更または削除するだけです。

バインディングパネルでのコンテンツソースの変更

1. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で編集するコンテンツソース名をダブルクリックします。
2. 表示されたダイアログボックスで変更を行います。
3. 作業が終わったら「OK」をクリックします。

バインディングパネルでのコンテンツソースの削除

1. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）のリストからコンテンツソースを選択します。
2. 「-」ボタンをクリックします。

トップへ戻る

別のページへのレコードセットのコピー

レコードセットは、定義したサイト内のあるページから別のページにコピーすることができます。

1. バインディングパネルまたはサーバービヘイビアーパネルのいずれかでレコードセットを選択します。
2. レコードセットを右クリックして、ポップアップメニューから「コピー」を選択します。
3. レコードセットのコピー先となるページを開きます。
4. バインディングパネルまたはサーバービヘイビアーツールバーを右クリックし、ポップアップメニューから「ペースト」を選択します。

関連項目
SQL 入門

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ASP デベロッパーのためのデータベース接続（CS6）

ASP データベース接続について
OLE DB 接続について
接続ストリングについて
ローカル DSN を使用した接続の作成
リモート DSN を使用した接続の作成
接続ストリングを使用した接続の作成
データベース接続の編集と削除

トップへ戻る

ASP データベース接続について

ASP アプリケーションからデータベースに接続するには、ODBC（Open Database Connectivity）ドライバー、または OLE DB（Object Linking and Embedding Database）プロバイダーを使用する必要があります。ドライバーやプロバイダーは、Web アプリケーションがデータベースと通信できるようにインタープリターの役割を果たします。次の表には、Microsoft Access、Microsoft SQL Server、および Oracle データベースで使用できるドライバーの一部が示されています。

Database	データベースドライバー
Microsoft Access	Microsoft Access Driver（ODBC） Microsoft Jet Provider for Access（OLE DB）
Microsoft SQL Server	Microsoft SQL Server Driver（ODBC） Microsoft SQL Server Provider（OLE DB）
Oracle	Microsoft Oracle Driver（ODBC） Oracle Provider for OLE DB

データソース名（DSN）または接続ストリングを使用して、データベースに接続できます。Windows システムにインストールされていない OLE DB プロバイダーまたは ODBC ドライバーを使用して接続する場合は、接続ストリングを使用する必要があります。

DSN は、接続するデータベースを示す 1 語からなる識別子で（例：myConnection）、データベースに接続するために必要な情報をすべて含んでいます。DSN は、Windows で定義します。DSN は、Windows システムにインストールされている ODBC ドライバーを使用して接続する場合に使用できます。

接続ストリングは、ハンドコーディングされた式です。次の例で示すように、データベースに接続するために必要な情報が列挙されていて、データベースを識別します。

```
Driver={SQL Server};Server=Socrates;Database=AcmeMktg;
UID=wiley;PWD=roadrunner
```

注意： Windows システムにインストールされている ODBC ドライバーを使用して接続する場合は、接続ストリングも使用できますが、DSN を使用する方が簡単です。

トップへ戻る

OLE DB 接続について

OLE DB プロバイダーを使用して、データベースと通信することができます。OLE DB は、Windows NT、2000、または XP のみで使用できます。データベース固有の OLE DB による直接接続を作成すると、Web アプリケーションとデータベースの間にある ODBC 層を取り除き、接続の速度を向上させることができます。

データベースの OLE DB プロバイダーを指定していない場合、ASP は ODBC ドライバーに対応する初期設定の OLE DB プロバイダーを使用して ODBC ドライバーと通信し、その ODBC ドライバーがデータベースと通信します。

データベースによって OLE DB プロバイダーは異なります。Microsoft Access や SQL Server 用の OLE DB プロバイダーをインストールするには、IIS を実行している Windows コンピューターに、Microsoft Data Access Components（MDAC）2.5 および 2.7 のパッケージをダウンロードおよびインストールします。MDAC パッケージは、Microsoft の Web サイト（http://msdn.microsoft.com/data/mdac/downloads/）から無償でダウンロードできます。

注意： MDAC 2.7 をインストールするには、MDAC 2.5 がインストールされている必要があります。
Oracle データベースに対応する OLE DB プロバイダーは、Oracle の Web サイト

（www.oracle.com/technology/software/tech/windows/ole_db/index.html）からダウンロードすることができます。ただし、ユーザー登録が必要です。

Dreamweaver では、接続ストリングの中で Provider パラメーターを指定することで OLE DB 接続を作成します。Microsoft Access、SQL Server、Oracle の各データベースに対応する一般的な OLE DB プロバイダーを指定するパラメーターの例を次に示します。

```
Provider=Microsoft.Jet.OLEDB.4.0;...
Provider=SQLOLEDB;...
Provider=OraOLEDB;...
```

OLE DB プロバイダーのパラメーター値については、プロバイダーのベンダーのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

トップへ戻る

接続ストリングについて

接続ストリングは、Web アプリケーションがデータベースに接続するために必要な情報をすべて組み合わせたものです。Dreamweaver では、アプリケーションサーバーが後の処理に使用できるように、このストリングをページのサーバーサイドスクリプトに挿入します。

Microsoft Access や SQL Server のデータベースに対する接続ストリングは、以下の各パラメーターの組み合わせで構成されます。各パラメーター間は、セミコロンで区切ります。

Provider データベースに対応する OLE DB プロバイダーを指定します。Microsoft Access、SQL Server、Oracle の各データベースに対応する一般的な OLE DB プロバイダーを指定するパラメーターの例を次に示します。

```
Provider=Microsoft.Jet.OLEDB.4.0;...
Provider=SQLOLEDB;...
Provider=OraOLEDB;...
```

OLE DB プロバイダーのパラメーター値については、プロバイダーのベンダーのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

プロバイダーのパラメーターを省略した場合は、ODBC に対応する初期設定の OLE DB プロバイダーが使用されるため、データベースに適切な ODBC ドライバーを指定する必要があります。

Driver データベースに対応する OLE DB プロバイダーを指定しない場合に使用する ODBC ドライバーを指定します。
Server Web アプリケーションがデータベースとは異なるサーバー上で実行される場合に、SQL Server データベースをホストしているサーバーを指定します。
Database SQL Server データベースの名前。
DBQ Microsoft Access で作成したデータベースなどの、ファイルベースのデータベースのパス。このパスには、データベースファイルが置かれているサーバー上のパスを指定します。
UID ユーザー名を指定します。
PWD ユーザーパスワードを指定します。
DSN データソース名を使用する場合に、そのデータソース名。サーバー上での DSN の定義方法によっては、接続ストリング内の DSN 以外のパラメーターを省略することができます。例えば、DSN を作成する際に他のパラメーターを定義しておけば、DSN=Results は有効な接続ストリングになります。
その他の種類のデータベースに対する接続ストリングでは、上記のパラメーターを使用しない場合や、パラメーターの名前または用途が異なる場合があります。詳しくは、データベースのベンダーのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

trees.mdb という Microsoft Access データベースに対する ODBC 接続を作成する接続ストリングの例を次に示します。

```
Driver={Microsoft Access Driver (*.mdb)};
DBQ=C:\Inetpub\wwwroot\Research\trees.mdb
```

Gojira というサーバー上にある Mothra という SQL Server データベースに対する OLE DB 接続を作成する接続ストリングの例を次に示します。

```
Provider=SQLOLEDB;Server=Gojira;Database=Mothra;UID=jsmith;
PWD=orlando8
```

トップへ戻る

ローカル DSN を使用した接続の作成

注意： この項では、既に ASP アプリケーションが設定済みであることを前提としています。また、ネットワークや FTP にアクセスできるローカルコンピューターまたはシステムに、データベースが設定されていることを前提としています。
データソース名（DSN）を使用して、Web アプリケーションとデータベース間に ODBC 接続を作成することができます。DSN とは、ODBC ドライバーを使用して特定のデータベースに接続するために必要なパラメーターがすべて含まれている名前です。

DSN には ODBC ドライバーしか指定できないため、OLE DB プロバイダーを利用する場合には、接続ストリングを使用する必要があります。

ローカルに定義された DSN を使用して、Dreamweaver にデータベース接続を作成することができます。

1. Dreamweaver を実行している Windows コンピューターで DSN を定義します。

   手順については、Microsoft の Web サイトで次の記事を参照してください。

   - コンピューターで Windows 2000 を実行している場合は、Microsoft Knowledge Base の記事 300596（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;300596）を参照してください。
   - コンピューターで Windows XP を実行している場合は、Microsoft Knowledge Base の記事 305599（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;305599）を参照してください。

2. Dreamweaver で ASP ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
3. パネルの「+」ボタンをクリックし、メニューから「データソース名（DSN）」を選択します。
4. 新しい接続の名前を入力します（スペースまたは特殊文字は使用できません）。
5. 「ローカルの DSN を使用」を選択し、データソース名（DSN）メニューから使用する DSN を選択します。

   ローカルの DSN を使用する際に、DSN が定義されていない場合は、「定義」をクリックして、「Windows ODBC データソースアドミニストレータ」を開きます。

6. 「ユーザー名」テキストボックスと「パスワード」テキストボックスに情報を入力します。
7. 「詳細設定」をクリックし、スキーマ名またはカタログ名を入力して、デザイン時に Dreamweaver が検索するデータベースの項目数を制限することができます。
   注意： Microsoft Access では、スキーマやカタログは作成できません。
8. 「テスト」をクリックしてデータベースに接続し、「OK」をクリックします。接続できない場合は、接続ストリングを再確認するか、Dreamweaver が動的ページの処理に使用するテストフォルダーの設定をチェックしてください。

トップへ戻る

リモート DSN を使用した接続の作成

注意： この項では、既に ASP アプリケーションが設定済みであることを前提としています。また、ネットワークや FTP にアクセスできるローカルコンピューターまたはシステムに、データベースが設定されていることを前提としています。
注意： Dreamweaver で取得できるのは、「Windows ODBC データソースアドミニストレータ」で作成したサーバーサイドの DSN に限られます。
リモートコンピューターに定義された DSN を使用して、Dreamweaver にデータベース接続を作成することができます。リモートの DSN を使用する場合は、アプリケーションサーバー（通常は IIS）を実行している Windows コンピューターにその DSN が定義されている必要があります。

注意： DSN には ODBC ドライバーしか指定できないため、OLE DB プロバイダーを利用する場合には、接続ストリングを使用する必要があります。

1. アプリケーションサーバーを実行しているリモートシステム上で DSN を定義します。

   手順については、Microsoft の Web サイトで次の記事を参照してください。

   - リモートコンピューターで Windows 2000 を実行している場合は、Microsoft Knowledge Base の記事 300596（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;300596）を参照してください。
   - リモートコンピューターで Windows XP を実行している場合は、Microsoft Knowledge Base の記事 305599（http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;305599）を参照してください。

2. Dreamweaver で ASP ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
3. パネルの「+」ボタンをクリックし、メニューから「データソース名（DSN）」を選択します。
4. 新しい接続の名前を入力します（スペースまたは特殊文字は使用できません）。
5. 「テストサーバーの DSN を使用」を選択します。
   注意： Mac OS を使用している場合は、すべてのデータベース接続でアプリケーションサーバーの DSN が使用されるため、この手順は無視してください。
6. DSN を入力するか「DSN」ボタンをクリックしてサーバーに接続し、使用するデータベースの DSN を選択してから、必要に応じてオプションを設定します。
7. 「ユーザー名」テキストボックスと「パスワード」テキストボックスに情報を入力します。
8. 「詳細設定」をクリックし、スキーマ名またはカタログ名を入力して、デザイン時に Dreamweaver が検索するデータベースの項目数を制限することができます。
   注意： Microsoft Access では、スキーマやカタログは作成できません。
9. 「テスト」をクリックしてデータベースに接続し、「OK」をクリックします。接続できない場合は、接続ストリングを再確認するか、Dreamweaver が動的ページの処理に使用するテストフォルダーの設定をチェックしてください。

トップへ戻る

接続ストリングを使用した接続の作成

DSN を使用しない接続を使って、Web アプリケーションとデータベース間の ODBC 接続または OLE DB 接続を作成することができます。その際には、接続ストリングを使用して接続を作成します。

1. Dreamweaver で ASP ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。

2. パネルの「+」ボタンをクリックし、メニューから「カスタム接続ストリング」を選択します。必要に応じてオプションを設定し、「OK」をクリックします。
3. 新しい接続の名前を入力します（スペースまたは特殊文字は使用できません）。
4. データベースの接続ストリングを入力します。接続ストリング内で OLE DB プロバイダーを指定しない場合（つまり、Provider パラメーターを含めない）、ASP は自動的に ODBC ドライバーの OLE DB プロバイダーを使用します。この場合は、使用するデータベースに応じた適切な ODBC ドライバーの指定が必要です。

   ISP を利用してサイトをホストしている場合に、データベースの絶対パスがわからないときは、接続ストリング内で ASP サーバーオブジェクトの MapPath メソッドを使用します。
5. 接続ストリングで指定したデータベースドライバーが Dreamweaver と同じコンピューターにインストールされていない場合は、「テストサーバー上のドライバーを使用」を選択します。
   注意： Mac OS を使用している場合は、すべてのデータベース接続がアプリケーションサーバーで行われるため、この手順は無視してください。
6. 「詳細設定」をクリックし、スキーマ名またはカタログ名を入力して、デザイン時に Dreamweaver が検索するデータベースの項目数を制限することができます。
   注意： Microsoft Access では、スキーマやカタログは作成できません。
7. 「テスト」をクリックしてデータベースに接続し、「OK」をクリックします。接続できない場合は、接続ストリングを再確認するか、Dreamweaver が動的ページの処理に使用するテストフォルダーの設定をチェックしてください。

ISP のデータベースへの接続

一般のインターネットサービスプロバイダー（ISP）を使用して ASP を開発している場合、データベースファイルなど、アップロードするファイルの物理パスが不明なことがあります。

使用している ISP が DSN を定義しなかったり、定義に時間がかかる場合には、別の方法でデータベースファイルに対する接続を作成する必要があります。例えば、データベースファイルに対して DSN を使用しない接続を作成する方法がありますが、このような接続を定義するには、ISP サーバーに保存されているデータベースファイルの物理パスの情報が必要になります。

ASP サーバーオブジェクトの MapPath メソッドを使用して、データベースファイルのサーバー上での物理パスを取得することができます。

注意： この項で説明する方法は、データを .mdb ファイルに保存する Microsoft Access データベースなどのファイルベースのデータベースにのみ適用されます。

物理パスと仮想パスについて

Dreamweaver を使用してファイルをリモートサーバーにアップロードすると、ファイルはサーバーのローカルディレクトリツリーにあるフォルダー内に保存されます。例えば、Microsoft IIS を実行しているサーバーでは、ホームページへのパスは次のようになります。

```
c:\Inetpub\wwwroot\accounts\users\jsmith\index.htm
```

このパスは、ファイルに対しては物理パスとなります。

しかし、ファイルを開くための URL は、物理パスではありません。次の例のように、サーバー名またはドメイン名の後に仮想パスが使用されます。

```
www.plutoserve.com/jsmith/index.htm
```

仮想パス /jsmith/index.htm が、物理パス c:¥Inetpub¥wwwroot¥accounts¥users¥jsmith¥index.htm の代わりとして機能します。

仮想パスを利用したファイルの物理パスの検索

ISP を使用している場合は、アップロードしたファイルの物理パスが常にわかるわけではありません。通常、ISP は FTP ホスト（ホストディレクトリ）とログイン名、パスワードをユーザーに通知します。また、インターネット上でページを確認できるようにホームページ（例：www.plutoserve.com/jsmith/）を通知します。

URL がわかっている場合は、URL のサーバー名またはドメイン名に続くパスから、ファイルの仮想パスがわかります。仮想パスがわかったら、MapPath メソッドを使用して、サーバー上のファイルの物理パスを取得できます。

MapPath メソッドは仮想パスを引数として使用し、ファイルの物理パスとファイル名を返します。次にメソッドの構文を示します。

```
Server.MapPath("/virtualpath")
```

ファイルの仮想パスが /jsmith/index.htm である場合、次の式でファイルの物理パスが返されます。

```
Server.MapPath("/jsmith/index.htm")
```

MapPath メソッドを使用して、次のような処理ができます。

1. Dreamweaver で ASP ページを開き、コードビューに切り替えます（表示／コード）。
2. ページの HTML コードに、次の式を入力します。

```
<%Response.Write(stringvariable)%>
```

3. MapPath メソッドを使用して、stringvariable 引数の値を求めます。

   次に、その例を示します。

   ```
   <% Response.Write(Server.MapPath("/jsmith/index.htm")) %>
   ```

4. ライブビュー（表示／ライブビュー）に切り替えて、ページを表示します。

   ページには、次の例のように、ファイルのアプリケーションサーバー上での物理パスが表示されます。

   ```
   c:\Inetpub\wwwroot\accounts\users\jsmith\index.htm
   ```

   MapPath メソッドについて詳しくは、Microsoft IIS のオンラインマニュアルを参照してください。

仮想パスを使用したデータベースへの接続

リモートサーバー上に存在するデータベースファイルに対して DSN を使用しない接続ストリングを記述するには、ファイルの物理パスの情報が必要です。例えば、DSN を使用しない標準的な Microsoft Access データベース用の接続ストリングは、次のようになります。

```
Driver={Microsoft Access Driver (*.mdb)};
DBQ=c:\Inetpub\wwwroot\accounts\users\jsmith\data\statistics.mdb
```

リモートサーバー上のファイルの物理パスがわからない場合は、接続ストリング内で MapPath メソッドを使用して物理パスを取得することができます。

1. データベースファイルをリモートサーバーにアップロードし、仮想パスをメモしておきます（例：/jsmith/data/statistics.mdb）。
2. Dreamweaver で ASP ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
3. パネルの「+」ボタンをクリックし、メニューから「カスタム接続ストリング」を選択します。
4. 新しい接続の名前を入力します（スペースまたは特殊文字は使用できません）。
5. 接続ストリングを入力し、MapPath メソッドを使用して DBQ パラメーターを指定します。

   Microsoft Access データベースに対する仮想パスが /jsmith/data/statistics.mdb であるとします。スクリプト言語が VBScript である場合、接続ストリングは次のように表すことができます。

   ```
   "Driver={Microsoft Access Driver (*.mdb)};DBQ=" & Server.MapPath¬
   ("/jsmith/data/statistics.mdb")
   ```

   アンパサンド（&）は、2 つのストリングを連結するために使用されます。最初のストリングは引用符で囲まれ、2 番目のストリングは Server.MapPath 式によって返されます。2 つのストリングが連結されると、次のストリングが生成されます。

   ```
   Driver={Microsoft Access Driver (*.mdb)};
   DBQ=C:\Inetpub\wwwroot\accounts\users\jsmith\data\statistics.mdb
   ```

   JavaScript を使用している場合も、この式は同じですが、アンパサンド（&）ではなくプラス（+）記号を使用して 2 つのストリングを連結する点で異なっています。

   ```
   "Driver={Microsoft Access Driver (*.mdb)};DBQ=" + Server.MapPath¬
   ("/jsmith/data/statistics.mdb")
   ```

6. 「テストサーバー上のドライバーを使用」を選択し、「テスト」をクリックしてから、「OK」をクリックします。
   注意： Mac OS を使用している場合は、すべてのデータベース接続がアプリケーションサーバーで行われるため、この手順は無視してください。
   注意： 接続に失敗した場合は、接続ストリングを再確認するか、ISP に問い合わせて、接続ストリングで指定したデータベースドライバーがリモートサーバーにインストールされていることを確認してください。また、ISP で使用されているドライバーが、最新バージョンであるかどうかを確認してください。例えば、Microsoft Access 2000 データベース用に、Microsoft Access Driver 3.5 を使用することはできません。Microsoft Access Driver 4.0 以降が必要になります。
7. 既存の動的ページのデータベース接続を更新して（Dreamweaver で該当するページを開き、バインディングパネルまたはサーバービヘイビアーパネルでレコードセット名をダブルクリックして、作成した接続を接続メニューから選択します）、新規に作成するページで新しい接続を使用します。

トップへ戻る

データベース接続の編集と削除

Dreamweaver では、データベース接続を作成すると、サイトのローカルルートフォルダー内の Connections サブフォルダーにあるインクルードファイルに、接続情報が保存されます。ファイル内の接続情報は手動で編集または削除するか、次のように処理することもできます。

接続の編集

1. Dreamweaver で ASP ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
2. 接続を右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、メニューから「接続の編集」を選択します。
3. 接続情報を編集し、「OK」をクリックします。

   Dreamweaver により、インクルードファイルが更新され、さらに、該当するサイトでこの接続を使用しているすべてのページが更新されます。

接続の削除

1. Dreamweaver で ASP ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
2. 接続を右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、メニューから「接続の削除」を選択します。
3. 表示されるダイアログボックスで、接続の削除を確認します。
   注意： 接続の削除後にエラーが発生しないようにするには、バインディングパネルでレコードセットの名前をダブルクリックし、新しい接続を選択して、削除された接続を使用しているレコードセットをすべて更新します。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ColdFusion デベロッパーのためのデータベース接続（CS6）

ColdFusion データベースへの接続
ColdFusion のデータソースの作成または修正
Dreamweaver からのデータベースへの接続

トップへ戻る

ColdFusion データベースへの接続

Dreamweaver で ColdFusion の Web アプリケーションを開発する際には、サーバーの管理コンソールである Dreamweaver または ColdFusion Administrator で定義された ColdFusion のデータソースを選択して、データベースに接続します。

データベースに接続する前に、ColdFusion の Web アプリケーションを設定する必要があります。また、ネットワークや FTP にアクセスできるローカルコンピューターまたはシステムにデータベースを設定する必要があります。

さらに、Dreamweaver が ColdFusion のデータソースの場所を認識できるようにする必要があります。ColdFusion のデータソースをデザイン時に取得できるように、Dreamweaver では、ColdFusion を実行しているコンピューターのフォルダーにスクリプトが保存されます。サイト定義ダイアログボックスの「テストサーバー」カテゴリで、このフォルダーを指定してください。

次に、Dreamweaver または ColdFusion Administrator で ColdFusion のデータソースを作成します（既存のデータソースがない場合）。ColdFusion のデータソースを作成したら、Dreamweaver でこのデータソースを使用してデータベースに接続できます。

トップへ戻る

ColdFusion のデータソースの作成または修正

データベース情報をページで使用するには、ColdFusion のデータソースを作成する必要があります。ColdFusion MX 7 以降を実行している場合は、Dreamweaver で直接データソースを作成し修正することができます。ColdFusion MX を実行している場合は、サーバーの管理コンソールである ColdFusion MX Administrator を使用して、データソースを作成、修正する必要があります。この場合でも、Dreamweaver を使用して ColdFusion MX Administrator を起動することができます。

ColdFusion MX 7 以降での ColdFusion のデータソースの作成または修正

1. ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターが、サイトのテストサーバーとして定義されていることを確認します。
2. Dreamweaver で 任意の ColdFusion ページを開きます。
3. データソースを新規作成するには、データベースパネル（ウィンドウ／データベース）で「+」ボタンをクリックし、データベースドライバーに固有のパラメーター値を入力します。
   注意： Dreamweaver では、「+」ボタンは ColdFusion MX 7 以降を実行している場合にだけ表示されます。
4. データソースを修正するには、データベースパネルでデータベース接続をダブルクリックし、必要な変更を加えます。

   データソース名以外のパラメーターを編集できます。詳しくは、ドライバーのベンダーのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

ColdFusion MX 6.1 または 6.0 での ColdFusion のデータソースの作成または修正

1. Dreamweaver で 任意の ColdFusion ページを開きます。
2. Dreamweaver のデータベースパネル（ウィンドウ／データベース）で、パネルツールバーの「データソースの変更」をクリックします。
3. ColdFusion MX Administrator にログインして、データソースを作成、または修正します。

   手順については、ColdFusion ヘルプ（ヘルプ／ColdFusion ヘルプ）を参照してください。

   ColdFusion のデータソースを作成するには、特定のパラメーター値を指定する必要があります。データベースドライバー固有のパラメーター値については、ドライバーのベンダーのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

   ColdFusion のデータソースを作成すると、Dreamweaver で使用できるようになります。

トップへ戻る

Dreamweaver からのデータベースへの接続

ColdFusion のデータソースを作成したら、このデータソースを使用して Dreamweaver からデータベースに接続します。

Dreamweaver で任意の ColdFusion ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。パネルに ColdFusion のデータソースが表示されます。

データソースが表示されない場合は、パネル内のチェックリストが適切であることを確認してください。さらに、Dreamweaver が ColdFusion のデータソースの場所を認識できるようにする必要があります。サイト定義ダイアログボックスの「テストサーバー」カテゴリで、ColdFusion を実

行しているコンピューターに保存されているサイトのルートフォルダーを指定します。

関連項目

テストサーバーの設定

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

PHP デベロッパーのためのデータベース接続

PHP データベース接続について
データベースへの接続
データベース接続の編集と削除

トップへ戻る

PHP データベース接続について

Dreamweaver で PHP を使用して開発するときに使用可能なデータベースシステムは、MySQL だけです。Microsoft Access や Oracle など、その他のデータベースシステムを使用することはできません。MySQL は、オープンソースソフトウェアです。非営利目的であれば、インターネットから無料でダウンロードできます。詳しくは、MySQL の Web サイト（http://dev.mysql.com/downloads/）を参照してください。

この項では、既に PHP アプリケーションが設定済みであることを前提としています。また、MySQL データベースが、ローカルコンピューターまたはネットワークや FTP でアクセスできるシステムに設定されていることを前提としています。

開発目的で、MySQL データベースサーバーの Windows Essentials バージョンをダウンロードしてインストールします。

トップへ戻る

データベースへの接続

Dreamweaver で PHP アプリケーションを開発する際にデータベースに接続するには、1 つまたは複数の MySQL データベースがあり、MySQL サーバーが起動されている必要があります。

1. Dreamweaver で PHP ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
2. パネルの「+」ボタンをクリックし、メニューから「MySQL 接続」を選択して、ダイアログボックスに情報を入力します。
   - 新しい接続の名前を入力します（スペースまたは特殊文字は使用できません）。
   - 「MySQL サーバー」ボックスで、MySQL がインストールされているコンピューターの IP アドレスまたはサーバー名を入力します。MySQL と PHP を同じコンピューターで実行する場合は、「localhost」と入力できます。
   - MySQL ユーザー名とパスワードを入力します。
   - 「データベース」ボックスにデータベース名を入力するか、「選択」をクリックして MySQL データベースのリストからデータベースを選択し、「テスト」をクリックします。

   Dreamweaver がデータベースへの接続を試みます。接続に失敗した場合は、サーバー名、ユーザー名、およびパスワードを再確認してください。それでも接続に失敗する場合は、Dreamweaver が動的ページの処理に使用するテストフォルダーの設定をチェックしてください。

   サイト定義ダイアログボックスの「テストサーバー」カテゴリでは、URL 接頭辞として推測された値が自動的に入力されます。必要に応じて、この URL 接頭辞を変更して接続してください。URL 接頭辞は、Web アプリケーションを開くためにブラウザーでユーザーが入力する URL から、アプリケーションのファイル名（開始ページ）を除いた形になります。
3. 「OK」をクリックします。
   注意： MySQL 4.1 への PHP データベース接続をテストして、「Client does not support authentication protocol requested. Consider upgrading MySQL client」というエラーメッセージが表示された場合は、MySQL エラーメッセージのトラブルシューティングを参照してください。

トップへ戻る

データベース接続の編集と削除

Dreamweaver では、データベース接続を作成すると、サイトのローカルルートフォルダー内の Connections サブフォルダーにあるインクルードファイルに、接続情報が保存されます。ファイル内の接続情報は手動で編集または削除するか、次のように処理することもできます。

接続の編集

1. Dreamweaver で PHP ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
2. 接続を右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、メニューから「接続の編集」を選択します。
3. 接続情報を編集し、「OK」をクリックします。

   Dreamweaver により、インクルードファイルが更新され、さらに、該当するサイトでこの接続を使用しているすべてのページが更新されます。

接続の削除

1. Dreamweaver で PHP ページを開き、データベースパネルを開きます（ウィンドウ／データベース）。
2. 接続を右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、メニューから「接続の削除」を選択します。
3. 表示されるダイアログボックスで、接続の削除を確認します。
   注意： 接続を削除した後にエラーが発生しないようにするには、古い接続を使用しているレコードセットをすべて更新します。バインディングパネルでレコードセットの名前をダブルクリックし、レコードセットダイアログボックスで新しい接続を選択してください。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Web フォームの作成

Web フォームについて
フォームオブジェクト
HTML フォームの作成
動的フォームオブジェクトについて
動的 HTML フォームメニューの挿入または変更
既存の HTML フォームメニューを動的にする
HTML テキストフィールドでの動的コンテンツの表示
動的テキストフィールドダイアログボックスのオプションの設定
HTML チェックボックスの動的な事前選択
HTML ラジオボタンの動的な事前選択
HTML フォームデータの検証
HTML フォームオブジェクトへの JavaScript ビヘイビアーの割り当て
HTML フォームボタンへのカスタムスクリプトの割り当て
アクセシビリティを考慮した HTML フォームの作成

注意： Dreamweaver Creative Cloud アップデート内で、HTML フォームエレメントのサポートが強化されています。詳しくは、「フォームエレメントの HTML5 サポート強化」を参照してください。

トップへ戻る

Web フォームについて

ビジターが Web ブラウザー（クライアント）に表示されたフォームに情報を入力し、送信ボタンをクリックすると、その情報はサーバーに送信され、サーバー上のサーバーサイドスクリプトやアプリケーションで処理されます。サーバーは、処理された情報をユーザー、つまりクライアントに送り返すか、フォームの内容に基づいて何らかのアクションを実行することで、応答します。

PHP、ASP、および ColdFusion を含む多くのアプリケーションサーバーに、データを送信するフォームを作成することができます。ColdFusion を使用する場合は、ColdFusion 固有のフォームコントロールをフォームに追加することもできます。

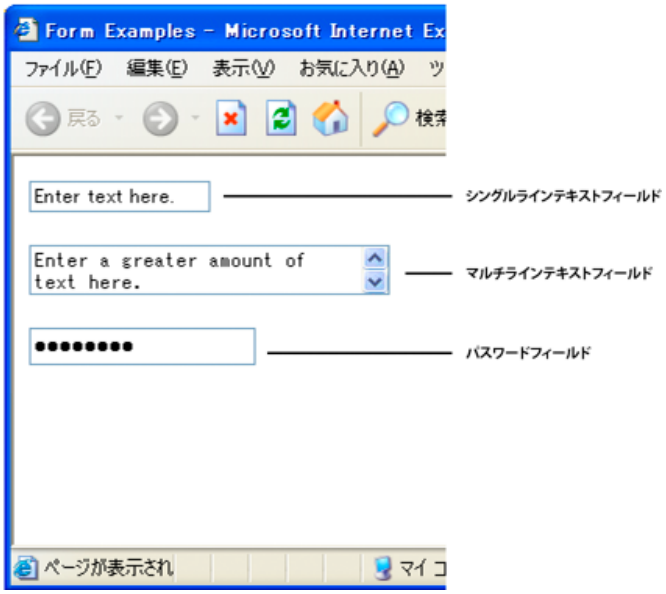
注意： フォームデータを電子メール受信者に直接送信することもできます。

トップへ戻る

フォームオブジェクト

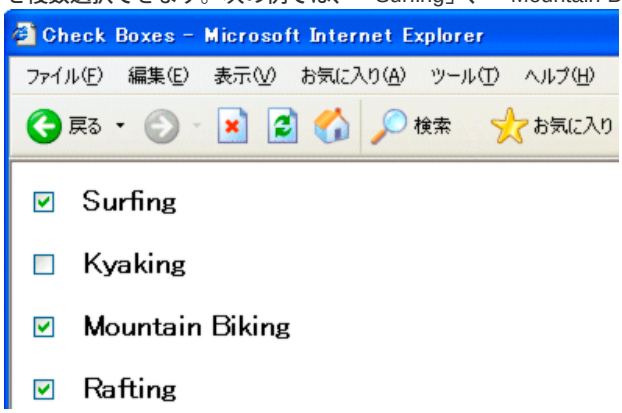
Dreamweaver では、フォームの入力タイプのことを「フォームオブジェクト」といいます。フォームオブジェクトは、ユーザー入力を可能にするための機構です。フォームには、以下のフォームオブジェクトを追加できます。

テキストフィールド あらゆる英数字を入力できます。テキストフィールドは、シングルラインまたはマルチラインのフィールドとして表示できるほか、パスワードフィールドとして表示することもできます。パスワードフィールドでは、入力したテキストが第三者の目に触れないようにアスタリスクやブレットに置き換えられます。

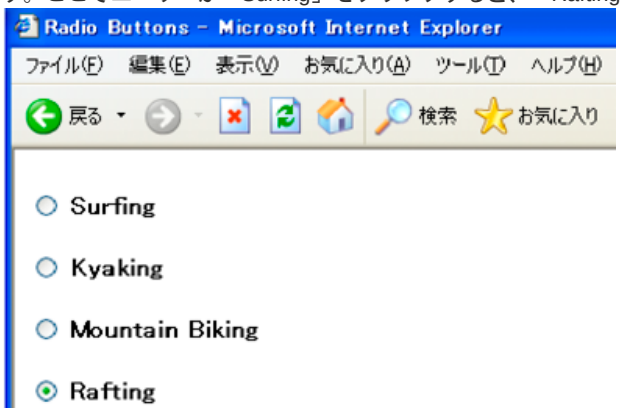


注意： パスワードフィールドに入力されたパスワードおよびその他の情報は、サーバーに送信される際に暗号化されるわけではありません。転送

データは、不正に取得され、英数字テキストとして読み取られる可能性があります。このため、データを保護する必要がある場合は、そのデータを暗号化してください。
非表示フィールド 名前、電子メールアドレス、表示の傾向など、一度入力した情報を保存できるので、ユーザーは次に同サイトへアクセスしたときにそのデータを使用できます。
ボタン クリックするとアクションを実行します。ボタンのカスタム名またはラベルを追加したり、"送信" または "リセット" など定義済みのラベルを使用することもできます。フォームデータをサーバーに送信する場合や、フォームをリセットする場合にボタンを使用します。また、スクリプト内で定義した他の処理タスクを割り当てることもできます。例えば、ボタンによって、割り当てられた値を基に選択された項目の合計費用を計算することもできます。
チェックボックス 1 つのオプショングループで複数の応答を選択できるように設定するときに使用します。ユーザーは、必要に応じてオプションを複数選択できます。次の例では、「Surfing」、「Mountain Biking」、「Rafting」の 3 つのチェックボックス項目が選択されています。



ラジオボタン 1 つの項目しか選択できない排他的な選択リストです。ラジオボタングループで 1 つのボタンを選択すると、そのグループの他のボタンはすべて選択解除されます。グループは、共通の名前を持つ複数のボタンで構成されます。次の例では、現在「Rafting」がオンになっています。ここでユーザーが「Surfing」をクリックすると、「Rafting」ボタンは自動的にオフになります。



リストメニュー スクロールリストにオプションの値を表示します。ユーザーはこのリストから複数のオプションを選択できます。「リスト」オプションを選択すると、メニューにオプションの値が表示され、ユーザーはその中から 1 つだけ選択できます。メニューは、多くのアイテムを限られたスペースで表示する場合や、サーバーに返される値を制御する必要がある場合に使用します。テキストフィールドではユーザーが自由に情報を入力できるため、無効な値でも入力可能ですが、メニューではメニューから返される値を設計者が設定できます。
注意： HTML フォーム上のポップアップメニューは、グラフィックポップアップメニューとは異なります。グラフィックポップアップメニューの作成、編集、および表示と非表示の切り替えについては、この項の最後にあるリンクを参照してください。
ジャンプメニュー ナビゲーションリストまたはポップアップメニューのことで、それぞれのオプションは、ドキュメントまたはファイルにリンクしています。
ファイルフィールド ユーザーがコンピューター上のファイルを参照して、そのファイルをフォームのデータとしてアップロードできるように設定するときに使用します。
イメージフィールド フォームにイメージを挿入するときに使用します。イメージフィールドは、「送信」ボタンや「リセット」ボタンなどのグラフィックボタンの作成に使用します。イメージを使用して、データの送信以外のタスクを実行するには、ビヘイビアーをフォームオブジェクトに関連付ける必要があります。

トップへ戻る

HTML フォームの作成

（Creative Cloud ユーザーのみ）：HTML5 サポートの一環として、フォームエレメントのプロパティパネルに新しい属性が導入されました。また、4 つの新しいフォームエレメント（電子メール、検索、電話、URL）が、挿入パネルの「フォーム」セクションに導入されました。詳細については、「フォームエレメントの HTML5 サポート強化」を参照してください。

1. ページを開き、フォームを表示する場所に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／フォームを選択するか、挿入パネルの「フォーム」カテゴリを選択してフォームアイコンをクリックします。

   デザインビューでは、フォームは赤い点線のアウトラインで示されます。アウトラインが表示されない場合は、表示／ビジュアルエイド／不

可視エレメントを選択します。

3. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）で、HTML フォームのプロパティを設定します。
   a. ドキュメントウィンドウで、フォームのアウトラインをクリックしてフォームを選択します。
   b. 「フォーム名」ボックスに、フォームを識別する固有の名前を入力します。

      フォームに名前を付けると、JavaScript や VBScript などのスクリプト言語を使用してそのフォームの参照または制御できるようになります。フォームに名前を付けない場合は、Dreamweaver によってシンタックス formn が使用され、名前が生成されます。n の値は、ページにフォームが追加されるごとに増加します。

   c. 「アクション」ボックスで、フォームデータを処理するページまたはスクリプトを指定します。該当するページまたはスクリプトを選択するには、パスを入力するか、フォルダーアイコンをクリックします。例：processorder.php
   d. メソッドポップアップメニューで、フォームデータをサーバーに送信するためのメソッドを指定します。次のいずれかのオプションを設定します。
      指定なし ブラウザーの初期設定を使用してフォームデータがサーバーに送信されます。通常、初期設定値は GET メソッドです。

      GET ページを要求する URL に値が付加されます。

      POST フォームデータが HTTP 要求に埋め込まれます。

      GET メソッドを使用して長いフォームを送信しないでください。URL の長さは 8192 文字に制限されています。送信するデータが大きすぎる場合は、データは切り捨てられ、予期しない処理結果が生じたり、処理に失敗する可能性があります。

      GET メソッドによって渡されたパラメーターで生成される動的ページは、ブックマークに登録することができます。これは、ブラウザーの「アドレス」ボックスに表示される URL には、ページを再生成する上で必要なすべての値が含まれているためです。それに対して、POST メソッドによって渡されたパラメーターで生成される動的ページは、ブックマークに登録できません。

      秘密のユーザー名やパスワード、クレジットカード番号など、機密性の高い情報を収集する場合には、POST メソッドの方が GET メソッドを使用するよりも安全性が高くなります。ただし、POST メソッドによって送信される情報は暗号化されていないので、ハッカーには容易に入手される可能性があります。セキュリティを確保するには、安全なサーバーに安全な方法で接続するようにします。

   e. （オプション）エンコーディングタイプポップアップメニューで、サーバーに送信して処理するデータの MIME エンコードタイプを指定します。

      初期設定の application/x-www-form-urlencode 設定は通常、POST メソッドと共に使用されます。ファイルアップロードフィールドを作成する場合は、multipart/form-data MIME タイプを指定します。

   f. （オプション）ターゲットポップアップメニューで、呼び出されたプログラムが返したデータを表示するためのウィンドウを指定します。

      名前が付けられたウィンドウが開いていない場合は、名前を付けた新しいウィンドウが開きます。必要に応じて、「ターゲット」の値を以下のいずれかに設定します。

      _blank 送信先ドキュメントを、新規の名前のないウィンドウで開きます。

      _parent 送信先ドキュメントを、現在表示されているドキュメントの親ウィンドウで開きます。

      _self 送信先ドキュメントを、フォームが送信されたウィンドウと同じウィンドウで開きます。

      _top 送信先ドキュメントを、現在のウィンドウのボディ部分で開きます。この値は、元のドキュメントがフレームで表示されている場合でも、送信先ドキュメントがウィンドウ全体に表示されるようにするためのものです。

4. ページにフォームオブジェクトを挿入します。
   a. フォーム内でフォームオブジェクトを表示する位置に挿入ポイントを置きます。
   b. 挿入／フォームまたは挿入パネルの「フォーム」カテゴリでオブジェクトを選択します。
   c. Input タグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスの入力を完了します。詳しくは、ダイアログボックスの「ヘルプ」ボタンをクリックしてください。
      注意： Input タグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスが表示されない場合は、フォームオブジェクトの挿入を試みたときに、コードビューで挿入ポイントを設定している可能性があります。挿入ポイントがデザインビューにあることを確認し、もう一度試してください。このトピックについて詳しくは、David Powers の記事「Creating HTML forms in Dreamweaver」（英語）を参照してください。
   d. オブジェクトのプロパティを設定します。
   e. プロパティインスペクターで、オブジェクトの名前を入力します。

      それぞれのテキストフィールド、非表示フィールド、チェックボックス、およびリスト/メニューオブジェクトには、フォーム内で一意に識別されるように、固有の名前を割り当てる必要があります。フォームオブジェクトの名前に、スペースまたは特殊文字を含めることはできません。英数字と下線（_）の任意の組み合わせを使用できます。オブジェクトに割り当てたラベルは、フィールドの値（入力されたデータ）を保存する変数名となります。この値は、サーバーに送信されて処理されます。

      注意： 同一グループのラジオボタンすべてに、同じ名前を付ける必要があります。
   f. ページ上のテキストフィールド、チェックボックス、またはラジオボタンオブジェクトにラベルを付けるには、オブジェクトの横をクリックして、ラベルを入力します。

5. フォームのレイアウトを調整します。

行の区切り、段落の区切り、フォーマット済みのテキスト、またはテーブルを使用して、フォームをフォーマットします。1 ページに複数のフォームを入れることはできますが、別のフォームにフォームを追加すること、つまり、タグのオーバーラップはできません。

フォームをデザインするとき、フォームフィールドに説明のテキストを付けてユーザーが質問内容を理解するようにします。例えば、"名前を入力してください" というラベルによって名前の情報を要求します。

テーブルを使用して、フォームオブジェクトとフィールドラベルを構造化します。フォームでテーブルを使用するときには、必ずすべての table タグが form タグの間にあるようにします。

フォームの作成のチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0160_jp を参照してください。

CSS を使用したフォームのスタイル指定のチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0161_jp を参照してください。

テキストフィールドオブジェクトのプロパティ

テキストフィールドオブジェクトを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。

文字幅 フィールドに表示できる最大文字数を設定します。この数値は、フィールドに入力できる最大文字数を指定する「最大文字数」の数値より小さくてもかまいません。例えば、「文字幅」を 20（初期設定値）に設定している場合は、ユーザーが 100 文字入力しても、20 文字しかテキストフィールドには表示されません。ただし、フィールドに表示されていない文字も、フィールドオブジェクトによって認識され、サーバーに送信されます。

最大文字数 シングルラインのテキストフィールドに入力できる最大文字数を設定します。例えば、「最大文字数」を使用して郵便番号を 5 桁に、またはパスワードを 10 文字に制限します。「最大文字数」ボックスを空白のままにすると、文字数の制限はなくなります。ユーザーが、テキストフィールドの幅に収まる文字数（長さ）を超えて入力した場合、テキストはスクロールされます。最大文字数を超える入力があった場合、警告音が鳴ります。

ライン数 マルチラインのテキストフィールドの高さを設定します。このオプションは、「マルチライン」オプションを選択した場合にのみ設定できます。

使用不可 テキスト領域を無効にします。

読み取り専用 テキスト領域を、読み取り専用テキスト領域にします。

タイプ 「シングルライン」、「マルチライン」、「パスワード」のいずれかを指定します。

シングルライン 選択すると、input タグの type 属性が text に設定されます。「文字幅」の設定は、size 属性にマッピングされ、「最大文字数」の設定は maxlength 属性にマッピングされます。

マルチライン 選択すると、textarea タグが設定されます。「文字幅」の設定は、cols 属性にマッピングされ、「ライン数」の設定は rows 属性にマッピングされます。

パスワード 選択すると、input タグの type 属性が password に設定されます。「文字幅」と「最大文字数」の設定は、シングルラインテキストフィールドと同じ属性にマッピングされます。ユーザーがパスワードテキストフィールドにテキストを入力すると、入力したテキストは、他人に見られないように黒丸またはアスタリスクとして表示されます。

初期値 フォームを最初にロードするときフィールドに表示される値を割り当てます。例えば、フィールドに、ユーザー入力情報についてのメモや入力例を示すことができます。

クラス オブジェクトに CSS ルールを適用できます。

ボタンオブジェクトのオプション

ボタン ボタンに名前を割り当てます。"送信" と "リセット" という定義済みの 2 つの名前は、それぞれ、フォームのデータを処理用のアプリケーションまたはスクリプトに提出する、およびすべてのフォームフィールドをオリジナルの値にリセットする、ということを意味します。

値 ボタンに表示するテキストを入力します。

アクション ボタンがクリックされたときに生じる動作を設定します。

フォーム送信 ボタンがクリックされたときにフォームデータを処理のために送信する場合に選択します。データは、フォームの「アクション」プロパティで指定されているページまたはスクリプトに送信されます。

フォームリセット ボタンがクリックされたときにフォームの内容をクリアする場合に選択します。

なし ボタンがクリックされたときに実行されるアクションを指定する場合に選択します。例えば、ボタンをクリックしたときに別のページを開く JavaScript ビヘイビアーを追加できます。

クラス 選択すると、オブジェクトに CSS ルールが適用されます。

チェックボックスオブジェクトのオプション

チェック済み値 チェックボックスをオンにした場合にサーバーに送信される値を設定します。例えば、アンケートの回答などで、"同意する" 場合は値を 4 に、"まったく同意できない" 場合は値を 1 に設定します。

初期値 フォームがブラウザーにロードされるときにチェックボックスをオンの状態にするかどうかを指定します。

Dynamic 選択すると、チェックボックスの初期値がサーバーによって動的に決定されます。例えば、データベースレコードに格納されている Yes/No の情報をチェックボックスを使用して視覚的に表示することができます。この情報は、デザイン時には表示されません。実行時にサーバーがデータベースレコードを読み取り、その値が Yes であればチェックボックスをオンにします。

クラス オブジェクトにカスケーディングスタイルシート（CSS）ルールが適用されます。

ラジオボタンオブジェクトのオプション

チェック済み値 ラジオボタンを選択した場合にサーバーに送信される値を設定します。例えば、ユーザーが「スキー」を選択したことを示すには「チェック済み値」ボックスに「skiing」と入力します。

初期値 フォームがブラウザーにロードされるときにラジオボタンを選択されている状態にするかどうかを指定します。
Dynamic ラジオボタンの初期値がサーバーによって動的に決定されます。例えば、データベースレコードに保存されている情報をラジオボタンを使用して視覚的に表示することができます。この情報は、デザイン時には表示されません。実行時にサーバーがデータベースレコードを読み取り、その値が指定した値と一致すれば、該当するラジオボタンが選択されます。
クラス 選択すると、オブジェクトに CSS ルールが適用されます。

メニューのオプション

リスト/メニュー メニューに名前を割り当てます。固有の名前を指定してください。
タイプ クリックされたときにドロップダウン形式で表示する（「メニュー」オプション）か、スクロール可能なリストとして表示する（「リスト」オプション）かを指定します。フォームがブラウザーに表示されたときに、選択項目を 1 つだけ表示するには、「メニュー」オプションを選択します。下向き矢印をクリックすると、その他の選択項目が表示されます。
フォームがブラウザーに表示されたときに選択項目の一部または全部をリストとして表示する場合や、複数の項目を選択できるようにする場合は、「リスト」オプションを選択します。

高さ （「リスト」タイプのみ）メニューに表示する項目の数を指定します。
選択 （「リスト」タイプのみ）リストから複数の項目を選択できるようにするかどうかを指定します。
リスト値 フォームメニューに選択項目を追加するためのダイアログボックスを開きます。

1. 「+」ボタンと「-」ボタンを使用して、リストのアイテムを追加または削除します。
2. メニューアイテムごとに、ラベルのテキストとオプションの値を入力します。

   リストの各アイテムには、リストに表示されるテキストであるラベルと、アイテムが選択された場合に処理アプリケーションに送信されるアイテムの値が含まれます。値が指定されていないと、代わりにラベルが処理アプリケーションに送信されます。
3. リストのアイテムを並べ替えるには、上向き矢印と下向き矢印のボタンを使用します。

   各アイテムは、リスト値ダイアログボックスに表示されている順序と同じ順序でメニューに表示されます。リストで最初のアイテムは、ページがブラウザーにロードされるときに選択されているアイテムです。

Dynamic メニューに最初に表示する選択項目がサーバーによって動的に選択されます。
クラス オブジェクトに CSS ルールを適用できます。
初期選択値 初期設定で選択された状態になる項目をリストの中から設定します。リスト内で目的の項目をクリックします。

ファイルアップロードフィールドの挿入

ユーザーが、自分のコンピューターからアップロードするファイル（ワードプロセッサーの文書やグラフィックファイルなど）を選択し、そのファイルをサーバーに送信するためのファイルアップロードフィールドを作成できます。ファイルフィールドは、「参照」ボタンがあることを除けば、外観は他のテキストフィールドと同じです。ユーザーは、アップロードするファイルへのパスを手動で入力したり、「参照」ボタンでファイルの場所を検索して選択することができます。

ファイルアップロードフィールドを使用するには、ファイル転送を処理できるサーバーサイドスクリプトまたはページが必要です。フォームデータの処理に使用するサーバーテクノロジのマニュアルを参照してください。例えば、PHP を使用する場合は、『PHP マニュアル』の「ファイルアップロードの処理」（http://us2.php.net/manual/ja/features.file-upload.php）を参照してください。

ファイルフィールドの場合、ブラウザーからサーバーにファイルを転送するには、POST メソッドを使用します。ファイルは、フォームの「アクション」ボックスで指定されたアドレスに送信されます。

注意： ファイルフィールドを使用する前に、匿名ファイルのアップロードが許可されているかどうか、サーバーのシステム管理者に確認してください。

1. ページにフォームを挿入します（挿入／フォーム）。
2. プロパティインスペクターを表示するフォームを選択します。
3. フォームの「メソッド」を POST に設定します。
4. エンコーディングタイプポップアップメニューから「multipart/form-data」を選択します。
5. 「アクション」ボックスで、アップロードされるファイルを処理できるサーバーサイドスクリプトまたはページを指定します。
6. フォームのアウトラインの内側に挿入ポイントを置き、挿入／フォーム／ファイルフィールドを選択します。
7. プロパティインスペクターで、以下のオプションを設定します。
   ファイル送信 ファイルフィールドオブジェクトの名前を指定します。

   文字幅 フィールドに表示できる最大文字数を設定します。

   最大文字数 フィールドに保持する最大文字数を指定します。ファイルの場所を参照して指定する場合は、ファイル名およびパスは指定された最大文字数を超える場合があります。しかし、ユーザーがファイル名およびパスを入力する場合は、ファイルフィールドは最大文字数を超えることはできません。

イメージボタンの挿入

イメージをボタンアイコンとして使用できます。イメージを使用して、データの送信以外のタスクを実行するには、ビヘイビアーをフォームオブジェクトに関連付ける必要があります。

1. ドキュメントで、挿入ポイントをフォームのアウトライン内に設定します。

2. 挿入／フォーム／イメージフィールドを選択します。

   イメージソースの選択ダイアログボックスが表示されます。

3. イメージソースの選択ダイアログボックスでボタンのイメージを選択し、「OK」をクリックします。
4. プロパティインスペクターで、以下のオプションを設定します。
   イメージボタン ボタンに名前を割り当てます。"送信" と "リセット" という定義済みの 2 つの名前は、それぞれ、フォームのデータを処理用のアプリケーションまたはスクリプトに提出する、およびすべてのフォームフィールドをオリジナルの値にリセットする、ということを意味します。

   ソース ボタンに使用するイメージを指定します。

   代替 イメージがブラウザーにロードされなかった場合に表示する説明文を入力できます。

   行揃え オブジェクトの align 属性を設定します。

   イメージの編集 初期設定のイメージエディターが起動し、イメージファイルが開いて編集可能になります。

   クラス オブジェクトに CSS ルールを適用できます。

5. ボタンに JavaScript ビヘイビアーを関連付けるには、イメージを選択してから、ビヘイビアーパネル（ウィンドウ／ビヘイビアー）でビヘイビアーを選択します。

非表示フィールドオブジェクトのオプション

非表示フィールド フィールドの名前を指定します。
値 フィールドに値を割り当てます。この値は、フォームが送信されたときにサーバーに渡されます。

ラジオボタンのグループの挿入

1. 挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入／フォーム／ラジオボタングループを選択します。
3. ダイアログボックスの入力を完了させ、「OK」をクリックします。
   a. 「名前」ボックスに、ラジオボタングループの名前を入力します。

      ラジオボタンを、サーバーにパラメーターを返すように設定するには、名前にパラメーターを関連付けます。例えば、グループに myGroup という名前を付け、フォームメソッドを GET に（つまり、ユーザーが送信ボタンをクリックしたときフォームパラメーターではなく URL パラメーターを渡すように）設定すると、式 myGroup="CheckedValue" が URL に含められてサーバーに渡されます。

   b. 「+」ボタンをクリックして、ラジオボタンをグループに追加します。新しいボタンのラベルとチェック済み値を入力します。
   c. 上向き矢印または下向き矢印をクリックし、ボタンを並べ替えます。
   d. ページをブラウザーで表示するときに、特定のラジオボタンがオンの状態で表示されるようにするには、ラジオボタンと同じ値を「同等値の選択」ボックスに入力します。

      固定値を入力するか、ボックスの横の稲妻アイコンをクリックし、チェック済み値として使用可能な値を含むレコードセットを選択して、動的な値を指定します。いずれの場合も、指定する値は、グループのいずれかのラジオボタンのチェック済み値と一致している必要があります。ラジオボタンのチェック済み値を表示するには、それぞれのラジオボタンを選択し、プロパティインスペクターを表示します（ウィンドウ／プロパティ）。

   e. Dreamweaver によって実行されるボタンのレイアウトの方法を選択します。

      改行またはテーブルを使用してボタンをレイアウトします。テーブルオプションを選択すると、Dreamweaver によって 1 列のテーブルが作成され、ラジオボタンが左に、ラベルが右に設定されます。

プロパティインスペクターで、またはコードビューから直接プロパティを設定することもできます。

チェックボックスのグループの挿入

1. 挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入／フォーム／チェックボックスグループを選択します。
3. ダイアログボックスの入力を完了させ、「OK」をクリックします。
   a. 「名前」ボックスに、チェックボックスグループの名前を入力します。

      チェックボックスを、サーバーにパラメーターを返すように設定するには、名前にパラメーターを関連付けます。例えば、グループに myGroup という名前を付け、フォームメソッドを GET に（つまり、ユーザーが送信ボタンをクリックしたときフォームパラメーターではなく URL パラメーターを渡すように）設定すると、式 myGroup="CheckedValue" が URL に含められてサーバーに渡されます。

   b. 「+」ボタンをクリックして、チェックボックスをグループに追加します。新しいチェックボックスのラベルとチェック済み値を入力します。
   c. 上向き矢印または下向き矢印をクリックし、チェックボックスを並べ替えます。
   d. ページがブラウザー上で開かれるとき、特定のチェックボックスがオンの状態で表示されるようにするには、チェックボックスと同じ値を「同等値の選択」ボックスに入力します。

      固定値を入力するか、ボックスの横の稲妻アイコンをクリックし、チェック済み値として使用可能な値を含むレコードセットを選択し

て、動的な値を指定します。いずれの場合も、指定する値は、グループのいずれかのチェックボックスのチェック済み値と一致している必要があります。チェックボックスのチェック済み値を表示するには、それぞれのチェックボックスを選択し、プロパティインスペクターを表示します（ウィンドウ／プロパティ）。

e. Dreamweaver でチェックボックスをレイアウトする方法を選択します。

改行またはテーブルを使用してチェックボックスをレイアウトします。テーブルオプションを選択すると、Dreamweaver によって 1 列のテーブルが作成され、ラジオボタンが左に、ラベルが右に設定されます。

プロパティインスペクターで、またはコードビューから直接プロパティを設定することもできます。

トップへ戻る

動的フォームオブジェクトについて

「動的フォームオブジェクト」とは、フォームの設計者がデザイン時に初期値を指定するのではなく、該当するページをサーバーが要求したときにそのサーバーによって初期値が決定されるフォームオブジェクトです。例えば、メニューが配置されているフォームを持つ PHP ページをユーザーが要求すると、ページ内の PHP スクリプトによって、データベースに格納されている値が自動的にメニューに挿入されます。その後で、完成したページがサーバーからユーザーのブラウザーに送信されます。

フォームオブジェクトを動的にすると、サイトのメンテナンスを簡略化できます。例えば、多くのサイトでは、ユーザーに一連のオプションを提供するためにメニューを使用しています。メニューが動的フォームオブジェクトであれば、メニュー項目を 1 つの場所、つまりメニュー項目が格納されているデータベーステーブルで追加、削除、または変更するだけで、サイト上の同じメニューのすべてのインスタンスを更新することができます。

トップへ戻る

動的 HTML フォームメニューの挿入または変更

HTML フォームメニューやリストメニューには、データベースに格納されているエントリを動的に表示できます。HTML メニューオブジェクトは、ほとんどのページに使用できます。

作業を開始する前に、ColdFusion、PHP、または ASP のページ内に HTML フォームを挿入し、メニューで使用する動的コンテンツのレコードセットやその他のソースを定義する必要があります。

1. HTML リスト/メニューフォームオブジェクトをページに挿入します。
   a. ページの HTML フォーム内をクリックします（挿入／フォーム／フォーム]）。
   b. 挿入／フォーム／リスト/メニューを選択し、フォームオブジェクトを挿入します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 新しいまたは既存の HTML リスト/メニューフォームオブジェクトを選択し、プロパティインスペクターの「動的」ボタンをクリックします。
   - 挿入／データオブジェクト／動的データ／動的選択リストを選択します。
3. 動的リスト/メニューダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。
   a. レコードセットからのオプションポップアップメニューで、コンテンツソースとして使用するレコードセットを選択します。このメニューは、静的および動的リスト/メニューアイテムを後で編集する場合にも使用します。
   b. 「静的オプション」領域に、リストまたはメニューの初期設定のアイテムを入力します。また、リスト/メニューフォームオブジェクトの動的コンテンツを追加した後で静的エントリを編集する場合にも、このオプションを使用します。
   c. （オプション）「+」ボタンと「-」ボタンを使用して、リストのアイテムを追加または削除します。アイテムは、リストの値ダイアログボックスに表示されているのと同じ順序で表示されます。リストで最初のアイテムは、ページがブラウザーにロードされるときに選択されているアイテムです。リストのアイテムを並べ替えるには、上向き矢印と下向き矢印のボタンを使用します。
   d. 値ポップアップメニューで、メニュー項目の値を含むフィールドを選択します。
   e. ラベルポップアップメニューで、メニュー項目のラベルを含むフィールドを選択します。
   f. （オプション）ページをブラウザーで表示したり、フォームにレコードを表示したりするときに、特定のメニュー項目が選択された状態で表示されるようにするには、「同等値の選択」ボックスに、メニュー項目の値と同じ値を入力します。

   固定値を入力することも、ボックスの横の稲妻アイコンをクリックしてデータソースのリストから動的な値を選択して動的な値を指定することもできます。いずれの場合も、指定する値はメニュー項目の値のいずれかと一致している必要があります。

トップへ戻る

既存の HTML フォームメニューを動的にする

1. デザインビューで、リスト/メニューフォームオブジェクトを選択します。
2. プロパティインスペクターの「動的」ボタンをクリックします。
3. ダイアログボックスの入力を完了させ、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

HTML テキストフィールドでの動的コンテンツの表示

ブラウザーにフォームが表示されるときに、HTML テキストフィールドに動的コンテンツを表示できます。

作業を開始する前に、ColdFusion、PHP、または ASP のページ内にフォームを作成し、テキストフィールドで使用する動的コンテンツのレコードセットやその他のソースを定義する必要があります。

1. ページの HTML フォームで目的のテキストフィールドを選択します。
2. プロパティインスペクターの「初期値」ボックスの横にある稲妻アイコンをクリックして、動的データダイアログボックスを表示します。
3. テキストフィールドに入力される値のソースとなるレコードセットの列を選択し、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

動的テキストフィールドダイアログボックスのオプションの設定

1. テキストフィールドポップアップメニューから、動的にするテキストフィールドを選択します。
2. 「設定値」ボックスの横の稲妻アイコンをクリックし、データソースのリストからデータソースを選択して、「OK」をクリックします。

   データソースには、テキスト形式で情報が含まれている必要があります。リストにデータソースがまったく表示されない場合や、表示された中に必要なデータソースがない場合は、「+」ボタンをクリックして新しいデータソースを定義します。

トップへ戻る

HTML チェックボックスの動的な事前選択

ブラウザーにフォームが表示されるときに、事前にチェックボックスをオンにするかどうかをサーバー側で判断するように設定できます。

作業を開始する前に、ColdFusion、PHP、または ASP のページ内にフォームを作成し、チェックボックスで使用する動的コンテンツのレコードセットやその他のソースを定義する必要があります。コンテンツのソースに Yes/No や true/false などのブール値のデータが含まれていれば理想的です。

1. ページ上のチェックボックスフォームオブジェクトを選択します。
2. プロパティインスペクターの「動的」ボタンをクリックします。
3. 動的チェックボックスダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。
   - 「チェック項目」ボックスの横の稲妻アイコンをクリックし、データソースのリストからフィールドを選択します。

     データソースには、Yes または No、あるいは true または false などのブール値のデータが含まれている必要があります。リストにデータソースがまったく表示されない場合や、表示された中に必要なデータソースがない場合は、「+」ボタンをクリックして新しいデータソースを定義します。
   - 「同等値の選択」ボックスに、チェックボックスが選択された状態で表示される場合のフィールドの値を入力します。

     例えば、レコードの特定フィールドの値が Yes である場合にチェックボックスをオンの状態で表示するには、「同等」ボックスに「Yes」と入力します。

     注意： この値は、ユーザーがフォームの「送信」ボタンをクリックした場合にサーバーにも返されます。

トップへ戻る

HTML ラジオボタンの動的な事前選択

ブラウザーで HTML フォームにレコードが表示されるときに、HTML ラジオボタンを動的に事前選択できます。

作業を開始する前に、ColdFusion、PHP、または ASP のページ内にフォームを作成し、HTML ラジオボタンのグループを少なくとも 1 つ挿入する必要があります（挿入／フォーム／ラジオボタングループ）。また、ラジオボタンで使用する動的コンテンツのレコードセットやその他のソースも定義する必要があります。コンテンツのソースに Yes/No や true/false などのブール値のデータが含まれていれば理想的です。

1. デザインビューで、ラジオボタングループの中からラジオボタンを 1 つ選択します。
2. プロパティインスペクターの「動的」ボタンをクリックします。
3. 動的ラジオボタングループダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。

動的ラジオボタングループダイアログボックスのオプションの設定

1. ラジオボタングループポップアップメニューで、ページのフォームおよびラジオボタンのグループを選択します。

   「ラジオボタンの値」ボックスに、グループ内のすべてのラジオボタンの値が表示されます。
2. 値のリストから、動的に事前選択する値を選択します。この値は、「値」ボックスに表示されます。
3. 「同等値の選択」ボックスの横にある稲妻アイコンをクリックし、グループのラジオボタンに使用することが可能なチェック済み値を含むレコードセットを選択します。

   選択するレコードセットは、ラジオボタンのチェック済み値と一致する値を含んでいます。ラジオボタンのチェック済み値を表示するには、それぞれのラジオボタンを選択し、プロパティインスペクターを表示します（ウィンドウ／プロパティ）。
4. 「OK」をクリックします。

動的ラジオボタングループダイアログボックスのオプションの設定（**ColdFusion**）

1. ラジオボタングループポップアップメニューから、ラジオボタングループおよびフォームを選択します。
2. 「同等値の選択」ボックスの横にある稲妻アイコンをクリックします。
3. 動的データダイアログボックスに情報を入力し、「OK」をクリックします。
   a. データソースのリストからデータソースを選択します。
   b. （オプション）テキストのデータフォーマットを選択します。
   c. （オプション）動的テキストを表示するように、Dreamweaver によってページに挿入されるコードを修正します。
4. 「OK」をクリックすると、動的ラジオボタングループダイアログボックスが閉じ、動的コンテンツプレースホルダーがラジオボタングループに挿入されます。

トップへ戻る

HTML フォームデータの検証

Dreamweaver では、ユーザーが適切なタイプのデータを入力したかどうかを判断するために、特定のテキストフィールドの内容をチェックする JavaScript コードを追加できます。

Spry フォーム Widget を使用してフォームを作成し、特定のフォームエレメントのコンテンツを検証することができます。詳しくは、以下の Spry のトピックを参照してください。

また、Dreamweaver では、指定したフィールドのコンテンツを検証する ColdFusion フォームを作成することもできます。詳しくは、以下の ColdFusion の章を参照してください。

1. テキストフィールドと「送信」ボタンが含まれている HTML フォームを作成します。

   検証するテキストフィールドに、それぞれ固有の名前が割り当てられていることを確認します。

2. 「送信」ボタンを選択します。
3. ウィンドウ／ビヘイビアーを選択してビヘイビアーパネルを開き、「+」ボタンをクリックして、リストから「検査フォーム」ビヘイビアーを選択します。
4. 各テキストフィールドに検証ルールを設定し、「OK」をクリックします。

   例えば、年齢を入力するためのテキストフィールドには数字のみを入力できるようにします。

   注意： 「検査フォーム」ビヘイビアーを使用できるのは、ドキュメントにテキストフィールドが挿入されている場合だけです。

トップへ戻る

HTML フォームオブジェクトへの JavaScript ビヘイビアーの割り当て

Dreamweaver にあらかじめ用意されている JavaScript ビヘイビアーを、ボタンなどの HTML フォームオブジェクトに割り当てることができます。

1. HTML フォームオブジェクトを選択します。
2. ウィンドウ／ビヘイビアーを選択してビヘイビアーパネルを開き、「+」ボタンをクリックして、リストからビヘイビアーを 1 つ選択します。

トップへ戻る

HTML フォームボタンへのカスタムスクリプトの割り当て

一部のフォームは、JavaScript または VBScript スクリプトを使用してクライアントサイドでフォームの処理またはその他のアクションを実行します。この場合、フォームのデータが処理のためにサーバーに送信されることはありません。Dreamweaver を使用して、クリックするとクライアントサイドの特定のスクリプトが実行されるフォームボタンを設定できます。

1. フォームの「送信」ボタンを選択します。
2. ウィンドウ／ビヘイビアーを選択してビヘイビアーパネルを開き、「+」ボタンをクリックして、リストから「JavaScript の呼出し」を選択します。
3. 「JavaScript の呼出し」ボックスに、ボタンがクリックされたときに実行する JavaScript 関数の名前を入力し、「OK」をクリックします。

   例えば processMyForm() など、まだ存在しない関数名を入力することもできます。

4. 指定した JavaScript 関数がドキュメントの head セクションに存在しない場合は、その関数を追加します。

   例えば、以下の JavaScript 関数をドキュメントの head セクションに定義して、ユーザーが「送信」ボタンをクリックしたときにメッセージが表示されるように設定できます。

```
function processMyForm(){
    alert('Thanks for your order!');
}
```

トップへ戻る

アクセシビリティを考慮した HTML フォームの作成

HTML フォームオブジェクトを挿入するときにフォームオブジェクトをアクセシブルにしたり、後でアクセシビリティ属性を変更したりできます。

アクセシブルなフォームオブジェクトの追加

1. アクセシブルなフォームオブジェクトを初めて追加するときには、そのフォームオブジェクトに対応するアクセシビリティダイアログボックスをアクティブにします（詳しくは、ビジュアル開発のためのワークスペースの最適化を参照してください）。

   この操作は、最初に一度だけ実行します。

2. ドキュメントで、フォームオブジェクトを表示する場所に挿入ポイントを置きます。
3. 挿入／フォームを選択し、挿入するフォームオブジェクトを選択します。

   Input タグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスが表示されます。

4. ダイアログボックスの入力を完了させ、「OK」をクリックします。これらのオプションは、次のとおりです。
   注意： スクリーンリーダーは、オブジェクトのラベル属性として入力した名前を読み上げます。
   ID フォームフィールドに ID を割り当てます。この値を使用すると、JavaScript からフィールドを参照できます。スタイルオプションで「for 属性によるラベルタグの添付」オプションを選択した場合に、属性の値として使用することもできます。

   ラベルタグで囲む 指定すると、次のように、フォームアイテムが label タグで囲まれます。

   ```
   <label>
   <input type="radio" name="radiobutton" value="radiobutton">
   RadioButton1</label>
   ```

   for 属性によるラベルタグの添付 指定すると、次のように、フォームアイテムが for 属性を使用した label タグで囲まれます。

   ```
   <input type="radio" name="radiobutton" value="radiobutton" id="radiobutton">
   <label for="radiobutton">RadioButton2</label>
   ```

   このオプションを選択すると、ブラウザーでは、チェックボックスおよびラジオボタンと関連するテキストに長方形のフォーカスが配置されます。Web サイトのビジターは、チェックボックスやラジオボタンを選択する際、そのチェックボックスやラジオボタンのコントロールだけでなく、関連するテキストの任意の場所をクリックしても、選択できるようになります。

   注意： これは、アクセシビリティの向上には好ましいオプションですが、実際の動作はブラウザーにより異なります。

   ラベルタグなし 指定すると、次のようにラベルタグが使用されません。

   ```
   <input type="radio" name="radiobutton" value="radiobutton">
   RadioButton3
   ```

   アクセスキー ブラウザー内のフォームオブジェクトを選択するのに使用できるキーボードの文字（1 文字）と Alt キー（Windows）または Control キー（Mac OS）の組み合わせを指定します。例えば、アクセスキーとして「B」と入力すると、Mac OS ブラウザーを使用するユーザーは、Control + B キーでフォームオブジェクトを選択できます。

   タブインデックス フォームオブジェクトのタブ順序を指定します。1 つのオブジェクトに対してタブ順序を設定したら、他のすべてのオブジェクトについてもタブ順序を設定する必要があります。

   タブ順序を設定しておくと、ページに他のリンクやフォームオブジェクトがある場合に、Web サイトのビジターは、Tab キーを使用して特定の順序でオブジェクト間を移動できます。

5. 「はい」をクリックして form タグを挿入します。

   フォームオブジェクトがドキュメントに表示されます。

   注意： 「キャンセル」を押すと、フォームオブジェクトはドキュメント内に表示されますが、Dreamweaver は、アクセシビリティタグや属性をこのフォームオブジェクトに関連付けません。

フォームオブジェクトのアクセシビリティ設定の変更

1. ドキュメントウィンドウで、オブジェクトを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - コードビューで該当する属性を編集します。
   - 右クリックするか（Windows)、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「タグの編集」を選択します。

関連項目

フォームの作成のチュートリアル

フォームのスタイル指定のチュートリアル

(cc) BY-NC-SA

動的コンテンツの変更

動的コンテンツについて
動的コンテンツの編集
動的コンテンツの削除
動的コンテンツのテスト
Adobe Contribute ユーザーによる動的コンテンツの編集の許可
プロパティインスペクターでのレコードセットの修正

動的コンテンツについて

トップへ戻る

ページ上の動的コンテンツを変更するには、コンテンツを表示するサーバービヘイビアーを編集します。例えば、レコードセットのサーバービヘイビアーを編集して、ページ上により多くのレコードを表示することができます。

ページの動的コンテンツは、サーバービヘイビアーパネルに表示されます。例えば、ページにレコードセットを追加すると、サーバービヘイビアーパネルには次のように表示されます。

```
Recordset(myRecordset)
```

ページに別のレコードセットを追加すると、サーバービヘイビアーパネルには次のように両方のレコードセットが表示されます。

```
Recordset(mySecondRecordset)Recordset(myRecordset)
```

動的コンテンツの編集

トップへ戻る

1. ウィンドウ／サーバービヘイビアーを選択して、サーバービヘイビアーパネルを開きます。
2. 「+」ボタンをクリックしてサーバービヘイビアーを表示し、パネルでサーバービヘイビアーをダブルクリックします。

   元のデータソースの定義に使用したものと同じダイアログボックスが表示されます。
3. ダイアログボックスで変更を行い、「OK」をクリックします。

動的コンテンツの削除

トップへ戻る

✤ ページに追加した動的コンテンツを削除するには、次のいずれかの操作を行います。

- ページ上の動的コンテンツを選択して、Delete キーを押します。
- サーバービヘイビアーパネルで動的コンテンツを選択して、「-」ボタンをクリックします。

  注意： この操作によって、データベースから動的コンテンツを取得するページのサーバーサイドスクリプトが削除されます。データベース内のデータが削除されることはありません。

動的コンテンツのテスト

トップへ戻る

ライブビューを使用して、動的コンテンツをプレビューおよび編集できます。

動的コンテンツが表示されているときには、次のタスクを行うことができます。

- ページデザインツールを使用して、ページのレイアウトを調整できます。
- 動的コンテンツを追加、編集、または削除できます。
- サーバービヘイビアーを追加、編集、または削除できます。

1. 「ライブビュー」ボタンをクリックして、動的コンテンツを表示します。
2. ページに必要な変更を加えます。変更を行ったり、変更の効果を確認したりするには、ライブビューとデザインビューまたはコードビューを切り替える必要があります。

Adobe Contribute ユーザーによる動的コンテンツの編集の許可

トップへ戻る

Contribute ユーザーが動的コンテンツまたは不可視エレメント（スクリプトやコメントなど）の含まれているページを編集するとき、これらのアイテムは黄色いマーカーで表示されます。初期設定では、Contribute ユーザーがこれらのアイテムの選択または削除を行うことはできません。

動的コンテンツや他の不可視エレメントの選択や削除を Contribute ユーザーが行えるようにするには、それらの操作を許可するように権限グループの設定を変更します。ただし、動的コンテンツについては、選択できるようにすることは可能ですが、編集を許可することは通常できません。

注意： サーバーテクノロジを使用すると、サーバータグまたは関数を使用して静的テキストを表示することができます。そのようなサーバーテクノロジを使用している動的ページの静的テキストを Contribute ユーザーが編集できるようにするには、静的テキストをサーバータグの外に配置します。詳しくは、『Adobe Contribute の使用と管理』を参照してください。

1. サイト／Contribute サイトの管理を選択します。
2. Contribute 互換性のために必要な特定のオプションが有効になっていない場合は、それらのオプションを有効にするかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックして、それらのオプションと Contribute 互換性を有効にします。
3. 管理者のパスワードを入力するよう求められた場合は、管理者のパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

   Web サイトの管理ダイアログボックスが表示されます。
4. 「ユーザーと役割」カテゴリで、ロールを選択して「役割の設定を編集」ボタンをクリックします。
5. 「編集」カテゴリを選択し、スクリプトとフォームを保護するオプションの選択を解除します。
6. 「OK」をクリックして設定の編集ダイアログボックスを閉じます。
7. 「閉じる」をクリックして Web サイトの管理ダイアログボックスを閉じます。

トップへ戻る

プロパティインスペクターでのレコードセットの修正

プロパティインスペクターでは、選択したレコードセットを修正することができます。選択可能なオプションは、サーバーモデルによって異なります。

1. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）を開き、サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）でレコードセットを選択します。
2. オプションを編集します。プロパティインスペクターで新しいオプションを選択すると、Dreamweaver によってページが更新されます。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

検索ページと結果ページの作成

検索ページと結果ページについて
検索ページの作成
基本的な結果ページの作成
高度な結果ページの作成
検索結果の表示
結果ページの詳細ページの作成
関連ページを開くリンクの作成（ASP）

検索ページと結果ページについて

トップへ戻る

Dreamweaver で一連のページを作成し、これらのページでビジターがデータベースを検索して結果を表示できるようにすることが可能です。

ほとんどの場合、Web アプリケーションにこの検索機能を追加するには、少なくとも 2 つのページが必要です。1 つは、ビジターが検索パラメーターを入力する HTML フォームがあるページです。このページは、実際の検索を行うものではありませんが、「検索ページ」と呼ばれます。

もう 1 つは、実際の検索処理のほとんどを実行する結果ページです。結果ページでは、以下のタスクを行います。

- 検索ページから渡された検索パラメーターの読み取り
- データベースへの接続とレコードの検索
- 検索されたレコードを含むレコードセットの作成
- レコードセットの内容の表示

  必要に応じて、詳細ページを追加することができます。詳細ページには、結果ページの特定のレコードに関する詳細情報が表示されます。

  検索パラメーターが 1 つだけの場合、Dreamweaver で Web アプリケーションに検索機能を追加するときに、SQL クエリーおよび変数を設定する必要はありません。このような場合、ページをデザインし、ダイアログボックスに入力するだけで検索機能を追加できます。検索パラメーターが複数の場合は、SQL ステートメントを記述し、複数の変数を定義する必要があります。

  Dreamweaver によって SQL クエリーがページに挿入されます。サーバーでページが実行されると、データベーステーブル内の各レコードがチェックされます。レコード内の指定されたフィールドが SQL クエリーの条件に一致すると、そのレコードはレコードセットに追加されます。実行された SQL クエリーによって、検索結果のみを含むレコードセットが作成されます。

  例えば、販売担当者が、担当地域内の一定レベル以上の収入がある顧客の情報を調べるとします。検索ページのフォームに、地域と最低収入レベルを入力し、「送信」ボタンをクリックしてサーバーに 2 つの値を送ります。サーバーでは、これらの値は結果ページの SQL ステートメントに渡され、特定の地域に住む、指定したレベル以上の収入がある顧客のみを含むレコードセットが作成されます。

検索ページの作成

トップへ戻る

通常、Web の検索ページには、ビジターが検索パラメーターを入力するフォームフィールドがあります。検索ページには、少なくとも「送信」ボタン付きの HTML フォームが必要です。

検索ページに HTML フォームを追加するには、以下の手順を実行します。

1. 検索ページまたは新規ページを開き、挿入／フォーム／フォームを選択します。

   ページに空白のフォームが作成されます。フォームの境界線を表示するには、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択する必要があります。フォームの境界線は細い赤線で表示されます。

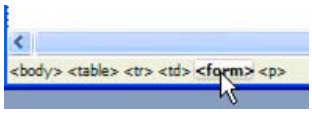
2. 挿入／フォームを選択し、検索パラメーターを入力するためのフォームオブジェクトを追加します。

   フォームオブジェクトには、テキストフィールド、メニュー、オプション、およびラジオボタンがあります。追加できるフォームオブジェクトの数に制限はありません。数が多いほどビジターが検索条件を詳しく指定できるようになります。ただし、検索ページの検索パラメーター数が多くなると、SQL ステートメントも複雑になります。

3. 挿入／フォーム／ボタンを選択して、フォームに「送信」ボタンを追加します。
4. （オプション）「送信」ボタンのラベルを変更するには、ボタンを選択し、ウィンドウ／プロパティを選択してプロパティインスペクターを開き、「値」ボックスに新しい値を入力します。

   次に、ビジターが「送信」ボタンをクリックしたときにフォームからどこに検索パラメーターを送信するかを指定します。

5. 次の図に示すように、ドキュメントウィンドウの下部のタグセレクターで <form> タグを選択し、フォームを選択します。



6. フォームのプロパティインスペクターの「アクション」ボックスに、データベース検索を行う結果ページのファイル名を入力します。
7. メソッドポップアップメニューで、フォームからサーバーにデータを送る際に使用するメソッドを次の中から 1 つ選択します。
   - GET では、フォームデータはクエリーストリングとして URL に付加され、送信されます。URL の文字数には制限（最長 8192 文字）があるため、フォームデータが長くなる場合は GET メソッドは使用しないでください。
   - POST では、フォームデータはメッセージの本文として送信されます。
   - Default では、ブラウザーの初期設定のメソッド（通常は GET）が使用されます。

   これで検索ページが完成しました。

トップへ戻る

基本的な結果ページの作成

ビジターがフォームの「検索」ボタンをクリックすると、検索パラメーターがサーバー上の結果ページに送信されます。ブラウザーの検索ページではなく、サーバーの結果ページがデータベースからレコードを取得します。検索ページからサーバーに送信される検索パラメーターが 1 つだけの場合は、SQL クエリーおよび変数を使用せずに結果ページを作成することができます。基本レコードセットと、検索ページから送信された検索パラメーターに一致しないレコードを除外するフィルターを作成します。

注意： 検索条件が複数の場合は、詳細設定のレコードセットダイアログボックスを使用してレコードセットを定義する必要があります（詳しくは、高度な結果ページの作成を参照してください）。

検索結果を保持するレコードセットの作成

1. ドキュメントウィンドウで結果ページを開きます。

   結果ページをまだ作成していない場合は、ファイル／新規／空白ページを選択して空の動的ページを作成します。

2. ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを開きます。「+」ボタンをクリックしてポップアップメニューから「レコードセット」を選択し、新しいレコードセットを作成します。
3. 基本設定のレコードセットダイアログボックスが表示されることを確認します。

   詳細設定のダイアログボックスが表示された場合は、「基本設定」ボタンをクリックして、基本設定のダイアログボックスに切り替えてください。

4. レコードセットの名前を入力し、接続を選択します。

   ビジターが検索するデータが存在するデータベースへの接続を選択してください。

5. テーブルポップアップメニューで、データベース内の検索対象テーブルを選択します。
   注意： 単一パラメーター検索の場合は、単一テーブルでのみレコードを検索できます。複数のテーブルを同時に検索するには、詳細設定のレコードセットダイアログボックスを使用して SQL クエリーを定義する必要があります。
6. テーブルの特定の列だけをレコードセットに含めるには、「選択」をクリックし、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながらリスト内の目的の列をクリックします。

   結果ページに表示する情報が格納されている列のみを含める必要があります。

   レコードセットダイアログボックスは開いたままにしておきます。これは、次に検索ページから送られるパラメーターを取得し、パラメーターに一致しないレコードを除外するレコードセットフィルターを作成するときに使用するためです。

レコードセットフィルターの作成

1. 「フィルター」領域の最初のポップアップメニューで、一致するデータを検索するデータベーステーブルの列を選択します。

   例えば、検索ページから送られる値が都市名の場合は、都市名が保存されているテーブルの列を選択します。

2. 最初のメニューの横にあるポップアップメニューで、等号記号（初期設定）を選択します。
3. 検索ページのフォームで POST メソッドを使用する場合は、3 番目のポップアップメニューで「フォーム変数」を選択します。GET メソッドを使用する場合は、「URL パラメーター」を選択します。

   検索ページでは、フォーム変数または URL パラメーターを使用して、結果ページに情報を渡します。

4. 4 番目のボックスに、検索ページの検索パラメーターを入力するためのフォームオブジェクト名を入力します。

   オブジェクト名はフォーム変数または URL パラメーターの名前にもなります。名前を調べるには、検索ページに切り替え、フォーム上のフォームオブジェクトをクリックして選択し、プロパティインスペクターでオブジェクト名を参照します。

   例えば、特定の国への冒険旅行のみを含むレコードセットを作成するとします。テーブルに TRIPLOCATION という名前の列があるとします。また、検索ページの HTML フォームでは GET メソッドを使用しており、国のリストを表示する Location という名前のメニューオブジェクトがあるとします。この場合、「フィルター」領域の設定は次のようになります。

5. （オプション）「テスト」をクリックして、テスト値を入力します。次に、「OK」をクリックしてデータベースに接続し、レコードセットのインスタンスを作成します。

   テスト値は、検索ページから返される値をシミュレートします。「OK」をクリックしてテストレコードセットを閉じます。

6. レコードセットを確認したら、「OK」をクリックします。

   ページにサーバーサイドスクリプトが挿入されます。このスクリプトは、サーバーでの実行時にデータベーステーブル内の各レコードを調べます。レコード内の指定されたフィールドがフィルター条件に一致すると、そのレコードはレコードセットに追加されます。このスクリプトによって、検索結果のみを含むレコードセットが作成されます。

   次の手順では、結果ページにレコードセットを表示します。詳しくは、検索結果の表示を参照してください。

トップへ戻る

高度な結果ページの作成

検索ページからサーバーに複数の検索パラメーターが送信される場合は、結果ページ用に SQL クエリーを記述し、検索パラメーターを SQL 変数に格納して使用する必要があります。

注意： 検索条件が 1 つしかない場合は、基本設定のレコードセットダイアログボックスを使用してレコードセットを定義できます（詳しくは、基本的な結果ページの作成を参照してください）。

1. Dreamweaver で結果ページを開き、ウィンドウ／バインディングを選択してバインディングパネルを開きます。「+」ボタンをクリックしてポップアップメニューから「レコードセット」を選択し、新しいレコードセットを作成します。
2. 詳細設定のレコードセットダイアログボックスが表示されることを確認します。

   詳細設定のダイアログボックスには、SQL ステートメントを入力するためのテキスト領域があります。基本設定のダイアログボックスが表示された場合は、「詳細設定」ボタンをクリックして、詳細設定のダイアログボックスに切り替えてください。

3. レコードセットの名前を入力し、接続を選択します。

   ビジターが検索するデータが存在するデータベースへの接続を選択してください。

4. SQL テキスト領域に Select ステートメントを入力します。

   ステートメントに、検索パラメーターを保持する変数を使用した WHERE 句があることを確認します。次の例では、変数は varLastName と varDept です。

   ```
   SELECT EMPLOYEEID, FIRSTNAME, LASTNAME, DEPARTMENT, EXTENSION FROM EMPLOYEE ¬
   WHERE LASTNAME LIKE 'varLastName' ¬
   AND DEPARTMENT LIKE 'varDept'
   ```

   キーボードからの入力を少なくするために、詳細設定のレコードセットダイアログボックスの下部にあるデータベース項目のツリーを使用することができます。手順については、SQL を使用した高度なレコードセットの定義を参照してください。

   SQL シンタックスのヘルプについては、www.adobe.com/go/learn_dw_sqlprimer_jp の SQL primer を参照してください。

5. SQL 変数に、検索パラメーターの値を指定します。「変数」領域で「+」ボタンをクリックして、変数名、初期設定値（ランタイム値が返されなかった場合に変数で使用する値)、およびランタイム値（通常はリクエスト変数などブラウザーから送信された値を保持するサーバーオブジェクト）を入力します。

   次の ASP の例では、検索ページの HTML フォームは GET メソッドを使用し、「LastName」と「Department」という 2 つのテキストフィールドを持ちます。

ColdFusion の場合、ランタイム値は #LastName# と #Department# になります。PHP の場合、ランタイム値は $_REQUEST["LastName"] と $_REQUEST["Department"] になります。

6. （オプション）「テスト」をクリックすると、初期設定の変数値を使用してレコードセットのインスタンスが作成されます。

   初期設定値は、検索ページから返される値をシミュレートします。「OK」をクリックしてテストレコードセットを閉じます。

7. レコードセットを確認したら、「OK」をクリックします。

   SQL クエリーがページに挿入されます。

   次の手順では、結果ページにレコードセットを表示します。

トップへ戻る

検索結果の表示

検索結果を保持するレコードセットを作成したら、結果ページに情報を表示する必要があります。レコードの表示は、バインディングパネルから結果ページに列を 1 つずつドラッグするだけで簡単に指定できます。前後のレコードセットに移動するためのナビゲーションリンクの追加や、ページに複数のレコードを表示するためのリピート領域の作成を行うことができます。また、詳細ページへのリンクを追加することもできます。

動的テーブルへの検索結果の表示以外にも、ページに動的コンテンツを表示する方法はあります。詳しくは、データベースのレコードの表示を参照してください。

1. 動的テーブルを表示する結果ページ上の場所に挿入ポイントを置き、挿入／データオブジェクト／動的データ／動的テーブルを選択します。
2. 動的テーブルダイアログボックスに必要な値を入力します。その際に、検索結果を保持するために定義したレコードセットを選択します。
3. 「OK」をクリックします。検索結果を表示する動的テーブルが、結果ページに挿入されます。

トップへ戻る

結果ページの詳細ページの作成

検索/結果ページのグループに、結果ページの特定のレコードの詳細情報を表示するための詳細ページを追加することができます。この場合、結果ページはマスター/詳細ページセットでマスターページとしても動作します。

トップへ戻る

関連ページを開くリンクの作成（ASP)

関連ページを開いて、既存のパラメーターをそのページに渡すリンクを作成できます。このサーバービヘイビアーは、ASP サーバーモデルを使用する場合のみ使用できます。

「詳細ページへ移動」サーバービヘイビアーを追加する前に、ページが別のページからフォームパラメーターまたは URL パラメーターを受け取ることを確認してください。このサーバービヘイビアーの役割は、パラメーターを 3 番目のページに渡すことです。例えば、結果ページから受け取った検索パラメーターを別のページに渡すことにより、ビジターが再度検索パラメーターを入力する手間を省くことができます。

また、ページ上で選択したテキストまたはイメージを関連ページへのリンクとして使用することもできます。または、何も選択せずにページ上にカーソルを置くと、自動的にリンクテキストが挿入されます。

1. 「関連ページ」ボックスで「参照」をクリックし、関連ページファイルを指定します。

   現在のページにデータを送信する場合は、現在のページのファイル名を入力します。

2. GET メソッドを使用する HTML フォームから直接受け取ったパラメーターや、ページの URL に含まれているパラメーターを渡す場合は、「URL パラメーター」オプションを選択します。
3. POST メソッドを使用する HTML フォームから直接受け取ったパラメーターを渡す場合は、「フォームパラメーター」オプションを選択します。
4. 「OK」をクリックします。

   新しいリンクをクリックすると、クエリーストリングを使用して関連ページにパラメーターが渡されます。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

高度なデータ操作オブジェクトでのページの作成（ColdFusion、ASP)（CS6）

ASP コマンドオブジェクトについて
ASP コマンドによるデータベースの修正
ストアードプロシージャについて
ストアードプロシージャの追加（ColdFusion)（CS6）
ストアードプロシージャの実行（ASP)（CS6）

ASP コマンドオブジェクトについて

トップへ戻る

ASP コマンドオブジェクトは、データベースを処理するサーバーオブジェクトです。オブジェクトには任意の有効な SQL ステートメントを含めることができます。例えば、レコードセットを返す SQL ステートメントや、データベースにレコードを挿入、更新、削除する SQL ステートメントなどを含めることができます。コマンドオブジェクトでは、SQL ステートメントでテーブル内に列を追加または削除する場合に、データベースの構造を変えることができます。コマンドオブジェクトを使用すると、データベース内のストアードプロシージャを実行することもできます。

コマンドオブジェクトの再利用とは、アプリケーションサーバーが、コンパイルされた 1 つのオブジェクトを繰り返し利用して、コマンドを何回も実行できるという意味です。コマンドを再利用可能にするには、以下の VBScript ステートメントのように Command オブジェクトの Prepared プロパティを true に設定します。

```
mycommand.Prepared = true
```

コマンドを何度も実行する場合は、コンパイルされたオブジェクトがあると、データベースの処理を効率的に行うことができるようになります。

注意： すべてのデータベースが、「Prepared」コマンドをサポートしているわけではありません。ご使用のデータベースでサポートされていない場合は、このプロパティを true に設定したときにエラーが返されることがあります。コマンドの準備要求が無視され、Prepared プロパティが false に設定されてしまう場合もあります。
コマンドオブジェクトは、ASP ページのスクリプトで作成されますが、Dreamweaver では、ASP コードを 1 行も記述することなくコマンドオブジェクトを作成できます。

ASP コマンドによるデータベースの修正

トップへ戻る

Dreamweaver を使用して、データベースへのレコードの挿入と、データベースのレコードの更新および削除を行う ASP コマンドオブジェクトを作成できます。コマンドオブジェクトには、データベースの処理を行う SQL ステートメントまたはストアードプロシージャを渡します。

1. Dreamweaver で、コマンドを実行する ASP ページを開きます。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）を開いて「+」ボタンをクリックし、「コマンド」を選択します。
3. コマンドの名前を入力し、編集するレコードを含むデータベースへの接続を選択してから、コマンドで実行する編集処理、つまり「挿入」、「更新」、または「削除」を選択します。

   選択した処理に基づいて、Dreamweaver により SQL ステートメントが開始されます。例えば、「挿入」を選択した場合のダイアログボックスは次の例のようになります。

4. SQL ステートメントを作成します。

   データベースを修正する SQL ステートメントを作成する方法について詳しくは、Transact-SQL のマニュアルを参照してください。

5. 「変数」領域を使用して SQL 変数を定義します。名前とランタイム値を指定します。各変数の型とサイズを指定してインジェクションアタックを防ぎます。

   次の例は、SQL 変数を 3 つ含む Insert ステートメントを示しています。これらの変数の値は、「変数」領域の「ランタイム値」列で定義されたとおり、ページに渡される URL パラメーターで提供されます。

サイズ値を取得するには、Dreamweaver でデータベースパネルを使用します。データベースパネルでデータベースを見つけて展開します。次に、操作するテーブルを見つけて展開します。テーブルにはフィールドのサイズが一覧表示されます。例えば、ADDRESS（WChar 50）というように表示されます。この例では、50 がサイズです。データベースアプリケーションでサイズを見つけることもできます。

注意： 数値、ブール値、日付/時刻データ型はサイズとして常に -1 を使用します。

型の値を確認するには、次の表を参照してください。

データベースにおける型	**Dreamweaver** における型	サイズ
数値（MS Access、MS SQL Server、MySQL)	Double	-1
ブール値、Yes/No（MS Access、MS SQL Server、MySQL)	Double	-1
日付/時刻（MS Access、MS SQL Server、MySQL)	DBTimeStamp	-1
MySQL テキストデータ型の char、varchar、longtext など、テキストフィールドのその他のすべての型	LongVarChar	データベーステーブルをチェック
テキスト（MS Access）または nvarchar、nchar（MS SQL Server)	VarWChar	データベーステーブルをチェック
Memo（MS Access)、ntext（MS SQL Server)、または大容量のテキストをサポートするフィールド	LongVarWChar	1073741823

SQL 変数の型およびサイズについて詳しくは、www.adobe.com/go/4e6b330a_jp を参照してください。

6. ダイアログボックスを閉じます。

   Dreamweaver によって ASP コードがページに自動的に挿入されます。サーバー上でこのコードを実行すると、データベースレコードを挿入、更新、または削除するコマンドが作成されます。

   コマンドオブジェクトの Prepared プロパティは、初期設定で true に設定されます。これにより、アプリケーションサーバーは、コマンドが実行されるたびに、コンパイルされた 1 つのオブジェクトを使用するようになります。この設定を変更するには、コードビューに切り替えて、Prepared プロパティを false に変更します。

7. ユーザーがレコードデータを入力するための HTML フォームを含むページを作成します。HTML フォームには、テキストフィールドを 3 つ（txtCity、txtAddress、および txtPhone）と「送信」ボタンを作成します。フォームでは GET メソッドを使用し、コマンドが含まれているページに、テキストフィールドの値を送信します。

トップへ戻る

ストアードプロシージャについて

サーバービヘイビアーを使用して、データベースを修正するページを作成できますが、ストアードプロシージャや、ASP コマンドオブジェクトなどのデータベース操作オブジェクトを使用してページを作成することもできます。

ストアードプロシージャは、データベースに対する処理を行う、再利用できるデータベースアイテムです。ストアードプロシージャは SQL コードを含んでいます。このコードは特に、レコードの挿入、更新、または削除を実行します。ストアードプロシージャでは、データベース自体の構造を変えることもできます。例えば、ストアードプロシージャを使用して、テーブル列の追加、またはテーブルの削除などを行うことができます。

ストアードプロシージャは、他のストアードプロシージャを呼び出すこともできますが、入力パラメーターを受け取り、複数の値を出力パラメーターという形式で、呼び出した側のプロシージャに返すこともできます。

ストアードプロシージャの再利用とは、コンパイルされた 1 つのプロシージャを繰り返し利用して、データベース処理を何回も実行できるという意味です。データベースタスクを何度も実行する、または同じタスクを別のアプリケーションで実行する予定の場合は、ストアードプロシージャを使用してそのタスクを実行すると、データベース操作の効率が向上します。

注意： MySQL データベースおよび Microsoft Access データベースでは、ストアードプロシージャをサポートしていません。

トップへ戻る

ストアードプロシージャの追加（ColdFusion)（CS6）

データベースを修正するには、ストアードプロシージャを使用します。ストアードプロシージャは、データベースに対する処理を行う、再利用できるデータベースアイテムです。

データベースを修正するストアードプロシージャを使用する前に、何らかの方法でデータベースを修正する SQL がストアードプロシージャに記述されていることを確認してください。データベースにストアードプロシージャを作成して格納する方法について詳しくは、ご使用のデータベースのマニュアルおよび Transact-SQL のマニュアルを参照してください。

1. Dreamweaver で、ストアードプロシージャを実行するページを開きます。
2. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で「+」ボタンをクリックし、「ストアードプロシージャ」を選択します。
3. データソースポップアップメニューから、ストアードプロシージャを含むデータベースへの接続を選択します。
4. ColdFusion データソースのユーザー名とパスワードを入力します。
5. プロシージャポップアップメニューからストアードプロシージャを選択します。

   Dreamweaver がパラメーターに値を自動的に入力します。
6. 値を修正する必要がある場合は、目的のパラメーターを選択して「編集」をクリックします。

   ストアードプロシージャ変数の編集ダイアログボックスが表示されます。編集している変数の名前が「名前」ボックスに表示されます。

   注意： すべてのストアードプロシージャ入力パラメーターにテスト値を入力する必要があります。
7. 必要に応じて変更を行います。
   - ポップアップメニューから方向を選択します。ストアードプロシージャには、入力値、出力値、または入力値と出力値の両方がある場合があります。
   - ポップアップメニューから SQL タイプを選択します。戻り変数、ランタイム値、およびテスト値を入力します。
8. ストアードプロシージャがパラメーターを受け取る場合には、「+」ボタンをクリックして、ページパラメーターを追加します。
   注意： それぞれのストアードプロシージャパラメーターの戻り値に対して、対応するページパラメーターを入力する必要があります。対応する戻り値がない場合は、ページパラメーターは追加しないでください。

   必要に応じて、「+」ボタンを再度クリックして他のページパラメーターを追加します。
9. ページパラメーターを選択し、必要に応じて「-」ボタンをクリックしてパラメーターを削除するか、または「編集」をクリックしてパラメーターに変更を加えます。
10. ストアードプロシージャがレコードセットを返す場合には、「次のレコードセットを返す」オプションを選択してレコードセットの名前を入力し、「テスト」ボタンをクリックして、ストアードプロシージャが返すレコードセットを確認します。

    Dreamweaver がストアードプロシージャを実行し、レコードセットがある場合は表示します。

    注意： ストアードプロシージャがレコードセットを返し、パラメーターを受け取る場合、「変数」ボックスに「初期設定値」列内の値を入力して、ストアードプロシージャをテストする必要があります。
    異なるテスト値を使用して、異なるレコードセットを生成できます。テスト値を変更するには、「パラメーター」の「編集」ボタンをクリックしてからテスト値を変更するか、または「ページパラメーター」の「編集」ボタンをクリックしてから初期設定の値を変更します。
11. ストアードプロシージャがステータスコードの戻り値を返す場合には、「次のステータスコードを返す」オプションを選択し、ステータスコードの名前を入力します。「OK」をクリックします。

    ダイアログボックスを閉じると、Dreamweaver によって ColdFusion コードが自動的にページに挿入されます。このコードをサーバー上で実行すると、データベース内のストアードプロシージャが呼び出されます。続いて、ストアードプロシージャにより、レコードを挿入するなどのデータベース処理が実行されます。

    ストアードプロシージャがパラメーターを受け取る場合、ストアードプロシージャを使用して、パラメーター値を収集するページを作成し、収集したパラメーター値をそのページに送信できます。例えば、ユーザーからパラメーター値を収集するために、URL パラメーターまたは HTML フォームを使用するページを作成できます。

トップへ戻る

ストアードプロシージャの実行（ASP)（CS6）

ASP ページには、ストアードプロシージャを実行するコマンドオブジェクトを追加する必要があります。コマンドオブジェクトについて詳しくは、ASP コマンドオブジェクトについてを参照してください。

1. Dreamweaver で、ストアードプロシージャを実行するページを開きます。
2. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で、「+」ボタンをクリックして「コマンド（ストアードプロシージャ）」を選択します。

   コマンドダイアログボックスが表示されます。
3. コマンドの名前を入力し、ストアードプロシージャを含むデータベースへの接続を選択してから、タイプポップアップメニューから「ストアードプロシージャ」を選択します。
4. 「データベース項目」ボックス内の「ストアードプロシージャ」ブランチを展開して、一覧からストアードプロシージャを選択し、「プロシージャ」ボタンをクリックして、ストアードプロシージャを選択します。
5. 変数テーブルに必須パラメーターを入力します。

   RETURN_VALUE 変数のパラメーターは入力する必要はありません。
6. 「OK」をクリックします。

   ダイアログボックスを閉じると、ASP コードがページに挿入されます。このコードをサーバー上で実行すると、データベース内のストアードプロシージャを実行するコマンドオブジェクトが作成されます。続いて、ストアードプロシージャにより、レコードを挿入するなどのデータベース処理が実行されます。

   コマンドオブジェクトの Prepared プロパティは、初期設定で true に設定されます。これにより、ストアードプロシージャが実行されるたびに、アプリケーションサーバーは、コンパイルされた 1 つのオブジェクトを使用するようになります。コマンドを何度も実行する場合は、コンパイルされたオブジェクトがあると、データベースの処理を効率的に行うことができるようになります。しかし、1、2 回しかコマンドを実行しない場合に、コンパイルされたオブジェクトを使用すると、システムがコマンドをコンパイルするために一時停止するので、Web アプリケーションの実行速度が遅くなることがあります。この設定を変更するには、コードビューに切り替えて、Prepared プロパティを false に変更します。

   注意： すべてのデータベースが、「Prepared」コマンドをサポートしているわけではありません。ご使用のデータベースがサポートしていないと、ページの実行時にエラーメッセージが表示されることがあります。コードビューに切り替えて、Prepared プロパティを false に変更してください。

   ストアードプロシージャがパラメーターを受け取る場合、ストアードプロシージャを使用して、パラメーター値を収集するページを作成し、収集したパラメーター値をそのページに送信できます。例えば、ユーザーからパラメーター値を収集するために、URL パラメーターまたは HTML フォームを使用するページを作成できます。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

マスターページと詳細ページ

マスターページと詳細ページについて
マスターページの作成
詳細ページへのリンクの作成
要求したレコードの検索と詳細ページへの表示
特定のレコードの検索とページでの表示（ASP)
1 回の操作によるマスターページと詳細ページの作成

トップへ戻る

マスターページと詳細ページについて

マスターページと詳細ページは、レコードセットデータの整理と表示に使用される一連のページです。これらのページに、サイトの概要情報と詳細情報の両方を表示できます。マスターページには、すべてのレコードの一覧が表示され、各レコードの追加情報を表示する詳細ページへのリンクも掲載されます。

マスターページ

詳細ページ

マスターページと詳細ページを作成するには、データオブジェクトを挿入してマスターページと詳細ページを一度に作成する方法か、サーバービヘイビアーを使用してマスターページと詳細ページをカスタマイズしながら作成していく方法があります。サーバービヘイビアーを使用してマスターページと詳細ページを作成する場合は、まずマスターページを作成してレコードの一覧を用意し、この一覧から詳細ページへのリンクを追加します。

トップへ戻る

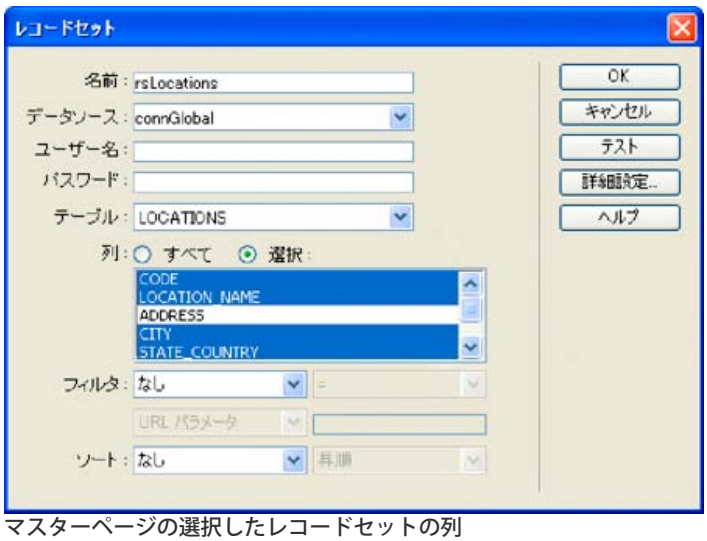
マスターページの作成

作業を開始する前に、サイトのデータベース接続を定義してください。

1. 空のページを作成するには、ファイル／新規／空白ページを選択し、ページタイプを選択して「作成」をクリックします。このページがマスターページになります。
2. レコードセットを定義します。

   バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で、+ ボタンをクリックして「レコードセット」を選択します。SQL ステートメントを自分で記述する場合は、「詳細設定」をクリックします。

   レコードセットには、マスターページの作成に必要なテーブル列をすべて含めてください。また、レコードセットには、各レコードのユニークキーを含むテーブル列、つまりレコード ID 列も含まれている必要があります。次の例では、CODE 列に、各レコードに固有のキーが含まれます。



マスターページの選択したレコードセットの列

   通常、マスターページのレコードセットは、データベーステーブルから数列を抽出します。一方、詳細ページのレコードセットは、詳細な情報を提供するため、同じテーブルからそれより多くの列を抽出します。

   レコードセットは、実行時にユーザー側で定義することができます。詳しくは、検索ページと結果ページの作成を参照してください。

3. レコードを表示するための動的テーブルを挿入します。

   動的テーブルを表示するページ上の位置に挿入ポイントを配置します。挿入／データオブジェクト／動的データ／動的テーブルを選択し、オ

プションを設定して「OK」をクリックします。

サイト上にレコード ID を表示しない場合は、動的テーブルからその列を削除します。ページ内の任意の場所をクリックして、フォーカスをページに移動します。動的テーブル内の列の上部にカーソルを移動して、列のセルの外枠が赤くなったら、クリックしてその列を選択します。Delete キーを押して、テーブルからその列を削除します。

トップへ戻る

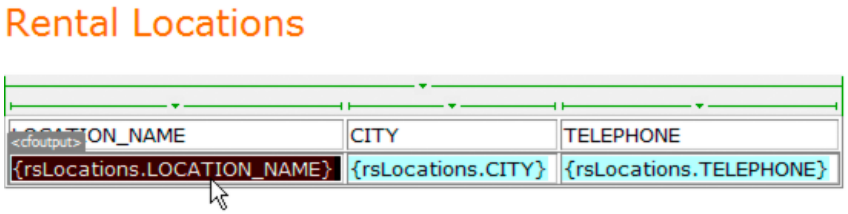
詳細ページへのリンクの作成

マスターページを作成し、レコードセットを追加した後で、詳細ページを開くためのリンクを作成します。その後で、ユーザーが選択したレコードの ID を渡すようにリンクを修正します。詳細ページでは、この ID を使用して、要求されたレコードをデータベース内で検索し、その結果を表示します。

注意： ページを更新するリンクも同じ手順で作成します。結果ページはマスターページに、更新ページは詳細ページに似ています。

詳細ページを開きレコード ID を渡す（ColdFusion、PHP)

1. 動的テーブル内で、リンクとして表示するテキストのコンテンツプレースホルダーを選択します。



選択したプレースホルダーへのリンクの適用

2. プロパティインスペクターの「リンク」ボックスの横にあるフォルダーアイコンをクリックします。
3. 詳細ページに移動して、選択します。詳細ページがプロパティインスペクターの「リンク」ボックス内に表示されます。

   動的テーブルで、選択したテキストがリンクされた状態で表示されます。サーバーでページが実行されると、リンクが各テーブル行内のテキストに適用されます。

4. マスターページの動的テーブル内のリンクを選択します。
5. （ColdFusion）プロパティインスペクターの「リンク」ボックスで、URL の末尾に次のストリングを追加します。

```
?recordID=#recordsetName.fieldName#
```

   疑問符は、後に URL パラメーターが続いていることをサーバーに示します。recordID という単語は、URL パラメーターの名前です（好きな名前を指定できます）。この URL パラメーターの名前は後で詳細ページで使用するため、覚えておく必要があります。

   等号の後の式は、パラメーターの値です。この例では、レコードセットからのレコード ID を返す ColdFusion の式で生成された値です。動的テーブル内の行ごとに異なる ID が生成されます。ColdFusion の式の中の recordsetName を、使用するレコードセットの名前で置き換え、fieldName を、各レコードを一意に識別するレコードセット内のフィールドの名前で置き換えます。ほとんどの場合、フィールドはレコード ID 番号で構成されます。次の例では、フィールドは一意の場所コードで構成されています。

```
locationDetail.cfm?recordID=#rsLocations.CODE#
```

   ページを実行すると、コードセットの CODE フィールドの値が、動的テーブル内の対応する行に挿入されます。例えば、オーストラリア、キャンベラのレンタル営業所の場所コードが CBR の場合、動的テーブル内のキャンベラ営業所の行では次の URL が使用されます。

```
locationDetail.cfm?recordID=CBR
```

6. （PHP）プロパティインスペクターの「リンク」フィールドで、URL の末尾に次のストリングを追加します。

```
?recordID=<?php echo $row_recordsetName['fieldName']; ?>
```

   疑問符は、後に URL パラメーターが続いていることをサーバーに示します。recordID という単語は、URL パラメーターの名前です。ここには好きな名前を指定できます。この URL パラメーターの名前は後で詳細ページで使用するため、覚えておく必要があります。

   等号の後の式は、パラメーターの値です。この例では、レコードセットからのレコード ID を返す PHP の式で生成された値です。動的テーブル内の行ごとに異なる ID が生成されます。PHP の式の中の recordsetName を、使用するレコードセットの名前で置き換え、fieldName を、各レコードを一意に識別するレコードセット内のフィールドの名前で置き換えます。ほとんどの場合、フィールドはレコード ID 番号で構成されます。次の例では、フィールドは一意の場所コードで構成されています。

```
locationDetail.php?recordID=<?php echo $row_rsLocations['CODE']; ?>
```

   ページを実行すると、コードセットの CODE フィールドの値が、動的テーブル内の対応する行に挿入されます。例えば、オーストラリア、キャンベラのレンタル営業所の場所コードが CBR の場合、動的テーブル内のキャンベラ営業所の行では次の URL が使用されます。

```
locationDetail.php?recordID=CBR
```

7. ページを保存します。

詳細ページを開きレコード ID を渡す（ASP)

1. リンク機能を割り当てる動的コンテンツを選択します。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「詳細ページへ移動」を選択します。
3. 「詳細ページ」ボックスで「参照」をクリックし、詳細ページを指定します。
4. レコードセットおよび列ポップアップメニューでレコードセットと列を選択し、詳細ページに渡す値を指定します。通常、レコードのユニークキー ID など、レコードに固有の値を指定します。
5. 必要に応じて、「URL パラメーター」または「フォームパラメーター」オプションを選択して、既存のページのパラメーターを詳細ページに渡します。
6. 「OK」をクリックします。

   選択したテキストの周りに特別なリンクが設定されます。ビジターがリンクをクリックすると、「詳細ページへ移動」サーバービヘイビアーによって、レコード ID を含む URL パラメーターが詳細ページに渡されます。例えば、URL パラメーターが id で、リンク先の詳細ページが customerdetail.asp の場合、ビジターがリンクをクリックしたときの URL は以下のようになります。

   http://www.mysite.com/customerdetail.asp?id=43

   URL の最初の部分 http://www.mysite.com/customerdetail.asp は詳細ページを開きます。次の部分 ?id=43 は URL パラメーターです。これは、詳細ページにどのレコードを検索して表示するかを示しています。id は URL パラメーターの名前であり、43 はその値です。この例では、URL パラメーターにはレコードの ID 番号 43 が含まれています。

トップへ戻る

要求したレコードの検索と詳細ページへの表示

マスターページで要求されたレコードを表示するためには、単一のレコードを保持するレコードセットを定義し、そのレコードセットの列を詳細ページにバインドする必要があります。

1. 詳細ページに切り替えます。詳細ページをまだ作成していない場合は、空のページを作成します（ファイル／新規）。
2. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「レコードセット（クエリー)または「データセット（クエリー)」を選択します。

   基本設定のレコードセットダイアログボックスまたはデータセットダイアログボックスが表示されます。詳細設定のダイアログボックスが表示された場合は、「基本設定」をクリックします。

3. レコードセットの名前を指定し、データソースと、レコードセットにデータを提供するデータベーステーブルを選択します。
4. 「列」領域で、レコードセットに含めるテーブル列を選択します。

   レコードセットは、マスターページのレコードセットと同一でも、異なっていてもかまいません。通常、詳細ページのレコードセットには、詳細な情報を表示するためにより多くの列が含まれます。

   レコードセットが異なる場合、詳細ページのレコードセットにマスターページ上のレコードセットと共通の列が少なくとも 1 つ含まれていることを確認してください。通常はレコード ID 列が共通ですが、関連テーブルの結合フィールドでもかまいません。

   テーブルの特定の列だけをレコードセットに含めるには、「選択」をクリックし、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながらリスト内の目的の列をクリックします。

5. マスターページから渡される URL パラメーターで指定されたレコードを取得して表示するために、「フィルター」領域で以下の設定を行います。
   - 「フィルター」領域の最初のポップアップメニューで、マスターページから渡される URL パラメーターの値と一致する値を含む、レコードセット内の列を選択します。例えば、URL パラメーターにレコード ID 番号が含まれている場合は、レコード ID 番号が格納されている列を選択します。前の項で説明した例では、CODE という名前のレコードセット列に、マスターページによって渡された URL パラメーターの値と一致する値が含まれます。
   - 最初のメニューの横にあるポップアップメニューで、等号記号（初期設定）を選択します。
   - 3 番目のポップアップメニューから「URL パラメーター」を選択します。マスターページでは URL パラメーターを使用して、情報を詳細ページに渡します。
   - 4 番目のボックスに、マスターページから渡される URL パラメーターの名前を入力します。
6. 「OK」をクリックします。レコードセットがバインディングパネルに表示されます。
7. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で列を選択し、これをページにドラッグしてレコードセットの列と詳細ページをバインドします。

   マスターページおよび詳細ページの両方をサーバーにアップロードすると、ブラウザーでマスターページを開くことができます。マスターページの詳細リンクをクリックすると、詳細ページが開き、選択されているレコードに関する詳細情報が表示されます。

トップへ戻る

特定のレコードの検索とページでの表示（ASP)

ページにレコードセットを表示できるように、レコードセット内の特定のレコードを検索するサーバービヘイビアーを追加できます。このサーバービヘイビアーは、ASP サーバーモデルを使用する場合のみ使用できます。

1. 以下の前提条件を満たすページを作成します。
   - 別のページから現在のページに渡された URL パラメーターにレコード ID が含まれている。HTML ハイパーリンクまたは HTML フォームで他のページ上に URL パラメーターを作成できます。詳しくは、フォームを使用したユーザーからの情報の収集を参照してください。
   - 現在のページにレコードセットが定義されている。サーバービヘイビアーにより、このレコードセットからレコードの詳細情報が抽出されます。詳細手順については、SQL を使用しないレコードセットの定義または SQL を使用した高度なレコードセットの定義を参照してください。
   - 現在のページにレコードセットの列がバインドされている。ページ上に特定のレコードが表示される必要があります。詳しくは、テキストを動的にするを参照してください。
2. URL パラメーターによって指定されたレコードを検索するサーバービヘイビアーを追加するには、サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、レコードセットページング／特定のレコードへ移動を選択します。
3. レコード移動先ポップアップメニューで、そのページ用に定義したレコードセットを選択します。
4. 列の場所ポップアップメニューで、他のページから渡される値が格納されている列を選択します。

   例えば、他のページからレコード ID 番号が渡される場合は、レコード ID 番号が格納されている列を選択します。
5. 「URL パラメーターとの一致」ボックスに、他のページから渡される URL パラメーターの名前を入力します。

   例えば、他のページで詳細ページを開くために使用する URL が id=43 の場合は、「URL パラメーターとの一致」ボックスに「id」と入力します。
6. 「OK」をクリックします。

   次にこのページがブラウザーから要求されたときは、サーバービヘイビアーは他のページから渡された URL パラメーター内のレコード ID を読み込み、レコードセット内の指定されたレコードに移動します。

トップへ戻る

1 回の操作によるマスターページと詳細ページの作成

Web アプリケーションの開発時に、「マスター詳細ページセット」データオブジェクトを使用すると、マスターページと詳細ページを簡単に作成できます。

1. 空の動的ページを作成するには、ファイル／新規／空白ページを選択し、ページタイプのリストから動的ページを選択して「作成」をクリックします。

   このページがマスターページになります。
2. そのページのレコードセットを定義します。

   マスターページに必要な列だけではなく、詳細ページに必要な列もすべてレコードセットに含めてください。通常、マスターページのレコードセットは、データベーステーブルから数列を抽出します。一方、詳細ページのレコードセットは、詳細な情報を提供するため、同じテーブルからそれより多くの列を抽出します。
3. デザインビューでマスターページを開き、挿入／データオブジェクト／マスター詳細ページセットを選択します。
4. レコードセットポップアップメニューで、マスターページに表示するレコードを含むレコードセットが選択されていることを確認します。
5. 「マスターページフィールド」領域で、マスターページに表示するレコードセットの列を選択します。

   初期設定では、レコードセットのすべての列が選択されます。レコードセットに recordID などのユニークキー列が含まれている場合は、この列を選択し「-」ボタンをクリックしてページに表示されないようにします。
6. マスターページに表示する列の順序を変更するには、リストで列をクリックし、上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

   マスターページでは、レコードセットの列はテーブル内に横一列に配置されます。上向き矢印をクリックすると列は左に移動します。下向き矢印をクリックすると列は右に移動します。
7. 詳細へのリンク元ポップアップメニューで、詳細ページへのリンクテキストとして表示する値を含むレコードセットの列を選択します。

   例えば、マスターページの各製品名を詳細ページにリンクさせるには、製品名を含むレコードセットの列を選択します。
8. ユニークキーの引き渡しポップアップメニューで、レコードを識別する値を含むレコードセットの列を選択します。

   通常は、レコードの ID 番号の列を選択します。この値が詳細ページに渡され、ビジターが選択したレコードを識別します。
9. ユニークキー列が数値でない場合は、「数値」チェックボックスをオフにします。
   注意： このオプションは初期設定で選択されており、サーバーモデルによっては表示されないものもあります。
10. マスターページに表示するレコード数を指定します。

11. 「詳細ページ名」ボックスで「参照」をクリックして作成済みの詳細ページファイルを指定するか、任意の名前を入力してデータオブジェクトに詳細ページファイルを作成させます。
12. 「詳細ページフィールド」領域で、詳細ページに表示する列を選択します。

    初期設定では、マスターページのレコードセット内のすべての列が選択されます。レコードセットに recordID などのユニークキー列が含まれている場合は、この列を選択し「-」ボタンをクリックして、詳細ページに表示されないようにします。
13. 詳細ページに表示する列の順序を変更するには、リストで列をクリックし、上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

    詳細ページでは、レコードセットの列はテーブル内に縦一列に配置されます。上向き矢印をクリックすると列は上に移動します。下向き矢印をクリックすると列は下に移動します。
14. 「OK」をクリックします。

    詳細ページが作成されていない場合は、データオブジェクトにより詳細ページが作成され、マスターページと詳細ページに動的コンテンツとサーバービヘイビアーが追加されます。
15. マスターページと詳細ページのレイアウトを目的に合わせてカスタマイズします。

    各ページのレイアウトは、Dreamweaver のページデザインツールで自在にカスタマイズできます。サーバービヘイビアーパネルでサーバービヘイビアーをダブルクリックして編集することもできます。

    データオブジェクトを用いてマスターページと詳細ページを作成した後、サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で、データオブジェクトによってページに挿入された作成ブロックを修正できます。

関連項目

テストサーバーの設定

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

登録ページの作成

登録ページについて
ビジターのログイン情報の保存
ユーザー名とパスワードの選択用 HTML フォームの追加
データベースのユーザーテーブルの更新
ユーザー名が一意かどうかを確認するサーバービヘイビアーの追加

登録ページについて

トップへ戻る

Web アプリケーションの一部として、ビジターが初めてサイトにアクセスしたときに登録を要求するページを作成することができます。

登録ページは、次の作成ブロックで構成されます。

- ビジターのログイン情報を保存するデータベーステーブル
- ビジターがユーザー名とパスワードを選択するための HTML フォーム

  このフォームを使用して、ビジターのその他の個人情報を入手することもできます。
- サイトのビジターのデータベーステーブルを更新する「レコードの挿入」サーバービヘイビアー
- ビジターが入力したユーザー名が他のユーザーによって使用されていないことを確認する「新規ユーザー名を確認」サーバービヘイビアー

ビジターのログイン情報の保存

トップへ戻る

登録ページには、ビジターが入力したログイン情報を保存するデータベーステーブルが必要です。

- このデータベーステーブルに、ユーザー名とパスワードの列があることを確認してください。ログインしたビジターにそれぞれ異なるアクセス権を設定する場合は、アクセス権を保存する列も必要です。
- サイトの全ビジターに共通のパスワードを設定するときは、すべての新規ビジターのレコードに初期設定でその共通パスワードが入力されるように、Microsoft Access、Microsoft SQL Server、Oracle などのデータベースアプリケーションを設定します。ほとんどのデータベースアプリケーションでは、新規レコードを作成するたびに、列を初期設定値に設定できます。初期設定値として、共通パスワードを設定します。
- データベーステーブルを使用して、その他の有用なビジター情報を保存することもできます。

  次の手順では、HTML フォームを登録ページに追加し、ビジターがユーザー名とパスワードを選択できるようにします（該当する場合）。

ユーザー名とパスワードの選択用 HTML フォームの追加

トップへ戻る

ビジターがユーザー名とパスワードを選択できるようにする場合は、選択するための HTML フォームを登録ページに追加します。

1. ファイル／新規／空白ページを選択して新規ページを作成し、Dreamweaver のデザインツールを使用して登録ページをレイアウトします。
2. フォームを挿入する位置に挿入ポイントを置いて、挿入／フォームを選択し、HTML フォームを追加します。

   ページに空白のフォームが作成されます。フォームの境界線を表示するには、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択する必要があります。フォームの境界線は細い赤線で表示されます。
3. HTML フォームの名前を指定します。ドキュメントウィンドウの下部にある <form> タグをクリックし、ウィンドウ／プロパティを選択してプロパティインスペクターを開き、「フォーム名」ボックスに名前を入力します。

   フォームの action 属性や method 属性を指定して、ビジターが「送信」ボタンをクリックしたときのレコードの送信先や送信方法を指示する必要はありません。「レコードの挿入」サーバービヘイビアーが自動的にこれらの属性を設定します。
4. 挿入／フォーム／テキストフィールドを選択してテキストフィールドを追加し、ビジターがユーザー名とパスワードを入力できるようにします。

   このフォームには、その他の個人データを記録するためのフォームオブジェクトも追加できます。

   フォームオブジェクトの内容がビジターにわかるように、ラベルを各フォームオブジェクトの横に追加してください。ラベルはテキストでもイメージでもかまいません。また、フォームオブジェクトを HTML テーブル内に配置して、位置を揃える必要があります。フォームオブジェクトについて詳しくは、Web フォームの作成を参照してください。
5. 挿入／フォーム／ボタンを選択して、フォームに「送信」ボタンを追加します。

   「送信」ボタンのラベルを変更するには、ボタンを選択し、ウィンドウ／プロパティを選択してプロパティインスペクターを開き、「値」ボックスに新しい値を入力します。

次の手順では、データベースのユーザーテーブルにレコードを挿入する「レコードの挿入」サーバービヘイビアーを追加します。

トップへ戻る

データベースのユーザーテーブルの更新

データベースのユーザーテーブルを更新するには、「レコードの挿入」サーバービヘイビアーを登録ページに追加する必要があります。

1. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「レコードの挿入」を選択します。

   レコードの挿入ダイアログボックスが表示されます。

2. ユーザーのデータの挿入先になる、データベースのユーザーテーブルを必ず指定してから、ダイアログボックスを閉じます。「OK」をクリックします。

   登録ページ作成の最後の手順は、ユーザー名が他の登録ユーザーに使用されていないことを確認することです。

トップへ戻る

ユーザー名が一意かどうかを確認するサーバービヘイビアーの追加

ビジターを登録ユーザーのデータベースに追加する前に、そのユーザー名が一意であるかどうかを確認するサーバービヘイビアーをユーザー登録ページに追加できます。

ビジターが登録ページの「送信」ボタンをクリックすると、サーバービヘイビアーは、ビジターが入力したユーザー名と、登録ユーザーのデータベーステーブルに保存されているユーザー名を比較します。データベーステーブルに一致するユーザー名がなければ、サーバービヘイビアーは通常のレコードの挿入処理を実行します。一致するユーザー名が検出された場合は、サーバービヘイビアーはレコードの挿入処理をキャンセルし、新しいページを開きます。通常、このページは、ユーザー名が他のビジターに既に使用されていることを通知するページです。

1. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューからユーザー認証／新規ユーザー名を確認を選択します。
2. ユーザー名フィールドポップアップメニューで、ビジターがユーザー名の入力に使用するフォームテキストフィールドを選択します。
3. 「既存ユーザー名入力時の表示ページ」ボックスで、データベーステーブルに同じユーザー名が見つかったときに開くページを指定して「OK」をクリックします。

   開かれるページでは、ユーザー名が既に使用されていることをビジターに通知し、ビジターがもう一度選択できるようにする必要があります。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

レコード挿入ページの作成（CS6）

レコード挿入ページについて
ブロックごとの挿入ページの作成
1 回の操作による挿入ページの作成

トップへ戻る

レコード挿入ページについて

ユーザーがデータベースに新しいレコードを挿入するためのページを、アプリケーションに含めることができます。

挿入ページは、次の 2 つの作成ブロックで構成されます。

- ユーザーがデータを入力する HTML フォーム
- データベースを更新する「レコードの挿入」サーバービヘイビアー

  ユーザーがフォーム上の「送信」ボタンをクリックしたときに、サーバービヘイビアーによってデータベーステーブルにレコードが挿入されます。

  これらの 2 つの作成ブロックは、「レコード挿入フォーム」データオブジェクトを使用して 1 回の操作で追加できます。または、Dreamweaver のフォームツールとサーバービヘイビアーパネルを使用して 1 つずつ追加することもできます。

  注意： 挿入ページが保有できるレコード編集用のサーバービヘイビアーは、常に 1 つだけです。例えば、挿入ページには「レコードの更新」や「レコードの削除」などのサーバービヘイビアーを追加できません。

トップへ戻る

ブロックごとの挿入ページの作成

フォームツールとサーバービヘイビアーを使用して挿入ページを作成することもできます。

挿入ページへの HTML フォームの追加

1. ファイル／新規／空白ページを選択して動的ページを新規作成し、Dreamweaver のデザインツールを使用してページをレイアウトします。
2. フォームを挿入する位置に挿入ポイントを置いて、挿入／フォーム／フォームを選択し、HTML フォームを追加します。

   ページに空白のフォームが作成されます。フォームの境界線を表示するには、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択する必要があります。フォームの境界線は細い赤線で表示されます。
3. HTML フォームの名前を指定します。ドキュメントウィンドウの下部にある <form> タグをクリックし、ウィンドウ／プロパティを選択してプロパティインスペクターを開き、「フォーム名」ボックスに名前を入力します。

   フォームの action 属性や method 属性を指定して、ビジターが「送信」ボタンをクリックしたときのレコードの送信先や送信方法を指示する必要はありません。「レコードの挿入」サーバービヘイビアーが自動的にこれらの属性を設定します。
4. レコードの挿入先となるデータベーステーブルの各列に、テキストフィールドなどのフォームオブジェクトを追加します（挿入／フォーム／テキストフィールド）。

   フォームオブジェクトはデータエントリ用です。データエントリには一般的にテキストフィールドを使用しますが、メニュー、オプション、ラジオボタンなども使用できます。
5. 挿入／フォーム／ボタンを選択して、フォームに「送信」ボタンを追加します。

   「送信」ボタンのラベルを変更するには、ボタンを選択し、ウィンドウ／プロパティを選択してプロパティインスペクターを開き、「ラベル」ボックスに新しい値を入力します。

データベーステーブルにレコードを挿入するサーバービヘイビアーの追加（ColdFusion)

1. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「レコードの挿入」を選択します。
2. 値送信元ポップアップメニューからフォームを選択します。
3. データソースポップアップメニューからデータベースへの接続を選択します。
4. ユーザー名とパスワードを入力します。
5. 更新対象テーブルポップアップメニューから、レコードの挿入先のデータベーステーブルを選択します。
6. レコードの挿入先のデータベース列を指定し、値ポップアップメニューからレコードの挿入元のフォームオブジェクトを選択し、このフォームオブジェクトのデータタイプを送信形式ポップアップメニューから選択します。

データタイプとは、データベーステーブルの列に入力できるデータの種類です。データタイプには、テキスト、数値、ブールオプション値があります。

フォーム内の各フォームオブジェクトについて、この操作を繰り返します。

7. テーブルにレコードを挿入した後に開くページを、「挿入後の移動先」ボックスに入力するか、または「参照」ボタンをクリックしてファイルを参照します。
8. 「OK」をクリックします。

Dreamweaver によってサーバービヘイビアーがページに追加されます。HTML フォームに記入して「送信」ボタンをクリックすることで、ユーザーがレコードをデータベーステーブルに挿入できるようになります。

データベーステーブルにレコードを挿入するサーバービヘイビアーの追加（ASP)

1. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「レコードの挿入」を選択します。
2. 接続ポップアップメニューからデータベースへの接続を選択します。

接続を定義する必要がある場合は、「定義」ボタンをクリックします。

3. 更新対象テーブルポップアップメニューから、レコードの挿入先のデータベーステーブルを選択します。
4. テーブルへのレコード挿入後に開くページを、「挿入後の移動先」ボックスに入力するか、または「参照」をクリックしてファイルを参照します。
5. 値取得元ポップアップメニューから、データ入力に使用する HTML フォームを選択します。

Dreamweaver によって、ページの最初のフォームが自動的に選択されます。

6. レコードの挿入先のデータベース列を指定し、値ポップアップメニューからレコードの挿入元のフォームオブジェクトを選択し、このフォームオブジェクトのデータタイプを送信形式ポップアップメニューから選択します。

データタイプとは、データベーステーブルの列に入力できるデータの種類です。データタイプには、テキスト、数値、ブールオプション値があります。

フォーム内の各フォームオブジェクトについて、この操作を繰り返します。

7. 「OK」をクリックします。

Dreamweaver によってサーバービヘイビアーがページに追加されます。HTML フォームに記入して「送信」ボタンをクリックすることで、ユーザーがレコードをデータベーステーブルに挿入できるようになります。

サーバービヘイビアーを編集するには、ウィンドウ／サーバービヘイビアーを選択してサーバービヘイビアーパネルを開き、「レコードの挿入」ビヘイビアーをダブルクリックします。

データベーステーブルにレコードを挿入するサーバービヘイビアーの追加（PHP)

1. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「レコードの挿入」を選択します。
2. 値送信元ポップアップメニューからフォームを選択します。
3. 接続ポップアップメニューからデータベースへの接続を選択します。
4. テーブルの挿入ポップアップメニューから、レコードの挿入先のデータベーステーブルを選択します。
5. レコードの挿入先のデータベース列を指定し、値ポップアップメニューからレコードの挿入元のフォームオブジェクトを選択し、このフォームオブジェクトのデータタイプを送信形式ポップアップメニューから選択します。

データタイプとは、データベーステーブルの列に入力できるデータの種類です。データタイプには、テキスト、数値、ブールオプション値があります。

フォーム内の各フォームオブジェクトについて、この操作を繰り返します。

6. テーブルにレコードを挿入した後に開くページを、「挿入後の移動先」ボックスに入力するか、または「参照」ボタンをクリックしてファイルを参照します。
7. 「OK」をクリックします。

Dreamweaver によってサーバービヘイビアーがページに追加されます。HTML フォームに記入して「送信」ボタンをクリックすることで、ユーザーがレコードをデータベーステーブルに挿入できるようになります。

トップへ戻る

1 回の操作による挿入ページの作成

1. デザインビューでページを開き、挿入／データオブジェクト／レコードの挿入／レコード挿入フォームウィザードを選択します。
2. 接続ポップアップメニューからデータベースへの接続を選択します。接続を定義する必要がある場合は、「定義」ボタンをクリックします。
3. 更新対象テーブルポップアップメニューから、レコードの挿入先のデータベーステーブルを選択します。
4. ColdFusion を使用する場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

5. テーブルにレコードを挿入した後に開くページを、「挿入後の移動先」ボックスに入力するか、または「参照」ボタンをクリックしてファイルを参照します。
6. 「フォームフィールド」領域で、挿入ページの HTML フォームに含めるフォームオブジェクトを指定し、各フォームオブジェクトが更新するデータベーステーブル内の列を指定します。

   初期設定では、Dreamweaver は、データベーステーブルの各列に対してフォームオブジェクトを 1 つずつ作成します。使用しているデータベースで、新規作成されたレコードに対して自動的に固有のキー ID が生成される場合は、そのキー列に対応するフォームオブジェクトをリストから選択し、「-」ボタンをクリックして削除してください。削除しておけば、フォームを使用するユーザーが既に存在している ID の値を入力してしまうことはありません。

   リストからフォームオブジェクトを選択し、ダイアログボックスの右側にある上向きまたは下向きの矢印をクリックすると、HTML フォームのフォームオブジェクトの並び順を変更することができます。
7. 「フォームフィールド」テーブルの行をクリックし、このテーブルの下のボックスに次の情報を入力して、HTML フォームでの各データエントリフィールドの表示方法を指定します。
   - 「ラベル」ボックスに、データエントリフィールドの横に表示する説明ラベルを入力します。Dreamweaver では、初期設定のラベルとしてテーブル列の名前が表示されます。
   - 表示形式ポップアップメニューから、データエントリフィールドとして使用するフォームオブジェクトを選択します。「テキストフィールド」、「テキストエリア」、「メニュー」、「チェックボックス」、「ラジオボタングループ」、「テキスト」から選択できます。読み取り専用エントリの場合は、「テキスト」を選択してください。また「パスワードフィールド」、「ファイルフィールド」、および「非表示フィールド」を選択することもできます。

     注意： 非表示フィールドは、フォームの末尾に挿入されます。
   - 送信形式ポップアップメニューから、データベーステーブルで受信する際のデータ形式を選択します。例えば、数値データのみを表示するテーブル列の場合は、「数値」を選択します。
   - フォームオブジェクトのプロパティを設定します。オプションは、データエントリフィールドとして選択したフォームオブジェクトによって異なります。テキストフィールド、テキスト領域、およびテキストの場合は、初期値を入力できます。メニューグループとラジオボタングループの場合は、別のダイアログボックスが開き、そこでプロパティを設定します。オプションの場合は「チェック済み」または「未チェック」を選択します。
8. 「OK」をクリックします。

   Dreamweaver によって、HTML フォームと「レコードの挿入」サーバービヘイビアーの両方がページに自動的に追加されます。フォームオブジェクトが基本テーブルに配置され、Dreamweaver のページデザインツールでカスタマイズできるようになります。フォームオブジェクト全体がフォームの境界内に収まるようにしてください。

   サーバービヘイビアーを編集するには、ウィンドウ／サーバービヘイビアーを選択してサーバービヘイビアーパネルを開き、「レコードの挿入」ビヘイビアーをダブルクリックします。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

許可されたビジターのみがアクセスできるページの作成

プロテクトされたページについて
許可されていないビジターのリダイレクト
ユーザーデータベースへのアクセス権の保存
ログアウト

プロテクトされたページについて

トップへ戻る

Web アプリケーションの一部として、許可されたビジターのみがアクセスできるプロテクトされたページを作成することができます。

例えば、プロテクトされたページの URL をブラウザーに入力して、ログインページを経由せずに直接アクセスしようとしたビジターは、別のページにリダイレクトされます。同様に、ページの認証レベルを "Administrator" に設定した場合は、"Administrator" のアクセス権を持つビジターだけがそのページを表示できます。ログインしたビジターが、適切なアクセス権を持たずにプロテクトされたページにアクセスしようとした場合は、別のページにリダイレクトします。

また、認証レベルを使用して、新規登録ユーザーにサイトへのフルアクセス権を与える前に、そのビジターを調べることもできます。例えば、支払いが済んだビジターだけに、サイトのメンバー用ページへのアクセスを許可するとします。このようにするには、メンバーページを "Member" 認証レベルを持つビジターだけが表示できるようにプロテクトし、新規登録ビジターには "Guest" というアクセス権のみを与えます。ビジターからの支払いを確認したら、登録ユーザーのデータベーステーブルで、このビジターのアクセス権を "Member" にアップグレードします。

認証レベルを使用する予定がない場合は、「ページへのアクセス制限」サーバービヘイビアーをページに追加するだけで、サイトのページをプロテクトすることができます。このサーバービヘイビアーにより、正常にログインしていないビジターは別のページにリダイレクトされます。

認証レベルを使用する場合は、次の作成ブロックを使用してサイトの任意のページをプロテクトすることができます。

- 許可されていないビジターを別のページにリダイレクトする「ページへのアクセス制限」サーバービヘイビアー
- ビジターのデータベーステーブル内の、各ビジターのアクセス権を保存するための列

  認証レベルを使用するかどうかにかかわらず、ビジターをログアウトさせてセッション変数をすべてクリアするリンクを、プロテクトされたページに追加できます。

許可されていないビジターのリダイレクト

トップへ戻る

許可されていないビジターがページにアクセスできないようにするには、「ページへのアクセス制限」サーバービヘイビアーをページに追加します。ビジターがプロテクトされたページの URL をブラウザーに入力して、ログインページを経由せずにアクセスしようとした場合、または、ログインしたビジターが適切なアクセス権を持たずにプロテクトされたページにアクセスしようとした場合、このサーバービヘイビアーによってビジターは別のページにリダイレクトされます。

注意： 「ページへのアクセス制限」サーバービヘイビアーでプロテクトできるのは HTML ページのみです。イメージファイルやオーディオファイルなどの、その他のサイトリソースはプロテクトされません。
サイトの多数のページに同じアクセス権を設定する必要がある場合は、1 つのページから他のページにアクセス権をコピー＆ペーストできます。

許可されていないビジターの別のページへのリダイレクト

1. プロテクトするページを開きます。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューからユーザー認証／ページへのアクセス制限を選択します。
3. ページのアクセスレベルを選択します。特定のアクセス権を持つビジターだけがページを表示できるようにする場合は、「ユーザー名、パスワード、およびアクセスレベル」オプションを選択し、そのページの認証レベルを指定します。

   例えば、認証レベルのリストで「Administrator」を選択すると、"Administrator" のアクセス権を持つビジターだけがページを表示できます。
4. リストに認証レベルを追加するには、「定義」をクリックします。表示されるアクセスレベルの定義リストで、新しい認証レベルを入力して「+」ボタンをクリックします。新しい認証レベルは保存されるため、他のページでも使用できます。

   認証レベルのストリングが、ユーザーデータベースに保存されているストリングと完全に一致することを確認します。例えば、データベースの認証列に、"Administrator" という値がある場合、「名前」ボックスには「Admin」ではなく「Administrator」と入力してください。
5. 1 つのページに複数の認証レベルを設定する場合は、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら、リスト内のレベルを続けてクリックします。

   例えば、"Guest"、"Member"、または "Administrator" というアクセス権を持つビジターがそのページを表示できるように指定することができます。

6. 許可されていないビジターがプロテクトされたページを開こうとしたときに開くページを指定します。

   プロテクトされていないページを選択してください。

7. 「OK」をクリックします。

サイトのページ間でのアクセス権のコピー＆ペースト

1. プロテクトされたページを開き、サーバービヘイビアーパネルで「ページへのアクセス制限」サーバービヘイビアーを選択します。「+」ボタンのポップアップメニューからではなく、パネル上のサーバービヘイビアーを選択してください。
2. パネルの右上にある矢印ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「コピー」を選択します。

   「ページへのアクセス制限」サーバービヘイビアーが、システムのクリップボードにコピーされます。

3. 同様にプロテクトする他のページを開きます。
4. ウィンドウ／サーバービヘイビアーを選択してサーバービヘイビアーパネルを開き、右上隅の矢印ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「ペースト」を選択します。
5. プロテクトする各ページについて、手順 3 と 4 を繰り返します。

トップへ戻る

ユーザーデータベースへのアクセス権の保存

この作成ブロックは、一部のログインユーザーに異なるアクセス権を与える場合にのみ必要です。ビジターにログインだけを要求する場合は、アクセス権を保存しておく必要はありません。

1. 特定のログインユーザーに異なるアクセス権を与える場合は、各ビジターのアクセス権（"Guest"、"User"、"Administrator" など）を指定する列がビジターのデータベーステーブルにあることを確認します。各ビジターのアクセス権をデータベースに入力するのは、サイト管理者です。

   ほとんどのデータベースアプリケーションでは、新規レコードを作成するたびに、列を初期設定値に設定できます。サイトの最も一般的なアクセス権を初期設定値として設定してから、それ以外のアクセス権を手動で変更します。例えば、一般的なアクセス権を "Guest" にしておき、例外のビジターは "Guest" から "Administrator" に変更します。このようにした場合、例外のビジターはすべての管理者用ページにアクセスできます。

2. データベースでは、各ビジターに対して、"User、Administrator" のように複数のアクセス権を与えるのではなく、"Guest" や "Administrator" などの単独のアクセス権を与えるようにしてください。例えば、すべてのゲストと管理者がページを表示できるようにするなど、ページに複数のアクセス権を設定する場合は、データベースレベルではなく、ページレベルでこれらのアクセス権を設定してください。

トップへ戻る

ログアウト

ビジターが正常にログインすると、ユーザー名で構成されるセッション変数が作成されます。ビジターがサイトを去るときに、「ログアウト」サーバービヘイビアーを使用してこのセッション変数をクリアし、ビジターを別のページ（通常は「ご利用ありがとうございました」などのメッセージを表示するページ）にリダイレクトすることができます。

ビジターがリンクをクリックしたとき、または特定のページをロードしたときに、「ログアウト」サーバービヘイビアーを呼び出すことができます。

ビジターがログアウトするためのリンクの追加

1. ページ上で、リンクとして使用するテキストまたはイメージを選択します。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／ビヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ユーザー認証／ログアウトを選択します。
3. ビジターがリンクをクリックしたときに開くページを指定して「OK」をクリックします。

   通常、このページは「ご利用ありがとうございました」などのメッセージを表示するページです。

特定ページのロード時のビジターのログアウト

1. Dreamweaver でロードするページを開きます。

   通常、このページは「ご利用ありがとうございました」などのメッセージを表示するページです。

2. サーバービヘイビアーパネルで「+」ボタンをクリックし、ユーザー認証／ログアウトを選択します。
3. 「ページのロード時にログアウト」オプションを選択して「OK」をクリックします。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ColdFusion フォームの作成

ColdFusion フォームについて
ColdFusion 拡張機能の有効化
ColdFusion フォームの作成
ColdFusion フォームコントロールの挿入
ColdFusion テキストフィールドの挿入
ColdFusion 非表示フィールドの挿入
ColdFusion テキスト領域の挿入
ColdFusion ボタンの挿入
ColdFusion チェックボックスの挿入
ColdFusion ラジオボタンの挿入
ColdFusion 選択ボックスの挿入
ColdFusion イメージフィールドの挿入
ColdFusion ファイルフィールドの挿入
ColdFusion 日付フィールドの挿入
ColdFusion フォームコントロールの修正
ColdFusion フォームデータの検証

注意： ColdFusion は、Dreamweaver CC 以降では削除されています。

トップへ戻る

ColdFusion フォームについて

ColdFusion フォームには、フォームデータを検証する機能が組み込まれています。例えば、ユーザーが有効な日付を入力したかどうかを確認できます。フォームコントロールに追加の機能が含まれている場合もあります。いくつかの機能には対応する HTML 機能がなく、他のいくつかの機能ではデータソースからコントロールへの動的な入力を直接サポートします。

Dreamweaver には、ColdFusion MX 7 以降を開発サーバーとして使用するための多数の拡張機能があります。この拡張機能では、挿入パネルのボタン、メニュー項目、プロパティインスペクターが追加されており、ColdFusion フォームのプロパティを迅速に作成、設定することができます。さらに、サイトのビジターが入力した情報を検査するコードを生成することもできます。例えば、ユーザーが入力した電子メールアドレスに @ 記号があるか、必須テキストフィールドに特定の型の値が入力されているかなどを確認できます。

トップへ戻る

ColdFusion 拡張機能の有効化

この拡張機能の中には、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターを Dreamweaver のテストサーバーとして定義しておくことが必要なものもあります。例えば、フォームコントロールのプロパティインスペクターを使用できるのは、適切なテストサーバーを指定した場合だけです。

テストサーバーを定義するのは 1 回だけです。Dreamweaver では、テストサーバーのバージョンを自動的に検出し、ColdFusion を検出した場合に拡張機能を使用可能にします。

1. ColdFusion プロジェクトの Dreamweaver サイトを定義していない場合は、ここで定義します。
2. サイト／サイトの管理を選択し、リストからサイトを選択して、「編集」をクリックします。
3. 「サーバー」カテゴリを選択し、ColdFusion MX 7 以降を Dreamweaver サイトのテストサーバーとして実行しているコンピューターを指定します。有効な Web URL を指定します。
4. ColdFusion ドキュメントを開きます。

   ColdFusion ドキュメントを開くまで、Dreamweaver ワークスペースに対する変更は表示されません。

トップへ戻る

ColdFusion フォームの作成

多数の挿入パネルのボタン、メニュー項目、およびプロパティインスペクターを使用して、ColdFusion フォームを迅速に作成し、そのプロパティを設定することができます。

注意： これらの拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行するコンピューターにアクセスできる場合にだけ使用できます。

1. ColdFusion ページを開き、ColdFusion フォームを表示する場所に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／ColdFusion オブジェクト／CFForm／CFForm を選択するか、挿入パネルの「CFForm」カテゴリを選択して CF Form アイコンをクリックします。

   Dreamweaver では空の ColdFusion フォームが挿入されます。デザインビューでは、フォームは赤い点線のアウトラインで示されます。ア

ウトラインが表示されない場合は、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択します。

3. フォームが選択されていることを確認したら、プロパティインスペクターを使用して以下のフォームプロパティを設定します。
CFForm フォームの名前を設定します。

アクション フォームを送信する際に処理される ColdFusion ページの名前を指定します。

メソッド ブラウザーでフォームデータをサーバーに送信する際に使用するメソッドを定義します。

POST HTTP post メソッドを使用してデータを送信します。このメソッドでは、データを個別のメッセージでサーバーに送信します。

GET HTTP get メソッドを使用してデータを送信します。このとき、フォームフィールドコンテンツを URL クエリーストリングに配置します。

ターゲット cfform タグのターゲット属性の値を修正します。

エンコーディングタイプ フォームデータの送信に使用するエンコードメソッドを指定します。
注意： エンコードの種類は文字エンコードを基準としません。この属性では、メソッドの値が post の場合に、フォームをサーバーに送信する際に使用するコンテンツタイプを指定します。この属性の初期設定値は application/x-www-form-urlencoded です。

フォーマット 作成されるフォームの種類を決定します。

HTML HTML フォームを生成してクライアントに送信します。cfgrid 子コントロールと cftree 子コントロールは Flash またはアプレットフォーマットでもかまいません。

Flash Flash フォームを生成してクライアントに送信します。すべてのコントロールが Flash フォーマットになります。

XML XForms XML を生成し、ColdFusion フォーム名を付けた変数に結果を保存します。クライアントには何も送信されません。cfgrid 子コントロールと cftree 子コントロールは Flash またはアプレットフォーマットでもかまいません。

スタイル フォームのスタイルを指定します。詳しくは、ColdFusion のマニュアルを参照してください。

Flash/XML Skin 出力にスタイルを追加するハローカラーを指定します。テーマにより、ハイライトまたは選択されたエレメントの色が決まります。

データを保持 フォーム自体に送信する際に、初期コントロール値を、送信された値で上書きするかどうかを指定します。

- False を指定した場合は、control タグ属性で指定した値が使用されます。
- True を指定した場合は、送信された値が使用されます。

スクリプト **src** タグと子タグで使用されるクライアントサイドコードが含まれる JavaScript ファイルの URL を Web ルートを基準として指定します。ファイルが初期設定の場所にない場合に、この属性を使用します。"—/CFIDE" ディレクトリへのアクセスがブロックされている一部のホスティング環境や構成で、この属性が必要になる場合があります。初期設定の場所は ColdFusion Administrator で設定されます。初期設定は "/CFIDE/scripts/cfform.js" です。

アーカイブ cfgrid、cfslider、cftree の各アプレットコントロールのダウンロード可能な Java クラスの URL を指定します。初期設定の場所は "/CFIDE/classes/cfapplets.jar" です。

高さ フォームの高さを指定します。

幅 フォームの幅を指定します。

CFFORM のタグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。

4. ColdFusion フォームコントロールを挿入します。

ColdFusion フォームで ColdFusion フォームコントロールを表示する場所に挿入ポイントを置き、挿入メニュー（挿入／ColdFusion オブジェクト／CFForm）または挿入パネルの 「CFForm」カテゴリからコントロールを選択します。

5. 必要に応じて、プロパティインスペクターでコントロールのプロパティを設定します。

コントロールがデザインビューで選択されていることを確認してから、プロパティインスペクターでプロパティを設定します。プロパティについて詳しくは、プロパティインスペクターのヘルプアイコンをクリックしてヘルプを参照してください。

6. ColdFusion フォームのレイアウトを調整します。

HTML ベースのフォームを作成している場合は、行の区切り、段落の区切り、フォーマット済みのテキスト、またはテーブルを使用してフォームをフォーマットできます。1 ページに複数の ColdFusion フォームを入れることはできますが、別の ColdFusion フォームに ColdFusion フォームを追加すること、つまり、タグのオーバーラップはできません。

Flash ベースのフォームを作成している場合は、カスケーディングスタイルシート（CSS）スタイルを使用してフォームをレイアウトします。ColdFusion では、フォーム内の HTML は無視されます。

ColdFusion フォームフィールドのラベルには説明文を記述して、ユーザーにわかりやすくする必要があります。例えば、名前情報を要求する場合は、「名前ラベルを入力してください」とします。

ColdFusion フォームコントロールの挿入

トップへ戻る

挿入パネルまたは挿入メニューを使用すると、ColdFusion フォームコントロールを ColdFusion フォームに迅速に挿入できます。空の ColdFusion フォームを作成してからコントロールを挿入します。

注意： これらの拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行するコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. デザインビューで、挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入メニューからコントロールを選択するか（挿入／ColdFusion オブジェクト／CFForm)、または挿入パネルの「CFForm」カテゴリからコントロールを選択します。
3. ページに配置されたコントロールをクリックし、プロパティインスペクターでそのプロパティを設定します。

   特定のコントロールの挿入について詳しくは、対象のコントロールに関するトピックを参照してください。

トップへ戻る

ColdFusion テキストフィールドの挿入

ColdFusion テキストフィールドまたはパスワードフィールドをフォームに視覚的に挿入して、そのオプションを設定することができます。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

ColdFusion テキストフィールドの視覚的な挿入

1. デザインビューで、挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入パネルの「CF フォーム」カテゴリで、CF テキストフィールドアイコンをクリックするか、挿入／ColdFusion オブジェクト／CF フォーム／CF テキストフィールドを選択します。

   テキストフィールドがフォームに表示されます。
3. テキストフィールドを選択し、プロパティインスペクターでそのプロパティを設定します。
4. ページ上のテキストフィールドにラベルを付けるには、テキストフィールドの横をクリックして、ラベルを入力します。

パスワードフィールドの視覚的な挿入

1. 上記手順の 1 ～ 2 を繰り返してテキストフィールドを挿入します。
2. 挿入したテキストフィールドを選択して、そのプロパティインスペクターを表示します。
3. 挿入したテキストフィールドを選択して、そのプロパティインスペクターを表示します。

CFTextField のオプション（ColdFusion)

ColdFusion のテキストフィールドまたはパスワードフィールドのオプションを設定するには、CFTextField のプロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。

CFtextfield id 属性を設定します（<cfinput> タグ）。
値 ブラウザーで最初にページを開いたときにフィールドに表示されるテキストを指定します。情報は静的または動的のどちらでもかまいません。
動的値を指定するには、「値」テキストボックスの横にある稲妻アイコンをクリックし、動的データダイアログボックスでレコードセット列を選択します。ブラウザーでフォームを表示するときに、テキストフィールドの値はこのレコードセット列から得られます。

テキストモード 標準のテキスト入力フィールドとパスワード入力フィールドを切り替えます。このコントロールで修正された属性は type です。
読み取り専用 表示テキストを読み取り専用にします。
最大長 テキストフィールドに入力可能な最大文字数を設定します。
マスク 要求したテキストのマスクを指定します。ユーザーの入力を検証する際に、このプロパティを使用します。マスクフォーマットは A、9、X、? の 各文字で構成されます。
注意： マスク属性は cfinput type="password" タグでは無視されます。
バリデート 現在のフィールドの検証の種類を指定します。
検査 フィールドを検証する時期を onSubmit、onBlur、または onServer の中から指定します。
ラベル テキストフィールドのラベルを指定します。
パターン 入力を検証するための JavaScript 正規表現パターンを指定します。始めと終わりのスラッシュは省略します。詳しくは、ColdFusion のマニュアルを参照してください。
高さ コントロールの高さをピクセル単位で指定します。
幅 コントロールの幅をピクセル単位で指定します。
サイズ コントロールのサイズを指定します。
必須 フォームをサーバーに送信する前にテキストフィールドにデータを含めるかどうかを指定します。
タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。

トップへ戻る

ColdFusion 非表示フィールドの挿入

ColdFusion 非表示フィールドをフォームに視覚的に挿入して、そのプロパティを設定することができます。非表示フィールドは、ユーザーが入力しない情報を保存し送信するのに使用します。この情報は、ユーザーには表示されません。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. デザインビューで、挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入パネルの「CFForm」カテゴリ内で、CF 非表示フィールドアイコンをクリックします。

   マーカーが ColdFusion フォームに表示されます。マーカーが表示されない場合は、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択します。
3. ページ上の非表示フィールドを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。
   Cfhiddenfield 非表示フィールドの一意の名前を指定します。

   値 非表示フィールドの値を指定します。データは静的または動的のどちらでもかまいません。

   動的値を指定するには、「値」テキストボックスの横にある稲妻アイコンをクリックし、動的データダイアログボックスでレコードセット列を選択します。ブラウザーでフォームを表示するときに、テキストフィールドの値はこのレコードセット列から得られます。

   バリデート 現在のフィールドの検証の種類を指定します。

   検査 フィールドを検証する時期を onSubmit、onBlur、または onServer の中から指定します。

   ラベル コントロールのラベルを指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   パターン 入力を検証するための JavaScript 正規表現パターンを指定します。始めと終わりのスラッシュは省略します。詳しくは、ColdFusion のマニュアルを参照してください。

   高さ コントロールの高さをピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   幅 コントロールの幅をピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   サイズ コントロールのサイズを指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   必須 フォームをサーバーに送信する前に非表示フィールドにデータを含めるかどうかを指定します。

   タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。

トップへ戻る

ColdFusion テキスト領域の挿入

ColdFusion テキスト領域をフォームに視覚的に挿入して、そのプロパティを設定することができます。テキスト領域は、複数行のテキストから構成される入力エレメントです。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. 挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入パネルの「CFForm」カテゴリ内で、CF テキスト領域アイコンをクリックします。

   テキスト領域が ColdFusion フォームに表示されます。
3. ページ上のテキストフィールドを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。
   Cftextarea コントロールの一意の名前を指定します。

   文字幅 1 行あたりの文字数を設定します。

   ライン数 テキスト領域に表示する行数を設定します。

   折り返し ユーザーが入力したテキストの折り返し方法を指定します。

   必須 ユーザーがフィールドにデータを入力する必要があるか（オン）ないか（オフ）を指定します。

   初期値 ブラウザーで最初にページを開いたときにテキスト領域に表示されるテキストを指定します。

   バリデート フィールドの検証の種類を指定します。

   検査 フィールドを検証する時期を onSubmit、onBlur、または onServer の中から指定します。

   ラベル コントロールのラベルを指定します。

   スタイル コントロールのスタイルを指定します。詳しくは、ColdFusion のマニュアルを参照してください。

   高さ コントロールの高さをピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   幅 コントロールの幅をピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。
4. テキスト領域にラベルを付けるには、テキスト領域の横をクリックして、ラベルを入力します。

トップへ戻る

ColdFusion ボタンの挿入

ColdFusion ボタンをフォームに視覚的に挿入して、そのプロパティを設定することができます。ColdFusion ボタンは、ColdFusion フォームの操作を制御します。ColdFusion フォームデータをサーバーに送信する場合や、ColdFusion フォームをリセットする場合にボタンを使用します。標準の ColdFusion ボタンには、通常、"送信"、"リセット" などのラベルが付けられます。また、スクリプト内で定義した他の処理タスクを割り当てる

こともできます。例えば、ボタンを使用して、割り当てられた値を基に、選択した項目の合計費用を計算することもできます。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. 挿入ポイントを ColdFusion フォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入パネルの「CFForm」カテゴリ内で、CF ボタンアイコンをクリックします。

   ボタンが ColdFusion フォームに表示されます。
3. ページ上のボタンを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。
   Cfbutton コントロールの一意の名前を指定します。

   アクション 作成するボタンのタイプを指定します。

   タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。

   実行時の ColdFusion サーバーでは、その他のプロパティは無視されます。

トップへ戻る

ColdFusion チェックボックスの挿入

ColdFusion チェックボックスをフォームに視覚的に挿入して、そのプロパティを設定することができます。ユーザーがオプション群から複数のオプションを選択できるようにする場合は、チェックボックスを使用します。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. 挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入パネルの CFForm カテゴリ内で、CF チェックボックスアイコンをクリックします。

   チェックボックスが ColdFusion フォームに表示されます。
3. ページ上のチェックボックスを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。
   Cfcheckbox コントロールの一意の名前を指定します。

   チェック済み値 ユーザーがチェックボックスをオンにしたときにチェックボックスから返す値を指定します。

   初期値 ブラウザーで最初にページを開いたときにチェックボックスをオンにするかどうかを指定します。

   バリデート チェックボックスの検証の種類を指定します。

   検査 チェックボックスを検証する時期を onSubmit、onBlur、または onServer の中から指定します。

   ラベル チェックボックスのラベルを指定します。

   パターン 入力を検証するための JavaScript 正規表現パターンを指定します。始めと終わりのスラッシュは省略します。詳しくは、ColdFusion のマニュアルを参照してください。

   高さ コントロールの高さをピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   幅 コントロールの幅をピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   サイズ コントロールのサイズを指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   必須 フォームをサーバーに送信する前にチェックボックスをオンにするかどうかを指定します。

   タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。
4. チェックボックスにラベルを付けるには、ページ上のチェックボックスの横をクリックし、ラベルのテキストを入力します。

トップへ戻る

ColdFusion ラジオボタンの挿入

ColdFusion ラジオボタンをフォームに視覚的に挿入して、そのプロパティを設定することができます。ユーザーが一連のオプションからオプションを 1 つだけ選択できるようにする場合は、ラジオボタンを使用します。ラジオボタンは、通常、グループで使用します。同一グループのラジオボタンすべてに、同じ名前を付ける必要があります。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. 挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入／ColdFusion オブジェクト／CF フォーム／CF ラジオボタンを選択します。

   ラジオボタンが ColdFusion フォームに表示されます。
3. ページ上のラジオボタンを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。
   Cfradiobutton コントロールの一意の名前を指定します。

   チェック済み値 ユーザーがラジオボタンをオンにしたときにラジオボタンから返す値を指定します。

   初期値 ブラウザーで最初にページを開いたときにラジオボタンをオンにするかどうかを指定します。

   バリデート ラジオボタンの検証の種類を指定します。

   検査 ラジオボタンを検証する時期を onSubmit、onBlur、または onServer の中から指定します。

ラベル ラジオボタンのラベルを指定します。

パターン 入力を検証するための JavaScript 正規表現パターンを指定します。始めと終わりのスラッシュは省略します。詳しくは、ColdFusion のマニュアルを参照してください。

高さ コントロールの高さをピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

幅 コントロールの幅をピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

サイズ コントロールのサイズを指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

必須 フォームをサーバーに送信する前にラジオボタンをオンにするかどうかを指定します。

タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。

4. ラジオボタンにラベルを付けるには、ページ上のラジオボタンの横をクリックして、ラベルを入力します。

トップへ戻る

ColdFusion 選択ボックスの挿入

ColdFusion 選択ボックスをフォームに視覚的に挿入して、そのプロパティを設定することができます。選択ボックスは、ユーザーがリストから 1 つまたは複数の項目を選択する場合に使用します。選択ボックスは、多くの項目を限られたスペースで表示するのに便利です。また、サーバーに返される値を制御する場合にも便利です。テキストフィールドではユーザーが自由に情報を入力できるため、無効な値でも入力可能ですが、選択ボックスではメニューから返される値を設計者が設定できます。

フォームには、2 つのタイプの選択ボックスを挿入できます。1 つは、ユーザーがクリックしたときにドロップダウン形式で表示されるメニューで、もう 1 つは、選択できる項目をスクロール可能なリストとして表示するメニューです。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. 挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入パネルの「CFForm」カテゴリ内で、CF 選択アイコンをクリックします。

   選択ボックスが ColdFusion フォームに表示されます。
3. ページ上の選択ボックスを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。
   Cfselect コントロールの一意の名前を指定します。

   タイプ ポップアップメニューまたはリストのいずれかを選択します。リストタイプを選択すると、「リストの高さ」オプションと「複数リストの選択を許可」オプションが使用できるようになります。

   リストの高さ リストメニューに表示する行数を指定します。リストタイプを選択した場合にだけ使用できます。

   複数リストの選択を許可 ユーザーがリストから一度に複数のオプションを選択できるかどうかを指定します。リストタイプを選択した場合にだけ使用できます。

   値の編集 選択ボックスからオプションを追加、編集、削除するためのダイアログボックスを開きます。

   初期選択値 初期設定で選択するオプションを指定します。「複数リストの選択を許可」オプションを選択している場合は、複数のオプションを選択できます。

   レコードセット リストまたはメニューに入力するのに使用する ColdFusion クエリーの名前を指定します。

   列の表示 各リストエレメントの表示ラベルに使用するレコードセット列を指定します。Recordset プロパティとともに使用します。

   値列 各リストエレメントの値を指定するのに使用するレコードセット列を指定します。Recordset プロパティとともに使用します。

   Flash ラベル 選択ボックスのラベルを指定します。

   Flash の高さ コントロールの高さをピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   Flash の幅 コントロールの幅をピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

   メッセージ Required プロパティに Yes を設定している場合に、ユーザーが選択を行わずにフォームを送信したときに表示するメッセージを指定します。

   必須 フォームをサーバーに送信する前にメニュー項目を選択するかどうかを指定します。

   タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。

トップへ戻る

ColdFusion イメージフィールドの挿入

ColdFusion イメージフィールドをフォームに視覚的に挿入して、そのオプションを設定することができます。イメージフィールドは、カスタムボタンを作成する場合に使用します。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. デザインビューで、挿入ポイントをフォームのアウトライン内に置きます。
2. 挿入パネルの「CFForm」カテゴリ内で、CF イメージフィールドアイコンをクリックします。挿入するイメージを参照して選択し、「OK」をクリックします。または、「ソース」テキストボックスにイメージファイルのパスを入力します。

注意： イメージがサイトのルートフォルダー以外の場所にある場合は、ルートフォルダーにイメージをコピーする必要があります。ルートフォルダー以外の場所にあるイメージは、サイトをパブリッシュする際にアクセスできない場合があります。

3. ページ上のイメージフィールドを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。
Cfimagefield コントロールの一意の名前を指定します。

ソース 挿入イメージの URL を指定します。

代替 イメージを表示できない場合に表示するメッセージを指定します。

行揃え ピクチャの整列を指定します。

ボーダー イメージボーダーの幅を設定します。

イメージの編集 初期設定のイメージエディターでイメージを開きます。

初期設定のイメージエディターを定義するには、編集／環境設定／ファイルタイプ/エディターを選択します。初期設定のイメージエディターを定義していない場合は、「イメージの編集」ボタンを押しても何も実行されません。

バリデート イメージフィールドの検証の種類を指定します。

検査 フィールドを検証する時期を onSubmit、onBlur、または onServer の中から指定します。

ラベル ラジオボタンのラベルを指定します。

パターン 入力を検証するための JavaScript 正規表現パターンを指定します。始めと終わりのスラッシュは省略します。詳しくは、ColdFusion のマニュアルを参照してください。

高さ コントロールの高さをピクセル単位で指定します。

幅 コントロールの幅をピクセル単位で指定します。

サイズ コントロールのサイズを指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

必須 フォームをサーバーに送信する前にコントロールにデータを含めるかどうかを指定します。

タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。

トップへ戻る

ColdFusion ファイルフィールドの挿入

ColdFusion ファイルフィールドをフォームに視覚的に挿入して、そのプロパティを設定することができます。ファイルフィールドは、ユーザーがコンピューターからワードプロセッサーのドキュメントやグラフィックファイルなどのファイルを選択して、サーバーにアップロードするときに使用します。ColdFusion ファイルフィールドは、「参照」ボタンがあることを除けば、外観は他のテキストフィールドと同じです。ユーザーは、アップロードするファイルのパスを手動で入力するか、「参照」ボタンでファイルの場所を検索して選択することができます。

ファイルフィールドの場合、ブラウザーからサーバーにファイルを転送するには、POST メソッドを使用します。ファイルは、フォームの「アクション」ボックスで指定されたアドレスに送信されます。フォームでファイルフィールドを使用する前に、匿名ファイルのアップロードが許可されているかどうかをサーバーのシステム管理者に確認してください。

ファイルフィールドでは、フォームエンコードが multipart/form に設定されている必要があります。Dreamweaver では、ファイルフィールドコントロールを挿入したときに自動的に設定されます。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. デザインビューで、プロパティインスペクターを表示する CFForm を選択します。

   フォームを簡単に選択するには、フォームアウトラインの内側をクリックし、ドキュメントウィンドウの下部にあるタグセレクターの <cfform> タグをクリックします。

2. プロパティインスペクターで、フォームメソッドに POST を設定します。
3. エンコーディングタイプポップアップメニューから「multipart/form-data」を選択します。
4. ファイルフィールドを表示するフォームのアウトライン内に挿入ポイントを置きます。
5. 挿入／ColdFusion オブジェクト／CF フォーム／CF ファイルフィールドを選択します。

   ファイルフィールドがドキュメントに表示されます。

6. ページ上のファイルフィールドを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のプロパティを設定します。
Cffilefield コントロールの一意の名前を指定します。

最大長 ファイルへのパスの最大文字数を指定します。

バリデート フィールドの検証の種類を指定します。

検査 フィールドを検証する時期を onSubmit、onBlur、または onServer の中から指定します。

ラベル フィールドのラベルを指定します。

パターン 入力を検証するための JavaScript 正規表現パターンを指定します。始めと終わりのスラッシュは省略します。詳しくは、ColdFusion のマニュアルを参照してください。

高さ コントロールの高さをピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

幅 コントロールの幅をピクセル単位で指定します。実行時の ColdFusion サーバーでは、このプロパティは無視されます。

サイズ コントロールのサイズを指定します。

必須 フォームをサーバーに送信する前にファイルフィールドにデータを含めるかどうかを指定します。

タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。

トップへ戻る

ColdFusion 日付フィールドの挿入

Dreamweaver では ColdFusion 日付フィールドを視覚的に挿入できませんが、プロパティは視覚的に設定することができます。ColdFusion 日付フィールドは特殊なテキストフィールドで、ユーザーがポップアップカレンダーから日付を選択してテキストフィールドに挿入することができます。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. デザインビューで、プロパティインスペクターを表示する CFForm を選択します。

   フォームを簡単に選択するには、フォームアウトラインの内側をクリックし、ドキュメントウィンドウの下部にあるタグセレクターの <cfform> タグをクリックします。

2. プロパティインスペクターで、フォームの Format プロパティに Flash を設定します。

   日付フィールドコントロールは、Flash ベースの ColdFusion フォームだけでレンダリングできます。

3. コードビューに切り替え（表示／コード)、CFForm の開始タグと終了タグの間に以下のタグを入力します。

   ```
   <cfinput name="datefield" type="datefield">
   ```

4. デザインビューに切り替えてページ上のデータフィールドを選択し、必要に応じて、プロパティインスペクターで以下のオプションを設定します。
   Cfdatefield コントロールの一意の名前を指定します。

   値 ブラウザーで最初にページを開いたときにフィールドに表示される日付を指定します。日付は静的または動的のどちらでもかまいません。

   動的値を指定するには、「値」テキストボックスの横にある稲妻アイコンをクリックし、動的データダイアログボックスでレコードセット列を選択します。レコードセット列により、ブラウザーでフォームを表示するときに、日付フィールドに値が入力されます。

   バリデート フィールドの検証の種類を指定します。

   検査 フィールドを検証する時期を onSubmit、onBlur、または onServer の中から指定します。

   ラベル フィールドのラベルを指定します。

   パターン 入力を検証するための JavaScript 正規表現パターンを指定します。始めと終わりのスラッシュは省略します。詳しくは、ColdFusion のマニュアルを参照してください。

   高さ コントロールの高さをピクセル単位で指定します。

   幅 コントロールの幅をピクセル単位で指定します。

   サイズ コントロールのサイズを指定します。

   必須 フォームをサーバーに送信する前に日付フィールドに値を含めるかどうかを指定します。

   タグエディターを表示 プロパティインスペクターで表示されないプロパティを編集します。

トップへ戻る

ColdFusion フォームコントロールの修正

ColdFusion フォームコントロールのプロパティは、デザインビューでもコードビューでも視覚的に変更できます。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. デザインビューでは、ページのフォームコントロールを選択します。コードビューでは、コントロールのタグ内をクリックします。

   フォームコントロールのプロパティがプロパティインスペクターで表示されます。

2. プロパティインスペクターでフォームコントロールのプロパティを変更します。

   詳しくは、プロパティインスペクターのヘルプアイコンをクリックしてヘルプを参照してください。

3. 詳細なプロパティを設定するには、プロパティインスペクターの「タグエディターを表示」ボタンをクリックし、表示されるタグエディター内でプロパティを設定します。

トップへ戻る

ColdFusion フォームデータの検証

指定したフィールドのコンテンツを検証するための ColdFusion フォームを作成して、ユーザーが正しいデータタイプを入力したことを確認するこ

とができます。

注意： この拡張機能は、ColdFusion MX 7 以降を実行しているコンピューターにアクセスできる場合にのみ使用できます。

1. 入力フィールドと「送信」ボタンが含まれている ColdFusion フォームを作成します。検証する ColdFusion フィールドに、それぞれ固有の名前が割り当てられていることを確認します。
2. 検証するフォームのフィールドを選択します。
3. プロパティインスペクターで、フィールドの検証方法を指定します。

   各入力プロパティインスペクターの下部には、特定の検証ルールを定義するためのコントロールがあります。例えば、電話番号を含むテキストフィールドを指定できます。この場合には、プロパティインスペクターの値ポップアップメニューから「電話番号」を選択します。検査ポップアップメニューで検証時期を指定することもできます。

関連項目

テストサーバーの設定

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

レコードの更新ページの作成（CS6）

レコード更新ページについて
更新するレコードの検索
更新ページへのリンクの作成
更新するレコードの取得
ブロックごとの更新ページの作成
1 回の操作による更新ページの作成
フォームエレメントプロパティダイアログボックスのオプション

トップへ戻る

レコード更新ページについて

ユーザーがデータベーステーブルの既存レコードを更新できるページを、アプリケーションに含めることができます。ページは通常、検索ページ、結果ページ、および更新ページで構成されます。検索および結果ページではレコードを取得し、更新ページではレコードを修正できます。

トップへ戻る

更新するレコードの検索

ユーザーがレコードを更新する場合、まずそのレコードをデータベースで検索する必要があります。そのために、更新ページと連動する検索および結果ページが必要となります。ユーザーは、検索ページに検索基準を入力し、結果ページ上のレコードを選択します。ユーザーが結果ページ上のレコードをクリックすると、更新ページが開き、選択したレコードが HTML フォーム内に表示されます。

トップへ戻る

更新ページへのリンクの作成

検索ページと結果ページを作成した後で、更新ページを開くためのリンクを結果ページ上に作成します。その後で、ユーザーが選択したレコードの ID を渡すようにリンクを修正します。更新ページでは、この ID を使用して、要求されたレコードをデータベース内で検索し、その結果を表示します。

更新ページを開いてレコード ID を渡す手順は、詳細ページを開いてレコード ID を渡す手順と同じです。詳しくは、詳細ページへのリンクの作成を参照してください。

トップへ戻る

更新するレコードの取得

結果ページから更新対象のレコードを指定するレコード ID が更新ページに渡されると、更新ページはそのパラメーターを読み取り、データベーステーブルから指定のレコードを取得し、一時的にそのレコードをレコードセットに格納します。

1. Dreamweaver でページを作成して保存します。

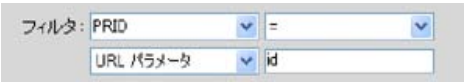
   このページが更新ページになります。

2. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で、「+」ボタンをクリックして「レコードセット」を選択します。

   詳細設定のダイアログボックスが表示された場合は、「基本設定」をクリックします。詳細設定のダイアログボックスには、SQL ステートメントを入力するためのテキスト領域があります。基本設定のダイアログボックスにはこのテキスト領域がありません。

3. レコードセットの名前を指定し、接続とテーブルポップアップメニューを使用して、更新するデータが存在する場所を指定します。
4. 「選択」オプションをクリックし、キー列（通常、そのレコードの ID 列）と、更新するデータが含まれている列を選択します。
5. キー列の値が、結果ページから渡された対応する URL パラメーターの値と同じになるように、「フィルター」領域を設定します。

   このフィルターにより、結果ページで指定したレコードだけを含むレコードセットが作成されます。例えば、キー列がレコード ID 情報を含む PRID という名前の列で、結果ページがこれに一致するレコード ID 情報を id という名前の URL パラメーターで渡す場合、「フィルター」領域は次のように表示されます。

6. 「OK」をクリックします。

   ユーザーが結果ページのレコードを選択すると、更新ページでは、選択したレコードだけが含まれるレコードセットが生成されます。

トップへ戻る

ブロックごとの更新ページの作成

更新ページには、次の 3 つの作成ブロックが含まれます。

- データベーステーブルからレコードを取得するためのフィルター済みレコードセット
- ユーザーがレコードのデータを修正するための HTML フォーム
- データベーステーブルを更新する「レコードの更新」サーバービヘイビアー

フォームツールとサーバービヘイビアーパネルを使用し、更新ページの最後の 2 つの基本作成ブロックを 1 つずつ追加することができます。

更新ページへの HTML フォームの追加

1. ファイル／新規／空白ページを選択してページを作成します。このページが更新ページになります。
2. Dreamweaver のデザインツールを使用してページをレイアウトします。
3. フォームを挿入する位置に挿入ポイントを置いて、挿入／フォーム／フォームを選択し、HTML フォームを追加します。

   ページに空白のフォームが作成されます。フォームの境界線を表示するには、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択する必要があります。フォームの境界線は細い赤線で表示されます。
4. HTML フォームの名前を指定します。ドキュメントウィンドウの下部にある <form> タグをクリックし、ウィンドウ／プロパティを選択してプロパティインスペクターを開き、「フォーム名」ボックスに名前を入力します。

   フォームの action 属性や method 属性を指定して、ビジターが「送信」ボタンをクリックしたときのレコードの送信先や送信方法を指示する必要はありません。「レコードの更新」サーバービヘイビアーが自動的にこれらの属性を設定します。
5. データベーステーブル内のレコードを更新する列ごとに、テキストフィールド（挿入／フォーム／テキストフィールド）などのフォームオブジェクトを追加します。

   フォームオブジェクトはデータエントリ用です。データエントリには一般的にテキストフィールドを使用しますが、メニュー、オプション、ラジオボタンなども使用できます。

   各フォームオブジェクトに対し、レコードセット内の列がユーザーにより事前定義されています。唯一の例外は固有のキー列で、この列には対応するフォームオブジェクトがありません。
6. 挿入／フォーム／ボタンを選択して、フォームに「送信」ボタンを追加します。

   「送信」ボタンのラベルを変更するには、ボタンを選択し、ウィンドウ／プロパティを選択してプロパティインスペクターを開き、「ラベル」ボックスに新しい値を入力します。

フォームへのレコードの表示

1. ユーザーが更新したいレコードを保持するレコードセットを定義してあるかを確認します。

   詳しくは、更新するレコードの取得を参照してください。
2. 次の項で説明しているように、各フォームオブジェクトをレコードセット内のデータにバインドします。
   -
   -
   -
   -
   -

データベーステーブルを更新するサーバービヘイビアーの追加

1. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「レコードの更新」を選択します。

   レコードの更新ダイアログボックスが表示されます。
2. 値送信元ポップアップメニューからフォームを選択します。
3. データソースまたは接続ポップアップメニューからデータベースへの接続を選択します。
4. 該当する場合はユーザー名とパスワードを入力します。
5. 更新するテーブルポップアップメニューから、更新するレコードを含むデータベーステーブルを選択します。
6. （ColdFusion、PHP）更新するデータベース列を指定し、値ポップアップメニューから列の更新元のフォームオブジェクトを選択し、このフォームオブジェクトのデータタイプを送信形式ポップアップメニューから選択します。この列をプライマリキーとして指定する場合は「プライマリキー」を選択します。

   データタイプとは、データベーステーブルの列に入力できるデータの種類です。データタイプには、テキスト、数値、ブールオプション値があります。

   フォーム内の各フォームオブジェクトについて、この操作を繰り返します。
7. （ASP）レコード選択元ポップアップメニューから、HTML フォームに表示するレコードが含まれているレコードセットを指定します。ユ

ニークキー列ポップアップメニューから、データベーステーブルのレコードを特定するキー列（通常は、レコード ID 列）を選択します。値が数値の場合は、「数値」オプションを選択します。通常、キー列に入力できるのは数値だけですが、テキスト値を使用できる場合もあります。

8. テーブルのレコードを更新した後に開くページを、「更新後の移動先」または「成功時の移動先」ボックスに入力するか、または「参照」ボタンをクリックしてファイルを参照します。
9. （ASP）更新するデータベース列を指定し、値ポップアップメニューから列の更新元のフォームオブジェクトを選択してから、このフォームオブジェクトのデータタイプを送信形式ポップアップメニューから選択します。データタイプとは、データベーステーブルの列に入力できるデータの種類です。データタイプには、テキスト、数値、ブールオプション値があります。フォーム内の各フォームオブジェクトについて、この操作を繰り返します。
10. 「OK」をクリックします。

    Dreamweaver によってサーバービヘイビアーがページに追加されます。HTML フォームに表示されている情報を修正して「送信」ボタンをクリックすることで、ユーザーがデータベーステーブル内のレコードを更新できるようになります。

    サーバービヘイビアーを編集するには、ウィンドウ／サーバービヘイビアーのコマンドメニューを選択してサーバービヘイビアーパネルを開き、「レコードの更新」ビヘイビアーをダブルクリックします。

トップへ戻る

1 回の操作による更新ページの作成

更新ページには、次の 3 つの作成ブロックが含まれます。

- データベーステーブルからレコードを取得するためのフィルター済みレコードセット
- ユーザーがレコードのデータを修正するための HTML フォーム
- データベーステーブルを更新する「レコードの更新」サーバービヘイビアー

「レコード更新フォーム」データオブジェクトを使用すると、更新ページの最後の 2 つの作成ブロックを 1 回の操作で追加できます。このデータオブジェクトにより、HTML フォームと「レコードの更新」サーバービヘイビアーの両方が更新ページに追加されます。

まず Web アプリケーションが、更新するレコードを特定できるように設定し、さらに、更新ページでそのレコードを取得できるようにしてから、データオブジェクトを使用します。

データオブジェクトで作成ブロックをページに配置した後は、Dreamweaver のデザインツールを使用して、そのフォームを自由にカスタマイズすることも、サーバービヘイビアーパネルを使用して「レコードの更新」サーバービヘイビアーを編集することもできます。

注意： 更新ページが同時に保有できるレコード編集用のサーバービヘイビアーは、常に 1 つだけです。例えば、更新ページには「レコードの挿入」や「レコードの削除」などのサーバービヘイビアーを追加できません。

1. デザインビューでページを開き、挿入／データオブジェクト／レコードの更新／レコード更新フォームウィザードを選択します。

   レコード更新フォーム ダイアログボックスが表示されます。

2. 接続ポップアップメニューからデータベースへの接続を選択します。

   接続を定義する必要がある場合は、「定義」ボタンをクリックします。

3. 更新対象テーブルポップアップメニューから、更新するレコードを含むデータベーステーブルを選択します。
4. レコード選択元ポップアップメニューから、HTML フォームに表示するレコードが含まれているレコードセットを指定します。
5. ユニークキー列ポップアップメニューから、データベーステーブルのレコードを特定するキー列（通常は、レコード ID 列）を選択します。

   値が数値の場合は、「数値」オプションを選択します。通常、キー列に入力できるのは数値だけですが、テキスト値を使用できる場合もあります。

6. テーブルのレコードの更新後に開くページを、「更新後の移動先」テキストボックスに入力します。
7. 「フォームフィールド」領域で、各フォームオブジェクトが更新するデータベーステーブル内の列を指定します。

   初期設定では、Dreamweaver は、データベーステーブルの各列に対してフォームオブジェクトを 1 つずつ作成します。使用しているデータベースで、新規作成されたレコードに対して自動的に固有のキー ID が生成される場合は、そのキー列に対応するフォームオブジェクトをリストから選択し、「-」ボタンをクリックして削除してください。削除しておけば、フォームを使用するユーザーが既に存在している ID の値を入力してしまうことはありません。

   リストからフォームオブジェクトを選択し、ダイアログボックスの右側にある上向きまたは下向きの矢印をクリックすると、HTML フォームのフォームオブジェクトの並び順を変更することができます。

8. 「フォームフィールド」テーブルの行をクリックし、このテーブルの下のボックスに次の情報を入力して、HTML フォームでの各データエントリフィールドの表示方法を指定します。
   - 「ラベル」ボックスに、データエントリフィールドの横に表示する説明ラベルを入力します。Dreamweaver では、初期設定のラベルとしてテーブル列の名前が表示されます。
   - 表示形式ポップアップメニューから、データエントリフィールドとして使用するフォームオブジェクトを選択します。「テキストフィールド」、「テキストエリア」、「メニュー」、「チェックボックス」、「ラジオボタングループ」、「テキスト」から選択できます。読み取り専用エントリの場合は、「テキスト」を選択してください。また「パスワードフィールド」、「ファイルフィールド」、および「非表示フィールド」を選択することもできます。

注意： 非表示フィールドは、フォームの末尾に挿入されます。

- 送信形式ポップアップメニューから、データベーステーブルで受信する際のデータ形式を選択します。例えば、数値データのみを表示するテーブル列の場合は、「数値」を選択します。
- フォームオブジェクトのプロパティを設定します。オプションは、データエントリフィールドとして選択したフォームオブジェクトによって異なります。テキストフィールド、テキスト領域、およびテキストの場合は、初期値を入力できます。メニューグループとラジオボタングループの場合は、別のダイアログボックスが開き、そこでプロパティを設定します。オプションの場合は「チェック済み」または「未チェック」を選択します。

9. 他の「フォームフィールド」行を選択し、ラベル、表示形式の値、送信形式の値を入力して、他のフォームオブジェクトのプロパティを設定します。

   メニューグループとラジオボタングループの場合は、別のダイアログボックスが開き、そこでプロパティを設定します。オプションの場合は、レコードの表示時にオプションをオンにするかどうかを決定できるように、オプションの現在のレコード値と指定値との比較を定義します。

10. 「OK」をクリックします。

    Dreamweaver によって、HTML フォームと「レコードの更新」サーバービヘイビアーの両方がページに自動的に追加されます。

    このデータオブジェクトにより、HTML フォームと「レコードの更新」サーバービヘイビアーの両方がページに追加されます。フォームオブジェクトが基本テーブルに配置され、Dreamweaver のページデザインツールでカスタマイズできるようになります。フォームオブジェクト全体がフォームの境界内に収まるようにしてください。

    サーバービヘイビアーを編集するには、ウィンドウ／サーバービヘイビアーのコマンドメニューを選択してサーバービヘイビアーパネルを開き、「レコードの更新」ビヘイビアーをダブルクリックします。

トップへ戻る

フォームエレメントプロパティダイアログボックスのオプション

フォームエレメントプロパティダイアログボックスでは、ユーザーがデータベース内のレコードを更新するための、ページ上のフォームエレメントのオプションを設定することができます。

1. フォームエレメントをどのように作成するかに応じて、「手動」または「データベースから」のいずれかを選択します。
2. 「+」ボタンをクリックし、エレメントを追加します。
3. エレメントのラベルおよび値を入力します。
4. ページをブラウザーで開くとき、またはフォームにレコードを表示するときに、特定のエレメントが選択された状態で表示されるようにするには、そのエレメントの値と同じ値を「同等値の選択」ボックスに入力します。

   固定値を入力できる他、稲妻アイコンをクリックしてデータソースのリストから動的な値を選択して動的な値を指定することもできます。いずれの場合も、指定する値はエレメントの値のいずれかと一致している必要があります。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ログインページの作成

ログインページについて
登録ユーザーのデータベーステーブルの作成
ログイン用 HTML フォームの追加
ユーザー名とパスワードの検証

ログインページについて

トップへ戻る

Web アプリケーションの一部として、登録ユーザーがサイトにログインするためのページを作成することができます。

ログインページは、次の作成ブロックで構成されます。

- 登録ユーザーのデータベーステーブル
- ビジターがユーザー名とパスワードを入力するための HTML フォーム
- 入力されたユーザー名とパスワードが有効であることを確認する「ログイン」サーバービヘイビアー

  ビジターが正常にログインすると、そのビジターに対して、ユーザー名で構成されるセッション変数が作成されます。

登録ユーザーのデータベーステーブルの作成

トップへ戻る

ログインページに入力されたユーザー名とパスワードが有効であるかどうかを検証するには、登録ユーザーのデータベーステーブルが必要です。

❖ このテーブルは、データベースアプリケーションと登録ページを使用して作成します。手順については、以下の関連トピックのリンクを参照してください。
ログインページを作成する次の手順では、HTML フォームをページに追加して、ビジターがログインできるようにします。手順については、次のトピックを参照してください。

ログイン用 HTML フォームの追加

トップへ戻る

ビジターがユーザー名とパスワードを入力してログインするための HTML フォームを、ページに追加します。

1. ファイル／新規／空白ページを選択して新規ページを作成し、Dreamweaver のデザインツールを使用してログインページをレイアウトします。
2. フォームを挿入する位置に挿入ポイントを置いて、挿入／フォームを選択し、HTML フォームを追加します。

   ページに空白のフォームが作成されます。フォームの境界線を表示するには、表示／ビジュアルエイド／不可視エレメントを選択する必要があります。フォームの境界線は細い赤線で表示されます。
3. HTML フォームの名前を指定します。ドキュメントウィンドウの下部にある <form> タグをクリックし、ウィンドウ／プロパティを選択してプロパティインスペクターを開き、「フォーム名」ボックスに名前を入力します。

   フォームの action 属性や method 属性を指定して、ビジターが「送信」ボタンをクリックしたときのレコードの送信先や送信方法を指示する必要はありません。「ログイン」サーバービヘイビアーが自動的にこれらの属性を設定します。
4. 挿入／フォーム／テキストフィールドを選択し、ユーザー名とパスワードのテキストフィールドをフォームに追加します。

   各テキストフィールドの横にラベルを追加します。ラベルはテキストでもイメージでもかまいません。次に、テキストフィールドを HTML テーブル内に配置し、テーブルの border 属性を 0 に設定して、テキストフィールドの位置を揃えます。
5. 挿入／フォーム／ボタンを選択して、フォームに「送信」ボタンを追加します。

   「送信」ボタンのラベルを変更するには、ボタンを選択し、ウィンドウ／プロパティを選択してプロパティインスペクターを開き、「ラベル」ボックスに新しい値を入力します。

   次の手順では、入力されたユーザー名とパスワードが有効であるかどうかを確認する「ログイン」サーバービヘイビアーを追加します。

ユーザー名とパスワードの検証

トップへ戻る

ビジターが入力したユーザー名とパスワードが有効であることを確認するために、「ログイン」サーバービヘイビアーをログインページに追加する必要があります。

ビジターがログインページの「送信」ボタンをクリックすると、「ログイン」サーバービヘイビアーは、ビジターが入力した値と登録ユーザーの

値を比較します。値が一致した場合、サーバービヘイビアーは所定のページ（通常は、サイトの「ようこそ」画面）を開きます。値が一致しない場合、サーバービヘイビアーは別のページを開きます。通常は、ログイン試行が失敗したことをビジターに通知するページです。

1. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューからユーザー認証／ログインを選択します。
2. ビジターがユーザー名とパスワードの入力に使用するフォームとフォームオブジェクトを指定します。
3. （ColdFusion）該当する場合はユーザー名とパスワードを入力します。
4. 登録ユーザー全員のユーザー名とパスワードが保存されているデータベーステーブルと列を指定します。

   サーバービヘイビアーは、ログインページでビジターが入力したユーザー名とパスワードを、これらの列の値と比較します。
5. 正常にログインできたときに開くページを指定します。

   通常、サイトの「ようこそ」画面を指定します。
6. ログインに失敗したときに開くページを指定します。

   通常、ログインに失敗したことをビジターに通知し、ビジターが再入力できるページを指定します。
7. アクセスが制限されているページにビジターがアクセスしようとした場合に、ログインページにリダイレクトし、ログイン後に再び元のページに戻れるようにするには、「前の URL へ移動」オプションを選択します。

   ビジターがログインせずに制限されているページを開いてサイトにアクセスしようとした場合は、制限されているページからログインページにリダイレクトします。ビジターが正常にログインした後は、ログインページから、最初にビジターをログインページにリダイレクトした制限されているページに戻ります。

   > これらのページの「ページへのアクセス制限」サーバービヘイビアーのダイアログボックスに入力するときに、「アクセス拒否後の表示ページ」ボックスにログインページを指定していることを確認してください。
8. ユーザー名およびパスワードのみでページへのアクセスを許可するか、認証レベルも使用して許可するかを指定して、「OK」をクリックします。

   ビジターが入力したユーザー名とパスワードが有効であるかどうかを確認するサーバービヘイビアーが、ログインページに追加されます。

関連項目

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

レコードの削除ページの作成

レコード削除ページについて
削除するレコードの検索
削除ページへのリンクの作成
削除ページの作成
レコードを削除するロジックの追加

トップへ戻る

レコード削除ページについて

ユーザーがデータベースのレコードを削除できるページセットを、アプリケーションに含めることができます。ページは通常、検索ページ、結果ページ、および削除ページで構成されます。通常、削除ページは、結果ページと連動している詳細ページです。検索ページと結果ページではレコードを取得し、削除ページではレコードを確認のうえ削除できます。

検索ページと結果ページを作成した後で、削除ページを開くためのリンクを結果ページに追加し、該当レコードと「送信」ボタンを表示する削除ページを作成します。

トップへ戻る

削除するレコードの検索

ユーザーがレコードを削除する場合、まずそのレコードをデータベースで検索する必要があります。そのために、削除ページと連動する検索および結果ページが必要となります。ユーザーは、検索ページに検索基準を入力し、結果ページ上のレコードを選択します。ユーザーがレコードをクリックすると、削除ページが開き、レコードが HTML フォーム内に表示されます。

トップへ戻る

削除ページへのリンクの作成

検索ページと結果ページを作成した後で、削除ページを開くためのリンクを結果ページ上に作成する必要があります。その後で、ユーザーが削除対象として指定したレコードの ID を渡すようにリンクを修正します。削除ページでは、この ID を使用してレコードが検索、表示されます。

手動でリンクを作成するには

1. 結果ページで、最後のテーブル列をクリックし、修正／テーブル／行または列の挿入を選択して、レコードの表示に使用する新しい列をテーブル内に作成します。
2. 「列」オプションを選択し、「後の列」オプションを選択して、「OK」をクリックします。

   列がテーブルに追加されます。
3. 新規作成のテーブル列で、動的コンテンツプレースホルダーが含まれる行に「削除」というストリングを入力します。タブ付きのリピート領域内に、このストリングを必ず入力します。

   さらに、削除を表す単語または記号と共にイメージを挿入することもできます。
4. 「削除」というストリングを選択し、リンクを適用します。
5. プロパティインスペクターの、「リンク」ボックスに削除ページを入力します。任意のファイル名を入力できます。

   「リンク」ボックスの外側でクリックすると、「削除」ストリングがテーブル内に、リンクされた状態で表示されます。ライブビューを有効にすると、リンクが各テーブル行内の同じテキストに適用されていることを確認できます。
6. 結果ページ上の削除リンクを選択します。
7. （ColdFusion）プロパティインスペクターの「リンク」ボックスで、URL の末尾に次のストリングを追加します。

```
?recordID=#recordsetName.fieldName#
```

   疑問符は、後に URL パラメーターが続いていることをサーバーに示します。recordID という単語は、URL パラメーターの名前です（好きな名前を指定できます）。この URL パラメーターの名前は後で削除ページで使用するため、覚えておく必要があります。

   等号の後の式は、パラメーターの値です。この例では、レコードセットからのレコード ID を返す ColdFusion の式で生成された値です。動的テーブル内の行ごとに異なる ID が生成されます。ColdFusion の式の中の recordsetName を、使用するレコードセットの名前で置き換え、fieldName を、各レコードを一意に識別するレコードセット内のフィールドの名前で置き換えます。ほとんどの場合、フィールドはレコード ID 番号で構成されます。次の例では、フィールドは一意の場所コードで構成されています。

```
confirmDelete.cfm?recordID=#rsLocations.CODE#
```

ページを実行すると、コードセットの CODE フィールドの値が、動的テーブル内の対応する行に挿入されます。例えば、オーストラリア、キャンベラのレンタル営業所の場所コードが CBR の場合、動的テーブル内のキャンベラ営業所の行では次の URL が使用されます。

```
confirmDelete.cfm?recordID=CBR
```

8. （PHP）プロパティインスペクターの「リンク」フィールドで、URL の末尾に次のストリングを追加します。

```
?recordID=<?php echo $row_recordsetName['fieldName']; ?>
```

疑問符は、後に URL パラメーターが続いていることをサーバーに示します。recordID という単語は、URL パラメーターの名前です（好きな名前を指定できます）。この URL パラメーターの名前は後で削除ページで使用するため、覚えておく必要があります。

等号の後の式は、パラメーターの値です。この例では、レコードセットからのレコード ID を返す PHP の式で生成された値です。動的テーブル内の行ごとに異なる ID が生成されます。PHP の式の中の recordsetName を、使用するレコードセットの名前で置き換え、fieldName を、各レコードを一意に識別するレコードセット内のフィールドの名前で置き換えます。ほとんどの場合、フィールドはレコード ID 番号で構成されます。次の例では、フィールドは一意の場所コードで構成されています。

```
confirmDelete.php?recordID=<?php echo $row_rsLocations['CODE']; ?>
```

ページを実行すると、コードセットの CODE フィールドの値が、動的テーブル内の対応する行に挿入されます。例えば、オーストラリア、キャンベラのレンタル営業所の場所コードが CBR の場合、動的テーブル内のキャンベラ営業所の行では次の URL が使用されます。

```
confirmDelete.php?recordID=CBR
```

9. （ASP）プロパティインスペクターの「リンク」フィールドで、URL の末尾に次のストリングを追加します。

```
?recordID=<%=(recordsetName.Fields.Item("fieldName").Value)%>
```

疑問符は、後に URL パラメーターが続いていることをサーバーに示します。recordID という単語は、URL パラメーターの名前です（好きな名前を指定できます）。この URL パラメーターの名前は後で削除ページで使用するため、覚えておく必要があります。

等号の後の式は、パラメーターの値です。この例では、レコードセットからのレコード ID を返す ASP の式で生成された値です。動的テーブル内の行ごとに異なる ID が生成されます。ASP の式の中の recordsetName を、使用するレコードセットの名前で置き換え、fieldName を、各レコードを一意に識別するレコードセット内のフィールドの名前で置き換えます。ほとんどの場合、フィールドはレコード ID 番号で構成されます。次の例では、フィールドは一意の場所コードで構成されています。

```
confirmDelete.asp?recordID=<%=(rsLocations.Fields.Item("CODE").Value)%>
```

ページを実行すると、コードセットの CODE フィールドの値が、動的テーブル内の対応する行に挿入されます。例えば、オーストラリア、キャンベラのレンタル営業所の場所コードが CBR の場合、動的テーブル内のキャンベラ営業所の行では次の URL が使用されます。

```
confirmDelete.asp?recordID=CBR
```

10. ページを保存します。

視覚的にリンクを作成するには（**ASP** のみ)

1. 結果ページで、最後のテーブル列をクリックし、修正／テーブル／行または列の挿入を選択して、レコードの表示に使用する新しい列をテーブル内に作成します。
2. 「列」オプションを選択し、「後の列」オプションを選択して、「OK」をクリックします。

   列がテーブルに追加されます。
3. 新規作成のテーブル列で、動的コンテンツプレースホルダーが含まれる行に「削除」というストリングを入力します。タブ付きのリピート領域内に、このストリングを必ず入力します。

   さらに、削除を表す単語または記号と共にイメージを挿入することもできます。
4. 「削除」というストリングを選択し、リンクを適用します。
5. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「詳細ページへ移動」を選択します。
6. 「詳細ページ」ボックスで「参照」をクリックし、削除ページを指定します。
7. 「URL パラメーターの引き渡し」ボックスで、recordID などのパラメーターの名前を指定します。

   自由に名前を付けることができますが、付けた名前はメモをとっておいてください。後で削除ページで使用します。
8. レコードセットポップアップメニューおよび列ポップアップメニューでレコードセットと列を選択し、削除ページに渡す値を指定します。通常、レコードのユニークキー ID など、レコードに固有の値を指定します。
9. 「URL パラメーター」オプションを選択します。

10. 「OK」をクリックします。

    選択したテキストの周りに特別なリンクが設定されます。ビジターがリンクをクリックすると、「詳細ページへ移動」サーバービヘイビアーによって、レコード ID を含む URL パラメーターが指定した削除ページに渡されます。例えば、URL パラメーターが recordID で削除ページが called confirmdelete.asp の場合、ビジターがリンクをクリックしたときの URL は以下のようになります。

    http://www.mysite.com/confirmdelete.asp?recordID=43

    URL の最初の部分 http://www.mysite.com/confirmdelete.asp は削除ページを開きます。次の部分 ?recordID=43 は URL パラメーターです。これは、削除ページにどのレコードを検索して表示するかを示しています。recordID は URL パラメーターの名前であり、43 はその値です。この例では、URL パラメーターにはレコードの ID 番号 43 が含まれています。

トップへ戻る

削除ページの作成

レコードの一覧を表示するページを作成したら、削除ページに切り換えてください。削除ページには、レコードが表示され、そのレコードを削除するかどうかの確認を求めるメッセージが表示されます。ユーザーがフォームボタンをクリックして削除の確認を行うと、Web アプリケーションによりデータベースからレコードが削除されます。

このページを作成するには、HTML フォームを作成し、そのフォームに表示するレコードを取得します。次に、そのレコードをフォームに表示し、データベースからそのレコードを削除するロジックを追加します。レコードを取得して表示するには、単一のレコード（ユーザーが削除しようとしているレコード）を保持するレコードセットを定義し、レコードセットの列とフォームのバインドを行います。

注意： 削除ページが同時に保有できるレコード編集用のサーバービヘイビアーは、常に 1 つだけです。例えば、削除ページには「レコードの挿入」や「レコードの更新」などのサーバービヘイビアーを追加できません。

レコードを表示する HTML フォームの作成

1. 新規ページを作成し、前の項で指定した削除ページとして保存します。

   前の項で削除リンクを作成したときに、削除ページを指定しています。最初にファイルを保存するときはこの名前を使用します（例えば、deleteConfirm.cfm）。

2. ページに HTML フォームを挿入します（挿入／フォーム／フォーム）。
3. 非表示フォームフィールドをフォームに追加します。

   非表示フォームフィールドは、URL パラメーターによって渡されたレコード ID を格納する場合に必要です。非表示フィールドを追加するには、挿入ポイントをフォーム内に配置し、挿入／フォーム／非表示フィールドを選択します。

4. ボタンをフォームに追加します。

   このボタンをクリックすると、確認が行われ、表示されているレコードが削除されます。ボタンを追加するには、挿入ポイントをフォーム内に配置し、挿入／フォーム／ボタンを選択します。

5. 必要に応じてページのデザインを改良し、それを保存します。

ユーザーが削除するレコードの取得

1. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）で「+」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「レコードセット（クエリー）」を選択します。

   基本設定のレコードセットダイアログボックスまたはデータセットダイアログボックスが表示されます。詳細設定のレコードセットダイアログボックスが表示された場合は、「基本設定」をクリックします。

2. レコードセットの名前を指定し、データソースと、ユーザーが削除できるレコードが含まれるデータベーステーブルを選択します。
3. 「列」領域で、ページに表示するテーブル列（レコードフィールド）を選択します。

   レコードの特定のフィールドだけを表示するには、「選択」をクリックし、Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながらリスト内の目的のフィールドをクリックします。

   表示しない場合であっても、レコード ID フィールドを含めるようにします。

4. 結果ページから渡される URL パラメーターで指定されたレコードを取得して表示するために、「フィルター」領域に以下のように入力します。
   - 「フィルター」領域の最初のポップアップメニューで、削除リンクが配置されているページから渡される URL パラメーターの値と一致する値を含むレコードセット内の列を選択します。例えば、URL パラメーターにレコード ID 番号が含まれている場合は、レコード ID 番号が格納されている列を選択します。前の項で説明した例では、CODE という名前のレコードセット列に、削除リンクが配置されているページによって渡された URL パラメーターの値と一致する値が含まれます。
   - 最初のメニューの横にあるポップアップメニューで、等号記号を選択します（選択されていない場合）。
   - 3 番目のポップアップメニューから「URL パラメーター」を選択します。削除リンクが配置されているページでは、URL パラメーターを使用して、情報を削除ページに渡します。
   - 4 番目のボックスに、削除リンクが配置されているページから渡される URL パラメーターの名前を入力します。

5. 「OK」をクリックします。

   レコードセットがバインディングパネルに表示されます。

ユーザーが削除するレコードの表示

1. バインディングパネルでレコードセット列（レコードフィールド）を選択し、削除ページにドラッグします。

   フォームの境界線内にこの読み取り専用の動的コンテンツを挿入します。動的コンテンツをページに挿入する方法については、テキストを動的にするを参照してください。

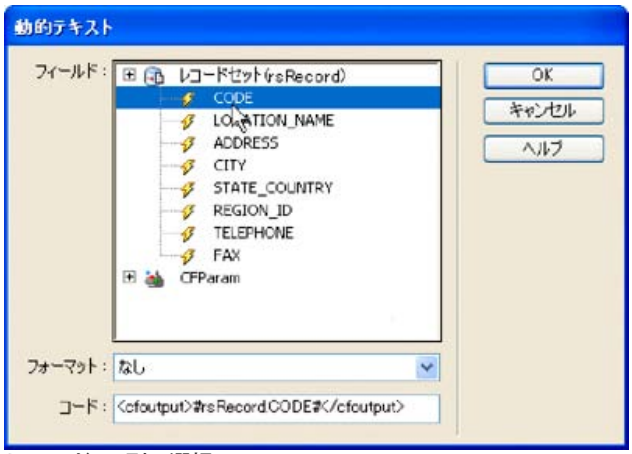
   次に、レコード ID 列を非表示フォームフィールドにバインドする必要があります。

2. 「不可視エレメント」が有効になっていることを確認し（表示／ビジュアルエイド／不可視エレメント）、非表示フォームフィールドを表す黄色のシールドアイコンをクリックします。

   非表示フォームフィールドが選択されます。

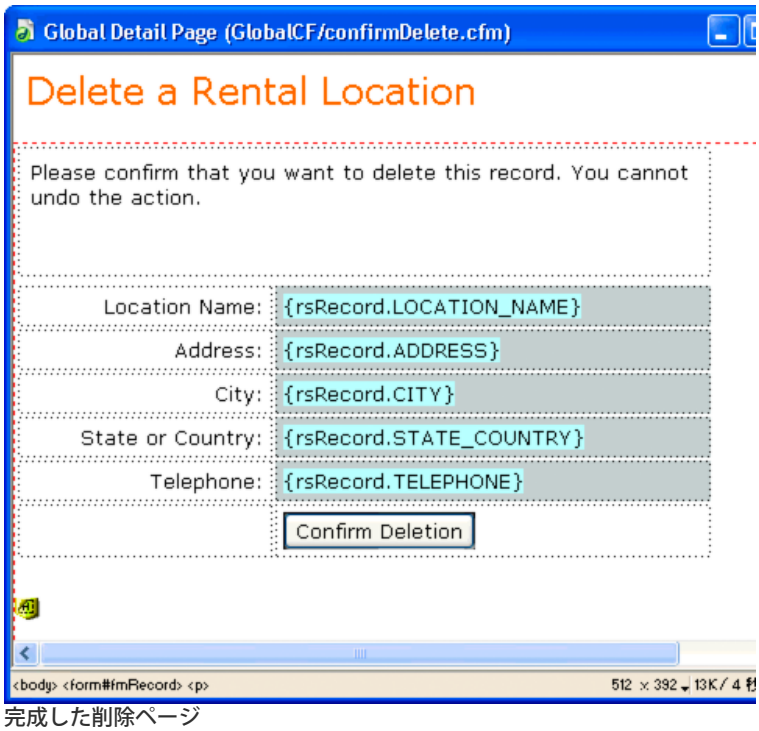
3. プロパティインスペクターの「値」ボックスの横にある稲妻アイコンをクリックします。
4. 動的データダイアログボックスで、レコードセット内のレコード ID 列を選択します。

   次の例で、レコード ID 列 CODE には一意の保存コードが含まれています。



   レコード ID 列の選択

5. 「OK」をクリックしてページを保存します。



完成した削除ページ

トップへ戻る

レコードを削除するロジックの追加

選択されたレコードを削除ページに表示したら、ユーザーが削除の確認ボタンをクリックしたときにデータベースからそのレコードを削除するロジックをページに追加する必要があります。このロジックは、「レコードの削除」サーバービヘイビアーを使用して素早く簡単に追加できます。

レコードを削除するサーバービヘイビアーを追加するには（ColdFusion、PHP)

1. ColdFusion または PHP の削除ページが Dreamweaver で開いていることを確認します。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、「レコードの削除」を選択します。
3. 「最初に変数が定義されているかどうかをチェック」ボックスで、「プライマリキー値」が選択されていることを確認します。

   後からこのダイアログボックスで、プライマリキー値を指定します。
4. 影響を受けるデータベースにサーバービヘイビアーが接続できるように、接続またはデータソース（ColdFusion）ポップアップメニューからそのデータベースへの接続を選択します。
5. テーブルポップアップメニューから、削除するレコードを含むデータベーステーブルを選択します。
6. プライマリキー列ポップアップメニューから、レコード ID を含むテーブル列を選択します。

   「レコードの削除」サーバービヘイビアーによって、一致するレコード ID がこの列で検索されます。この列には、ページ上の非表示フォームフィールドにバインドしたレコードセットの列と同じレコード ID データが含まれている必要があります。

   レコード ID が数値の場合は、「数値」オプションを選択します。
7. （PHP）プライマリキー値ポップアップメニューから、削除するレコードを識別するレコード ID が格納されている、ページ上の変数を選択します。

   変数は、非表示フォームフィールドによって作成されます。この変数は、非表示フィールドの name 属性と同じ名前を持ち、フォームの method 属性に応じてフォームまたは URL パラメーターのいずれかになります。
8. 「削除後の移動先」または「成功時の移動先」ボックスで、レコードがデータベーステーブルから削除された後に開くページを指定します。

   ユーザーに対する短い成功メッセージが格納されているページ、または残りのレコードの一覧のページを指定して、レコードが削除されたことをユーザーが確認できるようにします。

9. 「OK」をクリックして作業を保存します。

レコードを削除するサーバービヘイビアーを追加するには（ASP)

1. Dreamweaver で ASP 削除ページが開いていることを確認します。
2. サーバービヘイビアーパネル（ウィンドウ／サーバービヘイビアー）で「+」ボタンをクリックし、「レコードの削除」を選択します。
3. 影響を受けるデータベースにサーバービヘイビアーが接続できるように、接続ポップアップメニューからそのデータベースへの接続を選択します。

   接続を定義する必要がある場合は、「定義」ボタンをクリックします。
4. テーブルから削除ポップアップメニューから、削除するレコードを含むデータベーステーブルを選択します。
5. レコード選択元ポップアップメニューから、削除するレコードが含まれているレコードセットを指定します。
6. ユニークキー列ポップアップメニューから、データベーステーブルのレコードを特定するキー列（通常は、レコード ID 列）を選択します。

   値が数値の場合は、「数値」オプションを選択します。通常、キー列に入力できるのは数値だけですが、テキスト値を使用できる場合もあります。
7. 送信により削除ポップアップメニューから、サーバーに削除コマンドを送信する「送信」ボタンのある HTML フォームを指定します。
8. 「削除後の移動先」テキストボックスで、レコードがデータベーステーブルから削除された後に開くページを指定します。

   ユーザーに対する短い成功メッセージが格納されているページ、または残りのレコードの一覧のページを指定して、レコードが削除されたことをユーザーが確認できるようにします。
9. 「OK」をクリックして作業を保存します。

削除ページのテスト

1. Web サーバーに検索ページ、結果ページ、削除ページをアップロードしてブラウザーを開き、不要なテストレコードを検索して削除します。

   結果ページ上の削除リンクをクリックすると、削除ページが表示されます。
2. 「確認」ボタンをクリックして、データベースからレコードを削除します。
3. レコードをもう一度検索して、レコードが削除されたことを確認します。削除したレコードは結果ページに表示されません。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ページへの動的コンテンツの追加

動的コンテンツの追加について
動的テキストについて
テキストを動的にする
イメージを動的にする
HTML 属性を動的にする
ActiveX、Flash、およびその他のオブジェクトのパラメーターを動的にする

動的コンテンツの追加について

トップへ戻る

動的コンテンツのソースを定義すると、そのソースを使用してページに動的コンテンツを追加できます。コンテンツソースの内容として可能なものには、レコードセットの列、HTML フォームを使用して送信された値、サーバーオブジェクトに含まれている値、およびその他のデータがあります。

Dreamweaver では、Web ページやその HTML ソースコードのほとんどすべての場所に動的コンテンツを配置できます。動的コンテンツを挿入ポイントに配置したり、テキストストリングを置き換えたりできる他、HTML 属性として挿入することもできます。例えば、動的コンテンツを使用して、イメージの src 属性やフォームフィールドの value 属性を定義することができます。

バインディングパネルでコンテンツのソースを選択して、ページに動的コンテンツを追加できます。Dreamweaver によってページのコードにサーバーサイドスクリプトが挿入されます。これは、ブラウザーからこのページが要求されたときに、コンテンツソースからページの HTML コードにデータを転送することをサーバーに指示するものです。

あるページエレメントを動的にする（ダイナミック化する）には、通常、複数の方法があります。例えば、イメージを動的にする場合は、バインディングパネル、プロパティインスペクター、または挿入メニューの「イメージ」コマンドを使用することができます。

初期設定では、HTML ページには一度に 1 レコードだけを表示できます。レコードセットの他のレコードを表示するには、一度に 1 つずつレコード間を移動するリンクを追加します。または、リピート領域を作成して、複数のレコードを同じページに表示します。

動的テキストについて

トップへ戻る

動的テキストには、既存のテキストまたは挿入ポイントに設定されているテキストフォーマットがすべて適用されます。例えば、選択したテキストに CSS（Cascading Style Sheet）スタイルが設定されている場合は、そのテキストを置き換える動的コンテンツにもそのスタイルが適用されます。動的コンテンツのテキストフォーマットは、Dreamweaver のテキストフォーマットツールを使用して追加または変更できます。

動的テキストには、データフォーマットを適用することもできます。例えば、データに日付が含まれている場合、米国のビジターには 04/17/00、カナダのビジターには 17/04/00 など、特定の日付フォーマットを指定することができます。

テキストを動的にする

トップへ戻る

既存のテキストを動的テキストで置き換えることも、動的テキストをページ上の特定の挿入ポイントに挿入することもできます。

動的テキストの追加

1. デザインビューで、ページ上のテキストを選択するか、動的テキストを追加する場所をクリックします。
2. バインディングパネル（ウィンドウ／バインディング）のリストからコンテンツソースを選択します。レコードセットを選択する場合は、レコードセット内の希望の列を指定します。

   コンテンツソースとして使用するのは、その内容がプレーンテキスト（ASCII テキスト）のものです。プレーンテキストには HTML も含まれます。リストにコンテンツソースがまったく表示されない場合や、表示されたコンテンツソースの中に要求を満たすものがない場合は、「+」ボタンをクリックして新しいコンテンツソースを定義します。
3. （オプション）テキストのデータフォーマットを選択します。
4. 「挿入」をクリックするか、コンテンツソースをページにドラッグします。

   動的コンテンツプレースホルダーが表示されます。ページ上のテキストが選択されている場合は、選択範囲がプレースホルダーで置換されます。レコードセットコンテンツを表すプレースホルダーのシンタックスは {RecordsetName.ColumnName} です。ここで、Recordset はレコードセットの名前、ColumnName はレコードセットから選択した列の名前です。

   動的テキストのプレースホルダーの長さによっては、ドキュメントウィンドウでのページのレイアウトが変形することがあります。この問題を解決するには、次のトピックで説明されているように、空の波カッコをプレースホルダーとして使用します。

動的テキストのプレースホルダーの表示

1. 編集／環境設定／不可視エレメント（Windows）または Dreamweaver／環境設定／不可視エレメント（Mac OS）を選択します。
2. 動的テキストの表示方法ポップアップメニューで { } を選択して、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

イメージを動的にする

ページ上のイメージを動的にすることができます。例えば、チャリティオークションで販売する商品を表示するページをデザインするとします。1 ページに 1 つの商品の説明と写真を掲載します。ページの基本的なレイアウトは全商品に共通ですが、写真と説明は商品によって異なります。

1. デザインビュー（表示／デザイン）でページを開き、イメージを表示する場所に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／イメージを選択します。

   イメージソースの選択ダイアログボックスが表示されます。
3. 「データソース」オプション（Windows）または「データソース」ボタン（Mac OS）をクリックします。

   コンテンツソースのリストが表示されます。
4. リストからコンテンツソースを選択し、「OK」をクリックします。

   コンテンツソースは、イメージファイルへのパスを含むレコードセットであることが必要です。サイトのファイル構造によって、パスは絶対パス、ドキュメント相対パス、ルート相対パスのいずれかになります。

   注意： 現在、Dreamweaver はデータベース内に格納されているバイナリイメージをサポートしていません。

   リストにレコードセットがまったく表示されない場合や、表示された中に必要なレコードセットがない場合は、新しいレコードセットを定義します。

トップへ戻る

HTML 属性を動的にする

HTML 属性をデータにバインドすることにより、ページの外観を動的に変更できます。例えば、テーブルの background 属性をレコードセットのフィールドにバインドすると、テーブルの背景イメージを変えることができます。

HTML 属性をバインドするには、バインディングパネルまたはプロパティインスペクターを使用します。

バインディングパネルを使用して HTML 属性を動的にする

1. ウィンドウ／バインディングを選択し、バインディングパネルを開きます。
2. バインディングパネルに、使用するデータソースが表示されていることを確認します。

   コンテンツソースには、バインドする HTML 属性に対して適切なデータが含まれている必要があります。リストにコンテンツソースがまったく表示されない場合や、表示されたコンテンツソースの中に要求を満たすものがない場合は、「+」ボタンをクリックして新しいコンテンツソースを定義します。
3. デザインビューで、HTML オブジェクトを選択します。

   例えば、HTML テーブルを選択するには、テーブルの内側をクリックし、ドキュメントウィンドウの左下にあるタグセレクターで <table> タグをクリックします。
4. バインディングパネルのリストからコンテンツソースを選択します。
5. 「バインド先」ボックスのポップアップメニューで HTML 属性を選択します。
6. 「バインド」をクリックします。

   次にアプリケーションサーバーでページが実行されるときは、このデータソースの値が HTML 属性に割り当てられます。

プロパティインスペクターを使用して HTML 属性を動的にする

1. デザインビューで、HTML オブジェクトを選択し、プロパティインスペクターを開きます（ウィンドウ／プロパティ）。

   例えば、HTML テーブルを選択するには、テーブルの内側をクリックし、ドキュメントウィンドウの左下にあるタグセレクターで <table> タグをクリックします。
2. 動的コンテンツソースを HTML 属性にバインドする方法は、動的コンテンツソースの位置によって異なります。
   - プロパティインスペクターで、バインドする属性の横にフォルダーアイコンが表示されている場合は、そのフォルダーアイコンをクリックするとファイル選択ダイアログボックスが表示されます。次に「データソース」オプションをクリックすると、データソースのリストが表示されます。
   - バインドする属性の横にフォルダーアイコンがない場合は、プロパティインスペクターの左側の「リスト」タブ（2 つあるタブのうち下のもの）をクリックしてください。

     プロパティインスペクターのリストビューが表示されます。
   - バインドする属性がリストビューに表示されていない場合は、「+」ボタンをクリックして属性名を入力するか、小さい矢印ボタンをク

リックしてポップアップメニューから属性を選択します。

3. 属性の値を動的にするには、属性をクリックして、稲妻アイコンをクリックするか、属性の行の最後にあるフォルダーアイコンをクリックします。

   稲妻アイコンをクリックした場合は、データソースのリストが表示されます。

   フォルダーアイコンをクリックした場合は、ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。「データソース」オプションを選択して、コンテンツソースのリストを表示します。

4. コンテンツソースのリストからコンテンツのソースを選択して、「OK」をクリックします。

   コンテンツソースには、バインドする HTML 属性に対して適切なデータが含まれている必要があります。リストにコンテンツソースがまったく表示されない場合や、表示されたコンテンツソースの中に要求を満たすものがない場合は、新しいコンテンツソースを定義します。

   次にアプリケーションサーバーでページが実行されるときは、このデータソースの値が HTML 属性に割り当てられます。

トップへ戻る

ActiveX、Flash、およびその他のオブジェクトのパラメーターを動的にする

ActiveX、Flash、Shockwave、Director、および Generator オブジェクトのパラメーターだけでなく、Java アプレットやプラグインのパラメーターも動的にすることができます。

作業を始める前に、レコードセットのフィールドに、バインドするオブジェクトパラメーターに対して適切なデータが含まれていることを確認してください。

1. デザインビューで、ページ上のオブジェクトを選択し、プロパティインスペクターを開きます（ウィンドウ／プロパティ）。
2. 「パラメーター」ボタンをクリックします。
3. 動的にするパラメーターがリストに表示されない場合は、「+」ボタンをクリックして「パラメーター」列にパラメーター名を入力します。
4. パラメーターの「値」列をクリックし、稲妻アイコンをクリックして動的な値を指定します。

   データソースのリストが表示されます。

5. リストからデータソースを選択し、「OK」をクリックします。

   データソースには、バインドするオブジェクトパラメーターに対して適切なデータが含まれている必要があります。リストにデータソースがまったく表示されない場合や、表示されたデータソースの中に要求を満たすものがない場合は、新しいデータソースを定義します。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

製品間

Flash および Dreamweaver による作業

Flash での Dreamweaver の SWF ファイルの編集

トップへ戻る

Flash での Dreamweaver の SWF ファイルの編集

Flash と Dreamweaver の両方がインストールされている場合は、Dreamweaver ドキュメントで SWF ファイルを選択し、Flash を使用してそのファイルを編集できます。Flash では、選択された SWF ファイルを直接編集するわけではなく、ソースドキュメント（FLA ファイル）を編集して、再度 SWF ファイルに書き出します。

1. Dreamweaver でプロパティインスペクターを開きます（ウィンドウ／プロパティ）。
2. Dreamweaver ドキュメント内で、次のいずれかの操作を行います。
   - SWF ファイルプレースホルダーをクリックして選択します。次に、プロパティインスペクターの「編集」をクリックします。
   - SWF ファイルのプレースホルダーを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、コンテキストメニューの「Flash で編集」を選択します。

     Dreamweaver が Flash にフォーカスを切り替えます。Flash は、選択された SWF ファイルの Flash オーサリングファイル（FLA）を見つけようとします。Flash が Flash オーサリングファイルを見つけられない場合、その場所の指定を求めるメッセージが表示されます。

     注意： FLA ファイルまたは SWF ファイルがロックされている場合は、Dreamweaver のファイルを確認します。
3. Flash で FLA ファイルを編集します。Flash ドキュメントウィンドウに、Dreamweaver 内からファイルを編集していることが示されます。
4. 編集作業が完了したら、「終了」をクリックします。

   Flash が FLA ファイルを更新し、そのファイルを SWF ファイルに再度書き出して終了します。Dreamweaver ドキュメントにフォーカスが戻ります。

   注意： SWF ファイルを更新して Flash を開いたままにしておく場合は、ファイル／Dreamweaver で更新を選択します。
5. 更新された SWF ファイルをドキュメントに表示するには、プロパティインスペクターの「再生」をクリックするか、F12 キーを押します。ブラウザーウィンドウでページをプレビューできます。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Fireworks および Dreamweaver による作業

Fireworks イメージの挿入
Dreamweaver からの Fireworks イメージまたはテーブルの編集
Dreamweaver からの Fireworks イメージの最適化
Fireworks による Dreamweaver イメージプレースホルダーの修正
Fireworks のポップアップメニューについて
Dreamweaver での Fireworks ポップアップメニューの編集
Fireworks MX 2004 以前のバージョンで作成したポップアップメニューの編集
Fireworks ソースファイルの起動と編集環境設定の指定
Dreamweaver ドキュメントへの Fireworks HTML コードの挿入
Fireworks HTML コードの Dreamweaver へのペースト
Dreamweaver 内に配置されている Fireworks HTML コードの更新
ウェブフォトアルバムの作成

トップへ戻る

Fireworks イメージの挿入

Dreamweaver と Fireworks は、リンク、イメージマップ、テーブルスライスなどの変更を始め、同一のファイルに対する数々の編集操作を互いに認識し、共有します。また、HTML ページ上の Web グラフィックファイルの編集、最適化、配置のワークフローは、2 つのアプリケーション間で合理化されています。

Fireworks から書き出したグラフィックを Dreamweaver ドキュメントに直接配置するには、イメージの挿入コマンドを使用します。または、Dreamweaver のイメージプレースホルダーから新しい Fireworks グラフィックを作成することもできます。

1. Dreamweaver ドキュメント内で、イメージを表示する位置に挿入ポイントを置き、次のいずれかの操作を行います。
   - 挿入／イメージを選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリ内で「イメージ」ボタンをクリックするか、またはドキュメント上に「イメージ」ボタンをドラッグします。
2. Fireworks から書き出した目的のファイルを見つけて、「OK」（Windows）または「開く」（Mac OS）をクリックします。
   注意： 目的の Fireworks ファイルが現在の Dreamweaver サイトの外部にある場合は、このファイルをルートフォルダーにコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。

トップへ戻る

Dreamweaver からの Fireworks イメージまたはテーブルの編集

Dreamweaver でイメージ、または Fireworks テーブルを構成するイメージスライスを開いて編集する際は、Fireworks が自動的に起動し、そのイメージやテーブルの書き出し元の PNG ファイルが Fireworks で開きます。

注意： この動作を実行するには、Fireworks が PNG ファイル用のプライマリ外部イメージエディターとして設定されている必要があります。また、Fireworks は JPEG ファイルや GIF ファイル用の初期設定のエディターとして設定されていますが、Photoshop をこれらのファイルタイプ用の初期設定のエディターとして設定することもできます。
イメージが Fireworks テーブルの一部である場合は、HTML コード内に <!--fw table--> というコメントが記述されていれば、Fireworks テーブル全体を開いて編集できます。Fireworks から Dreamweaver サイトに、Dreamweaver スタイルの「HTML とイメージ」設定を使用してソース PNG ファイルを書き出した場合、Fireworks テーブルのコメントが自動的に HTML コード内に挿入されます。

1. Dreamweaver でプロパティインスペクターが開いていない場合は、ウィンドウ／プロパティを選択して開きます。
2. イメージまたはイメージスライスをクリックして選択します。

   Fireworks から書き出されたイメージを選択すると、プロパティインスペクターではその選択内容が Fireworks のイメージまたはテーブルであることが識別され、PNG ソースファイルの名前が表示されます。
3. 編集用に Fireworks を起動するには、次のいずれかの操作を行います。
   - プロパティインスペクターで「編集」をクリックします。
   - Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら、選択したイメージをダブルクリックします。
   - 選択したイメージを右クリックするか（Windows、または Control キーを押しながらクリックし（Mac OS）、コンテキストメニューの「エディターを指定して編集 Fireworks」を選択します。

     注意： Fireworks で PNG ソースファイルの場所を特定できない場合は、配置場所の指定を求めるメッセージが表示されます。Fireworks ソースファイルを操作すると、ソースファイルと書き出しファイルの両方に変更が保存されます。それ以外の場合は、書き出されたファイルのみが更新されます。

4. Fireworks で、ソース PNG ファイルを編集して「終了」をクリックします。

   Fireworks で変更した内容が PNG ファイルに保存され、更新後のイメージ（または HTML とイメージ）が書き出され、フォーカスが Dreamweaver に戻ります。Dreamweaver に、更新されたイメージまたはテーブルが表示されます。

   Dreamweaver と Fireworks の統合のチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0188_jp を参照してください。

トップへ戻る

Dreamweaver からの Fireworks イメージの最適化

Dreamweaver を使用すると、Fireworks イメージやアニメーションをすばやく変更できます。Dreamweaver では、最適化設定、アニメーション設定、書き出されたイメージのサイズおよび領域を変更できます。

1. Dreamweaver でイメージを選択し、次のいずれかの操作を行います。
   - コマンド／イメージを最適化を選択します。
   - プロパティインスペクターの「イメージ設定の編集」ボタンをクリックします。
2. イメージプレビューダイアログボックスで、次の操作を行います。
   - 最適化設定を編集するには、「オプション」タブをクリックします。
   - 書き出されたイメージのサイズと領域を編集するには、「ファイル」タブをクリックします。
3. 完了したら、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

Fireworks による Dreamweaver イメージプレースホルダーの修正

Dreamweaver ドキュメント内にイメージのプレースホルダーを作成して Fireworks を起動し、そのプレースホルダーに配置するグラフィックイメージまたは Fireworks テーブルをデザインできます。

イメージプレースホルダーから新規イメージを作成するには、Dreamweaver および Fireworks を共にシステムにインストールしておく必要があります。

1. PNG ファイル用のイメージエディターとして、Fireworks が設定されていることを確認します。
2. ドキュメントウィンドウで、イメージのプレースホルダーをクリックして選択します。
3. 次のいずれかの操作を行い、Fireworks を「編集元 Dreamweaver」モードで起動します。
   - プロパティインスペクターの「作成」をクリックします。
   - Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押したまま、イメージのプレースホルダーをダブルクリックします。
   - イメージのプレースホルダーを右クリックするか（Windows）、または Control キーを押しながらクリックし（Mac OS）、「イメージの作成 Fireworks」をクリックします。
4. Fireworks のオプションを使用してイメージをデザインします。

   Fireworks では、Dreamweaver 内のイメージプレースホルダーを取り扱う際、イメージサイズ（Fireworks キャンバスのサイズに関連）、イメージ ID（ソースファイルおよび作成した書き出しファイルの初期設定のドキュメント名として Fireworks で使用）、テキストの整列といった、イメージプレースホルダーの既存設定が認識されます。また、Dreamweaver での作業時にイメージプレースホルダーに割り当てたリンクや所定のビヘイビアー（スワップイメージ、ポップアップメニュー、テキスト設定など）も認識されます。

   注意： イメージのプレースホルダーに追加されているリンクは、Fireworks では表示されませんが、維持されています。Fireworks でホットスポットを描画してリンクを追加した場合も、Dreamweaver でイメージのプレースホルダーに追加したリンクが削除されるわけではありません。ただし、Fireworks で新しいイメージからスライスを切り抜いた場合は、イメージのプレースホルダーを置き換えた時点で Dreamweaver ドキュメント内の既存のリンクが削除されます。

   Fireworks では、イメージプレースホルダーに対するイメージの整列、カラー、Vspace と Hspace、マップの設定は認識されません。これらの設定は、イメージプレースホルダーのプロパティインスペクターでは使用不可になります。
5. 完了したら、「終了」をクリックします。保存を確認するメッセージが表示されます。
6. 「保存する場所」テキストボックスで、Dreamweaver ローカルサイトフォルダーとして定義したフォルダーを選択します。

   Dreamweaver ドキュメントへの挿入時にイメージプレースホルダーに名前を付けた場合は、その名前が「ファイル名」ボックスに初期値として表示されます。この名前は変更できます。
7. 「保存」をクリックして、PNG ファイルを保存します。

   書き出しダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、イメージを GIF 形式または JPEG 形式で書き出します。スライスイメージの場合は HTML とイメージの両方を書き出します。
8. 「保存する場所」で、Dreamweaver ローカルサイトフォルダーを選択します。

   「ファイル名」ボックスには、PNG ファイルに指定したのと同じファイル名が表示されます。この名前は変更できます。
9. 「ファイルの種類」で、書き出すファイルのタイプを選択します。例えば、「イメージのみ」や「HTML とイメージ」を選択します。

10. 「保存」をクリックして、書き出されたファイルを保存します。

    ファイルが保存され、フォーカスが Dreamweaver に戻ります。Dreamweaver ドキュメントで、イメージのプレースホルダーが、書き出されたファイルまたは Fireworks テーブルに置き換えられます。

トップへ戻る

Fireworks のポップアップメニューについて

Fireworks を使用すると、CSS ベースのポップアップメニューを素早く簡単に作成できます。

Fireworks で作成したポップアップメニューには、拡張性が高くダウンロードが高速であることに加え、次のような利点があります。

- メニュー項目は、サーチエンジンによるインデックス付けが可能です。
- メニュー項目をスクリーンリーダーで読み取れるため、よりアクセスしやすいページになります。
- Fireworks が生成するコードは標準に準拠しており、検証することができます。

  Fireworks のポップアップメニューは Dreamweaver または Fireworks で編集できますが、両方で同時に編集することはできません。Dreamweaver で行った変更内容は、Fireworks では保持されません。

トップへ戻る

Dreamweaver での Fireworks ポップアップメニューの編集

Fireworks 8 以降で作成したポップアップメニューは Dreamweaver または Fireworks で編集できますが（ラウンドトリップ編集を使用）、両方で同時に編集することはできません。ポップアップメニューを Dreamweaver で編集した後にこの内容を Fireworks で再編集すると、再編集前の編集内容は、テキストコンテンツを除いてすべて失われます。

Dreamweaver でポップアップメニューを編集する場合は、Fireworks でメニューを作成した後、Dreamweaver だけを使用してメニューの編集とカスタマイズを行います。

Fireworks でメニューを編集する場合は、Dreamweaver のラウンドトリップ編集機能を使用できますが、Dreamweaver ではメニューを直接編集しないようにしてください。

1. Dreamweaver でポップアップメニューが表示されている Fireworks テーブルを選択し、プロパティインスペクターで「編集」をクリックします。

   Fireworks で PNG ソースファイルが開かれます。

2. Fireworks で、ポップアップメニューエディターを使用してメニューを編集し、Fireworks ツールバーの「終了」をクリックします。

   ポップアップメニューの編集内容が Dreamweaver に反映されます。

   Fireworks MX 2004 以前のバージョンで作成したポップアップメニューは、Dreamweaver では、ビヘイビアーパネルから表示可能なポップアップメニューを表示ダイアログボックスを使用して編集できます。

トップへ戻る

Fireworks MX 2004 以前のバージョンで作成したポップアップメニューの編集

1. Dreamweaver で、ポップアップメニューを起動するホットスポットまたはイメージを選択します。
2. ビヘイビアーパネル（Shift + F3）で、アクションリストの「ポップアップメニューを表示」をダブルクリックします。
3. ポップアップメニューを表示ダイアログボックスで変更を行い、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

Fireworks ソースファイルの起動と編集環境設定の指定

Fireworks を使用してイメージを編集するのは、Web ページ上のそれらのイメージが、Fireworks のソース PNG ファイルから事前に書き出されている場合が通常です。編集するイメージファイルを Dreamweaver で開くと、ソースの PNG ファイルが自動的に Fireworks で開きます。ファイルが見つからない場合は、PNG ファイルの場所を指定するように求めるメッセージが表示されます。必要に応じて、Fireworks で環境設定を行い、挿入済みのイメージファイルを Dreamweaver で開くように指定できます。または、Dreamweaver でイメージを開くたびに、挿入済みのイメージファイルと Fireworks ソースファイルのいずれを使用するか指定することもできます。

注意： Dreamweaver で Fireworks の起動と編集環境設定が認識されるのは、特定の場合に限られます。特に、Fireworks テーブルの一部でなく、ソース PNG ファイルへの正しいデザインノートパスを含むイメージは、開いて最適化する必要があります。

1. Fireworks で編集／環境設定（Windows）またはFireworks／環境設定（Mac OS）を選択し、「起動と編集」タブをクリックするか（Windows）、ポップアップメニューから「起動と編集」を選択します（Mac OS）。
2. 外部アプリケーションに配置されている Fireworks イメージを編集または最適化する場合に適用する環境設定オプションを指定します。
   常にオリジナルの **PNG** を使用 配置されたイメージのソースとしてデザインノートに定義されている Fireworks PNG ファイルを自動的に開きます。ソース PNG ファイルとそれに対応する配置済みイメージが更新されます。

   オリジナルの **PNG** を使用しない ソース PNG ファイルが存在するかどうかに関係なく、配置されている Fireworks イメージを自動的に開きます。配置されたイメージのみ更新されます。

   起動時に確認 ソース PNG ファイルを開くかどうかを確認するメッセージを表示します。また、このメッセージから起動と編集の環境設定を

グローバルに指定することもできます。

Dreamweaver ドキュメントへの Fireworks HTML コードの挿入

トップへ戻る

Fireworks の「書き出し」コマンドを使用して、最適化したイメージと HTML ファイルを書き出し、Dreamweaver サイトフォルダー内の場所に保存できます。このファイルは、Dreamweaver に挿入できます。Dreamweaver では、Fireworks で生成された HTML コード、そのコードに関連するイメージ、スライス、JavaScript をまとめて 1 つのドキュメントに挿入できます。

1. Dreamweaver ドキュメント内で、Fireworks HTML コードを挿入する位置に挿入ポイントを置きます。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 挿入／イメージオブジェクト／Fireworks HTML を選択します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリで「イメージ」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「Fireworks HTML」をクリックします。
3. 「参照」をクリックして、目的の Fireworks HTML ファイルを選択します。
4. 挿入後にこのオリジナルファイルを使用する予定がない場合は、「挿入後削除する」オプションを選択します。このオプションを選択しても、該当する HTML ファイルに関連付けられている PNG ファイルには影響ありません。
   注意： HTML ファイルがネットワークドライブ上にある場合は、「ごみ箱」または「ゴミ箱」に移動されるのではなく、システムから完全に削除されます。
5. 「OK」をクリックし、指定した HTML コードと、関連するイメージ、スライス、JavaScript を Dreamweaver ドキュメントに挿入します。

Fireworks HTML コードの Dreamweaver へのペースト

トップへ戻る

Fireworks で生成したイメージおよびテーブルを Dreamweaver 内に配置する場合の簡単な方法は、Fireworks HTML コードをコピーして直接 Dreamweaver ドキュメント内にペーストする方法です。

Fireworks HTML コードの Dreamweaver へのコピー＆ペースト

1. Fireworks で編集／HTML コードのコピーを選択します。
2. ウィザードの指示に従って、HTML とイメージの書き出し設定を行います。書き出したイメージの保存先を指定する画面では、Dreamweaver サイトフォルダーを書き出し先として指定します。

   ウィザードによって、イメージが指定保存先に書き出され、HTML コードがクリップボードにコピーされます。
3. Dreamweaver ドキュメント内で HTML コードをペーストする位置に挿入ポイントを置き、編集／ペーストを選択します。

   書き出した Fireworks ファイルに関連付けられているすべての HTML コードと JavaScript コードが Dreamweaver ドキュメントにコピーされ、イメージへのリンクがすべて更新されます。

Fireworks HTML コードの Dreamweaver への書き出しおよびペースト

1. Fireworks でファイル／書き出しを選択します。
2. Dreamweaver サイトフォルダーをイメージの書き出し先として指定します。
3. 書き出しポップアップメニューから「HTML とイメージ」を選択します。
4. HTMLポップアップメニューから「クリップボードにコピー」 を選択し、「書き出し」をクリックします。
5. Dreamweaver ドキュメント内で、書き出した HTML コードをペーストする位置に挿入ポイントを置き、編集／Fireworks HTML のペーストを選択します。

   書き出した Fireworks ファイルに関連付けられているすべての HTML コードと JavaScript コードが Dreamweaver ドキュメントにコピーされ、イメージへのリンクがすべて更新されます。

Dreamweaver 内に配置されている Fireworks HTML コードの更新

トップへ戻る

Fireworks では、Dreamweaver に配置された Fireworks ファイルを更新する方法として、起動と編集環境設定の代わりにファイル／HTML の更新コマンドを使用することもできます。「HTML を更新」コマンドを使用すると、Fireworks でソース PNG ファイルを編集した後で、Dreamweaver ドキュメントに書き出して配置した HTML コードとイメージファイルに更新内容を自動的に反映できます。このコマンドを使用すれば、Dreamweaver ファイルは Dreamweaver が実行中でなくても更新できます。

1. Fireworks で、ソース PNG ファイルを開いて編集します。
2. ファイル／保存を選択します。
3. Fireworks でファイル／HTML の更新を選択します。
4. 更新対象の HTML が記述されている Dreamweaver ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
5. 更新されたイメージファイルの配置先となるフォルダーに移動し、「選択」をクリックします。

   Fireworks により、Dreamweaver ドキュメント内の HTML コードと JavaScript コードが更新されます。Fireworks ではさらに、HTML と関連する更新されたイメージを書き出し、そのイメージを指定保存先フォルダーに配置します。

更新対象の HTML コードが見つからない場合、Dreamweaver ドキュメントに新しい HTML コードを挿入するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。Fireworks は、ドキュメントの先頭に、新しい JavaScript コードのセクションを置き、セクションの最後に、HTML テーブルまたはイメージへのリンクを置きます。

トップへ戻る

ウェブフォトアルバムの作成

ウェブフォトアルバムの作成機能は、Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

関連項目

外部イメージエディターの使用

Dreamweaver Fireworks チュートリアル

イメージプレビューダイアログボックスオプションの設定

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Device Central および Dreamweaver による作業

Adobe Device Central と Dreamweaver の併用
モバイルデバイス向けの Dreamweaver Web コンテンツを作成するためのヒント

Adobe Device Central と Dreamweaver の併用

トップへ戻る

Device Central を使用すると、Dreamweaver ファイルが様々なモバイルデバイスでどのように表示されるかをプレビューできます。Device Central では、Opera のスモールスクリーンレンダリング™ を使用して、画面の小さいモバイルデバイス上での Web ページの表示をプレビューしています。CSS が正しく機能するかどうかをテストすることもできます。

例えば、Web サイトを携帯電話で利用できるようにしたい場合に、 Dreamweaver を使用して Web ページを作成し、Device Central を使用して、そのページが様々なデバイスでどのように表示されるかをテストできます。

モバイルデバイス向けの Dreamweaver Web コンテンツを作成するためのヒント

トップへ戻る

Device Central では、Opera のスモールスクリーンレンダリング機能を使用して、Dreamweaver で作成された Web ページをプレビューできます。 このプレビューによって、Web ページがモバイルデバイスでどのように表示されるかがわかります。
注意： 実際のデバイスには、Opera のスモールスクリーンレンダリング機能が搭載されていないものがあります。 Opera のスモールスクリーンレンダリング機能が搭載されてるデバイスの場合に、Device Central で実機と同じようなプレビューができます。
以下のヒントを使用して、Dreamweaver で作成した Web ページがモバイルデバイスで適切に表示されるようにします。

- Adobe® Spry framework を使用してコンテンツを開発する場合、Device Central で適切に CSS をレンダリングし JavaScript™ を実行するために、以下の HTML の行をページに追加します。

```
<link href="SpryAccordion.css" media="screen" rel="stylesheet" type="text/css"/>
<link href="SpryAccordion2.css" media="handheld" rel="stylesheet" type="text/css"/>
```

- Opera のスモールスクリーンレンダリングでは、フレーム、ポップアップ、下線、取り消し線、上線、点滅および囲み枠はサポートされていません。 これらのデザインエレメントは使用しないようにしてください。
- モバイルデバイス向けの Web ページは単純な作りにします。 特に、使用するフォント、フォントサイズおよびカラーの数は最小限にします。
- 画像サイズを縮小し、必要な色数を減らすと、意図したとおりに画像が表示される可能性が高くなります。 CSS または HTML を使用して、使用する各画像の高さと幅を正確に指定します。 すべての画像に alt テキストを付けます。

注意： Opera ソフトウェアの Web サイトに、モバイルデバイス向けに Web ページを最適化するための情報が多数あります。
携帯電話やモバイルデバイス用のコンテンツを作成するための詳細なヒントおよびテクニックについては、www.adobe.com/go/learn_cs_mobilewiki_jp を参照してください。

関連項目

Adobe Device Central ヘルプ

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

ConnectNow および Dreamweaver による作業

ConnectNow での作業

ConnectNow での作業

トップへ戻る

Adobe® ConnectNow を使用すると、Web 経由で他のユーザーとリアルタイムに会議や共同作業を行うことができる、安全な個人用のオンライン会議室を実現できます。ConnectNow では、コンピューターの画面の共有や注釈の挿入、チャットメッセージの送信、統合されたオーディオ機能によるコミュニケーションが可能です。ライブビデオのブロードキャスト、ファイルの共有、会議ノートの取り込み、出席者のコンピューターの制御を行うこともできます。

ConnectNow には、アプリケーションのインターフェイスから直接アクセスできます。

1. ファイル／スクリーンを共有を選択します。
2. Adobe CS Live にサインインダイアログボックスで、電子メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。Adobe ID がない場合「Adobe ID の作成」をクリックします。
3. 画面を共有するには、ConnectNow アプリケーションウィンドウの中央にある「コンピュータースクリーンを共有」ボタンをクリックします。

ConnectNow の使用方法について詳しくは、Adobe ConnectNow ヘルプを参照してください。

ConnectNow の使用法に関するビデオチュートリアルについては、Using ConnectNow to share your screen（7:12）を参照してください（このデモでは Dreamweaver を使用しています）。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Adobe Bridge による作業 Dreamweaver による作業

Adobe Bridge について
Dreamweaver からの Adobe Bridge の起動
Adobe Bridge から Dreamweaver へのファイルの配置
ページへの Adobe Bridge ファイルの配置
Bridge からページへのファイルのドラッグ
Adobe Bridge からの Dreamweaver の起動

トップへ戻る

Adobe Bridge について

Dreamweaver は、Adobe Creative Suite 5 コンポーネントに付属のクロスプラットフォームファイルブラウザー Adobe Bridge とシームレスに統合します。Adobe Bridge を使用すると、プリント、Web、ビデオおよびモバイルの各コンテンツの作成に必要なアセットを検出、編成、参照することができます。Adobe Bridge は Acrobat 9 以外の Creative Suite コンポーネントから起動して、Adobe 用と非 Adobe 用のどちらのタイプのアセットに対するアクセスにも使用することができます。

Adobe Bridge では、以下の操作を行うことができます。

- 個々の Creative Suite アプリケーションを開かずに、ファイルのプレビュー、検索、並べ替えおよび処理を行います。ファイルのメタデータを編集した後、Adobe Bridge を使用してドキュメント、プロジェクトまたはコンポジションにファイルを配置することもできます。
- 写真をデジタルカメラカードからインポートして編集し、関連する写真をスタックにグループ化し、Photoshop を起動せずに Camera Raw ファイルを開いて編集します。
- バッチコマンドなどの自動化されたタスクを実行します。
- カラーマネジメントされた Creative Suite コンポーネント間でのカラー設定を同期します。

トップへ戻る

Dreamweaver からの Adobe Bridge の起動

Dreamweaver から Adobe Bridge を起動すると、ファイルをプレビューしてからページレイアウトに配置したりドラッグできます。

❖ Adobe Bridge は、次のような様々な方法で起動できます。

- ファイル／Bridge で参照を選択する。
- 標準ツールバーの「Bridge で参照」ボタンをクリックする。
- キーボードで、「Bridge で参照」ショートカットの Ctrl + Alt + O（Windows）または Command + Option + O（Mac OS）を押す。

Adobe Bridge がファイルブラウザーモードで開き、前回 Dreamweaver で開いたフォルダーのコンテンツが表示されます。既に Adobe Bridge が開かれている場合は、Bridge がアクティブなウィンドウになります。

注意： Adobe Bridge は、Creative Suite CS5 をインストールした場合にのみ Dreamweaver CS5 と一緒にインストールされます。スタンドアローン版 Dreamweaver CS5 には付属しません。ただし、Dreamweaver CS3 と CS4 には Adobe Bridge が付属していたので、このいずれかと一緒に以前インストールした Adobe Bridge がまだ存在する場合は Dreamweaver CS5 からもアクセスおよび使用できます。

トップへ戻る

Adobe Bridge から Dreamweaver へのファイルの配置

Adobe Bridge からファイルをページに挿入するか、ドラッグすることにより、Dreamweaver ページにファイルを挿入できます。Dreamweaver ドキュメントにファイルを挿入するには、デザインビューでドキュメントを開いて挿入機能を使用する必要があります。

大部分のファイルタイプをページに挿入できますが、Dreamweaver でのファイルの処理方法は異なります。

- Web 対応イメージ（JPEG、GIF、または PNG）を挿入すると、ページにイメージファイルが直接挿入され、Web サイトの初期設定のイメージフォルダーにファイルのコピーが配置されます。
- Photoshop PSD ファイルを挿入する場合は、最適化設定を定義してから Dreamweaver でページにファイルを配置する必要があります。
- MP3 や PDF といったイメージ以外のファイルまたはファイルタイプが不明のファイルを挿入する場合、ソースファイルへのリンクが挿入されます。
- HTML ファイルを挿入する場合、ソースファイルへのリンクが挿入されます。
- （Windows のみ）Microsoft Office をインストール済みのコンピューターで Microsoft Word または Excel ファイルを挿入する場合、ファイル自体を挿入するのか、またはソースファイルへのリンクを挿入するのかを指定する必要があります。ファイルを挿入する場合は、維持するファイル形式の数を指定できます。

トップへ戻る

ページへの Adobe Bridge ファイルの配置

1. Dreamweaver（デザインビュー）で、ファイルを挿入するページ上の場所に挿入ポイントを置きます。
2. Adobe Bridge で、ファイルを選択し、ファイル／Place In Dreamweaverを選択します。
3. ファイルがサイトのルートフォルダーにない場合、ルートフォルダーにファイルをコピーするように求めるメッセージが表示されます。
4. 編集／環境設定／アクセシビリティを選択し、イメージを挿入するときに属性が表示されるように設定すると、JPEG や GIF などの Web 対応イメージを挿入するときに、イメージタグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスが表示されます。

注意： 挿入ポイントがコードビュー内にある場合、Adobe Bridge は通常と同じように起動しますが、コードビューにファイルを配置できません。ファイルはデザインビュー内にのみ配置できます。

トップへ戻る

Bridge からページへのファイルのドラッグ

1. Dreamweaver（デザインビュー）で、イメージを挿入するページ上の場所に挿入ポイントを置きます。
2. Adobe Bridge をまだ開いていない場合は開きます。
3. Adobe Bridge で、1 つまたは複数のファイルを選択し、Dreamweaver ページにドラッグします。
4. ファイルがサイトのルートフォルダーにない場合、ルートフォルダーにファイルをコピーするように求めるメッセージが表示されます。
5. 編集／環境設定／アクセシビリティを選択し、イメージを挿入するときに属性が表示されるように設定すると、JPEG や GIF などの Web セーフ イメージを挿入するときに、イメージタグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスが表示されます。

注意： 挿入ポイントがコードビュー内にある場合、Adobe Bridge は通常と同じように起動しますが、コードビューにファイルを配置できません。ファイルはデザインビュー内にのみ配置できます。

トップへ戻る

Adobe Bridge からの Dreamweaver の起動

❖ Adobe Bridge でファイルを選択して、次のいずれかの操作を行います。

- ファイル／ツールを指定して開く／Adobe Dreamweaver を選択する。
- 右クリックし（Mac OS では Control キーを押しながらクリック）、コンテキストメニューからツールを指定して開く／Adobe Dreamweaver を選択する。

注意： 既に Dreamweaver が開いている場合、この操作でプログラムがアクティブになります。Dreamweaver が開いていない場合、Adobe Bridge が起動し、「ようこそ」画面は表示されません。

関連項目

Creative Suite 5 - Bridge

スマートオブジェクトの作成

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver と Adobe オンラインサービスの併用

BrowserLab
Business Catalyst InContext Editing

Adobe オンラインサービスは、従来のデスクトップツールと同じように使用できる、ホスティングされた Web アプリケーションです。オンラインサービスには常に最新の機能を備えているという利点があります。これは、コンピューター上にあるアプリケーションとは異なり、Web 上でホスティングされているためです。

Dreamweaver は Adobe® BrowserLab および Adobe® Business Catalyst InContext Editing と連携しており、これらのサービスの利用方法に関する情報は、後述の「ヘルプ」の節に記載されています。

Dreamweaver は、Adobe® CS Live オンラインサービス（ここに BrowserLab も含まれています）とも連携しています。CS Live の使用について詳しくは、「Using Adobe CS Live」を参照してください。

Adobe オンラインサービスの管理について詳しくは、アドビ システムズ社の Web サイト（www.adobe.com/go/learn_creativeservices_jp）を参照してください。

トップへ戻る

BrowserLab

Adobe BrowserLab では、ローカルの Web コンテンツを Dreamweaver からプレビューできます。このとき、パブリックにアクセスできるサーバーに Web コンテンツを先にポストしておく必要はありません。ローカルな Dreamweaver サイト、リモートサーバーまたはテストサーバーのファイルをプレビューできます。

BrowserLab を Dreamweaver で使用する方法など、BrowserLab オンラインサービスの使用について詳しくは、 Dreamweaver エンジニアリングチームが説明する概要ビデオは、www.adobe.com/go/lr_abl_jp を参照してください。

トップへ戻る

Business Catalyst InContext Editing

Business Catalyst InContext Editing

Adobe Business Catalyst InContext Editing は、Web ブラウザー上でコンテンツに単純な変更を加える機能をユーザーに提供する、Adobe Business Catalyst の編集用コンポーネントです。ユーザーが Web ページに変更を加える際には、目的のページにアクセスし、InContext Editing にログインすることで編集操作を実行できます。編集操作の各種オプションは簡潔かつ洗練されており、HTML コードや Web 編集に関する予備知識がなくても使用できるようになっています。

ただし、Web 上でライブ変更を加える機能をユーザーに提供する前に、Dreamweaver を使用して HTML ページを編集可能にする必要があります。そのためには、ユーザーの編集を許可するページ上の領域を指定します。例えば、記事のタイトルや宣伝文を掲載するニュースページがあるとします。このコンテンツを選択して InContext Editing の編集可能領域として変換すると、ユーザーは InContext Editing にログインしたときに直接ブラウザーでタイトルと宣伝文を編集できます。

ここでは、Dreamweaver で InContext Editing の編集可能領域を使用する方法を示しますが、InContext Editing の使い方に関しては他にも参考資料があります。

- InContext Editing を使用してブラウザーでページを編集する方法に関する資料については、www.adobe.com/go/learn_dw_incontextediting_browser_jp を参照してください。
- InContext Editing の Administration Panel の使い方に関する資料については、www.adobe.com/go/learn_dw_incontextediting_administration_guide_jp を参照してください。

Adobe Business Catalyst について詳しくは、www.businesscatalyst.com を参照してください。

注意： Adobe AIR は Adobe Business Catalyst InContext Editing をサポートしていません。InContext Editing 領域を含んだアプリケーションを Dreamweaver 用 AIR 拡張機能で書き出すと、InContext Editing 機能は動作しません。

InContext Editing の編集可能領域の作成

InContext Editing の編集可能領域は、開始タグに ice:editable 属性を含む一対の HTML タグです。編集可能領域は、ユーザーがブラウザーで直接編集できるページ上の領域を定義します。
注意： Dreamweaver テンプレートを基にしたページに InContext Editing 編集可能領域を追加する場合、新しい InContext Editing 編集可能領域は、既に編集可能である領域内に配置される必要があります。

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 編集可能領域に変換する div タグ、th タグ、または td タグを選択します。
   - ページ上の新しい編集可能領域の挿入先に挿入ポイントを置きます。

- Dreamweaver テンプレート（DWT ファイル）内の編集可能領域を 1 つだけ選択します。
- ページ上で編集可能にする他のコンテンツ（テキストのブロックなど）を選択します。

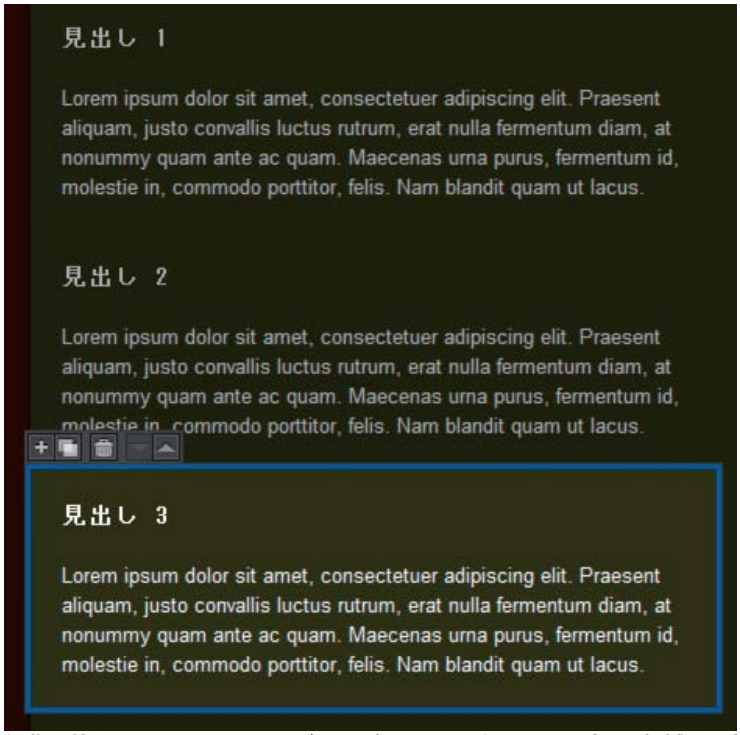
2. 挿入／InContext Editing／編集可能領域の作成を選択します。
3. オプションは選択対象によって異なります。
   - div タグ、th タグ、または td タグを選択した場合は、その時点でタグが編集可能領域に変換されます。
   - 新しい空の編集可能領域を挿入する場合は、次のいずれかの操作を実行します。
     - 「現在の挿入ポイントに新規の編集可能領域を挿入する」を選択し、「OK」をクリックします。開始タグに ice:editable 属性を含む div タグがコードに挿入されます。
     - 選択範囲の親タグを編集可能領域のコンテナエレメントにする場合は、「親タグを編集可能領域に変更する」を選択します。変更できる HTML タグは、div、th、および td だけです。

       注意： この 2 番目のオプションは、変更できるための厳密な条件を親ノードが満たしている場合に限り使用できます。例えば、変更可能なタグとして挙げられているタグのいずれかであることや、InContext Editing エラーメッセージに記載されたエラーをいっさい含んでいないことが必要です。
   - Dreamweaver テンプレートの編集可能領域を選択した場合は、編集可能領域の作成ダイアログボックスで「OK」をクリックします。テンプレートの編集可能領域は、InContext Editing 編集可能領域のコンテナとして機能する div タグで囲まれます。
   - 編集可能にする領域として他のコンテンツを選択した場合は、次のいずれかの操作を実行します。
   - - div タグで選択した内容をラップしてから編集可能領域に変換する場合は、「現在の選択項目を DIV タグで折り返してから変更する」を選択します。div タグでラップしたコンテンツは、編集可能領域のコンテナの役割を果たします。
     注意： div タグを追加すると、ページのレンダリングと CSS ルールの効果に変化が生じることがあります。例えば、div タグの周囲に赤いボーダーを付ける CSS ルールを使用している場合、現在の選択対象に対して div タグでのラッピングと変換が行われると、その周囲に赤いボーダーが表示されるようになります。このような混乱を避ける方法としては、現在の選択対象に影響する CSS ルールを書き直すこと、または変更を取り消し（編集／取り消し）、Dreamweaver による div タグでのラッピングが必要とされないサポート対象タグを選択して変換することが考えられます。
     - 選択範囲の親タグを編集可能領域のコンテナエレメントにする場合は、「親タグを編集可能領域に変更する」を選択します。変更できる HTML タグは、div、th、および td だけです。
4. デザインビューで、編集可能領域が選択されていない場合は、その青いタブをクリックして選択します。
   注意： Dreamweaver テンプレートでの作業時には、Dreamweaver テンプレートの編集可能領域ではなく InContext Editing 編集可能領域（コンテナ領域）を選択するよう注意してください。
5. 編集可能領域プロパティインスペクターでオプションを選択または選択解除します。選択したオプションは、ユーザーがブラウザーで編集可能領域の内容を編集するときに使用できます。例えば、「ボールド」オプションを選択すると、ユーザーはテキストをボールドにすることができます。「番号リストとブレットリスト」オプションを選択すると、ユーザーは番号リストとブレットリストを作成できます。各オプションのアイコンをマウスでポイントすると、オプションのツールヒントが表示されます。
6. ページを保存します。

   ページに初めて InContext Editing 機能を追加する場合は、サイトに InContext Editing サポートファイル（ice.conf.js、ice.js、および ide.html）を追加することを知らせるメッセージが表示されます。ページをアップロードする場合は、これらのファイルもサーバーにアップロードします。アップロードしないと、InContext Editing 機能はブラウザーで機能しません。

InContext Editing のリピート領域の作成

InContext Editing のリピート領域は、開始タグに ice:repeating 属性を含む一対の HTML タグです。リピート領域は、ユーザーがブラウザーで編集するときにコンテンツを「リピート」して追加できるページ上の領域を定義します。例えば、見出しとそれに続くテキストの段落がある場合、これらのエレメントをリピート領域として変換すると、ユーザーはそれをページ上で複製できます。



編集可能な InContext Editing ブラウザーウィンドウでのリピート領域。下部の選択された領域の複製、削除、または上下への移動が可能です。

元の領域に基づくリピート領域の複製だけでなく、領域の削除、新しい（元の領域の内容に基づかない）領域の追加、および上下への領域の移動を行うこともできます。

作成したリピート領域は、リピート領域グループと呼ばれる別のコンテナにラップされます。このコンテナ（開始タグに ice:repeatinggroup 属性が追加された div タグ）は、ユーザーがグループに追加できるすべての編集可能なリピート領域のコンテナになります。リピート領域は、それが属しているリピート領域グループコンテナの外には移動できません。また、リピート領域グループタグを手動でページに追加することは避けてください。リピート領域グループタグは、必要なとき自動的に追加されます。

注意： リピート領域をテーブル行（tr タグ）から作成すると、リピート領域グループ属性は親タグ（例えば table タグ）に対して適用され、div タグは挿入されません。
既にリピート領域グループを含んだページに対する作業の場合、その既存グループのすぐ後にリピート領域を追加しようとすると、その領域の前にリピート領域グループがあることが検知され、新しい領域を既存グループに追加するかどうかの選択を求められます。ここでは、新しいリピート領域を既存グループに追加することも、別のリピート領域グループを新しく作成することもできます。

注意： Dreamweaver テンプレートを基にしたページに InContext Editing リピート領域を追加する場合、新しい InContext Editing リピート領域は、既に編集可能である領域内に配置される必要があります。
Dreamweaver でリピート領域を作成するには、以下の手順に従います。

1. 次のいずれかの操作を実行します。
   - リピート領域に変換するタグを選択します。選択できるタグ
     は、a、abbr、acronym、address、b、big、blockquote、center、cite、code、dd、dfn、dir、div、dl、dt、em、font、h1、h2、h3、h4、h
     、および var です。

     注意： 編集可能領域属性とリピート領域属性を両方同時に含むことができるのは div タグのみです。
   - ページ上の新しいリピート領域の挿入先に挿入ポイントを置きます。
   - Dreamweaver テンプレート（DWT ファイル）内のリピート領域を 1 つだけ選択します。
   - ページ上でリピート可能にする他のコンテンツ（見出しやテキストのブロックなど）を選択します。
2. 挿入／InContext Editing／リピート領域の作成を選択します。
3. オプションは選択対象によって異なります。
   - 変換可能なタグを選択した場合は、その時点でタグがリピート領域に変換されます。
   - 新しい空のリピート領域を挿入する場合は、次のいずれかの操作を実行します。
     - 「現在の挿入ポイントに新規のリピート領域を挿入する」を選択し、「OK」をクリックします。
     - 選択項目の親タグをリピート領域のコンテナエレメントにする場合は、「親タグをリピート領域に変更する」を選択します。変換できるのは特定の HTML タグのみで、具体的に
       は、a、abbr、acronym、address、b、big、blockquote、center、cite、code、dd、dfn、dir、div、dl、dt、em、font、h1、h2、h3、h4
       、および var です。

       注意： この 2 番目のオプションは、変更できるための厳密な条件を親ノードが満たしている場合に限り使用できます。例えば、変

更可能なタグとして挙げられているタグのいずれかであることや、InContext Editing エラーメッセージに記載されたエラーをいっさい含んでいないことが必要です。

- Dreamweaver テンプレートのリピート領域を選択した場合は、リピート領域の作成ダイアログボックスで「OK」をクリックします。テンプレートのリピート領域は、InContext Editing リピート領域のコンテナとして機能する div タグで囲まれます。
- リピート可能にする領域として他のコンテンツを選択した場合は、次のいずれかの操作を行います。
  - div タグで選択した内容をラップしてからリピート領域に変更する場合は、「現在の選択項目を DIV タグで折り返してから変更する」を選択します。div タグでラップしたコンテンツは、リピート領域のコンテナの役割を果たします。
  - 選択項目の親タグをリピート領域のコンテナエレメントにする場合は、「親タグをリピート領域に変更する」を選択します。変換できるのは特定の HTML タグのみで、具体的に
    は、a、abbr、acronym、address、b、big、blockquote、center、cite、code、dd、dfn、dir、div、dl、dt、em、font、h1、h2、h3、h4、および var です。

4. デザインビューで、リピート領域が選択されていない場合は、その青いタブをクリックして選択します。実際には、リピート領域グループのタブを選択するように Dreamweaver によって強制されます。これは、すべてのリピート領域はリピート領域グループに属し、リピート領域のオプションを設定するにはグループ全体のオプションを設定する必要があるためです。
5. リピート領域プロパティインスペクターでオプションを選択または選択解除します。オプションとして、「並べ替え」と「追加 / 削除」の 2 つを使用できます。「並べ替え」を選択すると、ユーザーはブラウザーでの編集時にリピート領域を上下に移動できます。「追加 / 削除」を選択すると、ユーザーはブラウザーでの編集時にリピート領域を追加または削除できます。いずれのオプションも初期設定でオンになっており、常に少なくとも一方はオンにする必要があります。
6. ページを保存します。

   ページに初めて InContext Editing 機能を追加する場合は、サイトに InContext Editing サポートファイル（ice.conf.js、ice.js、および ide.html）を追加することを知らせるメッセージが表示されます。ページをアップロードする場合は、これらのファイルもサーバーにアップロードします。アップロードしないと、InContext Editing 機能はブラウザーで機能しません。

領域の削除

領域を削除するには、その領域のプロパティインスペクターを使用する方法が最適です。領域のプロパティインスペクターを使用すると、その領域に関連付けられたすべてのコードを削除できます。

1. 編集可能領域、リピート領域、またはリピート領域グループを選択します。
2. 領域のプロパティインスペクターで、「領域を削除」ボタンをクリックします。

書式設定用の CSS クラスの指定

InContext Editing 管理が可能な CSS クラス機能は Dreamweaver CS5 では使用されなくなりました。

InContext Editing エラーメッセージ

スクリプトタグまたはサーバーサイドブロックコードを含んだタグには InContext Editing を適用できません

選択範囲にサーバーサイドコードが含まれている場合は、その選択範囲を編集可能領域またはリピート領域に変換できません。この問題は、ユーザーがブラウザーで編集可能ページを編集して保存するときの InContext Editing の動作と関係します。ユーザーが編集後のページを保存すると、InContext Editing によってサーバーサイドコードが削除されます。

現在の選択範囲が属する親ノードでは DIV を子タグとして使用できないため、選択範囲を DIV タグに変換またはラップすることができません

ページ上の変換する選択範囲が直接に変換可能なものでない場合、Dreamweaver では、新しい編集可能領域またはリピート領域のコンテナとして機能する div タグで選択範囲を囲む必要があります。このため、変換する選択範囲の属する親タグは、div タグを子として許容するものである必要があります。変換しようとするタグの親タグが子として div タグを許容しない場合、変換は実行されません。

現在の選択範囲は既に編集可能領域を含んでいるか、編集可能領域に含まれています。編集可能領域のネストは許可されていません。

選択範囲が編集可能領域内にあるか、編集可能領域が選択範囲内にある場合、変換は実行されません。InContext Editing では、編集可能領域のネストはサポートされていません。

編集可能領域の中にリピート領域やリピート領域グループを含めることはできません

InContext Editing の編集可能領域に他の InContext Editing 機能を含めることはできません。編集可能領域にリピート領域やリピート領域グループを追加しようとすると、変換は実行されません。

編集可能領域の中にリピート領域を含めることや、リピート領域の中にリピート領域グループを含めることはできません

InContext Editing の編集可能領域に他の InContext Editing 機能を含めることはできません。編集可能領域にリピート領域やリピート領域グループを追加しようとすると、変換は実行されません。また、リピート領域グループを既に含んでいるエレメントは編集可能領域やリピート領域に変換

されません。

現在の選択範囲は既にリピート領域を含んでいるか、リピート領域に含まれています。リピート領域のネストは許可されていません。
選択範囲がリピート領域内にあるか、リピート領域が選択範囲内にある場合、変換は実行されません。InContext Editing では、リピート領域のネストはサポートされていません。

Dreamweaver テンプレート編集可能領域 / リピート領域を **1** つだけ含んだ範囲、または **Dreamweaver** テンプレート編集可能領域の内側の範囲が指定されている必要があります
Dreamweaver テンプレートファイル（.dwt ファイル）を使用する場合は、特定のルールに従う必要があります。Dreamweaver テンプレート編集可能領域 / リピート領域を InContext Editing 編集可能領域 / リピート領域に変換するには、ページ上の 1 つの Dreamweaver テンプレート編集可能領域 / リピート領域のみを選択して変換する必要があります。ページ上の別の選択範囲（テキストのブロックなど）を変換するには、その選択範囲が Dreamweaver テンプレート編集可能領域内に含まれている必要があります。

編集可能領域とリピート領域の機能を両方同時に適用できるのは **DIV** タグのみです
選択範囲が div タグではなく、さらにリピート領域属性が既に適用されている場合は、そのタグに編集可能領域属性を適用することはできません。編集可能領域属性とリピート領域属性を両方同時に適用できるのは div タグのみです。

このリピート領域の前にリピート領域グループタグがあります
すべての InContext Editing リピート領域は、リピート領域グループ内に含まれている必要があります。ページに新しいリピート領域を追加する場合は、その直前にリピート領域グループが既にあるかどうかが自動的に確認されます。既存のリピート領域グループがある場合は、新しいリピート領域の追加先を既存のグループにするか、新しいリピート領域グループを作成するかを選択できます。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Microsoft Office ドキュメントの読み込み（Windows のみ）

Microsoft Word や Excel ドキュメントの完全な内容を新規または既存の Web ページに挿入できます。Word または Excel ドキュメントを読み込むと、Dreamweaver は変換された HTML を受け取って Web ページに挿入します。HTML に変換されたファイルは、Dreamweaver が受け取った後のサイズが 300KB 未満になることが必要です。

ファイル全体の内容を読み込む代わりに、Word ドキュメントの一部をペーストし、フォーマットを保持することもできます。

注意： Microsoft Office 97 を使用している場合は、Word や Excel のドキュメントの内容を読み込むことはできません。代わりに、ドキュメントへのリンクを挿入します。

1. Word または Excel ドキュメントの内容を挿入する Web ページを開きます。
2. デザインビューでファイルを選択するには以下のいずれかの操作を行います。
   - ファイルを現在の位置から、その内容を表示するページにドラッグします。
   - ファイル／読み込み／Word ドキュメントまたはファイル／読み込み／Excel ドキュメントを選択します。
3. ドキュメントの挿入ダイアログボックスで追加するファイルを検索し、ダイアログボックスの下部にあるフォーマットポップアップメニューからいずれかのフォーマットオプションを選択して「開く」をクリックします。
   テキストのみ 書式設定されていないテキストを挿入します。元のテキストがフォーマットされている場合、すべてのフォーマットが削除されます。

   構造（段落、リスト、テーブル）付きテキスト 構造を維持しているが、基本的なフォーマットを維持していないテキストを挿入します。例えば、テキストをペーストして、段落、リスト、およびテーブルの構造を維持し、ボールド、イタリック、およびその他のフォーマットを維持しないようにできます。

   構造と基本書式（ボールド、イタリック）付きテキスト 構造化された HTML フォーマットテキストと単純な HTML フォーマットテキストの両方（段落やテーブルの他に、b、i、u、strong、em、hr、abbr、acronym の各タグで書式設定されたテキストなど）を挿入します。

   構造と完全な書式（ボールド、イタリック、スタイル）付きテキスト すべての構造、HTML フォーマット、および CSS スタイルを維持したテキストを挿入します。

   Word の段落スペースのクリーンアップ 「構造（段落、リスト、テーブル）付きテキスト」または「構造と基本書式（ボールド、イタリック）付きテキスト」を選択し、テキストをペーストするときに段落間の余分なスペースを削除します。

   Word または Excel ドキュメントの内容がページに表示されます。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

アドオン

アドオンとは、Dreamweaver に簡単に追加できる新しい機能のことです。例えば、テーブル形式の変更やバックエンドのデータベースへの接続が可能なアドオン、ブラウザーのスクリプトの記述に役立つアドオンなど、様々なものがあります。

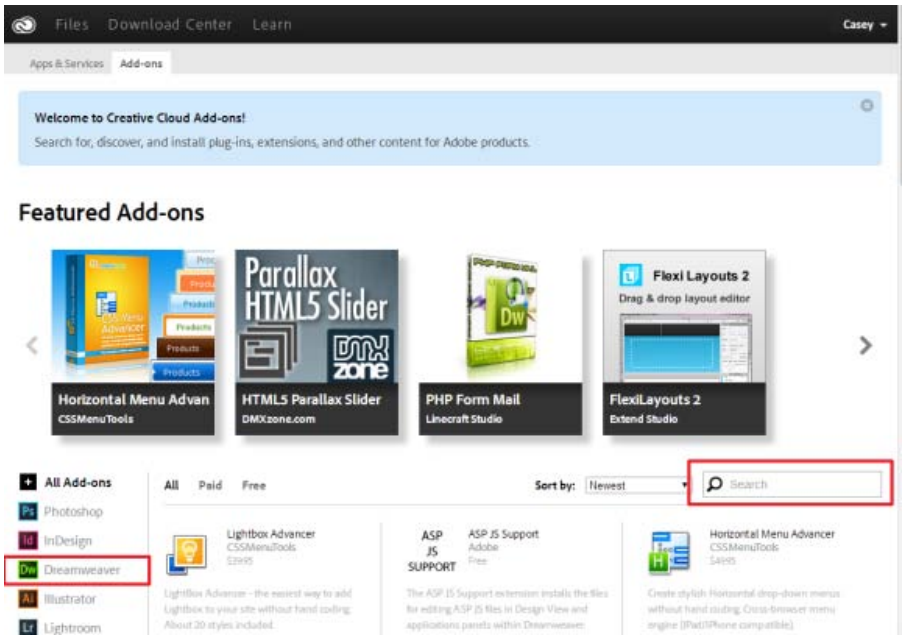
注意： マルチユーザーオペレーティングシステムで、すべてのユーザーがアクセスできるアドオンをインストールするには、管理者（*Windows*）または *root*（*Mac OS X*）としてログインする必要があります。マルチユーザーシステムで *Dreamweaver* を使用する方法について詳しくは、ここをクリックしてください。

ページの先頭へ

Dreamweaver でアドオンを使用する

ウィンドウ／アドオンを参照をクリックして、アドオンを参照し、インストールします。「アドオンを参照」をクリックすると、Adobe Creative Cloud アドオンページが表示されます。

Adobe Creative Cloud アドオンページで、左にある「Dreamweaver」をクリックし、Dreamweaver 固有のアドオンを表示します。右の検索ボックスを使用して特定のアドオンを検索することもできます。

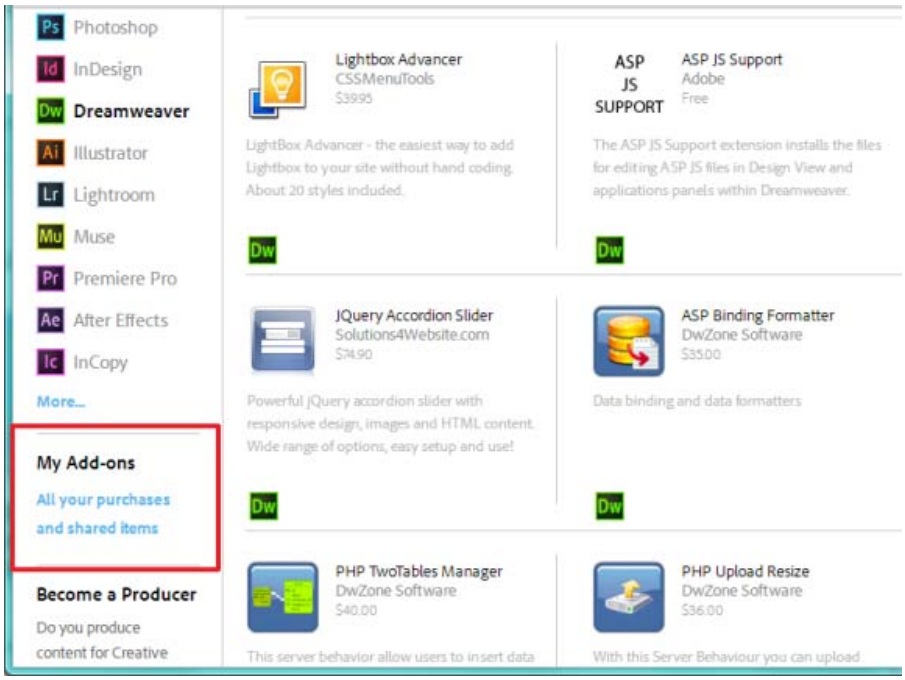


Adobe Creative Cloud アドオンページ

重要：アドオンをインストールする前に、*Adobe Creative Cloud* アカウントのファイル同期を有効にしたことを確認します。詳しくは、「*Adobe Creative Cloud* のファイル同期を使用可能にする」を参照してください。

画面に表示される指示に従ってアドオンをインストールします。

インストールまたは共有したアドオンを表示するには、「マイアドオン」の下の「購入および共有したすべてのアイテム」をクリックします。



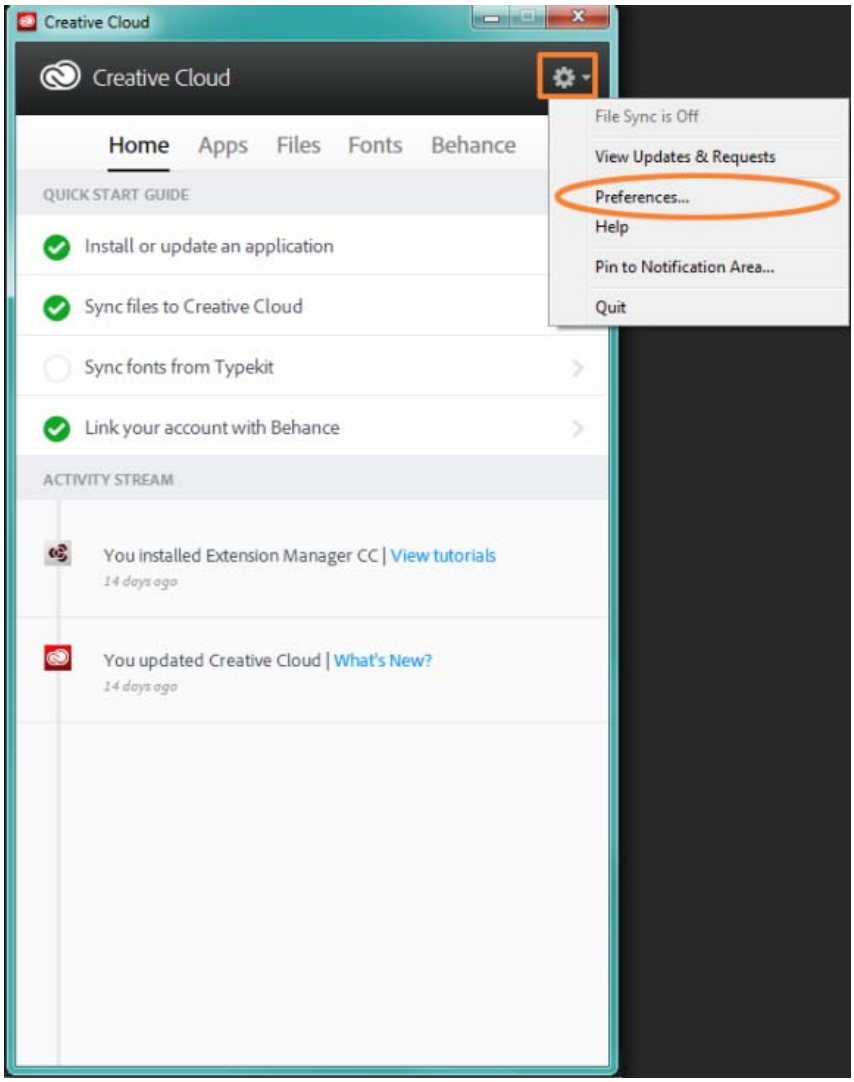
Adobe Creative Cloud アドオンページ - マイアドオン

ページの先頭へ

Adobe Creative Cloud のファイル同期を使用可能にする

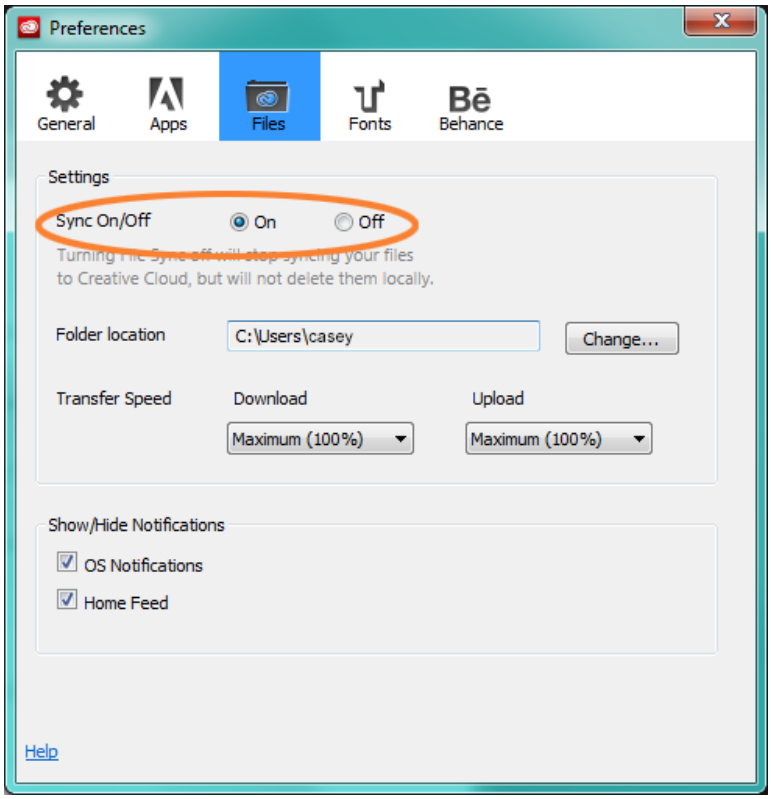
Adobe Creative Cloud からアドオンをインストールする前に、Adobe Creative Cloud クライアントでファイル同期が有効になっていることを確認します。

1. システムトレイの をクリックして Adobe Creative Cloud クライアントを開きます。
2. をクリックし、「環境設定」をクリックします。



Adobe Creative Cloud クライアントの環境設定

3. 「ファイル」タブで、「同期のオン/オフを切り替え」を「オン」に設定します。



Adobe Creative Cloud クライアントのファイル同期

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

アプリケーション間の統合

Photoshop、Flash、Fireworks の統合について

トップへ戻る

Photoshop、Flash、Fireworks の統合について

Photoshop、Fireworks、Flash は、グラフィックファイルや SWF ファイルの作成と管理に適した強力な Web 開発ツールです。これらのツールと Dreamweaver を緊密に統合することで、Web デザインのワークフローを簡素化できます。

注意： その他の一部のアプリケーションとも、制約はありますが統合できます。例えば、InDesign ファイルを XHTML として書き出し、Dreamweaver でそれを続けて編集できます。このワークフローのチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0202_jp を参照してください。

Adobe Flash で作成したイメージやコンテンツ（SWF や FLV ファイルなど）をDreamweaver のドキュメントに簡単に挿入できます。イメージまたは SWF コンテンツを Dreamweaver ドキュメントに挿入した後で、それらのデータを作成元のエディターで編集することも可能です。

注意： Dreamweaver をこれらの Adobe アプリケーションと共に使用するには、これらのアプリケーションがコンピューターにインストールされている必要があります。

Fireworks と Flash の製品統合は、ラウンドトリップ編集によって達成されます。ラウンドトリップ編集により、Dreamweaver と他のアプリケーションとの間でコードの更新内容が適切に伝達されます。例えば、アプリケーション間でロールオーバービヘイビアーや他のファイルへのリンクを維持することができます。

Dreamweaver では、製品間の統合にデザインノートも使用されます。デザインノートは小さなファイルで、Dreamweaver では、このファイルの情報に基づいて、書き出されたイメージや SWF ファイルのソースドキュメントの場所を特定できます。Dreamweaver で定義したサイトに Fireworks、Flash、または Photoshop からファイルを直接書き出す場合は、元の PSD ファイル、PNG ファイル、または Flash オーサリングファイル（FLA）への参照情報を含むデザインノートが、Web 対応ファイル（GIF、JPEG、PNG、または SWF）と共に該当サイトに自動的に書き出されます。

場所情報に加えて、デザインノートには、書き出されたファイルに関する他の適切な情報が格納されます。例えば、Fireworks のテーブルを書き出す場合、そのテーブルの一部として書き出されるイメージファイルごとに 1 つずつデザインノートが作成されます。書き出し元のファイルにホットスポットまたはロールオーバーが指定されている場合は、それらのホットスポットやロールオーバーのスクリプトに関する情報がデザインノートに含まれます。

書き出し時には、書き出し先と同じフォルダー内に _notes という名前のフォルダーが作成されます。このフォルダーには、Dreamweaver に Photoshop、Flash、または Fireworks を統合する際に必要なデザインノートが保存されます。

注意： デザインノートを使用するには、Dreamweaver サイトに対してデザインノートが有効になっていることを確認する必要があります。デザインノートは初期設定では有効になっています。ただし、デザインノートが無効になっていても、Photoshop イメージファイルを挿入すると Dreamweaver によってデザインノートが作成され、ソース PSD ファイルと同じ場所に格納されます。

Dreamweaver と Fireworks の統合のチュートリアルについては、www.adobe.com/go/vid0188_jp を参照してください。

Dreamweaver と Photoshop の統合のチュートリアルについては、www.adobe.com/go/lrvid4043_dw_jp を参照してください。

関連項目

Dreamweaver InDesign チュートリアル

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver 用 AIR 拡張機能

Dreamweaver 用 AIR 拡張機能のインストール
Dreamweaver での AIR アプリケーションの作成
デジタル証明書を使用したアプリケーションの署名
関連付けられた **AIR** ファイル形式の編集
AIR アプリケーション設定の編集
AIR アプリケーションの **Web** ページのプレビュー
AIR のコードヒントとコードカラーリングの使用
Adobe AIR ドキュメントへのアクセス

Dreamweaver® 用 Adobe® AIR® 拡張機能では、Web ベースのアプリケーションをデスクトップアプリケーションに変換できます。ユーザーは、インターネット接続を使用しないときでも、アプリケーションをデスクトップから実行できます。

この拡張機能は Dreamweaver CS3 およびそれ以降で使用できます。Dreamweaver 8 との互換性はありません。

注意： Adobe AIR は Adobe InContext Editing をサポートしていません。InContext Editing 領域を含んだアプリケーションを Dreamweaver 用 AIR 拡張機能で書き出すと、InContext Editing 機能は動作しません。

トップへ戻る

Dreamweaver 用 AIR 拡張機能のインストール

Dreamweaver 用 AIR 拡張機能は、デスクトップ用のリッチインターネットアプリケーションの作成に役立ちます。例えば、XML データを表示するために相互に作用する Web ページのセットがあるとします。Dreamweaver 用 Adobe AIR 拡張機能を使用して、このページセットをユーザーのコンピューターにインストールできる小さなアプリケーションにパッケージ化できます。ユーザーがデスクトップからアプリケーションを実行すると、アプリケーションが読み込まれ、ブラウザーから独立した専用のアプリケーションウィンドウに Web サイトが表示されます。ユーザーは、インターネット接続がなくてもコンピューター上で Web サイトをローカルに表示できます。

Adobe® ColdFusion® や PHP ページなどの動的なページは Adobe AIR では実行されません。ランタイムは HTML および JavaScript でのみ動作します。ただし、XMLHTTPRequest などの Ajax メソッドまたは Adobe AIR 固有の API によって、ページで JavaScript を使用して、インターネット上に公開されている任意の Web サービス（ColdFusion や PHP で生成されたサービスを含む）を呼び出すことができます。

必要システム構成

Dreamweaver 用 Adobe AIR 拡張機能を使用するには、次のソフトウェアをインストールし、適切に設定する必要があります。

- Dreamweaver CS3 またはそれ以降
- Adobe® Extension Manager CS3 またはそれ以降
- Java JRE 1.4 またはそれ以降（Adobe AIR ファイルの作成に必要です）。Java JRE は http://java.sun.com/ で入手可能です。

  上述の要件は、Adobe AIR アプリケーションを Dreamweaver で作成およびプレビューするためのものです。Adobe AIR アプリケーションをインストールし、デスクトップで実行するには、Adobe AIR もコンピューターにインストールする必要があります。ランタイムをダウンロードするには、www.adobe.com/go/air_jp を参照してください。

Dreamweaver 用 Adobe AIR 拡張機能のインストール

1. Dreamweaver 用 Adobe AIR 拡張機能を http://www.adobe.com/products/air/tools/ajax/ からダウンロードします。
2. Windows エクスプローラー（Windows）または Finder（Macintosh）で、拡張子が .mxp のファイルをダブルクリックします。
3. 画面に表示される指示に従って拡張機能をインストールします。
4. 完了したら、Dreamweaver を再起動します。

   Dreamweaver 用 Adobe AIR 拡張機能の使用について詳しくは、『Dreamweaver 用 AIR 拡張機能ユーザーガイド』を参照してください。

トップへ戻る

Dreamweaver での AIR アプリケーションの作成

Dreamweaver で HTML ベースの AIR アプリケーションを作成するには、AIR アプリケーションとしてパッケージ化する既存のサイトを選択します。

1. 定義した Dreamweaver サイトに、アプリケーションとしてパッケージ化する Web ページが含まれていることを確認してください。
2. Dreamweaver で、パッケージ化するページのホームページを開きます。

3. サイト／AIR アプリケーション設定を選択します。
4. AIR アプリケーションとインストーラーの設定ダイアログボックスに入力して、「AIR ファイルを作成」をクリックします。

   詳しくは、以下に示すダイアログボックスのオプションを参照してください。

   Adobe AIR ファイルを最初に作成すると、Dreamweaver によって application.xml がサイトのルートフォルダーに作成されます。このファイルは、アプリケーションの様々なプロパティを定義するマニフェストとして機能します。

   AIR アプリケーションとインストーラーの設定ダイアログボックスのオプションは、以下のとおりです。

   ファイル名 アプリケーションの実行可能ファイルに使用される名前です。初期設定では、Dreamweaver サイトの名前がファイル名に使用されます。この名前は必要に応じて変更できます。ただし、名前にはファイル名またはフォルダー名に有効な文字だけを使用する必要があります（つまり、ASCII 文字だけを使用することができ、ピリオドで終わることはできません）。この設定は必須です。

   アプリケーション名 ユーザーがアプリケーションをインストールするときにインストール画面に表示される名前です。ここでも、初期設定で Dreamweaver サイトの名前が指定されます。この設定は必須ではなく、文字制限はありません。

   アプリケーション **ID** 一意の ID でアプリケーションを識別します。必要に応じて、デフォルトの ID を変更できます。ID にスペースや特殊文字は使用しないでください。使用できる文字は 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、.（ピリオド）、-（ハイフン）です。この設定は必須です。

   バージョン アプリケーションのバージョン番号を指定します。この設定は必須です。

   イニシャルコンテント アプリケーションの開始ページを指定します。「参照」ボタンをクリックして開始ページを参照し、選択します。選択したファイルはサイトのルートフォルダー内に含まれている必要があります。この設定は必須です。

   説明 ユーザーがアプリケーションをインストールするときに表示されるアプリケーションの説明を指定します。

   著作権情報 Macintosh にインストールされる Adobe AIR アプリケーションの「バージョン情報」に表示される著作権を指定します。この情報は、Windows にインストールされるアプリケーションには使用されません。

   ウィンドウスタイル ユーザーが自分のコンピューターでアプリケーションを実行するときに使用するウィンドウスタイル（クロム）を指定します。システムクロムでは、オペレーティングシステムの標準のウィンドウコントロールでアプリケーションが囲まれます。カスタムクロム（不透明）では、標準のシステムクロムが排除され、アプリケーションに独自のクロムを作成できます（カスタムクロムはパッケージ化された HTML ページで直接作成します）。カスタムクロム（透明）は、カスタムクロム（不透明）と似ていますが、ページのエッジに透明効果が追加されます。透明効果を使用すると、長方形以外の形状のアプリケーションウィンドウを作成できます。

   ウィンドウサイズ アプリケーションウィンドウが開くときのサイズを指定します。

   アイコン アプリケーションアイコン用のカスタム画像を選択します（初期設定の画像は、付属の Adobe AIR 画像です）。カスタム画像を使用するには、「アイコン画像を選択」ボタンをクリックします。表示されるアイコン画像ダイアログボックスで、各アイコンサイズのフォルダーをクリックし、使用する画像ファイルを選択します。AIR では、PNG ファイルのアプリケーションアイコン画像のみがサポートされています。
   注意： 選択するカスタム画像はアプリケーションのサイトにある必要があります。また、そのパスはサイトのルートからの相対パスである必要があります。

   関連付けるファイルタイプ アプリケーションにファイル形式を関連付けます。詳しくは、この後の節を参照してください。

   アプリケーションの更新 Adobe AIR アプリケーションインストーラーまたはアプリケーション自身によって、新しいバージョンの Adobe AIR アプリケーションへの更新が実行されるかどうかを決定します。チェックボックスは初期設定でオンになっているため、Adobe AIR アプリケーションインストーラーによって更新が実行されます。アプリケーションで独自の更新を実行する必要がある場合は、チェックボックスをオフにします。チェックボックスをオフにした場合は、更新を実行できるアプリケーションを作成する必要があります。

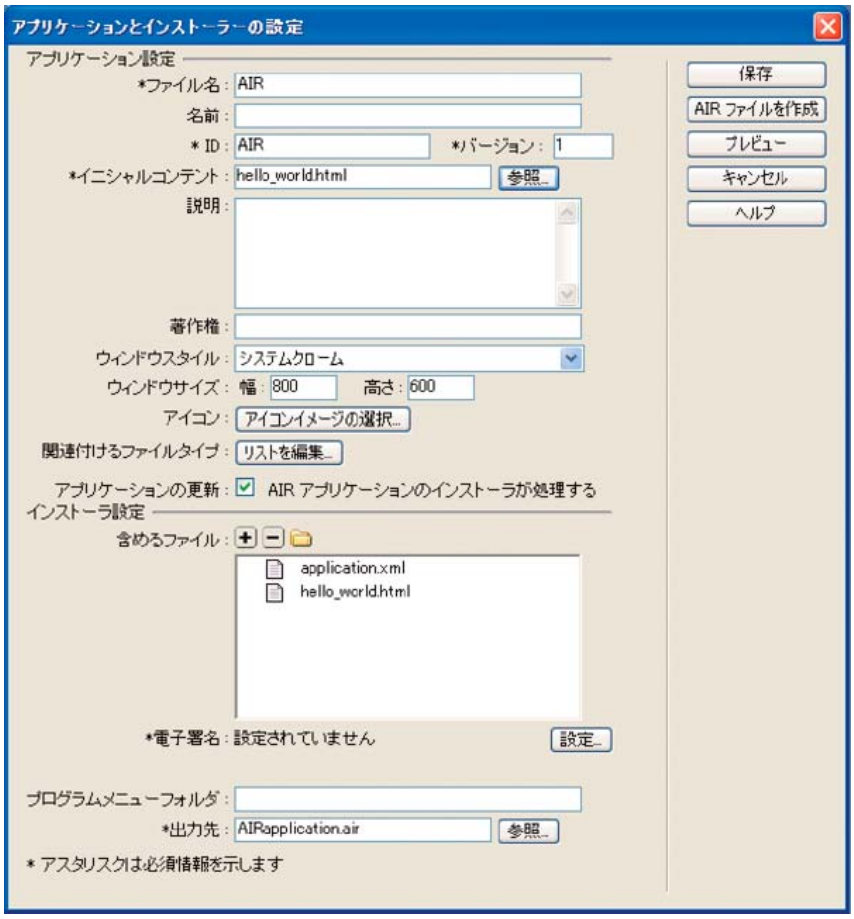
   含まれるファイル アプリケーションに含まれるファイルまたはフォルダーを指定します。HTML ファイルと CSS ファイル、画像ファイルおよび JavaScript ライブラリファイルを追加できます。プラス（+）ボタンをクリックしてファイルを追加し、フォルダーアイコンをクリックしてフォルダーを追加します。_mmServerScripts や _notes などの特定のファイルを含めてはなりません。ファイルまたはフォルダーをリストから削除するには、ファイルまたはフォルダーを選択し、マイナス（-）記号ボタンをクリックします。

   電子署名 アプリケーションに電子署名を適用するには「設定」をクリックします。この設定は必須です。詳しくは、この後の節を参照してください。

   プログラムメニューフォルダー アプリケーションのショートカットを作成する Windows スタートメニューのサブディレクトリを指定します（Macintosh では使用しません）。

   保存先 新しいアプリケーションインストーラー（.air ファイル）の保存場所を指定します。初期設定では、この場所はサイトのルートです。別の場所を選択するには「参照」ボタンをクリックします。初期設定のファイル名は、サイト名に拡張子 .air を付けたものです。この設定は必須です。

   次の図に、基本的なオプションが設定されたダイアログボックスの例を示します。



トップへ戻る

デジタル証明書を使用したアプリケーションの署名

電子署名を使用すると、ソフトウェアが作成された後にアプリケーションのコードが改ざんされたり、壊れたりしていないことを保証できます。Adobe AIR アプリケーションには電子署名が必須で、電子署名がないアプリケーションはインストールできません。購入したデジタル証明書でアプリケーションに署名することも、独自の証明書を作成することも、後から署名する Adobe AIRI ファイル（Adobe AIR 中間ファイル）を準備することもできます。

1. AIR アプリケーションとインストーラーの設定ダイアログボックスで、「電子署名」オプションの横の「設定」ボタンをクリックします。
2. 電子署名ダイアログボックスで、次のいずれかの操作を行います。
   - 事前に購入した電子署名でアプリケーションに署名するには、「参照」ボタンをクリックし、証明書を選択し、対応するパスワードを入力して「OK」をクリックします。
   - 自分で署名した独自のデジタル証明書を作成するには、「作成」ボタンをクリックし、ダイアログボックスで設定を行います。証明書の「タイプ」オプションは、セキュリティレベルを示します。1024-RSA は安全性の低い 1024 ビットのキーを使用し、2048-RSA は安全性の高い 2048 ビットのキーを使用します。完了したら、「OK」をクリックします。電子署名ダイアログボックスに対応するパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
   - 「Prepare an AIRI package that will be signed later」を選択し、「OK」をクリックします。このオプションを使用すると、電子署名のない AIR Intermediate（AIRI）アプリケーションを作成できます。ただし、電子署名が追加されるまで、ユーザーはアプリケーションをインストールできません。

タイムスタンプについて

デジタル証明書で Adobe AIR アプリケーションに署名する場合は、パッケージングツールがタイムスタンプ局のサーバーを照会して、単独で検証可能な署名の日時を取得します。取得したタイムスタンプは AIR ファイルに埋め込まれます。署名した証明書が署名時に有効である限り、AIR ファイルは証明書の期限が切れた後もインストールできます。一方、タイムスタンプを取得していない場合は、証明書の期限が切れたり取り消されたりすると、AIR ファイルはインストールできなくなります。

初期設定では、Adobe AIR アプリケーションの作成時に Dreamweaver 用 Adobe AIR 拡張機能によってタイムスタンプが取得されます。ただし、電子署名ダイアログボックスでタイムスタンプオプションをオフにして、タイムスタンプ機能をオフにできます（例えば、タイムスタンプサービスが使用できないときは、このように設定する場合があります）。公開配布されるすべての AIR ファイルにはタイムスタンプを含めることをお勧めします。

AIR パッケージングツールで使用されるデフォルトのタイムスタンプ局は Geotrust です。タイムスタンプおよび電子署名について詳しくは、AIR ファイルへの電子署名を参照してください。

トップへ戻る

関連付けられた AIR ファイル形式の編集

Adobe AIR アプリケーションには、様々なファイル形式を関連付けることができます。例えば、拡張子 .avf のファイル形式をユーザーがダブルクリックしたときに Adobe AIR で開くようにするには、関連付けられたファイル形式リストに .avf 拡張子を追加できます。

1. AIR アプリケーションとインストーラーの設定ダイアログボックスで、「Associated File Types」オプションの横の「リストの編集」ボタンをクリックします。
2. Associated File Typesダイアログボックスで、次のいずれかの操作を行います。
   - ファイル形式を選択し、マイナス（-）記号ボタンをクリックして、ファイル形式を削除します。
   - プラス（+）記号ボタンをクリックし、ファイル形式を追加します。

     プラス記号ボタンをクリックしてファイル形式を追加すると、ファイルタイプの設定ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスに入力し、「OK」をクリックして終了します。

     オプションの一覧を次に示します。

     名前 Associated File Typesリストに表示されるファイル形式の名前を指定します。このオプションは必須です。ASCII 英数文字（a-z、A-Z、0-9）およびドットのみを使用できます（例えば、adobe.VideoFile など）。名前は文字で始まる必要があります。最大文字数は 38 文字です。

     拡張子 ファイル形式の拡張子を指定します。先頭のドットは含めないでください。このオプションは必須です。ASCII 英数文字（a-z、A-Z、0-9）のみを使用できます。最大文字数は 38 文字です。

     説明 ファイル形式の省略可能な説明を指定します。

     コンテンツタイプ ファイルの MIME タイプまたはメディアタイプを指定します（例えば、text/html や image/gif など）。

     アイコンファイルの場所 関連付けられたファイル形式のカスタム画像を選択します（初期設定の画像は、付属の Adobe AIR 画像です）。

トップへ戻る

AIR アプリケーション設定の編集

Adobe AIR アプリケーションの設定はいつでも編集できます。

❖ サイト／AIR アプリケーション設定を選択し、変更を行います。

トップへ戻る

AIR アプリケーションの Web ページのプレビュー

Dreamweaver で HTML ページをプレビューすると、Adobe AIR アプリケーションと同じように表示されます。プレビューでは、アプリケーション全体を作成しなくても、アプリケーションで Web ページがどのように表示されるかを確認できます。

❖ ドキュメントのツールバーで、「ブラウザーでプレビュー/デバッグ」ボタンをクリックし、「Preview In AIR」を選択します。

Ctrl + Shift + F12 キー（Windows）または Cmd + Shift + F12 キー（Macintosh）を押すこともできます。

トップへ戻る

AIR のコードヒントとコードカラーリングの使用

Dreamweaver 用 Adobe AIR 拡張機能では、Dreamweaver のコードビュー内の Adobe AIR 言語要素にコードヒントとコードカラーリングが追加されます。

❖ コードビューで HTML または JavaScript ファイルを開き、Adobe AIR コードを入力します。
注意： コードヒントメカニズムは <script> タグの内部または .js ファイル内でのみ動作します。
Adobe AIR 言語要素について詳しくは、本マニュアル内の開発者向けドキュメントを参照してください。

トップへ戻る

Adobe AIR ドキュメントへのアクセス

Adobe AIR 拡張機能によって、HTML および Ajax を使用した AIR アプリケーションの開発にアクセスできるヘルプメニュー項目が Dreamweaver に追加されます。

❖ ヘルプ／Adobe AIR ヘルプを選択してください。

(cc) BY-NC-SR

法律上の注意 | プライバシーポリシー

イメージの追加と変更

イメージについて
イメージの挿入
イメージの視覚的なサイズ変更
イメージプレースホルダーの挿入
イメージプレースホルダーの置き換え
イメージプレースホルダーのプロパティの設定
Dreamweaver でのイメージの編集
ロールオーバーイメージの作成
外部イメージエディターの使用
イメージへのビヘイビアーの適用

イメージについて

ページの先頭へ

様々なグラフィックファイル形式がありますが、Web ページでは、一般に GIF、JPEG、および PNG の 3 つのファイル形式が使用されます。GIF および JPEG 形式が最もサポートされており、大半のブラウザーで表示できます。

GIF（**Graphic Interchange Format**） GIF ファイル形式は、最大 256 色を使用し、連続階調ではないイメージや、ナビゲーションバー、ボタン、アイコン、ロゴなどのカラーや階調を均一的に使用したイメージ、平板なカラーの領域を多く含むイメージの表示に最適です。

JPEG（**Joint Photographic Experts Group**） JPEG ファイル形式は、約 100 万色のカラー情報を保持できるため、写真や連続階調の画像などに最適です。JPEG ファイルの画質が高いほど、ファイルサイズは大きくなり、ダウンロード時間が長くなります。イメージの画質とファイルサイズのバランスを調整するには、JPEG ファイルを圧縮します。

PNG（**Portable Network Group**）形式 PNG ファイル形式は、GIF ファイルのパテントフリーな代替ファイル形式で、インデックスカラー、グレースケール、および True Color イメージや、透明度のアルファチャネルをサポートしています。PNG は、Adobe® Fireworks® のネイティブファイル形式です。PNG ファイルでは、オリジナルのレイヤー、ベクター、カラー、およびドロップシャドウなどの特殊効果の情報がすべて保持されます。さらに、イメージ内のすべてのエレメントが編集可能な状態で保持されます。Dreamweaver で PNG ファイルと認識されるファイルは、.png ファイル拡張子が付いたもののみです。

イメージの挿入

ページの先頭へ

Dreamweaver のドキュメントにイメージを挿入すると、HTML ソースコード内に、イメージファイルへの参照が生成されます。常に正しく参照されるようにするには、イメージファイルを現在のサイトに置く必要があります。Dreamweaver では、現在のサイトにイメージファイルがない場合、サイトにファイルをコピーするかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

イメージを動的に挿入することもできます。動的イメージとは、頻繁に変更されるイメージのことです。例えば、バナー広告の交替表示システムでは、バナーのリストから 1 つのバナーが無作為に選択され、ページが要求されると、選択したバナーのイメージが動的に表示されます。

イメージを挿入した後、目の不自由な方のためにスクリーンリーダーにより読み取ることができるイメージタグのアクセシビリティ属性を設定できます。この属性は、HTML コードで編集できます。

イメージを挿入する方法のチュートリアルについては、「イメージの追加」を参照してください。

1. ドキュメントウィンドウ内のイメージを表示する位置に挿入ポイントを置き、次のいずれかの操作を行います。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリ内で、イメージアイコン をクリックします。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリ内で「イメージ」ボタンをクリックし、イメージアイコンを選択します。挿入パネルに表示されているイメージアイコンを使用すると、アイコンをドキュメントウィンドウ（またはコードを扱っている場合はコードビューウィンドウ）にドラッグできます。
   - 挿入／イメージを選択します。
   - アセットパネル（ウィンドウ／アセット）からイメージをドラッグし、ドキュメントウィンドウ内の目的の場所に配置します。次に、手順 3 に進みます。
   - ファイルパネルからイメージをドラッグし、ドキュメントウィンドウ内の目的の場所に配置します。次に、手順 3 に進みます。
   - イメージをデスクトップからドキュメントウィンドウ上の目的の場所に配置します。次に、手順 3 に進みます。
2. ダイアログボックスが表示されたら、次のいずれかの操作を行います。
   - 「ファイルシステム」をクリックして、イメージファイルを選択します。

- 「データソース」を選択して、動的イメージソースを選択します。
- 「サイトとサーバー」ボタンをクリックして、いずれかの Dreamweaver サイトのリモートフォルダーからイメージファイルを選択します。

3. 挿入するイメージまたはコンテンツソースが保存された場所を参照し、目的のイメージソースを選択します。

   保存していないドキュメントで作業している場合、Dreamweaver はイメージファイルへの参照 "file://" を生成します。サイト内でドキュメントを保存すると、Dreamweaver はその参照をドキュメント相対パスに変換します。

   注意： イメージを挿入すると、リモートサーバーにあるイメージ（ローカルハードドライブにはないイメージ）の絶対パスを使用できます。作業中にパフォーマンスが低下する場合は、コマンド／外部ファイルを表示をオフにして、デザインビューでのイメージ表示を無効にできます。

4. 「OK」をクリックします。「環境設定」（編集／環境設定）でイメージタグのアクセシビリティ属性ダイアログボックスをアクティブにしている場合は、このダイアログボックスが表示されます。
5. 「代替テキスト」テキストボックスおよび「詳細（longdesc）」テキストボックスに値を入力して、「OK」をクリックします。
   - 「代替テキスト」ボックスに、イメージの名前または簡単な説明を入力します。スクリーンリーダーが、ここに入力した情報を読み上げます。入力文字数は 50 文字程度に制限します。説明が長い場合は、イメージについての詳細が記述されたファイルへのリンクを「詳細（longdesc）」テキストボックスに入力しておくことを検討してください。
   - 「詳細（longdesc）」ボックスには、Web ページのビジターがイメージをクリックしたときに表示されるファイルの場所を入力します。または、フォルダーアイコンをクリックして参照し、そのファイルを選択します。このテキストボックスでは、イメージに関連するファイル、またはイメージに関する詳細を記述したファイルへのリンクを指定します。

   注意： テキストボックスは、必要に応じて、一方のみまたは両方に入力できます。スクリーンリーダーは、イメージの代替属性を読み上げます。

   注意： *Dreamweaver* では、「キャンセル」をクリックするとイメージがドキュメント内に表示されますが、アクセシビリティタグや属性はこのイメージに関連付けられません。

6. プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）でイメージのプロパティを設定します。

イメージプロパティの設定

イメージプロパティインスペクターでイメージのプロパティを設定できます。イメージのプロパティが表示されない場合は、インスペクターの右下隅にある縮小の三角形をクリックします。

1. ウィンドウ／プロパティを選択することにより、選択したイメージのプロパティインスペクターを表示します。
2. サムネールイメージの下のテキストボックスを使用して、スワップイメージなどの Dreamweaver ビヘイビアーや、JavaScript、VBScript などのスクリプト言語を使用するときにイメージを参照できるような名前を入力します。
3. 必要に応じてイメージのオプションを設定します。

   幅および高さ イメージの幅と高さをピクセル単位で指定します。これらのテキストボックスは、ページにイメージを挿入するときに Dreamweaver により自動的に元のサイズに更新されます。

   実際のイメージの幅および高さに一致しない「幅」および「高さ」の値を設定すると、ブラウザーでイメージが正しく表示されないことがあります （元の値に戻すには、「幅」および「高さ」テキストボックスのラベルをクリックするか、これらのテキストボックスに新しい値を入力したときに右側に表示される「イメージを元のサイズに戻す」ボタンをクリックします）。

   注意： これらの値を変更してイメージのインスタンスの表示サイズを調整することはできますが、ダウンロード時間は短縮されません。これは、ブラウザーはイメージのデータをすべてダウンロードしてからイメージのサイズを調整するからです。ダウンロード時間を短縮し、イメージのすべてのインスタンスが同じサイズで表示されるようにするには、イメージ編集アプリケーションを使ってイメージを拡大/縮小します。

   ソース イメージのソースファイルを指定します。フォルダーアイコンをクリックして、参照してソースファイルを選択するか、パスを入力します。

   リンク イメージのハイパーリンクを指定します。ファイルの指定アイコンをファイルパネルのファイルにドラッグするか、フォルダーアイコンをクリックし、ローカルサイトのドキュメントを参照して選択するか、URL を手動で入力します。

   代替 テキスト専用ブラウザー、またはイメージを手動でダウンロードするように設定されたブラウザーの場合に、イメージの場所に表示される代用のテキストです。目の不自由な方がテキスト専用ブラウザーとスピーチシンセサイザを組み合わせて使用する場合には、テキストが読み上げられます。一部のブラウザーでは、ポインターをイメージの位置に置いたときにこのテキストが表示されます。

マップ名とホットスポットツール ラベルを付けてクライアントサイドイメージマップを作成できます。

ターゲット リンクされたページをロードするフレームまたはウィンドウを指定します。このオプションは、イメージが他のファイルにリンクされている場合にのみ使用できます。現在のフレームセットにあるすべてのフレームの名前がターゲットリストに表示されます。以下のターゲット名を選ぶこともできます。

- `_blank` は、リンクされたファイルを新規のブラウザーウィンドウにロードします。
- `_parent` は、リンクされたファイルを、リンクが含まれている親フレームセットまたはフレームのウィンドウにロードします。リンクを含むフレームがネストされていない場合は、リンクされているファイルは、ブラウザーウィンドウ全体にロードします。
- `_self` は、リンクされたファイルを、リンクと同じフレームまたはウィンドウにロードします。このターゲットは初期設定であるため、通常は指定する必要はありません。
- `_top` は、リンクされたファイルをブラウザーウィンドウ全体にロードして、すべてのフレームを削除します。

編集 環境設定／ファイルタイプエディターで指定したイメージエディターを起動して、選択イメージを開きます。

オリジナルから更新 Web イメージ（つまり Dreamweaver ページ上にあるイメージ）が元の Photoshop ファイルと一致していない場合、Dreamweaver によって元のファイルの更新が検知されると、スマートオブジェクトのアイコンの矢の部分が赤になります。デザインビューで Web イメージを選択して、プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンをクリックするとイメージが自動的に更新され、元の Phothoshop ファイルに加えられた変更が反映されます。

イメージの設定の編集 イメージの最適化ダイアログボックスを開いて、イメージを最適化します。

切り抜き 選択したイメージから不要な領域を削除してイメージのサイズをトリミングします。

リサンプリング サイズ変更したイメージをリサンプリングし、変更後のイメージのサイズや形に合わせて画質を向上させます。

明るさとコントラスト イメージの明るさとコントラストの設定を調整します。

シャープ イメージのシャープネスを調整します。

コード内でのイメージアクセシビリティ属性の編集

イメージのアクセシビリティ属性を挿入してあれば、HTML コードでこれらの属性値を編集できます。

1. ドキュメントウィンドウで、イメージを選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - コードビューで該当するイメージ属性を編集します。
   - 右クリックするか（Windows）、Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、「タグの編集」を選択します。
   - プロパティインスペクターの「代替」の値を変更します。

ページの先頭へ

イメージの視覚的なサイズ変更

Dreamweaver では、イメージ、プラグイン、Shockwave ファイル、SWF ファイル、アプレット、ActiveX コントロールなどのエレメントを、画面上で確認しながら視覚的にサイズ変更できます。

Dreamweaver でイメージを視覚的にサイズ変更することにより、イメージの大きさによってレイアウトがどのように変化するか確認できます。ただし、指定した比率にイメージファイルそのものが拡大/縮小されるわけではありません。Dreamweaver でイメージの見かけ上のサイズのみ変更し、イメージファイル自体のサイズをイメージ編集アプリケーション（Adobe Fireworks など）で拡大/縮小する操作をしない場合は、該当するページをロードする際にユーザーのブラウザー側でイメージの拡大/縮小処理が実行されます。このため、ページのダウンロード時間が長くなると共に、ユーザーのブラウザーにイメージが正しく表示されない可能性があります。ダウンロード時間を短縮し、イメージのすべてのインスタンスが同じサイズで表示されるようにするには、イメージ編集アプリケーションを使ってイメージを拡大/縮小します。

Dreamweaver でイメージのサイズを変更するとき、新しい寸法に収まるようにイメージをリサンプリングできます。リサンプリングでは、サイズ変更する JPEG および GIF イメージファイルに対しピクセルを追加または減らすことで、元のイメージの表示に可能な限り合わせることができます。イメージのリサンプリングを行うと、イメージのファイルサイズが縮小し、ダウンロードのパフォーマンスが向上します。

エレメントの視覚的なサイズ変更

1. ドキュメントウィンドウでエレメント（イメージまたは SWF ファイルなど）を選択します。

   エレメントの下部と右側、および右下隅にサイズ変更ハンドルが表示されます。サイズ変更ハンドルが表示されない場合は、エレメント以外の場所をクリックして選択解除してから、もう一度エレメントを選択するか、タグセレクターの該当するタグをクリックして選択します。

2. 以下のいずれかの操作を行って、エレメントのサイズを変更します。
   - エレメントの幅を調節するには、右辺の選択ハンドルをドラッグします。

- エレメントの高さを調節するには、下辺の選択ハンドルをドラッグします。
- エレメントの幅と高さを同時に調節するには、角の選択ハンドルをドラッグします。
- Shift キーを押しながら角の選択ハンドルをドラッグすると、縦横比（その幅：高さの比率）を保持したまま、エレメントのサイズを変更できます。
- エレメントの幅と高さを特定サイズ（例えば、1 x 1 ピクセル）に調整するには、プロパティインスペクターを使って数値を入力します。エレメントをドラッグ操作でサイズ変更する場合は、最小 8 x 8 ピクセルまで縮小できます。

3. 元のサイズに戻すには、プロパティインスペクターで「幅」および「高さ」テキストボックスの値を削除するか、イメージプロパティインスペクターで「サイズのリセット」ボタンをクリックします。

イメージを元のサイズに戻す

- イメージのプロパティインスペクターで「サイズのリセット」ボタン をクリックします。

サイズ変更したイメージのリサンプリング

1. 上記の手順で、イメージをサイズ変更します。
2. イメージのプロパティインスペクターで「リサンプリング」ボタン をクリックします。

   注意： ビットマップ以外のエレメントや、イメージプレースホルダーはリサンプリングできません。

ページの先頭へ

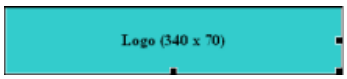
イメージプレースホルダーの挿入

イメージプレースホルダーは、最終的なイメージを Web ページに追加できるようになるまでの間使用するグラフィックです。プレースホルダーのサイズと色を設定し、さらにテキストラベルを付けることができます。

1. ドキュメントウィンドウ内のイメージプレースホルダーを挿入する位置に、挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／イメージオブジェクト／イメージプレースホルダーを選択します。
3. 「名前」（オプション）には、イメージプレースホルダーのラベルとして表示するテキストを入力します。ラベルを表示しない場合は、テキストボックスを空白のままにしてください。名前には、先頭を英字、先頭以下は英字と数字のみを使用できます。スペースや日本語は使用できません
4. 「幅」および「高さ」（必須）には、イメージサイズをピクセル単位で入力します。
5. 「カラー」（オプション）には、次のいずれかの操作を行ってカラーを適用します。
   - カラーピッカーを使用してカラーを選択します。
   - カラーの 16 進数値（例えば、#FF0000）を入力します。
   - Web 対応のカラー名（例えば、赤）を入力します。
6. 「代替テキスト」（オプション）に、テキスト専用ブラウザーを使用するビジター用の説明文を入力します。

   注意： 空の *src* 属性を含むイメージタグが自動的に *HTML* コードに挿入されます。
7. 「OK」をクリックします。

   プレースホルダーのカラー、サイズ属性、およびラベルは、以下のように表示されます。



ブラウザーに表示したときにはラベルおよびサイズテキストは表示されません。

ページの先頭へ

イメージプレースホルダーの置き換え

イメージプレースホルダーは、ブラウザーにイメージを表示しません。サイトをパブリッシュする前に、追加したイメージプレースホルダーを GIF や JPEG などの Web 対応イメージファイルに置き換える必要があります。

Fireworks を使用している場合は、Dreamweaver のイメージプレースホルダーから新しいグラフィックを作成できます。作成されるイメージは、プレースホルダーイメージと同じサイズに設定されます。イメージを編集してから、Dreamweaver で置き換えます。

1. ドキュメントウィンドウで、次のいずれかの操作を行います。
   - イメージプレースホルダーをダブルクリックします。
   - イメージプレースホルダーをクリックして選択し、プロパティインスペクター（ウィンドウ／プロパティ）の「ソース」テキストボックスの横にあるフォルダーアイコンをクリックします。

2. イメージソースダイアログボックスで、イメージプレースホルダーと置き換えるイメージに移動します。

ページの先頭へ

イメージプレースホルダーのプロパティの設定

イメージプレースホルダーのプロパティを設定するには、まずドキュメントウィンドウでプレースホルダーを選択します。次に、ウィンドウ／プロパティを選択し、プロパティインスペクターを表示します。すべてのプロパティを表示するには、右下隅にある縮小の三角形をクリックします。

プロパティインスペクターを使用して、プレースホルダーイメージの名前、幅、高さ、イメージソース、代替テキストの説明、整列、およびカラーを設定します。

プレースホルダーのプロパティインスペクターで灰色表示されているテキストボックスと「行揃え」テキストボックスは使用不可になっています。これらのプロパティは、プレースホルダーをイメージに置き換えるときに、プロパティインスペクターで設定できます。

- 次のいずれかのオプションを設定します。

  幅および高さ イメージプレースホールダーの幅と高さをピクセル単位で設定します。

  ソース イメージのソースファイルを指定します。プレースホルダーイメージの場合、このテキストボックスは空です。「参照」ボタンをクリックして、プレースホルダーグラフィックを置き換えるイメージを選択します。

  リンク イメージのハイパーリンクを指定します。ファイルの指定アイコンをファイルパネルのファイルにドラッグするか、フォルダーアイコンをクリックして参照し、ローカルサイトのドキュメントを選択するか、URL を入力します。

  代替 テキスト専用ブラウザー、またはイメージを手動でダウンロードするように設定されたブラウザーの場合に、イメージの場所に表示される代用のテキストです。目の不自由な方がテキスト専用ブラウザーとスピーチシンセサイザを組み合わせて使用する場合には、テキストが読み上げられます。一部のブラウザーでは、ポインターをイメージの位置に置いたときにこのテキストが表示されます。

  作成 Fireworks を起動して、代替イメージを作成します。「作成」ボタンは、Fireworks がコンピューターにインストールされていない場合は使用できません。

  オリジナルから更新 Web イメージ（つまり Dreamweaver ページ上にあるイメージ）が元の Photoshop ファイルと一致していない場合、Dreamweaver によって元のファイルの更新が検知されると、スマートオブジェクトのアイコンの矢の部分が赤になります。デザインビューで Web イメージを選択して、プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンをクリックするとイメージが自動的に更新され、元の Phothoshop ファイルに加えられた変更が反映されます。

  Color イメージプレースホルダーのカラーを指定します。

ページの先頭へ

Dreamweaver でのイメージの編集

Dreamweaver では、イメージのリサンプリング、切り抜き、最適化およびシャープ処理を実行できます。また、イメージの明るさとコントラストを調整することもできます。

イメージ編集機能

Dreamweaver には基本的なイメージ編集機能が用意されています。この機能を使用すると、Fireworks や Photoshop などの外部イメージ編集アプリケーションを使用せずに、イメージを修正できます。Dreamweaver のイメージ編集ツールを使用すると、Web サイトで使用するイメージファイルの作成を担当するコンテンツデザイナーとの共同作業が容易になります。

注意： *Dreamweaver* のイメージ編集機能は、*Fireworks* やその他のイメージ編集アプリケーションをコンピューターにインストールしていなくても利用できます。

- 修正／イメージを選択します。必要に応じて Dreamweaver の以下のイメージ編集機能を設定します。

  リサンプリング サイズ変更する JPEG および GIF イメージファイルに対しピクセルを追加または減らすことで、元のイメージの表示に可能な限り合わせることができます。イメージのリサンプリングを行うと、イメージのファイルサイズが縮小し、ダウンロードのパフォーマンスが向上します。

  Dreamweaver でイメージのサイズを変更するとき、新しい寸法に収まるようにイメージをリサンプリングできます。ビットマップオブジェクトのリサンプリングでは、イメージのサイズを大きくする場合はピクセル数を増やし、サイズを小さくする場合はピクセル数を減らします。高い解像度にイメージをリサンプリングした場合、通常、画像品質はほとんど低下しません。低い解像度にリサンプリングした場合は、データの損失が必ず生じ、通常、画質は低下します。

切り抜き イメージの領域を減らしてイメージを編集します。典型的な例では、イメージの主要部分を強調するためにイメージを切り抜き、その周囲にある不要な部分を削除します。

明るさとコントラスト イメージのピクセルのコントラストや明るさを修正できます。これは、イメージのハイライト部、シャドウ部、ハーフトーン部に影響を与えます。「明るさ/コントラスト」は通常、暗すぎたり明るすぎたりするイメージを修正する場合に使用します。

シャープ イメージのエッジのコントラストが明確になり、イメージの焦点を調整できます。イメージをスキャンする場合やデジタル写真を撮影する場合、大半のイメージキャプチャソフトウェアは、初期設定の処理でイメージのオブジェクトのエッジをソフトにします。これにより、きわめて微細な箇所からイメージを構成するピクセルが失われるのを防いでいます。その一方で、デジタルイメージファイルの細部を引き出すために、エッジのコントラストを上げてイメージをシャープにすることがしばしば必要になります。

注意： *Dreamweaver* のイメージ編集機能は、*JPEG*、*GIF* および *PNG* のイメージファイル形式にのみ適用されます。これらのイメージ編集機能を使用して、他の形式のビットマップイメージファイルを編集することはできません。

イメージの切り抜き

Dreamweaver では、ビットマップファイルイメージの切り抜き（トリミング）ができます。

注意： イメージを切り抜くと、ディスク上のソースイメージファイルも変更されます。このため、元のイメージに戻す場合に備えて、イメージファイルのバックアップコピーを保管することをお勧めします。

1. 切り抜くイメージを含むページを開いてイメージを選択し、以下のいずれかの操作を行います。
   - イメージのプロパティインスペクターで切り抜きツールアイコン
   - 修正／イメージ／切り抜きを選択します。
   - 選択したイメージを囲む切り抜きハンドルが表示されます。
2. 切り抜きハンドルを調節して、イメージの中で必要な領域を境界ボックスで囲みます。
3. 境界ボックスの内側でダブルクリックするか、Enter キーを押して選択範囲を切り抜きます。
4. 切り抜こうとしているイメージファイルがディスク上で変更されることを知らせるダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックします。選択しているビットマップで境界ボックスの外側にあるすべてのピクセルが削除されます。イメージ内の他のオブジェクトは保持されます。
5. イメージをプレビューして目的の表示になっているかを確認します。目的の表示と異なる場合は、編集／取り消し 切り抜きを選択し、元のイメージに戻します。

   注意： *Dreamweaver* を終了する前、または外部のイメージ編集アプリケーションでファイルが編集される前であれば、切り抜きコマンドの効果を取り消して元のイメージファイルに戻すことができます。

イメージの最適化

Dreamweaver から Web ページのイメージを最適化することができます。

1. 最適化するイメージを含むページを開いてイメージを選択し、以下のいずれかの操作を行います。
   - イメージのプロパティインスペクターで「イメージ設定の編集」ボタン をクリックします。
   - 修正／イメージ／最適化を選択します。
2. イメージの最適化ダイアログボックスで編集を行い、「OK」をクリックします。

イメージをシャープにする

シャープ機能を使用すると、オブジェクトの縁を囲むピクセル間のコントラストが上がり、高い鮮明度やシャープネスを持つイメージになります。

1. シャープにするイメージを含むページを開いてイメージを選択し、以下のいずれかの操作を行います。
   - イメージのプロパティインスペクターで「シャープ」ボタン をクリックします。
   - 修正／イメージ／シャープを選択します。
2. スライダーコントロールをドラッグするか、テキストボックスに 0 から 10 までの値を入力して、Dreamweaver でイメージをどの程度シャープにするか指定します。シャープダイアログボックスを使用してイメージのシャープネスを調整しながら、イメージの変化をプレビューできます。
3. イメージが適切に補正されたら、「OK」をクリックします。
4. ファイル／保存を選択して変更を保存します。イメージを変更する前の状態に戻すには、編集／編集／取り消し シャープを選択します。

   注意： イメージを含むページを保存する前であれば、シャープコマンドの効果を取り消して元のイメージファイルに戻すことができます。ページを保存すると、イメージの変更が保存され、元に戻せなくなります。

イメージの明るさとコントラストの調整

明るさとコントラスト機能を使用すると、イメージのピクセルのコントラストや明るさを修正できます。これは、イメージのハイライト部、シャドウ部、ハーフトーン部に影響を与えます。「明るさ/コントラスト」は通常、暗すぎたり明るすぎたりするイメージを修正する場合に使用します。

1. 調整するイメージを含むページを開いてイメージを選択し、以下のいずれかの操作を行います。
   - イメージのプロパティインスペクターで「明るさとコントラスト」ボタン をクリックします。
   - 修正／イメージ／明るさとコントラストを選択します。
2. 明るさスライダーおよびコントラストスライダーをドラッグして設定を調整します。値は -100 ～ +100 の範囲で入力します。
3. 「OK」をクリックします。

ページの先頭へ

ロールオーバーイメージの作成

ページにロールオーバーイメージを挿入することができます。ロールオーバーとは、ブラウザーで表示したときにポインターを置くと変化するイメージのことです。

ロールオーバーを作成するには、2 つのイメージが必要です。1 つ目は、ページを最初にロードしたときに表示されるイメージのプライマリイメージで、2 つ目は、ポインターをプライマリイメージ上に移動すると表示されるイメージのセカンダリイメージです。2 つのイメージは同じサイズにする必要があります。Dreamweaver では、ロールオーバーイメージのプロパティがプライマリイメージに一致するように調整されます。

ロールオーバーイメージは、`onMouseOver` イベントに反応するように自動的に設定されます。別のイベント（マウスクリックなど）に反応するようにイメージを設定したり、ロールオーバーイメージを変更したりできます。

1. ドキュメントウィンドウのロールオーバーを 表示したい場所に、挿入ポイントを置きます。
2. 以下のいずれかの方法でロールオーバーを挿入します。
   - 挿入パネルの「一般」カテゴリ内で「イメージ」ボタンをクリックし、ロールオーバーイメージアイコンを選択します。挿入パネルにロールオーバーイメージアイコンを表示して、そのアイコンをドキュメントウィンドウにドラッグします。
   - 挿入／イメージオブジェクト／ロールオーバーイメージを選択します。
3. オプションを設定して、「OK」をクリックします。

   イメージ名 ロールオーバーイメージの名前。

   元の画像 ページのロード時に表示するイメージ。テキストボックスにパスを入力するか、または「参照」をクリックしてイメージを選択します。

   ロールオーバーイメージ ポインターを元のイメージに合わせたときに表示するイメージ。パスを入力するか、または「参照」をクリックしてイメージを選択します。

   ロールオーバーイメージのプリロード ビジターがイメージにポインターを置いたときに遅延が発生しないようにブラウザーのキャッシュにイメージをプリロードします。

   代替テキスト （オプション）テキスト専用ブラウザーを使用するビジター用の説明文を入力します。

   クリック時に **URL** へ移動 ユーザーがロールオーバーイメージをクリックしたときに開くファイルです。パスを入力するか、または「参照」をクリックしてファイルを選択します。

   注意： イメージへのリンクを設定しないと、*Dreamweaver* では、ロールオーバービヘイビアーが添付されている *HTML* ソースコードにヌルリンク（#）が自動的に挿入されます。ヌルリンクを削除すると、ロールオーバーイメージは無効になります。

4. ファイル／ブラウザーでプレビューを選択するか、F12 キーを押します。
5. ブラウザーで、プライマリイメージ上にポインターを移動し、ロールオーバーイメージを表示します。

   注意： デザインビューではロールオーバーイメージの効果を見ることはできません。

ページの先頭へ

外部イメージエディターの使用

Dreamweaver で作業中に、選択したイメージを外部イメージエディターで開くことができます。外部イメージエディターでイメージファイルを保存し Dreamweaver に戻ると、編集内容を反映したイメージがドキュメントウィンドウに表示されます。

Fireworks をプライマリ外部エディターとして設定することができます。エディターで開くファイルタイプを設定することもできます。また、複数のイメージエディターを選択することもできます。例えば、GIF ファイルを編集する場合は Fireworks を起動し、JPG または JPEG ファイルを編集する場合は別のイメージエディターを起動するように環境設定を変更できます。

外部イメージエディターの起動

- 次のいずれかの操作を実行します。
  - 編集するイメージをダブルクリックします。

- 編集するイメージを右クリック（Windows）または Control キーを押しながらクリック（Mac OS）し、エディターを指定して編集／参照選択してエディターを選択します。
- 編集したいイメージを選択して、プロパティインスペクターで「編集」をクリックします。
- ファイルパネルでイメージファイルをダブルクリックし、プライマリイメージエディターを起動します。イメージエディターが指定されていない場合、Dreamweaver では、そのファイルタイプに対して初期設定されているエディターが起動します。

注意： ファイルパネルからイメージを開くと、*Fireworks* の統合機能を使用できません。したがって、*Fireworks* はオリジナルの *PNG* ファイルを開きません。*Fireworks* の統合機能を使うには、ドキュメントウィンドウからイメージを開きます。

Dreamweaver ウィンドウに戻ってもイメージが更新されない場合は、イメージを選択してプロパティインスペクターの「更新」ボタンをクリックしてください。

既存のファイルタイプに対する外部イメージエディターの設定

グラフィックファイルを開いて編集するためのイメージエディターを選択できます。

1. 次のいずれかの操作を実行して「ファイルタイプ/エディター」の環境設定ダイアログボックスを開きます。
   - 編集／環境設定 (Windows) または Dreamweaver／環境設定(Mac OS) を選択して、左にあるカテゴリリストの「ファイルタイプ/エディター」を選択します。
   - 編集／エディターを指定して編集 外部エディターを選択し、「ファイルタイプ/エディター」をクリックします。
2. 拡張子リストから、外部イメージエディターを設定するファイル拡張子を選択します。
3. エディターリストの上にある「+」ボタンをクリックします。
4. 外部エディターの選択ダイアログボックスで、選択したファイルタイプを編集するときに起動するアプリケーションの保存場所まで移動します。
5. そのアプリケーションをこのファイルタイプのプライマリエディターとして設定する場合は、環境設定ダイアログボックスの「プライマリエディターに設定」をクリックします。
6. このファイルタイプに、追加のエディターを設定する場合は、手順 3 〜 4 を繰り返します。

   Dreamweaver は、このタイプのイメージを編集するときに自動的にプライマリエディターを使います。ドキュメントウィンドウのイメージには、コンテキストメニューに一覧表示される他のエディターを選択できます。

拡張子リストへの新規ファイルタイプの追加

1. 次のいずれかの操作を実行して「ファイルタイプ/エディター」の環境設定ダイアログボックスを開きます。
   - 編集／環境設定 (Windows) または Dreamweaver／環境設定(Mac OS) を選択して、左にあるカテゴリリストの「ファイルタイプ/エディター」を選択します。
   - 編集／エディターを指定して編集 外部エディターを選択し、「ファイルタイプ/エディター」をクリックします。
2. 「ファイルタイプ/エディター」の環境設定ダイアログボックスで、拡張子リストの上の「+」をクリックします。

   テキストボックスが拡張子リスト内に表示されます。
3. 追加するファイルタイプのファイル拡張子を入力します。
4. 追加したファイルタイプで起動する外部エディターを設定するには、エディターリストの上の「+」ボタンをクリックします。
5. 表示されるダイアログボックスで、この種類のイメージファイルを編集するのに使用するアプリケーションを選択します。
6. このエディターをその種類のイメージのプライマリエディターにする場合は、「プライマリエディターに設定」をクリックします。

既存エディターの環境設定の変更

1. 次のいずれかの操作を実行して「ファイルタイプ/エディター」の環境設定ダイアログボックスを開きます。
   - 編集／環境設定 (Windows) または Dreamweaver／環境設定(Mac OS) を選択して、左にあるカテゴリリストの「ファイルタイプ/エディター」を選択します。
   - 編集／エディターを指定して編集 外部エディターを選択し、「ファイルタイプ/エディター」をクリックします。
2. 「 ファイルタイプ/エディター」の環境設定ダイアログボックスの拡張子リストで、既存のエディターを表示するために変更するファイルタイプを選択します。
3. 「エディター」リストで、起動するエディターを選択し、次のいずれかの操作を行います。
   - エディターリストの上の「+」または「–」ボタンをクリックし、エディターを追加または削除します。
   - 「プライマリエディターに設定」ボタンをクリックし、初期設定で起動する編集用エディターを変更します。

ページの先頭へ

イメージへのビヘイビアーの適用

イメージやイメージホットスポットに使用できるビヘイビアーを適用できます。ホットスポットにビヘイビアーを適用すると、Dreamweaver では `area` タグに HTML ソースコードが挿入されます。イメージに適用できるビヘイビアーは 3 種類あります。「プリロードイメージ」、「スワップイメージ」、「スワップイメージの復元」 の 3 つです。

イメージのプリロード すぐにはページに表示されないイメージ（ビヘイビアー、AP エレメント、JavaScript とスワップされるイメージなど）をブラウザーキャッシュにロードします。これにより、ダウンロード時にイメージの表示が遅れるのを防ぐことができます。

スワップイメージ SRC 属性（`img` タグの）を変更して、イメージを別のイメージとスワップさせます。このアクションを使用して、ボタンロールオーバー、その他のイメージ効果（複数のイメージを同時にスワップさせることなど）を作成します。

スワップイメージの復元 最後にスワップされた一式のイメージが前のソースファイルに戻ります。このアクションは、初期設定では、「スワップイメージ」アクションをオブジェクトに割り当てると、自動的に追加されます。これを手動で選択する必要はありません

ビヘイビアーを使用すると、ジャンプメニューのような、さらに洗練されたナビゲーションシステムを作成できます。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Photoshop と Dreamweaver の使用

Photoshop の統合について
スマートオブジェクトおよび **Photoshop** と **Dreamweaver** 間の連携ワークフローについて
スマートオブジェクトの作成
スマートオブジェクトの更新
複数のスマートオブジェクトの更新
スマートオブジェクトのサイズ変更
スマートオブジェクトの元の **Photoshop** ファイルの編集
スマートオブジェクトの状態
Photoshop から選択範囲をコピー＆ペースト
ペーストしたイメージの編集
イメージの最適化ダイアログボックスオプションの設定

Photoshop の統合について

ページの先頭へ

Photoshop イメージファイル（PSD 形式）は、Dreamweaver の Web ページに挿入し、Dreamweaver で Web 対応のイメージファイル（GIF、JPEG、および PNG 形式）として最適化できます。この場合、Dreamweaver ではイメージがスマートオブジェクトとして挿入され、元の PSD ファイルへのライブ接続が保持されます。

マルチレイヤーまたはマルチスライス Photoshop イメージの全体またはその一部を、Dreamweaver の Web ページにペーストすることもできます。ただし、Photoshop からコピー＆ペーストする場合は、元のファイルへのライブ接続は保持されません。イメージを更新するには、Photoshop で変更を行って再度コピー＆ペーストする必要があります。

注意： この統合機能をよく使用する場合は、*Photoshop* ファイルを *Dreamweaver* サイトに格納すると、簡単にアクセスできるようになります。*Dreamweaver* サイトに格納する場合は、*Photoshop* ファイルをクロークして元のアセットが公開されないようにすると共に、ローカルサイトとリモートサーバーの間に不要な転送が発生しないようにします。

Dreamweaver と Photoshop の統合に関するチュートリアルについては、「Dreamweaver と Photoshop の統合」を参照してください。

スマートオブジェクトおよび Photoshop と Dreamweaver 間の連携ワークフローについて

ページの先頭へ

Photoshop ファイルを Dreamweaver で扱う方法は、主にコピー＆ペーストワークフローとスマートオブジェクトワークフローの 2 種類があります。

コピー＆ペーストワークフロー

Photoshop ファイルのスライスまたはレイヤーを選択してコピーし、Dreamweaver にペーストするとそれらを Web 対応の画像として挿入できます。ただし、画像を更新したい場合は、元の Photoshop ファイルを開いて編集し、再度スライスまたはレイヤーをクリップボードにコピーしてから、Dreamweaver にペーストする必要があります。このワークフローは、Photoshop ファイルの一部だけ（例えば、デザインカンプの 1 セクション）を 1 つの画像として Web ページに掲載したい場合にのみ、お勧めします。

スマートオブジェクトワークフロー

Photoshop ファイルの一部ではなく全体を扱う場合は、スマートオブジェクトワークフローが適しています。Dreamweaver に挿入されたスマートオブジェクトは、Web ページに配置される画像アセットとして扱われ、元の Photoshop（PSD）ファイルにリンクしています。Dreamweaver のデザインビューでは、スマートオブジェクトは画像の左上部にアイコンが表示されます。

スマートオブジェクト

Web 画像（つまり Dreamweaver ページ上にある画像）が元の Photoshop ファイルと一致していない場合、Dreamweaver によって元のファイルの更新が検知されると、スマートオブジェクトのアイコンの矢の部分が赤になります。デザインビューで Web 画像を選択して、プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンをクリックすると画像が自動的に更新され、元の Phothoshop 画像に加えられた変更が反映されます。

スマートオブジェクトワークフローを使用すると、Web 画像の更新のために Photoshop を開く必要がありません。 さらに、Dreamweaver 上でスマートオブジェクトに加えた更新内容も失われません。 つまり、元の Photoshop 画像をそのままに保ったまま、Web バージョンの画像に変更を加えることができます。

また、デザインビューで画像を選択しなくてもスマートオブジェクトを更新することもできます。アセットパネルを使用して、選択できない画像（例えば、CSS の背景画像）を含めたすべてのスマートオブジェクトを更新できます。

イメージの最適化設定

コピー＆ペーストワークフローおよびスマートオブジェクトワークフローのどちらの場合でも、イメージの最適化ダイアログボックスでイメージの最適化設定を指定できます。このダイアログボックスでは、ファイル形式や画質を指定できます。スライスまたはレイヤーを Dreamweaver に最初にコピーしたとき、または Photoshop ファイルをスマートオブジェクトとして最初に挿入したときに、このダイアログボックスが表示されるので、Web イメージの作成が簡単に行えます。

特定のスライスまたはレイヤーの更新をコピー＆ペーストした場合、Dreamweaver によって以前の設定が記憶されているので、その設定を使用して Web 画像が再作成されます。同様に、プロパティインスペクターを使用してスマートオブジェクトを更新したときにも、最初に画像を挿入した際と同じ設定が使用されます。デザインビューで Web イメージを選択してプロパティインスペクターの「イメージ設定の編集」ボタンをクリックするといつでも画像の設定を変更できます。

Photoshop ファイルの保存

Web 画像を挿入し、元の Photoshop 画像を Dreamweaver サイトに保存しなかった場合、Dreamweaver は元ファイルがあるパスを絶対参照のローカルパスとして認識します （コピー＆ペーストワークフローおよびスマートオブジェクトワークフローどちらの場合も同じです）。例えば、Dreamweaver サイトのパスが「C:¥Sites¥mySite」で、Photoshop ファイルの保存されている場所が「C:¥Images¥Photoshop」だった場合、Dreamweaver では元のアセットが「mySite」という名前のサイトの一部とはみなされません。Dreamweaver は特定のローカルのハードドライブ上にあるファイルしか認識しないために、Photoshop ファイルを他のチームメンバーと共有するときなどに問題となることがあります。

Photoshop ファイルをサイト内に保存しておくと、Dreamweaver ではサイトと相対的なパスを確立します。サイトにアクセスできるユーザーなら、ファイルへの正しいパスを確立することができ、 それらの元ファイルをダウンロードすることもできるようになります。

Photoshop を使用したラウンドトリップ編集に関するビデオチュートリアルについては、「Photoshop によるラウンドトリップ編集」を参照してください。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトの作成

Photoshop イメージ（PSD ファイル）をページに挿入すると、スマートオブジェクトが作成されます。スマートオブジェクトは、元の Photoshop イメージとのライブ接続を保持する Web 対応イメージです。Photoshop で元のイメージを更新するたびに、ボタンのクリックによって Dreamweaver のイメージを更新するかどうかを選択できます。

1. Dreamweaver（デザインビューまたはコードビュー）で、イメージを挿入するページ上の場所に挿入ポイントを置きます。
2. 挿入／イメージを選択します。

   Photoshop ファイルを *Web* サイトに格納する場合は、ファイルパネルからページに *PSD* ファイルをドラッグすることもできます。その場合は、次の手順をスキップしてください。

3. 「参照」ボタンをクリックしてイメージソースの選択ダイアログボックスで Photoshop PSD イメージファイルを参照し、そのファイルに移動します。

4. 表示されるイメージの最適化ダイアログボックスで、必要に応じて最適化設定を調整して「OK」をクリックします。
5. Web 対応イメージファイルを、Web サイトのルートフォルダー内に保存します。

Dreamweaver では、選択された最適化設定に基づいてスマートオブジェクトが作成され、Web 対応バージョンのイメージがページ上に挿入されます。スマートオブジェクトは、元のイメージへのライブ接続を保持し、両方のイメージが同期していない場合には通知を行います。

注意： ページに配置されたイメージの最適化設定を後で変更する場合は、イメージを選択し、プロパティインスペクターの「イメージ設定の編集」ボタンをクリックして、イメージの最適化ダイアログボックスで変更を行います。イメージの最適化ダイアログボックスで行った変更は、非破壊的に適用されます。*Dreamweaver* では、元の *Photoshop* ファイルが変更されず、常に元のデータに基づく *Web* イメージが再作成されます。

Photoshop を使用したラウンドトリップ編集に関するビデオチュートリアルについては、「Photoshop によるラウンドトリップ編集」を参照してください。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトの更新

スマートオブジェクトがリンクされている Photoshop ファイルを変更すると、Web 対応イメージが元のイメージと同期していないことが通知されます。Dreamweaver では、スマートオブジェクトはイメージの左上隅のアイコンで示されます。Dreamweaver の Web 対応イメージが元の Photoshop ファイルと同期している場合は、アイコンの両方の矢印が緑色で表示されます。Web 対応イメージが元の Photoshop ファイルと同期しなくなると、アイコンの一方の矢印が赤になります。

- スマートオブジェクトを更新して元の Photoshop ファイルの最新の内容を反映するには、ドキュメントウィンドウでスマートオブジェクトを選択し、プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンをクリックします。

注意： *Photoshop* がインストールされていなくても *Dreamweaver* から更新を行うことができます。

ページの先頭へ

複数のスマートオブジェクトの更新

アセットパネルを使用して、複数のスマートオブジェクトを一括して更新できます。アセットパネルでは、ドキュメントウィンドウでは選択できないスマートオブジェクト（CSS 背景イメージなど）を表示することもできます。

1. ファイルパネルで、「アセット」タブをクリックしてサイトのアセットを表示します。
2. イメージビューが選択されていることを確認します。イメージビューが選択されていない場合は、「イメージ」ボタンをクリックします。
3. アセットパネルで各イメージアセットを選択します。スマートオブジェクトを選択すると、イメージの左上隅にスマートオブジェクトアイコンが表示されます。このアイコンは、通常のイメージには表示されません。
4. 更新するスマートオブジェクトごとに、ファイル名を右クリックして「オリジナルから更新」を選択します。Ctrl キーを押しながら複数のファイル名をクリックして選択することにより、複数のスマートオブジェクトを一括して更新することもできます。

注意： *Photoshop* がインストールされていなくても *Dreamweaver* から更新を行うことができます。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトのサイズ変更

他のイメージと同じように、ドキュメントウィンドウでスマートオブジェクトのサイズを変更できます。

1. ドキュメントウィンドウでスマートオブジェクトを選択し、サイズ変更ハンドルをドラッグしてイメージのサイズを変更します。Shift キーを押しながらドラッグすると、縦横比を維持してサイズを変更できます。
2. プロパティインスペクターで「オリジナルから更新」ボタンをクリックします。

   スマートオブジェクトを更新すると、元のファイルの最新の内容と元の最適化設定に基づいて、Web イメージが新しいサイズで非破壊的に再描画されます。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトの元の Photoshop ファイルの編集

スマートオブジェクトを Dreamweaver ページに作成した後で、元の PSD ファイルを Photoshop で編集することができます。Photoshop で変更を行った後で、Dreamweaver で簡単に Web イメージを更新できます。

注意： *Photoshop* がプライマリ外部エディターとして設定されていることを確認します。

1. ドキュメントウィンドウでスマートオブジェクトを選択します。
2. プロパティインスペクターの、「編集」ボタンをクリックします。
3. Photoshop で変更を行い、新しい PSD ファイルとして保存します。
4. Dreamweaver で、再度スマートオブジェクトを選択し、「オリジナルから更新」ボタンをクリックします。

注意： *Photoshop* でイメージのサイズを変更した場合は、*Dreamweaver* で *Web* イメージのサイズを再設定する必要があります。*Dreamweaver*

では、元の *Photoshop* ファイルの内容（サイズではなく）に基づいてスマートオブジェクトが更新されます。*Web* イメージのサイズと元の *Photoshop* ファイルのサイズを同期させるには、イメージを右クリックして「サイズをオリジナルにリセット」を選択します。

ページの先頭へ

スマートオブジェクトの状態

次の表は、スマートオブジェクトの様々な状態の一覧です。

スマートオブジェクトの状態	説明	推奨される操作
イメージが同期されている	Web イメージが元の Photoshop ファイルの最新の内容と同期しています。HTML コードの幅と高さは Web イメージのサイズと一致します。	なし
元のアセットが変更された	Dreamweaver での Web イメージの作成後に、元の Photoshop ファイルが変更されています。	2 つのイメージを同期させるには、プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンを使用します。
Web イメージのサイズが、選択された HTML の幅および高さと異なる	HTML コードの幅と高さが、Dreamweaver で作成して挿入した時点の Web イメージの幅と高さと異なります。Web イメージのサイズ、選択された HTML の幅と高さの値より小さい場合は、Web イメージがピクセレートされた画像になる場合があります。	プロパティインスペクターの「オリジナルから更新」ボタンを使用して、元の Photoshop ファイルから Web イメージを再作成します。Dreamweaver では、現在指定されている HTML の幅と高さを使用してイメージが再作成されます。
元のアセットのサイズが選択された HTML の幅と高さに比べて小さすぎる	HTML コードの幅と高さが、元の Photoshop ファイルの幅と高さの寸法より大きくなっています。Web イメージがピクセレートされた画像になります。	作成する Web イメージのサイズは、元の Photoshop ファイルのサイズを超えないようにします。
元のアセットが見つからない	プロパティインスペクターの「オリジナル」テキストボックスに指定された元の Photoshop ファイルが見つかりません。	プロパティインスペクターの「オリジナル」テキストボックスのファイルパスを修正するか、現在指定されている場所に Photoshop ファイルを移動します。

ページの先頭へ

Photoshop から選択範囲をコピー＆ペースト

Photoshop イメージ全体またはその一部をコピーし、Web 対応イメージとして Dreamweaver ページにペーストできます。イメージの選択された領域の単一のレイヤーまたはレイヤーのセットをコピーできます。または、イメージのスライスをコピーできます。ただし、コピーした場合はスマートオブジェクトが作成されません。

注意： ペーストしたイメージに対しては「オリジナルから更新」機能を使用できませんが、ペーストしたイメージを選択してプロパティインスペクターの「編集」ボタンをクリックすると、元の *Photoshop* ファイルを開いて編集することができます。

1. Photoshop で、次のいずれかの操作を行います。
   - 単一レイヤーの全体または一部をコピーするには、選択ツールでコピーする部分を選択し、編集／コピーを選択します。この方法では、選択した領域のアクティブなレイヤーのみがクリップボードにコピーされます。レイヤーベースの効果を使用している場合、それらの効果はコピーされません。
   - 複数のレイヤーをコピーして結合するには、選択ツールでコピーする部分を選択し、編集／結合部分をコピーを選択します。この方法では、選択した領域にあるすべてのアクティブなレイヤーと下位のレイヤーが結合され、クリップボードにコピーされます。これらのレイヤーのいずれかに関連付けられたレイヤーベースの効果を使用している場合、それらの効果もコピーされます。
   - スライスをコピーするには、スライス選択ツールでスライスを選択し、編集／コピーを選択します。この方法では、スライスのすべてのアクティブな下位レイヤーが結合され、クリップボードにコピーされます。

     選択／すべてを選択すると、すべてのイメージをすばやく選択してコピーできます。
2. Dreamweaver（デザインビューまたはコードビュー）で、イメージを挿入するページ上の場所に挿入ポイントを置きます。
3. 編集／ペーストを選択します。
4. イメージの最適化ダイアログボックスで、必要に応じて最適化設定を調整し、「OK」をクリックします。
5. Web 対応イメージファイルを、Web サイトのルートフォルダー内に保存します。

Dreamweaver では、最適化設定に従ってイメージが定義され、Web 対応イメージがページに配置されます。元の PSD ソースファイルの格納場所などのイメージに関する情報は、デザインノートがサイトに対して有効になっているかどうかに関係なく、デザインノートに保存されます。デザ

インノートを使用すると、Dreamweaver から元の Photoshop ファイルに戻ってファイルを編集できます。

ペーストしたイメージの編集

ページの先頭へ

Photoshop イメージを Dreamweaver ページにペーストした後で、元の PSD ファイルを Photoshop で編集することができます。コピー＆ペーストを使用する場合は、Web 対応イメージではなく元の PSD ファイルを常に編集して再ペーストすることにより、ソースを一元化することをお勧めします。

注意： 編集するファイルタイプのプライマリ外部エディターとして *Photoshop* が設定されていることを確認してください。

1. Dreamweaver で、Photoshop で作成された Web 対応イメージを選択し、次のいずれかの操作を行います。
   - イメージのプロパティインスペクターで「編集」ボタンをクリックします。
   - Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac OS）を押しながら、ファイルをダブルクリックします。
   - 目的のイメージを右クリックするか（Windows）または Control キーを押しながらクリックし（Mac OS）、コンテキストメニューの「オリジナルの編集に使用」を選択し、「Photoshop」を選択します。

   注意： この操作を実行するには、*Photoshop* を *PSD* イメージファイル用のプライマリ外部イメージエディターとして設定する必要があります。また、*Photoshop* を *JPEG*、*GIF*、および *PNG* の各ファイルタイプ用の初期設定のエディターとして設定することもできます。
2. Photoshop でファイルを編集します。
3. Dreamweaver に戻り、更新されたイメージまたは選択範囲をページ内にペーストします。

必要に応じてイメージを再最適化する場合は、イメージを選択し、プロパティインスペクターの「イメージ設定の編集」ボタンをクリックします。

イメージの最適化ダイアログボックスオプションの設定

ページの先頭へ

スマートオブジェクトを作成する場合や Photoshop から選択範囲をペーストする場合は、Dreamweaver にイメージの最適化ダイアログボックスが表示されます。他の種類のイメージを選択してプロパティインスペクターの「イメージ設定の編集の編集」ボタンをクリックした場合にも、このダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、適切な色、圧縮率、画質の組み合わせを使用して Web 対応イメージの設定を定義してプレビューすることができます。

Web 対応イメージは、最新のすべての Web ブラウザーでの表示が可能で、ユーザーが使用するどのシステムやブラウザーでも同じように表示されます。通常、画質を上げるとファイルサイズが大きくなり、画質を下げるとファイルサイズが小さくなります。

注意： 選択した設定はいずれも、読み込むイメージファイルにのみ影響します。元の *Photoshop PSD* または *Fireworks PNG* ファイルは一切変更されません。

プリセット 要件に最適なプリセットを選択します。イメージのファイルサイズは、選択したプリセットに基づいて変わります。設定が適用されたイメージの概略が背景で表示されます。

例えば、高い明瞭度で表示する必要のあるイメージの場合は、「PNG24 - 写真用 (シャープな詳細)」を選択します。ページの背景として機能するパターンを挿入する場合は、「GIF - 背景画像用 (パターン)」を選択します。

プリセットを選択すると、プリセットに構成できるオプションが表示されます。最適化設定を詳しくカスタマイズするときは、これらのオプションの値を変更します。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver と Business Catalyst の統合

Business Catalyst アドオンのインストール
Business Catalyst の仮サイトを作成
Business Catalyst サイトの読み込み
ファイルの管理
モジュール、データ、またはスニペットの挿入
Business Catalyst オブジェクトのプロパティの編集

Business Catalyst は、オンラインビジネスを構築し管理するためのホストされたアプリケーションです。この統合プラットフォームを使用して、バックエンドコーディングなしで Web サイトから高機能のオンラインストアまで、あらゆるものを構築できます。

Dreamweaver と Business Catalyst の統合により、Business Catalyst サイトを Dreamweaver で作成および更新できるようになりました。Business Catalyst サイトの作成を完了すると、Business Catalyst サーバーに接続できます。Business Catalyst サーバーから提供されるファイルやテンプレートをサイトの構築に使用できます。

ページの先頭へ

Business Catalyst アドオンのインストール

Dreamweaver 内から Business Catalyst サイトの作成または編集を開始する前に、Business Catalyst アドオンをインストールする必要があります。

アドオンをインストールするには、ウィンドウ／アドオンを参照に移動します。Adobe Creative Cloud アドオンページが表示されます。Business Catalyst アドオンを検索し、画面の指示に従ってアドオンをインストールします。

重要：アドオンをインストールする前に、*Adobe Creative Cloud* アカウントのファイル同期を有効にしたことを確認します。詳しくは、「*Adobe Creative Cloud のファイル同期を使用可能にする*」を参照してください。

ページの先頭へ

Business Catalyst の仮サイトを作成

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「新規 Business Catalyst サイト」をクリックします。
3. 自身の Adobe ID 資格情報でサインインします。
4. 誕生日を入力し、「更新」をクリックします。
5. 仮サイトを作成ダイアログでサイトの詳細を入力し、「無料の仮サイトを作成」をクリックします。

   注意： サイトを作成した後、*Business Catalyst* アカウントの詳細に関する電子メールが届きます。電子メールには、開始にあたって必要な情報、作成したサイトの *URL*、管理サイトの *URL* などのサイト情報が記載されています。
6. コンピューター上でローカルサイトのフォルダーを選択します。

   注意： 「キャンセル」をクリックするとサイトは *Business Catalyst* で作成されますが、*Dreamweaver* には表示されません。*Business Catalyst* サイトの作成時にネットワークの問題が生じた場合にも同様の現象が起こります。
7. 自分の Adobe ID に関連付けられたパスワードを入力します。
8. ファイル操作が完了したら、「完了」をクリックします。
9. ウィンドウ／ファイルを選択します。作成したサイトのローカルビューが表示されます。
10. メニューから「リモートサーバー」を選択します。
11. 自分のパスワードに関連付けられた Adobe ID を入力します。

    リモートサーバーのファイル構造が表示されます。

ページの先頭へ

Business Catalyst サイトの読み込み

以前に Business Catalyst 拡張機能を使用して作成したサイトの移行について詳しくは、「Business Catalyst サイトの Dreamweaver CS6 への移行」を参照してください。

1. サイト／サイトの管理を選択します。
2. 「Business Catalyst サイトの読み込み」をクリックします。作成した Business Catalyst サイトの一覧と Adobe ID が表示されます。
3. サイトを選択し、「サイトの読み込み」をクリックします。
4. 読み込むサイトのコンピューター上の格納場所を指定します。
5. 自分の Adobe ID に関連付けられたパスワードを入力します。
6. ファイル操作が完了したら、「完了」をクリックします。

ページの先頭へ

ファイルの管理

Business Catalyst は Web ホスティング サービスでもあるため、Dreamweaver を使用してローカルサイトファイルまたはリモートサイトファイルを管理できます。詳しくは、次のトピックを参照してください。

- ファイルとフォルダーの管理
- サーバーからのファイルの取得とサーバーへのファイルの送信
- ファイルのチェックインとチェックアウト

ページの先頭へ

モジュール、データ、またはスニペットの挿入

1. Business Catalyst パネルを開くには、ウィンドウ／Business Catalyst を選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   - Business Catalyst モジュールを挿入するには、「モジュール」タブを選択します。
   - タグを挿入するには、「データ」タブを選択します。タグは、Layouts/Affiliate/ フォルダー内の affiliate.html ページなどのタグをサポートするファイルを編集する場合に表示されます。
3. モジュールを展開し、ファイルに追加するモジュールをクリックします。
4. 必要な情報を入力し、「挿入」をクリックします。
5. 現在のサイトで新しいレンダリングエンジンを使用している場合、「スニペット」タブが表示されます。「スニペット」タブのオプションを使用して、リピート領域、条件領域、コメントセクションなどのコードの抜粋を追加およびインクルード（サーバーサイドインクルードと同様の操作）できます。
6. Web ブラウザーで表示される形式でページをプレビューするには、「ライブ」をクリックします。

ページの先頭へ

Business Catalyst オブジェクトのプロパティの編集

Web ページの他のオブジェクトを編集する場合と同様に、プロパティインスペクターを使用して、Business Catalyst モジュールのオブジェクトのプロパティを編集することができます。

プロパティを編集するためのオプションが表示されない場合は、ファイルを編集する権限があるかどうかを確認してください。オンライン管理 Web サイト以外では編集できないモジュールもあります。

(cc) BY-NC-SR Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Javascript

JavaScript ビヘイビアーの使用（基本操作）

JavaScript ビヘイビアーについて
ビヘイビアーパネルの概要
イベントについて
ビヘイビアーの適用
ビヘイビアーの変更または削除
ビヘイビアーの更新
サードパーティのビヘイビアーのダウンロードおよびインストール

JavaScript ビヘイビアーについて

トップへ戻る

Adobe® Dreamweaver® ビヘイビアーを使用して JavaScript コードをドキュメントに配置すると、ビジターが Web ページを多様に変更したり、特定のタスクを開始したりできます。ビヘイビアーとは、イベントと、そのイベントが実行するアクションの組み合わせです。ビヘイビアーは、ビヘイビアーパネルでアクションとそのアクションを実行するイベントを指定することによってページに追加します。

注意： ビヘイビアーコードは、クライアントサイドの JavaScript コードです。つまり、サーバーではなく、ブラウザーで実行されます。

イベントとは、ページを訪れたビジターが何らかの操作を実行したことを示す、ブラウザーで生成される事実上のメッセージのことです。例えば、ビジターがリンク上にポインターを移動すると、そのリンクに対してブラウザー側で onMouseOver イベントが生成され、さらにその応答として、表示中のページに指定されている何らかの JavaScript コードを呼び出す必要があるかどうかが確認されます。ページエレメントが異なると定義されるイベントも異なります。例えば、ほとんどのブラウザーで、onMouseOver と onClick は、リンクに関連付けられているイベントですが、onLoad は、イメージ、およびドキュメントの body セクションに関連付けられているイベントです。

アクションは、ブラウザーウィンドウを開く、AP エレメントの表示と非表示を切り替える、サウンドを再生する、Adobe Shockwave ムービーを停止するなどの特定のタスクを実行する、事前に記述された JavaScript コードです。Dreamweaver に用意されているアクションは、異種ブラウザー間で最大の互換性を実現できるように設計されています。

ビヘイビアーをページエレメントに関連付けると、そのエレメントに対するイベントが発生するたびに、そのイベントに関連付けられているアクション（JavaScript コード）がビヘイビアーによって呼び出されます。ただし、指定したアクションを実行するために使用できるイベントは、ブラウザーによって異なります。例えば、リンクに「ポップアップメッセージ」アクションを関連付けて、onMouseOver イベントにより実行されることを指定すると、ポインターがリンク上に配置されるたびにメッセージがポップアップします。

1 つのイベントで複数の異なるアクションを実行することができます。また、アクションの発生順を指定することができます。

Dreamweaver には、約 24 個のアクションが用意されています。それ以外のアクションは、Exchange の Web サイト（www.adobe.com/go/dreamweaver_exchange_jp）およびサードパーティデベロッパーのサイトで確認きます。JavaScript に精通していれば、独自のアクションを記述できます。

注意： ビヘイビアーとアクションは Dreamweaver の用語であり、HTML の用語ではありません。ブラウザー側からは、アクションは他の JavaScript コードと同じように見えます。

ビヘイビアーパネルの概要

トップへ戻る

ビヘイビアーパネル（ウィンドウ／ビヘイビアー）では、ビヘイビアーをページエレメント（具体的にはタグ）に関連付けたり、以前に関連付けたビヘイビアーのパラメーターを変更したりできます。

現在選択されているページエレメントに既に関連付けられているビヘイビアーは、ビヘイビアーパネルの主要領域のビヘイビアーリストに、イベントごとにアルファベット順に表示されます。同じイベントに対して複数のアクションが表示されている場合、アクションは、リスト内の表示順に実行されます。ビヘイビアーリストにビヘイビアーが表示されない場合は、現在選択されているエレメントに関連付けられているビヘイビアーはありません。

ビヘイビアーパネルには、次のオプションがあります。

イベント設定の表示 現在のドキュメントに関連付けられているイベントのみ表示されます。イベントは、クライアントサイドとサーバーサイドのいずれかのカテゴリに編成されています。各カテゴリのイベントは折りたたみ式のリストに含まれています。「イベント設定の表示」が初期設定の表示です。

すべてのイベントを表示 指定したカテゴリのすべてのイベントがアルファベット順で表示されます。

ビヘイビアーの追加（+） 現在選択されているエレメントに関連付けることができるアクションのメニューが表示されます。このリストからアクションを選択すると、ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、アクションのパラメーターを指定することができます。すべてのアクションが淡色表示されている場合は、選択したエレメントによって生成できるイベントはありません。

イベントの削除（–） 選択したイベントとアクションがビヘイビアーリストから削除されます。

上矢印ボタンと下矢印ボタン 特定のイベントに対するビヘイビアーリスト内で、選択したアクションが上または下に移動します。アクションの順序は、イベント別にのみ変更できます。例えば、onLoad イベントに対して発生するアクションの順序を変更できます。ただし、onLoad のすべて

のアクションはビヘイビアーリスト内に留まります。矢印ボタンは、リストで上または下に移動できないアクションに対しては使用できません。
イベント そのアクションを実行できるすべてのイベントがポップアップメニューに表示されます。このメニューは、イベントが選択されていないときには表示されません。選択されているイベント名の隣の矢印ボタンをクリックすると表示されます。表示されるイベントは、選択したオブジェクトによって異なります。目的のイベントが表示されない場合は、選択したページエレメントまたはタグが正しいかどうかを確認してください。特定のタグを選択するには、ドキュメントウィンドウの左下隅にあるタグセレクターを使用します。
注意： カッコに囲まれたイベント名は、リンクのみに使用できます。これらのイベント名の 1 つを選択すると、選択したページエレメントにヌルリンクが自動的に追加され、エレメントではなくリンクにビヘイビアーが関連付けられます。ヌルリンクは、HTML コードでは、href="javascript:;" と記述されます。

トップへ戻る

イベントについて

各ブラウザーにはイベント群が用意されており、これらのイベントは、ビヘイビアーパネルのアクション（+）メニューに一覧表示されるアクションに関連付けることができます。Web ページのビジターが、ページでイメージをクリックするなどのインタラクティブな操作を行うと、ブラウザーによってイベントが生成されます。これらのイベントは、アクションを実行する JavaScript 関数を呼び出すために使用できます。Dreamweaver には、これらのイベントを使用して実行できる一般的なアクションが多数用意されています。

各ブラウザーがサポートしているイベントの名前と説明については、Dreamweaver サポートセンター（www.adobe.com/go/dreamweaver_support_jp）を参照してください。

イベントメニューに表示されるイベントは、選択したオブジェクトによって異なります。指定したブラウザーのページエレメントでサポートされるイベントを確認するには、ドキュメントにページエレメントを挿入してビヘイビアーを 1 つ関連付けてから、ビヘイビアーパネルのイベントメニューを確認します。初期設定では、イベントは HTML 4.01 イベントリストから抽出され、それらは最新のブラウザーのほとんどでサポートされています。イベントは、関連するオブジェクトがページに存在しない場合、または選択したオブジェクトがイベントを受け取れない場合は、無効（淡色表示）になっていることがあります。目的のイベントが表示されない場合は、選択したオブジェクトが正しいかどうかを確認してください。

ビヘイビアーをイメージに関連付ける場合に、onMouseOver など一部のイベントがカッコに囲まれて表示されます。これらのイベントはリンクでのみ使用できます。Dreamweaver では、これらのイベントの 1 つを選択すると、イメージが <a> タグで囲まれ、無効なリンクが定義されます。無効なリンクは、プロパティインスペクターの「リンク」テキストボックスで、javascript:; と表されます。リンク値を変更して、ヌルリンクを、別のページへの実際のリンクに変換することができます。ただし、JavaScript リンクを別のリンクに置き換えずに削除すると、ビヘイビアーが削除されます。

指定したブラウザーの特定のイベントで使用できるタグを確認するには、Dreamweaver の ¥Configuration¥Behaviors¥Events フォルダーに保存されているファイルの中から該当するイベントを検索してください。

トップへ戻る

ビヘイビアーの適用

ビヘイビアーはドキュメント全体（つまり、<body> タグ）、リンク、イメージ、フォームエレメント、およびその他一部の HTML エレメントに関連付けることができます。

選択するターゲットブラウザーによって、特定のエレメントに対してサポートされるイベントが決定します。

各イベントに対して、複数のアクションを指定することができます。アクションは、ビヘイビアーパネルの「アクション」列に表示されている順序で発生します。ただし、この順序は変更することができます。

1. ページ上で、イメージまたはリンクなどのエレメントを選択します。

   ビヘイビアーをページ全体に関連付けるには、ドキュメントウィンドウの左下にあるタグセレクターで <body> タグをクリックします。

2. ウィンドウ／ビヘイビアーを選択します。
3. 「+」ボタンをクリックして、ビヘイビアーの追加メニューでアクションを選択します。

   メニューで淡色表示になっているアクションは選択できません。淡色表示になっている原因として、必要なオブジェクトが現在のドキュメントに存在しないことが考えられます。例えば、ドキュメントに Shockwave または SWF ファイルがない場合は、「Shockwave および SWF のコントロール」アクションが淡色表示になります。

   アクションを選択すると、そのアクションのパラメーターと使い方の説明を示すダイアログボックスが表示されます。

4. アクションのパラメーターを入力して、「OK」をクリックします。
   Dreamweaver に用意されているアクションはすべて、最新のブラウザーで動作します。一部のアクションは古いブラウザーでは動作しませんが、エラーの原因にはなりません。
   注意： ターゲットエレメントには一意の ID が必要です。例えば、イメージに「スワップイメージ」ビヘイビアーを適用する場合、そのイメージには ID が必要です。エレメントに ID が指定されていない場合、Dreamweaver により自動的に指定されます。
5. アクションを実行する初期設定のイベントは、「イベント」列に表示されます。これが必要なトリガーイベントでない場合は、イベントポップアップメニューで別のイベントを選択します。イベントメニューを開くには、ビヘイビアーパネルでイベントまたはアクションを選択して、イベント名とアクション名の間に表示される下向きの黒い矢印をクリックします。

トップへ戻る

ビヘイビアーの変更または削除

ビヘイビアーを関連付けると、アクションを実行するイベントの変更、アクションの追加または削除、およびアクションのパラメーターの変更が

できます。

1. ビヘイビアーが関連付けられているオブジェクトを選択します。
2. ウィンドウ／ビヘイビアーを選択します。
3. 変更を加えます。
   - アクションのパラメーターを編集するには、アクション名をダブルクリックするか、アクションを選択して Enter キー（Windows）または Return キー（Mac OS）を押します。さらに、ダイアログボックスでパラメーターを変更して、「OK」をクリックします。
   - 特定のイベントに対するアクションの順序を変更するには、アクションを選択して、上矢印または下矢印をクリックします。または、アクションを選択して、そのアクションを他のアクション間の目的の場所にカット＆ペーストすることもできます。
   - ビヘイビアーを削除するには、そのビヘイビアーを選択して「-」ボタンをクリックするか、Delete キーを押します。

トップへ戻る

ビヘイビアーの更新

1. ビヘイビアーが関連付けられているエレメントを選択します。
2. ウィンドウ／ビヘイビアーを選択し、ビヘイビアーをダブルクリックします。
3. ビヘイビアーのダイアログボックスで変更を行い、「OK」をクリックします。

   このページのこのビヘイビアーのすべてのオカレンスが更新されます。サイトの他のページにそのビヘイビアーがある場合は、ページごとに更新する必要があります。

トップへ戻る

サードパーティのビヘイビアーのダウンロードおよびインストール

Exchange for Dreamweaver の Web サイト（www.adobe.com/go/dreamweaver_exchange_jp）では、多くの拡張機能が提供されています。

1. ウィンドウ／ビヘイビアーを選択し、ビヘイビアーの追加メニューから「ビヘイビアーの追加」を選択します。

   プライマリブラウザーが開き、Exchange のサイトが表示されます。
2. パッケージを参照または検索します。
3. 必要な拡張機能パッケージをダウンロードおよびインストールします。

詳しくは、Dreamweaver CS6、12.1 および 12.2 での拡張機能の使用を参照してください。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

JavaScript に組み込まれているビヘイビアーの適用

組み込みビヘイビアーの使用
「JavaScript の呼出し」ビヘイビアーの適用
「プロパティの変更」ビヘイビアーを適用します。
「チェックブラウザー」ビヘイビアーの適用
「プラグインのチェック」ビヘイビアーの適用
「Shockwave および SWF のコントロール」ビヘイビアーの適用
「AP エレメントをドラッグ」ビヘイビアーの適用
ドラッグ可能な AP エレメントについての情報収集
「URL に移動」ビヘイビアーの適用
「ジャンプメニュー」ビヘイビアーの適用
「ジャンプメニュー移動」ビヘイビアーの適用
「ブラウザーウィンドウを開く」ビヘイビアーの適用
「サウンドの再生」ビヘイビアーの適用
「ポップアップメッセージ」ビヘイビアーの適用
「イメージのプリロード」ビヘイビアーの適用
「ナビゲーションバーイメージの設定」ビヘイビアーの適用
「フレームテキストを設定」ビヘイビアーの適用
「コンテナのテキストを設定」ビヘイビアーの適用
「ステータスバーテキストを設定」ビヘイビアーの適用
「テキストフィールドのテキストを設定」ビヘイビアーの適用
「エレメントの表示 - 非表示」ビヘイビアーの適用
「ポップアップメニューを表示」ビヘイビアーの適用
ポップアップメニュー項目の追加、削除、並べ替え
ポップアップメニューのフォーマット
ドキュメントでのポップアップメニューの位置の設定
ポップアップメニューの変更
「スワップイメージ」ビヘイビアーの適用
「検査フォーム」ビヘイビアーの適用

組み込みビヘイビアーの使用

トップへ戻る

Dreamweaver に搭載されているビヘイビアーは、最新のブラウザーで動作するように記述されています。古いブラウザーでは、ビヘイビアーはエラーを報告せずに終了します。

注意： Dreamweaver のアクションは、できるだけ多くのブラウザーで動作するように慎重に記述されています。Dreamweaver のアクションから手動でコードを削除したり、そのコードをユーザー独自のコードに置き換えると、ブラウザー間の互換性がなくなる可能性があります。

Dreamweaver のアクションは異種ブラウザー間での互換性を最大化するように記述されていますが、ブラウザーの一部には JavaScript をまったくサポートしないものもあり、またブラウザーの JavaScript 機能をオフにして Web を参照するユーザーもたくさんいます。異種プラットフォーム間で最善の結果を得るには、JavaScript を使用しないユーザーもサイトを使用できるように、<noscript> タグで囲んだ代替インターフェイスを用意します。

「JavaScript の呼出し」ビヘイビアーの適用

トップへ戻る

「JavaScript の呼出し」ビヘイビアーでは、イベントの発生時に JavaScript コードのカスタム関数または行が実行されます。ユーザーが独自のスクリプトを記述することができます。また、Web から無償で入手できる様々な JavaScript ライブラリのコードを使用することもできます。

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「JavaScript の呼出し」を選択します。
2. 実行する JavaScript を正確に入力するか、関数名を入力します。

   例えば、「戻る」ボタンを作成するには、「if (history.length > 0){history.back()}」と入力します。コードを関数内にカプセル化した場合は、関数名だけ（例えば hGoBack()）を入力します。
3. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

「プロパティの変更」ビヘイビアーを適用します。

トップへ戻る

「プロパティの変更」ビヘイビアーを使用して、オブジェクトのプロパティの 1 つの値（div の背景色やフォームのアクションなど）変更します。

注意： このビヘイビアーは、HTML および JavaScript に精通している場合に限り使用してください。

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「プロパティの変更」を選択します。
2. エレメントのタイプメニューからエレメントタイプを選択し、そのタイプの名前の付いたエレメントをすべて表示します。
3. エレメントの ID メニューからエレメントを選択します。
4. プロパティメニューでプロパティを選択するか、テキストボックスにプロパティ名を入力します。
5. 「新規の値」フィールドに新規プロパティの新規の値を入力します。
6. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「チェックブラウザー」ビヘイビアーの適用

このビヘイビアーは Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

「プラグインのチェック」ビヘイビアーの適用

「プラグインのチェック」ビヘイビアーを使用して、指定したプラグインがインストールされているかどうかに応じて、ビジターを異なるページに進ませます。例えば、Shockwave をインストール済みのビジターをあるページに進ませ、Shockwave をインストールしていないビジターを別のページに進ませることができます。

注意： JavaScript を使用して Internet Explorer で特定のプラグインを検出することはできません。ただし、Flash または Director を選択すると、ページに適切な VBScript コードが追加されるので、これらのプラグインを Windows の Internet Explorer で検出することができます。プラグインの検出は、Mac OS の Internet Explorer では実行できません。

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「プラグインのチェック」を選択します。
2. プラグインメニューでプラグインを選択するか、「入力」をクリックして、隣のテキストボックスにプラグインの正確な名前を入力します。

   Netscape Navigator の「Plug-ins について」のページに太字で明記されているように、プラグインの正確な名前を使用する必要があります（Windows では、Navigator のヘルプメニューから「Plug-ins について」コマンドを選択し、Mac OS では、Apple メニューの「Plug-ins について」を選択します）。
3. 「URL」テキストボックスで、プラグインをインストールしているビジター用の URL を指定します。

   リモート URL を指定する場合は、アドレスの先頭に「http://」を付ける必要があります。フィールドを空白のままにすると、同じページに留まります。
4. 「代替 URL」テキストボックスで、プラグインをインストールしていないビジター用の代替 URL を指定します。フィールドを空白のままにすると、同じページに留まります。
5. プラグインを検出できない場合の動作を指定します。初期設定では、検出を実行できない場合、ビジターは「代替 URL」テキストボックスに表示されている URL に進みます。また、ビジターを最初の URL（「URL」フィールドに指定した URL）に進ませるには、「ActiveX が使用可能な場合、最初の URL に移動してください。」オプションを選択します。このオプションを選択すると、事実上このオプションは、「プラグインの不存在をブラウザーが明示的に示さない限り、ビジターがプラグインをインストールしているものと想定する」という意味になります。一般的に、プラグインコンテンツがページに必須の場合は、このオプションを選択し、必須でない場合は、このオプションの選択を解除します。
   注意： このオプションは、Internet Explorer のみに適用されます。Netscape Navigator では常にプラグインを検出できます。
6. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「Shockwave および SWF のコントロール」ビヘイビアーの適用

このビヘイビアーは Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

「AP エレメントをドラッグ」ビヘイビアーの適用

「AP エレメントをドラッグ」ビヘイビアーを使用すると、ビジターは絶対位置（AP）のエレメントをドラッグできます。このビヘイビアーを使用して、パズル、スライダーコントロール、その他の移動可能なインターフェイスエレメントを作成します。

ビジターが AP エレメントをドラッグできる方向（水平、垂直、任意）、ビジターが AP エレメントをドラッグするターゲット、AP エレメントがターゲットから特定のピクセル数以内になったときの AP エレメントのターゲットへの吸着の有無、AP エレメントがターゲットをヒットしたときのアクション、その他を指定することができます。

「AP エレメントをドラッグ」ビヘイビアーは、ビジターが AP エレメントをドラッグする前に呼び出す必要があるので、「AP エレメントをドラッグ」を body オブジェクト（onLoad イベントとともに）に関連付けます。

1. 挿入／レイアウトオブジェクト／絶対位置の Div を選択するか、挿入パネルの「絶対位置の Div を描画」ボタンをクリックして、ドキュメントウィンドウのデザインビューで絶対位置の Div を描きます。
2. ドキュメントウィンドウの左下隅にあるセレクターで <body> をクリックします。
3. ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから、「AP エレメントをドラッグ」を選択します。

「AP エレメントをドラッグ」を使用できない場合は、AP エレメントが選択されている可能性があります。

4. AP エレメントポップアップメニューで、AP エレメントを選択します。
5. モーションポップアップメニューで、「制限あり」または「制限なし」のいずれかを選択します。

   制限のないモーションは、パズル、その他のドラッグ＆ドロップゲームに適しています。スライダーコントロールと、ファイルの引き出し、カーテン、ミニブラインドのような動く景色には、制限のあるモーションを選択します。
6. 制限のあるモーションの場合、「上」、「下」、「左」、「右」テキストボックスに値（ピクセル単位）を入力します。

   値は、AP エレメントの開始位置を基準にしています。四角形領域内にモーションを制限するには、4 つのテキストボックスすべてに正の値を入力します。垂直方向のモーションだけを可能にするには、「上」と「下」に正の値を入力して、「左」と「右」には「0」と入力します。水平方向のモーションだけを可能にするには、「左」と「右」に正の値を入力して、「上」と「下」には「0」と入力します。
7. 「左」と「上」のテキストボックスに、ドロップターゲット用の値（ピクセル単位）を入力します。

   ドロップターゲットは、ビジターに AP エレメントをドラッグさせたいスポットです。AP エレメントは、左と上の座標が「左」と「上」テキストボックスに入力した値と合致したとき、ドロップターゲットに達したとみなされます。値は、ブラウザーウィンドウの左上隅を基準にしています。「現在位置の表示」をクリックすると、テキストボックスに AP エレメントの現在の位置が自動的に入力されます。
8. 「吸着」テキストボックスに値（ピクセル単位）を入力して、ビジターがどれだけドロップターゲットに近づいてから AP エレメントをターゲットに吸着させるかを指定します。

   この値が大きいほど、ビジターはドロップターゲットを見つけやすくなります。
9. 簡単なパズルと景色の操作の場合、これで作業を終えることができます。AP エレメント用にドラッグハンドルを定義したり、ドラッグされているときに AP エレメントのモーションの後を追ったり、AP エレメントがドロップされたときにアクションを実行したりするには、「詳細設定」タブをクリックします。
10. AP エレメントの特定の領域をクリックしないとその AP エレメントをドラッグできないように指定するには、ドラッグハンドルメニューで、「エレメント内の領域」を選択して、ドラッグハンドルの上と左の座標、および幅と高さを入力します。

    このオプションは、AP エレメント内部のイメージに、タイトルバーや描画ハンドルのように、ドラッグを示唆するエレメントが含まれているときに使うと便利です。ビジターが AP エレメントのどこをクリックしてもドラッグできるようにする場合は、このオプションを設定しません。
11. 使用する「ドラッグ中」オプションを次の中から選択します。
    - ドラッグ中に重ね順の最上部に AP エレメントを移動する必要がある場合は、「エレメントを前面に移動」を選択します。このオプションを選択した場合、ポップアップメニューで、AP エレメントを最上部に置いておくか、重ね順の元の位置に戻すかを選択します。
    - JavaScript コードまたは関数名（例えば、monitorAPelement()）を「JavaScript の呼出し」ボックスに入力して、AP エレメントのドラッグ中にコードまたは関数を繰り返し実行します。例えば、AP エレメントの座標を監視して、「目標に近づいています」または「ドロップターゲットから見当はずれの位置です」などのヒントをテキストボックスに表示する関数を記述することができます。
12. JavaScript コードまたは関数名（例えば、evaluatePelementPos()）を 2 番目の「JavaScript の呼出し」ボックスに入力して、AP エレメントがドロップされるときにコードまたは関数を実行します。AP エレメントがドロップターゲットに達したときにだけ JavaScript が実行されるようにするには、「スナップした場合のみ」オプションを選択します。
13. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

ドラッグ可能な AP エレメントについての情報収集

AP エレメントをドラッグするビヘイビアーをオブジェクトに関連付けると、Dreamweaver により MM_dragLayer() 関数がドキュメントの head セクションに挿入されます。関数は、AP エレメントの古い命名規則（つまり「Layer」）を保持するため、以前のバージョンの Dreamweaver で作成されたレイヤーは編集可能なまま保持されます。AP エレメントをドラッグ可能として登録するだけでなく、この関数は、各ドラッグ可能 AP エレメントに MM_LEFTRIGHT、MM_UPDOWN、および MM_SNAPPED の 3 つのプロパティを定義します。これらのプロパティは、AP エレメントの相対水平位置、AP エレメントの相対垂直位置、および AP エレメントがドロップターゲットに達したかどうかを判別するために、独自の JavaScript 関数で使用することができます。

注意： ここで提供している情報は、経験のある JavaScript プログラマーのみを対象として提供しています。
例えば、以下の関数は、MM_UPDOWN プロパティ（AP エレメントの現在の垂直位置）の値を curPosField というフォームフィールドに表示します。「フォーム」フィールドは、ページのロード終了後もコンテンツを変更できるので、継続的に更新される情報を表示するのに役立ちます。

```
function getPos(layerId){
    var layerRef = document.getElementById(layerId);
    var curVertPos = layerRef.MM_UPDOWN;
    document.tracking.curPosField.value = curVertPos;
}
```

フォームフィールドに MM_UPDOWN や MM_LEFTRIGHT の値を表示する代わりに、これらの値を他の様々な方法で使用することができます。例えば、値がどれだけドロップ領域に近いかに応じてメッセージをフォームフィールドに表示する関数を記述したり、値に応じて AP エレメントの表示と非表示を切り替える別の関数を呼び出したりできます。

複数の AP エレメントがページ上にあり、ビジターが次のページまたはタスクに進む前に、その AP エレメントすべてがターゲットに達する必要の

ある場合に、MM_SNAPPED プロパティの読み取りを行うと特に便利です。例えば、true の MM_SNAPPED 値をもつ AP エレメントの数を数える関数を記述し、AP エレメントがドロップされるつどこれを呼び出すことができます。吸着数が必要な数に達したときに、ビジターを次のページに進ませたり、祝辞メッセージを表示したりできます。

トップへ戻る

「URL に移動」ビヘイビアーの適用

「URL に移動」ビヘイビアーは、現在のウィンドウまたは指定したフレームで新規ページを開きます。このビヘイビアーは、2 つ以上のフレームのコンテンツを 1 回クリックするだけで変更する場合に便利です。

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「URL に移動」を選択します。
2. 開くロケーションリストから URL の移動先を選択します。

   開くロケーションリストには、現在のフレームセットのフレームすべての名前とメインウィンドウが自動的に一覧表示されます。フレームがない場合は、メインウィンドウが唯一のオプションです。

   注意： このビヘイビアーでは、フレームに top、blank、self、または parent という名前が付けられている場合、不測の結果を生じる場合があります。ブラウザーが、これらの名前を予約ターゲット名と間違う場合があるからです。
3. 「参照」をクリックして開くドキュメントを選択するか、「URL」テキストボックスにドキュメントのパスとファイル名を入力します。
4. 手順 2 と 3 を繰り返して、他のフレームの追加のドキュメントを開きます。
5. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「ジャンプメニュー」ビヘイビアーの適用

挿入／フォーム／ジャンプメニューを使用してジャンプメニューを作成すると、Dreamweaver により、メニューオブジェクトが作成され、「ジャンプメニュー」ビヘイビアーまたは「ジャンプメニュー移動」ビヘイビアーがそのメニューオブジェクトに関連付けられます。通常、「ジャンプメニュー」ビヘイビアーをオブジェクトに手動で関連付ける必要はありません。

既存のジャンプメニューを次の 2 つの方法のいずれかを使用して編集できます。

- ビヘイビアーパネルで既存の「ジャンプメニュー」ビヘイビアーをダブルクリックすると、メニュー項目の編集と再配置、ジャンプ先のファイルの変更、およびジャンプ先のファイルを開くウィンドウの変更を実行できます。
- ジャンプメニューを選択して、プロパティインスペクターの「リスト値」ボタンを使用すると、あらゆるメニューで項目を編集するのと同じように、ジャンプメニューで項目を編集できます。

1. ドキュメントにジャンプメニューオブジェクトがまだない場合は、それを作成します。
2. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「ジャンプメニュー」を選択します。
3. ジャンプメニューダイアログボックスで必要に応じて変更を加えて、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

「ジャンプメニュー移動」ビヘイビアーの適用

「ジャンプメニュー移動」ビヘイビアーは、「ジャンプメニュー」ビヘイビアーと大きく関連しています。「ジャンプメニュー移動」によって、「移動」ボタンをジャンプメニューに関連付けることができます。このビヘイビアーを使用する前に、ドキュメントにジャンプメニューが既に存在している必要があります。「移動」ボタンをクリックすると、ジャンプメニューで選択したリンクが開きます。通常、ジャンプメニューに「移動」ボタンは必要ありません。ジャンプメニューから項目を選択すると、通常はそれ以上ユーザーが操作することなく、URL がロードされます。ただし、ビジターがジャンプメニューで既に選択されているのと同じ項目を選択すると、ジャンプは生じません。一般的に、この場合にジャンプが生じなくても問題はありません。ただし、ジャンプメニューが 1 つのフレームに表示され、ジャンプメニューの項目が他のフレームのページにリンクしている場合に、ビジターがジャンプメニューで既に選択されている項目を再度選択できるようにするには、「移動」ボタンが便利です。

注意： ジャンプメニューで「移動」ボタンを使用する場合、メニューの選択内容に関連付けられた URL にユーザーをジャンプさせるメカニズムは、「移動」ボタンだけになります。ジャンプメニューでメニュー項目を選択しても、ユーザーが別のページまたはフレームに自動的にリダイレクトされることはなくなります。

1. 「移動」ボタン（通常はボタンイメージ）として使用するオブジェクトを選択して、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューからジャンプメニュー移動メニューを選択します。
2. ジャンプメニューを選択メニューで、「移動」ボタンでアクティブにするメニューを選択し、「OK」をクリックします。

トップへ戻る

「ブラウザーウィンドウを開く」ビヘイビアーの適用

「ブラウザーウィンドウを開く」ビヘイビアーを使用して、新規ウィンドウでページを開きます。サイズ、属性（サイズ変更可能かどうか、メニューバーがあるかなど）、名前などの新規ウィンドウのプロパティを指定できます。例えば、このビヘイビアーを使用して、ビジターがサムネールイメージをクリックしたときに別のウィンドウでより大きなイメージを開くことができます。また、このビヘイビアーを使用して、新規ウィンドウをイメージとちょうど同じサイズにすることができます。

ウィンドウに属性を指定しない場合、ウィンドウは、そのウィンドウを開いたウィンドウのサイズおよび属性を使用して開かれます。ウィンドウに属性を指定すると、明示的にオンにされていない他のすべての属性が自動的にオフになります。例えば、ウィンドウに属性を設定しない場合に、1024 × 768 ピクセルのウィンドウが、ナビゲーションバー（「戻る」、「次」、「ホーム」、「再読み込み」の各ボタンを表示）、ロケー

ションツールバー（URL を表示）、ステータスバー（下部にステータスメッセージを表示）、およびメニューバー（「ファイル」、「編集」、「表示」およびその他のメニューを表示）が表示された状態で開かれるとします。幅を 640、高さを 480 に明示的に設定し、他の属性は設定しない場合、640 × 480 ピクセルのウィンドウが、ツールバーが表示されない状態で開かれます。

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「ブラウザーウィンドウを開く」を選択します。
2. 「参照」をクリックしてファイルを選択するか、表示する URL を入力します。
3. ウィンドウの幅と高さ（ピクセル単位）のオプションと、様々なツールバー、スクロールバー、サイズ変更ハンドルなどに関するオプションを設定します。ウィンドウをリンクのターゲットにしたり、JavaScript を使用してウィンドウを制御したりするには、スペースまたは特殊文字を使用せずに、そのウィンドウに名前を付ける必要があります。
4. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「サウンドの再生」ビヘイビアーの適用

このビヘイビアーは Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

「ポップアップメッセージ」ビヘイビアーの適用

「ポップアップメッセージ」ビヘイビアーを設定すると、指定したメッセージを示す JavaScript 警告が表示されます。JavaScript 警告には「OK」ボタンしかないため、このビヘイビアーは、ユーザーに対して選択肢を与えるためではなく、情報を提供するために使用します。

有効な JavaScript の関数呼び出し、プロパティ、グローバル変数、その他の式をテキストに埋め込むことができます。JavaScript 式を埋め込む場合は、波カッコ（{}）で囲みます。波カッコを表示するには、前にバックスラッシュを付けます（\{）。

例：

```
The URL for this page is {window.location}, and today is {new Date()}.
```

注意： 警告の外観はブラウザーによって制御されます。外観をより細かく制御するには、「ブラウザーウィンドウを開く」ビヘイビアーの使用をお勧めします。

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「ポップアップメッセージ」を選択します。
2. 「メッセージ」テキストボックスにメッセージを入力します。
3. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「イメージのプリロード」ビヘイビアーの適用

「プリロードイメージ」ビヘイビアーでは、ページが最初に表示されるときに表示されないイメージ（例えば、ビヘイビアーまたはスクリプトでスワップされるイメージ）をキャッシュに保存することにより、表示にかかる時間を短縮します。

注意： 「スワップイメージ」ビヘイビアーを使用し、スワップイメージダイアログボックスで「プリロードイメージ」オプションを選択すると、ハイライト表示されたイメージがすべて自動的にプリロードされます。そのため、「スワップイメージ」を使用する場合は、「プリロードイメージ」を手動で追加する必要はありません。

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「プリロードイメージ」を選択します。
2. 「参照」をクリックしてイメージファイルを選択するか、「イメージソースファイル」テキストボックスにイメージのパスとファイル名を入力します。
3. ダイアログボックスの最上部にある「+」ボタンをクリックして、イメージのプリロードリストにイメージを追加します。
4. 現在のページでプリロードする残りのイメージすべてに対して、手順 2 と 3 を繰り返します。
5. イメージのプリロードリストからイメージを削除するには、削除するイメージを選択して、「-」ボタンをクリックします。
6. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「ナビゲーションバーイメージの設定」ビヘイビアーの適用

このビヘイビアーは Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

「フレームテキストを設定」ビヘイビアーの適用

「フレームテキストを設定」ビヘイビアーを使用すると、フレームテキストを動的に設定できるので、フレームのコンテンツとフォーマットを、指定するコンテンツに置き換えることができます。コンテンツには、有効な HTML コードを含めることができます。このビヘイビアーを使用して、情報を動的に表示します。

「フレームテキストを設定」ビヘイビアーによってフレームのフォーマットが置き換わりますが、「背景色の固定」を選択すると、ページの背景色とテキストカラーの属性を維持することができます。

有効な JavaScript の関数呼び出し、プロパティ、グローバル変数、その他の式をテキストに埋め込むことができます。JavaScript 式を埋め込む場

合は、波カッコ（{}）で囲みます。波カッコを表示するには、前にバックスラッシュを付けます（\{）。

例：

```
The URL for this page is {window.location}, and today is {new Date()}.
```

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューからテキスト設定／フレームテキストを設定を選択します。
2. フレームテキストを設定ダイアログボックスのフレームメニューから、ターゲットフレームを選択します。
3. 「現在の HTML を取得」ボタンをクリックして、ターゲットフレームの body セクションの現在のコンテンツをコピーします。
4. 「新規 HTML」テキストボックスにメッセージを入力します。
5. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「コンテナのテキストを設定」ビヘイビアーの適用

「コンテナのテキストを設定」ビヘイビアーを使用すると、ページの既存のコンテナのコンテンツとフォーマット（つまり、テキストまたはその他のエレメントを含めることができる任意のエレメント）が、指定するコンテンツに置き換わります。コンテンツには、有効な HTML ソースコードを含めることができます。

有効な JavaScript の関数呼び出し、プロパティ、グローバル変数、その他の式をテキストに埋め込むことができます。JavaScript 式を埋め込む場合は、波カッコ（{}）で囲みます。波カッコを表示するには、前にバックスラッシュを付けます（\{）。

例：

```
The URL for this page is {window.location}, and today is {new Date()}.
```

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューからテキスト設定／コンテナのテキストを設定を選択します。
2. コンテナのテキストを設定ダイアログボックスのコンテナメニューを使用して、ターゲットエレメントを選択します。
3. 「新規 HTML」テキストボックスに新規テキストまたは HTML を入力します。
4. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「ステータスバーテキストを設定」ビヘイビアーの適用

「ステータスバーテキストを設定」ビヘイビアーを使用すると、ブラウザーウィンドウの左下隅のステータスバーにメッセージが表示されます。例えば、このビヘイビアーを使用すると、リンクに関連付けられている URL を表示する代わりに、ステータスバーにリンク先を記述できます。ビジターは通常、ステータスバーのメッセージを無視または見逃します。また、すべてのブラウザーが、ステータスバーのテキストの設定をフルサポートしているとは限りません。メッセージが重要な場合は、ポップアップメッセージまたは AP エレメントのテキストとして表示することをお勧めします。

注意： Dreamweaver で「ステータスバーテキストを設定」ビヘイビアーを使用する場合、一部のブラウザーでは、ステータスバーのテキストを変更するときに特別な調整が必要なため、ブラウザーのステータスバーのテキストが変更されるという保証はありません。例えば、Firefox では「詳細オプション」を変更して、JavaScript でステータスバーのテキストを変更する必要があります。詳しくは、ご使用のブラウザーのマニュアルを参照してください。
有効な JavaScript の関数呼び出し、プロパティ、グローバル変数、その他の式をテキストに埋め込むことができます。JavaScript 式を埋め込む場合は、波カッコ（{}）で囲みます。波カッコを表示するには、前にバックスラッシュを付けます（\{）。

例：

```
The URL for this page is {window.location}, and today is {new Date()}.
```

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューからテキスト設定／ステータスバーテキストを設定を選択します。
2. ステータスバーテキストを設定ダイアログボックスの「メッセージ」ボックスにメッセージを入力します。

   メッセージは簡潔にします。ステータスバーに収まらないメッセージは切り捨てられます。
3. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「テキストフィールドのテキストを設定」ビヘイビアーの適用

「テキストフィールドのテキストを設定」ビヘイビアーを使用すると、フォームのテキストフィールドのコンテンツが、指定するコンテンツに置き換わります。

有効な JavaScript の関数呼び出し、プロパティ、グローバル変数、その他の式をテキストに埋め込むことができます。JavaScript 式を埋め込む場合は、波カッコ（{}）で囲みます。波カッコを表示するには、前にバックスラッシュを付けます（\{）。

例：

```
The URL for this page is {window.location}, and today is {new Date()}.
```

名前の付いたテキストフィールドの作成

1. 挿入／フォーム／テキストフィールドを選択します。

   Dreamweaver から form タグを追加するようプロンプトが表示されたら、「はい」をクリックします。

2. プロパティインスペクターで、テキストフィールドの名前を入力します。名前がページ上で固有であることを確認します。同じページ上では、たとえフォームが異なっても、複数のエレメントに同じ名前を使用しないでください。

「テキストフィールドのテキストを設定」の適用

1. テキストフィールドを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューからテキスト設定／テキストフィールドのテキストを設定を選択します。
2. テキストフィールドメニューからターゲットテキストフィールドを選択し、新しいテキストを入力します。
3. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「エレメントの表示 - 非表示」ビヘイビアーの適用

「エレメントの表示 - 非表示」ビヘイビアーでは、複数のページエレメントを表示または非表示にしたり、表示か非表示かの初期設定を復元したりすることができます。このビヘイビアーは、ユーザーがページでインタラクティブな操作を行うとき、情報を表示するのに便利です。例えば、ユーザーが植物のイメージ上にマウスポインターを移動したときに、その植物の生育時期、生育地域、必要な日照量、育つ大きさなどの詳細を示すページエレメントが表示されるようにすることができます。ビヘイビアーは、関連するエレメントを表示または非表示にするだけです。非表示にする場合でも、ページのフローからエレメントが実際に削除されるわけではありません。

1. オブジェクトを選択し、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「エレメントの表示 - 非表示」を選択します。

   「エレメントの表示 - 非表示」を使用できない場合は、AP エレメントが選択されている可能性があります。どちらのバージョン 4.0 のブラウザーでも、AP エレメントではイベントが受け付けられません。このため、<body> タグまたはリンク（<a> タグ）のような別のオブジェクトを選択する必要があります。

2. エレメントリストから表示または非表示にするエレメントを選択し、「表示」、「非表示」、または「復元」（表示または非表示の初期設定を復元）をクリックします。
3. 表示/非表示を変更する残りのエレメントすべてに対して、手順 2 を繰り返します。1 つのビヘイビアーを使用して、複数のエレメントの表示/非表示を変更できます。
4. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「ポップアップメニューを表示」ビヘイビアーの適用

このビヘイビアーは Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

ポップアップメニュー項目の追加、削除、並べ替え

このビヘイビアーは Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

ポップアップメニューのフォーマット

このビヘイビアーは Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

ドキュメントでのポップアップメニューの位置の設定

このビヘイビアーは Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

ポップアップメニューの変更

このビヘイビアーは Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

「スワップイメージ」ビヘイビアーの適用

「スワップイメージ」ビヘイビアーを使用すると、src 属性（<img> タグ）を変更することによって、あるイメージが別のイメージにスワップされます。このビヘイビアーを使用して、ボタンロールオーバー、その他のイメージ効果（複数のイメージを同時にスワップさせることなど）を作成

します。ロールオーバーイメージを挿入すると、「スワップイメージ」ビヘイビアーが自動的にページに追加されます。

注意： このビヘイビアーは src 属性にしか影響しないので、元のイメージと同じサイズ（高さと幅）を持つイメージとスワップするようにしてください。そうでない場合、スワップしたイメージが、元のイメージのサイズに合うように縮小または拡大されます。
「スワップイメージの復元」ビヘイビアーでは、最後にスワップされた一連のイメージが前のソースファイルに復元されます。「スワップイメージ」ビヘイビアーをオブジェクトに関連付けると、常にこのビヘイビアーが自動的に追加されます。「スワップイメージ」を関連付けるときに「復元」オプションを選択したままにすると、「スワップイメージの復元」ビヘイビアーを手動で選択する必要がなくなります。

1. 挿入／イメージを選択するか、挿入パネルの「イメージ」ボタンをクリックしてイメージを挿入します。
2. プロパティインスペクターの左端にあるテキストボックスにイメージの名前を入力します。

   イメージに名前を付けることは必須ではありません。ビヘイビアーをオブジェクトに関連付けると、自動的にイメージに名前が付けられます。ただし、前もってすべてのイメージに名前を付けておけば、スワップイメージダイアログボックスでイメージをより簡単に識別できます。
3. 追加のイメージを挿入するには、手順 1 と 2 を繰り返します。
4. 通常はスワップ対象のイメージであるオブジェクトを選択して、ビヘイビアーパネルのビヘイビアーの追加メニューから「スワップイメージ」を選択します。
5. イメージリストで、ソースを変更するイメージを選択します。
6. 「参照」をクリックして新規イメージファイルを選択するか、「ソースの設定」テキストボックスに新規イメージのパスとファイル名を入力します。
7. 変更する追加のイメージがある場合は、手順 5 と 6 を繰り返します。一度に変更するイメージすべてに対して、同じ「スワップイメージ」アクションを使用します。ただし、対応する「スワップイメージの復元」アクションは、それらすべてのイメージを復元しません。
8. 「プリロードイメージ」オプションを選択すると、ページのロード時に新しいイメージがキャッシュに保存されます。

   これにより、ダウンロード時にイメージの表示が遅れるのを防ぐことができます。
9. 「OK」をクリックして、初期設定のイベントが正しいことを確認します。

トップへ戻る

「検査フォーム」ビヘイビアーの適用

「検査フォーム」ビヘイビアーを使用すると、特定のテキストフィールドのコンテンツがチェックされて、ユーザーが適切なタイプのデータを入力したかどうかが確認されます。ユーザーがフォームを記入する際にフィールドを検査する場合は、onBlur イベントを使用して各テキストフィールドにビヘイビアーを関連付け、ユーザーが「送信」ボタンをクリックしたときに複数のテキストフィールドを検査する場合は、onSubmit イベントを使用してフォームに関連付けます。このビヘイビアーをフォームに関連付けると、無効なデータが含まれるフォームは送信されなくなります。

1. 挿入／フォームを選択するか、挿入パネルの「フォーム」ボタンをクリックしてフォームを挿入します。
2. 挿入／フォーム／テキストフィールドを選択するか、挿入パネルの「テキストフィールド」ボタンをクリックしてテキストフィールドを挿入します。

   追加のテキストフィールドを挿入するには、この手順を繰り返します。
3. 検査方法を次の中から選択します。
   - ユーザーがフォームを記入するときに個々のフィールドを検査するには、テキストフィールドを選択して、ウィンドウ／ビヘイビアーを選択します。
   - ユーザーがフォームを送信するときに複数のフィールドを検査するには、ドキュメントウィンドウの左下隅にあるタグセレクターで <form> タグをクリックして、ウィンドウ／ビヘイビアーを選択します。
4. ビヘイビアーの追加メニューで「検査フォーム」を選択します。
5. 次のいずれかの操作を実行します。
   - 個々のフィールドを検査する場合は、ドキュメントウィンドウで選択したのと同じフィールドをフィールドリストで選択します。
   - 複数のフィールドを検査する場合は、フィールドリストからテキストフィールドを選択します。
6. フィールドにデータを含める必要がある場合は、「必須」オプションを選択します。
7. 次の「受諾」オプションのいずれかを選択します。
   すべて 必須フィールドにデータが含まれているかどうかがチェックされます。データのタイプは任意です。

   電子メールアドレス フィールドに @ 記号が含まれているかどうかチェックされます。

   数字 フィールドに数字だけが含まれているかどうかチェックされます。

   数字の範囲 フィールドに特定の範囲の数字が含まれているかどうかチェックされます。
8. 複数のフィールドを検査する場合、検査する追加のフィールドがあれば、手順 6 と 7 を繰り返します。
9. 「OK」をクリックします。

   ユーザーがフォームを送信するときに複数のフィールドを検査する場合、イベントメニューに onSubmit イベントが自動的に表示されます。
10. 個々のフィールドを検査する場合、初期設定のイベントが onBlur または onChange であることを確認します。このいずれかでない場合、い

ずれかのイベントを選択します。

いずれのイベントでも、ユーザーがフィールドから移動したときに「検査フォーム」ビヘイビアーを実行します。違いは、onBlur はユーザーがフィールドに入力したかどうかに関係なく発生するのに対して、onChange はユーザーがフィールドのコンテンツを変更した場合にのみ発生するという点です。必須のフィールドでは、onBlur イベントの使用をお勧めします。

関連項目

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

アクセシビリティ

Dreamweaver とアクセシビリティ

アクセシビリティコンテンツについて
Dreamweaver でのスクリーンリーダーの使用
オペレーティングシステムのアクセシビリティ機能のサポート
アクセシビリティの高いページデザインのためのワークスペースの最適化
Dreamweaver のアクセシビリティ検証レポート機能
キーボードによる **Dreamweaver** の操作

アクセシビリティコンテンツについて

トップへ戻る

アクセシビリティとは、視覚、聴覚、動作などに障害を持つ人々を配慮した Web サイトおよび Web 製品を作成することです。ソフトウェア製品および Web サイトのアクセシビリティ機能とは、例えば、スクリーンリーダーのサポート、グラフィックのテキスト表示、キーボードショートカット、表示カラーのハイコントラストへの切り替えなどの機能です。Dreamweaver には、アクセシビリティの高い Web 製品や Web コンテンツを作成およびオーサリングするためのツールが用意されています。

アクセシビリティ機能を使用する必要がある Dreamweaver デベロッパー向けとして、アプリケーションには、スクリーンリーダー、キーボードによる操作、およびオペレーティングシステムのアクセシビリティ機能が用意されています。

アクセシビリティの高い Web コンテンツを作成する Web デザイナーは、Dreamweaver を使用すると、スクリーンリーダーに対応した支援コンテンツを含むアクセシビリティの高い Web ページや、政府のガイドラインに従った Web ページを作成できます。例えば、ページエレメントの挿入時に、イメージのテキスト表示など、アクセシビリティ属性の入力を求めるダイアログボックスがあります。次に、このイメージが視覚障害者向けのページに表示されると、スクリーンリーダーによってその説明が読み上げられます。

注意： 詳しくは、World Wide Web Consortium の Web Accessibility Initiative（www.w3.org/wai）と米国リハビリテーション法の第 508 条（www.section508.gov）を参照してください。
注意： 日本工業規格アクセシビリティガイドラインについて詳しくは、JIS X 8341-3（www.jisc.go.jp）を参照してください。
オーサリングツールで、開発プロセスを自動化することはできません。アクセシビリティの高い Web サイトをデザインするには、アクセシビリティの必要条件を理解し、そのような Web サイトを作成する過程で様々な判断を下す必要があります。デザイナーは、障害を持つビジターが Web ページをどのように閲覧し、操作するかということを考える必要があります。だれにでもアクセス可能な Web サイトを作成するには、入念な計画立案、開発、テスト、および評価を実施することが最良の方法です。

Dreamweaver でのスクリーンリーダーの使用

トップへ戻る

スクリーンリーダーは、コンピューターの画面に表示されるテキストを読み上げる機能です。また、コンテンツの作成時にアクセシビリティタグや属性が設定されている場合は、アプリケーション内のボタンのラベルやイメージの説明など、テキストでない情報も読み上げます。

Dreamweaver を使用して Web ページを作成している最中にも、スクリーンリーダーを使いながら作成すると、作業しやすくなります。スクリーンリーダーは、ドキュメントウィンドウの左上隅から読み始めます。

Dreamweaver は、Freedom Scientific（www.freedomscientific.com）の JAWS for Windows と GW Micro（www.gwmicro.com）の Window-Eyes スクリーンリーダーをサポートしています。

オペレーティングシステムのアクセシビリティ機能のサポート

トップへ戻る

Dreamweaver は、Windows と Mac OS の両方のオペレーティングシステムでアクセシビリティ機能をサポートします。例えば、Mac OS では、ユニバーサルアクセスダイアログボックス（アップルメニューから「環境設定」）で表示に関する環境設定を設定できます。設定は、Dreamweaver ワークスペースに反映されます。

また、Windows オペレーティングシステムのハイコントラスト設定もサポートしています。Windows のコントロールパネルで、このオプションを有効にすると、次のように Dreamweaver に反映されます。

- ダイアログボックスとパネルに、システムカラー設定が使用される。例えば、カラーを「黒地に白色」に設定すると、Dreamweaver のすべてのダイアログボックスおよびパネルは、白の前景色に黒の背景色で表示されます。
- コードビューには、システムカラーとウィンドウテキストカラーが使用されます。例えば、システムカラーを「黒地に白色」に設定している場合に、編集／環境設定／コードカラーリングでテキストカラーを変更しても、Dreamweaver では、これらのカラー設定が無視され、コードテキストが白の前景色に黒の背景色で表示されます。
- デザインビューでは、修正／ページプロパティで設定した背景色とテキストカラーが使用され、デザインしたページのカラーはブラウザーで表示されるものと同じになります。

トップへ戻る

アクセシビリティの高いページデザインのためのワークスペースの最適化

アクセシビリティを考慮した Web ページを作成するためには、ラベルや説明などの情報をページオブジェクトに関連付けて、どのようなビジターにもアクセス可能なコンテンツにする必要があります。

そのためには、オブジェクトごとにアクセシビリティダイアログボックスをアクティブにします。このようにすると、Dreamweaver では、オブジェクトを挿入するときにアクセシビリティ情報の入力を要求されます。「環境設定」の「アクセシビリティ」カテゴリにあるオブジェクトのいずれに対しても、ダイアログボックスをアクティブにすることができます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac OS）を選択します。
2. 左のカテゴリリストで「アクセシビリティ」を選択してオブジェクトを選択します。次の設定をして「OK」をクリックします。
   挿入時に属性を表示　アクセシビリティダイアログボックスをアクティブにするオブジェクトを選択します。例えば、フォームオブジェクト、フレーム、メディア、イメージなどです。

   開くときにフォーカスをパネル内に維持する フォーカスをパネル内に維持することにより、スクリーンリーダーが利用しやすくなります。これを選択しない場合は、パネルを開くときにフォーカスがデザインビューまたはコードビュー内に維持されます。

   オフスクリーンレンダリング スクリーンリーダーを使用する場合に選択します。
   注意：　新しいテーブルを挿入するとき、テーブルの挿入ダイアログボックスにアクセシビリティ属性が表示されます。

トップへ戻る

Dreamweaver のアクセシビリティ検証レポート機能

Dreamweaver のアクセシビリティ検証レポート機能は Dreamweaver CS5 で非推奨になりました。

トップへ戻る

キーボードによる Dreamweaver の操作

パネル、インスペクター、ダイアログボックス、フレーム、およびテーブルを、マウスを使用せずにキーボードで操作することができます。

注意：　Tab キーと矢印キーの使用は、Windows でのみサポートされています。

パネルの操作

1. ドキュメントウィンドウで、Ctrl + F6 キーを押して、フォーカスをパネルに移動します。

   パネルのタイトルの周りの点線は、フォーカスがそのパネルにあることを示しています。スクリーンリーダーにより、フォーカスが置かれているパネルのタイトルバーが読み上げられます。

2. パネル上の目的の場所にフォーカスを移動するには、Ctrl + F6 キーをもう一度押します。Ctrl + Shift + F6 キーを押して、フォーカスを前のパネルに移動します。
3. 目的のパネルが開いていない場合は、ウィンドウメニューのキーボードショートカットを使用して該当するパネルを表示し、Ctrl + F6 キーを押してフォーカスをそのパネルに移動します。

   目的のパネルが開いていても展開されていない場合は、フォーカスをパネルのタイトルバーに置いてから、スペースキーを押します。スペースキーをもう一度押すとパネルが縮小されます。

4. Tab キーを押すと、パネル内のオプションを移動することができます。
5. 必要に応じて矢印キーを使用して移動できます。
   - オプションに選択項目がある場合、矢印キーで選択項目間を移動し、スペースキーを押して選択を確定します。
   - パネルグループに他のパネルを開くタブがある場合、開いているタブにフォーカスを置き、左または右矢印キーを使って他のタブを開きます。新しいタブを開いたら、Tab キーを押して、そのパネル内のオプションを移動します。

プロパティインスペクターの操作

1. プロパティインスペクターが表示されていない場合は、Ctrl + F3 キーを押して開きます。
2. Ctrl + F6 キー（Windows のみ）を押して、プロパティインスペクターにフォーカスを移動します。
3. Tab キーを押すと、プロパティインスペクター内のオプションを移動することができます。
4. 適切な矢印キーを使用して、オプションの選択項目間を移動します。
5. Ctrl + 下矢印 / 上矢印キー（Windows）または Command + 下矢印 / 上矢印キー（Mac OS）を押すと、必要に応じてプロパティインスペクターを展開または縮小できます。右下隅の展開矢印にフォーカスを置いてスペースキーを押しても、同様の操作ができます。
   注意：　キーボードのフォーカスがプロパティインスペクターの内部（パネルのタイトルにではなく）にないと、展開・縮小できません。

ダイアログボックスの操作

1. Tab キーを押して、ダイアログボックス内のオプションを移動します。
2. 矢印キーを使用して、オプションの選択項目間を移動します。
3. ダイアログボックスにカテゴリリストがある場合、Ctrl + Tab キー（Windows）を押して、フォーカスをカテゴリリストに移動し、矢印キーを使用してリスト内を上下に移動します。

4. もう一度 Ctrl + Tab キーを押して、カテゴリのオプションに移動します。
5. Enter キーを押してダイアログボックスを終了します。

フレームの操作

❖ ドキュメントでフレームが使用されている場合は、矢印キーを使用してフォーカスをフレームに移動できます。

フレームの選択

1. Alt+↓キーを押して、ドキュメントウィンドウに挿入ポイントを置きます。
2. Alt+↑キーを押して、現在フォーカスが置かれているフレームを選択します。
3. Alt + ↑キーを押し続けて、フォーカスをフレームセットに移動し、その後、ネストされたフレームセットがある場合は、親フレームセットに移動します。
4. Alt+↓キーを押して、フォーカスを子フレームセットまたはそのフレームセット内の 1 つのフレームに移動します。
5. フォーカスを 1 つのフレームに置いた状態で、Alt+←または Alt+→キーを押して、フレーム間を移動します。

テーブルの操作

1. 必要に応じて、矢印キーを押すか、または Tab キーを押してテーブル内の他のセルに移動します。
   一番右のセルで Tab キーを押すと、テーブルに新しい行が 1 つ追加されます。
2. セルを選択するには、セル内に挿入ポイントがある状態で Ctrl + A キー（Windows のみ）を押します。
3. テーブル全体を選択するには、Ctrl + A キーを、セル内に挿入ポイントがある場合は 2 回、セルが選択されている場合は 1 回押します。
4. テーブルを閉じるには、Ctrl + A キーを、セル内に挿入ポイントがある場合は 3 回、セルが選択されている場合は 2 回、テーブルが選択されている場合は 1 回押し、上矢印キー、左矢印キー、右矢印キーのいずれかを押します。

(cc) BY-NC-SA

法律上の注意 | プライバシーポリシー

Dreamweaver と Creative Cloud

Dreamweaver 設定と Creative Cloud の同期

初回同期
Dreamweaver CC 2014 への設定の移行
設定の同期のため環境設定を編集する
自動同期
手動同期
同期中の競合の解決
Creative Cloud 上のリソースに直接アクセスする

Adobe Creative Cloud の購読アカウントによって、Dreamweaver を 2 台のコンピューターでアクティブにすることができます。購読アカウントは基本的に、購読の購入時に使用した Adobe ID アカウントです。クラウドとの同期は、購読アカウントと緊密に連携しています。

クラウドの同期機能を使用して、2 台のコンピューター間で次の Dreamweaver 設定の同期を維持できます。

- アプリケーションの環境設定：
  - 「一般」：「関連ファイルを有効にする」および「動的関連ファイルを検索」以外のすべての環境設定。
  - 「コードの色分け」：ドキュメントタイプ以外のすべての環境設定。
  - 「コードフォーマット」：タグライブラリ以外のすべての環境設定。
  - 「コードヒント」：リンク「タグライブラリエディター」を使用して行った変更以外のすべての環境設定。
  - 「コードの書き換え」：すべての環境設定
  - 「コピー」/「ペースト」：すべての環境設定
  - 「CSS スタイル」：すべての環境設定
  - 「ファイルの比較」：この設定は、同じオペレーティングシステムで実行されるコンピューター間でのみ同期されます。
  - 「ファイルタイプ」/「エディター」：「変更したファイルのみをリロード」および「実行時に保存」。
  - 「ハイライト表示」：すべての環境設定
  - 「新規ドキュメント」：すべての環境設定（初期設定のドキュメントタイプ（DTD）およびエンコーディングの設定以外）
  - 「ブラウザーでプレビュー」：「一時ファイルを使用してプレビュー」のみが同期されます。
  - 「サイト」：「<右/左> で常に表示 <オプション>」以外のすべての環境設定。
  - 「W3C バリデーター」：「管理」を使用して行った変更以外のすべての環境設定。
  - 「ウィンドウサイズ」：すべての環境設定。

注意：前述の「ファイルの比較」以外のすべての環境設定は、どのオペレーティングシステムで実行しているかにかかわらず、コンピューター間で同期されます。例えば、Mac と Windows 間でも同期されます。

- サイトの設定：ユーザー名とパスワード以外のすべてのサイト設定が、同じオペレーティングシステム上で実行するコンピューター間で同期されます。username と password は同期できません。

ローカルサイトフォルダーのパスおよび名前は、同じ名前のフォルダーが同じパスに存在する場合に同期されます。

コンピューター上にサイトがない場合は、初期設定の場所に新しいサイトフォルダーが作成され、すべてのパスがこのフォルダーに関連付けられます。このパスはいつでも変更できます。後続のすべての同期については、サイトフォルダーの変更のみが同期されます。

- キーボードショートカット：キーボードショートカットは、同じオペレーティングシステムで実行されるコンピューター間でのみ同期されます。
- ワークスペース：ワークスペースは Dreamweaver を終了したときに保存され、クラウドと同期されます。Dreamweaver を終了せずにワークスペースの変更を（現在のセッションで）同期する場合は、ワークスペースメニューで「現在の状態を保存」をクリックしてから、設定を手動で同期します（環境設定／設定を同期）。

ワークスペースは同じオペレーティングシステムで実行しているコンピューター間でのみ同期されます。

注意： 環境設定などの特定の設定を同期しないようにすることもできます。環境設定（「設定を同期」）ダイアログボックスの目的のチェックボックスを選択解除します。

Creative Cloud との同期は、次のシナリオではサポートされていません。

- ボリュームライセンス契約を結んでおり、匿名ユーザーとしてサインインしている場合。
- コンピューターがプロキシサーバーを介してインターネットに接続するように構成されている場合。
- 管理者アカウントから標準ユーザーアカウントに切り替えた場合。

初回同期

ページの先頭へ

Dreamweaver を最初にインストールしたコンピューターで起動すると、次のダイアログボックスが表示されます。

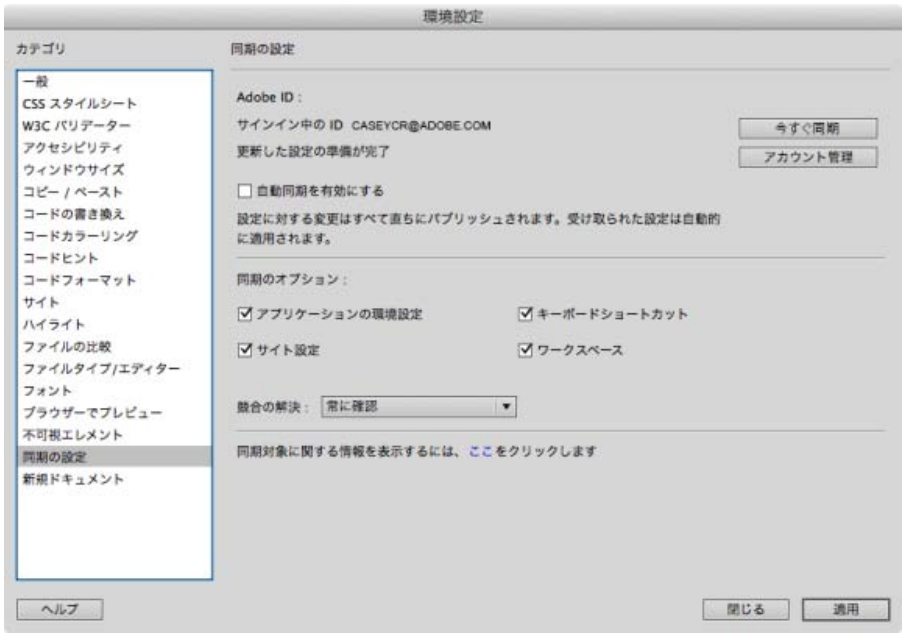
今すぐ同期 設定をクラウドと直ちに同期します。

常に設定を自動的に同期 設定を自動的に同期します。詳しくは、「自動同期」を参照してください。

同期設定を無効にする 同期を無効にします。

注意： 環境設定ダイアログボックスを使用して、いつでも好きなときに同期を有効にすることができます。

詳細設定 環境設定ダイアログボックスの「設定を同期」オプションを開きます。



環境設定ダイアログボックスの「設定を同期」

2 台目のコンピューターで Dreamweaver を起動すると、次のダイアログボックスが表示されます：

クラウドと同期 クラウドの設定を取り込みます。2 台目のコンピューターのアプリケーション環境設定が、クラウドの設定で上書きされます。クラウドのサイト設定が、2 台目のコンピューターの設定に追加されます。

ローカルと同期 2 台目のコンピューターで環境設定およびサイト設定に対して行った変更が保持されると同時に、クラウドにプッシュされます。

常に設定を自動的に同期 設定を自動的に同期します。詳しくは、「自動同期」を参照してください。

高度 環境設定ダイアログボックスの「同期の設定」オプションを開きます。

次のシナリオは、「クラウドと同期」オプションおよび「ローカルと同期」オプションの違いを理解するのに役立ちます。

シナリオ 1

最初のコンピューターで環境設定を変更し、これらの変更をクラウドと同期します。2 台目のコンピューターでも環境設定を変更します。

次に、「クラウドと同期」をクリックすると、最初のコンピューターの環境設定での変更が、2 台目のコンピューターと同期されます。2 台目のコンピューターで行った変更は失われます。

ローカルと同期 2 台目のコンピューターで行った環境設定の変更が保持され、クラウドとも同期されます。次回最初のコンピューターと同期して「クラウドと同期」を選択したときに、これらの変更は最初のコンピューターに反映されます。

シナリオ 2

次に、「クラウドと同期」をクリックすると、最初のコンピューターの環境設定での変更が、**2** 台目のコンピューターと同期されます。 最初のコンピューターでサイト設定に対して行った変更は、2 台目のコンピューターの設定に追加されます。

ローカルと同期 2 台目で行った変更が保持され、クラウドと同期されます。次回最初のコンピューターと同期して「クラウドと同期」を選択したときに、新しいサイトが最初のコンピューターでの設定に追加されます。

注意： 同期進行中に行った環境設定内の変更は反映されません。

ページの先頭へ

Dreamweaver CC 2014 への設定の移行

以前のバージョンの Dreamweaver で Dreamweaver 設定を Creative Cloud と同期した場合、新しいバージョンの Dreamweaver の初回起動時に次のダイアログボックスが表示されます。

Dreamweaver CC 2014 への設定の読み込み

- Creative Cloud に保存した設定を読み込むには、「同期設定を読み込む」をクリックしてください。

  注意：このオプションは、後で選択することはできません。
- 現在の Dreamweaver インスタンスの設定を Creative Cloud と同期するには、「ローカルで同期」をクリックします。
- 以後、設定を自動的に同期するには、「常に設定を自動的に同期」を選択します。
- 高度な同期設定オプションを表示するには、「詳細設定」をクリックします。

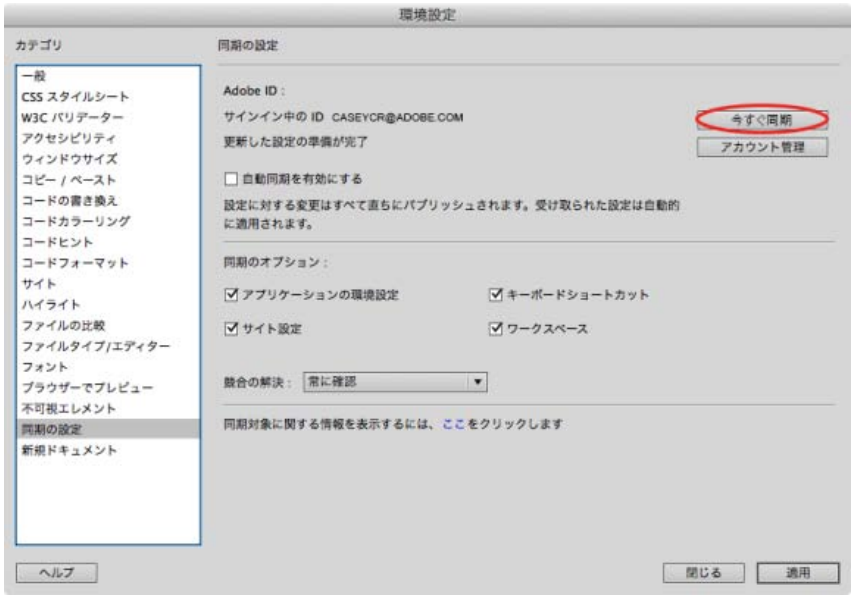
以前のバージョンの Dreamweaver を使用して Creative Cloud と設定を同期しなかった場合は、「初回同期」で説明されているオプションが表示されます。

ページの先頭へ

設定の同期のため環境設定を編集する

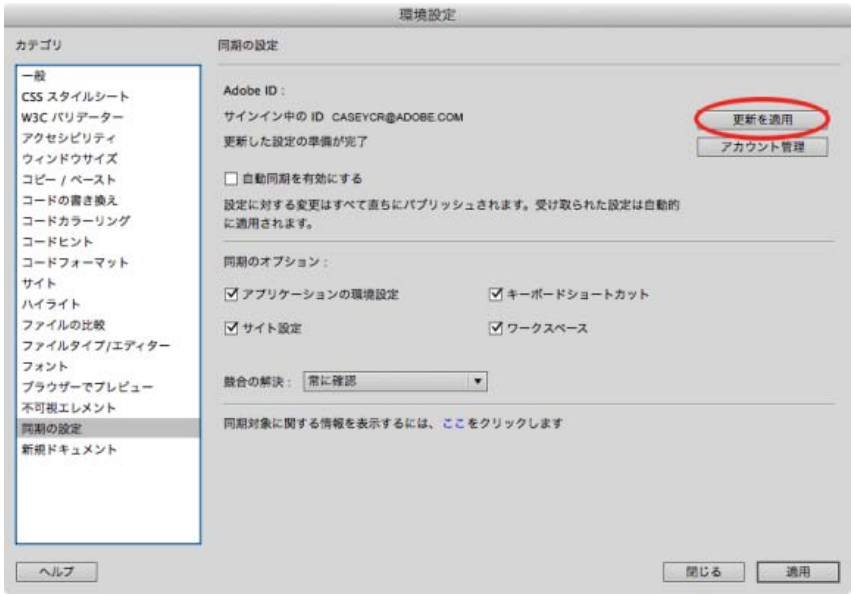
環境設定ダイアログボックスを使用すると、同期する設定の選択、競合の解決の設定、自動同期の有効化、オンデマンド同期の起動を行えます。

1. 編集／環境設定（Windows）または Dreamweaver／環境設定（Mac）を選択します。



2. 「カテゴリ」リストの「同期の設定」をクリックします。
3. 「同期する設定」セクションで、同期する設定をクリックします。
4. 「競合の解決」リストで、同期中に競合を解決するオプションをクリックします。詳しくは、「同期中の競合の解決」を参照してください。
5. 「自動同期を有効にする」をクリックすると、自動同期が 30 分毎に有効になります。
6. 設定を特定の時間に同期するには（オンデマンド同期）、「今すぐ設定を同期」をクリックします。

   （13.1）クラウド上のアップデートをコンピューター上にダウンロードした場合は、「今すぐ同期」ボタンが「アップデートを適用」に変わります。アップデートをすぐに適用するか、環境設定ダイアログボックスを閉じてアップデートを後で適用するかを選択できます。アップデートを適用する前にコンピューター上の Dreamweaver インスタンスに変更を加えた場合は、競合が発生する可能性があり、その場合、競合の解決の設定に基づいて解決されます。



7. 「適用」をクリックして、設定の同期の環境設定に対して行った変更を保存します。
8. 「閉じる」をクリックして、環境設定ダイアログボックスを閉じます。

自動同期

ページの先頭へ

自動同期は、次のいずれかの方法で有効にできます。

- 同期の設定ダイアログボックスで、「常に設定を自動的に同期」を選択します。

注意：設定を同期ダイアログボックスは、コンピューターに Dreamweaver をインストールした後、Dreamweaver に最初にアクセスしたときにのみ表示されます。それ以降の同期については、環境設定ダイアログボックスまたはトースト通知（）を使用します。

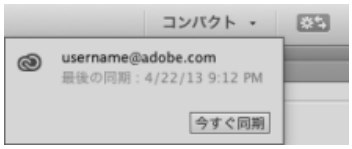
- 編集／環境設定（Win）または Dreamweaver／環境設定（Mac）を選択し、同期の設定／自動同期を有効にするを選択します。

自動同期を有効にすると、Dreamweaver は 30 分ごとにクラウドに変更がないかどうかチェックし、変更があった場合は自動的に設定を同期します。

ページの先頭へ

手動同期

- 設定を同期ダイアログボックスで「今すぐ同期」をクリックします。
- 編集／（ご使用の Adobe ID）／今すぐ同期をクリックします。
- トースト通知で「今すぐ同期」をクリックします。通知ダイアログボックスを表示するには、ドキュメントのツールバーで「」をクリックします。



同期前の今すぐ同期ボタン

同期後の今すぐ適用ボタン（*13.1* においてのみ）

（13.1）クラウドに使用できるアップデートがある場合は、コンピューター上にダウンロードされます。トースト通知の「今すぐ同期」ボタンが「今すぐ適用」に変わります。アップデートはすぐに適用することも、後で適用することもできます。ダウンロードしたアップデートを適用する前に Dreamweaver 設定に変更を加えた場合は、競合が発生し、競合の解決設定に基づいて解決されることがあります。

- （Mac の場合）Dreamweaver／今すぐ設定を同期、（Windows の場合）編集／今すぐ設定を同期

ページの先頭へ

同期中の競合の解決

コンピューターの設定とクラウドの設定に違いがあると、環境設定ダイアログボックスの競合の解決の設定に基づいて競合が解決されます。

「競合の解決」が「環境設定」に設定されている場合、競合が発生すると次のダイアログボックスが表示されます。

「設定を保存」オプションを選択すると、選択したオプション（「ローカルと同期」または「クラウドと同期」）が環境設定ダイアログボックスで選択されます。

重要：Esc を押して設定の競合ダイアログボックスを閉じた場合は、「ローカルと同期」アクションが実行されます。

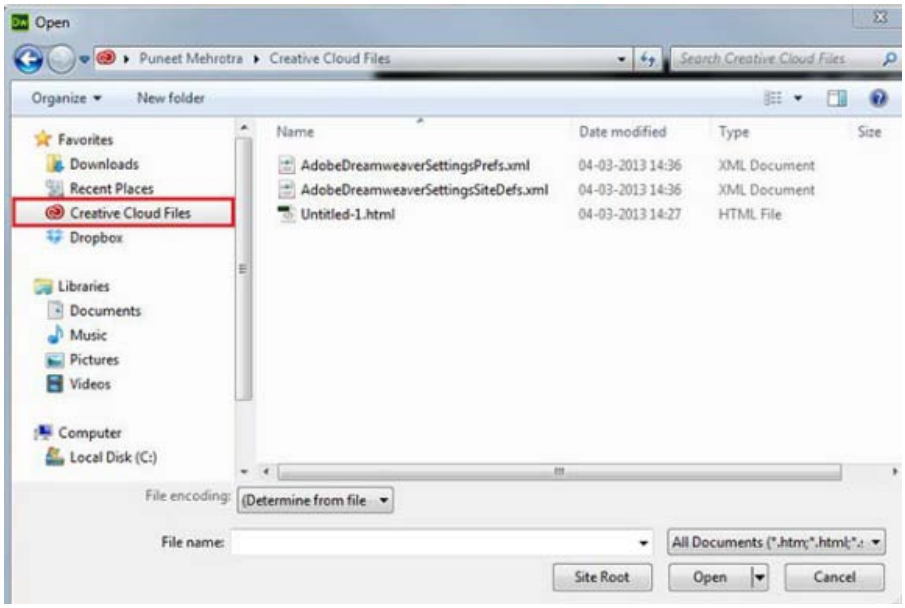
ページの先頭へ

Creative Cloud 上のリソースに直接アクセスする

Dreamweaver ユーザーインターフェイスから直接 Creative Cloud でファイルを開いたり、選択したり、保存したりできます。http://creative.adobe.com/ja から「Creative Cloud Connection プレビュー」ユーティリティをインストールします。

このユーティリティをインストールすると、（スクリーンショットでハイライト表示された）「Creative Cloud ファイル」オプションを

Dreamweaver の開く、保存、選択ダイアログボックスで使用できるようになります。



(cc) BY-NC-SA Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー